

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

平成 26 年版 (2013. 1—12)

独立行政法人国立文化財機構

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES,  
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO



## 序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の1年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたものです。昭和11(1936)年に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第1冊が刊行されて以来、この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されるなど組織の改組、名称の変更が行なわれた中であっても変わることなく受けつがれてきました。

平成26年版となる本書は、その第71冊目となり、平成25年(2013年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の4項目に分けて編集しています。

本書のようなデータブックは、原則として毎年一定のルールのもとに編集・刊行されるのが通例です。毎年継続して利用される方々の便宜に配慮するなら、努めて一定の方針に則るべきですが、一方で年数を経るにつれ、そのルールが時代にそぐわなくなる場合もあります。本年鑑巻末の物故者の項目では、数年来、日本国籍の故人に限って経歴を掲載してまいりましたが、本書では日本美術に深く関わった外国籍の美術家・研究者についても記載しました。国際化の進んだ今日、日本美術もひとつの国籍の枠のなかで完結するものでなくなっていることは周知の通りです。従来 of 体裁は保ちつつも、必要に応じて若干の追加変更等を行なうことで、時代に鑑みた年鑑となるよう編集してまいりたく、ご理解を賜れば幸いに存じます。

末筆となりましたが、この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成28年2月

独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所

所長 亀井伸雄



## 凡 例

- 1 本年鑑は、平成25(2013)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を記載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。書、写真、漫画、建築はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称を省いた。
- 5 「美術展覧会」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類し、それぞれ展覧会名、作家名、主催団体名の50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来時代や地域をこえた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、古美術および近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、古美術から現代までの作家を主題とした展覧会および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される、美術団体主催の公募を原則とする主要な展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録から得られる情報も参照して記載している。データは、展覧会名、会期、会場の順に記載し、当該年から翌年にかけて開催された場合は、原則として翌年の年記を略した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を( )内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、会場をスラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、美術文献目録の始めに凡例を付したので参照されたい。
- 8 刊行物の名称は一部略称とした。略称については、88頁の一覧を参照されたい。
- 9 採録データの原典に付されているルビは、当該文字の直後に〔 〕を付して記した。ルビの平仮名、片仮名の別は原典に従った。
- 10 本年鑑は、塩谷純(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、山梨絵美子(企画情報部部長)、小林公治(同部広領域研究室長)、小林達朗(同部文化形成研究室長)、津田徹英(同部文化財アーカイブズ研究室長)、皿井舞(同部主任研究員)、橋川英規(同部研究員)、安永拓世(同部研究員)、田所泰(同部アソシエイトフェロー)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については、企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の編集・執筆に当たっては、田中淳(当研究所副所長)、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、友田正彦(当研究所文化遺産国際協力センター)の協力を得るとともに、岩戸晶子(奈良国立博物館)、唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸館)、河合大介(当研究所企画情報部客員研究員)、川口雅子(国立西洋美術館)、北村仁美(東京国立近代美術館工芸館)、佐野真規(当研究所無形文化遺産部アソシエイトフェロー)、中尾優衣(京都国立近代美術館)、原田一敏(東京藝術大学大学美術館、当研究所無形文化遺産部客員研究員)、平井章一(京都国立近代美術館)、増田玲(東京国立近代美術館)、三上豊(和光大学、当研究所企画情報部客員研究員)の11氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、荒井孝則、伊波知秋、印田由貴子、河路悠歩、西尾真名、西川真理子、久野華歩、野城今日子、山本祥子の9氏の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

## 目 次

序 .....	i
凡 例 .....	iii
目 次 .....	iv
平成25(2013)年美術界年史 .....	1
美術展覧会 .....	7
企 画 展 .....	7
作 家 展 .....	33
団 体 展 .....	74
美術文献目録 .....	81
凡 例 .....	81
収録定期刊行物誌名 .....	82
定期刊行物所載文献 .....	89
目 次 .....	89
美術展覧会図録所載文献 .....	397
企 画 展 .....	397
作 家 展 .....	422
団 体 展 .....	439
物 故 者 .....	443

# 平成 25 (2013) 年 美術界 年 史

## 1 月

- 毎日芸術賞受賞者決定 芸術文化における優れた業績を顕彰する毎日芸術賞(主催：毎日新聞社)の第54回目の受賞者が1日に発表され、美術関係では、画家の辰野登恵子(「与えられた形象」展および「辰野登恵子 秋の有隣荘特別公開」に対して)が受賞した。また特別賞に写真家の荒木経惟(「荒木経惟写真集展 アラーキー」で示した「写真集文化」の確立に対して)が選ばれた。
- 「実験工房展 戦後芸術を切り拓く」の開催 12日より神奈川県立近代美術館(鎌倉)で「実験工房展 戦後芸術を切り拓く」が開催された(3月24日まで)。1951年に美術、音楽、照明、文学などジャンルを超えたグループとして結成された若手芸術家の集団、実験工房を総合的に紹介するもので、複数の表現領域を横断した活動だったため、これまで検証の遅れていた同集団の全貌が明らかにされた。同展はいわき市立美術館(4月20日～6月2日)、富山県立近代美術館(7月13日～9月8日)、北九州市立美術館分館(10月5日～11月10日)、世田谷美術館(11月23日～2014年1月26日)に巡回した。
- 国際美術史学会、鳴門コロキウム2013の開催 国際美術史学会(CIHA)のコロキウム「洋の東西の美術における複製(Between East and West : Reproductions in Art)」がCIHA国内委員会、大塚国際美術館、日本美術史学会の主催で、15日から18日まで徳島県鳴門市の大塚国際美術館で開催された。日本での開催は1991年東京でのコロキウム以来22年ぶり。「西洋美術」「東アジアと日本の美術」「美術史における比較と文化交流のアプローチ」の3セッションから構成され、国内外の研究者が参加、「複製」に関する世界最新の研究成果を集約する催しとなった。

## 2 月

- 第38回木村伊兵衛写真賞受賞者決定 写真家木村伊兵衛の業績を記念し、優れた新人写真家に贈られる木村

伊兵衛写真賞(主催：朝日新聞社、朝日新聞出版)の第38回目の受賞者が6日に発表され、菊地智子と百々新に決定した。受賞対象は菊地が「I and I」(グループ展「日本の新進作家 vol.11 この世界とわたしのどこか」から。東京都写真美術館)、百々が写真集『対岸』(赤々舎)および写真展「対岸」(銀座ニコソロン他)。

- 「具体：素晴らしい遊び場所」展の開催 15日よりニューヨーク、グッゲンハイム美術館で「具体：素晴らしい遊び場所(Gutai : Splendid Playground)」展が開催された(5月8日まで)。関西で1954年から72年まで活動を展開した具体美術協会の回顧展で、初期の実験的作品から後期のインターメディアな作品まで全活動期を包括的に紹介、海外で評価の高い同協会の活動をあらためて見直す機会となった。
- 対馬で盗難の仏像返還差し止め 長崎県対馬市で盗まれ韓国で見つかった仏像について、韓国中部の大田地方裁判所が韓国政府による日本への返還を当分差し止める内容の仮決定を出した。これは2012年10月に対馬の寺社で韓国人窃盗団により盗まれた文化財のうち、観音寺が所蔵する長崎県指定有形文化財の観世音菩薩坐像について、韓国中部、瑞山にある浮石寺が同像は14世紀に同寺で作られたが倭寇に略奪されたと主張し、日本に渡った経緯が判明するまで同像返還の禁止を求める仮処分を申請していたもの。これに対し、6月に対馬市長が韓国文化財庁へ返還を要請した。
- 第26回平櫛田中賞受賞者決定 日本の彫刻界の振興と平櫛田中の業績の後世への継承を期して設けられた平櫛田中賞(主催：岡山県井原市)の第26回目の受賞者は大平實に決定したことが26日に発表された。広い視野に立つ彫刻造形と、これまでの経験豊富な仕事が評価された。
- 国宝・重要文化財指定の答申 文化審議会(会長：宮田亮平)は27日、鎌倉時代に活躍した仏師、運慶の「木造不動明王立像および二童子像」(静岡県・願成就院蔵)や快慶の「木造騎獅文殊菩薩像および脇侍像」(奈良県・文殊院蔵)、平安時代から明治時代の史料「醍醐寺文書聖教」(京都府・醍醐寺蔵)の3件を国宝に、江戸時代の絵師狩野探幽の「紙本金地着色四季松図」(京都府・大本山大徳寺蔵)など50件を重要文化財に指定するよう下村博文文部科学相に答申した。

### 3 月

- 「ラファエロ」展の開催 2日より国立西洋美術館で「ラファエロ」展が開催された(6月2日まで)。イタリア・ルネサンスを代表する画家ラファエロ・サンツィオの日本で初めての展覧会で、「大公の聖母」(フィレンツェ、パラティーナ美術館蔵)をふくむ23点のラファエロ作品、およびその師と継承者の作品が展示された。なお同展の他にも、「レオナルド・ダ・ヴィンチ展 天才の肖像」(東京都美術館、4月23日～6月30日)、「ミケランジェロ展 天才の軌跡」(福井県立美術館、6月28日～8月25日。国立西洋美術館、9月6日～11月17日)が「日本におけるイタリア2013」の一環として開催された。
- 「フランシス・ベーコン展」の開催 8日より東京国立近代美術館で「フランシス・ベーコン展」が開催された(5月26日まで)。英国を拠点に活躍した画家フランシス・ベーコンの、国内外に所蔵される作品33点、およびベーコンに影響を受けたダンス作品を展示し、その身体性に迫った点で注目を集めた。同展は豊田市美術館(6月8日～9月1日)に巡回した。
- 芸術選奨文部大臣賞受賞者決定 文化庁は12日、2012年度の芸術選奨文部科学大臣賞と同新人賞の受賞者を発表した。芸術選奨文部科学大臣賞美術部門では美術家の川俣正(「川俣正 Expand Bank ART」展などに対して)、奈良美智(「奈良美智:君や僕にちょっと似ている」展に対して)、評論等部門では美術史家・武蔵野美術大学教授の玉蟲敏子(『俵屋宗達—金銀のかざり』の系譜)に対して)、メディア芸術部門ではCGアーティストの河口洋一郎(「河口洋一郎特別展」に対して)が受賞。同新人賞美術部門では写真家の川内倫子(「川内倫子展 照度 あめつち 影を見る」に対して)、評論等部門では比較美術史研究者の清水恵美子(『岡倉天心の比較文化史的研究—ポストンでの活動と芸術思想』に対して)、メディア芸術部門ではアニメーション監督の沖浦啓之(「ももへの手紙」に対して)が受賞した。
- 伊東豊雄のプリツカー賞受賞 建築界のノーベル賞といわれ、優れた建築家に毎年贈られるプリツカー賞受賞者に伊東豊雄が選ばれたことを、主催団体の米ハイアット財団が17日発表した。仙台市の「せんだいメディアテーク」等を通して建築の可能性を広げようとしたことや、作品の精神性、詩的な広がりが評価された。
- 日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院(院長:三浦朱門)は19日、2012年度の芸術院賞受賞者を発表した。第一部(美術)で横文彦(建築、「名古屋大学豊田講堂」の設計に対して)が恩賜賞・日本芸術院賞を、同部門で能島和明(日本画、日展出品作「鐘巻(黒川能)」に対

して)、佐藤哲(洋画、日展出品作「夏の終わりに」に対して)、寺地静人(工芸、日展出品作「富貴想」に対して)が日本芸術院賞を受賞した。

- 第32回土門拳賞受賞者決定 前年に優れた成果を挙げた写真家に贈られる土門拳賞(主催:毎日新聞社)の第32回受賞者が20日、亀山亮に決定した。受賞対象は写真集『AFRIKA WAR JOURNAL』(リトルモア)で、アフリカ各地の紛争地域で底辺にあえぐ人々の苦悩に肉薄し、フォトドキュメンタリーの新たな方向性が高く評価された。
- 「夏目漱石の美術世界」展の開催 26日より広島県立美術館で「夏目漱石の美術世界」展が開催された(5月6日まで)。文豪夏目漱石の文学作品や美術批評に登場する美術家の作品を集め、その美術世界を読み解こうとする試みで、ラファエル前派や近代日本美術の作品、漱石と交遊をもった美術家による装丁や挿画、さらに漱石自筆の文人画などが展示された。同展は東京藝術大学大学美術館(5月14日～7月7日)、静岡県立美術館(7月13日～8月25日)に巡回した。
- 「特別展覧会 狩野山楽・山雪」の開催 30日より京都国立博物館で「特別展覧会 狩野山楽・山雪」が開催された(5月12日まで)。京狩野の初代山楽、二代山雪の生涯と画業を、在外作品3件を含む83件の作品でたどるもので、二代にわたり狩野永徳の豪壮華麗な画風を継承しつつ、更に濃厚な独自の画風を確立していく過程が丹念な調査研究をふまえて示された。

### 4 月

- 「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵 貴婦人と一角獣展」の開催 24日より国立新美術館で「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵 貴婦人と一角獣展」が開催された(7月15日まで)。フランス国立クリュニー中世美術館が所蔵する中世末期のタピスリー「貴婦人と一角獣」6面を中心とする展観で、同館の展示環境の全面改修を機に館外へ貸し出し、日本での初公開となったもの。同展は国立国際美術館(7月27日～10月20日)に巡回した。

### 5 月

- 読売あをによし賞受賞者決定 保存科学・修復の現場で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰する読売あをによし賞(主催:読売新聞社、特別協力:文化財保存修復学会)の第7回目の受賞者として、本賞に織田信長にも重用された石工集団「穴太衆」の伝統を受け継ぎ、城郭石垣修理に取り組む粟田純司、奨励賞に文化財の



表装の金襴などに使う金銀糸を製作する鳥原雄治、特別賞に文化財の維持に関する助成事業を行なう住友財団(理事長：住友吉左衛門)が決定した。

- 国立近現代建築資料館開館 戦前・戦後の日本建築に関する資料を収集・保存する国立近現代建築資料館が東京・湯島に開館した。同館は文化庁直属の機関で、建築家の安藤忠雄が名誉館長に就任。同館は展示や普及活動も行ない、開館記念特別企画展示として「建築資料にみる東京オリンピック 1964年国立代々木競技場から2020年新国立競技場へ」(5月8日～6月14日)が開催、丹下健三設計の国立代々木競技場の図面等が展示された。

- 平成25年度文化庁予算決定 平成25年度予算案が15日、成立した。文化庁予算は1033億4200万円となり前年度より0.14%、1億4200万円の増額となった。I. 豊かな文化芸術の創造と人材育成、II. かけがえのない文化財の保存、活用及び継承等、III. 我が国の多彩な文化芸術の発信と国際文化交流の推進、の3つを柱とし、とくにIで「大学を活用した文化芸術推進事業」に4億5000万円、IIで「文化財建造物等を活用した地域活性化事業」に17億円、「地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業」に32億円、「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に10億1000万円、「文化遺産を活かした地域活性化事業」に33億8400万円が新規に計上された。

- 国宝・重要文化財(建造物)指定の答申 文化審議会(会長：宮田亮平)は17日、東日本を代表する中世の密教寺院である鐺阿寺本堂(栃木県足利市)を国宝に、旧加賀藩主が昭和初期に建設した旧前田家本邸(東京都目黒区)など建造物9件を重要文化財に、また島根県津和野町の津和野地区、岡山県津山市の城東地区の2地区を重要伝統的建造物群保存地区にするよう、下村博文文部科学相に答申した。一方、2012年に全焼した金山寺本堂(岡山市)の重要文化財指定を解除することも求めた。

- 第38回中原悌二郎賞受賞者決定 日本の彫刻界の発展に貢献する目的で創設された中原悌二郎賞(主催：北海道旭川市・同市教育委員会)の選考が18日に行なわれ、第38回目の受賞作が植松壺二の「截接一軸・経度・緯度」に決定した。

## 6 月

- ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館特別表彰 隔年で開催される世界最大規模の国際現代美術展ヴェネツィア・ビエンナーレの開会式と授賞式が1日、イタリアのヴェネツィアで開かれ、88か国による国別参加部門で日本館が特別表彰となった。同館は東京国立近代美

術館の蔵屋美香美術課長の企画で、美術家・田中功起の個展を開催、「抽象的に話すこと・不確かなものの共有と集団行動」と題して2011年の東日本大震災をふまえた映像作品を中心に構成された。

- 輸出漆器の櫃、アムステルダム国立美術館が落札 フランスの宰相ジュール・マザランが1658年に購入した江戸時代初期の日本製櫃がフランスの民家で見つかり、9日の競売でオランダのアムステルダム国立美術館が730万ユーロ(約9億5000万円)で落札した。マザラン家が所有していた四つの櫃のうちの一つで、黒漆を総体とし、金蒔絵や螺鈿装飾を施した最高級の輸出漆器。1882年に英国の日本美術蒐集家トレバー・ローレンスの手に渡ったが、1941年以降、行方が分からなくなっていた。

- 「南蛮漆器：スペインに残された『日本』」展の開催 12日よりマドリード、スペイン国立装飾美術館で「南蛮漆器：スペインに残された『日本』」(Lacas NAMBAN : HUELLAS DE JAPÓN EN ESPAÑA)展が開催された(9月29日まで)。支倉常長を団長とする慶長遣欧使節のスペイン派遣400周年を記念した日本スペイン交流400周年事業の一つで、マドリードの王立デスカルサス修道院所蔵洋櫃をはじめ、スペイン各地に伝世する南蛮漆器を一室に集めた展覧となった。

- 「慶長遣欧使節関係資料」と「御堂関白記」の世界記憶遺産登録 国連教育科学文化機関(ユネスコ UNESCO)は18日、韓国・光州で開かれていた国際諮問委員会で、江戸時代初期にローマへ派遣された仙台藩士支倉常長に関わる「慶長遣欧使節関係資料」(仙台市博物館蔵)と平安時代中期の貴族藤原道長の日記「御堂関白記」(京都市、陽明文庫蔵)を世界記憶遺産に登録することを決定した。

- 名勝・史跡指定の答申 文化審議会(会長：宮田亮平)は21日、披雲閣庭園(高松市)など2件を名勝に、邪馬台国畿内説の最有力地とされる纏向遺跡(奈良県桜井市)など11件を史跡に指定、旧城山国民学校校舎など4件の長崎原爆遺跡(長崎市)を含む13件を登録記念物に登録、酒谷の坂元棚田および農山村景観(宮崎県日南市)など3件を重要文化的景観に選定するよう下村博文文部科学相に答申した。

- 富士山、世界遺産に決定 世界遺産への登録の可否を事前に審査する国連教育科学文化機関(ユネスコ UNESCO)の諮問機関である国際記念物遺跡会議(イコモス ICOMOS)は4月30日、古来より信仰・芸術の対象であった富士山(山梨県、静岡県)について、世界文化遺産への登録を勧告した。これを受けて6月22日、カンボジア、ブノンペンで開催されていた第37回ユネスコ世界遺産委員会で、富士山を世界文化遺産として登録することが決定した。イコモスから富士山の一部とは見なせないとして除外の勧告を受けていた三保の松

原も、委員各国から異論が相次ぎ、構成資産として登録が認められた。なお武家の古都として政府が登録を推薦していた鎌倉については、イコモスが「不登録」を勧告したため、世界遺産委員会への推薦を取り下げた。

## 7 月

- 日光東照宮陽明門の修理開始** 日光東照宮で「平成の大修理 第1期第2次事業(平成25~30年度)」の一環として、国宝・陽明門の修理が8日に始まった。彫刻や金具、建物全体の外装を塗り直す工事で、7月には牡丹の浮彫が施された東西壁面の羽目板を取り外し、その下の壁面に描かれた桐油蒔絵が現われた。同壁面は宝暦年間の修理に際し、狩野祐清が下絵を描いたもので、11月よりその一般公開を開始した。
- 第8回西洋美術振興財団賞受賞者決定** 西洋美術の理解や研究発表などに貢献した展覧会に携わった個人・団体を顕彰する西洋美術振興財団賞の第8回目の受賞者が決定し、12日に発表された。個人に贈られる学術賞は保坂健二郎・東京国立近代美術館主任研究員(「フランス・ペーコン展」に対して)、陳岡めぐみ・国立西洋美術館主任研究員(「ユベール・ロベール—時間の庭」展に対して)が、団体に贈られる文化振興賞は数多くの展覧会への助成などを行なっているポーラ美術振興財団が受賞した。
- 人間国宝認定の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は19日、陶芸作家で現代感覚溢れる白磁を制作する前田昭博、漆芸作家で漆の表面に文様を彫り、溝の部分に色漆を塗る蒔薔(きんま)に取り組む山下義人を含む4名を新たに重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう下村博文文部科学相に答申した。
- 登録有形文化財登録の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は19日、関東大震災からの復興の象徴となった東京工業大学本館(東京・目黒)や洋風のデザインを基調とした和歌山県庁舎本館(和歌山市)など173件の建造物を新たに登録有形文化財にするよう下村博文文部科学相に答申した。

## 9 月

- 第25回世界文化賞受賞者発表** 世界の優れた芸術家を顕彰する高松宮殿下記念世界文化賞(主催：公益財団法人日本美術協会)の第25回受賞者が17日発表された。美術関係では、絵画部門でミケランジェロ・ピストレット(イタリア)、彫刻部門でアントニー・ゴームリー(イギリス)、建築部門でデイヴィッド・チップパーフィールド(イギリス)が受賞した。

○**秋田県立美術館開館** 秋田市中心部の再開発地域「エリアなかいち」に28日、秋田県立美術館が開館した。同市内の千秋公園内にあり、秋田の資産家、美術蒐集家である平野政吉のコレクションを収蔵する同館(1967年開館)が移転したもので、新館は安藤忠雄が設計、地下1階・地上3階、延床面積3746.66㎡。2012年より暫定オープンしていたが、その後藤田嗣治の壁画「秋田の行事」を移動するなど移転作業を終え、正式開館となった。開館記念展として「壁画《秋田の行事》からのメッセージ 藤田嗣治の1930年代」(9月28日~11月10日)が開催された。

## 10 月

- 岡田美術館開館** 神奈川県箱根町小涌谷に4日、日本・東洋の古代から現代まで及ぶ美術品を紹介する岡田美術館(館長：小林忠)が開館した。遊技器械製造業等を展開する実業家の岡田和生が収集した美術品約700点を収蔵する。地上5階、展示面積約5000㎡と、私立美術館としては最大規模。開館記念展として「日本・東洋 美の遺産展」(10月4日~12月30日)が開催された。
- 第25回国華賞受賞者決定** 日本・東洋美術に関する優れた研究を対象とする第25回国華賞は、谷口耕生(奈良国立博物館)の論文「俱舎曼荼羅と天平復古」(『仏教美術論集1 様式論』所載、竹林舎、2012年10月)に、国華奨励賞は濱田瑞美(早稲田大学)の著書『中国石窟美術の研究』(中央公論美術出版、2012年10月)に贈られることが決定した。
- 重要文化財(建造物)指定の答申** 文化審議会(会長：宮田亮平)は18日、中世の形式と近世の装飾を併せ持った那須神社(栃木県大田原市)や戦前の木造校舎建築の到達点とされる旧高野口尋常高等小学校校舎(和歌山県橋本市)など建造物6件を重要文化財に指定し、東北では数少ない商家の町並みで豪雪対応の建造物が残る秋田県横手市の増田地区など2地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう、下村博文文部科学相に答申した。
- 文化勲章受章者、文化功労者決定** 政府は25日、2013年度の文化勲章受章者5名と文化功労者15名を決定した。美術関係では、書家の高木聖鶴が文化勲章受章者に、日本画・文化財保護の上村淳之、建築家の横文彦が文化功労者に選ばれた。
- 日展、書の部門での審査不正発覚** 公募美術展である日展の書の部門で、入選者を有力会派に割り振るよう事前調整していたことが30日、関係者の証言で分かった。2009年の篆刻の審査で、審査主任が篆刻担当の審査員に有力会派の応募数と入選者が書かれた配分表

を示し、配分表通りに入選数を決めるよう指示したというもの。これを受けて日展は11月1日から始まった第45回日展の最高賞である内閣総理大臣賞と文部科学大臣賞の選出を取りやめ、文化庁は後援を中止、また書道界の重鎮で日展顧問の古谷蒼韻が退会した。11月7日には第三者委員会が発足し、12月5日に報告書を提出、不正の事実が確認された。

## 11 月

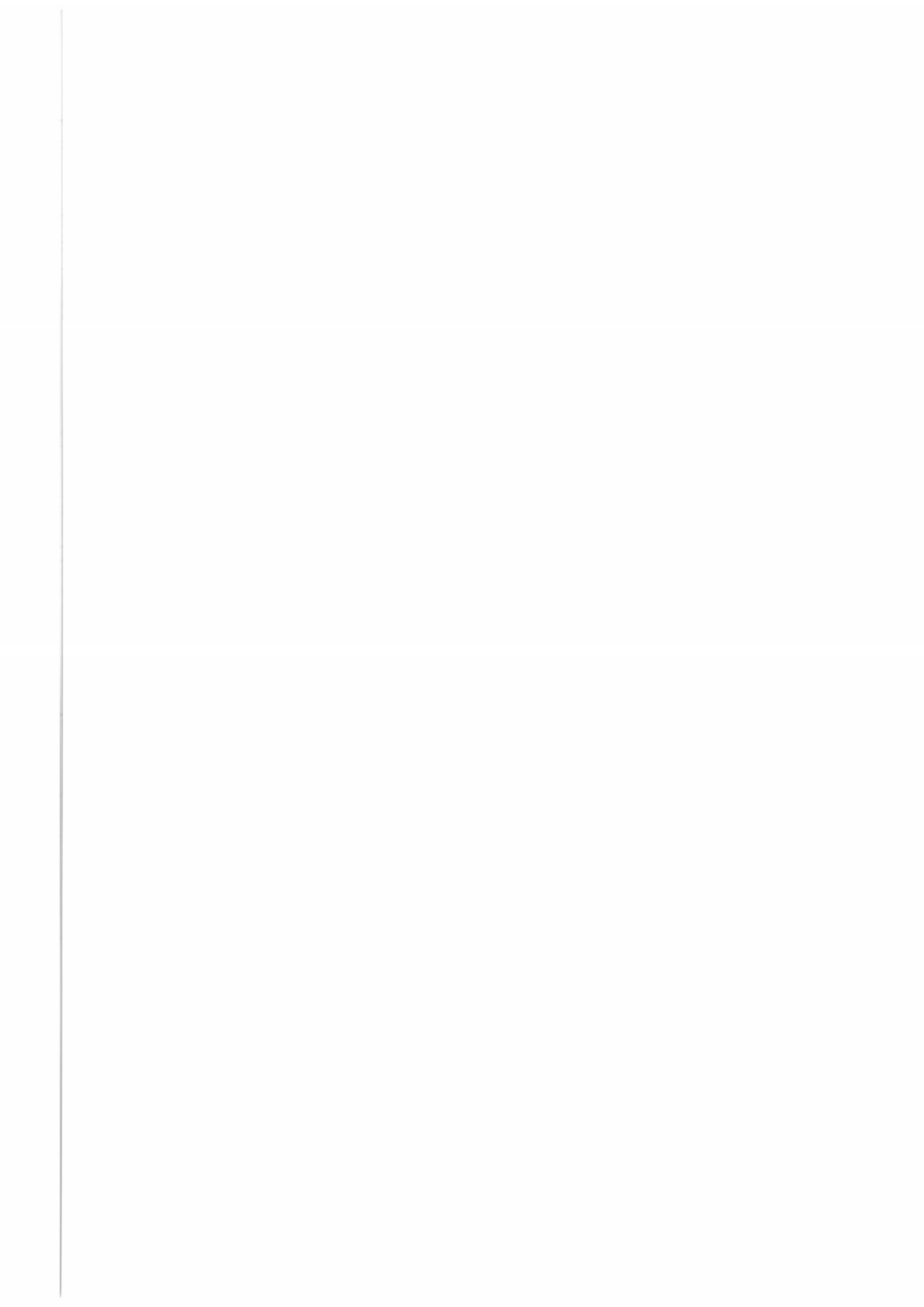
- 「ハイレッド・センター 『直接行動』の軌跡」展の開催  
9日より名古屋市美術館で「ハイレッド・センター『直接行動』の軌跡」展が開催された(12月23日まで)。1960年代の高度経済成長期において、高松次郎、赤瀬川原平、中西夏之による、既成の芸術の枠組みを遥かに超えて日常性に揺さぶりをかけた行動の軌跡を、当時の文献資料や記録写真を中心に紹介した。同展は渋谷区立松濤美術館(2014年2月11日～3月23日)に巡回した。
- 名勝・史跡指定の答申 文化審議会(会長：宮田亮平)は15日、佛聖の松尾芭蕉が陸奥、北陸路を旅した「おくのほそ道の風景地」など2件を名勝に、室町幕府と伊達氏との結びつきを示す宮脇庵寺跡(福島県伊達市)など9件を史跡に指定、旧南部氏別邸庭園(盛岡市)など4件を登録記念物に登録、宮津天橋立の文化的景観(京都府宮津市)など5件を重要文化的景観に選定するよう下村博文文部科学相に答申した。
- 登録有形文化財登録の答申 文化審議会(会長：宮田亮平)は15日、大正期から昭和初期にかけての貴重な近代建築である国立天文台三鷹キャンパス(東京都三鷹市)の建造物7件を新たに登録有形文化財にするよう下村博文文部科学相に答申した。

## 12 月

- 第25回倫雅美術奨励賞受賞者決定 優れた美術評論や美術史の研究を顕彰する倫雅美術奨励賞(主催：公益信託倫雅美術奨励基金)の第25回目の受賞者が発表され、美術史研究部門で『恩地孝四郎研究 版画のモダニズム』(せりか書房)を著した桑原規子(聖徳大学准教授)と、和歌山県立近代美術館での「生誕120年記念 田中恭吉展」の企画と図録論文を担当した寺口淳治(広島市現代美術館副館長)と井上芳子(和歌山県立近代美術館学芸課長)が受賞した。なお美術評論部門は該当なしと発表された。
- 文化庁メディア芸術祭、受賞作品決定 文化庁は5日、国内外の優れた映像作品などを表彰する第17回文化庁

メディア芸術祭の受賞作品を発表した。アート部門はカールステン・ニコライ(ドイツ)の「crt mgn」、エンターテインメント部門は菅野薫/保持壮太郎/大来優/キリーロバ ナージャ/米澤香子/関根光才/澤井妙治/真鍋大度(日本/ロシア)の「Sound of Honda / Ayrton Senna 1989」、アニメーション部門はユン/ローラン・ボアロー(ベルギー/フランス)の「はちみつ色のユン」、マンガ部門は荒木飛呂彦(日本)の「ジョジョリオン ジョジョの奇妙な冒険 Part 8」がそれぞれ大賞を受賞した。

- VOCA 賞受賞者決定 平面美術の若手作家を奨励するVOCA賞の受賞者は「ものおくり」を制作した田中望に16日決定した。VOCA奨励賞は大小島真木と金光男、佳作賞は大坂秩加と染谷悠子、大原美術館賞は佐藤香菜にそれぞれ贈られることとなった。受賞作等を展示するVOCA展2014は2014年3月15日から3月30日まで東京都の上野の森美術館で開催された。



# 美術展覧会

## 企画展

(ア)

- EARTH ART MASHIKO HIJISAI  
2009.2012-2015 5.29-6.10  
8/CUBE 1, 2, 3  
東京 6.1 内田淳二
- アーティスト・ファイル2013—現代の作家たち 1.23-4.1 国立新美術館  
産経 2.13 渋谷和彦  
東京夕刊 2.15 三沢典丈  
毎日夕刊 3.27 岸桂子
- アートアイランズ TOKYO 国際現代美術展2013 3回 8.31-9.15  
大島/新島
- アートがあれば119人のコレクターによる個人コレクションの場合 7.13-9.23 東京オペラシティアートギャラリー  
産経 7.25 渋谷和彦  
毎日夕刊 8.15 岸桂子  
読売夕刊 9.3 堀元彰
- アートが絵本と出会うとき—美術のパイオニアたちの試み— 11.16-1.19 うらわ美術館(下関市立美術館)  
新美術新聞 1330
- アートでふれる、うつ心と軌跡展 7.8-7.11 ヒカリエホールB  
毎日 7.9 南恵太  
読売 7.9
- アートといっしょ こども+おとな+夏の美術館 7.6-8.25 群馬県立近代美術館
- アートに生きた女たち 5.25-9.29 名古屋ボストン美術館  
新美術新聞 1313 比戸奈津子  
美術の窓 361 比戸奈津子  
朝日夕刊 8.14
- アートのMORI展—現代を担うアーティストたち— 6.30-7.6  
東京交通会館  
新美術新聞 1315

- アートプログラム青梅2013 雲をつかむ作品たち 11.2-12.8 青梅市立美術館/明星大学青梅校/青梅織物工業協同組合施設/吉川英治記念館  
朝日 12.4 石川瀬里
- Urban Narratives—ある都市の物語— 1.26-5.6 エスパス ルイ・ヴィトン東京
- あいちトリエンナーレ2013 Awakening 揺れる大地—われわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活 8.10-10.27 愛知芸術文化センター/名古屋美術館/長者町会場/納屋橋会場ほか  
AXIS 166 ほむ企画  
AAC 76 五十嵐太郎  
AAC 77 越後谷卓司  
ギャラリー\* 340  
芸術新潮 765  
新美術新聞 1301  
美術手帖 987 岡澤浩太郎  
美術手帖 989 塚田有那  
美術手帖 991 宮村周子  
美術手帖 991 内田伸一  
美術手帖 991 岡澤浩太郎  
美術手帖 992 Okazawa Kotaro  
文/Araki Tomoko 翻訳・インタビュー  
美術手帖 992  
美術手帖 992 Tsukada Arina  
美術手帖 992 Tsukada Arina  
美術手帖 992 Okazawa Kotaro  
美術の窓 358  
美術の窓 359  
美術屋・百兵衛 26  
朝日 8.8 高橋昌宏  
朝日 8.27 高橋昌宏  
朝日夕刊 8.7 高橋昌宏  
朝日夕刊 9.11 大西若人  
東京 8.14  
日経夕刊 9.24 窪田直子  
毎日夕刊 10.16 岸桂子  
読売 9.19 井上晋治

- アイチのチカラ!戦後愛知のアート、70年の歩み 11.29-2.2 愛知県美術館  
新美術新聞 1330
- AINU ART—風のかたりべ 2.2-3.24 北海道立近代美術館(松浦武四郎記念館)  
朝日夕刊 3.13 大西若人
- 秋田県墨絵芸術協会展41回 9.20-9.23 アトリオン第一展示ホール  
水墨画\* 296
- アクアライン Art along the shore 札幌美術展 11.30-2.16 札幌芸術の森美術館
- アジア現代陶芸 新世代の交感展 2013 8.3-9.29 愛知県陶磁美術館  
ギャラリー\* 340  
陶説 727 井上隆生
- アジアをつなぐ 境界を生きる女たち 1984-2012 1.26-3.24 栃木県立美術館(福岡アジア美術館、沖縄県立博物館・美術館、三重県立美術館)  
新美術新聞 1303  
水墨画\* 288  
美術運動史研究会ニュース 135 香川檀  
美術運動史研究会ニュース 135 嶋崎吉信  
朝日夕刊 2.20 大西若人  
毎日夕刊 2.20 岸桂子
- アジアをつなぐ 境界を生きる女たち 1984-2012 4.13-6.23 三重県立美術館(福岡アジア美術館、沖縄県立博物館・美術館、栃木県立美術館)  
あいだ 203 レベッカ・ジェニスン
- アジアをつなぐ 境界を生きる女たち 1984-2012 9.1-10.21 福岡アジア美術館(沖縄県立博物館・美術館、栃木県立美術館、三重県立美術館)

平成25年美術展覧会(企ア、イ)

REAR 30 北原恵  
 飛鳥寺2013 4.26—6.2 奈良文化財研究所飛鳥資料館  
 飛鳥の考古学2012 2.3—3.3 奈良文化財研究所飛鳥資料館  
 飛鳥・藤原京を考古科学する 8.1—9.1 奈良文化財研究所飛鳥資料館  
 遊び 7.13—8.25 京都国立博物館 新美術新聞 1317  
 〈遊ぶ〉シュルレアリスム—不思議な出会いが人生を変える— 7.9—8.25 損保ジャパン東郷青児美術館(徳島県立近代美術館)  
 朝日夕刊 7.17 西岡一正  
 日経 7.24 窪田直子  
 読売 7.9  
 熱々! 東南アジアの現代美術  
 Welcome to the Jungle 4.13—6.16 横浜美術館(熊本市現代美術館)  
 芸術新潮 762  
 新美術新聞 1309  
 美術手帖 987 服部浩之 評  
 朝日夕刊 5.8 西岡一正  
 産経 5.23 黒沢綾子  
 日経 5.1 窪田直子  
 毎日夕刊 5.29 岸桂子  
 読売 6.6 高野清見  
 読売夕刊 5.10 ヨミウリ・ジュニアプレス・取材班  
 AT ART UWAJIMA 2013 7.24—8.22 木屋旅館  
 毎日夕刊 8.5 清水有香  
 渥美窯 あつみよう 国宝を生んだその美と技 田原市制施行10周年記念特別展 10.19—11.24 田原市博物館  
 雨引の里と彫刻2013 9.22—11.24 茨城県桜川市(旧大和村地区)  
 産経 9.26 渋沢和彦  
 毎日夕刊 10.2 岸桂子  
 アメリカン・ポップ・アート展  
 From the John and Kimiko Powers Collection 8.7—10.21 国立新美術館  
 芸術新潮 766  
 新美術新聞 1319  
 美術の窓 353 南雄介

産経 8.11 渋沢和彦  
 日経 10.10 平野啓一郎  
 読売 8.22 市原尚士  
 有栖川宮・高松宮ゆかりの名品 日本美術協会創立125年 5.21—7.14 上野の森美術館  
 新美術新聞 1312  
 産経 5.23  
 読売 7.4  
 アワガミ国際ミニプリント展2013 10.12—11.10 いんペアートスペース  
 版画芸術 161  
 阿波紙と版表現展2013 10.12—11.10 阿波和紙伝統産業会館(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA)  
 版画芸術 161  
 Ange de Noël 8 12.20—12.27  
 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1331  
 UNKNOWNNS 2回 ART×CRITICISM 7.8—7.20 ギャラリー現／ギャラリー零∞

(イ)

生かされた女性美—素顔それとも虚構—個性派画廊による異色の美人画コレクション 11.22—12.22 星野画廊  
 いきものと生きる—“いのち”の物語— 10.18—11.24 大分県立歴史博物館  
 生口島レモン共和国2013 8.1—9.1 生口島全土  
 朝日 8.5 西岡一正  
 池袋モンパルナス—歯ぎしりのユートピア 5.19—6.5 東京芸術劇場  
 朝日 5.30 米田優人  
 池部政次コレクションの中国明清の書画 9.24—11.9 早稲田大学会津八一記念博物館  
 ICOCU 異国 南蛮とキリシタンの美術 大阪・南蛮文化コレクションより 9.14—10.20 堺市博物館  
 異国と出会った江戸絵画—神戸市立博物館名品展— 視覚×革命

7.17—9.23 九州国立博物館  
 伊豆の涅槃図 4.13—6.2 上原仏教美術館  
 出雲大社展 平成の大遷宮 4.12—6.16 島根県立古代出雲歴史博物館  
 出雲阿国展 “天下—”のアイドルの系譜 初期歌舞伎図から寛文美人図まで 9.27—11.4 島根県立美術館  
 伊丹国際クラフト展2013 11.16—12.23 伊丹市立工芸センター  
 陶説 730 外館和子  
 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展2013 6.29—8.11 板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館、高浜市やきもの里かわら美術館、石川県七尾美術館)  
 朝日 8.1  
 一族展 9.24—9.29 ギャラリー一枝香庵  
 新美術新聞 1323  
 市原土人形の系譜—後藤家三代の仕事— 8.4—11.10 瑞浪市陶磁資料館  
 一木一草に神をみる 自然と美術 神々の国しまねプロジェクト 9.14—11.4 島根県立石見美術館  
 新美術新聞 1322  
 美術の窓 360 廣田理紗  
 1カ月の朝ごはん 6.3—6.30 伝統工芸青山スクエア(石川県立伝統産業工芸館)  
 東京 6.9 尾崎行雄  
 「いっぷく」を彩った工芸品 たばこをとりまく脇役たち 5.25—7.15 たばこと塩の博物館  
 新美術新聞 1314  
 伊藤若冲の名品 6.8—9.29 相国寺承天閣美術館  
 水墨画\* 291  
 いとうるわし。日本の美 京都国立博物館名品展 4.20—5.26 香川県立ミュージアム  
 井戸茶碗—戦国武将が憧れたうつわ— 11.2—12.15 根津美術館  
 陶説 728 西田宏子  
 目の眼 447  
 目の眼 448 西田宏子 談／白洲

- 信哉 聞き手  
産経 10.27  
読売 12.5
- 伊那谷の日本画—春草没後の求道者たち— 10.5—11.4 飯田市美術博物館  
新美術新聞 1324
- ARCHITECTURE FOR DOGS 犬のための建築展 10.25—12.21  
TOTO ギャラリー・間(金沢21世紀美術館)  
芸術新潮 768  
毎日夕刊 11.13 永田晶子
- 伊能忠敬の日本図 大谷大学博物館  
十周年記念 6.11—8.5 大谷大学博物館
- 祈りとかざり 開館15周年特別展  
02 日本美術の荘厳 5.11—7.21  
細見美術館  
目の眼 442
- 祈りの木像プタリ展—聖地ヒマラヤから— 2.9—2.17 ギャラリー双葉  
芸術新潮 760
- 茨城の巨匠—日本藝術院の作家たち— 10.5—11.24 しもだて美術館  
新美術新聞 1327
- 伊万里 染付の美 「図変り」大皿の世界 3.1—3.24 そごう美術館(兵庫陶芸美術館、泉屋博古館分館、山口県萩美術館・浦上記念館)  
芸術新潮 759
- 伊万里 染付の美 「図変り」大皿の世界 9.14—12.8 泉屋博古館分館(そごう美術館、兵庫陶芸美術館、山口県萩美術館・浦上記念館)  
新美術新聞 1323 森下愛子  
産経 11.18
- いま歴史が書きかえられる『岩倉具視関係史料』の精華—岩倉具視と明治日本を創業した元勳たち— 7.20—10.14 海の見える杜美術館  
新美術新聞 1321
- イメージフォーラム・フェスティバル2013 4.27—5.6 パークタワーホール/シアター・イメージフォーラム(京都シネマ、福岡市総合図書館、愛知芸術文化センター、横浜美術館)  
毎日夕刊 4.24  
毎日夕刊 5.1 西嶋憲生  
読売夕刊 4.19
- 癒しの仏 薬師如来—伊豆の薬師如来像— 上原仏教美術館開館30周年記念企画展 10.26—12.8  
上原仏教美術館
- 色について 寺田コレクションより  
収藏品展 NO.045 7.13—9.23  
東京オペラシティアートギャラリー—  
色を見る、色を楽しむ。—ルドンの『夢想』、マティスの『ジャズ』…  
ブリヂストン美術館コレクション展 6.22—9.18 ブリヂストン美術館  
新美術新聞 1317  
(岩波写真文庫)とその時代 岩波書店創業100周年記念展 6.23—7.8  
教文館9F ウェンライトホール  
朝日夕刊 6.18  
毎日夕刊 7.4
- 石見神楽—舞を伝える、舞と生きる— 7.12—9.8 島根県立古代出雲歴史博物館
- 印象派を超えて—一点描の画家たち  
ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー=ミュラー美術館所蔵作品を中心に 10.4—12.23  
国立新美術館(広島県立美術館、愛知県美術館)  
新美術新聞 1327  
美術屋・百兵衛 27  
朝日夕刊 11.6 大西若人  
東京 7.2  
東京 8.5  
東京 10.3 リゼット・ベルサーズ  
東京 10.7  
東京 11.4  
東京夕刊 11.6 加藤有希子  
読売 12.5 前田恭二
- INTERNATIONAL SCULPTURE GROUP Seoul & Tokyo 2013  
8.12—8.24 いりや画廊  
新美術新聞 1320
- インドネシアの布—島々の記憶—  
女子美術織コレクション展 Part 3 9.6—10.17 女子美アートミュージアム  
新美術新聞 1323  
(ウ)
- ヴェトナム陶磁の二千年—舩田コレクション—開館40周年・日本ベトナム外交関係樹立40周年記念 7.20—10.14 町田市立博物館  
ギャラリー\* 339  
芸術新潮 766  
陶説 725 矢島律子
- ヴェネチア展 日本人が見た水の迷宮 10.5—11.24 一宮市三岸節子記念美術館  
読売 10.18 森田睦
- 上野の森美術館大賞展31回 4.26—5.8 上野の森美術館(京都府京都文化博物館)
- 上野の森美術館大賞展入賞者展30回 4.26—5.8 上野の森美術館
- 上原コレクションにみる 日本画家たちの美の饗宴 3.15—5.26 上原近代美術館  
新美術新聞 1310
- VOCA2013 現代美術の展望 新しい平面の作家たち 3.15—3.30  
上野の森美術館  
美術\* 452 編集部 構成  
美術の窓 353 鈴木紗也香  
産経 3.20 渋谷和彦  
東京夕刊 4.10 森本智之  
毎日夕刊 3.27 岸桂子
- 浮世絵 Floating World 珠玉の斎藤コレクション 6.22—9.8 三菱一号館美術館  
版画芸術 160 野口玲一  
毎日夕刊 6.22 高橋直純  
毎日夕刊 7.8 岸桂子
- 浮世絵展 名刹 待乳山聖天と周辺地域 10.18—11.4 待乳山聖天  
東京 10.19 丹治早智子
- 浮世絵にみる北区の江戸時代 名所物語 10.22—12.23 北区飛鳥山博物館
- 受け継がれた住まい 今に生きる文京の近代建築 10.19—12.1 文京ふるさと歴史館

朝日 11.15 桑山敏成  
 うさぎスマッシュ 世界に触れる方法〔デザイン〕 東京アートミーティング4回 10.3—1.19 東京都現代美術館  
 美術手帖 997 高橋洋介 評  
 朝日夕刊 12.11 大西若人  
 産経 11.14 黒沢綾子  
 東京夕刊 11.15 児島やよい  
 毎日夕刊 12.4 岸桂子  
 読売 12.26

内と外—スペイン・アンフォルメル  
 絵画の二つの『顔』 ソフィア王妃  
 芸術センター所蔵 10.3—1.5  
 国立西洋美術館(長崎県美術館)  
 新美術新聞 1327  
 読売夕刊 10.29 川瀬佑介

国宝「卯花塙」と桃山の名陶—志野・  
 黄瀬戸・瀬戸黒・織部— 9.10—  
 11.24 三井記念美術館  
 陶説 727 赤沼多佳  
 目の眼 446 赤沼多佳  
 朝日 9.18  
 読売 9.19

UBE ビエンナーレ25回 現代日本  
 彫刻展2013 9.29—11.24 宇部  
 市ときわミュージアム  
 毎日夕刊 10.2 岸桂子

馬のアート—時代を映す諷刺と現代  
 マンガの世界— 10.5—12.1 馬  
 の博物館

海を越える美術 日本をとりまくア  
 ジアとヨーロッパ 7.5—8.18  
 大和文華館  
 新美術新聞 1318

漆の技—TSUIKIN— 切った貼った  
 で盛り上げられ! 2.22—3.17 浦  
 添市美術館

うるわしき都の玉手箱 ～京にきら  
 めく、珠玉の日本美術～ 細見美  
 術館名品展 9.14—11.10 秋田  
 市立千秋美術館

(工)

永遠の少女マンガ展 1.19—2.11  
 江東区森下文化センター  
 東京 2.1 小林由比

映画をめぐる美術 マルセル・プロ  
 ータースから始める 9.7—10.27

京都国立近代美術館(東京国立近  
 代美術館)

エヴァンゲリオン 8.7—8.26 松  
 坂屋(銀座)(北九州市漫画ミュー  
 ジアム、新潟市マンガ・アニメ情  
 報館、松坂屋美術館、阪急うめだ  
 ギャラリー、そごう美術館、高松  
 市美術館、宇部市ときわ湖水ホー  
 ル、熊本県立美術館、水野美術館)  
 美術手帖 995 島貫泰介

エヴァンゲリオンと日本刀展 9.21  
 —11.11 関鍛冶伝承館(大和ミュー  
 ジアム、サッポロファクトリー、  
 西鉄ホール、大阪歴史博物館、備  
 前長船刀剣博物館、三河武士のや  
 かた家康館、岡崎城、林原美術館、  
 松江歴史館、愛媛県美術館、福井  
 市立郷土歴史博物館、静岡ホビー  
 スクエア、上野の森美術館)  
 東京夕刊 9.25

エヴァンゲリオンと日本刀展  
 11.23—12.23 上野の森美術館  
 (大和ミュージアム、サッポロフ  
 ザクトリー、西鉄ホール、大阪歴  
 史博物館、関鍛冶伝承館、備前長  
 船刀剣博物館、三河武士のやかた  
 家康館、岡崎城、林原美術館、松  
 江歴史館、愛媛県美術館、福井市  
 立郷土歴史博物館、静岡ホビース  
 クエア)  
 産経 11.28 坂下芳樹

EVOLUTION16 11回 1.16—1.22  
 高島屋(日本橋)(高島屋(大坂、名  
 古屋、京都))

描かれた祈り～奥深き絵馬の魅力～  
 11.30—1.26 徳島市立徳島城博  
 物館

描かれた杉並 3.2—5.12 杉並区  
 立郷土博物館  
 東京 4.8 竹島勇

描かれた風景—憧れの真景・実景へ  
 の関心— 10.29—12.8 東京国  
 立博物館

描かれた富士 富士山世界文化遺産  
 登録記念企画 7.26—8.20  
 MOA 美術館  
 新美術新聞 1317  
 読売 8.8

描かれた都 開封・杭州・京都・江

戸 10.5—12.15 大倉集古館  
 芸術新潮 767  
 新美術新聞 1327  
 水墨画\* 296  
 UP 493 板倉聖哲  
 読売 11.14 清岡央

絵師100人展3 4.28—5.6 UDX  
 イベントスクエア  
 産経 4.27  
 産経 4.29

SUAC-ID 2013 静岡文化芸術大  
 学デザイン学部生産造形学科卒業  
 制作展 3.17—3.20 AXIS GAL-  
 LERY  
 AXIS 163 今村玲子

えっ?『授業』の展覧会 図工・美術  
 をまなび直す 9.14—10.27 う  
 らわ美術館  
 東京夕刊 10.11 藤田一人  
 読売 9.26 森田睦

江戸絵画の精華 東京富士美術館&  
 奈良県立美術館所蔵 10.12—  
 11.24 奈良県立万葉文化館  
 新美術新聞 1324

江戸時代かながわの旅—「道中記」の  
 世界— 4.27—6.23 神奈川県立  
 歴史博物館

江戸人 からだが語る大江戸の文化  
 4.9—6.16 国立科学博物館  
 新美術新聞 1308

江戸の狩野派—優美への革新  
 11.12—12.15 出光美術館  
 日経 11.27 宮川匡司  
 日経夕刊 12.5  
 毎日夕刊 12.2 岸桂子

江戸の美男子 若衆・二枚目・伊達  
 男 7.2—8.25 太田記念美術館  
 芸術新潮 765  
 水墨画\* 292

江戸・明治の旅にでかけよう—絵図  
 ・古地図で語る田中啓爾文庫の世  
 界— 2.9—3.17 品川区立品川  
 歴史館  
 産経 2.27

江戸ワールド 中村不折コレクショ  
 ン 6.28—9.25 台東区立書道博  
 物館  
 水墨画\* 291  
 朝日夕刊 7.24 宮代栄一



NAU21世紀美術連立展11回 2.6—2.18 国立新美術館

N+N展2013 アートにないないないばあ—アートの思考法— 6.27—7.7 練馬区立美術館

絵のまち尾道四季展15回 2.23—3.10 尾道市立美術館  
新美術新聞 1304

恵比寿映像祭5回 パブリックメディアアリーナ 2.8—2.24 東京都写真美術館  
読売 2.21

絵本原画の世界2013 はじめての美術 4.6—5.12 宮城県美術館(名古屋市美術館、平塚市美術館、静岡市美術館)

絵本のつくり方 ちひろ美術館コレクション 5.10—7.9 安曇野ちひろ美術館  
安曇野ちひろ美術館 美術館だより 74 柳川あずさ

絵巻でみる事件 百姓一揆絵巻/火事図巻「絵巻でみる江戸絵画博物館コレクション」 6.8—7.7 横浜市歴史博物館

絵夢コネクション2013 7.18—7.24 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1318

縁起もの一版画と絵画で楽しむ吉祥図像— 9.28—11.24 町田市立国際版画美術館  
朝日 10.17 斉藤佑介  
朝日夕刊 10.16

遠州・不昧の美意識 名物の茶道具 2.23—4.7 根津美術館  
陶説 719 西田宏子/吉岡明美

円城寺天井画修復展 開山1300年記念 12.10—12.15 岡山県天神山文化プラザ  
美術の窓 363 天舛眞諦

(オ)

老いるほど若くなる 70歳以上の公募による美術展5回—入賞・入選作品109点を展示— 3.5—4.7 松本市美術館

央展 立軌会有志小品展 2.12—2.23 ギャラリームサン  
新美術新聞 1303

近江巡礼 祈りの至宝展 滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 1.2—2.11 静岡市美術館(仙台市博物館、島根県立古代出雲歴史博物館)  
滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要 29 井上ひろ美

近江巡礼 祈りの至宝展 滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 7.12—8.25 仙台市美術館(静岡市美術館、島根県立古代出雲歴史博物館)  
毎日 7.11 井上ひろ美

近江と能—霊場・名所・物語— 9.20—10.22 彦根城博物館

大井に大仏がやってきた! 養玉院如来寺の歴史と寺宝 10.13—12.1 品川区立品川歴史館  
産経 11.14

大川美術館の軌跡 開館25年記念 10.5—12.15 大川美術館  
新美術新聞 1329

大川美術館の源流を見に行く。 4.6—6.30 大川美術館  
新美術新聞 1314

大阪城はこの姿—戦災からの復興、整備、そして未来へ— 10.5—11.24 大阪城天守閣

大阪リアリズム・コンプレックス 2013 「ガフの扉は開かれるか2」 6.10—6.22 瀧川画廊  
美術\* 453

大千住展 町の繁栄と祝祭 11.6—1.26 足立区郷土博物館  
東京 11.7 奥野斐

天津絵大図解 12.14—2.11 町田市立博物館  
新美術新聞 1333

大塚きもの・テキスタイル専門学校卒業制作展 3.22—3.24 AXIS GALLERY  
AXIS 163 今村玲子

オオハラコンテンポラリー 4.20—7.7 大原美術館  
芸術新潮 762  
美術手帖 985 福住康  
朝日夕刊 6.19  
毎日夕刊 5.14 岸桂子  
読売 4.25 井上晋治

平成25年美術展覧会(企エ、オ)

オープン・スペース2013 5.25—3.2 NTTインターコミュニケーション・センター  
芸術新潮 764  
美術手帖 991 池上高志 評

オールド大倉の世界展 9.7—11.24 岐阜県現代陶芸美術館

岡倉天心と文化財 まもり、つたえる、日本の美術 岡倉天心生誕一五〇年・没後一〇〇年記念 10.12—11.24 茨城県天心記念五浦美術館  
新美術新聞 1325

岡本太郎現代芸術賞展16回 2.9—4.7 川崎市岡本太郎美術館  
読売夕刊 3.11 (清)

沖縄が愛した青と白 Okinawa Blue & White 10.11—11.17 那覇市立壺屋焼物博物館

沖縄県立芸術大学卒業・修了作品展 24回 2.14—2.18 沖縄県立芸術大学構内  
陶説 722 外館和子

おくてん2013 奥多摩アートフェスティバル5回 9.1—9.30 奥多摩各所  
毎日 9.5 柴田朗

お宝拝見—わが社の逸品 10.11—11.23 富山県水墨美術館

小津安二郎の図像学 12.12—3.30 東京国立近代美術館フィルムセンター  
日経 12.7 古賀重樹

驚きの博物館コレクション展 時を超え・世界を駆ける好奇心 明治大学博物館・南山大学人類学博物館・名古屋市博物館合同企画 2.2—3.17 名古屋市博物館

音をつくる 川口の匠 vol.3 10.5—11.15 川口市立アートギャラリー・アトリア

鬼・オニ・ONI展 2.22—3.24 豊橋市美術館  
新美術新聞 1305

オバケとパンツとお星さま こどもが、こどもで、いられる場所 6.29—9.8 東京都現代美術館  
読売 8.2

オランダ・ハーグ派展 近代自然主

- 義絵画の成立** 7.13—8.25 山梨県立美術館(新潟県立近代美術館、ひろしま美術館、下関市美術館、郡山市立美術館、損保ジャパン東郷青児美術館)  
新美術新聞 1319
- オリエントの美術 Art of the Orient** 1.11—3.24 出光美術館(出光美術館(門司))  
芸術新潮 757  
陶説 718 岡野智彦  
日経 1.16 窪田直子  
読売 1.30
- オリンピックがやってくる 1964-2020 2020年オリンピック・パラリンピック開催都市決定記念** 9.14—10.20 江戸東京博物館  
読売 10.18 井上晋治/森田陸
- 尾張徳川家の至宝** 1.2—2.24 江戸東京博物館(九州国立博物館、北海道立近代美術館)  
美術の窓 353 徳川義崇  
東京 1.7 竹内誠/徳川義崇  
東京夕刊 1.30 徳川義崇/川瀬真人  
読売夕刊 1.19 井手千絃/町田黎子/高橋美桜
- おん祭と春日信仰の美術** 12.7—1.19 奈良国立博物館

(カ)

- 開館20周年記念コレクション展** 6.29—8.18 新潟県立近代美術館  
新美術新聞 1317
- 加賀赤絵展 魅惑の赤、きらめく金彩** 1.6—1.21 高島屋(日本橋)(高島屋(京都)、松坂屋美術館、小松市各所(小松市立博物館/小松市立本陣記念美術館/小松市立錦窯展示館/絵本館ホール19番))  
毎日夕刊 1.24 渡辺亮一
- 画家たちの富士山—明治・大正・昭和を彩る画家たちの名作を一堂に— 世界文化遺産登録記念特別展** 9.11—10.5 星野画廊  
新美術新聞 1322
- 画家とパレット 近代の巨匠たち** 4.18—5.26 天童市美術館

- 国宝燕子花図屏風〈琳派〉の競演** 4.20—5.19 根津美術館  
産経 4.25 黒沢綾子
- 歌仙—王朝歌人への憧れ—** 9.28—11.4 徳川美術館
- カソケキ+チカラ** 8.24—12.15 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA  
芸術新潮 770
- 形物香合番付の世界 茶人のあそび心 野村美術館開館30周年記念** 3.2—4.14 野村美術館(愛知県陶磁資料館)
- 仮名手本忠臣蔵の世界 史上最強のエンターテインメント** 12.13—12.21 ぎゃらりい秋華洞  
読売夕刊 12.2
- 金谷アートクロッシング** 4.13—6.30 金谷美術館  
ギャラリー\* 338  
新美術新聞 1312
- 金谷美術館 ART FILE—コレクションを未来に届ける—** 10.20—1.26 金谷美術館  
新美術新聞 1331
- 狩野栄川院と徳島藩の画人たち** 10.19—11.24 徳島市立徳島城博物館
- 狩野一信 幕末の鬼才 大本山増上寺秘蔵五百羅漢** 10.10—12.8 山口県立美術館
- 狩野山楽・山雪** 3.30—5.12 京都国立博物館  
芸術新潮 760 橋本麻里  
新美術新聞 1308  
新美術新聞 1313 島尾新  
美術研究 412 鈴木廣之  
日経 4.3 宮川匡司  
毎日夕刊 4.10 岸桂子  
読売 4.18 木村未来
- 狩野派以外も大賑わい** 2.23—3.24 板橋区立美術館  
産経 2.27
- 狩野派 SAIKO! ~再興! 最高! 再考? 狩野派再点検~** 8.31—9.29 板橋区立美術館  
朝日夕刊 9.11 塩見圭  
産経 8.30
- 歌舞伎 江戸の芝居小屋** 2.6—

- 3.31 サントリー美術館  
芸術新潮 760  
新美術新聞 1303  
日経 2.20 宮川匡司  
読売夕刊 2.18  
読売夕刊 3.16 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班
- 歌舞伎木版画 歌舞伎座新開場記念** 4.1—4.7 靖山画廊  
読売 4.2
- 鎌倉時代の馬と道—畠山重忠と三浦一族—** 4.27—6.9 馬の博物館
- 神さま仏さまの復興 被災文化財の修復と継承 東日本大震災復興祈念特別展** 11.16—1.13 東北歴史博物館
- カミとホトケの交渉史—廃仏毀釈の爪跡—** 11.10—12.8 飯田市美術館
- 蒲生郡の風土と遺宝** 2.23—4.7 滋賀県立安土城考古博物館
- カラーハンティング展 色からはじめるデザイン** 6.21—10.6 21\_21 DEGSIN SIGHT  
美術手帖 991 高橋美礼  
産経 8.1  
毎日夕刊 7.17 永田晶子
- カリフォルニア・デザイン1930—1965 —モダン・リビングの起源—** 3.20—6.3 国立新美術館  
朝日夕刊 4.3 西岡一正  
毎日 6.1 明珍美紀  
読売 5.23 生井英考
- 華麗なるインド—インドの細密画と染織の美—畠中光享コレクション** 4.13—6.23 三鷹市美術ギャラリー(新潟市新津美術館)  
芸術新潮 762  
新美術新聞 1310  
読売 5.19 富田智子  
読売 5.22 富田智子  
読売 5.23 富田智子
- ガレリア・グラフィカ コレクション展 No.21** 11.18—12.7 ガレリア・グラフィカ
- かわいい江戸絵画** 3.9—5.6 府中市美術館  
芸術新潮 761

朝日夕刊 3.27 松崎聖子  
 日経 3.20 宝玉正彦  
**カワサキ・ドキュメント** 4.6—  
 6.30 川崎市市民ミュージアム  
 読売 6.20 高野清見  
**川端康成コレクションと東山魁夷**  
 9.22—11.4 宇都宮美術館  
 産経 9.19 黒沢綾子  
**瓦・造形展18回** 10.17—10.28  
 国立新美術館  
**変わり兜×刀装具 戦国アバンギャ  
 ルドとその昇華** 11.2—12.8 大  
 阪歴史博物館(佐野美術館)  
**観光地鎌倉と鎌倉彫—近代鎌倉のガ  
 イドブック** 2.16—3.24 神奈川  
 県立歴史博物館  
 新美術新聞 1304 角田拓朗  
**漢字がCOOL!?—変容する文字デ  
 ザイン—** 4.20—6.30 町田市民  
 文学館  
 朝日夕刊 6.12 中村和歌葉  
**観(かん)じる民藝—尾久彰三コレク  
 ション—** 10.5—12.1 ふくやま  
 美術館(そごう美術館、出雲文化  
 伝承館/出雲市立平田本陣記念館、  
 花巻市博物館)  
 目の眼 446 茂木健一郎  
**関西学院の美術家～しられざる神戸  
 モダニズム～** 7.20—10.6 神戸  
 市立小磯記念美術館  
 神戸市立小磯記念美術館だより  
 38 金井紀子  
**館蔵浮世絵に見るさくらいろいろ**  
 1.26—3.10 たばこと塩の博物館  
 新美術新聞 1302  
 産経 3.4  
**館蔵漆器展—根来と漆絵—** 4.27—  
 8.4 石洞美術館  
 目の眼 441 秋間敬代  
 (キ)  
**紀伊国樟田荘と文覚井—水とともに  
 生き、水を求めて闘う—** 10.26  
 —12.1 和歌山県立博物館  
**記憶写真展—お父さんの撮った写真、  
 面白いものが写ってますね** 2.16  
 —3.24 目黒区美術館  
 朝日夕刊 3.6 大西若人  
**祇園祭と八坂神社** 7.13—9.16 北

九州市立小倉城庭園  
**きかんしゃトーマスとなかまたち  
 絵本原画展** 7.20—8.12 美術館  
 「えき」KYOTO  
 毎日夕刊 7.26 広瀬登  
**企業コラボアート東京2013** 10.25  
 —11.4 原宿、青山、代官山各所  
 美術の窓 362  
**菊池ビエンナーレ展5回 現代陶  
 芸の(今)** 6.8—9.1 菊池寛実記  
 念智美術館  
 新美術新聞 1314  
**奇跡のクラーク・コレクション ル  
 ノワールとフランス絵画の傑作**  
 2.9—5.26 三菱一号館美術館(兵  
 庫県立美術館)  
 ギャラリー\* 334  
 新美術新聞 1304  
 美術の窓 353 後藤夕紀子  
 朝日夕刊 4.17 塩見圭  
 日経 2.27 窪田直子  
 読売夕刊 2.4 安藤忠雄  
 読売夕刊 2.25 高橋明也/村治  
 佳織  
**北加賀クッシング2013 MOBILIS  
 IN MOBILI—交錯する現在—**  
 10.4—10.25 コーポ北加賀(問屋  
 まちスタジオ)  
 美術手帖 997 島貫泰介  
**来た、見た、クマモト! CAMK  
 コレクション vol.4** 5.29—6.23  
 熊本市現代美術館  
 新美術新聞 1314  
 デアルテ 30 富澤治子  
**基の会20回** 8.6—8.11 埼玉県立  
 近代美術館  
 新美術新聞 1319  
**木の造形100選 開館30周年記念**  
 1.22—4.7 北海道立旭川美術館  
 新美術新聞 1307  
**吉備と邪馬台国—靈威の継承—**  
 10.22—12.23 大阪府立弥生文化  
 博物館  
**貴婦人と一角獣展 フランス国立ク  
 リュニー中世美術館所蔵** 4.24—  
 7.15 国立新美術館(国立国際美  
 術館)  
 美術の窓 353 南雄介  
 目の眼 440

平成25年美術展覧会(企カ、キ)

朝日夕刊 4.23 星野知子  
 日経 6.12 窪田直子  
 毎日夕刊 5.8 高階秀爾  
 読売 6.27 井上晋治  
**Kimono Beauty—シックでモダンな  
 装いの美 江戸から昭和—** 1.4  
 —2.11 千葉市美術館(福岡市博  
 物館、奈良県立美術館、島根県立  
 石見美術館、群馬県立近代美術館)  
 新美術新聞 1301  
 日経夕刊 1.10  
 読売 2.1  
**救出された絵画たち 陸前高田市立  
 博物館コレクションから** 2.2—  
 4.14 岩手県立美術館  
**驚異の部屋 京都大学ヴァージョン**  
 11.1—5.25 インターメディアテ  
 ク(IMF)(京都大学総合博物館)  
 Ouroboros 49 松原始  
**京芸 Transmit Program #04  
 KYOTO STUDIO** 4.13—5.19  
 京都市立芸術大学ギャラリー@  
 KCUA  
 美術の窓 357 徳山拓一  
**京都 洛中洛外図と障壁画の美**  
 10.8—12.1 東京国立博物館  
 新美術新聞 1328 島尾新  
 新美術新聞 1329  
 産経 11.21  
 読売 10.28  
 読売 11.14 清岡央  
 読売夕刊 10.19  
**京都グラフィー 国際写真フェス  
 テイバル** 4.13—5.6 京都文化博  
 物館別館他  
 美術手帖 985 編集部  
**京都造形芸術大学卒業展2012 大  
 学院修了展** 2.23—3.3 京都造  
 形芸術大学内  
 瓜生通信 58  
**PAT in Kyoto 京都版画トリエン  
 ナーレ2013** 2.23—3.24 京都市  
 美術館  
 ギャラリー\* 334  
 版画芸術 159  
 日経 3.16  
**京焼200年の系譜展** 1.5—3.16  
 敦井美術館  
 新美術新聞 1303

極限芸術～死刑囚の表現～ 4.20—  
7.21 納の津ミュージアム  
美術手帖 989 福住廉 評  
巨大城郭 名古屋城 10.12—11.24  
名古屋城天守閣  
きらめく日本画—大観・栖鳳から現  
代まで 6.8—8.4 岡崎市美術博  
物館  
新美術新聞 1314  
金閣・銀閣の寺宝 雪舟、等伯、宗  
達、そして若冲 1.12—3.10 石  
橋美術館別館/有馬記念館  
新美術新聞 1301  
近世教育者の肖像 11.4—12.13  
玉川大学教育博物館  
近代日本の花鳥画展 折節の花の薫  
り、鳥の囀り。 10.26—12.15  
講談社野間記念館  
読売夕刊 11.26 豊田和平  
近代洋画にみる夢 河野保雄コレク  
ションの全貌 5.25—6.30 府中  
市美術館(福島県立美術館)  
金の卵 オールスターデザインショ  
ーケース8回 8.29—9.8 AXIS  
GALLERY  
AXIS 166 高橋美礼  
きんぴアート発見学 つくる&みる  
ことの交流展 2.9—3.24 徳島  
県立近代美術館

(ク)

空想の建築 ピラネージから野又穫  
へ 4.13—6.16 町田市立国際版  
画美術館  
芸術新潮 763  
朝日夕刊 5.22 大西若人  
読売 5.16 高野清見  
The Collection 具体躍進 1.5—  
2.17 芦屋市立美術博物館  
新美術新聞 1302  
口で描いた世界 10.17—10.20 デ  
ザインフェスタギャラリー原宿  
毎日 10.18 山本浩資  
口と足で表現する世界の芸術家たち  
9.14—9.16 東京タワー(三菱電  
機ビルテクノサービス株式会社  
(荒川区、小平市)、サンピアザ、  
青森県立美術館、高崎市役所、起  
雲閣、ナディアパーク、サンポー

ト高松、広島市まちづくり市民交  
流プラザ)  
読売 9.13  
Kurasawa コレクション展—故郷へ  
の想い、そして恩返しに 6.15—  
8.25 東御市梅野記念絵画館  
新美術新聞 1319  
「暮らしと美術と高島屋」展 4.20—  
6.23 世田谷美術館(高島屋(大阪、  
京都))  
ギャラリー\* 337  
芸術新潮 761  
芸術新潮 762  
新美術新聞 1313  
朝日夕刊 5.1 中村和歌菜  
朝日夕刊 6.12 大西若人  
産経 5.30  
東京 4.20 小形佳奈  
東京夕刊 5.7 三沢丈典  
日経 4.19  
毎日夕刊 5.22 岸桂子  
読売 5.23 高野清見  
読売 6.13  
X'mas Art Gift 展 12.10—12.15  
アートラボ・ノクト  
新美術新聞 1331  
クローズアップエ芸 9.14—12.8  
東京国立近代美術館工芸館

(ケ)

溪山清遠 Pure Views 中国現代  
アート・伝統からの再出発 1.2  
—2.24 福岡アジア美術館  
芸術会館ラストコレクション展—芸  
術会館を飾った名作・名品—  
11.6—1.26 大分県立芸術会館  
デアルテ 30 吉田浩太郎  
デアルテ 30 田中修二  
煙に寄せたメッセージ～版画・たば  
このある風景～ 3.20—5.12 た  
ばこと塩の博物館  
朝日夕刊 4.3 中村さやか  
読売夕刊 4.9 谷田有史  
Gen 2013 —タピスルカイガー—  
8.29—9.1 名古屋市市政資料館  
(京都市立京都堀川音楽高校堀川  
御池ギャラリー)  
新美術新聞 1321  
源氏絵と伊勢絵 描かれた恋物語

4.6—5.19 出光美術館  
毎日夕刊 5.1 岸桂子  
検証・二枚の西肖像 美は甦る—高  
橋由一から松本竣介まで 1.26—  
3.24 神奈川県立近代美術館(葉  
山)  
芸術新潮 760  
新美術新聞 1303  
読売 3.21 井上晋治  
現代作家美術展17回 4.9—4.21  
秋野不矩美術館  
新美術新聞 1309  
現代茶陶展6回 4.13—4.21 セ  
ラトピア土岐  
陶説 723 井上隆生  
《幻代の怪画》展 12.9—12.14 ギ  
ャラリー暁  
ギャラリー\* 346 ワシオ・トシ  
ヒコ  
現代の具象絵画展 それぞれの未来  
12.30—1.14 阪急(梅田)  
美術\* 460 編集部  
現代の書のあゆみ 東京都美術館コ  
レクションによる 1.4—1.16  
東京都美術館  
現代のプロダクト・デザイン—  
Made in Japan を生む 11.1—  
1.13 東京国立近代美術館  
現代の名碗 一川喜田半泥子、加藤  
唐九郎、金重素山、三輪壽雪、  
岡部嶺男、鈴木藏、樂吉左衛門か  
ら若手作家まで 9.14—1.5 菊  
池寛実記念智美術館  
REAR 31 井上隆生  
日経 11.19 窪田直子  
毎日夕刊 9.25 岸桂子  
読売 9.19  
現代美術はフジタから始まった？  
4.13—12.1 梶井沢現代美術館  
ギャラリー\* 340 谷川憲正  
現代洋画サミット11展 2013 5.8  
—5.14 三越(日本橋)(三越伊勢  
丹(大阪)、三越(名古屋))  
美術の窓 356 編集部  
建築資料に見る東京オリンピック  
1964年国立代々木競技場から  
2020年新国立競技場へ 5.8—  
6.14 国立近現代建築資料館  
朝日夕刊 5.15

原爆・平和・戦争を考える展示会

8.7—8.9 足立区役所  
東京夕刊 8.7 奥野斐

(コ)

光悦 桃山の古典〔クラシック〕

10.26—12.1 五島美術館  
陶説 728 砂澤祐子  
目の眼 446  
読売 11.7 前田恭二

黄河と泰山展—中華文明の源と世界

遺産— 6.29—8.25 山口県立萩  
美術館・浦上記念館(和歌山県立  
博物館)  
目の眼 443

工芸から KŌGEI へ 日本伝統工芸

展60回記念 12.21—2.23 東京  
国立近代美術館工芸館  
新美術新聞 1333  
陶説 729 唐澤昌宏

高校生国際美術展14回 6.26—7.7

国立新美術館

考古学からみた推古朝—推古二十一

年 難波～飛鳥間大道設置—四〇  
〇年にちなんで— 10.5—12.8  
大阪府立近つ飛鳥博物館

交差する表現 工芸／デザイン／総

合芸術 開館50周年記念特別展  
3.16—5.6 京都国立近代美術館  
新美術新聞 1307 山野英嗣  
読売 4.18 木村未来

皇室の名品 近代日本美術の粋

11.9—1.13 京都国立近代美術館  
ギャラリー\* 343  
新美術新聞 1331 小倉実子  
日経 11.17  
日経 12.7 田村広済

幸之助と伝統工芸 開館10周年記

念特別展 4.13—8.25 汐留ミュ  
ージアム  
ギャラリー\* 336  
目の眼 439  
日経夕刊 6.6  
毎日夕刊 6.10 岸桂子  
読売 8.1 井上晋治

国宝「紅白梅図屏風」と所蔵琳派展

2.1—3.20 MOA美術館  
新美術新聞 1302

国宝 興福寺仏頭展 興福寺創建

1300年記念 9.3—11.24 東京

芸術大学大学美術館  
新美術新聞 1321  
美術手帖 995 藤田千彩  
朝日夕刊 11.6 西岡一正  
日経 1.3  
日経 8.18  
日経 9.15  
日経 11.17  
日経夕刊 10.3  
日経夕刊 10.10 中沢義則

神戸ビエンナーレ2013 港で出合

う芸術祭 10.1—12.1 メリケン  
パーク・神戸港エリア／兵庫県立  
美術館・ミュージアムロードエリ  
アほか

AXIS 167 暮沢剛巳

美術手帖 994

荒野ノヒカリ 愛岐トンネル・郡ア

ートプロジェクト2013 9.7—  
10.27 愛岐トンネル群廃線とト  
ンネル群

REAR 31 都築正敏

読売 9.19 井上晋治

国際ガラス展・金沢2013 10.23—

11.4 しいのき迎賓館／金沢21世  
紀美術館(石川県能登ガラス美術  
館)

新美術新聞 1326 武田厚

国際グループ展 art and collective

intelligence 7.6—9.29 山口情  
報芸術センター

美術手帖 995 榎木野衣

国際高校生選抜書展21回 1.29—

2.3 大阪市立美術館  
毎日 1.28 関雄輔

極楽へのいざない—練り供養をめぐ

る美術— 11.1—12.8 岡山県立  
美術館(龍谷大学 龍谷ミュージ  
アム)

目の眼 447

ここに、建築は、可能か 第13回

ヴェネチア・ビエンナーレ国際建  
築展 日本館帰国展 1.18—3.23  
TOTO ギャラリー・間

芸術新潮 761

美術手帖 984 榎木野衣

朝日夕刊 2.27 大西若人

東京夕刊 2.5 三沢典丈

平成25年美術展覧会(企ケ、コ)

毎日夕刊 2.21 手塚さや香

「心がカタチをもつとき」～文部科学  
省におけるアール・ブリュット作  
品展～ 10.2—11.14 文部科学  
省情報ひろば展示室文化コーナー  
美術の窓 362 編集部

心の美「富士山」を描く名画 近代の

日本画・洋画・版画にみる

12.27—1.13 三越(日本橋)

新美術新聞 1332

読売 12.26 山川静夫

古三田焼と九谷焼～色絵陶磁の交流

～ 11.2—2.9 石川県九谷焼美  
術館

陶説 728 蔵本敬大

南木コレクションシリーズ13回

古写真にみるなにわの行事・祭礼

3.20—5.6 大阪城天守閣

五星山展 文化勲章受章画伯による

心の復興支援 10.12—11.17 二

本松市大山忠作美術館

新美術新聞 1325

五線譜に描いた夢 日本近代音楽の

150年 10.11—12.23 東京オペ  
ラシティアートギャラリー

芸術新潮 767

朝日夕刊 12.4 塩田麻衣子

毎日夕刊 12.16 岸桂子

子育てと美術 9.9—9.14 藍画廊

古染付と祥瑞 日本人の愛した〈青〉

の茶陶 5.25—6.30 出光美術館

芸術新潮 763

陶説 722 金沢陽

産経 5.25

古代ガラス 色彩の饗宴 3.9—6.9

MIHO MUSEUM(岡山市立オリエン  
ト美術館)

ギャラリー\* 335

新美術新聞 1307

古代のみち—常陸を通る東海道駅路

— 3.16—5.6 上高津貝塚ふる  
さと歴史の広場

古代の楽園—神話、来世、桃源郷…

— 10.5—12.8 古代オリエント  
博物館

目の眼 447

古代東アジアの漆芸 4.3—6.3 天

理大学附属天理参考館

古武雄 江戸のモダニズム まぼろ

平成25年美術展覧会(企コ〜シ)

- しの九州のやきもの 3.19—5.26  
九州国立博物館(佐賀県立九州陶磁文化館)  
陶説 721 遠藤啓介
- 個の原点4回 2.6—2.12 高島屋  
(日本橋)(高島屋(大阪、名古屋))
- 個の地平7回 8.28—9.3 高島屋  
(日本橋)(高島屋(大阪、京都、名古屋))  
新美術新聞 1320 宝木範義  
美術の窓 360 編集部
- 小林一三と松永安左エ門 茶の湯交遊録 逸翁と耳庵の名品コレクション 10.5—11.17 逸翁美術館(福岡市美術館)
- コレクションでたどる愛知のやきもの—学芸員の眼と、想い— 4.20—7.28 愛知県陶磁美術館  
陶説 724 小川裕紀/神崎かず子/森達也/仲野泰裕/塚原薫/堀真子/佐藤一信/長久智子/大長智広/田村哲
- コレクションの全貌 開館30周年 1.4—3.24 三重県立美術館  
新美術新聞 1302
- コレクション万華鏡 西洋名画から無名画家の発見まで—美術館活動40年の成果 4.20—6.16 栃木県立美術館  
読売 5.16 木村未来/井上晋治
- コレクター鈴木常司 美へのまなざし 第Ⅲ期杉山寧とポーラ美術館の絵画 ポーラ美術館開館10周年記念 3.1—7.7 ポーラ美術館  
ギャラリー\* 335
- 金銅仏展—古往今来— 10.10—10.19 赤坂游ギャラリー  
新美術新聞 1325
- 今日の墨表現展〜24名の作家による〜 5.10—6.23 佐藤美術館  
芸術新潮 763

(サ)

- 災害記録を読む 11.17—1.20 西尾市岩瀬文庫
- 斎宮誕生 10.5—11.10 斎宮歴史博物館
- 埼玉ゆかりの芸術家〜郷土の表現者

- たちの心の旅〜 4.13—9.1 サトエ記念21世紀美術館  
新美術新聞 1319
- サイト—場所の記憶、場所のカラー—  
アート・アーチ・ひろしま2013 7.20—10.14 広島市現代美術館  
ギャラリー\* 339
- 国立新美術館ニュース 28 宮島綾子  
美術の窓 360  
朝日夕刊 9.25  
読売 8.29 木村未来
- 齋藤滄洲と文人の交遊 九十九里浜の網主文化 10.1—10.26 城西国際大学水田美術館
- サイネーション 10.4—10.19  
MATSUO MEGUMI+VOICE GAL-LERY pfs/w  
陶説 729 小吹隆文
- 再発見!大阪の至宝 コレクターたちが愛したたからもの 10.29—12.8 大阪市立美術館  
新美術新聞 1329
- 祭礼絵巻にみる日本のこころ 7.13—7.27 国学院大学博物館(紀伊國屋書店札幌本店、国学院大学北海道短期大学部、新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」多目的スペース、松本市時計博物館)  
東京 7.11 小形佳奈
- 佐賀県立美術館コレクション 開館30周年記念 4.5—3.30 佐賀県立博物館・美術館  
デアルテ 30 岩永亜季
- 佐賀のまぼろしの流派 生花・去風流 最後の家元・松旭堂露山 去風流19世家元松旭堂露山資料寄贈記念 5.20—7.20 徴古館
- 桜の饗宴 vol.5 3.6—6.9 郷さくら美術館  
芸術新潮 761
- THE・女流展 vol.2 2.13—2.18 三越(日本橋)  
新美術新聞 1302 本江邦夫  
美術の窓 353 編集部
- サッポロ未来展12回 6.26—7.21 ノボシビルスク市立芸術センター(札幌時計台ギャラリー)  
美術の窓 361 磯部靖

- 郷さくら美術館桜花賞展1回 3.6—6.9 郷さくら美術館  
芸術新潮 761  
美術\* 451 金子美樹  
美術\* 451 中島千波  
美術\* 451 林潤一
- サマザマナワザ 夏休み企画(入門) アートの疑問 7.23—9.1 都城市立美術館  
デアルテ 30 祝道眞澄
- SAYONARA 国立競技場展 8.6—5.6 秩父宮記念スポーツ博物館  
毎日夕刊 12.24 山本浩資
- 3331アンデパンダン・スカラシップ展 vol.3 1.26—2.17 アーツ千代田3331  
朝日夕刊 2.13 大西若人
- サンダーバード博 世紀の特撮が描くボクらの未来 7.10—9.23 日本科学未来館  
毎日 8.13
- 「賛美小舎」—上田コレクション 横浜美術館コレクション展2013年度第1期 4.13—6.16 横浜美術館  
読売 5.16 高野清見

(シ)

- CSP1—Amplitude 場への働きかけ— 11.29—12.8 桑沢デザイン研究所  
ギャラリー\* 344
- CWAJ 現代版画展58回 10.10—10.12 東京アメリカンクラブ(神戸外国倶楽部)  
版画芸術 161
- シェル美術賞展2013 12.11—12.23 国立新美術館
- と□ 11.2—12.8 アキバタマビ21  
新美術新聞 1327
- しかけ絵本I 技法の歴史 開く、覗く、聞く、動く絵本 9.17—12.7 武蔵野美術大学美術館・図書館(図書館)
- 色彩のパレード—明治から平成まで180点—(婦人之友表紙と子供之友)原画展 5.21—5.26 自由学園明日館

日経 5.15  
**時空を超えた東西の技 モザイク美の世界 ヴェネツィアン・グラス**  
 と里帰りした箱根寄木細工 4.20—11.24 箱根ガラスの森美術館  
 新美術新聞 1311  
**時代の美 五島美術館・大東急記念文庫の精華 第4部 中国・朝鮮編** 2.23—3.31 五島美術館  
 毎日夕刊 3.21 桐山正寿  
**時代を作った技—中世の生産革命—**  
 7.2—9.1 国立歴史民俗博物館(広島県立歴史博物館)  
 目の眼 444 村木二郎  
 毎日夕刊 8.1 伊藤和史  
**漆芸の未来を拓く 生新の時2013**  
 5.31—7.15 石川県輪島漆芸美術館  
**実験工房 戦後芸術を切り拓く 現代への扉** 1.12—3.24 神奈川県立近代美術館(鎌倉/鎌倉別館)(いわき市立美術館、富山県立近代美術館、北九州市立美術館分館、世田谷美術館)  
 ギャラリー\* 333  
 新美術新聞 1303  
 美術手帖 980 沢山遼  
 朝日夕刊 1.28 鈴木繁  
 朝日夕刊 2.13 西岡一正  
 毎日夕刊 2.6 三田晴夫  
 読売 2.28  
**実験工房 戦後芸術を切り拓く 現代への扉** 7.13—9.8 富山県立近代美術館(神奈川県立近代美術館(鎌倉/鎌倉別館)、いわき市立美術館、北九州市立美術館分館、世田谷美術館)  
 読売 8.16 高野清見  
**実験工房 戦後芸術を切り拓く 現代への扉** 11.23—1.26 世田谷美術館(神奈川県立近代美術館(鎌倉/鎌倉別館)、いわき市立美術館、富山県立近代美術館、北九州市立美術館分館)  
 新美術新聞 1329  
 東京夕刊 12.20 中村英樹  
 読売 12.10 矢野進  
 読売 12.13 石井幸彦  
 読売 12.14 石井幸彦

**市電が走っていた街—開業から廃止まで—** 10.19—12.1 和歌山市立博物館  
**市展・京展物語—みんなここから羽ばたいた— 京都市美術館開館80周年記念展** 6.14—8.18 京都市美術館  
 京都市美術館ニュース 206 尾崎真人  
 新美術新聞 1315 尾崎真人  
**しのぎをけづり、鐔をわり—近江の城、信長とかく戦えり—** 4.20—6.16 滋賀県立安土城考古博物館  
**芝川照吉コレクション展 青木繁・岸田劉生らを支えたコレクター**  
 5.18—6.30 京都国立近代美術館  
**シブカル祭。2013—フレフレ! 全力女子! 渋谷パルコ40周年記念—** 10.18—10.28 ハルコム・ミュージアム/ロゴスギャラリー/公園通り広場/スペイン坂広場/渋谷パルコ館内外/クラブクアトロ/シネクイント/CUTUP STUDIO  
 美術手帖 995 飯前知子  
**渋谷・公園通り たばこと塩の博物館物語 35年の感謝をこめて**  
 7.27—9.1 たばこと塩の博物館  
 芸術新潮 765  
**渋谷リアリズム・コンプレックス 2013「BOYS AND GIRLS +」**  
 11.21—11.27 東急(渋谷)美術\* 459 編集部  
**至宝の日本画 箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵** 10.29—11.11 川口総合文化センター・リア  
 新美術新聞 1326  
**「shide CONTACT 2013」 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科 2012年度卒業制作選抜展** 2.28—3.4 AXIS GALLERY/SYMPO-SIA  
 AXIS 163 今村玲子  
**シャキッ! 果物をどうぞ—牧野富太郎の植物画コレクションより—**  
 9.14—11.4 練馬区立牧野記念庭園記念館  
 読売夕刊 10.8 田中純子  
**若沖が来てくれました プライスコ**

**レクシオン江戸絵画の美と生命**  
 3.1—5.6 仙台市博物館(岩手県立博物館、福島県立博物館)  
 新美術新聞 1306  
 美術屋・百兵衛 25  
 日経 2.17  
 日経 3.17  
 日経 4.21  
 読売 3.14 井上晋治  
**若沖が来てくれました プライスコ レクシオン江戸絵画の美と生命**  
 5.18—7.15 岩手県立美術館(仙台市博物館、福島県立美術館)  
 日経 5.19  
**若沖が来てくれました プライスコ レクシオン江戸絵画の美と生命**  
 7.27—9.23 福島県立美術館(岩手県立美術館、仙台市博物館)  
 日経 8.14 宮川匡司  
**写真のエステ 五つのエレメント**  
**平成25年度東京都写真美術館コレクション展** 5.11—7.7 東京都写真美術館  
 朝日夕刊 6.26 大西若人  
**写真のエステ 写真作品のつくりかた** 平成25年度東京都写真美術館コレクション展 7.13—9.16 東京都写真美術館  
**写真のエステ コスモス—写された自然の形象** 平成25年度東京都写真美術館コレクション展 9.21—11.17 東京都写真美術館  
**ジャパン・ビューティー 描かれた日本人 知られざるプライベートコレクション** 10.19—12.8 川越市立美術館(ニューオータニ美術館)  
 朝日夕刊 11.6 岡山朋代  
**上海博物館 中国絵画の至宝 東洋館リニューアルオープン記念** 10.1—11.24 東京国立博物館  
 読売 11.15 前田恭二  
**周縁からのフィールドワーク** 1.18—2.2 ギャラリー・オーブ  
 瓜生通信 58 河原功也  
**国宝 十二天像と密教法会の世界**  
 1.8—2.11 京都国立博物館  
**重箱・弁当箱の世界 ごちそうワンダーランド** 9.28—11.24 石川

県輪島漆芸美術館  
**朱漆「根来」 中世に咲いた華** 9.1—12.15 MIHO MUSEUM  
 ギャラリー\* 341  
 芸術新潮 768  
 目の眼 445 黒澤和子  
 目の眼 446 白洲信哉  
**首都大学東京システムデザイン学部 インダストリアルアートコース 卒業・修士制作展** 2.8—2.10  
 AXIS GALLERY/SYMPOSIA  
 AXIS 163 今村玲子  
**正倉院展65回** 10.26—11.11 奈良国立博物館  
 読売 8.9  
 読売 10.25 湯川大輔  
 読売 10.26  
 読売 11.6 森安孝夫  
 読売夕刊 10.26  
 読売夕刊 11.29  
**象の内・外 2013** 10.31—11.6  
 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1326  
**湘の会 vol.2** 6.17—6.22 アートスペース羅針盤  
**しょうぶ学園展「細胞の記憶 表現のかたち」** 9.26—10.12 ギャラリー・オーブ  
 瓜生通信 60  
**縄文国際コンテンポラリーアート in ふなばし2013 サワディー!**  
**縄文 タイ古代と先史飛ノ台** 7.21—9.8 船橋市飛ノ台史跡公園博物館  
**縄文の美 土器の文様と飾り** 4.13—6.16 富士市立博物館  
**昭和会展48回** 2.1—2.15 日動画廊  
 美術\* 451 辻本健輝、松村謙三、山本貞、南寛宏、長谷川智恵子  
 ホスト  
 美術\* 452 松村謙三、中山忠彦、南寛宏、長谷川智恵子  
 ホスト  
 美術\* 453 松村謙三、中山忠彦、南寛宏、長谷川智恵子  
 ホスト  
 美術\* 455 松村謙三、奥谷博、南寛宏、長谷川徳七  
 ホスト  
**昭和のおもかけ 暮らしのなかの風景** 4.27—6.16 栃木県立博物館

**昭和モダン 絵画と文学1926—1936** 11.2—12.29 兵庫県立美術館  
 日経夕刊 12.17 田村広済  
**助手展2013 武蔵野美術大学助手研究発表** 11.25—12.21 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)  
**書聖・王羲之** 1.22—3.3 東京国立博物館  
 新美術新聞 1301 富田淳  
 新美術新聞 1303 星弘道  
 日経 1.30 宮川匡司  
 毎日 1.28 河田悌一  
 毎日夕刊 4.4 桐山正寿  
**女流陶芸47回** 11.21—11.27 京都市美術館  
 陶説 731 森孝一  
**シリア古代パルミラの人々 シルクロードの隊商都市に生きる** 6.29—7.28 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館  
 読売 7.10 早川保夫  
**新具象彫刻展を出発点とした東京造形大学の出身者たち** 11.4—12.7 東京造形大学附属美術館  
 ギャラリー\* 343  
**信仰と美術 I〜物語〜菅原道真没後1111年小企画展：第1展示室〜** 2.9—4.1 海の見える杜美術館  
 新美術新聞 1304  
**新作名刀展 平成二十五年** 6.29—7.18 刀剣博物館(致道博物館、川越市立博物館)  
 刀剣美術 678 松葉一路  
 刀剣美術 678 加藤政也  
 刀剣美術 678 宮下輝  
**新時代の「やきもの」への挑戦! あれもやきもの これもやきもの陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス20年のあゆみ** 6.18—9.23 滋賀県立陶芸の森陶芸館  
 ギャラリー\* 338  
 陶説 727 小吹隆文  
**新収蔵資料展** 6.15—7.28 白根記念渋谷区郷土博物館・文学館  
 毎日 6.30  
**新宿クリエイターズ・フェスタ 2013〜この夏、アートと恋をする〜** 8.23—9.8 新宿区

毎日 8.11 山本浩資  
**新宿写実画壇展3回** 9.23—9.29  
 ギャラリー絵夢  
 新美術新聞 1323  
**新春現代作家小品展21回** 1.16—1.26 千駄木画廊  
 新美術新聞 1300  
**新春点描** 11.22—1.5 ハラミュージアムアーク  
 水墨画\* 297  
**新春の国宝那智瀧園 仏教説話の名品とともに** 1.9—2.11 根津美術館  
 新美術新聞 1301  
**進水式絵葉書にみる船の変遷** 7.12—10.26 神戸大学海事博物館  
**新耽奇会 奇想天外コレクション** 10.15—11.30 早稲田大学演劇博物館  
 芸術新潮 769  
 朝日夕刊 11.20 増田愛子  
**新陶彫名古屋展10回** 3.26—3.31 愛知県美術館  
 陶説 723 井上隆生  
**ShinPA!!!!!! 7回 2013** 2.16—5.12 おぶせミュージアム・中島千波館(佐藤美術館)  
**人物画名品 肖像画・風俗画・美人画** 4.5—5.12 大和文華館  
 新美術新聞 1310  
**新耀展11回** 6.16—6.22 東京交通会館  
 美術の窓 359 編集部  
**新リアリズム宣言展2回** 1.16—2.1 新生堂  
 新美術新聞 1301  
**新 私の代表作展 ホキ美術館3周年記念** 11.15—5.18 ホキ美術館  
 ギャラリー\* 343

(ス)

**水彩画みづゑの魅力 明治から現代まで** 4.20—6.16 平塚市美術館  
 朝日夕刊 5.15 大西若人  
**スウェーデンと日本のシボリ展 PLENITUDE 一萌芽 HOUGA—** 10.4—10.20 スウェーデン大使館



毎日 10.18 明珍美紀  
**すくいとられたカタチ FORMS IN FLUX** ポストン美術館芸術大学 ×愛知県立芸術大学 1.12—5.6 名古屋ポストン美術館  
**救いへの祈り** 2.15—4.21 神奈川 県立金沢文庫  
**STAR DUST 都美セレクション** グループ展公募01回 2.15—2.21 東京都美術館 新美術新聞 1303  
**すどう美術館コレクション展** 1.26—2.16 すどう美術館 新美術新聞 1302  
**SNIFF OUT 2013** 7.20—7.21 インテックス大阪 五号館 美術手帖 989 岡澤浩太郎  
**スヌーピー×日本の匠** 4.17—5.6 松屋(銀座)(阪急うめだギャラリー、松坂屋美術館、三越(広島)、愛媛県美術館、みやぎきアートセンター、金沢21世紀美術館、三越(福岡)、大阪南港 ATC) 毎日 5.2 明珍美紀  
**洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた目と精神** 11.2—12.23 宮城県 美術館(愛媛県美術館/町立久万美術館、新潟市美術館) 新美術新聞 1331 美術手帖 999 小金沢智  
**墨色の輝き 富山県水墨美術館名品展** 1.22—3.10 碧南市藤井達吉 現代美術館  
**墨絵展35回** 9.10—9.20 好文画 廊 水墨画\* 296 稲垣三郎  
**住友グループ秘蔵名画展 一花一** 3.2—5.12 泉屋博古館分館(泉屋 博古館) 新美術新聞 1305 美術の窓 353 川口直宜 産経 4.14  
(セ)  
**せいか会展52回 草月流いけ花と 絵画** 11.2—11.5 アートスペー ス・せいか 新美術新聞 1327  
**清雅なる情景 日本中世の水墨画**

**コレクション展** 9.11—10.20 根津美術館 新美術新聞 1323 島尾新 毎日夕刊 9.18  
**星星會5回** 5.29—6.4 高島屋 (日本橋)(高島屋(京都、名古屋、横浜、大阪)) 新美術新聞 1312  
**星星會展—日本画の伝統と未来へ—** 9.6—9.23 北海道立近代美術館 (高島屋(日本橋)、松坂屋美術館、京都文化博物館、広島県立美術館) 美術の窓 360 高山淳  
**聖地四王寺山** 1.16—3.10 九州歴 史資料館  
**青銅のまつり** 10.2—12.2 天理大 学附属天理参考館  
**聖なるものへ ひそやかな祝祭** 11.2—1.13 茨城県近代美術館  
**西南戦争錦絵展 極彩色の歴史絵巻** ラストサムライ西郷隆盛の聖戦 10.26—12.24 海の見える杜美術 館 新美術新聞 1328  
**20130609正方形展 100人の作家 によるCDサイズの作品展** 6.9—6.15 アートスペース羅針盤  
**西洋カルタ展—18—19世紀のトラ ンプ—** 5.1—5.12 アンティエー クイリス魅屋町ギャラリー 目の眼 441  
**精霊との出会い—インドネシア・パ プア州先住民 神々のかたち—** 埼玉県鶴ヶ島市寄贈記念 7.3— 9.2 天理大学附属天理参考館  
**世界絵画大賞展9回** 8.12—8.20 東京都美術館 美術の窓 361 磯部靖  
**セカイがハンテンし、テイク 新世 界アーティスト展 in Kawasaki** 7.20—9.29 川崎市市民ミュージ アム 美術手帖 991 藪前知子 日経 9.14 平野啓一郎  
**世界の名画を見ませんか メナード 美術館開館25周年記念コレク ション名作展IV** 7.11—10.6 メナ ード美術館 新美術新聞 1319

平成25年美術展覧会(企ス、セ)

**世界報道写真展2013** 6.8—8.4 東京都写真美術館 朝日 6.19  
**雪害調査所—松岡俊三の戦い、そし て地域振興の民芸品—** 10.12— 12.8 山形県立博物館  
**雪月花 美人画の四季 培広庵コレ クション** 9.28—11.10 豊橋市 美術博物館  
**絶命展—ファッションの秘境** 10.4 —10.14 パルコミュージアム 美術手帖 997 榎木野衣  
**瀬戸内国際芸術祭2013 春** 3.20 —4.21 瀬戸内海 AXIS 165 平塚桂 美術手帖 977 吉田宏子 美術手帖 979 白坂ゆり 美術手帖 981 北川フラム 美術手帖 981 浜田恵造/福武 總一郎 美術手帖 981 安藤忠雄 談 美術手帖 981 美術手帖 981 椿昇 談 美術手帖 981 白坂ゆり 美術手帖 984 永峰美佳/白坂 ゆり/編集部 美術手帖 987 白坂ゆり 美術の窓 357 美術屋・百兵衛 25 朝日 4.9 森本俊司 産経 4.11 黒沢綾子 日経 2.14 日経夕刊 3.26 田村広济 日経夕刊 4.30  
**瀬戸内国際芸術祭2013 夏** 7.20 —9.1 瀬戸内海 AXIS 165 平塚桂 瓜生通信 60 Cultivate 40 妹島和世/高橋信 裕 インタビュアー 美術手帖 977 吉田宏子 美術手帖 979 白坂ゆり 美術手帖 981 安藤忠雄 談 美術手帖 981 椿昇 談 美術手帖 981 美術手帖 981 美術手帖 987 白坂ゆり 美術手帖 988

美術手帖 989 白坂ゆり  
 美術手帖 991 白坂ゆり  
 美術手帖 991 永峰美佳  
 美術手帖 991 白坂ゆり  
 朝日夕刊 8.21 大西若人  
 日経夕刊 4.30  
 日経夕刊 6.12 田村正之  
 読売 8.1 木村未来  
**瀬戸内国際芸術祭2013 秋** 10.5  
 —11.4 瀬戸内海  
 AXIS 165 平塚桂  
 美術手帖 977 吉田宏子  
 美術手帖 979 白坂ゆり  
 美術手帖 981 安藤忠雄 談  
 美術手帖 981 椿昇 談  
 美術手帖 981  
 美術手帖 981  
 美術手帖 987 白坂ゆり  
 美術手帖 988  
 美術手帖 991 重野佳園  
 美術手帖 991 永峰美佳  
 美術手帖 991 白坂ゆり  
 美術手帖 995 白坂ゆり  
 産経 10.27 黒沢綾子  
 日経夕刊 4.30  
 毎日夕刊 10.28 清水有香  
**瀬戸国際セラミック&ガラスアート  
 交流プログラム 2012—2013**  
**招聘作家作品展** 1.19—3.24 瀬  
 戸市美術館  
 新美術新聞 1304  
 陶説 722 井上隆生  
**瀬戸・藤四郎トリエンナーレ1回  
 —瀬戸の原土を活かして— セと  
 ものフェスタ2013** 4.20—5.26  
 瀬戸市美術館  
 陶説 724 井上隆生  
**70's バイブレーション YOKO-  
 HAMA** 3.16—4.14 横須賀美術  
 館  
 朝日 4.2 近藤康太郎  
**“繊維がdance” 女子美術大学工芸  
 学科織コース 卒業制作展** 2.22  
 —2.24 AXIS GALLERY  
 AXIS 163 今村玲子  
**日本の美・発見VIII 仙厓と禪の  
 世界** 9.21—11.4 出光美術館  
 読売 10.3  
**1955—64 写真で見る高度経済成**

**長期の世田谷** 11.2—12.8 世田  
 谷区立郷土資料館  
**戦国のまなびや 朝倉文化 文武を  
 極める** 9.21—11.10 福井県立  
 一乗谷朝倉氏遺跡資料館  
**戦国武将の誇りと祈り 九州の覇権  
 のゆくえ 九州歴史資料館開館  
 40周年 移転開館3周年記念特  
 別展** 9.28—11.10 九州歴史資  
 料館  
**戦後の出発展 1945年以後 混乱  
 と希望の時代** 1.12—3.24 神奈  
 川県立近代美術館(鎌倉別館)  
**千住の巢兆展** 11.1—11.5 北千住  
 マルイ11階ギャラリー B  
 東京 11.3 丹治早智子  
**全書芸展42回** 12.12—12.23 国  
 立新美術館  
**戦争/美術1940—1950 モダニズ  
 ムの連鎖と変容 葉山館開館10  
 周年** 7.6—10.14 神奈川県立近  
 代美術館(葉山)  
 新美術新聞 1316 水沢勉  
 水墨画\* 292  
 美術手帖 995 奥間政作 評  
 朝日夕刊 9.11 西岡一正  
 日経 8.7 窪田直子  
 毎日夕刊 8.14 岸桂子  
 読売 9.19 森田睦  
**茶の湯を楽しむVI 特別編 煎茶  
 の世界** 10.1—12.1 九州国立博  
 物館  
 目の眼 445  
**全日本読売写真クラブ展2013** 8.9  
 —8.15 富士フィルムフォトサロ  
 ン(東京)(富士フィルムフォトサ  
 ロン(大阪、福岡))  
 読売 7.28 立木義浩 総評

(ソ)

『装苑』と『装苑賞』その歩み 創刊  
 77周年記念 7.3—9.28 文化学  
 園服飾博物館  
 読売夕刊 8.7 谷本陽子  
**曾我蕭白と中近世美術の精華 開館  
 40周年記念 館蔵名品展** 8.3—  
 9.22 奈良県立美術館  
 新美術新聞 1321  
**損保ジャパン美術賞展 FACE**

2013 2.23—3.31 損保ジャパ  
 ン東郷青児美術館  
 美術\* 451 堤康将/編集部 構  
 成

(タ)

**体感アート@県美.com —ヌイ・  
 プロジェクト、アポリジニ、現代  
 美術&子どもたちの美術—** 1.22  
 —5.6 岐阜県美術館  
 REAR 30 亀山よう子  
**たいけん、ぼうけん、びじゅつかん!  
 親子でたのしむ現代アート** 9.14  
 —11.4 横須賀美術館  
**太子町の聖徳太子 太子町立歴史資  
 料館開館20周年記念企画展**  
 10.26—11.24 太子町立歴史資料  
 館  
**大神社展** 4.9—6.2 東京国立博物  
 館(九州国立博物館)  
 新美術新聞 1312  
 美術の窓 353 池田宏  
 目の眼 440 編集部  
 読売 5.8  
**ダイ チュウ ショー 最近の抽象**  
 12.21—12.28 府中市美術館  
 美術手帖 1000 熊倉晴子  
**大ベトナム展** 4.16—6.9 九州国  
 立博物館  
 デアルテ 30 原田あゆみ  
 デアルテ 30 岩永悦子  
 陶説 722 遠藤啓介  
 日経 5.6  
 読売 5.22  
**當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—  
 當麻曼荼羅完成1250年記念** 4.6  
 —6.2 奈良国立博物館  
 目の眼 441  
**太陽展50回** 5.16—5.30 日動画  
 廊  
**大妖怪展 鬼と妖怪そしてゲゲゲ**  
 7.6—9.1 三井記念美術館  
 新美術新聞 1316  
 毎日夕刊 7.23 高階秀爾  
**台湾・日本漆芸交流展〜過去・現代  
 そして未来〜 台湾・日本芸術文  
 化交流事業** 10.23—10.30 東京  
 芸術大学大学美術館陳列館  
 新美術新聞 1326

新美術新聞 1329 三田村有純  
新美術新聞 1329 青木洋介  
美術\* 458  
高島屋史料館が語る 日本美術の輝  
き 4.24—5.12 高島屋(玉川)  
芸術新潮 761  
高槻のアンティーク 古曾部焼・藤  
井竹外・くらわんか茶碗 川崎コ  
レクション名品選 3.16—5.12  
高槻市立しろあと歴史館  
高浜焼 天草が生んだ肥後の名宝  
はじめて明かされる歴史と美の全  
貌 4.26—6.2 八代市立博物館  
未来の森ミュージアム  
陶説 722 福原透  
託された思い〜調布市武者小路実篤  
記念館所蔵コレクションの歩み〜  
4.27—6.2 調布市武者小路実篤  
記念館  
多治見市陶磁器意匠研究所 卒業制  
作展 2.15—2.17 セラミックパ  
ークMINO  
陶説 721 井上隆生  
達人33—マンガ・アニメ作家33人  
による—リサイクルアート+T  
シャツ展 6.5—6.22 art space  
kimura ASK?  
東京夕刊 6.1 丹治早智子  
田中正造をめぐる美術 10.12—  
11.24 佐野市立吉沢記念美術館  
水墨画\* 296  
谷文晁 生誕250周年 7.3—8.25  
サントリー美術館  
芸術新潮 764 安村敏信  
新美術新聞 1316  
朝日 6.30 西岡一正  
毎日夕刊 7.10 岸桂子  
読売 7.4 前田恭二  
種差 よみがえれ 浜の記憶 三陸  
復興国立公園指定記念 7.6—9.1  
青森県立美術館  
新美術新聞 1317  
朝日夕刊 7.10 西岡一正  
読売 7.18 高野清見  
たのしむ日本美術 サントリー美術  
館コレクション 瀬戸内国際芸術  
祭2013連携事業 10.5—11.17  
香川県立ミュージアム  
多摩美術大学絵画学科 版画専攻卒

業制作 3.4—3.9 文房堂ギャラ  
リー  
版画芸術 159 松山龍雄  
たまもの 大コレクション 4.4—  
5.19 埼玉県立近代美術館  
読売 5.16 木村未来/井上晋治  
Tarot×22artists×ヒルゲート 4.23  
—4.28 ギャラリーヒルゲート  
新美術新聞 1310  
俵屋宗達と琳派 9.14—10.14 石  
川県立美術館  
新美術新聞 1324  
読売夕刊 10.10  
単版画—ひとつの色の多彩な世界—  
10.12—12.1 和泉市久保惣記念  
美術館

#### (チ)

地域史シリーズ いたばし 2.9—  
3.24 板橋区立郷土資料館  
小さき 愛らしきもの展 1.21—  
2.9 ロンドンギャラリー  
美術の窓 353 伊藤郁太郎  
チェコの映画ポスター テリー・ポ  
スター・コレクションより 8.28  
—12.1 東京国立近代美術館フィ  
ルムセンター(京都国立近代美術  
館)  
芸術新潮 767  
新美術新聞 1323  
地球のかたちと万国の大地 横浜市  
立大学コレクション 古地図の世  
界 10.12—11.24 横浜市歴史博  
物館  
茶の湯の造形 田部美術館大賞30  
回 7.24—7.29 松坂屋(上野)  
産経 7.18  
中国 王朝の至宝 4.24—6.23 名  
古屋市博物館(東京国立博物館、  
神戸市立博物館、九州国立博物館)  
新美術新聞 1310 藤井康隆  
中国古陶磁清玩 白樺廬(はくとう  
ろ)コレクション 8.10—11.4  
大阪市立東洋陶磁美術館  
陶説 726 野村恵子  
中国木版年画 小説[ものがたり]・  
戯曲[しばい]を描く 5.31—6.23  
日中友好会館美術館  
芸術新潮 764

平成25年美術展覧会(企タ〜ツ)

忠臣蔵と細川家 12.14—3.23 永  
青文庫  
産経 12.12  
中世の古文書—機能と形— 10.8—  
12.1 神奈川県立歴史博物館  
東京 10.2 立尾良二  
長州戦争と広島 12.14—2.2 広島  
城  
超絶技巧! 明治の工芸 1.4—  
2.11 石川県立美術館  
石川県立美術館だより 351

#### (ツ)

つきしま かるかや—素朴表現の絵  
巻と説話画 6.11—8.18 日本民  
芸館  
水墨画\* 291  
目の眼 442  
毎日夕刊 7.1 岸桂子  
つくることが生きること 東日本大  
震災復興支援 1.17—1.27 デザ  
イン・クリエイティブセンター神  
戸(アーツ千代田3331)  
美術の窓 354 新堀学  
つくる、つかう、つかまえる—いく  
つかの彫刻から MOT コレクシ  
ョン 第2部 10.3—1.19 東  
京都現代美術館  
東京夕刊 11.29 古谷利裕  
土の姿 12.8—3.30 益子陶芸美術  
館 陶芸メッセ・益子  
目の眼 450  
土湯アラフドアートアニュアル  
2013 9.6—10.14 土湯温泉町  
各所  
読売 9.7  
読売夕刊 8.19  
都筑アートプロジェクト2013 ニ  
ュータウン幻想動物園 10.12—  
11.10 横浜市営地下鉄センター  
北駅  
椿会展2013—初心— 4.12—6.23  
資生堂ギャラリー  
朝日夕刊 6.5  
産経 5.9 黒沢綾子  
東京夕刊 5.24 岡部あおみ  
毎日夕刊 5.20 岸桂子  
読売夕刊 5.20 (井)

(テ)

- 帝国飛行協会と航空スポーツ 日本  
航空協会創立100周年記念展示  
12.17—1.19 国立科学博物館  
定窯・優雅なる白の世界—窯址発掘  
成果展 11.23—3.23 大阪市立  
東洋陶磁美術館  
芸術新潮 770  
陶説 729 小林仁  
美術手帖 999 清水穰  
目の眼 448  
読売 12.18 関口和哉
- テーマにみる近代日本画—その豊かな  
世界— 6.15—8.18 泉屋博古  
館分館  
新美術新聞 1316  
読売夕刊 7.16 川口直直
- 手から手へ展 FROM HAND TO  
HAND 絵本作家から子どもたち  
へ 3.11後のメッセージ 5.22  
—8.4 ちひろ美術館(東京)(安曇  
野ちひろ美術館、平田本陣記念館、  
日本新聞博物館、ピプリオラボ/  
福岡市総合図書館、京都国際マン  
ガミュージアム、伊達市梁川美術  
館、北海道立文学館)  
東京 5.23 長沢彰吾  
毎日夕刊 6.17 岸桂子
- 手から手へ展 FROM HAND TO  
HAND 絵本作家から子どもたち  
へ 3.11後のメッセージ 10.26  
—12.23 日本新聞博物館(ちひろ  
美術館(東京)、安曇野ちひろ美術  
館、平田本陣記念館、ピプリオラ  
ボ/福岡市総合図書館、京都国際  
マンガミュージアム、伊達市梁川  
美術館、北海道立文学館)  
東京 10.26
- デザインあ展 2.8—6.2 21\_21  
DESIGN SIGHT  
朝日夕刊 4.3 大西若人  
東京夕刊 3.8 児島やよい
- TETSUSON2013 3.14—3.17  
BankART Studio NYK  
AXIS 163 今村玲子
- 親子で見る展覧会 シリーズ「楽っ  
てなんだろう」手のひらから生  
まれた形・楽茶碗 7.13—9.1

- 楽美術館  
新美術新聞 1317
- 輝元の分岐点—信長・秀吉との戦い  
から中国国分へ— 11.2—12.8  
広島城
- 天下の台所大坂と徳島—江戸時代の  
交流史— 4.27—6.9 徳島県立  
博物館
- 天上の舞 飛天の美 平等院鳳凰堂  
平成修理完成記念 11.23—1.13  
サントリー美術館  
芸術新潮 768  
新美術新聞 1330  
朝日 12.25  
産経 12.8 黒沢綾子  
読売 12.26 前田恭二

(ト)

- Do it yourself, Brain massage —  
可塑的な身体と術— 10.23—  
10.30 東京芸術大学美術学部絵  
画棟アーツスペース  
新美術新聞 1326
- TOKYO 1970—時代を挑発した9人  
の写真家たち 10.5—10.29 ア  
ルマーニ/銀座タワー9階  
産経 10.10
- 東京オリンピック1964 デザイン  
プロジェクト 2.13—5.26 東京  
国立近代美術館  
産経 2.27 黒沢綾子
- 東京藝術大学卒業・修了作品展61  
回 1.26—1.31 東京都美術館/  
東京芸術大学美術館/東京芸術大  
学構内  
ギャラリー\* 335 名古屋覚、山  
本靖久、小川英晴 談  
ギャラリー\* 336 名古屋覚、山  
本靖久、小川英晴 談  
美術の窓 357 編集部 座談会
- 東京藝術大学彫刻科 SOKEN 塑  
造研究室有志展 7.1—7.13 ギ  
ャラリーせいほう  
新美術新聞 1316
- 東京国際キルトフェスティバル 布  
と針と糸の祭典2013 1.24—  
1.30 東京ドーム  
読売夕刊 1.17 上原三和
- 東京五美術大学連合卒業・修了制作

- 展36回 多摩美術大学・女子美  
術大学・東京造形大学・日本大学  
芸術学部・武蔵野美術大学 2.21  
—3.3 国立新美術館  
ギャラリー\* 338 名古屋覚/山  
本靖久/小川英晴  
美術の窓 357 編集部 座談会
- Tokyo Midtown Award 2013 10.18  
—11.10 東京ミッドタウン  
東京 11.8 石川修巳
- 唐三彩名品展と唐俑写真展 5.13—  
5.18 文芸春秋画廊
- 陶磁の名品、ここに集う—日本・中  
国・韓国— 開館35周年・新名  
称記念 6.1—7.28 愛知県陶磁  
美術館  
陶説 724 森達也
- 堂島リバービエンナーレ2013  
7.20—8.18 堂島リバーフォーラ  
ム  
美術の窓 361 眞田一貫
- 騰写版の冒険 卓上印刷器からはじ  
まったアート 2.9—3.24 和歌  
山県立近代美術館  
日経夕刊 2.25 窪田直子
- 東大寺 鎌倉再建と華嚴興隆  
10.11—12.1 神奈川県立金沢文  
庫  
朝日夕刊 10.21 藤井裕介
- 道東アートファイル2013 in the  
LIGHT in the SHADOW 11.22  
—2.2 北海道立帯広美術館
- 東塔水煙降臨展 9.16—11.30 薬  
師寺  
読売 12.1
- 陶美展1回 5.1—5.7 高島屋(日  
本橋)  
陶説 724 外館和子
- 東美特別展19回 10.18—10.20  
東京美術倶楽部  
新美術新聞 1325  
美術\* 457  
目の眼 446
- 動物園がやってきた!!—ようこそ!  
のおがたサファリランド— 7.2  
—9.23 直方谷尾美術館  
デアルテ 30 市川靖子
- 動物百科 このたび動物園を始めま  
した! 収蔵作品展 3.2—5.6

- 佐久市立近代美術館  
新美術新聞 1307
- どうぶつフェスティバル!!エジプト展! 開館4周年特別企画 7.6—12.22 古代エジプト博物館  
朝日夕刊 9.25 中村茉莉花
- 東方社カメラマンがとらえた市民の暮らし—戦時下の日本・中国・東南アジア 7.31—9.8 東京大空襲・戦災資料センター  
朝日 8.1
- 銅夢版画展15回 11.25—12.1 地球堂ギャラリー  
版画芸術 161
- 洞爺湖芸術館展示作品 7.23—8.11 洞爺湖芸術館
- 東洋学の歩いた道 マルコ・ポーロとシルクロード世界遺産の旅—西洋生まれの東洋学 8.7—12.26 東洋文庫ミュージアム  
朝日夕刊 11.18 宮代栄一
- 東洋学の歩いた道 古代中国の名宝—細川護立と東洋学 10.5—12.8 永青文庫  
朝日夕刊 11.18 宮代栄一
- 東洋学の歩いた道 アジアを学ぶ—近代学習院の教育から 10.5—12.12 学習院大学史料館  
朝日夕刊 11.18 宮代栄一
- 動乱! 播磨の中世—赤松円心から黒田官兵衛まで— 10.5—12.1 兵庫県立考古博物館
- 十果会35回 7.3—7.9 高島屋(日本橋)(高島屋(難波、京都、名古屋))  
新美術新聞 1316 武田厚  
新美術新聞 1319 今井真吾、平岡靖弘、相田幸男、齋藤研、木津文哉、瀬川富紀男/編集部
- トーキョウアート 2013年絵画優美展 7.10—9.30 トーキョウアート アートギャラリー  
新美術新聞 1318
- ドールズ・コレクション 時をかける等身大人形—細工人形・菊人形からマネキン・フィギュア・ロボットまで— 11.16—12.23 高浜市やきもの里かわら美術館  
REAR 31 副田一穂
- DOKIDOKI 陶芸の魅力×アートのドキドキ 5.25—8.25 岐阜県現代陶芸美術館(滋賀県立陶芸の森陶芸館、兵庫陶芸美術館)  
陶説 723 三浦弘子
- ドキュメンタリー富士 富士山世界文化遺産登録記念特別企画 7.17—9.16 静岡市東海道広重美術館  
東京 7.27 石原猛
- 独立創人会4回 5.6—5.18 始弘画廊  
新美術新聞 1311
- 都市の無意識 コレクションを中心とした小企画 6.4—8.4 東京国立近代美術館
- 都美セレクション 新鋭美術家 2013 2.19—3.7 東京都美術館  
新美術新聞 1303 竹内厚子  
朝日夕刊 2.27
- 都美セレクショングループ展2回 CHAIN REACTION 10.13—10.19 東京都美術館  
新美術新聞 1325
- 都美セレクショングループ展2回 4の扉—境界を超えて— 10.22—10.28 東京都美術館  
新美術新聞 1325
- 都美セレクショングループ展2回 月火水木金土日「想い、巡る。」 11.8—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1328
- 都美セレクショングループ展2回 不可解のリテラシー 11.8—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1328
- 都美セレクショングループ展2回 The shiny future exhibition 2013 The HUMANISATION 11.26—12.3 東京都美術館  
新美術新聞 1329
- 都美セレクショングループ展2回 書の予兆—墨象の現代— 12.5—12.11 東京都美術館  
新美術新聞 1330
- 都美セレクショングループ展2回 デジタルアートX・進化する版パンドラの匣の外 12.13—12.20 東京都美術館  
新美術新聞 1330
- DOMANI・明日展15回 未来を担う美術家たち〈文化庁芸術家在外研修の成果〉 1.12—2.3 国立新美術館  
産経 1.30  
毎日夕刊 1.23 岸桂子
- DOMANI・明日展16回 未来を担う美術家たち 建築×アート〈文化庁芸術家在外研修の成果〉 12.14—1.26 国立新美術館  
ギャラリー\* 333  
芸術新潮 770  
陶説 731 外館和子  
読売 12.15
- 富原文庫本 会津若松城下絵図屏風—新島八重のふるさと、会津の心— 4.27—9.2 安中市学習の森ふるさと学習館  
読売 5.15
- 社寮会作陶展50回記念 8.28—9.3 三越(日本橋)  
新美術新聞 1321
- ドラマチック大陸 風景画でたどるアメリカ ナイアガラから、グランド・キャニオン、ヨセミテへ。 1.12—5.6 名古屋ボストン美術館  
新美術新聞 1302  
美術手帖 985 近藤亮介
- トランスアーツトーキョー2013 10.19—11.10 千代田区神田各所  
東京 11.2 尾崎行雄  
毎日 11.8 中島みゆき
- 鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし 1.26—3.3 徳島県鳥居龍蔵記念博物館
- 鳥の目で見た富士—鳥瞰図の世界— 富士山世界文化遺産登録記念 7.6—9.29 富士市立博物館
- Drinking Glass 酒器のある情景 9.11—11.10 サントリー美術館  
朝日夕刊 10.9 中村和歌菜  
読売 9.10 畠中恵
- 「ドロイングとは何か」3回 公募入賞・入選作品展 1.28—2.9 ギャラリー志門
- Toiles des trois—女流三人展— 4.18—4.24 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1308

十和田奥入瀬芸術祭 SURVIVE  
この惑星[ほし]の、時間旅行へ  
9.21—11.24 十和田市現代美術館ほか  
芸術新潮 767  
朝日夕刊 10.9 西岡一正

(ナ)

内臓感覚 遠くテ近イ生ノ声 4.27  
—9.1 金沢21世紀美術館  
美術手帖 989 能勢陽子 評  
REAR 31 河合宏一  
朝日夕刊 8.7 大西若人  
読売 8.15 高野清見

長野県工芸展33回 10.2—10.6  
松本市美術館  
陶説 729 外館和子

なごむ絵 12.18—2.3 島根県立石見美術館  
水墨画\* 297

那智田楽へのいざない ユネスコ無形文化遺産登録記念 9.28—12.1  
和歌山県立紀伊風土記の丘

懐かしの風景 北原コレクションの世界 9.21—11.17 練馬区立石神井公園ふるさと文化館

夏のお化け美術館 あつまれ水墨画アーティスト 8.9—9.23 富山県水墨美術館

夏目漱石の美術世界 3.26—5.6  
広島県立美術館(東京芸術大学大学美術館、静岡県立美術館)  
ギャラリー\* 337  
美術の窓 353 藤崎綾  
日経夕刊 4.9 宮川匡司

夏目漱石の美術世界 5.14—7.7  
東京芸術大学大学美術館(広島県立美術館、静岡県立美術館)  
新美術新聞 1312 古田亮  
水墨画\* 290  
美術手帖 989 栗原裕一郎 評  
目の眼 440 古田亮  
産経 6.6 渋谷和彦  
東京 5.6  
東京 5.13 ロバート・キャンベル  
東京夕刊 6.13 夏目房之介  
日経 6.19 宮川匡司  
毎日夕刊 6.12 高階秀爾

読売 6.13 前田恭二  
読売夕刊 6.1 前田恭二  
読売夕刊 6.8 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班

夏目漱石の美術世界 7.13—8.25  
静岡県立美術館(東京芸術大学大学美術館、広島県立美術館)  
新美術新聞 1317

鍋島家伝来陶磁器名品展 徴古館再開15周年記念 色絵山水竹鳥文輪花大皿 重要文化財指定記念 8.19—10.12 徴古館

南砺市伝統的工芸品創作展 2.24—2.26 ホテル椿山荘東京 カトレア 東京 2.19 萩原誠

ナント美術館名品展 7.19—9.1  
鹿児島市立美術館(浜松市美術館、秋田市立千秋美術館、佐賀県立美術館、山口県立美術館)  
新美術新聞 1317

(ニ)

新潟の漆器 7.20—9.1 新潟市歴史博物館

新美南吉応援団展 生誕100年 4.23—4.30 ギャラリー枝香庵(ギャラリー蔵のまち)  
新美術新聞 1310

二次元 VS 日本刀 7.13—9.16 備前長船刀剣博物館/瀬戸内市立美術館/林原美術館

21世紀展13回 伝統からの創造 4.23—4.27 東京美術倶楽部(京都美術倶楽部、金沢美術倶楽部、富山美術倶楽部、大阪美術倶楽部、名古屋美術倶楽部)  
新美術新聞 1310  
美術\* 452 編集部  
美術の窓 356 編集部

21世紀空間思考展2回 7.24—8.5 三越(日本橋)  
新美術新聞 1318  
美術の窓 359 編集部

20年後の横の会 日本画の現在 8.3—10.14 新潟市新津美術館(富山県水墨美術館)  
ギャラリー\* 340  
新美術新聞 1319 横山秀樹

日常の美〜伊東深水をはじめ新版画とともに〜浜口陽三 春コレクション 2.9—5.6 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション  
新美術新聞 1305

日美展17回 1.28—2.2 ギャラリー一せいほう  
美術の窓 353 編集部

日産アートアワード2013 9.18—11.4 BankART Studio NYK  
朝日夕刊 10.9

日中未来の子ども100人の写真展覧会 9.27—9.30 増上寺(九州国立博物館)  
毎日 9.28 熊田明裕

二年後。自然と芸術、そしてレクイエム 2.5—3.20 茨城県近代美術館  
ギャラリー\* 334

新美術新聞 1303 今瀬佐和水墨画\* 286  
朝日夕刊 2.27 増田愛子  
東京夕刊 2.25 森本智之  
毎日夕刊 2.27 岸桂子

読売 2.28 高野清見  
日本画 こころの京都 2.9—3.24 京都文化博物館(八幡市立松花堂美術館)  
新美術新聞 1303 植田彩芳子 美術\* 451 水上睦男  
日経 2.25

日本画 その妙なる世界 1.2—2.17 西宮市大谷記念美術館  
水墨画\* 286

日本画 美の競演—百花繚乱— 蘭島閣美術館所蔵 10.4—12.1 新見美術館

日本画家が描いた西洋風景展—滞欧作を中心として— 市制55周年開館30周年記念特別展 10.26—12.8 稲沢市荻須記念美術館

Nihonga・京5回 7.17—7.23 三越(日本橋)(三越伊勢丹(大阪))  
新美術新聞 1317

日本画の巨匠—大観・春草・玉堂・栖鳳— 11.15—12.24 MOA美術館  
新美術新聞 1329

日本画の伝統と革新 4.6—5.26

神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)  
朝日夕刊 5.8 中村さやか

日本画を彩った巨匠たち 大観・栖  
鳳・球子 北海道立近代美術館名  
品選 10.19—12.1 名古屋ボス  
トン美術館  
新美術新聞 1326

日本七宝作家協会展47回 7.25—  
7.31 東京都美術館  
東京 7.27 杉戸祐子

日本写真芸術専門学校 卒業作品展  
3.7—3.11 AXIS GALLERY/SYM-  
POSIA  
AXIS 163 今村玲子

日本写真の1968 5.11—7.15 東  
京都写真美術館  
美術手帖 989 清水穰  
朝日夕刊 6.19 西岡一正  
日経 7.1  
日経 7.11 平野啓一郎  
毎日夕刊 7.8 手塚さや香  
読売 6.6 前田恭二

日本陶芸展22回 4.3—4.9 大丸  
ミュージアム(東京)(大丸ミュ  
ージアム(心齋橋)、西日本総合展  
示場、高浜市やきもの里かわら美  
術館、茨城県陶芸美術館)  
毎日 2.26 五十嵐和大  
毎日 4.2 三枝泰一

日本陶芸展22回 7.13—9.8 茨城  
県陶芸美術館(大丸ミュージアム  
(東京、心齋橋)、西日本総合展  
示場、高浜市やきもの里かわら美  
術館)  
陶説 724 加藤清和/畑石修嗣  
/石嶋哲彦/藤井隆之/坂本章/  
星野友幸/西田宣生/金子賢治/  
石崎泰之/唐澤昌宏  
毎日 6.19

日本陶磁協会賞受賞作家展54回  
2.2—2.11 和光ホール  
陶説 721 唐澤昌宏

日本・東洋 美の遺産 岡田美術館  
開館記念 10.4—12.30 岡田美  
術館  
陶説 726 小林忠

日本の絵画の50年 4.20—6.16  
和歌山県立近代美術館  
和歌山県立近代美術館ニュース

75 奥村泰彦  
日本の木のイス展 くつろぎのデザ  
イン・かぞくの空間 2.9—4.14  
横須賀美術館  
朝日夕刊 3.13 中村和歌葉

日本のグラフィックデザイン2013  
6.15—8.4 東京ミッドタウン  
東京 7.27

日本の水彩画—記録・記憶/構想・  
夢想— 2.7—3.17 下関市立美  
術館

日本のデザインミュージアム実現に  
むけて 10.25—2.9 21\_21 DE-  
SIGN SIGHT  
朝日夕刊 12.25 西岡一正

日本の70年代 1968—1982 4.20  
—7.7 広島市現代美術館(埼玉県  
立近代美術館)  
読売 5.16 井上晋治

日本の名蹟 和様の書の変遷 春敬  
記念書道文庫創立30周年記念  
6.22—7.28 五島美術館  
朝日夕刊 7.24 宮代栄一  
毎日夕刊 6.20 桐山正寿  
毎日夕刊 6.27 桐山正寿

日本の「妖怪」を追え! 北斎、国芳、  
芋銭、水木しげるから現代アート  
まで 7.13—9.1 横須賀美術館  
新美術新聞 1316  
水墨画\* 292

「日本のわざと美」展—重要無形文化  
財とそれを支える人々— 9.7—  
10.14 山梨県立美術館

日本・フランス現代美術世界展14  
回 8.7—8.18 国立新美術館  
美術の窓 361 磯部靖  
美術の窓 366

NEW YEAR NEW WORKS 1.22—  
2.23 西村画廊  
新美術新聞 1303

庭—GARDENS— 1.9—1.20 神  
奈川県民ホールギャラリー  
ギャラリー\* 334 三田晴夫

(ネ)

ねこらんまん展〜心に花を咲かせま  
しょう〜 6.21—7.4 目黒雅叙  
園  
東京 6.27 井上幸一

CAF ネビュラ in せんだい 2013  
11.8—11.13 せんだいメディア  
テーク  
練馬区立美術館コレクション展 シ  
リーズ時代と美術1 1930~50年  
代前半 伸縮する内と外 観光  
『花と蝶』を中心に 6.7—7.7 練  
馬区立美術館  
ギャラリー\* 338

(ノ)

能を彩る文化財—名品能面能装束展  
国立能楽堂開場三十周年記念特別  
展示 9.15—11.20 国立能楽堂  
野田の絵馬—ならわし、なりわい、  
わざわい、たすけあい— 11.2—  
1.31 野田市郷土博物館

(ハ)

Heart Art in TOKYO 2013 エイズ  
チャリティー美術展16回 1.24  
—2.4 国立新美術館

売茶翁あらわの—若沖・竹田・鉄斎  
らが描き伝える— 没後250年記  
念 10.25—11.24 佐賀県立佐賀  
城本丸歴史館  
目の眼 445

ハイレッド・センター: 直接行動の  
軌跡 11.9—12.23 名古屋市美  
術館(渋谷区立松涛美術館)  
ギャラリー\* 343  
美術手帖 1000 成相肇 評  
REAR 31 宮田有香  
REAR 31 平芳幸浩  
読売 11.28 加治屋健司

HOUSE VISION 2013 TOKYO EX-  
HIBITION 3.2—3.24 お台場/  
青梅駅前特設会場  
AXIS 162 今村玲子 インタビ  
ュー・文

破壊された都市の肖像—ゲルニカ、  
ロッテルダム、東京… 1.19—  
3.24 群馬県立近代美術館  
新美術新聞 1303  
朝日夕刊 1.30 牧野洋

墓は語るか 彫刻と呼ばれる、隠さ  
れた場所 5.20—8.10 武蔵野美  
術大学美術館・図書館(美術館)  
美術手帖 987 沢山遼 聞き手・

構成  
朝日夕刊 8.7 大西若人  
毎日夕刊 6.19 岸桂子  
萩の陶芸家たち展 萩陶芸家協会設立20周年記念 4.6—5.19 山口県立萩美術館・浦上記念館  
陶説 723 外館和子  
博物館はおばけやしき 7.13—9.1 兵庫県立歴史博物館  
水墨画\* 292  
幕末の江戸城 大奥 10.29—12.8 江戸東京博物館  
幕末の東京湾警備 2.2—3.17 館山市立博物館  
幕末の見立絵 三代豊国・広重・国芳 11.30—12.20 太田記念美術館  
産経 11.24  
幕末の北方探検家・松浦武四郎 10.5—12.8 静嘉堂文庫美術館  
芸術新潮 767  
目の眼 447  
産経 11.21 黒沢綾子  
東京夕刊 10.19  
はじまりのアトリエ 7.17—8.4 ARAKAWA 1—1—1 ギャラリー  
東京 7.25 竹上順子  
八樹会展40回 10.21—10.26 文芸春秋画廊  
ギャラリー\* 344  
蜂須賀家売立目録の世界 4.13—6.9 徳島市立徳島城博物館  
発掘された日本列島2013 新発見考古速報 6.7—7.25 江戸東京博物館(福島県文化センター、松本市立博物館、高槻市立今城塚古代歴史館、九州国立博物館)  
芸術新潮 764  
朝日 6.27 大脇和明  
朝日夕刊 4.11 藤井裕介  
朝日夕刊 6.4 山田菜の花  
毎日夕刊 6.12 伊藤和史  
発信//板橋//2013 ギャップ・ダイナミクス 11.26—1.5 板橋区立美術館  
はっ・とび展 9.14—9.23 ギャラリー鉄斎堂  
新美術新聞 1322

ハッピー・ピョンヤン2010 10.5—10.26 東京画廊+BTAP  
美術手帖 997 内田伸一  
読売夕刊 10.21 (陸)  
花開く江戸の園芸 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 7.30—9.1 江戸東京博物館  
芸術新潮 766  
東京都江戸東京博物館紀要 4 田中実穂  
東京 8.23 丹治早智子  
日経 8.23  
はにわの世界 茨城県の形象埴輪とその周辺 10.12—11.24 茨城県立歴史館  
目の眼 446  
ばらばら北斎漫画カフェ〜北斎を知ろう〜 10.10—10.23 すみだりパーサイドホールギャラリー  
東京 10.19 奥野斐  
パラミタ陶芸大賞展8回 7.6—9.1 パラミタミュージアム  
陶説 726 井上隆生  
美術フォーラム21 27 湯浅英雄  
Paris、パリ、巴里 日本人が描く1900—1945 3.23—6.9 ブリヂストン美術館  
新美術新聞 1309 貝塚健  
美術手帖 984 白坂ゆり  
美術の窓 353 貝塚健  
毎日夕刊 4.8 岸桂子  
春が来た 4.13—5.26 青梅市立美術館  
新美術新聞 1308  
春の小品展 4.15—4.21 フジキ画廊  
美術\* 451 編集部  
春を彩る松江の節句 3.16—5.6 松江歴史館  
版画に見る印象派 4.5—5.12 中山道広重美術館  
芸術新潮 761  
版画フォーラム2013 和紙の里ひがしちちぶ展 6.22—6.29 東秩父村和紙の里  
美術の窓 365 高野勉  
藩校時習館物語 細川コレクション 1.9—3.24 熊本県立美術館本館  
新美術新聞 1303

反重力 浮遊 | 時空旅行 | パラレル・ワールド 9.14—12.24 豊田市美術館  
美術手帖 995 岡部あおみ 評  
REAR 31 西川美穂子  
朝日夕刊 11.20 大西若人

(ヒ)

ピース・ミーツ・アート! アート・アーチ・ひろしま2013 7.20—10.14 広島県立美術館  
ギャラリー\* 339  
国立新美術館ニュース 28 宮島綾子  
美術の窓 360  
朝日夕刊 9.25  
読売 8.29 木村未来  
ビエンナーレ OME 2013 3.9—3.31 青梅市立美術館  
水墨画\* 290  
東日本大震災と気仙沼の生活文化—人間文化研究機構連携展示— 3.19—9.23 国立歴史民俗博物館  
光と影の展示会 8.15—8.18 ギャラリー川船  
毎日夕刊 8.29 岸桂子  
光のある場所[ところ] コレクションにみる近現代美術の現実感 12.14—3.23 神奈川県立近代美術館(鎌倉)  
日経夕刊 12.17 田村広済  
光の賛歌 印象派展 パリ、セヌ、ノルマンディの水辺をたどる旅 10.22—1.5 東京富士美術館(福岡市博物館、京都文化博物館)  
美術の窓 353 白根敏昭  
産経 11.10  
毎日 10.22 野島康祐  
引込線2013 美術作家と批評家による第4回自主企画展 8.31—9.23 旧所沢市立第2学校給食センター  
美術手帖 997 粟田大輔 評  
樋口一葉 挿絵に見る『江戸指物』 4.23—6.2 台東区立一葉記念館  
東京 4.24 丹治早智子  
彦根城 天下普請の城—世界遺産登録へ向けて— 10.25—11.26 彦根城博物館



彦根藩筆頭家老・木俣清左衛門家資料 新収蔵記念 6.7—7.9 彦根城博物館

美術館さんぽ展 vol.2 5.27—6.8 ランドリーグラフィックスギャラリー

朝日 5.30

美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方 10.12—11.24 唐津市近代図書館美術ホール(姫路市立美術館)

デアルテ 30 松谷由香里

飛騨の円空 千光寺とその周辺の足跡 1.12—4.7 東京国立博物館

ギャラリー\* 333

新美術新聞 1302 浅見龍介

東京夕刊 2.8 中村英樹

読売夕刊 1.12

読売夕刊 1.18

読売夕刊 2.4 前田恭一

読売夕刊 2.5 前田恭一

読売夕刊 2.6

秀吉が八代にやって来た 八代の歴史と文化23 10.25—12.1 八代市立博物館未来の森ミュージアム

秀吉に備えよ!! —羽柴秀吉の中国攻め— 羽柴秀吉天下統一への足跡 日本を変革した湖北・長浜 7.20—9.1 長浜城歴史博物館

美とイデオロギーのはざままで 飯野農夫也とその知人たちの世界 PART1 5.3—9.29 飯野農夫也版画館

美術運動史研究会ニュース 136 山口泰二

一人ひとりのくらしの風景がみえてくる—東北学院大学「牡鹿半島のくらし展」— 文化庁被災ミュージアム再興事業 8.13—8.15 石巻市牡鹿公民館(宮城県慶長使節船ミュージアム、せんだいメディアテーク)

人形[ひな]の里アートフェスティバル 2.8—2.11 岩槻駅東口コミュニティセンター/岩槻市内

主体美術 93 布施雅子

飛の会1回 4.2—4.14 佐藤美術館

新美術新聞 1308

美の饗宴 関西コレクションズ 4.6—7.15 国立国際美術館

新美術新聞 1313

読売 5.16 木村未来/井上晋治

美の棲む処—i・act展6回 1.14—1.19 サロン・ドG

美術の窓 354 中野中

百人一首かるたの世界 10.5—11.17 大津市歴史博物館

100のアイデア、あしたの島。—アートはより良い社会のために何ができるのか?— 10.12—11.30 ART BASE 百島/島内各所

美術手帖 998 角奈緒子

百花繚乱—花言葉・花図鑑— 4.6—6.2 山種美術館

新美術新聞 1308

日経 5.8 宝玉正彦

読売 4.11 井上晋治

『描写の真実』—8つの表象— 12.16—12.22 ギャラリームサン

美術の窓 366 ワシオ・トシヒコ

BEYOND 3・11 南三陸 2.7—2.28 ギャラリーエークウッド

毎日夕刊 2.21 手塚さや香

美を伝えゆく—一名品にみる20年の歩み— 開館20周年記念 10.12—11.24 宮内庁三の丸尚蔵館

(フ)

ファインバーグ・コレクション 江戸絵画の奇跡 5.21—7.15 江戸東京博物館(MIHO MUSEUM、鳥取県立博物館)

芸術新潮 763

日経 5.31 宮川匡司

毎日夕刊 6.3 岸桂子

読売 4.2

読売 4.30

読売 5.27

読売 6.29 堀口菜純

読売夕刊 5.15 小林忠

読売夕刊 5.21

読売夕刊 5.24 高野清見

読売夕刊 5.25 高野清見

読売夕刊 5.27 高野清見

読売夕刊 6.29 ヨミウリ・ジュ

平成25年美術展覧会(企ヒ、フ)

ニア・プレス取材班

ファインバーグ・コレクション 江戸絵画の奇跡 7.20—8.18 MIHO MUSEUM(江戸東京博物館、鳥取県立博物館)

新美術新聞 1318

ファン・デ・ナゴヤ2013 であ、しゅとうるむ 1.9—1.20 名古屋市民ギャラリー(矢田)

美術手帖 982 鈴木俊晴

REAR 30 天野一夫

フィナーレ選抜奨励展—輝く12の視座— 1.12—2.17 損保ジャパン東郷青児美術館

美術の窓 352 五十嵐卓

フィロソフィカル・ファッション2 : ANREALAGE “A COLOR UN COLOR” 7.12—11.24 金沢21世紀美術館

ブーシキン美術館展 フランス絵画 300年 4.26—6.23 愛知県美術館(横浜美術館、神戸市立博物館)

AAC 75 森美樹

美術の窓 353 編集部

ブーシキン美術館展 フランス絵画 300年 7.6—9.16 横浜美術館(愛知県美術館、神戸市立博物館)

新美術新聞 1316

朝日 5.19 三浦篤

朝日 6.12 小川雪/神庭亮介

朝日 6.19

朝日 7.2

朝日 7.17

朝日 7.24 高橋秀喜

朝日 8.6 原田マハ

朝日 8.9 原田マハ

朝日 8.13 池田理代子/鹿島茂/島田雅彦

朝日 9.4

朝日夕刊 7.23

朝日夕刊 7.24

朝日夕刊 7.26

朝日夕刊 7.27

朝日夕刊 7.29

朝日夕刊 7.31

朝日夕刊 8.1

朝日夕刊 8.2

朝日夕刊 8.3

朝日夕刊 8.5

朝日夕刊 8.6  
産経 8.22  
風土展35回 9.16—9.22 東京セントラル美術館  
美術の窓 362 高山淳  
風靡の会19回 11.18—11.25 清雅堂夏目美術店  
新美術新聞 1329  
FENDI UN ART AUTRE～フェンディ もうひとつのアート、クリエイションとイノベーションの軌跡～ 4.3—4.29 東京芸術大学美術館  
新美術新聞 1310  
美術の窓 358 エマニュエラ・ノビーレ・ミーノ 談  
読売夕刊 4.10 竹之内知宣  
風景版画の変容 「浮世絵」の風景から「版画」の風景へ 島根県立美術館・版画コレクション選 1.2—2.4 島根県立美術館  
“PHOTO IS” 30,000人の写真展 2013 7.12—7.17 東京ミッドタウン/フジフィルムスクエア(LACHIC、グランフロント大阪ナレッジプラザ、仙台駅/AER、紙屋町チャレオ、JRタワー、ソラリアプラザビル/ソラリアターミナルビル)  
産経 3.20  
福岡現代美術クロニクル 1970—2000 1.5—2.11 福岡県立美術館/福岡市美術館  
エスプラナード 170 山口洋三  
デアルテ 30 山口洋三  
朝日夕刊 2.6 大西若人  
福岡市美術展47回 3.12—3.24 福岡市美術館  
「フクシマ」へ門を開く 福島第一原発観光地化計画展2013 12.24—12.28 ゲンロンカフェ/ゲンロンオフィス  
美術手帖 1000 榎木野衣  
福島・宮城・岩手の三窯展 東北陶芸文化のこれからをおもう 7.12—7.17 早稲田スコットホールギャラリー  
陶説 732 西山彩音  
武家の調度 12.7—2.2 北九州市

立小倉城庭園  
富士山の絵展 10.15—10.30 ギャラリーフォレスト  
新美術新聞 1325  
富士山の絵画 世界遺産登録記念 9.7—10.20 静岡県立美術館  
新美術新聞 1322 富士雄也  
富士は日本の山! 6.26—8.26 山梨県立博物館  
東京 7.18 (仁)  
二つのユニークな版画集展 10.15—1.17 Fuji Xerox Art Space  
物質と彫刻—近代のアポリアと形見なるもの 4.2—4.21 東京芸術大学美術館陳列館  
朝日夕刊 4.17 大西若人  
読売夕刊 4.8 (井)  
PUSH START BUTTON 2012年度 ARTZONE 企画公募第5弾 2.2—2.17 ARTZONE  
瓜生通信 58 松本光史  
仏像半島—房総の美しき仏たち— 4.16—6.16 千葉市美術館  
新美術新聞 1310  
読売 4.30  
筆あとの魅力 点・線・面 印象派から抽象絵画まで 1.8—3.10 プリヂェストン美術館  
朝日夕刊 2.6 蒔苗沙都子  
読売夕刊 2.19 細矢芳  
筆と墨の美 近世の絵画・南画(文人画) 5.28—7.7 大分市立美術館  
水墨画\* 291  
フランス印象派の陶磁器1866—1886 ジャポニスムの成熟 3.9—6.9 滋賀県立陶芸の森陶芸館(山口県立萩美術館・浦上記念館、岡山県立美術館、パナソニック汐留ミュージアム、岐阜県現代陶芸美術館)  
FLEURI 展3回 11.23—12.1 成城さくらさくギャラリー  
新美術新聞 1329  
Place and Picture 京都・立誠小学校—教室に息づく絵画たち— 4.2—4.14 元・立誠小学校  
新美術新聞 1308  
プレイバック・アーティスト・トー

ク 6.14—8.4 東京国立近代美術館  
新美術新聞 1315  
美術手帖 991 熊倉晴子  
毎日夕刊 7.29 岸桂子  
読売 7.4  
文学と美術の出会い—平安時代から江戸時代の物語絵— 11.22—12.26 大和文華館  
文学の彩り 山本有三作品の挿絵と装幀 9.7—2.23 三鷹市山本有三記念館  
東京夕刊 10.4  
文化勲章 最高峰の日本画家たち 12.7—1.26 高崎市タワー美術館  
新美術新聞 1330  
朝日夕刊 12.25 中村和歌菜  
文化人・芸能人の多彩な美術展 2013 上げよう文化の輪・芸術は世界を救う 5.19—5.24 霞が関ビルディング プラザホール(パレスホテル東京、秋田アトリオン、福岡アジア美術館)  
東京 5.17 山岸利行  
新たな国民のたから 文化庁購入文化財展2013 10.12—11.10 滋賀県立安土城考古博物館  
文化庁メディア芸術祭受賞作品展 16回 2.13—2.24 国立新美術館/シネマート六本木/東京ミッドタウン/スーパー・デラックス  
美術手帖 979 竹見洋一郎  
美術手帖 980 竹見洋一郎  
朝日夕刊 2.20  
東京夕刊 3.7 森本智之  
文人画再発見 西谷コレクションを中心に 1.4—2.11 千葉市美術館  
水墨画\* 285

(へ)

平成25年新指定国宝・重要文化財 4.16—5.6 東京国立博物館  
2011.3.11平成の大津波被害と博物館—被災資料の再生をめざして— 5.15—6.22 昭和女子大学光葉博物館(岩手県立博物館、江戸東京博物館)  
毎日夕刊 6.10 栗原俊雄

PAPER 一紙と私の新しいかたち  
一展 7.20—9.8 目黒区美術館  
新美術新聞 1321  
朝日夕刊 8.28  
読売夕刊 8.19 (井)  
ベストセラー作家誕生 ディケンズ  
初版本の世界 ディケンズ生誕二  
百年を記念して 開館82周年記  
念展 5.12—6.9 天理ギャラリ  
ー  
ベストセレクション 美術2013  
5.4—5.27 東京都美術館

(木)

北条時頼とその時代 没後七五〇年  
記念特別展 9.21—10.27 鎌倉  
国宝館  
宝石虫の輝き〜寺林コレクションの  
タマムシたち〜 9.14—1.13 横  
須賀市自然・人文博物館  
ホーロー看板展 11.1—1.19 三十  
坪の秘密基地  
朝日 11.30 横川結香  
ホキ美術館大賞展1回 ホキ美術  
館3周年記念 11.15—5.18 ホ  
キ美術館  
ギャラリー\* 343  
東京夕刊 12.6 藤田一人  
北魏 石造仏教彫刻の展開 9.7—  
10.20 大阪市立美術館  
新美術新聞 1325  
北斎と暁斎 奇想の漫画 4.27—  
6.26 太田記念美術館  
墨蹟 常盤山文庫70周年記念 名  
品展2013 5.16—6.30 鎌倉国  
宝館  
水墨画\* 290  
ポコラート全国公募展 vol. 4  
11.24—12.25 アーツ千代田3331  
美術手帖 999 編集部  
朝日夕刊 12.18  
東京夕刊 11.28 森本智之  
星野画廊動物園へようこそ 画廊に  
棲まう動物たち 日本画・洋画の  
名品選 4.2—6.1 星野画廊  
ボタニカル・イラストレーション  
植物図に見る研究者の視点 4.24  
—7.15 練馬区立牧野記念庭園記  
念館

東京 5.29 竹島勇  
ほっかいどう大マンガ展 7.13—  
9.8 札幌芸術の森美術館  
北海道ロビー絵画展35回 9.5—  
9.11 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1321  
ホルベイン スカラシップ選抜展  
あらたな様相 5.10—5.24 REI-  
JINSHA GALLERY  
美術屋・百兵衛 26 ワシオ・ト  
シヒコ  
Why Not Associates —We Never  
Had a Plan So Nothing Could Go  
Wrong 予定は失敗のもと。未定  
は成功のもと。 6.5—6.29 ギ  
ンザ・グラフィック・ギャラリー  
芸術新潮 764  
ボンジュール、ジャポン ゆかしく  
カワイイ、和のかたちと風景 開  
館15周年記念 3.16—5.6 北区  
飛鳥山博物館  
本の装い百年 近代日本文学にみる  
装幀表現 11.22—1.19 明治大  
学中央図書館ギャラリー  
朝日夕刊 12.4 河原理子  
本牧アートプロジェクト2013  
11.24—12.16 本牧エリア一帯  
美術の窓 365 岡崎松恵

(マ)

マーガレット&別マ創刊50周年展  
in 丸の内 4.26—5.6 丸ビル  
読売夕刊 5.18 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班  
マジックの時間 ザッツエンターテ  
イメントショー 7.20—9.1 名  
古屋市博物館  
魔性の女 挿絵[イラストレーショ  
ン]展 4.4—6.30 弥生美術館  
新美術新聞 1309  
朝日夕刊 6.5 蒔苗沙都子  
産経 4.14  
東京 4.5 竹上順子  
読売 4.20  
マダガスカル 霧の森のくらし  
3.14—6.11 国立民族学博物館  
街の記憶 写真と現代美術でたどる  
ヨコスカ 4.27—6.30 横須賀美  
術館

平成25年美術展覧会(企へ〜ミ)

新美術新聞 1313  
朝日夕刊 6.5 西岡一正  
毎日夕刊 6.5 手塚さや香  
読売 6.20 高野清見  
松平不味屋 不味の茶 4.25—6.24  
島根県立美術館  
生活とアートV 窓花 中国の切り  
紙 黄土高原・暮らしの造形  
10.18—1.28 福岡アジア美術館  
真夏の妖怪大行進! 7.1—9.1 広  
島県立歴史民俗資料館  
Money After Money 信用ゲーム  
2013 5.2—5.26 EYE OF GYRE  
朝日夕刊 5.15 野波健祐  
マリーアントワネット東洋の貴婦人  
キリスト教文化をつうじた東西の  
出会い 3.20—7.28 東洋文庫ミ  
ュージアム  
目の眼 441  
円山応挙 江戸時代絵画 真の実力  
者 3.1—4.14 愛知県美術館  
新美術新聞 1306  
朝日夕刊 3.27 増田愛子  
日経 3.6 宮川匡司  
円山応挙展—相国寺・金閣寺・銀閣  
寺所蔵 開館30周年記念 10.11  
—12.15 相国寺承天閣美術館  
水墨画\* 296  
「漫画少年」とトキワ荘の時代〜マン  
ガが漫画だった頃 8.3—9.1 江  
東区森下文化センター  
東京 8.29 竹上順子  
曼荼羅展 宇宙は神仏で充滿する!  
7.27—9.1 根津美術館  
新美術新聞 1318

(ミ)

三笠宮家ゆかりの染織美 貞明皇后、  
いつくしみの御心 7.27—9.29  
宮内庁三の丸尚蔵館  
ミキモトの広告にみる美の世界 ミ  
キモト真珠発明120周年記念  
12.5—1.13 ミキモト本店  
読売 12.5  
美珠彩[みずいろ]の会4回 2.28  
—3.5 一畑百貨店(松江)  
新美術新聞 1304  
水の国やまなし—信玄堤と甲斐の  
人々—富士の国やまなし国文祭

- 記念事業 3.30—5.27 山梨県立博物館
- 三瀬諸淵 シーボルト最後の門人  
10.9—12.1 愛媛県歴史文化博物館
- ミニマル／ポストミニマル 1970年代以降の絵画と彫刻 2.24—4.7 宇都宮美術館  
新美術新聞 1306 谷新  
朝日夕刊 3.27 大西若人  
毎日夕刊 3.6 三田晴天
- みほとけのかたち—仏像に会う—  
7.20—9.16 奈良国立博物館  
新美術新聞 1320
- みほとけのすがた 10.1—12.15 大分県立歴史博物館
- 美作の美術 美作国建国1300年記念 5.31—6.30 岡山県立美術館  
新美術新聞 1315
- 宮沢賢治 詩と絵の宇宙 雨ニモマケズの心 7.13—9.16 世田谷文学館(そごう美術館、田辺市立美術館、かごしま近代文学館、新見美術館、大丸ミュージアム、駿府博物館、高島屋(名古屋))  
朝日夕刊 7.24 永井美帆  
産経 9.4
- 未来の体温 after AZUMAYA 10.5—11.2 山本現代／アラタニウラノ  
美術手帖 998 土屋誠一 評  
朝日夕刊 10.23  
産経 10.24
- 見ることはさわること?展 7.20—10.14 大岡信ことば館  
毎日夕刊 8.12 大井浩一
- みる、ふれる、きく、アート—感覚で楽しむ美術 とちぎアート・ドキュメント 11.2—12.23 栃木県立美術館  
朝日夕刊 12.18 中村さやか
- 魅惑の清朝陶磁 10.12—12.15 京都国立博物館(長崎歴史文化博物館、奥田元宋小由女美術館、パラミタミュージアム)  
芸術新潮 770  
陶説 728 尾野善裕
- 明清の絵画 山岡コレクション  
10.12—12.8 笠岡市立竹喬美術

館  
水墨画\* 296

(ム)

- 武蔵と武士のダンディズム 1.5—3.10 永青文庫  
新美術新聞 1302  
毎日夕刊 2.25 岸桂子
- 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科テキストスタイル専攻 卒業修了制作展 2.2—2.6 AXIS GALLERY  
AXIS 163 今村玲子
- ムサビ通信・版画コーススタッフ展 7.1—7.6 文房堂ギャラリー  
版画芸術 160
- ムサビのデザインIII デザインが語る企業理念:オリベッティとブラウン 6.3—8.18 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)  
室町から江戸の絵画 開館40周年記念名品展:絵画編 5.18—7.7 香雪美術館  
水墨画\* 290

(メ)

- 明治十二年明治天皇御下命「人物写真帖」—四五〇〇余名の肖像  
1.12—3.10 宮内庁三の丸尚蔵館  
日経夕刊 1.9  
読売 2.27 早川保夫
- 明治・大正・昭和戦前期の宮廷服—洋装と装束— 文化学園創立90周年記念 10.23—12.21 文化学園服飾博物館
- 明治の傑人 岸田吟香〜日本で初めてがいっぱい! 目録・新聞・和英辞書〜 2.2—3.10 豊田市郷土資料館  
新美術新聞 1302
- 明治のころ モースが見た庶民の暮らし 9.14—12.8 江戸東京博物館  
芸術新潮 767  
朝日 9.18  
朝日 9.19 小林淳一
- 名品との出会い 重要文化財3件を初公開 6.6—7.15 サンリツ服部美術館  
水墨画\* 291

- MEDIA PRACTICE 2012—13 東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻年次成果発表会—修士課程修了制作展— 1.18—1.20 東京芸術大学横浜キャンパス  
めでた尽くし 福よ来い!こい!  
1.5—3.20 城陽市歴史民俗資料館
- メント・モリ〜愛と死を見つめて〜 白金アートコンプレックス5周年合同展 4.13—5.18 白金アートコンプレックス  
芸術新潮 762  
美術手帖 985 宮村周子

(モ)

- 最上川流域の文化と景観 5.25—7.15 山形県立博物館
- 木彫あさば会 仏像・仏画展 7.17—7.23 高島屋(名古屋)  
新美術新聞 1318
- モザイク美の世界 時空を超えた東西の技 ヴェネツィアン・グラスと里帰りした箱根寄木細工 4.20—11.24 箱根ガラスの森美術館  
新美術新聞 1311  
朝日夕刊 9.4 中村さやか  
毎日 9.6 三枝泰一  
毎日夕刊 6.21
- 文字の力・書のチカラII—書と絵画の対話 7.6—8.18 出光美術館  
芸術新潮 764  
水墨画\* 292  
朝日夕刊 7.24 宮代栄一  
毎日夕刊 8.1 桐山正寿
- 百舌鳥・古市古墳群出現前夜 4.27—6.30 大阪府立近つ飛鳥博物館
- モダン・パリの装い 19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート 鹿島茂コレクション3  
7.14—9.8 練馬区立美術館  
朝日夕刊 7.17 辻村碧  
産経 8.15 黒沢綾子  
毎日夕刊 8.12 永田晶子  
読売夕刊 8.13 小野寛子
- モノクロームの可能性—印象の墨絵・東寺小幡襖絵を中心に—  
6.1—9.29 京都府立堂本印象美術館

新美術新聞 1315

もののはれと日本の美 4.17—  
6.16 サントリー美術館  
朝日 4.14 西岡一正  
日経 4.24 宮川匡司  
森秀貴・京子コレクションによる現  
代版画 9.14—12.23 三鷹市美  
術ギャラリー

(ヤ)

八重の桜 2013年NHK大河ドラマ  
特別展 3.12—5.6 江戸東京博  
物館(福島県立博物館、京都府京  
都文化博物館)  
新美術新聞 1307  
読売夕刊 4.20  
やきものが好き、浮世絵も好き 山  
口県立萩美術館・浦上記念館名品  
展 6.1—7.15 根津美術館  
新美術新聞 1314

陶説 723 西田宏子/石崎泰之  
/市来真澄/野口剛  
美術の窓 358 編集部  
目の眼 442 西田宏子

やきものタイムカプセル 呼び覚ま  
された多治見工業高等学校秘蔵の  
陶磁器 12.7—2.23 岐阜県現代  
陶芸美術館  
陶説 732 井上隆生

やきものの現在〔いま〕土から成る  
かたち—Part XI 2.10—3.10  
ギャラリーヴォイス  
陶説 721 井上隆生

やきものの現在〔いま〕土から成る  
かたち—Part XII 11.23—1.13  
ギャラリーヴォイス  
陶説 731 井上隆生

屋根裏部屋の博物館 洪沢敬三記念  
事業 9.19—12.3 国立民族学博  
物館

谷保の歌が聞こえる～歌と共にみる  
村の暮らし～ 10.26—12.9 く  
にたち郷土文化館

山岡+石橋コレクションでみる 洋  
画家たちの明治 6.22—9.1 石  
橋美術館

山下八右衛門家秘蔵資料—このまち  
と400年・薬種商が遺した須坂  
7.20—9.16 須坂市立博物館

山寺 後藤美術館コレクション展  
10.20—11.18 Bunkamura ザ・  
ミュージアム(ひろしま美術館)  
新美術新聞 1327

山梨の名宝 10.19—12.2 山梨県  
立博物館

山に魅せられた画家たち Mountain  
Landscape 1.25—3.24 北  
海道立帯広美術館

「山の会」—中山アカデミー 新しき  
風— 5.15—5.31 山手画廊  
美術\* 453

山の神々—九州の霊峰と神祇信仰—  
竈門神社奉祀1350年記念 10.22  
—12.1 九州国立博物館

山々に魅せられた画家たち 10.13  
—1.13 蕨崎大村美術館  
新美術新聞 1327

(ユ)

結の華—佐賀鍋島家と宇和島伊達家  
の幕末・明治— 9.6—10.14 宇  
和島市立伊達博物館

ユートピアを求めて ポスターにみ  
るロシア・アヴァンギャルドとソ  
ヴィエト・モダニズム 松本瑠樹  
コレクション 10.26—1.26 神

奈川県立近代美術館(葉山)(世田  
谷美術館)  
芸術新潮 769 箭内道彦 談

朝日夕刊 11.13 増田愛子  
東京 11.4

東京夕刊 11.26 古川タク  
東京夕刊 11.27 宮沢章夫  
東京夕刊 11.28 唐沢俊一

ユーモアと飛躍—そこにふれる—  
あいちトリエンナーレ2013並行  
企画事業 8.17—10.20 岡崎市  
美術博物館

REAR 31 小林公  
幽霊画展 7.18—7.28 画廊くにま  
つ青山  
読売 7.19

「湯女図」と初期風俗画 3.22—4.24  
MOA美術館  
新美術新聞 1308

UNI展—8人の視座— 2.28—3.6  
ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1304

平成25年美術展覧会(企モ〜ラ)

夢か、現か、幻か What We See  
1.19—3.24 国立国際美術館

(ヨ)

夜明けまえ 知られざる日本写真開  
拓史 北海道・東北編 3.5—5.6  
東京都写真美術館(北海道立函館  
美術館、鶴岡アートフォーラム、  
郡山市立美術館)

芸術新潮 761  
毎日夕刊 2.27

読売 4.4 高野清見  
読売 4.10 三井圭司

読売 4.11 三井圭司  
読売 4.12 三井圭司

ようこそ柄へ!遊ぼうよパラダイス  
8.17—10.20 柄の津ミュージア  
ム

ようこそ、白牙会展へ—茨城洋画界  
の幕開け 再考—茨城の近現代美  
術II 10.26—12.1 茨城県つく  
ば美術館

ようこそ姫路城 名城ふたび 開  
館30周年記念特別展 10.12—  
12.1 兵庫県立歴史博物館

曜変・油滴天目—茶道具名品展—  
受け継がれる東洋の至宝 PartIII  
静嘉堂文庫創設120周年・美術館  
開館20周年記念 1.22—3.24  
静嘉堂文庫美術館

陶説 719 長谷川祥子  
美術手帖 977 清水穰  
産経 1.30 黒沢綾子

横浜赤レンガ倉庫2013—Sho is it!  
— 7.9—7.15 横浜赤レンガ倉  
庫1号館  
ギャラリー\* 340 宗像克元

毎日夕刊 7.11 桐山正寿

横浜港と関東大震災—震災からの復  
興— 9.28—11.17 横浜みなと  
博物館  
読売夕刊 10.15 三木綾

(ラ)

楽歴代名品展 楽家歴代が手本とし  
て学んだ伝来の茶碗 『定本 楽  
歴代』出版記念 3.9—7.7 楽美  
術館  
目の眼 441

LOVE 展 アートにみる愛のかたち  
シャガールから草間彌生・初音ミクまで 六本木ヒルズ・森美術館  
10周年記念展 4.26—9.1 森美術館  
美術の窓 353 荒木夏実  
産経 6.20 渋谷和彦  
東京 4.28 中山岳  
毎日夕刊 8.23 岸桂子  
読売 5.9 高野清見  
読売夕刊 6.1 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班

(リ)

リサーチ☆パラダイス〜潜水と浮上〜 5.18—6.9 ARTZONE  
瓜生通信 59 松尾若菜  
Little Christmas ちいさな版画展  
2013 10.5—12.23 鹿沼市立川上澄生美術館  
版画芸術 162  
リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝 1.5—3.7 高知県立美術館(国立新美術館、京都市美術館)  
美術の窓 353 編集部  
稜の会 5回 8.14—8.20 高島屋(大坂)(高島屋(日本橋、名古屋))  
新美術新聞 1319  
琳派から日本画へ—和歌のころ・絵のころ— 2.9—3.31 山種美術館  
毎日夕刊 3.18 岸桂子

(ル)

ルーヴル美術館展—地中海 四千年のものごと— 7.20—9.23 東京都美術館  
新美術新聞 1320  
美術の窓 353 大橋菜都子  
日経 1.3  
日経 6.16  
日経 7.16 富田律之  
日経 7.21  
日経夕刊 8.13 本村凌二  
日経夕刊 8.14 ヤマザキマリ  
日経夕刊 8.16 市川晃  
日経夕刊 8.17 梶屋友子  
日経夕刊 8.19 志村節子

日経夕刊 9.10 富田律之

(レ)

歴史を伝える資料たち 8.10—9.23  
南丹市立文化博物館  
「LENS 被災地発」読売新聞写真部写真展 4.25—5.8 フォトギャラリーキタムラ新宿  
読売 4.26

(ロ)

ROSE ROSE ROSE 12.4—12.10  
高島屋(日本橋)(高島屋(横浜、岐阜、大阪、名古屋、京都))  
新美術新聞 1330

緑青の美 東南アジアの青銅美術  
2.6—3.31 福岡市美術館

魯山人の宇宙 4.27—6.23 うらわ美術館  
読売夕刊 5.28 島田有美子

ロシアが見たアイヌ文化 ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館のコレクションより 10.11—11.25 小樽市総合博物館(九州国立博物館)

路上から世界を変えていく 日本の新進作家 vol.12 12.7—1.26  
東京都写真美術館  
ギャラリー\* 344

路上と観察をめぐる表現史 1.26—4.7 広島市現代美術館  
朝日 4.2 増田愛子  
読売 3.28 高野清見

ロダンからはじまる彫刻の近代 12.14—3.23 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)  
新美術新聞 1334

六本木アートナイト2013 3.23—3.24 六本木ヒルズ他  
朝日 3.24

六本木クロッシング2013展:アウト・オブ・ダウト—来たるべき風景のために 9.21—1.13 森美術館  
芸術新潮 767  
美術手帖 997 近藤亮介 聞き手・構成  
美術手帖 997 飯田志保子 評  
美術手帖 997 吉竹美香 評

朝日夕刊 12.11 大西若人  
産経 12.19 渋谷和彦  
東京夕刊 9.27 岡部あおみ  
毎日夕刊 12.18 岸桂子  
読売 12.19 井上晋治

ロマンティック・パレエの世界 妖精になったパレリーナ 11.9—12.25 ニューオータニ美術館(兵庫県美術館王子分館)

朝日夕刊 11.27 中村茉莉花  
「ロマンの系譜 怪奇幻想玉手箱」ゴヤからシュルレアリスムへ 4.27—6.30 富山県立近代美術館

(ワ)

YCAM ARCHIVES EXHIBITION

4.20—6.16 山口情報芸術センター  
読売 6.6 白石知子

若梅に撫子 旧高松宮家と伝来の品々 3.26—7.15 宮内庁三の丸尚蔵館  
読売 7.4

わが心の山河 あなたに見せたい風景 寺田コレクション 4.13—6.9 茨城県天心記念五浦美術館  
若狭・多田寺の名宝 2.9—4.7 龍谷大学 龍谷ミュージアム  
目の眼 439

毎日夕刊 3.11 鈴木英生  
和歌と美術—歌のたのしみ、絵のよろこび— 神々の国しまね 古事記1300年 4.20—6.3 島根県立石見美術館

「ワカラナイ」ノススメ 5.25—7.7 茨城県近代美術館

朝日夕刊 6.26 大西若人  
私たちの90年 1923—2013 MOTコレクション 第1部 6.29—9.8 東京都現代美術館  
毎日夕刊 8.14 岸桂子

私たちは越えていく 女性アーティスト展 6.15—7.15 高岡市美術館

私の愛する一点展12回 1.19—3.20 東御市梅野記念絵画館

私の愛する一点展13回 10.26—1.13 東御市梅野記念絵画館  
トーキョー・ストーリー2013 第

3章 私をとりまく世界 7.13—  
9.23 トーキョーワンダーサイト  
渋谷  
東京夕刊 9.11 古谷利裕  
渡辺華山・椿椿山が描く花・鳥・動  
物の美 田原市制施行10周年・  
渡辺華山生誕220年・田原市博物  
館開館20年記念企画展 9.14—  
10.14 田原市博物館  
輪の会4回 3.12—3.23 高輪画  
廊  
新美術新聞 1306  
「わの会」コレクション展9回  
8.15—8.18 ギャラリーアピアン  
ト(ほくさい美術館)  
和様の書 7.13—9.8 東京国立博  
物館  
新美術新聞 1317 島谷弘幸  
目の眼 444 田島充/青井義夫  
朝日夕刊 7.24 宮代栄一  
日経 7.31 宮川匡司  
毎日夕刊 8.5 岸桂子  
毎日夕刊 9.3 桐山正寿  
読売 1.14  
読売 7.4 島谷弘幸  
読売 8.15 高橋裕次  
読売 8.16 池田桂鳳  
読売 8.17 橋本麻里  
読売夕刊 7.18 菅原教夫  
読売夕刊 7.19 菅原教夫  
笑いの中に 近代の戯画・風刺画  
1.29—3.3 町田市立博物館  
朝日夕刊 2.13 塩田麻衣子  
笑う浮世絵—戯画と国芳一門 10.1  
—11.26 太田記念美術館  
われらの地平線2回—いま・新た  
なる二紀展からの発信— 8.7—  
8.13 三越(日本橋)  
新美術新聞 1319 岡部昌幸  
「ONE」—東京工芸大学創造写真研  
究室 有志展 3.13—3.19  
SYMPOSIA  
AXIS 163 今村玲子

作家展

(ア)

ダレン・アーモンド 追考 11.16  
—2.2 水戸芸術館現代美術ギャ

ラリー  
芸術新潮 769  
美術手帖 999 北澤ひろみ  
藍みつる展—風乗り日和— 11.12  
—11.18 月光荘  
新美術新聞 1328  
合阪奈保子展 12.23—12.28 文芸  
春秋画廊  
新美術新聞 1331  
相澤透作品展 8.29—9.4 ギャル  
リー・コパンダール  
新美術新聞 1320  
アイズピリ リトグラフ展[ポール  
・アイズピリ] 12.23—12.28  
ギャラリームサシ  
新美術新聞 1331  
相場るい児—螺旋— 4.13—4.27  
ギャラリー顕美子  
陶説 724 井上隆生  
わたしの相原求—朗一点展 3.19—  
4.7 川越市立美術館(ホクト文化  
ホール、中礼内美術村相原求—朗  
美術館)  
新美術新聞 1307 新井博  
青木恵美子 希望のささやき—  
Whispering hope— 1.12—2.3  
Gallery Forgotten Dreams  
ギャラリー\* 333  
GENOMICA「ゲノミカ」[青木恵美  
子] 6.24—6.30 東邦アート  
新美術新聞 1315  
青木清高作陶展 青磁と天目の世界  
2.6—2.12 三越(日本橋)  
新美術新聞 1302  
陶説 723 唐澤昌宏  
青木繁「海の幸」オマージュ展 8.6  
—8.11 ギャラリーヒルゲート  
(永井画廊)  
新美術新聞 1319  
青木野枝 原形質 12.6—1.11 ギ  
ャラリー・ハシモト  
新美術新聞 1331  
青木勉武展 5.1—5.5 好文画廊  
新美術新聞 1311  
青柳ナツエ展 現代女性と華麗な文  
様の世界 7.2—9.29 南牧村美  
術民俗資料館  
ギャラリー\* 341 ワシオ・トシ  
ヒロ

新美術新聞 1316  
青山熊治展 姫路市立美術館開館  
30周年記念 神戸新聞創刊115周  
年記念 9.14—10.20 姫路市立  
美術館  
新美術新聞 1322  
青山杉雨の時代 生誕百年 1.1—  
2.17 成田山書道美術館  
書道界 278 高橋利郎  
Rouge et Vert 2013[赤池千伶]  
4.22—4.27 ギャラリー—浜  
新美術新聞 1310  
赤木曠次郎展 在パリ50周年記念  
9.25—10.1 三越(日本橋)  
新美術新聞 1323  
4人展[赤田昌子] 10.22—10.27  
ゼフィール  
新美術新聞 1326  
赤塚不二夫のギャグ革命 レッツラ  
ゴン展 12.10—12.27 江東区森  
下文化センター  
読売 12.21  
赤堀尚展—赤の軌跡 画業65年記  
念 4.19—5.19 佐野美術館  
新美術新聞 1310 宝木範義  
美術の窓 355 高山淳  
文字って自由なんだ! 映画タイ  
トルデザイン展[赤松陽構造] 8.3  
—8.18 しいのき迎賓館  
毎日夕刊 8.8  
画家 AKI 絵画展—26th AKI's Birth-  
day— 4.2—4.7 ギャラリーノ  
ア  
東京 4.3 小形佳奈  
秋田雄峰展17回—生きる喜び—  
4.9—4.14 セントラル・アート  
ギャラリー  
新美術新聞 1308  
秋野不矩 インドの風 9.13—  
11.17 浜松市秋野不矩美術館  
新美術新聞 1325  
秋山はるか展—かたちのしま—  
7.5—7.15 京都陶磁器会館  
陶説 726 小吹隆文  
秋山幸 Project N 52 4.13—6.23  
東京オペラシティアートギャラ  
リー  
秋山陽+北村純子展 8.31—9.8  
柿傳ギャラリー

平成25年美術展覧会(作ア)

- 毎日夕刊 8.21 岸桂子  
**秋山陽展** 12.3—1.25 アートコートギャラリー  
 陶説 731 梅田稔  
**一年目の消息 語りかけることができる『君』 赤崎水曜日郵便局開局記念展[浅井裕介]** 9.7—12.1 つなぎ美術館  
 デアルテ 30 楠本智郎  
**生成のヴィジュアル—触発のつらなり[浅井裕介]** 10.19—12.1 タクロウソメヤコンテンポラリーアート柏  
 ギャラリー\* 344 小金沢智  
 美術手帖 998 保坂健二郎 評  
**浅生法子個展** 6.24—6.30 ギャラリームサシ  
 新美術新聞 1315  
**麻田浩回顧展** 7.1—7.13 永井画廊  
 新美術新聞 1316  
 版画芸術 160  
**神田日勝 浅野修 生誕75年記念展** 4.23—5.26 神田日勝記念美術館  
 新美術新聞 1310 赤津侃  
 美術の窓 356 磯部靖  
**浅野修展** 11.20—12.1 夢松洞  
 新美術新聞 1329  
**浅野知寿子展** 4.22—4.27 竹川画廊  
 新美術新聞 1310  
**浅野輝一展「現代の風景から…」** 7.8—7.14 ギャラリーあづま  
 新美術新聞 1316  
**荒井将光・浅野輝一 2人展** 8.25—8.31 ギャラリーはじめ  
 新美術新聞 1319  
**浅野輝一展** 12.2—12.7 ギャラリー一溪  
 新美術新聞 1330  
**4人の漆芸展～川口ゆかりの漆芸作家による～[浅野都]** 2.13—3.3 旧田中家住宅  
 新美術新聞 1304  
**錦龍九十一展[浅見錦龍]** 3.5—3.31 天象画廊  
 新美術新聞 1305  
**浅見哲一 30年の歩み展** 11.5—11.15 金井画廊  
 ギャラリー\* 343  
**浅見文紀 油彩画初個展** 11.24—11.30 埼玉画廊  
 新美術新聞 1329  
**安次嶺金正展 緑の抒情** 9.10—10.27 沖縄県立博物館・美術館  
 デアルテ 30 仲里安広  
**遊馬賢一展** 3.10—3.24 ギャラリーユニコン  
 新美術新聞 1306  
**山の版画家 畦地梅太郎と木版画の詩人 川上澄生** 10.5—12.23 川上澄生美術館  
**与勇輝展—物語のなかに—** 3.2—3.24 川崎市市民ミュージアム  
 新美術新聞 1305  
**MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトボエム** 4.13—6.30 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
 芸術新潮 762  
**100枚のクロッキー展—アトリエ21** 11.26—12.8 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA  
 新美術新聞 1330  
**阿部慎蔵新作油絵展** 4.10—4.26 新生堂  
 新美術新聞 1309  
**阿部典英の世界 “TEN-EI'S ADVENTURES IN WONDERLAND”** 4.12—6.30 アトリエムラギャラリー  
 ギャラリー\* 336  
**阿部直昭油絵作品展～光・風・大地からの恩敬～** 7.10—7.16 小倉井筒屋  
 美術の窓 358 高山淳  
**阿部未奈子 Project N 51** 1.12—3.24 東京オペラシティアートギャラリー  
**雨宮敬子彫刻展—滞標記に寄せて—** 7.6—7.15 和光ホール  
 新美術新聞 1316 瀧梯三  
 美術の窓 358 本江邦夫  
**綾部好男 くらやみ祭画景展 いにしえを明日に伝える** 4.20—5.6 ふるさと府中歴史館  
 産経 4.16  
**阿山隆之個展 阿山くんの世界II** 4.2—4.12 ギャラリー木馬  
 東京 4.8 福岡範行  
 毎日 4.5 黒川将光  
**三又景[荒井経]** 9.2—9.12 ギャラリー和田  
 水墨画\* 297  
**新井光風作品展** 4.2—4.7 東京銀座画廊・美術館  
 ギャラリー\* 336  
 新美術新聞 1308  
**新井淳一の布 伝統と創生** 1.12—3.24 東京オペラシティアートギャラリー(足利市立美術館、町立久万美術館)  
 芸術新潮 759  
 朝日夕刊 3.6 塩見圭  
 毎日夕刊 3.14 永田晶子  
**あらいとしこ展8回** 9.22—9.28 東京交通会館  
 新美術新聞 1322  
**荒井将光・浅野輝一 2人展** 8.25—8.31 ギャラリーはじめ  
 新美術新聞 1319  
**新井光知 日本の四季墨画展 百寿記念** 8.17—8.19 茅ヶ崎市民ギャラリー  
 水墨画\* 296  
**荒木新子展** 5.27—6.8 養清堂画廊  
 版画芸術 160  
**東京ブルース1977[荒木経惟]** 8.24—9.21 タカ・イシイギャラリー  
 産経 9.5 重松明子  
**荒牧万佐写真展 46人の“仕事の現場”** 6.10—6.28 日本記者クラブ9Fラウンジ(毎日新聞東京本社1Fアートギャラリー、セッション杉並展示室)  
 毎日夕刊 6.5  
**有賀明文日本画展** 11.6—11.12 豊田画廊  
 新美術新聞 1327  
**フランシス・アリス 1期メキシコ編** 4.6—6.9 東京都現代美術館  
 朝日夕刊 5.29 西岡一正  
**フランシス・アリス 2期ジブラ**



ルタル海峡編 6.29—9.8 東京  
都現代美術館  
東京夕刊 7.26 古谷利裕  
読売 7.11 井上晋治  
安千龍個展 4.1—4.6 新井画廊  
ギャラリー\* 336  
新美術新聞 1308  
安藤郁子展—風石— 11.6—11.21  
SILVER SHELL  
陶説 730 花里麻理  
墨 変幻自在 安藤天利代・蒲池千  
衣子2人展 10.7—10.12 文芸  
春秋画廊  
新美術新聞 1324  
安野光雅が描いた「御所の花」 7.1  
—7.13 彌生画廊(高島屋(京都、  
大阪、日本橋))  
産経 6.27  
安野光雅が描いた「御所の花」 8.28  
—9.9 高島屋(日本橋)(高島屋  
(京都、大阪)、彌生画廊)  
朝日 8.29  
朝日夕刊 8.27 檀ふみ

(イ)

飯島太久磨回顧展 12.24—12.29  
大黒屋ギャラリー  
毎日夕刊 12.26 桐山正寿  
飯島基展 3.25—3.30 櫛画廊  
新美術新聞 1307  
飯嶋桃代展 新世代への視点2013  
画廊からの発言 7.22—8.3 ギ  
ャラリー東京ユマニテ  
飯嶋桃代展 10.28—11.2 コバヤ  
シ画廊  
ギャラリー\* 342  
飯田キリコ展—premonition—  
8.10—8.25 GALLERY IDF  
ギャラリー\* 340  
近代竹工芸の誕生 二代鳳齋と琅玕  
齋を中心に[飯塚鳳齋/飯塚琅玕  
齋] 4.13—6.2 とちぎ蔵の街美  
術館  
目の眼 440  
東京夕刊 5.10 藤田一人  
飯山由貴 湯気 けむり 恩賜  
9.4—9.18 JIKKA 実家  
美術手帖 995 熊倉晴子  
五百住乙人素描展 4.5—4.16 金

井画廊  
新美術新聞 1309  
美術の窓 355 高山淳  
五十嵐吉彦・水彩スケッチ画展  
10.21—10.27 ギャラリーくぼた  
新美術新聞 1326  
新incubation 5 生田丹代子×佐々  
木友恵 「時代[とき]をかさねる  
一心と技—」 11.22—12.26 京  
都芸術センター  
新美術新聞 1331  
秘密の湖 浜口陽三・池内晶子・福  
田尚代・三宅砂織 5.18—8.11  
ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクシ  
ョン  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1315  
朝日夕刊 7.3 大西若人  
毎日夕刊 7.3 岸桂子  
読売夕刊 7.20  
池口史子展 11.20—11.26 三越  
(日本橋)(三越(大阪、名古屋))  
新美術新聞 1328 土方明司  
美術の窓 362 武田厚  
池田恵美子展 11.9—11.14 Gal-  
lery 風  
新美術新聞 1327  
池田カオル乾漆展—つづく道—  
11.19—11.30 日動画廊(日動画  
廊(名古屋))  
新美術新聞 1329  
美術の窓 362 小森佳代子  
池田清明展—画集刊行記念展—  
5.21—5.27 銀座柳画廊(天満屋  
(福山)、梅田画廊)  
新美術新聞 1312  
美術\* 453  
池田龍雄展 場の位相IV ドロー  
イング 5.7—5.25 ギャラリー  
東京ユマニテ  
ギャラリー\* 338 三田晴夫  
カオスと素心の世界 池田敏幸・谷  
本重義 2.1—2.17 香川県立ミ  
ュージアム  
新美術新聞 1302  
井桁裕子展—陶の人物像— 3.1—  
3.16 乙画廊  
陶説 722 小吹隆文  
名作のアニメ 駒井哲郎・池田満寿

平成25年美術展覧会(作ア、イ)

夫・北川健次によるポエジーの饗  
宴 6.3—6.23 不忍画廊  
読売夕刊 6.10 (清)  
池田満寿夫 配色の美学 12.21—  
7.22 池田満寿夫美術館  
池田良則展—逍遙 スコットランド  
— 12.17—12.25 ギャラリーヒ  
ルゲート  
新美術新聞 1331  
境界域:池田良二&ウォルター・ジ  
ュール版画展 11.7—1.8 カナ  
ダ大使館高円宮記念ギャラリー  
ギャラリー\* 344  
新美術新聞 1329  
版画芸術 162 本江邦夫  
池田良二新作銅版画 海霧の中で  
11.18—12.14 南天子画廊  
ギャラリー\* 344  
新美術新聞 1329  
版画芸術 162 本江邦夫  
読売夕刊 12.9 (睦)  
ベルサイユのばら 40周年記念[池  
田理代子] 9.8—10.14 そごう  
美術館  
朝日 9.18  
池波正太郎 自筆絵画展「ヨーロッ  
パの婦人たち」 12.20—3.19 池  
波正太郎記念文庫  
東京 12.21 丹治早智子  
池平徹兵 project N 53 7.13—  
9.23 東京オペラシティアートギ  
ャラリー  
田中昶恵・井坂健一郎二人展 8.19  
—8.24 文芸春秋画廊  
新美術新聞 1320  
的のその先[伊佐治雄悟] 1.12—  
2.11 アキバタマビ21  
読売夕刊 2.2  
石井晴子展 5.17—6.16 夢の庭画  
廊  
新美術新聞 1312  
石井武夫個展 10.14—10.26 ギャ  
ラリー福山  
新美術新聞 1325  
獨・抱旦・展 游絲逍遙 石井抱旦  
12.2—12.8 ギャラリー志門  
ギャラリー\* 346 宗像克元  
石井美千子人形展 昭和のこどもた  
ち 4.27—6.2 水野美術館

- 新美術新聞 1312  
**石垣栄太郎展 生誕120年記念**  
 9.3—10.20 和歌山県立近代美術館  
 The Exhibition of KATAN ISHIKAWA  
**石川珂旦 美の世界** 4.23—5.6  
 岩崎ミュージアム  
 新美術新聞 1310  
**石川直樹写真展「Lhotse|Manaslu」**  
 6.28—7.28 EYE OF GYRE  
 毎日夕刊 7.8 岸桂子  
**写真家 石川真生 沖縄を撮る**  
 2.2—2.24 横浜市民ギャラリー  
 あざみ野  
 朝日夕刊 2.13  
 毎日夕刊 2.6 岸桂子  
**石川裕彫刻展** 9.2—9.16 ギャラ  
 リーホワイトキューブ  
 美術の窓 360 石川裕  
**石川紫草色の世界展[石川貴啓]**  
 10.23—11.5 三越(大阪)  
 新美術新聞 1326  
**石黒鏘二展 記憶のモニュメント**  
 その軌跡の展開 7.17—9.1 碧  
 南市藤井達吉現代美術館  
 REAR 31 鈴木俊晴  
**石澤久夫作品展109回** 7.3—7.19  
 21世紀堂書店 あそびの窓  
 新美術新聞 1316  
**造形作家・石田歩の世界—工作少年**  
**の造形力** 3.25—5.6 京都工芸  
 繊維大学・美術工芸資料館  
 朝日夕刊 4.17 大西若人  
**石田克個展** 6.30—7.28 SYS-  
 TEMA GALLERY(OSAKA)  
 美術の窓 358 磯部靖  
**石田貞雄 埋む風景** 1.15—1.26  
 中和ギャラリー  
 ギャラリー\* 335 ワシオ・トシ  
 ヒコ  
**石田徹也—ノート、夢のしるし** 9.7  
 —10.27 足利市立美術館(平塚市  
 美術館、砺波市美術館、静岡県立  
 美術館)  
 美術\* 459 雨宮庸介/名古屋覚  
 /和田友美恵  
 朝日夕刊 9.18 岡山朋代  
**マンガのちから 手塚治虫×石ノ森**  
**章太郎** 6.29—9.8 東京都現代  
 美術館(広島県立歴史博物館、大  
 阪歴史博物館、山梨県立博物館、  
 宮城県美術館、長野県信濃美術館)  
 新美術新聞 1316  
 産経 7.4 山田泰弘  
**石橋裕史展** 9.18—9.24 高島屋  
 (名古屋)  
 陶説 728 井上隆生  
**石原太流書展** 3.12—3.17 東京銀  
 座画廊・美術館  
 ギャラリー\* 336 宗像克元  
 毎日夕刊 3.14 桐山正寿  
**居島春生展** 3.6—3.12 高島屋(日  
 本橋)  
 新美術新聞 1305  
**石丸康生展** 10.14—10.19 ギャラ  
 リーなつか/ギャラリーなつかC  
 —View  
 美術の窓 361 高山淳  
**石森寛展** 4.15—4.23 ギャラリー  
 日本橋梅むら  
 新美術新聞 1309  
**Dan Istrate Sculpture** 9.24—10.5  
 ギャラリーせいほう  
 新美術新聞 1323  
**備前 伊勢崎晃一朗陶展** 7.10—  
 7.16 三越(日本橋)  
 陶説 726 外館和子  
**若尾経 伊勢崎晃一朗 中田博士**  
**現代陶芸三人展** 8.29—9.3 な  
 がの東急百貨店  
 陶説 729 唐澤昌宏  
**磯野迪子—Looking into the Street**  
 11.8—11.24 アートフロントギ  
 ャラリー  
 芸術新潮 769  
**磯部光太郎日本画展** 9.26—10.5  
 いつき美術画廊  
 ギャラリー\* 341  
**板谷波山展 没後50年** 10.5—  
 12.8 茨城県陶芸美術館(山形美  
 術館、泉屋博古館分館、兵庫陶芸  
 美術館)  
 陶説 727 花井久徳  
 陶説 731 花井久徳  
 毎日 10.4 岸桂子  
**二人の藝術院会員展 塗師祥一郎・**  
**市村緑郎** 6.8—6.14 埼玉画廊  
 新美術新聞 1313  
**井津由美子 写真展 闇の彼方へ**  
 10.18—11.16 ZEIT—FOTO SA-  
 LON  
 芸術新潮 768  
**一色映理子展 新世代への視点**  
 2013 画廊からの発言 7.22—  
 8.3 ギャラリーQ  
**一色映理子 光のラブレター** 9.5  
 —10.4 gFAL  
 ギャラリー\* 341  
**一色ちか子展** 9.20—10.13 双ギ  
 ャラリー  
**井出日出志 反復景色/Recent**  
**Works** 3.23—4.27 ギャラリー  
 HAM  
 REAR 30 三井和行  
**井手幹夫個展** 9.29—10.5 東京交  
 通会館  
 新美術新聞 1324  
**伊藤慶二展 ペインティング・クラ**  
**フト・フォルム** 8.10—1.13 岐  
 阜県現代陶芸美術館  
 陶説 727 井上隆生  
**伊藤光司郎展 愛思考** 4.21—  
 10.20 風の沢ミュージアム  
 新美術新聞 1310  
**五代伊藤赤水作陶展 人間国宝 無**  
**名異** 5.15—5.21 三越(日本橋)  
 陶説 726 唐澤昌宏  
**伊藤忠雄個展** 6.10—6.16 ギャラ  
 リーあづま  
 美術の窓 357 椎窓猛  
**伊藤晴子展** 11.25—11.30 ギャラ  
 リー銀座アルトン  
 新美術新聞 1329  
**伊藤秀人展** 2.8—2.12 しぶや黒  
 田陶苑  
 陶説 721 花里麻理  
**伊藤誠展「知らない場所」** 11.1—  
 12.1 双ギャラリー  
**稲垣考二展** 7.11—9.29 伊勢現代  
 美術館  
 新美術新聞 1318  
**稲葉明子展** 6.24—6.29 ギャラリ  
 ー・オカベ  
 新美術新聞 1315  
**井上一光個展30回記念展 日中韓**  
**書画代表作家連立個展** 5.23—  
 5.28 福岡アジア美術館

- 美術の窓 357 編集部  
井上勝江一師弟と共に— 2.4—  
2.22 永井画廊  
新美術新聞 1302  
井上勝江 版画展 12.2—12.7 養  
清堂画廊  
美術の窓 363 おおやともね  
井上悟展 12.18—12.24 高島屋  
(日本橋)  
新美術新聞 1330  
西洋美術との出会い 徳島の4人  
原鶴雲 | 井上辨次郎 | 守住貫魚 |  
守住勇魚 10.5—12.1 徳島県立  
近代美術館  
芸術新潮 768  
浮・透・韻・奏 コート・ギャラリ  
ー国立 画廊開設19周年企画[井  
上雅之] 9.5—9.17 コート・ギ  
ャラリー国立  
新美術新聞 1322  
井上萬二白磁展—名陶無雑— 6.15  
—6.24 和光ホール  
新美術新聞 1314  
人間国宝四人展 日本の美 佐賀の  
DNA サガテレビ開局45周年事  
業[井上萬二] 11.29—1.29 佐  
賀県立美術館  
井上八重子展 6.26—7.2 高島屋  
(高崎)  
ギャラリー\* 340 ワシオ・トシ  
ヒコ  
井上有一の小品 9.10—10.10  
KAMIYA ART  
井上有一展 2013シャルジャピエ  
ンナーレ11出品作品10点 9.14  
—9.28 小山登美夫ギャラリー  
井上有一の「花」 9.18—10.7 8/  
ART GALLERY/Tomio Koyama  
Gallery  
猪熊弦一郎展 変化と不変 1.13—  
4.4 丸亀市猪熊弦一郎現代美術  
館  
新美術新聞 1303  
井原宏蒔作品展 fringe of nature  
5.28—6.14 ギャラリール・ペイ  
ン  
芸術新潮 764  
今井アレクサンドル 10.3—10.14  
ギャラリー HANA 下北沢  
産経 10.10 沢沢和彦  
今井俊介「surface/volume」 3.9  
—5.2 ハギワラプロジェクト  
毎日夕刊 4.24 岸桂子  
今井信吾ドロージング展2013  
6.10—6.15 井上画廊  
新美術新聞 1313  
今井信吾展 游々・彩[いろ]と貌  
[かたち] 10.30—11.5 高島屋  
(日本橋)(高島屋(横浜、大阪))  
新美術新聞 1326  
的のその先[今井大介] 1.12—2.11  
アキバタマビ21  
読売夕刊 2.2  
十四代今泉今右衛門展 11.6—  
11.16 松坂屋(名古屋)  
陶説 730 井上隆生  
今岡紫雲英 グループ展31回  
10.29—11.2 東京芸術劇場  
美術の窓 364 編集部  
今川教子新作展 「雨のおと」 7.5  
—7.19 村越画廊  
新美術新聞 1316  
美術\* 454  
今獅子貴美子展—一刻— 6.4—6.9  
兜屋画廊  
新美術新聞 1313  
今津景個展 PUZZLE 3.2—3.30  
山本現代  
美術手帖 984 原田裕規  
毎日夕刊 3.27 岸桂子  
今村紫紅展—横浜のいろ 財団設立  
60周年記念特別展 11.2—12.8  
三溪記念館  
今村源 わた死としてのキノコ  
shizubi project 3 8.6—10.27  
静岡市美術館  
入江一子 シルクロード色彩自在展  
4.5—4.15 かさぎ画廊  
新美術新聞 1308  
入江清美展—思う儘— 9.3—9.15  
B-gallery  
新美術新聞 1321  
入江早耶 見出されたかたち 9.7  
—9.28 東京画廊+BTAP  
芸術新潮 767  
入江波光展 2.2—3.17 笠岡市立  
竹喬美術館  
新美術新聞 1305  
水墨画\* 287  
サラ・イレンベルガー×木之村美穂  
Reality & Fantasy 5.17—8.16  
DIESEL ART GALLERY  
芸術新潮 764  
岩井昌代展 静と動の色彩 12.14  
—12.25 京王プラザホテルロビ  
ーギャラリー  
新美術新聞 1331  
祝迫芳郎展 6.18—6.30 靖山画廊  
新美術新聞 1315  
岩城大介展 10.10—10.15 ぎやら  
りい乃々  
新美術新聞 1325  
ねこ歩き 岩合光昭写真展 5.29—  
6.10 三越(日本橋)(三越(松山、  
札幌、福岡)、大丸(心斎橋)、東  
武(宇都宮、船橋)、近鉄(奈良))  
読売 5.28  
ネコライオン 岩合光昭写真展  
8.10—10.20 東京都写真美術館  
毎日夕刊 10.7 岸桂子  
ちひろの軌跡[いわさきちひろ]  
3.1—5.7 安曇野ちひろ美術館  
安曇野ちひろ美術館 美術館だよ  
り 73 長井瑠子  
ちひろの子ども歳時記 5.10—7.9  
安曇野ちひろ美術館  
安曇野ちひろ美術館 美術館だよ  
り 74 長井瑠子  
ちひろになれる! 7つの法則 —  
技法徹底解剖— 7.12—9.17 安  
曇野ちひろ美術館  
安曇野ちひろ美術館 美術館だよ  
り 75 穴倉恵美子  
ちひろのアトリエ—東京・黒姫—  
9.20—11.30 安曇野ちひろ美術  
館  
安曇野ちひろ美術館 美術館だよ  
り 76 松方路子  
近代日本美術協会選抜作家・岩下春  
夫展 2.24—3.2 東京交通会館  
新美術新聞 1304  
岩田壮平・松村公太二人展—Ses  
sion— 5.1—5.7 高島屋(名古屋)  
(高島屋(横浜))  
美術\* 452 編集部  
岩田明倫の書 2.28—3.10 FEI  
ART MUSEUM YOKOHAMA

新美術新聞 1305  
 毎日夕刊 3.7 桐山正寿  
**岩橋英遠展 生誕110年** 9.7—  
 10.20 滝川市美術自然史館  
 新美術新聞 1324  
 (ウ)  
**生誕100年彫刻家・植木茂とその周  
 辺** 3.20—5.12 下関市立美術館  
 潮流 114 (H)  
**植木寛子 ヴェネチアガラス展**  
 10.2—10.8 伊勢丹(新宿)  
 新美術新聞 1324  
**上田宇三郎展 没後50年—もうひ  
 とつの時間へ—** 12.18—2.16  
 福岡市美術館  
**植田正治の「実験精神」 生誕100年  
 記念特別企画展** 4.27—6.30 植  
 田正治写真美術館  
 毎日夕刊 6.19 清水有香  
**子どもたちの時間 植田正治とロベ  
 ール・ドアノー** 10.5—11.30  
 植田正治写真美術館  
 新美術新聞 1327  
**植田正治のつくりかた** 10.12—1.5  
 東京ステーションギャラリー(岩  
 手県立美術館)  
 新美術新聞 1327  
 朝日 12.15 北澤憲昭  
 朝日夕刊 11.27 西岡一正  
 産経 12.12 渋谷和彦  
 東京夕刊 11.1 古谷利裕  
 毎日夕刊 11.27 岸桂子  
 読売 12.19 前田恭二  
 読売夕刊 11.19 成相肇  
**写真であそぶ 植田正治とジャック  
 ・アンリ・ラルティエ** 11.23  
 —1.26 東京都写真美術館  
 芸術新潮 767  
 朝日夕刊 11.27 西岡一正  
 産経 12.12 渋谷和彦  
 毎日夕刊 11.27 岸桂子  
 読売 12.19 前田恭二  
**上田義彦写真展「M. River」** 3.22  
 —5.5 ギャラリー916  
 芸術新潮 761  
**上ノ大作作品展—ムノウノ人 III—**  
 3.1—3.6 法然院講堂(とるかね  
 ギャラリー)

陶説 721 梅田稔  
**植葉香澄陶展** 5.18—6.1 ギャラ  
 リー顕美子  
 陶説 725 井上隆生  
**吉左衛門 X—上原美智子 染織+樂  
 吉左衛門 陶・茶入 土田半四郎  
 仕服—** 9.21—3.30 佐川美術館  
 新美術新聞 1330 樂吉左衛門  
**GUTAI Chiyu Uemae Special Exhi-  
 bition[上前智祐]** 3.30—6.3  
 Whitestone Gallery  
**上前智祐・最初の始まり・さとかえ  
 りてん** 10.5—11.11 大宮ふれ  
 あい工房  
**上村松園展 名古屋市美術館開館  
 25周年記念** 4.20—6.2 名古屋  
 市美術館  
 新美術新聞 1310  
 美術\* 452 上村淳之/吉田俊英  
**女性たちの物語 松園のモデルとな  
 った才女たち** 8.13—10.14 松  
 伯美術館  
 新美術新聞 1322  
**エリカ・ヴェルズッティ PALETTES**  
 10.20—11.17 MISAKO & ROSEN  
 美術手帖 998 堀内奈穂子  
**ミン・ウォン展 私のなかの私**  
 7.6—9.22 資生堂ギャラリー  
 芸術新潮 765  
 朝日夕刊 9.4 西岡一正  
 産経 8.29 黒沢綾子  
**浮田要三展** 3.3—4.13 Take Ni-  
 nagawa  
 読売夕刊 4.1 (井)  
**芋毛健作 陶展** 4.2—4.13 橋本  
 美術  
 陶説 723 井上隆生  
**宇佐美圭司展 没後一年** 10.12—  
 12.23 セゾン現代美術館  
 朝日夕刊 11.6 大西若人  
 日経 11.13 宝玉正彦  
**牛嶋直子展** 4.1—4.13 ガレリア  
 ・グラフィカ  
 新美術新聞 1308  
**宇治野宗輝 ポップ/ライフ** 3.23  
 —7.15 彫刻の森美術館  
 美術手帖 987 畠中実 評  
 朝日夕刊 5.15 岡山朋代  
 産経 5.2 渋谷和彦

読売夕刊 5.14 黒河内卓郎  
**所蔵 新春展 広重「東海道五十三  
 次」[歌川広重]** 1.1—1.30  
 MOA 美術館  
 新美術新聞 1300  
**一日だけの広重展** 9.6—9.6 足立  
 区東岳寺  
 東京 8.29 奥野斐  
**山河をめぐる—不二三十六景と富士  
 三十六景[歌川広重]** 10.3—12.8  
 中山道広重美術館  
 版画芸術 161 福田訓子  
**広重展 姫路市立美術館開館30周  
 年記念・神戸新聞創刊115周年記  
 念 海の見える杜美術館所蔵**  
 11.2—12.15 姫路市立美術館  
 新美術新聞 1328 平瀬礼太  
**内田鋼一展** 1.19—2.9 ギャラリ  
 ー顕美子  
 陶説 721 井上隆生  
**内田鋼一展—うつわからの風景—**  
 5.10—7.1 パラミタミュージア  
 ム  
 陶説 725 井上隆生  
**内田青虹展—ガラシャと私・そして  
 歴史画—** 11.7—11.13 リベス  
 トギャラリー創  
 新美術新聞 1327  
**宇野信哉 よみがえる江戸の情景**  
 9.14—10.20 武蔵野市立吉祥寺  
 美術館  
 東京 9.16 小松田健一  
**梅佳代展 UMEKAYO** 4.13—6.23  
 東京オペラシティアートギャラリー  
 (新潟県立万代島美術館)  
 東京夕刊 4.19 児島やよい  
 日経 6.13 平野啓一郎  
 毎日夕刊 5.23 手塚さや香  
 読売 5.23 井上晋治  
**梅木仙隆個展 書一筋65年 黒と  
 白の世界にこだわる** 4.2—4.7  
 鳩居堂画廊  
 新美術新聞 1308  
**坂本夏子&梅津庸一「正しい絵画  
 のつくり方」** 7.13—8.10 アラ  
 タニウラノ  
 毎日夕刊 8.6 岸桂子  
**梅原育子 豆の木** 5.28—6.9 ギ  
 ャラリーマロニエ

陶説 725 小吹隆文  
青瓷 浦口雅行展 2013 11.21—  
11.27 丸栄(名古屋)  
陶説 731 井上隆生  
占部史人「火山島の宝貝」展 11.22  
—12.28 GALLERY SIDE 2  
産経 12.5 洪沢和彦

(エ)

琉球展23回 5.17—6.1 ときの忘  
れもの  
江上茂雄 風ノ影、絵ノ奥ノ光 郷  
土の美術をみる・しる・まなぶ特  
別編 10.5—11.10 福岡県立美  
術館  
デアルテ 30 竹口浩司  
額川ゆう子油彩展 5.8—5.14 ヒ  
ルトピアアートスクエア  
新美術新聞 1311  
榮久庵憲司とGKの世界 風が翔  
[ゆ]く 7.6—9.1 世田谷美術館  
朝日夕刊 8.21 大西若人  
産経 8.8  
毎日夕刊 8.5 永田晶子  
江崎城一朗 スケッチ展4回 2.24  
—3.2 新井画廊  
新美術新聞 1304  
日吉猫物語 来往舎現代藝術展10  
[エサシトモコ] 11.2—11.9 慶  
應義塾大学日吉キャンパス 来往  
舎ギャラリー  
海三三 山三三 海老洋 日本画展  
2.20—2.26 三越(日本橋)  
新美術新聞 1304  
海老塚耕一展 9.24—10.5 養清堂  
画廊  
新美術新聞 1323  
海老塚耕一 水辺に佇み・風に触れ  
る 11.1—12.22 カスヤの森現  
代美術館 MUSEUM HAUS  
KASUYA  
ギャラリー\* 344 三田晴夫  
江村正光展—無限なる生成— 4.12  
—6.16 アートギャラリー呼友館  
新美術新聞 1313  
エル・グレコ展 1.9—4.7 東京都  
美術館(国立国際美術館)  
新美術新聞 1301 大橋菜都子  
美術の窓 353 大橋菜都子

朝日 1.15 増田愛子  
朝日 2.3 増田愛子  
朝日夕刊 3.8 高木友絵  
産経 1.27 洪沢和彦  
東京夕刊 4.5 古谷利裕  
日経 1.23 宮川匡司  
毎日夕刊 3.25 岸桂子  
交錯する眼差しの方へII'13書展[遠  
藤香峰] 9.24—10.6 コンチネ  
ンタルギャラリー  
毎日夕刊 10.3 桐山正寿  
遠藤美香展 新世代への視点2013  
画廊からの発言 7.22—8.3 ギ  
ャラリーなつか  
遠藤幹彦彫刻展—静と動— 現代作  
家シリーズ企画展 4.20—5.12  
八戸市美術館  
美術の窓 356 編集部  
アートとデザインの間 ELM15  
[Enlightenment] 9.13—9.30  
EYE OF GYRE  
美術手帖 995 深沢慶太

(オ)

三又景[及川聡子] 9.2—9.12 ギ  
ャラリー和田  
水墨画\* 297  
馬駿・王荻地水墨画展—《墨海騰波  
・花の讃歌》 5.14—5.19 鳩居  
堂画廊  
新美術新聞 1311  
現代の工芸、今—いつつの言葉—  
小川待子 黒田泰蔵 畠山耕治  
扇田克也 高橋禎彦 9.7—11.24  
楽翠亭美術館  
陶説 729 外館和子  
大内田敬油彩画展20回～色彩の交  
響詩[シンフォニー]～ 9.24—  
9.30 阪急(梅田)  
新美術新聞 1323  
オーガフミヒロ洋画展 11.28—  
12.4 東急(渋谷)  
美術\* 459 編集部  
大垣美穂子 project N 54 10.11—  
12.23 東京オペラシティアート  
ギャラリー  
毎日夕刊 12.3 梅津時比古  
交錯する眼差しの方へII'13書展[大  
川寿美子] 9.24—10.6 コンチ

平成25年美術展覧会(作ウ〜オ)

ネンタルギャラリー  
毎日夕刊 10.3 桐山正寿  
超・大河原邦男展 レジェンド・オ  
ブ・メカデザイン 3.23—5.19  
兵庫県立美術館  
産経 2.17  
大久保一丘展 10.26—11.24 常葉  
美術館  
大久保澄子展～実りへの想い～  
5.21—6.2 紅椿それいゆ  
新美術新聞 1311  
大久保澄子展—実りへの想い—  
11.18—11.30 ギャラリー一枚の  
絵  
新美術新聞 1328  
版画芸術 161  
大久保孝子展 10.14—10.19 ギャ  
ラリー暁  
新美術新聞 1325  
大久保陽平展—陶 SOUJI— 12.5  
—12.24 LIXIL ギャラリーガレ  
リアセラミカ  
芸術新潮 770  
大隈武夫御宿展—光と風と砂丘—  
5.2—7.2 月の砂漠記念館  
新美術新聞 1312  
大坂秩加 『Sの外的要素たち』  
5.18—6.15 ギャラリーモモ両国  
芸術新潮 763  
大塩紗永展 連続する風景—窓際  
のスケッチ— 7.1—7.13 シロタ  
画廊  
版画芸術 160  
大下百華展 11.9—11.23 ギャラ  
リーA・C・S  
版画芸術 161  
大島一広展 2.10—2.16 ギャラリ  
ーアーチストスペース  
新美術新聞 1302  
O JUN 展 夢見る、さんの丞 4.3  
—5.18 ミヅマアートギャラリー  
美術手帖 985 熊倉晴子  
西島直紀・O JUN 東京 MAC10回  
4.13—6.30 入善町下山芸術の森  
発電所美術館  
REAR 30 神山亮子  
O JUN 描く児 1982—2013  
12.21—3.2 府中市美術館  
美術\* 463 榎田倫広/仲世古佳

平成25年美術展覧会(作オ)

- 仲ノ森千裕  
美術手帖 1000 簗前知子 評
- 太田國廣展 武蔵野美術学園専任教員退任記念** 1.7—1.15 コート・ギャラリー国立  
美術の窓 352 高山淳
- 大竹伸朗 焼憶展** 2.9—6.9  
INAX ライブミュージアム  
芸術新潮 760  
新美術新聞 1304  
陶説 721 井上隆生
- 女根ノめこん 瀬戸内国際芸術祭2013[大竹伸朗]** 3.20—11.4  
香川・女木島  
芸術新潮 765
- 大竹伸朗展 ニューニュー** 7.13—11.4 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
ギャラリー\* 339  
芸術新潮 765  
新美術新聞 1320  
日経夕刊 7.30 田村広済  
毎日夕刊 8.21 岸桂子  
読売 8.1 木村未来
- 大竹伸朗展 憶速** 7.17—9.1 高松市美術館  
ギャラリー\* 339  
芸術新潮 765  
日経夕刊 7.30 田村広済  
毎日夕刊 8.21 岸桂子  
読売 8.1 木村未来
- 大谷郁代展** 6.24—7.3 ギャラリー和田  
美術\* 454
- 大津英敏の小さな回顧展** 9.30—10.5 吉井画廊  
新美術新聞 1324
- 大津英敏展〜ちいさな大空間〜** 11.30—12.7 京橋画廊  
新美術新聞 1330
- 大塚恭古展一道一** 2.11—2.23 Galerie SOL
- 大月紅石水墨画展** 12.18—12.24 高島屋(大阪)  
新美術新聞 1331
- 的のその先[大野綾子]** 1.12—2.11 アキバタマビ21  
読売夕刊 2.2
- 大野斐風展 「大日本魚類画集」と博**
- 物画にみる魚たち** 7.27—9.23 東京ステーションギャラリー  
芸術新潮 765  
新美術新聞 1320  
美術\* 458 工藤孝浩ノ松崎和実ノ山川望  
産経 8.22 渋谷和彦  
日経 9.11 宮川匡司  
毎日夕刊 9.2 岸桂子  
読売 9.12
- 大野佳典作品展—白磁に刻まれた想い—** 6.6—6.15 西福  
陶説 725 花里麻理
- 大庭英治・斎藤康介二人展** 3.11—3.16 画廊るたん  
新美術新聞 1306
- 大庭英治 水彩画展** 10.12—10.19 ぎやらりいサムホール  
新美術新聞 1325
- 大場再生洋画展** 1.16—1.22 三越(日本橋)(三越(大阪))  
新美術新聞 1300
- 大島裕展** 9.30—10.12 椿近代画廊  
新美術新聞 1324
- 大平實 木と己[きとき] 彫刻ロングランエキシビション田中毅×大平實** 6.1—9.8 GALLERY エクリュの森
- 大森良三・京展—2013—[大森京]** 6.25—6.30 川村記念美術館ギャラリー  
新美術新聞 1315
- 大森良三展 パリのエスプリ** 10.8—10.13 盛久ギャラリー  
新美術新聞 1324
- 大矢紀日本画展 喜寿記念** 5.22—5.28 三越(日本橋)(三越(新潟))  
新美術新聞 1312 川口直宜  
美術\* 453 編集部  
美術の窓 357 小森佳代子
- 大矢亮・山口暁子二人展** 5.21—5.27 そごう(横浜)  
美術\* 453
- 大藪正孝展〜画業50周年—気韻生動—** 1.2—2.3 軽井沢ニューアートミュージアム  
新美術新聞 1300
- 生成のヴィジュアル—触発のつらな**
- り[大山エンリコイサム]** 10.19—12.1 タクロウソメヤコンテナポラリーアート柏  
ギャラリー\* 344 小金沢智  
美術手帖 998 保坂健二郎 評
- 大和田いずみ展 Rhythm** 5.18—6.2 ギャラリー桜の木  
新美術新聞 1311
- 大和田主税展** 9.26—10.1 ギャラリー Via701  
新美術新聞 1323
- 岡義実展 もっと自由に、もっと自在に、もっと楽しく** 9.18—10.1 小田急(新宿)  
新美術新聞 1322  
美術の窓 360 高山淳
- 岡崎由美子日本画展** 3.7—3.13 福屋(広島)  
新美術新聞 1304
- 岡崎洋児絵画展** 7.1—7.7 ギャラリー八重洲・東京  
新美術新聞 1315
- 小笠原美環 beyond silence** 4.11—5.18 SCAI THE BATHHOUSE  
芸術新潮 762
- GENOMICA 「ゲノミカ」[小笠原雄介]** 6.24—6.30 東邦アート  
新美術新聞 1315
- 岡田育美展** 12.4—12.23 いの町紙の博物館  
版画芸術 162
- 岡田菊恵個展** 9.6—9.14 フォルム画廊  
新美術新聞 1321
- 岡田桂山の世界展** 11.3—11.9 ギャラリー白百合  
新美術新聞 1326
- 尾形周平** 3.9—5.26 兵庫陶芸美術館  
陶説 721 梶山博史  
陶説 732 梶山博史
- 岡田忠明 onokoro—原初の彼方へ—** 7.1—7.6 ぎやらりいサムホール  
新美術新聞 1316
- 残響—没後10年—岡野耕三回顧展** 8.6—8.28 永井画廊  
新美術新聞 1320 小川英晴
- 岡野博展** 5.29—6.15 銀座柳画廊

美術\* 453  
未来の考古学 岡部昌生・柴川敏之  
アート・アーチ・ひろしま2013  
9.26—10.14 ギャラリーてんぐ  
スクエア(広島)  
岡村桂三郎展 3.4—3.16 コバヤ  
シ画廊  
新美術新聞 1305  
PAVILION[岡本太郎] 3.30—7.28  
岡本太郎記念館  
芸術新潮 762  
朝日夕刊 4.17 西岡一正  
産経 4.11 篠原知存  
日経夕刊 4.22 窪田直子  
毎日夕刊 4.24 岸桂子  
読売 5.2 井上晋治  
岡本太郎のシャーマニズム展 4.20  
—7.7 川崎市岡本太郎美術館  
花妖 岡本太郎の挿し絵 7.31—  
12.27 岡本太郎記念館  
産経 11.10  
岡本優・岡本修 双子展19回  
8.28—9.2 高島屋(新宿)  
毎日 9.1  
幸せに生き活きと生きる[小川幸治  
／小川幸子] 6.13—6.23 湊3—  
4—9 ギャラリー  
東京 6.9 丹治早智子  
小川華奈代展 11.13—11.22 えす  
ばすミラボオ  
新美術新聞 1328  
小川浩油彩画展 12.3—12.8 長谷  
川画廊  
新美術新聞 1330  
小川待子 「結晶と記憶」 3.16—  
5.2 鎌倉画廊  
ギャラリー\* 335  
小川待子 水晶の時間 4.6—4.21  
ぎゃらりい思文閣  
現代の工芸、今—いつつの言葉—  
小川待子 黒田泰蔵 畠山耕治  
扇田克也 高橋禎彦 9.7—11.24  
楽翠亭美術館  
陶説 729 外館和子  
沖潤子作品展 culte a la carte  
8.10—8.25 COW BOOKS 南青  
山  
芸術新潮 766  
尾木卓弥 form variation 10.5—

10.13 スペース大原  
陶説 729 井上隆生  
奥井ゆみ子展 11.7—12.14 ケン  
ジタキギャラリー  
読売夕刊 11.18 (陸)  
奥田元宋 小由女 響きあう芸術  
[奥田小由女] 10.2—11.10 名  
都美術館  
新美術新聞 1326  
美術の窓 361 跡部祐子  
奥田修—絵画展 12.13—12.17 ギ  
ャラリー野守  
新美術新聞 1331  
奥野誠展—内から外へ— 1.5—  
3.24 川崎市立美術館  
新美術新聞 1302  
奥村土牛 素描・版画展 5.2—  
5.25 永井画廊  
芸術新潮 761  
古径と土牛 小林古径生誕130年記  
念[奥村土牛] 10.22—12.23 山  
種美術館  
新美術新聞 1331  
朝日夕刊 11.13 辻村碧  
産経 12.5  
小栗誠夫展 12.1—12.7 銀座井上  
画廊  
新美術新聞 1330  
小河田鶴子姉妹展 8.1—8.31 ギ  
ャラリー鶴  
新美術新聞 1319  
尾崎慎石彫展 10.16—10.23 ほの  
国百貨店  
新美術新聞 1325  
尾崎慎石彫展 12.4—12.10 豊田  
画廊  
新美術新聞 1329  
尾崎嶺展 7.16—7.27 東邦アート  
ギャラリー\* 339  
新美術新聞 1317  
小澤清人展 5.27—6.2 銀座ギ  
ャラリーあづま  
新美術新聞 1312  
できるかな Can You Do It?[小沢  
剛] 3.19—5.2 MISA SIN GAL-  
LERY  
美術手帖 985 原田裕規  
小沢剛 高木正勝 アフリカを行く  
—日本とアフリカを繋ぐ2人の

平成25年美術展覧会(作オ、カ)

アーティスト— 5.25—6.9 ヨ  
コハマ創造都市センター  
芸術新潮 763  
産経 6.6 黒沢綾子  
東京夕刊 5.31 児島やよい  
毎日夕刊 5.30 岸桂子  
小塩薫陶展 6.15—6.29 ギャラリ  
ー顕美子  
陶説 725 井上隆生  
小野啓 NEW TEXT 5.18—6.23  
AKA(Place M)  
産経 6.13  
小野庄一写真展 体感! 絶景富士  
山頂「天の力」 6.26—7.7 モン  
ベル渋谷店  
読売夕刊 7.6  
小野仁良×鶴見知里 二人展 3.23  
—3.28 Gallery 風  
新美術新聞 1307  
小野月世展—光とともに— 4.9—  
4.22 日動画廊(日動画廊(名古屋  
屋))  
美術の窓 355 高山淳  
鶴岡政男・小山田二郎展 8.19—  
9.20 椿近代画廊  
新美術新聞 1322  
折元立身“BIG BREAD” 5.18—6.2  
Bambinart Gallery  
ギャラリー\* 337  
読売夕刊 5.25  
折本美禰子展 6.15—7.6 ダイヤ  
モンド八ヶ岳美術館ソサエティ  
新美術新聞 1315  
折本美禰子絵画展28回 10.10—  
10.16 京王百貨店(聖蹟桜ヶ丘)  
新美術新聞 1325

(カ)

ジャネット・カーディフ&ジョージ  
・ビュレス・ミラー 「Experi-  
ment in F#Minor(嬰へ短調の実  
験)」 8.7—10.19 ギャラリー  
小柳  
芸術新潮 766  
美術手帖 993 熊倉晴子  
朝日夕刊 9.4 大西若人  
ヴァルダ・カイヴァーノ展 In the  
Studio 11.2—12.7 小山登美夫  
ギャラリー

平成25年美術展覧会(作カ)

美術手帖 998 清水稔  
**カユボット展 都市の印象派**[ギ  
 ュスターヴ・カユボット]  
 10.10—12.29 ブリヂストン美術  
 館  
 新美術新聞 1325 新畑泰秀  
 朝日夕刊 11.6 西岡一正  
 産経 11.14  
 読売 12.6 前田恭二  
 読売夕刊 11.5 新畑泰秀  
**垣内カツアキ展II** 5.5—7.23 伊  
 那アルプス美術館  
 新美術新聞 1312  
**柿下木冠書展7回** 6.11—6.16  
 銀座画廊美術館  
 ギャラリー\* 339 宗像克元  
 毎日夕刊 6.13 桐山正寿  
**鍵谷節子展** 6.19—6.25 高島屋  
 (大阪)  
 新美術新聞 1315  
**垣見久子展** 9.23—9.29 Oギャラ  
 リー  
 新美術新聞 1323  
**加来万周日本画展一煌一** 5.8—  
 5.14 松坂屋(名古屋)  
 美術\* 452  
**筑本生新作デッサン展 パリ・ニュ  
 ーヨーク・ソノマー人物と街並み**  
 5.10—5.31 NORTION GAL-  
 LERY  
 ギャラリー\* 337  
**笠井誠—「静物[もの]」—との語  
 らい** 11.29—12.7 泰明画廊  
 新美術新聞 1329 中村隆夫  
 美術の窓 363 小森佳代子  
**梶なゝ子展 家へかえる** 5.25—  
 6.9 gallery feel art 0  
 陶説 725 井上隆生  
**柏木弘展** 3.25—4.6 ギャルリ  
 SOL  
 ギャラリー\* 337 三田晴夫  
**梶原靖元展** 6.1—6.23 ギャラリ  
 ー器館  
 陶説 724 清水稔  
**加曾利光男水彩画展** 6.26—7.2  
 小田急(新宿)  
 新美術新聞 1315  
**片岡球子 創造の秘密 日本画家の  
 スケッチブックから** 4.6—5.26

神奈川県立近代美術館(鎌倉)  
**片山博文 Facts in Flatness** 7.5  
 —8.3 TARO NASU  
 読売夕刊 7.22 (井)  
**作品でたどる香月の「シベリア」**[香  
 月泰男] 1.8—4.7 山口県立美  
 術館  
 新美術新聞 1307  
**北斎 ポストン美術館浮世絵名品展**  
 [葛飾北斎] 12.21—3.23 名古  
 屋ポストン美術館(神戸市立博物  
 館、北九州市立美術館分館、上野  
 の森美術館)  
 新美術新聞 1332 鏡味千佳  
**桂ゆき—ある寓話— 生誕100年**  
 4.6—6.9 東京都現代美術館(下  
 関市立美術館)  
 美術手帖 989 松井みどり 評  
 朝日夕刊 5.1 大西若人  
 日経 4.18 宝玉正彦  
 毎日夕刊 5.8 岸桂子  
 読売 5.4 芥川喜好  
 読売 5.10 関直子  
**加藤栄三・東一 絵画に描かれた鶴  
 飼** 7.2—9.16 加藤栄三・東一  
 記念美術館  
 新美術新聞 1317  
**かとうかずみ個展—まなかいのゼロ  
 から—** 8.17—9.15 METAL  
 ART MUSEUM HIKARINOTANI  
 ギャラリー\* 340  
**加藤清之展 空間を彩る** 9.10—  
 9.21 橋本美術  
 陶説 728 井上隆生  
**加藤翼展 Still the Never—World**  
 10.26—11.24 無人島プロダクシ  
 ョン  
 美術手帖 998 熊倉晴子  
**加藤委陶展 土に魅せられて** 10.8  
 —10.19 橋本美術  
 陶説 729 井上隆生  
**加藤委・杉浦康益展 日本陶磁協会  
 賞受賞記念** 10.28—11.2 壺中  
 居  
 陶説 730 唐澤昌宏  
**加藤栄三・東一 絵画に描かれた鶴  
 飼**[加藤東一] 7.2—9.16 加藤  
 栄三・東一記念美術館  
 新美術新聞 1317

**加藤智大 太陽と鉄** 11.6—11.25  
 岡本太郎記念館  
 ギャラリー\* 343  
**加藤邦元日本画展—春の桜から始ま  
 る日本の四季—** 3.18—3.31 ギ  
 ャラリー八重洲・東京  
 新美術新聞 1307  
**加藤邦元日本画展** 9.30—10.6 ギ  
 ャラリー八重洲・東京  
 新美術新聞 1323  
**加藤まさのを乙女デザイン展 華や  
 かなる大正抒情画家たち—夢二、  
 かいち、華宵、春佳—** 5.24—6.17  
 美術館「えき」KYOTO(常葉美術館、  
 武蔵野市立吉祥寺美術館)  
 芸術新潮 762  
**日本画家 加藤由利子展** 1.7—  
 3.29 三島信用金庫長岡中央支店  
 新美術新聞 1303  
**加藤ゆわ新作展「ことばあそび、そ  
 のた」** 10.7—10.18 77gallery  
 新美術新聞 1324  
**加藤陽児作陶展** 8.28—9.3 高島  
 屋(名古屋)  
 陶説 728 井上隆生  
**加藤力の輔展** 4.9—4.21 同時代  
 ギャラリー  
 新美術新聞 1309  
**門坂流個展 Engraving** 3.30—  
 4.13 不忍画廊  
 版画芸術 159  
**金井久美子展「小さいもの、大きい  
 こと」** 9.24—10.5 村越画廊  
 新美術新聞 1323  
**金崎秀利展 さくら・さくら・さく  
 ら・さくら—さくら吹雪のなかで  
 —** 12.25—12.31 伊勢丹(新宿)  
 新美術新聞 1331  
**金森宰司展—画家の庭で遊ぶ—**  
 4.9—4.22 日動画廊  
 新美術新聞 1308  
**金森良泰展** 5.26—6.9 ギャラリ  
 ーユニコン  
 新美術新聞 1312  
**金山桂子展** 11.27—12.3 高島屋  
 (日本橋)  
 ギャラリー\* 343  
 新美術新聞 1329  
 美術の窓 365 ワシオ・トシヒ



- コ
- 自然美を謳う 金山平三・佐竹徳の世界 3.9—6.2 笠間日動美術館 芸術新潮 760  
新美術新聞 1308 安井収蔵
- 可児孝之陶展 4.6—4.14 スペース大原  
陶説 723 井上隆生
- トーキョー・アート・ナビゲーション コンペティション受賞作品展 2回[金子朋樹] 3.11—3.29  
BT ギャラリー  
美術手帖 982 小山内あつこ
- 金子元博鉄道写真展—北海道、輝いていた車輛たち— 10.8—10.14  
印象社ギャラリー  
毎日夕刊 10.2 桐山正寿
- 備前 金重懐展 4.3—4.9 松坂屋(名古屋)  
陶説 723 井上隆生
- 備前 金重有邦展 10.23—10.29  
松坂屋(名古屋)  
陶説 729 井上隆生
- 兼田昌尚陶展 1.16—1.22 高島屋(名古屋)  
陶説 720 井上隆生
- 金田恭明展 3.5—3.16 橋本美術  
陶説 722 井上隆生
- 鹿野洋子とその小さな仲間たち展 9.12—9.16 浦安市民プラザ  
新美術新聞 1322
- 加納俊輔 バウムクーヘンとペタツとした表面 1.19—2.9 Maki Fine Arts  
美術手帖 982 清水穰
- LPACK、狩野哲郎「現在民藝館」 4.28—5.26 池上邸  
REAR 30 金井直
- 加納光於 色身[ルウーバ]—未だ視ぬ波頭よ 2013 9.14—12.1  
神奈川県立近代美術館(鎌倉)  
版画芸術 161  
美術手帖 998 森啓輔 評  
毎日夕刊 11.6 岸桂子
- 狩野裕子 軌跡2004—2013 8.29—9.3 コート・ギャラリー—国立  
新美術新聞 1321
- 墨 変幻自在 安藤天利代・蒲池千衣子 2人展 10.7—10.12 文芸
- 春秋画廊  
新美術新聞 1324
- かみかぜいのうえ個展 10.17—10.27 喫茶シエロ  
新美術新聞 1325
- 美の競演 京都画壇と神坂雪佳〜100年の時を超えて〜 京都市美術館・細見美術館コレクションより 4.24—5.6 高島屋(横浜)(高島屋(大阪、京都、日本橋))  
芸術新潮 761  
読売夕刊 4.23 尾崎眞人
- 神近昭個展 6.17—6.23 ギャラリーームサン  
新美術新聞 1314
- 上出恵悟/游谷 4.8—5.5  
Yoshimi Arts  
陶説 723 小吹隆文
- 上出長右衛門窯「丸谷焼コネクション」[上出恵悟] 6.4—6.10 阪急(梅田)  
ギャラリー\* 338
- 上出恵悟 楽園創造[パラダイス]—芸術と日常の新地平— vol.3 7.13—8.24 ギャラリーαM  
芸術新潮 765
- 上根拓馬展 新世代への視点2013 画廊からの発言 7.22—8.3  
Galerie SOL
- 神谷紀雄陶展 鉄絵銅彩 5.11—5.20 和光ホール  
陶説 725 唐澤昌宏
- 香山小鳥:ゆめの日のかけ 没後100年 9.14—12.1 和歌山県立近代美術館
- 柄沢祐輔展/Architectural Practice of the Non-linear Formula ネットワーク的な建築をめざして 2.15—3.27 ブリズミックギャラリー  
東京夕刊 3.1 古谷利裕
- 加寛裕子個展—海譜— 3.26—3.31 アートコンプレックス・センター  
新美術新聞 1307
- ソフィ・カル 最後のとき/最初のとき 3.20—6.30 原美術館  
芸術新潮 761  
朝日夕刊 5.29 大西若人  
東京夕刊 4.12 岡部あおみ
- 日経 5.9 平野啓一郎  
毎日夕刊 6.12 岸桂子  
読売 6.20  
読売夕刊 4.23 坪内雅美
- エミール・ガレ ベスト・オブ・ザ・ベスト 開館30周年記念 4.20—10.20 北澤美術館  
東京夕刊 7.17
- 川井昭夫展 10.12—11.10 なうふ現代  
REAR 31 和歌由花
- 河井寛次郎の陶芸—科学者の眼と詩人の心— 河井寛次郎記念館開館40周年記念 10.5—11.24 瀬戸市美術館(東大阪市民美術センター、はつかいち美術ギャラリー)  
陶説 729 井上隆生
- 川合玉堂—日本のふるさと・日本のこころ— 生誕140年記念 6.8—8.4 山種美術館  
新美術新聞 1315  
美術\* 456 三上美和/加藤良造/小山健二  
美術の窓 353 山崎妙子  
産経 7.7 渋谷和彦  
日経 7.3 宮川匡司  
毎日夕刊 7.22 岸桂子
- 玉堂墨絵の世界 9.5—12.1 玉堂美術館  
毎日 10.22 柴田朗
- 素顔の玉堂 川合玉堂と彼を支えた人びと 11.8—12.8 岐阜県美術館
- 河合勇作展 Migration2013 1.7—1.19 Galerie SOL
- 川上澄生の平峯劉吉時代—岸田劉生に憧れた青春— 7.13—9.29 川上澄生美術館
- 山の版画家 畦地梅太郎と木版画家の詩人 川上澄生 10.5—12.23 川上澄生美術館
- 河上美砂子展—吹き抜ける風— 4.29—5.5 渋谷画廊  
新美術新聞 1310
- 川越悟 ふたつの違い滝 10.10—10.27 gallery 21yo—j  
芸術新潮 768
- 川崎広平 12.7—12.21 YUKI—SIS

平成25年美術展覧会(作カ、キ)

芸術新潮 770  
川島清 スタジオ展示 『路傍ノ一ト』シリーズ 1.10—2.10 川島清スタジオ  
ギャラリー\* 335 三田晴夫  
河島真規子展 11.11—11.16 アートギャラリー銀座  
新美術新聞 1327  
川瀬巴水一生誕130年記念—  
10.27—3.2 大田区立郷土博物館  
芸術新潮 769  
川瀬巴水展—郷愁の日本風景 生誕  
130年 11.26—1.19 千葉市美術館(高島屋(京都、日本橋、大阪、横浜)、山口県立萩美術館・浦上記念館)  
刀匠 河内国平作刀展 名刀にかけ  
る 6.3—7.20 関西大学博物館  
河鍋暁斎の能・狂言画 4.20—6.16  
三井記念美術館(金沢能楽美術館)  
芸術新潮 762  
水墨画\* 290  
UP 488 樋口一貴  
日経 6.1  
河野扶 壁の意志を聴け 1.19—  
3.7 東御市梅野記念絵画館  
新美術新聞 1301  
川端健太郎陶芸展 2.13—2.19 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 721 井上隆生  
川端健太郎 Hommage of Life and  
Eros 9.7—9.29 ギャラリー器  
館  
美術手帖 995 清水穰  
川端文男作陶展 8.28—9.3 西武  
(池袋)  
陶説 728 外館和子  
浮・透・韻・奏 コート・ギャラリ  
ー国立 画廊開設19周年企画[川  
邊耕一] 9.5—9.17 コート・ギ  
ャラリー国立  
新美術新聞 1322  
風凜の会[川又聡] 7.9—7.15 そ  
ごう(横浜)  
美術\* 454  
河村幸次郎と美の世界 芸術は魂の  
たべもの 下関市立美術館開館  
30周年記念 11.14—12.23 下  
関市立美術館

shiseido art egg vol.7 川村麻純展  
3.5—3.28 資生堂ギャラリー  
関万希子展 中世の歌謡—言葉の造  
形— 3.16—3.25 和光ホール  
新美術新聞 1306  
神田日勝 浅野修 生誕75年記念  
展 4.23—5.26 神田日勝記念美  
術館  
新美術新聞 1310 赤津侃  
美術の窓 356 磯部靖  
特集:菅野聖子 7.2—9.29 宮城  
県美術館  
美術手帖 993 五十嵐太郎 評  
菅野祐悟展×映画「インターミッシ  
ョン」 2.23—3.31 RELJINSHA  
GALLERY, Tokyo  
新美術新聞 1304  
(キ)  
紀井學展 8.26—9.1 ギャラリー  
暁  
美術の窓 363 ワシオ・トシヒ  
コ  
菊池証寿個展 7.2—7.20 ギャラ  
リー和  
美術の窓 358 高山淳  
浮・透・韻・奏 コート・ギャラリ  
ー国立 画廊開設19周年企画[菊  
地武彦] 9.5—9.17 コート・ギ  
ャラリー国立  
新美術新聞 1322  
菊地武彦と目白アートのCOLLABO  
展 10.28—11.2 銀座スルガ台  
画廊  
新美術新聞 1326  
生誕100年岸沢武雄鍍金造形展—碧  
空へのいざない— 2.26—3.3  
銀座アートホール  
新美術新聞 1304  
岸田良子展 6.3—9.6 Fuji Xerox  
Art Space  
岸田夏子展—刻・生・宇宙の神秘  
3.6—3.12 三越(日本橋)  
ギャラリー\* 335  
新美術新聞 1305  
雄山家の資料 高岡における岸田劉  
生 9.14—10.20 高岡市美術館  
岸野圭作日本画展—点より線に—  
7.27—9.8 安曇野市豊科近代美

術館  
新美術新聞 1319  
美術の窓 359 高山淳  
風の光景—北久美子が描く夢想園—  
5.3—5.26 北野カルチュラルセ  
ンター  
新美術新聞 1311 宝木範義  
美術\* 452 編集部  
名作のアニメ 駒井哲郎・池田満寿  
夫・北川健次によるポエジーの饗  
宴 6.3—6.23 不忍画廊  
読売夕刊 6.10 (清)  
北川鉄人個展 7.27—7.31 富山県  
民会館  
新美術新聞 1318  
北川麻衣子展 間の森 語り部の歌  
いつかまた逢う者達へ 6.7—  
6.20 泰明画廊  
ギャラリー\* 338  
北郷悟彫刻展 水のまなざし 9.4  
—9.10 三越(日本橋)  
新美術新聞 1321  
美術の窓 360 小森佳代子  
東京 9.5 丹治早智子  
かたちとシミュレーション 北代省  
三の写真と実験 10.19—1.13  
川崎市岡本太郎美術館  
美術手帖 998 榎木野衣  
朝日夕刊 11.13 西岡一正  
備前 北野勝彦作陶展 10.23—  
10.29 三越(大阪)  
新美術新聞 1326  
北野治男素描展 テネシーへの想い  
8.2—9.29 京都府立堂本印象美  
術館  
新美術新聞 1320  
北村佳奈展 朝焼けの奥で深く  
4.13—5.4 galerieH  
ギャラリー\* 336  
秋山陽+北村純子展 8.31—9.8  
柿傳ギャラリー  
毎日夕刊 8.21 岸桂子  
鬼頭恭子展—二科と歩んだ35年—  
3.5—3.10 三鷹市美術ギャラリ  
ー  
新美術新聞 1305 ワシオ・トシ  
ヒコ  
美術の窓 354 高山淳  
絹谷幸二 希望のイメージ 4.13—

## (ク)

- 6.2 平塚市美術館  
新美術新聞 1309  
産経 5.2
- 木野智史展** 1.14—1.26 ギャラリー  
一白3  
陶説 720 小吹隆文
- 木下五郎 彫鍛金展** 9.8—10.14  
信州高遠美術館  
新美術新聞 1322
- 木下晋一祈り一展** 3.4—3.22 永  
井画廊  
産経 2.27
- 木下晋 『はじめての旅』出版によせ  
て** 9.27—10.27 ギャラリー  
TOM  
新美術新聞 1326
- 木下晋展 生命の旅路** 11.12—2.8  
原爆の図丸木美術館  
新美術新聞 1331
- サラ・イレンベルガー×木之村美穂  
Reality & Fantasy** 5.17—8.16  
DIESEL ART GALLERY  
芸術新潮 764
- 木原千春 Vitalism-2** 10.12—  
11.2 ロイドワークスギャラリー  
ギャラリー\* 342
- 木全佑輔展** 9.29—11.3 GAL-  
LERY M  
REAR 31 三輪祐衣子
- shiseido art egg vol.7 ジョミ・キ  
ム展** 2.5—2.28 資生堂ギャラ  
リー  
新美術新聞 1303  
産経 2.13 黒沢綾子  
読売夕刊 2.23
- 金正喜展** 6.24—6.29 Steps Gal-  
lery  
芸術新潮 764
- 金憲鎬 陶展** 12.10—12.21 橋本  
美術  
陶説 731 井上隆生
- 木村荘八 生誕120年** 3.23—5.19  
東京ステーションギャラリー(豊  
橋市美術博物館、小杉放菴記念日  
光美術館)  
新美術新聞 1308  
美術\* 453 小林裕児  
東京 3.4 入江観  
東京夕刊 3.29 藤田一人
- 東京夕刊 4.23 角田光代  
東京夕刊 4.24 原田治  
東京夕刊 4.25 山下裕二  
東京夕刊 4.26 川本三郎  
東京夕刊 4.27 四谷シモン  
東京夕刊 5.1 青木茂  
日経 3.29 窪田直子  
毎日夕刊 4.10 高階秀爾  
読売 4.11 高野清見
- 木村荘八 生誕120年** 7.13—8.25  
小杉放菴記念日光美術館(豊橋市  
美術館、東京ステーションギャラ  
リー)  
新美術新聞 1317
- 木村荘八 歌舞伎絵展** 6.4—7.13  
永井画廊  
芸術新潮 761
- 木村宗平展 BankART Under35/  
2012** 3.22—4.14 BankART  
Studio NYK  
朝日夕刊 4.10 大西若人
- 木村光宏日本画展** 11.17—11.26  
松坂屋(名古屋)  
新美術新聞 1329
- ロバート・キャバ／ゲルダ・タロー  
二人の写真家** 1.26—3.24 横浜  
美術館  
芸術新潮 759  
新美術新聞 1303  
美術手帖 984 増田玲  
朝日夕刊 1.30 石飛徳樹  
産経 2.17 篠原知存  
日経 2.6 窪田直子
- キヨミスヒロシ展[清水九兵衛]**  
5.14—6.9 ギャラリーなかむら  
陶説 725 梅田稔
- 清水六兵衛家一京の華やぎ一** 1.12  
—3.24 愛知県陶磁資料館  
新美術新聞 1302
- 八代清水六兵衛展** 9.18—9.24 高  
島屋(京都)  
陶説 728 梅田稔
- 桐谷善三郎 米寿小品展** 9.23—  
9.29 ぎやらりいサムホール  
新美術新聞 1323
- 金醒石 美の世界展** 5.2—5.8 ホ  
テル椿山荘 アートギャラリー  
新美術新聞 1311
- 具滋賢** 12.2—12.11 シロタ画廊  
版画芸術 162
- ジョセフ・クーデルカ展 Retro-  
spective** 11.6—1.13 東京国立  
近代美術館  
芸術新潮 769 川本三郎  
朝日夕刊 12.11 大西若人  
産経 11.7  
産経 12.22 篠原知存  
毎日夕刊 12.17 岸桂子  
読売夕刊 12.24 増田玲
- 九鬼三郎油彩画展** 3.20—3.26 大  
丸(神戸)  
新美術新聞 1306
- 釘町彰展 - snowscape -** 6.12—  
6.18 三越(日本橋)
- 日下部淑子展一祈り一** 11.12—  
11.17 ギャラリーヒルゲート  
新美術新聞 1328
- わたし超スキッ!! 草間彌生 世界  
を感動させた自己愛** 4.11—9.23  
軽井沢ニューアートミュージアム  
新美術新聞 1319  
朝日夕刊 7.10 岡山朋代  
産経 4.25
- 久住敏之展 隠れ切支丹の祈り**  
11.18—11.23 ギャラリー杉野  
新美術新聞 1328
- あなたの肖像—工藤哲巳回顧展**  
11.2—1.19 国立国際美術館(東  
京国立近代美術館、青森県立美術  
館)  
芸術新潮 772  
美術手帖 999 ドリアン・チヨ  
ン 評/近藤亮介 翻訳  
美術手帖 999 峯村敏明 評  
美術手帖 999 千葉雅也 評  
読売 12.19 木村未来
- 工藤正夫絵画展** 2.17—2.23 東京  
交通会館  
新美術新聞 1303
- ゲルト・クナッパ―回顧展** 11.29  
—1.19 那珂川町馬頭広重美術館  
毎日夕刊 12.4 武田厚
- 國安孝昌展 静かに行くこと、遠く  
内省すること** 8.26—9.14 ギャ  
ラリーなつか

- 産経 8.29  
東京夕刊 9.6 中村英樹
- 久保舎己木版画展—画集出版記念展**  
— 6.3—6.12 あらかわ画廊(樹  
樹画廊、村岡屋ギャラリー、ども  
ギャラリー、山画廊、三重画廊、  
シュール・ラ・モンターニュ(ベル  
リン))  
版画芸術 160
- 久保田済美個展** 3.18—3.23 ギャ  
ラリー白百合  
新美術新聞 1306
- HIRO 展[久保田ひろみ]** 9.17—  
9.22 ギャラリー高倉通  
新美術新聞 1321
- 4人展[久保田満寿]** 10.22—10.27  
ゼフィール  
新美術新聞 1326
- 久保田烈工作陶展** 12.2—12.8 ギ  
ャラリー八重洲・東京  
新美術新聞 1330
- 熊田千佳慕 日本のプチファーブル**  
7.13—9.16 茨城県近代美術館  
朝日夕刊 8.21 中村和歌葉  
読売夕刊 8.20 今瀬佐和
- エミール・クラウスとベルギーの印  
象派** 4.20—5.26 姫路市立美術  
館(東京ステーションギャラリー、  
石川県立美術館、碧南市藤井達吉  
現代美術館)  
新美術新聞 1311
- エミール・クラウスとベルギーの印  
象派** 6.8—7.15 東京ステーシ  
ョンギャラリー(姫路市立美術館、  
石川県立美術館、碧南市藤井達吉  
現代美術館)  
東京 6.3  
東京夕刊 6.28 岡部あおみ  
日経 6.26 窪田直子  
毎日 6.7 岸桂子  
毎日夕刊 6.14 富田章  
毎日夕刊 6.24 岸桂子
- 浮遊するデザイン—倉俣史朗ととも  
に** 7.6—9.1 埼玉県立近代美術  
館  
新美術新聞 1319  
朝日夕刊 8.7 神谷実里  
毎日夕刊 8.26 岸桂子
- 倉本勝博個展** 3.26—3.31 **ダイヤ**  
モンドギャラリー  
新美術新聞 1308
- 栗崎武成個展** 4.28—5.4 東京交  
通会館ゴールドサロン  
美術の窓 356 編集部
- リズベット・スクート・クリスチャ  
ンセン展** 3.29—4.7 ギャルリ  
ー正観堂  
陶説 722 梅田稔
- 栗原一郎〜男と女〜** 11.18—11.30  
東邦アート  
新美術新聞 1328
- 栗原一郎油絵展** 12.18—12.24 三  
越(日本橋)  
新美術新聞 1331
- クリムト 黄金の騎士をめぐる物語  
生誕150年[グスタフ・クリムト]**  
4.21—6.2 宇都宮美術館(長崎県  
美術館、愛知県美術館)  
東京 4.1
- 栗本百合子 異空間プロジェクト  
「記憶の遊園地」** 10.1—10.31  
阿久比町立中央公民館南館  
REAR 31 増田千恵
- アンドレアス・グルスキー展** 7.3  
—9.16 国立新美術館(国立国際  
美術館)  
新美術新聞 1316  
美術手帖 991 遠藤みゆき 評  
朝日夕刊 8.21 西岡一正  
産経 7.28 篠原知存  
東京夕刊 8.2 中村英樹  
日経 7.10 窪田直子  
日経 8.8 平野啓一郎  
毎日夕刊 7.24 岸桂子  
読売 1.14  
読売 4.30 半田行宏  
読売 7.25 前田恭二  
読売 8.29 真野響子  
読売 8.30 石丸幹二  
読売 8.31 ホラン千秋  
読売 9.3 佐藤可士和  
読売夕刊 6.28 長屋光枝/植松  
由佳  
読売夕刊 7.3
- 車戸美智子・優子二人展[車戸優子]**  
10.2—10.8 高島屋(岐阜)  
新美術新聞 1324
- 黒井健 絵本原画の世界〜物語との  
出会い〜** 4.6—5.12 田川市美  
術館  
新美術新聞 1308
- 黒木国昭展** 9.18—9.24 高島屋  
(横浜)  
新美術新聞 1322
- 黒澤信男洋画展** 11.19—11.25 そ  
ごう(横浜)  
新美術新聞 1328
- 黒田アキ『宇宙庭園=コスモガーデ  
ン』+小篠弘子** 11.23—2.23  
KH ギャラリー銀座  
産経 12.12 黒沢綾子
- 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝 信  
濃毎日新聞創刊140周年記念**  
7.13—8.25 長野県信濃美術館  
新美術新聞 1317
- 現代の工芸、今—いつつの言葉—**  
小川待子 黒田泰蔵 畠山耕治  
扇田克也 高橋禎彦 9.7—11.24  
楽翠亭美術館  
陶説 729 外館和子
- 黒田辰秋・田中信行 漆という力**  
1.12—4.7 豊田市美術館  
新美術新聞 1302  
REAR 30 大長智広  
毎日夕刊 4.3 岸桂子
- 黒光茂明展 時を視る** 1.16—1.22  
高島屋(京都)(高島屋(日本橋、横  
浜、米子、大坂、岡山))
- 一年目の消息 語りかけることがで  
きる『君』 赤崎水曜日郵便局開局  
記念展[クワクポリョウタ]** 9.7  
—12.1 つなぎ美術館  
デアルテ 30 楠本智郎
- 桑山玉洲のアトリエ** 4.27—6.2  
和歌山県立博物館  
水墨画\* 290
- 桑山忠明 Titanium—Art as Space,  
Space as Art** 8.10—9.18 名古  
屋芸術大学 Art&Design Center  
REAR 31 清水裕二

(ケ)

**今、慶徳紀子の世界 伊勢と源氏展**  
1.10—1.15 東京芸術劇場  
新美術新聞 1300

## (コ)

鯉江良二展 旅ノ途中 4.18—4.30  
 ギャラリーこぶ春  
 陶説 723 梅田稔

R. Koie Anthology展〔鯉江良二〕  
 6.29—7.1 ギャラリー器館  
 陶説 726 清水稜

小池邦夫の墨世界展 11.5—11.10  
 鳩居堂画廊  
 ギャラリー\* 344 宗像克元

小池公個展 11.4—11.9 ギャラリー  
 ー・オカベ  
 新美術新聞 1327

小泉定弘オリジナルプリント写真展  
 甦る荒川。 3.19—4.21 荒川治  
 水資料館  
 東京 4.12 竹上順子

小泉定弘写真展 「回想の荒川区」  
 5.11—5.19 町屋文化センター  
 読売 5.17

小泉元生展 6.10—6.16 ギャラリー  
 ームサン  
 新美術新聞 1313

郷倉和子 心の調べ 白寿記念  
 9.21—11.24 富山県立近代美術  
 館  
 新美術新聞 1324 川口直宜  
 読売 11.7

緋瀬敏郎&ノロ燐 御空羅供〔ごく  
 らく〕の晚餐 9.12—9.23 セツ  
 寺協同スタジオ／ちくさ正文館書  
 店  
 REAR 31 高橋綾子  
 芸術新潮 767

合田佐和子 アナザーワールドへ  
 6.4—6.23 みうらじろうギャラ  
 リー  
 ギャラリー\* 338

幸田千依展 BankART Under35/  
 2012 3.22—4.14 BankART  
 Studio NYK  
 朝日夕刊 4.10 大西若人

合田三条子個展 10.7—10.12 ギ  
 ャラリー・ラ・リユーシュ  
 新美術新聞 1324

小口一郎木版画展「鉾毒に追われて」  
 2.16—3.3 ひとミュージアム上  
 野誠版画館

毎日 2.11 足立句子

國府理 未来のいえ 6.22—7.28  
 西宮市大谷記念美術館  
 美術手帖 991 中井康之 評

古久保憲満と松本寛庸 スーパーワ  
 ールド・オン・ペーパー Bank-  
 ART Under35/2012 3.22—4.14  
 BankART Studio NYK(ボーダレ  
 ス・アートミュージアム NO-  
 MA、藪工ミュージアム)  
 朝日夕刊 4.10 大西若人

國領経郎展 2.6—3.10 酒田市美  
 術館  
 新美術新聞 1304

小暮芳宏 4.20—4.27 千駄木画廊  
 新美術新聞 1309

黒田アキ『宇宙庭園=コスモガーデ  
 ン』+小篠弘子 11.23—2.23  
 KH ギャラリー銀座  
 産経 12.12 黒沢綾子

伊賀 小島憲二陶展 6.26—7.2  
 高島屋(名古屋)  
 陶説 726 井上隆生

前田寛治と小島善太郎 1930年協  
 会の作家たち 八王子市夢美術館  
 開館10周年 小島善太郎生誕120  
 年 12.7—2.2 八王子市夢美術  
 館  
 新美術新聞 1331

小島弘木彫展 10.15—10.26 フォ  
 ルム画廊  
 新美術新聞 1325

小杉小次郎・森田りえ子二人展  
 7.19—7.25 相模屋美術店  
 新美術新聞 1318

児玉三鈴展 日府展60回記念  
 5.21—5.26 清月堂画廊  
 新美術新聞 1312

牛腸茂雄 第二部「こども」 9.24—  
 10.14 MEM  
 朝日夕刊 9.25 増田愛子

ゴッホ 空白のバリ時代を追う〔フ  
 インセント・ファン・ゴッホ〕  
 5.26—7.15 宮城県美術館(広島  
 県立美術館、京都市美術館)  
 朝日 7.10 増田愛子

後藤仁 絵本原画展 7.1—8.31  
 飛騨絵本美術館ボレボレハウス  
 新美術新聞 1316

小灘一紀絵画展 神々の微笑み  
 11.30—12.8 大黒ホール  
 美術の窓 363 小灘一紀

フランス・ゴノー:別の行き先  
 1.17—3.27 カナダ大使館高円宮  
 記念ギャラリー  
 芸術新潮 759

コノキ・ミクオの詩と芸術展~3.  
 11以後の詩を中心に~ 2.1—  
 3.24 松山庭園美術館  
 ギャラリー\* 334

木島櫻谷—京都日本画の俊英  
 10.26—12.15 泉屋博古館(泉屋  
 博古館分館)

コパーニア風景画展 11.20—11.30  
 創英ギャラリー  
 美術\* 459 編集部

文人画家 冬青 小林勇展 8.31—  
 10.20 東御市梅野記念絵画館  
 芸術新潮 766  
 新美術新聞 1321  
 美術の窓 362 竹田博志

小林かいち 大正~昭和初期に花開  
 いた絵葉書・絵封筒の美 10.3—  
 12.24 竹久夢二美術館  
 朝日夕刊 11.20 土田ゆかり  
 東京 12.21

薄白色の余韻 小林且典 11.2—  
 12.1 兵庫県立美術館  
 芸術新潮 769

小林敬生 陽はまた昇る 版画  
 1967~2012 10.25—11.10 多  
 摩美術大学美術館  
 ギャラリー\* 342  
 新美術新聞 1326  
 版画芸術 161

古径と再興院展の巨匠〔小林古径〕  
 4.15—6.29 敦井美術館  
 新美術新聞 1309

古径と土牛 小林古径生誕130年記  
 念〔小林古径〕 10.22—12.23 山  
 種美術館  
 新美術新聞 1331  
 朝日夕刊 11.13 辻村碧  
 産経 12.5

報じられなかった写真 昭和30年  
 代—写真家・小林新一の820カッ  
 ト 4.27—6.9 新潟市歴史博物  
 館

小林巢居人・恒岳展—故郷[ふるさと]への思い[小林恒岳] 11.29—12.23 茨城県天心記念五浦美術館  
新美術新聞 1330

小林孝亘 夢みる2秒前 9.17—10.19 西村画廊  
毎日夕刊 10.16 岸桂子

再発見!小林徳三郎 12.21—4.6  
ふくやま美術館

小林猶治郎展 超然孤独の風流遊戯  
2.17—4.7 練馬区立美術館  
芸術新潮 761  
新美術新聞 1304  
朝日夕刊 3.13 大西若人  
読売 3.14 上山陽子  
読売 3.15 上山陽子  
読売 3.16 上山陽子

小林抱牛遺墨展—魂はハジケ出る—  
7.17—7.23 上野の森美術館  
ギャラリー\* 341 宗像克元  
毎日 7.13 桐山正寿

絵画、それを愛と呼ぶことにしよう  
vol.9小林正人+杉戸洋 2.9—3.23 ギャラリーαM  
ギャラリー\* 335 名古屋覚  
日経 3.14 平野啓一郎  
読売夕刊 3.4 (井)

小堀進 水彩画展 8.3—9.1 佐倉市立美術館

名作のアニメ 駒井哲郎・池田満寿夫・北川健次によるポエジーの饗宴 6.3—6.23 不忍画廊  
読売夕刊 6.10 (清)

小松修展 7.1—7.7 ギャラリーあづま  
新美術新聞 1316

小松冴果個展 2.18—2.23 銀座スルガ台画廊  
新美術新聞 1303

小松富士子・中畔千嘉二人展  
12.16—12.28 ギャラリー福山  
新美術新聞 1331

小牟田悠介 Color Unfolds 11.20—12.25 SCAI THE BATH-HOUSE  
美術手帖 999 野田吉郎 評

小村希史 私たちのような小さな絵  
4.6—4.21 Showcase MEGUMI

OGITA GALLERY  
ギャラリー\* 337 小金沢智

小柳優衣—fleurir!— 2.1—2.9  
乙画廊  
版画芸術 158

小柳吉次展 4.22—4.28 ギャラリーームサシ  
新美術新聞 1310

小山司雲 書の夢展 10.1—10.31  
シルバーシティ石神井南館  
新美術新聞 1325

ジル・ゴリチ新作展 3.4—3.10  
ギャラリーームサシ  
新美術新聞 1305

クローゼットとマットレス スミル  
ハン・ラディック+マルセラ・コレア展 9.4—11.30 メゾンエルメス8階フォーラム  
読売夕刊 9.9 (睦)

コンタクトゴング 楽園創造[パラダイス]—芸術と日常の新地平—  
vol.4 9.7—10.12 ギャラリーαM  
美術手帖 997 熊倉晴子

近藤亜紀の生態—色から生まれた近藤亜紀— 5.4—5.31 実家 Jikka  
美術手帖 987 熊倉晴子

近藤竜男ドローイング 1955—59  
2.4—2.16 ギャラリー東京ユマニテ

私の海とあなたの海[こんどうゆう]  
6.20—6.25 ギャラリーG2  
毎日 6.21 長谷川豊

(サ)

齋正機展 拝啓 吾妻小富士様  
10.8—10.19 日動画廊  
美術\* 459 金田一好平  
美術\* 459 齋正機

Psychic KAZU ENAMI & NIAMEIA : Healing Art Exhibition 12.16—12.21 文芸春秋画廊  
新美術新聞 1331

齋藤敦子の世界展 風のゆくえ  
7.2—7.6 茅ヶ崎市民文化会館  
新美術新聞 1316

齋藤玄之助卒寿展 5.18—5.26 六町ミュージアム・フローラ  
新美術新聞 1311

齋藤修展 4.1—4.6 養清堂画廊  
版画芸術 159

大庭英治・齋藤康介二人展 3.11—3.16 画廊るたん  
新美術新聞 1306

彫刻のちから 佐伯留守夫・齋藤誠治・篠崎明雄 宇都宮が生んだ彫刻家三人展 1.6—2.11 宇都宮美術館  
新美術新聞 1301

宝箱 齋藤陽道写真展 11.30—3.16 ワタリウム美術館  
東京夕刊 12.27 岡部あおみ  
毎日夕刊 12.9 岸桂子

—四季彩麗—齋藤満栄日本画展  
10.12—10.22 松坂屋(名古屋)(松坂屋(上野)、大丸(京都))  
美術\* 457 編集部

—四季彩麗—齋藤満栄日本画展  
12.4—12.10 大丸(京都)(松坂屋(名古屋、上野))  
新美術新聞 1330

斎藤光晴作品展—水彩— 4.9—4.13 ぎやらりー遊  
新美術新聞 1308

齋藤良夫ふるさと美術展 2.6—2.12 大玉村農村環境改善センター  
新美術新聞 1302

サイトウ良展 9.30—10.13 リーブギャラリー  
新美術新聞 1323

佐伯祐三とパリ ポスターのある街角 大阪新美術館コレクション  
7.5—9.16 島根県立美術館(静岡県立美術館、宇都宮美術館、山梨県立美術館)

彫刻のちから 佐伯留守夫・齋藤誠治・篠崎明雄 宇都宮が生んだ彫刻家三人展 1.6—2.11 宇都宮美術館  
新美術新聞 1301

追悼 ザオ・ウーキー展 6.22—9.18 ブリヂストン美術館  
美術手帖 989 永峰美佳  
産経 7.4 渋谷和彦  
毎日夕刊 8.28

酒井博美展 10.23—10.29 ぎやらりー西利

- 新美術新聞 1326
- 坂井眞理子展 いのちの色・赤  
4.4—6.26 池田20世紀美術館  
新美術新聞 1308
- 人間国宝四人展 日本の美 佐賀の  
DNA サガテレビ開局45周年事  
業〔酒井田柿右衛門(14代)〕  
11.29—1.29 佐賀県立美術館
- 栄木正敏 陶磁 栄木房子 絵画  
ほっとするフォルム展 5.28—  
6.2 ノリタケの森ギャラリー  
陶説 725 外館和子
- 榊貴美展〜スモールワールド〜  
5.29—6.12 RELJINSHA GAL-  
LERY  
新美術新聞 1313
- 坂口健第8回作陶展 「灰刻花」  
2.6—2.19 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1303
- 人間のための建築 建築資料に見る  
坂倉準三 11.27—2.23 国立近  
現代建築資料館  
新美術新聞 1331
- 坂田栄一郎—江の島 7.13—9.29  
原美術館  
芸術新潮 763  
美術手帖 987 藤村里美  
朝日 8.21 近藤康太郎
- 坂田基内展〜私の中のビッグバン—  
出会いの妙・縄文の記憶〜 7.31  
—8.6 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1319
- 坂田武嗣 「風景の記憶」 5.1—  
6.30 奈良文化財研究所飛鳥資料  
館
- 坂本一成 住宅めぐり 5.17—6.30  
八王子市夢美術館  
新美術新聞 1314  
朝日夕刊 5.29 相田香織  
東京夕刊 6.21 古谷利裕  
毎日夕刊 6.24 永田晶子
- 坂本直絵画展 6.3—6.9 ギャラリ  
ー八重洲・東京  
新美術新聞 1313
- 坂本富男拓版画展 9.28—10.6 ギ  
ャラリー蓄音機  
版画芸術 161
- 坂本夏子&梅津庸一 「正しい絵画  
のつくり方」 7.13—8.10 アラ  
タニウラノ  
毎日夕刊 8.6 岸桂子
- さくらももこ ちびまる子ちゃん展  
誕生25周年記念 7.4—9.1 エ  
スパルスドリームプラザ  
東京 7.2
- 櫻井かえで彫刻展「カバと水の中」  
2.25—3.9 ギャラリーせいほう  
新美術新聞 1304  
新美術新聞 1308 油井一人
- 櫻井伸也展 My Favorite Colors  
9.21—10.15 ギャラリーサンセ  
リテ  
REAR 31 櫻井拓
- 櫻井英嘉展—没後初の作品集発刊を  
記念して— 7.1—8.3 ベイスギ  
ャラリー  
ギャラリー\* 341 三田晴夫
- 桜井寛 廃墟、室内、めだま焼き。  
9.18—9.24 高島屋(日本橋)(高  
島屋(京都、大阪))  
新美術新聞 1322
- 柵瀬茉莉子展 BankART Under35/  
2012 3.22—4.14 BankART  
Studio NYK  
朝日夕刊 4.10 大西若人
- 桜井芳彦展 10.7—10.12 ギャル  
リーソレイユ  
新美術新聞 1324
- 桜田晴義展 8.30—9.11 永井画廊  
新美術新聞 1321
- Camellia〔笹井青依〕 6.4—8.10  
アンドーギャラリー  
読売夕刊 7.8 (井)
- 笹川治子 Study Room no.6221—  
Documentation 10.25—11.4  
Yoshimi Arts  
ギャラリー\* 342
- 佐々木信平油絵展 1.9—1.15 三  
越(日本橋)  
新美術新聞 1300  
美術の窓 352 高山淳
- 人間国宝三人展—佐々木苑子・室瀬  
和美・藤沼昇— 8.31—10.2  
MOA美術館  
新美術新聞 1320
- 新incubation 5 生田丹代子×佐々  
木友恵「時代〔とき〕をかさねる  
—心と技—」 11.22—12.26 京  
都芸術センター  
新美術新聞 1331
- 佐々木宗實個展 10.16—10.22 三  
越(仙台)  
新美術新聞 1325
- 佐々木裕而日本画展 閑寂静閑—あ  
さのしじま— 7.31—8.5 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1319
- 佐々木豊油彩展〜水辺〔みずぎわ〕に  
咲け〜 5.22—5.28 松坂屋(名  
古屋)  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1312  
美術\* 452 編集部
- 佐々木里加展 8.7—8.23 REIJIN-  
SHA GALLERY  
新美術新聞 1319
- 佐々木亮暎作品展 9.1—9.15 ギ  
ャラリーユニコン  
新美術新聞 1321
- 定家亜由子日本画展 花/理由  
5.8—5.14 大丸(京都)  
美術\* 452 編集部
- 佐竹雲遊水墨画展 4.30—5.6 東  
京芸術劇場  
新美術新聞 1310
- 自然美を謳う 金山平三・佐竹徳の  
世界 3.9—6.2 笠間日動美術館  
芸術新潮 760  
新美術新聞 1308 安井収蔵
- 佐藤育余展 11.4—11.9 文芸春秋  
画廊  
新美術新聞 1327
- 佐藤温展 9.14—9.21 ギャラリー  
枝香庵  
新美術新聞 1322
- 安田菜津紀・佐藤慧・渋谷敦志写真  
展「舩 ファインダー越しの3  
・11」 4.13—4.22 コニカミノ  
ルタプラザ  
毎日 4.17 山本浩資
- 岐阜県美術館所蔵 これなんだ?  
佐藤慶次郎のつくった不思議なモ  
ノたち 7.13—8.17 佐世保市博  
物館島瀬美術センター(安城市民  
ギャラリー、小金井市はげの森美  
術館)  
REAR 31 淵田雄

佐藤泰生展 風と光と夢 4.3—4.9  
高島屋(日本橋)(高島屋(横浜、大阪、名古屋))  
新美術新聞 1308 中村隆夫

佐藤太清展 生誕100年 6.21—8.4  
富山県水墨美術館(板橋区立美術館、京都文化博物館、茨城県天心記念五浦美術館、新見美術館、福知山市佐藤太清記念美術館)  
新美術新聞 1317  
美術の窓 357 安田晴美

佐藤太清展 生誕100年 10.5—11.10  
板橋区立美術館(富山水墨美術館、京都文化博物館、茨城県天心記念五浦美術館、新見美術館、福知山市佐藤太清記念美術館)  
新美術新聞 1326

佐藤太清展 生誕100年 12.22—2.9  
京都文化博物館(富山水墨美術館、板橋区立美術館、茨城県天心記念五浦美術館、新見美術館、福知山市佐藤太清記念美術館)  
新美術新聞 1330 安田晴美

佐藤卓展「ご自由に上がってお使いください。」 4.2—8.29  
京都造形芸術大学人間館1階エントランスラウンジ  
新美術新聞 1314

佐藤千穂 湖より生る 7.23—8.11  
洞爺湖芸術館

佐藤美智子展 1.7—1.13  
ギャラリー日比谷  
新美術新聞 1300

佐藤瑞玲展 8.29—9.4  
トキハ(大分)  
新美術新聞 1321

佐山道知 彫刻展 7.2—7.14  
ギャラリーあらしき  
新美術新聞 1316

佐脇健一展 未来の記憶 4.3—6.9  
目黒区美術館(大分市美術館)  
朝日夕刊 5.29  
東京夕刊 4.26 中村英樹

澤田知子展 「SKIN」 1.12—2.24  
MEM  
ギャラリー\* 333  
毎日夕刊 1.23 岸桂子

(シ)

JR展 世界はアートで変わっていく 2.10—6.2  
ワタリウム美術館  
朝日夕刊 6.19 大西若人  
読売 6.20

塩田千春展—ありがとうの手紙 7.7—9.23  
高知県立美術館  
KENBI LETTER 81 松本教仁  
聞き手  
朝日夕刊 8.28 森本俊司  
毎日夕刊 8.15 清水有香

四籠公子展 11.25—11.30  
新井画廊  
新美術新聞 1329

重田恵美子の世界展 6.26—7.2  
高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1315

重野克明 版画の鬼と化す、 10.9—10.28  
日本橋高島屋6F美術画廊X  
芸術新潮 768

ホセ・マリア・シシリア 福島 冬の花 10.4—12.1  
福島県立美術館

一年目の消息 語りかけることができる『君』 赤崎水曜日郵便局開局記念展[下道基行] 9.7—12.1  
つなぎ美術館  
デアルテ 30 楠本智郎

設楽知昭 モレスキンの大きなノート 3.30—4.27  
STANDING PINE  
REAR 30 千葉真智子

志野和男 新作ペーパースクリーン 2013「原初」「波動」 8.29—9.21  
ギャラリーブチフォルム  
版画芸術 161

彫刻のちから 佐伯留守夫・齋藤誠治・篠崎明雄 宇都宮が生んだ彫刻家三人展 1.6—2.11  
宇都宮美術館  
新美術新聞 1301

篠田桃紅 百の譜 1990— 1.8—5.19  
篠田桃紅美術空間  
読売 2.14 高野清見

篠田桃紅 百の譜 1950—1960's 1.11—5.23  
岐阜現代美術館

読売 2.14 高野清見

篠田桃紅 百の譜 1970—1990's 3.15—5.12  
岐阜県美術館

読売 2.14 高野清見

篠田桃紅 百の譜 4.6—4.14  
光芳堂  
読売 2.14 高野清見

篠田桃紅の墨象 百の記念展 4.13—5.26  
菊池寛美記念智美術館  
新美術新聞 1309  
版画芸術 159 花里麻理  
産経 5.9 渋谷和彦

反芻 篠原有司男 4.13—5.26  
川口市立アートギャラリー・アトリア  
読売 5.9

2000年後の小学校 柴川敏之×てんとむしプロジェクト  
PLANET SCHOOL 3.5—3.30  
京都芸術センター

未来の考古学 岡部昌生・柴川敏之 アート・アーチ・ひろしま2013 9.26—10.14  
ギャラリーてんぐスクエア(広島)

柴田長俊展 祈りの風景 9.7—11.4  
飯山市美術館  
新美術新聞 1323

柴田長俊展 おやひこさま逍遥 伊夜比古十二景 9.28—11.24  
弥彦の丘美術館  
新美術新聞 1323

柴田雅章 クライヴ・ボウエン 二人展 第3回 9.21—9.29  
ギャラリー・セントアイヴス

柴辻かおり「日本画展」 3.25—4.6  
十一月画廊  
新美術新聞 1308

澁川轟展 10.23—10.28  
そごう(千葉)  
新美術新聞 1326

安田葉津紀・佐藤慧・渋谷敦志写真展 「舩 ファインダー越しの3・11」 4.13—4.22  
コニカミノルタプラザ  
毎日 4.17 山本浩資

島州一展「銀河鉄道77」 4.5—4.28  
双ギャラリー

島剛の陶—生命と自然のあいだに— 1997—2003 屋久島体験 前と



後 2004~2012 2.16—2.27  
 アカデミア・プラトニカ  
 陶説 721 外館和子  
**島崎庸夫作品展 傘寿記念** 10.2—  
 10.8 高島屋(高崎)  
 美術の窓 361 高山淳  
**嶋田二人展 3回[嶋田正之/嶋田澄  
 子]** 5.6—5.12 ギャラリーくぼ  
 た  
 新美術新聞 1311  
**嶋津俊則作品展 パリの街角・ヴェ  
 ニスを中心に** 8.22—8.28 近鉄  
 タワー館  
 美術の窓 360 編集部  
**島橋宗文個展** 1.8—1.31 三重画  
 廊  
 美術の窓 352 高山淳  
**島袋道浩:能登** 4.27—3.2 金沢  
 21世紀美術館  
**清水栄子展** 11.8—11.19 ギャラ  
 リー永井  
 新美術新聞 1327  
**清水新也油絵展** 5.1—5.7 西武  
 (池袋)  
 新美術新聞 1311  
**清水達三展 喜寿記念** 10.30—  
 11.5 高島屋(大阪)(高島屋(日本  
 橋、京都、横浜、米子))  
 美術の窓 362 高山淳  
**清水達三展 喜寿記念** 11.20—  
 11.26 高島屋(日本橋)(高島屋  
 (京都、横浜、米子、大阪))  
 新美術新聞 1329  
**志村幸男油彩画展** 8.15—9.21 東  
 急(たまプラーザ)  
 新美術新聞 1319  
**志村リョウ きっかけのカタチ**  
 7.30—9.8 KONCENT  
 東京 8.27 白杵秀之  
**下岡美智子絵画展** 12.8—12.15  
 ぎゃらりーシムコ  
 新美術新聞 1330  
**下垣内岳個展** 11.21—11.27 ギャ  
 ラリー絵夢  
 ギャラリー\* 343  
**下条孟 原画展 沖縄の海** 7.30—  
 8.4 世田谷美術館  
 朝日 7.27 吉本美奈子  
**下村観山 生誕140年記念** 12.7—

2.11 横浜美術館  
 ギャラリー\* 344  
 新美術新聞 1331  
 水墨画\* 297  
 朝日夕刊 12.25 大西若人  
 産経 12.15 渋谷和彦  
**シャガール展[マルク・シャガール]**  
 6.29—8.25 北海道立近代美術館  
 (宮城県美術館、広島県立美術館、  
 静岡市美術館、愛知県美術館)  
 美術の窓 353 佐藤幸宏  
**マリオ・ジャコモメリ展 THE  
 BLACK IS WAITING FOR THE  
 WHITE** 3.23—5.12 東京都写  
 真美術館  
 産経 4.25  
**謝花翔陽 アメジスト/月に向かっ  
 て吠え立てる犬/そして僕は橋を  
 焼く** 11.16—12.8 Bambinart  
 Gllaery  
 ギャラリー\* 345 小金沢智  
 美術手帖 999 梅沢和木  
**張曉東展** 9.16—9.21 シロタ画廊  
 版画芸術 161  
**集治千晶展一人形遊び—** 4.15—  
 4.27 シロタ画廊  
 版画芸術 159  
**境界域:池田良二&ウォルター・ジ  
 ュール版画展** 11.7—1.8 カナ  
 ダ大使館高円宮記念ギャラリー  
 ギャラリー\* 344  
 新美術新聞 1329  
 版画芸術 162 本江邦夫  
**グレゴール・シュナイダー Golden  
 Lion 2001—2013** 10.18—12.14  
 WAKO WORKS OF ART  
 芸術新潮 768  
**スヌーピー展 しあわせは、きみをも  
 っと知ること。[チャールズ・  
 モンロー・シュルツ]** 10.12—  
 1.5 森アーツセンターギャラリ  
 ー  
 朝日 9.11  
 朝日 10.3 山田優  
 朝日夕刊 11.25 祖父江慎/糸  
 井重里  
**庄子和宏展 新世代への視点2013  
 画廊からの発言** 7.22—8.3 コ  
 バヤシ画廊

平成25年美術展覧会(作シ、ス)

「祈り」 荘司貴和子展 刻[とき]の  
 審判の場へ— 10.26—1.13 東  
 御市梅野記念絵画館  
 産経 11.28 渋谷和彦  
**ジョーン・ジョナス Reanimation**  
 2.2—3.2 WAKO WORKS OF  
 ART  
 美術手帖 984 熊倉晴子  
**しりあがり寿×広重 『弥次♡喜多  
 in 東海道』** 4.16—7.15 東海道  
 広重美術館  
 東京 5.8 石原猛  
**アダム・シルヴァーマン Space**  
 11.13—12.2 8/ART GALLERY/  
 Tomio Koyama Gallery  
 芸術新潮 769  
**城田圭介 Tracing/Background**  
 9.6—10.12 ベイスギャラリー  
**代田盛男洋画展** 1.22—1.28 そご  
 う(横浜)  
 新美術新聞 1301  
**代田盛男個展** 8.21—8.27 小田急  
 (新宿)  
 新美術新聞 1320  
**水墨画 沈和年展 翠風会会員選抜  
 展** 5.21—5.30 京王プラザホテ  
 ル・ロビーギャラリー  
 新美術新聞 1312  
 水墨画\* 292  
**神農斎陶展 堆磁** 5.1—5.7 三越  
 (日本橋)  
 陶説 724 唐澤昌宏  
 (ス)  
**水津保美展** 12.9—12.18 ギャラ  
 リー惣  
 版画芸術 162  
**末永敏明絵画展—幾星霜・幾成層—**  
 10.9—10.15 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1325  
**須賀一(84才)・一樹(16才)爺・孫  
 二人展 上野駅130周年写真展  
 [須賀一樹]** 9.13—9.19 ギャラ  
 リー・アートグラフ  
 東京 9.11 丹治早智子  
**菅沼荘二郎展 油彩画 水彩画**  
 1.7—2.3 菅沼ギャラリー  
 ギャラリー\* 333  
**菅原健彦展** 9.20—10.12 ギャル

リーためなが  
水墨画\* 297

杉浦功悦 7.10—7.23 中長小西  
芸術新潮 765

杉浦大和+友枝憲太郎+松浦寿夫  
「許された果実」 5.7—5.25 な  
びす画廊  
東京夕刊 5.17 古谷利裕

加藤委・杉浦康益展 日本陶磁協会  
賞受賞記念 10.28—11.2 壺中  
居  
陶説 730 唐澤昌宏

「猫なんかよんでもこない。」展[杉  
作] 11.23—11.29 ぬいじう  
産経 11.26 重松明子

杉田和美展 1.21—2.2 コパヤシ  
画廊  
新美術新聞 1301

杉田洋一展—いとおしき、いろ・か  
たち— 9.23—10.2 金井画廊  
ギャラリー\* 341

絵画、それを愛と呼ぶことにしよう  
vol.9小林正人+杉戸洋 2.9—  
3.23 ギャラリーαM  
ギャラリー\* 335 名古屋寛  
日経 3.14 平野啓一郎  
読売夕刊 3.4 (井)

ヴィエスワーフ・スキピンスキ展  
12.13—12.28 ギャラリー・アス  
ティオン  
版画芸術 162

杉村勇展 生きた色調の響き 画道  
40年 4.27—5.19 モンミュゼ  
沼津(沼津市庄司美術館)  
新美術新聞 1310

BLACKS ルイズ・ニーヴェルス  
ン|アド・ラインハート|杉本博  
司 2.2—4.14 川村記念美術館  
芸術新潮 760

杉本聖奈個展 こころの絵カードの  
世界・散歩 3.30—4.7 寺町美  
術館  
東京 3.30 丹治早智子

杉本吉武のベスト100ポスター展  
1963—2013・デザイン半世紀  
9.28—11.24 萬鉄五郎記念美術  
館

コレクター鈴木常司 美へのまなざ  
し 第III期 杉山寧とポーラ美

術館の絵画 3.1—7.7 ポーラ美  
術館  
産経 3.17 渋沢和彦

杉山寧展 日本画を超えた日本画家  
—悠久なる刻[とき]を求めて—  
3.6—3.25 高島屋(日本橋)(松坂  
屋美術館、高島屋(京都、横浜))  
新美術新聞 1306 川口直宜  
美術\* 452 川口直宜/森脇正人  
/小金沢智  
読売夕刊 3.5 金原宏行

鈴木淳子展 木版画の詩人 9.6—  
11.4 瀬戸内市立美術館  
版画芸術 161

鈴木恵麻作品展 『更生保護』表紙絵  
による 9.2—9.15 ナカジマア  
ート  
新美術新聞 1321

泥象 鈴木治の世界 「使う陶」から  
「観る陶」、そして「詠む陶」へ  
7.12—8.25 京都国立近代美術館  
(愛知県陶磁美術館、東京ステー  
ションギャラリー、山口県立萩美  
術館・浦上記念館)  
新美術新聞 1318 中尾優衣  
陶説 727 梅田隼  
日経 7.21

泥象 鈴木治の世界 「使う陶」から  
「観る陶」、そして「詠む陶」へ  
10.12—12.23 愛知県陶磁美術館  
(京都国立近代美術館、東京ステー  
ションギャラリー、山口県立萩美  
術館・浦上記念館)  
美術の窓 363 竹田博志  
REAR 31 堀尾美紀

四時友遊 人間国宝 鈴木藏 9.18  
—9.24 三越(日本橋)  
新美術新聞 1323

鈴木久美子油彩画展 6.25—7.1  
三越(新潟)  
新美術新聞 1315

鈴木五郎 陶展—馬— 11.30—  
12.21 ギャラリー顕美子  
陶説 731 井上隆生

鈴木紗綾香展 7.15—7.21 Oギャ  
ラリーUP・S  
版画芸術 160

鈴木俊輔展 新世代への視点2013  
画廊からの発言 7.22—8.3 な

びす画廊  
鈴木真吾 銅版画展～奇蹟の版画技  
法・スティブル・エングレーヴィ  
ング～ 6.1—6.8 ギャラリー日  
比谷  
版画芸術 160

鈴木吐志哉展 1.21—1.27 Oギャ  
ラリー  
版画芸術 158

鈴木のりたけ絵本原画展 『しごと  
ば』大集合!! 1.5—2.11 田川市  
美術館  
デアルテ 30 徳永恵太

鈴木秀昭 作品展—Cosmic World  
— 3.16—3.31 ギャラリー芽楽  
陶説 722 井上隆生

鈴木美江展—飛翔の明日へ— 2.28  
—3.6 上野の森美術館  
新美術新聞 1304  
美術の窓 354 瀧梯三

鈴木利久 4.2—4.7 高知市文化プ  
ラザかるぼーと  
新美術新聞 1308

鈴木理策 アトリエのセザンヌ  
2.9—3.27 ギャラリー小柳  
美術手帖 984 光田由里

鈴木理策 半島/Peninsula 10.9  
—12.6 空蓮房  
美術手帖 999 熊倉晴子

人間国宝四人展 日本の美 佐賀の  
DNA サガテレビ開局45周年事  
業[鈴木滋人] 11.29—1.29 佐  
賀県立美術館

須田一政 凧の片 9.28—12.1 東  
京都写真美術館  
EYES 78 須田一政 談/丹羽晴  
美 インタビュー/富田秋子 構成  
美術手帖 997 調文明 評  
朝日夕刊 10.16 西岡一正  
産経 9.19  
毎日夕刊 11.20 岸桂子  
読売 10.3 森田睦

交錯する眼差しの方へII'13書展[須  
田廣充] 9.24—10.6 コンチネ  
ンタルギャラリー  
毎日夕刊 10.3 桐山正寿

エドワード・スタイケン写真展 モ  
ダン・エイジの光と影 1923—  
1937 1.26—4.7 世田谷美術館

新美術新聞 1304  
朝日夕刊 3.27 西岡一正  
須藤和之展「風ノ彩」 6.10—6.20  
ギャラリー和田  
新美術新聞 1313  
須藤美香 たいやきの旅 9.19—  
9.23 千住宿歴史プラテラス  
東京 9.21 奥野斐  
須藤美保展 6.24—7.6 いりや画  
廊  
新美術新聞 1315

Do you Nuno? 須藤玲子とNUNO  
の世界 5.15—6.10 松屋(銀座)  
読売夕刊 5.20

平成24年度鳥取県文化功労賞受賞  
記念巡回展 井上嘉明・角護  
2.2—2.10 とりぎん文化会館(米  
子コンベンションセンター、倉吉  
博物館)  
美術の窓 354 高山淳

鷺見和紀郎展 「叫びと囁き」 3.1  
—3.31 gallery 21yo-j  
ギャラリー\* 336 三田晴夫  
芸術新潮 761  
東京夕刊 3.15 中村英樹  
鷺見和紀郎展 「叫びと囁き」 3.1  
—4.7 ギャラリー古今  
ギャラリー\* 336 三田晴夫  
芸術新潮 761  
東京夕刊 3.15 中村英樹

## (セ)

清野祥一 西村陽平 6.29—9.22  
瀬戸市新世紀工芸館  
陶説 726 井上隆生  
清宮質文〜照沼コレクションを中心  
に 7.4—9.2 須坂版画美術館  
版画芸術 160  
清宮質文展〜絵は詩のように 詩は  
絵のように 〜A氏コレクション  
を中心に〜 7.19—10.1 脇田美  
術館  
新美術新聞 1317  
瀬川明甫個展 5.20—5.25 アート  
ギャラリー銀座  
新美術新聞 1312  
瀬川麻衣子展「Garden and landry」  
2.23—3.9 ギャラリーA・C・S  
REAR 30 日沖隆

関月子展—記憶の街— 11.4—  
11.10 ギャラリー志門  
ギャラリー\* 343  
新美術新聞 1327  
関口春芳 悠久の美に魅せられて  
9.10—9.15 東京セントラル美術  
館  
毎日夕刊 9.7 桐山正寿  
関口聖子展 7.2—7.13 ギャラリ  
ー惣  
新美術新聞 1316  
美術の窓 358 高山淳  
絵画あるいは戦いの日々 関根勢之  
助 1929—2003 6.1—7.15 京  
都市立芸術大学ギャラリー@  
KCUA  
新美術新聞 1314  
線幸子展 Layer—彼方より彼方へ  
— 2.18—2.28 ギャラリートモ  
ス  
新美術新聞 1304

## (ソ)

Souda 展 10.25—11.9 GALLERY  
麟  
ギャラリー\* 342  
三叉景[園家誠二] 9.2—9.12 ギ  
ャラリー和田  
水墨画\* 297  
園山晴己展「予兆・痕跡」 6.3—  
6.29 南天子画廊  
版画芸術 160  
曾宮一念展 3.27—4.8 日動画廊  
新美術新聞 1307  
曾谷朝絵展「宙色[そらいろ]」 7.27  
—10.27 水戸芸術館現代美術ギ  
ャラリー  
芸術新潮 765  
美術の窓 362 曾谷朝絵 談  
朝日夕刊 10.2 大西若人  
東京夕刊 9.13 藤田一人  
返町勝治個展 4.23—4.28 ぎゃ  
らりー遊  
新美術新聞 1310  
グREGOワール・ソロタレフの世界  
ものがたり 4.20—6.16 群馬県  
立近代美術館

## (タ)

ターナー[ウィリアム・ターナー]  
10.8—12.18 東京都美術館(神戶  
市立博物館)  
ギャラリー\* 342  
新美術新聞 1326 小林明子  
美術の窓 353 編集部  
美術屋・百兵衛 27  
朝日 7.17  
朝日 9.4  
朝日 9.15 高木友絵  
朝日 9.18  
朝日 10.7 増田愛子  
朝日 10.23  
朝日 11.17 山田菜の花  
産経 11.17 渋谷和彦  
日経 10.23 宮川匡司  
毎日夕刊 12.2 岸桂子  
読売 11.21 井上晋治  
醍醐イサム個展—無香音有光音—  
8.1—8.10 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1319  
リュック・タイマンズ The Spill  
3.23—5.2 ワコウ・ワークス・  
オブ・アート  
産経 4.11 渋谷和彦  
平久弥/Hisaya Taira Exit—New  
York— 2.22—3.16 YOSHIAKI  
INOUE GALLERY  
ギャラリー\* 334  
小沢剛・高木正勝 アフリカを行く  
—日本とアフリカを繋ぐ2人の  
アーティスト— 5.25—6.9 ヨ  
コハマ創造都市センター  
芸術新潮 763  
産経 6.6 黒沢綾子  
東京夕刊 5.31 児島やよい  
毎日夕刊 5.30 岸桂子  
高木匡子展 9.30—10.5 光画廊  
新美術新聞 1324  
高田啓介個展 4.22—4.28 ぎゃら  
りいサムホール  
新美術新聞 1310  
高田幸平 「表皮から産まれる」  
2.22—2.27 新宿眼科画廊  
ギャラリー\* 336 小金沢智  
高田保雄のヨコハマ展 9.13—9.26  
永井画廊

新美術新聞 1322  
**高谷史郎 明るい部屋** 12.10—1.26 東京都写真美術館  
 芸術新潮 770  
 東京夕刊 12.13 児島やよい  
**高梨豊 アクアツリー** 11.2—11.30 タカ・イシイギャラリー  
 読売夕刊 11.11 (睦)  
**高野卯港展** 7.11—7.18 ギャラリー一枝香庵  
 新美術新聞 1317  
**高野元孝油絵展** 5.28—6.9 さくら野百貨店(青森)  
 新美術新聞 1312  
**高橋匡太—ぼくとひかりと夏休み—夏休み子どものプログラム2013**  
 7.20—8.18 豊田市美術館  
**高橋秀の世界 版画 1959—2010**  
 1.25—4.21 世田谷美術館  
 版画芸術 159 橋本善八  
**高橋重幸展** 5.5—5.11 ギャラリー一曉  
 新美術新聞 1310  
**高橋伸展** 4.8—4.13 札幌時計台ギャラリー  
 美術の窓 355 磯部靖  
**シュルレアリスムと高橋節郎 開館10周年記念** 7.13—9.1 安曇野高橋節郎記念美術館  
 新美術新聞 1317 三澤新弥  
**高橋大輔展 絵の絵の絵の絵** 7.6—8.10 アルマスギャラリー  
 ギャラリー\* 340 小金沢智  
**高橋天山日本画展—和歌が奏でる日本の物語—** 10.30—11.5 三越(日本橋)(三越(大阪、松山))  
 新美術新聞 1326  
 美術の窓 362 編集部  
**高橋誠展** 1.27—2.3 現代陶芸寛土里  
 陶説 722 唐澤昌宏  
**高橋美羽展 新世代への視点2013 画廊からの発言** 7.22—8.3 藍画廊  
**現代の工芸、今—いつつの言葉—**  
 小川待子 黒田泰蔵 畠山耕治 扇田克也 高橋禎彦 9.7—11.24 樂翠亭美術館  
 陶説 729 外館和子

**高橋烈之個展** 3.19—3.24 GAL- LERY IZU  
 新美術新聞 1306  
**高橋楽齋作陶展** 12.11—12.17 三越(日本橋)  
 陶説 731 森孝一  
**高間智子展—積層彩磁の世界—**  
 1.29—2.3 ギャラリー恵風  
 陶説 721 小吹隆文  
**TAGAMI 展 「好きで描いてるわけじゃないけん」天才おじさん**  
 6.28—7.28 アツコパルー  
 芸術新潮 765  
**彫刻家 高村光太郎展 生誕130年**  
 6.29—8.18 千葉市美術館(井原市立田中美術館、碧南市藤井達吉現代美術館)  
 千葉市美術館ニュース C'n 67  
 薫科英也  
 朝日夕刊 7.10 大西若人  
 日経 7.17 宮川匡司  
 読売夕刊 8.10 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班  
**高村総二郎展** 5.6—5.11 純画廊  
 ギャラリー\* 337  
**高柳むつみ展** 12.7—12.28 ギャラリー器館  
 陶説 731 澤田美恵子  
**高山陽介展 BankART Under35/2012** 3.22—4.14 BankART Studio NYK  
 朝日夕刊 4.10 大西若人  
**笑いの中に 近代の戯画・風刺画 [田河水泡]** 1.29—3.3 町田市立博物館  
 産経 2.17  
**滝口和男展—陶** 6.12—6.18 松坂屋(名古屋)  
 陶説 725 井上隆生  
**滝口修造のシュルレアリスム展 詩人と美術** 5.18—6.30 市立小樽美術館/市立小樽文学館(萬鉄五郎記念美術館、天童市美術館、足利市立美術館)  
**瀧田亜子展** 4.22—4.27 なびす画廊  
 ギャラリー\* 336  
**竹石由美子展** 6.9—6.15 千駄木画廊

新美術新聞 1313  
**武市齊孝展—水墨画・墨彩画・日本画—さくらの世界 愛でる桜—映す心** 3.20—4.25 山陰百貨店(姫路)(小田急(新宿))  
 新美術新聞 1307  
**竹内幸子展** 11.11—11.16 K's Gallery  
 美術の窓 362 高山淳  
**竹内栖鳳展 近代日本画の巨人**  
 9.3—10.14 東京国立近代美術館(京都市美術館)  
 新美術新聞 1322 吉中充代  
 美術の窓 353 中村麗子  
 朝日夕刊 9.25 西岡一正  
 日経 8.31 宮川匡司  
 日経 9.15  
 日経夕刊 9.5  
 日経夕刊 9.18  
 日経夕刊 9.20  
 日経夕刊 9.21  
 毎日夕刊 10.7 岸桂子  
 読売 9.26 森田睦  
**竹内秀実版画展 ポートと羽** 3.11—3.16 T-BOX  
 ギャラリー\* 335  
**武内光仁画業50年の足跡となかまたち展** 5.2—7.23 白木谷国際現代美術館  
 新美術新聞 1313  
**竹岡羊子展** 10.22—10.27 福岡市美術館  
 美術の窓 362 磯部靖  
**武腰潤の世界—色絵磁器・平成の彩り—** 9.20—9.29 和光ホール  
 新美術新聞 1323  
**竹崎和征 数字と変奏** 5.26—7.7 MISAKO&ROSEN  
 読売夕刊 7.1 (井)  
**交錯する眼差しの方へII'13書展[竹下青蘭]** 9.24—10.6 コンチネンタルギャラリー  
 毎日夕刊 10.3 桐山正寿  
**4人展[竹田安嶮代]** 10.22—10.27 ゼフィール  
 新美術新聞 1326  
**武田武人展** 4.19—5.9 リブレ  
 芸術新潮 762  
**木彫刻 竹田光幸展** 9.23—10.14

- 多摩美術大学大学図書館(八王子)  
美術の窓 361 高山淳
- 木彫刻 竹田光幸展 10.2—10.20  
多摩美術大学大学美術館  
美術の窓 361 高山淳
- 武政健夫ガラス彫刻展～光と影が刻  
む美しき世界～ 10.25—11.4  
高島屋(玉川)  
新美術新聞 1326
- 竹村敏の世界展 11.4—11.16 ギ  
ャラリー K  
新美術新聞 1327
- 田澤茂個展 10.21—10.27 画廊薬  
1  
新美術新聞 1326
- 田嶋悦子展 Flowers 9.21—2.19  
兵庫陶芸美術館
- 田嶋健 木版画展 たじけんの大津  
絵っぽいの 7.8—7.19 77gal-  
lery  
ギャラリー\* 339
- 田島征三・田島燃 二人展 6.14—  
6.23 アートスペース煌翔  
毎日 6.20 明珍美紀
- 田島秀彦展 窓から窓へ、風景から  
風景へ 5.14—6.15 ケンジタキ  
ギャラリー東京  
REAR 30 出原均
- 多田正美展—光は音か— 5.10—  
6.2 双ギャラリー
- 多田祐子展 2.18—2.27 スマート  
シップギャラリー  
新美術新聞 1303
- 多田祐子展 おめでとう富士山  
9.25—10.20 北鎌倉古民家ミュ  
ージウム  
新美術新聞 1325
- 忠隈宏子展 10.21—10.26 ガレリ  
ア・グラフィカ bis  
新美術新聞 1326
- 立川広己の世界展 「ジャポニズム  
からモダニズムまで」 画業40周  
年記念 1.15—1.26 ギャラリー  
一枚の絵  
新美術新聞 1300
- 立川広己油絵展—華麗なる花々—  
9.11—9.17 伊勢丹(浦和)  
新美術新聞 1322
- 橋京身展「要—かなめ—」 12.3—  
12.8 銀座幸伸ギャラリー  
新美術新聞 1330
- 田附勝「kuragari」 8.2—9.13  
GALLERY SIDE 2  
読売夕刊 9.2 (井)
- TAZUKO 多鶴子 東京展 7.15—  
7.20 SMART SHIP GALLERY  
新美術新聞 1317
- 龍村平蔵 「時」を織る。 創業百二  
十年記念 4.25—5.6 高島屋(日  
本橋)(高島屋(大阪、京都、横浜))  
芸術新潮 761  
朝日夕刊 4.24 丸山伸彦
- 龍村平蔵 「時」を織る。 創業百二  
十年記念 5.24—6.4 高島屋(横  
浜)(高島屋(京都、大阪、日本橋))  
朝日夕刊 5.23 龍村平蔵
- リチャード・タトル展 The Place  
in the Window 4.26—6.1 小山  
登美夫ギャラリー  
美術手帖 987 清水穰
- 田中一光 デザインの世界—創意の  
軌跡— 1.12—3.20 奈良県立美  
術館  
新美術新聞 1300
- 田中玉弘 さくら、さくら 4.12—  
4.19 画廊岳  
新美術新聞 1309
- 田中茂個展 5.20—5.26 ギャラー  
ームサン  
新美術新聞 1312
- 田中武個展「夜咄はこれから」  
11.30—12.22 イムラアートギヤ  
ラリー東京  
新美術新聞 1330
- 田中毅 自然のうた 彫刻ロングラ  
ンエキシビジョン田中毅×大平實  
6.1—9.8 GALLERY エクリュ  
の森
- 黒田辰秋・田中信行 漆という力  
1.12—4.7 豊田市美術館  
新美術新聞 1302  
REAR 30 大長智広  
毎日夕刊 4.3 岸桂子
- 田中昶恵・井坂健一郎二人展 8.19  
—8.24 文芸春秋画廊  
新美術新聞 1320
- 田中真砂子新作展 3.7—3.12 ギ  
ャラリーほりかわ
- 新美術新聞 1305
- 棚田康司 たちのぼる。 4.6—5.26  
伊丹市立美術館(練馬区立美術館)  
新美術新聞 1308
- 田辺栄次郎展—南仏の光— 2.15—  
3.22 石川県立美術館  
新美術新聞 1306
- 田辺小竹・彦十蒔絵展 竹×漆  
「プライスコレクションの若冲」  
6.26—7.2 高島屋(日本橋)(高島  
屋(大阪))  
目の眼 442
- 谷善徳日本画展 心の扉 6.5—  
6.11 三越(日本橋)  
新美術新聞 1313
- 谷内六郎 あの頃への帰り道 8.10  
—9.29 とちぎ蔵の街美術館  
朝日夕刊 8.28 竹越萌子
- 谷垣博子絵画展 10.2—10.8 伊勢  
丹(浦和)  
新美術新聞 1324
- 谷口嘉展 新世代への視点2013  
画廊からの発言 7.22—8.3 ギ  
ャラリー現
- 谷野明夫作陶展 11.20—11.26 高  
島屋(京都)  
陶説 730 梅田稔
- 谷保玲奈展 3.11—3.29 小林画廊  
新美術新聞 1307
- カオスと素心の世界 池田敏幸・谷  
本重義 2.1—2.17 香川県立ミ  
ュージウム  
新美術新聞 1302
- 田沼春二作陶展 5.22—5.28 松坂  
屋(名古屋)  
陶説 725 井上隆生
- 田沼武能写真展 シルクロード 心  
の旅 4.24—5.27 キャノンギヤ  
ラリー S  
朝日 5.21  
読売 4.26
- 田沼武能写真展 戦後を生きた子ど  
もたち 4.25—5.8 キャノンギ  
ャラリー銀座  
東京 4.21 田中哲男
- 種田陽平による三谷幸喜映画の世界  
観展 清須会議までの映画美術の  
軌跡、そして… 10.12—11.17  
上野の森美術館

平成25年美術展覧会(作タ〜ツ)

- 産経 10.24 篠原知存  
多納三勢展 森と人シリーズ 前期展 2.16—3.24 出雲市立平田本陣記念館  
新美術新聞 1305  
玉村方久斗 生誕120年記念 12.7—1.26 田辺市立美術館  
水墨画\* 297  
4人展[田村公] 10.22—10.27 ゼフィール  
新美術新聞 1326  
タムラサトル展 接点#4 1.13—2.24 nap gallery  
芸術新潮 759  
読売夕刊 2.4 (井)  
ロバート・キャバ/ゲルダ・タロウ 二人の写真家 1.26—3.24 横浜美術館  
芸術新潮 759  
新美術新聞 1303  
美術手帖 984 増田玲  
朝日夕刊 1.30 石飛徳樹  
産経 2.17 篠原知存  
日経 2.6 窪田直子  
多和圭三展 1.21—2.23 Hino Gallery  
ギャラリー\* 333  
フィオナ・タン | エリプシス 8.3—11.10 金沢21世紀美術館  
読売 10.17 井上晋治  
丹下健三 伝統と創造 瀬戸内から世界へ 7.20—9.23 香川県立ミュージアム  
新美術新聞 1320  
朝日 8.28 森本俊司  
産経 8.1  
読売 8.22 高野清見  
思郷書展25[丹治思郷] 3.19—3.24 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1306

(チ)

- 千葉和成 ダンテ『神曲』現代解釈集 一地獄編1〜3巻 EPISODES 4.1—4.6 ベッパーズギャラリー  
東京 3.31 山本哲正  
千葉蒼玄展 鎮魂と復活 PARTII 9.12—9.17 せんだいメディアアテーク

- 美術の窓 360 編集部  
千原昭彦彩色ペン画展 蔵造りの町・十景 9.7—11.30 門と蔵のある広場旧丹波家蔵  
東京 9.23 村松権主磨  
ヤン・チヒョルト展 11.1—11.26 ギンザ・グラフィック・ギャラリー  
芸術新潮 769  
ずっと長さんとともに 長新太が描いた子どもの本 8.7—10.27 ちひろ美術館(東京)  
読売夕刊 8.3  
PAVILION[Chim ↑ Pom] 3.30—7.28 岡本太郎記念館  
芸術新潮 762  
朝日夕刊 4.17 西岡一正  
産経 4.11 篠原知存  
日経夕刊 4.22 窪田直子  
毎日夕刊 4.24 岸桂子  
読売 5.2 井上晋治  
Chim ↑ Pom 展 広島!!!! 12.8—12.17 旧日本銀行広島支店  
美術手帖 999 榎木野衣

(ツ)

- 蔡國華展 10.9—10.19 金井画廊 /ドゥ(doux)画廊  
クリスチャン・ツィーグラー写真展 Jungle Spirits 7.5—7.23 コニカミノルタプラザ  
東京夕刊 7.21  
賢治+司修 注文の多い展覧会 8.10—9.29 神奈川近代文学館  
東京夕刊 8.3  
松本哲男・塚原哲夫展 12.7—4.13 佐野市立吉澤記念美術館  
新美術新聞 1333  
津上みゆき View—まなざしの軌跡、生まれくる風景— 2.2—2.24 一宮市三岸節子記念美術館  
ギャラリー\* 334  
津上みゆき 「調和と重層」 3.9—3.30 ギャラリー・ハシモト  
ギャラリー\* 334  
月形那比古の全貌展 12.18—12.29 山交百貨店(甲府)  
新美術新聞 1331  
辻久美子個展 9.23—9.28 銀座ス

- ルガ台画廊  
新美術新聞 1323  
津地威汎展 10.23—10.29 高島屋(日本橋)(高島屋(京都、大阪))  
美術\* 458  
辻井久子個展 3.4—3.9 光画廊  
新美術新聞 1305  
辻野典代 小さな春展 2.11—2.17 ギャラリー・コパンダール  
新美術新聞 1303  
GENOMICA「ゲノミカ」[ツジモトコウキ] 6.24—6.30 東邦アート  
新美術新聞 1315  
津田のぼる 缶響アート展〜夢の記憶景〜 7.21—8.30 さわやかかば県民プラザ  
毎日 8.22 渡辺洋子  
吉左衛門X—上原美智子 染織+樂吉左衛門 陶・茶入+土田半四郎 仕覆— 9.21—3.30 佐川美術館  
新美術新聞 1330 樂吉左衛門  
土屋輝雄展 10.26—11.24 大垣市サイトピアセンターアートギャラリー  
新美術新聞 1328  
土屋幸夫展—美術家、デザイナー、教育者 10.19—12.8 目黒区美術館  
土屋良夫 日本画展 4.1—4.24 さんしんギャラリー善  
新美術新聞 1309  
画道精進 椿貞雄と実篤—船橋市・清川コレクションを中心に— 10.26—12.1 調布市武者小路実篤記念館  
新美術新聞 1329  
妻木良三 幻標 1.26—3.3 梅花堂  
ギャラリー\* 335 小金沢智  
鶴岡政男・小山田二郎展 8.19—9.20 椿近代画廊  
新美術新聞 1322  
鶴見厚子展 7.8—7.13 巷房  
ギャラリー\* 339  
小野仁良×鶴見知里 二人展 3.23—3.28 Gallery 風  
新美術新聞 1307

(テ)

古今独歩 出口王仁三郎とその一門の作品展 1.6—1.12 北とびあ(鎌倉芸術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1300  
 美術手帖 980 榎木野衣

古今独歩 出口王仁三郎とその一門の作品展 3.19—3.24 鎌倉芸術館ギャラリー(北とびあ)  
 新美術新聞 1307

出久根育展 6.3—7.5 武蔵野美術大学2号館1階 gFAL  
 新美術新聞 1313

手島右卿の書芸術—その世界性 毎日書道展65回東京展特別展示 7.10—8.4 国立新美術館  
 毎日 7.6 桐山正寿

アトムが飛んだ日 鉄腕アトム放送50周年記念[手塚治虫] 1.19—3.24 練馬区立石神井公園ふるさと文化館  
 東京夕刊 1.19 柏崎智子

マンガのちから 手塚治虫×石ノ森章太郎 6.29—9.8 東京都現代美術館(広島県立歴史博物館、大阪歴史博物館、山梨県立博物館、宮城県美術館、長野県信濃美術館)  
 新美術新聞 1316  
 産経 7.4 山田泰弘

鉄腕アトムのひみつ展 新宿未来特使10周年記念[手塚治虫] 7.20—9.1 新宿区立新宿歴史博物館  
 東京 8.19 杉戸祐子

手塚雄二「散華」 1.31—2.13 ナカジマアート  
 ギャラリー\* 334  
 新美術新聞 1301

出店久夫展 実景虚図—ダンス・ダンス— 6.21—7.14 双ギャラリー  
 新美術新聞 1315

寺井重三展 薔薇と乙女 4.17—4.23 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1310

寺井カ三郎油絵展 6.19—6.25 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1314

寺井カ三郎展—静謐なる日常の彼方

に— 9.28—2.23 サトエ記念21世紀美術館  
 新美術新聞 1328 江口健  
 東京夕刊 11.8 藤田一人

寺原芳彦 二軸の想(sou) 武蔵野美術大学退任記念 9.2—10.5 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)

寺本守作陶展 開廊十周年特別企画 1.19—2.1 回廊ギャラリー門  
 陶説 720 外館和子

寺山修司展『ノック』 7.6—11.24 ワタリウム美術館  
 美術手帖 993 福住廉

ポール・デルヴォー 夢をめぐる旅 1.22—3.25 埼玉県立近代美術館(府中市美術館、鹿児島市立美術館、下関市立美術館、岡崎市立美術館、秋田市立千秋美術館)  
 産経 2.10 黒沢綾子

(ト)

子どもたちの時間 植田正治とロベール・ドアノー 10.5—11.30 植田正治写真美術館  
 新美術新聞 1327  
 日経 9.21 干場達矢

土井豊展—宮沢賢治と最愛の妹トシ— 9.30—10.5 ギャラリームサシ  
 ギャラリー\* 343 ワシオ・トシヒコ  
 新美術新聞 1323

戸出喜信 油絵展 4.3—4.9 三越(日本橋)  
 東京 4.4 中山岳

東郷青児 時代を魅了した男 10.3—11.4 鹿児島市立美術館  
 デアルテ 30 田村桂子  
 美術の窓 353 田村桂子

堂前守人 陶展 2.18—2.26 工芸ギャラリー手児奈  
 陶説 722 井上隆生

堂本印象と東丘社 そして山本茂斗 10.5—11.24 丹波市立植野記念美術館  
 新美術新聞 1324

徳川慶喜 没後100年 10.5—12.15 松戸市戸定歴史館

平成25年美術展覧会(作テ、ト)

毎日夕刊 11.13 高階秀爾  
 徳川慶喜 没後100年 11.2—12.15 静岡市美術館  
 毎日夕刊 11.13 高階秀爾

二紀会大阪支部企画 徳永芳子展 2.21—2.26 茶屋町画廊  
 美術の窓 354 高山淳

徳永芳子となかま100人展 河内長野市「ふるさとの作家展」 4.27—4.30 ラブリーホール  
 美術の窓 358 編集部

徳永仁臣—柳洲—展 知られざる震災画家 関東大震災から90年[徳永柳洲] 8.30—10.20 岡山県立美術館  
 新美術新聞 1320

所志帆—雨がしとしと降っていた「現代ガラスの新世代」シリーズ9回 6.7—6.15 ギャラリー銀座アルトン  
 芸術新潮 764

所正泰展—Dolls— 10.12—10.27 NANATASU GALLERY  
 ギャラリー\* 342

戸田浩二展 10.6—10.14 ぎやらりい思文閣

戸田守宣 山下真人 10.12—1.26 瀬戸市新世紀工芸館  
 陶説 729 井上隆生

戸田裕介 銀の微塵のちらばるそらへ—fragile IV— 9.7—10.27 東京アートミュージアム  
 ギャラリー\* 342

反骨の画家 利根山光人展—バイタリティーを求めて— 6.22—8.4 町田市立国際版画美術館  
 版画芸術 160 尾崎正志  
 東京夕刊 7.12 藤田一人  
 読売夕刊 7.9 滝沢恭司

富岡大資陶芸展 11.22—11.28 松坂屋(名古屋)  
 陶説 731 井上隆生

富田葉摘展 うれし たのし 今日 1.11—3.3 佐藤美術館  
 新美術新聞 1301  
 美術の窓 352 編集部  
 美術屋・百兵衛 24  
 読売夕刊 2.12 立島恵

富田菜摘展「おとなの大運動会」  
8.26—9.14 ギャラリー東京ユマニテ  
新美術新聞 1320

富田有紀子展 2.17—4.7 練馬区立美術館  
新美術新聞 1304

富永直樹展 生誕100年記念  
11.23—12.23 長崎県美術館(阪急うめだギャラリー、茅野市美術館)  
新美術新聞 1331

富永善輝 陶芸展 4.17—4.23 松坂屋(名古屋)  
陶説 723 井上隆生

富山妙子 現代への黙示—9.11と3.11—  
ブラザ・ギャラリー開設25周年記念 4.11—5.19 東京アートミュージアム  
ギャラリー\* 336

杉浦大和+友枝憲太郎+松浦寿夫  
「許された果実」 5.7—5.25 なびす画廊  
東京夕刊 5.17 古谷利裕

プリンプリン物語—メモリアル・ガイドブック出版記念—  
人形特別展[友永詔光] 7.15—9.17 深沢小さな美術館(横浜人形の家)  
東京 8.19 小松田健一

土門拳の美学—強く美しいもの—  
土門拳記念館開館30周年記念展 6.19—9.8 土門拳記念館  
新美術新聞 1317

土門拳「昭和のこどもたち」展 土門拳記念館 開館30周年記念  
9.11—9.22 高島屋(日本橋)(高島屋(京都))  
読売夕刊 9.10 池田真魚

登山博文展 4.27—5.18 タカ・イシイギャラリー  
REAR 30 沢山遼

豊場權也作陶展 10.30—11.5 高島屋(名古屋)  
陶説 730 井上隆生

4人の漆芸展~川口ゆかりの漆芸作家による~[豊平江都/豊平翠香]  
2.13—3.3 旧田中家住宅  
新美術新聞 1304

豊増一雄瓷器展 10.28—11.3 法

然院講堂  
陶説 729 梅田稔

(ナ)

内藤定壽 洋画展 5.29—6.4 三越(日本橋)  
美術\* 453

風凜の会[永井健志] 7.9—7.15  
そごう(横浜)  
美術\* 454

永井保原画展 こどもの絵本、おとなの漫画 10.19—12.23 中央区立郷土天文館タイムドーム明石  
読売 10.19

中出吉咲水墨画展 2.16—3.15 サカスアートスポット  
新美術新聞 1303

長江重和展 あかり 11.5—11.16  
橋本美術  
陶説 730 井上隆生

中尾厚子陶芸展 6.12—6.18  
doux 画廊  
新美術新聞 1314

中尾廣太郎洋画展 6.8—7.22 渡辺美術館  
美術の窓 358 高山淳

長岡宏回顧展 7.27—9.23 掛川市二の丸美術館  
新美術新聞 1320 金原宏行

長岡美和子個展 10.27—11.2 滝不動スタジオM  
ギャラリー\* 343  
新美術新聞 1326

中川一政芸術の黎明 9.14—11.17  
白川市立松任中川一政記念美術館  
新美術新聞 1324

小松富士子・中畔千嘉二人展  
12.16—12.28 ギャラリー福山  
新美術新聞 1331

十四代中里太郎右衛門展 1.2—1.8  
高島屋(名古屋)  
陶説 720 井上隆生

十四代中里太郎右衛門展 作陶三十周年記念 6.5—6.11 高島屋(日本橋)

長澤和仁展 7.6—8.4 なうふ現代  
陶説 726 井上隆生

中沢啓治 追悼原画展 1.10—1.31  
広島平和記念資料館

東京夕刊 1.11

中ザワヒデキ 単色の分割 1.18—2.6  
ギャラリーセラー  
ギャラリー\* 332

中島忠作品展 3.4—3.9 ギャラリー一菊  
新美術新聞 1303

中島克子展 9.7—9.23 ギャラリー一数奇  
陶説 728 井上隆生

中島千波日本画展 6.13—6.19 近鉄タワー館  
新美術新聞 1314  
美術\* 453 編集部

中島千波の全貌~花鳥画、挿絵、版画から人物画まで~ 10.11—12.10 おぶせミュージアム・中島千波館  
新美術新聞 1328

中島敏明展 3.12—3.17 ギャラリー一金巴里  
新美術新聞 1306

Art Fair Tokyo 2013 中島晴美  
3.22—3.24 東京国際フォーラム  
芸術新潮 759

人間国宝四人展 日本の美 佐賀のDNA サガテレビ開局45周年事業[中島宏] 11.29—1.29 佐賀県立美術館

中條秋男油彩画展 8.13—8.18 ギャラリーヒルゲート  
ギャラリー\* 340  
新美術新聞 1319

なかだえり 駅弁女子 全国旅して食べて 5.25—6.2 なかだえりアトリエ  
朝日 5.29 横川結香

中田博士展 真珠光彩 6.5—6.11 高島屋(日本橋)  
陶説 725 外館和子

若尾経 伊勢崎晃一朗 中田博士 現代陶芸三人展 8.29—9.3 ながの東急百貨店  
陶説 729 唐澤昌宏

中谷晃油彩画展—自然の生命— 12.17—12.23 三越(札幌)  
新美術新聞 1331

中谷泰展 歿後20年 10.12—12.8 三重県立美術館



新美術新聞 1327  
 REAR 31 高橋綾子  
 永名二委 水墨画展 1.7—1.26  
 画廊喫茶・サンマロー  
 新美術新聞 1300  
 中西信洋個展“みえるものとみえないもの” 11.22—12.21 ユミコ  
 チバアンソシエイツ  
 美術の窓 364 中西信洋 談  
 長沼隆代「猫展」 9.17—9.29 紅椿  
 それいゆ  
 新美術新聞 1322  
 浮・透・韻・奏 コート・ギャラリ  
 ー国立 画廊開設19周年企画[中  
 野浩樹] 9.5—9.17 コート・ギ  
 ャラリー国立  
 新美術新聞 1322  
 中原浩大 自己模倣 9.27—11.4  
 岡山県立美術館  
 美術手帖 998 能勢陽子 評  
 美術手帖 998 榎木野衣  
 中原淳一展 生誕100周年記念  
 2.6—2.18 三越(日本橋)(香美市  
 立やなせたかし記念館(詩とメル  
 ヘン絵本館)、そごう美術館、阪  
 急うめだギャラリー、刈谷市美術  
 館、高崎市美術館、高島屋(京都)、  
 茨城県近代美術館)  
 朝日夕刊 2.5 高橋秀喜 聞き手  
 産経 1.23  
 中原淳一展 生誕100周年記念  
 6.1—7.15 そごう美術館(三越  
 (日本橋)、香美市立やなせたかし  
 記念館詩とメルヘン絵本館、阪急  
 うめだギャラリー、刈谷市美術  
 館、高崎市美術館、高島屋(京都)、  
 茨城県近代美術館)  
 朝日夕刊 6.19 竹越萌子  
 中原淳一の生きた戦中・戦後～少女  
 像にこめた夢と憧れ～ 生誕100  
 周年・没後30周年記念 3.16—  
 5.12 昭和館  
 東京 4.23 井上幸一  
 読売 3.27  
 永原トミヒロ展 2.18—3.2 コバ  
 ヤシ画廊  
 読売夕刊 2.25 (清)  
 中町力日本画展 New York Draw-  
 ing & Painting 3.25—3.31 永

井画廊  
 新美術新聞 1307  
 中村糸美こ・清吾 親子展 8.21—  
 8.27 三越(日本橋)  
 陶説 728 唐澤昌宏  
 中村一美 聖〔ひじり〕 7.8—8.3  
 南天子画廊  
 ギャラリー\* 339  
 ギャラリー\* 340 三田晴夫  
 中村譲司展 4.30—5.13 京都陶磁  
 器会館  
 陶説 724 小吹隆文  
 中村糸美こ・清吾 親子展〔中村清  
 吾〕 8.21—8.27 三越(日本橋)  
 陶説 728 唐澤昌宏  
 中村清治展 3.20—3.26 三越(日  
 本橋)(三越(仙台、福岡、大阪、  
 名古屋))  
 新美術新聞 1307  
 中村貴弥展 境界なき世界—この地  
 球〔ほし〕を越えて— 12.6—  
 12.20 Gallery Art Composition  
 ギャラリー\* 344  
 中村智恵美洋画展 10.9—10.15  
 三越(日本橋)  
 新美術新聞 1324  
 中村彝展 下落合の画室〔アトリエ〕  
 新宿区立中村彝アトリエ記念館開  
 館記念 3.17—5.12 新宿歴史博  
 物館  
 中村としろう展 9.30—10.12 ガ  
 レリアフィナルテ  
 REAR 31 石崎勝基  
 消失点・中村宏展 10.7—10.19  
 ギャラリー58  
 ギャラリー\* 343 三田晴夫  
 中村不折のすべて 没後70年  
 12.17—3.23 台東区立書道博物  
 館  
 産経 12.19  
 中村好文展 小屋においてよ！  
 4.17—6.22 TOTO ギャラリー・  
 間(金沢21世紀美術館)  
 芸術新潮 762  
 毎日夕刊 5.9 永田晶子  
 読売夕刊 6.17 (清)  
 中村亮一展 7.13—7.27 ギャラリ  
 ー椿  
 ギャラリー\* 339

平成25年美術展覧会(作ナ、ニ)

名古屋剛志日本画展 10.10—10.19  
 いつき美術画廊  
 新美術新聞 1325  
 報道写真とデザインの父 名取洋之  
 助展 12.18—12.29 高島屋(日  
 本橋)(日比谷図書文化館)  
 朝日夕刊 12.17 白山真理  
 産経 12.19  
 鍋島閑叟の書 —〇代藩主鍋島直正  
 公・生誕二〇〇年記念展 10.28  
 —12.21 徴古館  
 鯉江光二展 4.11—4.17 ギャラリ  
 ー絵夢  
 新美術新聞 1309  
 並木恒延 うるし七彩 9.12—  
 12.11 成川美術館  
 新美術新聞 1329  
 並木恒延 漆芸展一道 on the  
 Road— 11.1—11.10 和光ホー  
 ル  
 美術\* 458  
 美術の窓 362 高山淳  
 並木治予視油彩画展 5.3—5.6 町  
 田パリオ  
 新美術新聞 1310  
 植木野淑子展 そこに立つ、存在す  
 る 11.11—11.30 GALLERY  
 wks.  
 陶説 730 小吹隆文  
 成田禎介 風景の神秘を見つめて  
 10.17—1.7 池田20世紀美術館  
 成井恒雄回顧展 5.28—6.9  
 MCAA 6 ギャラリー  
 東京夕刊 6.1 内田淳二  
 鏝の美—鏝工・成木一成の挑戦—  
 4.27—6.30 岐阜県博物館  
 難波田龍起展 6.3—7.5 椿近代画  
 廊  
 新美術新聞 1315  
 (二)  
 BLACKS ルイーズ・ニーヴェルス  
 ン | アド・ラインハート | 杉本博  
 司 2.2—4.14 川村記念美術館  
 芸術新潮 760  
 新里明士展—碗と光器— 6.20—  
 6.26 柿傳ギャラリー  
 陶説 727 唐澤昌宏  
 新里明士「Luminescence...」展

平成25年美術展覧会(作ニ～ハ)

- 7.31—8.12 8/ART GALLERY/  
Tomio Koyama Gallery  
陶説 727 唐澤昌宏  
アートフェア東京2013 日動画廊  
〔仁戸田典子〕 3.22—3.24 東京  
国際フォーラム  
芸術新潮 759  
二階武宏木口木版画展 6.22—7.21  
セントポールギャラリー  
版画芸術 160  
二階武宏展 二階武宏木口木版画全  
作品集刊行記念 12.6—12.22  
京都・アートゾーン神楽岡  
版画芸術 162  
西岡文子展—喜寿を迎える新しい風  
— 10.29—11.3 地球堂ギャラ  
リー  
新美術新聞 1326  
西沢立衛+nendo: 森の屋根ときの  
こ 10.1—1.13 瓜生山キャンパ  
スエントランス・ラウンジ  
AXIS 166 平塚桂  
西島直紀展 “Switch” 5.27—6.15  
ギャラリー東京ユマニテ  
西成田洋子展 記憶の領域2013  
11.18—11.23 コパヤシ画廊  
芸術新潮 769  
新美術新聞 1329  
西房浩二展 9.5—9.17 日動画廊  
美術の窓 360 小森佳代子  
西村宣造展 8.15—8.24 ギャラリ  
ー愚伶  
版画芸術 160  
西村文子個展 25th Anniversary  
12.15—12.22 Katsumi Yamato  
Gallery  
新美術新聞 1331  
清野祥一 西村陽平 6.29—9.22  
瀬戸市新世紀工芸館  
陶説 726 井上隆生  
西村玲子の〈物語〉展 5 11.7—  
11.21 ぬいじう  
毎日 11.16 榊真理子  
西山真一・松生親子油彩画展〔西山  
松生〕 4.20—5.12 鯖江市まな  
べの館  
美術の窓 356 庄司栄吉、西山  
松生、勅使河原純 鼎談

(ヌ)

- ヌーメン/フォーユース TAPE  
TOKYO 11.18—12.4 スパイラ  
ルガーデン  
芸術新潮 769  
額田宣彦一定常Ⅱ 9.17—10.5 ギ  
ャラリー東京ユマニテ  
二人の藝術院会員展 塗師祥一郎・  
市村緑郎 6.8—6.14 埼玉画廊  
新美術新聞 1313  
塗師祥一郎展 11.6—11.12 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1327 安井収蔵  
美術の窓 362 高山淳

(ネ)

- 根岸よしこ油彩画展 3.24—3.30  
東京交通会館  
新美術新聞 1306  
西沢立衛+nendo: 森の屋根ときの  
こ 10.1—1.13 瓜生山キャンパ  
スエントランス・ラウンジ  
AXIS 166 平塚桂

(ノ)

- イサム・ノグチ その創造の源流  
アート・アーチ・ひろしま2013  
7.20—10.14 ひろしま美術館  
ギャラリー\* 339  
国立新美術館ニュース 28 宮島  
綾子  
美術の窓 360  
朝日夕刊 9.25  
読売 8.29 木村未来  
能島芳史 15世紀フランドル絵画  
からの展開 10.18—11.17 石川  
県立美術館  
ギャラリー\* 342  
野田貴世展 ニューヨークからの彼  
り 版画とコラージュの世界  
3.25—4.12 白銅鞮画廊  
新美術新聞 1307  
野中光正展 1.31—2.7 ギャラリ  
ー枝香庵  
新美術新聞 1301  
野中ユリ展 美しい本とともに  
6.8—9.1 神奈川県立近代美術館  
(鎌倉別館)

- 野並允温個展71回—土佐和紙に水  
彩で描くそれぞれの故郷、山河—  
9.16—10.20 いの町紙の博物館  
新美術新聞 1322  
野々内良樹回顧展 花鳥へのまなざ  
し 6.18—8.11 奈良県立万葉文  
化館  
新美術新聞 1315  
消えないもの 野見山暁治展 10.5  
—11.24 尾道市立美術館  
新美術新聞 1327  
野村仁展: 身体/知覚 又は私を  
「私」とおもう私 9.28—10.19  
アートコートギャラリー  
ギャラリー\* 341  
額田敏郎&ノロ燐 御空羅供〔ごく  
らく〕の晩餐 9.12—9.23 セツ  
寺協同スタジオ/ちくさ正文館書  
店  
芸術新潮 767  
REAR 31 高橋綾子

(ハ)

- Thomas Bayrie Monuments of Traf-  
fic〔トーマス・バイルレ〕 5.18—  
9.1 エスパス ルイ・ヴィトン  
東京  
読売夕刊 8.12 (井)  
ロバート・ハインデル 歌舞伎・能  
作品展 4.2—4.20 永井画廊  
芸術新潮 761  
萩原英雄展 生誕100年 10.26—  
12.8 山梨県立美術館  
新美術新聞 1329  
本橋成一×萩原義弘写真展 「炭鉱  
から」 7.30—8.10 ポレポレ坐  
毎日 8.1 青島顕  
毎日夕刊 8.5  
白隠禅師 墨蹟展 4.26—4.30 古  
美術 天宝堂  
目の眼 440  
外立とし江油彩画展 10.13—10.19  
好文画廊  
毎日 9.28 小島正美  
狩野派と橋本雅邦—そして、近代日  
本画へ 10.12—11.24 埼玉県立  
歴史と民俗の博物館  
朝日夕刊 11.18 小川雪  
橋本関雪展 生誕130年 3.1—

- 5.31 足立美術館  
新美術新聞 1307
- 橋本関雪展 生誕130年 豪腕画人  
関雪参上 9.14—10.20 兵庫県  
立美術館
- 橋本聡 私はレオナルド・ダ・ヴィ  
ンチでした。魂を売ります。天国  
を売ります。 4.6—5.4 青山 |  
目黒  
美術手帖 987 飯前知子 評
- セイ・ハシモト新作絵画展 10.9—  
10.15 伊勢丹(新宿)  
新美術新聞 1324
- 橋本典久 notation : 記譜法 7.1  
—7.18 art space kimura ASK?  
芸術新潮 765  
美術手帖 991 榎木野衣 評
- 蓮善隆 作陶展 8.7—8.13 高島  
屋(名古屋)  
陶説 727 井上隆生
- 蓮沼執太展 「音的」 2.9—2.17  
アサヒ・アートスクエア
- 長谷川利行 小品展—1冊のスク  
ラップブックより— 8.1—8.16  
ぎやらりい思文閣
- 長谷川瑞吉展 パンプキンズ2013  
4.9—4.19 ギャラリー アピ  
アント
- 羽田英彦自選展 4.27—6.2 尼信  
会館  
新美術新聞 1310
- 現代の工芸、今—いつの言葉—  
小川待子 黒田泰蔵 畠山耕治  
扇田克也 高橋禎彦 9.7—11.24  
楽翠亭美術館  
陶説 729 外館和子
- 畠中光享—願— 4.17—4.23 高島  
屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都))  
新美術新聞 1309
- 波多野正典 陶芸展 2.27—3.5  
松坂屋(名古屋)  
陶説 722 井上隆生
- 八谷和彦個展 OpenSky 3.0 欲  
しかった飛行機、作ってみた。  
7.13—9.16 アーツ千代田3331  
産経 8.1 渋沢和彦
- クヴィエタ・パツォウスカー 色の  
音・紙の詩 7.12—9.17 安曇野  
ちひろ美術館
- 安曇野ちひろ美術館 美術館だ  
より 75 松方路子
- ある5人をめぐる旅 服部篤浩展  
12.3—12.8 羽村市生涯学習セン  
ターゆとろぎ  
新美術新聞 1329
- 服部真紀子展 7.13—7.28 ギャラ  
リー数奇  
陶説 726 唐澤昌宏
- 服部将己 器展—グッドモーニング  
— 10.26—11.3 スペース大原  
陶説 730 井上隆生
- 戦争画の相貌2 花岡萬舟 5.20—  
7.6 早稲田大学会津八一記念博  
物館  
毎日夕刊 6.26 岸桂子
- TONEplant ; CASE02 : [マリアン  
ティ・パバレクサンドリ=アレク  
サンドリ] 8.10—8.31 STAN-  
DING PINE  
美術手帖 995 畠中実 評
- 秘密の湖 浜口陽三・池内晶子・福  
田尚代・三宅砂織 5.18—8.11  
ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクシ  
ョン  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1315  
朝日夕刊 7.3 大西若人  
毎日夕刊 7.3 岸桂子  
読売夕刊 7.20
- 濱崎道子展—書・震・禱 9.24—  
9.29 鳩居堂画廊  
毎日夕刊 9.25 桐山正寿
- 濱田樹里展 9.16—9.28 コバヤシ  
画廊  
新美術新聞 1323
- 濱野彰親 モノクロームへの眼差し  
人間の本性を暴く 1.8—3.31  
弥生美術館  
新美術新聞 1303  
朝日夕刊 2.27 横田麻生子  
東京夕刊 2.22 藤田一人
- 早川義孝先生を偲ぶ 1.4—1.14  
ハヤシ画廊  
新美術新聞 1300
- 早川祐太「i」 1.11—2.28 HAGI-  
WARA PROJECTS  
芸術新潮 759  
美術手帖 980 清水穰
- 林喜美子布絵展 11.15—11.21 O  
美術館  
新美術新聞 1328
- 林曉 漆藝展 9.18—9.26 ギャラ  
リー田中
- 林忠彦写真展 日本の作家109人  
8.31—10.20 嘉麻市立織田広喜  
美術館  
デアルテ 30 有江俊哉
- 林ナツミ『本日の浮遊』展 3.26—  
3.31 スパイラルガーデン  
芸術新潮 761
- 林勇気展 the world—つづきのた  
めの地図 9.3—9.15 ギャラリ  
ー揺  
ギャラリー\* 342 小金沢智
- 林義勝作品展 中村勘三郎—1975  
—1982— 1.7—2.3 JCH フォ  
トサロン  
芸術新潮 758
- 林義弘 水彩画展 8回 4.15—  
4.21 ギャラリーくぼた  
新美術新聞 1309
- 林田健 WHITE LIGHT/MELAN-  
CHOLIA 7.27—8.24 タカシン  
メミヤギャラリー  
芸術新潮 766
- 速水御舟 日本美術院の精鋭たち  
8.10—10.14 山種美術館  
新美術新聞 1320  
産経 9.15 渋沢和彦  
日経 9.25 宮川匡司  
日経夕刊 8.1
- サヌカイトによる速水史朗展—サヌ  
カカンカン— 10.21—11.2 ギ  
ャラリーせいほう  
新美術新聞 1326  
美術の窓 362 小森佳代子
- 原憲司 作陶展 3.6—3.15 松坂  
屋(名古屋)  
陶説 722 井上隆生
- 原大介展 11.11—11.23 椿近代画  
廊  
新美術新聞 1328
- 西洋美術との出会い 徳島の4人  
原鶴雲 | 井上辨次郎 | 守住貫魚 |  
守住勇魚 10.5—12.1 徳島県立  
近代美術館  
芸術新潮 768

- 原紺乃華の書の世界 5.10—5.12  
豊島区民センター  
書道界 284
- 鷗外と画家原田直次郎 ～音楽と美術の交響[シンフォニック]～  
9.13—11.24 文京区立森鷗外記念館  
産経 9.19 黒沢綾子  
毎日夕刊 11.13 岸桂子
- 原田武真油彩展 11.28—12.4 ギャラリー絵夢  
新美術新聞 1330
- 原田満佐子絵画展 10.5—12.1 山ノ内町立志賀高原ロマン美術館  
新美術新聞 1326
- パラの模型／ぼくらの空中楼閣：パラモデル展 2.16—5.6 メゾンエルメス8階フォーラム  
芸術新潮 760  
朝日夕刊 4.17 大西若人
- アベル・バロツソ タッチパネル電話展&サンドラ・ラモス 現代の神話展 12.12—12.24 プロモ・アルテギャラリー  
ギャラリー\* 344
- 書とデザイン 書家・アーティスト 潘微の作品と教育 6.3—7.27  
武蔵野美術大学美術館・図書館(図書館)
- 坂茂 建築の考え方と作り方 3.2—5.12 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
朝日夕刊 4.24 大西若人  
産経 3.24 黒沢綾子  
読売 3.7 高野清見
- 出羽路を描く 番場三雄日本画展 4.10—4.16 三越(日本橋)(三越(仙台))  
新美術新聞 1309  
美術の窓 355 高山淳

(ヒ)

- 東島毅+本田健展 冬のみず、山あるき 11.16—2.16 岩手県立美術館  
新美術新聞 1331
- 東山魁夷と建築家吉村順三—住空間と日本美の饗宴— 7.19—9.1  
香川県立東山魁夷せとうち美術館

- 新美術新聞 1319
- 川端康成コレクションと東山魁夷 知識も理屈もなく、私はただ見てゐる。 下野新聞創刊135周年 9.22—11.4 宇都宮美術館  
新美術新聞 1323
- 東山魁夷 芸術創生のあゆみ—『新潮』表紙絵の世界— 11.2—12.1 市川市東山魁夷記念館  
新美術新聞 1328
- 印象派の巨匠たちとピカソ ひろしま美術館コレクション 八十二銀行創立82周年記念[パブロ・ピカソ] 4.13—6.23 長野県信濃美術館
- 比企祥子の世界展 8.19—8.25 ギャラリー・コパンダール  
新美術新聞 1320
- 樋口健彦個展 9.9—9.21 ギャラリー川船  
新美術新聞 1321
- shiseido art egg vol.7 久門剛史展 1.8—1.31 資生堂ギャラリー  
心の旅路—飛澤龍神展 12.3—12.9 筑波銀行本部  
美術の窓 363 編集部
- 日高理恵子展 12.14—1.25 小山登美夫ギャラリー  
ギャラリー\* 346 三田晴夫
- 日比野克彦展 Hibino on side off side 7.20—10.6 川崎市岡本太郎美術館  
新美術新聞 1321  
朝日夕刊 9.18 大西若人  
読売 9.26
- 平川恒太“けいしょうさね記憶と形” 8.1—8.15 Bambinart Gallery  
ギャラリー\* 340
- 平川恒太個展 水のゆくえ 8.31—9.10 ターナーギャラリー  
ギャラリー\* 340
- 平川祐樹展 眠りにつくまで 9.14—10.27 美濃加茂市民ミュージアム  
REAR 31 野中祐美子
- LUCE GENTILE —平澤篤油彩画展 6.19—6.25 阪急(梅田)(春風洞画廊)

- 美術\* 453 金田一好平  
美術\* 454
- Rouge et Vert 2013[平澤みどり] 4.22—4.27 ギャラリー一溪  
新美術新聞 1310
- 平田英子油絵展 2.20—2.26 松坂屋(上野)  
新美術新聞 1304
- 平野敬子展 「Vision and Realization」第15回亀倉雄策賞受賞記念 3.27—4.26 クリエイションギャラリーG8  
読売夕刊 4.15 (井)
- 平野五岳 没後120年 11.12—1.6 大分市立美術館  
水墨画\* 297
- 平野千里木彫展 2.14—2.20 東急(渋谷)  
新美術新聞 1303
- 平野正樹写真展 After the Fact 9.14—11.9 原爆の図丸木美術館  
朝日夕刊 10.30 西岡一正
- 平原辰夫展 2.4—2.9 Galerie SOL
- 平福百穂 没後80年 11.16—2.2 秋田県立近代美術館  
水墨画\* 296 山本丈志
- 平町公のワンダートリップ 7.2—8.25 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館  
朝日夕刊 8.21 大西若人
- 平山郁夫 大唐西域画への道 佐川美術館所蔵 1.23—2.4 三越(日本橋)(沖縄県立博物館・美術館、高崎市タワー美術館、富山県水墨美術館、新潟市美術館、秋田県立近代美術館、北海道立函館美術館、北海道立釧路芸術館、酒田市美術館、金沢21世紀美術館、大分県立芸術会館)  
新美術新聞 1301  
産経 1.18
- 平山郁夫 悠久のシルクロード 4.20—6.30 龍谷大学 龍谷ミュージアム  
芸術新潮 760
- 平山郁夫 仏教伝来 佐久市立近代美術館開館30周年記念特別企画展 9.14—11.10 佐久市立近代

美術館  
新美術新聞 1323 土屋信  
平山郁夫 日本の風景を描く  
11.16—6.23 平山郁夫シルクロ  
ード美術館  
新美術新聞 1337 平山東子  
蛭田二郎彫刻展 傘寿記念 10.23  
—10.29 三越(日本橋)  
新美術新聞 1326  
美術の窓 362 小森佳代子  
広田稔油彩展 3.27—4.2 松坂屋  
(名古屋)  
美術の窓 355 高山淳

(フ)

こねこのびっちな絵本原画展 ハンス  
・フィッシャー メルヘンの国の  
マイスター 7.13—8.25 教文館  
ナルニア国  
東京 8.1 小林由比  
深作秀春展～更なる未来に羽ばたく  
～深作眼科開院25周年記念  
1.15—2.1 f. e. i art gallery/FEI  
ART MUSEUM YOKOHAMA  
新美術新聞 1301  
美術の窓 352 佐々木豊/深作  
秀春  
深作秀春展 2.5—3.1 Hide Fuka-  
saku Gallery  
美術の窓 352 佐々木豊/深作  
秀春  
深沢電治展一地上の事II— 8.26—  
9.7 みゆき画廊  
新美術新聞 1321  
ふしとカケラ[深澤直人] 10.23—  
10.29 伊勢丹(新宿)  
産経 10.24 黒沢綾子  
「こころの魚」深堀隆介金魚作品展  
6.15—7.21 調布市文化会館たづ  
くり  
朝日夕刊 6.26 塩田麻衣子  
福井欧夏油絵展 12.11—12.17 三  
越(日本橋)  
新美術新聞 1330  
福井江太郎日本画展 5.21—6.2  
西武(渋谷)  
美術\* 453  
福井江太郎展 画集刊行記念 10.2  
—10.8 高島屋(日本橋)(高島屋

(京都、名古屋、大阪、新宿))  
新美術新聞 1324  
福井利佐「LIFE-SIZED」8.9—  
9.8 ポーラミュージアムアネッ  
クス  
芸術新潮 766  
新美術新聞 1321  
産経 8.29  
92歳の報道写真家 福島菊次郎  
「ヒロシマからフクシマへ。  
戦後、激動の現場」8.24—10.20  
日本新聞博物館  
東京 8.31 皆川剛  
福田祥子展 11.15—11.25 アート  
ギャラリー梓  
新美術新聞 1328  
祥洲の墨の世界2013 龍飛鳳舞[福  
田祥洲] 3.23—3.31 マキイマ  
サルファインアーツ  
ギャラリー\* 337 宗像克元  
福田千恵展—永遠の美を求めて—  
6.19—6.25 高島屋(日本橋)(高  
島屋(京都))  
新美術新聞 1314 高山由紀子  
美術の窓 358 小森佳代子  
秘密の湖 浜口陽三・池内晶子・福  
田尚代・三宅砂織 5.18—8.11  
ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクシ  
ョン  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1315  
朝日夕刊 7.3 大西若人  
毎日夕刊 7.3 岸桂子  
読売夕刊 7.20  
福田真規展 12.2—12.7 フジキ画  
廊  
美術\* 459 編集部  
福田美蘭展 7.23—9.29 東京都美  
術館  
ギャラリー\* 339  
芸術新潮 765  
新美術新聞 1319  
美術手帖 993 原田裕規 評  
朝日夕刊 9.4 大西若人  
産経 8.29 渋谷和彦  
東京夕刊 8.16 藤田一人  
日経夕刊 7.22 窪田直子  
毎日夕刊 8.14 高階秀爾  
読売 9.5 前田恭二

平成25年美術展覧会(作ヒ、フ)

福田遼子展 3.4—3.23 橘画廊  
ギャラリー\* 335  
福永敦 ハリーバリーコーラス—  
まちなかの交響、墨田と浅草  
1.12—2.3 アサヒ・アートスク  
エア  
読売夕刊 1.21 (井)  
福永慶太郎展—移りゆく刻・愛・人  
生— 8.6—8.11 豊橋市美術博  
物館  
新美術新聞 1319  
藤井達吉の全貌 野に咲く工芸 宙  
[ソラ]を見る絵画 11.17—1.19  
宇都宮美術館(岡崎市美術博物館、  
渋谷区松涛美術館)  
新美術新聞 1330  
藤井勉展 7.24—7.30 三越(日本  
橋)  
新美術新聞 1318  
藤井仁貴絵画展 10.13—10.19 ギ  
ャラリー白百合  
新美術新聞 1325  
藤笠砂都子陶展 6.12—6.25 三越  
(日本橋)  
新美術新聞 1315  
陶説 725 花里麻理  
藤笠砂都子展 12.14—12.23 柿傳  
ギャラリー  
陶説 731 花里麻理  
原画展「大長編ドラえもん」第二  
期[藤子・F・不二雄] 6.5—  
9.30 藤子・F・不二雄ミュージ  
アム  
読売夕刊 6.22 ヨミウリ・ジュ  
ニアプレス・取材班  
藤田修新作展—版画集「YOKOSUKA  
DETAILS」を中心に 11.23—  
12.15 ギャラリー白川  
版画芸術 161  
藤田潤ガラス新作展—色彩(いろ)の  
ちから— 5.15—5.21 高島屋  
(日本橋)(高島屋(京都、岡山))  
新美術新聞 1311  
美術\* 452  
レオナルド・フジタの挿絵本展[藤  
田嗣治] 4.3—6.30 東京富士美  
術館  
読売 5.30 高野清見  
藤田嗣治 本のしごと 日本での装

平成25年美術展覧会(作フ、へ)

幟を中心に 4.4—6.3 千代田区  
立日比谷図書文化館  
東京 4.17 井上幸一  
毎日夕刊 5.27 岸桂子  
レオナルド・フジタとパリ 1913  
—1931 藤田嗣治渡仏100周年記念  
4.20—6.23 静岡市美術館  
(熊本県立美術館、北九州市立美術館、  
美術館「えき」KYOTO、秋田県立美術館、  
岡山県立美術館) ギャラリー\* 336  
芸術新潮 761  
朝日夕刊 5.29 増田愛子  
読売 5.30 高野清見  
レオナルド・フジタとパリ 1913  
—1931 藤田嗣治渡仏100周年記念  
7.2—8.25 熊本県立美術館  
(静岡市美術館、北九州市立美術館、  
美術館「えき」KYOTO、秋田県立美術館、  
岡山県立美術館) デアルテ 30 井上哲  
デアルテ 30 田中修二  
レオナルド・フジタ ポーラ美術館  
コレクションを中心に 8.10—  
10.14 Bunkamura ザ・ミュージ  
アム(金沢21世紀美術館)  
新美術新聞 1322  
東京夕刊 9.20 児島やよい  
読売 5.30 高野清見  
壁画《秋田の行事》からのメッセージ  
藤田嗣治の1930年代 9.28—  
11.10 秋田県立美術館  
ギャラリー\* 341  
人間国宝三人展—佐々木苑子・室瀬  
和美・藤沼昇— 8.31—10.2  
MOA 美術館  
新美術新聞 1320  
藤野千鶴子展 10.28—11.2 札幌  
時計台ギャラリー  
新美術新聞 1326  
藤巻秀正彫刻展—妻有の大地から—  
5.31—6.24 池田美術館  
新美術新聞 1313  
藤松博展 光と影の旅人—戦後美術  
の一断面— 10.12—12.1 松本市  
美術館  
芸術新潮 767 小川稔  
新美術新聞 1324  
REAR 31 馬場駿吉

半泥子廣永窯 藤村州二作陶展  
9.25—10.1 高島屋(名古屋)  
陶説 728 井上隆生  
藤本東一良展 6.21—7.3 日動画  
廊  
新美術新聞 1315 安井収蔵  
藤森兼明—祈りの美 イコン・彩飾  
写本とともに 10.19—12.15 古  
川美術館  
新美術新聞 1327 鈴木綾子  
美術の窓 362 鈴木綾子  
藤山貴司展—闇と光の交錯 その彷徨  
と回顧— 9.21—12.1 平塚市  
美術館  
朝日夕刊 11.6 大西若人  
藤原彩人 空の景色と空な心 6.6  
—6.23 gallery 21yo-j  
ギャラリー\* 338  
芸術新潮 764  
藤原敬次郎油絵展 5.1—5.6 丸井  
今井(札幌)  
新美術新聞 1311  
サイモン・フジワラ「The Problem  
of Rock」大宰府天満宮アートプ  
ログラム vol.8 3.24—6.30 大  
宰府天満宮  
美術手帖 985 松井みどり  
サイモン・フジワラ「Aphrodisiac  
Foundations (Imperial Hotel  
1968, King Kong Komplex)」  
3.29—4.27 TARO NASU  
美術手帖 985 松井みどり  
藤原敏行 季の音 3.6—3.12 高  
島屋(大阪)(高島屋(名古屋、日本  
橋、京都))  
藤原伸行展—丸を描く— 9.16—  
9.22 OギャラリーUP・S  
新美術新聞 1322  
日本の民家—九五五年 二川幸夫・  
建築写真の原点 1.12—3.24 パ  
ナソニック汐留ミュージアム(青  
森県立美術館)  
新美術新聞 1301  
朝日夕刊 2.13 大西若人  
読売 2.21 高野清見  
二名ノリコ展 LA VIE EN ROSE  
5.8—5.14 高島屋(日本橋)  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1311 ワシオ・トシ

ヒコ  
二見彰一展 静岡県立美術館所蔵  
11.22—1.19 静岡県立美術館  
版画芸術 162  
舟越桂 新作版画展—久遠のまなざ  
し— 4.10—4.21 Bunkamura  
Gallery(ギャラリー石榴 南青山  
Room、みさき画廊、ギャラリー  
邦、ギャラリーやぶき、YOSHIKI  
INOUE Gallery、ギャラリー白川、  
ギャラリー石榴(松本)、ギャラ  
リーNOW、三越(仙台、銀座)、8  
/ART GALLERY/Tomio Koyama  
Gallery、ギャラリーーたむら)  
ギャラリー\* 336  
舟越直木展 11.11—11.22 ギャラ  
リーせいほう  
新美術新聞 1328  
アーウィン・ブルーメンフェルド  
美の秘密 3.5—5.6 東京都写真  
美術館  
新美術新聞 1309  
朝日夕刊 3.27 西岡一正  
産経 4.4 渋谷和彦  
日経 3.13 窪田直子  
ふるかはひでたか個展 岡崎の旅  
9.14—9.28 アインソフディスバ  
ッチ  
REAR 31 田中由紀子  
古川博章—Windy Forest— 4.22—  
4.28 月光荘画材店画室2  
新美術新聞 1309  
降矢組人展—富岳讃花—四季の富士  
11.1—11.6 有楽町朝日ギャラ  
リー  
新美術新聞 1327  
カール・ブロースフェルト展 1.28  
—5.2 Fuji Xerox Art Space  
文谷有佳里 なにもない風景を眺め  
る:赤と黒 3.13—4.6 アーツ  
千代田3331  
読売夕刊 3.25  
(へ)  
何翔宇(へ・シャンユ)「信仰錯誤」  
10.4—11.9 SCAI THE BATH-  
HOUSE  
美術の窓 363 何翔宇 談  
フェリーチェ・ペアトが見た日本

- Part1～幕末・明治の写真展～  
8.6—9.8 JCI フォトサロン  
産経 8.5
- フランス・ベーコン展 3.8—  
5.26 東京国立近代美術館(豊田  
市美術館)  
ギャラリー\* 335  
ギャラリー\* 338 ワシオ・トシ  
ヒコ  
新美術新聞 1306  
新美術新聞 1311 馬越陽子  
美術の窓 353 保坂健二郎  
朝日夕刊 4.10 大西若人  
産経 4.18 黒沢綾子  
東京夕刊 3.22 三沢典丈  
日経 2.17  
日経 3.17  
日経 4.11 平野啓一郎  
日経 4.21  
日経 4.29 勅使河原純  
日経 6.16  
日経夕刊 3.7  
日経夕刊 4.2 浅田彰  
日経夕刊 4.3 蛭川実花  
日経夕刊 4.5 鈴木茂晴  
読売 4.18 井上晋治
- フランス・ベーコン展 6.8—9.1  
豊田市美術館(東京国立近代美術  
館)  
美術屋・百兵衛 26  
REAR 31 牧野駿吾  
日経 7.21
- クリス・ベレンス 念写 12.7—  
1.18 MEGUMI OGITA GALLERY  
芸術新潮 770

(木)

- 柴田雅章 クライヴ・ボウエン ニ  
人展 第3回 9.21—9.29 ギ  
ャラリー・セントアイヴス
- 宝居智子個展—東風育生— 2.8—  
2.17 万画廊  
ギャラリー\* 334
- あの頃と・いま—星兼雄展 4.22—  
4.28 銀座アートホール  
新美術新聞 1310
- 星兼雄個展 10.18—10.25 魚沼市  
地域振興センター  
新美術新聞 1325

- 千田晴美展 11.18—11.24 ゆう画  
廊  
新美術新聞 1328
- 巨木画家 保科誠 卒寿記念回顧展  
7.18—7.30 ヒルトピアアーツ  
クエア  
新美術新聞 1317
- 星野美智子版画展「砂の本」特集  
1980～2013 6.7—6.22 ギャラ  
リー・ウーゴズ南青山  
ギャラリー\* 338  
版画芸術 160
- 星野祐二展 12.8—12.14 ギャラ  
リー白百合  
新美術新聞 1331
- 細川勝展 心の旅路—望郷— 12.7  
—12.15 加東市滝野図書館  
美術の窓 363 編集部
- クリスチャン・ボヌフォワ展  
12.13—2.28 メゾンエルメス 8  
階フォーラム  
芸術新潮 770 近藤学
- 堀文子展 2013…現在 ～名もなき  
もの～ 11.7—12.4 ナカジマア  
ート  
新美術新聞 1328
- 水から生まれる絵 堀井英男の版画  
と水彩 4.5—5.6 八王子市夢美  
術館(茨城県近代美術館)  
読売 4.17  
読売 4.20
- 水彩画家 堀江優造作展—「人間の  
弱さ」を持つ聖書の人を描き続け  
て— 5.4—7.15 神戸市立小磯  
記念美術館  
神戸市立小磯記念美術館だより  
38 辻智美  
美術の窓 356 高山淳  
毎日夕刊 6.17 清水有香
- 堀岡正子展 10.7—10.12 銀座井  
上画廊  
新美術新聞 1324
- 本城直季写真展 四日市鳥瞰図 し  
んきろう 4.20—6.9 四日市市  
立博物館  
芸術新潮 762  
REAR 30 原舞子
- 本城直季 新作展「p」 7.25—9.17  
America—Bashi Gallery

- 芸術新潮 765
- 本荘正彦 花彩りの木版画展 9.5  
—9.17 まるごのギャラリー  
版画芸術 161
- 東島毅+本田健展 冬のみず、山あ  
るき 11.16—2.16 岩手県立美  
術館  
新美術新聞 1331
- 本濃研太ダンボール彫刻展 ちいさ  
いのいっぱい 12.5—12.18  
Galerie412  
ギャラリー\* 344
- 本間洋展 新世代への視点2013  
画廊からの発言 7.22—8.3 ギ  
ャラリーK
- ホンムラモトゾウ展 12.10—12.16  
三越(福岡)  
新美術新聞 1330

(マ)

- 馬艶水墨画展—《天・地・人》 5.14  
—5.19 鳩居堂画廊  
新美術新聞 1311
- 馬驍・王荻地水墨画展—《墨海騰波  
・花の讃歌》 5.14—5.19 鳩居  
堂画廊  
新美術新聞 1311
- 眞板雅文展 あめつちとの協奏  
6.29—10.20 横須賀美術館
- 前川泰山と珊瑚工芸作家展 1.23—  
1.29 大丸(東京)  
新美術新聞 1301
- 前田寛治と小島善太郎 1930年協  
会の作家たち 八王子市夢美術館  
閉館10周年 小島善太郎生誕120  
年 12.7—2.2 八王子市夢美術  
館  
新美術新聞 1331
- 前田次郎作品展 4.23—4.28 鳩居  
堂画廊  
ギャラリー\* 338 宗像克元
- 前田正剛 作陶展 2.6—2.12 高  
島屋(名古屋)  
陶説 721 井上隆生
- 前田哲明 recent work 12.7—  
1.26 EARTH+GALLERY/gallery  
COEXIST—TOKYO  
ギャラリー\* 345 三田晴夫
- 前田正博展 春の器 4.12—4.16

平成25年美術展覧会(作マ)

- しぶや黒田陶苑  
陶説 723 花里麻理
- 牧進展 10.16—10.22 三越(日本橋)(三越(大阪))  
新美術新聞 1325 草薙奈津子
- 牧ゆかり展 極光の色彩の泉 8.25—9.22 GALLERY M  
ギャラリー\* 340
- 牧野邦夫—写実の精髓—展 4.14—6.2 練馬区立美術館  
美術手帖 987 小金沢智 評  
美術の窓 353 野地耕一郎  
産経 5.19 渋谷和彦  
日経 5.2  
日経 5.22 窪田直子  
毎日夕刊 5.15 岸桂子  
読売 5.30
- 横原泰介 River 1.12—2.23 ミヤケファインアート  
美術手帖 980 近藤亮介
- 真島直子展 4.1—4.20 ガレリアフィナルテ  
REAR 30 森本悟郎
- 増田恵助“water and colors” 9.23—10.13 Gallery 芽菜  
REAR 31 日沖隆
- 4人の漆芸展～川口ゆかりの漆芸作家による～[増田昌弘] 2.13—3.3 旧田中家住宅  
新美術新聞 1304
- 増丸義和 丹沢 三保窯作品展 11.22—11.27 紅椿それいゆ  
新美術新聞 1328
- 増山たづ子 すべて写真になる日まで 10.6—7.27 IZU PHOTO MUSEUM  
芸術新潮 771 石川直樹  
美術手帖 1000 畠山直哉 評
- 町田久美新作展 5.7—6.15 西村画廊  
ギャラリー\* 338 小金沢智  
芸術新潮 763
- 町田沙弥香展 新世代への視点 2013 画廊からの発言 7.23—8.3 gallery 21yo-j
- 人間国宝 松井康成展 没後10年 7.13—9.23 ニューオータニ美術館(茨城県陶芸美術館)  
新美術新聞 1320
- 松井冬子「散逸」展 1.19—3.16 成山画廊  
芸術新潮 759
- 松井ヨシアキ展—山高帽とパリの恋人— 11.6—11.12 高島屋(日本橋)(高島屋(高崎、横浜、大阪、名古屋))  
美術\* 458
- 杉浦大和+友枝憲太郎+松浦寿夫「許された果実」 5.7—5.25 なびす画廊  
東京夕刊 5.17 古谷利裕
- 松浦正博絵画展 3.11—3.16 文芸春秋画廊  
新美術新聞 1305  
美術の窓 354 磯部靖
- 松浦安弘展 モロッコ～砂と海～ 9.11—9.17 三越(日本橋)  
新美術新聞 1322  
美術の窓 360 高山淳
- 松尾栄太郎個展 remain—残存— 8.3—8.25 gallery COEXIST—TOKYO  
ギャラリー\* 340
- 風凜の会[松下雅寿] 7.9—7.15 そごう(横浜)  
美術\* 454
- 松田正平展 生誕100年 4.11—5.26 山口県立美術館(神奈川県立近代美術館(鎌倉))  
新美術新聞 1311  
デアルテ 30 萬屋健司  
読売 4.25 白石知子
- 松田正平展 生誕100年 6.8—9.1 神奈川県立近代美術館(鎌倉)(山口県立美術館)  
美術手帖 989 榎木野衣  
産経 7.14 渋谷和彦  
東京夕刊 6.14 藤田一人
- 松田登バステル画展 4.15—4.21 ギャラリームサシ  
新美術新聞 1309
- 松永真ポスター100展 1.9—1.31 ギンザ・グラフィック・ギャラリー—  
毎日夕刊 1.21 永田晶子  
読売夕刊 1.19
- 松野行洋画展 11.19—11.24 匠堂  
新美術新聞 1328
- 松林桂月展—水墨を極め、画中に詠う 没後50年 8.8—9.16 山口県立美術館(田原市博物館、練馬区立美術館)  
新美術新聞 1320  
読売 8.29 白石知子
- 松村公嗣 文藝春秋表紙絵展 12.25—1.7 三越(日本橋)(三越(名古屋))  
新美術新聞 1332
- 岩田壮平・松村公太二人展—Session— 5.1—5.7 高島屋(名古屋)(高島屋(横浜))  
美術\* 452 編集部
- かわいい!女子ワールド 松本かつぢと少女文化の源流 開館30周年記念特別展 4.27—6.23 兵庫県立歴史博物館
- 松本哲男・塚原哲夫展 12.7—4.13 佐野市立吉澤記念美術館  
新美術新聞 1333
- 古久保憲満と松本寛庸 スーパーワールド・オン・ペーパー BankART Under35/2012 3.22—4.14 BankART Studio NYK(ポダレス・アートミュージアム NO—MA、藁工ミュージアム)  
朝日夕刊 4.10 大西若人
- 松本陽子新作展 6.3—6.29 Hino Gallery  
ギャラリー\* 339 三田晴夫
- 生きる伝説[レジェンド] 松本零士展 9.14—11.24 さいたま市立漫画会館  
東京 9.14 池田友次郎  
読売夕刊 11.9 ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班
- 松山幾三郎展 画業60年のあゆみ 9.10—9.17 福井県立美術館  
新美術新聞 1322
- 間中敏子油絵展 12.11—12.17 小田急(新宿)  
新美術新聞 1330
- 的のその先[真部知胤] 1.12—2.11 アキバタマビ21  
読売夕刊 2.2
- 丸木位里・丸木俊展 3.4—3.16 檜画廊  
新美術新聞 1306



丸田隆則自選展 7.29—8.3 ギャ  
ラリーームサシ  
新美術新聞 1318  
丸毛利久個展 10.6—10.12 ギャ  
ラリーームサシ  
新美術新聞 1324  
丸山純子展 BankART Under35/  
2012 3.22—4.14 BankART  
Studio NYK  
朝日夕刊 4.10 大西若人

(ミ)

一筆蓄墨華—三浦ひろみ展 7.21—  
7.30 京王プラザホテルロビーギ  
ャラリー  
新美術新聞 1318  
三浦裕子展—Scene of Yuko's  
Horses— 5.26—6.1 新井画廊  
ギャラリー\* 339 ワシオ・トシ  
ヒコ  
美術の窓 357 ワシオ・トシヒ  
コ  
三上達也 水彩画展 3.18—3.23  
文芸春秋画廊 ザ・セラー  
ギャラリー\* 335  
MIKIKO Private Exhibition 8.30—  
9.8 ギャラリー浜松双鶴  
新美術新聞 1320  
三岸好太郎展 生誕110年 11.23  
—1.19 北海道立函館美術館(北  
海道立三岸好太郎美術館)  
日経夕刊 12.17 田村広済  
好太郎と節子 素描するよろこび  
[三岸好太郎/三岸節子] 11.23  
—1.19 北海道立三岸好太郎美術  
館  
日経夕刊 12.17 田村広済  
三岸節子展 ヴェネツィアへの憧れ  
9.24—10.5 高輪画廊  
新美術新聞 1323  
ミケランジェロ展 天才の軌跡 シ  
スティーナ礼拝堂500年祭記念  
[ミケランジェロ・フオナローテ  
ィ] 9.6—11.17 国立西洋美術  
館(福井県立美術館)  
新美術新聞 1321 川瀬佑介  
美術の窓 353 川瀬佑介  
朝日 9.2 上原佳久  
朝日 9.18

読売 11.1 井上晋治  
三沢厚彦 ANIMALS 2013 in 三  
重 7.13—9.23 三重県立美術館  
REAR 31 土生和彦  
毎日夕刊 9.4 岸桂子  
三沢厚彦 ANIMALS in HAMA-  
MATSU 10.5—12.1 浜松市美  
術館  
REAR 31 土生和彦  
三嶋りつ恵 清澄 10.24—11.16  
ShugoArts  
芸術新潮 768  
書業55年水川舟芳 素貌の書 9.4  
—9.8 東京セントラル美術館  
毎日夕刊 9.5 桐山正寿  
水野勝規展 monologue 5.7—6.1  
ギャラリーキャプション  
REAR 30 中村史子  
七代水野半次郎展 瀬戸本業窯  
8.3—9.29 瀬戸市美術館  
陶説 727 井上隆生  
水野里奈 Dazzle Painting 12.11  
—1.18 taïmatz  
芸術新潮 770  
水野竜生展 vol.9 HARMONY  
8.3—9.1 ギャラリー桜の木  
新美術新聞 1319  
水村喜一郎展 1.19—1.30 ギャラ  
リー島田  
美術の窓 353 高山淳  
水村喜一郎個展 絵を描くことは生  
きること 5.17—11.30 水村喜  
一郎美術館  
美術の窓 358 高山淳  
三瀬夏之介個展 ぼくの神さま  
4.27—6.23 国際芸術センター青  
森  
ギャラリー\* 339 小金沢智  
新美術新聞 1313  
三瀬夏之介 日本の絵 7.13—9.16  
平塚市美術館  
新美術新聞 1318  
朝日夕刊 8.21 大西若人  
東京夕刊 8.9 三沢典丈  
日経 7.21  
毎日夕刊 7.31 岸桂子  
読売 9.5  
きらめき 三田村有純漆芸展2013  
5.2—5.8 和光ホール

平成25年美術展覧会(作マ、ミ)

新美術新聞 1311  
美術\* 452 編集部  
三井園子展 6.9—8.31 極小美術  
館  
REAR 30 高橋秀治  
皆川嘉博—源流・オーロラの民  
9.2—9.7 ギャラリーせいほう  
新美術新聞 1321  
南繁樹陶展 12.2—12.8 アイギャ  
ラリー  
陶説 731 小吹隆文  
南出豊樹個展 11.27—12.2 和歌  
山県民文化会館  
新美術新聞 1329  
三原研展 VIII 10.22—10.30 阿  
曾美術  
陶説 730 花里麻理  
宮芳平 生誕120年 8.2—9.1 茅  
野市美術館(練馬区立美術館、島  
根県立石見美術館、新潟県立近  
代美術館、安曇野市豊科近代美術  
館)  
新美術新聞 1319  
読売 8.22  
宮芳平 生誕120年 9.15—11.24  
練馬区立美術館(茅野市美術館、  
島根県立石見美術館、新潟県立  
近代美術館、安曇野市豊科近代美術  
館)  
美術\* 460 山崎一穎/中沢優子  
/藤田一人  
産経 11.7 波沢和彦  
毎日夕刊 11.11 岸桂子  
読売 9.25 喜多孝臣  
読売 9.26 喜多孝臣  
読売 9.29 喜多孝臣  
宮川長春 10.12—11.17 大和文華  
館  
新美術新聞 1326  
秘密の湖 浜口陽三・池内晶子・福  
田尚代・三宅砂織 5.18—8.11  
ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1315  
朝日夕刊 7.3 大西若人  
毎日夕刊 7.3 岸桂子  
読売夕刊 7.20  
宮崎敬介展 6.22—6.30 鏡石鹿嶋  
神社参集殿

版画芸術 160  
**宮崎静夫個展** 3.20—3.26 九段生涯学習館  
 毎日 3.20 青島顕  
**宮崎学 自然の鉛筆** 1.13—4.14  
 IZU PHOTO MUSEUM  
 美術手帖 982 福住廉  
**宮下勇「ムサビキャンパスの建築」**  
 武蔵野美術大学退任記念 11.25—12.21 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)  
**宮下六郎個展** 10.12—11.4 青木村郷土美術館  
 新美術新聞 1325  
**宮田為義個展** 1.1—1.13 リーガロイヤルギャラリー  
 新美術新聞 1300  
**宮田亮平展—海へ—** 10.9—10.15 高島屋(日本橋)(高島屋(横浜、大阪、名古屋))  
 新美術新聞 1324  
 美術の窓 361 樋田豊郎  
 朝日夕刊 10.16  
**宮永愛子展「house」 五島記念文化賞美術新人賞研修帰国記念** 6.12—8.3 ミヅマアートギャラリー  
 朝日夕刊 7.3 大西若人  
 産経 7.11 渋谷和彦  
 東京夕刊 7.5 児島やよい  
 毎日夕刊 6.26 岸桂子  
**宮本絵梨展** 12.4—12.13 あらかわ画廊  
 ギャラリー\* 344  
**Home, Sweet Home 宮本三郎の家族像** 8.10—11.4 世田谷美術館分館宮本三郎記念美術館  
 新美術新聞 1322  
**宮山香里 空へ降りる方法** 11.15—12.21 ベイスギャラリー(茅場町)  
**宮脇綾子展 アプリケにつづる愛** 6.15—7.28 一宮市三岸節子記念美術館  
 美術の窓 360 竹田博志  
**ミュシャ展 パリの夢 モラヴィアの祈り ミュシャ財団秘蔵[アルフォンス・ミュシャ]** 3.9—5.19 森アーツセンターギャラリー(新潟県立万代島美術館、愛媛県美術

館、宮城県美術館、北海道立近代美術館)  
 美術の窓 353 千足伸行  
 朝日夕刊 4.17 増田愛子  
 読売 4.11 高野清見  
 読売夕刊 4.16 千足伸行  
**三好彩個展 「穴の中」** 6.15—7.14 イムラアートギャラリー東京  
 産経 7.4  
**ジャネット・カーディフ&ジョージ・ビュレス・ミラー 「Experiment in F#Minor(嬰へ短調の実験)」** 8.7—10.19 ギャラリー小柳  
 芸術新潮 766  
 美術手帖 993 熊倉晴子  
 朝日夕刊 9.4 大西若人  
**ハルーン・ミルザ 大和日英基金アートプライズ受賞記念展** 1.18—2.23 SCAI THE BATHHOUSE  
 芸術新潮 759  
 読売夕刊 2.18 (井)  
**山梨県立美術館ミレーコレクションのすべて[ジャン=フランソワ・ミレー]** 1.2—3.3 山梨県立美術館  
 ギャラリー\* 333  
 新美術新聞 1303  
 美術の窓 353 小坂井玲  
 読売 1.24 井上晋治  
**三輪壽雪・休雪 破格の創造展 智美術館閉館10周年記念[三輪休雪]** 1.19—3.31 菊池寛実記念智美術館  
 目の眼 438  
 毎日夕刊 2.7 岸桂子  
 読売夕刊 3.18 (清)

(ム)

**武井泰道展 創化乃華出版記念** 10.5—11.10 やかげ郷土美術館  
 新美術新聞 1324  
**向井周太郎 世界プロセスとしての身振り** 9.17—11.16 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)  
**向井良吉追悼 第1弾 『蟻の城』を知っていますか?** 7.13—8.25 ときわミュージアム(分館)  
 毎日夕刊 8.22

**向井良吉追悼 第2弾 ファッション×建築×舞台** 9.14—11.24 ときわミュージアム(分館)  
 毎日夕刊 8.22  
**向山和子 受賞記念展** 3.14—3.20 生田神社会館  
 新美術新聞 1306  
**画道精進 椿貞雄と実篤—船橋市・清川コレクションを中心に—[武者小路実篤]** 10.26—12.1 調布市武者小路実篤記念館  
**六崎敏光彫刻展—心のフォルムが描いた軌跡—** 1.26—3.24 しもだて美術館  
 新美術新聞 1301  
**ムットーニワールド からくりシアターIII[武藤政彦]** 9.13—11.24 八王子市夢美術館  
**棟方志功が愛した萬鉄五郎** 4.20—7.7 萬鉄五郎記念美術館  
 新美術新聞 1314  
**ムラカズキ展—顔を描く—** 2.4—2.13 四季彩舎  
 ギャラリー\* 334  
**村居正之展—深化する視線—** 1.9—1.15 高島屋(日本橋)(高島屋(京都))  
 新美術新聞 1300  
**村岡貴美男展—時間牢—** 5.9—5.22 ナカジマアート  
 新美術新聞 1311  
 美術\* 455 斎藤典彦/森谷美保/編集部・W  
 読売夕刊 5.18  
**村上愛展** 9.17—9.22 ギャラリーはねうさぎ  
 陶説 728 小吹隆文  
**村上佳奈子展 新世代への視点 2013 画廊からの発言** 7.22—8.3 ギャラリー川船  
**有田焼 玄輝陶房村上俊彦 村上邦彦展** 1.24—1.30 近鉄(奈良)  
 新美術新聞 1301  
**村上豊展** 5.25—7.15 講談社野間記念館  
 日経 6.25  
**三島由紀夫の最後の装幀画家 村上芳正展** 7.5—9.29 弥生美術館  
 読売夕刊 9.17 堀江あき子

村田伊佐夫デッサン展 9.1—9.10  
アール・モンシェリー  
新美術新聞 1320

村田佳代子個展—高山右近の生涯—  
10.15—10.20 銀座福音会センタ  
ー  
新美術新聞 1325

村田省蔵 画業60年の歩み 1.4—  
2.11 石川県立美術館  
新美術新聞 1300  
美術の窓 353 高山淳

村田省蔵展—四季を愛でる— 7.19  
—7.28 和光ホール  
新美術新聞 1318

京都・妙心寺退蔵院 村林由貴 襖  
絵展—美の創造とそれを支える職  
人たちに— 2.4—2.17 東海東京  
証券東京営業部1階ギャラリース  
ペース  
水墨画\* 290

「日本の川 たまがわ」絵本原画展  
[村松昭] 11.6—11.17 羽村市  
生涯学習センターゆとろぎ  
毎日 11.13 柴田朗

山崎省三・村山槐多とその時代  
『槐多の歌へる』その後 11.16—  
12.23 横須賀美術館(小杉放菴記  
念日光美術館)  
産経 11.24 渋谷和彦

生成のヴィジュアル—触発のつらな  
り[村山悟郎] 10.19—12.1 タ  
クロウソメヤコンテンポラリーア  
ート柏  
ギャラリー\* 344 小金沢智  
美術手帖 998 保坂健二郎 評

室井東志生展 2.20—2.26 高島屋  
(日本橋)(高島屋(京都、大阪、横  
浜))  
新美術新聞 1304  
朝日 2.23 比名祥子

人間国宝三人展—佐々木苑子・室瀬  
和美・藤沼昇— 8.31—10.2  
MOA 美術館  
新美術新聞 1320

(メ)

目良真弓展 3.9—5.6 ギャラリー  
アートグラフ  
版画芸術 159

(モ)

毛利悠子個展 おろち 1.19—2.24  
waitingroom  
美術手帖 982 熊倉晴子

パスカル・モールマン Speed  
Painting 10.4—10.19 成山画  
廊  
芸術新潮 768

望月春江とその時代 富士の国やま  
なし国文祭記念事業 4.27—6.9  
山梨県立美術館  
新美術新聞 1311

本橋成一×萩原義弘写真展「炭鉱  
から」 7.30—8.10 ポレポレ坐  
毎日 8.1 青島顕  
毎日夕刊 8.5

モネ 風景をみる眼 19世紀フラ  
ンス風景画の革新[クロード・モ  
ネ] 7.13—11.24 ポーラ美術館  
(国立西洋美術館)  
新美術新聞 1318  
産経 9.5 黒沢綾子  
東京夕刊 9.20 児島やよい

モネ 風景をみる眼 19世紀フラ  
ンス風景画の革新 12.7—3.9  
国立西洋美術館(ポーラ美術館)  
新美術新聞 1330  
読売夕刊 12.5  
読売夕刊 12.10 陳岡めぐみ

平成24年度 武蔵野美術大学造形  
学部卒業制作・大学修了制作 優  
秀作品展[百瀬文] 4.3—4.25  
武蔵野美術大学美術館・図書館  
美術手帖 985 榎木野衣

森敬介—画業50周年記念— 4.6—  
4.12 埼玉画廊  
新美術新聞 1308

森信雄木版画展—郷土の房総を彫る  
— 7.8—7.13 銀座ギャラリー  
アーチストスペース  
新美術新聞 1316  
美術の窓 358 小森佳代子

MARIKO MORI—INFINITE RENEW  
[森万里子] 9.28—1.5 エスパ  
ス ルイ・ヴィトン東京  
美術手帖 997 住吉智恵  
読売夕刊 10.7 (睦)

石の鼓動 森亮太 12.22—4.7 群

平成25年美術展覧会(作ム〜モ)

馬県立館林美術館  
新美術新聞 1305

ウィリアム・モリス 美しい暮らし  
ステンドグラス・壁紙・テキスタ  
イル 9.14—12.1 府中市美術館  
西洋美術との出会い 徳島の4人  
原鵬雲|井上辨次郎|守住貴魚|  
守住勇魚 10.5—12.1 徳島県立  
近代美術館  
芸術新潮 768

小杉小次郎・森田りえ子二人展  
7.19—7.25 相模屋美術館  
新美術新聞 1318

森田りえ子 華こよみ 11.13—  
11.19 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 1328  
美術\* 458 金子美樹

LAS MENINAS RENACEN DE NO-  
CHE 森村泰昌展 ベラスケス  
頌:侍女たちは夜に甦る 9.28—  
12.25 資生堂ギャラリー  
芸術新潮 768  
新美術新聞 1327  
朝日夕刊 12.4 西岡一正  
産経 10.20 黒沢綾子  
東京夕刊 10.25 岡部あおみ  
日経夕刊 11.27  
毎日夕刊 12.11 岸桂子

森村泰昌 レンブラントの部屋、再  
び 10.12—12.23 原美術館  
新美術新聞 1327  
朝日夕刊 12.4 西岡一正  
毎日夕刊 12.11 岸桂子

森本計一展—パリの街角を描く—  
3.27—4.2 丸善・丸の内本店ギ  
ャラリー  
新美術新聞 1307

森本秀樹展 10.1—10.9 ギャラリ  
ーゴトウ  
新美術新聞 1324

森本幹生展 28th「観自在」 1.22  
—1.27 ギャラリーモーツァルト  
新美術新聞 1301

森本幹生展 29th「観自在」 6.25  
—7.1 みなとみらいギャラリー  
新美術新聞 1315

GENOMICA「ゲノミカ」[守屋正明]  
6.24—6.30 東邦アート  
新美術新聞 1315

森山大道 1965～ 6.1—7.20 ギャラリー916  
美術手帖 991 清水穰 評  
森山大道 モノクローム 11.23—12.27 武蔵野市立吉祥寺美術館  
朝日夕刊 12.11 神谷美里  
モローとルオー—聖なるものの継承と変容—[ギュスターヴ・モロー] 9.7—12.10 汐留ミュージアム(松本市美術館)  
芸術新潮 767  
新美術新聞 1327  
美術の窓 353 増子美穂  
東京 9.2  
東京 9.6 マリー=セシル・フォレスト  
東京夕刊 10.4 古谷利裕  
日経 10.16 窪田直子  
日経 11.14 平野啓一郎  
毎日夕刊 9.24 高階秀爾  
読売 10.31 森田睦

(ヤ)

谷貝文恵展 11.18—11.23 ぎやらりいサムホール  
新美術新聞 1328  
美術の窓 362 ワシオ・トシヒコ  
アンティーク 八木幾朗個展 百花図(板絵) 5.22—5.28 高島屋(日本橋)(高島屋(大阪、京都、新宿))  
美術\* 452 編集部  
アンティーク 八木幾朗個展 百花図(板絵) 7.17—7.23 高島屋(京都)(高島屋(日本橋、大阪、新宿))  
新美術新聞 1317  
アンティーク 八木幾朗個展 百花図(板絵) 9.4—9.10 高島屋(大阪)(高島屋(日本橋、京都、新宿))  
ギャラリー\* 341  
八木なぎさ 10.7—10.17 NICHE GALLERY  
八島正明展 3.20—6.30 三重県立美術館  
安田育代新作展—母と子 明日をつむぐ— 11.22—11.30 ギャラリーーぐんじ

美術\* 459 編集部  
安田菜津紀・佐藤慧・渋谷敦志写真展「舩 ファインダー越しの3・11」 4.13—4.22 コニカミノルタプラザ  
毎日 4.17 山本浩資  
ロビー展 湯原和夫・保田春彦の私たち 1.4—4.14 平塚市美術館  
新美術新聞 1307  
安永正臣の陶磁器 1.5—1.20 うつわ 京都 やまほん  
陶説 720 梅田稔  
谷中千夜子個展—はるかなる大地— 9.16—9.21 新井画廊  
新美術新聞 1323  
柳宗理の見てきたもの 8.27—11.21 日本民芸館(豊田市民芸館)  
芸術新潮 767  
朝日夕刊 10.2 辻村碧  
日経 10.30 宝玉正彦  
読売夕刊 9.24 杉山享司  
柳澤紀子展—転生の渚— 2.23—3.31 浜松市美術館/平野美術館  
新美術新聞 1304 馬場駿吉  
朝日夕刊 3.27 大西若人  
毎日夕刊 3.6 岸桂子  
柳澤紀子展 11.5—11.16 養清堂画廊  
新美術新聞 1327  
柳沢正人日本画展 悠久への道 5.29—6.11 西武(池袋)  
新美術新聞 1313  
柳原義達デッサン展 デッサンから彫刻へ。 12.14—3.9 ときわミュージアム(分館)  
美術の窓 366 三浦梨絵  
みんな大好きアンパンマン やなせたかしの世界展 1.26—3.24 川越市立美術館  
読売夕刊 3.12 横山りえ  
やなせたかしの「詩とメルヘン」のなかまたち 4.19—5.29 北海道立旭川美術館(岐阜県美術館、香美市立やなせたかし記念館詩とメルヘン絵本館・別館)  
氷華 55 井内佳津恵  
柳瀬正夢 1900—1945 12.14—2.2 北九州市立美術館(愛媛県美

術館、神奈川県立近代美術館(葉山))  
デュアルテ 30 落合朋子  
デュアルテ 30 西本匡伸  
矢萩春恵展「お・ん・な」 10.5—10.14 和光ホール  
毎日夕刊 10.7 桐山正寿  
八幡はるみ 工芸・東洋館を祝う AM 倉敷 vol.11 11.19—1.19 大原美術館  
新美術新聞 1331  
籾内佐斗司 やまとぢから 7.20—9.23 群馬県立館林美術館  
新美術新聞 1318  
山内大介展 10.28—11.2 高輪画廊  
新美術新聞 1326  
大矢亮・山口暁子二人展 5.21—5.27 そごう(横浜)  
美術\* 453  
山口晃展 老若男女ご覧あれ 付〔つけた〕り殿〔おり〕エンナーレ 4.20—5.19 そごう美術館  
朝日夕刊 4.24 牧野洋  
山口薫展 詩魂の画家 没後45年 11.23—1.26 何必館・京都現代美術館  
美術の窓 365 竹田博志  
山口クスエグループ 紫星美術館 44回 7.2—7.7 新宿区立区民ギャラリー  
読売 6.29  
心・源氏大絵展 山口クスエ卒記念 11.19—11.24 新宿区立区民ギャラリー  
新美術新聞 1329  
渡会不二男・山口幸子展 和紙ファイバーアートの世界 4.23—4.28 埼玉県立近代美術館  
新美術新聞 1310  
山口長男 没後30年 3.29—4.28 中長小西  
山口正城展 生誕110年 はじまりは1本の線から 12.21—2.11 北海道立旭川美術館  
山口裕子日本画展—花のありか— 5.9—5.24 新生堂  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1311

山崎倭子作品展 9.16—9.21 ギャラリースペース Q  
水墨画\* 296 山崎倭子

山崎省三・村山槐多とその時代『槐多の歌へる』その後 11.16—12.23 横須賀美術館(小杉放菴記念日光美術館)  
産経 11.24 浪沢和彦

山下耕平展 新世代への視点2013 画廊からの発言 7.22—8.3 ギャラリー58

戸田守宣 山下真人 10.12—1.26 瀬戸市新世紀工芸館  
陶説 729 井上隆生

激動のOKINAWA42年 報道カメラマンが見た 琉球新報創刊120年企画展[山城博明] 6.22—8.18 日本新聞博物館  
東京 7.23 牧野俊樹

山田和展—出会いと研鑽 極めた技は未踏の新境地へ— 8.31—9.29 福井県陶芸館  
陶説 728 唐澤昌宏

山田まほ個展 3.26—4.7 藤屋画廊  
新美術新聞 1308

山寺重子展 色が踊っている 5.6—5.11 画廊るたん  
新美術新聞 1311

大和保男の陶芸—魂[アニメ]の造形— 9.3—9.29 山口県立萩美術館・浦上記念館

生物図鑑15 大和由佳「杖先、新しい小径」展 10.19—10.27 ACID NATURE 乙庭  
ギャラリー\* 343 小金沢智

山中現(木版画と油絵)展 5.18—6.16 ギャラリー宮脇  
新美術新聞 1314

山中總作品展 4.22—4.27 銀座スルガ台画廊  
新美術新聞 1307

山中宣明「An anonym」 6.11—6.22 ギャラリーバリ  
ギャラリー\* 338  
新美術新聞 1314  
美術の窓 359 編集部

マンハッタンの太陽 光学芸術から熱学芸術への拡張:18世紀から

21世紀の“太陽画”の系譜[山中信夫] 7.13—9.23 栃木県立美術館  
美術手帖 993 近藤亮介  
朝日夕刊 7.24 大西若人  
毎日夕刊 9.11 岸桂子  
読売 9.5 井上晋治

山中真寿子展 9.12—9.21 ギャラリー惣  
美術の窓 360 高山淳

山村浩二がえらぶ新世代 アニメーションのつくり手たち 横浜wo発掘 suru vol.4 6.14—6.30 横浜市民ギャラリーあざみ野  
新美術新聞 1314

山村浩二絵本原画展 雨ニモマケズ Rain Won't 10.31—11.5 ギャラリーピブリオ  
毎日 11.5 岡礼子

山本治展 12.4—12.13 ギャラリー・サロンドエス  
新美術新聞 1330

山本浩二展 4.8—4.27 永井画廊  
芸術新潮 762

山本作兵衛 世界記憶遺産の炭坑絵師 3.16—5.6 東京タワー  
美術手帖 985 榊田倫広  
朝日夕刊 4.10 西岡一正  
産経 3.19  
産経 4.25 浪沢和彦  
読売 3.19 徳永恵太  
読売 3.20 徳永恵太  
読売 3.22 徳永恵太  
読売 4.2 天竺実代子  
読売 4.30  
読売夕刊 3.15 南伸坊/有馬学  
読売夕刊 4.27 ヨミウリ・ジュニアプレス・取材班

坑夫・山本作兵衛の生きた時代～戦前・戦時の炭坑をめぐる視覚表現 7.13—9.8 原爆の図丸木美術館  
東京 7.7 中里宏

山本高之展 Facing the Unknown 9.14—10.19 ケンジタキギャラリー—東京  
REAR 31 藪前知子

山本剛史展 11.25—12.1 Oギャラリー—  
版画芸術 161

平成25年美術展覧会(作ヤ、ユ)

山本二三展 日本のアニメーション美術の創造者 4.20—6.23 長崎県美術館(大垣市サイトピアセンターアートギャラリー、岡山シティミュージアム、北海道立帯広美術館、青森県立郷土館)

山本大貴新作展 10.2—10.18 新生堂  
新美術新聞 1324

山本捷個展 9.19—9.24 ギャラリー—PLAZA  
新美術新聞 1321

堂本印象と東丘社 そして山本茂斗 10.5—11.24 丹波市立植野記念美術館  
新美術新聞 1324

山本雄三展 昭和会展受賞記念 3.1—3.13 日動画廊  
新美術新聞 1305

ART COMPLEX by Yohji Yamamoto A Beauty Looking Back(見返り美人)[山本耀司] 4.3—4.9 伊勢丹(新宿)  
産経 4.4

山本涉 プラタナスの観察 7.26—8.10 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku  
美術手帖 993 清水穰 評

(ユ)

ku koro oruspe 「私の物語 私の手から あなたの心へ」現代アイヌアート展 vol.8[結城幸司] 12.1—12.7 ギャラリーモーツァルト  
毎日 12.6 明珍美紀

湯沢英治写真展「REAL BONES G」 12.2—12.14 Art Gallery M84  
ギャラリー\* 344  
芸術新潮 770

柚木沙弥郎 いのちの旗じるし 5.2—8.18 世田谷美術館  
新美術新聞 1318

ロビー展 湯原和夫・保田春彦のたち 1.4—4.14 平塚市美術館  
新美術新聞 1307

伊熙倉展 一抹: a touch of powder 11.2—12.7 GALLERY CAPTION

陶説 730 井上隆生

(ヨ)

- 横尾忠則ポスター展 1.26—2.24  
岩手県立美術館  
ギャラリー\* 333
- 横尾忠則展「ワード・イン・アート」  
〜字は絵のごとく 絵は字のごとく〜 3.2—6.30 横尾忠則現代美術館  
新美術新聞 1307
- 横尾忠則 日本の作家222 8.19—9.14 南天子画廊  
芸術新潮 766  
毎日夕刊 9.2 岸桂子
- 横尾忠則の「昭和NIPPON」—反復・連鎖・転移 9.7—11.4 青森県立美術館(横尾忠則現代美術館)  
美術手帖 995 編集部 文  
朝日夕刊 10.23 大西若人
- 横尾忠則 感応する風景 LANDSCAPE PAINTINGS 10.1—12.1 兵庫県立美術館
- 横手貞美 未完の青春 長崎の美術 5 5.16—7.21 長崎県美術館
- 横前裕子小品展 10.29—11.8 ギャラリー杜  
新美術新聞 1326
- 横山大観展 水野コレクション 6.8—8.4 水野美術館  
新美術新聞 1315
- 横山大観展—良き師、良き友 岡倉天心生誕150年・没後100年記念／『國華』創刊125周年／朝日新聞創刊135周年 10.5—11.24 横浜美術館  
新美術新聞 1326  
水墨画\* 295 八柳サエ  
美術の窓 353 編集部  
朝日 7.3  
朝日 9.4  
朝日 9.11  
朝日 9.25 佐藤志乃  
朝日 10.29 辻直美 聞き手  
朝日夕刊 9.25 西岡一正
- 吉江麗子展 My Wonderland'01  
〜'13 木による立体、半立体  
〜 2.25—3.9 ギャラリー・オカベ

- 新美術新聞 1305
- 吉岡耕二展2013 SUMMER TIME 6.22—7.7 ギャラリー桜の木  
新美術新聞 1316
- 吉岡徳仁 クリスタライズ 10.3—1.19 東京都現代美術館  
産経 12.19  
東京夕刊 10.18 児島やよい  
日経 12.12 平野啓一郎
- “解き放たれた約束”〜吉岡弘昭『全版画1967〜2013』出版記念展 9.20—9.25 名古屋芸術大学アート&デザインセンター  
版画芸術 161 木本文平
- 吉岡正人洋画展 2.6—2.12 三越(日本橋)  
新美術新聞 1302  
美術の窓 353 高山淳
- 吉岡正人 思い出の物語 6.5—6.8 表玄  
美術\* 453
- 吉賀伸展 4.27—5.12 スペース・S  
新美術新聞 1312
- 吉島信広 立体展—絢爛— 8.21—8.27 松坂屋(名古屋)  
陶説 728 井上隆生
- 吉田克朗展 “Red, Canvas, Electricity...”Paris 1971—Tokyo 1994 +Prints 9.7—10.20 鎌倉画廊  
ギャラリー\* 342 三田晴夫
- 吉田夏奈—海は青い 森は緑 5.24—6.16 アートフロントギャラリー(代官山蔦谷書店)  
東京夕刊 6.7 中村英樹
- 吉田夏奈—海は青い 森は緑 6.4—7.21 代官山蔦谷書店(アートフロントギャラリー)  
読売夕刊 6.22 井上晋治
- 交錯する眼差しの方へII'13書展[吉田敏子] 9.24—10.6 コンチネンタルギャラリー  
毎日夕刊 10.3 桐山正寿
- 美しき東北の街並み〜鳥のまなざし 吉田初三郎の世界〜 4.27—6.16 東北歴史博物館
- 吉田素子展 3.11—3.16 ぎやらりいサムホール  
新美術新聞 1306

- 吉野展海 5.20—6.1 ギャラリー58  
新美術新聞 1312
- 吉村周子展 8.25—8.31 アートギャラリー銀座  
新美術新聞 1320
- こうとうのまち百景原画展[吉村勲二] 4.26—5.6 深川東京モダン館  
東京 5.4 小林由比
- 東山魁夷と建築家吉村順三—住空間と日本美の饗宴— 7.19—9.1 香川県立東山魁夷せとうち美術館  
新美術新聞 1319
- 吉村誠司 日本画新作展—珠玉の小品たち— 6.10—6.15 太陽画廊  
新美術新聞 1313
- 吉村鐵凡展 7.29—8.3 文芸春秋画廊  
新美術新聞 1318
- 米田知子 暗[やみ]なきところで逢えれば 7.20—9.23 東京都写真美術館(姫路市立美術館)  
美術手帖 993 富山由紀子 評  
朝日夕刊 8.28 大西若人  
東京夕刊 8.23 児島やよい  
日経 8.21 窪田直子  
毎日夕刊 8.21 手塚さや香  
読売 9.5 井上晋治  
読売 9.5 藤村里美  
読売 9.6 藤村里美  
読売 9.8 藤村里美
- 米津福祐の全貌展その1 6.1—6.16 東御市文化会館  
新美術新聞 1313
- 棟方志功が愛した萬鉄五郎 4.20—7.7 萬鉄五郎記念美術館  
新美術新聞 1314
- 萬鉄五郎 七変化 わが内なる自画像 11.30—2.23 萬鉄五郎記念美術館

(ラ)

- SPECTRA VISION Curated by Anselm Reyle[アンセルム・ライラ] 9.21—10.4 Hidari Zingaro/Oz Zingaro/Kaikai Zingaro  
Anselm Reyle INTO THE VOID 9.21—10.18 Kaikai kiki gallery

BLACKS ルイズ・ニーヴェルス  
ン | アド・ラインハート | 杉本博  
司 2.2—4.14 川村記念美術館  
芸術新潮 760

吉左衛門 X—上原美智子 染織+樂  
吉左衛門 陶・茶入+土田半四郎  
仕覆— 9.21—3.30 佐川美術館  
新美術新聞 1330 樂吉左衛門

樂山正幸 油絵展 3.27—4.2 小  
田急(新宿)  
新美術新聞 1307

樂山正幸個展〜東西四季模様〜  
9.15—9.21 ギャラリームサン  
新美術新聞 1322

クローゼットとマットレス スミル  
ハン・ラディック+マルセラ・コ  
レア展 9.4—11.30 メゾンエル  
メス8階フォーラム  
読売夕刊 9.9 (睦)

ラファエロ[ラファエロ・サンツィ  
オ] 3.2—6.2 国立西洋美術館  
新美術新聞 1308  
美術の窓 353 渡辺晋輔  
産経 5.12 渋谷和彦  
読売 1.14  
読売 4.5 井上晋治/中野京子  
読売 4.27 高橋明也  
読売 4.28 石鍋真澄  
読売 5.1 ヤマザキマリ  
読売 5.2 岡田温  
読売 5.3 高階秀爾  
読売夕刊 3.13 井上晋治  
読売夕刊 3.14 井上晋治  
読売夕刊 3.15 井上晋治  
読売夕刊 3.16 井上晋治  
読売夕刊 4.2 渡辺晋輔  
読売夕刊 5.10 井上晋治

アベル・バロツソ タッチパネル電  
話展&サンドラ・ラモス 現代の  
神話展 12.12—12.24 プロモ・  
アルテギャラリー  
ギャラリー\* 344

ルネ・ラリック 日曜日の庭 クレ  
ールフォンテーヌへの招待状  
6.1—12.1 箱根ラリック美術館  
芸術新潮 764

写真であそぶ 植田正治とジャック  
・アンリ・ラルティエグ 11.23  
—1.26 東京都写真美術館

芸術新潮 767  
朝日夕刊 11.27 西岡一正  
産経 12.12 渋谷和彦  
毎日夕刊 11.27 岸桂子

TONEplant : CASE02 : [ペ・ラン]  
8.10—8.31 STANDING PINE  
美術手帖 995 畠中実 評

シガリット・ランダウ ウルの牡山  
羊 5.17—8.18 メゾンエルメス  
8階フォーラム  
芸術新潮 763  
美術手帖 989 熊倉晴子  
朝日夕刊 7.3  
読売 7.4 高野清見

## (リ)

李暁剛展 11.11—11.20 ギャラリー  
一銀座アルトン  
美術の窓 362 瀧梯三

ジェーン・リー展「秘密の庭」 10.9  
—11.16 ミヅマアートギャラリー  
—  
芸術新潮 768  
美術の窓 363 ジェーン・リー  
談

劉霞写真展 沈黙の力 4.8—5.10  
日本外国特派員協会(FOIL GAL-  
LERY)  
毎日 4.17 藤田祐子

## (ル)

潤物無声—盧治平版画作品展 8.16  
—8.22 東京中国文化センター  
版画芸術 160 竹内健太

ルーベンス 栄光のアントワープ工  
房と原点のイタリア[ピーテル・  
パウル・ルーベンス] 3.9—4.21  
Bunkamura ザ・ミュージアム(北  
九州市立美術館、新潟県立近代美  
術館)  
美術の窓 353 廣川暁生  
日経 4.10 窪田直子  
毎日 3.16 廣川暁生  
毎日 4.6 岸桂子

モローとルオー—聖なるものの継承  
と変容—[ジョルジュ・ルオー]  
9.7—12.10 汐留ミュージアム  
(松本市美術館)  
芸術新潮 767

新美術新聞 1327  
美術の窓 353 増子美穂  
東京 9.2  
東京 9.6 マリー=セシル・フ  
ォレスト  
東京夕刊 10.4 古谷利裕  
日経 10.16 窪田直子  
日経 11.14 平野啓一郎  
毎日夕刊 9.24 高階秀爾  
読売 10.31 森田睦

ジョルジュ・ルオー展 10.1—  
11.17 千葉市美術館  
千葉市美術館ニュース C'n 68  
水沼啓和

ル・コルビュジエと20世紀美術  
8.6—11.4 国立西洋美術館  
新美術新聞 1320  
朝日 10.16 大西若人  
日経 9.18 窪田直子  
毎日夕刊 10.9 岸桂子

アンリ・ルソーから始まる 素朴派  
とアウトサイダーズの世界 9.14  
—11.10 世田谷美術館  
ギャラリー\* 341  
朝日夕刊 10.16 大西若人  
日経 10.9 宝玉正彦  
毎日夕刊 10.30 岸桂子  
読売 10.3 井上晋治

オディロン・ルドン 夢の起源  
4.20—6.23 損保ジャパン東郷青  
児美術館(静岡市美術館、岐阜県  
美術館、新潟市美術館)  
芸術新潮 763  
新美術新聞 1310 小林晶子  
美術の窓 353 小林晶子

オディロン・ルドン 夢の起源  
6.29—8.25 静岡市美術館(損保  
ジャパン東郷青児美術館、岐阜県  
美術館、新潟市美術館)  
新美術新聞 1317  
日経 7.21

ルノワール礼讃 ルノワールと20  
世紀の画家たち[ピエール=オー  
ギュスト・ルノワール] 12.1—  
4.6 ボーラ美術館

## (レ)

レーピン ロシア近代絵画の頂点  
国立トレチャコフ美術館所蔵[イ

リヤ・レーピン] 2.16—3.30  
姫路市立美術館(Bunkamura ザ・  
ミュージアム、浜松市美術館、神  
奈川県立近代美術館(葉山))  
新美術新聞 1303

レオナルド・ダ・ヴィンチ展 天才  
の肖像 4.23—6.30 東京都美術  
館  
新美術新聞 1311 小林明子  
美術の窓 353 小林明子  
朝日 4.21 上原佳久  
朝日夕刊 5.1 西岡一正

レオ・レオニ 絵本のしごと 6.22  
—8.4 Bunkamura ザ・ミュージ  
アム(北九州市立美術館分館、刈  
谷市美術館、美術館「えき」KYO-  
TO)  
朝日 7.3  
朝日夕刊 6.18 谷川俊太郎  
朝日夕刊 7.20 竹内誠人  
産経 6.24 黒沢綾子  
読売夕刊 7.6 ヨミウリ・ジュ  
ニア・プレス取材班

ジゼル・ツェラン=レトランジュ  
9.14—12.1 神奈川県立近代美術  
館(鎌倉別館)

(ロ)

アントニオ・ロペス 現代スペイン  
・リアリズムの巨匠 4.27—6.16  
Bunkamura ザ・ミュージアム(長  
崎県美術館、岩手県立美術館)  
美術\* 454 中村隆夫/石川健次  
/石黒賢一郎  
美術手帖 985 白坂ゆり 構成・  
文  
産経 5.26 渋谷和彦  
日経 5.15 宮川匡司

アントニオ・ロペス 現代スペイン  
・リアリズムの巨匠 6.29—8.25  
長崎県美術館(Bunkamura ザ・ミ  
ュージアム、岩手県立美術館)  
美術の窓 353 森園敦

(ワ)

アンドリュウ・ワイエス水彩・素描  
朝霞市丸沼芸術の森所蔵 3.27—  
5.19 茨城県近代美術館  
新美術新聞 1309

若尾経陶芸展4回 5.8—5.14 松  
坂屋(名古屋)  
陶説 724 井上隆生

若尾経 伊勢崎晃一朗 中田博士  
現代陶芸三人展 8.29—9.3 な  
がの東急百貨店  
陶説 729 唐澤昌宏

若尾利貞作陶展 傘寿記念 10.16  
—10.22 高島屋(日本橋)(高島屋  
(岐阜))

若林奮 仕事場の人 DRAWING  
1955—2003 11.23—1.13 多摩  
美術大学美術館

若林砂絵子展 9.22—9.28 みゆき  
画廊  
水墨画\* 297

田辺小竹・彦十蔭絵展 竹×漆  
「プライスコレクションの若冲」  
[若宮隆志] 6.26—7.2 高島屋  
(日本橋)(高島屋(大阪))  
目の眼 442

和田均 陶展—記憶— 7.25—7.31  
柿傳ギャラリー  
陶説 727 外館和子

和田誠ポスター展 1.22—1.26 あ  
うるすぼっと  
産経 1.23

和田義彦展 幸せの国ブータンを描  
く 5.6—5.18 ギャラリーミハ  
ラヤ  
新美術新聞 1311

渡瀬凌雲 熊野古道なかへち美術館  
開館15周年記念特別展 4.13—  
7.7 熊野古道なかへち美術館/  
田辺市立美術館  
新美術新聞 1310

渡邊加奈子木版画展 4.6—4.20  
アートギャラリーミューズ  
版画芸術 159

渡辺玄一作品展3回〜極色祭・炎  
のマエストロ〜 2.14—2.21 東  
急(たまプラーザ)  
新美術新聞 1303

渡辺玄一展 6.20—7.2 まるごの  
ギャラリー  
新美術新聞 1315

渡邊光彩展9回 5.20—5.25 ギ  
ャラリー GK  
新美術新聞 1312

渡辺祥行洋画展 5.8—5.14 高島  
屋(松山)  
新美術新聞 1311

渡辺祥行絵画展 7.2—7.31 松山  
全日空ホテル  
新美術新聞 1318

渡辺千尋 復刻の聖母 11.30—2.9  
練馬区立美術館  
毎日 11.28

渡辺豊重展「動刻」 3.15—3.27 ギ  
ャラリー絵夢  
ギャラリー\* 335  
新美術新聞 1306

渡辺眸写真展 Tenjiku 9.6—  
10.12 ZEIT-FOTO SALON  
ギャラリー\* 341

渡辺三絵子個展 4.23—4.28 藤屋  
画廊  
新美術新聞 1310

渡辺裕司展 4.13—4.21 ギャラリ  
ーはなみち  
版画芸術 159

書・墨・アート Vol.4 渡邊麗展  
9.3—10.6 Gallery アソビバ  
新美術新聞 1321

渡会不二男・山口幸子展 和紙ファ  
イバーアートの世界 4.23—4.28  
埼玉県立近代美術館  
新美術新聞 1310

団体展

(ア行)

Artist Group—風—2回 2013 10.20  
—10.28 東京都美術館  
ギャラリー\* 339  
ギャラリー\* 343  
美術\* 458 編集部

アート未来展18回 6.26—7.8 国  
立新美術館  
新美術新聞 1319 (和)  
美術の窓 360 磯部靖

国際画家展7回[亜細亜国際美術  
会] 7.2—7.8 日中友好会館美術  
館  
ギャラリー\* 340

アジア創造美術展2013[亜細亜太平  
洋水墨画会] 1.23—2.4 国立新  
美術館



- 水墨画\* 288
- 亜細亜現代美術展49回**[**亜細亜美術協会**] 5.22—5.30 東京都美術館  
新美術新聞 1317 (和)  
美術の窓 358 高山淳
- 一期展48回** 10.2—10.14 国立新美術館  
新美術新聞 1329 (和)  
美術の窓 363 高山淳/小池伊欧里
- 一陽展59回** 10.2—10.14 国立新美術館(大阪市立美術館)  
ギャラリー\* 343  
新美術新聞 1329 (袴)  
美術の窓 363 高山淳
- 一水会選抜展52回** 3.13—3.19 三越(日本橋)  
新美術新聞 1306
- 一水会展75回** 9.19—10.3 東京都美術館(大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー、金沢21世紀美術館)  
新美術新聞 1328 (能)  
美術の窓 362 高山淳/磯部靖
- 一線美術会展64回** 10.22—10.28 東京都美術館(奈良県文化会館、愛知県美術館ギャラリー)  
新美術新聞 1331 (磯)  
美術の窓 363 高山淳
- 一創会展35回** 10.13—10.19 東京都美術館  
新美術新聞 1331 (能)
- 旺玄展79回** 5.22—5.30 東京都美術館(秋田県立美術館、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
新美術新聞 1317 (袴)  
美術の窓 358 高山淳

## (カ行)

- 東京きりえ美術展32回**[**きりえ TOKYO**] 4.2—4.6 東京都美術館 東京 4.3
- 近代水墨展30回** 10.12—10.20 東京都美術館  
美術の窓 363 小池伊欧里
- 近代展40回**[**近代日本美術協会**] 10.30—11.6 東京都美術館

- ギャラリー\* 345 ワシオ・トシヒコ  
新美術新聞 1331 (能)  
美術の窓 364 磯部靖
- 近代美術協会展50回** 8.21—8.30 東京都美術館  
新美術新聞 1323 (能)  
美術の窓 361 高山淳
- 群炎展52回** 11.26—12.3 東京都美術館  
新美術新聞 1334 (橋)  
美術の窓 364 磯部靖
- 現日選抜書展53回** 2.20—3.4 国立新美術館
- 日本現代工芸美術展52回**[**現代工芸美術家協会**] 4.18—4.23 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、金沢21世紀美術館、神奈川県民ホール、ミウラート・ヴィレッジ、身延町なかとみ現代工芸美術館)  
新美術新聞 1314 (松)  
美術の窓 357 高山淳
- ニュークリエイティブ展29回**[**現代手工芸作家協会**] 2.2—2.7 東京都美術館  
新美術新聞 1308 (袴)
- 現水展52回**[**現代水墨画協会**] 10.22—10.28 東京都美術館  
美術の窓 363 磯部靖
- 現創展39回**[**現代創造美術協会**] 11.26—12.3 東京都美術館  
新美術新聞 1334 (橋)  
美術の窓 364 磯部靖
- 現代童画展39回** 11.8—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1332 (磯)  
美術の窓 364 高山淳/磯部靖
- 現代バステル協会展25回** 8.2—8.10 東京都美術館(尼崎市総合文化センター)  
新美術新聞 1322 (袴)  
美術の窓 361 磯部靖
- 現展69回**[**現代美術家協会**] 5.29—6.10 国立新美術館(愛知県美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1317 (和)  
美術の窓 359 高山淳/小池伊欧里

- 元陽展44回** 10.30—11.6 東京都美術館(広島県立美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1331 (能)  
美術の窓 364 磯部靖
- 行動展68回** 9.18—9.30 国立新美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、福岡市美術館)  
新美術新聞 1328 (袴)  
美術の窓 362 高山淳/小池伊欧里
- 光風会展99回** 4.17—4.29 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、広島県立美術館、石川県立美術館)  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1309  
新美術新聞 1312 (松)  
美術\* 453 清水秀作  
美術の窓 357 高山淳
- 光陽展61回** 4.8—4.16 東京都美術館(広島県立美術館、京都市美術館)  
新美術新聞 1312 (能)  
美術の窓 357 高山淳
- 国画展44回**[**国画院**] 10.12—10.19 東京都美術館  
美術の窓 363 小池伊欧里
- 国展87回**[**国画会**] 5.1—5.13 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館、福岡市立美術館)  
ギャラリー\* 338  
新美術新聞 1315 (和)  
美術の窓 358 高山淳/小森佳代子/磯部靖/大澤景
- 国画水墨院展18回** 4.17—4.23 東京都美術館  
新美術新聞 1314 (和)
- ima 女流選抜展33回**[**国際現代美術家協会**] 3.4—3.9 地球堂ギャラリー  
新美術新聞 1304
- ima 展39回**[**国際現代美術家協会**] 12.13—12.20 東京都美術館  
新美術新聞 1335 (和)
- 国際書画展35回** 1.23—2.4 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、兵庫県立美術館)

日美絵画展14回[国際文化カレッジ] 8.8—8.17 国立新美術館  
 総合水墨画展18回[国際文化カレッジ] 8.8—8.17 国立新美術館  
 水墨画\* 296  
 水墨画\* 296 柏木美保子  
 水墨画\* 296 富永成風  
 水墨画\* 296 児玉和子  
 水墨画\* 296 善生信義  
 水墨画\* 296 高木幸二

国際墨画会展13回 6.12—6.24 国立新美術館

新美術新聞 1318 (能)

齋展42回 6.28—7.6 東京都美術館

美術の窓 360 大沢景

(サ行)

朔日会展82回 6.21—6.27 東京都美術館

美術の窓 359 高山淳

日仏現代国際美術展17回[サロン・ブラン美術協会] 4.2—4.6 東京都美術館

新美術新聞 1311 (和)

美術の窓 357 高山淳

三軌展65回記念 5.15—5.27 国立新美術館

新美術新聞 1315 (磯)

示現会展66回 4.3—4.15 国立新美術館(兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー、福岡市美術館、熊本県立美術館分館、北九州市立美術館分館、和歌山県民文化会館、あわぎんホール徳島県郷土文化会館、愛知県美術館ギャラリー、岐阜県美術館、山形美術館、京都市美術館、青森市民美術展示館、長岡市美術センター、石川県立美術館、福井市美術館)

新美術新聞 1311 (袴)

美術の窓 357 高山淳

写真画壇展41回 4.1—4.7 上野の森美術館

ギャラリー\* 336

新美術新聞 1311 (磯)

美術\* 453 編集部

美術の窓 357 磯部靖

秋耕展37回 2.6—2.18 国立新美

術館

新美術新聞 1307 (襷)

秀彩展6回 11.16—11.24 東京都美術館

新美術新聞 1333 (和)

自由美術展77回 10.2—10.14 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館)

ギャラリー\* 341

新美術新聞 1329 (能)

美術の窓 363 高山淳

主体展49回 9.1—9.16 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)

ギャラリー\* 342

主体美術 95 藤田俊哉/中城芳裕/結城智子/岡本裕介/田中和枝

新美術新聞 1325 (橋)

美術の窓 362 高山淳/磯部靖

朱葉会展92回 6.29—7.6 東京都美術館

ギャラリー\* 340

新美術新聞 1320 (能)

美術の窓 360 高山淳

純展43回 9.26—10.3 東京都美術館

美術の窓 362 磯部靖

春陽展90回 4.17—4.29 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)

ギャラリー\* 336 三浦明範

ギャラリー\* 336 萩谷かおる

ギャラリー\* 336 鈴木善晴

ギャラリー\* 336 清水美三子

ギャラリー\* 336 有吉宏朗

ギャラリー\* 336 中東剛

ギャラリー\* 336 立堀秀明

ギャラリー\* 336 入江観

ギャラリー\* 337

新美術新聞 1309 宝木範義

新美術新聞 1312 (袴)

美術\* 453 清水秀作

美術の窓 357 高山淳/小池伊欧里

春陽会版画部研究会展 8.26—9.7 GALLERY うえずと

ギャラリー\* 341

春陽会版画部秋季展 9.23—9.28 文芸春秋画廊

ギャラリー\* 341

女流画家協会展67回 6.29—7.6 東京都美術館

新美術新聞 1321 (袴)

美術の窓 360 高山淳

新展10回 6.20—6.27 東京都美術館

新美術新聞 1319 (袴)

新槐樹社展57回 2.6—2.18 国立新美術館

新美術新聞 1309 (松)

美術の窓 356 高山淳

新協展56回 10.5—10.11 東京都美術館

新美術新聞 1330 (橋)

美術の窓 363 高山淳/小池伊欧里

極美展19回[新極美術協会] 9.26—10.3 東京都美術館

美術の窓 362 磯部靖

新芸術展38回 11.16—11.24 東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館)

新美術新聞 1332 (和)

美術の窓 364 磯部靖

新構造東京展1回[新構造社] 2.20—3.4 国立新美術館

新構造展85回[新構造社] 9.19—9.24 東京都美術館

新美術新聞 1328 (橋)

美術の窓 362 高山淳

新興展63回[新興美術院] 5.22—5.30 東京都美術館(京都市美術館別館)

新美術新聞 1316 (能)

美術の窓 358 高山淳/大澤景

茨城新興展42回[新興美術院] 7.23—7.28 茨城県民文化センター

美術の窓 360 大澤景

新作家展20回 9.1—9.7 東京都美術館

新美術新聞 1325 (能)

美術の窓 362 高山淳

新象展56回 6.1—6.9 東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館、大阪市立美術館)

美術の窓 359 高山淳  
**新世紀展58回** 5.2—5.10 東京都美術館(岡山県天神山文化プラザ、大阪市立美術館、北九州市立美術館、兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー、愛知県美術館)  
 新美術新聞 1314 (能)  
 美術の窓 358 高山淳  
**新制作展77回** 9.18—9.30 国立新美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館)  
 新美術新聞 1326 (和)  
 美術の窓 362 高山淳/小森佳代子/小池伊欧里  
**新美展44回[新生美術会]** 4.24—4.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1314 (袴)  
 美術の窓 358 小池伊欧里  
**農鳥社展66回** 6.4—6.9 京都府立文化芸術会館  
 美術の窓 359 小森佳代子  
**新院展45回[新日本美術院]** 9.25—10.3 東京都美術館  
 美術の窓 362 磯部靖  
**新日美展37回[新日本美術協会]** 10.4—10.11 東京都美術館  
 美術の窓 363 磯部靖  
**新美術展60回** 11.26—12.3 東京都美術館  
 美術の窓 364 磯部靖  
**新平成美術展11回** 11.26—12.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1334 (能)  
 美術の窓 364 磯部靖  
**新洋画会展35回記念** 5.11—5.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1315 (和)  
 美術の窓 358 磯部靖  
**水彩人展15回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 ギャラリー\* 341  
 美術の窓 363 高山淳  
**水彩連盟展72回** 4.3—4.15 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1311 (磯)  
 美術の窓 357 高山淳  
**墨美展30回** 4.25—4.30 東京都

美術館  
 水墨画\* 292  
**青枢展40回** 10.22—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1331 (和)  
 美術の窓 363 磯部靖  
**雪舟国際美術協会展20回** 12.11—12.22 国立新美術館  
**ZEN展11回** 8.22—8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1323 (和)  
**全国水墨画展20回** 8.7—8.19 国立新美術館  
**全日本水墨画秀作展41回[全国水墨画美術協会]** 3.6—3.17 国立新美術館  
**全日肖像展60回[全日本肖像美術協会]** 6.29—7.6 東京都美術館  
 新美術新聞 1321 (能)  
 美術の窓 360 高山淳  
**職美展67回[全日本職場美術協議会]** 5.12—5.19 東京都美術館  
**全展51回[全日本美術協会]** 8.21—8.30 東京都美術館  
 新美術新聞 1323 (磯)  
 美術の窓 361 高山淳/磯部靖  
**創画展40回** 10.22—10.28 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1331 (袴)  
 美術の窓 362 編集部  
**蒼騎展53回** 6.26—7.8 国立新美術館  
 新美術新聞 1319 (和)  
 美術の窓 360 高山淳  
**創型展61回** 6.1—6.9 東京都美術館  
 ギャラリー\* 339  
 美術の窓 359 高山淳  
**創元展72回** 4.3—4.15 国立新美術館(岡山県天神山文化プラザ、福岡市美術館、高松市美術館、兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー、大阪市立美術館、クリエート浜松)  
 新美術新聞 1311 (松)  
 美術の窓 357 高山淳  
**創彩展33回** 10.30—11.6 東京都美術館

新美術新聞 1331 (和)  
**創展47回[創作画人協会]** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1328 (能)  
 美術の窓 362 磯部靖  
**双樹展43回** 9.18—9.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1327 (能)  
 美術の窓 362 磯部靖  
**蒼樹展49回** 10.22—10.28 東京都美術館  
 新美術新聞 1331 (和)  
 美術の窓 363 磯部靖  
**創造展66回** 6.11—6.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1318 (磯)  
 美術の窓 359 高山淳

(夕行)

**第一美術展84回** 5.29—6.10 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、白沢ふれあい文化ホール)  
 新美術新聞 1317 (和)  
 美術の窓 359 磯部靖  
**大翔展37回** 10.13—10.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1331 (橋)  
**大潮展75回** 11.26—12.3 東京都美術館  
 美術の窓 364 小池伊欧里  
**大調和展52回** 6.1—6.9 東京都美術館(広島県立美術館、松本市美術館)  
 新美術新聞 1317 (袴)  
 美術の窓 359 切刀知子/磯部靖  
**太平洋展109回** 5.15—5.27 国立新美術館(福岡市美術館、愛知県美術館、横浜市民ギャラリーあざみ野、大阪市立美術館)  
 ギャラリー\* 339  
 新美術新聞 1315 (袴)  
 美術の窓 358 高山淳  
**大洋展35回** 9.25—10.3 東京都美術館  
 新美術新聞 1328 (橋)  
 美術の窓 362 磯部靖  
**太陽美術展39回** 11.16—11.24

平成25年美術展覧会(団タ、ナ行)

東京都美術館  
 新美術新聞 1333 (袴)  
 美術の窓 364 高山淳/磯部靖  
**たぶろう展48回** 6.12—6.24 国立新美術館  
 新美術新聞 1318 (袴)  
 美術の窓 359 高山淳  
**中美展65回** 10.13—10.19 東京都美術館  
 新美術新聞 1331 (橋)  
 美術の窓 363 磯部靖  
**等価展45回** 2.6—2.18 国立新美術館  
 新美術新聞 1307 (和)  
 美術の窓 356 磯部靖  
**東京展39回** 9.9—9.16 東京都美術館  
 ギャラリー\* 342  
 新美術新聞 1325 (和)  
 美術の窓 362 高山淳/小池伊  
 欧里  
**都展49回[東京都民美術展運営会]**  
 11.17—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1333 (磯)  
 美術の窓 364 磯部靖  
**陶芸財団展2013** 6.26—7.7 国立  
 新美術館  
 新美術新聞 1320 (磯)  
**東光展79回** 4.25—5.10 東京都  
 美術館(大阪市立美術館、岡山市  
 天神山文化プラザ、鹿児島市立美  
 術館、広島県立美術館、熊本県立  
 美術館)  
 ギャラリー\* 336  
 ギャラリー\* 338  
 新美術新聞 1314 (和)  
 美術の窓 358 高山淳  
**東方展47回** 2.22—2.28 東京都  
 美術館(愛知県美術館、京都市美  
 術館)  
 新美術新聞 1308 (磯)  
 美術の窓 356 高山淳  
**独立展81回** 10.16—10.28 国立  
 新美術館(大阪市立美術館、京都  
 市美術館、愛知県美術館、福岡市  
 美術館)  
 ギャラリー\* 343  
 新美術新聞 1325  
 新美術新聞 1325

新美術新聞 1329 (袴)  
 美術の窓 363 高山淳  
**土日会展38回** 12.11—12.23 国立  
 新美術館  
 新美術新聞 1335 (磯)  
 美術の窓 365 高山淳  
 (ナ行)  
**21美術展8回** 10.12—10.19 東  
 京都美術館  
 新美術新聞 1330 (橋)  
 美術の窓 363 磯部靖  
**二科会東京支部展10回** 2.22—  
 2.28 東京都美術館  
**春季二科展2013** 4.17—4.23 東  
 京都美術館  
 新美術新聞 1312 (袴)  
**二科会写真部展61回** 9.4—9.16  
 国立新美術館  
**二科展98回** 9.4—9.16 国立新美  
 術館(大阪市立美術館、金沢21世  
 紀美術館、京都市美術館、愛知県  
 美術館、広島県立美術館、鹿児島  
 県歴史資料センター黎明館、福岡  
 市美術館)  
 ギャラリー\* 342  
 新美術新聞 1324 (和)  
 美術の窓 362 高山淳  
**春季二紀展11回** 3.10—3.17 東  
 京都美術館  
 ギャラリー\* 336  
 新美術新聞 1309 (袴)  
**二紀展67回** 10.16—10.28 国立  
 新美術館(愛知県美術館、京都市  
 美術館、広島県立美術館、福岡市  
 美術館、クリエート浜松)  
 新美術新聞 1329 (和)  
 美術の窓 363 高山淳  
**二元展52回** 6.11—6.19 東京都  
 美術館(大阪市立美術館、愛知県  
 美術館ギャラリー)  
 新美術新聞 1319 (和)  
 美術の窓 359 高山淳  
**日洋展27回** 5.29—6.10 国立新  
 美術館(愛知県美術館、天神山文  
 化プラザ、大阪市立美術館、熊本  
 県立美術館)  
 新美術新聞 1317 (磯)  
 美術の窓 359 高山淳

**日輝展38回** 11.7—11.15 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 1332 (袴)  
**日春展48回** 3.27—4.1 松坂屋  
 (銀座)(大丸(心齋橋、福岡天神)、  
 松坂屋(名古屋))  
 新美術新聞 1310 (和)  
 美術の窓 357 大澤景  
**日展45回** 11.1—2.8 国立新美術  
 館(京都市美術館、愛知県美術館  
 ギャラリー、大阪市立美術館、米  
 子市美術館、石川県立美術館、福  
 岡市美術館)  
 ギャラリー\* 344  
 新美術新聞 1330 (袴)  
 新美術新聞 1330 (能)  
 新美術新聞 1330 (橋)  
 新美術新聞 1330 (和)  
 日展ニュース 150 池山阿有  
 日展ニュース 150 江藤望  
 美術\* 458 寺坂公雄  
 美術\* 458 奥田小由女  
 美術\* 458 土屋禮一  
 美術\* 458 中路融人  
 美術\* 458 中山忠彦  
 美術\* 458 能島征二  
 美術\* 458 大樋年朗  
 美術の窓 364 高山淳  
 朝日 11.2 沢伸也/青木美希  
 朝日 11.2 大西若人/宮代栄一  
 朝日 11.17  
 朝日 11.22 大西若人  
 朝日 12.6 田内康介  
 朝日 12.10 大西若人  
 朝日 12.10 奥谷博  
 朝日 12.10 田淵俊夫  
 読売 11.1  
**日本画院展73回** 5.12—5.19 東  
 京都美術館  
 新美術新聞 1314 (磯)  
 美術の窓 358 高山淳/大澤景  
**日府展60回[日本画府]** 5.21—  
 5.30 東京都美術館(愛知県美術  
 館)  
 新美術新聞 1316 (松)  
 美術の窓 358 大澤景  
**JAG展36回[日本芸術家協会]**  
 11.16—11.24 東京都美術館  
 新美術新聞 1333 (橋)

- 美術の窓 364 小池伊欧里
- 東日本伝統工芸展53回[日本工芸会]** 4.17—4.22 三越(日本橋)(川徳百貨店(盛岡))  
陶説 723 外館和子
- 東海伝統工芸展44回[日本工芸会]** 5.9—5.14 丸栄(名古屋)  
陶説 724 井上隆生
- 日本伝統工芸展60回[日本工芸会]** 9.18—9.30 三越(日本橋)(石川県立美術館、三越(名古屋)、仙台、福岡、松山)、三越伊勢丹(大阪)、高島屋(京都)、岡山県立美術館、島根県立美術館、香川県立ミュージアム、広島県立美術館)  
陶説 728 外館和子  
朝日夕刊 9.17 竹内順一/内田篤真/小笠原小枝/石崎泰之/寺尾健一
- 彩美展18回[日本彩美会]** 5.12—5.19 東京都美術館  
新美術新聞 1314 (松)
- 日本自由画壇展39回** 6.12—6.24 国立新美術館  
ギャラリー\* 338  
新美術新聞 1319 (磯)  
美術の窓 359 高山淳
- 日本自由画壇秋季展** 11.8—11.15 東京都美術館  
ギャラリー\* 344
- 日本新工芸展35回** 5.15—5.26 国立新美術館(松坂屋美術館、北九州市美術館市民ギャラリーアネックス、京都市美術館)  
新美術新聞 1315 (松)  
美術の窓 358 小森佳代子
- 日本水彩展101回** 6.1—6.9 東京都美術館(せんだいメディアテーク、愛知県美術館、福屋八丁堀本店、京都市美術館別館)  
新美術新聞 1318 (能)  
美術の窓 359 高山淳
- 日本水墨院展28回** 6.26—7.7 国立新美術館  
新美術新聞 1319 (磯)  
美術の窓 360 高山淳
- 清興展35回[日本清興美術協会]** 11.16—11.24 東京都美術館  
美術の窓 364 磯部靖
- 国際美術大賞展39回[日本選抜美術家協会]** 11.7—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1332 (橋)
- 国際扇面展34回[日本扇面芸術協会]** 4.18—4.23 東京都美術館  
新美術新聞 1314 (和)
- 日彫展43回[日本彫刻会]** 4.19—4.30 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、石川県立美術館)  
新美術新聞 1314 (袴)  
美術の窓 357 小森佳代子/大澤景
- 日本南画院展53回** 3.20—4.1 国立新美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1312 (磯)  
美術の窓 356 高山淳
- 板院展63回[日本板画院]** 6.11—6.19 東京都美術館  
新美術新聞 1318 (能)  
美術の窓 359 高山淳
- 日本版画会展54回** 11.17—11.24 東京都美術館  
新美術新聞 1333 (能)  
美術の窓 364 小池伊欧里
- 版画展81回[日本版画協会]** 10.5—10.19 東京都美術館  
新美術新聞 1330 (磯)  
美術の窓 363 磯部靖
- 春の院展68回[日本美術院]** 3.27—4.8 三越(日本橋)(松坂屋(名古屋)、秋田アトリオン、三越(仙台、福岡、新潟)、高島屋(京都)、倉敷市立美術館、一畑百貨店(松江)、そごう(神戸))  
新美術新聞 1310 (松)  
美術の窓 357 高山淳
- 院展98回[日本美術院]** 9.1—9.16 東京都美術館(京都市美術館、大丸(心齋橋)、山形美術館、足立美術館、松坂屋(名古屋)、そごう美術館、天満屋(岡山市)、福屋(広島市)、東武(宇都宮)、新川文化ホール、北九州市立美術館分館、今井美術館)  
新美術新聞 1324 (袴)  
美術の窓 362 高山淳
- 日本アンデパンダン展66回[日本美術会]** 3.20—4.1 国立新美術館(京都市美術館、広島県立美術館)
- 日本表現派展57回** 10.13—10.19 東京都美術館(愛知県美術館)  
新美術新聞 1331 (能)  
美術の窓 363 高山淳/磯部靖
- 日象展40回[日本表象美術協会]** 6.26—7.8 国立新美術館  
新美術新聞 1319 (和)  
美術の窓 360 高山淳
- 日本文人画府展42回** 10.20—10.28 東京都美術館  
美術の窓 363 磯部靖
- 日本遊印アート協会展23回** 4.2—4.6 東京都美術館  
新美術新聞 1311 (能)  
東京 4.3
- 日本和紙絵画展** 11.26—12.3 東京都美術館  
新美術新聞 1335 (橋)

## (ハ行)

- 白亜展36回** 11.7—11.15 東京都美術館  
新美術新聞 1332 (磯)  
美術の窓 364 小池伊欧里
- 白士会展49回** 8.22—8.30 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、近鉄アート館)  
新美術新聞 1323 (和)  
美術の窓 361 高山淳
- 白日会展89回** 3.20—4.1 国立新美術館(愛知県美術館ギャラリー、近鉄アート館)  
ギャラリー\* 337  
新美術新聞 1309 (袴)  
美術\* 452 藤田一人  
美術の窓 356 高山淳
- 白日会デッサン展** 11.6—11.22 永井画廊  
新美術新聞 1327
- 汎美展 2013** 3.6—3.18 国立新美術館
- 美術文化展73回** 5.12—5.19 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)  
新美術新聞 1315 (和)  
美術の窓 358 高山淳

平成25年美術展覧会(団ハ～ラ行)

从展37回 3.2—3.8 東京都美術館

美術の窓 356 大澤景

風子会展37回 11.7—11.15 東京都美術館

新美術新聞 1331 (袴)

FAA 富士美術展30回〔富士美術協会〕 3.1—3.8 東京都美術館

新美術新聞 1308 (和)

美術の窓 356 磯部靖

FAA 富士美術展31回〔富士美術協会〕 9.9—9.16 東京都美術館

新美術新聞 1325 (橋)

美術の窓 362 磯部靖

平泉展25回 1.24—2.4 国立新美術館

新美術新聞 1304 (和)

ベラドンナ・アート展9回 4.18—4.22 東京都美術館

美術の窓 357 大澤景

(マ行)

モダンアート展63回 4.2—4.16

東京都美術館(京都市美術館、福岡市美術館、愛知県美術館ギャラリー)

新美術新聞 1311 (和)

美術の窓 357 高山淳／小池伊欧里

(ヤ行)

遙玄展40回 12.13—12.20 東京都美術館

新美術新聞 1335 (磯)

美術の窓 365 高山淳

(ラ行)

立軌展66回 10.13—10.28 東京都美術館

新美術新聞 1331 (袴)

美術の窓 363 高山淳

流形展63回 9.25—10.3 東京都美術館

新美術新聞 1328 (能)

連展40回 10.31—11.6 東京都美術館

新美術新聞 1331 (和)

ローマン派美術協会展45回 11.16—11.24 東京都美術館

新美術新聞 1332 (橋)

美術の窓 364 磯部靖

# 美術文献目録

## 凡 例

- ここに採録した文献は平成25(2013)年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし定期刊行物により年外が含まれることもある。
- 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている状況に対応して行ったものである。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、「近現代美術」、「古美術」に分類し、両分類に関わる記事については、「総説」、「その他」中の各項目に記載した。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。
- 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更していることがある。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」、「作家展」、「団体展」の3つに分類した。美術展覧会の分類および配列は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順とした。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に見えるデータにおいては、展覧会名、会場名のみに限った。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄において、展覧会名と図録名が異なる場合、見出しに展覧会名を記載し、その後ろに( )で図録名を補った。
- 号数は主として通巻番号を採用した。なお、757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9.1、3、6は、平成25年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
- 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は[ ]で示した。
- 欧文の分級については、スペースの都合上、分級法に従っていない場合がある。

# 収録定期刊行物誌名

(50音順)

アート・ドキュメンテーション研究	葦火(大阪市文化財協会)	Wave II 新潟美術通信	大阪大学大学院人間科学研究科紀要
アート・ドキュメンテーション通信	明日の東洋学(東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター)	上原近代美術館だより	大阪大学大学院文学研究科紀要
アートペーパー(名古屋市美術館)	安曇野ちひろ美術館 美術館だより	魚津市立博物館紀要	大阪府立近つ飛鳥博物館館報
ART LIBRARY(日本彫刻会)	跡見学園女子大学人文学フォーラム	View(熊本県立美術館)	大阪文化財研究所研究紀要
ARTRAMBLE(兵庫県立美術館)	跡見学園女子大学文学部紀要	浦添市文化部紀要 よのつち	大阪歴史博物館共同研究成果報告書
ARTLET(慶応義塾大学アート・センター)	ATLIA NEWS(川口市立アートギャラリー・アトリア)	瓜生通信(京都造形芸術大学)	大阪歴史博物館研究紀要
R 金沢21世紀美術館研究紀要	アプローチ(季刊)	Ouroboros(東京大学総合研究博物館)	大谷大学真宗総合研究所研究紀要
EYES(東京都写真美術館)	アマリリス(静岡県立美術館)	AAC(愛知芸術文化センター)	大津歴博だより
あいだ	アルカディア(岡崎市美術館)	叡山学院研究紀要	大手前大学論集
愛知県史研究	アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース	永青文庫	おおてみち(滋賀県立安土城考古博物館)
愛知県美術館研究紀要	飯田市美術博物館研究紀要	映像メディア学 東京芸術大学大学院映像研究科紀要	大美和(大神神社)
愛知県美術館年報	飯田市歴史研究所年報	エスプラナード(福岡市美術館)	岡崎市史研究
愛知県埋蔵文化財センター研究紀要	石川県埋蔵文化財情報	江戸東京博物館 NEWS	岡崎市美術博物館研究紀要
愛知県立芸術大学紀要	石川県立美術館だより	絵と布の画廊歳時記	岡山県立美術館ニュース
愛知県立大学日本文化学部論集	石川県輪島漆芸美術館紀要	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	岡山大学文学部紀要
青山史学(青山学院大学史学研究室)	いすみあ 明治大学大学院教養デザイン研究科紀要	えむえむ 熊田司個人誌	沖縄県立芸術大学紀要
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要	イタリア学会誌	黄檗文華	屋外彫刻調査保存研究会会報
秋田県立博物館ニュース	一寸	大分県立芸術文化短期大学研究紀要	小田原市郷土文化館研究報告
秋田公立美術工芸短期大学紀要	出光美術館館報	大分県立先哲史料館研究紀要	お茶の水女子大学人文科学研究
秋田美術(秋田県立近代美術館)	出光美術館研究紀要	大分県立歴史博物館研究紀要	尾道市立大学芸術文化学部紀要
AXIS	茨城県立歴史館報	おおいた歴博	オリエント(日本オリエント学会)
アクリラート(別冊)	茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション学科論集	大阪教育大学紀要	香川県文化財年報
Asahi Art Square Newsletter	岩手県立博物館研究報告	大阪城天守閣紀要	香川県埋蔵文化財センター研究紀要
アサヒビールメセナ	岩手県立博物館だより	大阪市立美術館紀要	香川県立ミュージアムニュース
Asiage(九州国立博物館)	印度学仏教学研究	大阪成蹊大学芸術学部紀要	学習院大学史料館紀要
アジア遊学			学習院大学人文科学論集



学殖院大学哲学会会報	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告	慶応義塾大学アート・センター年報	国語と国文学(東京大学国語国文学会)
学叢(京都国立博物館)	北区飛鳥山博物館研究報告	慶応義塾大学日吉紀要	国際日本学(法政大学国際日本学研究所)
学鏡	岐阜県博物館調査研究報告	芸術学研究 ART & DESIGN STUDIES	国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇
鹿児島大学総合研究博物館 news letter	岐阜県美術館年報 研究紀要	芸術学研究(京都造形大学)	国文学研究資料館紀要 文学研究篇
華山会報	岐阜市歴史博物館博物館だより	芸術学研究(筑波大学大学院人間総合科学研究科)	国文学研究資料館調査研究報告
鹿島美術財団年報・別冊	ギャラリー(月刊)	芸術学研究(明治学院大学芸術学会)	国文学論考(都留文科大学国語国文学会)
柏原市立歴史資料館館報	九州産業大学芸術学会研究報告	芸術研究(広島芸術研究会)	国立国際美術館ニュース
春日(春日大社)	九州史学(九州史学研究会)	芸術新潮	国立国会図書館月報
ガス燈(大川美術館)	九州歴史資料館研究論集	芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)	国立新美術館ニュース
かたりべ(豊島区立郷土資料館)	九歴だより	芸叢(筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術研究室)	国立西洋美術館研究紀要
神奈川県立近代美術館年報	京都国立近代美術館研究論集	芸大通信(東京芸術大学)	国立西洋美術館報
神奈川県立博物館研究報告	京都国立博物館だより	研究紀要金沢城研究(石川県金沢城調査研究所)	国立能楽堂調査研究
神奈川県立歴史博物館だより	京都嵯峨芸術大学紀要	言語文化	国立民族学博物館研究報告
かながわの考古学(かながわ考古学財団)	京都産業大学日本文化研究所紀要	現代の眼(東京国立近代美術館)	古代文化(古代学協会)
金沢大学考古学紀要	郷土誌かすがい	建築雑誌(日本建築学会)	古代文化研究(島根県古代文化センター)
金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター	京都市美術館ニュース	建築史学(建築史学会)	国華
金沢大学文化資源学研究	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	児童通信	国華清話会会報
金沢大学歴史言語文化学系論集	京都精華大学紀要	KENBI LETTER(高知県立美術館)	五島美術館研究紀要
金沢美術工芸大学紀要	京都美学美術史学(京都美学美術史学研究会)	皇学館論叢	五風十雨(姫路市書写の里・美術工芸館)
金沢文庫研究	京都府立総合資料館紀要	考古学雑誌	古文化研究(黒川古文化研究所)
鎌倉(鎌倉文化研究会)	京都府立総合資料館だより	神戸市立小磯記念美術館だより	コミュニケーション科学(東京経済大学)
鎌倉遺文研究	共立女子大学文芸学部紀要	神戸市立博物館研究紀要	古文書研究(日本古文書学会)
Cultivate(文化環境研究所)	共立女子短期大学文科紀要	神戸市立博物館だより	コリアナ(韓国国際文化協会)
川崎市岡本太郎美術館研究紀要	きよらさ(浦添市美術館)	高野山大学密教文化研究所紀要	Corridart(横須賀美術館)
川崎市市民ミュージアム紀要	近代(神戸大学)	高麗美術館館報	斎宮歴史博物館研究紀要
元興寺文化財研究所研究報告	近代画説(明治美術学会)	公立埋文協会報(全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会)	斎宮歴史博物館だより
関西大学哲学	釧路論集(北海道教育大学釧路校)	国学院雑誌	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要
関西大学東西学術研究所紀要	熊本県立美術館研究紀要	国語国文(京都大学文学部国語学国文学研究室)	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要
関西大学博物館紀要	群馬県立女子大学紀要		
紀伊風土記の丘年報/紀伊風土記の丘研究紀要	群馬県立歴史博物館紀要		
	群馬の森美術館ニュース(群馬県立近代美術館)		

美術文献目録

埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	静岡文化芸術大学研究紀要	書道界	清泉女子大学紀要
埼玉史談(埼玉郷土文化会)	史迹と美術	書道学論集(大東文化大学大学院書道学専攻院生会)	西洋美術研究
採蓮 千葉県美術館研究紀要	思想	除痘館記念資料室だより	世界遺産年報
堺市博物館研究報告	実践国文学	書道文化(四国大学書道文化学会)	世田谷美術館紀要
佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要	実践女子学園香雪記念資料館館報	書物・出版と社会変容	世田谷美術館だより
佐賀県立博物館・美術館調査研究書	実践女子大学美学美術史学	書陵部紀要	世田谷文学館ニュース
SAZAE 通信(長谷川町子美術館)	実践女子大学文学部紀要	書論	説話文学研究
札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要	斯道文庫論集	市立函館博物館研究紀要	ゼフュロス(国立西洋美術館)
The Newsletter I, J, S(法政大学国際日本学研究所)	島根県立石見美術館研究紀要	資料館だより(世田谷区立郷土資料館)	セラミック九州(佐賀県立九州陶磁文化館)
ザ・ルーフ(郡山市立美術館)	島根県立石見美術館ニューズレター	史林(京都大学文学部内史学研究会)	泉屋博古館紀要
三康文化研究所年報	島根県立古代出雲歴史博物館 NEWS	絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)	仙台市博物館調査研究報告
サントリー美術館ニュース	市民と博物館(日立市郷土博物館)	しろあとだより	ZENBI(全国美術館会議)
三の丸尚蔵館年報・紀要	芸術文化雑誌 紫明	塵界(兵庫県立歴史博物館)	全文連文化財通信(全国国宝重要文化財所有者連盟)
史淵(九州大学大学院人文科学研究院)	下関市立美術館研究紀要	新美術新聞	阡陵(関西大学博物館)
史苑(立教大学史学会)	ジャポニスム研究	人文学(同志社大学人文学会)	ソカロ(埼玉県立近代美術館)
Shiodome Museum REVUE(パナソニック汐留ミュージアム)	SHÛ(玉川大学教育博物館)	人文学研究所報(神奈川大学人文学研究所)	大学院諸究(群馬県立女子大学大学院文学研究科)
史学(三田史学会)	史友	人文研究(神奈川大学人文学会)	大正イマジユリィ
史学雑誌	住総研研究論文集	人文報(京都大学人文科学研究所)	大正大学総合仏教研究所年報
滋賀県文化財保護協会紀要	聚美	人文研究(神奈川大学人文学会)	たいせつな風景(神奈川県立近代美術館)
滋賀県立安土城考古博物館紀要	秀美美術	人文社会科学論叢(宮城学院女子大学)	大日光(日光東照宮)
滋賀県立近代美術館研究紀要	主体美術(主体美術協会)	人文論究(関西学院大学人文学会)	太陽(別冊)
滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報	水墨画(月刊)	太陽の地図帖
市史研究 ふくおか(福岡市博物館市史編さん室)	純心人文研究(長崎純心大学)	椋山女学園大学研究論集	高槻市文化財年報
市史通信	城西国際大学日本研究センター紀要	椋山女学園大学文化情報学部紀要	高梨学術奨励基金年報
静岡県埋蔵文化財センター研究紀要	正倉院紀要	朱雀(京都府京都文化博物館)	竹中大工道具館研究紀要
静岡県立美術館紀要	聖徳(法隆寺)	住友財団年次報告書	田原市博物館研究紀要
静岡市東海道広重美術館年報	昭和女子大学国際文化研究所紀要	駿台史学	田原の文化(田原町文化財調査会)
	続日本紀研究	生活と文化(豊島区立郷土資料館)	玉川大学教育博物館紀要
	書芸術研究(筑波大学人間総合科学研究科書研究室)	成城美学美術史	多摩美術研究
	女子美(女子美術大学)	成城文芸	多摩美術大学研究紀要
	女子美術大学研究紀要		玉藻
			淡交

地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告	東京芸術大学大学美術館年報	東北文化研究室紀要	奈良学研究(帝塚山短期大学)
千葉県文書館	東京芸術大学美術学部紀要	東北歴史博物館研究紀要	奈良教育大学紀要
千葉市美術館ニュース C'n	東京芸術大学美術学部論叢	東洋学報	奈良国立博物館だより
地方史研究	東京国立近代美術館研究紀要	東洋史研究	奈良女子大学文学部研究教育年報
茶の湯	東京国立博物館紀要	東洋陶磁	奈良大学紀要
茶の湯文化学	東京国立博物館ニュース	東洋陶磁学会会報	奈良美術研究
中国近現代文化研究	東京女学館大学紀要	東洋文化研究所紀要	奈良文化財研究所紀要
徴古館	東京造形大学研究報	東洋文庫書報	奈良文化財研究所紀要
朝鮮学報(朝鮮学会)	東京大学史料編纂所研究紀要	どおむ(富山県立近代美術館)	南丹市立文化博物館だより
潮流(下関市立美術館)	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	遠山記念館だより	南都仏教
筑波大学芸術研究報告	東京都江戸東京博物館紀要	常盤山文庫中国陶磁研究会会報	新潟県立近代美術館研究紀要
筑波大学先史学・考古学研究	東京都現代美術館年報・研究紀要	徳島県立近代美術館研究紀要	新潟県立歴史博物館研究紀要
津田塾大学紀要	東京都写真美術館紀要	徳島県立博物館研究報告	新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要
土浦市立博物館紀要	東京都庭園美術館ニュース	徳島文理大学文学論叢	新潟市歴史博物館研究紀要
土車(古代学協会)	東京都美術館紀要	図書館情報メディア研究	西アジア考古学
壺屋焼物博物館紀要	東京都埋蔵文化財センター研究論集	栃木県立博物館研究紀要	日伊文化研究
津山弥生の里	刀剣美術	とびのだい	日仏美術学会会報
デアルテ(九州芸術学会)	同志社大学博物館学年報	富山県立近代美術館年報	日文研
哲学会誌(学習院大学哲学会)	陶説	豊田市美術館紀要	NICHIBUNKEN NEWS-LETTER
哲学年報(九州大学大学院人文科学研究院)	東大寺総合文化センター年報	敦煌写本研究年報	日光山輪王寺
帝塚山大学考古学研究所研究報告	東風西声 九州国立博物館紀要	長崎歴史文化博物館研究紀要	日展ニュース
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	東方学	長崎れきぶん(長崎歴史文化博物館)	日本研究(国際日本文化研究センター)
伝国の杜だより	東方学報京都(京都大学人文科学研究科)	長野県信濃美術館紀要	日本建築学会計画系論文集
天台学報	同朋大学仏教文化研究所紀要	長野県立歴史館研究紀要	日本考古学年報
伝統文化	東北芸術工科大学紀要	長野県立歴史館たより	日本史研究
天理参考館報	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要	長浜城歴史博物館 博物館だより	日本女子大学大学院人間社会研究科紀要
東海大学紀要教養学部	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報	名古屋芸術大学研究紀要	日本女子大学大学院文学研究科紀要
東海大学国際文化学部紀要	東北大学東北アジア研究センターニューズレター	名古屋市博物館研究紀要	日本大学芸術学部紀要
東京学芸大学紀要	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報	名古屋市博物館だより	日本文化史研究(帝塚山大学奈良学総合文化研究所)
東京家政大学研究紀要		名古屋造形大学紀要	日本歴史
東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報		名古屋大学文学部研究論集	人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)
		七隈史学(福岡大学人文学部歴史学科)	

美術文献目録

根津美術館紀要 此君	美術京都(中信美術奨励基金)	広島市立大学芸術学部芸術学研究科紀要	文化史学
練馬区立美術館ニュース	美術研究(東京文化財研究所)	フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)	文化資源学
年報非文字資料研究(神奈川県立非文字資料研究センター)	美術史	風伯(豊橋市美術館)	文化情報学(同志社大学文化情報学会)
野村美術館研究紀要	美術史学(東北大学)	フェリス女学院大学文学部紀要	文化資料館調査研究報告
博物館だより(富士市立博物館)	美術史研究(早稲田大学美術史学会)	福井県文書館研究紀要	文化と芸術(静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター)
馬事文化財団年報	美術史論集(神戸大学美術史研究会)	福岡市博物館研究紀要	文環研レポート(文化環境研究所)
パナソニック汐留ミュージアム年報	美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室)	福岡市美術館研究紀要	文京ふるさと歴史館だより
版画芸術	美術手帖	藤女子大学人間生活学部紀要	文星紀要
阪急文化	美術の窓	ふじのくに考古通信	碧南市藤井達吉現代美術館年報・紀要
阪急文化研究年報	美術フォーラム21	府中市郷土の森博物館紀要	ぼいす(北区飛鳥山博物館)
bandaly(明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻)	美術屋・百兵衛	府中市美術館研究紀要	蓬左(名古屋蓬左文庫)
飯能文化財時報	美じょん新報	府中市美術館だより	法政考古学
BI	美のたより(大和文華館)	ふちゅ〜る(静岡市教育委員会)	法政史学
美愛眞(調布市武者小路実篤記念館)	ピブリア(天理図書館)	仏教芸術	北斎研究
美学	姫路市立美術館研究紀要	仏教史学研究	保存科学(東京文化財研究所)
美学美術史論集(成城大学大学院文学研究科)	姫路市立美術館だより	仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	北海道開拓記念館研究紀要
美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)	非文字資料研究(神奈川県立21世紀 COE プログラム)	仏教大学総合研究所紀要	北海道開拓記念館だより
東アジア石刻研究(明治大学東アジア石刻文物研究所)	百万塔(紙の博物館)	仏教大学総合研究所紀要別冊 洛中周辺地域の歴史的変容に関する総合的研究	北海道立美術館・芸術館紀要 Hokkaido Art Museum Studies
東アジア文化交渉研究(関西大学文化交渉学教育研究拠点)	氷華(北海道旭川美術館)	仏教大学文学部論集	本郷(吉川弘文館)
彦根城博物館研究紀要	兵庫県立考古博物館研究紀要	仏教大学歴史学部論集	埋蔵文化財ニュース(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター)
彦根城博物館だより	兵庫県立考古博物館 NEWS	ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	埋蔵文化財年報
美史研ジャーナル(武蔵野美術大学美学美術史研究室)	兵庫県立美術館研究紀要	文化学年報(同志社大学文化学会)	埋文群馬
美術(月刊)	ひょうごの遺跡	文学(隔月刊)	埋文こうち
美術運動(日本美術会)	平出博物館紀要	文学芸術(共立女子大学総合文化研究所)	まいぶん津(津市埋蔵文化財センター)
美術運動史研究会ニュース	HILL WIND(三重県立美術館)	文化財(月刊)	埋文とやま(富山県埋蔵文化財センター)
美術館だより(福井県立美術館)	美連協ニュース(美術館連絡協議会)	文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)	纏向学研究センター
美術館・友の会だより(ちひろ美術館・東京)	広島県立美術館研究紀要	文化財と技術	待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)
	広島県立歴史博物館研究紀要	文化財ニュース豊中	町田市立博物館年報/紀要
	広島県立歴史博物館ニュース	文化財レポート(京都文化財団)	万葉古代学研究所年報

三重県埋蔵文化財センター研究紀要	みんぱく(国立民族学博物館)	横浜市歴史博物館紀要	連盟ニュース(日本美術家連盟)
瑞垣(神社司庁)	民博通信(国立民族学博物館)	横浜市歴史博物館ニュース	LOTUS(日本フェノロサ学会)
三田国文	無形文化遺産研究報告	横浜美術館研究紀要	礫山美術館報
三井美術文化史論集(三井記念美術館)	武蔵野(武蔵野文化協会)	横浜美術大学 教育・研究紀要	六所家総合調査だより
密教図像	武蔵野美術大学研究紀要	横浜ユーラシア文化館紀要	和歌山県文化財センター年報
密教文化	宗吉かわらの里展示館年報	横山大観記念館館報	和歌山県立近代美術館ニュース
港郷土資料館だより	明治大学博物館研究報告	REAR	和歌山県立博物館研究紀要
港区立港郷土資料館研究紀要	明治村だより	立教大学日本学研究所年報	和歌山市史研究
MIHO MUSEUM 研究紀要	明星大学研究紀要	立正史学	和歌山市立博物館研究紀要
宮崎県総合博物館研究紀要	目の眼	立正大学文学部研究紀要	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要
宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	文書館紀要(埼玉県立文書館)	龍谷史壇(龍谷大学史学会)	早稲田大学大学院文学研究科紀要
宮崎大学教育文化学部紀要	野洲市歴史民俗博物館研究紀要	靈宝館だより	早稲田大学図書館紀要
MUSEUM(東京国立博物館)	山形県立博物館研究報告	黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)	朝日
MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)	山形大学歴史・地理・人類学論集	歴史学研究(東北芸術工科大学歴史遺産学科)	朝日夕刊
ミュージアム発見伝(館山市立博物館)	山口県文書館研究紀要	歴史研究(大阪教育大学)	産経
みゅーじあむ・船橋	山口県立山口博物館研究報告	歴史地理教育	東京
MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)	大和文華(大和文華館)	歴史と地理	東京夕刊
MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)	山梨県立美術館研究紀要	歴史と民俗(神奈川大学常民文化研究所)	日経
視る(京都国立近代美術館)	UP	歴史評論(歴史科学協議会)	日経夕刊
美をつくし(大阪市立美術館)	ユリイカ	歴博(国立歴史民俗博物館)	毎日
	ヨーロッパ文化研究(成城大学大学院文学研究科)	歴博だより(愛媛県歴史文化博物館)	毎日夕刊
	横須賀市博物館研究報告	蓮花寺仏教研究所紀要	読売
			読売夕刊

## 美術文献目録

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に\*を付した。

愛知県埋蔵文化財センター研究紀要

アルフォンス・ミュシャ・ミュージアム・ニュース

いすみあ 明治大学大学院教養デザイン研究科紀要

茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション学科論集

映像メディア学 東京芸術大学大学院映像研究科紀要

鹿児島大学総合研究博物館 news letter

金沢大学フレスコ壁画研究センターニューズレター

紀伊風土記の丘年報／紀伊風土記の丘研究紀要

北九州市立自然史・歴史博物館研究報告

ギャラリー(月刊)

国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇

埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要

首里城公園管理センター調査研究・普及啓発事業年報

水墨画(月刊)

地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室年報

東大史料編纂所附属画像史料解析センター通信

東京都埋蔵文化財センター研究論集

東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要

東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報

東北大学東北アジア研究センターニューズレター

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報

新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要

NICHIBUNKEN NEWSLETTER

日本女子大学大学院人間社会研究科紀要

根津美術館紀要 此君

美術(月刊)

広島市立大学芸術学部芸術学研究科紀要

仏教大学宗教文化ミュージアム研究紀要

仏教大学総合研究所紀要別冊 洛中周辺地域の歴史の変容に関する総合的研究

ブリヂストン美術館・石橋美術館報

文学(隔月刊)

文化財(月刊)

碧南市藤井達吉現代美術館年報・紀要

北海道立美術館・芸術館紀要 Hokkaido Art Museum Studies

早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

愛知県埋蔵文化財センター紀要\*

ミュシャ・ミュージアム・ニュース\*

いすみあ\*

茨城大人文学部紀要(コ)\*

映像メディア学\*

鹿児島大学総合研究博物館ニュース\*

フレスコ壁画研究センターニュース\*

紀伊風土記の丘年報／研究紀要\*

北九州自然史歴史博報告\*

ギャラリー\*

国文学研究資料館紀要(ア)\*

埼玉県埋蔵文化財調査団紀要\*

札幌大谷大学紀要\*

首里城公園管理センター年報\*

水墨画\*

地底の森ミュージアム研究報告\*

帝塚山大学大学院紀要\*

東京芸大保存修復彫刻年報\*

東大画像史料解析センター通信\*

東京都埋蔵文化財センター論集\*

東北芸工大保存修復センター紀要\*

東北芸工大保存修復センター年報\*

東北アジア研究センターニュース\*

芹沢銈介美術工芸館年報\*

新潟市美・新潟市新津美研究紀要\*

日文研 NEWS\*

日本女子大学大学院紀要(人)\*

此君\*

美術\*

広島市大芸術学部芸術学研究科紀要\*

仏教大学宗教文化ミュージアム紀要\*

仏教大学総合研究所紀要別冊\*

ブリヂストン・石橋美術館報\*

文学\*

文化財\*

碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要\*

北海道立美術館・芸術館紀要\*

早大會津八一記念博紀要\*

# 目 次

## 〔定期刊行物所載文献〕

総 説	90	石 工	165
美 学	90	木 竹 工	165
概 論	90	ガラス工	165
日本美術史	96	その他の工芸・民具	166
海外美術史(アジア)	99	建 築	166
海外美術史(その他)	100	都市・集落	166
保存修復	104	宮殿・官衙	167
情報処理	111	宗教建造物	167
文化財行政	112	城 郭	169
美術教育	118	住宅・館	169
古 美 術	122	茶 室	170
総 記	122	その他の建造物	170
絵 画	122	庭 園	170
図像	140	墳 墓	171
文様	140	建築部材など	171
地図・絵図	141	建築に付随するその他	171
彫 塑	141	近現代美術	172
原始彫刻	148	絵 画	172
面	149	漫画・アニメーション	174
書 蹟	149	版 画	177
古文書・古記録	152	写真・映像	178
金石文など	153	彫刻・空間表現	180
工 芸	154	工 芸	181
宗教工芸	154	デザイン	183
武具・馬具類	155	建 築	187
茶 道 具	156	その他のジャンル	190
装身具・化粧具	156	作 家	191
装潢・料紙装飾	156	日 本	191
陶 磁	157	海 外	316
土 器	159	そ の 他	353
瓦	160	美術関係者	353
金 工	161	書 評	364
鏡	161	時 評	371
青 銅 器	162	美術館・博物館・画廊	375
刀剣・刀装	162	海 外 展	392
染織・服飾	164		
漆 工	164		

## 定期刊行物所載文献

美 学	総 説	説	三木清『構想力の論理』における構想力の造形力について	清水 哲朗	〃	〃	〃
フロイトの機知論とジャン・パウロ『美学入門』	亀井 一	大阪教育大学紀要	62-1	人文主義の範型としての詩的神学—ルネサンス期の寓喩視とその歴史的特性—	田中 佳佑	〃	〃
消滅の技法(2)—瞬間切り取りの美学と写真のダイナミズム—	中谷ひとみ	岡山大学文学部紀要	60	第六十四回美学会全国大会報告 発表要旨 ヘルダーの人間の美的構想—初期のパウムガルデン『美学』批判を巡って…	小林 直子	〃	〃
美学の生成と無意識—三つの系譜に即して—	小田部胤久	思想	1068	第六十四回美学会全国大会報告 発表要旨 プラトン『国家』篇第10巻における絵画制作と模倣術の類比について	田中 一考	〃	〃
目と手が育む精神—第四章 言語の手前の世界—	中村 英樹	〃	1070	もう一つの『詩学』注釈：メイ筆ヴェットーリ宛手紙2通(1559年)	津上 英輔	美学美術史論集	20
熊の教え—ポール・ド・マンのクライスト読解をめぐる—	竹峰 義和	〃	1071	総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 memoir 「私のバルト」、いくつかのイメージ	ブノワ・ペーターズ 進藤 久乃	ユリイカ	624
ジギタリスの孤独—ブルースト美学にみる〈個〉と〈普遍〉—	小黒 昌文	〃	1075				
葉朗著『中国美学史大綱』第9章 魏晉南北朝の美学(上) 第2節~第4節 訳注	河内 利治 監訳 陳 柏 一 繪 八木 孝 澤 幸 中村 薫 訳注	書道学論集	10				
異なった形および運動をともしう色のイメージ	三星 宗雄	人文研究	181	明日を呼ぶ私の記憶 過ぎ去って気が付く4、5	中村 英樹	アートペーパー	92、93
カント『判断力批判』における「美的判断」についての考察	清水 哲朗	東京造形大学研究報	14	東アジアの近代美術調査	鈴木 慈子	ART RAMBLE	38
例会発表要旨 第125回例会：近年におけるイメージ論の展開—ダミッシュからディディ=ユベルマンへ— 絵画における真理 etc.	松岡新一郎	日仏美術学会会報	32	展覧会という仕掛け		ARTLET	39
《特集》パンタ・レイ(うつつろい)美学 水、蛇、エーテル—九〇〇年前後における「うつつろい」への感性	上村 博	美学	242	みることの不思議—展覧会という仕掛け	渡部 葉子		
パース思想をふまえた「芸術の人類学」の展開可能性	加藤 隆文	〃	〃	「展覧会を『作り上げる』』ということ—美術品輸送業者としての視点	前田 典子		
藝術としての哲学—「よりよい意識」からのショー—ペンハウアー—哲学の誕生—	高橋陽一郎	〃	243	美術展設営の仕事	有元 利彦		
				ストリート・カルチャーの「展示」	大和田俊之		
				あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第94~96回 観光案内に載らないバリ案内(前、中、後) 日曜日と月曜日、たった2日で廻れる、知られざる街中の秘境	稲賀 繁美	あいだ	201~203



インスピレーション アート 蘇る伝説の 展覧会「態度がか たちになるとき」展	暮沢 剛巳	A X I S	166	World Windsor 「ロ イヤル・ペイントボ ックス：過去と現在 のロイヤル・アーテ ィストたち」展 新 王子誕生でお祝いム ードの英王室 芸術 を愛する歴代ファミ リーの作品展	内田 取材	さり	765
新・旧刊案内53「駄 文。例えば。」の若 干例	青木 茂	一寸	53	イベント報告 国際 シンポジウム 戦後 日本美術の新たな語 り口を探る—ニュー ヨークと東京、二つ の近代美術館の展覧 会を通して見えてく るもの	鈴木	勝雄	現代の眼 599
ディアスポラをめぐ って	劉 踏姍	映像メデ ィア学*	3	色彩観にみる人間と 文化	山本	莉央	皇学館論 叢 275
アート活動をととし た心理発達—特別な 支援を必要とする子 供の事例を中心に	羽野ゆつ子	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	9	戦後アメリカ美術に おける、作品・展示 空間・鑑賞者の関係	林	寿美	国立国際 美術館ニ ュース 195
宇宙芸術の変遷—人 工衛星を中心として	鈴木 浩之	金沢美術 工芸大学 紀要	57	オン・ザ・ロード 非武装地帯の美術展 地への愛着と戦争の 記憶	金 趙	裕 脚 祥 恩 訳	コリアナ 20-4
特集 アートによる 地域おこし		Cultivate	40	浜松の民芸運動の現 代的評価に向けて	黒田 阿蘇	宏 治 裕 矢	静岡文化 芸術大学 研究紀要 13
アートと地域おこ し	高橋 信裕			年頭に際して「困難 を超え、一歩前進を」	浅木	正勝	新美術新 聞 1300
アートが創り出す、 これからの地域の 在り方	北川フラム 高橋信裕 インタビュ アー			PARIS 発 回顧と展 望	阿部	雅延	” ”
特別対談 アート は社会や地域を変 えられるのか?	高橋 信裕 暮沢 剛巳			『新美術新聞』年頭ご 挨拶	油井	一人	” ”
特集 注目のアーテ ィスト 2013 part. 1、2		ギャラリ ー*	333、334	テーマは『TRIP—今 日が明日になるのを 目撃せよ』「六本木ア ートナイト2013」3 月23日(土)～24日 (日)開催			” 1303
小倉正史の現代美術 講座 その4、5、 8	小倉 正史	”	339、340、 343	注目高まる(生[き] のままの芸術)「ア ール・ブリュットネッ トワーク」が発足 滋賀県大津市で設立 記念フォーラム開か れる 青柳正規氏が 会長就任			” 1304
名古屋覚の管見ギャ ラリー	名古屋 覚	”		通信J to A アジア へ43 ウランパート ルのそよ風	黒田	雷児	” ”
1 開かれた日本の 美術			341	特集 震災から2年 —それぞれの現在 [いま]			” 1306
2 美術界英語公 用語論			342	東日本大震災から 2年を経て—私の 思い	近藤	誠一	
特集 美術団体レー ダー拡大版 団体が 守るべきもの、変える べきもの 団体展の 意義を問うシンポを 東京展が開催 「若 年層のいまどき芸術 (美術)への思考法」		”	”	先の負担をゆっく りと取りこむ	原田	光	
わたし一人の美術時 評	藤田 一人	芸術新潮		みちのくアート巡 礼を始めよう	赤坂	憲雄	
第30回 現実逃避 のすすめ			758				
第31回 キュレー ション時代の終焉			759				
第32回 オリンピ ック招致は文化的 成熟に有意義か?			760				
第36回 おしゃべ りな美術家たち			764				

平成25年定期刊行物所載文献(総/概論)

今生きていることを実感できるアートを	伊藤 匡			天国と地獄の想起 C・ロッセッリ 『人工記憶の宝庫』 (1579年)における 視覚芸術からの影 響について	桑木野幸司		
特集企画 「美連協 のこれから」—新た な芸術文化創造の時 代に向けて—	酒井 忠康、 久保 博、 原田真由美、 油井 一人 聞き手	新美術新 聞	1306	国民芸術の歴史を どのように記述す るか 1900年パリ 万博「フランス芸 術回顧展」の考察	泉 美知子		
新美術時評 美術全 集の使命	島尾 新	"	1307	気になることども 絵画/映画/Trans- mediality	森 雅彦	"	"
提言 震災後の美術 とオリンピック	清水 康友	"	"	美術家や作家たちに ひらめきを与え続け る富士山	久保田 淳	世界遺産 年報	19
通信 J to A アジア へ 1 香港アジア ・ソサエティの登 場	南條 史生	"	1310	全美フォーラム ア ジア交流雑感	黒田 雷児	ZENBI	3
現在通信 From NEW YORK コレクショ ンの行方	富井 玲子	"	1311	全美フォーラム サ スティナビリティ のゆくえ	貝塚 健	"	"
新美術時評 「再生」 の時代	島尾 新	"	1316、 1319	岡倉天心 近代美術 の師 覚三が天心に なるまで	吉田千鶴子	太陽(別冊)	209
通信 J to A アジア へ 湾岸現代文化圏	青木 保	"	1318	東京美術学校の制 服			
世界文化賞25周年記 念シンポジウム報告 「現代社会における 文化芸術の役割」— 124人の世界文化賞 受賞者から考える—	鋸持 邦弘	"	1320	依囀製作事業とは			
通信 J to A アジア へ 「シンガポール にて」	青木 保	"	1323	サウンドスケープを 通じた地域アイデン ティティの変容分析 —台湾・大稲埕を事 例とした「文化芸術 によるコミュニティ 再構築」に向けた基 礎調査研究—	信藤 博之	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度
特別対談 富士山の 魅力を語る 世界文 化遺産登録・『日本 の美5 富士山』刊 行記念 大原美術館 館長 高階秀爾 静 岡県立美術館館長 芳賀徹		"	1325	文化運動としてのハ ーレム・ライターズ ・クルー—人類学と アートの結節点の探 求のために	中村 寛	多摩美術 大学研究 紀要	27
台湾・日本 芸術文 化交流事業の開催に よせて	保科 豊巳	"	1326	イスラエルの現代ア ートにおける国際的 な展望	山田 亜沙	東京都写 真美術館 紀要	12
通信 J to A アジア へ 「バンコクにて」	青木 保	"	1329	「生・死・死後」の色 に関するイメージ 東北芸術工科大学学 生への質問紙調査結 果から	久保田 力	東北芸術 工科大学 紀要	20
西湖博覧会における 南洋勸業会の「記憶」	小羽田誠治	人文社会 科学論叢	22	Insights into Thera- peutic Potentials of Arts in Japan 日本 における芸術の治療 的可能性に関する考 察	有賀 三夏	"	"
レポート墨 第1回 中国常州国際芸術創 作交流祭		水墨画*	297	ひらがなによる色彩 連想	牧野 暁世	名古屋芸 術大学研 究紀要	34
特集 記憶と忘却		西洋美術 研究	17	特別寄稿 アジアに 文化の時代を	青木 保	日展ニュ ース	150
座談会 中世にお ける記憶と忘却	赤江 雄一 小池 寿子 小田 隆美 松田 元一 木俣 俊春 中村			特別寄稿 展覧会と 作家	草薙奈津子	"	"

この企業のアート支援がすごい！三菱商事アート・ゲート・プログラム 第20回 チャリティ・オークション開催迫る！	編集部	美術*	456	WORLD NEWS ドバイ アート・ドバイ2013開催！「ME-NASA」でアイデンティティ強調	富山 達子	〃	985
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人			460	SPECIAL ESSAY 姿かたちのない何か 一気配としての自然観と空気認識	片岡 真実	〃	987
写実画新世代 画廊編	飯田 肇 ほか			WORLD NEWS ニューヨーク ヴェネツィア・ビエンナーレも意識？ ビーゼンバック&オプリストの共同企画	藤森 愛実	〃	989
日本画ニューエイジ 画廊編	青山 多男 ほか			WORLD NEWS パリ 150作家の作品から検証する「光」と「動力」のアートの効力	三木あき子	〃	〃
現代アートと洋画の新鋭 画廊編	水谷有木子 ほか			INFORMATION EXHIBITION 「N°5 CULTURE CHANEL」展 20世紀モダニズムの黄金期が生んだ香水	編集部	〃	〃
洋画・日本画のトップランナー 画廊編	本庄 俊一 ほか			SPECIAL REPORT ヨーテポリ・ビエンナーレ2013	かないみき	〃	995
ベルリンアート事情 行動するアート	田中 悦子 新谷 香織	美術運動	140	レポート『遊べ！ラディカルな想像力の奪還』			
キス・ザ・ハート2 三越伊勢丹発 新しいアート支援のかたち	友川 綾子	美術手帖	979	ヨーテポリ・ビエンナーレ キュレーター カタリーナ・グレゴス インタビュー			
REVIEWS 01 榎木野衣 月評第54回 混浴する客人[まれびと] 別府現代芸術フェスティバル 2012「混浴温泉世界」	榎木 野衣		〃	WORLD NEWS ヤンゴン 民主化を背景に勃興するヤンゴンのアートシーン	五十嵐理奈	〃	〃
後美術論 第11回 地獄と嚙骸[ヘルター・スケルター](後編)			980	特別連載「中原佑介を読む」を読む		〃	
SPECIAL REPORT シンガポール・アート・ウィーク2013 シンガポールはアジアの拠点になるか？ ライフスタイルにアートの彩りをーシンガポールの新戦略	ダリル・ウイ		982	第4回 ナンセンスの効用	近藤 亮介	〃	
INFORMATION NEWS 前沢友作が設立 現代芸術振興財団 新たに誕生した芸術振興財団が目指すもの	編集部		〃	第5回 美術とは何かー人間と物質のあいだ	島田浩太郎	〃	997
WORLD NEWS コロンボ 内戦を経て、新たな展開を迎えるスリランカ	五十嵐理奈		984	いま、公募展を考える 公募展の過去と未来	竹見洋一郎	〃	995
WORLD NEWS カラチ 不安定な国内情勢にどう立ち向かうか。パキスタンのアーティストが模索する未来	中尾 智路		〃	WORLD NEWS ロンドン 新スペースの公開が続くフリーズ・ウィーク 目前のロンドン	伊東 豊子	〃	997
				INFORMATION アーティストがスパイスを添え、「愛でる」食器	沢田眉香子	〃	〃

特集 基礎を完璧にする！人体デッサン ④技法講座 VOL. 27 人体の「かたち」を読み解く	遠藤 秀紀	美術の窓	352	二つの日常生活アート間の文化交流(カルチュラル・インターラクション)―「台湾原住民アート」と「オタクのフィギュア・マネキン」を交換事例として―	岡林 洋	文化学年報	62
視点 脱皮をはじめた文化都市マカオ	金澤 毅	〃	353	連載 文化財を活かす(第20回) 文化財を発信源に―移り住みたい・住んでみたい・そんな地域をめざして―	星野敬太郎	文化財*	593
視点 咲いてつながる心の花―がれきに花を咲かせようプロジェクト―福島県立保原高等学校美術部	番匠あつみ	〃	355	芸術団体・文化施設をとりまく環境変化とアートマネジメント	片山 泰輔	文化と芸術	17
特集 香港へ アート発見にでかけようもう一つの注目株 シンガポール VS 香港	宇野 正威	〃	356	特集 武器をアートに		みんなく	433
視点 アートによる祝祭、資金、基本―アート・マネジメントの近未来へ	美山 良夫	〃	360	「武器の玉座」から「いのちの木」へ	クリストフ アー・スプリング		
視点 人工太陽照明灯が引き出す、美術品の魅力	佐藤 郁夫	〃	361	アートのちから	高橋 雅子		
課外授業 美術のお時間	安井 収蔵	美術屋・百兵衛		石器や土器の物質性、からだの物質性、見えないものの物質性	古谷 嘉章	民博通信	142
21時間目 ローマ教皇の心痛			25	英語圏フェミニスト人類学のまなざしの中の「日本人女性」―「エロス化された日本」表象のゆくえ	加藤恵美子	〃	143
22時間目 芸術は狂人をつくりだすか?			26	試論	宝木 範義	明星大学研究紀要	21
23時間目 遺作、始末無惨			27	木の表現	塚谷 裕一	U P	485
世界のアート事情		美連協ニュース		特集 音をめぐる論考 美術展(展示)と音楽(公演)のあいだ	後々田寿徳	R E A R	29
変容する欧州文化首都	桜井 武		118	『装置』からの解放	酒井 健宏	〃	30
「場」を求めて～ハノイの現代アート事情～	吉岡 憲彦		119	特集 列島の民俗文化「列島の民俗文化」の射程	小池 淳一	歴 博	176
保護と主張の“落とし所” フランスの著作権協会 ADAGP 60周年から	今津 京子		〃	序言 プリミティブとモダンの出会い―ご挨拶に代えて	塚原 史	早大會津八一記念博紀要*	14
インドアートの潜在力	松岡 裕佑		120	アベラム族と精霊の関わり	中門 亮太	〃	〃
多様化するアフリカの同時代美術	川口 幸也		〃	シンポジウム報告 早稲田中学を巣立った美術家たちのことなど	丹尾 安典	〃	〃
大学系アートプロジェクトとしての広島アートプロジェクト	加治屋健司	広島市大芸術学部芸術学研究科紀要*	18	東京照射 作品にかぎずともう一つの世界 展覧会や舞台に「AR」導入 画面に縄文人表れ解説 絵が分解、元の姿に生身の人間の演技+新たな演出=ワクワク	千葉 雄高	朝 日	9.17
資料紹介 明治5年博覧会資料について	橋下 唯子	福井県文書館研究紀要	10				



シンガポール アジアのアート拠点へ有力ギャラリー誘致／美術館新設 経済の次は文化立国	田村 広済	日 経	12.28	《美術時評》「ひげのない南京虫とひげの生えた虱」『From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989』の周辺	藤枝 晃雄	〃	203
最前線現場 アートでおもてなし		日経夕刊	4.4	外へ／外から 日本「モダン」美術史最前線	足立 元	〃	207
記者の目 世界考古学会議に参加して「つながる場」日本への期待 国境を超えた研究交流の場 次回は京都で殻破る機会に	佐々木泰造	毎 日	4.12	内国勲業博覧会画像資料—近代の意図と近世の手段	森 仁史	一 寸	53
アジアと向き合う 戦後68年のニッポン 7 日中間 政治に翻弄され「故郷」戻れぬ観音像	平川 昌範 米山 淳 花岡 洋二 川口 裕之 山田 奈緒	〃	8.9	「フェウザン」のかけら	熊田 司	えむえむ	4
今年も国際展続々 美術展望 著名人、環境…特徴打ち出し	岸 桂子	毎日夕刊	1.7	『白樺』に先行する芸術運動—『明星』『スバル』『方寸』とその時代状況—	清水 康次	大阪大学 大学院文学研究科 紀要	53
評 美術 アートと音楽 目と耳の化学反応	〃	〃	1.10	《昭忠碑》と顕彰慰霊彫刻の系譜について	立花 義彰	屋外彫刻 調査保存 研究会会報	5
新20世紀遺跡 4 長崎県対馬 豊砲台跡 国と国を結ぶ大きな役割	栗原 俊雄	〃	7.24	平成24年度 研究発表会発表梗概 矢代幸雄「ラスキンの叫び」—明治・大正期におけるラスキン受容の一例として—	三木はるか	学習院大学 哲学学会 会報	26
セルロース年輪年代法 歴史研究に広く応用も 弘前大で文化財科学学会年次大会	伊藤 和史	〃	7.31	日本における色材・色名の変容と色彩学の展開	國本 学史	鹿島美術 財団年報 ・別冊	30
遺跡木材 1年単位の測定へ 年輪の酸素原子分析 2000年分「物差し」完成	清岡 央 読 売	7.17		池袋モンパルナス草創期の基礎的研究—美術ジャーナリズムを中心に—	小林未央子	〃	〃
日展「書」入選者 会派で割り振り 09年度篆刻	〃	〃	10.31	小倉正史の現代美術講座 その3	小倉 正史	ギャラリー 一	338
飛鳥京 水辺のテラス 宴会や儀式に使用か 木造の施設跡出土	〃	〃	11.21	調査報告 日本におけるサウンド・アートの展開—『Sound Garden』展(1987-94)の成り立ちをたどる	金子智太郎 中川 克志	京都国立 近代美術 館研究論 集	5
探Q! 美術展審査問題なぜ起こる 過剰な権威追求も一因	前田 恭二	読売夕刊	12.7	論文 大型美術展の構造変化とその位相—アーティストと鑑賞者との新たな関係性から—	山下 晃平	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	57
<b>日本美術史</b>				研究報告 「何処にもない記憶～ Now Here/No Where」としてのアーカイブ」—創造の為のアーカイブを巡って—	高橋 悟	〃	〃
実験工房—アートの創造		ARTLET	41	研究報告 アジア近現代美術・工芸史の共有にむけて—「Art Across Asia—Renewed Encounters」展を通じた研究活動報告	山本 緑	〃	〃
1957年前後—実験工房の活動停止と瀧口修造	杉野 秀樹			近代日本美術界におけるポスターという存在	田島奈都子	近代画説	22
「実験工房」再来	水沢 勉						
あいだのすみっこ 不定期漫遊連載 第93回 日本の美術表現にみる蛇 祝您蛇年快樂	稲賀 繁美	あいだ	200				

日本美術院の五浦時代と「いはらき」新聞一地域との交流から見る五浦時代の再考察—	清水恵美子	〃	〃	アジア・太平洋戦争下における美術雑誌統制(1) 第一次統制を中心に	友岡あゆ子	女子美術大学研究紀要	43
動乱の國華社—『國華』変質の舞台裏—	角田 拓朗	〃	〃	矢代幸雄『日本美術の特質』の戦後における改訂の意義—初版本(1943年)と第2刷本(1948年)の比較に基づく考察	上田 茉莉	〃	〃
戦後の岩波書店と「美術の大衆化」	山本 佐恵	〃	〃	古寺巡礼の系譜—和辻哲郎から会津八一へ—	喜多 上	書 論	39
研究発表(要約) 東京美術学校依頼製作史概要	吉田千鶴子	〃	〃	明治4年京都博覧会について	畑 智子	朱 雀	25
研究発表(要約) アジア・太平洋戦争下における美術雑誌統制について	友岡あゆ子	〃	〃	「携帯用板さし」から見える印象派以後の油絵道具の展開と日本での発展	白田 詠子	生活と文化	22
近代日本における伊藤若冲評価再読—《動植綵絵》受容の変遷を中心に—	木村なみ恵	芸術学研究(京都造形)	4	明治末期から大正初期の文芸における象徴主義の受容とエンブレムの表現	松田美作子	成城文芸	224
戦前呉市における洋画団体の変遷と創作動向—呉独立美術研究会とその周辺—	向井 能成	芸術研究	26	サンフランシスコ日本古美術展覧会(1951年)と冷戦下の日米文化外交	志邨 匠子	多摩美術大学研究紀要	27
わたし一人の美術時評	藤田 一人	芸術新潮		戦時下の図画工作研究所—芸能科図画と芸能科工作の統合的な扱いに関する一考察—	和田 学	筑波大学芸術研究報告	61
第35回 日本美術における戦後民主主義とは何だったか?			763	文化財保護に関するレポート	宮木 菜月 李 品誼	東京芸大保存修復彫刻年報*	2012年度
第38回 「横の会」にみる全共闘世代の功罪			766	大河内正敏と奥田誠—陶磁器研究会/彩壺会/東洋陶磁研究所—大正期を中心に—	木田 拓也	東洋陶磁	42
On view 誰が為に伝統は作られる	樋田 豊郎	現代の眼	603	「古九谷」概念の形成と変遷について—「古九谷様式」の再検討—	今井 敦	〃	〃
学芸員のノートから No. 98 オランダで紹介された日本の戦争画	廣田 生馬	神戸市立博物館だより	103	比叡山延暦寺の近世・近代における伽藍の新陳代謝	海野 聡	奈良文化財研究所紀要	2013
特輯 近江の仏像「近江の仏像」特輯に当って	関口 正之	国 華	1407	例会発表要旨 第124回例会: 田中敦子とフランス 1950—60年代の欧米における具体美術協会の受容	加藤 瑞穂	日仏美術学会会報	32
特輯 日歐美術交流「日歐美術交流」特輯号に当って	河野 元昭	〃	1415	『國華』にみる古渡の中国絵画—近代日本における「宋元画」と文人画評価の成立—	久世夏奈子	日本研究	47
ジャポニズムと浮世絵—都市とメディアの時代を背景に	堀じゅん子	札幌大谷大学紀要*	43	昭和戦前期における「唐様」概念の変容と禪宗様仏堂の修復	青柳 憲昌	日本建築学会計画系論文集	684
1960年代後半の「地方の前衛」と、グループ「幻触」の1970年代~90年代の評価について	川谷 承子	静岡県立美術館紀要	28				
日立美術協会 初期の足跡(1)	大森 潤也	市民と博物館	108				
聚美秋題 展覧会今昔	千足 伸行	聚 美	9				

平成25年定期刊行物所載文献(総/日美史)

廃仏毀釈による寺院の転用について—高知藩内の四国霊場を事例として—	平田 卓也 砂本 文彦	日本建築学会 系論文集	692	巻頭特集 全部買えます。100作家200点!! 手のひらサイズのカワイイ工芸 たなごころの美の系譜 一祈りのかたちから表現への変容	金子 賢治	”	459
「日本の戦争絵画」における「負」の表現とその変遷について—日中戦争からアジア太平洋戦争期を中心に—	中村 孝行	日本文化史研究	44	未来のダダもまた三角形の宇宙人	深瀬鋭一郎	美術運動	140
日本美術史研究の「科学」化志向—一九三〇年代を中心に—	太田 智己	美学	243	「ソ連における日本現代美術展」研究序説	宮田 徹也	”	”
例会・研究発表会要旨 東部会 平成二五年度 第一回美学会例会 一九一〇～五〇年代日本における日本美術史研究の「科学」化志向	”	”	”	平成二十四年度東支部例会 昭和大会賞 屏風の史的位置	中野 慎之	美術史	174
例会・研究発表会要旨 西部会 第二九四回研究発表会 日本国際美術展(東京ビエンナーレ)再考—戦後日本における大型美術展の構造変化とその位相	山下 晃平	”	”	第66回全国大会研究発表要旨 両対戦期間の英領インドにおける日本性マジョリカタイルの受容について	豊山 亜希	”	175
復古大和絵研究史と新興大和絵—歴史画とイデオロギーの変遷をめぐって—	日並 彩乃	東アジア文化交渉研究	6	第66回全国大会研究発表要旨 日本画展示と伝統の解釈—一九三一年開催「伯林日本画展覧会」の展示空間を中心に	江口みなみ	”	”
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道で迎える近代名画の—世紀時代と個人史が交差する記憶の情景	金子 美樹	美術*	453	特集 表現する女性たち PART 1 幕末・明治・大正・昭和の女性画家たち		美術の窓	361
巻頭特集 魅惑の女性像 時代を象徴する麗しき女性像	藤田 一人	”	454	特集 ポスターの視覚文化論 10 大阪のポスターと前衛芸術	竹内 幸絵	美術フォーラム21	27
巻頭特集 世界市場で高騰中! 「具体」ってなに?		”	455	特集 日本美術史はいかにしてつくられたか		”	28
今さら聞けない…、そもそも「具体」って?	藤田 一人			美学と美術史—ハルトマンとヘーゲルから	神林 恒道 編集		
GUTAI と「具体」	平井 章一			古器旧物から美術へ—明治期の公的展示と過去の遺物	鈴木 廣之		
徹底検証 “GUTAI”アーティストのインターナショナルな市場性	桂木 紫穂			『國華』の確立—瀧精一・辰井梅吉体制化の模索	角田 拓朗		
巻頭特集 独立独立の本格洋画		”	456	日本美術史研究の原点—法隆寺研究	大橋 一章		
公募団体展文化の狭間で奮闘する“独り歩き”の才人たち	金子 美樹			近代日本における「桃山」の発見	並木 誠士		
立軌会ってどんな会?—個性が共調する非公募の研究団体	藤田 一人			京狩野の研究—「土居次義氏調査ノート」からの此の方	脇坂 淳		
				江戸狩野派研究の歩み	門脇むつみ		
				大正初年における宗達の再評価をめぐって	古田 亮		
				浮世絵研究の現在	大久保純一		



捻じれ歪んだ日本の文人画研究—「大成者」の大雅・蕪村から竹田・半江へ	中谷 伸生		美術と百貨店 100年の蜜月 作家と愛好家の橋渡し役、高島屋でこの道一筋	中沢 一雄 日 経	2.19
リアリズムの系譜—秋田蘭画と《不忍池図》をめぐる諸相	山本 丈志		日曜に考える 熱風の日本史	井上 亮 "	
江戸の美学	河野 元昭		第1回 旧物破壊の嵐(明治) 明治維新 文化財に牙		9.1
一九一〇～五〇年代におけるアカデミック・コミュニティの形成	太田 智己		第17回 火中に身を投じた教師たち(大正) 御真影 守護に重圧		12.22
美術史研究誌の東西—『佛教美術』・『東洋美術』	湯浅健次郎		「実験工房」進む再評価 前衛芸術育んだ異分野交流	関 優子 日経夕刊	1.28
「民芸」から日本美術史を考える	土田 真紀		遠みち近みち 記憶の中の「九州派」	古賀 重樹 "	4.13
工芸の用語をめぐって—美術工芸、産業工芸、伝統工芸	宮島 久雄		神宮とおおやしろ 日本の原像を探る 建築・美 1 謎多い神社の起源	伊藤 和史 毎日	7.7
調査報告 十勝美術年譜 明治末～戦前戦中(1)	菌部 容子	北海道立美術館・芸術館紀要*	24	岸 桂子 "	12.10
調査報告 札幌美術年譜(1)補遺6	苫名 直子	" "	" "	加治屋健司 寄稿 毎日夕刊	6.24
帝国美術学校学生とシュルレアリスム	弘中 智子	武蔵野美術大学研究紀要	43	辻本 芳孝 読 売	3.13
モノが語る歴史 6 多くの文化財を消滅させた金属供出	東海林次男	歴史地理教育	813		
美術研究と写真—雑誌『東洋美術』に関する一考察—	湯浅健次郎	LOTUS	33	早川 保夫 "	4.10
明治期から日本開戦前期のアメリカの日本人美術商の活動	山本真紗子	" "	" "		
翻訳 フェノロサ書評「アングラスン『日本の絵画芸術』」	アーネスト・フェノロサ 高嶋 良二 訳	" "	" "	近代中国美術の胎動 アジア遊学	168
美の季想 夏の宵闇 蛩めでの独自の感性	高階 秀爾	朝日夕刊	7.3	2 新興芸術の動向 コラム 決瀾社の画家たち 呉 孟晋	
4〔読ん〕で知るアート 現代アートの楽しみ方 超多様に発展	藤田 令伊	" "	7.17	2 新興芸術の動向 コラム 木刻青年たち 瀧本 弘之	
高校教科書検定 おなじみの肖像画に新たな学説 頼朝、尊氏は「別人」	産 経		3.27	3 国際化と交流の流れ コラム 民国期に三回行われた「全国美術展」—それぞれの時代を映す "	
現代美術と戦争 記憶を感じて向き合う	渋谷 和彦	" "	8.8	考古学成果から得られるガンダーラ美術様式年代学のベンチマーク 内記 理 オリエン ト	55-2

海外美術史(アジア)

平成25年定期刊行物所載文献(総/海外美史)

日本統治時代の朝鮮美術展の工芸—もうひとつの日本近代工芸史—	木田 拓也	鹿島美術財団年報・別冊	30	アッシリア美術における「中心へ向かう構図」について—アッシュルパニパルのライオン狩り浮彫とシンメトリー構図	渡辺千香子	オリエント	55-2
近代中国における版画運動の発生とその転変	陸 偉榮	〃	〃	健康と幸福の表象—新印象派とマティスの「均衡」概念—	加藤有希子	鹿島美術財団年報	30
Kegon/Huayan 華嚴 View and Contemporary East Asian Art—A Methodological Proposal—	INAGA Shigemi	京都国立近代美術館研究論集	5	15、16世紀における単一面形式祭壇画の形式分析—「高い玉座」の導入とヴェネツィア祭壇画の展開をめぐる—	星 聖子	〃	〃
現代中国書法事情	種谷 萬城	書道界		小倉正史の現代美術講座 その1、2	小倉 正史	ギャラリー*	336、337
253 西泠印社			279	アポリネール美術評論に見る1900年代のアカデミズムの位置づけ	佐藤 文郎	京都嵯峨芸術大学紀要	38
255 靈隠寺			281	ステファヌ・マラルメ「ゴシック1875—1876」『アシニアム』(5)(翻訳)	原山 重信	慶応義塾大学日吉紀要	56
水墨画の風景5 工筆画と院体画	島尾 新	水墨画*	286	ヨーロッパ美術におけるキリスト教とギリシア・ローマ神話の三つの出会い	齊藤 栄一	芸術学研究(明学)	23
日本軍政と東南アジアの美術	後小路雅弘	哲学年報	72	失われたバリの復元 XIII~XXIII	鹿島 茂	芸術新潮	757~763、765~768
「日本のアンデパンダン展」に参加していた在日朝鮮人美術家たち	白 凜	美術運動	140	特集《植物を描く/植物で描く》—ドイツ語圏の美術でたどる植物表現の可能性—		言語文化	30
日韓美術交流の十年と今後の展望	木村 勝明	〃	〃	ナチュラリスティックな植物表現の成立—デューラー前史・総論	越 宏一		
韓国の初期美術大学と東京美術学校—人的・制度的関連性	金 智英	美術史	175	後期ゴシック聖堂における植物表現の象徴的意味、アンナベルク、サンクト・アンナ聖堂の〈エッセイの樹〉を例として	岩谷 秋美		
〈ここ〉に立ち、アジアを思い描くこと—日本とアジア現代美術の30年	原 舞子	H I L L W I N D	33	ドナウ派の「植物表現」	青山 愛香		
美の美 イスタンブール—東西の十字路3 細密画に宿る原色の宇宙 オスマン帝国栄華の残像	内田 洋一	日 経	1.20	市民社会を彩る植物—十七世紀オランダ花卉画の諸相	小林 頼子		
<b>海外美術史(その他)</b>				意味の「結合」から制作の「媒介」へ—近代のドイツ語圏美術にみる植物表現のありか・総論	前田富士男		
あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第97、98回 カタルーニャのジャポニスム バルセロナ・カイシャ・フォーラムでの展覧会より(前、後)	稲賀 繁美	あいだ	206、207	世紀転換期の(植物表現)—ユーゲンツェントシュティールからモダンデザインへ	池田 祐子		
クレメント・グリーンバークと「リトル・マガジン」	筒井 宏樹	愛知県立芸術大学紀要	42				
翻訳 「ヨーロッパにおける素描の歴史と技法」(5)	シャルル・ド・トルナイ 森田 義之、上月 裕子 訳	五浦論叢	20				
特集 印象派を超えて—分割された色彩のゆくえ—	中西 園子	A A C	78				

ディスカッション シンポジウム《植物を描く／植物で描く》—ドイツ語圏の美術でたどる植物表現の可能性	越谷安一、 岩谷秋美、 青山愛香、 小林頼子、 小前富士男、 大原まゆみ、 池田由美、 野田直樹、 佐藤司会			黒いロマン主義の系譜				1309
				北方芸術のインパクト				1319
その後の「アメリカン・ポップ・アート」	林卓行	国立新美術館ニュース	27	推論形式と芸術運動—西洋近代芸術再考の試み—	伊達 立晶	人文学		191
古代末期におけるキリスト教と異教の並存の一例—イタリア国ソーマ・ヴェスヴィアーナ在ローマ時代遺跡	向井 朋生	国立西洋美術館研究紀要	17	《峻厳な神》とペスト的心性の支配—十五世紀フィレンツェの立法・政策・判決に心性を読む—	石坂 尚武	”	”	
記号としての心臓—なぜ、血液のポンプが、愛の象徴になったのか?	関沢 英彦	コミュニケーション科学	37	特集 記憶と忘却 「記憶」と「敬虔」の径庭—アクロポリス奉納文化におけるパルテノン・フリーズ	長田 年弘	西洋美術研究		17
Drinking Glass —酒器のある情景 酔い心地のグラス	土田ルリ子 談 内海陽子 インタビュー・構成	サントリ—美術館ニュース	246	アメリカ絵本史におけるリトル・ゴールデン・ブックス出版の意味—「安曇野ちひろ美術館」の絵本歴史コーナーから発展して—	石原 敏子	阡 陵		67
調査報告		史 苑	189	イタリア・ロマネスク期における「キリスト昇天」図像研究	伊藤 怜	高梨学術奨励基金年報		H24年度
トロスコ教座聖堂発掘報告(二〇一二)—建築上の所見を中心に	浦野 聡 深津 行徳			フランス、初期ゴシック教会堂扉口基壇の研究	竹村 朋子	”	”	
トロスコ教座聖堂発掘報告(二〇一二)—聖堂装飾(レリーフ、フレスコ)を中心に	田中 咲子			シエナ大聖堂下堂壁面連作におけるキリスト幼年期および公生涯場面に関する考察	小野 迪孝	東海大学紀要教養学部		43
トロスコ教座聖堂出土碑文の概要(三)二〇一二年度の発掘から	師尾 晶子			「本を読む女性」像について その1	江本菜穂子	名古屋造形大学紀要		19
『失われた時を求めて』における考古学上の発見—ギリシャの彫刻とエジプトのミイラ—	吉川 一義	思想	1075	トゥリオ・クラールの芸術—ファシズム期の未来派運動	太田 岳大	日伊文化研究		51
ブルーストのラスキン受容と『失われた時を求めて』の美術	真屋 和子	”	”	シンポジウム 日仏文化講座「ロマン派芸術最高!」報告 ロマン主義、または革命の芸術	高階 秀爾	日仏美術学会会報		32
『十三世紀フランス語聖書』(Bible française du XIIIe siècle)彩飾写本研究:地域展開の諸相	駒田亜紀子	実践女子大学美学美術史学	27	《特集》パンタ・レイ(うつろい)美学 ルネサンスの芸術論と時間の問題—アルベルティからジョルダノ・ブルーノまで	岡本 源太	美学		242
唯美主義の室内装飾と屏風—十九世紀末イギリス人女性とジャポニスムについての一考察	象 和沙	ジャポニスム研究	33	ロンドン国際シュルレアリスム展(一九三六年)にみる相隣たるもの同士の並置をめぐる諸問題	石井 祐子	”	”	
PARIS 発	安部 雅延	新美術新聞		17世紀美術におけるローマの役割	石鍋 真澄	美学美術史論集		20

ラファエル前派と前ラファエッロ主義—フランスとの関係を中心に—	喜多崎 親	美学美術史論集	20	SPECIAL FEATURE ラファエロ ルネサンス人物辞典	藤原えりみ 構成・文	美術手帖	984
原始美術のふるさとを訪ねて	大塩 幸裕	美術運動	140	特集 2013年 ルネサンス大解剖 ルネサンスとキリスト教	宮下規久朗	美術の窓	355
巻頭エッセイ 西欧風景画始まりとしての「世界風景」	潮江 宏三	美術京都	44	シュールレアリスム論	多田 夏雄	文星紀要	24
平成二十四年度東支部例会 魔術師シモンとフォロ・ローマの「石」をめぐる試論—トウスカニア・サン・ピエトロ旧司教座聖堂壁画を手がかりに—	伊藤 怜	美術史	174	総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 絵物語の舞台装置 変転する価値—アモリー・ショウからハイ&ロウ展までのアメリカ美術とコミックス	小田切 博	ユリイカ	624
平成二十四年度東支部例会 教皇パスカリス一世献堂のアップシス画像プログラムについて—サンタ・ブラッセーデ聖堂とサンタ・チェチリア聖堂の比較による考察—	竹中 紘子	〃	〃	特集 クマ 怖ろしさと尊さと可愛さと クマを象って表われる… 熊が舐める 生形と育成の伝承をめぐる	伊藤 博明	〃	633
平成二十四年度東支部例会 九世紀ローマの反イコノクラスム、聖遺物崇拜をめぐる教会堂装飾—サンタ・ブラッセーデ聖堂のモザイクを中心に—	加藤磨珠枝	〃	〃	エルヴィン・パノフスキー「東縛されたエロス」—レンプラントの「ダナエ」の系譜学に寄せて—	高木 昌史	ヨーロッパ文化研究	32
第66回全国大会研究発表要旨 「聖母の都市シエナ」の美術形成初期の祭壇画プログラム—ガイド・ダ・シエナ作《十字架を昇るキリスト》の画像分析—	市川佳世子	〃	175	《バイユーのタピストリー》の写実性—転倒する馬を中心に—	小野寺玲子	横浜美術大学 教育・研究紀要	3
第66回全国大会研究発表要旨 サンズ、サンニテティエンヌ大聖堂中央扉口の画像プログラムについて—基壇部と扉口全体の関係を中心に—	竹村 朋子	〃	〃	特集 行列を追っかける 街路をめぐる闊い—メーデー行進から「民族共同体」へ—	相場 保夫	歴 博	181
第66回全国大会研究発表要旨 バンベルク大聖堂の《騎馬像》と《聖母像》—『雅歌』の伝統と聖堂彫刻のイメージ・プログラム—	仲間 絢	〃	〃	博士(文学)学位請求論文審査報告要旨 中期ビザンティン美術におけるコンスタンティヌスとヘレナの受容	櫻井夕里子	早稲田大学大学院 文学研究科紀要	58
「アルテ・ボーヴェラ」と「もの派」—新しい芸術の発想と創作方法—	ヴァレンティナー・マッツォッティ	美術史学	34	博士論文概要 中期ビザンティン美術におけるコンスタンティヌスとヘレナの受容	〃	〃	〃
論文評 グイド・メスリング 「ドイツの素描—ファン・エイクからデューラーまで」	篠崎 亮	〃	〃	神は細部に宿る モチーフで読み解く美術	宮下規久朗	東京夕刊	
				1 犬 夫への忠節を表す			1.4
				2 猫 犬と違い悪役 悪魔の化身			1.7
				3 鷄 使徒ペテロの持ち物			1.8
				4 鳩 聖霊の象徴			1.9
				5 鷲 人間さらう猛禽伝説			1.10

6 兎 淫欲の象徴から人気者へ	1.11	34 種 まくのはイエス・キリスト	2.22
7 猿 邪悪全般の象徴	1.15	35 月 聖母マリアの象徴	2.25
8 羊 子羊はイエスを象徴	1.16	36 星 神や神性を表す	2.26
9 牛 ヨーロッパ誕生と関係	1.17	37 雷 東西ともに神の仕業	2.27
10 トカゲ 冷血で無感動	1.18	38 虹 この世の平和物語る	2.28
11 鼠 不幸な聖女の属性	1.21	39 矢 斑点の類似でベスト象徴	3.1
12 豚 食欲と淫欲の象徴	1.22	40 灯 聖なるものの根源	3.4
13 蛇 キリスト教により「邪悪」に	1.23	41 天秤 正義の擬人像の持物	3.5
14 ライオン 世界共通 百獣の王	1.24	42 鏡 空間を拡大 別の視点も	3.6
15 竜 東西で善悪の対照	1.25	43 手紙 背後の絵で内容示す	3.7
16 虎 西洋ではあまり描かれず	1.28	44 書物 聖なる知の源泉と虚飾	3.8
17 馬 乗っているのは英雄	1.29	45 砂時計 有限の時間を表す	3.11
18 ロバ 無知や怠惰の象徴	1.30	46 ヴァニタス 日本刀も虚飾の象徴	3.12
19 カラス 吉凶を占う鳥	1.31	47 十字架 元は残酷な処刑道具	3.13
20 孔雀 美しさから復活と傲慢	2.1	48 車輪 浮き沈みする運命を表す	3.14
21 蝶 人間の魂の象徴	2.4	49 船 ノアの方舟から教会連想	3.15
22 魚 キリストの象徴	2.5	50 鉄道 機械文明の象徴	3.18
23 肉 格好の静物モチーフ	2.6	51 門 イエス自身が天国の門	3.19
24 果物 ザクロが示すイエス復活	2.7	52 扉 境界や通過を表す	3.21
25 ブドウ 最も神聖な果物	2.8	53 梯子 天国に通じる道	3.22
26 パン 罪を悔い改める粗食	2.12	54 橋 日本では彼岸への道	3.25
27 チーズ 身近なご馳走	2.13	55 窓 絵画のたとえ	3.26
28 豆 庶民料理の代表格	2.14	56 分かれ道 決断を迫られる	3.27
29 ジャガイモ 最下層の食べ物	2.15	57 心臓 人間の感情の中心	3.28
31 ヒマワリ 主君へ忠誠	2.19	58 血 尊ばれる聖遺物	3.29
32 バラ 愛の試練、受難	2.20	59 スードと裸 裸体は罪か無垢	4.1
33 葦 代表的な受難具	2.21		

60 裸足と靴 脱ぎ捨てられるのは神前			4.2	明治の彫刻《昭忠碑》(金鷄)の保存修復にむけて	高橋 裕二	〃	〃
61 仮面 素顔隠す「欺瞞」の象徴			4.3	《昭忠碑》(金鷄)のX線分析結果—母材および表面生成物について—	権上かおる	〃	〃
62 夢 神の啓示			4.4				
63 愛 男女の性愛は虚妄			4.5	《昭忠碑》保存に向けた活動の経緯と概要	黒川 弘毅	〃	〃
英国美術の歴史ひもとく 来日のスミスCEOに聞く	森本 智之	東京夕刊	12.4	《昭忠碑》の保存に向けた提言	藤嶋 俊會	〃	〃
美の美 地中海 美の遺産から 上、中、下	富田 律之	日 経	6.23、30、7.7	《平和観音像(旧：戦勝観音像)》の保存状態について	黒川 弘毅	〃	〃
古代神殿のレリーフペルー「人物」「猛禽類」3000年前の遺跡に 神戸市外大・芝田准教授が発見		読 売	10.25	掛川《平和観音像》台座の状態について	大野 春夫	〃	〃
				大気汚染の文化財に及ぼす影響	江本 義理	〃	〃
				上野周辺の大気汚染	門倉 武夫	〃	〃
				解説 大気汚染が古文化財に及ぼす影響	江本 義理 門倉 武夫	〃	〃
				大気汚染の文化財に対する影響	〃	〃	〃
				文化財保存環境としての各地の大気汚染度の測定結果 大気汚染の文化財に及ぼす影響(第5報)	〃	〃	〃
				公害による文化財の被害調査	門倉 武夫	〃	〃
				文化財周辺気中の塵埃に関する研究	〃	〃	〃
				(I) 奈良国立博物館に於ける収蔵庫、陳列室、ケース内塵埃の調査	門倉 武夫	〃	〃
				(II) 走査電子顕微鏡、X線マイクロアナライザーによる銅版葺屋根の汚染物質の測定	門倉 武夫 鈴木 西当 良延 修作	〃	〃
				緑青成分分析による大気汚染解析	加藤 龍夫 秋山 賢一 門倉 武夫	〃	〃
				「遺産」の破壊が語ること—トルコ・ゼヴグマ遺跡出土のローマ時代のモザイク画を事例に—	田中 英資	オリエン	55-2
				アメンヘテプ3世王墓の埋葬室に描かれた壁画の史料化に向けたデジタル画像化～その3～	菊池 敬夫 犬井 正男 佐藤 真知子 矢澤 健 吉村 作治	〃	〃
				東日本大震災における文化財レスキュー活動に参加して	伊藤 由美	神奈川	2011年度
《昭忠碑》の管理について	村上 道子	屋外彫刻調査保存研究会報	5			立近代	美術館年報

南イタリア中世壁画群診断調査プロジェクト 2012年度フィールド調査		フレスコ壁画研究センターニュース*	6	建築の争点 no.17 歴史的建造物の安全対策、このままでよいのか?	大橋 竜太	建築雑誌	1647
壁画の移築保存と展示環境について—イタリア ボッジャルド・サンタ・マリア・デッリ・アンジェリ教会及びアルド・モーロ博物館の調査から—	木村 仁美	金沢大学文化資源学研究	12	アフリカ・アトラス—サブサハラと日本の都市・建築 第2部 エチオピアにおけるキリスト教会堂の保護	三宅 理一	〃	1650
南イタリアの洞窟教会における修復と保存について	関谷 倫寿	〃	〃	修復トピックス 重要文化財宝城坊本堂明らかとなった後世の修理経過について	矢野 昭洋	建築史学	61
サンタ・クローチェ教会 教会聖堂内部における文化財の保存状況調査	棚田 早紀	〃	〃	修復トピックス 重要文化財地主神社本殿の当初小屋組について	尾山 義高	〃	〃
称名寺所蔵絹本著色十二神将像修理事業について	向坂 卓也	金沢文庫研究	331	南蛮人洋犬蒔絵硯箱の保存修復	勝盛 典子	神戸市立博物館研究紀要	29
寛永寺徳川将軍家御裏方霊廟浄観院念持仏の保存修理	植田 直見 大國 万希子 川本 耕三	元興寺文化財研究所研究報告	2012	地域における被災文化遺産救出態勢の構築と課題—茨城県・福島県の事例から—	白井 哲哉	国文学研究資料館紀要(ア)*	9
沖縄県伊江島反戦平和資料館での保存班活動—現地のできる資料保存を考える—	金山 正子	〃	〃	概要調査・現状記録再考—民間所在資料保存のために—	西村慎太郎	〃	〃
調査・研究(概要) 日韓における保存修理後木製品の経年変化と保管管理の比較研究	伊藤 健司	〃	〃	日本のアーカイブズにおける生物被害対策の実践と課題	広瀬 真紀	〃	〃
調査・研究(概要) 出土木製品のマイクロ波加熱凍結乾燥法による保存処理の研究	川本 耕三	〃	〃	郷土の歴史を残す復興支援活動としての吉田家文書本格修復	収書書誌部資料保存課	国立国会図書館月報	624
調査・研究(概要) 金属成分の影響による劣化絵画面類の保存に関する研究	金子 正子	〃	〃	蛍光X線分析からみた鐔の鉄味	川見 典久	古文化研究	12
珠金塚古墳北柳出土三角版紙留短甲の保存修復と再検討	藤井 陽輔 米田 文孝	関西大学博物館紀要	19	調査報告 蛍光X線分析による黒川古文化研究所所蔵の中国絵画の白色顔料について	杉本 欣久 竹浪 遼	〃	〃
小規模コンクリート造収蔵庫内における温湿度環境—福岡県内個人宅収蔵庫の事例から—	加藤 和歳	九州歴史資料館研究論集	38	特別寄稿 茨城史料ネットが救出した地域の歴史資料—北茨城市平潟港を事例として—	山川 千博	古文書研究	74
研究ノート「大宰府史跡」出土木製品の用材調査—観世音寺出土木製品の用材傾向	小林 啓	〃	〃	文化フォーカス 崇礼門の復旧とその後	金 昶 趙 祥恩	和熙訳 コリアナ	20-3
慶應義塾所蔵作品調査・保存活動		慶應義塾大学アート・センター年報	20	平成23年度収蔵品修理報告		三の丸尚蔵館年報・紀要	18
				漆皮箱制作工程の考察—試作を通して—	北村 昭斎	〃	〃
				漆皮箱(法隆寺献納宝物)のX線分析	成瀬 正和	〃	〃
				漆皮箱(法隆寺献納宝物)修理報告	五味 聖	〃	〃

平成25年定期刊行物所載文献(総／保・修)

修理報告 紙本著色 時雨図 横井金谷筆 ・絹本墨書篠崎小竹 書跡	藤本 淳三	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	29	美術工芸品の保存 ・管理と防災・防 犯				
平成22年度・平成23 年度御座染衣裳関連 織資料の被破壊色 材調査報告	下山 進 大下 浩司 下山 祐子	首里城公 園管理セ ンター年 報*	3	会員通信 ユネスコ 世界遺産 国宝正倉 院正倉整備工事	畑中 奏門	〃	90	
「白密陀花鳥箔絵盆」 保存修復報告	上江州安亨 室瀬 和美 鷺野谷一平	〃	〃	文化財建造物修理現 場だより 清水寺本 堂ほか8棟の保存修 理工事について	赤石 憲祐	〃	〃	
絵本墨書「馬執宏書」 保存修復報告	上江州安亨 當麻 巧	〃	〃	高松塚古墳墳丘の景 観変遷(下)	米田 文孝 阡 陵		66	
絵本墨書「馬執宏 七言絶句」保存修復 報告	〃	〃	〃	平成24年度の地下展 示室の保存処理作業	佐藤 祐輔	地底の森 ミュージ アム研究 報告*	2012	
絵本墨書「馬執宏書」 保存修復報告	上江州安亨 関地 久治 箭木康一郎 三原 昇	〃	〃	資料の保存と修復一 東アジアで修復家 を目指す若き世代～ 日本の1980年代を回想 一	坂本 勇	千葉県 の文書館	18	
鳥兜様の楽帽に関す る復元的考察	山片唯華子	正倉院紀 要	35					
年次報告	成瀬 正和 ほか	〃	〃					
講演 世界遺産仁和 寺の文化と取り組み	大西 智城	書道文化	9	日本歴史学協会・日 本学術会議史学委員 会主催史料保存問題 シンポジウム「東 日本大震災から一年、 資料の救済・保存の 在り方を考える」に 参加して	渡部 恵一	地方史研 究	361	
特集 震災から2年 —それぞれの現在(い ま) 文化財レスキュー の視点から	亀井 伸雄	新美術新 聞	1306					
福島県内の文化財レ スキュー活動について (上、下)	栗原 祐司	〃	1326、 1327	日本歴史学協会・日 本学術会議史学委員 会「東日本大震災 から一年、資料の救 済・保存の在り方を 考える」に参加して	工藤 航平	〃	〃	
2012年度「文化財維 持・修復事業助成」 事業概要		住友財団 年次報告 書	2012年度	「全国図書館大会 資料保存分科会」に 参加して	千 錫烈	〃	362	
2012年度「海外の文 化財維持・修復事業 助成」事業概要		〃	〃	福島大学うつくしま ふくしま未来支援セ ンター設立2周年記 念 第6回シンポジ ウム「ふくしま再 生と歴史・文化遺産」 参加記	渡辺 文久	〃	363	
活動と抱負		全文連文 化財通信	87					
文化財保存の現状 と課題	田中 敬二			シンポジウム「ふく しま再生と歴史・文 化遺産」参加記	栗原 健一	〃	〃	
文化財保存の現状 と課題	山本 清一							
未来に向けての文 化財修理	荒木かおり			平成二十四年度千葉 県美術館・博物館等 職員研究会兼公開シ ンポジウム「博物 館資料はなぜ救済さ れなければならない のか?—東日本大震 災の教訓—」に参加 して	官野 洋介	〃	〃	
国宝修理装演師連 盟の現状と今後の 展望	岡 岩太郎							
生活と技術継承の 両立が可能なく みづくりを	佐藤 春雄							
文化財を護る…文化 財(建造物、美術工 芸品)の保存・管理		〃	〃	人間文化研究機構災 害連携研究報告会 「東日本大震災から 二年、津波被害と文 化遺産」参加記	宇野 淳子	〃	364	
建造物の保存・管 理と防災								



日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会主催史料保存問題シンポジウム「東日本大震災から二年、資料の救済・保全のこれから」に参加して	加藤 健	九州国立博物館エン トランスホールでの 「博多祇園山笠」公開 に伴う IPM 活動	秋山 純子 山崎久美子 本田 光子 今津 節生	” ”	366
史料保存利用問題シンポジウム「東日本大震災から二年、資料の救済・保全のこれから」に参加して	佐藤 麻里	特集 東日本大震災被災文化財救済活動への取り組み 2	藤原 徹 米村 祥央	東北芸工 大保存修 復センター 一年報*	4
史料保存利用問題シンポジウム「東日本大震災から二年、資料の救済・保全のこれから」に参加して	工藤 晴也 宮田 順一 バトリツイ ア・リチャ ック ウディ ス キ	上山市久昌寺所蔵「ムサカリ絵馬」の応急処置	半田 正博 大山 龍顕	” ”	”
ガッラ・プラチディア廟モザイク壁画保存修復調査(3)	東京芸術 大学美術 学部紀要	金山町所蔵 上中田地区「番楽面八面」の保存修復	藤原 徹 岡田 靖	” ”	”
1000年後の未来にバトンタッチ! 保存と修理情報	東京国立 博物館ニ ュース	いわき市御宝殿熊野神社所蔵「木造獅子頭」の保存修復	岡田 靖	” ”	51
15 バンクオブアメリカ・メリルリンチの文化財保護プログラム ACP 2012の協力を得て国宝「檜図屏風」の修理始まる	東京国立 博物館ニ ュース	資料紹介 天理参考館所蔵ササン朝系切子ガラス器について—蛍光X線分析の結果から—	巽 善信	西アジア 考古学	14
16 文化遺産を脅かす危機について考える(その2)—被災文化財に対する初期安定化処理法の確立—	神庭 信幸	保存修復学における日伊文化交流史—「絵の健康法」から高松塚論争まで	田口かおり	日伊文化 研究	51
17 文化遺産を脅かす危機について考える(その3)—低炭素社会と共存する博物館の在り方—	神庭 信幸	寺宝修理報告 木造地天像 木造火天像	日光山輪 王寺	82	
18 東京国立博物館の臨床保存(改訂版)が発刊されました	神庭 信幸	国際建築家会議における建築保存論の変遷—マドリッド宣言(1904年)の成立過程の考察(1)	田村 央貴	日本建築 学会計画 系論文集	692
19 文化遺産を脅かす危機について考える(その4)—危機管理セミナー・陸前高田学校—	神庭 信幸	保存・修復におけるコンテンツボラリー・アート—チェーザレ・ブランディの理論とその「現代性」	田口かおり	美 学	243
20 被災ミュージアム再興事業による博物館の復興	神庭 信幸	対談 京表具の伝統と未来	榑原 吉郎 村山 秀則	美術京都	44
史料紹介と研究 史料編纂所所蔵写本「騎馬武者像」の補彩	村岡ゆかり	平成二十四年度西支部例会 近代イタリア修復学と《マドンナ・ピカソ》—一九七二年「フィレンツェは、修復する」展を中心に—	田口かおり	美 術 史	174
九州国立博物館のIPM活動の取り組み—博物館における文化財害虫の出現とその対応—	秋山 純子 山崎久美子 本田 光子	個人所蔵作品の大量の受け入れと手当て—收藏と展示に至るまで	田中 善明	H I L L W I N D	33
九州国立博物館のIPM活動の取り組み—博物館における文化財害虫の出現とその対応—	東風西声*	日伊文化財保護協力事業にかかる国立フィレンツェ修復研究所、国立フィレンツェ図書館保存研究所の視察・専門家ワークショップ概要報告	建石 徹 香取 雄太 高妻 洋成	文 化 財*	593
九州国立博物館のIPM活動の取り組み—博物館における文化財害虫の出現とその対応—	東風西声*	国立大学法人所有の重要文化財(建造物)の保存修理・耐震補強について	文化庁参事 官(建造物 担当)	”	594

特集 近代化遺産保護の成果		文化財*	596	19世紀前半フランスにおける中世建築の棟飾りの復興 — 鑄鉄のクレット再生にみられるヴィオレ＝ル＝デュク以前の中世建築修復	川瀬さゆり	文化資源学	11
近代化遺産の保存 — 自らの歴史を語るために —	齋藤 英俊						
近代化遺産の保存・活用にみる保存技術の取り組み — 継承と発展、課題 —	木村 勉			茅ヶ崎市文化資料館屋外周辺部でのタバコシバンムシ・ヒメマルカツオブシムシ・チビタケナガシムシの捕獲消長	馬谷原武之	文化資料館調査研究報告	22
近代化遺産の保存・活用に關するこれまでの成果	文化庁参事官(建造物担当)			文化財保護における地域博物館の可能性について	須藤 格	"	"
修理事例 近代化遺産としての鉄道施設「旧手宮鉄道施設「機関車庫三号」の保存修理工事について —	石神 敏			非培養法によるキトラ古墳の細菌調査	佐藤 嘉則 ほか	保存科学	52
特集 東日本大震災からの復興 総論 震災から三年目の被災文化財の復興	大和 智	"	602	壁画修復に用いる接着材料の分子量および強度の変化に及ぼす酵素の影響	貴田 啓子 ほか	"	"
特集 東日本大震災からの復興 美術学芸課の取り組み		"	"	ハギア・ソフィア大聖堂の屋外環境と劣化状態(2) — 熱画像・含水率分布調査およびレンガ造壁体の熱水分移動解析 —	小椋 大輔 ほか	"	"
二 岩手県内の活動	宇田川滋正			ハンドヘルド蛍光X線分析装置によるウズベキスタン国立歴史博物館所蔵資料の材料調査	早川 泰弘 古庄 浩明 青木 繁夫 アリブト・オヤベック	"	"
三 宮城県内の活動	建石 徹			敦煌莫高窟第285窟の東壁における青色の材料と技法について	大塚 将英 高林 弘実 渡邊真樹子 皿井 舞	"	"
四 福島県の状況	朝賀 浩			アルメニア歴史博物館における考古金属資料の保存修復ワークショップに伴う科学的調査	藤沢 明誠 有村 尚美 邊牟木 和也 GREGO- RYAN Anelka	"	"
五 茨城県内の活動	建石 徹			キトラ古墳から分離された微生物の紫外線(UV)耐性試験結果について	木川 りか 喜友名 朝彦 立里 臨 佐藤 嘉則 杉山 純多	"	"
特集 東日本大震災からの復興 参事官(建造物担当)の取り組み		"	"	動物剥製標本におけるヒ素化合物の残留について	間瀬 創 吉田 直人 木川 りか 佐野 千絵	"	"
二 国宝・重要文化財建造物の復旧支援事業の内容と現状	西山 和宏			日光山輪王寺の虫損部材を用いて行った木材保存剤の浸透実験	小峰 幸夫 木川 和四 川越 正彦 原田 定俊 三浦 俊	"	"
三 登録有形文化財(建造物)の復旧状況について	武内 正和			モノクローム資料写真をもとにしたオリジナルの彩色推定に關する基礎的検討	吉田 直人 鷹野 佳世子 平 論一郎 石井 恭子	"	"
五 文化財ドクター派遣事業について 事例 NPO等による文化財建造物の管理活用事業 気仙沼市内湾地区の国登録文化財郡の復興プロジェクト	下間久美子						
ギリシャ・イタリアの文化財保護見聞	坂井 秀弥	文化財学報	31				

「黒漆花円文螺鈿合子」の化学分析—クロスセクションATRを利用した層毎の解析—	本多貴之 宮里正彦 北野信彦 富腰哲雄	水損した紙資料のレスキュー	高妻 洋成			
水あるいは人工海水で浸漬した紙の水分特性の相違—津波被害を想定して—	林美木子 佐藤嘉則 木川りか 佐野千絵	災害時における奈良文化財研究所の支援			152	
茨城県鹿嶋市龍藏院の津波被災掛軸に発生した糸状菌の同定	和田朋子 藤嘉則 糸川崇か 木川りか	遺跡探査 三次元計測 記録写真撮影 有機質遺構の分析 遺構と遺物の応急処置				
奈良文化財研究所における被災文書の保管・クリーニング作業場所の微生物環境調査	高鳥浩介 久米田裕子 佐藤嘉則 木川りか 高妻洋成	西園寺公望別邸「坐漁荘」保存修理工事の進捗状況	明治村だより		71	
ハギア・ソフィア大聖堂外壁の劣化とその要因に関する調査	佐々木淑美 吉田直人 小椋大輔 石崎武志 日高健一郎	文化財レスキューと遠野—遠野市立博物館と遠野文化研究センターの取り組み—	前川さおり	山形大学歴史・地理・人類学論集	14	
有機酸放散量の多い展示ケース内の改善対策事例	佐野千絵 古田嶋智子 呂俊民	国宝 長保寺大門ほか2棟の保存修理	下津健太郎	和歌山県文化財センター年報	2012	
展示収納施設に用いられる木質材料の放散ガス実験	古田嶋智子 呂俊民 林良典 佐野千絵	重要文化財 金剛三昧院客殿及び台所ほか1基の保存修理	結城 啓司			
展示空間に用いるクロス材の放散ガスの測定と評価	呂俊民 古田嶋智子 林良典 佐野千絵	重要文化財 丹生都比売神社本殿の保存修理				
凝灰岩製石造文化財における劣化現象認識のための注意点	朽津信明 津村宏臣 森井順之	国史跡 熊野本宮大社神門ほか4棟の保存修理	下津健太郎			
民家建造物における伝統的な塗装材料の調査と修理—重要文化財小野家住宅主屋における塗装修理の施工例—	北野信彦 本多貴之 梅津秀基	位牌もアルバムも「文化財を救おう」上野の国立博物館でシンポ	吉本美奈子	朝 日	1.26	
フィルモン音帯の修復手法の一例	中山俊介 大河原典子 安倍倫子	ひと 出雲大社本殿工事の現場監督 金久保仁さん	桑山 敏成		5.10	
伝統的木造建築の屋根根部にみられる生物劣化の特徴	藤井義之 藤原裕子 木川りか	「太陽の神殿」修復へ着々 「空中都市」マチュピチュで国士館大学教授ら 「日時計」も来年調査へ	大脇 和明		8.21	
日本の「遺跡保存」の歴史と「保存科学」の役割	朽津信明	よみがえる天平の極彩色 東大寺の秘仏、CG で再現	松山 尚幹		12.2	
大エジプト博物館保存修復センター(GEM-CC)におけるIPM研修	三浦定俊 川越和四 高鳥浩介	高松塚の修復一歩ずつ 教訓全国へ、専門家委発足	木村 尚貴	朝日夕刊	1.21	
東日本大震災の文化財レスキュー—奈文研の活動—		国宝「檜図屏風」再生へ 東京国立博物館			5.1	
文化財レスキュー活動に参加して	田代亜紀子	「時代の証人」写真原板守れ 収集・保存作業 国内で本格化 欧米、公的機関が尽力	増田 愛子		6.5	
		文化財修理 無料で助言 京都の専門家 7月に東京で	藤井 裕介		6.10	
	埋蔵文化財ニュース				151	

修復の南大門「龍が 違う」焼失前と異 なり議論に「いつ の姿に再現か」常に 問題	宮代 栄一	朝日夕刊	7.22	日中文化交流～荒波 越えて 2 文化財 保護、強い絆 シル クロード、技術を共 有	内田 洋一	〃	3.26
装飾古墳朽ちさせない カビ・風雨 鉄の 厚も劣化 地元の 経験生かし国が指針 づくり	藤井 裕介 中村 俊介	〃	9.30	文化財救援 道半ば で幕 震災2年、一 定の成果も 企業と も連携 地域間で格 差	松岡 資明	〃	4.6
「想像復元」重すぎる 介入 パーミヤンを 訪ねて	前田 耕作	〃	11.25	文化往来 仙台で「震 災とミュージアム」 シンポ		〃	4.17
壁画守った石室見納 め キトラ古墳、埋 め戻し前に公開 修 復、絵柄は手つかず 文化庁「おおむね順 調」		産 経	8.17	モアイと歩む復興の 道 チリから南三陸 道に新たな像、100 年越す交流の象徴	佐々木幹夫	〃	5.17
「清水の舞台」柱9本 修理		〃	8.23	しごと図鑑 和紙職 人 ひだか和紙専務 取締役 鎮西寛旨さん 薄さ0.02ミリ、 世界中の宝修復	鈴木 康浩	〃	6.29
社殿65棟建て替え「伊 勢」本殿を大修復の 「出雲」W 遷宮60年 ぶり	中平 雄大	東 京	5.6	伝統建築、古人の知 恵満載 工法や耐震 性、分析進む	新井 重徳	〃	11.17
ぶら〜りキャンパス 研究編 東京芸術大 学 保存修復日本画 研究室 緻密な補彩 100年先へ	臼杵 秀之	〃	9.16	大名屋敷の模型 ウ ィーンで復元 明治 政府、1873年の万博 に出品 140年ぶり一 般公開へ		日経夕刊	3.23
旧安田楠雄邸 華や き戻す 椅子と絵画 修復終わり公開	原 尚子	〃	10.13	津波で傷んだ文化財 救え 東北学院大 「石巻市鮎川収蔵庫」 の4000点	久木田照子	毎 日	6.14
飯館の神社焼失シン ボル オオカミ天井 絵復活へ 研究者支 援 避難住民「帰村 へ励み」		〃	12.17	津波耐えた土蔵守る 宮城・石巻の男性 券金で修復	加藤 綾加	〃	12.12
静岡 久能山東照宮 2年後公開 徳川家 甲冑修理に挑む 板 橋区の無形文化財職 人	加藤 隆士	東京夕刊	4.2	エジプト考古大臣講 演 文化財保存支援 を訴え	佐々木泰造	〃	12.25
紙つぶて アンコー ル遺跡群	鈴木 博之	〃	6.13	ルポ 国宝「楡図屏 風」修復進む ずれ 解消「四曲一双」に 狩野永徳、最晩年の 代表作	岸 桂子	毎日夕刊	4.23
壮麗国宝6年かけ大 修理 日光東照宮・ 陽明門		〃	7.26	みんなの「ちいさい おうち」に 取り壊 し迫る神戸・塩屋の 旧ジョネス邸	サラ・デュ ルト	〃	6.11
崋山反射炉の記録 SOS 世界遺産候補 静岡・江川文庫 保 管環境悪く 寄付金 募集	山田 晃史	〃	11.14	ルポ 映像最大手「イ マジカ」貴重な記 録を守りたい フィ ールド修復、デジタル 変換に注力	鶴谷 真	〃	8.26
被災の水戸徳川家墓 所と西山荘 修復で 当時の工法発見 貴 重な記録 特別公開	成田 陽子	〃	12.4	ルポ 東アジア文化 遺産保存学会 日中 韓の専門家が協力 修復の技術、情報、 教訓を共有	佐々木泰造	〃	11.20
千年後も残せる日本 画目指す「鹿皮膠」 伝統製法で再現	岡松 卓也	日 経	2.5	箸墓古墳 立ち入り に意義 卑弥呼の墓 ?初調査 「観察」繰 り返す必要性	今尾 文昭	読 売	3.6

災後の風景2013 6 美術 被災者とゼロ から創作	井上 晋治	"	3.14	東京国立近代美術館 アートライブラリ所 蔵 藤田嗣治旧蔵書 について—その受入 から公開まで—	小澤 水谷	万紀 長志	"	"
被災文化財は今		"						
上 警戒区域内 搬出進まず 除染 方法に課題 保管 場所も不足	辻本 芳孝		3.20	有松絞りのデジタル アーカイブ作成とそ の分析及び活用	上田 藤木	香介 庸介	京都嵯峨 芸術大学 紀要	38
下 長期の収蔵と 管理が課題	早川 保夫 辻本 芳孝		3.27	公共図書館の使命と 図書資料をめぐる	金子 一夫		近代画説	22
読売あをによし賞		"	5.1	アーカイブと表現— (非)物質化とデジタル 化、および「隣接 領域」について	上崎 千		慶応義塾 大学アート・セン ター年報	20
本賞 穴太衆伝統 の石積み工法による 各地の城郭石垣 修理 石積みの技 次世代へ 粟田純 司さん				展示を基点とした情報 提供—アーカイブ 情報の流通にむけて	本間 友		"	"
奨励賞 金銀糸・ 平箔製造 島原雄 治さん 金色 納 得いくまで				活動紹介 所蔵作品 データベースが目指 すもの	川口 雅子		ゼフュロ ス	55
特別賞 公益財団 法人 住友財団 幅広い助成探る				全美フォーラム 所 蔵作品情報のデジタル 化と発信 情報・ 資料研究会の20年 間の活動から見える 課題と展望	鴨木 年泰		ZENBI	4
装飾古墳 劣化どう 防ぐ 文化庁部会 熊本の取り組み視察	辻本 芳孝	"	7.10	全美フォーラム 日 本の美術文献の発信 と伝達—国立美術館 のartlibraries.net 参 画の意味を思う	水谷 長志		"	"
ルーブルのニケ像 130年ぶり大規模修 復		"	9.5					
建築季評 遺構修復 で途上国支援	中川 理	"	9.26	博物館図書館の「レ ファレンスサービス」 とレファレンス 共同 データベースの活用	井上美奈子		東京都江 戸東京博 物館紀要	3
天平から未来へ 下 科学で迫る宝物の「素 顔」 伎楽面	早川 保夫 原田 和幸 岡田 英也	読売夕刊	10.25	収蔵作品データベ ース構築4年目の現状 について	佐藤 克己		新潟県立 近代美術 館研究紀 要	12
<b>情報処理</b>								
事例報告 近世対馬 藩の文書管理研究を 活用したデータベ ースの構築	東 昇	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン研究	20	センター通信 アー カイブということ	森 洋久		日 文 研	51
JADS主催 国際シ ンポジウム 地域・ 社会と関わる芸術文 化活動のアーカイブ に関するグローバル ・ネットワーク ・フォーラム参加報 告記	渡邊 美喜	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン通信	97	INFORMATION NEWS ウェブサイ ト「ARTINFO」日本 版がスタート 世界最 大級のアート情報ウ ェブサイト「ART- INFO」前代未聞のグ ローバル展開で日本 に進出!	編 集 部		美術手帖	979
時間、(非)物質、残 存をめぐる「ア ートアーカイブⅢ: アーカイブ再考—資 料体とインターフェ イス」に参加して	楠木あづさ	"	98	特集 ポスターの視 覚文化論 17 戦前 期の日本製ポスター 研究における体験的 参考文献論	田島奈都子		美術フォ ーラム21	27
国際交流委員より IFLA シンガポール 大会報告:美術書誌 をめぐる国際動向	川口 雅子	"	99	広島県立美術館収 蔵品データベースの構 築について	福田 浩子		広島県立 美術館研 究紀要	16
				博物館資料の分類と 情報メディア—XML 文書の活用—	森 朋久		MUSEUM STUDY	24

茨城県五霞町域にみる歴史民俗資料データベース化に基づく地域博物館展示製作シミュレーション	森 朋久	明治大学博物館研究報告	18	浦添市の文化財行政について(5)ー浦添市の文化財保護行政のあゆみー	下地 安広	よのつぢ*	9
読書案内 イスラーム美術	榊屋 友子	歴史と地理	669	岡崎の近代土木遺産について 鉢地坂トンネルと新箱根観光道路	稲垣 満春	岡崎市美術館研究紀要	5
歴史の証人 写真による収蔵品紹介 古代出土文字の画像の公開を目指して	平川 武井 南 紀子	歴 博	180	バハレーン王国に対する文化遺産国際協力調査について	原田 俊健 後藤 清秀 西藤 雅史	オリエン ト	55-2
忠臣蔵ネットで追体験 宮内庁、きょうから資料6点公開 討ち入りの配置、克明に	北野 隆一	朝 日	12.2	文化財の指定等 新指定の文化財(本門寺)		香川県文化財年報	H23年度
お召し列車の写真公開へ 大正天皇即位式など宮内庁HPで	中田 絢子	〃	12.22	大正15年の文化財保護 当時、鳥坂寺跡保存の可能性はあったのか?	宮本 知幸	柏原市立歴史資料館館報	25
ネットでぶらり美術館の旅 世界の260館「生活にアートを」	大西 若人	朝日夕刊	10.23	「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」報告書 藤井純夫・有村誠編「多民族国家の多民族的文化遺産学」	藤井 純夫 有村 誠	金沢大学文化資源学研究	11
日英浮世絵往来 下データベース活用 Kabuki展 木版表現の変化と歌舞伎史追う	増田 愛子	〃	12.11	ユネスコ世界遺産ティカルへ北のアクロポリスプロジェクトと遺産の保存・活用へ	多々良 穰	〃	12
チャイム § 宮内庁書陵部 目録とデジタル画像公開 §		産 経	11.1	調査報告 北区指定有形文化財(建造物)「旧松澤家住宅」の震災被害修理について	北区教育委員会事務局 飛鳥山博物館	北区飛鳥山博物館研究報告	15
吉良邸討ち入り資料公開 赤穂浪士配置図など6点 宮内庁HP 来月2日から		東京夕刊	11.29	わたし一人の美術時評 第40回 いま、福島第一原発をこそ世界遺産に	藤田 一人	芸術新潮	768
大正のお召し列車 宮内庁HPで公開 27日から		〃	12.20	動向 平成13年度重要文化財指定の考古資料		考古学雑誌	97-2
芸術家の証言・映像公開・発信の動き 鑑賞の手掛かりや研究資料に	窪田 直子	日経夕刊	7.29	奈良県天神山古墳出土品			
吉良邸討ち入りの図 宮内庁、来月2日から公開 大石内蔵助ら浪士の配置記す		〃	11.29	長野県藤内遺跡出土品			
「五箇条御誓文」ネット公開 あすから宮内庁 歴史的資料1万点		読売夕刊	10.31	京都府聚楽第跡出土金箔瓦			
<b>文化財行政</b>				神戸歴史見聞録 23兵庫県指定重要文化財 内田家住宅	東 喜代秀	神戸市立博物館だより	104
from the World 建築・エンジニアリング・デザインをプロモートする 「インジニアス スイス」	鴨澤 章子	A X I S	161	平成25年度総会 記念講演ー埋蔵文化財行政の現状と課題ー	榊原 佳男	公立埋文協会報	51
いわて文化ノート 世界遺産「平泉」回顧と展望	阿部 勝則	岩手県立博物館だより	136	平成25年度総会 特別講演ー遺跡の調査と保存・設備ー	工藤 善通	〃	51
				研究員レポート オーストラリア出張報告	本橋 弥生	国立新美術館ニュース	27

特別寄稿 歴史資料の津波被害と保全対策—東日本大震災におけるNPO 法人宮城歴史資料保全ネットワークの活動から—	天野 真志	古文書研究	75	第36回世界遺産委員会報告	稲葉 信子	〃	〃	
研究ノート 静岡県における水中文化遺産の現状と課題	永田 悠記	静岡県埋蔵文化財センター研究紀要	2	危機遺産の現状	〃	〃	〃	
法隆寺が世界文化遺産に登録されたときの真相—私が語っておかねばならないこと—	高田 良信	聖 徳	217	日本ユネスコ協会連盟の世界遺産活動アンコール遺跡石像修復プロジェクト—バイヨン寺院ナーガ像・シンハ像	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟	〃	〃	
よみがえる平等院鳳凰堂 修理のいま	神居 文彰	絲綢之路	71	日本の世界遺産 この一年の動き	編 集 部	〃	〃	
「文化財レスキュー事業」を振り返って	近藤 誠一	〃	72	富士山が世界遺産に登録されるまで	西村 幸夫	〃	19	
文化財レスキュー事業への取り組みと課題	岡田 健	〃	〃	「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」世界遺産登録と今後の取り組み	山梨県富士山保全推進課 静岡県富士山世界遺産課	〃	〃	
福島県被災文化財救出活動への眼差し	朝賀 浩	〃	73	2013年登録の世界遺産	〃	〃	〃	
—山本作兵衛の炭坑記録画について—世界記憶遺産への認識深めた貢献大	栗原 祐司	新美術新聞	1306	第37回世界遺産委員会報告	稲葉 信子	〃	〃	
平成25年度政府予算案等への反映状況—今期最終— 第10期文化政策部会第6回文化審議会総会第58回を開催	〃	〃	〃	日本の世界遺産ニュース この1年の動き	編 集 部	〃	〃	
独法 国立美術館、国立文化財機構、日本芸術文化振興会の統合は当面凍結 経済と教育再生を掲げる安倍政権が新方針決める	〃	〃	1307	日本ユネスコ協会連盟の世界遺産活動アンコール遺跡石像修復プロジェクト—バイヨン寺院ナーガ像・シンハ像	日本ユネスコ協会連盟 アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構(JST)	〃	〃	
運慶・快慶の仏像など3件を国宝指定 文化審議会答申 重要文化財は50件	〃	〃	〃	報告 文化財ボランティアの育成と協働について	西本 幸嗣	高槻市文化財年報	H23年度	
ICOM・リオ大会に参加して 2019年以降のICOM 大会日本招致を提言 わが国博物館の国際的発信力増大を	栗原 祐司	〃	1322	被災文化財救護活動について考える会「語ろう!文化財レスキュー—被災文化財等救援委員会公開討論会—」参加記	林 貴史	地方史研究	364	
シンポジウム「2020年、文化芸術立国の実現に向けて文化省創設を考える」を開催して	浅木 正勝	〃	1330	被災文化財等救援委員会公開討論会に参加して	保垣 孝幸	〃	〃	
特集 世界遺産条約採択 40年を振り返る 深化しつつある人類と地球の価値	西村 幸夫	世界遺産年報	18	初代佐賀藩主・鍋島勝茂伝来「色絵山水竹鳥文輪花大皿」が重要文化財に指定されました	〃	徴古館	26	
2012年登録の世界遺産	〃	〃	〃	活動風景 植民地残滓から文化遺産へ：韓国に残る日本植民地建築物の行方	金 賢貞	東北アジア研究センターニュース*	58	
				旧高梁尋常小学校校舎の建築調査	林 良彦	奈良文化財研究所紀要	2013	

平成25年定期刊行物所載文献(総/行政)

近代兵庫の公共建築にみる和風意匠と伝統理解—兵庫県近代和風建築総合調査2—	鈴木 智大	奈良文化財研究所紀要	2013	世界における世界遺産条約採択四〇周年～一年を通じ、さまざまな記念行事が世界各地で開催～	貝塚 寛子	
建築遺跡の整備と問題点—日中韓建築文化遺産保存国際学術会議から—	箱崎 和久	〃	〃	日本イコモスから世界遺産条約四〇周年に寄せて	西村 幸夫	
パブリックな存在としての遺跡・遺産	平澤 毅	〃	〃	世界遺産条約採択四〇周年富士会合について～世界遺産と持続可能性～	稲葉 信子	
古社寺保存金制度の成立と終焉—古社寺保存金制度の研究その2—	清水 重敦	日本建築学会計画系論文集	687	遺産と社会—奈良ドキュメント二〇周年およびその後を見据えて—	河野 俊行	
新指定文化財「木造虚空蔵菩薩坐像」(川寺・大光寺)	(塩野)	飯能文化財時報	141	世界遺産条約採択四〇周年記念国際シンポジウム in 高野山	仲 克幸	
島根文化考 「鈿山遺跡」としては、日本で唯一の世界遺産石見銀山遺跡とその文化的景観		美術屋・百兵衛	26	日本イコモス主催京都シンポジウム	宗田 好史	
II. 新指定文化財				連載 文化財を活かす		〃
1. 指定有形文化財と指定天然記念物の指定		ふちゅ～る	22	伝統建造物の活かし方を考える	中村 浩二	〃
特集 重要伝統的建造物群保存地区の今		文化財*	592	建造物編 市民活動と地域防災の拠点としての文化財	片瀬 信江	596
西欧の町並み保存と日本	陣内 秀信			特集 近代化遺産保護の成果		〃
事例7 町並み保存を核とした地域づくりと世界遺産	林 泰州			歴史学からみた近代化遺産—二〇年の総括—	小風 秀雅	
新指定の文化財 記念物	文化庁文化財部	〃	593	近代化遺産の成果—土木技術の視点から—	小野田 滋	
新選定の文化財 文化的景観	〃	〃	〃	近代化遺産保護の取り組みと課題—文化財保護行政の観点から—	大和 智	
新登録の文化財 記念物	〃	〃	〃	地域活性化にかかわる事例 近代化遺産とまちづくり—赤煉瓦をまちづくりに活かす—	吉岡 博之	
登録有形文化財(建造物)一覧	〃	〃	〃	地域活性化にかかわる事例 富岡製糸場解説員の育成	石田 明久	
第74回登録有形文化財(建造物)			〃			
第75回登録有形文化財(建造物)			594			
特集 世界遺産条約採択四〇周年		〃	595	新指定の文化財 美術工芸品	文化庁文化財部	〃 597
これからの世界遺産と日本	近藤 誠一			国宝の指定 絵画		
世界遺産条約採択四〇周年記念最終会合および成果文書「京都ビジョン」について	文化庁記念物課世界遺産室			国宝の指定 書跡・典籍		
				重要文化財の指定 絵画		
				重要文化財の指定 彫刻		



重要文化財の指定 工芸品				記念物課の取り組み 一 東日本大震災から二年半一	草野 純一		
重要文化財の指定 書籍・典籍				記念物行政の最近の取り組みと今後の見通し一			
重要文化財の指定 古文書				記念物課の取り組み 六 地域の文化遺産を活用した復興計画	市原富士夫		
重要文化財の指定 考古資料							
新指定の文化財 国 宝の指定 建造物	〃	〃	598	参事官(建造物担当)の取り組み 一 耐震対策の普及啓発と補助事業	西川 英佑		
新指定の文化財 重 要文化財の指定 建 造物	〃	〃	〃	「名勝に関する総合調査」の報告書について	文化庁記念物課	〃	〃
重要文化財の指定解 除	〃	〃	〃	新指定の文化財	文化庁文化財部	〃	603
新選定物件に関する 寄稿論文		〃	〃	重要文化財の指定 建造物			
津和野町歴史文化 基本構想の策定と 今後のまちづくり	米本 潔			重要文化財の追加 指定 建造物			
伝統的建造物群保 存地区の現在と未 来	荻谷 勇雅			特集「地域社会と 文化資源」		文化資源 学	11
新選定の文化財	文化庁文化財部	〃	〃	地域社会に関わる 文化芸術の可能性	嘉藤 笑子		
『月刊文化財』50周年 に寄せて		〃	599	地域社会で文化資源が活用されるための環境整備	小林 真理		
文化財保護と歩む 『月刊文化財』の“す がた”	鈴木 規夫			パブリックアート 研究所、20年間の 活動とその社会的 影響	杉村 荘吉		
伝承地の実情を伝 える記事なども	星野 紘			南三陸町でのアー トプロジェクトの 広がり地域記憶の 記録一「きりこ」 プロジェクトを とおして考える 地域の「想像」と 「創造」	三浦 伸也		
平城宮跡の保存と 『月刊文化財』の歩 み	松村 恵司						
半世紀のお付き合 い	吉田 靖						
新指定の文化財	文化庁文化財部	〃	600	学芸員のこぼれ話 開拓の村の旧開拓使 工業局庁舎が重要文 化財建造物になりま す	小林 孝二	北海道開 拓記念館 だより	43-2
名勝の指定							
名勝の追加指定							
新登録の文化財	〃	〃	〃	〈文化財〉取材日記 変わる景観 変えたく ない景観	伊藤 和史	本 郷	107
史跡関係の登録							
名勝地関係の登録							
特集 東日本大震災 からの復興		〃	602	東日本大震災の文化 財レスキュー一奈文 研の活動一 職員の 派遣と後方支援	田中 康成 渡辺 丈彦 松井 章	埋蔵文化 財ニュー ス	151
美術学芸課の取り 組み 一 震災二 年目の文化財レス キューと被災ミュー ジアムの再興	朝賀 浩			資料の〈代役〉一文化 財の複製一	小澤絵理子	港郷土資 料館だよ り	69
				特集 武器をアート に 日本版武器よさ らば	木下 直之	みんなく	433

平成25年定期刊行物所載文献(総／行政)

郷愁の町並み 住んで保護 過度の観光地化、空き家増など課題も	筒井 次郎 木村 尚貴	朝 日	2.13	ニュースのおさらい ジュニア向け 世界遺産はどう決まるの？ 専門家が審査、4段階で判断 増えすぎて、狭き門に	藤井 裕介	朝日夕刊	5.25
ニュースQ3 盗んだのはどっち？日韓がほっとけない仏像	河合 達郎 中野 晃	〃	3.30	文化で華やぐ東京五輪 名所コースや芸術大会 国が検討	〃	〃	11.30
ニュースがわからん！		〃		上野の杜から世界へ 日本文化発信 博物館・美術館、連携探る		〃	12.24
世界遺産ってどうやって決まるの？ 専門化が審査。その後、ユネスコの委員会が決定するよ	中村 俊介		5.2	ソウルからヨボセヨ(もしもし) 文化財泥棒ご用心	黒田 勝弘	産 経	2.2
鎌倉の世界遺産登録 内定取れなかったのう 物証不十分と判断された。再挑戦できるけど難しい面も	藤井 裕介		5.10	富士山 日本の象徴 信仰の対象、絵画・文学の題材 三保松原噴きの日 世界遺産除外「絶妙な距離感」あだ 鎌倉少ない史跡、進む都市化		〃	5.2
世界文化遺産への推薦 決め方が変わったの？ 「産業革命遺産」を選べるよう、政府主導で条件を変えた	〃		10.3	世界遺産登録アピール クールジャパン「日本遺産」創設へ		〃	5.15
社説 鎌倉の「落選」 世界遺産への候補絞れ		〃	5.2	富士山の世界遺産登録 「勅告従うのが正攻法」 文化庁長官、三保松原除外で「諦めず長期的戦略で主張通す」		〃	5.18
閲覧制限「疑問だった」 はだしのゲン 教師・親ら不信感 「手続きに問題」 強調 松江市教委 「表現規制つながらる」	小早川 遥平 藤家 秀一 斉藤 智子	〃	8.27	信仰と芸術 高評価 富士山をめぐる動きと信仰・芸術活動 各国代表の発言 「美術発展に影響」 「宗教的な特質」 「一番の印象得られる場所」		〃	6.23
記者有論 世界文化遺産 官房長官「裁定」に違和感	中村 俊介	〃	10.4	今日のテーマ「重文388件が所在未確認」 ネット出品 家宝意識薄く 後手の文化庁、年度内に全チェックへ	川瀬 弘至 篠原 那美	〃	12.8
インタビュー 文化財の居場所 韓国は仏像返還を各地で高まる緊張 議論は法に則して 九州大学法学研究院教授 河野俊行さん	宮代 栄一 聞き手	〃	10.12	仰ぐ富士 伝統文化 100キロ離れた江戸 60超す富士塚 イコモス 日暮里眺望では保全決議 三保松原「遠さ」で除外	中山 洋子	東 京	5.2
那須神社など6件 重文に文化審査案		〃	10.19	ニュースがわかる A to Z 富士山(世界文化遺産に登録) 趣旨は 人類共有の財産保全 評価は 信仰と芸術で影響大 課題は 環境保護と安全対策	加藤 隆士 山田 晃史 木谷 孝洋	〃	6.3
世界発2013 エジプト文化財危機 日本支援の博物館新設、資金難 援助国、暫定政権の姿勢注視	平賀 拓哉	〃	10.22	木造酒蔵消滅の危機 兵庫・灘五郷 酒造り低迷 最後の1棟 競売 住民「残して」		〃	7.5
「自社ビルを区立美術施設に」 堺屋太一氏、新宿区に申し入れ 妻の作品が3分の2 関連財団が指定管理者 区議「公平性に問題」	吉本美奈子	〃	11.27			〃	

マンガ規制 世界の 問題 審議中の児童 ポルノ禁止法改正案 海外から懸念の声「心 の中取り締まるのか」	出田 阿生	〃	8.19	コタンのある町に住 んでみる 北海道二 風谷	木戸 純生	日経夕刊	
考古学協会 海外寄 贈を撤回 眠れる6 万3000冊 ページ開 く日は「知的財産」 国内保管先を再公募	岩岡 千景	〃	8.25	1 アイヌ民族の 心のふるさと 木 彫が伝統工芸品に			4.6
限定要チェック! 東京文化財ウィーク 歴史にとことん浸る	村手 久枝	〃	10.25	2 伝統工芸品 「アットゥシ織り」 次世代に技術つな ぐ			4.13
平成の大修理間近で 見学や彩色模擬体験 「文化財保存 理解 を」	石川 徹也	〃	11.2	「遣欧使節」復興の糧 に 世界記憶遺産に 登録 復元船を修復 ・ミュージカル上演 「勇気感じてほしい」		〃	7.16
タイ国境紛争の寺院 世界遺産の丘は「カン ボジア領」	寺岡 秀樹	〃	11.12	遠みち近みち 世界 遺産めぐす長崎の心	内田 洋一	〃	9.21
名古屋城天守閣木造 に 費用300億円 本物求め復元へ		東京夕刊	1.5	被災文化財救援が本 格化 原発被害の福 島・旧警戒区域	富田 律之	〃	10.15
揺れるケルン大聖堂 世界遺産下に地下鉄 振動抑制へ徐行、緩 衝材も設置へ	宮本 隆彦	〃	3.6	遠みち近みち エジ プトの文化財どう守 る	小橋 弘之	〃	11.30
富士山「日本象徴」太 鼓判 鎌倉「武家遺 跡少ない」世界遺 産分かれた評価 三 保松原「離れすぎ」 観光、環境 富士に 期待 どう守る「こ れから正念場」			5.1	シンポジウム 文化 遺産とまち、ひと、 復興 東京大会		毎 日	6.27
富士よ世界へ 国内 遺産に学ぶ 2 追 加登録へ「論法」磨く 平泉 関連遺跡が除 外			6.26	余録 § 富士山の世 界遺産登録について §			9.28
富士の文化、内外に 発信 世界遺産へイ ベント相次ぐ 浮世 絵や信仰、魅力PR		日 経	5.20	盗難仏像返還前向き 韓国文化相、下村氏 に伝達			10.2
大阪・中之島に文化 施設集積 新美術館 計画が再始動 西日 本で随一に	田村 広濟	〃	6.8	豊島のアパート「ト キワ荘」跡地近く に「お休み処」観光 の拠点へ整備	戸上 文恵	〃	11.30
早速、富士詣で 世界 遺産決定 にぎわ い 三保松原「登録 知り予定変更」 5 合目「雲間から山頂」 笑顔			6.24	文化復興のいま「文 化財」定義曖昧で混 乱も 岩手県陸前高 田市	手塚さや香	〃	1.7
列島追跡 京都市、 歴史的建物を建基法 適用外に 保存・改 修と安全両立	古川 慶一	〃	7.8	神戸で東北文化財展 27日まで 被災した 「高田人形」なども	久木田照子	毎日夕刊	7.24
今を読み解く 世界 遺産としての富士山 文化的営為の理解を	日高健一郎	〃	9.1	「政治力の成果」とい う誤解 世界遺産「三 保松原」逆転登録を 巡って	近藤 誠一 寄稿	〃	1.2
				世界遺産目指す「明 治の産業革命」稼 動中、荒廃 道は険 しく	池田 和正 辻本 芳孝	読 売	1.5
				被災文化財救出に新 組織 文化庁が常設 へ 震災での経験生 かす			1.23
				群馬・金井東裏遺跡 よろい着た人骨出土 噴火に立ち向かう古 代 首長 儀式の最 中か 「高台に避難 途上」の異論も	辻本 芳孝	〃	

孤島化工事 地元で 摩擦 世界遺産モン サンミシエル 観光 業者「客減った」	三井 美奈 読 売	5.28	プロジェクト31： 東海大学&アトム リビンテック「住 まいの安全・安心 ・快適提案プロジ ェクト」	164
記者ノート 鎌倉「不 登録」中世考古学に 弱さ	清岡 央	5.29	from the World 日 米の学生が見つめる 工芸の未来 多摩美 術大学とアートセン ター・カレッジ・オ ブ・デザインの「バ シフィックリム」	162
記者ノート 「保護 より観光」 復元中 断招く	池田 和正	7.3	世界水準のデザイン 人材の育成に向けて 「グローバル・イノ ベーション・デザイ ン・プログラム」	163
アイヌ復興へ「象徴 空間」 初の国立施 設建設 運営の主体 性など課題	辻本 芳孝	10.9	GID プログラムと は、トランスナシ ョナルな“旅”	
パーミヤンと同様式 の仏堂 フォラディ 石窟 関連性探る手 がかり	前田 耕作	10.17	社会にインパクト を与えるために GID プログラムに おける KMD の展 望	
「寺院周辺 カンボ ジア領」 国際司法 裁判決 タイとの係 争地 タイ首相 国 民に冷静対応求める	寺口 亮	11.12	エンジニアリング でデザイン性を高 めていく IDE プロ グラム	
シリア文化遺産 復 興へ議論 日本の貢 献考える	清岡 央	11.13	クラフトとの接点 をつかむ、インダ ストリアルデザイ ン修士コース	
石橋存統悩む自治体 豪雨被災地模索続く 治水対策か文化遺産 保護か	杉尾 毅	11.26	イノベーションと いう化学反応の片 鱗を見たプレ・プ ログラムより	
<b>美術教育</b>			特集 21世紀型産学 連携のプロトタイプ	165
美術系大学生のジレ ンマーいま美術教育 の場で何が起きてい るのか	織野 疎 あいだ	200	新しい産学連携の 状況を耕す 慶応 義塾大学環境情報 学部「ソーシャル ・ファブリケーシ ョン・コンソーシ アム」	
from the World RCA 175周年記念エキシ ビジョン 「成長に 完べきな場所」	中島 恭子 A X I S	161	溢れる創造性で「空 き巣」を防ぐ デ ザインアカデミー ・アイントホーフ ェンとオランダ検 察局	
産学共同の正しいや り方	今村 玲子	162	アカデミック、デ ザイン、インダス トリーをつなぐ スイス連邦工科大 学ローザンヌ校に よるEPFL+ECAL ラボ	
プロジェクト28： 「東北芸術工科大 学と多田木工」	今村 玲子	163		
プロジェクト29： 名古屋芸術大学& ラッキー工業 「新 しい世代へのペビ ー用品のデザイン および機能の開発」	今村 玲子	162		
プロジェクト30： 東海理化&岡山県 立大学、長岡造形 大学、武蔵野美術 大学 「クルマを より安全に」	今村 玲子	163		

エコシステムを通じてアクティブな人材を育成 アアールト大学、ノキア、マイクロソフトの共同プログラム「App キャンパス」	中島 燕子			パリの美術学校における形態学の教育 その歴史と今日の特徴—フィリップ・コマル教授の講演会から—	神谷 佳男	〃	〃
「及第点ではない、エッジの効いた提案を」 アッシュンコンセプト 名児耶秀美氏インタビュー	今村 玲子			ホスピタリティアート・プロジェクト—ワークシヨップ・展示—金沢市立病院における実践から—その2	三浦 賢治	〃	〃
デザイナーとして生き方を考える機会 グリーンワークシヨップ・ウェントラント	小町 英恵			デザイン産学連携のプロセスと手法に関する研究 1—「金沢の水」プレミアムボトル商品化の事例より—	浅野 隆	〃	〃
竜丘の自由画教育について	伊坪 達郎	飯田市歴史研究所年報	11	自画像とは何か	岩崎 陽子	京都嵯峨芸術大学紀要	38
PROJECT—芸術は架け橋—アバカ・フェアートレド商品開発プロジェクト	山田真美 笈田真美 西岡花歩	瓜生通信	59	研究報告 芸術系大学における初年次教育の取り組み(5)—学生によるカリキュラムマップ作成の試み—	真下知子 横田博幸 中村	京都市立芸術学部研究紀要	57
PROJECT—一人暮らしに、新たなルールを—第5回 長栄マンシヨンリフォームプロジェクト		〃	〃	日中連携による実践型のデザイン教育展開の可能性	磯村克郎 迫秀樹 佐井国夫 黒田宏治	静岡文化芸術大学研究紀要	13
こんな授業、やっています	辰巳 加歩	〃	〃	造形表現活動の構想段階における生徒の思考過程と「言語化」のもたらす影響	鈴木 淳子	女子美術大学研究紀要	43
1 素材を学べば未来が変わる				新美術時評＝美術と教育		新美術新聞	
2 仮面をつくって歴史を追体験				7＝若者よ、美術に親しめ	大原謙一郎		1317
PROJECT—職人が信じる、コクヨという道具—コクヨディスプレイプロジェクト	山岸 拓矢	〃	60	8＝感じることを考えること	山本 豊津		1320
アニメーター育成プログラムの構築へ向けた実践的研究(1)	布山タルト	映像メディア学*	4	11＝アートが促す「参加」と「包摂」	稲庭彩和子		1331
中学校教師における「鑑賞授業」に対するPAC分析	関口 洋美	大分県立芸術文化短期大学研究紀要	50	特集 近現代のアジアの水墨画教育 国立台湾芸術大学編		水墨画*	286
「ideal Fit」展の全容—美術教育としての展覧会とアートマネージメント—	於保 政昭	〃	〃	大学と科学館との映像制作連携の試み—名古屋科学館プロジェクト報告—	柄窪優二 小塩哲朗 松山智恵子	椋山女学園大学文化情報学部紀要	12
共同研究 平成の加賀獅子、その提案と制作	中川俊介 佐藤陽介 石田隆彦 浅野明 高橋大野	衛介介隆彦悠 金沢美術工芸大学紀要	57	竹内栖鳳 近代京都画壇の大家 明治から大正期の京都画壇	松尾 芳樹	太陽(別冊)	211
アジアのデザイン動向の紹介—韓国・台湾のデザイン教育及び産学官の動向調査の紹介—	城崎英明 鏑隆弘 鈴木康雄 河崎圭吾	〃	〃	京の美術学校 京都市立美術工芸学校と京都市立絵画専門学校 明治の絵画教育			

教師が題材づくりに必要と考える力について—図画工作専科を対象とする質問紙調査の質的な検討—	相田 隆司	東京学芸大学紀要	65	99 光りをつかまえて	〃		989
造形表現の社会人基礎力に与える可能性について—空間デザインのグループワーク活動を通して—	手嶋 尚人	東京家政大学研究紀要	53	100 中学校編「イメージ」を抽象で表現しよう	〃		991
ジェームズ・エルキンス教授講演報告書 実技系博士学位の現状—世界の潮流と芸術のリサーチに関する議論—	安藤 美奈 馬 美延 中村 重明 越川 倫明	東京芸術大学美術学部紀要	50	101 土ねんど大好き	〃		993
CGクリエイターのための人体模型コンテンツ開発	金 尚泰	図書館情報メディア研究	10-2	102 さがしてみつけてくっつけて 図工室のたからもの	〃		995
高校生への写真作品による鑑賞教育の試み—中山岩太《海のファンタジー》を題材として—	松實 輝彦	名古屋芸術大学研究紀要	34	103 感じて、つくろう 銭湯の記憶	〃		997
「遊び」を活かした美術教育実践の構想(2)—乾一雄の美術教育の構想にみられる「遊び」の原理と教育実践—	宇田 秀士	奈良教育大学紀要	62-1	中学校美術部による「アートの甲子園」開幕!	竹見洋一郎	〃	980
表現活動を意識した鑑賞に関する考察—「寸松庵色紙」の分析的鑑賞をとおして—	河合 保秀	〃	〃	学校PR スペシャルコミック&イラストが学べる学校 日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校/マンガ専門学校 日本マンガ塾	杉瀬 由希	〃	〃
大学以前における写真活動の現況	秋本貴美子	日本大学芸術学部紀要	58	芸術教育の研究—感性豊かな人間形成につながる芸術教育と発育の複合の試み—	齋藤健次郎 林香君 丸山純一	文星紀要	24
美術教育の発展は国民的な課題	武居 利史	美術運動	140	教室レポート 多様な資料から鍛える歴史的思考力と郷土学習	中村 修	歴史と地理	670
ネパール「ナルリコット村の子ども達と絵を描く旅」	京尾ひろみ	〃	〃	教育の現場から 教員養成から見える美術教育の現在	大嶋 彰	連盟ニュース	445
子どもと美術		美術手帖		異分野からみた美術教育 シリーズ第3回 「目と眼」	崎本 卓	〃	446
92 中学校編 行きたくなる美術館をつくらう!後編	多田 智美 坂本 美幸		977	どうする? 子どもと芸術を楽しむ お膳立てせず自由に作る 彫刻、触って感じて	山田 佳奈	朝 日	11.9
93 中学校編 「自分の今」を立体で表す	柘植 響		979	創造性を育む美術教育とは「えっ?『授業』の展覧会」	大西 若人	朝日夕刊	10.9
94 ロボットオペラ	伊部 玉紀		980	ぶら〜りキャンパス 研究編 女子美術大学 アートプロデュース 表現と鑑賞の橋渡し	杉戸 祐子	東 京	5.13
95 おさんぽわくわく	〃		982	高校美術 見せる教科書 心育む授業 役割見直す 漫画やデザイン題材に 大きなカラーで図鑑風	田村 広済	日 経	10.5
96 カガミ・ワタシ つながるセカイ	〃		984	京都工織大 世界に挑む 建築・デザインで一点突破 学部生減らし院拡充 京都の資産生かす	古山 正雄	〃	10.14
97 スペシャルな絵の具でかく	〃		985				
98 はだしになって布と仲良くなろう!	〃		987				

育休期間に親子でアート 凸版、社員向けワークショップ 会社と接点 悩みを共有				日経夕刊	4.24
美術離れ 食い止めたい 武蔵野美大 公立小中に出張授業	水戸	健一	毎	日	7.15
就活最前線 芸大生はやっぱり収入二の次作家志望 就職は1割以下 「企業の側から」 支援十分でなく	菅澤	百恵	毎日夕刊		12.6

古 美 術							
総 記							
中国	敦煌莫高窟第217窟の開削と改修をめぐる歴史—漢語史料から見た寄進者と改修者—	菊池 淑子	〃	〃			
美の美 関西数寄者の眼 中	日本の文人画における诗情表現の研究—日中関係を中心に—	小林 優子	〃	〃			
日本	資料紹介 郎世寧の「群芳百喜図」をめぐる 絹本・設色・絵巻(660×52.3cm) 個人蔵	王 凱	国学院雑誌				1277
特輯 日欧美術交流研究余録 ジェームズ1世と徳川家康・秀忠との献上物交換—英国史上初のアート・オークション	伝魯治筆 草花蝶図	板倉 聖哲	国 華				1410
美術館案内 Vol.9 岡田美術館 箱根小涌谷に誕生する本格的な美術館	特輯 ファインバーグ・コレクション 池大雅筆 蘇東坡孟嘉図屏風	辻 惟雄	〃				1411
スペシャル対談 細川護光×近衛忠大 千年つづく旧家の次期当主が語る歴史と美	玉潤「瀟湘八景図」の詩画と印章の研究	衣田中 訳	〃				1412
美の美 関西数寄者の眼 下	江戸後期の「展観録」と「款録」にみる中国書画	杉本 欣久	古文化研究				12
絵 画	呂曉著《髡髮絵画研究》による《報恩寺図》に関する新知見	宮崎 法子	実践女子大学美学美術史学				27
中国	呂曉「《報恩寺図》の真偽に関する考察」(抄訳)	宮崎 法子	〃	〃			
「偽」なるものの「射程」漢字文化圏の神仏とその周辺 神々の対峙—伝李公麟筆「九歌図」は何を訴えたか	アジア図像探検112、115、116 金闈幻想と五台山12、15、16	杉原たく哉	書 道 界				282、285、286
特別陳列「橋本コレクション 中国絵画」記念シンポジウム「コレクター橋本末吉が拓いた地平」について	蔵出し 水墨画の逸品14 李成《喬松平遠図》	伊藤みのり	水 墨 画*				289
藍瑛「夏目喬松図」について—題賛と内容および表現形式の分析—	中国絵画論における「遊戯」小考	王 俊鈞	多摩美術研究				2
謝時臣筆「華山仙掌図」について—旅行文化と名勝山水図との関わりをめぐる一考察—	文微明《関山積雪図巻》(台北故宫博物院蔵)に関する一考察	都甲さやか	デアルテ				29
座談会記録	総合文化展見どころ案内2013年2月・3月ピックアップ! 新東洋館見どころ	塚本 鷹充	東京国立博物館ニュース				717
阿弥陀浄土美術成立の前史的研究—中国南北朝末～隋代を中心に—	「倭寇と倭寇図像をめぐる国際研究集会」報告		東京大学史料編纂所研究紀要				23
	『抗倭図巻』『倭寇図巻』と大内義長・大友義鎮	鹿毛 敏夫					
	『太平抗倭図』の芸術上の特徴	陳 履生					
	「倭寇と倭寇図像をめぐる国際研究集会」II 報告		〃	〃			
	戦勲と宦蹟—明代の戦争図像と官員の視覚文化—	馬 雅貞					



張鑑「文徵明画平倭図記」の基礎的考証および訳注—中国国家博物館所蔵『抗倭図巻』に見る胡宗憲と徐海?—	山崎 岳			静嘉堂文庫蔵漢語版本断片について	西脇 常記	文化史学	69
金字経の思想的系譜—中国六朝期から日本平安期まで—	村田 みお	東方学報 京都	88	宋代米芾「真跡三帖」における乾隆帝印	王 白井 訳 崇 齊 進	MUSEUM	642
7、8世紀の仏教美術に見る唐と日本、新羅の関係の一断面	肥田 路美	日本史研究	615	孫億とその花鳥画について—東アジア絵画史の観点から—	黄 植松 訳 立 芸 瑞 希	大和文華	125
仏教美術受容史論の現在—肥田路美氏の報告を聴いて—	皿井 舞	"	"	敦煌石窟における劉薩河因縁變の台頭とその背景について	田 林 啓	"	"
研究ノート 漢代における龍のイメージと神格化	周 正律	東アジア文化交渉研究	6	美博ピックアップ描かれた都 開封・杭州・京都・江戸 大倉集古館	渡 辺 鮎 美	朝日夕刊	10.23
空間論理と視覚意味(上)—宋遼金墓「婦人啓門」図新論—	李 西林 訳 清 泉 孝 浩	美術研究	410	美の履歴書 327 なぜしわくちやなのか「山陰道上図巻」呉琳	大 西 若 人	"	"
平成24年度西支部例会 文徵明《石湖清勝図巻》(1532)について—呉派文人画における名勝図の様相—	都 甲 さ や か	美術史	174	ぎやらりいモール 大倉集古館「描かれた都—開封・杭州・京都・江戸」から「清明上河図」(部分)	田 中 知 佐 子	読売夕刊	11.12
日 本							
南宋時代の水陸画に関する復元的考察—個人蔵「諸尊降臨図」と知恩院蔵「羅漢集會図」を中心に—	高 志 緑	"	175	愛知県美術館所蔵木村定三コレクション 不動明王立像胎内納入如来形画像断片について	大 原 嘉 豊	愛知県美術館研究紀要	19 木村定三コレクション 編
淮北地域出土漢代画像石に見る禹図像の変容とその背景	友 田 真 理	"	"	如来画像断片及び再興文書の修理をとおして	岡 泰 央	"	"
乾隆南巡と聖因寺貫休十六羅漢図	陳 階 晋	美術史論集	13	「偽」なるものの「射程」漢字文化圏の神仏とその周辺 第2章 コラム 愛王の曼荼羅—伝円珍請来(愛王騎獅像)をめぐる	小 川 豊 生	アジア遊学	161
論文要旨《博士》敦煌莫高窟北朝窟の研究	田 林 啓	"	"	歴史のなかの金・銀・銅 鉢山絵巻から見る佐渡金銀山	渡 部 浩 二	"	166
東アジアにおける蘭亭曲水宴図像の展開	板 倉 聖 哲	美術史論叢	29	研究ノート 大岡雲峰《日金山富嶽眺望図》について—関東南画の一系譜—	福 士 雄 也	アマリリス	111
連載 日本美術のススメ 今月の逸品 「樹下美人図」	矢 代 勝 也	美術の窓	361	眼の極楽7~9	榊 原 悟	アルカディア	56~58
「清明上河図」	田 中 知 佐 子		363	不動明王四童子像の一事例—飯田市・光明寺所蔵本の紹介—	織 田 顕 行	飯田市美術館研究紀要	23
Loeil 美は語る18 中国奇想派 中国における文人画から奇想派の誕生へ	塚 本 鷹 充	美術の窓	361	所蔵品紹介233 四季耕作図(左隻 春から夏の景)久岡守景		石川県立美術館だより	354
相国寺承天閣美術館名品紹介 謝時臣筆《山水図》研究	河 野 道 房	美術フォーラム21	28	近代日本画の構図決定格子(15)~(18)	金 子 一 夫	一 寸	53~56
花の美、石の美、庭園の美展によせて 愛石文化と奇石図—中国から日本へ—	植 松 瑞 希	美のたより	181				
海を越える美術展によせて 沈銓「秋溪群馬図」の空間表現	"	"	183				

平成25年定期刊行物所載文献(古/絵画)

銅版画と浮世絵(2) 田善維稿 銅・石版 画遺聞48	森 登 一 寸	53	作品研究 歌舞伎・ 浄瑠璃の絵画資料二 題	武井 協三	〃	〃
「楷字帖」の田善「小 型江戸名所風景図」 から 銅・石版画遺 聞49	〃	〃	資料紹介	〃	〃	〃
「芸海余波」から(1)、 (2)	〃	〃	1 色摺役者団扇 絵集	倉橋 正恵		
		55、56	2 天明期の春画 大小貼込帖	浅野 秀剛		
表紙図版解説 三津 浜図[田能村竹田]	出光佐千子	出光美術 館館報	162	海外事情 最近の欧 文による浮世絵研究 文献 連載11	及川 茂	〃 〃
「合戦図屏風」展にち なんで	宗像 晋作	〃	165	美術館紹介 今治市 大三島美術館の浮世 絵コレクションにつ いて	竹原 明理	〃 〃
狩野光信への“酷評” 再確認	黒田 泰三	出光美術 館研究紀 要	18	所蔵品紹介 宮本武 蔵筆紅梅鳩図の修理 と筆者問題について	三宅 秀和	永青文庫 81
出光美術館所蔵「祇 園祭礼図屏風」の研 究	廣海 伸彦	〃	〃	研究の散歩道 さま ざまな松葉蘭—『松 葉蘭譜』に見る	田中 実穂	江戸東京 博物館 NEWS 82
遊里表現における演 劇性と現実性—出光 コレクションの「邸 内遊楽図屏風」の紹 介	出光佐千子	〃	〃	牛頭山弘福寺に伝わ る兆漢元明(明兆漢) の仏画二題—「白衣 観音文殊普賢三尊 図」と「五百羅漢図」 —	藤元 裕二	黄檗文華 132
高橋草坪の山水画— 明清画受容の一様相	宗像 晋作	〃	〃			
続歌と短冊	別府 節子	〃	〃			
内藤業昌・渡辺崋山 ・椿椿山、近世末の 肖像画の考察	原田 知武	茨城県立 歴史館報	40	当館所蔵「黒田如水 画像」・「黒田長政画 像」の彩色材料に関 する科学的調査	石川 優生 平尾 良光 三重野祥文	大分県立 歴史博 物館研 究紀要 14
テーマ展 盛岡藩絵 師 川口月嶺のまな ざし	齋藤 里香	岩手県立 博物館だ より	138	平成22年度大阪城天 守閣新収蔵資料紹介 [島左近画像]	北川 央	大阪城天 守閣紀要 40
東寺・西院曼荼羅胎 藏界の図像的特色	真鍋 俊照	印度学仏 教学研究	129	田村直翁筆「架鷹図 押絵貼付屏風」(大阪 市立美術館蔵)につ いて	知念 理	大阪市立 美術館紀 要 13
始頭本尊の讀文と開 ・本両抄	桑名 法晃	〃	131	研究ノート 個人蔵 伝依屋宗達筆《扇面 散貼付屏風》につ いて	大竹 悦子	〃 〃
「五趣生死輪図」板木 について	興津 香織	〃	〃			
上方浮世絵における 「中判」の意義	北川 博子	浮世絵芸 術	165			
『彩色画選』と松寿堂	鈴木 淳	〃	〃	平成23年度博士論文 (課程)要旨 池玉瀾 研究	木下 京子	大阪大学 大学院文 学研究科 紀要 53
版本挿絵から浮世絵 まで越境する(膝栗 毛もの)の画題につ いて—「狐と思ひ責 める」図様を端緒に	康 志賢	〃	〃	資料紹介 十二卿寄 合書画軸について— 江戸時代の公家の作 画—	岩佐 伸一	大阪歴史 博物館研 究紀要 11
浮世絵に描かれた 「丑の刻参り」に関 する—考察—教訓書 から春画まで	鈴木 堅弘	〃	〃	学芸員のノートから	寺島 典人	大津歴博 だより
研究ノート「東洲斎」 の読みについて	岩田 秀行	〃	〃	緑色(緑青)の退色 からわかる、お軸 の重要度の違い		89
明治の画譜『暁斎画 談』—近世絵本文化 からの連続と、新し い時代における展開	定村 来人	〃	166	お寺のお蔵は「謎 のタイムカプセル」 —西教寺のアイヌ 資料—		90

収蔵品紹介 200年前に開催された、故人を偲ぶ料な供養(興行?)	横谷賢一郎	"	"	光琳画業の研究—作品の「流通」および「伝来」の観点から—	野口 剛	"	"
作品紹介 岡崎市美術館所蔵の鶴田卓池作品について	浦野加穂子	岡崎市美術館研究紀要	5	絵巻における画中詞の研究—物語絵享受史への一視座として—	龍澤 彩	"	"
「老子図」のこと	守安 收	岡山県立美術館ニュース	101	藤原正吉の鷹図	四宮美帆子	"	"
岡山の練り供養 特別展「極楽へのいざない—練り供養をめぐる美術—」ただいま準備中	中田利枝子	"	"	田中訥言の古画研究—松平定信との関わりを中心に—	吉川 美穂	"	"
新収蔵品紹介 岡本豊彦と柴田是真	中村麻里子	"	103	16、17世紀の物語絵画における異主題間の図様往還について—源氏絵と伊勢絵を中心に—	廣海 伸彦	"	"
調査研究ノート vol.16 太助灯笼と歌川広重	御厨 義道	香川県立ミュージアムニュース	22	参詣曼荼羅における工房分類と圖像描写に関する調査研究	寺澤 慎吾	"	"
ゴータ・フリーデンシュタイン城美術館蔵画帖—明治政府よりエディンバラ公アルフレッドへの贈答品—	永島 水谷 明子 重希	学 叢	35	富士山宝永噴火を描いた絵図についての考察	古宮 雅明	神奈川県立博物館研究報告	39
作品紹介 彭城百川筆旧慈門院障壁画と雪竹図襖について	鬼原 俊枝	"	"	資料紹介 冷泉為恭筆 釈迦三尊像模本	梅沢 恵	"	40
研究随想「法然上人絵伝」雑感	若杉 準治	"	"	当館の御札・御守コレクションについて	新井 裕美	神奈川県立歴史博物館だより	194
『甕海魚譜』について	小浜亜由美	鹿児島大学総合研究博物館ニュース*	31	扇面画の美術交渉—日本・中国からフランスへ—	中谷 伸生	関西大学東西学術研究所紀要	46
渡辺崋山『毛武遊記』7	加藤 克己	崋山学報	30	平成24(2012)年度日本東洋美術史の調査研究報告		関西大学博物館紀要	19
田原市博物館収蔵品から 渡辺崋山筆『客坐掌記(天保九年)』8		"	"	耳鳥齋《武芸之図》(扇画面)	中谷 伸生		
山本友我の研究	五十嵐公一	鹿児島美術財団年報・別冊	30	橘保国筆《富士図》(個人蔵)	石田 智子		
細川林谷研究—旅と交友を中心に—	久保佐知恵	"	"	歌川国芳筆『国芳雑画集』異版本	中山 創太		
日本中世絵画における物語と景観—お伽草子絵巻の再検討を中心に—	上野 友愛	"	"	狩野永岳《山水図》	日並 彩乃		
「破来頓等絵巻」研究—「時宗絵画」及び中世物語絵巻としての文脈から—	中村 ひの	"	"	館蔵資料紹介 紙本墨画鷹図		岐阜市歴史博物館だより	85
鶴亭の画業に関する研究	石沢 俊	"	"	歌川豊春による浮絵の革新—その背景と意義に関する考察—	野村 文乃	京都美学美術史学	12
「白綾屏風」の復元的考察	小井川 理	"	"	作品紹介 泉涌寺蔵「絹本着色後陽成院像」について	筒井 忠仁	"	"
				文久2年幕府遣欧使節団に随行した絵師原鵬雲をめぐる	江川 佳秀	近代画説	22

平成25年定期刊行物所載文献(古ノ絵画)

永青文庫所蔵《調馬図屏風》についての一考察—作品の紹介および「騎馬図巻」との関係—	金子 岳史	熊本県立美術館研究紀要	13	初期洋風画と「絵画と印刷のセミナー」オオ泰西王侯騎馬図屏風などの制作年代・環境をめぐる試論	塚原 晃	神戸市立博物館研究紀要	29
研究小話 実景と理想郷のはざまにあるもの—立原杏所の真景図(上)、(下)	野田 麻美	群馬の森美術館ニュース	153、154	研究ノート 文献資料と落款・印章から考える広渡湖秀	石沢 俊	〃	〃
作品ひとつ[狩野探幽筆山水図(江天暮雪図)]	〃	〃	155	秋田蘭画における彩色表現の特質—佐竹曙山筆「岩に牡丹図」と小田野直武筆「獅子図」の検証から—	勝盛 典子 朽津 信明	〃	〃
日本の絵画における遊漁表現『大日本魚類画集』の解釈について	諏訪 智美	芸術学研究(筑波)	18	新収蔵品から 戸田忠翰筆 立葵に鶏白頭翁図		神戸市立博物館だより	103
大特集 よみがえるスーパー禅僧白隠		芸術新潮	757	能から物語草子へ—《玉井》と『かみよ物語』絵巻—	小林 健次	国学院雑誌	1279
生きている白隠と対峙せよ!	山下 裕二			笠寺観音縁起の展開	徳田 和夫	〃	〃
わしの話を開け! スーパー禅僧のメッセージを読みほんどく	芳澤 勝弘			秋里籬島『源平盛衰記図会』—軍記物語「読本」化の一過程—	大高 洋司	〃	〃
山下裕二の Talk about Hakuin 2 ぼく、辻先生の授業で白隠の名を知りました。	山下 辻 裕二 惟雄			『是害房絵』諸本の展開	久留島 元	国語国文	946
世界文化遺産登録記念 大特集 富士山その絵画と信仰 富士画1000年史 絵画篇	福士 雄也	〃	765	曇華院藏『なよ竹物語絵巻』について—住吉如慶・後西天皇・曇華院門跡大成尼をめぐる—	伊東 祐子	〃	〃
前篇 誕生から爆発前夜まで				「見立て」追考	岩田 秀行	国語と国文学	1073
後篇 百花繚乱フジざかり				『役者絵づくし』の研究—諸本紹介・成立年代考証・象眼—	武井 協三	国文学研究資料館研究紀要 文学研究篇	39
大特集 大英博物館「春画」展がスゴイ!		〃	768	和田酒盛譚考—『曾我物語』・舞の本・古浄瑠璃正本の挿絵をめぐる—	宮腰 直人	〃	〃
Mr. クラークが案内する春画300年史	ティモシー・クラーク			フリーア美術館 ゲルハルト・ブルヴェラー—日本絵本コレクション目録稿	浅野 秀剛 ロバート・キャンベル ティモシー・クラーク 佐藤 悟 鈴木 惇	国文学研究資料館調査研究報告	33
Shunga展のつくり方1 「展覧会への反対は一度もなかった。NGは子供と性暴力」	アンドリュース・ガーストル 矢野 明子			解説 ブルヴェラー絵本コレクションと調査データ	鈴木 淳	〃	〃
「出会いが歌麿の春本でした」ミカエル・フォーニツ氏に聞くコレクションの流儀	ミカエル・フォーニツ			歌舞伎の見得と風流	赤間 亮	国文学論考	49
Shunga 展のつくり方2 原点はデータベース化 京都から春画を発信する	早川 聞多 石上 阿希			今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から当南身延妙利益歌舞伎の辻番付草稿	伊藤 りさ	国立国会図書館月報	624
Shunga 展観覧記 春画のある風景	木下 直之			新たな貴重書のご紹介 第47回貴重書等指定委員会報告	貴重書等指定委員会	〃	630

準貴重書 来禽図 彙				狩野山楽筆「帝鑑図 押絵貼屏風」(東京国 立博物館)の研究	野田 麻美	〃	1410
準貴重書 絵本百 千鳥				古源邵元賛 弁才天 図	島尾 新	〃	〃
狂言の絵画資料の考 察—国立能楽堂収蔵 品を中心に	藤岡 道子	国立能楽 堂調査研 究	7	福田半香筆 桃源仙 境図屏風	横尾 拓真	〃	〃
みちのくの能・狂言	青柳有利子 内田 英亮 木村信太郎 能勢 和子 深澤 希望	〃	〃	特輯 ファインバー グ・コレクション		〃	1411
覚書 東大寺献物帳 (18)、(19)—正倉院 宝物の原簿—	米田 雄介	古代文化	591、592	「ファインバーグ ・コレクション」 特輯に当つて	小林 忠		
古代の作画事業と画 工司—大仏殿廂絵作 画の画工編成から—	風間亜紀子	〃	592	依屋宗達筆 虎図	鎌田 純子		
「石見銀山絵巻」上野 家本について(2)— 石見銀山絵巻は佐渡 金銀山絵巻を参考に 成立した—	鳥谷 芳雄	古代文化 研究	21	酒井抱一筆 十二 か月花鳥図	河野 元昭		
「熊野観心十界曼荼 羅」を読み直す—熊 野修験の視点から—	加藤みち子	国 華	1408	鈴木其一筆 松島 図小襖	松島 知子		
四天王寺所蔵 二幅 本聖徳太子絵伝	村松加奈子	〃	〃	与謝蕪村筆 竹齋 訪隠図屏風	ユキオ・リ ビット		
曾我蕭白筆 草子洗 小町図屏風	伊藤 紫織	〃	〃	紀椋亭筆 鹿図	松嶋 雅人		
研究資料 伊藤若冲 の年齢加算について	岡田 秀之	〃	〃	浦上玉堂筆 千山 万翠図	小林 忠		
特輯 文人画と南画 花鳥画篇		〃	1409	山本梅逸筆 嵐山 高雄図屏風	マシュー・ フィリップ ・マッケル ウェイ		
「文人画と南画 花鳥画篇」特輯に 当つて	河野 元昭			歌川豊春筆 邸内 婦女遊楽図	内藤 正人		
日本文人花鳥画序 説	〃			葛飾北斎筆 源頼 政鸚退治図	源頼 浅野 秀剛		
図版2 柳澤洪園 筆 蘭花果実図	〃			源氏物語図屏風	佐野みどり	〃	1412
図版3 彭城百川 筆 草花図腰障子 絵(旧慈門院障壁 画のうち)	鬼原 俊枝			木米筆 後赤壁図扇 面	河野 元昭	〃	〃
図版4 池大雅筆 月下白梅図	小林 忠			細川林谷筆 山水画 巻	久保佐知恵	〃	〃
図版5 田能村竹 田筆 翰墨隨身帖	高橋 博巳			瀧上寺来迎図再考	中村 興二	〃	1413
図版6 山本梅逸 筆 四季草花図屏 風	星野 鈴			木米筆 嵐山行楽図	河野 元昭	〃	〃
図版7 立原杏所 筆 牡丹図	小川 知二			研究余録 国宝伝源 頼朝像雑感	有賀 祥隆	〃	〃
図版8 渡辺峯山 筆 鸚鵡捉魚図	佐藤 康宏			出光美術館所蔵「江 戸名所図屏風」の作 画期について	中野 晶子	〃	1414
				池田孤邨筆・酒井抱 一賛 隅田川遠望図	小澤 弘	〃	〃
				溪斎英泉筆 月下美 人図	山本ゆかり	〃	〃
				写楽役者版下絵の検 討	浅野 秀剛	〃	1416
				富川長春筆 見立業 平東下り図	河野 元昭	〃	〃
				横山華山の画業展開 に関する一考察—「祇園 祭礼図巻」をめぐっ て—	八反裕太郎	〃	1417

平成25年定期刊行物所載文献(古／絵画)

千手観音二十八部衆画像	関口 正之	国 華	1417	智証大師画像にみる着衣の表現について	宮尾 素子	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要	29
立原杏所筆 向崗花甸図屏風	野田 麻美	" "	" "				
周文筆「花鳥図屏風」の成立とその時代	中島 純司	" "	1418	当館所蔵本『絵本江戸土産』の伝来について	大石 沙織	静岡県東海道広重美術館年報	H23年度
胎蔵界曼荼羅図	関口 正之	" "	" "				
池大雅筆 翠嶂懸泉図	福士 雄也	" "	" "	当館所蔵本「木曾街道続ノ巻 日本橋雪之曙」(初摺)について	"	"	"
研究余禄 尾形光琳の美人画	河野 元昭	" "	" "	「御上洛東海道」(55枚版)目録について	"	"	H24年度
逸品紹介 円山応挙筆 墨竹図	小林 忠	国華清話会会報	21				
逸品紹介 栄隆筆 円窓美人図	山本ゆかり	" "	" "	なぜ、人麻呂は「おじいさん」なの？	川西 由里	島根県立石見美術館ニューズレター	17
画のなかの文字(5)一「渡唐天神図」玉座受環賛	島尾 新	" "	" "	新規購入資料紹介 紙本著色尼子晴久画像	佐伯 徳哉	島根県立古代出雲歴史博物館 NEWS	27
逸品紹介 鈴木春信筆 茶席美人図	山本ゆかり	" "	22	口絵裏解説 重要文化財 狩野内膳「豊国祭礼図屏風」京都・豊国神社蔵	廣海 伸彦	紫 明	32
資料紹介 大東急記念文庫蔵[十二ヶ月風俗絵巻]	島野 順子	五島美術館研究紀要	1	特集「祭り」寛永期の江戸の祭礼図に思うこと	小澤 弘	" "	" "
館蔵品研究 紀鎮「春苑遊狗図」統論	竹浪 遠	古文化研究	12				
日本古文書学会 第45回学術大会要旨「春日権現験記」詞書生成と集場の場一貞慶関係抄物を中心として一	坪内 綾子	古文書研究	75	口絵裏解説 長谷川等伯《松に鴉・柳に白鷺図屏風》 出光美術館蔵	黒田 泰三	" "	33
絵馬に見る伊勢参宮	大久根 茂	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	7	第32回 史学会大会特別講演会記録 錦絵のなかの民間信仰一鯉絵の世界一	富澤 達三	史 友	45
歴史のしおり 戊辰戦争時における江戸っ子の心情や立場を今に伝える錦絵	加藤 光男	埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	22	特集 白隠		聚 美	6
嵐山町宝薬寺の算額について	高柳 茂	埼玉史談	314	白隠禅画の表現一宗教的メッセージの伝達方法一	芳澤 勝弘		
増上寺蔵・一信筆「五百羅漢図」との出会いと、その後	河合 正朝	採 蓮*	16	変革者白隠一自己表現としての素朴を築いた巨人一	矢島 新		
流光斎肉筆役者絵『狂言尽図巻』考	北川 博子	" "	" "	吹米からみた白隠禅画	ヤン・クレメンス・ベッカー		
田中抱二の「画史」一酒井抱一の晩年の弟子が伝えたもの一	松尾 知子	" "	" "	聚美名宝鑑 司馬江漢「五位鷲図」	金子 信久	" "	" "
「歌舞伎座新開場記念展 歌舞伎一江戸の芝居小屋一」開催	池田 英美	サントリ一美術館ニュース	243	呉春「大黒天自画賛」	高野弥和子	" "	" "
生誕250周年 谷文晁 文晁の魅力に接近	河野 元昭	" "	245	調査報告 長沢芦雪筆「紅葉に熊図」他	岡田 秀之	" "	" "
				聚美名宝鑑 依屋宗達筆「伊勢物語色紙関守」	河野 元昭	" "	7
				聚美春題 ニッポンは遠きにありて思うもの	千足 伸行	" "	" "
				特集 依屋宗達		" "	" "

宗達の眼と魔術— 和歌巻から大画面 障屏画への道程—	玉蟲 敏子			宍粟市御形神社と西 光寺の中世絵画	橋村 愛子	”	”
依屋の扇絵—旧原 家本「扇面散屏風」 を見る—	本田 光子			墨への憧憬		水墨画*	
依屋宗達と仙仏奇 踪	五十嵐公一			浦上玉堂《凍雲篩 雪図》	松嶋 雅人		286
伊年印草花図の展 開と意味—依屋絵 と京都壇—	野口 剛			木村兼葭堂《桃花 図》	石沢 俊		287
聚美滴滴 第6～8 回 宗達経験	杉本秀太郎	”	7～9	森狙仙《雨仲桜五 匹猿図》	堀家 広子		288
展覧会紹介 特別展 覧会 狩野山楽・山 雪—京都の狩野派は 濃い。	山下 善也	”	7	伊藤若冲《鯉魚図》	樋口 智之		289
呉春拾遺 呉春の器 用な芸術	冷泉 為人	”	”	依屋宗達《虎図》 『ファインバーグ ・コレクション展 江戸絵画の奇跡』 より	我妻 直美		290
聚美名宝鑑Ⅰ 葛飾 北斎「鯉と亀図」	小林 忠	”	8	可翁《竹雀図》 『特別企画展 水 墨画名品展』より	古川 攝一		293
聚美名宝鑑Ⅱ 酒井 抱一「瀟湘八景図」	松島 仁	”	”	長谷川等伯《松林 図屏風》 東京国 立博物館国宝室1 月の展示より	松嶋 雅人		297
新出の菱川師宣画 「雑画組物」	浅野 秀剛	”	”	河野元昭が選ぶ水墨 画50選	河野 元昭	”	
特集 素朴絵の魅力		”	9	武人の理念と絵画 の魔力のはざままで 宮本二天《鶴図》			286
素朴絵 その系譜 と魅力	矢島 新			墨の滲みと量して 懐かしき江戸へタ イムスリップ 谷 文晁《隅田川図》			287
絵入本「かるかや」 その素朴美の源泉 をめぐって	相澤 正彦			詩の面影と画のフ ォルムが相まった 世界 祇園南海 《墨竹図》			288
蕪村の俳画 草画 小論	星野 鈴			絵画の自立を求め て止まぬ画家魂を もつ文人画家 彭 城百川《梅図屏風》			289
白隠八十代の禅画 禅的メッセージへ の共感	浅井 京子			銀地の大画面に放 射する微光感覚 与謝蕪村《山水図 屏風》			290
新連載 画賛の楽し み 第1回 芭蕉夜 雨図	芳澤 勝弘	”	”	自然を大切にした 大雅胸底の丘壑図 池大雅《青松白帆 図》			291
『国家珍宝帳』に見 える屏風の成立につ いて	米田 雄介	正倉院紀 要	35	介石の心中より湧 出した真山水図 野呂介石《那智三 瀑図》			292
失われた法隆寺壁画 の再現研究(続編5 ～8)	松田 真平	聖 徳	215～218	山水図こそ玉洲芸 術の真髄 桑山玉 洲《秋景山水図》			293
緒方洪庵画像(表紙 ・解説)	(A)	除痘館記 念資料室 だより	5	微蕪に染まる玉堂 独壇場の絵画世界 浦上玉堂《山紅於 染図》			294
所謂『文安御即位調 度図』の祖本をめぐ って	石田 実洋	書陵部紀 要	64				
研究ノート 上北沢 牡丹屋敷凝香園につ いて	武田庸二郎	資料館だ より	58				
桑名・伊藤家資料か ら分かる絵師たちの 諸事情	五十嵐公一	塵 界	24				

師蕪村の特質を継承した微光感覚の代表作 呉春《山水図屏風》				295	絵巻『かみよ物語』の成立をめぐる一謡曲『玉井』との影響関係を中心に一	金 英珠	〃	〃
朝の光の輝きと滔々たる宇治川の流れとの二重写し 青木木米《兎道朝激図》				296	白隠 衆生本来仏なり		太陽(別冊)	203
中国文人士大夫の系譜に連なる文人画 田能村竹田《暗香疎影図》				297	白隠禅画傑作選第1章 白隠禅画、その空前絶後のど迫力	山下 裕二		
蔵出し 水墨画の逸品		水墨画*			白隠の自画像	矢島 新		
11 雪村周継《四季山水図屏風》	菅野 洋人			286	白隠禅画傑作選第2章 白隠禅画を読み解く	芳澤 勝弘		
12 宮本武蔵《紅梅鳩図》	三宅 秀和			287	白隠の弟子たち	瀧瀬 尚純		
18 伊藤若冲《雷神図》	伊藤 紫織			293	大名庭園 武家の美意識ここにあり 大名庭園の絵師たち	平林 彰	〃	204
19 仙厓《指月布袋画賛》	八波 浩一			294	円山応挙 日本絵画の破壊と創造 応挙のしたこと	金子 信久	〃	205
21 雪舟《四季山水図(山水長巻)》	柴原 直樹			296	円山応挙 日本絵画の破壊と創造 応挙画の風景		〃	〃
22 円山応挙《雪松図屏風》	樋口 一貴			297	「金刀比羅宮」	内山 淳一		
中特集 生誕250年 谷文晁 多様な画風、多彩な人脈、その人物像に迫る	池田 芙美愛 上野 友愛	〃		292	「大乘寺」	樋口 一貴		
熊野観心十界曼荼羅とそのルーツ(IX)一階層的クラスター分析による穀屋寺甲本の位置づけ一	宮川 充司	梶山女学園大学研究論集		44	円山応挙 日本絵画の破壊と創造 応挙年代記		〃	〃
室町期における尊氏甲冑像の受容と肖像画制作—「大内義興像」(京都府立総合資料館所蔵京都文化博物館管理)の紹介を兼ねて—	森 道彦	朱 雀		25	応挙出現前夜	五十嵐公一		
近世期における祇園会神輿駕輿丁の変化—洛中洛外図屏風諸本を手がかりに—	西山 剛	〃	〃	〃	生誕から尾張屋時代まで	金子 信久		
12月例会シンポジウム(解釈)される経典・経文—その動態と創造性—経から絵巻へ—経説絵巻の詞と絵	山本 聡美	説話文学研究		48	作品研究 淀川両岸図巻	〃		
異本『病草紙』の展開	吉橋さやか	〃	〃	〃	絵画の可能性の追求、実験的作明和の頃	内山 淳一		
『義経地獄破り』における語りの構造—「修験者」の物語と教化の言説を中心にして	宮腰 直人	〃	〃	〃	作品研究 雲龍図屏風	〃		
					スタイルの確立と円熟 安永の頃	樋口 一貴		
					作品研究 藤花図屏風	〃		
					五十代から晩年まで 天明・寛政の頃	五十嵐公一		
					応挙年代記 作品研究 保津川図屏風	〃		
					円山応挙 日本絵画の破壊と創造 作品を解剖する		〃	〃
					人物	加藤 弘子		
					虎	音 ゆみ子		
					子犬	〃		



動物	内山 淳一				資料紹介「別業縮地」 —土浦藩江戸屋敷を 描いた画卷	木塚久仁子 木村 利栄	土浦市立 博物館紀 要	23
鯉	〃							
波濤と瀑布	〃							
気象	金子 信久				鈴木其一《亀田鵬斎 像》(亀田家蔵)につ いて—芸大美術館蔵 《亀田鵬斎像》(東洋 画真蹟622)と関連し て	竹林 佐恵	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H23年度
水墨画のニュータ イプ	〃							
写生	加藤 弘子							
筆技	安永 拓世				特集陳列 平成24年 度新収品		東京国立 博物館ニ ュース	719
仏教・儒学とのか かわり	〃				葡萄牙	救仁郷秀明		
文芸とのかかわり	〃							
円山応挙 日本絵画 の破壊と創造 すべ ては「応挙現象」	金子 信久	〃	205		特集陳列 平成24 年度新収品 通俗 水滸伝豪傑百八人 の一個・九紋龍史 進、跳澗虎陳達	田沢 裕賀		
伊勢神宮 悠久の歴史 と祭り	〃	〃	208		総合文化展見どころ 案内		〃	
伊勢新名所絵歌合 —伊勢の景趣をめ ぐる試み	岡野 智子				2013年6月・7月 本館 日本に出会 う 誰もが知って いる“あの”有名絵 巻の断簡 鳥獣人 物戯画断簡	土屋 貴裕		719
絵図による伊勢参 り『伊勢参宮名所 図会』	石井 正己							
浮世絵に描かれた お伊勢参り	日野原健司				2013年8月・9月 本館 日本に出会 う 人気絵師をシ リーズで紹介 重 美 見立菊慈童	田沢 裕賀		720
「時宗美術」論—礼拝 像としての高僧表象 をめぐって—	中村 ひの	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度					
放鷹の絵画化をめぐ る基礎的研究—『鷹 書』との関わりを中 心に—	水野 裕史	〃	〃		2013年10月・11月 風流大名の宝箱が 東京都指定有形文 化財になりました 虫考帖 増山雪齋 筆	〃		721
椿椿山「十二支図帖」 について—「常長」時 代作品の発掘	増山 禎之	田原市博 物館研究 紀要	6		2013年10月・11月 法隆寺宝物館 宝 物に浸る 現存最 古の聖徳太子絵伝 国宝 聖徳太子絵 伝	沖松健次郎		〃
《桜狩遊楽図屏風》の 主題について—性差 表現の分析から—	大野 玲	多摩美術 研究	2					
画題のおはなし 待 合掛を楽しむために 1～12月の画題	宮崎 もも	淡 交	825～833、 835～837		2013年12月・2014 年1月 本館 日 本に出会う 北齋 がめでたい初夢届 けます 宝船の七 福神 葛飾北斎筆	田沢 裕賀		722
形物香合番付の成立 を探る—新発見の資 料から	神崎かず子	〃	827					
今月の表紙「湯木美 術館の名品」より 佐竹本三十六歌仙絵 在原業平 伝藤原信 実画 伝藤原良経筆	倉林 重幸	〃	828		東大寺小考—山房、 盧舎那仏の着衣と光 背をめぐって—	松木 裕美	東京女学 館大学紀 要	10
特別読物 仙厓—対 話する禅画—	中山喜一郎	〃	833		研究報告 地震絵巻 に見る時空間表現と 視覚効果—「江戸大 地震之図」と「安政大 地震災禍図巻」の比 較—	植野かおり	東京大学 史料編纂 所研究紀 要	23
続・ほうがい余話 芳崖さんの師 1 父 ・狩野晴阜	関根 佳織	潮 流	113					
魚吹八幡神社蔵「八 幡縁起」—影印・翻 刻—	木村 朗子	津田塾大 学紀要	45		史料紹介と研究		東大画像 史料解析 センター 通信*	

平成25年定期刊行物所載文献(古/絵画)

海の見える杜美術館所蔵「鞍馬寺縁起絵」模本について	藤原 重雄		62	(5)一新潟県内の事例について2—				
肩衣袴姿の加藤清正画像について—新出画像の紹介と考察—	鳥津 亮二		63	(6)—酒造図絵馬の描かれ方—	資料紹介 龍津寺所蔵「十界之図」の紹介	大高 康正	日本文化史研究	44
齋藤月岑の「武江扁額縮図」をめぐる—東北大学附属図書館狩野亨吉文庫「大江戸絵馬集」を中心に—	小澤 弘	東京都江戸東京博物館紀要	3	口絵 法隆寺金堂阿弥陀如来像内納品(造像勸進の摺札・摺仏)		川瀬 由照	日本歴史	787
資料紹介 伊賀守金道の祝詞の掛け軸	猪野 隆守	刀剣美術	673	特集 春日信仰の絵画と史料			此 君*	4
聖徳太子信仰と三國仏教史観(下)—一幅本三國菩薩・高僧・先徳・太子連坐像の成立構想に即して—	早島 有毅	同朋大学仏教文化研究紀要	32	法隆寺所蔵春日宮曼荼羅考 春日宮曼荼羅の図様展開に関する試論		白原由起子		
椿椿山『足利遊記』翻刻と解題	山田 烈	東北芸術工科大学紀要	20	春日宮曼荼羅と社頭景観の史料		松村和歌子		
2012年度 東北文化公開講演会 表象としての身体—死の文化の諸相 講演4 死絵における死のイメージ	山田 慎也	東北文化研究室紀要	54	主な新収蔵資料の紹介			馬事文化財団年報	34
学芸員ノート 渡辺華山筆「白鷺游魚図」と「秋卉雙鷺図」のこと	小野 恵	遠山記念館だより	46	洛中洛外図屏風 6曲1双				
『松平大和守日記』にみる絵画活動	瀬戸口智恵	栃木県立博物館研究紀要	30	宇治川合戦図屏風 6曲1隻				
高玄岱自筆卷子本『心田菴記』について	若木 太一	長崎歴史文化博物館研究紀要	7	広重「東海道五十三次之内 岡崎」1点				
木下逸雲年譜および来舶清人との交友	植松 有希	〃	〃	庶民の目線、絵師の視線—広重が描いた富士山—		福田 訓子	版画芸術	161
資料紹介 伊勢参宮図屏風	津田 卓子	名古屋市博物館研究紀要	36	研究ノート 流光斎の肉筆扇面をめぐる		北川 博子	阪急文化研究年報	2
当麻曼荼羅縁起絵巻—絵画構成に関する一考察—	池田 洋子	名古屋造形大学紀要	19	「玄装三藏絵」研究—玄装三藏像の2つの型及び典拠テキストの重層性		レイチェル・サンダース	B	I 6
展示品のみどころ 不空網索観音菩薩像	谷口 耕生	奈良国立博物館だより	86	レイチェル・サンダース氏発表に対するコメント		高岸 輝	B	I 6
「源氏物語かるた」考—源氏絵の簡略化・抽象化・象徴化—	塩出貴美子	奈良大学紀要	41	室町期鎌倉画壇における「牧谿様」の2種をめぐる		アーロン・M・リオ	〃	〃
大乗院門跡隆温の画業—新出資料《若松鶴図》の調査—	児島 大輔	奈良文化財研究所紀要	2013	アーロン・リオ氏発表に対するコメント		高橋 真作	〃	〃
酒造図絵馬の研究	野堀 正雄	新潟県立歴史博物館研究紀要	14	例会・研究発表会要旨			美 学	242
				西部会 第291回研究発表会(12月15日、京都工芸繊維大学)韃靼人図の初期的様相—行列を描く韃靼人図を手がかりに—		並木 誠士		

東支部 平成25年度 第1回美学会(6月1日、東京大学)高雄曼茶羅の金銀泥絵の技法をめぐって	吉村 稔子		243	菱川師宣の狩野派学習について—「雑画巻」を中心に—	阿美古理恵	美術史	174
東支部 平成25年度 第3回美学会例会(9月28日、北海道大学)松浦武二郎と天神在地縁起—「聖跡二十五靈社順拝双六」をめぐって	鈴木 幸人			平成24年度東支部例会			” ”
窪田統泰と桂林寺涅槃図	相澤 正彦	美学美術史論集	20	俵屋宗達の料紙装飾における季節表現—ベルリン本四季草花下絵和歌色紙・島山本四季草花下絵和歌巻を中心に—	小林 真結		
耳鳥斎の戯画と東アジアの美術交渉—文化交渉学研究の一つの方法試論—	中谷 伸生	東アジア文化交渉研究	6	後白河院政期の絵巻物制作における静賢の役割について	永井久美子		
歌川国芳の魚類画にみる「写生」と「写実」—東アジア美術と西洋美術との邂逅—	中山 創太	”	”	「絵師草紙」の制作環境—その図像的系譜と主題意図から—	中垣 千尋		
狩野探幽《雪中梅竹鳥図》における「折枝画」的性格について	石田 智子	”	”	平成24年度シンポジウム			” ”
資料紹介	高木 文恵	彦根城博物館だより		中世絵巻の詞書	名見耶 明		
泰安居士画像(井伊直政画像)当館蔵			100	やまと絵系山水屏風の虚実	泉 万里		
鷺図 佐竹永海筆当館蔵			104	中世絵巻の様式展開	高岸 輝		
研究余録 金亀玉鶴絵師・張月樵の画風	”	”	103	平成24年度西支部例会			” ”
平成24年度修了生論文要旨 伝狩野永徳筆「洛外名所遊楽図屏風」についての考察	飯島 千尋	美史研ジャーナル	9	〈信貴山縁起絵巻〉の様式的研究—空間表現及び時間表現に関する考察を中心に—	吉田 卓爾		
佛光寺本『善信聖人親鸞伝絵』の制作時期をめぐって	津田 徹英	美術研究	408	歌川国芳にみる運動表現と絵手本利用—《通俗水滸伝豪傑百八人之一個(一人)》の制作を巡って—	中山 創太		
研究資料		”		青蓮院蔵不動明王二童子画像の制作者について—南都由来の造形と外来様式の統合—	川野 憲一		
御絵鑑一元禄十三年板の画法書—	綿田 稔		408	細川林谷における旅と愛石	久保佐知恵	”	175
国立ギメ東洋美術館蔵 大政威徳天縁起絵巻—解題—	”		410	洋風画家安田雷洲の画業再考—住居・作品の原図・蘭学ネットワークと海防思想をめぐって—	内田 洸	”	”
国立ギメ東洋美術館蔵 大政威徳天縁起絵巻—詞書公刊ならびに影印(上)—	綿田 稔 土屋 貴裕 大月 千直 佐藤 直子		410	「明恵上人樹上坐禅像」に関する—考察—型と主題の再検討を中心に—	伊藤 久美	”	”
研究ノート 東京国立博物館所蔵 国宝本・虚空蔵菩薩像の表現	小林 達朗	”	409	東京国立博物館蔵孔雀明王像再考—異系統図様との統合を中心に—	京都 絵美	”	”

第66回全国大会研究 発表要旨	美術史	175	特集 基礎を完璧に する!人体デッサン 秘技法講座 VOL.27 円山応挙の人物表現 —その人体構造把握 の背景—	佐々木丞平	美術の窓	352
浮世絵師溪斎英泉 の美人大首絵—歌 川国貞との比較を 中心に—	松田美沙子		Loeil 美は語る		〃	〃
勝川春草筆《美人 鑑賞図》の制作背 景—先行図様と実 景を中心に—	村瀬 可奈		15 白隠 アーテ イスト・白隠を想 う	島尾 新		
国芳の「背面肖像」 における地獄表現 の解釈	平井 倫行		15 白隠 財界人 も魅了した白隠の 健康法	編集部		
曾我蕭白筆《寒山 拾得図屏風》につ いて—構図の対照 性と意味の重層性 に注目して—	江崎ゆかり		17 谷文晁 近代 と中世をつなぐ谷 文晁の視線	池田 芙美 上田 友愛		
冷泉為恭の大和絵 をめぐって	日並 彩乃		丹青閑話 第24、25、 27、28、31、32話	島尾 新	〃	355、356、 358、359、 362、363
金戒光明寺蔵地獄 極楽図屏風—その 基礎的問題につい て—	石川 温子		連載 日本美術のス スメ 今月の逸品		〃	
南市町自治会蔵春 日宮曼荼羅再考— 制作年代と制作背 景—	佐藤 章		円山応挙「水呑み の虎図」	下村 朝香		356
東京国立博物館の浜 松図屏風	泉 万里	美術史学	鈴木其一「群鶴図 屏風」(左隻)			357
敦煌莫高窟第285窟 南壁故事画の意味と その宗教的機能	李 銀廣	〃	愛染曼荼羅	白原由起子		359
紫式部図に描かれる 琵琶について—石山 寺所蔵の作品を中心 に—	遠藤 麻子	美術史研 究	伐折羅大将立像 (木造十二神将)	薩摩 雅登		360
宗達を検証する—宗 達の居住地、及び宗 達の社会的基盤につ いて—	林 進	美術史論 集	特集 表現する女性 たち PART 1 col- umn 近代以前の女 性画家 江戸の世で 絵筆をもった女性た ち		〃	361
法界寺阿弥陀堂荘嚴 画—飛天図の源流に ついての検証—	稲崎 清子	〃	浮世絵「まなざし」考	小林 忠	〃	363
論文要旨《博士》南都 系仏教絵画における 図像の再構成に関す る研究	古川 攝一	〃	資料紹介 古画愛好 の時代—狩野惟信 《徹宗筆水仙鶴図模 本》から見えてくる こと	福士 雄也	美術フォ ーラム21	27
伊藤若冲筆《石燈籠 図屏風》試論—描か れた場の想定を中心 に—	村田 梨沙	美術史論 叢	特集 ポスターの視 覚文化論 6 歌麿 筆「名取酒六家選」の レトリック—隠喩と 換喩	岸 文和	〃	〃
研究ノート 中世後 期絵巻の様式展開	高岸 輝	〃	資料紹介 中村芳中 「花卉図画帖」ともう ひとつの芳中画帖	福井 麻純	〃	28
白隠展 技を脱した、 超絶“無”技巧派 山 下裕二さんに聞く、 白隠の魅力!	山下 裕二 橋本 麻里 聞き手	美術手帖	特集 三重文化考 曾我蕭白	山口 泰弘 監修	美術屋・ 百兵衛	24
			画聖・雪舟の横顔20 ~23	島尾 新	〃	24~27
			美術の窓123~126	浅野 秀剛	美のたよ り	181~184
			江戸後期の美術展に よせて 岡田為恭筆 「春秋之図屏風」をめぐ って	宮崎 もも	〃	181

研究ノート 為恭の 画中自画像	中部 義隆	〃	〃	牛伏寺所蔵四尊像の 概要と原図復元試案	佐伯英里子	〃	331
人物画名品展によせ て「伝説殿像」をめぐ って	〃	〃	182	研究ノート 玉虫厨 子絵の山岳表現につ いて—靈鷲山図を中 心に—	長谷川智治	仏教大学 総合研究 所紀要	20
研究ノート 観祐筆 「高僧図像」と玄証筆 「十六善神図像」—白 描図像の時代様式を 考える糸口として—	古川 攝一	〃	〃	北斎の父—御鏡師・ 中嶋伊勢の系譜—	岸 文和	文化学年 報	62
水墨画名品展によせ て 白描から水墨へ —白衣観音図をめぐ って—	〃	〃	183	二条城二の丸御殿遠 侍障壁面についての —考察	松本 直子	〃	〃
研究ノート 岡田為 恭の模写—「善教房 絵詞模本」をめぐっ て—	宮崎 もも	〃	〃	基層信仰と密教の融 合—日本における不 動明王の受容につい て—	川野 憲一	〃	〃
宮川長春展によせ て長春「水辺遊楽図巻 」と師宣「余景作り庭 の図」	浅野 秀剛	〃	184	来迎寺書院の襖絵に ついて	中野 志保	〃	〃
文学と美術の出会い 展によせ 土佐派 による源氏物語色紙 絵について—大和文 華館所蔵作品と奈良 大学博物館所蔵作品 を中心に—	宮崎 もも	〃	〃	円山応挙はどう語ら れたか—逸話に見る 「写生の絵師」の理想 像—	水谷 亜希	〃	〃
新出の綿屋文庫蔵宗 紙画像をめぐって	島津 忠夫	ビブリア	139	室町時代における玄 宗・楊貴妃像—『梅 花無尽蔵』を中心に —	村木 桂子	〃	〃
紙百態 具合せ	河野 徳吉	百万塔	146	雪村筆《瀟湘八景図 屏風》—幽大なる老 境の「気」—	吉田 智美	〃	〃
京都の紙 第2章 平安文芸と紙(2)和 泉式部日記 紫式部 日記 源氏物語(1)	〃	〃	〃	浮世絵師たちが描い た浅草	日野原健司	文 学*	14-4
収蔵品紹介[百種怪 談妖物双六]	増山真一郎	風 伯	86	特集 伊勢・出雲と 文化財	〃	文化財*	601
福岡市美術館所蔵鷺 鳥図と福岡藩十代黒 田斉清	錦織 亮介	福岡市美 術館研究 紀要	1	出雲大社所蔵の「三 月会神事図屏風」	岡 宏三	〃	〃
企画展 大津絵をめ ぐって	金子 信久	府中市美 術館だよ り	37	名古屋博物館蔵 「伊勢参宮図屏風」 について	津田 卓子	〃	〃
浅草寺における神田 宗庭の画事—寛永寺 御用仏画師の活動の 広がりとその限界—	藤元 裕二	仏教芸術	327	天寿国繡帳制作の一 背景	吉川 敏子	文化財学 報	31
鎌倉時代における當 麻曼茶羅図の受容— 受容層・下縁立像阿 弥陀来迎など—	藤澤 隆子	〃	328	資料紹介 京都名所 俯瞰図(1)—江戸時 代の洛中洛外名所図 —	鋤柄 俊夫	文化情報 学	10
中尊寺蔵金字経見返 絵の絵師分担につい て	泉 武夫	〃	329	翻刻 北斎画『三国 伝来記』	竹村 誠	北斎研究	51
高松塚古墳とキトラ 古墳の壁画について	林 温	〃	330	富田文庫における葛 飾北斎とその一門の 狂歌本について(3) —『狂歌 花の雲』と 北溪の画業について —	奥田 敦子	〃	〃
「互いの御影」空海と 僧形八幡神画像につ いて—成立から浄光 明寺本まで—	内田 啓一	〃	〃	春朗期の役者絵再考 証(未定稿)4	根岸 美佳	〃	〃
				葛飾北斎肉筆鑑賞 (78)「生首図」扇面一 面	永田 生慈	〃	〃
				『略画早指南』考(未 定稿)	〃	〃	52

平成25年定期刊行物所載文献(古/絵画)

[完訳]ペルツィンスキー『北斎』	フリードリヒ・ペルツィンスキー 福澤 啓臣 訳	北斎研究	52	米国船マンハタン号の渡来記録			ミュージアム発見伝	87
余市町教育委員会所蔵のアイヌ絵(武者のぼり下絵)について―「島の為朝」図との関係―	山際 晶子	北海道開拓記念館研究紀要	41	ピックアップ八犬伝『八犬伝』の見返し			美をつくし	180
早坂文嶺筆『蝦夷島奇観』写本について	〃	〃	〃	特集 はじめに光ありき 日本絵画における“光”	木村 重圭		みんぱく	425
調査報告 蠣崎波響・落款考(図版編)	五十嵐聡美	北海道立美術館・芸術館紀要*	24	安政大地震と鯨絵	杉山 正司	武蔵野		352
ミュージアム・コレクション 鎌倉将軍の箱根参詣	柘植 英満	本 郷	107	日本絵画における「夢」の位相―中世から近世へ	三戸 信恵		武蔵野美術大学研究紀要	43
池田継政の肖像面制作と祖先顕彰	浅利 尚民	〃	〃	寛政期黄表紙における挿絵の文字表現―山東京伝による心学を趣向とする作例を手掛かりに―	鶴岡 明美		〃	〃
館蔵資料紹介 大津絵「馬乗若衆」、「槍持奴」、「梅に鶯」	西井 智美	町田市立博物館年報/紀要	2011年度	特集2 大津絵細見～新発見の「雨宝童子図」と東西博物館コレクション	横谷賢一郎		目の眼	443
『ゆや』奈良絵 解題・影印	石川 透	三田国文	57	特集 浄土の風景 浄土へゆくには	北澤 菜月		〃	447
日吉山王曼荼羅考―山王神道史料からの読み解き―	清水 実	三井美術文化史論集	6	新井(仇)家文書にみる絵入り歳旦摺物について	兼子 順		文書館紀要[埼玉県立文書館]	26
鎌倉時代における泉涌寺流の道場荘厳について―仏画の宗教的機能―	西谷 功	密教図像	32	日本美術史不案内 47、50、52、53、55、56	佐藤 康宏	U P		485、488、490、491、493、494
泉岳寺所蔵「釈迦八相祇園精舎曼荼羅」のこと	本多 寛尚	港区立港郷土資料館研究紀要	15	「当麻曼荼羅」を支えてきたもの―特別展「当麻寺―極楽浄土へのあこがれ―」に寄せて	北澤 菜月		〃	487
(資料紹介)『長澤累世遺印譜』	岡田 秀之	MIHO MUSEUM 研究紀要	13	相撲博物館所蔵 合羽摺りによる細判相撲絵に関する考察	大久保範子		横浜美術大学 教育・研究紀要	3
静嘉堂文庫美術館所蔵(十王図)十二幅に関する高麗・朝鮮資料からの考察	呉 永三	MUSEUM	642	特集 日本学研究所開設10周年記念・国際シンポジウム 日本学の現在と未来			立教大学 日本学研究所年報	10・11
資料紹介 東京国立博物館蔵「源氏物語冊子表紙絵模本」について	龍澤 彩	〃	643	顕密仏教相承の絵画的表現とその物語性―内山永久寺真言堂旧蔵の『真言八祖行状図』を中心に―	阿部 龍一			
作品紹介 土佐光起筆「源氏物語図屏風」について	本田 光子	〃	645	『源氏物語』の絵画的場面をめぐる	土方 洋一			
近衛家と典薬頭・錦小路頼庸―その日記にみえる絵事について―	小野真由美	〃	646	豊国祭礼図屏風の絵画史料論	黒田日出男		立正史学	113
資料紹介 「久志本常珍旧蔵植物図」について	田中 純子	〃	647	収蔵品の紹介81 十王図	(F)		霊宝館だより	107

特集 木戸家資料から広がる歴史像 COLUMN ダルマの錦絵	大久保純一	歴博	177	武蔵と武士のダンディズム 永青文庫	中村さやか	1.23
パフォーマンスとしての参勤交代	コンスタンチン・ヴァボリス	〃	181	つきしま かるかや 日本民芸館	塩見 圭	7.3
歴史の証人 写真による収蔵品紹介「有君之御方御下向御行列之図」	久留島 浩	〃	〃	江戸の美男子 若衆・二枚目・伊達男 太田記念美術館	中村茉莉花	7.31
歴博けんきゅう便 第48回 よみがえる錦絵と技術	小瀬戸恵美	〃	〃	狩野派 SAIKO! 再興!最高!再考? 狩野派再点検 板橋区立美術館	塩見 圭	9.11
歴史 絵師草紙	土居 聡明	歴博だより	73	仙厓と禪の世界 出光美術館	竹越 萌子	10.16
紀州藩御絵師笹川家三代の画蹟	近藤 壮	和歌山市立博物館研究紀要	27	美の履歴書	〃	
資料紹介 惣光寺所蔵「総光寺由来并太田城水責図」について	額田 雅裕	〃	〃	290 書と絵画との関係は「鹿下絵和歌巻断簡」本阿弥光悦筆、伝依屋宗達下絵	西岡 一正	1.30
鼓嶽山人の画業	成澤 勝嗣	早稲田大学大学院文学研究科紀要	58	293 なぜ黒を選んだのか「秋草鶉図」酒井抱一	増田 愛子	2.20
豊臣政権下の鷹図	四宮美帆子	〃	〃	298 女たちが振り返ったのは「湯女図」作者不詳	〃	4.3
修士論文概要 安田雷洲の画業考—肉筆洋風画を中心に—	内田 洸	〃	〃	299 何をたくらんだのか「白象黒牛図屏風」長沢芦雪	西岡 一正	4.10
歌舞伎座 新開場記念「歌舞伎 江戸の芝居小屋」展 観客と育む異空間 400年 粋に華やぐ	増田 愛子	朝日	2.5	308 なぜ印影が巨大なのか「秋夜名月図」谷文晁	大西 若人	6.12
多彩な画風と探求心 江戸の絵師・谷文晁 展覧会	西岡 一正	〃	6.30	315 なぜ疲れているのか「妖怪図」円山応震	安斎 耕一	7.31
日光東照宮の壁画 217年ぶり 陽明門に鶴	服部 肇	〃	7.27	322 松を1本だけ離れたわけ「富士三保松原図屏風」作者不詳	増田 愛子	9.18
石仏、快慶の最古作品? 奈良・三郷	松山 尚幹	〃	9.2	328 地獄を描いたわけは「五百羅漢図 第24幅 六道地獄」狩野一信	安斎 耕一	10.30
古都ナビ 宝物編	〃	〃		仏の教え 情熱の美—2人の江戸の僧—白隠慧鶴の大規模展「空前絶後」独自の筆致「飛騨の円空」展 民衆に寄り添う慈悲 素人っぽい表現 既成の枠を破る		
西念寺の涅槃図	久保 智祥	〃	11.3			
円山応挙「牡丹孔雀図」	〃	〃	12.10		増田 愛子	〃 2.6
薬師寺・吉祥天像	小滝ちひろ	〃	12.23			
国宝の屏風 傷つけず分析 神楽坂で14日まで企画展	〃	〃	12.3	4 [読ん]で知るアート 琳派の色合い	玉蟲 敏子	〃 4.17,4.24,5.1,5.8
朱雀・白虎・玄武展示 来春のキトラ東京公開 文化庁が概要発表	塚本 和人	〃	12.7	「源氏」「伊勢」重なるイメージ	増田 愛子	〃 4.24
美博ピックアップ	朝日夕刊	〃		反骨の絵師「意外」な素顔 河鍋曉斎、抜群のデッサン力	〃	〃 5.15

平成25年定期刊行物所載文献(古／絵画)

黒船来航 異文化の 衝撃 大英博物館が 絵巻公開	沢村 互	朝日夕刊	6.5	匠が見た 北斎の神 髓 世界遺産登録 霊峰の美 伝える浮 世絵「赤富士」復刻 絶妙の「ぼかし」	竹島 勇	〃	7.9
夏 妖怪の世界 定 義・造形 多様な存在	増田 愛子	〃	7.24	親子でぶらり。世界 遺産・富士 知の裾 野 山梨県立博物館 池大雅「富岳図」	(仁)	〃	7.18
「異鳥」はペリカン説 「江戸名所図屏風」の 研究で	西岡 一正	〃	9.4	妖怪に学ぶ1 安政 大地震の鯨 逆境 「世直し」の願い	横井 武昭	〃	8.19
街プレーバック 葛 飾北斎『富嶽三十六 景』@深川・万年橋 アーチに残る江戸の 木橋の面影	相田 香織	〃	9.6	尾張徳川家の至宝 私の1点 5 国宝 「源氏物語絵巻 東 屋二」黒髪を描線に 浮舟の心情	板東玉三郎	東京夕刊	1.26
天下逸品 津軽の地 獄絵 人間失格でも 救われたい 青森県 五所川原市	森本 俊司	〃	10.22	漱石と美術 1 仙 境にいる心地に 『こゝろ』に登場 黄 梁一炊図	姜 尚中	〃	5.28
香る都「洛中洛外図」 天下取り、風俗…う つろう視線 東博に 結集	増田 愛子	〃	10.23	浮世絵を支えた黒子 たち 唯一の多色摺 生んだ板・紙・パレ ン 最先端の技の結 晶	白戸満喜子	〃	6.5
主人公・細川植国は どちら? 室町時代の 「洛中洛外図」屏風 で論争「邸宅に座る 新当主」vs.「將軍邸 に向かう先頭」	村山 正司	〃	11.18	ライトアップ[二条 城二の丸御殿障壁 画]	〃	〃	7.12
日英浮世絵往来 上 Shunga のアートで 探る 大英博物館で 展覧会 タブー視超 え、4年かけた共同 研究	増田 愛子	〃	12.4	ライトアップ[鯉図] 名画に見る富士山	〃	〃	8.13
美の扉 頓着しない、 おおらかさ	渋谷 和彦	産 経	1.6	1 冠雪と緑 織 りなす絶景 三保 松原(静岡市)	石原 猛	〃	7.26
孤高の1点を礼拝 「新春の国宝 那智 瀧図」展	黒沢 綾子	〃	1.16	3 遠くても心の 片隅に 舞坂・今 切(浜松市)	加藤 洋子	〃	7.29
チャイム[柳之御所 遺跡出土木片] カジュアル美術館	〃	〃	1.26	4 裾野から山頂 一望 田子の浦 (静岡県富士市)	木谷 孝洋	〃	7.30
花下遊楽図屏風 狩野長信 東京国 立博物館 華やか さと幽玄同居 御 用絵師、画技の極 致	三沢 典丈	〃	3.24	5 激流越し 山々従えて 大井 川(静岡県島田市)	〃	〃	7.31
夏秋草図屏風 酒 井抱一 東京国立 博物館 光琳への オマージュ 銀の 静かで冷たい輝き	森本 智之	〃	9.15	7 迫る山 枠突 き破る 富士沼 (静岡県富士市・ 沼津市)	谷岡 聖史	〃	8.6
町絵師・永斎の絵日 記 幕末江戸の暮ら しつづる 武蔵大の 福原教授 考察加え て刊行	丹治早智子	〃	5.28	8 寄せる波 映 える山 薩埵峠 (静岡県清水区)	木谷 孝洋	〃	8.7
				小石川後楽園 絵巻 物を発見 江戸後期 か	〃	〃	11.2
				平等院の「仏後壁」一 気描きの卓越技	〃	〃	11.26
				木版画の彫師・摺師 に光 江戸～現代ま での職人名簿をデー タベース化	土井 利一 日 経	〃	1.7



独特の描線、迫力 「白隠展 HAKUIN 禅画に込めたメッセ ージ」	窪田 直子	〃	1.9	東都名所 両国回 向院境内全図に ぎわい見せる勸進 相撲	丸山はるか	4.19
美の美		〃		大豹蛮虎戯 渡来 動物の「見世物」人 気	〃	5.17
奈良絵本・絵巻の 世界 上、下	吉田 俊宏		2.3,2.10	江戸名所百人美女 の内 御茶の水 日常に見える当時 の流行	吉田奈緒子	5.31
西行 花の下にて 上、下	内田 洋一		4.14,4.21	百種接分菊 たっ た1本で百花繚乱	市川 寛明	8.23
見立絵 重層する イメージ 上、下	吉田 俊宏		6.9,6.16	松葉蘭譜 生きた 化石 カラー図鑑	田中 実徳	8.30
江戸の華 両国 上、中、下	宮川 匡司		7.14,7.21、 7.28	桜姫全伝曙草紙 怨霊のたたり 衝 撃の挿絵	吉田奈緒子	9.6
風神雷神図の系譜 中	田村 広済		9.29	奥奉公出生双六 大奥の実情 鋭く 描写	田原 昇	11.1
富士山 千年の旅 1～4	宮川 匡司		11.24,12.1、 12.8,12.15	流行しりとりおど り一人げいこ 人 気の遊び 風刺交 えて	丸山はるか	12.20
「若沖が来てくれま した」ブライスコレ クション」展 被災 地に届けたい あふ れる命の輝き	中沢 義則	〃	2.16	「平泉版」鳥獣戯画 木片に擬人化カエル 平安後期作か	〃	1.26
200年前の江戸をナビ 鉄形憲斎の一目 図読み解く、スカイ ツリーにレブリカ	尾島 治	〃	4.5	「江戸絵画の奇跡」展 私の1点 上 太湖 石 まるで餡細工	安村 敏信	〃 6.27
「若沖が来てくれま した」展 対比の妙 と驚きのしかけ		〃	5.19	江戸の美男子展 氏 家幹人さんと見る 男もほれる 柔弱な 美貌	井上 晋治	〃 8.8
時勢に流されぬ肉筆 の妙「宮川長春」展	宮川 匡司	〃	11.6	快慶作か 石仏に銘 文 奈良・持聖院 1189年制作の可能性	〃	9.3
入門講座 京の美意 識 1、2	杉本秀太郎	日経夕刊	1.10,1.17	19世紀初め ロシア に備え樺太へ 会津 藩兵 アイヌと深い 交流 絵巻を解説 慰労の宴や惜別の場 面も	辻本 芳孝	〃 12.11
松浦武四郎、好古家 の顔「北海道」命名、 幕末明治の探検家	宝玉 正彦	〃	11.12	ズームアップ 浄土 の色彩 魅らせる	竹田津敦史 宇那木健一	読売夕刊 1.7
目は語る 1、2月	高階 秀爾	毎日夕刊	1.16,2.13	ぎやらりいモール	〃	
光琳「八橋図屏風」全 面に金箔 電磁波で 絵の具層の下にも確 認		読 売	1.9	府中市美術館「か わいい江戸絵画」 から「猛虎図」	金子 信久	3.26
江戸博蔵めぐり		〃		太田記念美術館 「北斎と暁斎一奇 想の漫画」から 『北斎漫画』十二 編	日野原健司	5.21
誠忠義士伝 早野 勘平常世 累計40 万超 ヒットシリ ーズ	小山 周子		1.18	江戸東京博物館 「ファインバーグ ・コレクション展 一江戸絵画の奇 跡」から「十二ヶ月 花鳥図」	我妻 直美	6.4
風流東姿十二支 巳 華麗で妖艶 まるで蛇	遠藤あかね		2.1			
東海道五拾三次之内 御油旅人留女 自作 ちゃっかり 宣伝	江里口友子		3.1			
富嶽三十六景 御 厩川岸より 両国に 橋夕陽見 構図に 巧みな仕掛け	小山 周子		3.15			

平成25年定期刊行物所載文献(古ノ絵画、図像、文様)

横須賀美術館「日本の『妖怪』を追え！」から「百物語お岩さん」	日野原清水	7.23	九州国立博物館所蔵朝鮮前期(瀟湘八景図)屏風に見る順序の問題	呉 永三	朝鮮学報	228
根津美術館「曼荼羅展—宇宙は神仏で充満する！」	白原由起子	8.6	京都・知恩院所蔵(五百羅漢図)に見られる信仰と霊地	〃	仏教芸術	327
千葉市美術館「琳派・若冲と花鳥風月」から「鶴図(若冲写)」	伊藤 紫織	9.10	中国新疆ウイグル自治区ホータン地域出土の仏教美術に関する調査研究—中国甘肅地域の仏教美術との関係を踏まえて—	田林 啓	鹿島美術財団年報・別冊	30
出光美術館「仙厓と禅の世界」から「坐禅蛙画賛」	八波 浩一	10.1	総合文化展見どころ案内2013年6月・7月 東洋館 アジアを旅する シルクロードの石窟壁が眼前に 衆人奏楽図	浅見 龍介	東京国立博物館ニュース	719
東京国立博物館平成館「京都 洛中洛外図と障壁画の美」から重要文化財「洛中洛外図屏風 舟木本 祇園祭の神輿渡御部分」	松嶋 雅人	10.22	研究資料紹介 ローカ・プルシャ Loka—Purusa—ジャイナ教の宇宙観—	濱田 本 秋子	芹沢銈介美術工芸館年報*	4
水面も動く 鯉と亀「江戸絵画の奇跡展」から 円山応挙 鯉亀図風炉先屏風	高野 清見	読売夕刊 5.24	古代ベンジケント壁画“騎馬戦闘図”(7世紀末～8世紀初頭)修復報告	V. フォミニ ユク	MIHO MUSEUM 研究紀要	13
<b>朝 鮮</b>						
日本近世文学と朝鮮日本における「乳虎図」の様相	崔 京国	アジア遊学	163	増田 愛子	朝日夕刊	5.8
『三国遺事』の新たな地平 義湘大師と明恵上人—『三国遺事』と『華嚴縁起』を中心に	金 任仲	〃	169			
企画展「朝鮮の屏風—暮らしを彩る絵画演出—」屏風絵の特質—朝鮮時代とその周辺—	片山真理子	高麗美術館報	94	津田 大 澤岡田加藤石井	徹英 信末乃千紘	史 友 45
コレクション名品展「書画と白磁、そして民画の世界」に寄せて—朝鮮時代の絵画と陶磁—	山本 俊介	〃	〃	平瀬 直樹	仏教史学 研究	56-1
作品紹介「山水図」	〃	〃	〃			
作品紹介 禅画「十牛図」とは何か?	片山真理子	〃	95	柳生 俊樹	オリエン ト	55-2
表紙について (真)	〃	〃	〃			
詩意図「清明」		95				
「鷲図」金明国画 林羅山賛		96				
鶴虎図	板倉 聖哲	国 華	1416			
蔵出し 水墨画の逸品16 伝・金弘道《出山釈迦図》	片山真理子	水墨画*	291	熊谷 貴史	仏教大学 総合研究 所紀要	20

地図・絵図

日 本

特集 災害津波資料として読み解く「輪島町絵図」—津波の記録と記憶をめぐって—	泉	雅博	跡見学園女子大学フオーラム	11
研究の散歩道 墨東の名所おこし—梅・松・菊の隠居—	小澤	弘	江戸東京博物館 NEWS	83
鳥取市歴史博物館所蔵の因幡国絵図・伯耆国絵図について—「ライデン大学所蔵の因幡国絵図・伯耆国絵図をめぐって」補遺—	倉地	克直	岡山大学文学部紀要	59
再建への意志：図面のなかの都市復興 no. 24 鎌原村復興絵図	渡辺	尚志	建築雑誌	1652
古文書めぐり 港区港郷土資料館の収蔵文書	平田竹村	秀勝 到	古文書研究	74
平成24年度館蔵品展より『大日本行程大絵図』と『大日本道中細見記』	榎村	寛之	齋宮歴史博物館だより	70
高島市・針江区有文書の絵図について	大槻山本	暢子 晃子	滋賀県立安土城考古博物館紀要	21
「森川家文書」所収の江戸城「御本丸御方御絵図」について	藤田	英昭	千葉県の文書館	18
研究例会報告要旨 2013年1月31日例会報告(於・東京大学本郷キャンパス)天明3年浅間焼け絵図にみる構図の変化とランドマーク	福重	旨乃	地方史研究	363
特別展案内 富士山世界文化遺産登録記念特別展「鳥の目で見た富士—鳥瞰図の世界」より	井上	卓哉	博物館だより(富士市博)	62
II. 新指定文化財 3. 歴史資料調整室の事業 資料調査報告 1 駿府城下町図の紹介			ふちゅ〜る	22
東大寺山堺四至図の基礎的研究—絵図の南半分を中心に—	奥村	茂輝	仏教芸術	331
近代初頭における京都近郊の景観—鹿苑寺境内地と大北山村を事例に—	小林	善仁	仏教大学総合研究所紀要別冊*	

「西京邑田畑惣絵図」からみた近世西京村の特性	渡邊	秀一	〃	
三つの正保尾張国絵図	種田	祐司	蓬 左	86
表紙 宗廟朝廷之札「御座之間御暇之図」			〃	〃
「天保日向国絵図の作成過程について」～内藤延岡藩の対応を中心として～	中竹	俊博	宮崎県総合博物館研究紀要	33
萩藩郡方地理図師の職務と地位—有馬家の筆並騒動を巡って—	山田	稔	山口県文書館研究紀要	40
原図2枚見つかる すみだ郷土文化資料館で特別公開 徳川将軍家「隅田川御殿」詳細絵図 木母寺参詣で利用	熊田	明裕	毎 日	11.16
絵図で見る堺の埋め立て 国立歴史民俗博物館			読 売	1.23

彫 塑

中 国

西域の守護神—中国・ホータン地区ダマゴウ遺跡トブルクドン1号仏寺址出土土彫沙門天像壁画に関する一考察—	佐藤有希子		鹿島美術財団年報・別冊	30
グラフィア解説 如意輪観音菩薩坐像[大宝蔵院安置]	山口	隆介	聖 徳	216
龍門石窟賓陽南洞の初唐造像に関する一考察	八木	春生	筑波大学芸術研究報告	61
神王像流行の思想史的背景—弥勒下生信仰との繋がり—	清水	眞澄	同志社大学博物館学年報	44
隋唐期東アジアの「優填王像」受容に関する覚書	稲本	泰生	東方学報 京都	88
馬場紀寿氏発表に対するコメント—『宝篋印経』の伝播と展開—に関して	佐藤有希子	B	I	6
二十四諸天と二十八部衆	二階堂善弘		東アジア文化交渉研究	6
平成24年度東支部例会 雲岡第十八窟について—仏龕を中心に—	熊坂	聡美	美術史	174
立体『維摩詰経』としての龍門石窟賓陽中洞—『維摩詰経』造像研究—	漆	紅	仏教芸術	326

平成25年定期刊行物所載文献(古ノ彫塑)

作品紹介 伊勢寂照寺仏龕について	松山 鉄夫	仏教芸術	328	神護寺五大虚空蔵菩薩像の思想的背景	高橋早紀子	〃	〃
中国古代仏像の着衣の基本形式—袈裟・裙・僧祇支・偏袒について—	吉村 怜	〃	329	資料紹介 近世・天草の唐様仏像	有木 芳隆	熊本県立美術館研究紀要	13
南京地域六朝墓の画像博—その変遷・地域性と六朝期の墳墓観—	江 介也	文化史学	69	特輯 近江の仏像		国 華	1407
四川省夾江千仏岩の僧伽・宝誌・萬廻三聖龕について	肥田 路美	早稲田大学大学院文学研究科紀要	58	「近江の仏像」特輯に当つて	関口 正之		
				近江の仏像—古代・中世—	田邊三郎助		
				特輯 近江の仏像 図版		〃	〃
				1 百濟寺十一面観音像について	伊東 史朗		
				2 石山寺蔵 金銅仏	岩田 茂樹		
				3 向源寺蔵 木造十一面観音菩薩立像	井上 一稔		
				4 善水寺蔵 木造四天王立像	松岡久美子		
				5 永照院蔵 木造十一面観音菩薩立像	高梨 純次		
				6 金勝寺蔵 木造軍荼利明王立像	佐々木 進		
				7 闍城寺蔵 木造黄不動尊立像	高梨 純次		
				8 神照寺蔵 木造半肉彫千手観音菩薩立像	津田 徹英		
				9 西教寺蔵 木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	寺島 典人		
				金銅聖観音菩薩立像	田邊三郎助	〃	1413
				快慶作 東大寺蔵木造阿弥陀如来立像	清水 眞澄	〃	1414
				口絵写真解説 滝不動尊(坂戸市四日市場所在)		埼玉史談	314
				表紙写真解説 秩父市下吉田矢畑路傍中世石仏残像	鳩山 四方田 悟	〃	315
				コラム 歴史の風 高松塚古墳壁画の特別公開	早乙女雅博	史学雑誌	122-11
				近江の狛犬 基礎資料集成(稿1)	山下 立	滋賀県立安土城考古博物館紀要	21
				滋賀県地域における神像彫刻の樹種調査—新旧手法の適用による—	田鶴寿弥子 杉山 淳司 山下 立	〃	〃
日 本							
日本の仏像と仏教思想	長岡 龍作	ART LIBRARY	14				
木村定三氏旧蔵の木造不動明王立像について	浅湫 毅	愛知県美術館研究紀要	19	木村定三コレクション編			
不動明王立像 修理報告[愛知県美術館]	財団法人日本美術院	〃	〃				
「力神」彫刻の山車への受容とその周辺—とくに新出の立川富昌作の力神塑像をめぐって—	水野 耕嗣	飯田市美術館研究紀要	23				
初期女神像の唐装についての一考察	岡田 麻未	鹿島美術財団年報・別冊	30				
九州における平安後期神将形像の基礎的研究	末吉 武史	〃	〃				
賀茂別雷神社における神仏習合の展開に関する基礎的調査・研究	皿井 舞	〃	〃				
福島県いわき市長福寺本尊地藏菩薩坐像と納入文書—概報—	西岡 芳文 瀬谷 貴之 永村 眞 福島 金治 渡辺 智裕	金沢文庫研究	330				
法隆寺僧顕真と聖徳太子勝鬘経講讃像	桑野 梓	関西大学東西学術研究所紀要	46				
九州西側の石造古仏	井形 進	九州歴史資料館研究論集	38				
京都・観音寺薬師三尊像について	大澤 慶子	京都産業大学日本文化研究所紀要	18				
東大寺鎌倉再興造仏再考—南大門金剛力士像の造像と再興造営理念との関係を中心として—	根立 研介	京都美学美術史学	12				

米原市・惣持寺の木造天部形立像について—伊吹山、荒ぶる神の信仰と造形—	高梨 純次	滋賀県立近代美術館研究紀要	9	巻頭言 秘仏のひみつ	〃	太陽の地図帖	18
江戸の銅仏—失われた鑄物師を求めて	石塚 雄三	史迹と美術	831	清涼寺式波状髪を有する薬師如来像に関する調査研究	西木 政統	高梨学術奨励基金年報	H24年度
江戸六地藏の鑄物師、太田駿河守藤原正義(1)—鑄物師交代(上)、(下)—故久志田治郎氏へ捧ぐ	〃	〃	833、834	仏像半島 房総の美しき仏たち	西山 純子	千葉市美術館ニュース C'n	66
江戸六地藏の鑄物師、太田駿河守藤原正義(2)—未詳の銅仏—	〃	〃	836	美作の狛犬(4)	田淵千香子	津山弥生の里	20
龍津寺旧弁才天像について	大宮 康男	〃	834	三重県伊賀市長田における地藏信仰と境界領域	加藤 綾香	帝塚山大学院紀要*	15
鎌倉時代の阿弥陀造像と鎌倉大仏	武笠 朗	実践女子大学美術史学	27	学生研究博士後期課程		東京芸大保存修復彫刻年報*	2012年度
グラビア解説		聖 徳		湛慶作雪蹊寺毘沙門天立像の制作工程に関する研究—神将形像における運慶様の継承と変容—	中村 志野		
観音菩薩立像(夢違観音)	岩田 茂樹		215	円成寺大日如来坐像の造像工程の研究—康慶から運慶へ—	藤曲 隆哉		
観音菩薩立像(九面観音)	岩井 共二		217				
菩薩立像[大宝蔵院安置]	岩田 茂樹		218				
“村雨丸”伝説と太子像	小松 光江	〃	215	奈良時代木心乾漆像における脇侍表現と制作技法の研究—京都高山寺旧蔵日光・月光両脇侍像模刻制作を通して—	白澤 陽治		
親鸞ゆかりの太子像	〃	〃	217				
“雨”と緑深い太子像	〃	〃	218				
街角アート	星野 清一	新美術新聞		学生研究修士課程			
波の伊八 其の壺、式			1305、1308				
佐倉の「おびんずる様」			1313	福井県清雲寺蔵吉祥天立像並びに善臈師童子立像模刻制作	中嶋 莉恵		
大郷町教育委員会所蔵の3体の明王像について	見田 隆鑑	椛山女学大学文化情報学部紀要	12	学生研究修士課程 大阪府道明寺蔵木造十一面観音立像 模刻制作	中村 恒克		
花嶽神社安置の不動明王二童子像について	酒井昌一郎	仙台市博物館調査研究報告	32・33	修復研究実績			
第1講 仏像の黎明飛鳥時代	山本 勉	太陽(別冊)		東京都個人蔵 毘沙門天立像			
第2講 古典の完成奈良時代	〃	〃	〃	東京都個人蔵 四天王立像			
第3講 転形と模索平安時代I	〃	〃	〃	東京芸術大学蔵(牧野家寄贈)木造天部立像			
第4講 和様と耽美平安時代II	〃	〃	〃	長野県善光寺世尊院 阿弥陀三尊立像			
第5講 再生と変奏鎌倉時代I	〃	〃	〃	愛知県浄土宗大雄山性高院 玄道上人坐像			
第6講 伝統の命脈鎌倉時代II 南北朝時代以後	〃	〃	〃	制作研究・事業実績			

平成25年定期刊行物所載文献(古／彫塑)

静岡県浄土宗金米山宝台院 阿弥陀如来立蔵 縮尺模刻制作				2013年12月・2014年1月 本館 日本に出会う 比べてみよう！世界の獅子 重文 獅子ほか					722
茨城県桜川市真壁町田山口地区 虚空蔵菩薩坐像光背修復・台座制作				中世の新薬師寺をめぐる信仰と造形—本尊・興福寺・貞慶・春日・香山—	杉崎 貴英		同志社大学博物館学年報		44
調査研究記録		東京芸大保存修復彫刻年報*	2012年度	平安時代前期の神宮寺における薬師如来像造立について—滋賀・大嶋神社奥津島神社蔵木造地藏菩薩立像再考—	長坂 一郎		東北芸工大保存修復センター紀要*		3
高知県雪踪寺 毘沙門天立像 X線及び熟覧調査				さくら市龍光寺の仏像について	本田 論		栃木県立博物館研究紀要		30
東京国立博物館所蔵 法隆寺献納伎楽面「具公」				展示品のみどころ			奈良国立博物館だより		
静岡県浄土宗金米山宝台院 阿弥陀如来立像				十二神将立像(12軀のうち申神・戌神)	山口 隆介				85
薬師寺東京別院(東五反田)薬師如来坐像				弥勒如来坐像	吉澤 悟				86
奈良県薬師寺 如来坐像				菩薩半跏像	岩井 共二				87
奈良県法相宗大本山薬師寺金堂所在銅造日光・月光菩薩立像 3D計測				飛鳥寺本尊丈六釈迦如来坐像について	櫻庭 裕介		奈良美術研究		14
長野県浄土宗大城山興正寺 薬医門出桁彫物『子持ち龍』				飛鳥大仏の制作と火難	大橋 一章		〃		〃
奈良県東大寺中性院 木造弥勒菩薩立像				奈良美術研究会 活動報告2012年度			〃		〃
奈良国立博物館 獅子(収蔵品番号1311-0)				院政期の王権と如意輪観音信仰	清水 紀枝				
京都府禅林寺(永観堂)阿弥陀如来立像				当麻寺創建期の本尊について	金 志虎				
一木造りと寄木造りの接点—六波羅蜜寺蔵木造広目天立像模刻制作研究から—	鈴木 篤	東京芸術大学美術学部論叢	9	浄瑠璃寺厨子入吉祥天像について	小林 裕子				
総合文化展見どころ案内	浅見 龍介	東京国立博物館ニュース		運慶願経にみる運慶の妻と子女大施主と阿古丸をめぐる一	野村 育世		日本歴史		780
2013年6月・7月本館 日本に出会う 大黒天は戦闘神!?肌の色に注目 重文 大黒天立像			719	研究余録 重源の「入宋」と博多綱首	大塚 紀弘		〃		782
2013年8月・9月本館 日本に出会う 彫刻で楽しむ和様の美 重文 地藏菩薩立像			720	例会・研究発表会要旨 東支部 平成25年度 第2回美学学会例会(7月13日、慶応義塾大学)鎌倉時代の特異な薬師立像と一日造立仏との関わりについて	西木 政統	美 学			243
				止利仏師に関する研究史をめぐる	岩佐 光晴		美学美術史論集		20
				研究資料 京都・神光院蔵 木造地藏菩薩立像	皿井 舞		美術研究		408

平成24年度西支部例会	美術史	174	丹青閑話 第23話 円空 金剛力士(仁王)立像 卍形	島尾 新	〃	354
黄檗山萬福寺の隠元隆琦倚像について	楠井 隆志		興福寺南円堂四天王像の再検討—新たな運慶イメージの構築—	藤岡 穰	フィロカリア	30
室町時代七条仏所の正系仏所の交代をめぐって	根立 研介		調査報告	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	23
四天王寺所蔵千手観音及び二天像箱仏についての一考察	一本 崇之		1、朝倉市杷木志波 円清寺(1)木造観音菩薩坐像 (2)石造如来坐像 (3)木造如来坐像			
第66回全国大会研究発表要旨	〃	175	2、筑紫野市天山西方寺 木造阿弥陀如来立像			
当麻寺金堂四天王像の邪鬼について—7世紀—10世紀の東アジア作例の形式分類をもとに—	山田 美季		3、宗像市神湊隣船寺 木造聖観音菩薩立像			
東寺八幡三神像に関する彫刻史的考察	高橋早紀子		法隆寺金堂木製天蓋(西の間・中の間・東の間)の年輪年代調査	光谷 拓実 大河内隆之	仏教芸術	326
法輪寺の薬師如来像と伝虚空蔵菩薩像について	鏡山 智子		圓福寺(春日部市)「閻魔王宮と八大地獄図」とその開帳—信仰と娯楽の狭間で—	田村 正彦	〃	〃
『日本書紀』持統天皇十一年六月二十六日条—藤原京薬師寺本尊との関連から—	望月 望	美術史学	34			
特集 円空	美術手帖	979	新指定重要文化財紹介 福井・高成寺木造千手観音立像	井上 大樹	〃	327
井上雄彦、円空に会おう旅へ	福住 廉		作品紹介 神護寺護摩堂(明王堂)不動明王像	伊東 史朗	〃	328
初めに知りたい基礎知識 円空 Q&A	浅見 龍介		作品紹介 林ヶ峰観音菩薩形坐像について—施福寺大日如来坐像とともに—	大河内智之	〃	329
円空仏 BEST10	小吹 隆文		勝林院阿弥陀如来像(証拠阿弥陀)に関する基礎的資料—康尚、定朝のかかわりとその意義—	伊東 史朗	〃	330
美術史家・山下裕二が語る!マイ・ベスト円空	山下 裕二		京都大原野・勝持寺本尊薬師如来坐像考—慈円・薬師行法との関係—	井上 一稔	〃	331
彫刻家・棚田康司が体験!! 技法から知る円空	新川 貴詩		六波羅蜜寺地藏菩薩坐像について—その造形と像内納入品をめぐって—	植村 拓哉	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	9
仏像彫刻と円空 円空の造形はどのように生まれたか?	浅見 龍介		表紙解説 国宝 木造不動明王及二童子立像	奥 健夫	文化財*	597
近代彫刻と円空 橋本平八と円空の「今日性」	毛利伊知郎		仏師の祖は誰なのか	根立 研介	本郷	106
みうらじゅんのグッとくる円空の話	石井 芳征		マイクロフォーカス X線 CTを用いた木造神像彫刻の非破壊年輪年代調査(2)	児島 大輔	埋蔵文化財ニュース	150
円空仏マップ	伊部 玉紀 編集部 構成					
連載 日本美術のススメ 今月の逸品「翁」(肉色)『花伝七別紙口伝』	西澤 寛	美術の窓	352			

平成25年定期刊行物所載文献(古／彫塑)

個人蔵 男神像				朝護孫子寺・毘沙門天	松山 尚幹	6.23
個人蔵 男神坐像					"	8.11
個人蔵 男神坐像 A・B				非公開文化財特別公開	久保 智祥	10.13
国学院大学神道資料館 伝僧形八幡神像				探訪古き仏たち	"	
個人蔵 弁才天坐像				不動明王 東寺(教王護国寺)・講堂 異形の4像従えにらみ利かす	沖 真治	4.6
池口寺 菩薩形立像				阿弥陀三尊 仁和寺・金堂 御所から移築の堂内に輝く	"	4.13
長徳寺 薬師如来坐像				音声菩薩 東大寺・大仏殿 盗難・酸性雨被害 乗り越える	岸根 一正	4.20
園城寺吉祥天立像について	海老澤るりは	三井美術文化史論集	6	四天王 興福寺・南円堂 作者は誰? 覆された「常識」	沖 真治	4.27
キンベル美術館・快慶作木造釈迦如来立像について	岩田 茂樹	MUSEUM	646	大悲菩薩 覚盛上人 唐招提寺・中興堂 戒律復興の祖、命日には華やぎ	岸根 一正	5.4
ふなばしめぐり 高幢庵		みゅーじあむ・船橋	1	薬師如来 唐招提寺・金堂 銅銭が明かした造立の時期	"	5.11
円空の微笑みと白編集長 白洲信哉が迎える 樹と雪と仏との邂逅	白洲 信哉	目の眼	439	梵天 東寺(教王護国寺)・講堂 弘法大師、インドへの憧れ	沖 真治	5.18
特集 浄土の風景		"	447	金剛力士 東大寺・法華堂 空襲避け疎開、運搬中に「負傷」	岸根 一正	5.25
日本における浄土と飛天の表現について	林 温			釈迦如来 蟹満寺「蟹の恩返し」に先立つ本尊	沖 真治	6.1
千年の時のつたえ				伝橋夫人念持仏・阿弥陀三尊 法隆寺・大宝蔵院 柔和な表情、背景に斬新さも	岸根 一正	6.8
研究 仏像の移動とその実態—彫刻資料から地域史を読み解くために—	大河内智之	和歌山県立博物館研究紀要	19	十一面観音 観音寺 南山城地方に集中の理由は?	沖 真治	6.15
博士論文概要 院政期真言密教をめぐる如意輪観音の造像と信仰	清水 紀枝	早稲田大学大学院文学研究科紀要	58	千手観音 葛井寺 表情豊か 千本超す「救いの手」	岸根 一正	6.22
奈良には古き仏たち	沖 真治	朝 日		文殊菩薩 興福寺・東金堂 頭上に経典、豊かな知恵示す	"	6.29
弥勒仏 当麻寺・金堂 修復重ねた跡、篤い信仰の証し			1.12	千手観音 蓮華王院・三十三間堂 「ひと目千体」中央に気高く	"	7.13
執金剛神 東大寺・法華堂 時を超える怒号、仏法を守る			3.30			
古都ナビ 宝物編		"				
興福寺・不空羂索観音像	小滝ちひろ		2.3			
東大寺・不動明王及び二童子像	"		3.24			
東大寺・金剛力士立像	"		5.26			
金閣寺・宝冠釈迦如来坐像	岡田 匠		6.9			



薬師如来 神護寺 ・金堂 世上の不 安 鎮める威圧感	沖	真治	7.20	毘沙門天尊 鞍 馬寺・靈宝殿 山 上から都望む 北 の守り神	岸根 一正	11.30
薬師如来 新薬師 寺「檀像」に倣う 一木造りの洗練	"	"	7.27	千手観音 延暦寺 ・国宝殿「大悲」た たえ 悲劇生き延 びる	沖 真治	12.7
鎌倉大仏 高德院 度々の天災、乗り 越えた美男	岸根 一正	"	8.3	阿弥陀三尊 浄土 寺・浄土堂 朱と 白の空間、西日で 最高潮	岸根 一正	12.14
金剛力士 興福寺 ・国宝館 小柄な 体みなぎる力強 さ	"	"	8.10	如来形立像 唐招 提寺・新宝蔵 破 損してなお力強い 造形美	沖 真治	12.21
地藏菩薩 安産寺 住民が守り継ぐ 山里の「宝」	沖 真治	"	8.24	興福寺 国宝特別公 開 2013 南円堂 公 開 1200年の扉 伽 藍の記念碑的な存在 天平以外の歴史も多 彩 慶派傑作ずらり	多川 俊映 千葉 望 対談 小滝 ちひろ 構成	" 4.7
阿弥陀如来 平等 院鳳凰堂 末法の 時代 唯一の「救済 者」	沖 真治	"	9.7	文化の扉 はじめて の運慶 追真の仏像 今にも動き出す 仏 師東ねた頼れるボス	小滝 ちひろ	" 4.29
雲中供養菩薩 平 等院鳳凰堂 極楽 浄土 歌舞音曲で 満たす	"	"	9.14	極楽浄土に舞う「天 上の舞 飛天の美」展 平等院鳳凰堂の国宝 含む名品ずらり	大西 若人	" 11.21
白杵磨崖仏 古園、 山王山、ホキ第一 ・第二の4群 凝 灰岩の壁に4群 多様な59体	岸根 一正	"	9.21	天下逸品 快刀欄間 かっこいい「波の伊 八」の社寺彫刻 千 葉県・房総半島南部	小川 雪	朝日夕刊 11.26
公慶上人 東大寺 ・勸進所公慶堂 大仏・大仏殿修復 に生涯かける	"	"	9.28	神と仏 宗教文化の 交差点 秘めた本尊 を初公開 祈りの島 五島列島	黒沢 綾子 産 経	7.17
伝薬師三尊石仏 石位寺 ロマンに 彩られた最古級石 仏	"	"	10.12	江戸ふいぎゅあ 今 時も人気 今戸焼の 型 台東区文化財に	村松 権主 鷹 東 京	4.9
薬師如来 勝常寺 都との「距離」感じ ぬ存在感	沖 真治	"	10.19	平等院の本尊 金箔 厚さ20倍 現代と比 較 輝きに浄土への 願い		東京夕刊 2.1
金色堂壇上諸仏 中尊寺「仏国土」 の夢追った藤原三 代	"	"	10.26	ライトアップ[東大 寺執金剛神立像]		" 12.9
十一面観音 道明 寺 道真ゆかり、 代用檀像の秀作	岸根 一正	"	11.2	文化往来 善光寺の 仏像、東京で戦後初 の出張公開		日 経 5.10
釈迦如来 清凉寺 (嵯峨釈迦堂)生き 写しの姿、印中経 て伝来	"	"	11.16	国宝興福寺仏頭展 かつての主従600年 ぶり再会 屈強な個 性派ずらり 風韻に 底知れぬ慈悲	中沢 義則	" 9.7
阿弥陀三尊 三千 院・往生極楽院 在家の信者、仏の 来迎を実感	沖 真治	"	11.23	鑑真和上坐像 制作 の謎 漆少なめ、素 手で成形	川上 寿敏	日経夕刊 5.20
				遠みち近みち 傑作 残った脱活乾漆造	岡松 卓也	" 6.8

平成25年定期刊行物所載文献(古/彫塑)

こころの玉手箱 美術作家 やなぎみわ 4 富山・立山の「おんばさま」	やなぎみわ	日経夕刊	12.12	総合文化展見どころ案内2013年4月・5月 新・東洋館見どころピックアップ! クメールの彫刻 ためいきがでるほど美しい彫刻	浅見 龍介	東京国立博物館ニュース	718
抜群の造形 伝わる折り 東京国立博物館で円空展	伊藤 和史	毎日夕刊	1.23	第66回全国大会研究発表要旨 紀年銘をもつガンダーラ彫刻の年代について	内記 理	美術史	175
善光寺の仏像 両国に 73年ぶり 回向院で「出開帳」	大重 真弓	読 売	4.23	仏像の誕生—異宗教の受容による仏教尊像の生成—	宮治 昭	密教図像	32
北斗七星と七仏薬師信仰習合? 房総	清岡 央	〃	6.5	三弁宝珠の発見とその働き	頼富 本宏	〃	〃
日本史を歩く 臼杵磨崖仏 大分県臼杵市 荘園鎮護のため造立か	池田 和正	〃	12.4	新アッシリアの魔除像について 人間形ヒーローと半人半獣形精霊をめぐって	A. グリーン	MIHO MUSEUM 研究紀要	13
ぎやらりいモール 東京国立博物館本館「飛騨の円空一千光寺とその周辺の足跡」から「金剛力士(仁王)立像 咩形」	浅見 龍介	読売夕刊	2.26	ガンダーラの獅子座型浮彫の図像の新解釈—仏塔階段の生天思想の解明—	田辺 理	早稲田大学大学院文学研究科紀要	58
<b>朝 鮮</b>				ぎやらりいモール 出光美術館「オリエントの美術」から「飾板」	岡野 智彦	読売夕刊	3.5
総合文化展見どころ案内2013年2月・3月 気になるこの部屋・この作品 朝鮮の石像	白井 克也	東京国立博物館ニュース	717	<b>原 始 彫 刻</b>			
四天王像の配置形式における変化原理と朝鮮時代の四天王の名称	朴 韓 銀 脚 政 鎬 正 善 金 訳	美術研究	409	<b>日 本</b>			
第66回全国大会研究発表要旨 高麗時代における「被帽地蔵」の図像受容に関する考察—対馬伝来・九州国立博物館像の位置づけをめぐって—	大澤 信	美術史	175	謎多き円筒埴輪、ふたび。	市川 創 華 火	166	
高句麗千仏信仰の系譜—延嘉七年造像銘の検討—	門田 誠一	仏教大学歴史学部論集	3	和歌山県の銅鐸形土製品	仲原 知之	紀伊風土記の丘年報研究紀要*	39
<b>そ の 他</b>				資料紹介 赤羽台4号墳出土埴輪	安武由利子	北区飛鳥山博物館報告	15
ガンダーラの「アームラパーリー」によるマンゴー園寄進図の再考察—図像の典拠と水瓶をめぐって—	田辺 理	オリエント	56-1	土偶研究とジェンダー考古学(II)	小野美代子	埼玉県埋文調査団紀要*	27
研究ノート 彫刻技術に基づいたインダス式印章の分類	小茄子川歩	〃	〃	発生期土偶に関する覚書—相谷熊原土偶の出土以前、以後—	松室 孝樹	滋賀県文化財保護協会紀要	26
建築文化資源の評価と活用[インド・マハーラーシュトラ州石窟寺院]	森 雅 秀 矢口 直道 編集	金沢大学文化資源学研究	8	土偶とは何か—図像に残された意図から用途と役割を探る—	瀬口 眞司	〃	〃
ポスト・グプタ朝時代における四臂観音について	橋村 愛子	金沢大学文化資源学研究	12	2012年度秋季展 土偶・コスモス[講演録]	小林 達雄	秀明美術	20
				垂仁天皇 菅原伏見東陵採集の埴輪について	加藤 一郎	書陵部紀要	64
				蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」—特に著保内野遺跡出土国宝「土器」との比較から—	阿部 千春 西脇対名夫 竹田 幸司	仙台市博物館調査研究報告	32・33

関西大学博物館所蔵  
上中条出土人物埴輪  
(MY-K2006巫女)  
について

犬竹 和 阡 陵 67

縄文の力

太陽(別冊) 212

Dogu 土偶の美  
—その形と心

阿部 昭典

縄文の力 column  
008 おばあさん  
の子抱き土偶

小野 正文

総合文化展見どころ  
案内2013年12月・20  
14年1月 本館 日本  
に出会う 古墳時代  
のセレブ女子?重文  
埴輪 盛装の女子

古谷 毅 東京国立  
博物館ニ  
ュース 722

興野コレクションの  
土偶 2—嘉倉貝塚・  
倉崎貝塚—

佐藤 憲幸 東北歴史  
博物館研  
究紀要 14

ミュージアム・コレ  
クション

本 郷

楽人埴輪の逸品

相川 之英 105

ミュージアム・コレ  
クション 胡座  
をかく正装男子

高野 政昭 106

そ の 他

研究ノート 目の偶  
像／ハット・シンボ  
ルから見た銅石器時  
代後期の画期—出土  
状況・分布・図像を  
手がかりにして—

三宅 慶 筑波大学  
先史学・  
考古学研  
究 24

面

日 本

大福遺跡出土の仮面  
状木製品について

丹羽 恵二 纏向学研  
究センタ  
ー 1

制作研究・事業実績  
早稲田大学演劇博物  
館連携研究 東京国  
立博物館所蔵 法隆  
寺献納伎楽面「呉公」  
復元模刻

東京芸大  
保存修復  
彫刻年報\* 2012年度

資料紹介 能面  
狸々 是閑吉満作  
当館蔵

茨木 恵美 彦根城博  
物館だよ  
り 101

ドイツ・州立ミュン  
ヘン民族学博物館所  
蔵の伎楽面と舞楽面  
について

神野 祐太 仏教芸術 331

春秋[能面]

日 経 5.26

ドイツに飛鳥時代の  
伎楽面 舞楽面の断  
片も、法隆寺からの  
流出か

読 売 2.13

書 蹟

東 ア ジ ア

仏塔・仏像を礼拝す  
ると、なぜ功德があ  
るのか?—スリラン  
カから慶派にわたる  
陀羅尼経の存在—

馬場 紀寿 B I 6

中 国

第2特集 王羲之

聚 美 6

王羲之の書と日本  
での受容

島谷 弘幸

王羲之の功罪 書  
聖の実像と後世へ  
の影響

富田 淳

王羲之の最高傑作  
「蘭亭序」

鍋島 稲子

趙孟頫の草書の側  
面について—行草書  
における草草体の混  
用表現を中心に—

陳 建志 書芸術研  
究 6

陳淳の狂草書の特  
質について—上海博  
物館蔵「草書岑參詩  
軸」を中心に—

吉澤 太雅 " "

梁同書の行草書に  
みる董其昌と金石

田野倉美貴 " "

筠清館法帖と吳榮光  
の金石学

西山 優 " "

行穰帖について

富田 淳 書 道 界 278

捐贈本「大報帖」—東  
博特別展「書聖王羲  
之」で公開 王羲之  
新資料現る

" 279

敦煌講經文類と『東  
大寺誦誦文稿』より  
見た講經に於ける孝  
子譚の宣唱

荒見 泰史 敦煌写本  
研究年報 7

『瑠璃堂墨客図』覚書  
—「句図」・詩人番付  
と日本伝存資料

永田 知之 " "

国立国会図書館所蔵  
の敦煌道教写本

神塚 淑子 名古屋大  
学文学部  
研究論集 177

戎も歩けば beau[ボ  
ー]に当たる 第42  
回 逃げ水

竹田 博志 美術の窓 355

有鄰館本維摩疏釈前  
小序抄放—第31号  
「符堅迎鳩摩羅什事」  
について—

黒田 彰 仏教大学  
文学部論  
集 97

大東急記念文庫蔵敦  
煌文献来歴小考

岩本 篤志 立正史学 114

美の履歴書

宮代 栄一 朝日夕刊

292 なぜこれほ  
ど尊ばれるのか  
「行穰帖」王羲之

2.13

平成25年定期刊行物所載文献(古/書蹟)

304 日本人好みのわけは「九成宮醴泉銘」欧陽詢	5.15				図版解説 平安京右京三条一坊六町(藤原良相西三条第)出土の仮名墨書土器	鈴木 景二	古代文化	592	
330 どこが新しいのか「隸書登黄鶴楼和畢制府韻詩軸」鄧石如	11.13				鑑賞の勘どころ(13) 一和様の書一	島尾 新仁 松島 聞き手	国華清話 会報	22	
王羲之の写し国内で発見 4世紀、中国の「書聖」唐代に制作か	1.8	日経夕刊			『定家物語』の断簡	名兄耶 明	五島美術 館研究紀 要	1	
王羲之の模本「大報帖」発見 遣唐使が名筆運ぶ 手鑑で受け継がれ	1.8	毎日	桐山 正寿		卷子装の平家物語—「長門切」についての書誌学的考察—	佐々木孝浩	斯道文庫 論集	47	
王羲之の模本発見 唐代作 書風解明に手がかり			〃	〃	最新科学で書を鑑定する vol.6~9	池田 和臣	聚 美	6~9	
書の世界「唐時代の書、徹底解剖!!」「唐時代の書」展 拓本から古典の息吹	5.23	毎日夕刊	〃		特集 和様の書 和様の書の魅力 和様の祖「小野道風」受容史	島谷 弘幸 恵美千鶴子		8	
日 本									
館蔵品紹介 後小松天皇筆『詠百首倭哥』	164		別府 節子	出光美術 館館報	第1回 私の良寛発見の経緯	新関 公子			
愛媛県松山市保良・薬師寺所蔵の大般若経について	18		土居 聡明	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	第2回 天領出雲崎の発展と良寛の父以南の登場			9	
『梁塵秘抄』卷二相伝者の肖像統考—伝正韵筆古筆切二種紹介—	61-2		小野 恭靖	大阪教育 大学紀要	「深窓秘抄」筆者考—「高野切」第一種との比較を中心として—	星子 桃子	書芸術研 究	6	
収蔵資料紹介 伊庭貞隆書下	83		高木 叙子	おおてみ ち	平安京・藤原良相邸跡出土の難波津の歌木簡と仮名墨書土器	森岡 隆	書道界	281	
鎌倉の至宝(14) 国宝 蘭溪道隆墨蹟 法語規則 鎌倉時代 2 幅	114		坪内 綾子	鎌 倉	大東文化大学所蔵日本書跡解題(監修・安達直哉教授) 冷泉為恭書状(喜平次君宛)	高田 智仁	書道学論 集	10	
「宸翰 天皇の書」を観て	178		橋本 雄	京都国立 博物館だ より	豪潮の細楷—「弘法大師念仏法語」—	古谷 稔		〃	
小島成斎の虞法	18		田村南海子	芸術学研 究(筑波)	伝藤原公任筆古今和歌集の書風に関する一考察	野中 直之		〃	
大特集 よみがえるスーパー禅僧白隠	757			芸術新潮	江戸時代の書物と雑体篆書	岩坪 充雄	書物・出 版と社会 変容	15	
太さの思想、斜線の批評 破調の書が秘めるもの			石川 九楊		会員通信 浅間神社所蔵の重要文化財	古屋 真孝	全文連文 化財通信	90	
手紙から見える素顔			ノーマン・ワデル		白隠 衆生本来仏なり 白隠の書の魅力	笠嶋 忠幸	太陽(別 冊)	203	
古筆切資料としての伝世尊寺行俊筆「長門切」—伝称筆者と名物切の名称について—	1279		中村健太郎	国学院雑 誌	伊勢神宮 悠久の歴史と祭り 神宮に伝わる国宝 玉篇 巻第廿二	窪寺 恭秀		〃	
文字資料としての詩短冊—三条西実隆とその周辺—			堀川 貴司		禅宗文化における大徳国師墨蹟の研究—筆跡の検討を中心に—	宮武 慶之	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度	

今月の表紙「湯木美術館の名品」より石山切(伊勢集)伝藤原公任筆	谷端 昭夫	淡 交	825	歌木簡の成立 紙木併用時代の「木簡」とその意味	多田 伊織	万葉古代学研究所 年報	11
特集陳列 平成24年度新収品		東京国立博物館ニュース	719	「歌木簡」からの可能性	渡部 亮一	〃	〃
了佐切 一行書「花開万国春」	恵美千鶴子			木簡の歌と歌語り一歌の儀礼を視野に入れて一	遠藤 慶太	〃	〃
総合文化展見どころ案内2013年8月・9月 本館 日本に出会う 本館で楽しむ和様の書 国宝 和歌体十種	恵美千鶴子	〃	720	地方官衙と歌木簡一秋田城跡出土木簡をめぐって一	竹内 亮	〃	〃
良寛旅日記断簡「はこの松は」について一播磨国加古郡寺家町・薬王山常住寺と「加古の松」一	下田 藤本 祐輔 典子	徳島文理大学文学論叢	30	『家熙公御書翰』略解題・翻刻(上)附 近衛家熙筆書状に見る空海筆『風信帖』の影響	恵美千鶴子	MUSEUM	644
正倉院蔵『王勃詩序』中の「秋日登洪府滕王閣餞別序」について	道坂 昭廣	敦煌写本研究年報	7	万葉集古筆切の世界一仙覚の訂正訓を書き入れた古筆切一	田中 大士	目の眼	436
資料解説 武田晴信書状	傳田 伊史	長野県立歴史館研究紀要	19	祖師野八幡宮所蔵大般若経奥書調査概報	新井 浩文	文書館紀要[埼玉県立文書館]	26
平成24年度新収館蔵資料紹介 浅井長政書状 阿閉甲斐守宛		長浜城歴史博だより*	38	長沙呉簡中の生口売買と「估銭」徴収をめぐって一「白」文書木牘の一例として一	伊藤 敏雄	歴史研究	50
弘長三年東寺観智院金剛藏所蔵「仁和寺興隆俊約等條々」について一鎌倉中期の仁和寺御室一	稲葉 伸道	名古屋大学文学部研究論集	176	日本史のひろば 平安時代の仮名の出土史料	鈴木 景二	歴史と地理	665
展示品のみどころ 称讃浄土仏撰受経	斎木 涼子	奈良国立博物館だより	85	特集古典籍再発見		歴 博	178
口絵 白氏詩卷	高橋 裕次	日本歴史	776	中国からやってきた書物たち一唐の詩人白楽天の詩巻を中心に一	静永 健		
研究ノート 小倉色紙「天の原」の付属資料について	中部 義隆	美のたより	184	平安・中世和歌史と高松宮家伝来禁裏本	酒井 茂幸		
平安文学におけるかな書道一『紫式部日記』にみる書道観一	南條 佳代	仏教大学総合研究所紀要	20	書道史からみた天皇の書	羽田 聡		
北野社一切経の底本とその伝来についての考察	馬場 久幸	仏教大学総合研究所紀要別冊*		早稲田大学図書館所蔵佐佐木忠慧旧蔵資料目録	早稲田大学図書館特別資料室	早稲田大学図書館紀要	60
正倉院宝物の「除物」出蔵文書をめぐる諸問題	三宅 久雄	文化財学報	31	美の履歴書		朝日夕刊	
研究論文 新発田藩瀧口家旧蔵の大燈国師墨蹟について一物我両忘と日山賦を中心に一	宮武 慶之	文化情報学	11	296 意味は伝わったのか「天地二大字」良寛	大西 若人		3.13
表紙 河内本源氏物語筆者目録		蓬 左	87	319 何のために書かれたのか「白氏詩卷」藤原行成	宮代 栄一		8.28
				日本の書	手島 泰六	産 経	
				古代篇4~12			1.12、2.2、3.2、4.6、5.11、6.1、7.6、8.3、9.7
				13~15 中世篇1~3			10.5、11.2、12.7

平成25年定期刊行物所載文献(古/書蹟)

尾張徳川家の至宝 私の1点 3 重要 文化財藤原定家書状 「山門状」壮大なクラ シックを聴くよう	武田 双雲	東京夕刊	1.24	日本古文書学会 第 45回学術大会要旨 中世興福寺における 「良家」の相承と門跡 一東院「僧正憲信置 文」を中心に一	高山 京子	〃	〃
書的美	島谷 弘幸	毎日	4.7,4.14, 4.28,6.9, 6.16,6.23, 6.30,7.7, 7.14,7.21, 7.28,8.4, 8.11,8.18, 9.1,9.15	口絵解説 皇年代記 (大東家本)	松村和歌子	〃	〃
「和様の書」展 男性 的書きぶり	菅原 教夫	読売夕刊	7.18	斎宮殿部司の性格に ついて	榎村 寛之	斎宮歴史 博物館研 究紀要	22
				斎宮跡出土の平仮名 墨書土器とその背景	新名 強	〃	〃
				赤松円心の花押と関 係文書の筆跡	前田 徹 塵 界		24
				「御奥方格式」につい て一美術工芸的アプ ローチー	高橋あけみ	仙台市博 物館調査 研究報告	32・33
				「葦名鞠負戊辰記事」 に関する一考察	栗原伸一郎	〃	〃
				植田孟縉と日光一 『日光山志』はこうし て生まれた一	馬場 喜信 大 日光		83
				表千家九代了々斎の 茶の湯一文化・文政 期の茶会を中心に (前)一	砂川 佳子	茶の湯文 化学	20
				那覇市歴史博物館所 蔵の拓本資料の整理 について一目録記述 を軸として一	川島 淳	壺屋焼物 博物館紀 要	14
				資料紹介 大学院所 蔵「永原村文書」目録 と解題	中根 麻貴	帝塚山大 大学院紀 要*	15
				『延喜式』における聖 僧	柴田 憲良	天台学報	55
				真福寺資料に見られ る漢字の通用現象に ついて 其の2	高橋 久子	東京学芸 大学紀要	64
				史料紹介 西尾市岩 瀬文庫所蔵「東寺造 宮方評定引付」	貫井 裕恵	東京大学 史料編纂 所研究紀 要	23
				史料紹介『止戈枢要』 (1)	近藤 好和	刀剣美術	683
				研究ノート 八幡林 遺跡出土木簡積文の 再検討	浅井 勝利 央 相沢	新潟県立 歴史博物 館研究紀 要	14
				中世前期古文書料紙 論の現状と展望	永井 晋	日本史研 究	607
				元録八年九月石和見 聞志 水戸藩彰考館 大串元善著	白井伊佐 牟 彰夫 岡本	日本文化 史研究	44
				口絵(永正11年)5月 21日付 三条西実隆 書状	小森 正明	日本歴史	780
				口絵 江川家宛本国 寺住持等発給書状	地主 智彦	〃	783
<b>古文書・古記録</b>							
<b>東アジア</b>							
研究ノート 東アジ ア木簡学の視点	藤田 高夫	東アジア 文化交渉 研究	6				
<b>中 国</b>							
舍利石鉄墓誌の研究	森部 豊 齊藤 茂雄	関西大学 東西学術 研究所紀 要	46				
仏陀波利訳「仏頂尊 勝陀羅尼」の変遷に 関する一考察	下野 玲子	多摩美術 大学研究 紀要	27				
書聖にちなむ縦簾紙	久米 康生	百万塔	145				
<b>日 本</b>							
史料紹介 法隆寺開 帳に関する一史料一 中西文庫「斑鳩ミヤ げ」について一	伊藤 純	大阪歴史 博物館研 究紀要	11				
史料翻刻 信光明寺 所蔵「三河国浄土宗 寺院由緒書」	堀江登志実	岡崎市美 術博物館 研究紀要	5				
湛睿著『随自意抄』復 元試論(1)	道津 綾乃	金沢文庫 研究	330				
建長興国禅寺碑の紹 介と分析	大塚 紀弘 古田土俊一	鎌 倉	114				
空海漢詩文研究「故 贈僧正勤操大徳影讚 并序」考	中谷 征充	高野山学 密教文化 研究所紀 要	26				
史料紹介		古文書研 究					
冷泉家旧蔵本『兵 範記』仁安元年十 二月記・仁安三年 八月記の復原	石田 実洋		74				
細川文庫「藤孝事 記」について	井手麻衣子		75				

特集「近代井伊家の道具帳」		彦根城博物館研究紀要	23	6 天柱山の摸刻			280
近代井伊家の道具帳について 附史料解説 近代井伊家の道具管理台帳	渡辺 恒一 高木 文恵 野田 浩子 奥田 晶子			表紙・新シリーズ解題 曲阜のスター碑 漢魏碑刻陳列館	〃	〃	281
井伊家伝来古文書と典籍の伝来について	野田 浩子			表紙解説 曲阜のスター碑—漢魏碑刻陳列館—1～9	〃	〃	281～289
天理図書館蔵「伝俊成筆源氏物語鈴虫巻」—「尾州家河内本源氏物語」との対校から—付稿『大成』収録「俊」本再考	岡嶋偉久子	ビブリア	139	総合文化展見どころ案内2013年6月・7月 東洋館 アジアを旅する 始皇帝のハンコの痕か!? 「皇帝信璽」封泥	川村 佳男	東京国立博物館ニュース	719
紙百態 反古紙	河野 徳吉	百万塔	144	北朝石刻資料選注(3)	「北朝石刻資料の研究」班	東方学報 京都	88
京都の紙 第1、2章	〃	〃	144,145	唐初期の西方経営と西突厥阿史那氏について—阿史那懐道夫妻墓誌を手掛かりに—	石川 澄恵	日本女子大学大学院文学研究科紀要	19
口絵解説 国宝 醍醐寺文書聖教	池田 寿	文化財*	597	遷都後の北魏墓誌に関する補考	窪添 慶文	東アジア石刻研究	5
特集古典籍再発見 史料現物を見るということ—古代・中世史料の調査の現場から—	渡辺 滋	歴 博	178	2008—2012新獲隋代墓誌銘整理報告—『隋代墓誌銘彙考』以後の新発見—	王 梶山 智史	〃	〃
研究ノート 紀州池田荘金剛寺旧蔵大般若経の流転	竹中 康彦	和歌山県立博物館研究紀要	19	大唐西市博物館所蔵墓誌の整理と唐研究上の意義	柴 梶山 智史	〃	〃
早稲田大学図書館所蔵『諸家文書写』の紹介		古典籍の会(代表宮崎肇)	60	北周宇文護執政期の地方統治体制—「延寿公碑」からみた河東地域—	会田 大輔	〃	〃
読めなくても面白い古文書の世界 歴博で大規模企画展	磨井 慎吾	産 経	11.13	調査報告 2012年度海外調査「雲南遺跡調査の旅」報告—雲南石刻調査を中心に—	氣賀澤保規	〃	〃
木簡を記録した木簡 7世紀末 文字の解説巡り議論	早川 保夫	読 売	1.23	史料紹介 稀見北朝墓誌輯録	梶山 智史	〃	〃
<b>金石文など</b>							
<b>中 国</b>							
契丹(遼)と10～12世紀の東部ユーラシア遼帝国の出版文化と東アジア	磯部 彰	アジア遊学	160	戌も歩けば beau[ポー]に当たる 第44回 無がやってきた!	竹田 博志	美術の窓	357
				<b>日 本</b>			
化度寺碑再考—(敦煌本)翻刻説をめぐって—	横田 恭三	跡見学園女子大学文学部紀要	48	資料紹介 福岡県立筑紫丘高等学校所蔵の瓦経片	岡寺 吉	九州歴史資料館研究論集	38
永青百冊 第18～22冊	高橋 智	永青文庫	81～85	稲荷山古墳出土鉄剣銘の再検討	荊木 美行	皇学館論叢	274
南宋墨蹟の押印	佐野 光一	国学院雑誌	1279	資料紹介『画図 和漢松用集』と林園苑	石沢 俊	神戸市立博物館研究紀要	29
表紙解説 鄭書の憂鬱—鄭義下碑翻刻三本—	日守菜穂子	書 道 界		柳亭種彦『骨董集ほりかひ』考	金 美眞	国語と国文学	1081
閑話休題 鄭書に関する新情報 2、3			278,279	大行寺信暁の一枚刷	和田 恭幸	国文学論考	49

口絵解説 東寺御影堂牛玉宝印板木一枚	地主 智彦	古文書研究	74	「漢委奴国王」金印真偽の謎 彫刻技術江戸に近似 時代ごとの形状に沿う シンボで直接対決	早川 保夫	〃	2.13
表紙写真解説 吉見町下細谷薬師堂 年不詳阿弥陀三尊板碑断片	鳩山	埼玉史談	312	<b>朝 鮮</b>			
閑叟公書画用印について	閑叟公遺墨研究会	佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要	8	6世紀前葉から中葉における新羅の「教」とその主体について	篠原 啓方	東アジア文化交渉研究	6
貫名菘翁の自用印(1)	簗毛 政雄	書道文化	9	<b>そ の 他</b>			
巻末書籍広告の板木改変の一事例—芸艸堂所蔵「尾陽東壁堂製本畧目録」板木二種—	松田 泰代	書物・出版と社会変容	15	ベトナムバクニン省出土仁寿舍利塔銘、及びその石函について	河上麻由子	東方学報 京都	88
第64回(金沢)大会共通論題 問題提起19 板碑研究の現状と課題—珠洲市野々江本江寺遺跡出土の木製板碑をめぐる—	三浦 純夫	地方史研究	365	法隆寺香木バフラヴィー文字刻銘再考	矢島 洋一	奈良女子大学文学部研究教育年報	10
資料紹介 筑波大学所蔵板碑について	鈴間 智子	筑波大学先史学・考古学研究	24	MIHO MUSEUM 所蔵バクトリア遺宝の奉納金板	A. グリー	MIHO MUSEUM 研究紀要	13
東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(10)—幕臣・藩士の蔵書印—	中善寺 慎	東洋文庫書報	44	<b>工 芸</b>			
口絵 地藏菩薩日課印仏(莊嚴寺)	高橋 典幸	日本歴史	777	<b>日 本</b>			
北斎碑刻にみられる復古的書法について	徳泉 さち	美術史研究	51	撰閣家累代御物の成立	渡部 史之	東風西声*	8
再考 神戸市大田町出土刻書円面硯について	森内 秀造	兵庫県立考古博物館研究紀要	6	<b>宗 教 工 芸</b>			
研究ノート 興福寺仏足跡と薬師寺仏足石	谷本 啓	仏教芸術	329	<b>日 本</b>			
墨書土器の吉祥語と史的背景—「天福来」の検討を通じて—	門田 誠一	仏教大学宗教文化ミュージアム紀要*	9	上東門院経箱の内面文様をめぐる一和風文様の起源—	宮川 禎一	学 叢	35
長谷寺法華説相図銅板銘と則天皇后の尊号	東野 治之	文化財学報	31	鎌倉の至宝(15)重要文化財 銅造 梵鐘 鎌倉時代 1口	長谷寺宝物館主任学芸員	鎌 倉	115
会津八一の戦前蒐集品に関する調査報告(3)—伝鳥取県大日寺ほか瓦経3点について—	下野 玲子	早稲田大学會津八一記念博紀要*	14	撰閣期の如法経と経塚	上川 通夫	関西大学東西学術研究所紀要	46
最古の暦 銘文に金福岡で出土の刀 被葬者の地位示す		読 売	1.23	学芸員のノートから No. 99 閻魔王への(からの)贈りもの—有馬の二つの経箱—	問屋 真一	神戸市立博物館だより	104
				舟津神社所蔵・太鼓樽の保存学的研究	関根 辻 理恵三	東京芸術大学美術学部紀要	51
				総合文化展見どころ案内	伊藤 信二	東京国立博物館ニュース	
				2013年6月・7月 法隆寺宝物館 宝物に浸る 飛鳥の美意識を今に伝える 国宝 鶴尾形柄香炉			719



				722		日本			
2013年12月・2014年1月 法隆寺宝物館 宝物に浸る飛鳥の空にきらめく、金色の幡 国宝 灌頂幡									
普光寺(対馬市峰町の金鼓について)	望月 規史	東風西声*	8					春日	90
奈良美術研究会 活動報告2012年度 興福寺西金堂の釈迦集像と華原馨一 道慈の仏像制作をめぐって	森下和貴子	奈良美術研究	14					池田 宏	" "
法具絵図考(1)―「五種鈴之図」について―	関根 俊一	日本文化史研究	44					河野 正訓	考古学雑誌 97-2
『私案抄』にみる卒塔婆の造立	深澤 靖幸	府中市郷土の森博物館紀要	26					宮崎 隆旨	国 華 1414
「神護寺鐘の制作背景に関する一考察―文人貴族と中国文化―」	岡見 理沙	文化財と技術	5					吉田 豊	堺市博物館研究報告 32
修士論文概要「玉虫厨子」宮殿部分の再検討	稲葉 秀朗	早稲田大学院文学研究科紀要	58					鈴木 泉	女子美術大学研究紀要 43
古都ナビ 宝物編	松山 尚幹	朝 日						橋本 英将	東京国立博物館ニュース 720
薬師寺・東塔の水煙			9.29					山崎 会理	長野県立歴史館たより 75
東大寺の梵鐘「大鐘」			12.22					古幡 昇子	彦根城博物館たより 103
探訪古き仏たち 水煙・飛天 薬師寺東塔はるかな塔の頂雲と戯れる	沖 真治	"	11.9					ふじのくにの遺宝 金銅製馬具―原分古墳出土―	ふじのくに考古通信 4
漆金薄絵盤 お香実験 正倉院展に出品		読売夕刊	10.22					徳江 秀夫	埋文群馬 57
至宝を語る 漆金薄絵盤 香の台 華麗なハス	蜂谷 宗玄	"	10.30					吉村 和昭	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要 9
<b>朝 鮮</b>									
百済・威徳王の寺院建立と孝思想―陵山里寺院・王興寺よりみた東アジア仏教文化交流の一側面―	近藤 浩一	京都産業大学日本文化研究所紀要	18					上野 祥史	歴 博 178
特別寄稿 大阪・正祐寺鐘の復元と帰郷	姜 健栄	高麗美術館館報	94					加増 啓二 進藤 津野	早稲田大学八木一記念会誌* 14
<b>そ の 他</b>									
第284回水曜講演会 シュメルの銅製釘人形―日本へ伝播した習慣	小林登志子	出光美術館館報	163					中村 俊介 馬郡 昭彦	朝 日 4.19
								松山 尚幹	" 12.1
								中村 俊介	朝日夕刊 12.2



陶 磁				宋代華北地方の青磁の展開における「東窯」タイプ的位置づけについて		今井 敦	〃	〃
東アジア				北宋華北の淡色青磁の系譜		矢島 律子	〃	〃
静嘉堂文庫美術館 受け継がれる東洋の 至宝 PartIII 「曜変 ・油滴天目一茶道具 名品展」に寄せて	長谷川祥子	陶 説	719	「東窯」研究史		三笠 景子	〃	〃
				関連作品 解説		佐藤サアラ	〃	〃
中 国				出土資料から見た華北の青磁―「出土資料集」編集後記に代えて―		〃	〃	〃
契丹(遼)と10～12世紀の東部ユーラシア コラム 日本に伝わる契丹の陶磁器―契丹陶磁器の研究史的 観点を中心にして	弓場 紀知	アジア遊学	160	出土資料集		〃	〃	〃
元青花磁器の早期類型の新発見―実証的 観点から元青花磁器の起源を論じる―	黄 徽 黄 清華 金沢 陽 訳注	出光美術館館報	164	中国陶磁展によせて 越州窯青磁について		瀧 朝子	美のたより	182
第286回水曜講演会 江戸城・大名藩邸出土の中国陶磁	堀内 秀樹	〃	165	4〔読ん〕で知るアート 茶の湯と美術 唐物をめめた初期の茶		千 宗屋	朝日夕刊	6.12
釉裏紅鳳凰文梅瓶	瀧 朝子	国 華	1410	ぎやらりいモール			読売夕刊	
平成版 中国陶磁見聞録(23)、(24)青花磁器の道をもとめて(前)、(後)	弓場 紀知	紫 明	32、33	松岡美術館「花・鳥―しあわせの予感」から「白釉黒花鳥文壺」		小林真由美		3.19
研究動向 中国官窯制度に関する研究動態―官窯の定義を中心に―	新井 崇之	駿台史学	149	静嘉堂文庫美術館「せいかどう動物園」から『三彩駱駝』および『三彩駱駝曳』		山田 正樹		6.18
				日 本				
南中国海における中国型磁石の研究	小川 光彦	高梨学術奨励基金年報	H24年度	掌中の珠―江戸時代の油壺―		松本百合子	葦 火	162
唐物天目―その評価と美	長谷川祥子	淡 交	826	所蔵品紹介232 色絵鳳凰図平鉢 古九谷			石川県立美術館だより	353
今月の表紙「湯木美術館の名品」より		〃		大瀬川館遺跡と柳田館遺跡出土の陶磁器について		笠原 雅史	岩手県立博物館研究報告	30
紹鷗茄子	谷端 昭夫		831	屋嘉比朝寄の墓調査報告―浦添市前田・経塚近世墓群の調査成果から―		安斎 英介 鈴木 悠 上原 千明 玉那覇有登	よのつち*	9
絵高麗梅鉢文茶碗	倉林 重幸		832	色絵花鳥文大蓋物		後藤 恒	エスプラナード	171
続・曜変考	長江 惣吉	陶 説	719	根香寺所蔵の理兵衛焼		森下 友子	香川県埋蔵文化財センター研究紀要	9
表紙図版解説 金毘羅高足杯	尾野 善裕	〃	728	調査研究ノート vol.14 それは、驚きの仁清初期作だった特別展「いとうるわし。日本の美 京都国立博物館名品展」における共同調査研究より		三好 賢子	香川県立ミュージアムニュース	20
煎茶文化と清朝陶磁	守屋 雅史	〃	〃					
平成24年度総会特別報告『世界の陶磁史研究動向』(要旨)揚州唐城出土の陶磁器	弓場 紀知	東洋陶磁学会会報	78					
館蔵品紹介 午年に寄せて 五彩狩猟文鉢	井上 則子	遠山記念館だより	46					
北宋時代の青磁と汝窯	長谷部楽爾	常盤山文庫中国陶磁研究会報	5					

平成25年定期刊行物所載文献(古/工芸)

平成24年度研究発表 会発表梗概 江戸時 代後期伊万里染付大 皿の研究	楠本 竜崇	学習院大 学哲学会 会報	26	尾形周平「色絵三 生花文急須」(仁阿 弥道八画 兵庫陶 芸美術館蔵)	梶山 博史	721
柿右衛門における定 義の考察	松浦 里彩	国学院雑 誌	1275	色絵三ツ割草花唐 草文六稜大皿	福原 透	722
IMARI/伊万里 ヨ ーロッパの宮殿を飾 った日本磁器 世界 が憧れた伊万里焼	小林 仁 内海 陽子 インタビュ ー・構成	サントリ ー美術館 ニュース	248	特別企画展 鉄釉 巴文瓶子(重要美 術品・愛知県指定 文化財)	小川 裕紀	724
展覧会紹介 特別展 国宝「卯花壺」と桃 山の名陶—志野・黄瀬 戸・瀬戸黒・織部—	赤沼 多佳	聚 美	9	鳴海織部手付鉢(美 濃焼 桃山時代)	(編集部)	725
ヨーロッパの肥前陶 磁器を訪ねて9 パ リ肥前磁器コレクシ ョン	田中 恵子	セラミッ ク九州	49	尾形乾山「色絵紅 葉文透彫反鉢」	福永 愛	726
17世紀前半頃の琉球 陶器に関する考古学 的研究	新垣 力	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度	古九谷再考	嶋崎 丞	720
渥美・湖西窯の窯体 構造と生産展開につ いて	小栗 康寛	田原市博 物館研究 紀要	6	第19回やきもの文化 講座「日本人が愛し たやきもの 第6回 古九谷」より「古九 谷」—その魅力を追 って	荒川 正明	720
江戸時代の長崎の美 術と工芸—平戸・三 川内焼の研究	泉 滋三郎	多摩美術 大学研究 紀要	27	有田の窯跡にみる古 九谷	村上 伸之	720
特別読物 絵のある やきものをたどる	鈴木しおり	淡 交	828	古九谷は加賀と肥前 でつくられた(前)、 (後)	田嶋 正和	720,721
今日の表紙「湯木美 術館の名品」より		〃		兵庫陶芸美術館「尾 形周平展」に寄せて 尾形周平に関する新 知見	〃	721
緑釉割山椒向付 道入作	倉林 重幸		830	唐津焼における古武 雄の位置づけ	鈴木由紀夫	722
備前筒花入 銘 「残月」	内田 彩加		835	巡回展「江戸のモダ ニズム 古武雄〜ま ぼろしの九州のやき もの」展に寄せて	遠藤 啓介	723
黄瀬戸建水 銘 「大脇指」	谷端 昭夫		837	肥前における三島手 の変遷—窯跡出土資 料を中心として— (1)~(8)	東中川忠美	721~724, 726~729
学位論文要旨 わが 国16、7世紀におけ る景德鎮民窯を中心 とした青花磁器受容 の様相	中路のぶ代	帝塚山大 大学院紀 要*	15	天草陶石と上田家七 代上田宣珍	平田 豊弘	722
総合文化展見どころ 案内		東京国立 博物館ニ ュース		再生、瀬戸の陶祖・ 藤四郎	長江 惣吉	723
2013年6月・7月 本館 日本に出会 う 細密な地文様 が幻想的 色絵三 壺文皿	今井 敦		719	清水六兵衛家の調査 報告「陶家の蒐集と 制作I 清水六兵衛 家—京の華やき—」 展に関連して	佐藤 一信	724
2013年12月・2014 年1月 本館 日 本に出会う 長次 郎の四角い茶碗 重文 黒楽茶碗 銘ムキ栗	横山 梓		722	第20回やきもの文化 講座 「日本人が愛 したやきもの 第7 回 織部焼—町衆の 器」より 織部焼— 町衆の器	竹内 順一	725
表紙図版解説		陶 説		考古学から見た名物 瀬戸茶入(1)~(4)	井上喜久男	726~729
染付竹虎文大皿	荒川 正明		720			

再興万古焼における 臘脂釉の歴史的背 景とその意義	森 一蔵	〃	729	御所丸茶碗 銘 「藤井」追銘「由貴」	内田 彩加	827
近世考古学と陶磁史 研究	渡辺 芳郎	東洋陶磁	42	大井戸茶碗 銘 「対馬」	倉林 重幸	836
ガレオン貿易の肥前 磁器—2つの大洋を 横断した日本のやき もの—	野上 建紀	〃	〃	特集陳列 平成24年 度新収品 無地刷毛 目茶碗 銘 冬頭	三笠 景子	東京国立 博物館ニ ューズ 719
北九州市水晶山系窯 跡群表探の須恵器— 重ね焼きからみた須 恵器生産体制の側 面—	太田 智	七隈史学	15	韓国陶磁つれづれ私 記(65)～(70)扶安の 窯(16)～(21)	吉良 文男	陶 説 718～723
口絵 岳ノ谷窯跡群 出土越前陶器	村木 二郎	日本歴史	782	「天下第一 翡色青 磁」展を見て	伊藤郁太郎	〃 719
第66回全国大会研究 発表要旨 青木木米 作《色絵金襴手百仙 図輪花鉢》について	福永 愛	美術史	175	『宣和奉使高麗図経』 における翡色青磁の 実像	〃	〃 720
酒器を愛した偉人た ち 第1回 鈍翁 益田孝	白洲 信哉	目の眼	441	表紙図版解説 青花 月兔文栗鼠耳角扁壺	西田 宏子	〃 723
柴田藤兵衛家の蔵内 陶磁器資料—地域社 会の近世考古学とし て—	高橋 拓	山形大学 歴史・地 理・人類 学論集	14	第21回やきもの文化 講座「日本人が愛し たやきもの 第8回 李朝染付」より 朝 鮮時代陶磁史におけ る青花磁器	伊藤郁太郎	〃 726
近世陶磁器からみた 東泉院の活動	佐藤 祐樹	六所家総 合調査だ より	12	特集 韓国の茶文化 高麗時代の青瓷と茶 文化	張朴 訳 南原 珉廷	野村美術 館研究紀 要 22
4〔読ん〕で知るア ート 茶の湯と美術	千 宗屋	朝日夕刊	6.19、 6.26	その他		
自由な作陶「古武雄」 あり 素朴な唐津焼 と異なる色彩・文様 に心奪われ半世紀	中島 宏	日 経	3.25	タイ中北部ピサヌロ ーク出土資料調査 (第2回)	向井 互	金沢大学 文化資源 学研究 12
美の美 関西数寄者 の眼 上	中野 稔	〃	5.19	アブー・ナスル・ア ル・バスリー作 押 し型裝飾鉛釉断片	榊屋 友子	国 華 1416
ぎやらりいモール 戸栗美術館「小さな 伊万里焼展～小皿・ 猪口・向付」から「染 付 兎形皿」	金子真理絵	読売夕刊	8.27	出光美術館「中近東 センター改修記念 オリエントの美術」 に寄せて オリエ ントの美術—出光美 術館のオリエントコ レクション	岡野 智彦	陶 説 718
朝鮮				カイロに運ばれたヴ ェトナム陶磁器	弓場 紀知	〃 725
高麗美術館コレク ション名品展Ⅰ 朝鮮 やきものと木工芸— 日本の「民芸」との関 わり	李 須恵	高麗美術 館館報	95	陶磁器に貿易網の一 端浮かぶ インドネ シア 日本のNPO が調査	中村 俊介	朝日夕刊 7.22
アート・レビュー 高麗青磁 その繊細 な優雅さ	李金 訳 昭玲 明順	コリアナ	20-1	土 器		
韓半島産陶器の考古 学的研究—窯業生産 からみた高麗時代か ら朝鮮時代の変化様 相—	主税 英徳	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度	日 本		
今月の表紙「湯木美 術館の名品」より	淡 交			秋田県漆下遺跡出土 縄文時代後期土器群 の変遷案について— 入組文とそれに類す る文様変遷—	菅野美香子	秋田県埋 藏文化財 センター 研究紀要 27
				白き清浄の器—住吉 行宮跡出土の白色土 器—	市川 創 葦 火	164

大型方形周溝墓の発見!長原遺跡の発掘調査より	田中 裕子	葦 火	165	考古 高山寺式土器	兵頭 勲	歴博だより	74
西日本への浮線文土器と舟形土器・容器の波及	久田 正弘	石川県埋蔵文化財情報	30	人面土器 縄文期の祭事用か 青森で出土		読 売	9.4
須恵器でも、甕でもなくて一鹿大構内遺跡出土の陶質土器有孔広口小壺一	橋本 達也	鹿児島大学総合研究博物館ニュース*	32	その他			
庄名町字川端地内出土の縄文土器について	事務局	郷土誌かすがい	72	ベトナム北部の一括出土銭の調査研究 2 II 研究編 第4章 一括出土銭の容器の編年の位置づけ	菊池 誠一	昭和女子大学国際文化研究紀要	16
縄文時代の男性的シンボルに関する基礎的研究:ファロス付注口土器の展開(上)	坂口 隆	考古学雑誌	97-3	瓦			
学芸員ノート「弥生土器の美」	中山 浩彦	埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	21	中国			
近江地域における百済系土器の一樣相一草津市谷遺跡出土盃形土器について一	辻川 哲朗	滋賀県文化財保護協会紀要	26	明朝系瓦と琉球近世瓦の名称	上原 静	壺屋焼物博物館紀要	14
伊東市竹の台遺跡出土墨書土器の再評価一式内社葛見神社神戸集落の検討一	勝又 直人	静岡県埋文研紀要*	2	中国の古代瓦一饜饕紋半瓦当一	太田 三喜	天理参考館報	26
資料紹介 岩折遺跡出土ヘビ形把手付縄文土器	猪狩 俊哉	市民と博物館	106	明治大学博物館所蔵の遼瓦について一島田正郎コレクションから一	森本 尚子	明治大学博物館研究報告	18
連載 歴史と美の探訪13 火焰文透窓土器の渡来一倭国と加耶の交流一	大橋 信弥	紫 明	33	日本			
加曾利 B1 式土器の細別と文様構成の成り立ち一鉢形土器・浅鉢土器の分析を中心に一	吉岡 卓真	駿台史学	148	資料紹介 胎土からみる九頭神魔寺出土瓦一関西大学博物館所蔵資料の紹介一	中東 洋行	関西大学博物館紀要	19
縄文の力		太陽(別冊)	212	古代遠江における平瓦と丸瓦	武田 寛生	静岡県埋文研紀要*	2
Jomon Vessels 縄文土器の美一煮炊き用から呪術用まで	今福 利恵			資料紹介 武蔵国分寺出土文字瓦(平塚運一氏コレクション)		島根県立古代出雲歴史博物館NEWS	26
column 012 獣面把手一諸磯式土器様式にみられるイノシシの顔	関根 慎二			第I部 寧楽美術館所蔵瓦の研究		帝塚山大学考古学研究所研究報告	15
研究ノート 岩手県岩手郡滝沢村大釜館遺跡出土の字田型甕について	井上 早野	筑波大学先史学・考古学研究	24	資料 研究報告 寧楽美術館資料 山村魔寺の瓦考	甲斐 弓子		
「門上秀叡・千恵子コレクション」における厨子溶着煙管の検討	吉田 健太	壺屋焼物博物館紀要	14	生駒山、矢田丘陵周辺に行基寺院出土瓦	清水 昭博		
寄贈資料紹介 5 河芸町三行地内出土の須恵器	村木 一弥	まいぶん津	11	第II部 播磨地域における瓦の研究		" "	
				明石・高丘窯の屋瓦と鷗尾	井内 潔		
				平城京内における播磨産瓦出土の背景について	原田憲二郎		
				大和片岡地域の瓦一帝塚山大学附属博物館所蔵資料の紹介一	伊藤 真琴 河村 卓 田中 雪樹 西垣 野 清水 昭博	帝塚山大学院紀要*	15



古墳時代中期における同型鏡群の系譜と製作技術	辻田淳一郎	史 淵	150	いにしえからの贈り物 多くの孔をあけた青銅製の鏝	(牛山)	ぼいす	31
内行六花文鏡が出土小坂谷古墳群(美方郡新温泉町対田)		ひょうごの遺跡	87	中国オールドス式鋳型滋賀で出土 銅剣伝来 日本海ルートか			
特集 いにしえの暮らしと動物 鏡の中の動物たち		ふじのくに考古通信	4	国内初、弥生中期—古墳時代「思いがけぬ発見」研究者に波紋		産 経	8.9
宝飾鏡の文様にみる天平文化の特質	安藤真理子	文化情報学	8-2(別冊)	滋賀・上御殿遺跡 国内初の銅剣鋳型出土 青銅器流入新ルート? 朝鮮經由せず中国と交流か		東 京	8.9
林裕己氏蔵三角縁神獸鏡と伝葦北郡出土鏡	森下 章司	横浜ユーラシア文化館紀要	1	国内例ない銅剣鋳型 中国式に類似 弥生の交流再考迫る 滋賀で出土 朝鮮半島にもないタイプ「系譜にない」謎だらけ			
城の山古墳から出土の「盤竜鏡」「大和政権から渡った」		産 経	1.16		矢追 健介	毎 日	8.9

青 銅 器

中 国

館蔵中国青銅器実測図・拓本選(31)~(34)	徐 天進	出光美術館館報	162~165
中国古代の青銅器—“不思議?ピッキリ!おもしろい?きつと?!”	八波 浩一	〃	163
出光コレクションの原始・古代青銅器・玉器・陶器コレクション—未公開作品を中心に(1)	〃	出光美術館研究紀要	18
漢代漢国における貯貝器の型式変化にみる普遍性と独自性	梶山 勝	古代文化	593
犧尊	川村 佳男	国 華	1418
商周期における青銅蠡の鋳型技術について	張丹羽 廣川 昌平 崇史 守	泉屋博古館紀要	29
泉屋博古館所蔵の「亞長」銘銅鉞について	崎川 隆	〃	〃
尾張徳川家の至宝 私の1点 2 古銅砧形花生 使用すること美しく	池坊 専永	東京夕刊	1.23

日 本

土鋳型鋳造法の特質を活かしたブロンズ彫刻の制作 銅鐸の形態に基づいた造形表現	劉 治国	芸術学研究(筑波)	18
学芸員が選ぶ、私のイチオシ館蔵品 青銅器を鋳造した鋳型	多賀 茂治	兵庫県立考古博物館 NEWS	11
ふじのくにの遺宝 小銅鐸—青木原遺跡出土—		ふじのくに考古通信	5

刀 剣 ・ 刀 装

中 国

研究ノート 東京国立博物館所蔵『諸家名劍集』について	立道 恵子	MUSEUM	642
----------------------------	-------	--------	-----

日 本

陸前高田市立博物館所蔵被災蔵手刀の金属考古学的解析	赤沼 英男 熊谷 賢	岩手県立博物館研究報告	30
サムライの魂—日本刀—	平川 毅	おおいた 歴博	39
館蔵資料紹介 大小鐔 牡丹図		岐阜市歴史博物館 博物館だより	83
名刀鑑賞		刀剣美術	
重要刀剣 太刀 銘 貞真(古一文字)	石井 彰		672
特別重要刀剣 短刀 銘 則国(粟田口)	〃		673
特別重要刀剣 太刀 銘 備前長船住元重 観応三年八月日	檜山 正則		674
重要文化財 太刀 銘 兼永	石井 彰		675
特別重要刀剣 太刀 銘 備州長船盛光 応永十二年八月日	〃		676
特別重要刀剣 短刀 銘 来国次(附)古鞘	〃		678
重要美術品 太刀 銘 真則	〃		679



重要美術品 太刀 銘 国綱(古備前)	〃	680	武州下原鍛冶の研究 (4)武州下原鍛冶の 廣重宗家・宗国家	後藤 安孝	〃	677
特別重要刀剣 太 刀 銘 高綱(備 中)	〃	681	茎尻の断面組織につ いて	新井 重熙	〃	678
特別重要刀剣 太 刀 銘 重恒(古 備前)	〃	682	資料紹介	〃	〃	679
重要刀剣 太刀 銘 景秀	〃	683	コンプトン・コレ クション(7)	横山 学	〃	〃
重要刀装具	〃	〃	明応九年八月紀を 有する之定の初期 銘について	井本 悠紀	〃	〃
篋龜図三所物 小 柄・笄 銘 大森 英満(花押)目貫 割際端銘 英満・ (花押)	飯田 俊久	672	試論「三本杉」につ いて	近藤 邦治	〃	680
黒石目地塗精薩摩 打刀拵(石黒政美 一作金具)鐔・縁 銘 寿岳齋石黒政 美(花押)	〃	674	重要美術品 達磨図 鐔 銘 山城国伏見 住金家	久保 恭子	〃	681
流水時鳥図小柄 銘 行年七十三才 政隨	黒滝 哲哉	675	資料紹介 大慶直胤 受領時期に関する新 考察一禁闕献上品を 見て	飯田 慶雄	〃	〃
老松に三疋馬図鐔 銘 東雨	久保 恭子	678	資料紹介 宇多人道 勇源と国宗父子の合 作刀について	井本 悠紀	〃	〃
塔・括り猿・雪華 紋透鐔 無銘 古 甲冑師	黒滝 哲哉	679	源平合戦図三所物 小柄 銘 後藤榮乗 (花押)笄 金象嵌銘 後藤榮乗(花押)目貫 無銘 後藤榮乗	飯田 俊久	〃	682
三枝の札反哺の孝 図目貫 割短冊銘 竜法眼・清寿	飯田 俊久	680	徳川斉昭(烈公)をと りまく刀匠、金工た ち	中野 秀哉	〃	〃
円相図鐔 無銘 彦三	黒滝 哲哉	683	様斬の実態について の一考察一刀工の様 斬に関する意識につ いて、水心子正秀を 中心として一	井本 悠紀	〃	683
肥前刀雑記(38)～ (40)	横山 学	〃	第1回全国大会入札 鑑定刀解説	日野原 大	〃	〃
吉長、初二代につ いての私感	後藤 静一	〃	名物「岡山藤四郎」に ついて	酒井 元樹	MUSEUM	643
本部定例鑑賞会正月 ～7月、9月、10月	〃	673～679、 681、682	日本刀 五ヶ伝の旅 山城物の作風とその 展開14～20 来派 5～11	田野邊道宏	目の眼	436、437、 440、442、 443、445、 447
重胴截断についての 試論	井本 悠紀	〃	特集 鐔とこころ	〃	〃	441
仙台藩刀匠考(21)双 龍子父子の研究(続 4)一双龍子玉英・ 直光とその一門展を 終えて	佐藤 一典	〃	鐔とはなにか	編集部	〃	〃
武州下原鍛冶の研究 (3)、(5)	後藤 安孝	〃	京都で三百年分の 鐔をみる	村田 理如 白洲 信哉	〃	〃
八橋図鐔 無銘 古 金工	飯田 俊久	〃	再発見!騎牛婦家図 の金家鐔	萩原 守	〃	445
主水正正清と主馬首 安代一官職銘の特殊 性に関する一試論	日野原 大	〃	古墳時代の大刀に金 福岡で出土「稲荷山」 以来4例目	大森 顕浩	毎日夕刊	1.23
資料紹介「鈴木宗榮 六拾一歳ニ而改右ト 作ス」と銘打った作	井本 悠紀	〃	朝鮮	金 宇大	文化財と 技術	5

平成25年定期刊行物所載文献(古/工芸)

朝鮮半島三国時代の彫金技術 その1、2、5、6	鈴木 勉	文化財と技術	5						
<b>染織・服飾</b>				<b>朝 鮮</b>					
				祇園祭の朝鮮山鉾を飾った毛織物、収集・研究に半世紀	吉田孝次郎	日 経	5.16		
<b>中 国</b>				<b>そ の 他</b>					
古裂と仕覆 利休と白地金襴備前茶入「布袋」の仕覆	吉岡 明美	聚 美	6	飛馬文帯再考	大谷 育恵	金沢大学考古学紀要	34		
<b>日 本</b>				<b>漆 工</b>					
薄紅地雲立浪模様肩裾摺箔	門脇 幸恵	国 華	1412	<b>日 本</b>					
衣裳に纏わることば今昔	長崎 巖	聚 美	6~9	作品紹介 18世紀フランスの蒔絵熱一蒔絵層の剥ぎ取りと高度な構造の実例集一	永島 明子	学 叢	35		
鳥兜様の楽帽に関する復元的考察	山片唯華子	正倉院紀要	35	表紙の言葉		きよらさ			
表具裂のもつ史料としての一側面一同一箇所に伝来する表具の事例から一	高田 智仁	書道学論集	10	黒漆折枝漆絵螺鈿膳 (森根)			70		
武者塚古墳から出土した絹織物について	石川 功 澤田むつ代	土浦市立博物館紀要	23	黒漆菊唐草螺鈿天目台 (又吉)			72		
総合文化展見どころ案内2013年8月・9月 法隆寺宝物館宝物に浸る 天平時代の卓越したデザイン 重文 鸚鵡文蒔縹毬代	三田 覚之	東京国立博物館ニュース	720	特輯 日欧美術交流花鳥葡萄蒔絵螺鈿洋櫃(慶長遣欧使節の遺品)一ヴァチカン蔵ボルゲーゼ関係文書による考証	小山真由美	国 華	1415		
館藏品紹介 浅葱地羽衣模様帷子	水上嘉代子	遠山記念館だより	45	特輯 日欧美術交流スペイン所在の南蛮漆器について	川村やよい	〃	〃		
資料紹介「松坂屋コレクション」の江戸時代の小袖	五味 良子 佐野 尚子	名古屋市博物館研究紀要	36	経巻見返絵と蒔絵様式に関する覚書	福島 修	五島美術館研究紀要	1		
資料紹介 慶長小袖の裂地について一松坂屋コレクションから	五味 良子	名古屋市博物館だより	205	資料紹介 黒漆花鳥文螺鈿琵琶 銘「孝鳥絃」	野口 朋子	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	37		
丹青閑話 第22話 松竹梅東屋燕文様紅型衣装	島尾 新	美術の窓	352	美の伝承(2)漆の美 縄文から未来へ	三田村有純	絲綢之路	71		
日本美術史不案内 46 幻の染の幻	佐藤 康宏	U P	484	研究ノート 古墳時代終末期の漆塗棺についての覚書	今西 康宏	高槻市文化財年報	H23年度		
研究 紀州東照宮所蔵「紺地宝尽小紋小袖」について一染織技法の検討と徳川家康所用小紋染服飾類との比較を中心に一	福島 雅子	和歌山県立博物館研究紀要	19	今月の表紙「湯木美術館の名品」より 亀甲蒔絵錫縁香合	内田 彩加	淡 交	829		
美の履歴書 289 輝きのその訳は「紅綸子地松笹扇地紙模様打掛」 作者不詳	増田 愛子	朝日夕刊	1.23	特集陳列 平成24年度新収品 朱漆輪花盤	竹内奈美子	東京国立博物館ニュース	719		
美の美 藍染め簡描の魅力 上 布地に図柄、みなぎる活力 無名の職人たちの粋な技	中沢 義則	日 経	9.8	総合文化展見どころ案内		〃			
				2013年6月・7月本館 日本に出会う 州漆に箔絵、首里土族の艶やかな工芸品 茶庫	品川 欣也		〃		

2013年8月・9月 本館 日本に出会 う 静と動を組み 合わせた巧みな意 匠 国宝 片輪車 螺鈿手箱	竹内奈美子		720	出羽三山参道にお ける中近世石塔の考 古学的調査	荒木 志伸	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度
Report02 幻のマザ ラン・チェスト現わ る! 江戸時代初期 にフランスへ輸出さ れた長持の足跡	柴田アニー 柴田 政章	目 の 眼	444	近世石造品をつく つた人々 神社境内 石材工芸品の調査研 究	勝部 明生	文化財と 技術	5
朱とみずがね姫〜根 来の源流を探る	白洲 信哉	〃	446	菰野町田口の唐戸石 五輪塔	勝山 孝文	三重県埋 藏文化財 センター 研究紀要	22
海外通信@ローマ 慶長遣欧使節の遺品 一南蛮漆器の洋櫃 絢爛の意匠 贈り主 を追う	小山真由美	朝日夕刊	10.30	資料紹介 天徳寺所 在の石造物	杉本 絵美	港区立港 郷土資料 館研究紀 要	15
下宅部遺跡 最古級 の漆液容器発見 乾 かぬよう木の葉で蓋		産 経	5.31	早稲田大学会津八一 記念博物館所蔵の武 蔵型板碑	伊藤 宏之	早稲田大 学會津八 一記念博 紀要*	14
尾張徳川家の至宝 私の1点 1 国宝 「初音蒔絵貝桶」凜と した品と華 日本美 の極致	森 英恵	東京夕刊	1.22	筑後の石工の史石巡 り 福岡・櫛野の工 人が手掛けた橋や塔 を調査、記録に残す	佐藤和四郎	日 経	11.8
江戸博蔵めぐり 吉 野山蒔絵文台・視箱 美しい装飾 形見分 けの品	原 昇	読 売	7.5	朝鮮			
ぎやらりいモール 晶山記念館「麗しの 漆一蒔絵と螺鈿」か ら「夜桜蒔絵四半視 箱」	柳田さやか	読売夕刊	4.30	正木直彦が法隆寺に 贈った百済の石燈籠	東野 治之	聖 徳	216
至宝を語る 平螺鈿 背円鏡 重量感まで 伝わる	平岩 弓枝	〃	10.28	木 竹 工			
その 他				日 本			
ラオスの漆文化と歴 史的なラオス漆器の 科学分析ーランサー ン王国の漆芸試論ー	宮里 正子 本多 貴之 宮腰 哲雄	よのつち*	9	近江における文人交 流の一事例ー頼山陽 銘「蠡山」を題材にー	井上ひろ美	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	29
石 工				正倉院宝物「螺鈿紫 檀五絃琵琶」模造品 作製事前調査(楽器 本体)調査所見	横山 円音	正倉院紀 要	35
中 国				正倉院琵琶源流攷	外村 中	人文学報	103
北京・雲居寺仏塔小 考	松木 民雄	東海大学 国際文化 学部紀要	5	近世長崎における「東 京造御船」の絵図面	深瀬公一郎	長崎歴史 文化博物 館研究紀 要	7
燈籠百話 10、11	伊吹 順章	春 日	89、90	将棋の駒 最古の「酔 象」発見 奈良・興 福寺旧境内		産 経	10.25
小塔院宝篋印塔と護 命僧正供養碑	狭川 真一 角南聡一郎	元興寺文 化財研究 所研究報 告	2012	至宝を語る 檜和琴 6弦 華奢な作り	チチ松村	読売夕刊	10.31
報告 高槻市教育委員 会蔵「茨木市安威 出土埴」について	今西 康宏	高槻市文 化財年報	H23年度	その 他			
				木画紫檀碁局と金銀 亀甲碁局籠	西川 明彦	正倉院紀 要	35
				ガラス工			
				日 本			
				桔梗形ガラス鉢 口	齊藤 晴子	国 華	1408

平成25年定期刊行物所載文献(古/工芸、建築)

江戸博蔵めぐり 無 色ねじり提灯付 ち ろり 暮らし彩った ガラス器	遠藤あかね	読 売	6.21	1960年代の平安京羅 城門跡発掘調査—遺 構編—	村野 正景	朱 雀	25
<b>そ の 他</b>				藤原宮の調査		奈良文化 財研究所 紀要	2013
伝イラン出土サーサ ーン・ガラスの基礎 的研究	四角 隆二	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度	東方官衙北地区の 調査—第175次	森先 一貴 玉田 芳英 廣瀬 寛		
<b>その他の工芸・民具</b>				右京七条一坊・朱 雀大路の調査—第 168—9次	山本 崇 高橋 透		
<b>日 本</b>				左京二条三坊・三 条三坊の調査—第 173—1次	木村 理惠		
覚書 東大寺献物帳 (20)—正倉院宝物の 原簿—	米田 雄介	古代文化	593	平城京と寺院の調査		〃	〃
佐土原人形の型につ いて—佐土原人形製 作所「ますや」所有の 型を中心に—	小山 博	宮崎県総 合博物館 研究紀要	33	左京三条一坊十坪 の調査—第490次	馬場 基		
<b>建 築</b>				左京三条一坊一・ 二坪の調査—第 488・491・495次	諫早 直人 山本 祥隆 川畑 純 青木 敬 小池 伸彦		
<b>中 国</b>				左京二条二坊十四 坪の調査—第497 次	神野 惠 小池 伸彦 川畑 純		
漢魏洛陽城—北魏宮 城西南隅の調査成果 —	今井 晃樹	奈良文化 財研究所 紀要	2013	平城京左京二条二 坊十五坪の調査— 第501次	芝 康次郎 青木 敬 川畑 純		
<b>日 本</b>				木割書に記述される 建築規模の変化につ いて—木割の方法に 関する研究(その2)	山岸 吉弘	日本建築 学会計画 系論文集	683
日本の塔百選(11)～ (20)	中西 亨	史迹と美 術	831～840	清涼殿南庭「殿上の 間」(「侍所」)に関 する研究—平安宮内 裏の空間構成と儀式 に関する歴史的研究3 —	満田さおり	〃	〃
<b>都市・集落</b>				日本古代の宮殿につ いて—2つの提案—	藤井 恵介	日本史研 究	607
<b>中 国</b>				歴史手帖 いま太宰 府界限がおもしろい	狩野 久	日本歴史	778
中国の都市革命	小南 一郎	泉屋博古 館紀要	29	平安京の変質	牧 伸行	仏教大学 総合研究 所紀要別 冊*	
藩城の都市構造—明 時代に藩府が建設さ れた地方城市の都市 設計(2)—	顔波多野 敏傑 純	日本建築 学会計画 系論文集	689	<b>そ の 他</b>			
<b>日 本</b>				都城の基本構造と関 連する寺院遺構の建 立と利用年代 クメ ール古代イーシャナ ブラの都市構造に関 する研究(その1)	チュンメン ホン 一太 下田 武 中川	日本建築 学会計画 系論文集	690
孝徳朝難波京の方格 地割か—上本町遺跡 の発掘から—	高橋 工 葦 火		166				
近世前期の上・下御 霊社祭礼行列と天皇 —風流見物を中心に —	岸 泰子	建築史学	61				
神戸歴史見聞録 22 中央卸売市場跡地と 兵庫津遺跡	石島 三和	神戸市立 博物館だ より	103				
平成24年度の齋宮跡 発掘調査の成果	新名 強	齋宮歴史 博物館だ より	70				
アジア図像探検110 金閣幻想と五台山10	杉原たく哉	書 道 界	280				

## 宮殿・官衙

## 宗教建造物

中 国			中 国		
契丹(遼)と10～12世紀の東部ユーラシア	アジア遊学	160	契丹(遼)と10～12世紀の東部ユーラシア草海の仏教王国—石刻・仏塔文物に見る契丹の仏教	藤原 崇人	アジア遊学 160
遼中京大定府の成立—管轄下の州県城から	高橋 学而		仏塔の中国的変容	向井 佑介	東方学報京都 88
近年の新出資料から チントルゴイ城址と周辺遺跡	木山 克彦 白杵 勲 千田 嘉博 正司 哲朗 A・エンフ トゥル		禪宗寺院と庭園	青木 達司	奈良文化財研究所紀要 2013
北朝長安の都城史上の位置づけについて	村元 健一	大阪文化財研究所研究紀要 14	中国遼・金代の建築における補間鋪作の形式	温 静	日本建築学会計画系論文集 683
六朝建康東宮攷	岡部 毅史	東洋史研究 72-1	中国伝統文化からみた龍門石窟—唐代の「場」を中心とした試論—	久野 美樹	仏教芸術 330
日 本			日 本		
速報 難波宮西方に新たな役所跡を発見!	京嶋 覚 谷崎 仁美	葦 火 162	極楽寺創建場所の考察—極楽寺と山岳信仰—(上)	武部 拓磨 長濱 健起	よのつち* 9
特報 福原長者原遺跡—九州最大級の古代官衙政庁跡—	岡田 論	九歴だより 37	現存日本最古の酒殿酒殿—春日祭に深く関わる重要な建造物—	松村和歌子	春 日 89
平安時代における朝儀の場の変遷に関する研究 平安宮内裏殿舎における庇の用法の拡大と御簾	満田さおり	建築史学 61	英勝寺客殿・仏殿・山門の年代について	関口 欣也	鎌 倉 115
回廊基壇際の地形の検討—第1次太極殿院の復原研究8—	高橋知奈津	奈良文化財研究所紀要 2013	修復トビックス 重要文化財熊野本宮大社第一殿・第二殿ほか2棟の保存修理 修理概要と明らかになった明治水害移築の痕跡	御船 達雄	建築史学 60
南面回廊基壇高の検討—第1次太極殿院の復原研究9—	井上 麻香	” ”	比良山系の山寺(2)—高島市長法寺遺跡について—	小林 裕季	滋賀県文化財保護協会紀要 26
南門の構造形式と屋根形式の検討—第1次太極殿院の復原研究10—	中島 咲紀	” ”	飛雲閣を探して6 飛雲閣の生まれた場所(上)、(下)	加藤 繁生	史迹と美術 831,832
藤原宮の調査 朝堂院朝廷の調査—第174次	今井 晃樹 森川 実 野田 安治 庄田 慎矢 藤井 裕之	” ”	奈良・平安初期における多度神宮寺の位相—「多度神宮寺伽藍縁起并資財帳」願文にみる水の祭祀と王権—	鈴木 実	続日本紀研究 407
御産所と都市社会—靈元天皇の後宮を中心として—	登谷 伸宏	日本建築学会計画系論文集 693	アジア図像探検108、109 金閣幻想と五台山8、9	杉原たく哉	書道界 278,279
奈良時代の役所跡 定谷遺跡(豊岡市久斗)	ひょうごの遺跡	85	応神天皇陵墳頂部の「六角堂」について	福尾 正彦	書陵部紀要 64
律令時代の木製祭祀具が出土 田井A遺跡(淡路市志筑)	” ”	” ”	日光東照宮の造営・修復	大野 瑞男	大日光 83

平成25年定期刊行物所載文献(古/建築)

伊勢神宮 悠久の歴史と祭り 大いなる式年遷宮 式年遷宮一原点回帰への大いなる営み	吉川 竜実	太陽(別冊)	208	文永度香取神宮アサメ殿の復元	山口 佳巳	"	689
報告 梶原寺の礎石	高橋 公一	高槻市文化財年報	H23年度	賀茂別雷神社修理方による宮繕活動	中西 大輔	"	"
増上寺三解脱門の建立年代に関する一考察	米山 勇	東京都江戸東京博物館紀要	3	長門一宮住吉神社本殿の建築年代とその特質	中村 泰朗	"	690
仏殿は仏像を安置し札押するための空間である	林 南壽	奈良美術研究	14	氷川女體神社の社殿造営に関する一考察	三輪 宝子 渡辺 洋子	"	694
百済の寺院からみた飛鳥寺三金堂の源流	李金 炳 金 志虎	"	"	古代における裳階の類型化と二重金堂の変遷に関する試論	海野 聡	仏教芸術	327
内山永久寺の扁額	吉川 聡 鈴木 智大 海野 大聡	奈良文化財研究所紀要	2013	仏界の莊嚴—法勝寺とは何のために建てられたのか	工藤美和子	仏教大学総合研究所紀要別冊*	
日本庭園史と森蘊の業績—毛越寺庭園の復元・整備を通して—	マレス・エマニユエル	"	"	新指定物件に関する寄稿論文 鐔阿寺本堂の謎	藤井 恵介	文化財*	598
檜隈寺周辺の調査—第176次	黒坂 貴裕 荒田 敬介	"	"	特集 伊勢・出雲と文化財 伊勢神宮正殿と出雲大社本殿	黒田 龍二	"	601
平城京と寺院の調査	"	"	"	表紙解説 国宝 出雲大社本殿	熊本 達哉	"	"
葉師寺旧境内の調査—第489次	石田由紀子 神野 恵 芝 康次郎	"	"	高野山の古建築 第11回 県指定文化財総本山金剛峯寺(1)	鳴海 祥博	霊宝館だより	107
東大寺法華堂の調査—第492次	大西 貴夫 青木 敬 金田 明大	"	"	根来寺遺跡の発掘調査	村田 弘	和歌山県文化財センター年報	2012
葉師寺休ヶ岡八幡宮の調査—第496次	神野 恵	"	"	文化の扉 はじめての遷宮 改築に伴う祭儀 今年は出雲・伊勢	森本 俊司	朝 日	6.24
西大寺旧境内の調査—第498次	神野 恵 川畑 純	"	"	日本人の源流・神話を訪ねて 記紀編纂1300年 出雲からの視点5 大遷宮を待つ神 偉大さ伝える「四拍手」	川西健士郎 小畑 三秋 佐々木 詩 安本 寿久	産 経	4.26
法華寺旧境内の調査—第504次	芝 康次郎 青木 敬 川畑 純	"	"	伊勢神宮と出雲大社一遙かなる神社建築の源流を求めて—	宮田 修 司会 浅野 温子、 黒田 龍二、 新谷 尚紀、 櫻井 治男 パネリスト	東 京	5.15
奈良時代における興福寺の造営	奥村 茂輝	南都仏教	98	神宮とおおやしろ日本の原像を探る 建築・美 2~5、7	伊藤 和史	毎 日	7.14、7.21、7.28、8.4、8.18
鎌倉割と等間割の技法とその関係について	大上 直樹 西澤 義伸 望月 直樹	日本建築学会計画系論文集	684	その他			
実忠の様と奈良諸大寺の小塔殿の建築形式—「東大寺権別当実忠二十九ヶ条事」における小塔殿の様の研究 その1—	小岩 正樹	"	685	バクトリアにおける仏教寺院の一時的衰退	岩井 俊平	東方学報 京都	88
三輪流神道灌頂の場の特質	米澤 貴紀	"	687	西トップ遺跡の調査と修復	杉山 洋 佐藤 由似	奈良文化財研究所紀要	2013
神道灌頂の場と建物	"	"	688				

アンコール期に造営されたプレ・ループの段台基壇の寸法構成と各建物の配置について クメール宗教建築の伽藍構成と造営手法に関する基礎的研究

小島 陽子  
片桐 正 豊  
重枝

日本建築学会計画系論文集 693

美作岩屋城 " 107

岡豊城 " 108

関東城めぐり 番外編 市民が守った国の宝 松本城 長野県松本市 大室 一也 朝 日 3.23

城 郭

日 本

解明される豊臣期大造の姿 岡村 勝行 葦 火 162

大阪城本丸を掘る(その1)徳川期大阪城金蔵の区画施設 市川 創 " 167

神奈川の中世城館(5) 中世研究プロジェクト チーム かながわの考古学 18

城郭の縄張り構造と天正中・後期の北九州 中西 義昌 北九州自然史歴史博報告\* 10

特集 石川県金沢城調査研究所10周年記念シンポジウムの記録 城郭石垣の技術と組織を探る—金沢城と諸城— 研究紀要金沢城研究 11

本丸御殿復元 とことん忠実名古屋城江戸初期の姿に戦禍免れた実測図や写真活用 都築 和人 朝日夕刊 5.27

歴史にみる災害列島 国宝・彦根城の「地震の間」経験が培った敬服すべき設計 北村 理 産 経 4.29

秀吉最後の築城 伏見城に豪壮石垣 桃山陵墓地内 異例の許可 調査で確認 " 5.14

朝 鮮

朝鮮時代の邑城について 山田 正浩 奈良大学紀要 41

住 宅・館

中 国

中国北部地域にみる伝統大木技術における棟持柱を持つ抬梁式構造 李士本 雅濱俊和 日本建築学会計画系論文集 688

日 本

四天王寺の南に古代の大型建物群現れる 市川 創 葦 火 163

調査報告 飯田市歴史研究所年報 11

講演 石垣研究の歩みと現在 北垣聡一郎

基調報告 金沢城石垣の変遷と特徴 滝川 重徳

総括報告Ⅰ 遺構からみた徳川期大坂城普請の組織と技術 北野 博司

総括報告Ⅱ 石垣普請の組織と穴太の役割 木越 隆三

研究ノート 金沢城「寛文」石垣造営の背景を探る " " "

安土城—信長神が坐す神殿—権威を視覚化する戦略 大沼 芳幸 滋賀県立安土城考古博物館紀要 21

再現 壬生城本丸御殿—徳川將軍家の日光社参と壬生宿城— 笹崎 明 大 日 光 83

研究余録 金亀玉鶴井伊家当主の遠忌と彦根城の修理—井伊直孝150回忌から— 青木 俊郎 彦根城博物館だより 101

城郭技術の完成—播磨と天下人— ひょうごの遺跡 86

古城をゆく 本 郷

浪岡城 齋藤 慎一 105

烏帽子形城 中井 均 106

高森町の本棟造と竹ノ内家住宅 金澤 雄記

橋都家の建築 金澤 雄記 正

知られざる二條陣屋の世界 森田 卓郎 建築史学 60

北上盆地(奥六郡)における平泉期以前の寺院 北上市立埋蔵文化財センター 50

お寺の本堂は近世公家屋敷の建物 藤田 勝也 阡 陵 66

尾張藩上屋敷跡遺跡検出の漆喰拵遺構について 内野 正 東京都埋蔵文化センター—論集\* 27

松坂市・長谷川家住宅の調査 番 光 奈良文化財研究所紀要 2013

甘樫丘東麓遺跡の調査—第171・177次	小田清野若庄田森	裕樹孝之智宏慎矢将志	奈良文化財研究所紀要	2013	ゆらゆら動く「玩具船」秀吉、愛息に最先端からくり		東京夕刊	7.17	
<b>庭園</b>									
近世鷹司家の屋敷について—近世公家住宅の復古に関する研究3—	藤田	勝也	〃	684	日本				
歴博甲本『洛中洛外図』屏風の枠のない町家について—京都府向日市の須田家住宅をふまえて—	丸山	俊明	〃	688	内山永久寺の庭園研究	菅沼 孝一	京都産業大学日本文化研究所紀要	18	
近世期の能登国における加賀藩御蔵所の型式の決定要因	相模	誓雄	〃	〃	大名庭園 武家の美意識ここにあり		太陽(別冊)	204	
金沢藩、富山藩における御旅屋、御宿、本陣の類型について—金沢藩、富山藩の武士宿泊施設の研究(その6)—	岡田永井	悟康雄	〃	690	御菓園	近藤真佐夫			
天明期の越前における公料巡見使宿 越前における巡見使の宿に関する研究 その1	国京	克巳	〃	691	水戸借楽園	永井 博			
熊本藩の御茶屋の類型について—街道集落の御茶屋を中心に—	岡田	悟	〃	692	兼六園	濱岡 伸也			
萩藩による武家屋敷の居住・所有に関する指導とその実状—17世紀中期(「被仰出条々」)以降の状況—	妻木曾我橋本	宣嗣友良孝成	〃	693	名古屋城二ノ丸庭園	佐藤 豊三			
5 高知市 弘人屋敷跡—高知城下の古代・中世・近世遺跡—	宮里	修	埋文こうち	26	玄宮園	谷口 徹			
<b>茶室</b>									
<b>日本</b>									
名席の意匠 訪ね、学ぶ 第1～12回	飯島	照仁	淡 交	825～833、835～837	迎賓館・東宮御所	近藤 壮			
和の住まいの伝統13 [再興の千家の茶室]	中村	昌生	茶の湯	474	戸山公園	佐藤 豊三	奈良美術研究	14	
<b>その他の建造物</b>									
<b>日本</b>									
滋賀県指定有形文化財考古資料 鍛冶屋敷遺跡出土遺物について	大道	和人	滋賀県立安土城考古博物館紀要	21	小石川後楽園	永井 博			
古代日本における倉庫建築の規格と屋根架構	海野	聡	日本建築学会計画系論文集	692	戸越公園	白幡洋三郎			
					六義園	平出 真宣			
					新宿御苑	長谷川正次			
					浴恩園	杉本 竜			
					浜離宮恩賜庭園	白幡洋三郎			
					清澄庭園	〃			
					奈良美術研究会 活動報告2012年度 日本古代の阿弥陀堂—法華寺阿弥陀浄土院から平等院鳳凰堂への展開—	三宮 千佳	奈良美術研究	14	
					日本における借景庭園の空間構成に関する研究	周 宏俊	日本建築学会計画系論文集	689	
					丹青閑話 第29話—常栄寺雪舟庭	島尾 新	美術の窓	360	
					脚光浴びる庭園史 植物の調査・遺跡の発掘進む 山縣有朋の様式に注目 戦国時代の造園 山並みも意識か	宮代 栄一	朝日夕刊	7.8	



北条氏庭園 高度な文化 小田原城石塔の部材を利用 八王子城 背後の山を借景に

清岡 央 読 売 11.13

墳 墓

日 本

仁徳天皇御陵沿革考一吉村氏所蔵『仁徳天皇御陵沿革取調書』口頭の紹介をかねて一

白神 典之 堺市博物館研究報告 32

平成23年度 陵墓関係調査報告

陵墓調査室 書陵部紀要 64

(円成寺陵)の歴史的 位置一律令山陵制度の転換一

黒羽 亮太 史 林 498

調査報告 茨城県かずみがうら市野中古墳群第1号墳の測量調査

大村 冬樹 筑波大学先史学・考古学研究 24

日本におけるキリシタン墓碑の様相

大石 一久 長崎歴史文化博物館研究紀要 7

滋賀県の考古学22 湖西南部地域における墳墓の調査一宇佐山古墳群の発掘調査から一

中村 智孝 人間文化 33

松本平の中の平出2号墳

桐原 健 平出博物館紀要 30

4 南国市 明見彦山1号墳

清家 章 埋文こうち 26

文化の扉 はじめての装飾古墳 多彩な絵柄 想像膨らむ「黄泉」

大脇 和明 朝 日 1.28

歴史への冒険 考古学のいま 卑弥呼?の墓調査 研究者や自治体と連携

松木 武彦 東京夕刊 3.19

歴史の鍵穴 推古陵と斉明陵「簡素に」の思い届かず

佐々木泰造 毎 日 11.21

天武・持統陵「八角墳」解明の鍵「まるで仏塔」宮内庁調査官が論考

清岡 央 読 売 7.3

建築部材など

日 本

研究ノート 普門寺(豊橋市)所蔵年次未詳(中世後期)三界万霊木牌について

服部 光真 愛知県史研究 17

斧の刃痕の分析一飛鳥時代から鎌倉時代の建築部材刃痕に関する調査報告 その1一

植村 昌子 竹中大工道具館研究紀要 24

立川富房著『軒廻榼雛形』の扇垂木について 要(かなめ)のない扇垂木の技法

大上 直樹 西澤 正浩 望月 直樹 日本建築学会論文系論文集 692

そ の 他

フエ院朝建築遺構群における棟連結方法の分類 現存棟遺構20棟を対象とした考察

六反田千恵 中川 武 〃 694

建築に付随するその他

日 本

奥州市江刺区大工棟梁佐藤松之助の建築資料について

瀬川 修 岩手県立博物館研究報告 30

加賀藩の大工史料の信頼性に関する考察(下)一清水文庫・渡部家文書を中心に一

正見 泰 研究紀要 金沢城研究 11

研究ノート 加賀藩大工子弟の江戸遊学一史料「前田貞幹手記」から一

石野 友康 正見 泰 〃 〃

木割における実寸と比例について 鳥居に関する記述の変遷を辿り

山岸 吉弘 建築史学 60

そ の 他

フエ院朝建築遺構群における建築形式の分類 現存遺構と『欽定大南会典事例』における記述の比較考察

六反田千恵 中川 武 日本建築学会論文系論文集 688

フエ院朝建築遺構群における「重梁」の用法に関する試論 「重梁」の部材構成分類と現存遺構の造営過程

〃 〃 694

近 現 代 美 術

絵 画									
						注文の多い宗教画十選 1～10	中野 京子	〃	4.22、23、25、26、29、30、5、2、3、6、10
	一 般					空の青十選 1～10	神野 紗希	〃	6.6、7、11、13、14、17、18、20、21、24
油画 AIR Onomichi 2011			尾道市立大学芸術文化学部 紀要	12		歌に詠まれた絵十選 1～10	梅内美華子	〃	8.1、2、5、6、8、9、13、15、16、19
続水墨画の風景			水 墨 画*						
第一回 色の融合・西洋画法の融合	島尾 新 日野 楠 紫 雄 珠			289		日 本			
第八、九回 画賛の話—水墨画に込められた物語—	島尾 新 紫 珠			296、297		特輯 文人画と南画花鳥画篇「文人画と南画 花鳥画篇」特輯に当つて	河野 元昭 国 華		1409
TOPICS 技法材料研究講座 画材シンポジウム	編 集 部	美術の窓		360		遠く的眼 男と女の愛憎物語—道成寺説話の展開—	林 雅彦	コリアナ	20-2
特集 マチエールの基本と応用 ④技法講座 vol.30 人気のマチエール素材 世界堂 画材売り場スタッフさんに聞きました!	日向 恒子 日 談	〃		362		絵画とコンピュータ—『encode』インタビューより	小町谷 圭 談 仙石 高記 聞き手	札幌大谷 大学紀要*	43
美のことごとく 2、3 自画像をめぐる(上、下)	中野 中	美術屋・百兵衛		24、25		「贈太政大臣岩倉公画伝草稿」の成立にみる幕末・維新史の図像化	研谷 紀夫 上野 秀治	三の丸尚 蔵館年報・紀要	18
2012年度 非文字資料研究センター 第1回公開研究会 画像資料が語る近代中国のイメージ	ウィリアム・シャング、呉田島孟晋、告大里浩秋、孫彭国、コメント	非文字資料研究		29		考察：1867年のパリ万国博覧会に出品された日本絵画について	ジュヌヴィエーヴ・ラカンブル	ジャポニスム研究	33
collecteurs asile しつらい 3 蝶の博物画集 飛翔を夢みる南方の蝶	桑村 祐子	目の眼		441		美の伝承(3、4)岩絵具 二つの危機を越えて1、2	荒井 経	絲綢之路	72、73
特集 クマ 怖ろしさと尊さと可愛さと クマ出没注意、あるいは抜け道はこちら 子ども部屋のくまたち	寺村摩耶子	ユリイカ		633		街角アート 囲い堀に描かれた「絵本」	星野 清一	新美術新聞	1316
シリーズ 歴博三〇周年 8 交流史と「美術」のハイ・アンド・ロー —「マリア十五玄義図」など	坂本 満	歴 博		179		続水墨画の風景 第二回 水で変わる滲みを楽しむ	島尾 新 日野 楠 紫 雄 珠	水 墨 画*	290
西洋も愛でた富士の形 山の描き方、浮世絵が影響	馬淵 明子	朝日夕刊		7.17		特集 水墨の美 墨色の冴を表現するための紙・筆・墨の知識	酒井 清一	〃	292
女の髪十選 1～10	高樹のぶ子	日 経		1.7、8、10、11、14、15、17、18、21、22		続水墨画の風景 第五回 空間構成と古画学習—能阿弥《四季花鳥図屏風》—	島尾 新 紫 珠	〃	293
						資料紹介 絵はがき作家のサイン—覧	南出みゆき	大正イマジユリイ	8
						岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 藤 臚 体	古田 亮	太陽(別冊)	209
						〈資料〉近代日本画の材料(支持体篇)	荒井 経 染谷 香理	東京芸術 大学美術 学部紀要	51

小特集 茶川龍之介と両国 茶川龍之介「開化の良人」に描かれた両国一大川の赤い月一	神田由美子	東京都江戸東京博物館紀要	3	近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新コラム	瀧本 弘之	アジア遊学	168	
特別寄稿 世界の中の日展洋画へ	南郷 宏	日展ニュース	150	カタイ幻想を西洋に伝達した「外銷画」	三山 陵			
スター作家を探せ! 日本画新世代 50人の仕事 日本画はなぜ魅力的なのか?	編集部・W	美術*	457	月份牌—民国に栄えた「商業美術」の代表格				
「女の子」の領分としての子ども部屋—雑誌『コードモノクニ』における挿絵を中心に—	中間 志織	文化学年報	62	ワイルドライフ・アートの源泉としての博物図譜についての考察—生態及び生息環境の描写を中心に—	伊地知栄美	芸術文化研究	17	
研究余話 館收藏「書画帖」覚え書き	小林 紀子	横浜市歴史博物館ニュース	34	点描の画家たちの「影」	岩崎美千子	国立新美術館ニュース	28	
美の季想 行く春 散る桜が生む、深い哀惜	高階 秀爾	朝日夕刊	4.10	作家通信 中国における「岩彩画」の登場と戦後日本画のメチエ	荒井 経	水墨画*	290	
4「読ん」で知るアート 戦時下の画学生たち 激情を秘める絵	窪島誠一郎	〃	8.21	ネーデルラントのアダムとエヴァー—《ゲント祭壇画》を中心に—	木川 弘美	清泉女子大学紀要	61	
おうちの科学 日本画で使う絵の具 膠と適度に混ぜ接着	内田麻理香	東京	7.21	特集 記憶と忘却		西洋美術研究	17	
古チラシ 暮らしの鏡 江戸〜昭和の広告集めた「増田コレクション」を研究	山田 哲好	日 経	3.14	記憶術師としての美術家 イタリア・ルネサンスにおける記憶(メモリア)・観念[イデア]・手法[マニエーラ]	足達 薫			
文化往来 水墨画の普及めざす組織、関西で発足		〃	8.20	ネーデルラントの絵画論にみる「記憶」制作過程におけるその役割	深谷 訓子			
文化往来 「ぐりとぐら」誕生50年、点字絵本を発行		〃	12.18	17世紀黄金時代の記憶—素朴と洗練のはざままで 18世紀初頭オランダ風俗画における題材選択をめぐる考察	青野 純子			
くらしナビ 子育て・親子 クリスマスパパが贈る絵本	太田 圭介	毎日	12.15	清末中国における海の絵の受容をめぐる	若杉 邦子	中国近現代文化研究	14	
学童疎開の子ら描く 赤羽国民学校校長だった岩村博さん 孫娘がスケッチ画発見 青梅の牛谷さん「当時の様子知りたい」	柴田 朗	〃	12.27	ガストン・フェビュスの『狩狐の書』—fr. 1291写本における変容の諸相をめぐる一考察	高木麻紀子	東京芸術大学美術学部論叢	9	
はじまり考 絵はがき 日露戦争で大ブーム	小野健太郎	読売夕刊	8.13	1920~30年代のカレンダー—広告画と近代中国のタバコ産業界の競争	李村井 翻譯	培徳寛志	年報非文字資料研究	9
海外	カトリーヌ・ペリエニエ ディエトラン	愛知県立芸術大学紀要	42	「縫う女性」の表象—『ゴードィズ・レディズ・ブック』を手がかりに—	平芳 裕子	美学	242	
15世紀フランドル絵画の絵画技法(3)	森田 義之、 吉野 齊志	訳						

例会・研究発表会要 旨 東部会 平成二 五年度第三回美学会 例会 美術の批評と 会話 一十七世紀フ ランスの絵画理論書 を中心に	今村 信隆 美 学	243	漱石と美術 4 『夢 十夜』に登場 ガダラの豚の奇跡 人間の不可思議	茂木健一郎 東京夕刊	5.31	
勝敗の「形」—清仏戦 争期西洋新聞に見た 中国年画	陳 其松	東アジア 文化交渉 研究	6	音楽が生まれる情景 十選 1~10	鶴園紫磯子 日 経	3.5,7,8, 11,12,14, 15,18,19, 21
資料紹介 1948年の アメリカ絵画展計画	志邨 匠子	美術運動 史研究会 ニュース	134	美の美 「失われた 時を求めて」の世界 2 倒錯する情念と 嫉妬の炎 麗人像が 彩る皮肉な恋	干場 達矢 //	3.24
フスト・マイスター とハイデルベルグ— 十五世紀マインツ・ ハイデルベルグにお ける写本装飾再考—	池田 真弓	美術史	174	昆虫観察十選 1~ 10	木村 政司 //	7.15,16, 18,19,22, 23,25,26, 29,30
平成二十四年度東支 部例会 ローマのカ ンパニヤとイギリ ス風景画—ターナー からエトラスカンス へ—	山口恵理子	//	//	美の美 堀辰雄 幻 想のヨーロッパ 上 憧れの西欧 軽井沢 に投影 愛と死描き 祈りささげる	干場 達也 //	8.25
『アンリ四世と子供 たち』に見る、絵画 主題の成立背景と逸 話の絵画化	荒川 仁美	美術史論 叢	29	英国の妖精画十選 1~10	井村 君江 //	10.31, 11.1,4,5, 7,8,12, 14,15,18
WORLD NEWS バ リ 毛髪と戦争、フ ランスならではの2 つの歴史展	三木あき子	美術手帖	979	世界道ものがたり イーストサイド・ギ ャラリー ドイツ・ ベルリン 分断の壁 アートに 根強く残 る東独懐古	篠田 航一 毎日夕刊	4.8
WORLD NEWS ウ ランバートル モン ゴル画の次世代を担 う若手アーティスト に注目	山本 裕子	//	997	買った! ダルエス サラーム 鮮やかで 素朴な画風	黒岩 竹志 読売夕刊	6.21
<b>漫画・アニメーション</b>						
— 一般 —						
特集 基礎を完璧に する! 人体デッサン ④技法講座 vol.27 デッサンとは何か— スペイン・リアリズ ムへと続く系譜	南城 守	美術の窓	352	INFORMATION EVENT 人気マン ガ家がBD作家と対 談 「海外マンガフェ スタ」が初開催 大 友克洋・浦沢直樹が バンドデシネの魅力 を語る	岡澤浩太郎 美術手帖	977
特集 2013年 ルネ サンス大解剖	荒井 咲紀	//	355	特集 ゾンビ ブー ドゥー、ロメロから マンガ、ライトノベ ルまで ゾンビ文化 の解釈学 西洋のゾ ンビ、東洋の幽霊	福嶋 亮大 ユリイカ	623
イェスとマリアの 衣の色はなぜ赤と 青なのか	岡田 温司	//		総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフィ ックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険 “Manga”を超え て	//	624
資料紹介 挿画本 《パリ 1937》につい て(1)	柳沢 弥生	北海道立 美術館・ 芸術館紀 要	24	二〇一二年「海外 マンガ・フェスタ」 とマンガ研究の課 題をめぐって	夏目房之介	
調査報告 デジタル マイクロスコープに よる大和文華館所蔵 宋代絵画画網の観察	植松 瑞希	大和文華	125			

マンガ翻訳者という職業	関口 涼子				異聞逸聞 あらたな 聖地巡り	岩谷 洋史	みんぱく	425
総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 内在・外延・拡張		”	”		特集 ゾンビ ブードゥー、ロメロからマンガ、ライトノベルまで ゾンビマンガの黄金時代		ユリイカ	623
マンガと芸術と文学と	古永 真一				生と死のトワイライト ゾンビコミックのパンデミック	永山 薫		
とあるMの定義と起源	野田 謙介				ゾンビにじゆうを。	吉田 アミ		
漫画と絵本	寺村摩耶子				ギーコのチェーンソーはわたしのチェーンソー	松田 青子		
総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 線は地球をつなぐ 世界マンガの鳥瞰図	原 正人 山根 緑 岩本 順子 権名 ゆかり 小田切 博 張 或 宣 政 鹿島 拾市 新江 利彦 玉置 真紀子	”	”		アトムが実現した「革新」、再び起こるアニメ評論家・氷川竜介		朝 日	3.26
「なぜ」を訪ねて？ 8 マンガジュテーム 革命の国に夢映す日本作品	稲田 信司	朝 日	1.9		児童ポルノ規制が波紋 改正案 マンガ・アニメを調査	吉永 岳 小原 篤	”	7.27
日本アニメ海外で新風 インド 忍者ハットリくんの現地版も ナイジェリア 専門チャンネル、今秋開局	岩本 哲生	朝日夕刊	4.6		「閉架」で萎縮する恐れ 学校図書館「はだしのゲン」問題の本質 司書の専門性、より重要に	高久 潤 伊佐 恭子	”	9.4
跳べるかクールジャパン 上 「時差なし」世界へ配信 違法コピーに対抗		日 経	5.3		アニメ学ぶ学生作品、一堂に	小原 篤	”	9.25
アニメ販売 海外で加速 民放各社、アジアや欧州に		日経夕刊	3.25		茶話アニメ	藤津 亮太	朝日夕刊	
世界に広がる日本SF マンガ、アニメ、春樹の人氣が波及、「日本作家は中国と交流を」 国際SFシンポ東京大会 古川日出男作品が米SF賞の候補に	巽 孝之 寄稿 内藤麻里子	毎 日	8.12		「私」のいる広い風景			3.23
官民で日本アニメを発信 「世界最大」アヌシー国際フェスティバル	佐伯 知紀	毎日夕刊	7.31		働く意味問いかける			5.25
戦前の日本にアニメーションという概念はなかった—アニメーションをめぐる名称についての考察	西村 智弘	多摩美術大学研究紀要	27		日常空間が笑い誘う			6.22
漫画映画からアニメーションへ—自主制作という選択肢—	玉井 建也 吉田 正高	東北芸術工科大学紀要	20		個性だけじゃダメ			8.24
					新説生かす歴史マンガ 秀吉の鳥取城攻め・信長の延暦寺焼き打ち… 現地調査や研究者監修	宮代 栄一	”	7.29
					過去と揺れる心 後日談で 映画版「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」 長井監督「5人の成長見て」「聖地」秩父 作品と融合	野波 健祐	”	8.31
					あの結末には続きがあった「魔法少女新まどか☆マジカ」制作映画 全て覆される衝撃 少女はやがて「魔女」になる	小原 篤 宮本 茂 聞き手 頼	”	11.2

政治マンガ市民参画 主人公は25歳シブヤ 区長 現実の課題ネ ットで議論、連載	高久 潤	朝日夕刊	12.14	完成度高い4作品 若手アニメーター育 成事業で試写会	三沢 典丈	〃	2.26
手帖 ジブリの世界 を文庫で		産 経	4.21	「痛っ」に共感 体験 漫画 障害ある娘か ら逃避 会社倒産→ 夫が自殺 「ここま で描くか」胸打つ	岩岡 千景	〃	4.18
チャイム §取り壊 しの小学館ビルに漫 画家ら落書き§		〃	8.15	SHORT PEACE 日 本表す先端アニメ集 う	(博)	〃	7.19
漫画になる「文豪キ ャラ」 太宰治は「自 殺マニア」 石川啄 木の「ダメ男」ぶり笑 う 「食」から迫る永 井荷風らの実像	海老沢 類	〃	8.21	土曜訪問 異色の野 球漫画がヒット 森 高次次さん 舞台裏 に熱視線注ぐ	森本 智之	〃	8.17
劇場版公開で「巡礼」 ブーム再燃? アニ メ「あの花」の聖地 秩父市	藤井 克郎	〃	8.23	今を読み解く アニ メ研究とビジネス 複合モデルの構築を	中村伊知哉	日 経	10.20
ネットろんだん 映 画「風立ちぬ」喫煙 場面めぐり“乱気流” の論争	(三)	〃	8.23	シネマ万華鏡 風立 ちぬ 時代見つめる 目に「あわれ」	中条 省平	日経夕刊	7.19
日本アニメ彩り半世 紀「アトム」から 絵の具を一手に 練 馬の工場	大平 樹 東 京		1.16	大物漫画家が落書き オバケのQ太郎 20 世紀少年 取り壊し の小学館社屋		〃	8.14
漫画誌休刊続く 海 外見据えた商業戦略 を 単行本を買わな い読者層 収支合わ せるのが難しく	岩岡 千景	〃	2.11	入門講座 スポーツ マンガの軌跡 1～ 5	竹内オサム	〃	10.3、10、 17、24、31
談論誘発 漫画とア ニメ		〃		浜矩子の危機の真相 アニメにみる核への 警告 犠牲者、守護 者、討伐者	浜 矩子 毎 日		7.20
埼玉の“聖地巡礼” 一過性で終わらせ ない	今成 貞昭		4.21	漫画家の「落書き」24、 25日館内公開	山崎 明子	〃	8.17
トキワ荘の作家た ち「創作への想 い」伝えたい	牧野 圭一		4.23	漫画が伝える戦争 シリーズ全6巻 手 塚治虫氏など重鎮作 品や解説も	木村 葉子	〃	8.28
絶滅危惧ものがたり 5 スポ根漫画 汗 と涙 ド根性の美学 高度成長の世相反映 受け継がれる泥くさ さうさぎ跳びより 技術論	小倉 貞俊	〃	5.6	震災体験 漫画で継 承 自宅や家族の状 況つづる 石巻・市 民グループ 英語版、 原画展好評		〃	12.24
最古の国産TV アニ メ発見 実験放送埋 もれ55年 鮮やかカ ラー 海外作品の影 響も	〃	〃	6.25	ポップカルチャーの 最前線 まんたんブ レス 不摂脱却の切 り札? 「5分アニメ」 低予算 赤字リスク 低減	小西 鉄兵	毎日夕刊	4.12
有名作家たちの戦争 漫画を再録 リアル な惨劇の記録	榊原 崇仁	〃	8.9	国産TVアニメ50年 歴史たどる特集番組 NHK など	広瀬 登	〃	7.5
藤子不二夫㊦さん、 浦沢直樹さんから 惜 別の落書き 取り壊 し小学館社屋の壁		〃	8.14	日本アニメ史に新説 「最古」は下川凹天の 別作品	鶴谷 真	〃	7.8
大波小波 サブカル が捉えた破局の現在	(新オーマ)	東京夕刊	1.22	ワイド視聴室 「宇 宙戦艦ヤマト2199」 デザイン洗練 懐か しき十分	小松やしほ	〃	7.26

漫画家25人落書き 別れ惜しみ 取り壊 し小学館ビルに オ バQ、ピカチュウ 人気キャラ集結	山崎 明子	"	8.13	多角的スタイルを めぐって	笠間直穂子			
ドラマ、アニメを海 外に売り込め 放送 局や権利者が団結 国も経費半額助成で 後押し	土屋 溪	"	10.11	総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフィ ックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険 内在・外延・拡 張	"	"		
京がたり 日本再発 見 呉智英さんの 漫画 反体制的なも のに寛容な風土 風 刺やユーモアも学問 に	江田 佳晶	"	12.18	フレデリック・オ ッパーの神業	三浦 知志			
アニメの都 1 ア トム 東京が生んだ 制作会社 今も87% 集中		読 売	5.3	マンガが吹き込む 新しい息吹[コミ ックス・アニメイ ツ]—海外のマン ガとアニメーショ ン、一筋縄ではい かないその関係	土居 伸彰			
名作漫画をパロディ ーに ファン開拓と 呼び戻し狙う	田名 誠	読売夕刊	5.21	認知症への不安 ア ニメで描写 スペイ ンの長編「しわ」公開	小原 篤	朝日夕刊	6.22	
				しわ 老いの悲し みを正面から	三田村泰和	東京夕刊	6.21	
<b>海 外</b>				伝統衣装ブルカ姿 でお仕置きよ パキ スタン人気アニメ 女 性教育のため悪党退 治		"	8.10	
インドネシアにおけ る伝統芸術と大衆文 化の相互関係—西ジ ヤワの人形劇とコミ ックのマハーパラー ター	福岡まどか	大阪大学 大学院人間科学研 究科紀要	39	文化往来 スペイン 発、認知症題材のア ニメ映画		日 経	7.4	
文化フォーカス 急 変するマンガの世界 で健闘する韓国漫画	パク・イン ハ 趙 祥恩 訳	コリアナ	20-2	藤原帰一の映画愛 しわ 「古い」テーマ のアニメ 段違いの 描写力で見せる	藤原 帰一	毎 日	6.23	
「杜十娘」考—連環画 『杜十娘』の諸相	上原 徳子	宮崎大学 教育文化 学部紀要	28					
特集 ゾンビ ブー ドゥー、ロメロから マンガ、ライトノベ ルまで 〈生ける屍〉 の表象 走るな、死 ね、蘇れ アメリ カゾンビ考	小澤 英実	ユリイカ	623	<b>版 画</b>				
総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフィ ックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険 “Manga”を超え て 本の海、そして グラフィック・ノヴ ェルの宇宙—『リト ル・ニモ』から『ピ ルディング・ストー リーズ』への道	小野 耕世	"	624	<b>一 般</b>				
総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフィ ックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険 絵物語の舞台装 置		"	"	木口木版—微視紀行 する鑿と眼の愉楽—	熊田 司	えむえむ	5	
多島海のタブロー —絵画的マンガ論 のために	中田健太郎			詩文藝に寄り添う木 口木版	"	"	6	
				内田正雄『輿地誌略』 挿図の典拠について —アメリカ地理教科 書との関係を中心 に—	増野 恵子	近代画説	22	
				通信 J to A アジ アへ 44 知られざる 日中版画交流の歴史	黒田 雷児	新美術新 聞	1307	
				スクリーンプリント を用いた箔押しにつ いて	宮城 正作	筑波大学 芸術研究 報告	61	
				境界に佇む銅版画十 選 1～10	池田 良二	日 経	2.14、15、 18.21.22、 25.26.28、 3.1、4	
				「富士は版画の聖地」 海外芸術家 河口湖 で制作中	片平 知宏	毎日夕刊	7.2	

日 本				今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から	鈴木 宏宗	国立国会図書館月報	633
青弓社版《年賀絵はがきグラフィティ》のこと	山田 俊幸	一 寸	56	The care books 建築・設備・備品			
近代教育錦絵の図様および粉本に関する考察—明治初期輸入翻訳書を手掛かりに	井上 素子	浮世絵芸術	166	新収資料紹介 『ハチドリ科鳥類図譜』第16分冊フォルダーおよび図版・解説	柿崎 博孝	S H Ū	41
特集 富士山 版画家たちが制作した「平成の富嶽三十六景」と美術館で見られる富士山		ギャラリー一*	341	コラム 歴史のとびらレーオンハルト・ホイスラー—十六世紀のニュルンベルクの印刷業者と情報発信—	森澤万里子	七隈史学	15
版の時代の過去・現在・未来	岩切信一郎	近代画説	22				
写される戦場—日露戦争画報雑誌における石版・写真銅版印刷による「版の画」をめぐって	向後恵里子	〃	〃				
文明開化の玉手箱「横浜浮世絵」	山田 淳夫	国華清話会報	21				
Editor's Eye 絶滅寸前の版画が、なぜ戦後に復興したのか	松山 龍雄	版画芸術	160				
特集 現代版画の先駆者たち		〃	〃		中村 史子	愛知県美術館研究紀要	19
§ 前文 § 「現代版画」の先駆けとしての戦後版画	松山 龍雄				伊藤 穰	跡見学園女子大学人文学フォーラム	11
Editor's Eye 「日本の現代版画」の展望	〃	〃	162		多田かおり	映像メディア学*	3
特集 日本の現代版画 1990—2013		〃	〃		馬場 一幸	〃	〃
§ 前文 § 1990年代からの展望	〃				小倉健太郎	成城美術史	19
明治期風景銅版画をめぐって—埼玉を書いた『博覧図』(精行社)—	芳賀 明子	文書館紀要	26		佐藤 守弘	大正イマジュリイ	8
歴博けんきゅう便第48回 よみがえる錦絵と技術	小瀬戸恵美	歴 博	181		築地 正明	美史研ジャーナル	9
「版画・図版・オブジェ」	井上 芳子	和歌山県立近代美術館ニュース	75		佐藤 守弘	文化学年報	62
海外					飯島 洋一	ユリイカ	623、625、626
近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新 民国期伝統版画—詩箋にみられる一側面—『北平箋譜』から『詩婢家詩箋譜』まで	瀧本 弘之	アジア遊学	168		富山由紀子	〃	630

写真・映像

一 般

《話題》ポータバック、ジャン・ジュネ、そしてビデオ・アクティヴィズム—ビデオ・アート草創期を彩るグローバル・ドラマ

写真を展示から考える

CG 技術と映像表現—二つの「日常化」—

映像作品と映像を含むミクストメディア作品の販売について

映画撮影における標準レンズと被写界深度について

インデックスとしての機能を喪失する写真 1.0: C. S. パースに從って

特集 映像に見る一九三〇年代日本の(小さな歴史) シンポジウム報告「映像とマイクロヒストリー」

修了生論文 映像とテクノロジーの諸問題

写真と仏像—(仏)の美—化と商品化

破滅論 10、11、最終回

われ発見せり アマチュア写真家の生活と矜持



横浜市所蔵カメラ・写真コレクション(旧ネイラーコレクション)個人コレクションの分類と写真史をめぐる考察	日比谷安希子	横浜美術館研究紀要	14	明治期函館のパノラマ写真を読み解く	田原 良信	市立函館博物館研究紀要	23
「日本の自画像」追って 戦前から戦後 対外宣伝誌を収集	増田 愛子	朝 日	1.29	資料紹介 『高田町写真帖』について	横山 恵美	生活と文化	22
複製で輝く写真の命「オリジナル」重視の欧米で評価 日本人作家の写真集に高値 撮影者を離れ広がる魅力も	大竹 昭子	朝日夕刊	1.16	特集 映像に見る一九三〇年代日本の(小さな歴史)		大正イマジユリイ	8
4 [読ん]で知るアート 写真表現	飯沢耕太郎	〃		遍在する残像 パテ・ベビーが映し出す(小さな歴史)・研究「序説」	水島 久光		
写真はアート?			2.13	映像をめぐる小さなコミュニティの(小さな歴史)——一九三〇年代の新潟の映像からみえてくるもの	原田 健一		
「女性原理」と写真			2.20	私的・写真・集積——歴史の中の私的な写真	林田 新		
アートな本 ナショナル ジオグラフィック 編著『絶景×絶景』		東 京	9.15	資料紹介 明治期における即物的表現を用いた動物・植物写真の活用	中川 馨	〃	〃
活字の海で 現代を映すアート写真誌「見る楽しみ」広げる	干場 達矢	日 経	11.10	江戸・東京、江戸城・皇城—「旧江戸城写真帖」の基礎的研究—	富坂 賢	東京国立博物館紀要	48
アート写真買って楽しむ 展示即売の見本市 広がる裾野	〃	日経夕刊	10.7	科学写真から蘭の肖像へ	福原 義春	東京都写真美術館紀要	12
<b>日 本</b>				〈書くこと〉と写真—コンタクトシートにおける選択の痕跡について	亀海 史明	〃	〃
関野貞大陸調査と古写真	平勢 隆郎	明日の東洋学	30	新潟写真作家集団と戦後リアリズム写真	木村 一貫	新潟市歴史博物館研究紀要	9
錦彫絵について—大阪歴史博物館蔵品を中心に—	澤井 浩一	大阪歴史博物館研究紀要	11	写真雑誌における「投稿」と「批評」の戦後—大正期写真雑誌の「誌友」コミュニティに注目して—	高橋 千晶	文化学年報	62
古写真に見る春日大社の風景		春 日		総特集 小津安二郎 生誕110年/没後50年 表現とメディア サイレント・デスマスク 「非常線の女」における小津安二郎の写真/映画	伊藤 俊治	ユリイカ	636
(5) 東京国立博物館所蔵 壬申検査関係写真にみる明治五年の春日大社 3 和舞[やまとまい]	秋田 真吾		89	一九二八年「昭和大礼」と写真報道—大礼使による撮影規定とその運用を手がかりに—	小山 亮	歴史評論	762
(6) 東京国立博物館所蔵 壬申検査関係写真にみる明治五年の春日大社 4 参道風景	中野 和正		90	評 「この世界とわたしのどこか」展 遠くから、近づきながら	大西 若人	朝日夕刊	1.16
子どもたちが眼差す学校建築—建築写真ワークショップの記録	橋本 まゆ	慶応義塾大学アート・センター年報	20				
「映像を展示する」ということ	原 久子	国立国際美術館ニュース	194				
絵はがきに見る明治の京都	生田 誠	国華清話会報	22				

4 [読ん]で知るアート 写真表現		飯沢耕太郎 朝日夕刊		彫刻・空間表現	
「私写真」とは何か			2.27	一般	
震災と写真			3.6	Lecture 《誌上講座1》「彫刻を見る一人人体彫刻」	
日報連・報道写真ベスト10コンクール2013課題 いのち情愛を焼き付けて	山下 浩一	毎 日	8.14	街角アート 蛇は蛇でも	星野 清一 新美術新聞 1300
江戸博蔵めぐり 観古図説城郭之部一往時の江戸城 写真で残す	田原 昇	読 売	3.29	ノリ・メ・タンゲレあるいは彫刻の「物質性」について	金井 直 REAR 30
「フルベッキ写真」伝説覆す原板 幕末の志士集合写真 実は佐賀藩校の生徒	早川 保夫	〃	4.24	全裸ダビデ像にパンツ!? 「気持ち悪い」と珍論争 島根・奥出雲町	林 啓太 東京 2.19
江戸博蔵めぐり 絵はがき「(南)凌雲閣ヨリ浅草公園及比蔵前方面ヲ望ム」 移り変わる街切り取る	橋本由起子	〃	12.6	銅像はつらいよ十選 1~10	平瀬 礼太 日 経 12.13.16~20.23~26
海外				日本	
アリス・ルーズベルト・ロングワース・コレクションの肖像写真について、その後の調査報告	筒井 弥生	アート・ドキュメンテーション通信	98	日本彫刻考(3)	芝山 昌也 秋田公立美術工芸短期大学 紀要 17
キュレトリアル・スタディーズ05 ニュー・パウハウスの写真家たち		京都国立近代美術館研究論集	5	PROJECT 大学生生活4年間の果てにヤノベプロジェクトビヨンド	小林 航 瓜生通信 58
はじめに	牧口 千夏			PROJECT 発見と感動の世界 ワールドウインドーディスプレイ制作プロジェクト2012冬	高橋 瑞香 〃 〃
ニュー・パウハウスの写真家たち	森川 潔			PROJECT 一絆が生み出す、砂のアート—鳥取市気高町砂像プロジェクト	石橋 瞭 〃 60
World New York 「フォト・ブリュット」展 撮影者不明だけど面白いアウトサイダー・フォト展	藤森 愛実	取材 芸術新潮	766	偉いけど人でない倅:「標」明治期の顕彰慰霊彫刻の位置づけ	立花 義彰 屋外彫刻調査保存研究会 報 5
瞬間と持続—写真とベルクソニズム—	大石 和久	美 学	242	《昭忠碑》が象徴するもの	大坪 潤子 〃 〃
《硫黄島の星条旗》—勝者と敗者の情念定型—	加藤 哲弘	美学論究	28	竹内久—《平和観音像(旧:戦勝観音像)》について 建立の歴史的経緯と本作調査の意義	立花 義彰 〃 〃
WORLD NEWS ロンドン	伊藤 豊子	美術手帖		「官社へ銅石像設立之儀ニ付伺」考—京都の創建神社と明治前期のモニュメント概念—	清水 重敦 近代画説 22
古写真から中東の現代写真まで「初」が続くロンドン秋の写真シーズン			979	九元社と機関誌『九元』	齊藤 祐子 芸 叢 28
「今」を感じられる写真展。ブラジル具体主義の大家からテラーまで			982	石膏造りの聖徳太子像	小松 光江 聖 徳 216

美術評論家連盟主催  
・シンポ2012「彫刻  
の変容—日本の場合—  
について—近代から  
現在へ—どう創造  
的な場見出すか—

天野 一夫 新美術新  
聞 1301

街角アート

星野 清一 " 1327

雨引の里と彫刻

六本木の二宮金次  
郎

1330

特別寄稿 伝統の中  
の日展彫刻

中山 則夫 日展ニュ  
ース 150

彫刻は戦うのか—戦  
争・裸・彫刻—

平瀬 礼太 本 郷 106

〈仏像〉と仏像フィギ  
ュアの境界線—海洋  
堂リボルテック阿修  
羅像は寺院安置の夢  
を見るか?—

今井 秀和 蓮花寺仏  
教研究所  
紀要 6

探訪 都の企業 立  
川編 下 即飾れる  
=造形美

伊東 浩一 東 京 8.9

## 海 外

翻訳 《トンド・ド  
ーニ》とその額縁

カルロ・デ  
ル・ブラー  
ヴォ 五浦論叢 20  
甲斐 教行  
訳・註解

小倉正史の現代美術  
講座 その7 1997  
年—ミュンスターの  
彫刻プロジェクト

小倉 正史 ギャラリ  
ー\* 342

バルテノン・フリー  
ズ 贅美を尽くした  
捧げ物

長田 年弘 芸 叢 28

ビスマルクとミツキ  
エヴィーチーボズナ  
ンの記念碑と記憶—

割田 聖史 人文社会  
科学論叢 22

初期ルネサンスシエ  
ナにおける塑造技法  
研究

松本 悠子 高梨学術  
奨励基金  
年報 H24年度

バルテノン・フリー  
ズの神々—身体・空  
間・神性の顕現

中村 るい 東京芸術  
大学美術  
学部紀要 51

WORLD NEWS プ  
リュッセル 「彫刻  
としてのフィルム」  
にみる技術的横断

かないみき 美術手帖 997

美の履歴書 318  
原作と違うのはなぜ  
「アルテミス、通称  
『ギャビーのディア  
ナ』作者不詳

増田 愛子 朝日夕刊 8.21

## 工 芸

### 一 般

19世紀におけるヨー  
ロッパ産陶器の受容  
—幕末～明治時代の  
大阪市内出土資料よ  
り—

小田木富慈 大阪文化  
財研究所  
研究紀要 14

わが国における中国  
鑑賞陶磁の受容とそ  
の変遷—明治末・大  
正・昭和初期—

川島 公之 東洋陶磁 42

平成二十四年度第一  
回研究会 西洋絵画  
に見られる東洋陶磁  
—肥前磁器を中心と  
して—

藤原 友子 " "

### 日 本

匠のかたち 藤椅子

石黒 知子 A X I S 163

U. A. カザールと  
コレクション

土井久美子 大阪市立  
美術館紀  
要 13

近代の工芸をめぐる  
「中央」と「地方」に  
関する—考察—近代  
大阪の金属工芸の動  
向を素材として—

内藤 直子 大阪歴史  
博物館研  
究紀要 11

大正期皇室下賜工芸  
品の発注と制作に関  
する—考察—

長佐古美奈  
子 学習院大  
学史料館  
紀要 19

平成24年度 研究発  
表会発表梗概 淡路  
島でつくられた近代  
の軸下彩陶磁—秋海  
棠を描いた湯呑を中  
心に—

川合加容子 学習院大  
学哲学会  
会報 26

泰山製陶所の転用技  
術—甲子園ホテルの  
集成タイル—

中村 裕太 京都精華  
大学紀要 43

わたし一人の美術時  
評 第34回 日本のも  
のづくりと伝統工  
芸の課題

藤田 一人 芸術新潮 762

特集2 所蔵作品展  
寿ぎの「うつわ」—工  
芸館の漆工コレクシ  
ョンから 工芸館所  
蔵作品展 寿ぎの「う  
つわ」解題

北村 仁美 現代の眼 598

姫路伝統の技

岡崎 美穂 五風十雨

16 永世舎～明治  
のやきもの・藩の  
授産事業に託され  
た情熱～

69

17 姫路押絵～ふ  
っくらと華やかな  
造形～

70

平成25年定期刊行物所載文献(近/工)

佐賀ガラス歴史年表	山崎 和文	佐賀県立 佐賀城本 丸歴史館 研究紀要	8	01 現代陶芸の牽 引者は誰か? 02 日本の陶芸マ ーケットの現状と は?				
近代の出雲・石見の 陶芸	河野 克彦	島根県立 石見美術 館ニュー ズレター	18	特集 マチエールの 基本と応用 ④技法 講座 vol.30 陶器に おける魅惑のマチエ ール	花里 麻理	美術の窓	362	
数寄の文化誌 第4 回 民藝	熊倉 功夫	聚 美	7					
〈小藝術〉のゆくえ— 一九一〇年代におけ る〈美術—工芸〉間の 関係性をめぐって—	入江 繁樹	大正イマ ジュリイ	8	代々伝わる三重の手 しごと 伊勢型紙/ 萬古焼/伊賀組紐		美術屋・ 百兵衛	24	
発表要旨 第九回全 国大会・第二十五回 研究会 〈小藝術〉の ゆくえ—一九一〇年 代における〈美術— 工芸〉間の関係性を めぐって—	"	"	"	滋賀文化考 Shiga- raki 信楽焼		"	25	
研究報告 東京藝術 大学所蔵 西澤仙湖 旧蔵の変わり難につい て	田中 圭子	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H23年度	紙幣発行と手漉和紙 一局紙にみる手漉和 紙の行方—	小畑登紀夫	百万塔	144	
日本刀の美学	金田 晉	刀剣美術	673	東京帝室博物館本館 の屋根瓦と三州高浜 の窯業—釉薬瓦生産 技術をめぐって—	川角 久子	MUSEUM	644	
工芸イノベーション	内田 篤呉	陶 説	718	A La Meiji—mura 天井を見上げると		明治村だ より	71	
現代美術と工芸	秋元 雄史	"	723	特集1 網の糸、金 の糸 知られざる明 治の刺繍絵画 世界 を驚かせた日本の染 織と刺繍の技	村田 理如	日の眼	437	
瀬戸ノベルティ	鶴 勲	"	724	寄稿 物原[ものほ ら]だより—戦時下 の容器不足を支えた 美濃の製陶業—	青木 本吉	"	438	
東洋陶磁研究史にお ける近代数寄者の影 響—『大正名器鑑』発 刊の事例からの考察 —	横山 梓	東洋陶磁	42	寄稿 幻の横浜七宝 ある銀胎七宝花瓶か らの仮説	渡邊 哲人	"	439	
特別寄稿 均質化	樋田 豊郎	日展ニュ ース	150	連載 旅苞がたり 5 つながりとしての の沖繩民藝	松井 健	"	440	
巻頭特集 全部買え ます。100作家200点!! 手のひらサイズのカ ワイイ工芸 クロー ズアップ 現代によ みがえる「自在置物」 もっと知りたい「自 在置物」の基礎知識	岡崎 聖護	美 術*	459	日本の美を護り・伝 えるものづくりの真 価 山形緞通	白洲 信哉	"	447	
SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動とし ての陶芸 PART2 BASICS		美術手帖	997	館蔵の汽車土瓶につ いて	羽毛田智幸	横浜市歴 史博物館 紀要	17	
土・釉薬・窯の基 本	永峰 美佳 構成・文			伝統×デザイン—手 仕事の日本ふたたび	黒沢 綾子	産 経		
Q&Aで知る! 日 本陶芸史 縄文土 器から現代陶芸ま で	大長 智広 監修・文			仙台箆筒 技能を 継承 100年後でも お直し			4.4	
基本の知識と使い 方	永峰 美佳			郡内織 「先染」が 生きる表情豊かな 傘			6.27	
SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動とし ての陶芸 PART3 SITUATION 今日の 陶芸を知る	大長 智広	"	"	意匠受け継ぐ 伊勢 ・式年遷宮		"	9.26	
				隅田川焼また 江戸 土産 空襲で窯消失 素材さ文化人にも愛 され	服部 夏生	東 京	4.12	

国産漆の危機 競合品に押し寄せ激減 後継者減り林は荒廃 文化財修理に不可欠 漆器の美どう伝える	伊東 治子	"	12.2	韓国における陶磁史研究の勃興と発展—解放から一九七〇年代の韓国国立中央博物館の活動を中心に—	樋口とも子	東洋陶磁	42
海渡った型紙 再び命 明治から国外流出 日本の染色文化 江戸小紋の専門家ら NYの所蔵品を複製、実演へ	宮川まどか	東京夕刊	1.11	平成二十四年度第三回研究会 北欧のやきもの：一九五〇～一九七〇年代—スウェーデン、フィンランドと日本	長久 智子	"	"
交遊抄 和紙でつながる	筒井 寛昭	日 経	8.15	寄稿 東洋と西洋の陶磁器が出会ったフランスの町ルーアン	柴田アニー 政章	目の眼	437
女心引き込む菱の深み	武田健太郎	"	9.12	近世末フランス農村とインドの間[あわい]—ヴェッセリングの捺染工場とアルガス南部サン・タマラン溪谷の変容	長谷川まゆ 帆	歴史と地理	669
武家屋敷街の権細工 秋田・角館 緻密な伝統の技 脈々と	藤田 哲哉	日経夕刊	9.11	美の履歴書 307 誰が何を望むのか 「貴婦人と一角獣(我が唯一の望み)」 作者不詳	増田 愛子	朝日夕刊	6.5
古い土地 新しい場所 佐賀・有田 伝統と創造の対峙	黒井 千次	毎日夕刊	2.25				
<b>海 外</b>				<b>デザイン</b>			
特集 フランスの至宝、まさかの来日! 《貴婦人と一角獣》に秘められた恋 コラム	編 集 部	芸術新潮	761	<b>一 般</b>			
2 今に伝えるタビスリーの技 国立立ゴブラン織工場				特集 ニッポンを語る 小中高のデザイン教育が日本の産業を変える。 ジェームズ・ダイソン(発明家、ダイソン創業者)	中島 恭子	A X I S	161
3 風俗、聖人、ラファエッロ…タビスリーさまさま				統合による革新、ソニーが推進する新たなUX デザイン コンテンツサービスを核に、クラウド時代を見据えた改革	大谷 和利	"	162
海外アート info-maniac 3 ダチョウの卵に刻まれた16世紀の地球儀をめぐる考察	前橋 重二	"	767	ミクロの技術でデザインの可能性を拓く 3M 住友スリーエム東京デザインラボ・編	土田 貴宏	"	"
《貴婦人と一角獣》のタビスリーにおける恋愛のテーマを読む—《嗅覚》を中心に	木俣 元一	国立国際美術館ニュース	197	世界のデザインインダストリーをネットワーク化 「デザイン・アンバサダー・プロジェクト」発足	長谷川香苗	"	"
《貴婦人と一角獣》のタビスリーにおける恋愛のテーマを読む—《味覚》を中心に	"	国立新美術館ニュース	26	from the World 新たなトピックに彩られた「メゾン&オブジェ 2013」	編 集 部 上條 昌宏	"	"
定窯研究の最前線—故宮博物院、北京芸術博物館の二つの定窯白磁展とシンポジウム報告	小林 仁	陶 説	718	インスピレーショングラフィック	深沢 慶太	"	
上海博物館「幽藍神彩—元代青花磁器大展」と国際シンポジウム	弓場 紀知	"	721	“わかりやすさ”を科学的に判定する、UCDAの試み			163
台湾の陶芸展	外館 和子	"	727				

“フラットデザイン”が意味するもの—「iOS 7」の新UI				165	入門講座 モダンデザインの系譜 2～5	柏木 博	日経夕刊	5.9.16、23.30	
日 本									
インスピレーションインテリア	土田 貴宏	A X I S			学芸ノート 明治の商業デザイン 松本家資料の引き札	新堀 道生	秋田県立博物館ニュース	156	
空間に機能を与えるツール「アトム」				164					
ミニマムなソリューションに美を見出す				165	特集 ニッポンを語る 企業がもっとオープンになって柔軟な体制をとることが必要。パーギット・ローマン(design-boom 編集賞)	長谷川香苗	A X I S	161	
特集 新興インテリアメーカーのデザインマニフェスト 生活に向けた360度の視点を伝える重要性	川上典季子	〃		164	ヤマハブランドにおけるグラフィックの意義	高橋 美礼	〃	162	
色覚シミュレーターを用いた見え方の実態—標識と景観—	大野 田村 治代 繁治	大手前大学論集		13	from the World PVC デザインアワード 2012	石橋 勝利	〃	〃	
正方形3×3—芸術工学的「正方形」研究III—	井上 貢一	九州産業大学芸術学会研究報告		44	カバーインタビュー 伊藤穰一	瀧口 範子 インタビュー・文	〃	163	
現代日本のグラフィックデザインにおける日本の美意識の調査に基づく研究 日本人とタイ人の比較	チラク・ポ ンワット	女子美術大学研究紀要		43	特集 新興インテリアメーカーのデザインマニフェスト 家具ブランドとして、復興支援の次のフェーズを目指す—石巻工房	土田 貴宏	〃	164	
英国におけるジャポニスム—日英関係が19世紀の英国の芸術デザインに与えた影響—	象 和沙	高梨学術奨励基金年報	H24年度		特集 「デザインで進む医療」「人体を知り、現場を知り、ビジョンを示す」名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科 國本桂史教授インタビュー	高橋 美礼 インタビュー・文	〃	166	
インタラクショナルデザインから見た人にとってのロボットの価値—ロボットデザインにおけるデザイナーの5つの役割	長田 純一	多摩美術大学研究紀要		27	インスピレーショングラフィック 製品の魅力を引き出す販促表現—「70年代アナログ家電カタログ」	深沢 慶太	〃	〃	
特集 ポスターの視覚文化論		美術フォーラム21		27	日本のデザインのモダニズム(1、4)	柏木 博	学 鏡	11-1、11-4	
§前文§	岸 文和	編集			映画館文化としてのポスター・看板・パンフレットについて—映画ポスター展の開催から—	神宮 善彦	群馬県立歴史博物館紀要	34	
1 広告ポスターのレトリック	西村 清和				特集 夏目漱石の目三 技あり「漱石本」総覧 漱石本を解剖する	岩切信一郎	芸術新潮	762	
2 広告ポスターの記号的分析について—ロラン・バルトにおける言語と映像の関係	小池 隆太				わたし一人の美術時評 第37回 モダンデザインの可能性と限界	藤田 一人	〃	765	
16 欲望とイデオロギー—アートの鏡としてのポスター—	平芳 幸浩				特集1 東京オリンピック1964 デザインプロジェクト		現代の眼	598	
音と絵 vol.1、3	高橋 周平 金松 卓志	美術屋・百兵衛		25、27					
ブラッティングによる産業のためのブランニング、技術、教育(抄訳)	西村 美香	明星大学研究紀要		21					

東京オリンピックという「文化装置」—都市のメディアと祝祭的な消費をめぐる仕掛け—	関口 英里		Study 色と光の文化学	宮内 博実				
二つの東京オリンピック—《スタート》がスタートするまで—	竹内 幸絵		特集 ポスターの視覚文化論		美術フォーラム21	27		
切手と美術の知られざる関係～明治・大正・戦前昭和～	田辺 龍太	国華清話会報	4 社会表象としてのポスター	難波 功士				
『女学世界』における女性美のディスコース—1901年～1925年の広告分析から—	木村絵里子	日本女子大学大学院紀要(人)*	5 若者にとって「ポスター」とは何か?	加島 卓				
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Topics		美術手帖	7 正月用引札のサバイバル—美人画ポスターとの関係	熊倉 一紗				
資生堂 世界ブランドがつくり出すキラキラ感の裏側	猪飼 尚司		8 ポスターと百貨店 三越とポスターの黎明	生田 ゆき				
BAO BAO ISSEY MIYAKE 偶然が生み出す、造形と輝きの妙	川上 典子		11 日活映画のプレスポスター	碓井みちこ				
サントリー 最上級の美味しさを伝える金の魅力	鈴木 里子		12 ポスターとグラフィックデザイナーの現在形	植木 啓子				
栗辻デザイン スター商品をつくり出すメタリックカラーのパッケージ	石田 純子		14 白昼夢としての京都	佐藤 守弘				
Happy Ice Cream! 虹色に輝くアイスクリーム用スペシャルカップ	高橋 美礼		ヤング・ニッポンの尖端—機関誌『アフィッシュ』にみる七人社—	熊倉 一紗	文化学年報	62		
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Material			天平の薰り まとって 正倉院文様商品化	坪倉由佳子	朝 日	12.25		
ヴィンテージワールド アンティーク感を際立たせる「不均一の美」			伝統×デザイン—手仕事の日本ふたたび		産 経			
2大キラキラ用紙徹底比較 アルガラス&スベシャリティーズ	猪飼 尚司		燕の鎧起銅器 一枚の板を叩いて生まれる	黒沢 綾子		10.10		
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける			手間暇かけた「ただの板」	篠原 知存		12.5		
Column 2 WA×merci 2つのメダルに込めた復興への想い			3冊の本棚 デザイナーと言葉	幅 允孝	東 京	7.21		
			美[うま]し国 四季の紋様十選 1～10	三井 秀樹	日 経	5.13、14、16、17、20、21、23、24、27、29		
			輸出茶の「蘭字」札に近代性 グラフィックデザインの先駆け、木版多色で戦前活躍	井手 暢子		9.27		
			版下の時代	郷原 田中	信之 裕介	10.10		
			デザイン力で落書き防止 橋脚に動物と少女壁画 日本工学院専門学校生描く	黒川 将光	毎 日	12.14		
			黒川紀章七回忌機にデザインフォーラム		毎日夕刊	10.9		
			デザインイベントで芝生広場に仮想都市あすから東京・六本木	永田 晶子		10.17		

五輪デザインの方向性議論 専門家20人が要望や提案	永田 晶子	毎日夕刊	11.14	特集 デジタルファブリケーションの未来図 新しいメイカーを生み出し、修理に目を向けさせる ダニエル・チャーニーの「フィックスパーツ」	中島 恭子	163
キャンパる なにコレ!? 代々育てた木で制作	寄田 翔平	〃	12.6	南アフリカのデザインスタンダードを推進する「デザイン・インダバ」	〃	〃
デザイン季評 ソフトな環境管理社会	生井 英考	読 売	8.29	from the World サン・デディエンス国際デザインビエンナーレ	長谷川香苗	〃
東京五輪デザイン1964年と2020年 統一感が「連帯」生む 五輪後の都市生活も見据えて	井上 晋治 森田 晋睦	〃	10.18	from the World 旧租界の歴史的建造物が上海の新しいデザインハブに	サウザー美帆	〃
デザイン季評 軽ブームに透ける高齢化	生井 英考	〃	11.28	特集 新興インテリアメーカーのデザインマニフェスト	〃	164
海 外				「革新性」を再定義し、第三フェーズへ挑む エスタブリッシュド&サンズ CEO モリージョ・ムサティ、インタビュー	中島 恭子 インタビュー・文	〃
スイス・ランゲンタールの「デザイナーズ・サタデー」	谷口真佐子	A X I S	161	「デザインの良心」の進化形として— HAY	土田 貴宏	〃
スタジオo+aーイノベーションを起こすための空間デザイン	瀧口 範子	〃	〃	“女性的”というテーマを徹底して掘り下げる—フライフラウ	小町 英恵	〃
from the World ブラジル・デザインビエンナーレ—モノづくりにおけるブラジリダージの横断	仁尾 帯刀	〃	〃	デザインの前衛とマスマーケットを結ぶ—Booo	土田 貴宏	〃
from the World 21世紀にふさわしい土産物を探して デザインコンペ「ヨーロッパ・ホームラン」	小町 英恵	〃	〃	インスピレーショングラフィック 機能性を超えて愛されるビクトグラム「アンペルマン」	深沢 慶太	〃
from the World 「台湾国際文化クリエイティブ産業博覧会」が掲げるローカル性	谷口真佐子	〃	〃	「Bugaboo(バガブー)」、移動における新たな経験価値の創造	編集部 上條 昌宏	〃
インスピレーション インテリア ルイ・ヴィトンと著名デザイナーたちのコラボレーション	土田 貴宏	〃	162	今と向き合うために未来を見つめる 「ヒュンダイ・マイ・ベイビー」プロジェクト	有元 正存	〃
“Made and Designed in Taiwan”で世界に攻勢をかける台湾ブランド	長谷川香苗	〃	〃	サービスデザインを通じて社会を変える好機 「ワールド・デザイン・キャピタル・ヘルシンキ2012」を終えて	中島 恭子	〃
from the World イノベーション発表の場としての地位を確立 国際家具見本市「immケルン」	小町 英恵	〃	〃	MIT メディアラボ 人工物と生物の統合を目指す2つのグループ	瀧口 範子	〃
from the World 香港ビジネス・オブ・デザイン・ウィーク2012	石橋 勝利	〃	〃			



デザイン・アンバサダー・プロジェクトグッドデザイン・オーストラリア理事長ブランドン・ギエン氏インタビュー「世界中の“デザインの声”を1つにしたい」	長谷川香苗	〃	〃	特集 木造の未来—持続可能な社会を求めて 新たな木造の時代へ インタビュー 安藤直人	玉城 妙子 聞き手	〃	204
オピニオン ユディット・ヴァーリヘイ歴史や文化とのつながり、そしてカタチよりもスピリット	石橋 勝利 インタビュー・文	〃	165	特集 建築評価の現在形：脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第1部 21世紀の建築展	保坂健二郎	建築雑誌	1645
from the World 100% デザイン・シンガポールと新進デザイナーたち	谷口真佐子 編集部	〃	166	「建築家」が問われるとき—自己規定の軌跡と現在 第2部 近代日本における「建築家」像の系譜学 スキンの呪い？	土居 義岳	〃	1651
研究報告 1980年リンツ『フォーラム・デザイン』展とポストモダニズム	藪 亨	芸術文化研究	17	建築と文化—建築は「凍れる芸術」か？—	海野 敏夫	文化と芸術	18
カリフォルニアの椅子	長谷川珠緒	国立新美術館ニュース	26	北京は建築家の実験の場？ 奇抜な建物続々出現	白石 徹	東京夕刊	8.28
アスマット族の盾に見る文様表現について	早坂 文吉	天台学報	55	文化往来 来年のベネチア建築展、グローバル化を再考		日 経	7.13
				日 本			
INFORMATION ノルウェーのデザインを、今再び東京で	猪飼 尚司	美術手帖	987	インスピレーション 建築 改修ノウハウのオープン化で、空き家が動き出す	ぼむ企画	A X I S	163
ノルウェーデザイン紀行	黒沢 綾子	産 経		歴史のなかの金・銀・銅 鉱山文化の所産 III 日本・アジア・ヨーロッパの鉱山文化—技術・環境・民俗 佐渡の鉱山文化—建築と町並み	黒野 弘靖	アジア遊学	166
上 大自然に近づくために			6.13				
中 実直なものづくり 世界に発信			6.20				
アートな本 ダイアナ・ニューオールほか著『世界の文様歴史文化図鑑』		東 京	2.10	研究紹介 「東京中央郵便局」再考	阿部 聡子	Ouroboros	48
ぎゃらりいモール 武蔵野美術大学 美術館・図書館 「タイポグラフィ2つの潮流」から「英国欽定聖書」 コブデン・サンダーソン、エマリー・ウォーカー ハーマスミス	本庄美千代	読売夕刊	6.25	細川家の建築8～12	藤森 照信	永青文庫	81～85
				本多忠次邸建設経緯と同時代の住宅事情	千葉真智子	岡崎市美術館研究紀要	5
				《昭忠碑》石塔の現状について	大野 春夫	屋外彫刻調査保存研究会会報	〃
				建築遺構からみた《昭忠碑》	高橋 正則	〃	〃
<b>建 築</b>				小田原市板橋の内野邸実測調査報告	田中 和幸 伊藤 羽生	小田原市郷土文化館研究報告	49
<b>一 般</b>				建築のリノベーションとコミュニティの再構築の可能性—南山城村高尾地区旧高尾小学校再利用プレ調査を通して—	ウスビ・サコ	京都精華大学紀要	42
和辻哲郎の建築論	三嶋 輝夫	青山史学	31				
特集 子どもと建築—子どもを豊かに育てるための建築の役割— 学びと遊びの環境デザイン	鈴木 賢一	アプローチ*	202				

「建築家」が問われるとき—自己規定の軌跡と現在 第2部 近代日本における「建築家」像の系譜学—もうひとつの建築家像—創宇社建築会から戦後へ	佐藤 美弥	建築雑誌	1651	佐脇家図面の調査—明治期奈良建造物保存修理工事の大工について—	大林 中村 潤 仲夫	奈良文化財研究所 紀要	2013
明治神宮外苑の成立過程に関する研究 軍事儀礼・日本大博覧会構想・明治天皇大喪儀	長谷川 香	建築史学	61	近代兵庫の和風別荘と邸宅—兵庫県近代和風建築総合調査3—	松下 迪生	〃	〃
〈記念シンポジウム〉 建築史学の戦後		〃	〃	現代日本の建築家によるピロティ形式の住宅の設計意図	四ヶ所高志 塩崎 奥山 太伸 信一	日本建築学会計画系論文集	684
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から皇城実測図 明治初期の皇居	津田 深雪	国立国会図書館月報	623	日本における借景庭園の空間構成に関する研究	周 宏俊	〃	689
数寄屋と銘木の世界	田野倉徹也	紫 明	33	ニューヨーク近代美術館「日本建築展」に見る日米の日本建築観の差異 1950年代における構図	山崎 泰寛 松隈 洋	〃	691
駐日大使館建築の基礎的・実証的研究—建築史料、外交文書、ならびに旧華族への聞き取り調査に基づく検討—	奈良岡聰智 主査 小川原正道、川田 敬一、土田 宏成、梶原 水野 京子 委員	住総研研究論文集	39	滋賀県湖東地域の家における建築的構成と住民の使用実態—滋賀県彦根市金沢町・梅本家住宅を事例として—	藤木 庸介	人間文化	33
街角アート GTS 観光プロジェクト	星野 清一	新美術新聞	1321	INFORMATION DIY で組み立てる、犬のための建築	藤森 愛実	美術手帖	979
騒色公害と景観問題—実態と解決策—	三星 宗雄	人文学研究所報	50	新指定物件に関する寄稿論文 高野口小学校の校舎と町並み	神吉紀世子	文化財*	603
都市のダイナミズムと都市景観行政—尼崎市の寺町都市美形成地域を中心に—	山口 覚	人文論究	63-1	受け継がれた住まい 今に生きる文京の近代建築	川口 明代	文京ふるさと歴史館だより	20
京島原と角屋	中川 清生	全文連文化財通信	90	神宮式年遷宮雄感—内宮正殿の図面と匠の系譜—	浜島 一成	本 郷	107
大名庭園 武家の美意識ここにあり 江戸の消えた大名庭園、生き延びた大名庭園	白幡洋三郎	太陽(別冊)	204	旧岸三二邸 建物調査報告	川上 悠介	港区立港郷土資料館研究紀要	15
ビル・マンションの中の露地		淡 交	834	学問の図像とかたち 155 思考の模型 構造の浄土	松本 文夫	U P	493
札幌かに家本店 「白雲亭」				批評 私小説 「私の考える建築」	藤田 六郎	R E A R	29
長岡香料株式会社 「香満庵」				特集 住まいの歴史を学ぶ		歴史地理教育	806
株式会社損保ジャパン「安分庵」				日本の住まい	森 隆男		
SHUHALLY「文彩庵」				住居における近代化の問題	岸本 章		
米沢寺町まちづくりワークショップの実践 地域の景観まちづくりを考える、市民協働の取り組み手法について	志村 直愛	東北芸術工科大学 紀要	20	モノが語る歴史 2 国指定史跡・重要文化財「旧富岡製糸場」とカタクラ	東海林次男	〃	808
				国立競技場建て替え修正案 どう考える時こえ愛される競技場に 市民の声を吸い上げ議論を	大西 若人 朝 日		12.3

まちあるき 震災復興 東京モダン 建築に大胆な構想力	伊東 絵美	朝日夕刊	2.15	アーク・ノヴァ 生物に似た「新しい方舟」				10.24
日本館テーマ「倉」 来年のベネチア建築展	大西 若人	〃	8.28	文京区立森鷗外記念館 住宅街になじむ小宇宙				11.28
意匠受け継ぐ 伊勢・式年遷宮		産 経	9.26	鈴木博之の都市の呼吸 歌舞伎座「五代目襲名」 生きた文化遺産 どう継承	鈴木 博之	〃		4.16
限定要チェック！ 三溪園(横浜市) 名建築の内部一挙公開	村手 久枝	東 京	6.7	「世代超えた共生」提示 最後の同潤会アパート 取り壊し	内田 青蔵	〃		5.20
国賓もてなす国宝の館 迎賓館赤坂離宮			6.21	「新国立競技場」への憂い 巨大施設 説明責任果たせ	植 文彦	〃		10.2
歌舞伎座復元 支えた原寸図 瓦の形から壁の隙間まで 福井の宮大工「変わらない」がうれしい		東京夕刊	5.30	基礎からわかる歌舞伎と歌舞伎座 どんな建物 5代目は座席ゆったり	塩崎淳一郎 大沢 帝治	読 売		4.2
建築物使い捨てに警鐘 日本建築家協会「公共的な社会資産」		〃	6.26	日本史を歩く 印象的な六角塔屋 旧春米学校 山梨県富士川町	片岡 正人	〃		4.10
京の和風モダン建築十選 1～10	石田潤一郎	日 経	6.27、28、7.1、2、4、5、8、9、11、12	建築季評 「カッコいい」にも守る価値	中川 理	〃		6.27
京町屋 表と奥	土井 誠司	〃	7.11	責任体制なき国立競技場				12.26
文化人集った「フロンゾア」 京都の西洋風喫茶室、建築様式や創業経緯を研究	佐藤 裕一	〃	8.15	歌舞伎座 新開場「よっ！5代目」 工事に延べ40万人「日本文化のシンボルに」		読売夕刊		4.2
神宮とおおやしろ 日本の原像を探る 建築・美 6、7	伊藤 和史	毎 日	8.11、18	海 外				
論点 整備計画が進む新国立競技場 同時代への想像力欠く	松隈 洋	〃	11.15	特集 デジタルファブリケーションの未来図 建築をプリントする未来 建設の新たな地平「D-Shape」	田代かおる	A X I S		163
評 建築	五十嵐太郎	毎日夕刊						
神宮前ビルディング スキマが生む魅力の異空間			1.23	from the World 欧州文化首都ーリガ 2014に向けて	若井 浩子	〃		165
被災地での多彩な試み コミュニティ形成を促進			5.22	特集 木造の未来ー持続可能な社会を求めて オーストリアの地方に見る木造建築と社会の持続的関係	網野 禎昭	アプローチ*		204
JPタワー、KITTE 過去と現代 好対照に共存			6.26					
愛知産業大 言語・情報共育センター ころやかに新時代の感覚			7.22	ウィーン、シュテファン大聖堂の空間と造形ー後期ゴシック期における建築空間の生成プロセスを巡ってー	岩谷 秋美	鹿島美術財団年報・別冊		30
博物館化する瀬戸内 近代から現代まで自然と共存			8.29	特集 庭と庭園			コリアナ	20-3
蟻鱗齋ル 即興演奏的な都心の住宅			9.19	特集1 庭と庭園	韓坂野 敬九 諷 慎治			

特集4 古民家の庭	曹坂野 全煥 訳 慎治			現在通信 From NEW YORK メール・アートの大家	富井 玲子	新美術新聞	1327
特集6 いにしへの詩人の山水庭園	許坂野 鈞 訳 慎治			宙吊りになる感性：アール・ブリュットにおける違和感	匂坂 智昭	成城美術史	19
初期アルメニア正教教会堂建築の教会堂主要部構成における上部架構成の系譜—アルメニア共和国におけるキリスト教建築の研究 4—	藤田 康仁	日本建築学会 系論文集	687	資料紹介 東京都美術館収蔵の書作品について	田村 麗恵	東京都美術館紀要	〃
アルメニア正教教会堂建築における外壁面ニッチ構成の特質	〃	〃	689	後美術論 第13回 「歌う彫刻」と「人間[マン]=機械[マシーン]」(中編)	榎木 野衣	美術手帖	991
ロンバルディア地方のロマネスク教会堂複合柱のプロファイラー線条化のプロセス(その4)一	佐藤 達生	〃	〃	視点 激動期の舞台芸術	岩城 京子	美術の窓	353
19世紀の工芸美術館における銘板の役割	足立 純子	武蔵野美術大学 研究紀要	43	視点 アール・ブリュットネットワークの発足にあたって	笹山 衣理	〃	354
学問の図像とかたち 153 思考の模型 中庭の小宇宙	松本 文夫	U P	491	特集 武器をアートに「武器をアートに」展によせて	吉田 憲司	みんなく	433
フランス・ゴシックの建築工匠[メートル・ドゥーヴル]たち—ストラスブール大聖堂第一の工匠からシャルトルの工匠まで—	坊城 俊成	横浜美術大学 教育・研究 紀要	3	日本			
特集 住まいの歴史を学ぶ 世界の住居	宮崎 玲子	歴史地理 教育	806	特集 演劇空間に見る発想の自由	今村 玲子 インタビュー・文	A X I S	162
ノルウェーデザイン紀行 下 「悲劇の町」再生…観光名所に		産 経	6.27	「演劇空間は、もつともつと自由であっていい」フュスティバル/トウキョー プログラムディレクター 相馬千秋氏 インタビュー			
アンビルトの夢 未完の建築十選 1~10	光嶋 裕介	日 経	1.24、25、28、29、31、2.1、4、5、7、8	Port B 代表・演出家 高山明氏 インタビュー 「さまざまな境界をずらすため、劇場の外に出る」			
旧満鉄の赤レンガ駅再生 中国・瀋陽駅		読 売	8.11	マルチレイヤープロジェクトによるオペラ舞台の演出	桐山 孝司 木村 穂 重田 佑介 越田 乃梨子 宮廻 正明 松村 公太郎 平 論一郎	映像メディア学*	4
<b>その他のジャンル</b>							
一 般							
ミウラ折りの発見		アプロー チ*	201	三宅一生プロデューサー「青森大学男子新体操部」という新世界		芸術新潮	765
特集：折り紙から宇宙を拓く—展開幾何学と宇宙	三浦 公亮、 十亀 昭人 対談			研究ノート 名所絵葉書に見る観光地—赤倉温泉と妙高温泉—	田邊 幹	新潟県立歴史博物館研究紀要	14
折り紙工学の進化	館 知宏 談			明治初期、「西洋眼鏡」の盛衰—人はなぜ覗き、なぜ観るのか—	坂井 美香	年報非文字資料研究	9
人工衛星を利用した地上絵の制作に関する研究	鈴木 浩之	金沢美術 工芸大学 紀要	57	堀辰雄の純粋造本	大藤 敏行	文 学*	14-5
				うごく京人形—娯楽と芸術のはざままで—	森 道彦	文化財レポート	26

空きビルを芸術村人つなぎ街に刺激	滝沢 学	東京	11.15	コラム1 「会田誠展：天才でごめんなさい」展覧会レビュー 「あのカラスの絵」の凄さ、でも美術館にきちんと収まっているのか？					
東北切り紙 神業の美しさ 神棚の正月飾りなど宗教儀礼の用具 記録、研究	千葉 惣次	日経	3.6		山下 裕二				
ウルトラマンを「手作り」 円谷プロの特撮造形部門・LSS	広瀬 登	毎日夕刊	8.9						
書の世界 第62回奎星展 個展学習と個性の発露	桐山 正寿	〃	10.31	DOCUMENT 制作現場ドキュメント 「会田誠展：天才でごめんなさい」ができるまで	内田 伸一				
書2013 過去と未来をつなぐ社中展	菅原 教夫	読売	6.13						
<b>海外</b>									
3D映像が映し出す舞台表現の未来—ダッソー・システムズ	長谷川 香苗	A X I S	165	コラム2 ドキュメンタリー映画『駄作の中にだけ俺がいる』によせて 不合理ゆえに吾信ず		平野啓一郎			
世界のアート事情 “流行”する服飾展 欧米の美術館で	今津 京子	美連協ニュース	118	SPECIAL TALK 対談：村上隆×会田誠	岩渕 貞哉 聞き手 福住 廉 構成				
<b>作家</b>									
<b>日本</b>									
(ア)									
震囁の「バス観光ハプニング in 新潟 2012」研究ノート	濱田真由美	新潟市美・新潟市新津美研究紀要*	1	会田誠による人物相関図	会田 誠				
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて—現代の名作から日常の駅	相笠 昌義	美術*	453	会田誠の美術系まっとう料理術!!	永峰 美佳				
評論の眼 会田誠展「天才でごめんなさい」とことん、アナーキーな	ワンオ・トシヒコ	ギャラリー*	337	コラム3 グローバル化への断固とした抵抗 世界はなぜ会田誠に関心を向けられないのか？	エイドリアン・ファウエル				
特別対談 会田誠×よしもとぼなな 青春と変態とぼくらの時代	会田 誠 よしもとぼなな	芸術新潮	759	CRITIQUE 下降からの上昇：会田誠の「反近代」	松井みどり				
SPECIAL FEATURE 会田誠		美術手帖	977	MEMORIAL 追悼：東谷隆司	榎木 野衣 島中 実誠 会田 誠 辛美沙 山川 冬樹 バク・マヌ 新川 貴詩	〃	〃		
エッセイ 超言い訳	会田 誠			思い出す本忘れない 本 芸術の核心を教えられた 劇画における若者論 三島由紀夫著	会田 誠 上原 佳久 構成	朝 日		2.3	
GALLERY 「会田誠展：天才でごめんなさい」	内田 伸一			ニュースQ3 アートか「児童ポルノ」か 挑発的な美術展[会田誠]	上原 佳久 西本 秀	〃		3.1	
会田誠 INTER-VIEW ロング・インタビュー	榎木 野衣 聞き手 内田 伸一 構成			良識のうしろ側 純粹さの利用暴く 会田誠展	大西 若人	朝日夕刊		1.23	
会田誠 AKB 美術部番外編 《MONUMENT FOR NOTHING II》をつくる！	山内 宏康								

性的虐待か芸術表現か 作品が物議 会田誠さん展示会「18禁でも公開は不適切」「自由な発想 受け皿必要」	林 啓太	東京	1.31	あいちトリエンナーレ2013 ARTIST INTERVIEW 3 青木淳×アルフレッド・ジャー その状況で、一番適切なことを試みる	Okazawa Kotaro 文 Araki Tomoko 翻訳・インタビュー	美術手帖	992
短歌月評 現代の表現へ[会田誠]	加藤 治郎	東京夕刊	1.19	カリフォルニアの日本人画家 青木年雄	チエルシー・フォックススウェル	近代画説	22
アートの風 1月 会田誠展「前衛」なき時代の飢餓	三田 晴夫	毎日夕刊	1.10	特集 日本の現代版画 1990-2013 青木野枝《雲垣1》1997年	青木 野枝	版画芸術	162
「会田誠」展 引用で斬る「日本美術史」	高野 清見	読 売	1.31	特集2 彫刻・作家・作品論 青木野枝花と龍 青木野枝の彫刻試論	小泉 晋弥	R E A R	29
安吾賞受賞 美術家・会田誠さん 揺らぐ時代の合わせ鏡に「薄曇り」の世相に警戒感	井上 晋治	〃	12.26	台湾・日本芸術文化交流事業レポート 漆芸と現代アート 新しい交流のかたち 台湾・日本漆芸交流展を通して、私が観た台湾漆芸	青木 洋介	新美術新聞	1329
ぎゃらりいモール 相田みつを美術館「仏像との対話—かんのん讃歌の世界」から「かんのん讃歌」相田みつを	相田 一人	読売夕刊	1.15	第44回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 初めに挑戦するにあたり	〃	日展ニュース	148
青春プレイバック 陶芸家曾田雄亮 器から建築まで—陶土の可能性を求めて	松崎 裕子	新美術新聞	1316	フェイス21世紀176 青木良識 大胆に、荒削りに 師の教えを胸に	和田 圭介	新美術新聞	1324
第35回十果会	今井 真吾、平岡 靖弘、相田 幸男、齋藤 研、木津 文哉、瀬川富紀男 編集部 文	〃	1319	SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動としての陶芸 PART3 SITUATION 現代陶芸の現在・未来 2000年代のパイオニア PIONEER 3 青木良太	沢田眉香子	美術手帖	997
コミック Z 1 相原コージ(作) おぞましくて笑えるソンビ	山脇 麻生	朝 日	5.12	ケンチク脳の活かし方 no.9 建築パースから絵本へ—手を動かして絵を描き続ける	青山 邦彦 東 淳子 聞き手	建築雑誌	1647
霞光《眼のある風景》をめぐって(上)	大谷 省吾	美術研究	410	作陶からみる伯庵茶碗についての一考察	青山 双男	陶 説	726
この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012年度奨学生 青木香保里	青木香保里	美 術*	456	特別読物 きっと誰かが拾ってくれる	赤木 明登	芸術新潮	764
平成二十四(二〇一二)年度 日本東洋美術史の調査研究報告 『青木繁遺作展 覧會圖録』について	高橋 沙希	関西大学 博物館紀要	19	回想のバリ50年 赤木曠児郎	赤木曠児郎	美 術*	457
藤島武二・青木繁と世紀末美術	〃	東アジア 文化交渉 研究	6	特集 2013年 ルネサンス大解剖 私のルネサンス 古代の技法から 西洋絵画の系譜を辿る	赤木 範陸 談	美術の窓	355
今月のとんぼの本 潔く、含蓄のあるミケランジェロ入門	青木 淳	芸術新潮	766	JR 日光駅100年のロマン 謎の設計者は二十代建築家 郷土史家解明 鉄道院所属、三十代で世界 [明石虎雄]	石井紀代美	東 京	1.28

特別連載「中原佑介を読む」を読む第3回 反論理の美術批評[赤瀬川原平]	原田 裕規	美術手帖	991	1930年代生まれ、ふたりの現役超ベテランアーティスト 工作少年・阿部典英×走るプリキ男・秋山祐徳太子のトークショー	ギャラリ一*	340
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて—現代の名作から外川線	赤田美砂緒	美術*	453	コンパス アートと選挙[秋山祐徳太子]	石屋 法道	東京夕刊 7.13
あの人に迫る 森田拳次 漫画家 戦争を歴史から消さぬため活動[赤塚不二夫]	河郷 丈史	東京	8.18	現代美術の歩き方 今月の一品 アキラ・ザ・ハスラー 赤い糸「IT'S OK TO NO NUKES」	日沼 禎子	美術の窓 353
特集ワイド 2013年夏 会いたい 今ごろ何と… 1 漫画家 赤塚不二夫さんリアルにつながるのだ	瀬尾 忠義	毎日夕刊	8.7	版画をめぐる「謄写版の冒険」[芥川清巳]	植野比佐見	和歌山県立近代美術館ニュース 74
新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.006 赤堀尚 身辺抄	赤堀 尚	美術*	451	いまひとたび浅井忠について—そのデザイン活動—一九〇〇—〇七年	森 仁史	一寸 54
特集 もう一度立ち返るニッポンの油絵 技法講座 vol.28 作家にきく ニッポンの油絵 対談 赤堀尚×笠井誠一	一井 建二	美術の窓	354	特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 巻頭インタビュー 注目の若手作家たち 浅井裕介	浅井 裕介	美術の窓 357
L字生かした小学校設計の2人に野村賢[赤松佳珠子]		朝日夕刊	7.3	浅井裕介が小学生と共同制作 植物のように伸びる地上絵	渋谷 和彦	産 経 2.27
特集 ポスターの視覚文化論 9 画家とポスターの緩やかな周辺—大阪モダニズムの画家三態[赤松麟作]	橋爪 節也	美術フォーラム21	27	特集 武田百合子 歩く、食べる、書く 百合子さんとともに桜とユリ	浅生ハルミン	ユリイカ 635
水墨画家・穂月明		美術屋・百兵衛	24	ケンチク脳の活かし方 no.10 ペーパー スカルプチャー—立体作品の独創的な世界	安座上真紀子 話し手 生田 京子 聞き手	建築雑誌 1650
特別読物 きつと誰かが拾ってくれる [秋野ちひろ]	赤木 明登	芸術新潮	764	導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(2)—「美術リテラシー」に関するアンケート(2)—	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 滋 浅川 正樹 武井 文	横浜美術大学教育研究紀要 3
当館のイチオシ 生命の象徴としての水牛 秋野不矩《犇牛》 浜松市秋野不矩美術館		ギャラリ一*	341	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 朝倉彫塑館リニューアルオープン 三沢厚彦が「猫」を訪ねる[朝倉文夫]	編集部	美術* 458
秋山武雄の懐かし写真館 ふるさとへ「家族の元」に長い列	秋山 武雄	読 売	12.5	特集 基礎を完璧にする! 人体デッサン 技法講座 vol.27 朝倉文夫の基礎教育法—デッサンと観察について—	戸張 泰子	美術の窓 352
医療ルネサンス 化学物質過敏症 4/5 妻の闘病漫画で紹介 [あきやまひでき]		〃	12.13	朝倉文夫 幻の随筆 今秋出版 東洋のロダン 谷中つづる「彫塑館」修復にも活用	丹治早智子	東京夕刊 5.16
貴賓席 秋山祐徳太子を単なる「元祖」としていいのか	藤本均定成	あいだ	206			

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ア)

建築の争点 no.15 建築とインテリアを 分割する線	浅子 佳英	建築雑誌	1645	漫画家麻生豊《銀座 復興絵巻》制作の背 景について —主と して麻生の戦前・戦 時期の動向から—	佐藤 美弥	埼玉県立 歴史と民 俗の博物 館紀要	7
「新具象彫刻展を出 発点とした東京造形 大学出身者たち」展 [麻田昭作]		ギャラリ ー*	343	私のグッとムービー アダチケイジさん 「ラスト、コーショ ン」 男性を包む、 強い母性	相田 香織 聞き手	朝日夕刊	8.2
視線 南予写真[浅 田政志]	森村 泰昌	朝 日	3.10	特集 水墨の美 わ たしの線描法 一本 の線が「幅」と「奥行 き」を併せ持ち一回 の運筆で立体的な表 情まで表現したい	足立 正平	水墨画*	291
土曜訪問 著書で家 族写真を語る 浅田 政志さん 一枚に見 どころ凝縮	三沢 典丈	東京夕刊	10.5	〈座談会〉 筆職人と の対話から生まれた オアシス	足立 正平 神山 玄 東園 基昭 千々岩 修 福井江太郎 阿部 悠季	美術*	458
南予写真 NANYO 南予 ART プロジェ クト・浅田政志・渋谷 征司著		日 経	2.10	茶話マンガ 壮絶体 験 独特の距離感 [吾妻ひでお]	伊藤 剛	朝日夕刊	11.2
あとがきのあと「家 族写真は「」であ る。」浅田政志氏 体験から楽しさをつ づる		〃	10.20	本づくし「究極に 知的な生き方」『小 屋から家へ』中村好 文著	安積 朋子	A X I S	165
浅野陽先生の想い出	川村 二郎	陶 説	725	特集 もう一度立ち 返るニッポンの油絵 ④技法講座 vol.28 case 1 油彩による 細密描写 安彦文平	安彦 文平	美術の窓	354
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 豊田さん	浅野 修	主体美術	94	「焼きおとし」につい て—スギとヒノキを 利用した「備前焼」の 焼成実験より[安倍 安人]	重根 弘和	陶 説	726
日々好日 知られざ る国際性	浅野 均	新美術新 聞	1331	工芸の「伝統」—阿部 碧海の生涯にみる—	森 仁史	地方史研 究	365
浅野弥衛頌 客体[オ ブジェクト]的絵画 であること、同時に 非再現的絵画[ノン ・リプレゼンテーシ ヨナル・ペインティ ング]であること	関 智生	R E A R	30	「巨大壁画」子供を笑 顔に 釜石の鉄工所 外壁彩る[阿部恭子]		読 売	8.20
春の叙勲 デザイン の道一筋 旭日小綬 章アートディレクタ ー 浅葉克己さん		読 売	4.29	巻頭特集 魅惑の女 性像 画廊街で出会 える女性像 阿部清 子		美 術*	454
石巻発 「物語」の家 具 修繕から出発 被災者と制作、世界 へ[芦沢啓治]	森川 敬子	朝 日	9.18	ひと文字12 阿部朱 昂「断」	阿部 朱昂	新美術新 聞	1304
総特集 やなせたか し アンパンマンの 心 才能のゆりかご やなせたかしさん、 そして星屑の育つ庭	東 逸子	ユリイカ	631	1930年代生まれ、ふ たりの現役超ベテラ ンアーティスト 工 作少年・阿部典英× 走るブリキ男・秋山 祐徳太子のトークシ ョー		ギャラリ ー*	340
三重の陶芸空間 完 成させたい「虹の 泉」制作者の遺志継 ぐ 支援者ら募金活 動[東健次]		日経夕刊	11.1	彫刻家の現場[アト リエ]から 99 阿 部典英	武田 厚	美術の窓	359
特集 日本の現代版 画 1990-2013 東谷 武美《日蝕 0302》2003 年	東谷 武美	版画芸術	162				



特集 建築評価の現在形：脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 建築の規格	阿部 仁史	建築雑誌	1645	美の美 沖縄の美[ちゅ]らさ 下 一織りあげる 清らかな心映し出す布 苦難乗り越え今に伝わる [新垣幸子]	内田 洋一 日 経	11.17
特集 クマ 怖ろしさ 尊さとの邂逅 熊についてのあれこれ	あべ 弘士	ユリイカ	633	第44回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一黄金の森	新垣 優香 日展ニュース	148
〈座談会〉筆職人との対話から生まれたオアシス	足立 正平 神山 基昭 東園 岩修 千々岩 悠季 福井江太郎 阿部	美術*	458	SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ピエンナーレ PART II 国別展示 世界88か国を代表する作家が一同に！ ARTIST PICK UP No.6 荒川 他者との関係から生み出されるパフォーマンス	北澤ひろみ 美術手帖	989
学生企画ークロスロード 2012年度京都造形芸術大学卒業展大学院修了展[安部由里子]		瓜生通信	58	入門講座 近代陶芸家くらべ 3 荒川 豊蔵×八木一夫 「土を焼き造形」突き詰める	金子 賢治 日経夕刊	9.19
特集 日本の現代版画 1990-2013 天野純治《voice of wind#04801》 2004年	天野 純治	版画芸術	162	3冊の本棚 豚の死を食べる[荒川弘]	幅 允孝 東京	8.18
Go! Artists Go! 54 天野祐子	編集部	美術手帖	997	特集 表現する女性たち PART 2 荒木 恵子	高山 淳 美術の窓	361
特集 グスタフ・クリムト 世紀末ウィーンの爛熟と光輝 インタビュー 黄金の還る場所	天野 喜孝 天野 談	ユリイカ	625	70年代の熱きマグマがほとぼしる、蔵出し写真集[荒木経惟]		芸術新潮 761
展覧会レビュー part 1 石田徹也展 ノート、夢のしるしみぞおちにくる絵	雨宮 庸介	美術*	459	瀬戸内国際芸術祭 2013 公式ガイドブック アートをめぐる旅完全版春 Pick up People 荒木経惟 PARADICE/Aアラキー列車ほか アラーキーの花写真がビルボードや列車に！	荒木 経惟 美術手帖	981
特集 表現する女性たち PART 1 雨宮 敬子	武田 厚	美術の窓	361	光と風追った写真界の親方 東松照明さんを悼む	荒木 経惟 朝 日	1.9
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 画面に躍動する祭衆の情念と熱気	綾部 好男	美術*	456	読書 死小説 荒木経惟(著) 文字使わず遍歴つづる能の物語	横尾 忠則 //	12.8
回顧自選作品 新作・老子荘子語句 新井光風作品展		新美術新聞	1308	自作再訪 荒木経惟さん「センチメンタルな旅」 私写真の原点「日記だよ」	篠原 知存 産 経	6.24
龍のように強く 東京の書家 作品贈り交流つなぐ 相馬の小学校「プータンの言葉 力に」[荒井紫峰]	小林 利光	毎日夕刊	3.9	東松照明さん しのぶ会 「頼りがいある兄貴でした」丹野章さん、ユーモア交え[荒木経惟]	森本 智之 東京夕刊	4.4
新井淳一の布 伝統と創生 上、中、下		東京夕刊	2.26~28	毎日芸術賞の人々 下 荒木経惟さん 人生という物語を切り取る	手塚さや香 毎日夕刊	1.9
オンリーワン 新井淳一の布づくり 伝統と革新 縦横無尽	井上 晋治	読 売	7.21			

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ア)

人生は夕方から楽しくなる カメラマン 荒木経惟さん 脳は今、一番元気まさに「写真骨頂」	小国 綾子	毎日夕刊	4.5	瀬戸内国際芸術祭 2013 公式ガイドブック アートをめぐる旅完全版 春直島 Pick up People 安藤忠雄 直島の歴史とともに建築綴るミュージアム	安藤 忠雄	美術手帖	981
フロントランナー「人間賛歌」描いて四半世紀 漫画家 荒木飛呂彦さん	石田 博士	朝 日	9.14	建築と美術館10 原点と出会える場	安藤 忠雄	美連協ニュース	119
ようこそ、新しい先生 10 有木宏二	有木 宏二	瓜生通信	58	甲乙閑話 勇気胸に撮った 生きた[安藤忠雄]	大西 若人	朝 日	3.13
First Born 有田泰而著		日 経	1.13	華麗な人 現場へ夢へ歩け歩け 足 遠回りして思索の時間 建築家 安藤忠雄さん	谷辺 晃子	朝日夕刊	12.5
特集 日本の現代版画 1990-2013 有地好登《The reflected scenes-turning point》 1996年	有地 好登	版画芸術	162	「新国立競技場」建設を考える 世界に誇る「日本の新シンボル」 スポーツと文化が共存、国家的プロジェクト	安藤 忠雄、 小倉 純二、 都倉 俊一、 河野 進行	産 経	4.16
「オノサト・トシノブ記念座談会」記録(前編、その2)	有村 真鐵、 宮地 佑治、 保倉 一郎、 渡邊 保、 奈良 彰一、 小此木美代子、 石井 克	ガ ス 燈	96、97	高松宮殿下記念 第25回世界文化賞に5氏 受賞した重み常に意識 創設25周年にあたり 建築家 安藤忠雄氏		"	9.18
美の美 音が聞こえる絵画 上 有元利夫 フレスコ画への憧憬、昇華 素朴な調べ、絵肌に息づく	小川 敦生	日 経	10.13	「過去と未来 考えて」 安藤忠雄さんの美術館 香川・直島で完成 築100年の古民家活用		日 経	3.10
特別企画 春陽展90回記念展 新世代の作家 『赤から青への自作の変化について』	有吉 宏朗	ギャラリー	336	冬の町描いた巨大な絵 秋田市 藤田嗣治が戦前に制作[安藤忠雄]	大谷 真幸	日経夕刊	1.16
本よみうり堂 コミック館 「俺物語!!」が人気沸騰中 少女マンガにマッチョヒーロー[アルコ]	小間井藍子	読売夕刊	1.28	子供に「子供をさせよ」 突き放すことで人は育つ 建築家 安藤忠雄さん	小橋 弘之 聞き手	"	5.1
インスピレーション 建築 高野山の宿泊体験を変える新名所「kokuu」[アルファヴィル]	ぼむ 企画	A X I S	162	安藤忠雄さんに仏政府勲章授与	永田 晶子	毎 日	12.25
元気のひみつ イラストレーター 安斎肇さん 原因は追及しない主義	保科 龍朗	朝 日	5.11	東京に五輪を 限界への挑戦 生で見た	安藤 忠雄	読 売	1.10
私のグッとムービー 安西水丸さん「飛べ! フェニックス」 「もの」の原点を見せられた	蒔苗沙都子 聞き手	朝日夕刊	6.21	二川幸夫さんを悼む 建築の文化的価値 世に問う	"	"	3.14
復興と再生	安藤 邦廣	筑波大学 芸術研究 報告	60	瀬戸内に集う「建築の粋」 「国際芸術祭」と連動 話題相次ぐ 安藤作品続々と誕生 松村正恒 地域に奉仕	高野 清見	"	8.22
特集 日本の現代版画 1990-2013 安藤真司《夜香》 1992年	安藤 真司	版画芸術	162	奇跡のクラーク・コレクション ルノワールとフランス絵画の傑作 へり抜きの印象派 まるで生きているかのよう	安藤 忠雄	読売夕刊	2.4

至宝を語る 正倉院古輪(錠と鍵) シンプルな機能美	"	"	10.29	特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(五) 美術染織家の挑戦—一九〇〇年パリ万博における川島、飯田、伊達の出品作[四代飯田新七]	太田 彩	三の丸尚蔵館年報・紀要	18
SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動としての陶芸 PART 3 SITUATION 現代陶芸の現在・未来 2000年代のバイオニア PIONEER 5 安藤雅信	沢田眉香子	美術手帖	997	アート・センター開設20周年—芸術の未来にむけて マルチ・ディシプリンを問いつづける営み—飯田善國、土方巽、あるいは「May you stay young」	前田富士男	ARTLET	40
リレーおびにおん アートdeチェンジ 5 水墨画家 安藤美香さん 筆会を通じて日中交流を	高野 真吾 聞き手	朝 日	9.17	現代美術の歩き方 今月の一品 飯沼英樹「Angela lindvall」	窪田 研二	美術の窓	354
シネマの週末 SHORT PEACE[安藤裕章]	(広) (鈴)	毎日夕刊	7.19	壁面に絵本の世界 石巻の小学校 作家6人「日本一楽しい図書館に」[飯野和好]		日経夕刊	8.27
想像力の現在☆4—エヴァQとは何だったのか[庵野秀明]		ユリイカ	627	芸大卒業・修了制作の2作品 区長賞に選出 荒川区内の公共施設に設置[飯村健二]	竹上 順子	東 京	6.22
エヴァとDATをめぐって	サンキュー タツオ			井浦新さん初の写真展 現場主義の心象風景		産 経	2.7
REDOING A STORY	中田健太郎 長岡 司英			井浦新さん「暁」と「黄昏れ」写真展		読 売	2.21
島根文化考 安野光雅 津和野からはじまった旅		美術屋・百兵衛	26	巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 ひたすら変わらぬ仕事を続けて	五百住乙人	美 術*	456
視線 旅の絵本 VIII[安野光雅]	大西 若人	朝 日	6.16	時が流れる風景10 怒涛逆巻く厳寒の海	五十嵐玉俊	水 墨 画*	286
原風景のなかへ 安野光雅(著) 魔法が隠されているよう	原 真人	"	9.15	コミック さよなら またこんど いがわうみこ(作) 器のデカさ感じる“変な感じ”	南 信長	朝 日	11.17
安野光雅が描く	安野 光雅	産 経		特集 日本の現代版画 1990—2013 生嶋順理《ASPECT—plant》1990年	生嶋 順理	版画芸術	162
洛中洛外 24~29			4.7、5.5、6.2、7.7、8.4、9.1	特集 日本の現代版画 1990—2013 生田宏司《静寂の間》1995年	生田 宏司	" "	
神話の原風景 1~5			7.25~27、30、31	学生企画—クロスロード 2012年度京都造形芸術大学卒業展 大学院修了展[井口香穂]		瓜生通信	58
文化面の余白 取材ノートから 52 安野光雅さん 美談って、うそくさい	三品 信	東京夕刊	12.19	作品 URBAN ECO FARM	池上 俊郎	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	57
私の先生 デッサン画「無言の教育」 画家 安野光雅さん	石塚 公康 聞き手	読 売	5.16				
Books 飯島幸永の昭和雪国物語		芸術新潮	759				
資料紹介 伝飯島二水筆《信濃国埴科郡西條邑六工製糸場之図》	林 誠	長野県立歴史館研究紀要	19				

巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて一現代の名作から小麦倉庫	池口 史子 美術*	453	武家茶人の台頭 安土・桃山から江戸初頭まで			829
REVIEWS 自然と現象のミニチュール[池崎拓也]	沢山 遼 美術手帖	989	江戸時代前期 その一〜三			830〜832
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける News JAGDA 新人賞2011 池澤樹	猪飼 尚司 //	978	江戸時代中期 その一、二			833,835
山下裕二の今月の隠し球107,108 池尻育志 絵を描いて生活できれば、それでいい(上、下)	山下 裕二 美術の窓	362,363	江戸時代後期 松平不昧公を中心として			836
顔 スラム街の「幸せ」を撮り続ける写真家 池田啓介さん	中西 賢司 読 売	10.5	時代を超えて 親子・兄弟・師弟の絆			837
公開講座 自然災害と日本文学 講演録 講演録2 泉鏡花の洪水幻想―「龍潭譚」「高野聖」など―[池田蕉園]	鈴木 啓子 城西国際大学日本研究センター紀要	7	「出会いはまさに奇跡」「ぼくは恋をしたらしい」 池田満寿夫恋文公開	中村真理子 朝 日		4.19
作家自選作品集6 池田聖雲《大宝寺国宝三重塔》	池田 聖雲 水墨画*	297	日々好日 年明けに	池田 良則 新美術新聞		1301
青春プレイバック 池田政治 かたちを空間へ開きかける一退任展「アウト・オブ・サイト」	袴田 智彦 新美術新聞	1300	食卓を彩る四季の魚貝1〜9	池田 蘭径 水墨画*		289〜297
特集――一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(五) 池田泰真「四季草花蒔絵書棚」と鈴木長吉「岩上ノ虎置物」	五味 聖 三の丸尚蔵館年報・紀要	18	本江邦夫の「今日は、ホンネで」 第68回銅版画家 池田良二	美 術*		459
自作再見 池田龍雄「BRAHMAN 第10章 場の相」 宇宙のなかの生命 最終章	西岡 一正 朝日夕刊	10.2	境界に佇む銅版画十選 1〜10	池田 良二 日 経		2.14,15,18,21,22,25,26,28,3.1,4
3・11後を生きる 非核×芸術案内 見えない暴力の構造見すえ[池田龍雄]	岡村 幸宣 東 京	2.14	各科審査員より 第四十五回日展審査にあたって	池山 阿有 日展ニュース		150
茶杓交友録 贈られた宝物	池田 瓢阿 淡 交		巻頭特集 やっばり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 小林永濯	惠 俊彦 美 術*		458
利休時代以前 永祿期から天正期まで		825	巨人、快進撃 アニメ化で1000万部増つたない絵・謎の物語、閉塞感あおる[諫山創]	小原 篤 朝日夕刊		7.20
利休時代 その一、二		826,827	快進撃の巨人 絶望と闘う姿に共感[諫山創]	本間 英士 産 経		6.4
利休時代以後 七哲の時代		828	ふるさと 漫画家 諫山創さん 大分県日田市「巨人」創作の原風景	木下 吏 朝日夕刊		5.21
			「Boat」「Fountain」	井澤 幸三 大手前大学論集		13
			創立50周年特別企画シリーズ 主体展「礎の作家たち」を語る 伊澤先生と私[伊澤元一]	津田 益夫 主体美術		94
			MADO LIBRARY 『石井一男画集 III「女神』』 よきものとの出会い	後藤 正治 美術の窓		354

あの人に迫る 石井一男 画家 紙に向かっても図柄は決めない	増村 光俊	東京	1.13	ひろしま 石内都・遺されたものたち 下キュメント 遺品写真展	(神)	東京夕刊	7.19
ライトアップ[石井公二]		東京夕刊	10.9	questions 8 石内都		日 経	7.11
作家通信 「地中海図屏風」制作への夢	石井 松琴	水墨画*	289	文化往来 米国監督、広島被爆者の写真展 描く[石内都]		"	7.20
作家自選作品集2 石井松琴 《平等院藤図》	"	"	290	sa・bo・ten 石内都著		"	9.8
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 日本画ニューエイジ 画廊編 石井鈴 山崎鈴子	畑中 昭彦	美術*	460	こころの玉手箱 写真家 石内都 1~5	石内 都	日経夕刊	8.26~30
特集 表現する女性たち PART 2 石井節子	高山 淳	美術の窓	361	ひと 被爆者の遺品の写真を題材に映画を監督 リンダ・ホークランドさん[石内都]	明珍 美紀	毎日	7.31
特集 表現する女性たち PART 2 石井貴子	"	"	"	秋の褒章781人・14団体 被爆した衣類を被写体に 写真家 石内都さん	岸 桂子 青島 顕	"	11.2
4 [読ん]で知るアート あかりのデザイン	石井 幹子	朝日夕刊	11.27、12.4、11、18.25	本よみうり堂 「石内都：絹の夢」 石内都著	(井)	読 売	1.20
照明デザイナー石井氏 「ライトアップ 中国でも見て」 イベント中止で訴え [石井幹子]	森安 健	日 経	1.27	新・現代日本の作家たち アトリエ写真 No.011 石踊達哉 身辺抄	石踊 達哉	美術*	456
北京のライトアップ 石井さん CG で披露		毎日夕刊	1.31	時に抗いし者たち 私の小菩薩峠(10) [石垣栄太郎]	大谷 芳久	一 寸	54
パリの展示会に共同参加 石井幹子さん、リーサ明理さん親子	永田 晶子	"	8.26	漫画を読んだ	いしかわじゅん	毎 日	
語る 日本ブランド 1 おもてなしの心光で表現 照明デザイナー 石井幹子氏 美しい時間提供する意識を	中山 詳三	読 売	11.7	ひるみつつ描く 震災後 ひうらさとる他 『ストーリー311』			4.27
例会・研究発表会要旨 東部会 平成二十四年度第五回例会 石内都の《ひろしま》(二〇〇八年): 彼女のワンピース	村山 康男	美 学	242	低く吹く宝塚への愛 はるな檸檬 『ZUCCA×ZUCA (ツッカツカ)』			6.22
特集 表現する女性たち PART 1 石内都 女性写真家が見つめた「ひろしま」	石内 都	美術の窓	361	脱力で見せる実力派 真造圭伍 『みどりの星』			7.27
米2監督、痛み抱え 広島・長崎見つめる 岩波ホールで16日まで上映 カナダの写真展に密着/被爆者14人が証言[石内都]	大脇 和明	朝 日	7.31	そこにあった新しい世界 小沢さとる 復刻版『サブマリン707』			9.28
天声人語[石内都]		"	8.6	ローカル・ガイド 日常と非日常の渚、国東半島	石川 直樹	芸術新潮	759
				特集 クマ 怖ろしさと尊さと可愛さと クマとの邂逅 熊/旅/写真	"	ユリイカ	633
				交遊抄 シロクマのボジ	"	日 経	7.13
				熱き日々inオキナワ 石川真生著		"	2.24

平成25年定期刊行物所載文献(近/作イ)

ストーリー 生身のオキナフ撮る ある女性写真家の半生被写体と自身の間でオキナフを撮り続ける石川真生さん 31年後 解いた「封印」矛盾する両面性見つめ	斎藤 良太	毎日	7.28	海外展レポート 香港進出のカゴシアン・ギャラリーで石田徹也展が開催	和田友美恵	美術*	460
各科審査員より 工芸美術の審査に思う	石川 充宏	日展ニュース	150	読書 石田徹也ノート 石田徹也(著) 強い視力で描かれた世界	水無田気流	朝日	11.17
第44回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 忘れられない刻	石川 裕梨	"	148	茶話アニメ 2作家の個性がギュッ! [石田祐康]	藤津 亮太	朝日夕刊	11.16
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて—現代の名作から住友赤平炭坑跡の立杭橋	石黒賢一郎	美術*	453	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 1 石谷孝二	高山 淳	美術の窓	360
展覧会レビュー part 1 現代スペイン・リアリズムの巨匠 アントニオ・ロベス展 作品が持つ物質としての強さ	"	"	454	特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 石塚桜子	ワシオ・トシヒコ	"	357
軽々とした変容 [石黒浩]	岸 桂子	毎日々刊	2.13	私のグッとムービー 石塚真一さん「ディア・ハンター」 アメリカの断面がここにある	相田 香織 聞き手	朝日夕刊	6.7
コミック ソレミテ 1 小野寺浩二 石黒正数 心霊スポットを巡ったルポ	山脇 麻生	朝日	7.21	各科審査員より 時代の風を	石飛 博光	日展ニュース	150
作品研究 石黒宗磨の〈黒釉葉文盃〉をめぐる	唐澤 昌宏	現代の眼	599	王鏡之題材に筆さばき披露 [石飛博光]	大沢 瑞季	毎日	2.1
天恩郷の日々 一九五二~六八年(前、後) 石黒宗磨と大本三代教主出口直日との交流などについて	小野 公久	陶説	718,719	「墨汁一滴」終刊に苦悩 石ノ森さん22歳の手紙 [石ノ森章太郎]	大久保真紀	朝日夕刊	10.18
古陶磁と近代日本の陶芸家—鑑賞と制作— [石黒宗磨]	花井 久穂	東洋陶磁	42	話の肖像画 漫画家松本零士 2 手塚さんとの不思議な出会い [石ノ森章太郎]	山田 泰弘 聞き手	産経	6.18
第二十二回日本陶芸展受賞者に聞く	加藤 清和 畑石修嗣 石嶋哲彦 藤井章友 坂本幸生 星野賢治 西田泰宏 金子唐澤 昌宏	陶説	724	松本零士さんに聞く 世界と競争 挑戦続く 志同じ3人「運命的な交流」 [石ノ森章太郎]	松本 零士	読売	5.3
マンガ最前線 石田敦子著『球場ラヴァーズ』 女性ファン心理に肉薄	細萱 敦	東京夕刊	7.2	REVIEWS 傷を負う写真 [伊島薫]	小林 紀晴	美術手帖	985
石田尚志「反復する部屋 終わらない絵画」 第55回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示コンペティション企画案	岡村 恵子	東京都写真美術館紀要	12	江戸そばの粋 墨線画で描く ソバリエ伊嶋さん店構え紹介 [伊嶋みのる]	丹治早智子	東京夕刊	7.6
				特集 いい「目」を描きたい! ④技法講座 vol. 31 石本正 女性像の魅力	横山由美子	美術の窓	363
				フィンランド在住42年、デザイナー石本藤雄は布と遊び、土と遊ぶ	川上典李子 聞き手	芸術新潮	758
				交遊抄 まだまだ半人前 [石山修武]	光嶋 裕介	日経	7.20

フレスコ・ストラッポに関する報告—2つの病院に描かれたフレスコ画の実例から—[石山義秀]	原野 啓次	下関市立美術館研究紀要	14						本づくし「生きる力を育てるといこと」と『子どもが体験すべき50の危険なこと』ゲーバー・タリー、ジュリー・スビーグラ著、金井哲夫訳	磯野 梨影	A X I S	166
特別読物 伊集院兼常一数寄の生涯	矢ヶ崎善太郎	淡 交	831						スター作家を探せ! 日本画新世代 50人の仕事 編集部注目の逸材 1 風流の画家と結びついたピオトープ 磯部光太郎	編集部・B	美 術*	457
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 泉水	泉 水	美 術*	458						デザインの世界 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Topics ミルキィ・イソベ 幾層にも重ねることで生まれる光と輝きの「物質感」	鈴木 里子	美術手帖	978
ひと 同じタイトルの新聞連載マンガで最長記録を更新した泉昭二さん	岩本 哲生	朝 日	2.19						足裏の記憶 思想家を旅する 第15回 磯辺行人×八重洲(東京)	北川フラム	〃	995
漆刷毛一筋、和文化に艶 家業350年以上・9代目、女性の髪とヒノキが材料	泉 清吉	日 経	7.1						読書日記 漫画家 板垣恵介 1~4	板垣 恵介	日経夕刊	12.4、11、18、25
平成二十四年度第三回研究会 重要文化財「備前焼」保持者・伊勢崎淳の現代性	外館 和子	東洋陶磁	42						板谷波山の植物意匠における「生命」の表象—波山芸術の「原型」誕生期をさぐる	柏木 麻里	出光美術館研究紀要	18
輝け 高校生漫画家作新学院 伊十蔵さん 少年誌新人最高賞 中3で決意し独学「厳しい世界だけど楽しみ」[伊十蔵景]	内田 淳二	東京夕刊	3.25						岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 工芸と彫刻の近代化 板谷波山 やきものは芸術だ	花井 久穂	太陽朝刊	209
磯崎新インタビュー アーティスト・アーキテクトの時代—大阪万博の想像力を補完したアート・シーン	伊村 靖子、古畑百合子、松井 茂 聞き手	映像メディア学*	3						板谷波山邸ロケセット移築	宮本 梨衣	陶 説	727
生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く 知られざる丹下健三 丹下健三の新史料を読み解く その1~4	磯崎 新 太田佳代子 聞き手	芸術新潮	764						入門講座 近代陶芸家くらべ 2 板谷波山×富本憲吉 産業工芸から個性表現へ	金子 賢治	日経夕刊	9.12
横尾忠則 芸術にゴールはない 横尾忠則は、何故「アーティスト宣言」をせねばならなかったのか。	磯崎 新	太陽朝刊	横尾忠則						被災地発 津波の惨禍 絵に残す[市川信昭]		東 京	6.26
特集 山口昌男 道化・王権・敗者 山口昌男に訊いておきたかった緊急問題	〃	ユリイカ	628						特集 いい「目」を描きたい! ④技法講座 vol.31 不思議な生き物たち その「目」の造形のひみつ	市川 伸彦 市川 誠	美術の窓	363
甲乙閑話 勇気胸に撮った 生きた[磯崎新]	大西 若人	朝 日	3.13						特集 表現する女性たち PART 2 市川弘子	高山 淳	〃	361
手帖 磯崎新さんの著作論集		産 経	3.31						この1点 市川美幸《tele-ship-scope》	Kd. K	Corridart	11
喪友記 山口昌男氏を悼む 再現できぬ回路	磯崎 新	日 経	3.20									
「これからの建築」横田彦さんら語る 東京大でシンポ[磯崎新]	永田 晶子	毎日夕刊	12.18									

「平和な世の中へ 人形に託した祈り」 人間国宝・市橋とし 子さん 表情がすべ てを表す「人形は だませない」	メディア取 材班	毎 日	5.13						笠間の家 伊東豊雄 (建築家) + 里中英人 (陶芸家)	宮本 梨衣 陶 説	725	
特集 日本の現代版 画 1990-2013 出原司《溺れた巨人 (Drowned Giant)》 1990年	出原 司	版画芸術	162						総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフ ィックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険 ふたりの案内人 都市とユートピア	ブノワ・ペ ーターズ、 フランソワ ・スクイテ ン、 伊東 豊雄、ユリイカ 仲原 正治 マニユエル ・タルディ ッツ 司会	624	
特集 日本の現代版 画 1990-2013 井出 創太郎《piacer d'amor bush(相倉)》 2001年	井出創太郎	" "	" "						多彩な表現法、高評 価「建築のノーベ ル賞」受賞 伊東豊 雄	大西 若人 朝 日	6.19	
巻頭特集 魅惑の女 性像 画家たちが描 く奇跡の女性像 井 出康人		美 術*	454						食卓で味わう 伊東 豊雄さんのデザイン	黒沢 綾子 産 経	5.23	
この企業のアート支 援がすごい! 三菱 商事アート・ゲート ・プログラム 2012 年度奨学生 出口雄 樹	出口 雄樹	" "	456						「みんなの家」進化中 宮城・岩沼 新しい 農業目指す拠点に [伊東豊雄]	" "	7.18	
第26回奨学者のレポ ート 誰の視点でも ないとこと	伊藤歌奈子	アクリラ ート(別 冊)	2013						あの人に迫る 伊東 豊雄 建築家 復興 した東北が日本の最 先端に	福沢 和義 東 京	2.24	
アートスポット、開 幕宣言! パリの老 舗画廊、ギイエ・ア ルカーヌにて[伊藤 轟]		芸術新潮	761						「家」のあり方 震災 で再考 小屋・仮設 住宅 建築家が展示 水や電気を自給 人 が集う場重視[伊東 豊雄]	窪田 直子 日 経	5.11	
収蔵作品から 伊藤 公象《木の肉・土の 刃》	若松 基	ど お む	119						伊東豊雄氏が受賞 建築界のノーベル賞 「斬新な発想」	日経夕刊	3.18	
被災地の命 彫る 青梅・伊藤さん 陸 前高田の松で公開制 作「生と死を深く 考えて」[伊藤光治 郎]	阿部 博行	東京夕刊	5.13						フォーカス 米ブリ ツカー賞を受賞する 建築家 伊東豊雄氏 復興手助け 週末は 無休	" "	4.22	
かぞくの肖像 伊藤 潤二さん てんまる 運命感じた変な模様	丸山ひかり	朝日夕刊	5.9						学びのふるさと 建 築家 伊東豊雄さん 「この瞬間にアイデ アを出せ」 師事し た建築家の言葉に衝 撃 意見ぶつけ合い 感性磨く	鱸 正人 聞き手	" "	10.25
私のグッとムービー 伊藤潤二さん「キン グ・コング」リアル なコマ撮りに共感	塩田麻衣子 聞き手	" "	6.28						建築季評 「計画」か ら「解決」の手段へ [伊東豊雄]	中川 理 読 売	3.28	
現代四君子講座 基 本を習熟し創作へ繋 げる 第一〜九回	伊藤 昌	水墨画*	289~297						希望と絆の家設計 今伝えたい 建築家 伊東豊雄さん	伊東 豊雄 加地 永治 聞き手	" "	8.17
特集 子どもと建築 一子どもを豊かに育 てるための建築の役 割 未来をつくる建 築教育 インタビュ ー 伊東豊雄	鈴木 紀慶 聞き手	アプロー チ*	202						アトリエ雑感 地球 のかけら、時間のか けら	伊藤 博昭 主体美術	93	
デザインと機能の二 面性	伊東 豊雄	学 鏡	11-3						私のグッとムービー groovisions・伊藤 弘さん「ブギーナイ ツ」若手監督が見 せた「巨匠感」	蒔苗沙都子 聞き手	朝日夕刊	7.19



子どもたちへねこが主人公の新刊を出した絵本作家いとうひろしさん世の中には幅広い選択肢が	(佳)	読売夕刊	7.6	特集 クマ 怖ろしさと尊さと可愛さとクマを象って表われる……「非実在ベア」の生存戦略 デディベアは何故、愛されるのか?	〃	〃	633	
小田部羊一×伊藤有老 動画とANIMATIONを繋ぐ	イラン・グ エン モデレータ ー	映像メデ イア学*	3	「版画アートコレクション」の作家 井上厚 薄明の「逆光」に映された木版画世界	松山	龍雄	版画芸術 160	
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 伊藤善文	高山	淳	美術の窓 360	特集 日本の現代版画 1990-2013 井上厚《Shape of the Memory 1990》1990年	井上	厚	〃 162	
碧南 美術遺遺[伊藤廉]	木本	文平	碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要*	日々好日 木版との出会い	井上	勝江	新美術新聞 1325	
路上から世界を変えていく 日本の新進作家 vol.12 中手作りの3D写真	糸崎	公朗	東京夕刊 12.11	特集 表現する女性たち PART 2 井上勝江	大矢	柄音	美術の窓 361	
第44回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 今後の制作課題	稲岡	秀真	日展ニュース 148	医療少年院 手ほどき18年 一途に…心解かず木版 教えた版画家 銀座で展示「自分を映す鏡」[井上勝江]	森本	智之	東京夕刊 2.16	
作家通信	稲垣	三郎	水墨画*	しあわせ小箱 少年院の版画の先生 1いとおいしい力作たち [井上勝江]			読売夕刊 2.18	
元気のヒミツ 元気・不元気不問			287					
35回目の「墨絵展」を終えて			296					
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 稲垣仲静	島田	康寛	美術*	458	評論の眼 井上寛七「展彩回廊—四国遍路・心のかたち」展 鮮麗巧緻な“宇宙の縮図”マンガラ	ワシオ・ト シヒコ	ギャラリー 一*	344
稲垣知雄旧蔵創作版画誌	小池	智子	世田谷美術館紀要	14				
油画 稲川豊 《echoerratum》、《ousnoxious 2》			尾道市立大学芸術文化学部紀要	12	ろうあ写真家が撮った街 昭和の日常捉えた亡き父の作品、後世に伝える[井上孝治]	井上	一日 経	9.2
プロムナード 憧れの写真家[稲越功一]	小林	紀晴	日経夕刊	9.5	巻頭特集 イチオン作家2014 アートシーンを熱くする100人 現代アートと洋画の新鋭 画廊編 inoue.	眞弓	和也	美術* 460
芸術がつなぐバリの邦人 日本人会アーティストクラブ、創設30年を超える	稲葉	猛	日 経	3.4				
交遊抄 黒い瞳の想像力[乾千恵]	司	修	〃	12.7	特集 円空 井上雄彦、円空に出会う旅へ	福住	康	美術手帖 979
被災地発 笑顔のオブジェ 震災がれきから誕生、石巻の子供たちが思い込め	大飼	とも	〃	12.2	創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語る 孤高の画家・たにかいの日々	井上	俊郎	主体美術 94
総特集 やなせたかし アンパンマンの心 愛と勇気の物語 抒情的な「反ゆるキャラ宣言」	犬山	秋彦	ユリイカ	631	惜別 写真家 井上博道さん 美の脇役にレンズを向けた	小滝ちひろ	朝日夕刊	1.26

特集 基礎を完璧にする！人体デッサン ④技法講座 vol. 27 case 1 井上護 誰でも描けるタブロー のためのデッサン	井上 護	美術の窓	352	第5回絹谷幸二賞に 橋川彩氏 同奨励賞 に今津景氏決まる	新美術新聞	1305
特集 スケッチに出 かけよう ④技法講 座 vol. 29 技法講座 6 色鉛筆で描く 新緑の京都・南禅寺 猪熊佳子	猪熊 佳子	〃	359	金星	今西 啓介 大手前大 学論集	13
猪爪彦一「夜の道標」	谷 哲夫	Wave II	7	回帰する時間 2012 ART SPACE NIJI/ 回帰する時間 2012 Gallery Gallery ex	いまふくふ みよ	〃
時が流れる風景12 水鳥戯れる山河の春	猪俣 須美	水墨画*	288	学びのふるさと 映 像作家 今村彩子さ さん「生徒会長をや ってみないか」ふ さぎだむ私に、ろう 学校の担任 まず踏 み出すことが大切	安原 和枝 聞き手	日経夕刊 5.24
評 疑い、問うて残 るものは「風が吹 けば桶屋が儲かる」 展「虹の彼方」展 [伊庭靖子]	大西 若人	朝日夕刊	1.23	岡倉天心 近代美術 の師 美の理想を受 け継ぐ作家たち 日 本画の誕生 今村紫 紅 先頭に立って日 本美術を開拓	井野 功一	太陽朝刊 209
巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 現代の名作 猫図40態 井原信次	井原 信次	美術*	458	明治・大正における パンカラ旅行の系譜 一大観・観山・紫紅 ・未醒の東海道五十 三次旅行(大正4年) の背景として	佐藤 志乃	横山大観 記念館館 報 28
この人 集大成の個 展を開いた84歳の米 在住造形作家 伊原 通夫さん 与えられ た「無地」の空間に合 う作品造る	岡坂健太郎	東京	6.29	美の美 風神雷神図 の系譜 下 伝統学 びつつ新たな視点 宗達 宗達 現代へ 脈々と[今村紫紅]	田村 広濟	日 経 10.6
現代作家紹介 境界 を越えて 井原康雄	平井 章一	美術フォー ラム21	28	特集 建築評価の現 在形：脱中心化・断 片化・ローコンテク スト化する言説環境 とそのゆくえ 第2 部 作家アンケート ネット時代の建築情 報	今村 創平	建築雑誌 1645
縄文の力 縄文の美 の発見者たち006 猪風来	猪 風 来	太陽朝刊	212	第44回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 結び付きの中で	今利 美咲	日展ニュ ース 148
第25回「京都美術文 化賞」受賞者のこ とば	伊部 京子	美術京都	44	特集 表現する女性 たち PART 1 97歳 の現役女流画家 入 江一子「あと10年 は描き続けたい」	入江 一子 談	美術の窓 361
第35回十果会	今井 真吾、 平岡 靖弘、 相田 幸男、 齋藤 研、 木津 文哉、 瀬川富紀男 編集部 文	新美術新 聞	1319	特別企画 春陽展90 回記念展 春陽会90 年	入江 観	ギャラリー 一 336
INFORMATION ME- MORIAL 追悼・嶋 本昭三 具体の青春 を生きた人 一追悼・ 嶋本昭三	今井 祝雄	美術手帖	982	入江泰吉のベスト版 「大和路」三百拾五景 入江泰吉の心象風景 古色大和路		芸術新潮 757
フクシマ ヒロシマ 重ねる被爆絵図 相 模原の今口さん「は だしのゲン」中沢さ さんと同級生[今口賢 一]	戸上 航一	東京	2.17	先人を訪ねて 大和 路の余情写す 入江 泰吉	後藤 静華	読 売 3.24
漫画家中沢啓二さん と同紙 被爆の画家 「ゲン」の遺志を継ぐ 原発被災者思い「使 命」[今口賢一]	飯田 憲	毎日夕刊	8.5	現代美術の歩き方 今月の一品 岩井優 「Galaxy Wash」	吉崎 和彦	美術の窓 362



平成25年定期刊行物所載文献(近/作ウ)

演劇と交わる緞帳の美 呉服の染織技術 生きる[上村淳之]	増田 愛子	朝日夕刊	10.16	成川美術館での大個展を前に急逝「弘法大師・空海の空と海」最終章 一牛尾武が描く京都・奈良編一	成川 實	新美術新聞	1313
歌舞伎座 逸材や美術の粋 凝縮[上村淳之]		東京夕刊	4.2	江戸博蔵めぐり 凌雲閣機絵双六 明治の「スカイツリー」[三代歌川国貞]	橋本由起子	読 売	1.25
文化功労者 上村淳之さん		日経夕刊	10.25	明治初期歌川派と《文部省発行錦繪》—二代国輝の墓碑を巡って[二代歌川国輝]	井上 素子	芸 叢	28
歌舞伎座 新開場「よっ! 5代目」工事に延べ40万人「日本文化のシンボルに」舞台 樹齢100年を越すヒノギ[上村淳之]		読売夕刊	4.2	巻頭特集 魅惑の女性像 画廊街で出会える女性像 歌川国政		美 術*	454
文化功労者 上村淳之さん 共生の花鳥画探究		"	10.25	江戸博蔵めぐり 眺望楽しむ粋な足場 東京府金龍山浅草寺五重塔修復之図[歌川国政]	橋本由起子	読 売	5.24
支持体から見る絵画表現 支持体の状態と特性による効果と意味[上村松園]	佐藤 学	芸術学研究(筑波)	18	江戸博蔵めぐり 吾妻新橋金龍山真景及び木造富士山縦覧場総面浅草繁榮之全図“標高”32メートルはるか西に本物[歌川芳盛]	"	"	7.19
上村松園《人生の花》の制作過程に関する一試論	國永 裕子	人文論究	62-4	読書 旅立つ理由 且敬介(著) 旅の醍醐味 粋に描いた短編集	内澤 旬子	朝 日	6.2
上村松園筆《花ざかり》に関する一考察	田所 泰	美術史研究	51	読書 亡びゆく言語を話す最後の人々 K. ディヴィット・ハリソン(著) 敬意をもって耳を傾け記録	"	"	6.9
連載 日本美術のススメ 今月の逸品 上村松園 「雪月花」	小倉 実子	美術の窓	362	史料紹介と研究 モーザー(Moser)コレクション写真について(一)一月光写真と内田九一写真ネガ	谷 昭佳	東大画像史料解析センター通信*	62
勸進行脚で築いた良寛堂 錚々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に[上村松園]	反町タカ子	日 経	7.18	SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動としての陶芸 PART 3 SITUATION 現代陶芸の現在・未来 2000年代のパイオニア PIONEER 4 内田鋼一	沢田眉香子	美術手帖	997
入門講座 京の美意識 4 上村松園とシンボル つめたさ端正に昇華	杉本秀太郎	日経夕刊	1.31	ランドセルに夢乗せ アフガンへ10万個活動10年 写真集に[内堀タケシ]	斎川 瞳	毎日夕刊	6.7
文学周遊 京都・中京 宮尾登美子「序の舞」 絵描きとおす。絵描かしとおくれやす。[上村松園]	小橋 弘之	"	4.13	第44回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一有りのままの自分	内村 明幹	日展ニュース	148
こころの玉手箱 能楽・金剛流宗家 金剛永謹 2 上村松園筆作の「胴笥地鳳凰文長綱」	金剛 永謹	"	6.25	特集 水墨の美 筆・刷毛の特性を生かした作品づくり	打矢 恵	水墨画*	296
INFORMATION MEMORIAL 追悼 宇佐美圭司 宇佐美圭司の教え	岡崎乾二郎	美術手帖	977				
美の美 音が聞こえる絵画 下 宇佐美圭司 平面作品にリズムと旋律 うごめく人型が歌い出す	小川 敦生	日 経	10.27				

第26回奨学者のレポート 絵の前で働いていたいのである。	内山 聡	アクリレート(別冊)	2013	手紙(日本画)	梅木 雅子	多摩美術大学研究紀要	27
日野耕之祐君を悼む	内山 孝	新美術新聞	1327	父の教え 陶芸家梅棹マヤオさん 型にはまらない自由が大事	山上 直子	産 経	5.29
コミック スナップガール 空木哲生(作) 生命力に満ちた人生の営み	南 信長	朝 日	11.3	Books 『14歳』完結から17年目の大降臨! 楳図かずお14歳		芸術新潮	758
Pick UP ARTIST 鳥頭尾精	編 集 部	美術の窓	355	自作再訪 楳図かずおさん「漂流教室」恐怖を感じ取る大切さ	山田 泰弘 聞き手	産 経	7.29
横尾忠則 芸術にゴールはない 証言・1960-1970 たぶん横尾の横にいればいつだって	宇野亜喜良	太陽別冊	横尾忠則	学びのふるさと 漫画家 楳図かずおさん 「日本は12歳の少年である」 マッカーサー発言「14歳」と記憶違い 制御できない怖さの原点	安原 和枝 聞き手	日経夕刊	4.19
総特集 やなせたかし アンパンマンの心 やなせたかしのまんが道 ポオシ好きの某氏のこと…	〃	ユリイカ	631	世界文化遺産登録記念 我が心の富士山(3) [梅原龍三郎]	大津 英敏	新美術新聞	1328
美博ピックアップ 東京オリンピック1964 デザインプロジェクト 東京国立近代美術館[宇野亜喜良]	岡山 朋代	朝日夕刊	4.10	資料紹介 梅村豊撮影歌舞伎写真(四)	原田 真澄	無形文化遺産研究報告	7
イラストレーター宇野亜喜良さんに聞く 谷川俊太郎さんと“初共演” 大人の絵本「おおきなひとみ」楽しんで読読も	黒沢 綾子	産 経	4.10	作家通信 春に向かって	浦上 義昭	水墨画*	288
日本人の詩精神擁護 やなせたかしさんを悼む	宇野亜喜良	毎日夕刊	10.21	作家自選作品集3 浦上義昭 《佐潟》	〃	〃	291
特集 表現する女性たち PART 2 宇野満寿美	高山 淳	美術の窓	361	総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 ふたりの案内人紙の上の時間	ブノワ・ペーターズ、フランソワ・スクイテン、浦沢 直樹 原 正人 司会	ユリイカ	624
小特集 「びくっ」を追いかけて 梅佳代の日常バンザイ 特別対談 梅佳代×徳村弘 まなごしのひみつ		芸術新潮	761	「新具象彫刻展を出発点とした東京造形大学出身者たち」展 [浦野八重子]		ギャラリー一*	343
INFORMATION AUTHOR この本の著者に会いたい 梅佳代、故郷を撮った3年ぶりの新作写真集	編 集 部	美術手帖	987	特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑*13 巻頭インタビュー 注目の若手作家たち 占部史人	占部 史人	美術の窓	357
美の原 自慢したいスナップドキュメント 「梅佳代展 UMEKAYO」売れる写真集 人気を証明	篠原 知存	産 経	4.21	コミック 椿荘101号室 1 ウラモトユウコ(作) 古アパートで初一人暮らし	南 信長	朝 日	6.9
アートな本 梅佳代写真集『のと』		東 京	6.9	特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(五) 明治の彫金再考—海野勝昉と香川勝広の一九〇〇年パリ万博御下命出品作	岡本 隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要	18
写真家・梅佳代の素顔に密着 観察力とゆるさ併せ持つ	富田 律之	日経夕刊	5.27	重要刀装具 葉鷲頭図小柄 銘 七十翁勝辰刻	久保 恭子	刀剣美術	673

	(エ)				読書 描かないマンガ家1~5 えりちん(著) 真実を突く「中二病」の熱さ	佐々木俊尚	〃	9.22
瑛九《旅人》について	宮本 久宣	和歌山県立近代美術館ニュース	75		シモキタを世界にPR 世田谷のアーティスト集団 仏語の紹介マップ配布[エンカフェブラス]	小形 佳奈	東京	7.3
近代美術の眼 青の中の丸 色彩の操作で広大に[瑛九]	梶田 倫広	読 売	2.8		遠藤彰子一魂の深淵をひらくー 過去も未来も消えていってしまうすべてを描く 遠藤彰子×勅使河原純		美術*	460
カバーインタビュー 栄久庵憲司	石橋 勝利 インタビュー・文	A X I S	166		特集 建築評価の現在形:脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート「主体的に関与した」のは誰か			
セ・ラ・ヴィ 江口光興一心の風景ー	江口 光興	美術の窓	359		特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 遠藤光義	大澤 景	美術の窓	360
総特集 高橋幸宏 トリビュート 夏休みの思い出が再び我が手に	エドツワキ	ユリイカ	634		特集 日本の現代版画 1990-2013 遠藤竜太《The vessel/body》 1996年	遠藤 竜太	版画芸術	162
「工芸人」に聞く 第十六回 「時絵師・漆芸家」 江藤國雄さん	八橋 知美 聞き手	五風十雨	69					
各科審査員より 日展のアイデンティティ	江藤 望	日展ニュース	150					
巻頭特集		美術*						
魅惑の女性像 画家たちが描く 奇跡の女性像 榎俊幸			454					
イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 洋画・日本画のトップランナー 画廊編 榎俊幸	本庄 俊一		460		特集 水墨の美 わたしの淡墨法 耳を澄まして小さな音を聴くように淡墨のかすかな色味に集中	及川 聡子	水墨画*	289
特集 マチエールの基本と応用 技法講座 vol.30 アクリル、油彩、立体 榎俊幸 時の流れを感じさせる風合い	榎 俊幸	美術の窓	362		真空に満つるもの	逢坂 卓郎	筑波大学芸術研究報告	60
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語る 字幕に愛をこめて	榎本香菜子	主体美術	94		コミック 聲の形 1 大今良時(作) 耳が聞こえない転校生と俺	南 信長	朝 日	12.8
特集 表現する女性たち PART 2 榎本香菜子	〃	美術の窓	361		人・模・様 自動車産業 影の功労者 [大内誠]	隈元 浩彦	毎日々刊	7.8
視覚障害者に対する芸術鑑賞の方法ー平成24年度多摩美術大学共同研究報告	海老塚耕一 ほか	多摩美術大学研究紀要	27		大岡實の「復元」建築	青柳 憲昌	日本建築学会計画系論文集	692
リレーおびにおん アート de チェンジ 4 若手美術家集団「Chim ↑ Pom [チンポム]」 エリイさん 「気合100連発」震災描く	高野 真吾 聞き手	朝 日	9.11		特別寄稿 「超・大河原邦男展」の意義 一人の手が描き出す「メカデザイン」の迫力と魅力	氷川 竜介	ART RAMBLE	39
					「多摩」で生まれたガッチャマン メカニックデザイナーという仕事 大河原邦男さん 70年代のタツノプロ 美大出が集結	梅村 武史	東京	8.2

特集 水墨の美 わたしの考える墨の諧調 色としての自己主張をせず画面を構成してくれるのが墨色	大河原典子	水墨画*	290						
特集 表現する女性たち PART 2 大木美智子	高山 淳	美術の窓	361						
特集ワイド 無神経な夫にイラ立つ妻 第1子誕生は離婚の危機! 何十年も忘れぬ「心ない一言」イクメン登場で「現実」に幻滅[大久保ヒロミ]	江畑 佳明	毎日夕刊	12.17						
特集 表現する女性たち PART 2 大久保正子	高山 淳	美術の窓	361						
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 写真実画新世代画廊編 中野淳也 大熊弘樹	植松 和美	美術*	460						
美術評 人間国宝 大坂弘道展	藤田 一人	東京夕刊	1.11						
人間国宝・大坂弘道さん 珠玉の木工藝を紹介		読売夕刊	2.9						
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 洋画・日本画のトップランナー クローズアップアーティスト5 大崎映晋	編集部	美術*	460						
水中写真家 大崎映晋さん「海女のいる風景」いま守るべきものを教えてくれる	黒沢 綾子	産 経	6.19						
潜る 撮る 海に生きる 海女さんや海底遺跡、1950年代から素潜りで写真に	大崎 映晋	日 経	8.6						
特集 表現する女性たち PART 2 大澤一二三	高山 淳	美術の窓	361						
特集 日本の現代版画 1990-2013 大下百華《いのちの衝動II》2009年	大下 百華	版画芸術	162						
被災地で思うー3・11から2年ー 2アーティスト 大島公司さん 生きる手応え取り戻す	三沢 典丈	東京夕刊	3.5						
新シリーズ「緑の触感/haptic green」について	大島 成己	京都嵯峨芸術大学 紀要	38						
特集 日本の現代版画 1990-2013 大島成己 Untitled 1990年		版画芸術	162						
特集 表現する女性たち PART 2 大島優子	高山 淳	美術の窓	361						
特集 建築評価の現在形:脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 建築設計はいかに評価されるかー収益還元という不動産の評価基準軸がもたらすもの	大島 芳彦	建築雑誌	1645						
21世紀のアーティスト O JUN		ギャラリー*	344						
第26回奨学者のレポート A+B=Cを反芻する	大城 夏紀	アクリラート(別冊)	2013						
「浅草紅団」の新聞・挿絵・映画[太田三郎]	十重田裕一	文学*	14-4						
特集 表現する女性たち PART 2 太田奈江	高山 淳	美術の窓	361						
「建築家」が問われるときー自己規定の軌跡と現在 第2部 近代日本における「建築家」像の系譜学 改革者であることを止めなかった建築家、大高正人	蓑原 敬	建築雑誌	1651						
蓮月と森寛齋[大田垣蓮月]	佐藤 節夫	陶 説	722						
蓮月と鉄齋(上、下)			726,727						
瀬戸内国際芸術祭 2013 公式ガイドブック アートをめぐる旅完全版春 女木島 Pick up People 大竹伸朗 女根/めこん フイと椰子と植物群による磁場の生命力	大竹 伸朗	美術手帖	981						
SPECIAL FEATURE 大竹伸朗			993						
ロング・インタビュー	マッシミリアーノ・ジオーニ 聞き手								
「大竹伸朗の展覧会」という時空	藪前 知子								
対談:生き延びるためのアート 都築響一×大竹伸朗	岡澤浩太郎 構成								

大竹伸朗試論— 《モンシェリー； 自画像としてのス クラップ小屋》と ラウシェンバーク との比較から	ドリアン・ チョン			巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 現代アートと洋 画の新鋭 クローズ アップアーティスト 3 大槻香奈	編 集 部 美 術*	460
遠景の初心	大竹 伸朗			コツをおさえて描く 花の水墨画速習帖12 桜の気品高く	大月 紅石	水 墨 画* 288
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 大竹伸朗 プロジェ クトへの思いを語る 国内外で4つのプロ ジェクトが始動	大竹 伸朗 談	美術の窓	358	水墨花ごよみ 第5 ~8回 秋の山野草 採集1~4	〃	〃 293~296
作家通信 東京芸大 での授業	大竹 卓民	水 墨 画*	292	総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフィ ックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険		ユリイカ 624
ひと 100歳を迎え たブラジル現代美術 の巨匠 大竹富江さん	岩田 誠司	朝 日	11.23			
REVIEW 大嶽有一 展	正村 美里	R E A R	30	ふたりの案内人 描線・色彩・人間 —BDにおける身 体	ブノワ・ペ ーターズ、 フランソワ ・スキイテ ン、 大友 克洋 夏目房之介 司会	
洋画家・大谷早苗		美術屋・ 百兵衛	27			
惜別 建築家・東京 大名誉教授 大谷幸 夫さん 食卓でも図 面 自然と語らい設 計	大西 若人	朝日夕刊	3.30		エマニュエ ル・ルバー ジュ、ティ ア・バンス ・ヴィウ エス、 大友 克洋 原 正人 司会	
スヌーピー、アート 観共鳴 生みの親と 交流、ショップや博 物館の展示物制作	大谷 芳照	日 経	4.17	“Manga”を超えて フィクションとア クション—現実と 日常を綴るために		
世界文化遺産登録記 念 我が心の富士山 (3)	大津 英敏	新美術新 聞	1328	茶話アニメ 大人向 けの豪華絢爛[大友 克洋]	藤津 亮太	朝日夕刊 7.20
交遊抄 表紙の絵 [大津英敏]	松尾 浩也	日 経	1.18	3冊の本棚 オリン ピックが来る！[大 友克洋]	幅 允孝	東 京 9.15
パブリック・アート 散歩 (シリーズNo.3) 菊池市/市民広場界 隈—菊池武光公像と 菊池夢美術館の大塚 耕二作品	古家 良一	V i e w	144	シネマの週末 SHORT PEACE[大 友克洋]	(広) (鈴)	毎日夕刊 7.19
作家通信 大塚怜美 新たな技法と新たな 画材で	大塚 怜美	水 墨 画*	297	秋の褒章781人14団 体 独自の世界観描 く 漫画家・映画監 督 大友克洋さん		読 売 11.2
スター作家を探せ！ 日本画新世代 50人 の仕事 編集部注目 の逸材 3 悩みな んで、もうどうでも よくなりました… 大塚怜美	編集部・W	美 術*	457	特集 いい「目」を描 きたい！ ㊦技法講 座 vol.31 油絵の具 で描く生き生きとし た「目」の表現 大友 義博	大友 義博	美術の窓 363
Stardust review of exhibitions 大塚千 野のあの日に帰り撮 り「この世界とわ たしのどこか 日本 の新進作家 vol.11」 展より		芸術新潮	758	新美術時評=美術と 教育9=彫刻を生き る	大成 浩	新美術新 聞 1323
				インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェクト 世界に発信する アーティストたち No.8 大西敦子		ギャラリ ー* 335



第26回奨学者のレポート 喚起するもの	大西 久	アクリラート(別冊)	2013	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 大畑伸太郎	大畑伸太郎 美術*	458
EMERGING ARTIST 大西泰弘 孤独と光	編集部	美術の窓	355			
インタビュー 宮崎進氏に聞く 美術家とは「生きること」	大沼 映夫 聞き手	連盟ニュース	448	作家自選作品集3 大林月蒼《霧がかり》	大林 月蒼 水墨画*	291
創立50周年特別企画シリーズ 主体展「礎の作家たち」を語る 「懐い出」す事 [大野五郎]	藤田 英子	主体美術	94	特集 マチエールの基本と応用 ⑩技法講座 vol.30 透明水彩 大原裕行 透明水彩のマチエールはどう作る?	大原 裕行 美術の窓	362
戦後の巨匠 20 大野五郎と青春の相棒・小野幸吉	林 紀一郎	美術屋・百兵衛	25	ものづくりの原点は人格である	大樋長左衛門 新美術新聞	1305
リレーおびにおん アート de チェンジ 8 名古屋芸術大学非常勤講師 大野左紀子さん 創作やめて見えたアート	吉田 貴文 聞き手	朝 日	10.1	陶芸の未来	" 陶 説	718
日本の絵画における遊漁表現 『大日本魚類画集』の解釈について [大野麥風]	諏訪 智美	芸術学研究(筑波)	18	新美術時評=美術と教育2=美術と教育は物事を肯定する姿勢から	大樋 年雄 新美術新聞	1302
『大日本魚類画集』の「解説」の再録Ⅲ [大野麥風]		姫路市立美術館研究紀要	13	第45回 日展いよいよ開催 各科8作家が語る「日展とは、創作とは」「新時代の工芸」を目指す	大樋 年朗 美術*	458
特集 建築評価の現在形：脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 15年経て変わったのは	大野 秀敏	建築雑誌	1645	大平實《火山鳥 #5》	木村 一貫 Wave II	11
アトリエ訪問 大野美代子さんを訪ねて	大野 恵子 幸代 インタビュー	美術運動	140	この人 平櫛田中賞を受賞した 大平実さん 魔材など彫刻でアートによみがえらせる	牧野 俊樹 東京	10.9
所蔵品紹介237 平文簿の棚 大場松魚		石川県立美術館だより	360	実験アニメ作家の草分け 大藤信郎、幻のフィルム発見	鶴谷 真 毎日夕刊	7.29
ようこそ、新しい先生 09 大庭大介	大庭 大介	瓜生通信	58	大藤信郎 再評価を創造性に満ちた 幻のフィルム発見	渡辺 泰 " 寄稿	9.4
広がる「生の芸術」アールブリュット 障害超えキラリ傑作 独自の表現法 [大庭稔揮]	加藤木信夫	東京	9.28	千住を包む音やアート フライングオーケストラなど 秋冬企画始まる [大巻伸嗣]	奥野 斐 東京	10.18
人は所詮、肉塊か? 300人“含歓”を撮った理由 [大橋仁]		芸術新潮	762	現代の対抗文化の源流—ヒッピー文化の継承—	大松 伸洋 横浜美術教育・研究紀要	3
INFORMATION BOOK 大橋仁の新作写真集 300人のセックスを撮影した大橋仁の新作写真集	土屋 誠一	美術手帖	985	路上から世界を変えていく 日本の新進作家 VOL.12 下 あえて困難に「見る」	大森 克己 東京夕刊	12.12
				本江邦夫の「今日は、ホンネで」 第62回 日本画家 大矢紀	美術*	453
				「阿・咩」が始動する! 大藪雅孝の思い...	ギャラリ一*	335

現代美術の歩き方 今月の一品 フラン シス・アリス「実践 のパラドクス1(と ときには何にもなら ないこともする)」	大山エンリ コイサム	美術の窓	357	月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアー・ト縦横 No.32 岡野耕三・ 藤浪理恵子の個展を 企画する	永井龍之介、 小川 英晴 談	ギャラリ ー*	337
当館のイチオシ 芸 術家同士が生み出す 磁場 大山忠作《智 恵子に扮する有馬稲 子像》二本松市大 山忠作美術館		ギャラリ ー*	342	巻頭特集 独立独歩 の本格洋画 ベテラ ン14人のゆるぎない 仕事 我が道を行く 幸せ	岡野 博 美 術*		456
巻頭特集 イチオン 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 写真画新世代 画廊編 岡靖知	飯田 肇	美術*	460	終わりのない応答の ダイナミズム ヴェ ネチア・ビエンナー レ以後、「色は憶え ている」までをめぐ る対話のアーカイブ	岡部 昌生	札幌大谷 大学紀要*	43
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 岡川 孔	高山 淳	美術の窓	360	作品 岡部昌生 ビ ッキに触れて	岡部 昌生 越前 俊也	〃	〃
ピックアップ ほほ えみを、描き、刻む [岡倉石朋]		目の眼	438	artistic dialogue VOL.2 ワシオ・ト シビコ×岡村泰成		美術屋・ 百兵衛	26
岡崎京子『ヘルター スケルター』論	秋葉 萌実 玉 藻		47	本の舞台裏 美術で たどる「非核」[岡村 幸宣]	小川 雪 朝 日		12.15
日本美術史不案内 45 女子高生の声の 届かぬ場所[岡崎京 子]	佐藤 康宏 U P		483	日々好日 紀伊勝浦	岡村 倫行	新美術新 聞	1320
INFORMATION ME- MORIAL 追悼 宇 佐美圭司 宇佐美圭 司の教え	岡崎乾二郎	美術手帖	977	岡本一平による思想 の集大成としての漫 俳運動	角田 晴美	川崎市岡 本太郎美 術館研究 紀要	2
創設期の日本美術院 と岡崎雪聲	森 仁史 一 寸		55	東京美術学校西洋画 科卒業制作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究 X[岡本一平]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 恵里子 作間美智子 金 鍾旭	東京芸術 大学美術 学部紀要	51
写真魂 岡田敦写真 集「世界」 個体を超 える概念の存在	(存)	産 経	8.15	岡本太郎の「伝統論」 に関する一考察	志賀 祐紀	お茶の水 女子大学 人文学科 研究	9
青春プレイバック 洋画家岡田菊恵 戦 後を気負わず自身の 芸術を貫く	窪田 元彦	新美術新 聞	1305	岡本太郎と宮本常一 の写真と文章からみ るオシラサマ観につ いての考察	中野 泰生	川崎市岡 本太郎美 術館研究 紀要	2
尾形月耕幻のデビュ ー作『征韓論』は、名 鏡斎季邑筆『建白御 評議之図』か?	堀川 浩之	浮世絵芸 術	165	縄文の力 縄文の美 の発見者たち004 岡本太郎	石井 匠	太陽(別冊)	212
報告 「岡田三郎助 一まぼろしの名画 “裸婦”一特別公開 の記録	土橋佳那子	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	37	視点 広島・東練兵 場の幻想一兵隊姿の 岡本太郎、宮崎進ら がいた。	竹澤 雄三	美術の窓	360
岡田三郎助の色彩と その構成—《燃えつ つある浅草十二階》 と《裸婦》を中心に—	松本 誠一	〃	〃	昭和その人その時 岡本太郎 「顔」モチ ーフ 見る者に問う	保阪 正康 東 京		4.7
作家通信 二十四節 気を描く	岡田 純	水墨画*	287	本紙連載 安吾の小 説挿絵原画 岡本太 郎 若き冒険 各回 ごと異なるタッチ 54点公開	森本 智之	〃	8.11

東京音景 渋谷駅 巨大絵画すす払い [岡本太郎]	戸上 航一	"	11.10	なぜ私は建築を選んだか no.10 1枚の写真が人生を変え	小川 重雄	建築雑誌	1651
はじまりの土地 東北へ アートの祭りが始まる[岡本太郎]	赤坂 憲雄	毎 日	11.30	コツをおさえて描く花の水墨画速習帖11紫木蓮の花姿を端麗に	小川 夕星	水墨画*	287
岡本太郎の下地絵を分析		読 売	1.24	作家通信 過ぎし日を思い	"	"	292
先人を訪ねて 先駆的芸術 仏留学が契機 岡本太郎	原 隆也	"	8.13	作家自選作品集6 小川夕星《春霞のなかで》	"	"	297
「太陽の塔」内部公開「生命の樹」来年度にも[岡本太郎]		読売夕刊	4.30	芹沢本『法然上人絵伝』—発願者・小川龍彦をめぐる—	福地佳代子	芹沢銈介美術工芸館年報*	4
岡本唐貴《(春の畑)》《(白菜の収穫)》の修理報告	石垣 雅美	新潟市美・新潟市新津美研究紀要*	1	巻頭特集 魅惑の女性像 画家たちが描く奇跡の女性像 小川泰弘		美術*	454
作家通信 「人」を墨で描く	岡本 東子	水墨画*	286	特集 2013年 ルネサンス大解剖 私の真の芸術の姿を見た	小川 泰弘	美術の窓	355
特集 水墨の美わたしの線描法 線と美の密接な結びつき一本の線で絵が美しくなる不思議さ	"	"	291	時に抗いし者たち—私の小菩薩峠(11)[荻原守衛]	大谷 芳久	一寸	55
伝統×デザイン—手仕事の日本ふたたび大分の竹工芸 アクテリルに封じ込めた技と美[岡本菜穂]	黒沢 綾子	産 経	9.19	名作のもつ普遍性 荻原守衛作《北條虎吉蔵》	仁科 惇	礪山美術館報	33
薩摩藩のガラス技法書について(8)	岡本 文一	明星大学研究紀要	21	礪山研究 荻原守衛のイタリア・エジプト旅行 1 —北イタリア篇—	武井 敏	"	"
世親への問い—XVII・XVIII—	"	"	"	第45回 日展いよいよ開催 各科8作家が語る「日展とは、創作とは」今は女性がたくましい時代です	奥田小由女	美術*	458
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Story 光のちから 岡安泉が考える、照明の現在・未来	鈴木 里子	美術手帖	978	「新具象彫刻展を出発点とした東京造形大学出身者たち」展[奥田秀樹]		ギャラリー一*	343
小川芋銭研究《河童百図》に芋銭芸術の源泉を探る—創成期柳田民俗学と『カッパ夜話』を手懸りに—	小林 和美	芸術学研究(京都造形)	4	世界文化遺産登録記念 我が心の富士山(1)	奥谷 博	新美術新聞	1317
蔵出し 水墨画の逸品15 小川芋銭《江村六月、雪霽烟水》	永松 左知	水墨画*	290	巨匠への第一歩 昭和会展・最新世代の魅力8 第48回展「昭和会賞」 中原未央	松村 謙三、奥谷博、南島宏、長谷川徳七、ホスト	美術*	455
勸進行脚で築いた良寛堂 錚々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に[小川芋銭]	反町タカ子	日 経	7.18	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 1 奥谷博 世界遺産を描き続けて	一井 健二	美術の窓	360
明治期における写真文化の発展に小川一真が果たした役割について	岡塚 章子	鹿島美術財団年報・別冊	30	問われる団体展 日展・不正審査問題 自分の力のなさ気付く勉強会	奥谷 博	朝 日	12.10

研究報告	実践女子 学園香雪 記念資料 館館報	10	読書 売れてる本 ハイスコアガール 押切蓮介(著) 愛は ゲームが教えてくれ た	鈴木 繁 朝 日	8.11
2.奥原晴湖、瀧和 亭、服部波山、福 島柳圃、松岡環翠 「文人寄書」につい て	太田 佳鈴		コミック 志乃ちゃ んは自分の名前が言 えない 押見修造 (作) 友情とすれ違 い 織細に描く	南 信長 //	1.13
3.奥原晴湖の中国 画学習について	児島 薫		横浜美術大学サイ ンシステム共同研究進 捗報告 屋外サイ ンシステム実施計画及 び現状における問題 点	押元 一敏	横浜美術 大学 教育・研究 紀要 3
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 奥原 美智子	大澤 景	美術の窓 360	茶話マンガ 身長差 21センチの恋物語[オ ジロマコト]	伊藤 剛	朝日夕刊 8.3
巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 日本画ニューエ イジ 画廊編 奥村 美佳	和田 正宏	美術* 460	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 尾関 静枝	高山 淳	美術の窓 360
日本の個性 世界に どう売り込む 工業 デザイナー 奥山清 行氏 未来の消費者 の視点で 想像力と ビジョンが必要	小林 明日	経 5.5	戦後の巨匠 21 織 田廣喜・リラ・「愛 しい人へ」—介護15 年、そして再生キャ ンパス	林 紀一郎	美術屋・ 百兵衛 27
財団法人齋藤報恩会 博物館と設計者小倉 強について	河田 健	日本建築 学会計画 系論文集 693	風景画の中の赤一辰 砂と朱を用いた日本 画制作をとおして	織田 涼子	実践女子 大学美学 美術史学 27
特集 表現する女性 たち PART 1 女性 画家の歴史 メアリ ・カサット、フリー ダ・カーロ、ケーテ ・コルヴィッツ…女 性画家たちの生き方 [小倉遊亀]	堀尾真紀子	美術の窓 361	作家自選作品集1 小田柿寿郎 《天守 閣(彦根城)》	小田柿寿郎	水墨画* 289
現代美術の歩き方 今月一品 小栗沙 弥子「Works for the corner 1」	福住 廉	// 352	神聖な能舞台 たお やかな筆 女性初? 「 鏡板の松」描く 画 家の小田切さん「夢 かないました」[小田 切恵子]	田中 冴子	東京 5.20
コミック 太田川純 情ラバーズ 尾崎あ きら(作) 芸の城に 違する一生懸命さ	南 信長	朝 日 5.19	明治教科書の挿絵 画家(抄)—携わった画 家や彫師の探索— [尾竹国観/尾竹竹 坡]	岩切信一郎	一寸 54
技法の現場から23 修復家から見た現代 作家への提言4 修 復家と美術家の対談	吉村絵美留 小作 青史	連盟ニュ ース 447	日本画 小田野尚之 《映》、《響》		尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要 12
漫画を読んだ そこ にあった新しい世界 小沢さとる 復刻版 『サブマリン707』	いしかわじ ゆん	毎 日 9.28	巻頭特集 鉄道のある 風景 鉄道画談 3人の画家が語るロ ーカル線の魅力[小 田野尚之]	編集部	美術* 453
教員は語る 芸大へ の期待・抱負・提言 第18回	小沢 剛 坂井 千春	芸大通信 26	水墨の最前線16 雨 を引く墨の線が奏で る心の旋律 越智波 留香	立島 恵	水墨画* 286
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 小沢 一	高山 淳	美術の窓 360	特集 表現する女性 たち PART 2 尾中 真理	高山 淳	美術の窓 361

水墨の最前線17 現代絵画に池大雅のゆらめく水墨表現を生かす 尾長良範	野地耕一郎	水墨画*	287	特集 近代化遺産保護の成果 コラム 近代化遺産の写真—撮影の立場から—	小野 吉彦	文化財*	596
ボクシング元チャンプ・鬼塚さん 福岡のジムで新境地 アトリエは闘いだ 引退後の米国訪問で開眼「見る人にパワーを」[鬼塚勝也]			東京夕刊 6.18	特集 表現する女性たち PART 2 小野 口京子	高山 淳	美術の窓	361
われ発見せり 一〇〇年先の写真集	小野 啓	ユリイカ	635	「オノサト・トシノブ記念座談会」記録(前編、その2)	有村 真織、 宮地 佑治、 保倉 一郎、 渡邊 彰一、 奈良 彰一、 小此木美代子、 石井 進行	ガス燈	96、97
戦後の巨匠 20 大野五郎と青春の相棒・小野幸吉	林 紀一郎	美術屋・百兵衛	25	コミック ソレミテ1 小野寺浩二 石黒正数 心霊スポットを巡ったルポ	山脇 麻生 朝 日		7.21
小野佐世男書誌掲載リスト	吉田 成志	川崎市岡本太郎美術館研究紀要	2	山下裕二の今月の隠し球105、106 小野寺麻里 被災地大船渡、薬局のポスターの幻影(上、下)	山下 裕二	美術の窓	360、361
巻頭特集 魅惑の女性像 画廊街で出会える女性像 小野大輔		美術*	454	研究小話 布をめぐる随想 2 身体の一部としての衣服[オノデラユキ]	定松 晶子	群馬の森美術館ニュース	151
福井県立美術館館蔵品紹介 小野忠弘『アンチプロトン』	西村 直樹	美術館だより	138	『甕海魚譜』について	小濱亜由美	鹿児島大学総合研究博物館ニュース*	31
油画 小野環 《Wind-ow》、《私はこうして駆け抜ける》、《Scab》		尾道市立大学芸術文化学部紀要	12	デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Trial メタリック・インク ジェット・トリアル 鉄球の質量をインクジェットで再現する。尾原史和	猪飼 尚司	美術手帖	978
特集 表現する女性たち PART 1 小野月世	高山 淳	美術の窓	361	レンブラントのメデイウム一模写によるレンブラントの技法研究	小尾 修	武蔵野美術大学研究紀要	43
SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動としての陶芸 PART 1 INTERVIEW 小野哲平	岡澤浩太郎	美術手帖	997	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 小茂田青樹	吉岡 知子	美術*	458
コミック GB パーク オノ・ナツメ(作) ゲートボールで地元を描く	ササキバラ・ゴウ	朝 日	8.11	巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて—現代の名作から旧満州鉄道	小山 硬	〃	453
ひと 若手写真家の登竜門 第14回上野彦馬賞を受賞 小野尚紀さん	大森 顕浩	毎日	10.16	折元立身の仕事		ギャラリー*	338
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける News JAGDA 新人賞2011 小野勇介	猪飼 尚司	美術手帖	978	母親の介護は俺のアート 現代美術家 折元立身さん	渋谷 和彦	産 経	7.4
ひと言の余韻 28 私はただ私でありたい アートの巫女オノ・ヨーコ	後藤 正治	日 経	5.12	交遊抄 型破りな刺激[折本立身]	中尾 浩治	日 経	12.2
オノ・ヨーコが語る戦時中の飢え体験		毎日夕刊	12.11				

平成25年定期刊行物所載文献(近/作オ、カ)

新収蔵品紹介 恩地孝四郎《幼女浴後》	林田 龍太	View	145	伝えたい「みんな特別な子」からすのパンやさん、40年ぶり続編4冊 絵本作家・加古里子さんに聞く 人気の秘密は「一家の愛情」	松尾 由紀 朝 日	9.24
当館所蔵品のご紹介 48 恩地孝四郎『水島』の著者(萩原朔太郎像)		世田谷文学館ニュース	55			
大波小波 詩画集の復活[恩地孝四郎]	妙 蓮	東京夕刊	8.8	笠井誠一 よりシンプルに、よりあざやかに	編集部 美術*	451
(カ)						
数多くの民芸工房 二風谷民芸組合常任理事でアイヌ木彫り作家の貝塚徹さん	貝塚 徹	読 売	12.17	特集 もう一度立ち返るニッポンの油絵 ④技法講座 VOL.28 作家にきく ニッポンの油絵 対談 赤堀尚×笠井誠一	一井 建二 司会	美術の窓 354
半歩遅れの読書術 甲斐庄楠音の世界 どんととした女性画の美	梯 久美子	日 経	6.16	特集 日本の現代版画 1990-2013 風間サチコ《噫!怒涛の閉塞艦》 2012年	風間サチコ	版画芸術 162
3・11後を生きる 叫ぶ 1 福島見ない議員 皮肉の家 美術家 開発好明さん	志村 彰太	東 京	3.18	コミック ハクメイとミコチ 1 榎木拓人(作) 懐かしい森の住人たちの世界	ササキバラ・ゴウ	朝 日 2.10
加賀谷武 1953-2012の仕事 60年に及ぶ創作活動の記録 第4回 1978年個展「間」シリーズから	赤津 侃	ギヤラリ	333	梶田半古の図案制作一図案集『わかさ』を中心とする考察一	大木 優子	文化学年報 62
空間の探索者 加賀谷武 第一〜八回	三田 晴夫	〃	337~344	路上から世界を変えていく 日本の新進作家 VOL.12 上 裏通りに漂う時代感	鍛冶谷直記	東京夕刊 12.10
特集一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(五) 明治の彫金再考一海野勝珉と香川勝廣の一九〇〇年パリ万博御下命出品作	岡本 隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要	18	コミック てるみな 1 kashmir(作) 鉄道少女が旅する幻想世界	ササキバラ・ゴウ	朝 日 6.2
好奇心がエネルギー みんなの迷路つながった 絵本作家 香川元太郎さん	安里麻理子	朝 日	12.16	バナナ及び未利用繊維の素材活用システムの構築一2005~2012年度共同研究報告	橋本 京子 弘川井 由夏 深津 裕子 妹尾めぐみ 高野 絃子 樋口 明久	多摩美術大学研究紀要 27
特集 表現する女性たち PART 2 垣内宣子	功刀 知子	美術の窓	361	第18回総合水墨画展 レポート 上位受賞者のことば 作家部門 大賞・内閣総理大臣賞 柏木美保子《閑日月》	柏木美保子	水墨画* 296
特集 日本の現代版画 1990-2013 柿崎兆《初冬》 2001年	柿崎 兆	版画芸術	162	王羲之題材に筆さばき披露[片岡重和]	大沢 瑞季	毎 日 2.1
フロントランナー 「アートとしての書」に挑む 書家 柿沼康二さん	宮代 栄一	朝 日	2.23	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 片庭類	片庭 類	美術の窓 360
特集 表現する女性たち PART 2 鎌和田智子	高山 淳	美術の窓	361	第26回奨学者のレポート 努力家の色	片野 まん	アクリラート(別冊) 2013
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 日本画ニューエイジ 画廊編 加来万周	神部 孝子	美術*	460	平成二十五年新作名刀展の概要 刀身彫の部 受賞の言葉 挑戦[片山重恒]	片山 恒	刀剣美術 678

近代名古屋と最初期の建築家達 佐立七次郎、辰野金吾、曾禰達藏、片山東熊	瀬口 哲夫	名古屋造形大学紀要	19	加藤 清和 畑石 修嗣 石嶋 哲彦 藤井 隆之 坂本 章 星野 友幸 西田 宣生 金子 賢治 石崎 泰之 唐澤 昌宏	陶 説	724
神宮徴古館・農業館に関する一考察[片山東熊]	磯俣 祐介 原 正彦 渡辺 洋子	日本建築学会会計画系論文集	691	第二十二回日本陶芸展受賞者に聞く		
REVIEWS なぜ片山真妃はルールをオーバードライブさせるのか	保坂健二郎	美術手帖	987	演奏会彩る福島の桜江東です 県産のシルクに加藤さん描く[加藤恵]	竹上 順子	東京 12.19
となりのアートさん vol.6 ガタロさん	ヤマザキ ユミ	美術屋・百兵衛	26	文化往来 復元した陶芸技法、イランで「里帰り展」[加藤幸兵衛]		日 経 7.9
イベント報告 座談会「東京オリンピックのデザイン証言者」勝井三雄×道吉剛×小西啓介	木田 拓也 編集・文責	現代の眼	601	心象風景	加藤 鉦次	名古屋造形大学紀要 19
論文 近代の巻筆筆匠 二代目勝木平造の活動とその意義	村田 隆志	書道文化	9	アクリリックス・ワールド75 加藤直	小吹 隆文 取材・文	美術手帖 984
戦中から戦後へ作家をたどる 13 香月泰男、古沢岩美	笹木 繁男	美術運動史研究会ニュース	135	作家自選作品集2 嘉藤大峻 《もうすぐ春ですな》	嘉藤 大峻	水墨画* 290
筆洗[香月泰男]		東京	7.30	文化往来 復元した陶芸技法、イランで「里帰り展」[加藤卓男]		日 経 7.9
先人を訪ねて 香月泰男(山口県長門市)「いらんもの」への愛	清島 愛	読 売	4.25	陶芸家・加藤委さんとの出逢い	川瀬 直美	陶 説 727
アートな本 勝谷寛子写真集『長春を歩く』		東京	2.3	加藤委一素材への執着とアクションから生まれる造形	唐澤 昌宏	” ”
新しいコレクション 桂盛仁《盒子 蟹》	諸山 正則	現代の眼	600	INFORMATION COMPETITION TARO 賞決定! 今年の TARO 賞。空間、コミュニケーションがキーワード[加藤智大]	中島 水緒	美術手帖 984
表紙の作品 桂ゆき「狐と狸」	(H)	潮 流	115	特集 スケッチにかけよう ④技法講座 vol.29 技法講座 3 透明水彩で描く 木曾路の須原宿 加藤英	加藤 英	美術の窓 359
巻頭特集 世界市場で高騰中! 「具体」ってなに? 画廊でマスターピースに出会う 「具体」&戦後の前衛 中長小西桂ゆき	編集部	美術*	455	平成二十五年新作名刀展の概要 作刀の部 受賞の言葉 鬼怒川砂鉄に挑む	加藤 政也	刀剣美術 678
特集 表現する女性たち PART1 女性画家の歴史 メアリ・カサット、フリーダ・カーロ、ケーテ・コルヴィッツ…女性画家たちの生き方 [桂ゆき]	堀尾真紀子 談	美術の窓	361	加藤嶺夫写真全集 昭和の東京 1 新宿区 加藤嶺夫著 再会と発見のよこび	平松 洋子	読 売 5.12
「じっちょりん」シリーズ3巻目 夏の風物詩を表現[かとうあじゅ]		読売夕刊	7.6	特集 いい「目」を描きたい! ④技法講座 vol.31 アクリル絵の具で描く ユーモラスな目 加藤ゆわ	加藤 ゆわ	美術の窓 363
丁亥印社リレー投稿 14 今日も僕は印を彫るのだ	加藤 雨人	書道界	282			

平成25年定期刊行物所載文献(近/作カ)

特集 表現する女性たち PART 2 加藤良子	高山 淳	美術の窓	361		金子 亨 児玉沙矢華 佐藤みち生 松山美奈子 當間菜津吾 伊藤奈晋美 飯田沙耶美 鎌田沙耶美 小松佑季史 下野雅美穂 高橋美紀子 野村美希 林美遠 小島大輔 橋本美沙子 山本優里	東京学芸 大学紀要	65
水墨の最前線21 北宋山水の圧倒的な写真という様式に倣う 加藤良造	野地耕一郎	水墨画*	291				
展覧会レビュー part 1 川合玉堂—日本のふるさと・日本のこころ— 郷愁でも理想でもない今、眼前に広がる景色	加藤 良造	美術*	456				
シネマの週末 SHORT PEACE[カトキハジメ]	(広) (鈴)	毎日夕刊	7.19	リアリズムに関する一考察—洋画研究室の実践をとおして—	金子 亨 佐藤みちる	" "	" "
注目の作家 門坂流ピュランの冷静なる練刻	松山 龍雄	版画芸術	161	スペインの初等美術教育の一考察—現地調査をもとにして—	金子 亨 富之	水 墨 画*	292
香取秀真研究—鑄金作家として歌人として—	中田 宏明	鹿島美術財団年報・別冊	30	作家通信 毒と生きる		水 墨 画*	292
作家通信 墨と水の美感は国境を越え	香取 美穂	水墨画*	291	21世紀のアーティスト 金子朋樹		ギャラリ ー*	337
わたしの宝もの91 悩ましい Mac	金井 訓志	新美術新聞	1300	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 金子豊文	金子 豊文	美 術*	458
芸大卒業・修了制作の2作品 区長賞に選出 荒川区内の公共施設に設置[金井麻央]	竹上 順子	東京	6.22	続・ほうがい余話 芳崖さんの師 1 父・狩野晴卓	関根 佳織	潮 流	113
映像インタラクティブ作品『巢—Nest—』～「かわいい」が開く想像力との対話～	金澤麻由子	横浜美術大学 教育・研究紀要	3	REVIEWS 鳥はガラスを抜けてやってくる [狩野哲朗]	西川美穂子	美術手帖	995
特集 表現する女性たち PART 2 我那覇絹子	高山 淳	美術の窓	361	巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 現代アートと洋画の新鋭 画廊編 狩野宏明	廣田登支彦	美 術*	460
金山明の赤い円の絵画について	北川 智昭	豊田市美術館紀要	6	狩野芳崖の画風変遷について—明治10年代を中心に—	関根 佳織	鹿島美術財団年報・別冊	30
一通の手紙から伝わる年齢差を越えた友情 資料紹介:佐野繁次郎宛金山康喜書簡	橋 秀文	神奈川県立近代美術館年報	2011年度	狩野芳崖作品所在調査アンケート結果報告	"	下関市立美術館研究紀要	14
sacai "THE" showcase 阿部千登勢と金氏徹平の日常の上に成り立つクリエーション	宮村 周子	美術手帖	984	岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 日本画の誕生 狩野芳崖 フェノロサが絶賛した画力	"	太陽別冊	209
シカゴに TANUKI [金子潤]		日 経	5.9	続・ほうがい余話 芳崖さんの師 1 父・狩野晴卓	"	潮 流	113
フェイス21世紀168 金子太蔵 言葉の力を大切に 自分らしい書を目指して	松崎 裕子	新美術新聞	1302	公開講座 自然災害と日本文学 講演録 講演録2 泉鏡花の洪水幻想—「龍潭潭」「高野聖」など— [鍋木清方]	鈴木 啓子	城西国際大学日本研究センター紀要	7
Books 「没後七〇周年 金子孝信画集」		Wave II	12	巻頭特集 魅惑の女性像 鍋木清方—在りし日の形見	福富 太郎	美 術*	454



鏡花の世界、目で楽しむ 作品の資料公開、絵本も刊行[楠木清方]	干場 達矢	日経夕刊	10.21	美博ピックアップ 東京オリンピック 1964 デザインプロジェクト 東京国立近代美術館[亀倉雄策]	岡山 朋代	朝日夕刊	4.10
美の美 沖縄の美[ちゅうらさ 中 一い ろどる 島に満ちる 赤と青の輝き 鮮烈な色彩に楽園を見た [鎌倉芳太郎]	内田 洋一	日 経	11.10	ポートレイト「100人の母たち」この子の笑顔守りたい	亀山ののこ	東京夕刊	2.21
ネイティブ・アメリカ 鎌田遵著		"	5.26	特集 マチエールの基本と応用 ④技法講座 vol.30 日本画 亀山祐介 銀箔を使った表情豊かなマチエール作り	亀山 祐介	美術の窓	362
ケンチク脳の活かし方 no.11 建設会社からイラストレーターへ—難しいことをわかりやすく描く	上大岡トメ 話し手 砂本 文彦 聞き手 平塚 桂 文	建築雑誌	1652	ひと 第32回土門拳賞を受賞した 亀山亮さん	手塚さや香	毎 日	4.23
平成二十四年度西部例会 明治・大正期の京都における工芸活動—神坂雪佳を中心に—	矢野 節子	美術史	174	4「読ん」で知るアート 巨匠の素顔 読書家・鴨居玲の作品モチーフ	長谷川智恵子	朝日夕刊	4.10
論文要旨《修士》 明治・大正期の京都における工芸活動—神坂雪佳を中心に—	"	美術史論集	13	新しいコレクション 加守田章二《曲線彫文壺》	木田 拓也	現代の眼	603
特集 もう一度立ち返るニッポンの油絵 ④技法講座 VOL.28 case 4 ファンタジーの世界と少女を描く 上條喜美子	上條喜美子	美術の窓	354	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 加山又造	西野 華子	美 術*	458
丹下健三再評価へ機運 証言本出版相次ぐ[神谷宏治]	永田 晶子	毎日夕刊	9.11	特集 表現する女性たち PART 2 唐澤朝子	高山 淳	美術の窓	361
(座談会) 筆職人との対話から生まれたオアシス	足立 正平 神山 玄 東園 基昭 千々岩 修 福井江太郎 阿部 悠季	美 術*	458	巻頭特集 イチオン作家2014 アートシーンを熱くする100人 日本画ニューエイジ 画廊編 狩俣公介	渡辺 大祐	美 術*	460
《東海道懐古帖》の史的位置—リアリズムをめぐるあるひとつの断層—[亀井竹二郎]	角田 拓朗	神奈川県立博物館 研究報告	40	平成二十四年度第三回研究会 近代日本における作家についての考察—新しい古陶磁と制作、小森忍と河井寛次郎を中心に—	高田 瑠美	東洋陶磁	42
特集 建築評価の現在形：脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 建築の評価	亀井 忠夫	建築雑誌	1645	杉山半次郎宛川合玉堂書簡について	青山 訓子	岐阜県美術館年報 研究紀要	30
この人 日展で文部科学大臣賞 亀井勝さん 「80歳を機に新たな陶芸を展開したい」	宮川まどか	東 京	1.31	作品研究 川合玉堂《小松内府図》について	中村 麗子	現代の眼	598
水墨の最前線22 魂を紡ぐ墨の表現 亀井三千代	立島 恵	水墨画*	292	蔵出し 水墨画の逸品13 川合玉堂《奔流》	八柳 サエ	水墨画*	288
制作ノート 原論	亀井 佑二	武蔵野美術大学研究紀要	43	墨への憧憬 川合玉堂《水声雨声》	山崎 妙子	"	291
				美の履歴書 314 なぜ懐かしいのか 「山雨一過」 川合玉堂	増田 愛子	朝日夕刊	7.24

勸進行脚で築いた良寛堂 鍾々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に[川合玉堂]	反町タカ子	日 経	7.18	木版画で見る川上澄生物語 「南蛮文化」憧憬 「文明開化」郷愁 偏愛する「静物」 モダン都市風景連作 すべて手作り版画 「版画本」に生涯熱中 川上澄生の版画道	白井佐知子
近代美術の眼 彩雨[さいう] 「祖国愛」の時代映す[川合玉堂]	鶴見 香織	読 売	10.25	神宮美術館所蔵 神宮名品解説[川北良造]	平子 裕子 瑞 垣 226
近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新 呉昌碩が日本にもたらしたモノ—河井荃蘆・長尾雨山を介しての伝播	松村 茂樹	アジア遊学	168	手塚・ちば・水木…戦争、漫画家が描くメッセージ[かわぐちかいじ]	朝日夕刊 8.10
達人たちの世界 花田清輝と小林秀雄、あるいはポスト3・11のメディア社会批判	河合 政之	あいだ	204	京都篇 川口澄子の「秘伝絵日記」	川口 澄子 太陽の地図帖 18
バナナ及び未利用繊維の素材活用システムの構築—2005~2012年度共同研究報告	橋本 京子 柏木 弘 川井 由夏 深津 裕子 妹尾 めぐみ 高野 絃子 樋口 明久	多摩美術大学研究紀要	27	作品 川口浩 「風景—12」「6月の風景」	札幌大谷大学紀要* 43
丁亥印社リレー投稿 21 西冷印社について(上)~基礎的な事実確認~	川内 伯豊	書道界	289	各地からの出品者の思い 熊本から	川口 恵 日展ニュース 149
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 日本画ニューエイジ 画廊編 川内真梨子	原田 裕介	美術*	460	5億年先の生物ロボCGアーティスト 河口洋一郎 キーワードは「カワイイ」	中山 岳 東京 6.28
小特集 信仰、それぞれの土地で 一 出雲—川内倫子が出逢った神と人	川内 倫子	芸術新潮	763	明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索—[川崎千虎]	岩切信一郎 一寸 54
平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞・新人賞決まる 美術分野 文部科学大臣賞に川俣正氏、奈良美智氏 新人賞に川内倫子氏		新美術新聞	1308	巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 現代アートと洋画の新鋭 画廊編 かわさきみなみ	木塚多賀子 美術* 460
世界の陰と陽に迫る写真に写らないものを求めて 写真家 川内倫子さん	干場 達矢 聞き手	日経夕刊	6.12	日々好日 動物園今昔	河嶋 淳司 新美術新聞 1310
涼しくなるゾーッ…妖怪画 画廊で見つけた都市の闇[川上亜寿美]	沢沢 和彦	産 経	7.18	特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(五) 美術染色家の挑戦—一九〇〇年パリ万博における川島、飯田、伊達の出品作 [二代川島甚兵衛]	太田 彩 三の丸尚蔵館年報・紀要 18
Editor's Eye アマチュア版画家・川上澄生	松山 龍雄	版画芸術	161	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 河島真規子	磯部 靖 美術の窓 360
特集 川上澄生 版画の楽しみ		〃	〃	日本画家のアトリエ訪問 2 川嶋渉	大澤 景 〃 358
§ 前文 §				新版画と伝統—「増上寺の雪」の制作と戦後の状況について [川瀬巴水]	小山 周子 東京都江戸東京博物館紀要 3

なぜ私は建築を選んだか no.9 わが青春の蹉跎	川瀬 博	建築雑誌	1649	本よみうり堂 コミック館 「俺物語!!」が人気沸騰中 少女マンガにマッチョヒーロー[河原和音]	小間井藍子	読売夕刊	1.28
巻頭特集 イチオン作家2014 アートシーンに熱くする100人 日本画ニューエイジ 画廊編 川瀬伊人	赤田 清美	術*	460	作家自選作品集6 川瀬水豊 《驟雨》	川瀬 水豊	水墨画*	297
特集 表現する女性たち PART2 河添幸代	磯部 靖	美術の窓	361	SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動としての陶芸 PART2 BASICS 川渕直樹に聞く 素材と表現の関係性—土・釉薬・窯	中島 水緒 構成	美術手帖	997
時が流れる風景11 春色帯びる漁港	川添 早苗	水墨画*	287	《昭忠碑》の〈金鷄〉を作った人たち—彫刻家・沼田一雅を中心に[河辺正夫]	田中 修二	屋外彫刻調査保存研究会報	5
18年ぶり 絵描きの私を取り戻した 阪神大震災で被災の女性 「時が消化してくれた」亡き母へささげる作品[川田敦子]		東京夕刊	6.5	collecteurs asile しつらい 1 菓子器 川真田克實作 名残の椿を慈しむ早春のしつらい	桑村 祐子	目の眼	439
こころの玉手箱 写真家 川田喜久治 1~4	川田喜久治	日経夕刊	11.5~8	平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞・新人賞決まる 美術分野 文部科学大臣賞に川俣正氏、奈良美智氏 新人賞に川内倫子氏		新美術新聞	1308
学校と私 刀匠 河内國平さん 徒弟制度で人生の「軸」得る	深尾 昭寛	毎 日	7.15	消滅する作品を楽しむ 川俣正さん 横浜で展覧会	渋谷 和彦	産 経	1.9
「うまい棒」に円空の心 スナックから現代の木っ端仏 あがめるより親しんで[河地貢士]	井上 幸一	東 京	5.27	「川俣正」展 木材が取り付く風景	高野 清見	読 売	1.8
河鍋曉斎の文久年間の画業について	山本野理子	鹿島美術財団年報・別冊	30	巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 答えのない旅を続けて	川村 悦子	美 術*	456
河鍋曉斎筆「地獄極楽めぐり図」再考—幕末明治の表象と追善供養のかたち—	曾田めぐみ	美術史	175	第25回「京都美術文化賞」 受賞者のことば	川村 悦子	美 術*	456
『絵日記』に見る河鍋曉斎の魅力 幕末~明治初期 日常を写真	三沢 典丈	東京夕刊	9.30	研究ノート 川村清雄《天の石屋戸の図》の発見	村上 敬	アマリス	110
「国際港都 神戸風物展」について[川西英]	相良 周作	兵庫県立美術館研究紀要	7	心華雄録(二、三) [川村清雄]	丹尾 安典	一 寸	53,54
ひとと文字11 河野隆「華」	河野 隆	新美術新聞	1301	川村清雄と最上五郎 一枚の写真発見から、最上五郎履歴の解明へ—	岩切信一郎	”	56
明治の巨匠川端玉章に学ぶ水墨画 1~9	村田 隆志	水墨画*	289~297	第六十四回美学会全国大会報告 発表要旨 「留守模様」としての歴史画—川村清雄《建国》をめぐる—	村上 敬	美 学	243
作家自選作品集4 川端豊次 《海》	川端 豊次	”	292	REVIEWS 〈家族〉という経験	川村 麻純	美術手帖	991
作品 川畑盛邦 「12-I 雲の上で遊ぶ」「12-III 雲の上で遊ぶ」		札幌大谷大学紀要	43				
世界文化遺産登録記念 我が心の富士山〈2〉[川端龍子]	牧 進	新美術新聞	1321				

平成25年定期刊行物所載文献(近/作カ、キ)

第44回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 日展を経験して	川村 美紗	日展ニュース	148	この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012 年度奨学生 菊谷達史	菊谷 達史	美術*	456
仏画家・川村三津		美術屋・百兵衛	27				
第44回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負— 日展と制作	神崎 由梨	日展ニュース	148	コミック ハスク・エディン 1 如月芳則(作) 我々はどんな場所にいるのか	ササキバラ・ゴウ	朝 日	1.6
「国際港都 神戸風物展」について[神原浩]	相良 周作	兵庫県立美術館研究紀要	7	洋画家 岸宏士		美術屋・百兵衛	27
彫刻家 神戸峰男さんに聴く	神戸 峰男	美じょん新報	161	インタビュー 岸田夏子展—刻・生・宇宙の神秘	岸田 夏子	新美術新聞	1305
冠松次郎と穂刈三寿雄 黒部と槍	神長 幹雄、 関次 和子 富田 秋子	E Y E S	80	岸田劉生と和辻哲郎の交友について—鶴沼時代を中心に—	田中純一郎	哲学会誌	37
				謄写版刷りの出品目録から—芝川照吉コレクションの劉生作品	浅野 徹	視 る	466
(キ)							
近代建築ステンドグラス制作者 木内真太郎の業績—木内真太郎の関連資料を中心として—	金田 美世 清水 河田	日本建築学会計画系論文集	686	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 岸本浩希	岸本 浩希	美術*	458
私のグッとムービー 木内達朗さん「ステイキング」見る側もたまされる爽快感	神谷 実里 聞き手	朝日夕刊	7.26	各科審査員より 見たいものは	木代 喜司	日展ニュース	150
学びのふるさと 建築家 伊東豊雄さん「この瞬間にアイデアを出せ」 師事した建築家の言葉に衝撃 意見ぶつけ合い 感性磨く[菊竹清訓]	鱸 正人 聞き手	日経夕刊	10.25	新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.007 北久美子 身辺抄	北 久美子	美術*	452
				北井一夫さん 初の大規模回顧展	井上 晋治	読 売	1.10
館蔵資料紹介 「提灯絵紙見本帖」の内「紫陽花」[菊地華秋]		岐阜市歴史博物館博物館だより	84	所蔵品から 北岡文雄《廃墟 A(焼跡 A)》	武居 利史	府中市美術館だより	38
日々好日 小さな営み	菊地 伸治	新美術新聞	1322	大波小波 詩画集の復活[北川健次]	妙 蓮	東京夕刊	8.8
特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 菊地智子	笠原美智子	美術の窓	357	北川民次の絵画技法		愛知県立芸術大学紀要	42
社会見据える力、光った 木村伊兵衛賞の2氏[菊地智子]	西岡 一正	朝 日	3.18		白河 宗利 歌田 眞介 森田 恒之 木島 隆義 山田 元偉 杉原 鈴鴨 原西川 富士美 西川 朱美 竜司		
市がよい8~18	菊地 信義	目の眼	436~438、 440~447	(3)一郡山市立美術館所蔵作品の自然科学的調査—	杉原 朱美 白河 宗利 歌田 眞介 森田 恒之 木島 隆義 山田 元偉		
所蔵品紹介 菊畑茂久馬《ルーレット》	山口 洋三	エスプラナード	172	(4)一かみや美術館所蔵作品の再現研究—	林田 龍太	View	147

21世紀のアーティスト ト 北川宏人		ギャラリー*	339	特集 表現する女性 たち PART 2 北野 弓子	高山 淳	美術の窓	361
時明り(日本画)	北口 広美	多摩美術 大学研究 紀要	27	リレーおびにおん アート de チェンジ 9 ねぶた師 北村 麻子さん 心に刻ま れるねぶたを	吉田 貴文 聞き手	朝 日	10.2
日々好日 自然から	北郷 悟	新美術新 聞	1306	作家通信 鍛えられ ているという実感	北村さゆり	水墨画*	289
漫画の近代—北澤楽 天の位置と意味	森 仁史	一寸	56	特集:「(織)を極め る 人間国宝 北村 武資」展 記念シン ポジウム「伝統を考 える」		京都国立 近代美術 館研究論 集	5
ソ連崩壊の日常写す 北島敬三が写真集 米で刊行		朝日夕刊	2.6	感性論的<伝統>考	岩城 見一		
日本画家のアトリエ 訪問 3 北田克己	大澤 景	美術の窓	359	「伝統工芸」の保護 制度	佐々木正直		
北代省三—実験と遊 びの精神	佐藤 玲子	紫 明	33	討議と質疑応答	中尾 優衣 構成・文責		
明治教科書の挿絵画 家(抄)—携わった画 家や彫師の探索— [北爪有脚]	岩切信一郎	一寸	54	館藏品紹介 10 北山 泰斗「他人の空シリ ーズ 黄色の空」	一柳 友子	香川県立 ミュージ アムニュー ース	22
アートなる人々 芝 川照吉の周辺—竹本 爾太夫、木谷蓬吟・ 千種、吉岡重三郎 [木谷千種]	橋爪 節也	視 る	466	美の美 見立て絵 重層するイメージ 下 着想の系譜、近 代に脈々と 先人へ の傾倒込めた筆致 [北脇昇]	吉田 俊宏	日 経	6.18
視線 our face : Asia [北野謙]	北澤 憲昭	朝 日	7.21				
ourface : Asia 北野 謙著		日 経	6.23				
特集 表現する女性 たち PART 2 北野 祥子	北野 祥子	美術の窓	361	第35回十果会	今井 真吾、 平岡 靖弘、 相田 幸男、 齋藤 研、 木津 文哉、 瀬川富紀男 編集部	新美術新 聞	1319
INFORMATION ビ ートたけし×ヤノベ ケンジ ANGER from the Bottom た けしとヤノベの「怒 り」の行方[北野武]	内田 伸一	美術手帖	980	吉川靈華<離騷>の主 題と典拠	田中 伝	美術研究	410
たけし、8メートル の怒り ヤノベケン ジと制作		朝日夕刊	1.30	日々好日 百万粒の 美山錦	木戸 修	新美術新 聞	1318
ヤノベケンジ&たけ しでオブジェ「も っと怒りを」		毎日夕刊	1.23	彫刻家の現場[アト リエ]から 96 木 戸修	武田 厚	美術の窓	356
たけしさんアート 「水の神」に 香川・ 小豆島住民が祭る		読 売	7.10	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 鬼頭 恭子	高山 淳	"	360
北野恒富<引札見本>	熊田 司	えむえむ	5	特集 表現する女性 たち PART 2 鬼頭 恭子	"	"	361
特集 ポスターの視 覚文化論 9 画家 とポスターの緩やか な周辺—大阪モダ ニズムの画家三態[北 野恒富]	橋爪 節也	美術フォ ーラム21	27	ようこそ、新しい先 生 04 城戸崎和佐	城戸崎和佐	瓜生通信	58
表紙解説・作家解説 表 北野恒富<矢の 根五郎>	平芳 幸治	"	"	第26回奨学者のレポ ート あのこと	喜納 洋平	アクリラ ート(別 冊)	2013
		"	"	第81回独立展を迎 えて 網谷幸二・事務 所委員に聞く		新美術新 聞	1325

平成25年定期刊行物所載文献(近/作キ)

特別企画 松村謙三賞・絹谷幸二賞「画家の使命、コレクターの役割」	松村 謙三、 絹谷 幸二、 南 宏	美 術*	459	谷根千に芸術の秋 190ヶ所 手づくり 会場 5日から芸工 展[木下正道]	丹治早智子	東 京	10.2
特集 2013年 ルネ サンス大解剖 スペ シャルインタビュー 絹谷幸二 ルネサンス 美術から学ぶべき 「心の解放」		美術の窓	355	特集 表現する女性 たち PART 2 木下 由美子	木下由美子 高山 淳	美術の窓	361
「無著・世親立像」を 描く 絹谷幸二さん、 ドキュメンタリーで 紹介		産 経	2.7	『甕海魚譜』について [木脇啓四郎]	小濱亜由美	鹿児島大 学総合研 究博物館 ニュース*	31
富士山と私 画家 絹谷幸二さん 描き 尽せぬ存在	岸 桂子 聞き手	毎 日	5.10	魚類学的視点から見た 『甕海魚譜』[木脇 啓四郎]	本村 浩之	" "	" "
ワイド視聴室 作品 づくりの裏に見える 画家の決意[絹谷幸 二]	岸 桂子	毎日夕刊	2.9	特集 スケッチに出 かけよう 秘技法講 座 vol.29 フランス の美しい風景を描く 楽しみ 木原和敏先 生に聞きました	木原 和敏 談	美術の窓	359
音楽写真の夢 1~ 42	木之下 晃	東京夕刊	4.8~12、 15~19、 22~26、 30、5.1、2、 7~10、13 ~17、20 ~24、27 ~31、6.3 ~7	第44回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 一 遠まわりの日展 ・日本画	木原 志保	日展ニユ ース	148
文化面の余白 取材 ノートから 21 木 之下晃さん プロも アマも関係ない	三品 信	"	11.6	作家通信 作品につ いて	木原 純	水墨画*	286
神田今昔 1~10	木下 栄三	朝 日	4.6、13、 20、27、 5.11、18、 25、6.1、8、 29	特集 表現する女性 たち PART 2 木原 三千代	高山 淳	美術の窓	361
徳川15代 お菓子な 食べ歩き 将軍ごと にレシビ 画家ら考 案 五輪へ新土産目 指す[木下栄三]	北野 隆一	朝日夕刊	10.22	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 君島 安子	"	"	360
江戸薫る 神田の歴 史描く 建築設計業 の傍らスケッチで定 点観測、下町の景観 保全	木下 栄三	日 経	10.2	美の美 木村伊兵衛 スナップの粋 上、 下	干場 達矢	日 経	12.22、29
特集 日本の現代版 画 1990-2013 木下 恵介《山道》1990年	木下 恵介	版画芸術	162	デザインの現場 特 別号「メタリック」 で広がるデザインの 可能性 光と輝きで 差をつける Column 1 木村浩一郎 伝 統の先にあるものを 求めて	猪飼 尚司	美術手帖	978
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No.37 魂が掴み取 った真実の世界	木下 晋、 小川 英晴	ギャラリ ー*	342	Go! Artists Go! 52 木村幸恵	編 集 部	"	982
日々好日 死者から の献上米	木下 晋	新美術新 聞	1313	特集 日本の現代版 画 1990-2013 木村 繁之《夜の緑の鳥》 1999年	木村 繁之	版画芸術	162
「版画アートコレク ション」の作家 木 下泰嘉 真実を追求 する版画家	ノーマン・ H・トール マン	版画芸術	159	美の履歴書 301 奥にひそむのは誰か 「牛肉店帳場」 木村 荘八	西岡 一正	朝日夕刊	4.24
				歴史のヒーロー・ヒ ロイン 木村専一	金子 隆一	本 郷	105
				sensimeter(塑像)	木村 剛士	多摩美術 大学研究 紀要	27

特集 ポスターの視覚文化論 13 創作ポスターという伝統—木村恒久のモニタージュ作品	柏木 博	美術フォーラム21	27	全クリエイター必読対談!! アヴァンギャルドの縁でエンターテインすること—表現のあるべきバランスについて	今日マチ子 宇 多 丸		
アートなホテルでアートを丸ごと体験するアーティストルーム[木村浩之]		芸術新潮	759	〈歴史〉に抗う少女たち 見つめる勇氣	西 加奈子		
ホテルの客室に木村浩之氏の力士の墨絵		水墨画*	290	特集 今日マチ子『センネン画報』から『cocoon』『アノネ、』そして『mina-mo-no-gram』へ—線の快楽、色の魔法 今日マチ子の系譜		”	”
アートの中で眠ったら 汐留のホテル世界へ発信[木村浩之]	杉戸 祐子	東京	3.29	今日マチ子との出会い	藤本由香里		
岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 日本画の誕生 木村武山 縁の下の力持ち	中田 智則	太陽別冊	209	今日マチ子の中の「少女マンガ」 生々しさの洗練	ヤマダトモコ		
3.11が突きつけたものの	木村 正恒	主体美術	93	UはtangUeのU フードまんがとして読む今日マチ子	福田 里香		
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 木村保夫	木村 保夫	美術の窓	360	特集 今日マチ子『センネン画報』から『cocoon』『アノネ、』そして『mina-mo-no-gram』へ—線の快楽、色の魔法 対談 リフレインを/が創造する—水面の波紋に目をこらすように	今日マチ子 藤田 貴大	”	”
アトリエ雑感 マネキンとの出会い	木村 好子	主体美術	93	特集 今日マチ子『センネン画報』から『cocoon』『アノネ、』そして『mina-mo-no-gram』へ—線の快楽、色の魔法 魂の子弟トーク! 対談 アートとマンガの無限のあわいで		”	”
特集 今日マチ子『センネン画報』から『cocoon』『アノネ、』そして『mina-mo-no-gram』へ—線の快楽、色の魔法 〈戦争〉を織り直す	今日マチ子 しりあがり 寿	ユリイカ	632	想像の繭、飛べない羽	菊池美名子 宮地 尚子		
今日マチ子『cocoon』と少女の「繭」	夏目房之介			アンネとハンナ 忘却についての覚書	藤岡 俊博		
“卵”たちの想像力	斎藤 環			特集 今日マチ子『センネン画報』から『cocoon』『アノネ、』そして『mina-mo-no-gram』へ—線の快楽、色の魔法 イメージとメディアの冒険		”	”
いかにして戦争を表象するのか 『cocoon』から『アノネ、』へ	大澤 真幸			水のなかにいたようだ	中田健太郎		
特集 今日マチ子『センネン画報』から『cocoon』『アノネ、』そして『mina-mo-no-gram』へ—線の快楽、色の魔法				マユの黒髪、繭の白 今日マチ子『cocoon』が開いたもの	石岡 良治		
				世界の測り方 今日マチ子の視覚新論	三輪健太郎		

過渡期には重力があっても構わない『みかこさん』が読まれていく、その先について	さやわか				認知症 社会と歩む 7 介護現場 若い 人材育つ	くさかり樹 読 売	9.3
それは『juicy Fruits』から始まった	中山 亜弓				刺しゅう彩る命の輝 き 震災犠牲者1万 8000枚の花びらに 仙台の教室60人、協 力し制作[草乃しず か]		日経夕刊 12.27
特集 今日マチ子 『センネン画報』から 『cocoon』『アノネ、』 そして『mina-mo- no-gram』へ一線の 快楽、色の魔法 資料 今日マチ子全著 作解題	横井 周子	ユリイカ	632		コミック 迷信話集 うつつのほitori 草 間さかえ(作) お坊 ちやまの田舎での発 見	南 信長 朝 日	9.22
半歩遅れの読書術 現代社会と漫画 家族 の絆と少女の想像力 [今日マチ子]	斎藤 環 日 経		7.28		ブロック報告 北信 越ブロック 一走る アート・クサマヤヨ イ《水玉乱舞》号の底 力[草間彌生]	不動 美里 ZENBI	3
pop style vol.360 今日マチ子 不可思 議で危うい世界	小間井藍子	読売夕刊	7.31		特集 表現する女性 たち PART 1 草間 彌生、世界を席卷! 中南米・アジア・国 内ツアーを展開中	編集部 美術の窓	361
かぞくの肖像 清川 あさみさん モナカ 創作見守る心の癒や し	坂井 浩和	朝日夕刊	12.26		視線 不思議の国の アリス With art- work by 草間彌生	保坂健二郎 朝 日	9.22
視点 瀬戸内市立美 術館で清志初男油彩 展	柳生 尚志	美術の窓	354		華麗な人 見えた不 安を芸術に 目 生 への感動 絵に込め る 前衛芸術家 草 間彌生さん	小川 雪 朝日夕刊	10.31
「工芸な人」に聞く 第十九回 「陶芸家」 清瀬光洋さん	高濱登代子 聞き手	五風十雨	72		ストーリー	岸 桂子 毎 日	8.18
「東京シャッターガ ール」実写映画化 「トキワ荘」お隣発 [桐木憲一]	戸上 文恵	毎 日	9.6		水玉に秘めた闘い 草間彌生 前衛の プライド		
桐谷夫妻の一期一絵 昔ながらの路地「ご 近所」の人情 息づく	桐谷 逸夫	読 売	5.21		「前衛」命の限り 果てなき草間彌生 ワールド 少女の 悪夢 出発点「世 界の期待に応えたい 」		
表紙の言葉 朱黒漆 牡丹唐草沈金鏝広盛 器[金城唯貞]	岡本 亜紀	きよらさ	71		草間彌生 無限に広 がる水玉世界	中野 香織 読売夕刊	8.21
那覇国際通り定点観 測 戦後復興の時代 から変貌する風景撮 り続け60年	金城 棟永	日 経	2.15		特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 楠 達子	高山 淳 美術の窓	360
(ク)							
ヒトとモノ 15[空 女]	徳川 家広	目の眼	443		コミック エイト 1 楠みちはる(作) ロックの世界にのめ り込んで	ササキバラ ・ゴウ 朝 日	3.17
特集 表現する女性 たち PART 2 久下 奈利子	高山 淳	美術の窓	361		次世代のクリエイター を輩出! 「Gra- phic Grand Prix by Yamaha」[楠陽子]		A X I S 164
集積するもの(木版 画)	久後 育大	多摩美術 大学研究 紀要	27		総特集 高橋幸宏 トリビュート 切ら せていただきます。	久住 昌之 ユリイカ	634
時に抗いし者たち一 私の小菩薩峠(9) [久坂卯之助]	大谷 芳久	一 寸	53		高知で中日を食す	〃 東京夕刊	11.1



卒業制作展「ポスター・案内ハガキ・作品集」西宮市大学交流センター「ポスター・冊子」	楠山 和人	大手前大学論集	13	旅のゆくえ十選 1 ～10	日 経	11.20～ 22、25、26、 28、29、 12.2、～4
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 口澤弘	高山 淳	美術の窓	360	フェイス21世紀174 窪井裕美 女性美に表す自らの個性	和田 圭介	新美術新聞 1319
特集 建築評価の現在形：脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 新たなパブリックに寄り添う建築	忽那 裕樹	建築雑誌	1645	ツリーのある風景 1 高く美しく 富士連想 設計前初登頂 表情豊かな新三十六景[久保川勲]		読 売 5.24
工藤哲巳入門(一〇～一三)	島 敦彦	国立国際美術館ニュース	194～197	芸術衛星 INVADER	久保田晃弘	多摩美術大学研究紀要 27
工藤哲巳を刺激した「ノン(Non)」と「メ(Mais)」	安齊 重男	〃	198	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 久保田勝巳	高山 淳	美術の窓 360
なぜ今、工藤哲巳なのか?	島 敦彦	〃	〃	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 窪田千寛	〃	〃
工藤さんとの出会い	堀 浩哉	〃	199	特集 表現する女性たち PART 2 久保田洋子	磯部 靖	〃 361
筆は剣[工藤哲巳]	篠原有司男	〃	〃	限研吾としてではなく、第五期歌舞伎座としての出発と発見		芸術新潮 760
現代作家紹介 工藤哲巳 あなたの肖像	島 敦彦	美術フォーラム21	27	歌舞伎座新会場記念展 歌舞伎一江戸の芝居小屋一 二十一世紀の歌舞伎座	限 研吾 談 内海 陽子 インタビュー・構成	サントリアー美術館 ニュース 243
現代童画会の作家を訪ねて27「絵筆「見えた通りの絵」	糸井 邦夫	現童通信	50	読書	限 研吾 朝 日	
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.34 陶芸家・吉村昌也の世界を中心に[工藤麻紀子]	小山登美夫、小川 英晴 談	ギャラリー一*	339	漂うモダニズム 楨文彦(著) エース建築家の逆説的希望		5.5
巻頭特集 魅惑の女性像 画家たちが描く奇跡の女性像 國司華子		美 術*	454	アマン伝説 創業者エイドリアン・ゼッカとリゾート革命 山口由美(著) 格差をビジネス化 悲しき成功		5.26
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 國司華子	國司 華子	〃	458	歌舞伎座界限 藤田三男(著) 下町の「失われた時を求めて」		8.11
特集 名古屋の画廊史 対談 国島征二×粟本百合子 ネクストへ 中間点としての画廊		R E A R	30	美味しい革命 アリス・ウォータースと(シェ・ニバース)の人びと トーマス・マクナミー(著) 食を通じて学校教育にも影響		8.25
異国で自分を貫いた「国吉康雄」と直島で会おう	白坂 ゆり	美術手帖	980	破局論 飯島洋一(著) 近代の絶望からの逆説的救済		9.1
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 旅の証としての絵画	久野 和洋	美 術*	456			

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ク)

縄文人に学ぶ 上 田篤(著) 時代ご とのユートピアを 映す				9.8	第26回奨学者のレポ ート 描くというこ と	熊谷 直人	アクリラ ート(別 冊)	2013
海外で建築を仕事 にする 世界はチ ャンスで満たされ ている 前田茂樹 (編著) ジリ貧日 本から飛び出す若 者				10.6	II 熊谷守一『牡 丹』における析出物 の分析と考察	藤田まり子 森 直義	東北芸工 大保存修 復センタ ー紀要*	3
匠たちの名旅館 稲葉なおと(著) 信頼が生んだ木造 建築の奇跡				11.3	巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 近代日本の 名作 猫10態 熊谷 守一	村瀬 可奈 美 術*	458	
イギリスに学ぶ商 店街再生計画 足 立基浩(著) 軍依 存の郊外居住から 転換				11.10	洋画家熊谷描く 民 芸「無欲の人」	木村 光則	毎日夕刊	6.24
HELLO WORLD 「デザイン」が私た ちに必要理由 アリス・ローソ ン(著) 消費して 生きるという原罪 性				12.22	特別読物 きつと誰 かが捨ってくれる[熊 谷幸治]	赤木 明登	芸術新潮	764
書評委員が選ぶ 「今年の3点」 隈 研吾				12.29	SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動とし ての陶芸 PART 1 INTERVIEW 熊谷 幸治	石井 芳征	美術手帖	997
耕論 だから東京オ リンピック 成熟示 すヒューマンな街 建築家・東京大学 教授 隈研吾さん	限	研吾 朝 日		9.12	クリエイターズワー ク&ソウル 熊谷彰 博		A X I S	165
大波小波 空飛ぶ建 築家[隈研吾]	ク マ ザ サ		東京夕刊	6.7	ようこそ、新しい先 生 07 熊倉敬聡	熊倉 敬聡	瓜生通信	58
「家」のあり方 震災 で再考 小屋・仮設 住宅 建築家が展示 水や電気を自給 人 が集う場重視[隈研 吾]		窪田 直子	日 経	5.11	特集 基礎を完璧に する！人体デッサン ◎技法講座 VOL.27 case 6 熊澤未来子 躍動感溢れる人体の ダイナミズム	熊澤未来子	美術の窓	352
高層タワー目立たぬ 工夫 歌舞伎座 元 のままに[隈研吾]	手塚さや香 永田 晶子		毎日夕刊	5.2	寄稿 久米東郵先生 を偲ぶ	杉村 邦彦	書道文化	9
型の追求 和の蓄積 生きる「歌舞伎座」 設計 隈研吾さん 都市と一体 芝居町 の祝祭性		高野 清見	読 売	〃	作家通信 届かなか った思い…なのです が！	久山 一枝	水墨画*	287
巻頭特集 イチオン 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 現代アートと洋 画の新鋭 画廊編 熊谷亜莉沙					上級者に贈る 創作 への道12 文化を次 世代に伝える一翼を 担う	〃	〃	288
MY HOUSE 熊谷聖 司著				12.15	創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 訪れた人達[倉 石隆]	矢野 利隆	主体美術	94
学生企画—クロスロ ード 2012年度京都 造形芸術大学卒業展 大学院修了展[熊谷 知子]					クロスレビュー ド ラマ「半沢直樹」身 近なエリートの争い 新鮮	倉田真由美 朝 日	8.21	
					ようこそ、新しい先 生 01 倉田芳美[倉 田よしみ]	倉田 芳美	瓜生通信	58
					味いちもんめ 独立 編/味いちもんめ 南瓜の煮付け 秋田 県立秋田南高等学校 創立50周年記念キャ ラクター[倉田よし み]	〃	大手前大 学論集	13

特集 日本の現代版画 1990-2013 倉地比沙支《Secret life '94-3》1994年	倉地比沙支	版画芸術	162	SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動としての陶芸 PART 3 SITUATION 現代陶芸の現在・未来 2000年代のバイオニア PIONEER 1 桑田卓郎	沢田眉香子	美術手帖	997
PORTRAIT 操上和美著		日 経	12.8	特集 表現する女性たち PART 2 桑田真紀	大澤 景	美術の窓	361
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて一現代の名作から故郷・福生駅の貨車	栗原 一郎	美 術*	453	私的昭和史 桑原甲子雄写真集(上・下) 桑原甲子雄著		日 経	10.27
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 基地の内と外で見つめてきたもの	〃	〃	456	対談 桑山忠明×林道郎 桑山忠明の「空間」について		R E A R	30
本江邦夫の「今日は、ホンネで」第65回 洋画家 栗原一郎		〃	〃				
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 栗原幸彦	栗原 幸彦	〃	458				
特集 名古屋の画廊史 対談 国島征二×栗本百合子 ネクストへ 中間点としての画廊		R E A R	30	(コ)			
「日本の力について語る！」日本人の自信 取り戻す時 [黒鉄ヒロシ]	高橋 俊一	産 経	6.20	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 呉亜沙	呉 亜沙	美 術*	458
さよならやなせたかしさん 全方位の救いを願う心 漫画家黒鉄ヒロシ	黒鉄ヒロシ	読 売	10.16	学びのふるさと 照明デザイナー 面出薫さん 「デザインとは愛なんだよ」 芸大の恩師、基本怪視を戒め 見る人の気持ち考えさせる [小池岩太郎]	島本 雄太 聞き手	日経夕刊	2.1
特集 高畑勲『かぐや姫の物語』の世界 アニメ史を貫いて、その先へ『かぐや姫の物語』は何を肯定し、祝福したのか。	黒瀬 陽平	ユリイカ	638	秋田の美術によせて 8 一 小泉淳作画伯(2)一	河野 元昭	秋田美術	49
After 3・11 43 福島県楢葉町 見知らぬ他者への	黒田 光一	産 経	1.23	戌も歩けば beau[ボー]に当たる 第三十九回 似てればいいのかっ! [小泉淳作]	竹田 博志	美術の窓	352
時代の証言者 染めと織り 志村ふくみ 7、8 [黒田辰秋]	古沢由紀子	読 売	2.18、19	テーブル工房 kiki、宮崎椅子製作所、村澤一晃、小泉誠の協働の12年	今村 玲子	A X I S	161
特集 表現する女性たち PART 1 黒田真由美	高山 淳	美術の窓	361	ひと 2012毎日デザイン賞を受賞したデザイナー 小泉誠さん	永田 晶子	毎 日	4.13
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横No.34 陶芸家・吉村昌也の世界を中心に [桑久保徹]	小山登美夫、 小川 英晴 談	ギャラリ 一*	339	版画をめぐる「謄写版の冒険」 [小泉興吉]	植野比佐見	和歌山県立近代美術館 ニュース	74
美博ピックアップ 魔法の美術館 ようこそ。ここは光のワンダーランド 高崎市美術館 [クワクボリョウタ]	神谷 実里	朝日夕刊	1.16	Topics 小窓 原田の森へスケッチに [小磯良平]	金井 紀子	神戸市立小磯記念美術館 だより	39
				小磯良平と竹中郁 《彼の休息》をめぐる友情	佐藤 秀彦	ザ・ルー フ	42
				小磯良平 女生徒の水彩画 校歌の楽譜表紙に		読売夕刊	8.17

平成25年定期刊行物所載文献(近/作コ)

特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 郷右 近健二	磯部 靖	美術の窓	360		漫画「夕風の街 桜 の国」翻訳 原爆の 物語 インドへ NPT 未加盟の核保有国に [こうの史代]	仁賀奈雅行	東京夕刊	8.7
各地からの出品者の 思い 檜舞台	幸喜 洋人	日展ニュー ース	149		河野通勢《項羽と劉 邦》挿絵について— 当館所蔵の第三幕第 一場「鴻門の会」を中 心に	小林 真結	府中市美 術館研究 紀要	17
収蔵作品から 郷倉 和子《静日》	八木 宏昌	ど お む	120		所蔵品から 河野通 勢《項羽と劉邦》第 三幕第一場 関中の 鴻門に在る項羽の館	〃	府中市美 術館だよ り	37
神宮名品解説 日本 画「寒中紅梅」[郷倉 和子]	小山 朝子	瑞 垣	224		特集 日本の現代版 画 1990—2013 小浦 昇《LUNATION II》 1998年	小浦 昇	版画芸術	162
インタビュー 郷倉 和子氏に聞く 自然 と絵画	福王寺一彦 聞き手	連盟ニュー ース	446		続・続・寝たまま書 物探偵所[古賀春江]	山田 俊幸	一 寸	55
絵で交流 夢描けた 宮城・女川の小6 高山の70歳画家「復 興した町 将来作 品に」[額額倫子]	井本 拓志	東京夕刊	6.3		第66回全国大会研究 発表要旨 永昌社蔵 呉春景文像と円山四 塚派—明治京都画壇 の再検討—[国分文 友]	中野 慎之	美術史	175
インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェクト 世界に発信する アーティストたち No.10 鴻崎正武		ギャラリー 一*	337					
アンビルトの夢 未 完の建築十選 1~ 10	光嶋 裕介	日 経	1.24、25、 28、29、31、 2.1、4、5、 7、8					1.5、19、 26、2.2、9、 16、23、 3.2、9、16、 23、30、 4.6、13、 20、27、 5.11、18、 6.1、8、15、 22、29、 7.6、13、 20、27、 8.3、17、 24、31、 9.7、14、 21、28、 10.5、12、 19、26、 11.2、9、 30、12.7、 14、21、28
交遊抄 まだまだ半 人前	〃	〃	7.20		こぐれひでこの食悦 画帳	こぐれひで こ	読売夕刊	
あとがきのあと 「建築武者修行」光嶋 裕介氏		〃	9.29					
巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 現代の名作 猫図40態 幸田史香	幸田 史香	美術*	458					
第17回手塚治虫文化 賞 ロボット通じ描 く自己犠牲 短編賞 「機械仕掛けの愛」 業田良家さん	岩本 哲夫	朝 日	4.29		小坂元二さんの絵	石井 克	美術運動	140
大波小波 不死ゆえ の生のかたち[業田 良家]	(ハダリ)	東京夕刊	5.13		特集 表現する女性 たち PART 2 小櫻 京子	高山 淳	美術の窓	361
この人 アマ写真家 145人の話を本にま とめた写真家 神立 尚紀さん 撮影への 情熱に驚くべきもの があった。	牧野 俊樹	東 京	1.27		交遊抄 ほどこい距 離感[越中正人]	ヤマガミユ キヒロ	日 経	8.24
写真家の流儀 1 自分の目で見る	神立 尚紀	読売夕刊	10.1		特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 越野 邦夫	磯部 靖	美術の窓	360
幸野煤嶺筆 妓女図	植田彩芳子	朱 雀	25		水俣の日常に根ざす 小柴一良さんが写真 集	手塚さや香	毎日夕刊	9.12
竹内栖鳳 近代京都 画壇の大家 明治か ら大正期の京都画壇 栖鳳の師 幸野煤嶺	國賀由美子	太陽(別冊)	211		水墨の最前線18 自 然体の感性から生ま れる“炙り出し”の水 墨 越畑喜代美	立島 恵	水墨画*	288

SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動としての陶芸 PART 3 SITUATION 現代陶芸の現在・未来 2000年代のパイオニア PIONEER 2 小嶋亜創	沢田眉香子	美術手帖	997	《東海道懐古帖》の史的 位置—リアリズムをめぐるあるひとつの断層—[五姓田義松]	角田 拓朗	神奈川県立博物館研究報告	40
L字生かした小学校設計の2人に野村賞 [小嶋一浩]		朝日夕刊	7.3	名画に見る富士山 9完成形の美 広がる日本平(静岡市清水区)[五姓田義松]	神谷 円香	東京夕刊	8.8
児島善三郎作「宮崎宮」「玉せせり」		絵と布の画廊歳時記	2013年1・2月合併号	小田部羊一×伊藤有老 動画とANIMATIONを繋ぐ	イラン・グエン モデレータ	映像メディア学*	3
児島善三郎作「野邊之春」		"	2013年3・4月合併号	第18回総合水墨画展レポート 上位受賞者のことは 作家部門 準大賞・玉堂美術館賞 児玉和子《神瀧》	児玉 和子	水墨画*	296
児島善三郎作「田園初夏」		"	2013年5・6月合併号				
児島善三郎作「夏草」		"	2013年7・8月合併号	デザイン 児玉康兵《三想》、《天円地方》		尾道市立大学芸術文化学部紀要	12
児島善三郎作「松と稲」		"	2013年9・10月合併号	作家自選作品集3 児玉白鳳 《松聲》	児玉 白鳳	水墨画*	291
児島善三郎 国分寺風景		"	2013年9・10月合併号	東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 X[小寺健吉]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鍾旭	東京芸術大学美術学部紀要	51
児島善三郎作「バラ」		"	2013年11・12月合併号				
第66回全国大会研究発表要旨 小杉放庵の東アジア旅行と「東洋趣味」	蔡 家丘	美術史	175	收藏品 学芸ノートから ダイアリー [後藤克芳]		伝国の杜だより Feel the arts	24
明治・大正におけるパンカラ旅行の系譜 一 大観・観山・紫紅・未醒の東海道五十三次旅行(大正4年)の背景として	佐藤 志乃	横山大観記念館館報	28	上方演芸 撮り続け35年 高座や楽屋で味な型・演目の特徴をカメラに	後藤 清	日 経	9.25
美の履歴書 309 漱石が評価したわけ「水郷」 小杉未醒	西岡 一正	朝日夕刊	6.19	資料紹介 五島耕畝「長閑」	大森 潤也	市民と博物館	109
勸進行脚で築いた良寛堂 鍾々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に[小杉放庵]	反町タカ子	日 経	7.18	交遊抄 “調べる”喜び	後藤 靖香	日 経	4.29
惜別 紺野修司さんのこと	小菅 光夫	主体美術	94	明治教科書の挿絵画家(抄)一携わった画家や彫師の探索— [後藤芳景]	岩切信一郎	一 寸	54
東京ビジネスデザインアワードの受賞作が商品化 小関隆一×大洋塗料株式会社「マスキングカラー」		A X I S	165	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 小西淳子	高山 淳	美術の窓	360
明治教科書の挿絵画家(抄)一携わった画家や彫師の探索— [二世五姓田芳柳]	岩切信一郎	一 寸	54	イベント報告 座談会「東京オリンピックのデザイン証言者」勝井三雄×道吉剛×小西啓介	木田 拓也 編集・文責	現代の眼	601
				注目のアート、紹介します 小西冨香「アジュール」		瓜生通信	60

山下裕二の今月の隠し球97、98 小西奈津子 ただ、それだけの風景(上、下)	山下 裕二	美術の窓	352、353	当館のイチオシ 滋味あふれる墨色の美しさ 小林古径《人形》泉屋博古館分館	ギャラリー一*	339
特集 表現する女性たち PART 1 小沼和喜子	高山 淳	〃	361	岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 日本画の誕生 小林古径 新時代へとつなぐ日本画を描く	井野 功一	太陽俵冊 209
【3. 11以降の視線】 コノキ・ミクオの詩と造形	コノキ・ミクオ	ギャラリー一*				
(ガンダ)第6回			333	美の履歴書 316 何もない背景の理由 「人形」 小林古径	大西 若人	朝日夕刊 8.7
(立体 平面)第7～12回 【多様な表現】			334～339			
(ガンダ)第13～17回 【風景の中のガンダ】			340～344	勸進行脚で築いた良寛堂 錚々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に[小林古径]	反町タカ子	日 経 7.18
作家自選作品集2 小島堯 《秋日》	小島 堯	水墨画*	290	戦争を考える 下 後世にどう伝える 学生、若手漫画家の取り組み「横浜大空襲」を描いて[小林尺]	「戦争を考える」キャンペーンの取材班	毎日夕刊 8.23
わたしの宝もの95 手放したくないもの 手放せないもの	小鉢 公史	新美術新聞	1311			
山下裕二の今月の隠し球103、104 小林歩 どんぶり飯の自画像が覗む(上、下)	山下 裕二	美術の窓	358、359	中特集 小林恒岳と巢居人[小林巢居人]	一井 健二	美術の窓 363
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 小林永濯	恵 俊彦	美術*	458	愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介(37)[小林孝亘]	額田 宣彦	愛知県立芸術大学 紀要 42
論文要旨《修士》 小林永濯の挿絵活動について—『耶蘇一代弁妄記』を中心に—	中崎有香利	美術史論集	13	歳・月・人 小林東雲 水墨画の未来を信じ、水墨画の未来のために	小林 東雲	水墨画* 286
KEMONOMICHI 小林紀晴著			2.17	作家通信 小林東雲 ロシア展を終えて	〃	〃 297
諏訪の鹿	小林 紀晴	〃	4.14	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 小林俊彦	磯部 靖	美術の窓 360
プロムナード	〃	日経夕刊	8.1、8、15、29、9.5、10.3、17、24、31	研究ノート 「世に隠れた超一流画家列伝3 小林猶治郎」	上山 陽子	練馬区立美術館ニユース 17
昨日読んだ文庫	〃	毎日	7.14	アトリエ雑感 「テーマ」	小林 宏至	主体美術 93
明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索— [小林清親]	岩切信一郎	一寸	54	フォーカス・アイ 小林美佐子 新時代のアイコンとしての女性像	栗本 寛子	版画芸術 160
小林清親の戦争錦絵についての一考察—明治錦絵の新展開—	田淵 房枝	美学論究	28	障害者福祉施設の創作活動の一助として—シルクスクリーン プリントワークショップ実施報告—	小林 由衣	横浜美術大学 教育・研究 紀要 3
美の美 江戸の華 両国 下 夏の夜のにぎわい大胆に 往時への郷愁 花火に映す[小林清親]	宮川 匡司	日 経	7.28	展覧会レビュー part 1 生誕120年 木村莊八展 木村莊八の陰影礼賛	小林 裕児	美術* 453
中特集 小林恒岳と巢居人	一井 健二	美術の窓	363	読解 絵画鑑賞講座 20[小林裕児]	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛 24

異議あり 特定秘密保護法案 秘密に触れればわしも逮捕? 漫画家・小林よしのりさん	小林よしのり	朝 日	11.29	園遊会之図について(5~7)[近藤樵仙]	三宅 秀和	永青文庫	82~84
黒御影石による石彫の量塊表現に関する考察 実際の制作を通して	小松 俊介	芸術学研究(筑波)	18	特集 2013年 ルネサンス大解剖 私の中的ルネサンス 激動も爆発的なエネルギーを感じた	権藤 信隆	美術の窓	355
「国際港都 神戸風物展」について[小松益喜]	相良 周作	兵庫県立美術館研究紀要	7	ペン画に面影 人質遺族に力 息子の魂拾う母描く アルジェリア事件[近藤文雄]	植松 佳香	朝日夕刊	6.29
変貌 小松美和		美術屋・百兵衛	27	赫い女 火のような、體軀の熱り、心の温度。紺野五郎の素描にみたもの	山本 丈志	秋田美術	49
美の履歴書 321 宇宙は希望だったか「宇宙コロニーII」 小松崎茂	西岡 一正	朝日夕刊	9.11	主体のエネルギー [紺野修司]	續橋 守	主体美術	94
青春プレイバック 画家小松崎広子 抽象の時代に寄り添って	能 美栄子	新美術新聞	1321	惜別 紺野修司さんのこと	小菅 光夫	〃	〃
レポート墨 第16回 岡本太郎現代芸術賞特別賞に小松原智史氏の墨作品		水墨画*	291	お手本画&秀作集 其ノ二十 昆野墨舟《八甲田山 酸ヶ湯温泉》	昆野 墨舟	水墨画*	287
神宮美術館所蔵 神宮名品解説 江戸小紋着尺「菊通し」 江戸小紋着物「極鮫」 [小宮康孝]	本多 久子	瑞 垣	225	(サ)	編集部	美術*	453
美の美 見立て絵 重層するイメージ 下 着想の系譜、近代に脈々と 先人への傾倒込めた筆致 [小村雪岱]	吉田 俊宏	日 経	6.16	巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道画談 3人の画家が語るローカル線の魅力[齋正機]	齋 正機	〃	459
平成二十四年度第三回研究会 近代日本における作陶家についての考察—新しい古陶磁と制作、小森忍と河井寛次郎を中心に—	高田 瑠美	東洋陶磁	42	展覧会を終えて	齋 正機	〃	459
巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシーンを熱くする100人 写真画新世代 画廊編 小森隼人	溝尻 真人	美術*	460	ランプの肖像 第10~21回	雑賀 雄二	芸術新潮	757~768
作家訪問434 木工家 小山剛さん	編集部	目の眼	436	生活保護 漫画本に女性誌に連載 反響大きく「偏見と誤解なくしたい」[さいきまこ]	遠藤 拓	毎日々刊	12.12
お手本画&秀作集 其ノ二十 金忠一(忠舟)《白神溪谷》	金忠一(忠舟)	水墨画*	287	岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 日本画の誕生 西郷孤月 孤高に生きた美術院の俊英	関根 佳織	太陽別冊	209
作品 今義典「阿部マリア」「かごめ」「スタンド・バイ・ミー」		札幌大谷大学紀要*	43	特集 表現する女性たち PART2 齋地洋子	磯部 靖	美術の窓	361
第26回奨学者のレポート 浴びる絵	近藤 亜樹	アクリラート(別冊)	2013	この人 愛知県岡崎市ゆるキャラ「オカザえもん」を制作 斉と公平太さん シンプルこそ、強烈に力強い	高田 成美	東京	9.25
				ゆるキャラ表現のゆくえ ネットと時代に翻弄 現代美術家が生んだ「オカザえもん」[斉と公平太]	井上 晋治	読 売	9.12

平成25年定期刊行物所載文献(近/作サ)

個展「網触共沈」における“遠いまなざし”	齋藤 彰英	横浜美術大学 教育・研究 紀要	3	特集 表現する女性たち PART 2 齋藤幸子	高山 淳	美術の窓	361
近代中国美術の胎動 3 国際化と交流の流れ 齋藤佳三と林風眠—知られざる東美校教授と国際藝術院院長の交友	吉田千鶴子	アジア遊学	168	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 齋藤ゆりあ	齋藤ゆりあ	美術*	458
一九五〇年代における日米版画の人的交流—齋藤清・関野準一郎・棟方志功を中心に	桑原 規子	近代画説	22	視線 SLがいたふるさと[齋藤亮一]	大西 若人	朝日	12.1
第35回十果会	今井 真吾、 平岡 靖弘、 相田 幸男、 齋藤 研、 木津 文哉、 瀬川 富紀男 編集部	新美術新聞	1319	SLがいたふるさと 齋藤亮一著		日経	11.10
ひと文字16 齋藤香坡「臟」	齋藤 香坡	〃	1315	特集 表現する女性たち PART 2 齋藤リラ	高山 淳	美術の窓	361
作家通信 峠にて	齋藤 隆	水墨画*	288	総特集 やなせたかし アンパンマンの心 『詩とファンタジー』対談傑作選 作者が面白いから作品は面白い やなせたかし×西原理恵子		ユリイカ	631
レポート墨 第7回 円空大賞 円空賞に 齋藤隆氏		〃	291	読書 いきのびる魔法 いじめられている君へ 西原理恵子(著) 胸に響く「うつくしいのはら」	横尾 忠則	朝日	3.17
ゴルゴ45年 作者も泣かず「さいとう・たかを」現実舞台 ひたすら勉強	小原 篤	朝日夕刊	11.16	やなせたかしさん死去 愛と勇気 訴え平和願い 復興も支援 生きる意味 高らかに[西原理恵子]	内藤麻里子 木村 光則 中村かさね 広瀬 登	毎日	10.16
特集 表現する女性たち PART 2 齋藤俊子	高山 淳	美術の窓	361	研究発表(要約) 「佐伯祐三と野球」	福田 衛	近代画説	22
日々好日 揺らめき	齊藤 典彦	新美術新聞	1305	佐伯祐三と野球	〃	美術史研究	51
作家通信 墨という色	〃	水墨画*	287	カジュアル美術館 ガス灯と広告 佐伯祐三 東京国立近代美術館 文字のエネルギー共鳴 パリの街角 荒々しい色彩	森本 智之	東京	7.21
水墨の最前線25 紙に沁入る墨の色 齋藤典彦	野地耕一郎	〃	296	日本における近代木彫表現へのヒルデブランドの影響関係について 橋本平八を中心として	酒井 恒太	芸術学研究(筑波)	18
展覧会レビュー part 1 村岡貴美男展—時間牢— 後先考えずやりたいだけやる作家の基本そのものの姿	齊藤 典彦	美術*	455	アートさんぽ〜パブリックアート編〜伊奈半十郎忠治の像[坂井光明]		ATLIA NEWS	1・2
本江邦夫の「今日は、ホンネで」 第61回 根付彫刻家 齋藤美州		〃	452	特集 クマ 怖ろしさと尊さと可愛さと クマとの邂逅 メールインタビュー クマ、カッチャク、死	酒井 駒子 名久井直子 聞き手	ユリイカ	633
交遊抄 信念と気遣い[サイトウマコト]	酒巻 久	日経	4.25	作家自選作品集 6 酒井勝風 《寒修行》	酒井 勝風	水墨画*	297
本江邦夫の「今日は、ホンネで」 第66回 日本画家 齋藤満栄		美術*	457				
わたしの宝もの96 ラメ系琴線	齋藤 芽生	新美術新聞	1313				



WORLD NEWS コトヌー+ポルト・ノボ ベナンで2度目のピエンナーレ開催負の遺産の影響濃くも、展望の兆しあり	坂井 存	美術手帖	982						特集 日本の現代版画 1990-2013 坂爪厚生《ゾウを飼う》2008年	坂爪 厚生	版画芸術	162
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 絵らしい絵を求めて	酒井 信義	美術*	456						注目のアート、紹介します 林菜月・野口大樹・渡邊亜美・坂手悠意 「風の通ひ路」		瓜生通信	60
作家通信 墨による大作表現	酒井 祐二	水墨画*	287						各科審査員より 六十八年	坂根 克介	日展ニュース	150
十四代酒井田柿右衛門先生の残されたもの	鈴木由紀夫	陶 説	726						巻頭特集 魅惑の女性像 画家たちが描く奇跡の女性像 坂部隆芳	金子 美樹	美術*	454
柿右衛門さんのこと [酒井田柿右衛門(14代)]	小野 公久	〃	〃						第二十二回日本陶芸展受賞者に聞く	加藤 清和 畑石 修嗣 石嶋 哲彦 藤井 隆之 坂本 章幸 星野 友生 西田 宣治 金子 賢治 石崎 泰之 唐澤 昌宏	陶 説	724
伝統の美にあふれる個性 14代酒井田柿右衛門さんを悼む	金子 賢治	朝日夕刊	6.19						特集 日本の現代版画 1990-2013 坂本恭子《a warehouse, peas》2001年	坂本 恭子	版画芸術	162
惜別 色絵磁器の人間国宝 14代酒井田柿右衛門さん 自然の美しさと温かみを追求	中村 俊介	〃	7.13						コミック イノサン12 坂本真一(作) 気高い死刑執行人の苦悩	山脇 麻生	朝 日	10.6
追想録 酒井田柿右衛門さん 自然に見いだした日本の美	西山 彰彦	日経夕刊	8.16						注目のアート、紹介します 坂元大地 カルチバージョンへ向けて		瓜生通信	59
悼む 十四代酒井田柿右衛門さん 有田焼の人間国宝 伝統究め、継承に足跡	西田 宏子	毎 日	7.29						大漁祈願 伊勢・海祭り巡る 正月休まず、三重県内駆け回り撮影 後世に伝える	阪本 博文	日 経	1.9
追悼抄 有田焼の人間国宝 十四代酒井田柿右衛門さん 攻めの姿勢、独自の境地	大野 亮二	読売夕刊	8.17						わたしの宝もの97 『巢』を描く	さきやあきら	新美術新聞	1316
東京を彩る 美術作家 酒百宏一さん 石畳 色鉛筆で写し取る 移ろう情景、記憶に残す		日 経	3.1						特集 日本の現代版画 1990-2013 作田富幸《一人-2》2004年	作田 富幸	版画芸術	162
REVIEWS 榎木野衣 月評第56回 「新政府」とその零位首相[ゼロ] 坂口恭平「新政府」展	榎木 野衣	美術手帖	982						茶話マンガ 掃ってきた漫玉日記[桜玉吉]	伊藤 剛	朝日夕刊	12.7
となりのアートさん vol.5 坂口恭平	ヤマザキ ユツミ	美術屋・百兵衛	25						読書 売れてる本 亜人 三浦追儼(原作)・桜井門画(漫画)「異形の貴種」への願望宿す	佐々木俊尚	朝 日	8.18
評 美術 坂口恭平 新政府展 視覚的に示す社会像	手塚さや香	毎日夕刊	1.9						注目の作家 桜井貞夫 銅版画のマチエールとなった風景写真	松山 龍雄	版画芸術	159

平成25年定期刊行物所載文献(近/作サ)

特集 日本の現代版 画 1990-2013 桜井 貞夫《Repos '99》 1999年	桜井 貞夫	版画芸術	162	この企業のアート支 援がすごい! 三菱 商事アート・ゲート ・プログラム 2012 年度奨学生 佐々木 睦	佐々木 睦 美 術*	456
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 櫻井 孝美	高山 淳	美術の窓	360	月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No. 35 環境が画家 を育てる	佐々木 豊、 小川 英晴、 「ギャラリ ー」*	340
《昭忠碑》の〈金鶏〉を 作った人たち—彫刻 家・沼田一雅を中心 に[桜岡三四郎]	田中 修二	屋外彫刻 調査保存会 報	5	画壇、破傘[やぶれ がさ] 第138回 「群像画の予兆」	佐々木 豊 美 じょん 新報	161
私のグッとムービー 桜沢エリカさん「ブ ラック・スワン」 母と娘、リアルで難 しい関係	神谷 実里 聞き手	朝日夕刊	5.17	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 笹沼 恭欣	高山 淳 美術の窓	360
デザイン 桜田知文 《いのち(はじまり)》、 《いのち(たびだち)》		尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要	12	交遊抄 “調べる”喜 び[指田菜穂子]	後藤 靖香 日 経	4.29
フロントランナー 中国を拠点に世界へ 羽ばたく 建築家 迫慶一郎さん	大嶋 辰雄	朝 日	5.11	特集 基礎を完璧に する! 人体デッサン ④技法講座 VOL.27 case 4 佐田尚穂 テンペラ・油彩のモ ノクロームデッサン —着彩前の下層描き —	佐田 尚穂 美術の窓	352
著者に会いたい 新 宿ダンボール村 迫 川尚子写真集 1996 —1998 迫川尚子さ ん 優しく悲しいま なごしを追う	武井 宏之	”	7.14	この企業のアート支 援がすごい! 三菱 商事アート・ゲート ・プログラム 2012 年度奨学生 佐竹佳 奈	佐竹 佳奈 美 術*	456
リレーおびにおん アート de チェンジ 1 写真家 迫川尚 子さん 素顔の街、 新宿の日常写す	吉田 貴文 聞き手	”	9.3	特集 日本の現代版 画 1990-2013 佐竹 邦子《Winds work- 8》 2000年	佐竹 邦子 版画芸術	162
21世紀のアーティスト 笹井青依		ギャラリ ー*	338	近代名古屋と最初期 の建築家達 佐立七 次郎、辰野金吾、曾 禰達蔵、片山東熊	瀬口 哲夫 名 古屋造 形大学紀 要	19
After 3・11 42 福 島県楢葉町 2012年 9月24日 かき消さ れていく小さな声	笹岡 啓子	産 経	1.9	視線 Y. Ernest Satow	森村 泰昌 朝 日	4.14
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 佐々 木大次郎	佐々木大次 郎	美術の窓	360	特集 表現する女性 たち PART 2 佐藤 朱希	大澤 景 美術の窓	361
私のグッとムービー 佐々木マキさん「海 底王キートン」 時 代超えたナンセンス ギャグ	蒔苗沙都子 聞き手	朝日夕刊	5.24	特集 もう一度立ち 返るニッポンの油絵 ④技法講座 VOL.28 ニッポンの油絵—そ のはじまり	佐藤 一郎 ”	354
ひと 初の個展を開 いた漫画家・イラス トラーター 佐々木 マキさん	北出 昭	毎 日	8.28	カバーインタビュー 佐藤オオキ (nendo)	上條 昌宏 インタビュ ー・文	A X I S 164
匠の技 型紙の華 小紋に咲く[佐々木 正明]	岡本 裕輔	読 売	11.3	アンドレアス・グル スキー展 私の1点 4 記号的な水平線	佐藤可士和 読 売	9.3
アトリエ雑感 費用 対効果	佐々木 満	主体美術	94			

巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 現代アートと洋 画の新鋭 画廊編 佐藤香菜	竹松 千華	美術*	460	巨匠への第一歩 昭 和会展・最新世代の 魅力7 第48回展 「松村謙三特別賞」 佐藤陽也	松村 謙三、 中山 忠彦、 南 篤宏、 長谷川 智恵 子 ホスト	美術*	453
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 「生活実感」の創 作信条を貫いた画家	佐藤 善勇	主体美術	94	MADO LIBRARY 動く美術解剖図2 『体表から構造がわ かる人体資料集』 著者インタビュー： 佐藤良孝(メディカ ルイラストレータ ー)		美術の窓	355
収蔵品紹介 [水芭 蕉曼茶羅・白68][佐 藤多持]	丸地加奈子	風 伯	87	笠間の家 伊東豊雄 (建築家)+里中英人 (陶芸家)	宮本 梨衣	陶 説	725
街角アート 大佛次 郎と猫[佐藤忠良]	星野 清一	新美術新 聞	1319	総特集 やなせたか し アンパンマンの 心 愛のこぼれ 「正 室」誕生秘話	里中満智子	ユリイカ	631
宮城県美術館所蔵 佐藤忠良作「牧神」 「人魚」の保存修復	藤原 徹	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	4	人を楽しませること、 大好きだった やな せたかしさんを悼む 漫画家 里中満智子	神庭 亮介 構成	朝 日	10.16
美の履歴書 291 この像はきたないの か 「木曾」 佐藤忠 良	大西 若人	朝日夕刊	2.6	どうする秘密法 乱 用防止共に考えよう 漫画家 里中満智子 さん	里中満智子	"	12.15
美・コレクション 彫り続けた内面 初 心の作品 佐藤忠良 「はだか」	岸 桂子	毎 日	2.13	ルーベンスを語る 「過剰」が表す生命感	"	毎日夕刊	4.5
街角アート 銅像、 ふたつの不思議[佐 藤朝山]	星野 清一	新美術新 聞	1302	さよならやなせたか しさん 子供に伝え た「人間とは」 漫画 家 里中満智子	"	読 売	10.16
新収蔵品紹介 File 01 平田郷陽作品を 中心に[佐藤常子]	福富 幸	岡山県立 美術館ニ ュース	101	明治31年 素足、素 手で守備 野球びよ うぶ発見 広島・里 見雲嶺		東 京	11.27
平成24年度日本藝術 院賞(美術4氏)決定 恩賜賞に楳文彦氏、 能島和明氏、佐藤哲 氏、寺池静人氏が受 賞		新美術新 聞	1308	一通の手紙から伝わ る年齢差を越えた友 情 資料紹介：佐野 繁次郎宛金山康喜書 簡	橋 秀文	神奈川 県立近代美 術館年報	2011年度
活動と抱負 文化財 保存に思うこと	佐藤 治男	全文連文 化財通信	87	茶話マンガ「過剰 さ」が生む笑い[佐野 菜見]	伊藤 剛	朝日夕刊	5.11
「ブラよろ」二次利用 解禁 佐藤さん 読 者増え「結果出た」 [佐藤秀峰]	岩岡 千景	東京夕刊	3.13	姫路伝統の技19 姫 山人形～姫路の素朴 な木彫りのおみやげ ～[佐野信雄]	岡崎 美穂	五風十雨	72
奥州市江刺区大工棟 梁佐藤松之助の建築 資料について	瀬川 修	岩手県立 博物館研 究報告	30	記者の1冊 『100万 回生きたねこ』佐野 洋子作・絵 あまの じゃく	石原 真樹	東 京	5.26
支持体から見る絵画 表現 支持体の状態 と特性による効果と 意味	佐藤 学	芸術学研 究(筑波)	18	現代美術の流れ(註 一)[ザ・プレイ]	前田 岳究	国立国際 美術館ニ ュース	194
21世紀のアーティスト 佐藤未希		ギャラリ ー*	333	エロディ・ロワイエ &ヨアン・グルメル 『The Play/ザ・プ レイ』(一)	橋本 梓 翻訳	"	199
アクリリクス・ワ ールド76 佐藤翠	小吹 隆文 取材・文	美術手帖	987				

現代美術を問う 自閉症の陶芸家、作品に根源的な力[澤田真一]	産 経	6.20		《エンドレス・ボックス》の映像制作に関する覚書[塩見允枝子]	藤井 亜紀	" "	" "
ひと 二人三脚で陶芸作品を国際美術展に出品 澤田真一さん、池谷正晴さん	加藤 明子	毎 日	6.28	相馬焼の技は守る 浪江の伝統工芸士 栃木へ避難 来月3日から名古屋で個展 益子の土で新作も [志賀忠吉]	神田 要一	東京夕刊	6.27
お手本画&秀作集 其ノ二十一 沢野井幸石《溪流流韻》	沢野井幸石	水 墨 画*	288	SPECIAL FEATURE 「志賀理江子 螺旋海岸」展 志賀理江子の芸術民俗学—岡本太郎と宮本常一を交錯させて	福住 廉	美術手帖	977
特集 表現する女性たち PART2 沢藤 覆子	高山 淳	美術の窓	361	あいちトリエンナーレ2013 ARTIST INTERVIEW 6 志賀理江子 ライフワーク「螺旋海岸」の続き	Okazawa Kotaro	" "	992
特集 表現する女性たち PART2 澤村みちる	澤村みちる	" "	" "	視線 螺旋海岸 album[志賀理江子]	保坂健二郎	朝 日	5.5
コミック 僕だけがいない街 1 三部けい(作) 時間超越するSFサスペンス	南 信長	朝 日	2.17	回想：私と建築 思考回路は廻廊(開廊)から	四方 功一	大阪成蹊大学芸術学部紀要	9
(シ)				特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART2 鹿野洋子	高山 淳	美術の窓	360
油画 塩川高敏 《春映》、《浮遊》、《浮遊》、《デッサン》	尾道市立大学芸術文化学部 紀要		12	コミック バーナード嬢曰く。 施川ユウキ(作) 本への愛ある“見栄読書講座”	南 信長	朝 日	5.5
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 納得いかないから何度も描くのです	塩崎 貞夫	美 術*	456	日本画家のアトリエ訪問 7 重岡良子	大澤 景	美術の窓	363
キレ物すご技 木工の極み、アートに活路 創作組子 長野 [塩澤正信]	中島耕太郎	朝 日	8.29	特集 演劇空間に見る発想の自由 映像の洪水を受け止める シンプルな装置 重松象平による「THE END」のステージデザイン	伊藤 公文	A X I S	162
塩田千春 展覧会開幕直前インタビュー	松本 教仁 聞き手	KENBI LETTER	81	なぜ私は建築を選んだか no.6 大きな流れ	重松 象平	建築雑誌	1641
特集 2013年 ルネサンス大解剖 私の写実の源流を辿って	塩谷 亮 談	美術の窓	355	ガラスの箱が生むリズム 「コーチ表参道」店 重松象平が設計	大西 若人	朝日夕刊	5.1
上級者に贈る 創作への道10 「伝模移写」の精神に則りつつ “生きた絵”を描く	潮見 冲天	水 墨 画*	286	日本のデザインのモダニズム(3)—賢治の花壇デザイン“涙にあふれた眼”[重森三玲]	柏木 博	学 鏡	11-3
プロから学ぶ 風景画上達の極意5~8	" "	" "	293~296	ストーリー漫画家としての実戸左行	佐々木 果	川崎市市民ミュージアム紀要	25
館蔵品紹介[塩見允枝子]	橋本 梓	国立国際美術館ニュース	195				
「MOT コレクション クロニクル1964—OFF MUSEUM」展開連プログラム「塩見允枝子トーク&パフォーマンス インターメディア/トランスメディア—多様な作品群を繋ぐ手法」採録		東京都現代美術館年報・研究紀要	15				

リレーおびにおん アート de チェンジ 2 書家 紫舟さん 世界に通じる「書」を 創る	高野 真吾 聞き手	朝 日	9.4	篠原有司男&乃り子 NYのアーティスト 夫妻善哉[篠原乃り 子]	芸術新潮	768	
学校と私 書道家 紫舟さん 合気道の 先生の教え 指針に	三木 陽介 聞き手	毎 日	12.16	2人のアート 絵に なるカット「キュ ーティー&ボクサー」 篠原有司男・乃り子 日常・格闘、映画に 愛情・葛藤…生きる 力	大西 若人	朝日夕刊	12.25
巻頭特集 全部買え ます。100作家200点 !! 手のひらサイズ のカワイイ工芸ク ローズアップ「現 代根付」レポリュー ション!一掌中の小 宇宙、21世紀のピッ グバン 無頼作家・ 至水という存在から 考える「現代根付」 をめぐる急展開	添田 達人	美 術*	459	芸術家夫妻のドキュ メンタリー映画「キ ューティー&ボクサー」 NY愛と闘いの 日々[篠原有司男/ 篠原乃り子]	黒沢 綾子	産 経	12.5
評 疑い、問うて残 るものは「風が吹 けば桶屋が儲かる」 展「虹の彼方」展 [下道基行]	大西 若人	朝日夕刊	1.23	NYで格闘 芸術家 夫妻の愛[篠原有司 男/篠原乃り子]	前田 朋子	東京夕刊	12.17
特集 表現する女性 たち PART 2 七里 和子	高山 淳	美術の窓	361	文化往来 NY在住 の日本人芸術家夫妻 記録映画に[篠原有 司男/篠原乃り子]		日 経	12.16
特集 表現する女性 たち PART 2 篠崎 美保子	〃	〃	〃	前衛美術家、篠原有 司男さん 妻とドキュ メンタリー映画に [篠原乃り子]	岸 桂子	毎 日	12.25
生誕100年記念大特 集 磯崎新が読み解 く 知られざる丹下 健三 インタヴュー 「成城の家には、丹 下さんのすべてがあ りました」	篠田 桃紅	芸術新潮	764	篠原有司男・乃り子 夫妻の記録映画 現 代美術家の素顔 赤 裸々に	井上 晋治	読 売	11.28
レポート墨 百歳の 篠田桃紅氏が個展会 場に登場		水墨画*	292	特集 萩原規子『空 色勾玉』西の善き魔 女』、そして『RDG レッドデータガール』 …夢見る力の無窮 たくさんの「はじめ て」と出会うために —アニメ『RDG レ ッドデータガール』 の挑戦	篠原 俊哉 上田麻由子 聞き手・構 成	ユリイカ	626
自作再見 篠田桃紅 「The Source」自分 以上のものを目指し て	増田 愛子 聞き手	朝日夕刊	6.26	Books “土木現場”に 篠山紀信		芸術新潮	759
こころの玉手箱 美 術家 篠田桃紅 1 ~5	篠田 桃紅	日経夕刊	5.13~17	ISETAN FUTURE CURATION ファッ ションフォトは、事 件でなければならない	篠山 紀信 名和実 成実田中	美術手帖	983
ひと 100歳を迎え、 なお創作に取り組む 美術家 篠田桃紅さ ん	岸 桂子	毎 日	3.30	視線 篠山紀信 at 東京ディズニースー パーク HAPPINESS	保坂健二郎	朝 日	6.9
篠田桃紅さん100歳 に あらゆる色が墨 の中	尾崎真理子	読 売	2.14	思い出す本忘れない 本 あっけにとられ た愛の純化 森の人 形館 nadia	篠山 紀信 大上 構成	〃	11.6
彫刻家の現場[アト リエ]から 98 篠 田守男	武田 厚	美術の窓	358	交遊抄		日 経	
筆は剣	篠原有司男	国立国際 美術館ニ ュース	199	身体 記憶[篠山 紀信]	金森 穰		2.20
				シノさんの早業	原田 維夫		5.11
				十八代目中村勘三郎 篠山紀信著		〃	4.21

スター作家を探せ! 日本画新世代 50人 の仕事 編集部注目の 逸材 2 その「空 気感」を伝えるため に 芝康弘	編集部・W	美術*	457	フェイス21世紀172 島峰藍 人のこころ、 社会を動かす気持ち デザインにこめて	松崎 裕子	新美術新 聞	1313
作家自選作品集1 芝龍郎《満月の詩 [うた]》	芝 龍郎	水墨画*	289	シリーズ・具体美術 の作家 4 嶋本昭 三		ギャラリ ー*	344
クリエイターズワー ク&ソウル 柴田映 司		A X I S	163	奇抜な発想と激越 なパフォーマンス	木村 重信		
われ発見せり 無意 味なファッションの 意味	柴田 英里	ユリイカ	622	優しい天才アーテ ィスト 人間・嶋 本昭三の魅力。	編 集 部		
柴田是真における受 注の研究—漆工品を 中心に—	多比羅菜美 子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	30	INFORMATION ME- MORIAL 追悼・嶋 本昭三 具体の青春 を生きた人—追悼・ 嶋本昭三	今井 祝雄	美術手帖	982
特集 日本の現代版 画 1990—2013 渋谷 和良(天空伝説 No.6) 1991年	渋谷 和良	版画芸術	162	追想録 嶋本昭三さ ん 人がやらないこ とを芸術に	中野 稔	日経夕刊	3.29
視線 南予写真[澁 谷征司]	森村 泰昌	朝 日	3.10	特集 表現する女性 たち PART 2 清水 昭子	高山 淳	美術の窓	361
南予写真 NANYO 南予ARTプロジェクト ・浅田政志・澁谷 征司著		日 経	2.10	仕掛け紙芝居の特 徴と制作	清水郁太郎	札幌大谷 大学紀要*	43
コミック カフェで よくかかっているJ -POPのボサノヴァ カバーを歌う女の 一生 渋谷直角(作) イ タイ女の姿をえぐり 出す	南 信長	朝 日	8.18	神宮名品解説 工芸 「蓬莱鉄燭臺」[清 水卯一]	中村 潔 瑞 垣		224
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 島栄 里子	高山 淳	美術の窓	360	作家自選作品集4 清水恵峰 《妓生[キ ーセン]》	清水 恵峰	水墨画*	292
島剛「切株更新—転 生の歴」	谷 哲夫	Wave II	8	この人 被爆した広 島の地蔵を撮影する 清水顕さん 静かに 被害を訴えている。 その声を聞いて	本蔵 一茂 東 京		8.9
特集 表現する女性 たち PART 1 嶋田 明子	高山 淳	美術の窓	361	被爆地蔵を写真で記 憶 広島の石仏など 物言わぬ証言104点、 米国でも写真展	清水 顕 日 経		7.30
特集 表現する女性 たち PART 1 島田 鮎子	〃	〃	〃	月刊ブリドリー 第 二～十一回	志水 堅二	美 術*	451~460
サウンドスケルプチ ャー「ネクロマシ ン」を用いた芸術表現 の展開	嶋田 晃士	横浜美術 大学 教育・研究 紀要	3	版画をめぐる「膳 写版の冒険」[清水武 次郎]	植野比佐見	和歌山県 立近代美 術館ニユ ース	74
巻頭特集 鉄道のある 風景 鉄道に寄せて— 現代の名作から 故郷・横須賀	島田 章三	美術*	453	特別企画 春陽展90 回記念展 新世代の 作家『モチーフにつ いて』	清水美三子	ギャラリ ー*	336
作品 島名毅 「浅 草寺歳の市ポスター イラスト」「未来化 石」		札幌大谷 大学紀要*	43	特集 日本の現代版 画 1990—2013 清水 美三子《秋澄む音》 1992年	〃	版画芸術	162
島袋常秀『多彩草文 皿』	島袋 常秀	沖縄県立 芸術大学 紀要	21	製品の着想 即座に 描く「レンドリ ング」半世紀、中国 の大学でも指導	清水 吉治	日 経	2.14

地中海の息吹 ルーヴル美術館展から5 シャセリオー「バルコニーにいるアルジェのユダヤ女性たち」色香の中に強い意志	志村 節子	日経夕刊	8.19	関東大震災90年 伯母悼む壁掛け 鎌倉の美術家 首藤さん「今も行方不明…作品で語り継ぐ」3・11と重ね合わせる [首藤珠江]	杉戸 祐子	東京夕刊	8.31
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Column 3 志村信裕 光をあてる人	猪飼 尚司	美術手帖	978	PREVIEW 西山真一・松生親子展 鼎談 庄司栄吉×西山松生×勅使河原純 描くということ		美術の窓	356
滋賀文化考 志村ふくみ		美術屋・百兵衛	25	オトコの別腹 「赤城乳業」のガリガリ君ソーダ	東海林さだお	朝日夕刊	8.6
印象派を超えて 点描の画家たち 3 ビート・モンドリアン コンポジション No. II 身を潔められる美しさ	志村ふくみ	東京夕刊	10.31	HON ライン倶楽部 東海林さだおの巻 書いたり描いたり 漫画家の視点と表現力	多葉田 聡	読 売	5.26
時代の証言者 染めと織り 志村ふくみ 1~21	古沢由紀子	読 売	2.7,9,11,13,14,16,18~21,23,25~28,3.2,4~7,9	庄司達「立ち上がるテーブル 2013」	谷 哲夫	WaveII	12
時代の証言者 染めと織り 志村ふくみ 15 「地獄出し」苦心の藍染め[志村洋子]	古沢由紀子	読 売	2.28	特集 名古屋の画廊史 対談 庄司達×土崎正彦 画廊の社会的存在意義とその変容	石崎 尚司会	REAR	30
日々好日 釣りの話	下川 昭宣	新美術新聞	1312	コミック 三文未来の家庭訪問 庄司創(作) 価値観揺さぶる深遠なSF	南 信長	朝 日	4.14
プレゼンテーションにおけるコミュニケーション能力の育成について 環境デザイン分野の教育現場から	下田 倫子	女子美術大学研究紀要	43	SPECIAL FEATURE アートの旅へでかけよう! PART 1 瀬戸内国際芸術祭 2013 参加アーティストに聞く! 昭和40年会 昭和40年会 男木学校	白坂 ゆり	美術手帖	991
特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 下平千夏	清水 敏男	美術の窓	357	建築家・白井晟一の著作にみる伝統論	羽藤 広輔	東京芸術大学美術学部紀要	51
岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 日本画の誕生 下村観山 若年時から頭角を現した「日本のジョット」	関根 佳織	太陽(冊)	209	著者に会いたい 地球全史の歩き方 白尾元理さん 46億年を写真に語らせる旅		朝 日	6.9
明治・大正におけるパンカラ旅行の系譜 一大観・観山・紫紅・未醒の東海道五十三次旅行(大正4年)の背景として	佐藤 志乃	横山大観記念館館報	28	火山を歩く	白尾 元理	読売夕刊	4.4,11,18,25,5.2,9,16,23,30,6.6,13,20,27,7.4,11,18,25,8.1,8,15,22,29,9.5,12,19,26,10.3,10,17,24,31,11.7,14,21,28,12.5,12,19,26
人と社会の活性化を促すアートについて ~幼児教育現場での一事例	下山 肇	実践女子大学美学美術史学	27				

平成25年定期刊行物所載文献(近/作シ)

白川義員さんが写真集「永遠の日本」見つめ直す祖国の風土織細な美しさ	森本 智之	東京夕刊	3.11	新海宗慶(宗松)および少年期の新海竹太郎の造形的特徴における新知見—神仏分離に伴う古仏修理から得られた造形理解に関する考察—	岡田 靖 宮本 晶朗	東北芸工大保存修復センター紀要*	3
手塚・ちば・水木…戦争、漫画家が描くメッセージ[白土三平]		朝日夕刊	8.10	新海竹蔵の彫刻表現における「量感」と「素材感」についての一考察 木彫表現を中心として	渡部 直	芸術学研究(筑波)	18
マイ・ヒーロー 水谷修さん 正助 白土三平「カムイ伝」今もなお人生の目標	水谷 修	読売夕刊	9.30	山形美術館所蔵 新海竹蔵作「トルソー(メディチのヴィーナス)」の保存修復2	藤原 徹 宮城加奈子	東北芸工大保存修復センター年報*	4
日々好日 記憶	白幡 明	新美術新聞	1304	新海宗慶(宗松)および少年期の新海竹太郎の造形的特徴における新知見—神仏分離に伴う古仏修理から得られた造形理解に関する考察—	岡田 靖 宮本 晶朗	〃	3
大特集 よみがえるスーパー弾僧 白隠 山下裕二のTalk about Hakuin 1 しりあがりさん、白隠キャラを描いて下さい	山下 裕二 しりあがり 寿	芸術新潮	757	新海誠 年の差男女の恋描く アニメ映画「言の葉の庭」光と影 表現追及	小原 篤	朝日夕刊	5.25
特集 今日マチ子『センネン画報』から『cocoon』『アノネ、』そして『mina-mo-no-gram』へ—線の快楽、色の魔法 魂の師弟トーク! 対談 アートとマンガの無限のあわいで	今日マチ子 しりあがり 寿	ユリイカ	632	文化往来 新海誠監督の新作、実写並みの繊細な描写		日 経	6.27
書評倶楽部 川下り双子のオヤジ しりあがり寿著 考え、探し、針路を求める	東 ちづる	産 経	7.13	新宮晋の手づくり作品アルバム		芸術新潮	768
韓国における工芸とデザイン 新たな伝統をつくり出す「扶余プロジェクト」[城谷耕生]	田代かおる	A X I S	163	新美術時評=美術と教育6= 子供は天才	新宮 晋	新美術新聞	1314
伝統×デザイン—手仕事の日本ふたたび 長崎・波佐見焼 自立のシステムを形作る[城谷耕生]	篠原 知存	産 経	11.7	視線 ぼくの頭の中 Inside My Thinking [新宮晋]	大西 若人	朝 日	10.20
各地からの出品者の思い もう一つの橋を架ける	城谷なるみ	日展ニュース	149	ぼくの頭の中 新宮晋著		日 経	10.13
美の美 沖縄の美[ちゅ]らさ 中 一い ろどる 島に満ちる 赤と青の輝き 鮮烈な色彩に楽園を見た [城間栄喜/城間栄順]	内田 洋一	日 経	11.10	造形作家 新宮晋さん「頭の中」スケッチ集	岸 桂子	毎日夕刊	10.17
作家通信 大作を描く	神 彌佐子	水墨画*	288	この人が語る東京都庭園美術館	辛酸なめ子	東京都庭園美術館ニュース	53
特集 表現する女性たち PART 2 神美佐子	高山 淳	美術の窓	361	耕論 乾いた笑いの時代にノリが悪くてもいいじゃない 無邪気さ消えた 漫画家・コラムニスト 辛酸なめ子さん	吉田 純子 聞き手	朝 日	8.7
特集 水墨の美 私 の筆遣い 墨と紙と でつくりだす空間 これができるのは墨だけ	新恵美佐子	水墨画*	296	破産 嶽本野ばら著	辛酸なめ子	読 売	1.13
				ひとりごと絵本 100%ORANGE 著 かわいくてシユール	〃	〃	1.27
				魔性の女挿絵集 中村圭子編著	〃	〃	5.19
				悪童殿下 愛して怒って闘って 工藤美代子著	〃	〃	7.21



本よみうり堂『三万年の死の教え』 中沢新一著	"	"	8.4	特集 スケッチに出 かけよう ⑥技法講 座 vol. 29 郷愁の風 景を描く インタビ ュー・須飼秀和	美術の窓	359
森のふしぎな生きもの 変形菌ずかん 川上新一著	"	"	8.11	洋画家・菅原慶子	美術屋・ 百兵衛	27
孢子文学名作選 田 中美穂編	"	"	11.10	作家自選作品集1 菅原吾法《あじさ い》	菅原 吾法	水墨画* 289
漫画を読んだ 脱力 で見せる実力派 真 造圭伍『みどりの 星』	いしかわじ ゆん	毎 日	7.27	この企業のアート支 援がすごい! 三菱 商事アート・ゲー ト・プログラム2012 年度奨学生 菅原道 朝	菅原 道朝	美術* 456
交遊抄 “調べる”喜 び[進藤杏子]	後藤 靖香	日 経	4.29	アニメの都 2 虫 プロの技 脈々と 絵の枚数削減 安く 早く[杉井ギサプロ ー]		読 売 5.4
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 新道 繁				言葉のアルバム「仙 人」の教え 後進に 伝える 杉井ギサプ ローさん	越村 格	読売夕刊 9.13
現代美術の歩き方 今月の一品 進藤環 「絶え間なく治う」	藤村 里美	"	361	エビ・カニ超絶技巧 ウルトラマンゼアス のキャラ制作者[杉 浦千里]	大西 若人	朝 日 9.11
視点 東日本大震災 支援「つくることが 生きること」神戸展	新堀 学	"	354	杉浦非水のイメージ ソース	藤田 麻希	bandaly 12
(ス)				歴史 三越呉服店新 館落成ポスター[杉 浦非水]	井上 淳	歴博だよ り 72
作家通信 翠酒湖 受賞の言葉	翠 酒湖	水墨画*	297	杉浦康益一陶への夢	酒井 忠康	陶 説 727
巻頭特集 イチオン 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 洋画・日本画の トップランナー 画 廊編 末永敏明	青山 多男	美術*	460	杉浦康益の芸術	乾 由明	" "
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 字幕に愛をこめ て[末松正樹]	榎本香菜子	主体美術	94	あとがきのあと 「一旦辞するにあた り」杉岡和子氏 妻 から見た書家の日常 [杉岡華郁]		日 経 3.24
特集 建築評価の現 在形:脱中心化・断 片化・ローコンテク スト化する言説環境 とそのゆくえ 第2 部 作家アンケート 環境建築の評価	末光 弘和	建築雑誌	1645	書2013 仮名の太字 志向 名作生む[杉 岡華郁]	菅原 教夫	読 売 3.7
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No. 34 陶芸家・吉 村昌也の世界を中 心に[菅木志雄]	小山登美夫、 小川 英晴 談	ギャラリ ー*	339	巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 座談会 猫 は何でも分かっている	ミヤケマイ 作 山下まゆみ	美 術* 458
惜別 写真家 菅洋 志さん 人々の営み 撮り続けた旅人	中島 泰	朝日夕刊	5.18	器と花と光と写真 華道家・杉田一弥氏 に聞く	森 孝一 聞き手	陶 説 725
研究ノート 菅井汲 の求めた表現とその 変遷について	角田 新	アマリリ ス	108	作家通信 寒風の中、 梅の樹を描く	杉谷 隆志	水墨画* 289
				レポート墨 新井光 知氏が百寿展で書き ためた作品を発表 [杉谷隆志]		" 296

特集 ゾンビ ブー ドゥー、ロメロから マンガ、ライトノベル まで、ゾンビマン ガの黄金時代 渡る 世間はゾンビばかり ゾンビマンガブーム をゆく	すぎむらし んいち、健吾 花沢アミ 吉田司	ユリイカ	623	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 杉山 吉伸	高山 淳	美術の窓	360	作家通信 四季の風 景・花々 水墨画・ 墨彩画展	鈴木安佐子	水墨画*	286
特集 表現する女性 たち PART 2 杉本 登暉子	高山 淳	美術の窓	361	お手本画&秀作集 其ノ二十一 鈴木安 佐子《螢游懸水》	〃	〃	288	21世紀のアーティ スト 鈴木敦子	ギャラリ ー*	343	
WORLD NEWS ロ ンドン 巨匠フェア 「フリーズ・マスタ ーズ」新登場! NY ギャラリーも続々と ロンドン上陸[杉本 博司]	伊東 豊子	美術手帖	977	特集 日本の現代版 画 1990-2013 鈴木 敦子《眠りの街》 2007 年	鈴木 敦子	版画芸術	162	巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 現代の名作 猫図40態 鈴木敦子	〃	美術*	458
SPECIAL FEATURE フランシス・ペー コン Special Essay フランシス・ペー コン—神妙なるズレ	杉本 博司	〃	980	神宮美術館所蔵 神 宮名品解説[鈴木蔵]	小山 朝子	瑞 垣	226	ようこそ、新しい先 生 05 鈴木欽	鈴木 欽	瓜生通信	58
SPECIAL FEATURE アートの買い方おし えます! 杉本博司 に聞く 空間をしつ らせる愉しみとはな んですか?	橋本 麻里	〃	982	未来唐草とカーボン ファイバーの家具 資生堂・信藤洋二と イシマル・鈴木清巳 が語る、「資生堂銀 座ビル」でのデザイ ン	谷口真佐子 編集部	A X I S	166	伊奈信男賞決まる [鈴木吼五郎]		読 売	11.28
INFORMATION NEWS 杉本博司が 手がけたレストラン オープン 杉本美学 と食が融合した、も てなしの空間	編 集 部	〃	995	コミック 出落ちガ ール 鈴木小波(作) 過激なタッチ、でも 心温まる	ササキバラ ・ゴウ	朝 日	9.15	第26回奨学者のレポ ート 内から外を眺 めること。	鈴木紗也香	アクリラ ート(別 冊)	2013
丹青閑話 第26話 『神秘域 その式』 野村萬斎×杉本博司 ・三番叟公演	島尾 新	美術の窓	357	受賞者に関する PART 1 VOCA 展 2013 VOCA 賞 鈴 木紗也香さん	編 集 部 構 成	美術*	452	「VOCA 展2013」 VOCA 賞受賞者 鈴 木紗也香さんインタ ビュー		美術の窓	353
リポート 杉本博司 ×Christie's Japan		目の眼	438	杉本文楽パリ興奮 「伝統×現代アート」 初の海外公演 「芸 術の自由感じた」「爆 発的出会いを」	西本 ゆか	朝 日	10.22	作家通信 元気のヒ ミツ どこかへ出か けよう	鈴木 昇岳	水墨画*	288
交遊抄 多芸の人 [杉本博司]	大林 剛郎	日 経	3.11	杉本博司の「曽根崎 心中」欧州で 9月 から3か国		読売夕刊	6.17	視点 鈴木省三作品 「森」三部作について (前、後編)	小島 静二	美術の窓	358、359
パリで杉本博司展		〃	12.12	海が育むもの フグ ゆりかごは幾何学模 様	杉森 雄幸	毎 日	6.7	作品 鈴木誠子 EXISTENCE		札幌大谷 大学紀要*	43
杉本博司さん改修 料理店オープンへ 清春芸術村に	永田 晶子	毎日夕刊	8.28	日々好日 祝いの便 り	杉山 吉伸	新美術新 聞	1321	いにしえの紅花染め 復活 古文書参考に 青梅や甘夏みかんで 手探りの実践	鈴木 孝男	日 経	3.1

特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 鈴木 竹柏	高山 淳	美術の窓	360	本づくし「凝り固 まった概念をリセッ トしてくれる」『建 築家なしの建築』パ ーナード・ルドフス キー著、渡辺武信訳	鈴野 浩一	A X I S	165
特集—一九〇〇年バ リ万国博覧会出品作 (五) 池田泰真「四 季草花蒔絵書棚」と 鈴木長吉「岩上ノ虎 置物」	五味 聖	三の丸尚 蔵館年報 ・紀要	18	平成25年度収蔵展 (新規重点収集作家 個展) 須田一政	須田 一政 丹羽 晴美 インタビュー 一 富田 秋子 構成	E Y E S	78
総特集 小津安二郎 生誕110年/没後50 年 表現とメディア 正方形とのたたかい 小津とデザイン	鈴木 一誌	ユリイカ	636	「異界」写す写真家・ 須田一政 日常と妄 想の境目探求	干場 達矢	日経夕刊	11.19
お手本画&秀作集 其ノ二十 鈴木墨章 《みどろ沼の春雪》	鈴木 墨章	水墨画*	287	近代美術の眼 静岡 ・松崎浄感寺「風姿 花伝」より 絵に宿 る幽玄写す[須田一 政]	保坂健二郎	読 売	5.10
まばたきの記憶 第 16回 屋根のベンチ	鈴木 康広	A X I S	161	作品ひとつ[須田国 太郎]	定松 晶子	群馬の森 美術館ニ ユース	154
カバーインタビュー 鈴木康広	編集部、 谷口真佐子 インタビュー ・文	〃	162	愚の茶会を終えて[須 田剋太]	鈴木 皓詞	陶 説	728
まばたきの記憶 第 17~20回	鈴木 康広	〃	163~166	画狂 須田剋太		美術屋・ 百兵衛	27
塑像によるセルフ・ ポートレートについて 「鏡像段階」の反 復としてのセルフ・ ポートレート	鈴木 雪絵	女子美術 大学研究 紀要	43	sweet white/spin/hill	砂押かほる	大手前大 学論集	13
特別企画 春陽展90 回記念展 新世代の 作家『短いタッチ 身に付けたのはいつ ? 記憶揺り動かす 風景とは、取材はど う?』	鈴木 善晴	ギャラリ ー*	336	作品 岡部昌生 ビ ッキに触れて[砂澤 ビッキ]	岡部 昌生 越前 俊也	札幌大谷 大学紀要*	43
雪よ光と印刷と 究 極の「白」を求めて White 鈴木理策著		芸術新潮	757	特集 表現する女性 たち PART 2 春原 妙子	磯部 靖	美術の窓	361
特集 20世紀のカリ スマ フランシス・ ペーコンを解剖する 対話編 ペーコン五 面鏡 写真 うつさ れた距離	鈴木 理策、 保坂健二郎 対談	〃	760	ISETAN FUTURE CURATION INTO THE FUTURE: 3 エクストリームキュ ート、新宿から未来 が始まる!	スブツニ子! 成実 弘至 後藤 繁雄	美術手帖	983
小特集 伊勢神宮 20年目の秋の日に 伊勢神宮と遷宮を巡 る対話 鈴木理策× D・マックス・ムア マン		〃	767	ひと MITメディア ラボの助教になるア ーティスト スブツ ニ子!さん	佐藤 美鈴	朝 日	7.10
SPECIAL FEATURE 神々の聖地 SPOT 諏訪 ESSAY 守ら れてきた場の力	鈴木 理策	美術手帖	987	軽々とした変容[ス ブツニ子!]	岸 桂子	毎日夕刊	2.13
特集 基礎を完璧に する! 人体デッサン ◎技法講座 VOL.27 case 3 鈴木良治 リアリティ溢れる豊 かな表情を描く	鈴木 良治	美術の窓	352	子どもたちへ リズ ム感ある言葉、楽し んで 手芸絵本の作 家 *すまいるママ さん*	(郷)	読売夕刊	5.11
				インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェクト 世界に発信する アーティストたち No.12 鷺見康夫		ギャラリ ー*	339

凡人では考えもつかない一瞬の「ひらめき」を具体的な方法で作品化させる 鷺見康夫の実行力と表現力	加藤 義夫				支持体から見る絵画表現 支持体の状態と特性による効果と意味[諏訪直樹]	佐藤 学	芸術学研究(筑波)	18
「創造と発見」を求め、常に自由奔放に描き続けてきた 鷺見康夫								
新美術時評=美術と教育5 = シンビアンものを求め 必死に自分を探すこと	澄川 喜一	新美術新聞	1312		巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 清宮質文	金子 美樹 美 術*		458
島根文化考 彫刻家 澄川喜一		美術屋・百兵衛	26		第35回十果会	今井 真吾、平岡 靖弘、相田 幸男、齋藤 研、木津 文哉、瀬川 富紀、編集部 文	新美術新聞	1319
リレーエッセイ49 地方美術館の高望み 県境や、国境を越えた文化交流に意欲 石見の誇り 市民100人強が支援	"	美連協ニュース	120		続水墨画の風景 第六、七回 膠を考える(上、下)	島尾 新 紫 珠 出	水墨画*	294,295
自作再見 澄川喜一「そりのあるかたち1」木の素材的宿命、生かした	大西 若人 聞き手	朝日夕刊	7.31		特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 關加奈子	立島 恵	美術の窓	357
今月のとんぼの本 前橋重二『レオナルド・ダ・ヴィンチ 人体解剖図を読み解く』追試される権威	諏訪 敦	芸術新潮	763		研究報告 関根正二《子供》のいま	貝塚 健	ブリヂストン・石橋美術館報*	61
特別インタビュー 2 アントニオ・ロベス 「真実があるものは、すべてリアリズム」	"	"	764		美の美 見立て絵 重層するイメージ 下 着想の系譜、近代に脈々と 先人への傾倒込めた筆致 [関根正二]	吉田 俊宏 日 経		6.16
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて一現代の名作から 弁天町	"	美 術*	453		一九五〇年代における日米版画の人的交流—斎藤清・関野準一郎・棟方志功を中心に	桑原 規子	近代画説	22
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 エッセイ 仕事に猫が必要なわけではないけれど	"	"	458		近代美術の眼 墓とニューヨーク 死と繁栄 歴史の縮図 [関野準一郎]	鈴木 勝雄	読 売	7.12
SPECIAL FEATURE ラファエロ 現代のアーティストが迫る! 本当のラファエロ	諏訪 敦、渡辺 晋輔、対談 藤原えりみ 構成	美術手帖	984		特集 日本の現代版画 1990-2013 関野洋作《夜景》2004年	関野 洋作	版画芸術	162
特集 時を描くリアリズム アントニオ・ロベスの世界 ロベスの本質とは何か 世界の成り立ちが静かに語られ、そこに別の現実が「在る」。	諏訪 敦 談	美術の窓	356		京都の伝統 心をこめてつくり、発信していく 京人形師 關原紫光さんへのインタビュー	築出瑛理子	瓜生通信	58
第44回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 魚たちを見つめて	諏訪 智美	日展ニュース	148		特集 アートによる地域おこし case01 瀬戸内国際芸術祭—犬島 家プロジェクト アートを「共有」し、「つながり」を生む	妹島 和世、高橋 信裕、インタビュー アー	Cultivate	40

WORLD NEWS ランス SANAA が手がけるルーヴル・ランス 斬新なコレクション展示も話題に[妹島和世]	中原紗代子	美術手帖	984						(ソ)
学問の図像とかたち 150 思考の模型 薄く小さく[妹島和世]	松本 文夫	U P	488						
リレーおびにおん アート de チェンジ 7 建築家 妹島和世さん みんなが一緒にいられる建築	山口 栄二 聞き手	朝 日	9.25						
小平に新シンボル 妹島和世さんデザイン 複合公共施設、14年度に完成	梅村 武史	東 京	2.9						
建築が目指すもの 妹島和世さんに聞く 人と人の出会い 自然を守り伝える	岩田 三代	日経夕刊	6.22						
ルポ 仏ルーブル美術館ランス分館 炭鉱の町から文化の町へ 設計の妹島さん「新しい体験空間に」文化施設の地方分散化政策	永田 晶子 宮川 裕章	毎日夕刊	4.3						
従軍画家瀬野覚蔵とその戦地記録画一戦前絵葉書による美術史拾遺一	彭 国躍	人文学研究所報	50						
バナナ及び未利用繊維の素材活用システムの構築—2005~2012年度共同研究報告	橋本 京子 柏木 弘 川井 由夏 深津 裕子 妹尾めぐみ 高野 紘子 樋口 明久	多摩美術大学研究紀要	27						
芹沢本『法然上人絵伝』一発願者・小川龍彦をめぐって一 [芹沢銈介]	福地佳代子	芹沢銈介美術工芸館年報*	4						
美の美 沖繩の美[ちゅ]らさ 中 一いろどる 島に満ちる 赤と青の輝き 鮮烈な色彩に樂園を見た [芹沢銈介]	内田 洋一	日 経	11.10						
6月5日公開 梶井千住博美術館 新展示室『The Fall room』完成 第46回ヴェネツィア・ビエンナーレ名誉受賞作品「The Fall」を展示		新美術新聞	1314						
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて—現代の名作から大船駅	千住 博	美 術*	453						
交遊抄 4人組	仙田 満	日 経	9.14						
SPECIAL FEATURE ラファエロ『チェーザレ 破壊の創造者』作者 惣領冬実が語る「ルネサンス」	橋本 麻里 聞き手・構成	美術手帖	984						
文化の扉 はじめてのダンテ 聖と俗の矛盾を生きた人	惣領 冬実	朝 日	12.23						
私のグッとムービー 曾田正人さん「ブラック・レイン」 男の友情 道程に心躍った	相田 香織 聞き手	"	3.22						
フロントランナー ガウディの夢を石に刻む サグラダ・ファミリア教会彫刻家 外尾悦郎さん	進藤 健一	"	6.8						
アニメーションの世界とアート 第1~7回[曾根きよ子]		ギャラリー一*	338~344						
近代名古屋と初期の建築家達 佐立七次郎、辰野金吾、曾禰達蔵、片山東熊	瀬口 哲夫	名古屋造形大学紀要	19						
お手本画&秀作集 其ノ二十一 園田南青<藤花>	園田 南青	水墨画*	288						
特集 スヌービーのひみつ チャールズ・M・シュルツの創作世界 1♡PEANUTS essay 3 わが愛しの“おやじスヌービー”	祖父江 慎	芸術新潮	766						
劣等生の思考で意外な装丁 摩擦、生きる力の根本[祖父江慎]	諸岡 良宣	日経夕刊	2.27						
道の記 染谷學著		日 経	11.24						
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 曾谷朝絵インタビュー 水戸芸術館現代美術ギャラリーで個展「宙色[そらいろ]」を開催中!		美術の窓	362						
巻頭特集 イチオン 作家2014 アートシーンを熱くする100人 日本画ニューエッジ クローズアップアーティスト2 楚里勇己	編集部	美 術*	460						
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語る 「勝ち越すこと」が大事—寺田先生の言葉。	退町 勝治	主体美術	94						

		(タ)									
禪画家	大雲道人	美術屋・百兵衛	26	Tokyo Art Navigation アーティスト・ピックアップ	野田 吉郎	美術手帖	984	高木真希人 フォトジェニックな絵画			
巻頭特集	イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人	井川 匡彦	美術*	460	日本画ニューエイジ 画廊編	高島圭史		巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人	中島 良成	美術*	460
特集	いい「目」を描きたい! (秘)技法講座 vol. 31 透明水彩で描く魅力的なまなざし	醍醐 芳晴	美術の窓	363	醍醐 芳晴			サクラソウの壁画、覚えてますか? 生誕100年記念 点描の詩情—高田誠の世界	(M. N.)	ソカロ	66
受賞学生インタビュー	第10回 第7回グラフィック「1_WALL」グランプリ受賞	大門 光	芸大通信	27	大門 光	芸大通信	27	巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 品格高く、静かであること	高田 保雄	美術*	456
「建築家」が問われるとき—自己規定の軌跡と現在 第1部 建築家と戦後日本 戦後日本と伴走して—	建築家・建築運動・メディア	平良 敬一 話し手 青井 哲人、 日埜 直彦 聞き手 佐野恵津子 文	建築雑誌	1651	平良 敬一 話し手 青井 哲人、 日埜 直彦 聞き手 佐野恵津子 文	建築雑誌	1651	特集 表現する女性たち PART 2 高塚照恵	高山 淳	美術の窓	361
美の美 沖縄の美[ちゅ]らさ 下 一織りあげる 清らかな心映し出す布 苦難乗り越え今に伝わる [平良敏子]		内田 洋一	日 経	11. 17	内田 洋一	日 経	11. 17	日本画家のアトリエ訪問 6 高頭信子	大澤 景	"	362
日々の暮らしにいかす12 北の大地より成長の祈りを込める春		高尾 桂	水墨画*	288	高尾 桂	水墨画*	288	特集 表現する女性たち PART 2 高梨敬子	ワシオ・トシニコ	"	361
デザイン 高岡陽 《かみのらぼ ロゴタイプデザイン》、《かみのらぼ-caminolabo 0号》、《S.W (Shimanami Water) しまなみウォーター》、《SNS サイトロゴ (COMPACTLY) コンパクトリー》、《広報おのみちタイトルロゴ》、《Yo-R Font 尾道オリジナルフォントの開発》		尾道市立大学芸術文化学部	紀要	12	尾道市立大学芸術文化学部	紀要	12	この人 重量感あふれる油彩に挑む画家 高波壮太郎さん 「描くことは生きることの発露」	黒谷 正人	東京	8. 3
第18回総合水墨画展 レポート 上位受賞者のことば 一般部門 大賞・東京都議会議長賞 高木幸二 《飛爆》		高木 幸二	水墨画*	296	高木 幸二	水墨画*	296	原罪の果て、光の国—タカノ綾の進化する絵画世界—タカノ綾「Heaven Is Inside Of You」展	松井みどり	美術手帖	980
趣味が高じて卒寿の大輪 文化勲章受章の書家 高木聖鶴さんに聞く		菅原 教夫	読 売	11. 14	菅原 教夫	読 売	11. 14	素材+場+人がうみだすもの—エンセーテ繊維を用いたものづくりを通して(テキスタイル)	高野 絃子	多摩美術大学研究紀要	27

高橋源吉の油彩画に使用された制作材料・技法について—山形市所蔵 高橋源吉作『宮城縣穴瀑之紅葉』『天華岩』『藤花滝』を対象に—	大場詩野子	東北芸工 大保存修 復センター 一紀要*	3	特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 千年を経て甦る物語	〃	〃
湖上の命 高橋智史著			日 経 6.16	かぐや姫の罪 三橋 健		
作品 Now Here/No Where : ふろいとといとまき	高橋 悟	京都市立 芸術学部 研究紀要	57	死の女神がなぜ美しいか 火山の女神かぐや姫 保立 道久		
収蔵品から 《神話—ブルー》(32種の版画)高橋秀	橋本 善八	世田谷美 術館だより	91	罪とはなにか 『竹取物語』と『かぐや姫の物語』	三浦 佑之	
ご長寿ばんざい 高橋松山さん 「大津絵」描き続け講師も	田中 将隆		毎 日 8.15	前世の記憶 木村 朗子		
明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索— [高橋松亭]	岩切信一郎		一 寸 54	特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 インタビュー	〃	〃
視点 北海道とシベリアの美術交流	高橋 伸	美術の窓	361	日本一のアニメーション監督と過ごした八年間 西村 義明	高瀬 司 聞き手	
ひと 瀬戸内のハンセン病診療所でアート活動をする 高橋伸行さん	高木 智子		朝 日 8.13	無心で演じたかぐや姫 朝倉あき	さやわか 聞き手	
作家通信 伊豆セミナーを終えて	高橋 英男	水墨画*	286	特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 少女×世界=? ??	〃	〃
巨樹の神威 仰ぎ撮る 日本各地を訪ね 25年、3100本の姿をカメラに収める	高橋 弘		日 経 6.28	「戦闘美少女」としての「かぐや姫」	斎藤 環	
東アジアの油彩画の中で高橋由一を考える	山梨絵美子	視 る	462	母でなく、救世主でなく、月は輝く	佐藤 俊樹	
神は細部に宿る モチーフで読み解く美術 30 鮭 神聖な食物 [高橋由一]	宮下規久朗	東京夕刊	2.18	小和田雅子の物語	小谷野 敦	
サッカー強く楽しく盛り上がれ 「キャプテン翼」作者・高橋陽一さんに聞く バルサ葛飾キャンプ エッセンス吸収を	秦 忠弘 聞き手		朝 日 3.23	神の成長	福島 亮大	
キャプテン翼の銅像 7体「増員」 葛飾区来年2月に [高橋陽一]	町田 結子		毎 日 9.7	特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 美術とアニメのクロッシング・ポイント	〃	〃
大波小波 稀代の幻想漫画家 [高橋葉介]	付言 紳士	東京夕刊	7.3	そうめん の光	山口 晃	
特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 インタビュー 高畑勲 躍動するスケッチを享受する	中条 省平 聞き手	ユリイカ	638	描き得ない「浄土」	橋本 麻里	
				特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 対談 奈良美智 細馬宏通 アニメの歴史を変える映画— 『かぐや姫の物語』を体験する	〃	〃
				特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 アニメ史を貫いて、その先へ	〃	〃
				線と面 『かぐや姫の物語』がもたらしたアニメーション史の新しい地平	細馬 宏通	
				たけのこの「ふるさと」	藤津 亮太	

夢見ること、それだけを教える 高畑勲の「漫画映画の志」、その着地点	土居 伸彰			巻頭特集 世界市場で高騰中! 「具体」ってなに? 画廊でマスターピースに出会う 「具体」&戦後の前衛 ユミコチバアソシエイツ ビューイングルームシンジューク 高松次郎	編集部 美術*	455
にせものへの意識	中田健太郎					
ファンタジーの行方	高瀬 司					
『かぐや姫の物語』は何を肯定し、祝福したのか。	黒瀬 陽平			山下裕二の今月の隠し球101、102 高見基秀 謎めいた数字のタイトル、そのココロは?(上、下)	山下 裕二	美術の窓 356、357
特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 資料 高畑勲フィルムグラフィアー	高瀬 司	ユリイカ	638	良識のうしろ側 ガマンガマンガマン… 高嶺格展	大西 若人	朝日夕刊 1.23
ジブリ・高畑勲監督「かぐや姫の物語」23日公開 「アニメーションが一步進んだ」	小原 篤	朝 日	11.19	美術評 「高嶺格のクールジャパン」展 未来なき空しい標語	見島やよい	東京夕刊 2.1
大波小波 高畑勲の新解釈	(昔男)	東京夕刊	11.26	評 美術 高嶺格のクールジャパン これからを問う	岸 桂子	毎日夕刊 1.30
この世の面白さ伝えたい かぐや姫の本当の物語 映画監督高畑勲さん	関原のり子 聞き手	日経夕刊	11.27	軽々とした変容[高嶺格]	”	” 2.13
「月から来た理由」描く 「かぐや姫の物語」監督 半世紀越しの疑問に答えて [高畑勲]	広瀬 登	毎日夕刊	11.25	岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 工芸と彫刻の近代化 高村光雲 仏師から近代木彫家へ	藤井 明	太陽別冊 209
高畑勲宮崎駿ふたりの50年 1~4	近藤 孝	読売夕刊	6.14、7.12、8.9、9.13	新海宗慶(宗松)および少年期の新海竹太郎の造形的特徴における新知見一神仏分離に伴う古仏修理から得られた造形理解に関する考察一[高村光雲]	岡田 靖 晶朗	東北芸工大保存修復センター紀要*
第26回奨学者のレポート 絵具を紡ぐ絵画	高島 依子	アクリラート(別冊)	2013	熱気球[高村光雲]		東京 3.27
この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム これまでの奨学生の声 高島依子	”	美術*	456	続・続・寝たまま書物探偵所[高村光太郎]	山田 俊幸	一寸 55
特集 日本の現代版画 1990-2013 高浜利也《振れるまなざしよりa, b, b》1992年	高浜 利也	版画芸術	162	デザインの現場 特別号 「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける News JAGDA 新人賞2011 高谷廉	猪飼 尚司	美術手帖 978
フェイス21世紀178 高松和樹 100年先へー現代の姿を記録したい	橋爪 勇介	新美術新聞	1330	批評 「もの」の余白 高柳恵里に関するノート	山本さつき	REAR 29
館蔵品紹介 《点 (No. 16)》 一九六一—六二 高松次郎	中井 康之	国立国際美術館ニュース	199	第44回日展 新入選者寄稿一喜びと抱負一 新入選を経て	高柳 惟	日展ニュース 148
田中未知・高松次郎の言語楽器《パロール・シンガー》と関係資料について	吉崎 和彦	東京都現代美術館年報・研究紀要	15	高山辰雄展 人と自然 理想郷の豊後	白石 知子	読 売 1.17
				10センチの文豪、表情豊か、芥川龍之介や伊藤整…人物を徹底的に調べ人形に	高山 美香	日 経 9.11



研究報告 2. 奥原晴湖、瀧和亭、服部波山、福島柳圃、松岡環翠「文人寄書」について	太田 佳鈴	実践女子学園香雪楼記念館館報	10	巻頭特集 やっばり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 竹内浩一	竹内 浩一	美術*	458
本づくし「現代都市のソロー」『独立国家のつくりかた』坂口恭平著	多木 陽介	A X I S	161	竹内栖鳳「アレタ立に」の謎を追う一邦楽の観点から	石塚みず絵	京都産業大学日本文化研究所紀要	18
特集 表現する女性たち PART 2 滝上くら	大澤 景	美術の窓	361	Focus 京都市美術館80周年記念展 下絵を読み解く一竹内栖鳳の下絵と素描 下絵から探る栖鳳芸術の魅力	後藤結美子	京都市美術館ニュース	206
瀧口修造—その実像に迫る、ささやかな試み	杉野 秀樹	紫 明	32	研究発表 要約 竹内栖鳳の人体表現—東本願寺御影堂門天井画を中心に	貝田 圭子	近代画説	22
瀧口修造の一九三〇年代—シュルレアリスムと日本—	平芳 幸治	美 学	243	On view 竹内栖鳳の高島屋での活動—海外万国博覧会への染織作品に注目して—	廣田 孝	現代の眼	601
創立40年を迎えた創画会—画家の原点を尊重する大らかな器として 滝沢具幸(創画会理事長)と語り合う、その歴史	藤田 一人 開き手・構成	美 術*	458	Re view 無邪気さと気高さ 子どもたちから芸術家まで、心を捉えるライオンの魅力[竹内栖鳳]	長倉かすみ	〃	〃
モード UPDATE ユニクロのデザイン総指揮 滝沢直己さん 普遍、快適求める「引き算」	野倉早奈恵	読売夕刊	12.25	竹内栖鳳の人体表現—東本願寺御影堂門天井画を中心に	貝田 圭子	実践女子大学美学美術史学	27
詩情の切り絵 下絵見つかる 故・滝平二郎宅に50点 熟考チラシの裏も	上原 佳久	朝日夕刊	2.16	続水墨画の風景 第三回 滲みの研究—竹内栖鳳—	島尾 新珠	水墨画*	291
視線 LAND SPACE [瀧本幹也]	大西 若人	朝 日	7.7	墨への憧憬 竹内栖鳳《雄風》『竹内栖鳳展—近代日本画の巨人』より	吉中 充代	〃	〃
瀧本幹也さん スペースシャトルと大地の写真集 見た人が深読みする作品に		日経夕刊	7.16	竹内栖鳳 近代京都画壇の大家 日本画を革新する	廣田 孝	太陽社叢刊	211
特集 基礎を完璧にする! 人体デッサン(秘技法講座 VOL.27 case 5 田口貴大 背景を克明に描きつつ人物を際立たせる	田口 貴大	美術の窓	352	竹内栖鳳 近代京都画壇の大家 「新しい日本画」を描く		〃	〃
日々好日 自然への感謝	田口 義明	新美術新聞	1328	先人に学び、先人を超越る 栖鳳の出発点	〃		
交遊抄 陸前高田との縁	田窪 恭治	日 経	2.5	西洋体験、そしてあらたな和へ 西洋画技法の吸収	〃		
導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(2)—「美術リテラシー」に関するアンケート(2)—	杉山 倫也 長谷川 昇 中野 滋 浅川 正樹 武井 文	横浜美術教育・研究紀要	3	人体美への夢 人物画を描く	〃		
個展「Episodes」作品制作ノート	武井 文	〃	〃	幻に終わった東本願寺の天井画	〃		
明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索— [武内桂舟]	岩切信一郎	一 寸	54	自然美への憧れ 風景画	〃		
				栖鳳が愛したターナーとコロドー	〃		
				人物と風景の調和 中国の風景画	〃		

平成25年定期刊行物所載文献(近/作タ)

栖鳳の眼力 動物画	中村 麗子	特集 スケッチに出かけよう ⑨技法講座 vol.29 巨匠のスケッチを見る2 竹内栖鳳の写生帖	中村 麗子	美術の窓	359
京都で受け継がれた画家のDNA 応挙から栖鳳へ	吉中 充代	丹青閑話 第30話 竹内栖鳳「驟雨一過」	島尾 新	〃	361
刺繍絵画の登場	廣田 孝	入門講座 京の美意識 3 竹内栖鳳と余白 多芸あまねく 絵の糧に	杉本秀太郎	日経夕刊	1.24
幻とされてきた名画《雨霽》	織奥かおり	竹内栖鳳「アレタ立に」題材 京舞井上流の清元「山姥」か		読売夕刊	6.10
紙、墨、筆へのこだわり	高橋美奈子	Walkabout 竹沢うるま著		日 経	8.25
軽み、そして自由の境地へ 晩年の「省筆」作品	廣田 孝	茶話マンガ がん闘病 夫婦の姿は[武田一義]	伊藤 剛	朝日夕刊	9.7
竹内栖鳳 近代京都画壇の大家 初公開! 海の見える杜美術館の名品 進む、栖鳳作品の研究	田中 伝 太陽別冊	本よみうり堂 コミック館「さよならタマちゃん」武田一義さん 闘病生活での夫婦愛 目立つ「メンタル系」のエッセー			〃 〃
竹内栖鳳 近代京都画壇の大家 栖鳳の足跡		日々好日 桜[はな]に想う	武田 州左	新美術新聞	1309
若年期 出生～二十四歳頃	廣田 孝	都市美の創出と橋梁一建築家武田五一と第一次大阪都市計画事業一	清瀬みさを	文化学年報	62
青年期 二十五～三十五歳頃	〃	特集 日本の現代版画 1990-2013 武田史子《杏》 2004年	武田 史子	版画芸術	162
百貨店と美術一栖鳳と高島屋美術部	中澤 一雄	特集 表現する女性たち PART 2 武田惠江	武田 惠江 高山 淳	美術の窓	361
渡欧時代 三十六～四十八歳頃	廣田 孝	AFRICA 竹田津実著		日 経	11.17
未公開史料・栖鳳の書簡	高井多佳子	コミック ルームメイト 上 武富健治(作)今邑彩(原作)同居人は一体、何者なのか	山脇 麻生 朝	日	11.10
栖鳳の絵葉書コレクション	田中 伝	宋赤絵の人形	竹中 浩	陶 説	725
円熟期 四十九～七十二歳頃	廣田 孝	竹内久一と《平和観音像》について	田中 修二	屋外彫刻調査保存研究会会報	5
晩年 七十三～七十八歳	〃	竹内久一《平和観音像》の原型と構造	藤曲 隆哉	〃	〃
京都の芸術家が愛好した『京都日出新聞』	〃	研究報告 竹内久一の明治26年《芭蕉像》制作について	岡本 明子	東京芸術大学美術館年報	H23年度
竹内栖鳳 近代京都画壇の大家 明治から大正期の京都画壇					〃 〃
§ 前文 §	〃				
栖鳳の師 幸野樸嶺	國賀由美子				
盟友 山元春挙	高梨 純次				
写真と日本画	中川 馨				
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 竹内栖鳳	川口 直宜 美			術*	458

周作人と日中文化史 日本文化へのまなざし 竹久夢二へのまなざし 周作人と豊子愷	大野 公賀	アジア遊学	164	特集 表現する女性たち PART 2 忠隈 宏子	高山 淳	美術の窓	361
続・続・寝たまま書物探偵所[竹久夢二]	山田 俊幸	一寸	55	作家がいた 立川広己—自由美術展における近年発表作の全容—	高山 淳 立川 広己	”	353
作品研究 人形の原像と近代: 夢二と柳女の作品から	今井 陽子	現代の眼	600	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 立川 広己	立川 広己	”	360
特集 素朴絵の魅力 藤村の俳画 草画小論[竹久夢二]	星野 鈴	聚 美	9	手塚・ちば・水木…戦争、漫画家が描くメッセージ[立原あゆ]		朝日夕刊	8.10
発表要旨 第二十六回研究会 竹久夢二作品における感情の諸相—セノオ楽譜を例に—	小嶋 洋子	大正イマジユリイ	8	視線 KURAGARI [田附勝]	原田 マハ	朝 日	9.8
夢二の原画発見 新聞小説「審判」挿絵新編 締め切り示すメモ		東京夕刊	10.21	写真魂 田附勝写真集「KURAGARI」闇にひそむケモノ		産 経	4.4
迫戸の曙 岡山県夢二も見たか昇る朝日	富永 賢治	”	12.19	2013全日本読売写真クラブ展 面白い物見つける目を	立木 義浩 総評	読 売	7.28
先人を訪ねて 心に郷愁 夢見る美人画 竹久夢二	末善 悠太	読 売	2.14	時代の証言者 写真の力 立木義浩 1~24	平 博之	”	9.2~5,7,10~12,14~19,21,23,~26,28,30,10.1~3,5
学長に漫画家の竹宮氏 京都精華大[竹宮恵子]		日 経	11.22	近代名古屋と最初期の建築家達 佐立七次郎、辰野金吾、曾禰達蔵、片山東熊	瀬口 哲夫	名古屋造形大学紀要	19
涼くなるゾーッ…妖怪画 画廊で見つけた都市の闇[竹谷満]	渋谷 和彦	産 経	7.18	東京駅の干支レリーフ 「行方不明」の四つ 佐賀の温泉楼門に[辰野金吾]	安楽 秀忠	朝 日	4.20
巻頭特集 和洋骨董から現代アートまで ひびきあう古今 美のしつらえ しつらえ III 日本の現代アート×ガレのガラス器[田嶋悦子]	青山 幸生	美 術*	452	干支の謎解けた? 辰野金吾設計 つなぐと完結 故郷・佐賀に四つ 東京駅に八つ		東 京	4.19
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 日本画ニューエイジ 画廊編 田島周吾	鈴木 正臣	”	460	毎日芸術賞の人々 中 辰野登恵子さん 伝統と予言的な何かを	岸 桂子	毎日夕刊	1.8
土曜訪問 海への思いを絵本に 田島征三さん(絵本作家・芸術家) 切ない結末 心に響け	岩岡 千景	東京夕刊	8.3	日々好日 えがく楽しさ	辰巳 文一	新美術新聞	1326
コンパス 体感としての隔離[田島征三]	”	”	8.17	立体感 陰影の妙 海外の文物 和装に昇華 四代龍村平蔵さん	龍村 平蔵	朝日夕刊	5.23
神宮美術館所蔵 神宮名品解説[田島比呂子]	本多 久子	瑞 垣	226	特集—一九〇〇年パリ万国博覧会出品作(五) 美術染色家の挑戦—一九〇〇年パリ万博における川島、飯田、伊達の出品作 [伊達虎一]	太田 彩	三の丸尚蔵館年報・紀要	18

特集 表現する女性たち PART 2 館礼子	高山 淳	美術の窓	361	ベネチア・ビエンナーレ 田中功起さん震災後の日本と海外結ぶ	産 経	6.6
特別企画 春陽展90回記念展 新世代の作家『雲の変化、雲が動き始めなぜ雲の上に家があるのか』	立堀 秀明	ギャラリー一*	336	ひと 第55回ベネチア・ビエンナーレで特別表彰された 田中功起さん	岸 桂子	毎日 6.20
注目のアート、紹介します 田中愛子 discordance		瓜生通信	59	ベネチア展 日本館特別表彰 美術家・田中功起さん出品	井上 晋治	読 売 6.2
彫刻家の現場[アトリエ]から 97 田中昭	武田 厚	美術の窓	357	匠のかたち 江戸簾 [田中耕太郎]	石黒 知子	A X I S 165
例会発表要旨 第124回例会: 田中敦子とフランス 田中敦子を、ミシェル・タピエはどう評価したのか?	岡部あおみ	日仏美術学会会報	32	田中岑 油彩画制作とそれにもなう展開について	喜安 嶺	川崎市市民ミュージアム紀要 25
ミシェル・タピエと田中敦子—真の創造者を求めて—	〃	美術運動史研究会ニュース	133	特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 田中知美	外館 和子	美術の窓 357
文化往来 グラフィックデザイナー田中一光、習作に光		日 経	3.5	巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 現代アートと洋画の新鋭 画廊編 田中紀子	居原田 健美	術* 460
田中一村と戦後美術画壇—院展への挑戦—	森下麻衣子	文化学年報	62	ひと 富士山の銭湯絵に魅せられ絵師になった 田中みずきさん	佐藤 剛志	朝 日 12.26
本づくし 「何気ない日常への観察力と感性」『スヌーピーの50年』チャールズ・M・シュルツ著、三川基好訳	田中 薫	A X I S	166	田中有美研究(一)—「贈太政大臣岩倉公画伝草稿」を中心に	斉藤 全人	三の丸尚蔵館年報・紀要 18
INFORMATION AUTHOR この本の著者に会いたい人と自然の向き合い方が変わってきた! タナカカツキ『水草水槽のせかい』	石井 芳征	美術手帖	987	特集 美術団体リーダー拡大版 団体が守るべきもの変えるべきもの 改革進む「新生二科」 田中良(公益社団法人二科会理事長)・吉野毅(100周年記念事業・広報担当)両氏にきく		ギャラリー一* 342
ようこそ、新しい先生 08 田中圭子	田中 圭子	瓜生通信	58	読解 絵画鑑賞講座 23 鮮やか、球体絵画の具象風景—棚澤寛「飛行少女図」(二〇一三年)	ワシオ・トシヒコ	美術屋・百兵衛 27
SPECIAL FEATURE フランシス・アリス コラム2 つくり手の語るフランシス・アリス フランシス、あなたの本音はどこにあるの?	田中 功起	美術手帖	991	特集 円空 彫刻家・棚田康司が体験!! 技法から知る円空	新川 貴詩	美術手帖 979
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 田中功起にインタビュー 第55回ヴェネチア・ビエンナーレ 国際美術展日本館(特別表彰)代表アーティスト		美術の窓	360	となりのアートさん vol.4 棚田康司	ヤマザキ ユツミ	美術屋・百兵衛 24
大震災迂回し近づくベネチア・ビエンナーレ日本館[田中功起]	大西 若人	朝 日	1.8	コミック BIRD-MEN 1 田辺イェロウ(作) 突然俺の背中に翼が生え	ササキバラ・ゴウ	朝 日 12.1

巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道画談 3人の画家が語るローカル線の魅力[棚町宜弘]	編集部	美術*	453	問われる団体展 日展・不正審査問題 売り込み苦手な人について	田渕 俊夫	朝 日	12.10
今月のこの作家 この作品 棚町宜弘	編集部	"	454	水墨の最前線24 炎のごとくのはり立つ墨 玉井祥子	立島 惠	水墨画*	294
特集 スケッチに出かけよう ④技法講座 vol.29 技法講座4 筆ペンと水彩で描く 雨の国道駅 棚町宜弘	棚町 宜弘	美術の窓	359	画材考2 絵の充実はため息の数ほどに	玉川 信一	新美術新聞	1321
しごと図鑑 CGアニメの監督DLE 谷東さん 絵を描き宣伝、何役も	堀 大介	日 経	5.25	巻頭特集 魅惑の女性像 画家たちが描く奇跡の女性像 田宮話子		美術*	454
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて—現代の名作から小長井の海	谷井 俊英	美術*	453	巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 現代アートと洋画の新鋭 画廊編 田村香織	伊藤 美紀	"	460
MADO LIBRARY 谷川俊太郎『写真』	谷川俊太郎、飯沢耕太郎 対談	美術の窓	356	思い出す本 忘れられない本 天性のかしこさとやさしさ 愛の妖精 ジョルジュ・サンド著	田村セツコ	朝 日	3.3
茶話マンガ イタさへの共感誘う[谷川ニコ]	伊藤 剛	朝日夕刊	1.12	収蔵資料紹介 嵐溪夕照[田村宗立]		南丹市立文化博物館だより	9
L字生かした小学校設計の2人に野村賞[谷口吉生]		"	7.3	田村宗立と京都画壇	神林 恒道	視 る	462
デザインの現場 特別号「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Talk 対談 落合崇×谷尻誠 印刷と建築の境界線はどこにある?	土田 貴宏	美術手帖	978	新・現代日本の作家たち アトリエ窩真 No.015 田村能里子 身辺抄	田村能里子	美術*	460
インスピレーション 建築 建築×アートで、宇和島に新たなレイヤーを重ねる [東芋]	ぼむ企画	A X I S	165	連載 風のざわめき時のささやき 第1回 私の原点	"	"	"
ダンスと映像のとろける関係 舞踏家・森下真樹×現代美術家・東芋		芸術新潮	766	特集 日本の現代版画 1990-2013 爲金義勝《放浪者の肖像V》 1990年	爲金 義勝	版画芸術	162
INFORMATION EVENT ダンスと映像が見せる「あいまいな境界」[東芋]	編集部	美術手帖	993	作家通信 アトリエ盆(凡)景	為壮 真吾	水墨画*	291
文化の扉 はじめてのチャンネル 寂しさ抱えた人生に親近感	東 芋	朝 日	8.19	ひと文字14 樽本樹郎「貫」	樽本 樹郎	新美術新聞	1310
お手本画&秀作集 其ノ十九 田原風光《凜》	田原 風光	水墨画*	286	第45回 日展いよいよ開催 各科8作家が語る「日展とは、創作とは」若者よ、線を鍛えよ	"	美術*	458
海女の美しさ発信 「貴重な文化支えたい」写真家の足袋拔さん[足袋拔豪]		日経夕刊	11.30	生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く 知られざる丹下健三 はじめに…丹下健三の新しい遺品	太田佳代子	芸術新潮	764
				生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く 知られざる丹下健三 丹下健三の新しい史料を読み解く	磯崎 新 太田佳代子 聞き手	"	"
				その1 建築家として立つ			

その2 アーティストとの交流				特集 アートによる地域おこし case03 開港都市にいがた「水と土の芸術祭2012」地域独自の「祭り」としての芸術祭	丹治 嘉彦 齊藤 恵理 インタビュー アー	Cultivate	40
その3 「世界のタンゲ」への飛翔							
その4 海外進出と大阪万博							
生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く 知られざる丹下健三 新発見! 出征する友に贈った青春の叫び	編集部	芸術新潮	764	東松照明さん しのぶ会 「頼りがいある兄貴でした」丹野章さん、ユーモア交え	森本 智之	東京夕刊	4.4
生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く 知られざる丹下健三 インタビュー		" "	" "	水墨の最前線26 描きたいものに合わせて手法を紡ぎ出す融通無碍の山水 団野雅子	野地耕一郎	水墨画*	297
「成城の家には、丹下さんのすべてがありました」	篠田 桃紅			コミック とべっ!! LUCK★ROCK★GIRL 1 丹羽庭(作) なぜかバンドを組むことに	ササキバラ・ゴウ	朝 日	4.21
「丹下モデュール」には困り果てました」	松本 哲夫						
「撮りたいアングルが同じだったので、びっくり」	村井 修					(チ)	
生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く 知られざる丹下健三 写真家、丹下健三	編集部	" "	" "	きょうの人 近森基さん 「魔法の美術館」展に参加するメディアアーティスト 「次世代の人にインパクト残せたら」	黒沢 綾子	産 経	9.16
丹下健三による「広島平和公園計画」の構想過程	千代章一郎	日本建築学会計画系論文集	693	〈座談会〉 筆職人との対話から生まれたオアシス	足立 正平 神山 玄 東園 基昭 千々岩 修 福井江太郎 阿部 悠季	美 術*	458
ニュースの本棚 丹下健三生誕100年 「建築の本義」体現した「化身」	大西 若人	朝 日	10.27				
丹下建築 いま語ろう 丹下健三生誕100年	"	朝日夕刊	9.11	特集 水墨の美 わたしの考える墨の譜調 墨色は水を吸い、空気を吸って生きている存在を描き出すためのもの	千野 曜生	水墨画*	290
展覧会、出版…生誕100周年の丹下健三		産 経	8.1				
街かど人物館 アートで地域貢献 丹下健三のイベント実現		日 経	9.2	わたしたちの教室へようこそ 千野曜生 曜生水墨画会 作者の心象と描くものの本質を描き出すこと		"	297
鈴木博之の都市の呼吸 丹下健三の理想都市 近代建築に込めた超越性	鈴木 博之	毎日夕刊	9.10	作家通信 千野曜生 群馬県水墨画協会設立にあたって	"	"	"
丹下健三再評価へ機運 証言本出版相次ぐ	永田 晶子	"	9.11	第26回奨学者のレポート 記憶/記録/絵画	茅根 賢二	アクリラート(別冊)	2013
ISETAN FUTURE CURATION ファッションミュージアムへようこそ	丹下 憲孝 森田 恭通	美術手帖	983	注目のアート、紹介します 千葉陽 Flower		瓜生通信	59
「父は巨匠」の重荷 丹下憲孝さんに聞く 妥協せぬ仕事ぶり糧に 激動する建築に挑む	嶋沢 裕志	日経夕刊	12.7	手塚・ちば・水木…戦争、漫画家が描くメッセージ[ちばてつや]		朝日夕刊	8.10

話の肖像画 漫画家 松本零士 3 宇宙 列車の思い出[ちば てつや]	山田 泰弘 聞き手	産 経	6.19	新刊紹介 岩切友里 子監修『月岡芳年 幕末・明治を生きる 奇才浮世絵師』	井黒佳穂子	浮世絵芸 術	165
特集ワイド 強まる 表現規制 日本漫画 家協会理事長 ちば てつやさんに聞く 問題の核心は「知る 権利」	庄司 哲也	毎日夕刊	9.5	駆ける 科学に基づ き細密 CG 月本佳 代美さん	笹沢 教一	読売夕刊	12.5
私の先生 「絵が上 手」自信がかった 漫画家 ちばてつや さん	坂井 伸行 聞き手	読 売	10.31	街プレーバック つ げ義春『無能の人』@ 多摩川 石を売る人 生「夢だったんだろ うね」	松崎 聖子	朝日夕刊	6.21
特集 日本の現代版 画 1990-2013 中馬 泰文《AIR-PACK/M and M's》1993年	中馬 泰文	版画芸術	162	蔵出し 水墨画の逸 品17 都路華香《白 龍図》	鈴木 博喬	水墨画*	292
ひと 祖父の地・韓 国で初めて展示会 を開いた薩摩焼15代 沈壽官さん	中野 晃 朝 日	12.12	かぶきガイド 幕の 内外	辻 和子 東 京	5.20、 6.17、7.1、 8、15、23、 29.8.5、 19.9.2、 16		
3・11後を生きる 叫ぶ 5 事故の真 相アートに 芸術集 団リーダー 卯城竜 太さん[Chim↑Pom]	志村 彰太	東 京	3.27	特集 表現する女性 たち PART 2 辻 みどり	高山 淳	美術の窓	361
「明日の神話」に付け 物議 原発の絵 岡 本太郎記念館へ寄贈 [Chim↑Pom]	森本 智之	〃	4.22	伝統のその先へ 日 用品の中に潜む、用 の美 金網細工師 辻泰宏さん		瓜生通信	60
(ツ)				巨匠への第一歩 昭 和会展・最新世代の 魅力5 第44回展 「松村謙三賞」 辻本 健輝	辻本 健輝 松村 三貞 山本 南宏 南島 長谷川智恵 子	美 術*	451
リレーおびにおん アート de チェンジ 3 染織家 築城則 子さん 「地元の根 っこ」小倉織復元	高野 真吾 聞き手	朝日夕刊	9.10	王羲之題材に筆さば き披露[辻本大雲]	大沢 瑞季	毎 日	2.1
交遊抄 黒い瞳の想 像力	司 修	日 経	12.7	《昭忠碑》の〈金鶏〉を 作った人たち—彫刻 家・沼田一雅を中心 に[津田信夫]	田中 修二	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	5
学生企画—クロスロ ード 2012年度京都 造形芸術大学卒業展 大学院修了展[塚田 明香]		瓜生通信	58	勸進行脚で築いた良 寛堂 鍾々たる文化 人が協力した経緯、 祖父の備忘録調べ本 に[津田青楓]	反町タカ子	日 経	7.18
展覧会とアーティスト 3 絵画は奇跡を 再生していくこと [津上みゆき]		ギャラリー 一*	334	近代美術の眼 犠牲 者 崇高さ構図で演 出[津田青楓]	鈴木 勝雄	読 売	11.8
重層するイメージ	塚本猪一郎 談 栗本 寛子	版画芸術	162	創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 伊澤先生と私	津田 益夫	主体美術	94
特別読物 人間国宝 塚本快示と定窯白磁	弓場 紀知	淡 交	837	山下裕二の今月の隠 し球99、100 土田 泰子 武道の心で つくるコンセプト アル・ジュエリー (上、下)	山下 裕二	美術の窓	354、355
匠のかたち 金継ぎ [塚本尚司]	石黒 知子	A X I S	166	米沢市上杉博物館所 蔵 土田文雄作品の 保存修復	森 直義 大場詩野子	東北芸工 大保存修 復センタ 一年報*	4

特集2 彫刻・作家 ・作品論 土屋公雄 —四半世紀をめぐる 断章	青野 和子	REAR	29	椿貞雄《丘上之家》	熊田 司	えむえむ	4
巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 現代の名作 猫図40態 土屋仁応	土屋 仁応	美術*	458	瀬戸内国際芸術祭 2013 公式ガイドブ ック アートをめぐ る旅完全版春 小豆 島 Pick up People 椿昇 「坂手港+醬 の郷」プロジェクト アートは血流改善の 薬 元気になった小 豆島へ	椿 昇談	美術手帖	981
作家通信 元気のヒ ミツ 夢中になれる 時間	土屋 禮一	水墨画*	296	3・11後を生きる 非核×芸術案内 苦 悩続く限り未完成 私たちに問う 根源 的な問題[壺井明]	岡村 幸宣	東京	2.21
日本画家・土屋禮一 さんと行く ぎふの 画廊めぐり 第19回		美術*	453	座談会・坪井明日香 と女流陶芸展	乾 由明 坪井明日香 冷泉貴実子 森 孝一	陶 説	718
第45回 日展いよいよ 開催 各科8作家 が語る「日展とは、 創作とは」無名の 花こそ大切に育てる 団体でありたい	〃	〃	458	福岡市美術館の知ら れざる逸品 天使の 腰掛け[坪内一忠]	鬼本佳代子	エスプラ ナード	173
生老病死の旅路「精 神」という命は永遠 に 土屋禮一さん	井上 晋治 聞き手	読売夕刊	3.11	特集 日本の現代版 画 1990-2013 坪内 好子《VENTO BOM, AGUA NA VELA II》 2004年	坪内 好子	版画芸術	162
特集 表現する女性 たち PART 2 筒井 スミ子	高山 淳	美術の窓	361	特集 日本の現代版 画 1990-2013 坪田 政彦《Penetration- 21》 1990年	坪田 政彦	〃	〃
LOVECOMMONS 日本のために、そし て世界の子どものた のために	筒井はじめ 大前孝太郎	美術*	451	特集 日本の現代版 画 1990-2013 釣谷 幸輝《夜旅の旅》 1992 年	釣谷 幸輝	〃	〃
TOPICS 第27回パ リ国際サロン大賞受 賞作家 筒井義明の 世界	磯部 靖	美術の窓	357	美の履歴書 336 なぜ手がのしかかる 「重い手」 鶴岡政男	大西 若人	朝日夕刊	12.25
特集 20世紀のカリ スマ フランス・ ペーコンを解剖する 対話編 ペーコン五 面鏡 ゲイ そこを 隠さずに話そう	都築 響一、 保坂健二郎 対談	芸術新潮	760	百兵衛インタビュー 鶴田一郎 琳派の装 飾性・デザイン性を 継承する現代の美人 画絵師		美術屋・ 百兵衛	24
SPECIAL FEATURE 大竹伸朗 対談：生 き延びるためのア ート 都築響一×大竹 伸朗	岡澤浩太郎 構成	美術手帖	993	時に抗いし者たち一 私の小菩薩峠(12) [鶴田五郎]	大谷 芳久	一寸	56
主体のエネルギー	續橋 守	主体美術	94	原発問題 漫画で風 刺 栃木の夫婦2組 60点描き出版計画 [鶴丸光世]	岩岡 千景	東京	6.16
あす「国際平和デー」 平和の鐘響かせよう 国連の鐘の願い 日 本でも[都竹峰仙]	上條 憲也	東京夕刊	9.20	(テ)			
受賞者に聞く 損保 ジャパン美術賞展 FACE2013グラン プリ 堤康将さん	堤 康将 編集部 構成	美術*	451	天恩郷の日々 一九 五二~六八年(前、 後) 石黒宗麿と大 本三代教主出口直日 との交流などについ て	小野 公久	陶 説	718,719
巻頭特集 イチオン 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 日本画ニューエ イジ 画廊編 堤康 将 吉田潤	桜井美穂子	〃	460	活動報告 出久根育 さんのお話きく会 「プラハのくらし、 わたしの絵本」	松本 聞き手 猛	美術館・ 友の会だ より	180
かいのどうぶつえん	角田 元	国華清話 会会報	22				



総特集 やなせたかし アンパンマンの 心 やなせたかしの まんが道 「神様」と 「毛虫」のコラボレー ション—手塚アニメ 『千夜一夜物語』と、 やなせたかし[手塚 治虫]					日々好日 新たなも のを求めて	手塚 雄二	新美術新 聞	1302
ラララの時代 ハッ ピーエンドは時越え て 1 ガロンの産 声[手塚治虫]	津堅 信之	ユリイカ	631		それぞれの月が語り 合う 日本画家・手 塚雄二×彫刻家・深 井隆		美 術*	451
哲学・技法「父が求 めたもの」手塚プ ロダクション取締役 の手塚眞さん[手塚 治虫]	三嶋 伸一	朝 日	3.26		日本画家として心か ら納得のいく作品を 作りたい 手塚雄二 ×岸桂子		”	460
手塚漫画「ガロン」、 アニメに アトム放 映50年記念 核の力 問いかけ	”	”	4.19		平成24年度日本藝術 院賞(美術4氏)決定 恩賜賞に横彦氏、 能島和明氏、佐藤哲 氏、寺池静人氏が受 賞		新美術新 聞	1308
手塚・ちば・水木… 戦争、漫画家が描く メッセージ	”	”	4.19		面材考1 拘らず、 抵抗されつつも	寺久保文宣	”	1319
テレビ還暦60年 ア ニメは手塚治虫の「発 明」だった 省略が 生んだアトムの世界	”	”	4.19		美術団体レーダー [寺坂公雄]		ギャラリ ー*	336
話の肖像画 漫画家 松本零士 2 手塚 さんとの不思議な出 会い	三品 貴志	産 経	5.28	朝日夕刊	8.10		”	342
小5の手塚治虫さん 作 よみがえった紙 芝居 豊かな想像力 鮮やかな色遣い	山田 泰弘	”	6.18		特集 美術団体レー ダー拡大版 団体が 守るべきもの変える べきもの 「リリー フピッチャー」とし ての矜持 公益財団 法人日展理事長・寺 坂公雄氏にきく		”	342
アトムの涙 手塚治 虫が込めた思い 上、 下	山田 泰弘	”	6.18		ときの人51 公益社 団法人日展理事長 寺坂公雄さん 日展 は皆のもの—自由な 創作を守る		新美術新 聞	1318
「火の鳥」の夜の思い 出[手塚治虫]	山田 泰弘	”	6.26		新・現代日本の作家 たち アトリエ寫眞 No.010 寺坂公雄 身辺抄	寺坂 公雄	美 術*	455
生老病死の旅路 辻 真先さん アニメ 心を育む伏流水に [手塚治虫]	村田 雅幸	読 売	2.18		ひと 日展理事長に 就任した 寺坂公雄 さん		”	”
松本零士さんに聞く 世界と競争 挑戦続 く 志同じ3人「運 命的な交流」[手塚治 虫]	松本 零士	”	5.3		第45回 日展いよいよ 開催 各科8作家 が語る「日展とは、 創作とは」 日展に いることによって作 家活動をしやすいよ うにしてあげたい	”	”	458
アニメの都 2 虫 プロの技 脈々と 絵の枚数削減 早く 早く[手塚治虫]	”	”	5.4		本江邦夫の「今日は、 ホンネで」 第69回 洋画家 寺坂公雄		”	460
夢見た21世紀 どこ までも現実に 「科 学予測本」53年ぶり 復刻 手塚治虫さん 子供向け挿絵 希望 膨らんだベストセラ ー	富山 優介	”	11.10		新聞連載「1日1枚、 贈り物選ぶように」 「ガソリン生活」挿絵 の寺田克也 個展に 全話の原画/物語浮 かぶ画集	高津 祐典	朝日夕刊	3.12
					現代作家紹介 シュ ーコ・ワールドをめ ぐるカッコ氏との対 話[寺田就子]	篠原 資明	美術フォ ーラム21	28

本づくし「“行動”の選択が今につながった」『幼児化するヒト—「永遠の子供」進化論』クライブ・プロムホール著/塩原通緒訳	寺田 尚樹	A X I S	161	追悼 東松照明さん 写真家集団「よね」への思い	細江 英公 産 経	1.14
創立50周年特別企画シリーズ 主体展「礎の作家たち」を語る「勝ち越すことが大事」—寺田先生の言葉。[寺田政昭]	返町 勝治	主体美術	94	東松照明さんを悼む 戦後日本 独自の視座で	上野 昂志	東京夕刊 1.17
ブックマーク「寺山修司」を展示する上、下	藤原 徹平	毎日夕刊	7.16、23	偲ぶ 変容する日本を見つめ続けた写真家 東松照明さん 矛盾をえぐり出す	宮川まどか	” 1.29
ART+ 見る者次第で価値観反転[照屋勇賢]	(井)	読売夕刊	1.28	東松照明さん しのぶ会「頼りがいある兄貴でした」丹野章さん、ユーモア交え	森本 智之	” 4.4
毎日芸術賞の人々上 テレビマンユニオン「動詞」であり続け43年	岩崎 信道	毎日夕刊	1.7	追想録 東松照明さん(写真家) 戦後の日本、レンズで注視		日経夕刊 2.22
21世紀のアーティスト 天明屋尚		ギャラリー一*	336	「写真とは何か」根源的に問い 東松照明さんを悼む	金子 隆一 寄稿	毎日夕刊 1.10
(ト)				東松照明さん死去 82歳 写真家、長崎・沖縄 鮮烈に		読 売 1.8
茶話マンガ 破天荒なうその値打ち[藤柴道彦]	伊藤 剛	朝日夕刊	3.9	追悼・東松照明さん 何を撮っても生々しい方法論 常にアレンジ	森山 大道 談	” 1.10
関西館10周年を迎えて1 私をめざす公共建築—国立国会図書館関西館、森鷗外記念館の経験を経て	陶器二三雄	国立国会図書館月報	622	追悼抄 写真家 東松照明さん 好きな被写体 撮り続けた	右田 和孝	読売夕刊 3.9
コミック 少年Y1 ハジメ(原作)とうじたつや(作画) 転校先のクラス全員が死亡?	南 信長	朝 日	6.23	コミック ニッケルオデオン【録】 道満晴明(作) 無機質なのに温かい短編集	山脇 麻生 朝 日	3.3
21世紀のアーティスト 東城信之介		ギャラリー一*	341	視線 シスコと生きる[塔本シスコ]	大西 若人	” 4.21
INFORMATION MEMORIAL 追悼・東松照明 最前線で現役を貫き通した60年—写真家・東松照明	伊藤 晴子	美術手帖	980	INFORMATION MEMORIAL 追悼 堂本尚郎 父のこと—堂本尚郎追悼	堂本 右美	美術手帖 997
東松照明さん死去 長崎・沖縄にフォーカス		朝 日	1.8	美の季想 堂本尚郎との青春 セヌ川での熱い語らい	高階 秀爾	朝日夕刊 10.30
光と風追った写真界の親方 東松照明さんを悼む	荒木 経惟	”	1.9	追想録 堂本尚郎さん(画家)「安定」嫌った前衛の画人		日経夕刊 11.15
批判と創造 飽くなき追求 戦後写真における東松照明	倉石 信乃	朝日夕刊	1.16	変容を恐れぬ勇氣 堂本尚郎さんを悼む	尾崎信一郎	毎日夕刊 10.9
惜別 写真家 東松照明さん 被爆・沖縄 時間が動き出す	木村 司	”	2.16	さらば、戦後のパリ画壇 堂本尚郎さん死去 もう誰も残っていないのか	野見山暁治	読 売 10.31
				INFORMATION MEMORIAL 追悼 堂本尚郎 父のこと—堂本尚郎追悼	堂本 右美	美術手帖 997

この人 出雲大社、伊勢神宮に太刀を納めた柄巻師 遠山康男さん 娘を嫁に出したときの気持ちと同じやった	成田 崇憲	東京	9.27	作家通信 水墨画作品112点を寄贈	〃	〃	296
特集 表現する女性たち PART 2 徳植久子	高山 淳	美術の窓	361	世界文化遺産登録記念 大特集 富士山 その絵画と信仰 富士画1000年史 絵画篇 後篇 富岡鉄斎最後の文人画家が捉えた富士の生命力	福士 雄也	芸術新潮	765
大名庭園 武家の美意識ここにあり 写真家大名 徳川慶勝	佐藤 豊三	太陽(伊冊)	204	富岡鉄斎の見た赤壁会	柏木 知子	書 論	39
徳川慶喜、洋画家の一面 美術史に位置づける動き 没後100年 研究進む	田村 広濟	日 経	11.30	鉄斎と謙蔵	〃	〃	〃
研究ノート 徳永仁臣スケッチ帖より[徳永柳洲]	橋村 直樹	岡山県立美術館ニュース	102	蓮月と鉄斎(上、下)	佐藤 節夫	陶 説	726、727
《東海道懐古帖》の史的位置ーリアリズムをめぐるあるひとつの断層ー[徳永柳洲]	角田 拓朗	神奈川県立博物館研究報告	40	碧南 美術逍遥[富岡鉄斎]	木本 文平	碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要*	2
大震災 今に伝える90年前 克明に惨状描いた徳永柳洲 孫娘「継承、生かされた者の使命」	渡辺 洋介	朝 日	9.2	美の履歴書 288 霊峰へ導いたものは「富士山嶺麓略図」富岡鉄斎	西岡 一正	朝日夕刊	1.16
マンガで仕事拝見 恐竜研究「COMIC恐竜物語」所十三さん		東京夕刊	7.27	勸進行脚で築いた良寛堂 錚々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に[富岡鉄斎]	反町タカ子	日 経	7.18
続・松楓詩絵文台硯箱と戸寫光宇	小松 大秀	学習院大学史料館紀要	19	特集 表現する女性たち PART 2 富田郁子	磯部 靖	美術の窓	361
第26回奨学者のレポート 制作について	豊島 尚	アクリラート(別冊)	2013	洋画家 富田郁子		美術屋・百兵衛	26
神戸ビエンナーレ2013 公式ガイドブック interview アーティストたちの神戸 戸島麻貴		美術手帖	994	美の履歴書 329 大観に愛された理由「祇園夜桜」富田溪仙	西岡 一正	朝日夕刊	11.6
社会見据える力、光った 木村伊兵衛賞の2氏[百々新]	西岡 一正	朝 日	3.18	美の美 風神雷神図の系譜 下 伝統学びつつ新たな視点 宗達精神、現代へ脈々と[富田溪仙]	田村 広濟	日 経	10.6
お手本画&秀作集 其ノ二十 外崎裕瀧《津軽路》	外崎 裕瀧	水墨画*	287	伝統のその先へ 使い手に合わせて仏像をつくる 京仏師 富田珠雲さん		瓜生通信	59
海外展レポート ベトナムと日本を繋いだ悠久の風景ー日越外交関係40周年記念鳥羽美花展	編集部・N	美術*	460	ようこそ、新しい先生 02 トミタ・ジュン	トミタ・ジュン	〃	58
顔 型染めの展覧会をベトナム・ホーチミン市で開く染色作家 鳥羽美花さん	木須井麻子	読 売	11.20	第18回総合水墨画展 レポート 上位受賞者のことば 作家部門 大賞・文部科学大臣賞 富永成風《聖牛》	富永 成風	水墨画*	296
お手本画&秀作集 其ノ十九 飛田硯水《宿借帷》	飛田 硯水	水墨画*	286	語り継ぐテレビ60年 富野由悠季 「ガンダム」以後 オタクアニメの市場成長「エヴァンゲリオン」ファン層拡大	笹島 拓哉	読売夕刊	6.13
				富本憲吉論再考ー未公開写真を中心としてー	森谷 美保	鹿島美術財団年報・別冊	30

古陶磁と近代日本の陶芸家—鑑賞と制作—[富本憲吉]	花井 久穂 東洋陶磁	42	
入門講座 モダンデザインの系譜 1 「もの」から生活変革芸術と使い勝手一体化[富本憲吉]	柏木 博 日経夕刊	5.2	
入門講座 近代陶芸家くらべ 2 板谷波山×富本憲吉 産業工芸から個性表現へ	金子 賢治 "	9.12	
時代の証言者 染めと織り 志村ふくみ 13 富本夫妻 厳しい教え	古沢由紀子 読 売	2.26	
お手本画&秀作集 其ノ二十一 富山幸恵《大きくなあ〜れ!》	富山 幸恵 水墨画*	288	
交遊抄 芸術家の格闘[土門拳]	藤森 武 日 経	2.2	
美の美 木村伊兵衛 スナップの粹 下 絵のような表現法を否定 何げなさが現実とらえる[土門拳]	干場 達矢 "	12.29	
こころの玉手箱 写真家 川田喜久治 1 土門拳さんのサイン入り写真集 駆け出しの忙しさを回想	川田喜久治 日経夕刊	11.5	
ひと 刑務所を撮り続ける写真家、作家 外山ひとみさん	山田 奈緒 毎 日	5.2	
ニッポンの刑務所30 外山ひとみ著	橋爪大三郎 読 売	4.28	
追悼 豊島弘尚先生 豊島弘尚/“怒れる絵画”を生み続けて—文明の辺境と周縁に想像力の拠点見出す—	谷 新 新美術新聞	1330	
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語る 豊田さん[豊田一男]	浅野 修 主体美術	94	
ふるさと 絵本作家とよたかずひこさん 仙台市 原点は「宮城県庁の写生画」	大沢 帝治 聞き手	読 売	5.28
茶話マンガ レトロで旬「水木タッチ」 [ドリヤス工場]	伊藤 剛 朝日夕刊	6.8	
少年のためひたすら描き続けた ドラゴンボール・鳥山明さん	岩本 哲生 朝 日	3.27	

(ナ)

新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.008 内藤定壽 身辺抄	内藤 定壽 美 術*	453	
国立競技場「ザハ生涯の傑作を」 審査委員の内藤氏 見解公表[内藤廣]	大西 若人 朝日夕刊	12.13	
近代システムの劣化 内藤廣さんに関く 私権と公共 怠った 整合 真の自治取り戻せ	小橋 弘之 日経夕刊	1.26	
注目の作家 名嘉睦稔 ニライ・カナイへのオデッセイ	松山 龍雄 版画芸術	160	
特集 日本の現代版画 1990-2013 名嘉睦稔《真南風の向日葵》 1998年	名嘉 睦稔 "	162	
顔 沖縄のサンゴを描いた木版画が国際会議ポスターになった 名嘉睦稔さん	吉良 敦岐 読 売	6.30	
本づくし 「美しいものを生み出す人」 『つくることば いきることば』永井一正著	深澤 直人 A X I S	163	
視線 永井一正ポスター美術館	大西 若人 朝 日	3.17	
自作発見 永井一正「札幌冬季五輪マーク」初雪の紋、日本の感性象徴	増田 愛子 朝日夕刊	1.23	
本よみうり堂 「永井一正ポスター美術館」 永井一正著	(井) 読 売	4.7	
東京五輪デザイン 1964年と2020年 統一感が「連帯」生む 若手の力試される舞台 デザイナー・永井一正さん	井上 晋治 森田 睦	"	10.18
特集 日本の現代版画 1990-2013 永井 研治《WL・01-11》 2001年	永井 研治 版画芸術	162	
ぎやらりいモール 錦木清方記念美術館 「正月の風情—羽子板展」から 「押絵羽子板・かるた(一月) (明治風俗十二ヶ月のうち)」 永井周山(意匠)	宮崎 徹 読売夕刊	1.8	
キラリ人生 感性はずむアート知って[中 畝常雄]	草間 俊介 東 京	5.22	

近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新 呉昌碩が日本にもたらした もの一河井荃蘆・長尾雨山を介しての 伝播	松村 茂樹	アジア遊学	168	『ゲン』に見た深い痛憤 中沢啓治さんを悼む	呉 智英 朝 日	1.7
各地からの出品者の 思い 故郷にて	中尾廣太郎	日展ニュース	149	「はだしのゲン」未完 の第2部[中沢啓治]	清宮 涼	" 1.11
水墨画の風景7 色の 融合・西洋画法の 融合[長尾正大]	島尾 新	水墨画*	288	「ゲン」小中高で閲覧 制限 松江市教委 「描写が過激」作品 の本質見抜く力信じて [中沢啓治]	藤家 秀一 武田 肇	" 8.17
作家自選作品集4 長尾正大 《臨流弾 素琴》	長尾 正大	"	292	天声人語[中沢啓治]	"	" 8.18
ようこそ、新しい先生 03 ナガオカケン メイ	ナガオカケン メイ	瓜生通信	58	はだしのゲン 閲覧 制限はすぐに撤回を [中沢啓治]	"	" 8.20
特集 ナガオカケン メイ「つくらない」か ら、学ぶ	"	"	60	「10歳でゲン読めて 良かった」「読まれる べきだ」米の漫画家 訴え「自由に閲覧を」 被団協が要請書[中沢啓治]	古田 大輔	" 8.24
ナガオカケンメイ ・ロングインタビュー 「つくらない」からは じまるデザイン	"	"	"	惜別 漫画家 中沢 啓治さん ゲンに託 した怒りと祈り	後藤 洋平	朝日夕刊 2.9
ナガオカケンメイ と眺める 京都の ロングライフデザ イン	"	"	"	未完の「ゲン」新たな 遺稿 故中沢さん自 宅から16ページ 孤 児と交流・別れ描く	小玉 重隆 後藤 洋平	" 2.15
巻頭特集 やっばり 猫デアル。古今猫図 100選 現代の名作 猫図40態 中上誠章	中上 誠章	美術*	458	手塚・ちば・水木… 戦争、漫画家が描く メッセージ[中沢啓 治]	"	" 8.10
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 中川 和子	高山 淳	美術の窓	360	きれいな戦争はない んだ ゲン描写 中 沢さんの思い 妻・ ミサヨさん「一番の テーマは踏まれても まっすぐ伸びる麦」	武田 肇 聞き手	" 8.27
私の履歴書 野村萬 21 洒脱極めた画の 大家 味のある書、 床の間に飾る[中川 一政]	野村 萬	日 経	8.22	3・11後を生きる 非核×芸術案内 見 えない暴力の構造見 すえ[中沢啓治]	岡村 幸宣	東 京 2.14
コミック ほしにね がいを 中川貴賀 (作)「人になった 星」めぐる物語	南 信長	朝 日	7.14	ゲンの魂 国も世代 も超え 連載40周年 生きる強さ伝えたい [中沢啓治]	"	東京夕刊 8.3
交遊抄 幸せにする 詩人	中川 道夫	日 経	12.21	「はだしのゲン」の衝 撃 米少女を漫画家 に 9歳の体験 日 本人が和訳 「問題 意識持つきっかけ」 [中沢啓治]	上野実輝彦	" 8.23
その先の世界へ フ ォトジャーナリスト ・長倉洋海 死者との 連なり episode 5 追憶	長倉 洋海	毎 日	12.13	「はだしのゲン」閲覧 制限を撤回 松江市 教委 「手続きに不 備」[中沢啓治]	"	日 経 8.27
特集 表現する女性 たち PART 2 中畔 千嘉	中畔 千嘉	美術の窓	361	追想録 中沢啓治さ ん(漫画家) 原爆へ の怒り最期まで	"	日経夕刊 2.22
インスピレーション インテリア 「何も しない」状態を緻密 に完成させる[長坂 常]	土田 貴宏	A X I S	163			

「はだしのゲン」世界 駆ける 作者の遺志 継ぐ イラン人留学 生がペルシャ語版[中 沢啓治]		日経夕刊	8.5						第45回 日展いよいよ開催 各科8作家が語る「日展とは、創作とは」師が思わず何か言いたくなる作品を描かなければ	美 術*	458		
「ゲン」自由閲覧禁止 松江市教委、全校に 要請 「描写過激」 [中沢啓治]	宮川佐知子 山田 奈緒	毎 日	8.17						こころの玉手箱 日本画家 中島千波 5 父と合作したひな人形[中島清之]	中島 千波	日経夕刊	6.21	
「ゲン」制限撤廃 図 書館協会要望 松江 市教委に[中沢啓治]		〃	8.23						創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 吉井忠先生の思 い出	中島 佳子	主体美術	94	
漫画家中沢啓治さん と同級 被爆の画家 「ゲン」の遺志を継ぐ 原発被災者思い「使 命」	飯田 憲	毎日夕刊	8.5						当館のイチオシ 多 面体の愛らしい一面 中島千波《信濃の幸》 おぶせミュージアム ・中島千波館	ギャラ リ	343		
「ゲン」第2部の下書 き 平和記念館に寄 贈へ 埼玉の自宅新 たに16ページ[中沢 啓治]		読売夕刊	4.9						新美術時評＝美術と 教育10＝ 世代を超 え表現を競う	中島 千波	新美術新 聞	1326	
ながさわわかひろの 「に・褒められたく て」 Vol.30～36	ながさわ かひろ	美術手帖	977、979、 980、982、 984、985、 987						シリーズ 現代日本 画の最前線2 中島 千波《隆谷寺の枝垂 桜》	編 集 部	美 術*	451	
版画でプロ野球ニュ ース ひいき球団の 全試合観戦、ハイラ イトシーン描く	〃	日 経	4.29						郷さくら美術館名品 選 うつくしき、日 本のけしき 第二回 三春の瀧桜 中島千 波《春夜三春の瀧桜》	中島 談	千波	〃 〃	
巻頭特集 世界市場 で高騰中! 「具体」 ってなに? 日本戦 後前衛美術史 前衛 は更新され続ける	中ザワヒデ キ	美 術*	455						郷さくら美術館 第 1回桜花賞展 総評 総じて細密な手法が 印象的 でももっと 大胆に、品格をもつ て爆発してほしい!	中島 千波	〃 〃		
REVIEWS		美術手帖	982						Artist Group 一風 一	中島 中野 島中	千波 嘉之 光享	〃	454
第四表現主義の画 家	〃								演劇と交わる緞帳の 美 呉服の染織技術 生きる[中島千波]	増田 愛子	朝日夕刊	10.16	
長距離ランナーの 孤独 「中ザワヒ デキ展 脳で見る アート」展	神山 亮子								歌舞伎座 逸材や美 術の粋 凝縮[中島 千波]		東京夕刊	4.2	
脳で描く多彩な模様 中ザワヒデキが作品 展	大西 若人	朝日夕刊	2.6						こころの玉手箱 日 本画家 中島千波 1～5	中島 千波	日経夕刊	6.17～21	
展覧会レビュー part.1 生誕120年 宮芳平展 混色の中 の慈愛	中沢 優子	美 術*	460						歌舞伎座 新開場 「よっ! 5代目」工 事に延べ40万人「日 本文化のシンボルこ 舞台 樹齢100年を 超すヒノキ[中島千 波]			4.2	
特集 日本の現代版 画 1990-2013 中路 規夫《6 P# MY RO- MANCE - Bill Evans, Bill Evance...》 1998年	中路 規夫	版画芸術	162						自由な作陶「古武雄」 あり 素朴な唐津焼 と異なる色彩・文様 に心奪われ半世紀	中島 宏	日 経	3.25	
追悼 生誕100年 杉岡華郎展より 「三輪の絵原」制作の 思い出	中路 融人	新美術新 聞	1305										

「版画アートコレクション」の作家 長島充 「神話と伝説」の幻獣と「自然」の野鳥たち	松山 龍雄	版画芸術	161	研究ノート 複製をめぐるひらめきの置換	中田ナオト	多摩美術研究	2
特集 日本の現代版画 1990-2013 長島充《新博物誌-II・Raven》1997年	長島 充	"	162	超普通-愛知、金沢、ミネアポリス(リポート)	"	多摩美術大学研究紀要	27
湯けむり富士 いい絵だな♪ 銭湯に描き半世紀 中島さん「これ以上の題材ない」[中島盛夫]		日経夕刊	6.29	第44回日展 新入選者寄稿-喜びと抱負- 陶芸と私	永田 久敏	日展ニュース	148
創立50周年特別企画シリーズ 主体展「礎の作家たち」を語る 「生活実感」の創作信条を貫いた画家 [中島保彦]	佐藤 善勇	主体美術	94	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 中谷基子	中谷 基子	美術の窓	360
デザインの現場 特別号 「メタリック」で広がるデザインの可能性 光と輝きで差をつける Trial メタリック・インク ジェット・トライアル ターボリンでアクセサリーをつくる。長嶋りかこ	猪飼 尚司	美術手帖	978	シリーズ・具体美術の画家 2 元永定正 共に生きた作家 中辻悦子に聞く、夫・元永定正の生き方。	編集部	ギャラリー一*	342
巻頭特集 魅惑の女性像 画廊街で出会える女性像 永瀬美緒		美術*	454	特集 表現する女性たち PART 2 永名二委	磯部 靖	美術の窓	361
REVIEWS 人型は構造に肉迫するか? [中園孔二]	沢山 遼	美術手帖	993	中西夏之の絵画制作方法 1981年放映《美の世界》を手がかりに	小田原のどか	芸術学研究(筑波)	18
REVIEWS 〈家族〉という経験 [仲田絵美]	川村 麻純	"	991	7年後 復興のヒロシマ 岩波書店 未発表写真130点刊行へ [長野重一]		読売夕刊	7.9
永田一脩とプロレタリア美術運動 1、2	山口 泰二	美術運動史研究会ニュース	136,137	彫刻家の現場 [アトリエ] から 93 中野滋	武田 厚	美術の窓	353
受賞学生インタビュー 第10回 「Tokyo Sonic Art Award」グランプリ受賞	永田 康祐	芸大通信	27	導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(2)-「美術リテラシー」に関するアンケート(2)-	杉山 倫世 長谷川 界 中野 正樹 浅川 武井 武井 文	横浜美術大学・研究紀要	3
特集 建築評価の現在形: 脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 「みんなの家」に向き合った人たちのこと	中田 千彦	建築雑誌	1645	巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 写真画新世代 画廊編 中野淳也 大熊弘樹	植松 和美	美術*	460
コミック 戦場アニメーション 1 中田貴大(作) 高校生がアニメ作りに挑戦	山脇 麻生 朝 日		6.16	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 中野日和	中野 日和	美術の窓	360
作家訪問435 現代美術作家 永田哲也さん	編集部	目の眼	437	この三冊 長野陽一・選 故郷	長野 陽一	毎日	4.14
				Artist Group 一風	中島 千波 中野 嘉之 島中 光亨	美術*	454

				2.6、27、 3.27、 4.17、5.8、 29、6.19、 7.10、31、 8.28、 9.25、 10.23、 11.13、 12.4、 12.25	特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン 対談 林静一× 中村佑介 大きな瞳 の見つめる先に 浮 世絵、夢二から少女 マンガまで			”	”
銀幕一刻	長野亮之介	読売夕刊			特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン 少女文化の源流			”	”
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No.38 純日本的彫 刻への挑戦	中ハシクシ ンゲ、 小川 英晴 談	ギャラリ ー*	343		「二度と来ない少 女時代」に ガー リー・カルチャー の源泉としての中 原淳一	小澤 京子			
「新具象彫刻展を出 発点とした東京造形 大学出身者たち」展 [中ハシクシゲ]		”	”		中原淳一と少女た ちのメディア 少 女雑誌からファッ ション誌へ	井上 雅人			
館藏品紹介《中(P OSITIVE)》一九九二 中ハシクシゲ	中西 博之	国立国際 美術館ニ ユース	197		特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン 美しい暮らし、 新しい女性			”	”
インタビュー 浜田 知明氏に聞く「戦争 と絵描きの眼」	中林 忠良 聞き手	連盟ニユ ース	445		ファッションデザ イナーとしての中 原淳一	田中 里尚			
投稿 草の根：スウ ェーデンと日本の架 け橋	中林富紀子	”	446		きものと中原淳一 JUNICHI KIMONO で愉しく、新しく	小山 有子			
日本の洋家具 百貨 店育ち 始まりは明 治の皇室・華族向け、 手描き図面が誇り	中林 幸夫	日 経	12.24		手づくりのデザイ ン 中原淳一のグ ラフィック・デザ イン	柏木 博			
ひと文字17 中林露 風「騒」	中林 露風	新美術新 聞	1326		特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン 少女のモダン			”	”
特集 期待の若手作 家を発掘せよ！ 新 人大図鑑13 巻頭 インタビュー 注目 の若手作家たち 中 原亜梨沙	中原亜梨沙	美術の窓	357		中原淳一のバリ交 友録	田中 琢三			
近代美術の眼 残雪 長原孝太郎 春の訪 れ 文化の融合	鈴木 勝雄	読 売	3.8		“美しくある”た めの鏡としての人形	藤田 一人			
特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン エッセイ		ユリイカ	637		中原淳一の夢と理 想の「人形世界」 絵と読者、そして 写真	藤井 秀雪 石田 美紀			
不滅の大芸術家、 中原淳一	やなせたか し				特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン 『少女の友』再考			”	”
ゆとり世代の中原 淳一	嶽本野ばら				リーフレットの語 るもの	遠藤 寛子			
「人生はスカートの 長さではないの です」	早川 茉莉				戦時下の『少女の 友』少女の夢を 育む美意識と、言 論統制	矢部(水谷) 真紀			
中原淳一の編集力 きるもの・よりの もの・かわりもの	松岡 正剛				「少女」になる 少 女雑誌における読 むこと／見ること ／書くことをめぐ って	今田絵里香			
中原淳一が描く二 次元フードの魅力	福田 里香								
トイレに中原淳一 あり	加古 臨王								



『乙女の港』川端康成と中原淳一の紡ぐ「少女だけの世界」	中嶋 展子			新しいコレクション 中平卓馬《「サーキュレーション」-日付、場所、行為より》	増田 玲	現代の眼	603
特集 中原淳一と少女イラストレーション 淳一イズムの継承		”	”	展覧会レビュー part 1 三つの視点 白隠展 HAKUIN 禅画に込めたメッセージ 画家の視点 好き勝手に描く開放感と不可思議な空間	中堀 慎治	美術*	451
スタイル画と様式(スタイル) 抒情的な少女マンガへ	岩下 朋世			巻頭特集 魅惑の女性像 画家たちが描く奇跡の女性像 中堀慎治		”	454
少女絵の中原淳一 娘が語る父の記憶 昭和館で展覧会・講演	吉本美奈子	朝 日	4.14	かぞくの肖像 流氷りんごさん スノーク 会話に抗議や合いの手	伊藤 耕平 聞き手	朝日夕刊	8.8
色あせぬ中原淳一	高橋 牧子	朝日夕刊	2.14	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 中道美佐子	磯部 靖	美術の窓	360
自著を語る 稀有な画家の足跡集めて高橋洋一さん『中原淳一 美と抒情』			東京夕刊 1.8	伝統工芸チャレンジ大賞 「蒲田切子」など受賞[中満正貴]	井上 圭子	東京	12.1
王羲之題材に筆さばき披露[中原茅秋]	大沢 瑞季	毎 日	2.1	明治教科書の挿絵画家(抄)一携わった画家や彫師の探索— [永峯秀湖]	岩切信一郎	一 寸	54
総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 ふたりの案内人都市とユートピア	ブノワ・ペーターズ、 フランソワ・スクイテン、 伊東 豊雄、 仲原 正治、 マニュエル・タルディッツ ツツ会	ユリイカ	624	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 1 中村英	磯部 靖	美術の窓	360
ぼくの採点症 第25~36回	中原 昌也	芸術新潮	757~768	特集 日本の現代版画 1990-2013 中村桂子《balance 94-8》1994年	中村 桂子	版画芸術	162
特集 20世紀のカリスマ フランシス・ベーコンを解剖する対話編 ベーコン五面鏡 映画 イタリアの監督はベーコンがお好き	中原 昌也、 保坂健二郎 対談	”	760	パブリック・アート 散歩 〈シリーズ No.3〉菊池市/市民広場界限-菊池武光公像と菊池夢美術館の大家耕二作品[中村晋也]	古家 良一	View	144
フェイス21世紀169 中原未央 描き続けた思い、実らせ	和田 圭介	新美術新聞	1305	彫刻家の現場[アトリエ]から 101 中村晋也	武田 厚	美術の窓	361
巨匠への第一歩 昭和会展・最新世代の魅力8 第48回展「昭和会賞」 中原未央	松村 謙三、 奥谷 博、 南 宏、 長谷川徳七 ホスト	美術*	455	自作再見 中村晋也「大久保利通像」西郷ひいきに毅然と	安斎 耕一 聞き手	朝日夕刊	11.27
特集 マチエールの基本と応用 技法講座 vol.30 話題の若手作家の技法 中原未央 刻を内包する空間	中原 未央 談	美術の窓	362	中村大三郎の西洋美術学習	植田彩芳子	朱雀	25
特別企画 春陽展90回記念展 新世代の作家 『月影』(タイトル)の変化と孔版に就いて	中東 剛	ギャラリ	336	茶話アニメ 2作家の個性がギョッ[なかむらたかし]	藤津 亮太	朝日夕刊	11.16
				時に抗いし者たち—私の小菩薩峠(11、12)[中村彝]	大谷 芳久	一 寸	55、56
				旧中村彝アトリエの保存展示—画家のアトリエと落合文化村	中川 武	早大會津八一記念博紀要*	14

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ナ)

カジュアル美術館 カルピスの包み紙の ある静物 中村彝 茨城県近代美術館 死の淵であふれる生 命 多くの斜線と曲 線 柔らかさ生む	三沢 典丈 東 京	6.16	総特集 岡村靖幸 インタビュー 観察 する/される岡村靖 幸「BU-SHAKA LOOP」誕生秘話	中村 勇吾 編集部 ユリイカ	629
巻頭特集 イチオン 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 日本画ニューエ イジ 画廊編 中村 英生	青山 多男 美 術*	460	特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン 対談 林静一× 中村佑介 大きな瞳 の見つめる先に 浮 世絵、夢二から少女 マンガまで	”	637
戦中から戦後へ作家 をたどる 17 中村 宏	笹木 繁男 美術運動 史研究会 ニュース	140	活動と抱負 豊の保 存技術の現状と課題	中村 勇三 全文連文 化財通信	87
自作再見 中村宏 「階段にて」 場面 を接続 リアリティ 狙う	大西 若人 朝日夕刊	4.3	日本画 中村讓《異 国のレストウラント》、 《豊漁鯛網》	尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要	12
新・旧刊案内55 中 村不折の新聞挿絵と 彫師前田剛二	青木 茂 一 寸	55	画材考5 スクータ ーから「出会い」を求 めて	中村 讓 新美術新 聞	1330
発表要旨 第二十六 回研究会 絵葉書・ 絵地図に描かれた近 代の名勝—三人の画 家による自然風景— [中村不折]	南出みゆき 大正イマ ジュリイ	8	「家」のあり方 震災 で再考 小屋・仮設 住宅 建築家が展示 水や電気を自給 人 が集う場重視[中村 好文]	窪田 直子 日 経	5.11
王羲之の拓本など展 示 書道博物館で企 画展[中村不折]	ヨミウリ・ ジュニア・ プレス取材 班	読売夕刊	丁亥印社リレー投稿 12 本邦印人資料 存疑[中村蘭臺]	野中 秀昭 書道界	280
特集 木造の未来— 持続可能な社会を求 めて 木造でつくる、 次世代の「近代建築」	中村 勉 アプロー チ*	204	19、20 長野善光 寺周辺における二 世中村蘭臺の作品 (上、下)	松尾 碩甫	287、288
惜別 グラフィック デザイナー 中村誠 さん 広告でリアル な女性美を追究	西岡 一正 朝日夕刊	8.24	ひらく地平 盛岡市 発 藍染め 愛する 海の色 思い出は奪 われない[永守勝子]	広瀬 洋平 日 経	6.30
映像でたどる異才画 家・中村正義 日本 画に新風 苛烈な生 を追う	小高 庸門 東 京	1.9	「霧の彫刻」 中谷芙 二子さん 日英仏3 カ国語の作品集刊行 変化する風との対話 楽しんで	岸 桂子 毎日夕刊	6.13
私説 論説室から 画家中村正義の再発 見	桐山 圭一 ”	1.21	「国際港都 神戸風 物展」について[中山 岩太]	相良 周作 兵庫県立 美術館研 究紀要	7
美術家森村泰昌が見 た映画「父をめぐ る旅」[中村正義]	森村 泰昌 日 経	1.10	近代美術の眼 「中 山岩太ポートフォリ オ2010」より 10 蝶(一) 暗闇で生み 出す独自の美	増田 玲 読 売	6.14
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 中村 マヤ	磯部 靖 美術の窓	360	お手本画&秀作集 其ノ十九 中山雄博 《山門》	中山 雄博 水墨画*	286
本江邦夫の「今日は、 ホンネで」 第63回 日本画家 中村宗弘	美 術*	454	新美術時評=美術と 教育3=アカデミー 中山・イン・藝科	中山 忠彦 新美術新 聞	1305
注目のアート、紹介 します 中村萌 「Blue twilight」	瓜生通信	60	巨匠への第一歩 昭 和会展・最新世代の 魅力	松村 謙三、 中山 忠彦、 南真 宏、 長谷川智恵 子 ホスト	美 術* 452

6 第48回展「東京海上日動賞」 山内大介					特集 クマ 怖ろしさ と尊さとの可愛さ とクマとの邂逅 メーブルインタビュー クマ、カッチャク、 死	酒井 駒子 名久井直子 聞き手	ユリイカ	633
7 第48回展「松村謙三特別賞」 佐藤陽也	453							
巻頭特集 魅惑の女性像 自らの理想へと昇華する女性像	中山 忠彦	〃	〃	454	4 [読ん]で知るアート 本の観察	名久井直子	朝日夕刊	9.4、11、18、25
第45回 日展いよいよ開催 各科8作家が語る「日展とは、創作とは」 アカデミズムに時代性を取り入れていくことが必要	〃	〃	〃	458	インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.13 名坂有子		ギャラリー一*	340
中山アカデミー in 藝科 若手からベテランまでが修練した6度めの夏	編集部・W	〃	〃	〃	あいちトリエンナーレ2013 ARTIST INTERVIEW 4 Nade-gata Instant Party (中崎透+山城大督+野田智子) 「出来事」を巻き起こす、現場のストーリーテラー	Tsukada Arina	美術手帖	992
特集 もう一度立ち返るニッポンの油絵 ④技法講座 VOL.28 作家にきく 油絵の魅力 中山忠彦氏インタビュー	中山 忠彦	中山 談	美術の窓	354	第六十四回美学会全国大会報告 発表要旨 名取洋之助のフォト・ジャーナリズム論—岩波写真文庫(一九五〇—五八)を中心に—	山本 佐恵 美	学	243
神宮美術館所蔵 神宮名品解説 洋画 午後の訪問[中山忠彦]	小山 朝子	瑞 垣		225	7年後 復興のヒロシマ 岩波書店 未発表写真130点刊行へ[名取洋之助]		読売夕刊	7.9
平松譲先生追想	中山 忠彦	連盟ニユース		448	イーフィの植物図鑑1 奈々巻かなこ(作) 葉草探し、父と各地を放浪	ササキバラ・ゴウ	朝 日	10.20
皇室入り直前 緊張と高揚感[中山忠彦]		朝 日		6.6	郷さくら美術館名品選 うつくしき、日本のけしき 第三回 那波多目功一《昇陽菊図》	那波多目功一	美 術*	457
中山正實とその壁画制作について(承前)	西田 桐子	兵庫県立美術館研究紀要		7	伝統工芸チャレンジ大賞「蒲田切子」など受賞[鍋谷孝/鍋谷聡]	井上 圭子	東 京	12.1
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 中山みどり	中山みどり	美 術*		458	青春プレイバック 漆芸家並木恒延 絵が描きたくて漆芸の道に	能 美栄子	新美術新聞	1327
あの人に迫る 中山みどり フェルトアート作家 立体の日本画を羊毛で作る感じ	吉岡 逸夫	東 京		10.13	新・現代日本の作家たち アトリエ窩眞 No.013 並木恒延 身辺抄	並木 恒延 美	術*	458
インスピレーション 建築×アートで、宇和島に新たなレイヤーを重ねる [永山祐子]	ぼむ企画	A X I S		165	だいあろ〜ぐ 東京彩人記 羽村で制作する漆芸家 並木恒延さん 「伝統をリアルな芸術に」	柴田 朗 毎 日		11.13
彫刻家の現場[アトリエ]から 100 流政之	武田 厚	美術の窓		360				
離島は日本の原点 流政之さんに聞く 辺境の地から夢む研究や芸術拠点に	岩沢 健	日経夕刊		9.21				

平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞・新人賞決まる美術分野 文部科学大臣賞に川俣正氏、奈良美智氏 新人賞に川内倫子氏	新美術新聞	1308	特集ワイド 2013年夏 会いたい今こそ何と… 5 消しゴム版画家 ナンシー関さん 未練がましいっすよ	小国 綾子	毎日夕刊	8.14
奈良美智の 10代の頃、僕はレコードジャケットで美術を学んだ。 第4~15回	奈良 美智	美術手帖	977,979,980,982,984,985,987,989,991,993,995,997	呉 孟晋	アジア遊学	168
INFORMATION サザビーズ香港にて奈良美智のオークション 東京でプレビュー開催	近藤 亮介	〃	982	佐藤 香里	早大會津八一記念博紀要*	14
特集 高畑勲『かくや姫の物語』の世界 対談 奈良美智 細馬宏通 アニメの歴史を変える映画—『かくや姫の物語』を体験する	奈良馬 美智通	ユリイカ	638	小川 敦生	日 経	10.20
青春プレイバック 榎崎華祥 尾上柴舟と杉岡華郎に学んだ書の心	宗像 克元	新美術新聞	1302	新島 知夏	主体美術	94
視線 Ever After [榎橋朝子]	保坂健二朗	朝 日	8.18	竹島 勇 東 京		7.9
EVER AFTER 榎橋朝子著		日 経	8.18		ギャラリー一*	340
EVER AFTER 写真・榎橋朝子	(さ)	毎 日	9.8	磯部 靖	美術の窓	361
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 洋画・日本画のトップランナー 画廊編 成田朱希	荒井 裕史	美 術*	460	藤井 明	太陽別冊	209
特集 建築評価の現在形：脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 歳のとおり方を共有する	成瀬 友梨	建築雑誌	1645	仁戸田典子	美術の窓	357
明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や画師の探索—[名和永年]	岩切信一郎	一 寸	54	小濱亜由美	鹿児島大学総合研究博物館ニュース*	31
ISETAN FUTURE CURATION ファッションフォトは、事件でなければならない	篠山 紀信 名和実 成実 田中 杏子	美術手帖	983	本村 浩之	〃	〃
名和晃平(Manifold)	編 集 部	〃	991	西良三郎	美術運動	140
				今、西良三郎氏の公募展作品をまとめてみて	村永 泰	

(二)

共感覚・共存—西良三郎の世界	河合 孝治			特集 スケッチに出かけよう ⑥技法講座 vol. 29 技法講座 2 透明水彩で描く水辺の風景 西房浩二	西房 浩二	美術の窓	359
INFORMATION BOOKS 標本の世界を知るための一冊 かわいさの中に学問を見る『標本の本』	西尾 康之	美術手帖	991	藤間家住宅の建築と西村建築株式会社 [西村伊作]	水沼 淑子	文化資料館調査研究報告	22
わたしたちの教室へようこそ 西里青穂 墨絵・一枝会 大井墨絵の会		水墨画*	296	暖かなまなざし 師に学んだ対象を視る目 [西村五雲]	大西 基子	視る	463
本よみうり堂 「イブシロン・ザ・ロケット」 西澤丞・写真	(知)	読売	11.17	特集 日本の現代版画 1990—2013 西村正幸《ケルビム、剣、いのちの木(カタルシス CXX XIII)》1990年	西村 正幸	版画芸術	162
活動と抱負 日本伝統建築技術保存会の現状と課題	西沢 政男	全文連文化財通信	87	西村立子『雨あがり』	西村 立子	沖縄県立芸術大学紀要	21
WORLD NEWS ランス SANAA が手がけるルーヴル・ランス 斬新なコレクション展示も話題に [西沢立衛]	中原紗代子	美術手帖	984	作家自選作品集1 西山悦兆 《古代考》	西山 悦兆	水墨画*	289
ルポ 仏ルーブル美術館ランス分館 炭鉱の町から文化の町へ 設計の妹島さん「新しい体験空間に」文化施設の地方分散化政策 [西沢立衛]	永田 晶子 宮川 裕章	毎日夕刊	4.3	わたしたちの教室へようこそ 西山悦兆 水墨白樺会 畳敷きの画室が醸し出す真摯な空気 居住まいも正しく		〃	297
郷さくら美術館名品選 うつくしき、世界のけしき 特別編 世界遺産 西田俊英《星夜燦々》	西田 俊英	美術*	454	匠のかたち 「押絵羽子板」 [西山和宏]	石黒 知子	A X I S	162
第二十二回日本陶芸展受賞者に聞く	加藤 清和 石畑 修嗣 石嶋 哲彦 藤井 隆之 坂本 章 星野 友幸 西田 宣生 金子 賢治 石崎 泰之 唐澤 昌宏	陶説	724	PREVIEW 西山真一・松生親子展 鼎談 庄司栄吉×西山松生×勅使河原純 描くということ		美術の窓	356
「池袋モンパルナス」で育った筆致 画家・故西田宏道さん 生涯作品を売らず、個展も開かず 友人が初の作品展	戸上 文恵	毎日	5.28	REVIEWS 第四表現主義の画家 [二艘木洋行]	中ザワヒデキ	美術手帖	982
わたしの宝もの92 作品モデル	西田 陽二	新美術新聞	1302	学生企画—クロスロード 2012年度京都造形芸術大学卒業展 大学院修了展 [似内達吉]		瓜生通信	58
日々好日 今を作る	西中 千人	〃	1327	from the World 観光地だった外灘が最先端のクリエイティブ・エリアに [蛭川実花]	サウザー美帆	A X I S	164
米テロ跡地ビルに邦人作品 京都の西野さん 「生きる勇気受け取って」 [西野康造]		東京夕刊	9.10	魅惑の一点 フランス・ペーコン展 中 「三幅対一人体の三習作」 気味の悪い美しさ	蛭川 実花	日経夕刊	4.3
批評 レポート 西野達 DISCOVERING COLUMBUS	柴田 都枝	R E A R	29			(ヌ)	
				愛知県立芸術大学芸術資料館蔵品紹介 (37)	額田 宣彦	愛知県立芸術大学紀要	42

平成25年定期刊行物所載文献(近ノ作ヌ〜ノ)

青春プレイバック 洋画家 塗師 祥一郎 日本の伝統風土、雪 の田園風景に魅せら れて	額田 宣彦	新美術新 聞	1311	野口小蘗の山水画— 東アジアにおける真 景図の変遷—	荒井菜穂美	東アジア 文化交渉 研究	6
《昭忠碑》の〈金鶏〉を 作った人たち—彫刻 家・沼田一雅を中心 に	田中 修二	屋外彫刻 調査保存 研究会 報	5	第66回全国大会研究 発表要旨 野口小蘗 の人物画における明 清絵画の影響につい て	〃	美術史	175
こけし ロシア旅す る マトリョーシカ とコラボ、新たな作 品を創作	沼田 元氣	日 経	11.14	注目のアート、紹介 します 林菜月・野 口大樹・渡邊亜美・ 坂手悠意 「風の通 ひ路」		瓜生通信	60
	(ネ)			洋画家・野崎謙		美術屋・ 百兵衛	27
平和美術展が60周年	根岸 君夫	美術運動	140	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 野崎 静子	高山 淳	美術の窓	360
日々好日 北の旅心	根岸 右司	新美術新 聞	1316	デザイン 野崎眞澄 《CHIPS 個展ポス ター》、《月刊クレ ン表紙デザイン》、 《アートワインラベ ル展》、《MERMAID HAIR パッケージ デザイン》、《尾道駅 前商店街アーケード 看板デザイン2種》		尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要	12
長崎出身彫刻師「作 品で訴え続ける」[音 琴 冰春]	萩原 誠	東京夕刊	8.9	第45回 日展いよいよ 開催 各科8作家 が語る「日展とは、 創作とは」 人物像 の美しさを見て頂き たい	能島 征二	美術*	458
特集 デジタルファ ブ리케이션の未 来図 デザイナーが 「デジタルファブリ ケーション」にワク ワクする理由とは? [根津孝太]	廣川 淳哉	A X I S	163	コミック わたしの 宇宙 1 野田彩子 (作) 自分がいる世 界はマンガ!?	南 信長	朝 日	9.8
テレビ美術の生き字 引 草創期からセッ トデザイン手掛け50 年余、今も第一線	根本 研二	日 経	8.2				
3Mはデザインの ドリームランド nendo・編	土田 貴宏	A X I S	163				
	(ノ)						
平成24年度日本藝術 院賞(美術4氏)決定 恩賜賞に横文彦氏、 能島和明氏、佐藤哲 氏、寺池静人氏が受 賞		新美術新 聞	1308	絵画のかたち/絵画 の姿(絵画)	野田 裕示	多摩美術 大学研究 紀要	27
私のグッとムービー 能町みね子さん「ヨ コハマメリー」一 言で語れない娼婦の 人物像	塩田麻衣子 聞き手	朝日夕刊	8.30	オトコの子育て 絵 本作家 のぶみさん 子どもの興味 絵本 のヒント		日経夕刊	5.1
日々好日 薬師岳と 玉葱と私	野上 邦彦	新美術新 聞	1329	学芸員から ある日 のTシャツ[野見山 暁治]	平間 理香	国華清話 会会報	22
平成二十四(二〇一 二)年度 日本東洋 美術史の調査研究報 告 野口小蘗筆《不 老長春図》	荒井菜穂子	関西大学 博物館紀 要	19	日々好日 哀しくも 明るい	野見山暁治	新美術新 聞	1308
研究報告 1.野口小 蘗「上巳雛祭図」につ いて	山盛 弥生	実践女子 学園香雪 記念資料 館館報	10	アトリエ日記 110 ~121	〃	美術の窓	352~363
				空想書店 いい本なら 何でも並べる	〃	読 売	1.13
				海に思う 3 生死 の記憶行き交う 海 峽 洋画家 野見山 暁治さん	井上 晋治	〃	8.15

さらば、戦後のパリ画壇 堂本尚郎さん死去 もう誰も残っていないのか	野見山 暁治	〃	10.31	現代美術の歩き方 今月の一品 橋本聡 魂：「私はレオナルド・ダ・ヴィンチでした。魂を売ります。天国を売ります。」	成相 肇	美術の窓	358
日々好日 師への思い	野村 義照	新美術新聞	1324	クリエイターズワーク&ソウル 橋本潤		A X I S	161
(ハ)				特集 もう一度立ち返るニッポンの油絵 技法講座 VOL.28 case 5 パリの風景を油彩で描く セイ・ハシモト	セイ・ハシモト	美術の窓	354
アトムの子 手塚治虫がこめた思い 下科学とエゴのはざま 原作の真意くみ取って[萩尾望都]		東京	4.19	橋本利夫の COLORFUL WORLD		美術屋・百兵衛	26,27
特別企画 春陽展90回記念展 新世代の作家 『人体の皮膚の内側にはなにがある?』	萩谷かおる	ギャラリー一*	336	特集 日本の現代版画 1990-2013 橋本文良《7219-ウエストハム》1990年	橋本 文良	版画芸術	162
コミック ノスタルジア 萩原さおり(作) 目の魅力にひき込まれて…	ササキバラ・ゴウ	朝日夕刊	7.7	日本における近代木彫表現へのヒルデブランドの影響関係について 橋本平八を中心として	酒井 恒太	芸術学研究(筑波)	18
顔 ニューヨークで個展を開く左官技能士 挟土秀平さん	石井 千絵	読 売	9.2	特集 円空 近代彫刻と円空 橋本平八と円空の「今日性」	毛利伊知郎	美術手帖	979
資料紹介 橋口五葉と絵葉書	山田 俊幸 大平奈緒子	大正イマジユリィ	8	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 はしもとみお	はしもとみお	美 術*	458
本づくし 「形の美は自然に在る」 『形の美とは何か』 三井秀樹著	橋田 規子	A X I S	164	現代美術の歩き方 今月の一品 蓮沼執太「コミューナル・ミュージック」	藪前 知子	美術の窓	355
第5回絹谷幸二賞に橋爪彩氏 同奨励賞に今津景氏決まる		新美術新聞	1305	作家自選作品集5 蓮村泰子 《望郷》	蓮村 泰子	水墨画*	294
受賞者に聞く PART 2 第5回 絹谷幸二賞 橋爪彩さん	編集部 構成	美 術*	452	研究ノート 「巖面塾」—長谷秀雄と若山順子	中村 茉貴	美術運動史研究会 ニュース	139
特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 巻頭インタビュー 注目の若手作家たち 橋爪彩	橋爪 彩 談	美術の窓	357	赤レンガに光の掛け軸[長谷川章]		日 経	6.1
橋本雅邦「木挽町画所」『國華』掲載の意図	関根 佳織	下関市立美術館研究紀要	14	第26回奨学者のレポート 風景の向こうへ	長谷川一郎	アクリラート(別冊)	2013
蔵出し 水墨画の逸品19 橋本雅邦《竹林七賢図》	折井 貴恵	水墨画*	295	建築と美術館11 触れ合い、賑わいの場	長谷川逸子	美連協ニュース	120
岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 日本画の誕生 橋本雅邦 日本画の未来を築いた岡倉の片腕	関根 佳織	太陽(別冊)	209	近郊寸景 近未来的な光景[長谷川逸子]	野村 成次	産 経	7.31
				フォーカス・アイ 長谷川可奈 「21世紀浮世絵」の女たち	栗本 寛子	版画芸術	161
				長谷川潔の木口木版 @堀口大学の詩集・訳詩集	熊田 司	えむえむ	6
バナナ及び未利用繊維の素材活用システムの構築—2005~2012年度共同研究報告	橋本 京子 柏木 弘 川井 由夏 深津 裕子 妹尾めぐみ 高野 絃子 樋口 明久	多摩美術大学研究紀要	27	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 1 長谷川 侑	高山 淳	美術の窓	360

平成25年定期刊行物所載文献(近ノ作ハ)

導入教育としての「美術リテラシー」の役割と意義(2)ー「美術リテラシー」に関するアンケート(2)ー	杉山倫也 長谷川昇 中野滋 浅川正樹 武井文	横浜美術 大学・研究 紀要	3	文化 気球から映す世界の笑顔 高校時代に手作り、30年余りで各国を訪問	八戸 耀生 日 経 1.1
フェイス21世紀167 長谷川雅也 学びを貴ぶその技はみやび	和田 圭介	新美術新聞	1300	ナウシカになれた10秒 アニメの飛行機再現 「空はみんなのもの」作製・操縦のアーティスト[八谷和彦]	富岡 史穂 朝日夕刊 9.3
もうひとつの「サザエさんかるた」[長谷川町子]	橋本野乃子	SAZAE通信	33	この企業のアート支援がすごい!三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012年度奨学生 服部しほり	服部しほり 美術* 456
読書 売れてる本よりぬきサザエさん 長谷川町子(著) 家事風景が映す時代の流れ	速水 健朗	朝 日	1.27	研究報告 2.奥原晴湖、瀧和亭、服部波山、福島柳圃、松岡環翠「文人寄書」について	太田 佳鈴 実践女子学園香雪記念資料館館報 10
京の農家住宅で幕末探る 築270年、歴史うかがわせる資料見つけ出し整理[長谷川良雄]	中川聰七郎	日 経	7.23	この人 長三賞陶芸展で大賞受賞 服部真紀子さん 形を中心に「見る人の視線さまよわせてい	黒谷 正人 東 京 11.13
巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 洋画・日本画のトップランナー 画廊編 長谷川喜久	森井 毅	美術*	460	特集 ゾンビ ブードゥー、ロメロからマンガ、ライトノベルまで ゾンビマンガの黄金時代 渡る世間はゾンビばかり ゾンビマンガブームをゆく	すぎむらしんいち、健吾アミ 花沢吉司 623
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 長谷川澁二郎	土方 明司	〃	458	わたしの宝もの94 パリの犬	花田 千絵 新美術新聞 1308
ロックンロール・フォトグラフィティ 長谷部宏の仕事 赤尾美香編著		日 経	5.19	滋賀文化考 堀和道の世界	美術屋・百兵衛 25
子どもたちへ 虫の魅力伝える絵本作家 はたこうしろうさん 親子で虫を探しに行こう	(郷)	読売夕刊	8.3	コミック いってミヨーン やってミヨーン12 羽生純(作) 普通じゃなさが普通じゃない	南 信長 朝 日 3.24
第二十二回日本陶芸展受賞者に聞く	加藤清和 畑石修嗣 石嶋哲彦 藤井隆之章 坂本友幸 星野宣生 西田賢治 金子泰之 石崎昌宏 唐澤	陶 説	724	コミック はじまりのはる 1 端野洋子(作) 福島の高校生友情と覚悟	〃 〃 8.4
視線 BLAST[畠山直哉]	北澤 憲昭	朝 日	11.10	特集 日本の現代版画 1990-2013 馬場章《Garden》 2002年	馬場 章 版画芸術 162
「ありのまま」を写し続ける 知識を離れ世界を見よう 写真家 畠山直哉さん	干場 達矢	日経夕刊	10.9	交遊抄 蘇生の達人 [馬場正尊]	原田 マハ 日 経 3.8
Artist Group 一風	中島千波 中野嘉之 畠中光享	美術*	454	学生企画ークロスロード 2012年度京都造形芸術大学卒業展大学院修了展[馬場龍士]	瓜生通信 58
				特集 表現する女性たち PART2 濱上明希子	高山 淳 美術の窓 361
				作家通信 ネパールで奉納と交流	濱田 珠鳳 水墨画* 288



伝統×デザイン—手仕事の日本ふたたび 益子焼 民芸の地からモダンを[浜田庄司]	篠原 知存 産 経	7.11	特集 中原淳一と少女イラストレーション 対談 林静一×中村佑介 大きな瞳の見つめる先に 浮世絵、夢二から少女マンガまで	ユリイカ	637
浜田泰介 走り続けた50余年、そして今思うこと	編集部 美術*	458	特集 日本の現代版画 1990-2013 林孝彦《95—風紡—1》1995年	林 孝彦 版画芸術	162
新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No. 014 浜田泰介 身辺抄	浜田 泰介	459	世界文化遺産登録記念 我が心の富士山(1)[林武]	奥谷 博 新美術新聞	1317
戦中から戦後へ作家をたどる 13 浜田 知明	笹木 繁男 美術運動史研究会 ニュース	136	收藏品から 《松沢村玉川上水風景》林武	小金沢 智 世田谷美術館だより	93
彫刻家の現場[アトリエ]から 92 浜田 知明	武田 厚 美術の窓	352	注目のアート、紹介します 林葉月・野口大樹・渡邊亜美・坂手悠意 「風の通ひ路」	瓜生通信	60
インタビュー 浜田 知明氏に聞く—戦争と絵描きの眼—	中林 忠良 連盟ニュース 聞き手	445	特集 表現する女性たち PART 2 林寿子	高山 淳 美術の窓	361
人生の贈りもの 版画家・彫刻家 浜田 知明 1~5	小川 雪 朝日夕刊 聞き手	12.16~20	特別読物 きつと誰かが拾ってくれる [林友子]	赤木 明登 芸術新潮	764
特集 水墨の美 淡墨の美しさを知り使いこなす	濱中 応彦 水墨画*	289	特集 表現する女性たち PART 2 葉山たみ子	大澤 景 美術の窓	361
作家通信 曾我蕭白「雲龍図」を原寸大で模写	濱野 彰親 日 経	2.11	新しいコレクション 速水御舟《京の家・奈良の家》	鶴見 香織 現代の眼	602
挿絵で描く人間の本性 新聞や週刊誌で作家と組み67年、今も現役	野中 秀昭 書道界	280	こころの玉手箱 日本画家 中島千波 4 速水御舟「春の宵」 桜への挑戦のきっかけ	中島 千波 日経夕刊	6.20
artistic dialogue VOL.1 早川国光×中野中 対談	美術屋・百兵衛	26	近代美術の眼 京の家・奈良の家 速水御舟 「モダニズム」への出発点	鶴見 香織 読 売	9.13
巻頭特集 魅惑の女性像 画家たちが描く奇跡の女性像 早川俊二	美術*	454	視点 速水 史朗 美術の窓		
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 早坂百合恵	早坂百合恵	458	百二十年目の大地の子		352
特集 表現する女性たち PART 2 早崎和代	高山 淳 美術の窓	361	相模メモリアルパークの彫刻		354
時に抗いし者たち—私の小菩薩峠(10) [林俊衛]	大谷 芳久 一寸	54	銀座の個展とその周囲		355
郷さくら美術館 第1回桜花賞展 総評 五感全てで美を感じ、想いを込める—日本画の精神がここに	林 潤一 美術*	451	新年の旅		356
			鹿児島の人		357
			想い出		359
			美しい空間		360
			サヌキカンカン		362
			特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 1 速水史朗	〃 〃	360

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ハ)

茶話マンガ 兵器と 魔女、混在の魅力 [速水螺旋人]	伊藤 剛	朝日夕刊	4.6	木村荘八展 生誕120 年 2 祖母と子 猫 終生変わらぬ猫 への愛	原田 治	東京夕刊	4.24
「家」を通して日本の 未来をデザインする、 「HOUSE VISION 2013 東京展」デ ィレクター原研哉氏 インタビュー	今村 玲子 インタビュー 一・文	A X I S	162	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 原田 規美恵	高山 淳	美術の窓	360
岡山県立美術館シン ボルマークとロゴタ イプのデザイン 未 来を展望する「岡」と、 躍動性を内に秘めた たたずまい	原 研哉	岡山県立 美術館ニ ュース	100	交遊抄 シノさんの 早業	原田 維夫	日 経	5.11
REVIEWS 見えてい るものを問う 「田中 一光とデザインの前後 左右」展	〃	美術手帖	980	原田直次郎 上野東 照宮	鍵岡 正謹	国 華	1413
書く人 『Ex-formation 空気』 デ ィナイター 原研哉さん デザインで覚醒 させよ	加古 陽治	東 京	6.9	研究報告 原田直次 郎とガブリエル・フ ォン・マックス	黒田 和士	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H23年度
特集 時を描くリア リズム アントニオ ・ロペスの世界 画家 が見たロペス 2 ロペスの講習を受けて 自分の道をゆく	原 崇浩	談 美術の窓	356	アトリエ雑感 触手 にふれるもの	原田 文子	主体美術	94
足裏の記憶—思想家 を旅する 第14回 原広司×飯田(長野)	北川フラム	美術手帖	991	REVIEWS 05 新しいコート ピアへ 今津景 「PUZZLE」展	原田 裕規	美術手帖	
「これからの建築」 横文彦さんら語る 東京大でシンポ[原 広司]	永田 晶子	毎日夕刊	12.18	04 小沢ノッポさ んの素 小沢剛 「できるかな」展			984
新しいコレクション 原弘(「在外日本作家 展—ヨーロッパとア メリカ」展ポスター (B2)印刷原稿)	内藤 祐子	現代の眼	602	04 フレーミング し、追認せよ 「福田美蘭」展			985
第17回手塚治虫文化 賞 史実+創作 ド ラマチックに「マン ガ大賞 「キングダ ム」 原泰久さん	岩本 哲夫	朝 日	4.29	特別連載 「中原佑 介を読む」を読む 第1、3回	〃	〃	987、991
大賞の原さん「描き ながら泣くことも」 手塚治虫文化賞贈呈 式[原泰久]	小原 篤	〃	6.4	クリエイターズワー ク&ソウル 原田祐 馬		A X I S	162
特集2 彫刻・作家 ・作品論 原裕治 原裕治—流水の行方 常世の虫 原芳市著	大島 徹也	R E A R	29	プレスコ・ストラッ ポに関する報告—2 つの病院に描かれた プレスコ画の実例か ら—	原野 啓次	下関市立 美術館研 究紀要	14
学生企画—クロスロ ード 2012年度京都 造形芸術大学卒業展 大学院修了展[原衛 典子]		瓜生通信	58	REVIEWS さらに インスタレーション [パラモデル]	成相 肇	美術手帖	984
				漫画を読んだ 低く 呟く宝塚への愛 は るな檸檬 『ZUCCA ×ZUCA(ツッカツ カ)』	いしかわじ ゅん	毎 日	6.22
				特集 木造の未来— 持続可能な社会を求 めて インタビュー 坂茂氏に聞く		アプロー チ*	204
				ときの人48 建築家 坂茂さん 全ての人 に美しく、心地よい 建築空間を		新美術新 聞	1309
				「家」のあり方 震災 で再考 小屋・仮設 住宅 建築家が展示 水や電気を自給 人 が集う場重視[坂茂]	窪田 直子	日 経	5.11

NZ被災地「紙の聖堂」[坂茂]		〃	9.2	巻頭特集 イチオン作家2014 アートシーンを熱くする100人 写真画新世代画廊編 足田正章	塩野 秀樹	〃	460
こころの玉手箱 建築家 坂茂 1~4	坂 茂	日経夕刊	10.15~18				
途上国向けと災害時兼ねた仮設住宅開発 建築家 坂茂さんら		読 売	4.25	バナナ及び未利用繊維の素材活用システムの構築—2005~2012年度共同研究報告	橋本 京子 柏木 弘 川井 由夏 深津 裕子 妹尾 めぐみ 高野 絃子 樋口 明久	多摩美術大学研究紀要	27
巻頭特集 魅惑の女性像 画廊街で出会える女性像 阪東佳代		美 術*	454				
各地からの出品者の思い 北の大地から	板東 豊光	日展ニュース	149	特集 鬼東ちひろ《真性の詩》としての屹立 鬼東ちひろの“音響詩”について	彦坂 尚嘉	ユリイカ	627
追悼特集・松本哲男氏 恩師、松本哲男先生を偲んで	番場 三雄	新美術新聞	1304	久岡冬彦さんのこと	小野 公久	陶 説	729
				Bird fancier/Pianist	久木 一直	大手前大学論集	13
	(ヒ)			特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART2 飛沢龍神	大澤 景	美術の窓	360
漫画を読んだ ひろみつつ描く震災後 ひうらさとる他『ストーリー311』	いしかわじゅん	毎 日	4.27	秋田にて、秋田から—『病める舞姫』への旅[土方巽]	森下 隆	慶応義塾大学アート・センター年報	20
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて~現代の名作から 祖師谷~成城学園前沿線	稗田 一穂	美 術*	453	土方巽・舞踊の世界—東北の風土と新たな肉体表現—		〃	〃
日本画家のアトリエ訪問 5 東俊行	大澤 景	美術の窓	361	随筆 菱田春草 名画『落葉』—その原風景をさがして—	柴田 裕巳	飯田市歴史研究所年報	11
INFORMATION AWARD「EMON AWARD 2012」グランプリ受賞 東川哲也「New Moon」が捉えた暗闇	編 集 部	美術手帖	984	聚美名宝鑑 菱田春草「海月」「旭光耀々」	小林 優子	聚 美	9
日々好日 心の中で数えながら	東島 毅	新美術新聞	1317	岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 日本画の誕生 菱田春草 短い画業人生の中で真摯に絵と向き合う	関根 佳織	太陽(別冊)	209
〈座談会〉筆職人との対話から生まれたオアシス	足立 正平 神山 玄基 東園 昭修 千々岩 修 福井 太郎 阿部 悠季	美 術*	458	菱田春草の創造力—江戸琳派をめぐって—	稲田 智子	哲学会誌	37
彫刻家の現場[アトリエ]から 94 ゼロ・ヒガシダ	武田 厚	美術の窓	354	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 菱田春草	林田 龍太	美 術*	458
総特集 岡村靖幸 エッセイ 中坊の恋と妄想	東野 哲史	ユリイカ	629	4〔読ん〕で知るアート 戦時下の画学生たち 息づく生の証し[日高安典]	窪島誠一郎	朝日夕刊	8.7
東山魁夷と「六窓会」~昭和二〇年代の社会的評価と創作活動から~	高田 紫帆	長野県信濃美術館紀要	7	新しいコレクション 尾藤豊《シベリア紀行》	鈴木 勝雄	現代の眼	601
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 足田正章	足田 正章	美 術*	458	戦略としての表象分析—《八紘之基柱》を読むということ—[日名子実三]	千葉 慶	歴史評論	762

わたし一人の美術時評 第39回 画家兼美術記者の死[日野耕之祐]	藤田 一人	芸術新潮	767	岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 理想の後継者たち 平櫛田中 自他ともに認める岡倉の信奉者	藤井 明	太陽(別冊)	209
日野耕之祐君を悼む	内山 孝	新美術新聞	1327	彫刻の巨匠・平櫛田中 小平市の職員が漫画伝記を完結	三島 豊弘	朝日夕刊	4.18
広がる「生の芸術」アールブリュット 障害を超えキラリ傑作 独自の表現法[日野正和]	加藤木信夫	東京	9.28	先人を訪ねて 平櫛田中(小平市) 彫刻一筋 107年の生涯	十河 靖晃	読 売	9.28
東北と絆思い 夜通しアート 六本木で23日、参加100人超 [日野克彦]	齊藤 智子	朝 日	3.20	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 平子真理	平子 真理	美 術*	458
第23回全日本アートサロン 絵画大賞展 自由表現部門 愛情あふれる絵見たい	日比野克彦	産 経	6.28	社会を見つめる・画家の眼 平澤重信の視点第4~7、最終回	平澤 重信	ギャラリー*	333~337
アートで東京招致盛り上げ 日比野克彦“五輪御輿”	渋谷 和彦	〃	8.15	新収蔵品紹介 平田郷陽(風船)	才藤あずさ	V i e w	144
印象派を超えて 点描の画家たち 5 ビート・モンドリアン 赤と黄と青のあるコンポジション 自分なりに観察して	日比野克彦	東京夕刊	11.2	新収蔵品紹介 File 01 平田郷陽作品を中心に	福富 幸	岡山県立美術館ニュース	101
「船」のアート 遠い記憶探る[日比野克彦]		日経夕刊	3.28	交遊抄 美しき郊外 [平野恵理子]	榎木 伸明	日 経	4.20
♡が生む笑顔 今伝えたい アーティスト 日比野克彦さん 気仙沼の12歳 見守る	宮下 洋介 聞き手	読 売	7.20	平野恵理子の身辺雑貨	平野恵理子	読売夕刊	1.23、 2.13、3.6、 4.3、24、 5.15、6.5、 8.7、9.11、 10.2、30、 11.20、 12.11
追想録 姫田忠義さん 消えゆく生活文化を記録		日経夕刊	10.11	「お金とは」問いかける 写真家の平野さん 紙くず*同然 紙幣や株券で作品 戦争や自然破壊など刻印 [平野正樹]	上田 千秋	東 京	5.4
ひとりごと絵本 100%ORANGE 著 かわいくてシニール	辛酸なめ子	読 売	1.27	月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.29 孤高の画家—平野充の世界	平野 充、 小川 英晴	ギャラリー*	334
現代美術の歩き方 今月一品 平井友紀「頭を撫でる事を許可する」	楠見 清	美術の窓	359	各科審査員より 思うこと	平野 行雄	日展ニユース	150
特集 表現する女性たち PART 2 平岡祥子	磯部 靖	〃	361	連作《十二支》—自分らしさの研究と、自己における新しい表現方法についての模索—	平林 里衣	大学院諸 究	10
第35回十果会	今井 真吾、 平岡 靖弘、 相田 幸男、 齋藤 研、 木津 文哉、 瀬川富紀男 編集部 文	新美術新聞	1319	勸進行脚で築いた良寛堂 錚々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に [平福百穂]	反町タカ子	日 経	7.18
特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 巻頭インタビュー 注目の若手作家たち 平川恒太	平川 恒太	美術の窓	357	追悼 平松譲先生 風土に生きた絵画人生	中野 中	新美術新聞	1323

平松譲先生追想	中山 忠彦	連盟ニュース	448	青春プレイバック 彫刻家蛭田二郎 見 えないものに、かた ちを一彫刻が映しだ す遙かな旅路	袴田 智彦	新美術新 聞	1324
PARIS 発 ノルマン ディーと印象派[平 松礼二]	安部 雅延	新美術新 聞	1314	旬の人時の人 「島 耕作」社長を退き会 長に 弘兼憲史氏	岩崎 貴行	日 経	8.5
平松礼二 ライフワ ーク《ジャポニスム 絵画》で巨匠モネと 対決 ジヴェルニー 印象派美術館での一 大個展、今夏開催	編集部	美術*	453	Nippon 蘇れ 私の 処方箋 中高音「燃 える恋」もいいじゃ ない 60代が「介護 ボランティア」ピ ジネス化知恵の絞り どころ	弘兼 憲史	読 売	6.9
平松礼二・睡蓮の池 ・モネへのオマー ージュ in ジヴェル ニー印象派美術館 ルポルタージュ “印 象派の聖地”に並ん だ新作《平松礼二 ・睡蓮の池・モネ へのオマーージュ展 を見て	石川 健次	”	456	The Day After/Note -201208-01	廣田 政生	大手前大 学論集	13
ジヴェルニー印象派 美術館《平松礼二 ・睡蓮の池・モネ へのオマーージュ》 ジャポニスムの帰郷、 夢の競演への道	平松 礼二	”	”	日々好日 桜の頃	広田 稔	新美術新 聞	1311
平松礼二 ジャポニ スムの探求、巨匠モ ネへのオマーージュ	小山ブリ ジット	”	”	巻頭特集 魅惑の女 性像 画家たちが描 く奇跡の女性像 広 田稔		美術*	454
高まる期待、国際市 場での平松芸術への 評価	編集部 F	”	”	特集 もう一度立ち 返るニッポンの油絵 秘技法講座 VOL.28 case 2 動き・形を とらえ、描く 広田 稔	廣田 稔	美術の窓	354
新・現代日本の作家 たち アトリエ寫眞 No.012 平松礼二 身边抄	平松 礼二	”	457	読解 絵画鑑賞講座 21 球体絵画状に分 け入るシークレット ・ゾーンー廣光芳枝 「月夜のセレナーデ」 (2011年)	ワシオ・ト シヒコ	美術屋・ 百兵衛	25
日本画家・平松礼二 さんが今夏、仏ジ ヴェルニーで個展 第 二次ジャポニスムを 期待	宮川まどか	東京夕刊	3.14	廣村正彰の Junglin' 第9~14回	廣村 正彰	A X I S	161~166
土曜訪問 モネの聖 地で展覧会 平松礼 二さん 葛藤越え大 暴れ宣言	”	”	12.14	特集 表現する女性 たち PART 2 廣安 芳子	高山 淳	美術の窓	361
フランスで平松礼二 展 時空を超えた独 創の美 印象派と日 本美術つなぐ	石川 健次	日経夕刊	9.9	日和崎尊夫の間	伊豆井秀一	ソカロ	64
作品 平岡功一 「パ ンドラの帰還」 「午 後の訪問者」		札幌大谷 大学紀要*	43	(フ)			
岡倉天心 近代美術 の師 美の理想を受 け継ぐ作家たち 理 想の後継者たち 平 山郁夫 国際人岡倉 とつながる美術活動	永宮 勤士	太陽(別冊)	209	特集 日本の現代版 画 1990-2013 風 鈴丸(月守りの娘) 2008年	風 鈴 丸	版画芸術	162
こころの玉手箱 歌 舞伎俳優 市川團十 郎 4 小鼓 稽古 通い楽しいお出かけ [平山郁夫]	市川團十郎	日経夕刊	1.10	それぞれの月が語り 合う 日本画家・手 塚雄二×彫刻家・深 井隆		美術*	451
				追悼 渡辺恂三氏 渡辺恂三さんの事	深沢 軍治	新美術新 聞	1324
				本づくし	深澤 直人	A X I S	
				「複合の美」『柳宗 悦 時代と思想』 中見真理著			162

「美しいものを生み出す人」『つくることば いきることば』永井一正著	163				特集 2013年 ルネサンス大解剖 私のルネサンス再出発を促した土地フィレンツェ	福井 洋一 福井 談	美術の窓	355
「道しるべを失った日本人」『日本人は状況から何をまなぶか』鶴見俊輔著	164				インタビュー 郷會和子氏に聞く 自然と絵画	福王寺一彦 聞き手	連盟ニュース	446
「アフォーリズム」『村上ソングズ』村上春樹著	166				《追悼》 村岡三郎を悼む	福岡 道雄	あいだ	205
柳宗理 さあ、良い仕事をしよう 永遠の現役デザイナー		深澤 直人	太陽別冊	柳宗理	研究報告 2. 奥原晴湖、瀧和亭、服部波山、福島柳圃、松岡環翠「文人寄書」について	太田 佳鈴	実践女子学園香雪記念資料館館報	10
土曜訪問 日本民芸館の館長就任1年 深澤直人さん(プロダクトデザイナー) 普通とは最先端の美		黒谷 正人	東京夕刊	7. 6	神宮名品解説 染織「繕箔銀杏七宝文訪問着」 染織「駒塩瀬淡藍刺繍帯」[如月] [福田喜重]	平子 裕子	瑞 垣	224
染織技術を中心とした文化的資源に関する研究—伝統的な染織品から持続可能なテキスタイル・デザイン		深津 裕子	多摩美術大学研究紀要	27	アクリリックス・ワールド78 福田沙也佳	石井 芳征 取材・文	美術手帖	995
バナナ及び未利用繊維の素材活用システムの構築—2005～2012年度共同研究報告		橋本 京子 柏木 弘 川井 由夏 深津 裕子 妹尾めぐみ 高野 紘子 樋口 明久	” ”	” ”	レポート墨 NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」祥洲氏が題字を揮毫[福田祥洲]		水墨画*	297
アクリリックス・ワールド74 深堀隆介		石井 芳征	美術手帖	980	「果てしない明日愛なしでは」 福田尚代の回文と美術		芸術新潮	763
絵を観る人も好き好き この一品[いっぽん]第1～12回[深見東州]		松井 武利	ギャラリー	333～344	月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No. 34 陶芸家・吉村昌也の世界を中心に[福水大介]	小山登美夫、 小川 英晴 談	ギャラリー*	339
21世紀のアーティスト 福井江太郎			”	342	例会発表要旨 第122回例会：写真の时空—イメージ経験と場所 福原信三の巴里—断片のトポグラフィ	佐藤 守弘	日仏美術学会会報	32
本江邦夫の「今日は、ホンネで」第67回 日本画家 福井江太郎			美術*	458	この企業のアート支援がすごい！ 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012年度奨学生 福本健一郎	福本健一郎	美術*	456
(座談会) 筆職人との対話から生まれたオアシス		足立 正平 神山 玄 東園 基昭 千々岩 修 福井 江太郎 阿部 悠季	” ”	” ”	論考 世界に発信する京の染め	福本 繁樹	美術京都	44
こころの玉手箱 日本画家 福井爽人 1、2		福井 爽人	日経夕刊	3. 17、18	第25回「京都美術文化賞」受賞者のことば	福本 潮子	” ”	” ”
学生企画—クロスロード 2012年度京都造形芸術大学卒業展 大学院修了展[福井俊哉]			瓜生通信	58	第二十二回日本陶芸展受賞者に聞く	加藤 清和 畑石嶋 石嶋 修 藤井 隆之 坂本 章 星野 友幸 西田 宣生 金子 賢治 石崎 泰之 唐澤 昌宏	陶 説	724

藤井達吉《梅百題》解題	土生 和彦	碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要*	2	かぞくの肖像 影絵作家 藤城清治さん夜の仕事場 一番の助手	畑山 敦子 聞き手	朝日夕刊	11.21
美の履歴書 334 技と素材 盛ったわけ「大島風物図屏風」藤井達吉	西岡 一正		朝日夕刊	12.11	被災地再生 影絵で祈念 藤城清治さん個人美術館 プレオープン	中村かさね	毎日夕刊 5.2
特集 もう一度立ち返るニッポンの油絵 ⑥技法講座 VOL.28 case 3 多層塗りて光を描く 藤井誠	藤井 誠	美術の窓	354	幻想的で力強い影絵 藤城清治さん作品一堂に 美術館オープン 娘の亜季さん制作の支えに 被災地に同行	ヨミウリ・ジュニア・プレス取材班	読売夕刊	7.27
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて一現代の名作から近江鉄道沿線	藤井 路夫	美術*	453	創立50周年特別企画 シリーズ 主体展「礎の作家たち」を語る 「懐い出」す事	藤田 英子	主体美術	94
藤子・F・不二雄 生誕80周年 ドラえもんが一日局長 東京中央郵便局「KITTE」で記念行事	神足 俊輔	毎日	8.14	特集 日本の現代版画 1990-2013 藤田修《Rain》 1997年	藤田 修	版画芸術	162
ブックマーク 藤子不二雄のマンガ	温 又柔	毎日夕刊	4.23	巻頭特集 イチオン作家2014 アートシーンを熱くする100人 写実画新世代 クローズアップアーティスト1 藤田貴也	編集部	美術*	460
「まんが道」44年で完結 藤子不二雄(△)「実体験がドラマ」	小原 篤	朝日	6.26	新収蔵品紹介 藤田嗣治《裁縫道具のある静物》	村上 哲	View	146
思い出す本 忘れたい本 生々しく思い出す疎開体験 長い道 柏原兵三著	藤子不二雄(△) 上原 佳久 構成	東京	9.8	戦中期の藤田嗣治一公と私の「二面性」	林 洋子	学鏡	11-3
青春の「まんが道」永遠に 連載開始から43年 来月完結 トキワ荘の熱気伝える [藤子不二雄(△)]	森本 智之	東京	3.24	藤田嗣治・戦後作品の様式と主題に関する研究	石尾乃里子	鹿島美術財団年報・別冊	30
土曜訪問 43年かけた作品が完結 藤子不二雄(△)さん まんが道を語り継ぐ	東京夕刊	6.8	作品紹介 フジタ以前の藤田嗣治一渡仏前・1910年代初頭の油彩画とその周辺一	村上 哲	熊本県立美術館研究紀要	13	
「まんが道」仲間に捧ぐ トキワ荘を舞台とした自伝的作品、43年で完結	藤子不二雄(△)	日経	4.16	東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 X [藤田嗣治]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵 里子 作間美 智子 金 鍾旭	東京芸術大学美術学部紀要	51
特集 水墨の美 線を極める	藤崎 千雲	水墨画*	291	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 近代日本の名作 猫10態 藤田嗣治	内呂 博之	美術*	458
作家自選作品集5 藤崎千雲 《冬牡丹》	東京アジア文化交渉研究	6	藤田嗣治の舞台美術作品 一九五一年スカラ座『蝶々夫人』に関する一考察	佐野 勝也	美術史	175	
藤島武二・青木繁と世紀末美術	高橋 沙希	東京	5.19	特集 もう一度立ち返るニッポンの油絵 ⑥技法講座 VOL.28 レオナルド・フジタ 油彩技法の秘密 [藤田嗣治]	内呂 博之	美術の窓	354
カジュアル美術館 池畔納涼 藤島武二 東京芸術大学美術館 新しさと古典美 追求 柔らかな光の表現	三沢 典丈	東京	5.19				
影絵作家 藤城清治「被災地 壊された自然から希望を」	加来 由子	朝日	5.28				

平成25年定期刊行物所載文献(近/作フ)

藤田嗣治の壁画制作	中野 悠	フィロカ リア	30	1983...2013 中「夢 の町」をたたむ 建 築家・藤村龍至 施 設を集約 未来像に 対話重ねる	野波 健祐 聞き手	朝 日	11.19
藤田嗣治と筒描	岩永 悦子	福岡市美 術館研究 紀要	1	考景2013	藤村 龍至	読 売	
藤田嗣治 壁画への 志向 裸婦と戦争画 の「落差」埋める	林 洋子	朝日夕刊	10.9	東大門デザインプ ラザ(ソウル) 新 しい都市設計の戦 略			1.14
藤田嗣治 多面性に 光 渡 仏100年 相 次ぐ新研究	窪田 直子	日 経	8.17	警固公園 デザイ ナーと利用者の対 話			7.8
美の美 藍染め筒描 の魅力 上 布地に 図柄、みなぎる活 無名の職人たちの粋 な技[藤田嗣治]	中沢 義則	〃	9.8	インスピレーション 建築 建築×アート で、宇和島に新たな レイヤーを重ねる[藤 元明]	ぼむ企画	A X I S	165
藤田嗣治の壁画 常 設展示 新築移転の 秋田県立美術館		〃	9.29	作品 藤本和彦 「The origin」端緒・ 潜「端緒・多端」			札幌大谷 大学紀要* 43
交遊抄 おやじさん [藤田嗣治]	為永 清司	〃	10.19	World London 「サ ーペンタイン・ギャ ラリー・パビリオン 2013:藤本壮介」展 ロンドン夏の風物詩、 パビリオン・プロジ ェクトに藤本壮介の スチール建築登場			
文化往来 林英哲、 和太鼓で横尾忠則に 挑む[藤田嗣治]		〃	10.24	貴賓席 秋山祐徳太 子を単なる「元祖」と していいのか	藤本均定成	あ い だ	206
冬の町描いた巨大な 絵 秋田市 藤田嗣 治が戦前に制作	大谷 真幸	日経夕刊	1.16	帰ってきた“ぼんぼ な仮面” 忘れ者が 冒険者になる時[フ ジモトマサル]	内田 さり 取材	芸術新潮	764
東京の仏師 石巻訪 問へ 豆仏 被災者 の支えに[藤田良夫]	押川恵理子	東京夕刊	3.29	交遊抄 芸術家の格 闘	藤森 武	日 経	2.2
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No.32 岡野耕三・ 藤浪理恵子の個展を 企画する	永井龍之介、 小川 英晴 談	ギャラリ ー*	337	なぜ私は建築を選ん だか no.7 子ど もの頃の一年間	藤森 照信	建築雑誌	1644
特集 日本の現代版 画 1990-2013 藤浪 理恵子《風解》 1990 年	藤浪理恵子	版画芸術	162	宮崎駿監督が引退会 見「この世は生き るに値する」[藤森照 信]	関原のり子	日 経	9.7
福岡市美術館の知ら れざる逸品 藤野一 友スケッチブック	正路佐知子	エスプラ ナード	173	南国頌 藤原敦著		〃	5.12
ここから 定点観測 ・国会前 13・6・ 7 画家 藤幡直子 さん 若い人もっと 参加を	小嶋麻友美 聞き手	東 京	6.8	沖ノ島 神秘の記録 藤原新也と安部龍太 郎、写真と紀行文	佐藤実千秋	朝 日	7.10
3D計測 運慶の如 来再現[藤曲隆哉]	村松権主麿	〃	1.31	古典探遊 人から物 へ 視点の革命 シ ャルダン×写真家・ 作家藤原新也	吉村 千彰 聞き手	朝日夕刊	7.9
運慶最古の仏像 複 製 東京芸大院生 奈良で公開へ[藤曲 隆哉]	伊澤 拓也	毎日夕刊	1.10	被災地で思う—3・ 11から2年— 4 写真家 藤原新也さん ゆっくと、息 長く	岩岡 千景	東京夕刊	3.7
特集 基礎を完璧に する!人体デッサン 秘技法講座 VOL.27 現代デッサン論 目 と手と脳と体と人体 デッサン	藤村 克裕	美術の窓	352				



この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012年度奨学生 藤原泰佑	藤原 泰佑 美術*	456		「新具象彫刻展を出発点とした東京造形大学出身者たち」展 [舟越桂]	ギャラリー一*	343
ブックマーク	藤原 徹平	毎日夕刊		フォーカス・アイ 舟越桂 今までの中で、一番彫刻に近い版画制作	舟越 桂 談 辺見 海 文	版画芸術 159
「決める」を積み重ね		7.2		特集 日本の現代版画 1990-2013 舟越桂《オーロラを見るスフィンクス》2013年	舟越 桂	// 162
「他者との対話」に学ぶ		7.9		特集2 彫刻・作家・作品論 舟越桂 舟越桂—スフィンクスから《月の降る森》へ、聖なる混沌と人間をつなぐ	小勝 禮子	REAR 29
「寺山修司」を展示する 上、下		7.16、23		船田玉樹の詩集—資料紹介・自作詩集『庭』他五編一	永井 明生	広島県立美術館研究紀要 16
対話する建築批評		7.30		21世紀のアーティスト 舟田潤子		ギャラリー一* 334
世界遺産の問いかけ		8.6		この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012年度奨学生 舟津明日香	舟津明日香	美術* 456
建築へ誘った映画		8.13		茶話マンガ 心揺さぶる女装男子[ふみふみこ]	伊藤 剛	朝日夕刊 2.9
「シェア」を考える		8.20		第26回奨学者のレポート 新鮮で柔軟な感性	古川あいか	アクリラート(別冊) 2013
劇場どうつくる?		8.27		「ユートピアを求めて」展 ロシア・アヴァンギャルドとモダニズムのポスター 上 カジミール・マレーヴィチ 「今日のルポーク」社のポスター ユーモラスで残酷に	古川 タク	東京夕刊 11.26
海から見る		9.3		近代中国美術の胎動2 新興藝術の動向 前衛絵画の「代理戦争」—日中戦争におけるモダニズム絵画とプロパガンダ[古沢岩美]	呉 孟晋	アジア遊学 168
住宅の「型」		9.10		戦中から戦後へ作家をたどる 13 香月泰男、古沢岩美	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース 135
五輪をどう生かすか		9.17		各科審査員より 挑むこと	古澤 洋子	日展ニュース 150
原風景への旅		9.24		美の美 藍染め筒描の魅力 下 素朴な美を愛した柳宗悦 小さな灯 現代の匠が守る[古庄岩吉/古庄建夫]	中沢 義則	日 経 9.15
神宮名品解説 工芸「備前大徳利」工芸「備前梅花鉢」[藤原雄]	中村 潔 瑞 垣	224				
21世紀のアーティスト 藤原由葵			ギャラリー一*	335		
甲乙閑話 勇気胸に撮った 生きた[二川幸夫]	大西 若人 朝 日	3.13				
惜別 建築写真家 二川幸夫さん 「とにかく現地」生涯貫く	〃	朝日夕刊		4.20		
悼む 厳しく、そして優しい 二川幸夫さん	藤本 壮介	毎 日		4.8		
二川幸夫さんを悼む 建築の文化的価値 世に問う	安藤 忠雄	読 売		3.14		
所蔵品紹介236 友禅着物「雨あし」 二塚長生			石川県立美術館だより	357		
特集 表現する女性たち PART1 二名ノリコ	ワシオ・ト シヒコ	美術の窓		361		
特集 日本の現代版画 1990-2013 筆塚稔尚《半睡の野生》1995年	筆塚 稔尚	版画芸術		162		
船川未乾素描(1)	丹尾 安典	一 寸		56		

特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 ふ るた加代	高山 淳	美術の窓	360	特集 建築評価の現 在形：脱中心化・断 片化・ローコンテク スト化する言説環境 とそのゆくえ 第2 部 作家アンケート 賞が果たせるもの	古谷 誠章	建築雑誌	1645
特集 水墨の美 わ たしの淡墨法 よい 酒のごとく水と淡墨 は人生の生き写しそ のもの	古館 興	水墨画*	289	特集 日本の現代版 画 1990-2013 古谷 博子《冬の音》 1995	古谷 博子	版画芸術	162
柳宗理 さあ、良い 仕事をしよう col- umn 柳宗理の直視 的撮影法	古屋英之助	太陽(別冊)	柳宗理	巻頭特集 魅惑の女 性像 画廊街で出会 える女性像 古吉弘		美術*	454
衛星家族写真一 Google時代の肖像 (写真)	古屋 和臣	多摩美術 大学研究 紀要	27	特集 基礎を完璧に する！人体デッサン ◎技法講座 VOL.27 case 2 古吉弘 シ ャープペンシルと白 鉛筆で理想美を追究	古吉 弘	美術の窓	352
美術評	古谷 利裕	東京夕刊					
「MU[無] ペドロ ・コスタ&ルイ・ シャフェス」展 観客の移動が生む 映像との関連性			1.25			(へ)	
柄沢祐輔展 ネット ワーク的な建築 をめざして 反復 と反転 まるで四 次元空間			3.1	「国際港都 神戸風 物展」について[別車 博覧]	相良 周作	兵庫県立 美術館研 究紀要	7
エル・グレコ展 現われ出るものの 力強さ			4.5	手塚・ちば・水木… 戦争、漫画家が描く メッセージ[北条司]		朝日夕刊	8.10
「坂本一成住宅め ぐり」展 家の空 間を「自由にする」			6.21	冠松次郎と徳刈三寿 雄 黒部と槍	神長 関次 談 富田 構成	幹雄、 和子 E Y E S	80
フランス・アリス 展 ジブラルタル 海峡編 溝となる 線を橋に変える			7.26	日々好日 いま、こ の刻に	星 兼雄	新美術新 聞	1315
「わたしをとりま く世界」展 潜在 的次元に届く想像			8.30	水墨の最前線23 光 の陰翳のうねりを水 墨で 星川忠資	野地耕一郎	水墨画*	293
モローとルオー展 「目に見えないも の」への共鳴			10.4	巻頭特集 魅惑の女 性像 画廊街で出会 える女性像 「光」の 女性像一 星野晶子 の世界をご存知です か？		美術*	454
「生誕100年！ 植 田正治のつくりか た」展 相反する 二重性の魅力			11.1	お手本画&秀作集 其ノ十九 星野栄華 《光を浴びて》	星野 栄華	水墨画*	286
MOT コレクショ ン第2部 「つくる 、つかう、つか まえる—いくつか の彫刻から」展 世界の新鮮な姿 別のやり方で提示			11.29	作家通信 ハワイ島 桜祭りに参加	〃	〃	291
作家訪問436 鍛冶 芸術家 古屋菜々さ ん	編集部	目の眼	438	『海から空シリーズ』 の展開 2012年度分 『3.11 ミニアチュ ール ART 展』『BOX 美 術館展 11』等	星野高志郎	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	9

第二十二回日本陶芸展受賞者に聞く	加藤石嶋藤井坂本星野西金子石崎唐澤	清和修彦之章友幸生治之昌	陶 説	724	彫刻家細川宗英の初期作品に関する一考察 1955年から1960年の石膏直付け技法による制作	樽井 美波	芸術学研究(筑波)	18
車に教えられる人生 本よみうり堂	星野	博美	日 経 読 売	3.24	京語り 日本再発見 細川護熙さんの鞍馬天狗 時局と距離感 屈託なく	鈴木 琢磨 聞き手	毎日夕刊	4.24
「ホロコースト後のユダヤ人」野村真理著 欧州を去った真の理由				1.20	特集2 スペシャル対談 細川護光×近衛忠大 千年つづく旧家の次期当主が語る歴史と美	調所 司会	一朗 目の眼	439
犬の伊勢参り 仁科邦男著				5.26	イケメン・ゴッホ兄弟のテオ様ファン急増中! [穂積]		芸術新潮	764
海賊ユートピア ビーター・ランボーン・ウィルソン著 背教者たちの共和国				7.21	一視線の変遷—日本画制作 2002—2008	程塚 敏明	筑波大学芸術研究報告	60
『黄金旅風』飯嶋和一著				8.4	なぜ私は建築を選んだか no.8 環境設計に魅せられて	梅干野 晁	建築雑誌	1646
「ダーク・レンズ」セドリック・デルソー写真集				10.6	工藤さんとの出会い	堀 浩哉	国立国際美術館ニュース	199
永山則夫 封印された鑑定記録 堀川恵子著 死刑囚と精神医の葛藤				4.21	「堀文子展 命の不思議」開催記念講演会トークショー 堀文子&黒柳徹子	石井 絵美	長野県信濃美術館紀要	7
フィレンツェの世紀ルネサンス美術とパトロン物語 市民が造り上げた宝石				6.16	ことば 日本画家 堀文子さん	大西 若人	朝 日	12.3
特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 星野有紀	山下 裕二		美術の窓	357	作品研究 人形の原像と近代:夢二と柳女の作品から[堀柳女]	今井 陽子	現代の眼	600
横尾忠則 芸術にゴールはない 証言・1960-1970 1+1が3にも4にもなるような	細江 英公		太陽(別冊)	横尾忠則	堀井英男研究—銅版画と水彩画を中心に—	永松 左知	鹿島美術財団年報・別冊	30
自作再見 細江英公「薔薇刑#29」三島と作った劇的構図	西岡 一正 聞き手		朝日夕刊	5.22	堀江尚志作《鯉》と《鯉魚置物》	江村 忠彦	多摩美術研究	2
追悼 東松照明さん写真家集団「よね」への思い	細江 英公		産 経	1.14	プロから学ぶ 風景画 上達の極意 1~4	堀江 春美	水墨画*	289~292
東松照明さん しのぶ会「頼りがいある兄貴でした」丹野章さん、ユーモア交え[細江英公]	森本 智之		東京夕刊	4.4	視点 NYグッゲンハイム美術館「具体展」オープニングに参加して[堀尾貞治]	堀尾 あや	美術の窓	355
					硯 実用の美にじむ 山口の伝統工芸「赤間硯」を継承、独自の形磨く	堀尾 信夫	日 経	12.6
					特集 表現する女性たち PART2 堀本恵美子	堀本恵美子	美術の窓	361
					特集 表現する女性たち PART2 本城順子	高山 淳	〃 〃	〃

Shinkirou 本城直季 著		日 経	6.9	具体第二世代のアーティスト・前川強 支持体そのものの物質性を問う方法へ展開した表現	加藤 義夫		
公害乗り越えた歴史に迫る 本城直季さん 四日市市の写真集刊行		日経夕刊	7.29				
本田藤軒博士と父・松丸東魚との交流	松丸 道雄	書 論	39	ドン・ゴロスから始まり一貫して布を素材とした独自の表現を貫く前川強			
学生企画—クロスロード 2012年度京都造形芸術大学卒業展大学院修了展[本田佳那]		瓜生通信	58	本江邦夫の「今日は、ホンネで」第64回現代美術家 前川強		美 術*	455
特集 表現する女性たち PART 2 本田昌子	高山 淳	美術の窓	361	第66回全国大会研究発表要旨 永昌社蔵 呉春景文像と円山四条派—明治京都画壇の再検討—[前川文嶺]	中野 慎之	美 術 史	175
換骨奪胎 ホンマタカシの映像リテラシー 1~3	ホンマタカシ	芸術新潮	763、765、767				
特別インタビュー 1 アンドレアス・グルスキー 完璧なイメージを創造する	ホンマタカシ 聞き手	〃	764	注目のアート、紹介しません 前川雄祐「PIECE」イヤフォンスプリッター		瓜生通信	60
アートスクールガイド2013 アートを学ぶ、アートで生きる! INTERVIEW アートスクールでなにを学ぶ? 諏訪敦彦×ホンマタカシ		美術手帖	990	前田昭博氏の重要無形文化財保持者認定に寄せて	三浦 努	陶 説	728
REVIEWS 建築を撮影するカメラになった部屋[ホンマタカシ]	五十嵐太郎	〃	997	口絵解説 白瓷面取壺[前田昭博]	佐藤 直子	文 化 財*	600
お手本画&秀作集 其ノ十九 本間法子《ソラガクル》	本間 法子	水墨画*	286	新指定の文化財 工芸技術 白磁[前田昭博]	文化庁文化財部	〃	〃
作家との対話 本間晴子	原田 平作	美術フォーラム21	27	新・旧刊案内55 中村不折の新聞挿絵と彫師前田剛二	青木 茂	一 寸	55
(マ)				惜別 八橋誠滋先生を偲んで	前田 進	主体美術	94
作家紹介 眞板雅文	眞板 充江	Corridart	11	岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 理想の後継者たち 前田青邨 「にごりをおとりなさい」	今瀬 佐和	太陽(別冊)	209
学問の図像とかたち 149 思考の模型 屋根の用法[前川國男]	松本 文夫	U P	487	美の美 風神雷神図の系譜 下 伝統学びつつ新たな視点 宗達の精神、現代へ脈々と[前田青邨]	田村 広濟	日 経	10.6
横浜現代史人物伝2 写真家・前川謙三	吉田 律人	市史通信	16	こころの玉手箱 歌舞伎俳優 市川團十郎 4 小鼓 稽古 通い楽しいお出かけ [前田青邨]	市川團十郎	日経夕刊	1.10
燃える横浜生々しく 関東大震災の被害を描く 当日の夜、美術教師が記録 「現在でも教訓に」[前川謙三]		日経夕刊	7.29	現代美術の流れ(註一)	前田 岳究	国立国際美術館ニユース	194
インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.11 前川強		ギャラリー	338	特集 ポスターの視覚文化論 9 画家とポスターの緩やかな周辺—大阪モダニズムの画家三態[前田藤四郎]	橋爪 節也	美術フォーラム21	27

第44回日展 新入選者寄稿—喜びと抱負—日展とこれからの私	前原 慎介	日展ニュース	148	鑑賞録 子規の画 [正岡子規]	夏目 漱石	国華清話会報	22
世界文化遺産登録記念 我が心の富士山(2)	牧 進	新美術新聞	1321	特集 水墨の美 私の筆遣い 形がないけど形がある 存在せずして存在している気配を	正木 康子	水墨画*	296
平成24年度日本藝術院賞(美術4氏)決定恩賜賞に横文彦氏、能島和明氏、佐藤哲氏、寺池静人氏が受賞		〃	1308	碧南 美術遺遺[正宗得三郎]	木本 文平	碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要*	2
平成25年度文化勲章に高木聖鶴氏、中西進氏 文化功労者には上村淳之氏、横文彦氏ら		〃	1327	近代佐渡における真野宮御造営と3代目間島奎太郎について	奥崎藤澤 智道彰 憲祐	日本建築学会論文系論文集	687
横文彦講演録「思い出に残る建築プロジェクトを語る」	横 文彦	視 る	458	村山槐多論—実践による思考の構造体	増田 常德	武蔵野美術大学研究紀要	43
異議あり 新国立競技場計画 景観・安全 巨大施設の後には 建築家・横文彦さん	大西 若人	朝 日	9.24	3・11後を生きる 非核×芸術案内 苦悩続く限り未完成 私たちに問う 根源的な問題[増田常德]	岡村 幸宣	東京	2.21
文化功労者15氏 設計に「東京愛」横文彦さん		〃	10.26	「増田誠 パリー—人生の哀歌」講演会	増田 曙美	山梨県立美術館研究紀要	26・27
「巨大過ぎる」新国立競技場案 幅広い議論を 建築家・横文彦さん疑義	横 文彦	談 産 経	10.9	日々好日 ほおずき	梶田 隆一	新美術新聞	1319
丹下健三再評価へ機運 証言本出版相次ぐ[横文彦]	永田 晶子	毎日夕刊	9.11	日々好日 画家と坊さん	増地 保男	〃	1323
「これからの建築」横文彦さんら語る 東京大でシンポ	〃	〃	12.18	世界の床屋さんパチリ 楽しそうな仕事ぶりや人間味を切り撮り写真集に	舛巴 亮	日 経	4.19
和の知恵生かす国際派 文化功労者 建築家 横文彦さん		読売夕刊	10.25	ターレンス 若手アーティストの制作現場2 益永梢子 解体・再構築から創造の本質を探る	杉瀬 由希	美術手帖	982
牧野邦夫著 戦後美術史を書き換えるために『牧野邦夫画集—写真の精髓—』	山下 裕二	紫 明	33	露地に想う 心を切り替える空間装置	梶野 俊明	淡 交	834
美の履歴書 305なぜ日本の古典文学か「海と戦さ」 牧野邦夫	大西 若人	朝日夕刊	5.22	丁亥印社リレー投稿16 印刀の熱処理について	益満 丁壺	書道界	284
制作ノート East Java	牧野 光一	武蔵野美術大学研究紀要	43	リトグラフエッチング再考(版画)	梶本 久水	多摩美術大学研究紀要	27
所蔵品紹介238 秋韻 曲子光男		石川県立美術館だより	361	ダムに沈む故郷“残す” 掛斐川の旧徳山村、「カメラばあちゃん」の遺志継ぐ [増山たづ子]	野部 博子	日 経	10.18
「ペーコン展」を見て危機と死を乗り越えた「いのち」の表現	馬越 陽子	新美術新聞	1311	3.11以降の作品制作を振り返る	増山 麗奈	美術運動	140
特集 表現する女性たち PART 1 馬越陽子	高山 淳	美術の窓	361	日本画家のアトリエ訪問 1 間瀬静江	大澤 景	美術の窓	357

特集 いい「目」を描きたい! ④技法講座 vol.31 『爪と目』で第149回芥川賞を受賞 藤野可織さんの「目」のはなし[町田久美]	藤野 可織	美術の窓	363	taiji matsue jp 0205 松江泰治著	日 経	4.28
プロから学ぶ 風景画上達の極意9 光・色をとらえる 水墨画における明暗・色彩の表現法	町田 泰宣	水墨画*	297	丁亥印社リレー投稿19、20 長野善光寺周辺における二世中村蘭臺の作品(上、下)	松尾 碩甫	書道界 287、288
特集 2013年 ルネサンス大解剖 私のルネサンス 西洋の表現を日本画へと生かす	松井 和弘	美術の窓	355	特集 武田百合子 歩く、食べる、書く 百合子さんとともに彼女の目で景色を眺めてみたい	松尾たいこ	ユリイカ 635
被災前の家水彩画で富山の画家 温かみある97点描く「何げない日常が大切」[松井大門]	青木 孝行	東京夕刊	5.20	追悼特集・松本哲男氏 描くこと、それは心の叫び	松尾 敏男	新美術新聞 1304
特集 20世紀のカルスマ フランス・ベーコンを解剖する座談会 ベーコン女子会へようこそ!	安藤モモ子 金沢 百枝 原田 マハ 松井 冬子 保坂健二郎	芸術新潮	760	特別対談 佐久市長 柳田清二×日本画家 松尾敏男	〃	1323
巻頭特集 和洋骨董から現代アートまで ひびきあう古今美のしつらえ プロログ ようこそ、古美術の世界へ 対談 浦上満(浦上蒼穹堂)×松井冬子(日本画家)	編集部	美術*	452	吾が思い出の映画史18	〃	美じよん新報 161
特集 基礎を完璧にする! 人体デッサン ④技法講座 VOL.27 美術解剖学者・布施英利が語る 松井冬子と人体解剖学に裏付けられた美	布施 英利	美術の窓	352	演劇と交わる緞帳の美 呉服の染織技術 生きる[松尾敏男]	増田 愛子	朝日夕刊 10.16
読書 売れてる本 暗殺教室 教師像を究極まで戯画化[松井優征]	佐々木俊尚	朝 日	5.5	歌舞伎座 逸材や美術の粋 凝縮[松尾敏男]	〃	東京夕刊 4.2
コツをおさえて描く 花の水墨画速習帖10 椿の花姿を閑雅に	松井 陽水	水墨画*	286	歌舞伎座 新開場 「よっ! 5代目」 工事に延べ40万人「日本文化のシンボルに」 舞台 樹齢100年を越すヒノキ[松尾敏男]	〃	読売夕刊 4.2
作家自選作品集5 松井陽水 《冬の宿場町》	〃	〃	294	巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシーンを熱くする100人 日本画ニューエイジ 画廊編 松岡歩	和田 正宏	美術* 460
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 バリへの尽きせぬ思い	松井ヨシアキ	美術*	456	近代日本の出版・展覧会 興隆期における絵巻物の復興と創造 一松岡映丘とその門下による《草枕絵巻》を軸として一	小林 優	LOTUS 33
この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012年度奨学生 松浦進	松浦 進	〃	〃	名画に見る富士山 6 二つの日本一 広がる緑 牧之原大茶園[松岡映丘]	伊藤 一樹	東京夕刊 8.5
				研究報告 2. 奥原晴湖、瀧和亭、服部波山、福島柳圃、松岡環翠「文人寄書」について	太田 佳鈴	実践女子学園香雪記念資料館館報 10
				特集 建築評価の現在形: 脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 生き残った形態が機能的である	松川 昌平	建築雑誌 1645

特集 表現する女性たち PART 2 松倉弘子	高山 淳	美術の窓	361	特集 表現する女性たち PART 2 松谷万里子	高山 淳	美術の窓	361
展覧会レビュー part 1 大野麥風展「大日本魚類画集」と博物画にみる魚たち水中の物語	松崎 和実	美術*	458	卒業生からのメッセージ レトロな活版に心つかまれて 松永紗耶加さん		瓜生通信	59
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて一現代の名作から金沢駅	松崎 十朗	〃	453	特集 表現する女性たち PART 2 松永佳江	高山 淳	美術の窓	361
特集 表現する女性たち PART 2 松田悦子	高山 淳	美術の窓	361	平成二十五年新作名刀展の概要 作刀の部 受賞の言葉 刀鍛冶という生き方	松葉 一路	刀剣美術	678
資料紹介 松田権六「優品之調査」	北村 仁美	東京国立近代美術館研究紀要	17	新美術時評 「最後の南画家」松林桂月	島尾 新	新美術新聞	1322
戌も歩けば beau[ボー]に当たる 第四十回 漆聖・松田権六	竹田 博志	美術の窓	353	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 松林重宗	高山 淳	美術の窓	360
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 1 松田正平		〃	360	第66回全国大会研究発表要旨 永昌社蔵 呉春景文像と円山四条派一明治京都市面壇の再検討—[松村景文]	中野 慎之	美術史	175
美の履歴書 317 島は「絵になった」か「周防灘」 松田正平	西岡 一正	朝日夕刊	8.14	特別企画 松村謙三賞・絹谷幸二賞 「画家の使命、コレクターの役割」	松村 謙三、 絹谷 幸二、 南島 鼎談	美術*	459
コミック 重版出来! 1 松田奈緒子〈作〉 ヒット作が“作られる”まで	山脇 麻生	朝 日	4.7	ひと 愛知県立芸術大学学長に就任 松村公嗣さん		〃	454
流木が龍木に変身 宮城・石巻 被災者の「守り神」に 杉並の美大OG 実体験を絵本化[松田春花]	杉戸 祐子	東京夕刊	12.11	うつくしき、日本のけしき 第四回 祭り 松村公嗣《昇[どんど]》	松村 公嗣	〃	460
次世代のクリエイターを輩出! 「Graphic Grand Prix by Yamaha」[松田雅史]		A X I S	164	作品 松村繁 「Lamina—因—」 「Lamina—GATE」		札幌大谷大学紀要*	43
あとがきのあと 「和的」松田行正氏 日本人の美意識を探る		日 経	4.7	瀬戸内に集う「建築の粋」「国際芸術祭」と連動 話題相次ぐ 安藤作品続々と誕生 松村正恒 地域に奉仕	高野 清見	読 売	8.22
特集 期待の若手作家を発掘せよ! 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 松田麗香	本江 邦夫	美術の窓	357	創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語る 多くの出会いの中で	松本 恵美	主体美術	94
インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.7 松谷武判		ギャラリー一*	334	少女漫画の元祖? 展示 松本かつぢさん 「?[なぞ]のクローバー」 「リボンの騎士」より20年早く		東京夕刊	10.29
具体の第2ステージ 欧州での具体再燃の口火を切る ハウザー&ヴェルトでの「松谷武判」展	伊東 豊子	美術手帖	989	大川美術館への期待	松本 莞	ガ ス 燈	97
				画家・松本邦秀		美術屋・百兵衛	27
				インスピレーション アート 「生誕100年 松本竣介展」	暮沢 剛巳	A X I S	162

平成25年定期刊行物所載文献(近/作マ)

所蔵品紹介 彫刻と女 松本峻介	吉田 暁子	エスプラナード	170	生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く知られざる丹下健三 インタビュー「丹下モデュロール」には困り果てました	松本 哲夫	芸術新潮	764
大川美術館への期待 [松本峻介]	松本 莞	ガス 燈	97				
松本峻介の《立てる像》(1942)と《象徴》の成立—トリコロールの《黒い花=デクノボウ=宮澤賢治》をめぐって—	長田 謙一	芸術学研究 ART&DESIGN STUDIES	1	追悼特集・松本哲男氏		新美術新聞	1304
雪の日の午後—松本峻介と土方定一書簡	酒井 忠康	世田谷美術館紀要	14	描くこと、それは心の叫び	松尾 敏男		
松本峻介にとっての「生長の家」機関誌『生命の芸術』	小金沢 智	〃	〃	松本哲男氏の思い出 酒は“快癒の薬”	谷 新		
『生命の芸術』目次一覧 [松本峻介]		〃	〃	恩師、松本哲男先生を偲んで	番場 三雄		
「谷口先生御肖像頒布会規約」再録 [松本峻介]		〃	〃	内面化された分裂—現在において松本俊夫を再検討すること	阪本 裕文	あいだ	199
宮澤賢治との交響を読み作品解釈の新しい地平へ 長田謙一論文「松本峻介の《立てる像》と《象徴》の成立」	山口 泰二	美術運動史研究会 ニュース	138	特集 表現する女性たち PART 2 松本信子	高山 淳	美術の窓	361
松本峻介の足跡 「戦中から戦後へ作家をたどる」番外編	笹木 繁男	〃	〃	明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索— [松本楓湖]	岩切信一郎	一寸	54
研究ノート 松本峻介とヴィジュアル・メディア—新出資料の紹介を中心に—	柳原 一徳	美術史学	34	私の色と墨への思い 墨彩画では墨が作品の土台 その上で墨と色の調和と対立を演出	松本 深雪	水墨画*	297
REVIEWS 自己更新と再統合の絵画—松本峻介のリヴィジョンズの実像 「生誕100年 松本峻介」展	松井みどり	美術手帖	982	人生の贈りもの 漫画家 松本零士 1~4	羽毛田弘志 聞き手	朝日夕刊	2.12~15
カジュアル美術館 立てる像 松本峻介 神奈川県立近代美術館 時代に流されない自己 ちりばめられた抽象表現	三沢 典丈	東京	2.17	話の肖像画 漫画家 松本零士 1~5	山田 泰弘 聞き手	産 経	6.17~21
音のかなたへ 汚れた川の先 [松本峻介]	梅津時比古	毎日夕刊	3.5	松本零士さんが語った2093年 「新聞は立体、地震対策も進む」		〃	6.20
ロピピア工房による施釉テラコッタ彫刻の制作技法研究—粘土の性質と焼成を中心に—	松本 隆子 松本 悠子	武蔵野美術大学研究紀要	43	文化往来 アニメ映画「キャプテンハーロック」海外へ [松本零士]		日 経	9.2
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語る 松本先生のアトリエ [松本忠義]	本木エツ子	主体美術	94	松本零士さんに聞く 世界と競争 挑戦続く 志同じ3人「運命的な交流」	松本 零士	読 売	5.3
				半歩遅れの読書術 現代社会と漫画 家族の絆と少女の想像力 [真鍋昌平]	斎藤 環	日 経	7.28
				総特集 岡村靖幸 エッセイ common	真鍋 大度	ユリイカ	629
				評 疑い、問うて残るものは 「風が吹けば桶屋が儲かる」展 「虹の彼方」展 [mamoru]	大西 若人	朝日夕刊	1.23



注目のアート、紹介 します 丸岡翔 X 世帯住宅		瓜生通信	59	ガラスの仮面 宇宙 もロボも ギャグア ニメ・舞台化続々 原作は次回50巻 美 内すずえ「おもしろ ければOK」	佐藤 美鈴	朝日夕刊	8.3
特集 表現する女性 たち PART 2 丸川 幸子	高山 淳	美術の窓	361	特別企画 春陽展90 回記念展 新世代の 作家 『光について』	三浦 明範	ギャラリー 一*	336
戦中から戦後へ作家 をたどる 12 丸木 位里、丸木俊	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	134	仏像ってカッコイイ いとうせいこう×み うらじゅん	板垣麻衣子 聞き手	朝日夕刊	10.12
闘争、苦悩 連作に 描く 群馬・太田 田中正造没後100年 で展示 丸木夫妻 「足尾鉍毒の図」[丸 木位里/丸木俊]	美細津仁志	東京夕刊	12.18	学びのふるさと イ ラストレーター み うらじゅんさん「好 きなものには何にで もなれる」勉強せず とも叱らなかつた母 の口癖	佐藤淳一郎 聞き手	日経夕刊	5.17
田中正造没後100年 丸木夫妻の絵画展示 足尾鉍毒 虐げられ た人々の怒り[丸木 位里/丸木俊]	足立 旬子	毎 日	8.16	京がたり 日本再発 見 映画「パッチギ！」 は僕の体験 みうら じゅんさんの 青春 反発した街、今は好 き	江畑 佳明 聞き手	毎日夕刊	7.3
夜光列車 丸々もと お、丸田あつし著		日 経	1.27	第26回奨学者のレポ ート 絵・空・事	三浦 高宏	アクリラ ート(別 冊)	2013
幻風景	丸田 祥三	朝日夕刊	20.9.17、 10.1、 11.5、 11.19	3・11後を生きる 被災地発 古里の色、 変わろうとも[三浦 千波]	東 京		5.22
クリエイターズワー ク&ソウル 丸山正		A X I S	162	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 三浦 敏和	高山 淳	美術の窓	360
美術新人賞 デビュ ー2014 第2回 日 本画作品の台頭に注 目	本江 邦夫、 立島 恵、 丸山 勉、 座談 美 術* 編 集 部 進 行	美 術*	462	作家通信 元気のヒ ミツ 元気ですか〜 ?	三浦ひろみ	水墨画*	286
特集 水墨の美 「墨」と「色」の調和を 楽しむ	丸山 東子	水墨画*	297	巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 写実画新世代 画廊編 三重野慶	関 秀輔	美 術*	460
丸山晚霞の水彩画 (明治末期)一筆触と 彩色の魅力―	岸田 恵理	長野県信 濃美術館 紀要	7	月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No.36 文明の生み だす豊かさを享受す る人々への警句―表 現者から表現者へと 受け継いでゆくもの ―	三木 俊治、 小川 英晴	ギャラ リ一*	341
お手本画&秀作集 其ノ二十一 丸山正 博《溪流》	丸山 正博	水墨画*	288	「新具象彫刻展を出 発点とした東京造形 大学出身者たち」展 [三木俊治]		〃	343
巻頭特集 魅惑の女 性像 画廊街で出会 える女性像 丸山恭 世		美 術*	454	特集 日本の現代版 画 1990-2013 三 井田盛一郎《a plate 2006》 2006年	三井田盛一 郎	版画芸術	162
あとがきのあと 「が らくたからたから」 マンタム氏 経験踏 まえた古道具入門		日 経	2.3	作品紹介『ブラジルの 花嫁』―耳以前の 三木富雄について	遠藤 亮平	富山県立 近代美術 館年報	H24年度
	(ミ)						

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ミ)

三岸好太郎《海と斜光》について—イメージの引用という手法を手がかりとして—	吉田 暁子	福岡市美術館研究紀要	1	お手本画&秀作集 其ノ十九 水上玲子《銀河鎮魂・11311》	水上 玲子	水墨画*	286
当館のイチオシ 画家として出発点—文字通り館の「顔」—三岸節子《自画像》—宮市三岸節子記念美術館		ギャラリー	340	手塚・ちば・水木…戦争、漫画家が描くメッセージ[水木しげる]		朝日夕刊	8.10
特集 表現する女性たち PART 1		美術の窓	361	今の時代こそ水木漫画!! 京極夏彦さん[水木しげる]		産 経	7.8
三岸節子 ヨーロッパの風土に魅せられて	伊藤 和彦			駅ものがたり 東京都調布市 西調布駅 漫画家・水木しげるさんの妻 武良布枝さん ゲゲゲの夫妻と歩む	梅村 武史	東京	4.7
女性画家の歴史 メアリ・カサット、フリーダ・カーロ、ケーテ・コルヴィッツ…女性画家たちの生き方[三岸節子]	堀尾真紀子 談			水木しげるという思想 自然と人間つなく媒体発見	石川 翠	東京夕刊	7.9
東京美術学校西洋画科卒業制作作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究 X[御厨純一]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鍾旭	東京芸術大学美術学部紀要	51	文化面の余白 取材ノートから 49 水木しげるさん 見えない存在を描く	三品 信	〃	12.16
巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 朝倉彫塑館リニューアルオープン 三沢厚彦が「猫」を訪ねる	編集部 構成	美術*	458	文化往来 水木しげるの漫画全集、京極夏彦が監修		日 経	7.11
三沢厚彦 動物の絵 三沢厚彦著		日 経	8.11	学びのふるさと 漫画家 水木しげるさん「しつたいしつたい」よく褒めてくれた「のんのんばあ」前向きに生きていく礎に	安原 和枝 聞き手	日経夕刊	1.25
青春プレイバック 洋画家三沢忠 故郷信州の雪、その凄絶さと温もりを描く	清水 康友	新美術新聞	1319	Mr. X		美術屋・百兵衛	24
明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索— [三島蕉窓]	岩切信一郎	一寸	54	「断崖絶壁」のデザインの魅力	水谷 孝次 談 (T. Y.) 聞き手	ソカロ	67
月刊ギャラリー創刊25周年記念 小川英晴のアート縦横 No.28 平田淑雄の遺したもの	ミズテツオ、小川 英晴 談	ギャラリー	333	Rebirth+ (油彩画)	水野 暁	多摩美術大学研究紀要	27
銀座の名門クラブ・グレにミズテツオのフラッグシリーズ「さゆり」と「グレ」が登場	中本 裕二	〃	342	特集 時を描くリアリズム アントニオ・ロベスの世界 画家が見たロベス 1 ロベスの講習を受けて リアリティあふれる絵画	水野 暁 談	美術の窓	356
この人 脳機能障害と向き合い生命力あふれる絵を描く 水上卓也さん 命の大切さ、輝きを伝えたい	北村 希	東京	8.6	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 水野恵理	水野 恵理	美術*	458
				所蔵品紹介230 金銀象嵌雪に鷹図香炉 八代水野源六		石川県立美術館だより	351
				明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索— [水野年方]	岩切信一郎	一寸	54

特集 表現する女性たち PART 2 水巻令子	高山 淳	美術の窓	361	ぎやらりいモール 森美術館「六本木ク ロッシング2013展; アウト・オブ・ダク ト」から「幽明」 満田晴徳 2013年 銅、赤銅、真ちゅう 30×30×100センチ	片岡 真実	読売夕刊	12.17
支持体から見る絵画表現 支持体の状態と特性による効果と意味[三瀬夏之介]	佐藤 学	芸術学研究(筑波)	18				
巻頭特集 和洋骨董から現代アートまで ひびきあう古今 美のしつらえ しつらえ III 日本の現代アート×ガレのガラス器[三瀬夏之介]	青山 幸生	美術*	452	絵になりそうな所—「廬の浦」風景画考— [満谷園四郎]	内村 周	文化学年報	62
ARTIST INTERVIEW 三瀬夏之介	福住 聞き手	美術手帖	993	『写真の深淵〜J. ボードリヤールから存在・イメージ・世界〜』制作ノート	三橋 純	横浜美術大学・研究紀要	3
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 自分なりの油絵を	溝部 聡	美術*	456	特集 表現する女性たち PART 2 三森千恵子	大澤 景	美術の窓	361
画家・三谷祐資		美術屋・百兵衛	24	文化面の余白 取材ノートから 53 水戸岡鋭治さん 公共空間に最高のものを	三品 信	東京夕刊	12.20
台湾・日本芸術文化交流事業レポート 漆芸と現代アート 新しい交流のかたち 台湾・日本芸術文化交流事業「台湾・日本漆芸交流展」を終えて	三田村有純	新美術新聞	1329	あの頃の軍艦島 皆川隆著		日 経	3.24
新・現代日本の作家たち アトリエ寫眞 No.009 三田村有純 身辺抄	〃	美術*	454	特集 表現する女性たち PART 2 湊圭子	磯部 靖	美術の窓	361
フェイス21世紀175 Σ! CH! KO! 写真を超えて可能性を切り拓く [Michiko]	和田 圭介	新美術新聞	1321	SPECIAL FEATURE 神々の聖地 SPOT 対馬	港 千尋	美術手帖	987
イベント報告 座談会「東京オリンピックのデザイン証言者」 勝井三雄×道吉剛×小西啓介	木田 拓也 編集・文責	現代の眼	601	考景2013	〃	読 売	
第26回奨学者のレポート 内になることば	三井 園子	アクリラート(別冊)	2013	鉄道網と記憶 線路の先にあるものは			4.8
フェイス21世紀177 満田晴徳「自在置物」未来を担う手技	和田 圭介	新美術新聞	1327	ゴビ砂漠(モンゴル) 身の丈が役に立たない世界			10.14
巻頭特集 全部買えます。100作家200点!! 手のひらサイズのカワイイ工芸 クローズアップ 現代によみがえる「自在置物」—満田晴徳、驚愕の超絶技巧		美術*	459	生きる物語 不屈のカメラマン9 真実の物語を紡ぐ[南健二]	渡辺 諒	毎 日	7.27
				特集 いい「目」を描きたい! ⑧技法講座 vol.31 似顔絵から考える「目」「目」はすべてを語る?	南 伸坊	美術の窓	363
				人生は夕方から楽しくなる「イラストライター」南伸坊さん 「老人力」の新境地 自分のための絵	小国 綾子	毎日夕刊	8.30
				世界記憶遺産の炭坑絵師 山本作兵衛展 構図に工夫 迫力あり	南 伸坊	読売夕刊	3.15
				特別企画 松村謙三賞・絹谷幸二賞 「画家の使命、コレクターの役割」	松村 謙三、絹谷幸二、南 宏	美術*	459

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ミ)

特集 日本の現代版画 1990-2013 南館麻美子《花の香り》2007年	南館麻美子	版画芸術	162	三宅克己の画業と生涯(三) 明治学院入学から大野画塾時代まで	森 芳功	徳島県立近代美術館研究紀要	14
かぞくの肖像 漫画家 峰なゆかさん 気高さに「さん」付け	机 美鈴	朝日夕刊	7.4	本江邦夫の「今日は、ホンネで」第60回美術家 ミヤケマイ		美 術*	451
街角アート 野外空間と具象彫刻と[峯田義郎]	星野 清一	新美術新聞	1311	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 座談会 猫は何でも分かっている	ミヤケマイ 杉山下まゆみ	〃	458
Go! Artists Go! 53 箕輪千絵子	編 集 部	美術手帖	989	特集 表現する女性たち PART 2 宮崎曠代	高山 淳	美術の窓	361
戦友に捧ぐ造形 ニューギニア激戦体験 町田の92歳、三橋国民さん「彼らの思いを、どう伝えるか」	飯田 孝幸	東 京	8.15	王羲之題材に筆さばき披露[宮崎紫光]	大沢 瑞季	毎 日	2.1
特集 風景面100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 三村浩二	高山 淳	美術の窓	360	シベリア 死者の叫び描く 過酷な捕虜生活、非業の最期遂げた仲間の苦しみ代弁	宮崎 静夫	日 経	7.3
美の履歴書 324 少女がおびえる理由「落日の嘆美」宮芳平	西岡 一正	朝日夕刊	10.2	戦中から戦後へ作家をたどる 16 宮崎進	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	139
入門講座 近代陶芸家くらべ 1 尾形乾山×宮川香山「抽象と写真」に日本らしさ	金子 賢治	日経夕刊	9.5	視点 広島・東練兵場の幻想一兵隊姿の岡本太郎、宮崎進らが出た。	竹澤 雄三	美術の窓	360
第26回奨学者のレポート 空間認識	宮木沙知子	アクリラート(別冊)	2013	インタビュー 宮崎進氏に聞く 美術家とは「生きること」	大沼 映夫 関き手	連盟ニュース	448
フェイス21世紀171 三宅一樹 木のいのちと語り かたちに美を宿す	和田 圭介	新美術新聞	1311	特集 夏目漱石の目 名作をいろいろの絵画たち コラム イメージの連鎖 漱石から宮崎駿へ	古田 亮	芸術新潮	762
特別編 木彫刻家・三宅一樹 滋賀・多賀大社で《伊邪那岐命》と出会う	三宅 一樹	美 術*	457	宮崎駿、ディズニーからの卒業宣言	川勝 麻里	立教大学 日本学研究所年報	10・11
特別対談 蔡志松×三宅一樹 「美の法則」は、国境を越えて	潘 司会 広宜	〃	459	アニメ作りの方程式 崩す 主人公は実在の人物 分りにくさに意味 宮崎駿監督、新作「風立ちぬ」20日公開	石飛 徳樹 朝 日	7.16	
デザインで日本に希望を 国立の美術館「つくる会」立ち上げ 三宅一生さん 目と体で実感する場	大西 若人、西岡 一正 編集委員	朝日夕刊	1.9	オピニオン インタビュー 零戦設計者の夢 作りたい物を作って美しくも呪われる矛盾した敗戦感情 映画監督 宮崎駿さん	太田 啓之 関き手	〃	7.20
三宅一生さん初の照明器具シリーズ「陰翳 IN-EL」 「光と影の彫刻」に挑む	黒沢 綾子	産 経	5.30	宮崎映画 ヒットの哲学 作品優先・ロングランで 鈴木敏夫プロデューサー 引退の裏 かさむ製作費	石飛 徳樹	〃	9.18
発表要旨 第二十六回研究会 絵葉書・絵地図に描かれた近代の名勝—三人の画家による自然風景— [三宅克己]	南出みゆき	大正イマジユリイ	8	アニメ生まれる瞬間を映像に 砂田麻美監督 スタジオジブリの1年を追う[宮崎駿]	〃	〃	11.19

プレミアムシート「風立ちぬ」ちっぽけな人間 静かに肯定[宮崎駿]	森 直人	朝日夕刊	7.26	回顧2013 宮崎駿イヤー	井上 喜博	"	12.17
「風立ちぬ」宮崎駿監督 5年かけ大人のファンタジー	櫛田 寿宏	産 経	7.19	反戦の心戦闘機に乗せて 宮崎駿監督の新作「風立ちぬ」 「力を尽くせ」テーマに	関原のり子	日 経	7.27
宮崎監督の引退 発信力を担う若手よ続け		"	9.3	宮崎駿監督が引退 ジブリ発表 「風立ちぬ」最後に		"	9.2
宮崎スタイルに限界? 駿監督引退表明「奇跡に近い仕事ぶり」「日本のディズニー」「アニメ映画の天才」海外メディア賛辞		"	"	宮崎駿監督「引退」に寄せて 上質の娯楽にこめた哲学	中条 省平	"	9.3
宮崎駿監督引退会見詳報「バブル時代、頭にきてナウシカ制作」「この仕事は世界の秘密をのぞくこと」公式引退の辞宮崎駿「あと10年自由に」		"	9.7	宮崎駿監督が引退会見 「この世は生きるに値する」	関原のり子		
宮崎駿監督新作「風立ちぬ」戦前の激動期 恋と青春 自分の経験生かした/曲と作品、重なった	井上 喜博	東 京	6.25	僕の長編アニメの時代終わった			
宮崎駿監督 いま声を大に「改憲もってのほか」ジブリ冊子に寄稿 反響大きくネット公開	樋口 薫	"	7.19	藤原帰一の映画愛 風立ちぬ 作画はさすがの美しさ やるせない子どもっぽさ [宮崎駿]	藤原 帰一	毎 日	7.21
筆洗[宮崎駿]		"	7.20	雑誌のハシゴ 宮崎駿「改憲」を斬る	荻原 魚雷	"	8.11
宮崎監督重ねて改憲反対「憲法いまこそ役立つ」会見で表明「日本、歴史的な感覚失う」		"	7.27	「風立ちぬ」に全精力 宮崎監督引退 自作に初めて涙	鈴木 隆 小松やしほ	"	9.2
「アニメ50年」区切り 宮崎駿監督なぜ引退「日本の自然破壊に絶望か」膨大な作業「気力・体力限界説」も	佐藤 圭	"	9.3	「この世は生きるに値する」子供たちへの伝言は…大人の心も揺さぶった 宮崎駿監督引退会見 柱失った日本映画界	広瀬 登陽 稲生 名富 海老名 大士 小泉 友己	"	9.7
どうなる「ジブリ」 宮崎監督引退 「巨匠」の存在あまりにも大きく… 若手世代への継承課題	井上 喜博	"	"	今回は本気です 宮崎駿監督 引退会見	勝田 友己	"	"
僕の長編アニメの時代は終わった 宮崎駿監督引退会見 ジブリ美術館の仕事に専念		"	9.7	余録[宮崎駿]		"	"
風立ちぬ 零戦設計にかけた男の夢[宮崎駿]	海田 恭子	東京夕刊	7.19	深よみエンタ 宮崎駿監督が引退発表 数々の傑作を送り出す	佐藤 雅昭	"	9.15
大波小波 戦争の美しき透明化[宮崎駿]	巨 神 兵	"	8.17	シネマの週末 風立ちぬ[宮崎駿]	(勝) (広)	毎日夕刊	7.19
				ジブリが「改憲反対」書店に無料冊子 反響大きく 宮崎駿監督ら談話	遠藤 孝康	"	7.24
				「感動」×「違和感」 賛否両論「風立ちぬ」 キーワードは「ピラミッド」[宮崎駿]	吉井 理記	"	8.21
				「風立ちぬ」1日上映 金獅子賞競う20作品 ベネチア国際映画祭 [宮崎駿]		"	8.26

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ミ)

宮崎監督「風立ちぬ」 公式上映 総立ち 引退惜しむ ベネチ ア映画祭 「寂しい」 国内のファン	袴田 貴行	毎日夕刊	9.2	宮廻正明と共に世界 へ ロシア周りでヨ ーロッパ、そしてア メリカを目指す 梶 井沢ニューアートミ ュージウム 白石幸 生理事長					
特集ワイド 宮崎駿 監督の「これから」 「やらない自由」長編 アニメ引退を宣言 心の方はどうなんだ 文化人にはなりたく ない あと10年仕事 をしたい	瀬尾 忠義		9.13	日本のデザインのモ ダニズム(3)一賢治 の花壇デザイン「涙 にあふれた眼」[宮沢 賢治]	柏木 博 学 鏡	11-3			
宮崎駿さん疎開先画 廊に メイや二郎が 住む家 宇都宮 作 品内にも登場			9.21	平成二十五年新作名 刀展の概要 作刀の 部 受賞の言葉 一 歩一歩	宮下 輝	刀剣美術	678		
この1年 映画 ア ニメが業界けん引 宮崎駿監督引退の衝 撃	鈴木 隆		12.4	「工芸な人」に聞く 第十七回 「唐木指 物師・木工芸作家」 宮下賢次郎さん	高濱登代子 聞き手	五風十雨	70		
宮崎駿監督 新作 「風立ちぬ」完成 リ アルな描写で「生」を 問う 脱ファンタジ ーと同時代性	近藤 孝 読 売		7.11	巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 日本画ニューエ イジ 画廊編 宮下 真理子	夏目 洋史 美 術*	460			
トピック 「風立ち ぬ」旋風起こす 興 業収入 100億円目 前 目立つ中年・高 齢者の観客 じらす 宣伝、話題作り奏功 [宮崎駿]			8.30	新春特別企画 東西 芸術大学学長対談 蓄積と伝統一変わ らないという価値	宮田 亮平 哲 新美術新 建昌 賢 聞	1300			
宮崎駿監督が引退 ジブリ社長発表 「風立ちぬ」最後に			9.2	特別対談 宮田亮平 ×鈴木寛 芸術に対 する誇りを持つため に日本人がなすべき こと		美 術*	455		
アニメに芸術性[宮 崎駿]	佐藤 忠男			デザインコンテスト 発案 東京芸大・宮 田亮平学長が語る魅 力ときめき乗せて 走るバス 営業開始 110年 これからも 学生時代甘い思い出 大震災後存在感再び					
宮崎監督引退 巨匠 50年で区切り 「風立 ちぬ」公開前発言「時代 に追いつかれた」					高原 克行	毎 日	10.4		
宮崎駿監督 引退会 見 笑顔の終幕「僕 は自由です」 アニメ 人生50年 若手に期 待 目と手酷使限界	近藤 孝		9.7	桜島 生きている大 地 宮武健仁著		日 経	9.29		
高畑勲宮崎駿ふたりの 50年 1～4		読売夕刊	6.14、 7.12、8.9、 9.13		有村 真鐵、 宮地 佑治、 保倉 一郎、 渡邊 保、 奈良 彰一 小此木美代 子、石井 進行	ガ ス 燈	96、97		
オールザットシネマ あす公開 風立ちぬ 美しさへの憧れと喪 失感 結果問うこと 諦めた潔さ[宮崎駿]	近藤 孝男 小椋 勝男		7.19	「オノサト・トシノ ブ記念座談会」記録 (前編、その2)					
「東京/東北学」のた めに 8 人と自然 の境界で[宮崎学]	赤坂 憲雄 産 経		1.28	空中空 宮永愛子著 交遊抄 海へ飛び込 む		日 経	1.20		
インタビュー・シリ ーズ 夢プロジェクト 世界に発信する アーティストたち No.6 宮廻正明		ギャラリー 一*	333	滋賀県彦根市 鳥居 本駅 地元で生まれ 育った油彩画家 宮 原勇作さん ギャラ リー集う拠点	宮永 愛子		2.16		
					辻井 勇太	東 京	7.28		

神宮美術館所蔵 神宮名品解説[宮平初子]	中村 潔 瑞 垣	226	柳宗理 さあ、良い仕事をしよう column 「かた・ち」のワークショップ一手で考える	向井周太郎 太場別冊	柳宗理	
アニメーションの世界とアート 第7回美術監督の仕事は物語世界の舞台を作ることです。ね リアル、SF、ホラーでも何でも描けないと仕事にならない[宮前光春]		ギャラリ ー*	344	被災ピアノ アートに再生 口紅塗って「日常」表現[向井山明子]	読 売	7.28
土曜訪問 原寸大で福島原発を表現 宮本佳明さん アナログが体感生む	石屋 法道	東京夕刊	8.10	特集 日本の現代版画 1990-2013 武蔵篤彦《Marks 10 Light 09-FEB.》 2009年	武蔵 篤彦	版画芸術 162
評 建築 宮本佳明「バードハウス」 征服せず、土地に寄りそう	五十嵐太郎	毎日夕刊	2.20	所蔵資料から 新しき村「労働カード」[武者小路実篤]	石井めぐみ	美 愛 眞 25
ぎやらりいモール 宮本三郎記念美術館「宮本三郎のデッサン教室」から 「裸婦」 宮本三郎	小金沢 智	読売夕刊	2.5	武者小路実篤の複製色紙が流行した一条件—色紙一般の歴史と文化に重心を置いて—	亀井 祐美	文化学年報 62
「工芸な人」に聞く 第十八回 「刀匠」 明珍宗裕さん	高濱登代子 聞き手	五風十雨	71	美の棲むところ 1、2	六田 知弘	美術の窓 362、363
それでも親子 写真家 三好和義さん 商売人の血で世界へ		日経夕刊	10.30	collecteurs asile しつらい 2 風の環 武藤順九作 果てしなき時を内包する大理石のメビウス	桑村 祐子	目の眼 440
東京土木 LIFE 第8回〜11、最終回	御代田和弘	A X I S	161~165	一九五〇年代における日米版画の人的交流—斎藤清・関野準一郎・棟方志功を中心に	桑原 規子	近代画説 22
天下逸品 萩焼 創造育む器の大きさ 山口県萩市[三輪休雪]	平出 義明	朝日夕刊	4.30	豆本 優美なモバイル[棟方志功]	河野 俊	日 経 7.11
「鬼萩」の創造力—三輪壽雪さんを悼む	石崎 泰之	陶 説	719	棟方志功と心一杯の交流 ペアテ・シロタ・ゴードン もう一つの偉業	石井 頼子 寄稿	毎日夕刊 2.6
惜別 萩焼作家・人間国宝 三輪壽雪さん 命みなぎる器 「鬼萩」に結実	加藤 勝利	朝日夕刊	2.9	視点 日本人の基層心理(八~十九)	宗雪 孝夫	美術の窓 352~363
美の履歴書 294 命は大地に宿ったのか 「命の開花」 三輪壽雪	中村 俊介	〃	2.27	生誕100年記念大特集 磯崎新が読み解く 知られざる丹下健三 インタビュー 「撮りたいアングルが同じだったので、びっくり」	村井 修	芸術新潮 764
特集 表現する女性たち PART 2 三輪道子	磯部 靖	美術の窓	361	彫刻家の現場[アトリエ]から 95 村井進吾	武田 厚	美術の窓 355
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 三輪光明	〃	〃	360	特集 表現する女性たち PART 2 村井とし子	磯部 靖	〃 361
作家自選作品集 3 向井五十代 《室生寺五重塔》	向井五十代	水墨画*	291	巻頭特集 魅惑の女性像 画家たちが描く奇跡の女性像 村岡貴美男	美 術*	454
作家通信 雪舟になりきる子供たち	〃	〃	296			

巻頭特集 イチオン 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 洋画・日本画の トップランナー ク ローズアップアーテ ィスト4 村岡貴美 男	編 集 部 美 術*	460	SPECIAL FEATURE 新しい芸術運動とし ての陶芸 PART 3 SITUATION 「陶芸 の未来はどこにある のか?」(特別鼎談) 村上隆×広瀬一郎× 松本武明	岡澤浩太郎 構成	〃	997
《追悼》 村岡三郎を 悼む	福岡 道雄	あいだ	205	特集 香港へ アー ト発見にでかけよう 商業中心区に続々登 場 ギャラリーの波 [村上隆]		美術の窓 358
作品研究 村岡三郎 《溶断—1380°C× 11000mm》	松本 透	現代の眼	602	村上隆の新次元 映 画「めめめのくらげ」 異質と共存 子ども 文化を描く 見せる映 像に美術家らしさ	中村 英樹、 切通 理作、 増田 愛子 構成	朝日夕刊 5.22
追悼 村岡三郎さん を偲んで	〃	新美術新 聞	1321	現代美術家 村上隆 が初メダホン 「め めめのくらげ」実 写とCG融合 自信 作	市川 雄二	産 経 4.26
表紙紹介・作家解説 裏 村上華岳《日高 河清姫図》	原田 平作	美術フォ ーラム21	28	村上隆 子どもに託 す希望	関原のり子	日経夕刊 4.15
collecteurs asile し つらい 6 耕牛図 村上華岳 徒然なる ままの夏の一頁	桑村 祐子	目の眼	444	Interview 村上隆 映画は魂のようなも の 初監督「めめめ のくらげ」26日公開	岸 桂子	毎日夕刊 4.24
文化往来 村上三郎 「具体」後の生涯を語 る作品集		日 経	2.11	「正直なこと」おとぎ 話に 村上隆さん長 編映画「めめめのく らげ」	恩田 泰子	読 売 5.2
通信 J to A アジア へ ドーハで村上隆 展を見る	青木 保	新美術新 聞	1312	特集 日本の現代版 画 1990-2013 村上 文生《Hannya Shing- you 99-10》1999 年	村上 文生	版画芸術 162
SPECIAL FEATURE 会田誠 SPECIAL TALK 対談：村上 隆×会田誠	岩渕 貞哉 聞き手 福住 廉 構成	美術手帖	977	コミック フィチン 再見【ツァイチェン】 ！ 1 村上もとか 〈作〉“女傑”上田ト シコの漫画人生	南 信長	朝 日 10.13
SPECIAL FEATURE アートの買い方おし えます！ Oz Zin- garo 村上隆に聞く アートをかう醍醐味 とはなんですか？	児島やよい	〃	982	巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 現代の名作 猫図40態 村上裕二	村上 裕二	美 術* 458
SPECIAL FEATURE 初音ミク 対談：伊 藤博之×村上隆 初 音ミクは日本のアイ コンになるか？	宮村 周子 構成	〃	985	巻頭特集 魅惑の女 性像 画廊街で出会 える女性像 村社由 起		〃 454
INFORMATION MOVIE 村上隆初監 督映画 ロサンジェ ルスで世界初公開！ 村上隆の映画『めめ めのくらげ』	廣 李果	〃	〃	テーブル工房 kiki、 宮崎椅子製作所、村 澤一晃、小泉誠の協 働の12年	今村 玲子	A X I S 161
REVIEWS 01 榎木 野衣 月評62回 コ コ立ちぬ ワンダー フェスティバル2013 (夏) 村上隆 Kai Kai Kiki プース	榎木 野衣	〃	993	注目のアート、紹介 します 村瀬なつみ 「map cap」		瓜生通信 60
INFORMATION GOODS シュウウ エムラのホリデーコ レクション 「ピン ク or ブラック」で変 身！[村上隆]	宮村 周子	〃	995	作家との対話 村田 好謙	原田 平作	美術フォ ーラム21 28
				所蔵品紹介234 春 めく 村田省蔵		石川県立 美術館だ より 355



## SPECIAL FEATURE

新しい芸術運動としての陶芸 PART 1  
INTERVIEW 村田森

明治教科書の挿絵画家(抄)一携わった画家や彫師の探索—  
[村田良知]

立面の検討過程から見る松寿荘の特質について—松寿荘における村野藤吾の設計過程に関する研究その2—

特別レポート 妙心寺退蔵院の襖絵プロジェクトを支える職人たち[村林由貴]

伝統襖絵 若手が挑む 京都・妙心寺退蔵院 専門外から心技育てる 2年住み込み禪修業・習作 秋完成目指す[村林由貴]

村山槐多論—実践による思考の構造体

上級者に贈る 創作への道11 絵は詩であり物語

作家自選作品集5 村山華風 《墨梅》

私の色と墨への思い 色に墨を加えることにより墨という共通項で作品の品位も

もうひとつの「演劇的自叙伝」と村山知義のセルフ・アーカイヴ

巻頭特集 魅惑の女性像 高いハードルを超えて描く女優たちの肖像

特集 表現する女性たち PART 2 村山晴美

「型の展開を試みる」GALLERY GALLERYでの発表を通して

日本画家のアトリエ訪問 4 目黒祥元

学びのふるさと 照明デザイナー 面出薫さん 「デザインとは愛なんだよ」 芸大の恩師、基本軽視を戒め 見る人の気持ち考えさせる

宮村 周子 美術手帖 997

岩切信一郎 一 寸 54

角田 暁治 日本建築学会会計画系論文集 692

近藤 雄生 芸術新潮 761

小林 由比 東京夕刊 2.8

増田 常徳 武蔵野美術大学研究紀要 43

村山 華風 水墨画\* 287

" " 294

" " 297

三本松倫代 神奈川県立近代美術館年報 2011年度

村山 直儀 美術\* 454

高山 淳 美術の窓 361

室田 泉 大阪成蹊大学芸術学部紀要 9

(メ)

大澤 景 美術の窓 360

島本 雄太 日経夕刊 2.1

(モ)

蒐集家の品位[茂木計一郎] 山田 和 陶 説 725

小特集 現代日本蒐集家列伝 1 茂木計一郎 川島 公之 目の眼 439

時に抗いし者たち—私の小菩薩峠(9、12)[望月桂] 大谷 芳久 一 寸 53、56

みる、よむ、きく まともでなんて、いられない『東京怪童』望月ミネタロウ作 花見堂直恵 瓜生通信 58

報告 特別講義要旨 元氏智子 作品制作過程としての抽象化—抽象絵画と禪の接点— 金山 秋男 いすみあ\* 5

創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語る 松本先生のアトリエ 本木エツ子 主体美術 94

巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 写実画新世代 画廊編 本木ひかり 佐々井智子 美術\* 460

シリーズ・具体美術の画家 2 元永定正 ギャラリー一\* 342

元永定正の実像 毛利伊知郎

共に生きた作家 中辻悦子に聞く、夫・元永定正の生き方。 編集部

サーカスの時間 本橋成一著 日 経 12.22

日々好日 枯れ葉舞う頃 百瀬 智宏 新美術新聞 1330

木版画で各駅停車の旅 出発!!「小田急七十次」沿線在住の画家・百瀬さん 鉄道専門誌でスタート[百瀬晴海] 林 啓太 東京 1.3

巻頭特集 イチオシ作家2014 アートシーンを熱くする100人 現代アートと洋画の新鋭 画廊編 桃田有加里 三宅 亜木 美術\* 460

蓮月と森寛斎 佐藤 節夫 陶 説 722

書評倶楽部 ミネルヴァのふくろうと明日の日本 近藤誠一 著 文化芸術の力、今こそ必要 森 英恵 産 経 6.8

平成25年定期刊行物所載文献(近/作モ)

日本の個性 世界に どう売り込む ファ ッションデザイナー 森英恵氏 社会や時 代の波つかめ 強い 使命感が創造力生む	小林 明日 経 5.5	花軍[森田曠平]	後藤 雅子	KENBI LETTER	79
特集 表現する女性 たち PART 2 森 博子	高山 淳 美術の窓 361	シネマの週末 SHORT PEACE[森 田修平]	(広) (鈴)	毎日夕刊	7.19
マンガ最前線 森雅 之著『追伸 二人の 手紙物語』 北の大 地が生んだ小品	細萱 敦 東京夕刊 10.1	森田子龍と前衛書— その思想と作品—	栗本 高行	多摩美術 研究	2
次世代のクリエイタ ーを輩出! 「Graphic Grand Prix by Yamaha」 [森未央子]	A X I S 164	評 疑い、問うて残 るものは「風が吹 けば桶屋が儲かる」 展 「虹の彼方」展 [森田浩彰]	大西 若人	朝日夕刊	1.23
投稿 ポーランド ラジュヨピツェシ ンボジウムとクラクフ 版画トリエンナーレ 展	森 光子 連盟ニュー ース 445	日々好日 スカイツ リー 大きな木の上 で想うこと	森田りえ子	新美術新 聞	1300
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 孤高の画家・た たかひの日々[森芳 雄]	井上 俊郎 主体美術 94	はんなり、こうとな 「花暦」 第二〜十一回	"	美 術*	451~460
コミック 祈りと署 名 森泉岳人(作) 奇抜な才能 読むほ どに深い	南 信長 朝 日 12.22	ときの人54 美術家 森村泰昌さん 芸術 がある意味を 芸術 である意味を		新美術新 聞	1331
第66回全国大会研究 発表要旨 永昌社蔵 呉春景文像と田山四 条派—明治京都画壇 の再検討—[森川曾 文]	中野 慎之 美術史 175	INFORMATION NEWS 森村泰昌に インタビュー ヨコ ハマトリエンナーレ 2014のアーティスト イック・ディレクタ ーに森村泰昌が就任	小吹 隆文	美術手帖	980
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展 「礎の作家たち」を語 る 多くの出会いの 中で[森川ユキエ]	松本 恵美 主体美術 94	特集 いい「目」を描 きたい! ④技法講座 vol.31 “ナマモ ノ”の目の面白さ 森村泰昌:セルフポ ートレイトにおける 目の表現	森村 泰昌 談	美術の窓	363
史料紹介と研究 史 料編纂所蔵模写本 騎馬武者像と附属資 料について[護城鳳 山]	高島 晶彦 東大画像 史料解析 センター 通信* 62	視線	森村 泰昌 朝 日		
特集3 所蔵作品展 花咲く工芸 森口華 弘の花 着物に咲く デザイン	齊藤 佳代 現代の眼 598	東京散歩			2.3
On view 森口華弘 が語った「東博伝説」 のゆくえ	小山弓弦葉 " "	南予写真			3.10
コミック のぼさん とカノジヨ? 1 モリコロス(作) 姿 の见えない彼女と暮 らす	南 信長 朝 日 2.3	Y. Ernest Satow			4.14
あの人に迫る 森田 拳次 漫画家 戦争 を歴史から消さぬた め活動	河郷 丈史 東京 8.18	美術家森村泰昌が見 た映画	"	日 経	
		「父をめぐる旅」			1.10
		「千年の愉楽」			3.14
		ぎやらしいモール 原美術館「森村泰昌 レンブラントの部屋、 再び」から「黄色い服 を着たセルフポート レイト 1658」	内田 洋子	読売夕刊	12.3
		特集 日本の現代版 画 1990-2013 森村 玲<銀閣寺> 1996年	森村 玲	版画芸術	162
		シネマの週末 SHORT PEACE[森 本晃司]	(広) (鈴)	毎日夕刊	7.19
		特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 森本 紫雪	高山 淳	美術の窓	360

巻頭特集 魅惑の女性像 画廊街で出会う女性像 森本純 美術\* 454

巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 森本純 森本 純 " 458

らくがきと芸術 守屋誠太郎 女子美術大学研究紀要 43

日本のデザインのモダニズム(2)一子どもへの眼差し 森谷延雄 柏木 博 学 鑑 11-2

約束の復刻できました「トキワ荘」出身森安なおやさんの初期作 古書店主「叙情的作風、楽しんで」 秦 忠弘 朝 日 8.26

WORLD NEWS ロンドン ウィリアム・クライン+森山大道 違いと接点が悪錯する「2つの個展」 伊東 豊子 美術手帖 977

日本写真、英で存在感 森山大道、クラインと2人展「ほぼ抽象画」強烈な個性 まだまだ撮る 増田 愛子 朝 日 1.15

Daido Moriyama 1965~ 森山大道著 日 経 6.30

交遊抄 シロクマのボジ[森山大道] 石川 直樹 " 7.13

昨日読んだ文庫[森山大道] 小林 紀晴 毎 日 7.14

追悼・東松照明さん何を撮っても生々しい方法論 常にアレンジ 森山 大道 読 売 1.10

近代美術の眼 につぼん劇場 日常の断片すべて等価[森山大道] 増田 玲 " 12.13

総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 “Manga”を超えて 都市的な背景—『闇の国々』における都市と建築群が意味するもの 森山 高至 ユリイカ 624

明治教科書の挿絵画家(抄)—携わった画家や彫師の探索—[森山天葩] 岩切信一郎 一 寸 54

宇宙芸術による新領域プラットフォームの構築と地域実践に関する研究 森脇 裕之 多摩美術大学研究紀要 27

画材考3 墨の香り 森脇 正人 新美術新聞 1324

展覧会レビュー part1 悠久なる刻を求めて 杉山寧展 画家の視点 十代の頃に受けた感動そのままに " 美術\* 452

交遊抄 パリの梁山泊[師井公二] 石田 英敬 日 経 9.21

文化の扉 はじめての装飾古墳 奇抜で激しい発想 魅力的 諸星大二郎 朝 日 1.28

## (ヤ)

特集 表現する女性たち PART1 谷貝文恵 高山 淳 美術の窓 361

入門講座 近代陶芸家くらべ 3 荒川豊蔵×八木一夫「土を焼き造形」突き詰める 金子 賢治 日経夕刊 9.19

燃える横浜生々しく関東大震災の被害描く 当日の夜、美術教師が記録「現在でも教訓に」[八木彩霞] " 7.29

子どもたちへ 竜が主人公の新刊を出した絵本作家やぎたみこさん 不思議な世界を楽しんで (鳥) 読売夕刊 3.9

特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART2 矢木千鶴子 高山 淳 美術の窓 360

学生企画—クロスロード 2012年度京都造形芸術大学卒業展 大学院修了展[八木佑介] 瓜生通信 58

人間発見 我こそは現代の「瓦版」漫画家 やくみつるさん 1~5 鈴木 亮 日経夕刊 11.18~22

「釣りキチ三平」の古里 秋田県横手市よみがえる名作の舞台[矢口高雄] 山本 真嗣 東京夕刊 10.24

特集 スケッチに出かけよう 技法講座 vol.29 技法講座5 木炭で描く 古都・鎌倉の文学館 矢澤健太郎 美術の窓 359

安井曾太郎《焼岳(上高地晩秋図)》 上原近代美術館だより 58

巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 現代の名作猫図40態 安岡亜蘭 美術\* 458

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ヤ)

	有村 真鐵、 宮地 佑治、 保倉 一郎、 渡邊 保、 奈良 彰一、 小此木美代 子、 石井 克 進行	ガス燈	96、97	デザインの源泉— 柳宗理の手	諸山 正則		
「オノサト・トシノ ブ記念座談会」記録 (前編、その2)				家具	〃		
				食器と調理器具	〃		
				スケール、プレー ヤー、ミシン、自 動車そのほか	〃		
巻頭特集 やっぱり 猫デアル。古今猫図 100選 現代の名作 猫図40態 安田育代	安田 育代	美術*	458	公共施設	〃		
				グラフィック	杉山 享司		
制作ノート 「絵画 内空間における世界 の果て」	安田 京平	武蔵野美 術大学研 究紀要	43	柳宗理 さあ、良い 仕事をしよう col- umn	〃	〃	
総特集 岡村靖幸 LIVEの衝撃 発作 みたいなき能	安田 謙一	ユリイカ	629	「かた・ち」のワー クショップ—手で 考える	向井周太郎		
岡倉天心 近代美術 の師 美の理想を受 け継ぐ作家たち 理 想の後継者たち 安 田叔彦 岡倉の薫陶 を受けた最後の世代	澤渡 麻里	太陽(別冊)	209	真摯につくる— 《黒柄カトラリー》 の成功	友岡 秀秋		
勸進行脚で築いた良 寛堂 錚々たる文化 人が協力した経緯、 祖父の備忘録調べ本 に[安田叔彦]	反町タカ子	日 経	7.18	柳宗理と江上トミ の情熱—《ステン レス・ボール》に 寄せて	江上 栄子 談		
美の美 風神雷神図 の系譜 下 伝統学 びつつ新たな視点 宗達 的精神、現代へ 脈々と[安田叔彦]	田村 広濟	〃	10.6	柳宗理が愛したジ ープとワーゲン	編 集 部		
安田老山の生涯とそ の画業	村田 隆志	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度	柳宗理と雑誌『民 藝』	村上 豊隆		
土曜訪問 「ヤマト タケル」を描く 安 彦良和さん 日本の 原型を探って	岩岡 千景	東京夕刊	3.2	柳宗理の直視的撮 影法	古屋英之助		
				シャルロット・ペ リアンと柳宗理— 出会いと必然	森 仁史		
				厳しくて温かい人 —柳先生のエビソ ード	酒井 和平		
				柳宗理 さあ、良い 仕事をしよう	〃	〃	
この道 1~40	安彦 良和	〃	11.11~ 16、18~ 22、25~ 30、12.2 ~7、9~ 14、16~ 21、24~ 28	柳宗理の蒐集 蒐 集と創作—柳宗理 の眼	杉山 享司		
				永遠の現役デザイ ナー	深澤 直人		
クリエイターズワー ク&ソウル 安本純		A X I S	161	こころの玉手箱 美 術作家 やなぎみわ 1~5	やなぎみわ	日経夕刊	12.9~13
惜別 八橋誠滋先生 を偲んで	前田 進	主体美術	94	ぎやらりいモール ICC「アノニマス・ ライフ 名を明かさ ない生命」から 「案 内嬢の部屋 1F」 やなぎみわ	植田 憲司	読売夕刊	1.29
この企業のアート支 援がすごい! 三菱 商事アート・ゲート ・プログラム 2012 年度奨学生 谷中美 佳子	谷中美佳子	美術*	456	特集 日本の現代版 画 1990-2013 柳澤 紀子《水邊の庭 V》 2000年	柳澤 紀子	版画芸術	162
柳宗理 さあ、良い 仕事をしよう 柳宗 理のデザイン		太陽(別冊)	柳宗理				

体全体で描く絵、個展もふぞろいな音楽はCMに障害者の芸術に公的支援始まる[柳田烈伸]	産 経	7.5	アンパンマンの思い出	小島 慶子		
総特集 やなせたかし アンパンマンの心	ユリイカ	631	総特集 やなせたかし アンパンマンの心 己を差し出すものは…		”	”
対談 やなせたかし×糸井重里 “箱入りじいさん”の日々のしごと			アンパンマンを食べることのできる者は誰だ—否定と否認の混同または脳内で命令する他者に基礎づけられた自発性	郡司ベギオ 幸夫		
書き下ろしエッセイ 夢あれこれ	やなせたかし		かくも味わい深き他者の顔—『あんぱんまん』試論	大橋完太郎		
インタビュー やなせたかし すべては運に導かれて—ヒーローの肖像	半田 健人 聞き手		総特集 やなせたかし アンパンマンの心 愛のことば		”	”
bitter sweet—やなせ先生の歌や詩が、僕らの心に染み入る理由	飯田 一史		一生アンパンマン!	半田 健人		
総特集 やなせたかし アンパンマンの心 『詩とファンタジー』対談傑作選	”	”	「正室」誕生秘話	里中満智子		
「世界で一番情けないヒーローと私」やなせたかし×戸田恵子			総特集 やなせたかし アンパンマンの心 昔、子どもだったひとたちへ		”	”
書きたい詩を書けばいい やなせたかし×谷川俊太郎			不格好で弱くあるきみは…	雑賀 恵子		
作者が面白いから作品は面白い やなせたかし×西原理恵子			こどもと、こどもの心をもつおとなのために—やなせたかしの絵本と『いちごえほん』	寺村摩耶子		
総特集 やなせたかし アンパンマンの心 愛と勇気の物語	”	”	やなせメルヘンの輝き—『十二の真珠』が照らしたすもの	西原 麻里		
いただきまーす! アンパンマン—日本的な飲食の感性を体現するヒーロー	福田 育弘		総特集 やなせたかし アンパンマンの心 才能のゆりかご		”	”
分身としてのキャラクター—『アンパンマンの遺書』『人生なんて夢だけど』を読む	暮沢 剛巳		『詩とメルヘン』の三〇年—その抒情性のゆくへ	柴村 紀代		
抒情的な「反ゆるキャラ宣言」	犬山 秋彦		やなせたかしの抒情画・抒情詩	中村 圭子		
総特集 やなせたかし アンパンマンの心 アンパンマンが教えてくれること	”	”	ロダンの誓い	葉 祥明		
みんな大好き『それいけ!アンパンマン』の心理学	横田 正夫		やなせたかしさん、そして星屑の育つ庭	東 逸子		
ばあばあし	北野 勇作		総特集 やなせたかし アンパンマンの心 詩/詞の楽しみ		”	”
			青い星の祈り—やなせたかしさんの詩を読んで	原子 修		
			やなせたかし・いずみたくがのこしてくれた歌 そして魂	近藤 浩章		

総特集 やなせたかし アンパンマンの 心 やなせたかしの まんが道		ユリイカ	631		往復書簡 やなせ先 生のダンディズム	〃	〃	10.29
ボオシ好きの某氏 のこと…	宇野亜喜良				文化面の余白 取材 ノートから 56 や なせたかしさん(漫 画家) 「甘い抒情」 を世の中に	三品 信	〃	12.26
投稿時代	池内 紀				やなせたかしさん死 去 漫画家「アンパ ンマン」 「子供に善 悪教えてくれた」 ファンら悼む声		日 経	10.16
ナンセンスと童心 主義「ボオ氏」が 立ちつくす場所	竹内オサム				やなせさん 季刊誌 に「遺言」 ぼくの人 生喜劇シリーズつい に全巻の終り 死を テーマに詩とイラスト		日経夕刊	〃
「漫画家・やなせ たかし」の履歴書	倉持佳代子 吉村 和真				追想録 やなせたか しさん(漫画家) 笑 顔に秘めた惨禍の記 憶		〃	11.22
「神様」と「毛虫」の コラボレーション —手塚アニメ『千 夜一夜物語』と、 やなせたかし	津堅 信之				やなせさん地元 あ ふれる感謝 「たく さんの愛、勇気あり がとう」 高知・香 美の記念館 全国か らメッセージ		〃	12.28
特集 中原淳一と少 女イラストレーショ ン エッセイ 不滅 の大芸術家、中原淳 一	やなせたか し	〃	637		やなせたかしさん死 去 愛と勇気 訴え 平和願い 復興も支 援 生きる意味 高 らかに	内藤麻里子 木村 光則 中村かさね 広瀬 登	毎 日	10.16
アンパンマンずっと 友だち やなせたか しさん死去 「弱い 人助ける」貫く 世 代超え愛され続ける		朝 日	10.16		やなせたかしさん死 去 「アンパンマン」 生みの親		〃	〃
人を楽しませること、 大好きだった やな せたかしさんを悼む 漫画家 里中満智子	神庭 亮介 構成	〃	〃		やなせさん 平和へ の遺言 日米開戦き ょう72年 軍隊経験 近く出版 「戦争忘 れないで」	中澤 雄大 内藤麻里子 有田 浩子	毎日夕刊	10.17
やなせたかしさん辞 世の詩 先月編集者 に3編を託す	上原 佳久	〃	10.17		やなせたかしさん死 去 「アンパンマン」 生みの親		〃	〃
ニュースの本棚 孤 独が生んだアンパン マン やなせたかし さん	魚住 昭	〃	12.1		これが最後とおもっ て書いています や なせさん 覚悟の執 筆	伊藤玄二郎	〃	〃
やなせさん連載に自 ら「おわり」 死去5 日前に入稿 朝日小 学生新聞	中村真理子	〃	12.2		一日一日生きる思い こめ[やなせたかし]	宇野亜喜良	〃	10.21
アンパンマン被災地 に愛と勇気 やなせ たかしさん 訴え続 けた「正義」 「いる だけで希望が持た		産 経	10.16		日本人の詩精神擁護 やなせたかしさんを 悼む		〃	〃
やなせたかしさん死 去 分け合う優しさ 貫徹 「アンパンマ ン」生みの親 従軍 一度も発砲せず 反 戦こそ正義 愛と勇 気描いた 被災地の 子思い続け	紙山 直泰 東京	〃	〃		やなせたかしさん死 去 「アンパンマン」 「手のひらを太陽に」		読 売	10.16
人生楽しむ達人[や なせたかし]	三品 信	〃	〃		さよならやなせたか しさん		〃	〃
やなせたかしさんを 悼む 多くの若い才 能後押し	梯 久美子 東京夕刊		10.21		全方位の救いを願 う心 漫画家 黒 鉄ヒロシ	黒鉄ヒロシ		
					子供に伝えた「人 間とは」 漫画家 里中満智子	里中満智子		

油画 矢野哲也 《ながめI》、《ながめII》	尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要	12	歩く 感じる 描く 藪野健さんに聞く 記憶の場を絵に刻む 効率の犠牲にするな	工藤 憲雄	日経夕刊	4.6	
創立50周年特別企画 シリーズ 主体展「 礎の作家たち」を語る 訪れた人達	矢野 利隆	主体美術	94	特集 アートによる 地域おこし case02 別府現代芸術フェス ティバル2012 「混 浴温泉世界」 日常 活動の延長線につ くりあげた芸術祭	山出 淳也 高橋 信裕 インタビュー アー	Cultivate	40
INFORMATION ビ ートたけし×ヤノベ ケンジ ANGER from the Bottom たけしとヤノベの 「怒り」の行方	内田 伸一	美術手帖	980	巻頭特集 独立独歩 の本格洋画 ベテラ ン14人のゆるぎない 仕事 純粋であるこ との大切さ	山内 滋夫	美術*	456
あいちトリエンナー レ2013 ARTIST IN TERVIEW 1 ヤノベ ケンジ 新たな太陽 があいちを祝福する	Kobuki Takafumi	”	992	巨匠への第一歩 昭 和会展・最新世代の 魅力6 第48回展「東 京海上日動賞」 山 内大介	松村 謙三、 中山 忠彦、 南 宏、 長谷川 智恵 子 ホスト	”	452
たけし、8メートル の怒り ヤノベケン ジと制作		朝日夕刊	1.30	交遊抄 ほどよい距 離感	ヤマガミユ キヒロ	日 経	8.24
ビートたけし、ヤノ ベケンジさんがコラ ボアート 「もっと 怒りを」井戸から亡 霊!?		産 経	1.28	水墨の最前線19 私 を無くす超ローテク なデジタル水墨画 山河全	野地耕一郎	水墨画*	289
土曜訪問 核を主題 に前向きな作品 ヤ ノベケンジさん 今こそ社会に芸術を	宮川まどか	東京夕刊	6.15	MEMORIAL 追悼 ：東谷隆司	榎木 野衣 島中 実 会田 誠 辛 美沙 山川 冬樹 バク・マヌ 新川 貴詩	美術手帖	977
ウルトラ ヤノベケン ジ アートプロジ ェクト2008—2013 ヤノベケンジ著		日 経	10.20	特集 音をめぐる論 考 「声」は何を呼び 起こすか—山川冬樹 論	藪前 知子	REAR	29
たけしさんとヤノベ さん合作 高さ8メ ートル巨大怪物像 来月3日まで展示		読 売	1.16	日々好日 北陸の冬 に思う	山岸 大成	新美術新聞	1303
たけしさんアート 「水の神」に 香川・ 小豆島住民が祭る [ヤノベケンジ]		”	7.10	卒業生に聞く。連載 第五回 西洋追従の 近代化に抗して 西 洋画材を日本人とし てこなす道	山口 晃	芸大通信	26
岡倉天心 近代美術 の師 美の理想を受け 継ぐ作家たち 岡 倉天心の理想とそれ を受け継ぐ若者たち	藪内佐斗司	太陽(別冊)	209	INFORMATION 山 口晃の大作襖絵が、 平等院養林庵書院に 奉納	小吹 隆	美術手帖	977
近郊寸景 童子が走 る[藪内佐斗司]	野村 成次	産 経	6.20	ドン ベリニオン× 山口晃×GAINAX ドン ベリニオン新 ヴァンテージ2004発 表	編 集 部	”	991
東京写真 2013 府中 の「童々広場」[藪内 佐斗司]	佐々木 洋	毎 日	6.9	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 山口晃さんインタビ ュー 小林秀雄賞受 賞・故郷で個展を開 催中		美術の窓	363
ゆるキャラ表現のゆ くえ ネットと時代 に翻弄 現代美術家 が生んだ「オカザえ もん」[藪内佐斗司]	井上 晋治	読 売	9.12	すゞしろ日記94～ 105回	山口 晃	U P	483～494

特集 グスタフ・クリムト 世紀末ウィーンの爛熟と光輝 クリムトの顔 異形の美を支えるもの	山口 晃 ユリイカ	625	巻頭特集 和洋骨董から現代アートまで ひびきあう古今美のしつらえI 室町期の骨董×山口長男の油彩	青井小西 義夫、哲哉 美 術*	452
特集 高畑勲 『かぐや姫の物語』の世界 美術とアニメのクロスリング・ポイント そうめんの光	" "	638	作家通信 VOCA 展に出品して	山口 英紀 水墨画*	290
読書 著者に会いたい へんな日本美術史 山口晃さん 当代の絵師、先達と切り結ぶ	上原 佳久 朝 日	1.20	この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2012年度奨学生 山口裕子	山口 裕子 美 術*	456
横山大観展 良き師、良き友 人おどろかさず気概と努力 画家・山口晃さんと見る	辻直美 聞き手	"	作家通信 個展のテーマ	山崎 倅子 水墨画*	296
フロントランナー 日本の油絵、時空を超えて 画家 山口晃さん	山口 宏子	"	日々好日 作物への愛	山崎 隆夫 新美術新聞	1314
オトコの別腹 「タバーン」のショートケーキ	山口 晃 朝日夕刊	11.5	木造亀山上皇像(銅像原型)の修理と成果 [山崎朝雲]	國生 知子 東風西声*	8
東京セレクト いち押しの一品 繊細でユーモラス 絵はがき集 山口晃が描く東京風景	服部 夏生 東 京	4.21	シリーズ・具体美術の画家 3 山崎つる子	ギャラリ 一*	343
小林秀雄賞の山口晃さん 「絵ではうそがつかない」	森本 智之 東京夕刊	10.9	「山崎つる子」好きなこと、やりたい事だけを自由に実践し表現するという潔さ	加藤 義夫	
山口晃の愉快的芸術世界 時代にまみれ時空つなぐ	富田 律之 日経夕刊	2.18	88歳の現在も、新作の制作に挑むアーティスト 山崎つる子、芦屋市のアトリエを訪ねて。	編集部	
Interview 山口晃 独自の視点 冷静に俯瞰 『へんな日本美術史』が第12回小林秀雄賞	岸 桂子 毎日夕刊	10.1	コミック 竜蹄の門 1 やまさき拓味(作) 幕末 近代競馬の始まりを描く	山脇 麻生 朝 日	1.20
本よみうり堂 「山口晃 大画面作品集」	(清) 読 売	2.17	あの人に迫る ヤマザキマリ 漫画家 世界のニュース 異国だと身近に	長田 弘己 東 京	6.9
カジュアル美術館 花子誕生 山口薫 群馬県立近代美術館 牛に託した生命力 同居する前衛と親しみやすさ	三沢 典丈 東 京	4.21	大波小波 入浴漫画の大団円 [ヤマザキマリ]	番 頭 東京夕刊	3.26
巨樹を描く 巨樹に描く一山口華楊「樹」、狩野永徳「檜図」一	田中 敏雄 紫 明	33	小説も電子版から言葉にこだわり 『往生際の悪い奴』島田雅彦 「どこか憎めないダメ人間に魅了」挿絵のヤマザキマリさん		日 経 5.5
暖かなまなざし 師に学んだ対象を視る目 [山口華楊]	大西 基子 視 る	463	地中海の息吹 ルーヴル美術館展から 2 「鏡姿の皇帝ハドリアヌスの胸像」威厳に影差す憂い	ヤマザキマリ	日経夕刊 8.14
晩年の華楊先生のことなど	上田 研一	" "	「ラファエロ」展 3 普遍の美 表現する聖母	"	読 売 5.1
学問の図像と私たち 145 思考の模型 様式の継承 [山口孝吉]	松本 文夫 U P	483	となりのアートさん	ヤマザキム ツミ 美術屋・百兵衛	



vol. 4 棚田康司		24	美の履歴書 332				
vol. 5 坂口恭平		25	人間的なアイコンとは「至聖生神女」山下りん	西岡 一正	朝日夕刊	11.27	
vol. 6 ガタロさん		26					
vol. 7 ムーメント ロールと仲間たち		27	今回の選挙私はこう名付けます かむ選挙[山科けいすけ]	長谷川 豊 聞き手	毎日夕刊	7.4	
注目のアート、紹介 します 山崎鈴子 子夜	瓜生通信	59	風景画家・山科律ノ ート一茅ヶ崎美術史 の一コマ	平山 孝通	文化資料 館調査研 究報告	22	
レポート墨 公募 日本の絵画2012 大 賞は山崎鈴子さんに 決定	水墨画*	287	丁亥印社リレー投稿 12 本邦印人資料存 疑[山田寒山]	野中 秀昭	書道界	280	
巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 日本画ニューエ イジ 画廊編 石井 鈴 山崎鈴子	畑中 昭彦 美術*	460	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 山田 京子	高山 淳	美術の窓	360	
第26回奨学者のレポ ート 絵について	山路 絃子 アクリラ ート(別 冊)	2013	作家自選作品集6 山田玉翠《布引観 音》	山田 玉翠	水墨画*	297	
匠のかたち 鬼瓦[山 下敦]	石黒 知子 A X I S	164	特集 表現する女性 たち PART 2 山田 喜代子	高山 淳	美術の窓	361	
《特別記事 短期連 載II》 画家の妻 山下菊二夫人・昌子 さんに聞く	長門 佐季 あいだ	208	丁亥印社リレー投稿 12 本邦印人資料存 疑[山田正平]	野中 秀昭	書道界	280	
第六十四回美学会全 国大会報告 発表要 旨 式場隆三郎試論 一山下清の神話を越 えて一	古舘 遼 美学	243	受賞学生インタビュー 第9回 東京都美 術館「Arts & Life: 生きるための家」最 優秀賞受賞	山田 紗子	芸大通信	26	
ワイド視聴室 美の 巨人たち 山下清 「ロンドンのタワー ブリッジ」 欧州の 建物見つけて生まれ た新画風	土屋 溪 毎日夕刊	7.19	水墨画入門講座 墨 色の妙味を知ろう! 9~11	山田 大作	水墨画*	286~288	
涼しくなるゾーッ… 妖怪画 画廊で見つ けた都市の間[山下 耕平]	洪沢 和彦 産 経	7.18	特集 水墨の美 豊 かな諧調を知り、墨 色の美しさを引き出 す	"	"	290	
神田今昔 2 丸石 ビルディング 彫り 込まれた生き物の迫 力[山下寿郎]	木下 栄三 朝 日	4.13	作家通信 玉林寺の 襖絵が完成	"	"	292	
平成二十五年新作名 刀展の概要 彫金の 部 受賞の言葉 師 匠の足跡を辿る	山下 秀文 刀剣美術	678	匠のかたち 「ジオ ラマ」[山田卓司]	石黒 知子 A X I S		161	
巻頭特集 やっばり 猫デアル。古今猫図 100選 座談会 猫 は何でも分かっている	ミヤケマイ 杉 作 山下まゆみ	美術*	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 山田 展也	高山 淳	美術の窓	360	
新指定の文化財 工 芸技術 蒔薨[山下 義人]	文化庁文化 財部	文化財*	Untitled 2012-2/ Untitled 2012-3	山田 信義	大手前大 学論集	13	
香川漆 塗り重ねた 半生 伝統工芸「蒔 薨」を制作し40年、 今年人間国宝に認定	山下 義人 日 経	12.3	作品研究 抽象と待 機—山田正亮《Work E-250》をめぐって	中林 和雄	現代の眼	603	
			山田正亮 life and work—制作ノートを 中心に	"	東京国立 近代美術 館研究紀 要	17	
			神田今昔 3 聖橋た もと 30年前から変 わらぬ不思議[山田 守]	木下 栄三 朝 日		4.20	

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ヤ)

第26回奨学者のレポート ふたつの絵	山田優アントニ	アクリラート(別冊)	2013	活動紹介 風の記憶 山本一樹展	山本 一樹	文化と芸術	17
巻頭特集 独立独歩の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 無心でたどり着いたスタイル	山田 嘉彦	美術*	456	Editor's Eye 山本鼎と大正時代のトルストイ主義	松山 龍雄	版画芸術	159
巻頭特集 鉄道のある風景 鉄道に寄せて—現代の名作から牛田駅付近	山高 登	〃	453	特集 山本鼎「創作版画」の創始者		〃	〃
特集 風景画100選 富士山世界遺産登録記念 PART 2 山中さとゑ	高山 淳	美術の窓	360	§ 前文 §			
碧南 美術逍遥[山中信天翁]	木本 文平	碧南市藤井達吉現代美術館年報紀要*	2	彫師修行から雑誌『方寸』での活躍			
換骨奪胎 ホンマタカシの映像リテラシー 1、2 ビンホールカメラと山中信夫	ホンマタカシ	芸術新潮	763,765	版画作品のすべて 装幀・デザイン	滝澤 正幸		
作品 鯛が空を飛ぶ日	山中 晴夫	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	57	「創作版画」と山本鼎			
第26回奨学者のレポート サイゴンのマイク・エインツ	山根 一晃	アクリラート(別冊)	2013	上田市山本鼎記念館・(新)美術館			
作家自選作品集3 山根峰雲 《冬の津民川》	山根 峰雲	水墨画*	291	特集 日本の現代版画 1990-2013 山本桂右《光、時間、静寂 No. III》1993年	山本 桂右	〃	162
私のグッとムービー 山根 Yuriko 茂樹さん「ロッキー・ホラー・ショー」絶妙なバランスに嫉妬する	永井 美帆 聞き手	朝日夕刊	8.23	小学校の授業 炭坑があったわたしたちの町—世界記憶遺産「炭坑記録画」から炭坑学習へ[山本作兵衛]	齊藤 勝明	歴史地理教育	799
受賞教員インタビュー 第8回 “アニメーションの独自性を一貫して追求” “世界的な注目の的となっている”として第三十回川喜多賞を受賞。	山村 浩二	芸大通信	27	テレビ深読みナナメ読み 天才絵師がいた幸運 TBS「世界記憶遺産」[山本作兵衛]	今野 勉	東京	8.4
この企業のアート支援がすごい! 三菱商事アート・ゲート・プログラム これまでの奨学生の声 山本あき	山本 あき	美術*	456	炭坑画の意義探るシンポ[山本作兵衛]		読売夕刊	3.9
コミック 今日もいい天気 原発事故編 山本おさむ(作) 福島から避難した作者の日々	南 信長	朝 日	3.10	竹内栖鳳 近代京都画壇の大家 明治から大正期の京都画壇盟友 山元春拳	高梨 純次	太陽別冊	211
被災地で思う—3・11から2年—3 漫画家 山本おさむさん 自主避難の葛藤隠さずに	森本 智之	東京夕刊	3.6	江戸博蔵めぐり 風俗画報第412号水害号 上 洪水の惨状 克明に記録[山本松谷]	行吉 正一	読 売	2.15
				制作記録 メキシコ滞在報告記	山本 健史	金沢美術工芸大学紀要	57
				対談: 鷹野隆大×山本糾		豊田市美術館紀要	6
				2013 年末回顧特集 美術界の新たな上昇気流	山本 貞	新美術新聞	1331
				年頭のごあいさつ	〃	連盟ニュース	445
				ラウンジ 山本二三さん 柔らかなアニメ風景	近藤 孝	読売夕刊	8.3

歌舞伎座の復元 巨大図面が一夜 福井の宮大工、明治からの伝統継承[山本信幸]		日経夕刊	6.1	日々好日 ヨーロッパ美術の旅をして	由里本 出	新美術新聞	1307
フェイス21世紀173 山本大貴 写真新世代 時代のリアリティ	和田 圭介	新美術新聞	1316	わたしの宝もの93 ブータン後遺症	弓手 研平	"	1305
土曜訪問 四季の変幻に身を宿す 山本昌男さん 山川草木に魂入れて	黒谷 正人	東京夕刊	3.16	(ヨ)			
コミック 異邦人 1 山本松季(作) 法は人から求められるもの	山脇 麻生 朝 日		12.15	総特集 やなせたかし アンパンマンの心 才能のゆりかご ロダンの誓い	葉 祥明	ユリイカ	631
第17回手塚治虫文化賞 型破りな女性の生き方 新生賞 「Sunny Sunny Ann !」 山本美希さん	岩本 哲夫	"	4.29	特別読物 きつと誰かが拾ってくれる[横内みえ]	赤木 明登	芸術新潮	764
加害と被害見つめた戦争体験70人の写真と証言集 フォトジャーナリスト・山本さん[山本宗補]	渡辺 洋介	朝日夕刊	9.3	お手本画&秀作集 其ノ二十 横尾節弥 《恍惚の母》	横尾 節弥	水墨画*	287
京がたり 日本再発見 山本容子さんの三十三間堂 鑑賞に耐え抜く美しさ	浦松 丈二	毎日夕刊	5.15	インスピレーション アート 横尾忠則現代美術館「反反復復反復」展	暮沢 剛巳	A X I S	163
本よみうり堂 「100と19のポートレイト」 山本容子著	岡田 温司	読 売	5.19	原色の衣という神秘をまとったエル・グレコの宗教画	横尾 忠則	芸術新潮	757
ポストユニバーサルデザインの提案	山本 吉男	女子美術大学研究紀要	43	汲めども尽きぬ創造力満載 横尾忠則装幀全仕事		"	764
アクリリックス・ワールド77 山本理恵子	小吹 隆文 取材・文	美術手帖	991	小特集 瀬戸内のふたり 1 豊島[てしま]に誕生した横尾忠則の「死の島」		"	765
「家」のあり方 震災で再考 小屋・仮設住宅 建築家が展示水や電気を自給 人が集う場重視[山本理恵]	窪田 直子	日 経	5.11	柴鍊×横尾の天下の奇書 38年目の完全復活		"	767
特集 マチエールの基本と応用 ④技法講座 vol.30 油彩 矢元政行 重厚な画面に都市風景をつくる	矢元 政行	美術の窓	362	横尾忠則 芸術にゴールはない 横尾忠則は、何故「アーティスト宣言」をせねばならなかったのか。	磯崎 新 太陽陽冊	横尾忠則	
(ユ)				横尾忠則 芸術にゴールはない 作品でたどる軌跡	南 雄介	"	"
お手本画&秀作集 其ノ二十 結城秀翠 《惜春》	結城 秀翠	水墨画*	287	1936-1960 絵の好きな少年からグラフィック・デザイナーへ			
収蔵品から 《旗じるし》 柚木沙弥郎	石井 幸彦	世田谷美術館だより	92	1960-1970 ポスターで世界的に注目を集める			
				1970-1980 精神世界への関心と活動の広がり			
				1980-1993 画家宣言			
				1993-2000 絵画の喜び			
				2000- Y字路の先へ			
				横尾忠則 芸術にゴールはない 証言		"	"

1960-1970 たぶん横尾の横にいればいつだって	宇野亜喜良	横尾忠則 芸術にゴールはない インタビュー	蛭川 幸雄	談		
1960-1970 1+1が3にも4にもなるような	細江 英公					
1970-1980 『流行通信』の時代	森 英恵	DNP アートコミュニケーションズ 横尾劇場 演劇・映画・コンサートポスター[横尾忠則]	高橋 美礼	美術手帖	977	
1970-1980 少年がぶつかった「芸術」-『少年マガジン』横尾デザインの影響	山下 裕二					
1980-1983 いわゆる「画家宣言」の本意	難波 英夫	SPECIAL FEATURE アートの旅へでかけよう! PART1 瀬戸内国際芸術祭2013 参加アーティストに聞く! 横尾忠則 豊島横尾館	内田 伸一	''	991	
1993-2000 滑らかな空気の層-横尾さんの「赤の時代」に思う	酒井 忠康	SPECIAL FEATURE 横尾忠則 ロング・インタビュー	編集部 聞き手	''	995	
2000- 「Y字路」-「ホビイ模型」に帰る道	南 篤 宏	SPECIAL FEATURE 横尾忠則 INTERVIEW		''	''	
横尾忠則 芸術にゴールはない YOKOO'S GALLERY	中条 省平 太陽(別冊)	李禹煥	白坂 ゆり 聞き手			
1 古典芸能 デミウルゴスの欲望-歌舞伎・能・狂言への招待		KAWS	藤森 愛美 聞き手			
2 音楽 横尾芸術の膨張と拡散-22面体ジャケットの伝説		マーク・ベンダ	''			
3 歪みの呪縛と展開-一枚の絵)上の真剣勝負		SPECIAL FEATURE 横尾忠則 横尾昭和史	松井 茂、 成相 肇 構成・文	''	''	
4 宝塚歌劇団 ミーハー的崇拜と喚起-劇場大階段のほうへ		SPECIAL FEATURE 横尾忠則 コラム		''	''	
横尾忠則 芸術にゴールはない 論考		1 『平凡パンチ』の横尾忠則	松井 茂			
没頭-内部から外部へ	スティーブ ン・リッジ ー 山本 淳夫 訳	2 アンチ・アンダー・カウンター	成相 肇			
「絵画という世界」について	峯村 敏明	3 新宿見たけりや今見ておきやがれ	''			
横尾忠則 芸術にゴールはない エッセイ		4 版画か? デザインか?	''			
出逢い	瀬戸内寂聴	5 万博の未来都市、せいの館の廃墟	松井 茂			
芸術は広く告ぐ、そのものの価値を-横尾さんのこと	平野啓一郎	6 複製芸術時代のテレビ表現	''			
		7 終末オカルト超能力	成相 肇			
		8 セゾンが牽引したアートシーン	松井 茂			
		SPECIAL FEATURE 横尾忠則 口寄せ対談 東野芳明×石子順造 横尾忠則を“今”語る~ポップとキチュのあいだで~	松井 茂 成相 肇	''	''	

特集 グスタフ・クリムト 世紀末ウィーンの爛熟と光輝 クリムトのファルス	横尾 忠則 ユリイカ	625				「朦朧」の時代 大観、春草らと近代日本画の成立 佐藤志乃(著) 厳しい批判 やがて礼賛へ	6.23
読書	"	朝 日					
評伝 ジャン・デュビュッフェの探求者 末永照和(著) 芸術の使命は「壊乱」にあり			1.6			シッダールタへの旅 ヘッセ(著) 竹田武史(構成・写真) 煩惱と解脱 輪廻の天地を活写	7.7
カラヴァッジオからの旅 千葉成夫(著) 絵画に肉体で向き合う批評			1.20			欲望の美術史 宮下規久朗(著) 「食欲」から「死」までの美の小径	7.14
月 人との豊かなかかわりの歴史 ベアント・ブルンナー(著) 多くの優れた芸術生み出す			2.10			ギャンブラー・モーツァルト 「遊びの世紀」に生きた天才 ギュンター・パウアー(著) 社交の主役 ゲームの魔術師	9.22
「死ぬのが怖い」とはどういうことか 前野隆司(著) あるのは「今」だけあとは幻想			2.24			ファントマ 悪党的想像力 赤塚敬子(著) なぜ百年を経て人気があせないか	11.10
皮膚感覚と人間のこころ 傳田光洋(著) 触れるとなぜ気持ちいいのか			3.3			謎の蝶アサギマダラはなぜ海を渡るのか? 栗田昌裕(著) 2千キロも移動 奇跡的な邂逅	11.17
いきのびる魔法 いじめられている君へ 西原理恵子(著) 胸に響く「うつくしいのはら」			3.17			死小説 荒木経惟(著) 文字使わず 遍歴つづる能の物語	12.8
ジョージ・ハリソン コンプリート・ワークス ローリングストーン誌(編) 脇役から脱却 愛され尊敬され			4.14			ガガです、ガガのロシア未来派の裔 ゲオルギイ・コヴエンチューク 片山ふえ著 天と通じた芸術家 宿命の試練	12.15
世界で一番美しい名画の解剖図鑑 カレン・ホサック・ジャネスほか(編著) 私たちは絵の何を見ている?			4.21			書評委員が選ぶ「今年の3点」 横尾忠則	12.29
江戸絵画の非常識 近世絵画の定説をくつつがえず 安村敏信(著) 「風神雷神」本当に宗達晩年の作?						漱石と美術 5『草枕』に登場 梅と鶴若沖の戯れを満喫	東京夕刊 6.1
ミック・ジャガー ワイルド・ライフ クリストファー・アンダーセン(著) 彼は悪魔で神である			5.12			思うままに 横尾忠則氏の肖像画 作家222人の実像	梅原 猛 " 10.21
						横尾忠則作品集「日本の作家222」 肖像画でたどる日本文学史 180点余りは未発表作、27日発売	日 経 8.26
			5.19			questions 8 横尾忠則	" 9.12
						文化往来 林英哲、和太鼓で横尾忠則に挑む	" 10.24

平成25年定期刊行物所載文献(近/作ヨ)

えほん・どうぶつ図鑑[横尾忠則]	(ゆ)	毎	日	9.1	北澤憲昭教授に聞く日本画の「正統性」再確認[横山大観]	北澤 憲昭	"	"	
本よみうり堂「横尾忠則 全装幀集」	岡田 温司	読	売	7.28	特集 日本の現代版画 1990-2013 横山貞二《ペインター》1992年	横山 貞二	版画芸術	162	
巻頭特集 独立独立の本格洋画 ベテラン14人のゆるぎない仕事 無心に描いて「真」を貫く	横田 海	美術*		456	史料紹介と研究 高田家伝来横山松三郎・松蔵兄弟の写真史料の概要—北方歴史資料館所蔵資料について	谷 昭佳	東大画像史料解析センター通信*	60	
アーティスト・横田順		美術屋・百兵衛		25	話の肖像画 漫画家松本零士 3 宇宙列車の思い出[横山光輝]	山田 泰弘 聞き手	産 経	6.19	
収蔵作品からデザイン:横田哲郎/制作:株式会社インテリアナス(シーブ・チェア)	及川 昌樹	氷 華		55	INFORMATION AUTHOR この本の著者に会いたい「時間」を描く漫画家、横山裕一の新刊2冊	編集部	美術手帖	991	
住空間と家族	横山 彰人	学 鏡		11-2	半歩遅れの読書術 現代美術と漫画リズムで読む視覚の運動[横山裕一]	五十嵐太郎	日 経	3.24	
続水墨画の風景 第四回 絹に滲む水墨山水—横山大観《生々流転》—	島尾 紫	新 珠	水墨画*	292	《連載》戦時下日本の美術家たち 第54~60回 「吉井忠日記」註解(5~11)	飯野 正仁	あいだ	203~209	
墨への憧憬 横山大観《瀟湘八景》八幅対より「漁村返照」『横山大観展—良き師、良き友』より	八柳 サエ	"		295	創立50周年特別企画 シリーズ 主体展「礎の作家たち」を語る 吉井忠先生の思い出	中島 佳子	主体美術	94	
岡倉天心 近代美術の師 美の理想を受け継ぐ作家たち 理想の後継者たち 横山大観 師・岡倉の理想を受け継ぐ	今瀬 佐和	太陽(別冊)		209	これがホントのどんでん返し 吉浦康裕監督 初長編「サカサマのパテマ」	小原 篤	朝日夕刊	11.16	
明治・大正におけるパンカラ旅行の系譜—大観・観山・紫紅・未醒の東海道五十三次旅行(大正4年)の背景として	佐藤 志乃	横山大観 記念館 報		28	第18回総合水墨画展 レポート 上位受賞者のことば 一般部門 大賞・東京都知事賞 善生信義《熱き語り》	善生 信義	水墨画*	296	
横山大観記念館蔵「依頼画控」—昭和10年から14年まで—	池田 博子	"	"	"	和プームの裏側 吉岡幸雄さんに聞く 幼稚、底の浅さに閉口 「美意識・品格」大切に	種田 龍二	日経夕刊	10.26	
美の履歴書 329 大観に愛された理由「祇園夜桜」 富田溪仙	西岡 一正	朝日夕刊		11.6	ARTIST INTERVIEW 吉岡徳仁	片岡 真実 聞き手	美術手帖	997	
大観の特大和紙帛郷 5.1メートル×2.7メートル 90年前に特注 所有の画家遺族台東の記念館に寄贈	古賀健一郎	東 京		6.13	私の逸品 心安らぐオーデコロン	吉岡 徳仁	読 売	8.19	
名画に見る富士山 2 雲海に浮かぶ群青 空から[横山大観]	木谷 孝洋	東京夕刊		7.27	特集 日本の現代版画 1990-2013 吉岡俊直《FR-009-G》1997年	吉岡 俊直	版画芸術	162	
勸進行脚で築いた良寛堂 錚々たる文化人が協力した経緯、祖父の備忘録調べ本に[横山大観]	反町タカ子	日 経		7.18	特集 日本の現代版画 1990-2013 吉岡弘昭《THE DOG(佐喜眞美術館の犬)》2001年	吉岡 弘昭	"	"	
探Q! 横山大観や院展なぜ人気 近現代絵画史語りやすく	前田 井上 恭二 晋治	読売夕刊		11.2					

特集 2013年 ルネサンス大解剖 私の 中のルネサンス 理屈 屈抜きの美を目指す	吉岡 正人 談	美術の窓	355	吉田匡廣『望』	吉田 匡廣	沖縄県立 芸術大学 紀要	21
特集 いい「目」を描 きたい! 技法講 座 vol. 31 「内面を 見つめる《目》を描 きたい」	〃	〃	363	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 2 吉田 康弘	磯部 靖	美術の窓	360
水墨の最前線20 墨 の粒子と光と空気が 織りなす雰囲気 吉 賀あさみ	立島 恵	水墨画*	290	コミック ノベル— 演— 1 野島伸司 (原作) 吉田譲(作 画) 子役たちの苛 烈な世界	山脇 麻生 朝 日		9.1
墨への憧憬 吉川観 方《朝露・夕霧》	舟串 彩	〃	292	大変でも、あきらめ ない。優れた作品は、 そこから生まれる。 [吉田ユニ]	立古 和智	女子美	175
ひとと文字15 吉川薫 仙「山」	吉川 薫仙	新美術新 聞	1312	技法の現場から24 修復家から見た現代 作家への提言5 イ ンタビュー 絵のお 医者さん 岩井希久 子の提言	吉武 研司 聞き手	連盟ニュ ース	448
特集 表現する女性 たち PART 2 吉賀 昭子	高山 淳	美術の窓	361	巻頭特集 世界市場 で高騰中! 「具体」 ってなに? 画廊で マスターピースに出 会う 「具体」&戦後 の前衛 FUMA Contemporary Tokyo /文京アート(入船) 吉仲太造	編集 部 美 術*	455	
第44回日展 新入選 者寄稿一喜びと抱負 — 書は人なり	吉澤 衡石	日展ニュ ース	148	特集 期待の若手作 家を発掘せよ! 新 人大図鑑'13 評論 家・ジャーナリスト が選ぶ注目の新人ア ーティスト11 吉中 裕也	瀧 悌三	美術の窓	357
特集 日本の現代版 画 1990-2013 吉田 亜世美《Work(HANGA) 120-B, V, C》 1993年	吉田亜世美	版画芸術	162	大空羽ばたくトリ鉄 鉄道と線路、地上から とは異なる姿とら える	吉水 陽一 日 経		7.2
作品ひとつ[吉田和 生]	佐藤 聖子	群馬の森 美術館ニ ュース	153	青春プレイバック 洋画家吉野純 画家 として教師として描 き、教え、紡いだ実 り	袴田 智彦	新美術新 聞	1308
所蔵品紹介231 雲 に漂う 吉田三郎		石川県立 美術館だ より	352	特集 美術団体レー ダー拡大版 団体が 守るべきもの変える べきもの 改革進む 「新生二科」 田中良 (公益社団法人二科 会理事長)・吉野毅 (100周年記念事業・ 広報担当)両氏にき く		ギャラリー 一*	342
巻頭特集 イチオシ 作家2014 アートシ ーンを熱くする100 人 日本画ニューエ イジ 画廊編 堤康 将 吉田潤	桜井美穂子	美 術*	460	表参道大通りに「ヨ ンデル像」建立 国 際的芸術の街アピ ール[吉野毅]		産 経	6.30
触視の次元について Tactile dimension	吉田 晃良	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	9				
発表要旨 第二十六 回研究会 絵葉書・ 絵地図に描かれた近 代の名勝—三人の画 家による自然風景— [吉田初三郎]	南出みゆき	大正イマ ジュリイ	8				
吉田半迂一人と作品 —	浅井 京子	早大會津 八一記念 博紀要*	14				
吉田博《上高地の春》	角田 新	アマリリ ス	108				
この企業のアート支 援がすごい! 三菱 商事アート・ゲート ・プログラム これ までの奨学生の声 吉田博	吉田 博	美 術*	456				

青春プレイバック 美術家吉野辰海 ネオ・ダダからの出発 そして生き物としての 作業へ	星野 清一	新美術新 聞	1330	東京藝術大学所蔵 米原雲海《橋本雅邦 像》について	左近充直美	島根県立 石見美術 館研究紀 要	7
シリーズ・具体美術 の画家 1 吉原治良		ギャラリ ー*	341	I LOVE TRAIN ア ジア・レイル・ライ フ 米屋こうじ著		日 経	3.17
吉原治良論 精神 と物質は対立した まま、握手してい る	木村 重信			視線 絵と言葉の一 研究 「わかりやす い」デザインを考え る[寄藤文平]	保坂健二郎	朝 日	1.13
敵父の思い出 吉 原治良・長男、吉 原眞一郎氏に聞く	編 集 部			本よみうり堂 「絵 と言葉の一研究」 寄藤文平著	(良)	読 売	1.27
具体ニューヨーク展 と吉原治良	鈴木 慈子	兵庫県立 美術館研 究紀要	7	東京美術学校西洋画 科卒業制作品・自画 像の技法材料、保存 修復に関する基礎的 研究 X[萬鉄五郎]	佐藤 一郎 木島 隆康 桐野 文良 土屋 裕子 中右恵里子 作間美智子 金 鍾旭	東京芸術 大学美術 学部紀要	51
日本画 吉原慎介 《木立の道》、《わか れみち》		尾道市立 大学芸術 文化学部 紀要	12				
作家通信 シンガポ ールでの墨の抽象展	吉見 公子	水墨画*	290	特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 萬 鉄五郎		美術の窓	360
第138回誌上コンク ール課題臨画部門 今月の課題 《雪原 野》を書くポイント 吉見公子		”	296	日本美術史不案内 51 千の太陽よりも 明るく[萬鉄五郎]	佐藤 康宏	U P	489
各科審査員より 思 うこと	吉水 絹代	日展ニュ ース	150		(ラ)		
アートな本 吉村和 敏写真集『カスタ ム・ドクター』		東 京	8.18	こころの玉手箱 陶 芸家 樂吉左衛門 1〜5	樂吉左衛門	日経夕刊	3.4〜8
カスタム・ドクター 吉村和敏著		日 経	9.22	私と茶の湯 イタリア アで感じた新鮮さ	”	毎 日	4.13
月刊ギャラリー創刊 25周年記念 小川英 晴のアート縦横 No.34 陶芸家・吉 村昌也の世界を中心 に	小山登美夫、 小川 英晴 談	ギャラリ ー*	339	一九四九年・神戸 (三)[蘭繁之]	熊田 司	えむえむ	4
マンガで仕事拝見 「さんてつ」吉本浩二 さん		東京夕刊	6.22	パリの展示会に共同 参加 石井幹子さん、 リーサ明理さん親子	永田 晶子	毎日夕刊	8.26
木村莊八展 生誕 120年 5 「師走風 俗帖」挿絵チンドン 屋 僕の東京ノスタ ルジー	四谷シモン	”	4.27		(ロ)		
特集 表現する女性 たち PART 2 よで ん圭子	高山 淳	美術の窓	361	里やまに生きる カ マキリ 夢のある俗 説	六田 晴洋	読売夕刊	1.17
美の履歴書 300 なぜタリ風に描いた か 「ヨーロッパの 危機」 米倉寿仁	大西 若人	朝日夕刊	4.17	岡倉天心 近代美術 の師 美の理想を受 け継ぐ作家たち 工 芸と彫刻の近代化 六角紫水 近代漆工 芸界の開拓者	稲葉 睦子	太陽別冊	209
注目のアート、紹介 します 米田有希 「狂熱」		瓜生通信	60	資料紹介 六角紫水 『大連行』—鉄道車両 塗装に関わる資料—	大西 純子	MUSEUM	647



## (ワ)

				3冊の本棚 豚の死を食べる[渡辺一城]	幅 允孝 東京 8.18
インスピレーショングラフィック WOWの新VI—変化し続けるアイデンティティ	深沢 慶太	A X I S	162	特集 時を描くリアリズム アントニオ・ロペスの世界 マドリードからの便り 刻の重なりが見える街	渡辺 香奈 美術の窓 356
「版画アートコレクション」の作家 若月公平 銅版という「物質」と、画という「イメージ」	松山 龍雄	版画芸術	162	特集 建築評価の現在形：脱中心化・断片化・ローコンテクスト化する言説環境とそのゆくえ 第2部 作家アンケート 辺境の建築から垣間みる、現在建築の「辺境」	渡辺 菊真 建築雑誌 1645
石枕[若林喬]	松本 教仁	KENBI LETTER	80	特集 表現する女性たち PART 2 渡辺 記代	渡辺 記代 美術の窓 361
研究ノート「版画塾」—長谷秀雄と若山順子	中村 茉貴	美術運動史研究会ニュース	139	軽々とした変容[渡辺豪]	岸 桂子 毎日々刊 2.13
版画をめぐる「謄写版の冒険」[若山八十氏]	植野比佐見	和歌山県立近代美術館ニュース	74	追悼 渡辺恂三氏 渡辺恂三さんの事	深沢 軍治 新美術新聞 1324
和気史郎 没後25年を経て幽玄の光に照らし出されるもの	金子 美樹	美術*	451	特集 期待の若手作家を発掘せよ！ 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 渡邊 太郎	大長 智広 美術の窓 357
特集 表現する女性たち PART 2 早稲田郁子	高山 淳	美術の窓	361	特集 日本の現代版画 1990—2013 渡辺 達正《星—09—6》 2009年	渡辺 達正 版画芸術 162
水墨花ごよみ 第1～4回	和田 洗珀	水墨画*	289～292		有村 真織、 宮地 佑治、 保倉 一郎、 渡邊 保、 奈良 彰一、 小此木美代子、 石井 進行
作家自選作品集5 和田洗珀 《駅前広場》	〃	〃	294	「オノサト・トシノブ記念座談会」記録(前編、その2)	ガス 燈 96,97
和田三造の絵本の仕事(資料紹介)	平瀬 礼太	姫路市立美術館研究紀要	13	ひと文字13 渡邊東龍「勝」	渡邊 東龍 新美術新聞 1306
美の美 あばんぎやると衣笠貞之助 下極彩色を放つ王朝絵巻 総力で挑戦、世界が称賛[和田三造]	古賀 重樹	日 経	8.18	フェイス21世紀170 渡辺有葵 感覚を研ぎ澄まし鮮やかに解放する。	松崎 裕子 〃 1308
震災支援 描き続けた500点 和田誠さん 画集を出版「画廊の隅から」	山口 宏子	朝日夕刊	7.13	世界の捉え方についてのノート(木版)	渡邊 悠子 多摩美術大学研究紀要 27
被災地のために描き続ける 和田誠さんがチャリティ作品集 震災後から毎週10枚 50週500枚をまとめる	中澤 雄大	毎日々刊	8.6	追悼抄 工業デザイナー 渡辺力さん 簡潔な美 追求した職人	井上 晋治 読売夕刊 3.23
滋賀文化考 洋画家・和田真百合		美術屋・百兵衛	25	特別読物 きっと誰かが拾ってくれる[渡辺遼]	赤木 明登 芸術新潮 764
注目のアート、紹介します 林菜月・野口大樹・渡邊亜美・坂手悠意 「風の通ひ路」		瓜生通信	60		
幸せ運ぶスイーツ・デコ 日用品や世界遺産…あらゆるものを洋菓子風に飾る	渡辺おさむ	日 経	12.20		

インタビュー・シリーズ 夢プロジェクト 世界に発信するアーティストたち No.9 綿引展子	ギャラリー	336							INFORMATION アーティストとして真実を問いかける、アイ・ウェイウェイの闘い	片岡 真実	"	995
よみがえる半世紀前の殺人捜査 バリで刊行の写真集 日本版にも注目[渡部雄吉]	西岡 一正	朝日夕刊	11.13						四川大地震から5年 政治批判 民衆の信頼失う 手抜き工事 追及 艾未未氏語る		東 京	5.13
海 外												
(ア)												
World New York 「ロバート・アーウィン:紗幕一黒の矩形-自然光 ホイットニー美術館(1977)」展	藤森 愛実	芸術新潮	765						美の美 オペラ作曲家と絵画-ワーグナーとヴェルディ-上 巨匠2人の想像力を刺激 傲慢さ・謙虚さ 対極の視線[フランチェスコ・アイエツ]	小松 潔	日 経	3.3
ロバート・アーウィン×プロイヤー建築伝説の光の空間ふたたび									ARTIST PICK UP アイ・チョー・クリスティン	島貫 泰介	美術手帖	997
現在通信 From NEW YORK 空間を見るために[ロバート・アーウィン]	富井 玲子	新美術新聞	1321						from the World 世界最大の芸術アリーナ 「エムシャーケunst 2013」[アグリキュート]	小町 英恵	A X I S	165
WORLD NEWS ニューヨーク ライト&スペース運動の巨匠2人と奇才リン・ファウクスに湧く NYの7月[ロバート・アーウィン]	藤森 愛実	美術手帖	991						視線 100 YEARS IN TOKYO 0才から100才までの東京人 [ベトリ・アルトゥゥリ・アシカイネン]	北澤 憲昭	朝 日	4.7
キュビズムの時間と空間-アレクサンダー・アーチペンコの彫刻作品について-	福江 良純	鉤路論集	45						WORLD NEWS ニューヨーク 今秋はローワー・イーストサイドに注目 新世代の作家たちが魅せる! [ディヴィッド・アダモ]	藤森 愛実	美術手帖	995
ハンス・フォン・アーヘンの「四大元素」連作-希少性を演出する絵画	平川 佳世	京都美学 美術史学	12						SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ピエンナーレ PART I 企画展「エンサイクロペディック・パレス」 芸術の起源に迫る「百科事典」	かないみき	"	989
アートは現実を引きずっていく 第55回ヴェネツィア・ピエンナーレでの艾未未とFUCK OFF展2(前)	宮本真左美	あいだ	209						ARTIST PICK UP No.2 エド・アトキンス すべての物事と、そこにある不在の表現を追及			
from the World 世界最大の芸術アリーナ 「エムシャーケunst 2013」[アイ・ウェイウェイ]	小町 英恵	A X I S	165						視点 悲劇から、精霊と人のはざまに アバカノヴィッチの/への旅[マグダレーナ・アバカノヴィッチ]	石川 翠	美術の窓	357
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ピエンナーレ PART II 国別展示 世界88か国を代表する作家が一同に! TOPICS 5 アイ・ウェイウェイへの賛否両論	かないみき	美術手帖	989						WORLD NEWS ベルリン1 抽象絵画の知られざるパイオニア ヒルマ・アブ=クリントの回顧展	河合 純枝	美術手帖	993
									SPECIAL FEATURE フランシス・アリス		"	991
									INTERVIEW 交渉の物語とイメージの創造と	松井みどり	聞き手・構成	

コラム1 フランシス・アリスのスタジオを訪ねて	吉崎 和彦			(イ)	
コラム2 つくり手の語るフランシス・アリス フランシス、あなたの本音はどこにあるの？	田中 功起		特集 期待の若手作家を掘りせよ！ 新人大図鑑'13 評論家・ジャーナリストが選ぶ注目の新人アーティスト11 李元淑	中村 隆夫	美術の窓 357
コラム2 つくり手の語るフランシス・アリス フランシス・アリスって優しいのかな	入江 悠		INFORMATION デザインの一時代を築いたふたりの素顔 [チャールズ・イームズ/レイ・イームズ]	高橋 美礼	美術手帖 984
現代美術の歩き方 今月の一品 フランシス・アリス「実践のパラドクス1(ときには何にもならないこともする)」	大山エンリコイサム	美術の窓	失われたパリの復元 番外編 モード革命と伴走した元祖「萌え」版画のバリ[ポール・イリープ]	鹿島 茂	芸術新潮 764
エコロジーを哲学する(écosphe[エコソフ])としてのアーティスト[マリア・テレサ・アルベス]	パスカル・ボース 河本 真理 訳	芸術研究	WORLD NEWS デュッセルドルフ 詩的な作品に内包された、社会への提言 尹秀珍のヨーロッパ初個展	河合 純枝	美術手帖 982
イギリス人画家ウィリアム・アレクザンダーが演出した18世紀末期の中国	ウィリアム・シャング (安田震一)	年報非文字資料研究	特集 ニッポンを語る ストリートのエネルギー、創造性をどう生かすか。ピヤルケ・インゲルス(建築家)	川上典季子	A X I S 161
ビルがにょきにょき [アレキサンドル・アレチエイア]		日 経			3.14
WORLD NEWS ベルリン2 巨大な頭部とその物語 ホルスト・アンテスの回顧展	かないみき	美術手帖		(ウ)	993
アンドレア・デル・カスターニョの《最後の晩餐》の幾何学的構造	篠塚二三男	跡見学園女子大学文学部紀要	World News London フィッシュリ&ヴァイスの岩のアクロバット[ダヴィッド・ヴァイス]	内田 敢材 さり	芸術新潮 762
第66回全国大会研究発表要旨 アンマンナーティ作《ユノの泉》と画像助言者コジモ・バルトリ[バルトロメオ・アンマンナーティ]	友岡 真秀	美術史	第六十四回美学会全国大会報告 発表要旨 墓碑建築としての伝記集—ヴァザリ『芸術家列伝』再考 [ジョルジョ・ヴァザリ]	古川 萌 美 学	243
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ビエンナーレ PART I 企画展「エンサイクロペディック・パレス」 芸術の起源に迫る「百科事典」ARTIST PICK UP No.1 カミーユ・アンロ 創造神話とインターネットの果てしない物語	かないみき	美術手帖	特集 2013年 ルネサンス大解剖 ジョルジョ・ヴァザリ『芸術家列伝』ルネサンス芸術家評伝のバイブル	権山 紘一	美術の窓 355
			クロード・ヴィアラ「無題」	谷 哲夫	WaveII 9
			コッラード・ヴィーニ作ラグーサ郵政電信庁舎寓意像小論	甲斐 教行	五浦論叢 20

総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 “Manga”を超えてフィクションとアクション—現実と日常を綴るために	エマニユエル・ルパー ジュ、ティアン・ヴィヴ バス、ティアン・ヴィヴ エス、大友原司会	ユリイカ	624			特集 香港へ アート発見にでかけよう 商業中心区に続々登場 ギャラリーの波 [グザヴィエ・ヴェイヤン]	美術の窓	358
マンガ最前線 バスティアン・ヴィヴェス作、原正人訳『塩素の味』 仏の新星が放つ水泳モノ	細萱 敦	東京夕刊	8.6			明日を呼ぶ私の記憶 過ぎ去って気がつく 6 [アンディ・ウォーホル]	アートペーパー	94
ウィッツマン夫妻と日本 [ロドルフ・ウィッツマン/ジュリエット・ウィッツマン]	高瀬 晴之	姫路市立美術館研究紀要	13			後美術論 第14回 「歌う彫刻」と「人間 [マン]=機械[マシーン]」(後編)[アンディ・ウォーホル]	榎木 野衣	美術手帖 997
from the World 世界最大の芸術アリーナ 「エムシャークンスト 2013」[アンナ・ヴィット]	小町 英恵	A X I S	165			眼と脳がアートを創造 [つく]る 第二十三、二十四回 [アンディ・ウォーホル]	深作 秀春	美術の窓 362、363
第66回全国大会研究発表要旨 ヤコボ・ヴィニャーリとサンタ・マリア・ノヴェッラ修道院	坂本 篤史	美術史	175			ちきゅう 時の散歩 名声と富 満たされぬ心 聖堂の隅で祈り [アンディ・ウォーホル]	柳沢 亨之	読売夕刊 3.1
ヤコボ・ヴィニャーリについて—その批評を中心に	〃	美術史論集	13			滋賀文化考 近江八幡とウォーリーズさん [ウィリアム・メレル・ウォーリーズ]	美術屋・百兵衛	25
REVIEWS 02 清水穰 月評57回 写真のアオリスト ゲイリー・ウィノグラッド展	清水 穰	美術手帖	985			第66回全国大会研究発表要旨 エドゥアル・ヴェイヤールによるイブセン作『棟梁ソルネス』のためのプログラム挿絵について	袴田 紘代	美術史 175
この人 琵琶湖畔を拠点とする米国人画家 ブライアン・ウィリアムズさん 風景画家が環境保全を訴える時代	根本 裕子	東京	7.6			(エ)		
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ビエンナーレ PART II 国別展示 世界88か国を代表する作家が一同に！ ARTIST PICK UP No.8 ベドウィア・ウィリアムズ ブラックユーモアを交えた独特の世界観	伊東 豊子	美術手帖	989			クリエイターズワーク & ソウル H&P アーキテクツ	A X I S	165
イスラム系女子高生 悪を斬る ヒロイン登場 米漫画 [グウェンドリン・ウィロー・ウィルソン]	吉枝 道生	東京夕刊	11.18			特集 新興インテリアメーカーのデザイン マニフェスト 地元の単一素材にこだわり 起業した3人のデザイナー—ACE	鴨澤 章子	〃 164
あいちトリエンナーレ2013 ARTIST INTERVIEW 5 リチャード・ウィルソン 新たな可能性を見出すために		美術手帖	992			実際より老け顔？ 英キャサリン妃肖像画 ロンドンの美術館で公開 [ポール・エムズリー]	日 経	1.13
						リュシアン・エルヴェの建築写真 [ルシアン・エルヴェ]	土屋 直子	芸術学研究(京都造形) 4
						原色の衣という神秘をまとったエル・グレコの宗教画	横尾 忠則	芸術新潮 757
						エル・グレコ神話を問う；画家の史料と著述を解説しながら	フェルナンド・マリーアス 久米 純子、大高保二郎 共訳	美術史研究 51

美の美[エル・グレコ] 干場 達矢 日 経

「失われた時を求めて」の世界 3  
隠喩・幻視が織りなす神秘 絵を描くように言葉紡ぐ

3. 31

堀辰夫 幻想のヨーロッパ 下 恋人の死受け入れつづる、古代追想 喧騒離れ大和へ

9. 1

眼と脳がアートを創造[つく]る 第二十二回 第一次大戦の虚無感とフロイトの精神分析から理論化し生まれたシュルレアリスムを指導したブルトン、絵画に取り入れたキリコ、エルンスト、ダリ、そしてさらに深めたマグリッド。[マックス・エルンスト]

深作 秀春 美術の窓 361

(オ)

第16回日本水墨院研修会で王子江氏が講演

水墨画\* 286

World News New York 「オーデュボン」の鳥小屋: Part I」展 オーデュボン『アメリカの鳥類』の原画を3年かけて全部見せます[ジョン・ジェイムズ・オーデュボン]

前橋 重二 芸術新潮 762

作家自選作品集2 大陽公(顧哲剛)《月光》

大 陽 公 水墨画\* 290

WORLD NEWS ベルリン ベルリン絵画を振り返る共同展とメレット・オッペンハイムの回顧展が開催!

河合 純枝 美術手帖 997

例会発表要旨 第123回例会:近代美術の空間と身体 ヴィクトール・オルタ作《オルタ邸》—食堂のデザインに関する一考察

小田 藍生 日仏美術学会会報 32

軽々とした変容[オルラン]

岸 桂子 毎日夕刊 2. 13

(カ)

近代中国美術の胎動 2 新興藝術の動向 前衛絵画の「代理戦争」—日中戦争におけるモダニズム絵画とプロパガンダ[何鉄華]

吳 孟晋 アジア遊学 168

特集 表現する女性たち PART 1

美術の窓 361

フリーダ・カーロ 痛みとともに描き続けた人生

女性画家の歴史 メアリ・カサット、フリーダ・カーロ、ケーテ・コルヴィッツ…女性画家たちの生き方

堀尾真紀子 談

デザイン・アンバサダー・プロジェクト 国際インテリアデザイナー団体連合会長 シヤシ・カーン氏インタビュー 「デザイナーがつながることで互いの地域の理解が深まる」

西山 浩平 インタビュー A X I S 165

from the World 建築の原初に立ち戻る「ルイス・カーン」展

鴨澤 章子 " 163

WORLD NEWS ニューヨーク 今秋はローワー・イーストサイドに注目 新世代の作家たちが魅せる! [ゾーイ・ガイタニードウ]

藤森 愛実 美術手帖 995

小特集 印象派を支えた画家 カイユボットを知っていますか? [ギユスターヴ・カイユボット]

芸術新潮 766

SPECIAL REPORT 都市の印象派 カイユボット

美術手帖 993

ゆかりのバリを訪ねる

宮村 周子

ゆかりのバリを訪ねる オルセー美術館学芸員に聞く 印象派の中でのカイユボットとは?

ブリヂストン美術館・島田館長インタビュー

失われたバリの復元 番外編 モード革命と伴走した元祖「萌え」版画のバリ[ガヴァルニ]

鹿島 茂 芸術新潮 764

ARTIST INTERVIEW KAWS	ダリル・ウイ 開き手 近藤 亮介 翻訳	美術手帖	989	現代美術の歩き方 今月の一品 ソフィ ・カル「海を見る」	編集部	美術の窓	356
SPECIAL FEATURE 横尾忠則 INTERVIEW KAWS	藤森 愛美 開き手	〃	995	カルパッチョ作「ス ラヴ人会」絵画連作 の主題選択[ヴィツ トーレ・カルパッチ オ]	森田 優子	美術史学	34
作家自選作品集2 郭朝勇 《山峡晨煙》	郭 朝勇	水墨画*	290	平成二十四年度東支 部例会 ローマ滞在 期のジャン＝パティ スト・カルポーにつ いて	大屋 美那	美術史	174
World News New York 「印象派とフ ァッション」展 最 新流行は要チェック モネもドガもファッ ションニスタ! [メア リー・カサット]	前橋 重二	芸術新潮	761	巻頭特集 和洋骨董 から現代アートまで ひびきあう古今 美 のしつらえ しつら えIII		美術*	452
例会発表要旨 第126 回例会: シスレー 、カサット再考 コ レクターとしてのメ アリー・カサット	江崎 聡子	日仏美術 学会会報	32	日本の現代アート ×ガレのガラス器 [エミール・ガレ]	青山 幸生 談		
特集 表現する女性 たち PART 1 女 性画家の歴史 メア リー・カサット、フリー ダ・カーロ、ケー テ・コルヴィッツ… 女性画家たちの生 き方	堀尾真紀子 談	美術の窓	361	エミール・ガレと 日本—その深き縁 をご存知ですか?	山根 郁信 解説		
新収蔵作品 ヴィン チエンツォ・カテー ナ《聖母子と幼い洗 礼者ヨハネ》	高梨 光正	国立西洋 美術館報	46	ガレ作品下絵でたど る 仏人気芸術家の ガラス工芸、紙資料 通じ研究	池田まゆみ	日 経	7.19
「界面」へ—アントニ オ・カノーヴァの射 程—	金井 直	ART LIBRARY	14	from the World ひ とりの彫刻家が構想 した芸術と想いの森 「ユーロ・パーク」 [ギンタラス・カロ サス]	若井 浩子	A X I S	165
World Milano 「カノ ーヴァ、最後の傑作 : 神殿のメトープ」 展 2世紀近くの眠 りから覚めたカノー ヴァの遺作レリーフ、 公開	高橋 恵理 取材	芸術新潮	768	特集 期待の若手作 家を発掘せよ! 新 人大図鑑'13 評論 家・ジャーナリスト が選ぶ注目の新人ア ーティスト11 姜晏 杏	武田 厚	美術の窓	357
WORLD NEWS ロ ンドン 美術館、工 房からサナトリウム まで 館内に登場し た施設としてのア ート[メシャック・ガ バ]	伊東 豊子	美術手帖	991	ダンスの新しい科学 —コレオロジー—実 験室の活動をめぐって [ワシリー・カンデ インスキー]	上野 理恵	美術運動 史研究会 ニュース	139
美の履歴書 306 何を思っているのか 「狩りの女神ディア ナ」アレクサンド ル・カパネル	西岡 一正	朝日夕刊	5.29	(キ)			
作品調査報告—ルド ヴィーコ・カラッチ 《ダリウスの家族》	高梨 光正	国立西洋 美術館研 究紀要	17	WORLD NEWS ベ ルリン1 奇才、キ ッペンベルガーの生 誕60年記念回顧展が 開催[マルティン・ キッペンベルガー]	かないみき	美術手帖	989
ARTIST INTERVIEW ソフィ・カル	岡部あおみ 開き手 高野 勢子 翻訳	美術手帖	985	この企業のアート支 援がすごい! 三菱 商事アート・ゲート ・プログラム 2012 年度奨学生 金基煥	金 基煥	美術*	456

巨匠 5代にわたり 続く家業の金箔 重要 無形文化財(第19号 金箔匠保持者) キム・ドクファン[金 徳煥]	朴 炫淑 金 明順 訳	コリアナ	20-1	ジェフ・クーンズ× ドン ペリニオン 《バルーン・ヴィー ナス》がギフト・ボ ックスに!	”	”	993
水中犬 セス・キャ スティール著		日 経	7.14	視点 ゲルト・クナ ッパ―追悼	武田 厚	美術の窓	352
窓 2人のキャバ[ロ バート・キャバ]	駒野 剛	朝日夕刊	2.22	クリエイターズワー ク&ソウル マック ス・グナワン		A X I S	166
ひと「キャバの十 字架」で司馬遼太郎 賞 沢木耕太郎さん	栗原 俊雄	毎 日	11.29	フェルナン・クノッ プフ作《愛撫》におけ る夢と現実一面中の 銘文の解説より一	矢追 愛弓	美術史	174
ヴァージニア・ウル フとジュリア・マー ガレット・キャメロ ンについての「アー ティスト・コロニー」 を中心として(三)	村松加代子	跡見学園 女子大学 文学部紀 要	48	16世紀ドイツにおけ る教訓画に関する研 究―ルーカス・クラ ーナハ(父)の《メラ ンコリー》を中心と し	伊藤 麻衣	鹿島美術 財団年報 ・別冊	30
World News London 「エレン・ギャラガ ー: AxME」展 アメ リカの黒人文化・差 別をさらりと描くエ レン・ギャラガー	内田 さり 取材	芸術新潮	763	特集 建築評価の現 在形: 脱中心化・断 片化・ローコンテク スト化する言説環境 とそのゆくえ 第2 部 作家アンケート About Architectural Criticism	アストリッ ド・クライ ン	建築雑誌	1645
教員随想 気になる 素描―パルテノン調 査余話[キリアクス]	篠塚千恵子	美史研ジ ャーナル	9	日本写真、英で存在 感 森山大道、クラ インと2人展 「ほ ぼ抽象画」強烈な個 性 まだまだ振る[ウ ィリアム・クライ ン]			
後美術論 第12回 「歌う彫刻」と「人間 [マン]=機械[マシ ーン]」(前編)[ギル バート&ジョージ]	榎木 野衣	美術手帖	985		増田 愛子	朝 日	1.15
平成二十四年度東支 部例会 ドメニコ・ ギルランダイオ作、 サンタ・マリア・ノ ヴェッラ聖堂(フィ レンツェ)祭壇画再 構成と内陣装飾にお ける空間・光源・視 点の設定	伊藤 拓真	美術史	174	WORLD NEWS ニ ューヨーク 今秋は ローワー・イースト サイドに注目 新世 代の作家たちが魅せ る! [ジョッシュユ・ クライン]	藤森 愛実	美術手帖	995
近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新 「模古」の真意は何処 に―金城の絵画と絵 画論から	戦 暁梅	アジア遊 学	168	イメージの記憶 31 分身としての城 ジ ルベール・クラヴェ ルの夜見	田中 純	U P	485
作家通信 極寒の世 界でスケッチ	金 醒石	水墨画*	291	美の履歴書 310 なぜ逆光を求めたの か「野の少女たち」 エミール・クラウス	増田 愛子	朝日夕刊	6.26
				世界一高〜い木造建 築展望塔 オースト リア100m[マルクス ・クラウラ]		東京夕刊	6.29
		(ク)		表紙解説・作家解説 裏 ウジェーヌ・グ ラッセ《ジャンヌ・ ダルク》(部分)	平芳 幸治	美術フォー ラム21	27
On view ジョセフ ・クーデルカ「ジブ シーズ」 作品の成 り立ちと写真集の構 成をめぐって	小林 美香	現代の眼	603	米国アーツ・アンド ・クラフツ運動下 におけるラルフ・ア ダムス・クラムの日 本建築観とその受容 に関する研究	横手 義洋	日本建築 学会計画 系論文集	687
WORLD NEWS ニ ューヨーク 前代未 聞! ジェフ・クーン ズが2大ギャラリー で個展を同時開催	藤森 愛実	美術手帖	987				

WORLD NEWS ベルリン“自然文化”アートを呈示するトウエ・グリーンフォルトの個展	河合 純枝	美術手帖	979	美術史への接線 クリムト作、ウィーン美術史美術館 装飾壁画	安永麻里絵		
所蔵作品 カルロ・クリヴェッリ《聖アウグスティヌス》	高梨 光正	ゼフュロス	55	Der Zeile ihre Kunst, der Kunst ihre Freiheit(時代にはその時代の芸術を、芸術にはかかるべき自由を)クリムト主要作品 解題	西田 兼		
カルロ・クリヴェッリ作《聖母子と聖人たち》(ヴァチカン絵画館所蔵)―19世紀の売却史料群から―	上原 真依	待兼山論叢	47	クリムトの顔 異形の美を支えるもの	山口 晃		
【絵画と音楽の絆】 クリムトとベートーヴェン(その1)―音楽の都ウィーン、そして―[グスタフ・クリムト]	林 紀一郎	Wave II	12	クリムトの部屋	西 加奈子		
グスタフ・クリムトの《哲学》―制作過程に関する一考察	園田恵梨果	関西大学哲学	31	きらめく装飾、うごめく背景、クリムトとアニメーションの邂逅	神戸 守 談 高瀬 司 聞き手		
遺稿 丸谷オー「クリムト論」(未完)	丸谷 オー	芸術新潮	760	空虚なクリムト	石光 泰夫		
グスタフ・クリムトによるウィーン大学講堂天井画《医学》に関する一考察―関連する人物素描に見られるE・マイブリッジの連続写真の受容を中心に―	前田 朋美	美術史	174	私の死でいっぱい の袋 クリムト的 主体について	西川アサキ		
第66回全国大会研究発表要旨 グスタフ・クリムト作《哲学》における知の重層的イメージ	園田恵梨果	〃	175	線から辿るクリムトの意図 《ベートーヴェン・フリーズ》に付随する素描の役割について	前田 朋美		
特集 グスタフ・クリムト 世紀末ウィーンの爛熟と光輝		ユリイカ	625	ウィーンという舞台装置	湯澤幸一郎 談 編集部 聞き手		
幸運なる世紀末装飾の錬金術師の肖像	池内 紀、 原田 マハ	談		衣服からクリムトを読む	朝倉 三枝		
クリムトの謎	池内 紀			装飾ということ ローズと分離派の 周辺	高橋 真帆		
クリムトのファルス	横尾 忠則			浮薄なる様式 クリムトのスタイル/モード	古川 真宏		
切断される四肢、あるいは世紀末のウィーン	阿部 賢一			美の履歴書 287 何と戦うのか「人生は戦いなり(黄金の騎士)」 グスタフ・クリムト	高橋 昌宏	朝日夕刊	1.9
インタビュー 黄金の還る場所	天野 喜孝 談			クリムト 謎の描き直し 代表作中へビ 発表後に	石屋 法道	東京夕刊	1.28
クリムトと黄金の「親地学」	鶴岡 真弓			特集 記憶と忘却 研究ノート グリュ ーネヴァルトとユイ スマンス 再発見と 神話のはざままで[マ ティアス・グリュー ネヴァルト]	クリスチャ ン・エック 吉田 映子 訳	西洋美術 研究	17
方形の舟に乗って、水の国日本に黄金が、やって来たとせよ クリムトの非官能的、クリムトの非ウィーン性について	新見 隆			特別インタビュー 1 アンドレアス・ グルスキー 完璧な イメージを創造する	ホンマタカ シ 聞き手	芸術新潮	764
魂の描線 世紀末芸術と未来派	阿部 真弓						



アンドレアス・グルスキーの理想郷	竹内万里子	国立国際美術館ニュース	197						(ケ)
アートマーケット情報20 写真界の寵児 グルスキー—トップ・クラスの価格—	桂木 紫穂	新美術新聞	1321						近代中国美術の胎動 2 新興藝術の動向 前衛絵画の「代理戦争」—日中戦争におけるモダニズム絵画とプロパガンダ[倪貽德]
特集 ニッポンを語る 伝統が頑固にあるからこそ、無限の自由空間があるはず コンスタンティン・グルッチ(デザイナー)	小町 英恵	A X I S	161						WORLD NEWS ロンドン 美術館、工房からサナトリウムまで 館内に登場した施設としてのアート[セアスター・ゲイツ]
グレイの作品を一堂に[アイリーン・グレイ]		日 経	4.11						特集 音をめぐる論考 ケージの今日性—日本でのジョン・ケージ誕生100年企画を見渡して
【絵画と音楽の絆】 [パウル・クレール]	林 紀一郎	Wave II							藤井 明子 REAR 29
『クレールの日記』から(その2)—バッハからモーツァルトへ—			7						World Philadelphia 「エルズワース・ケリー」展 壁にかかる彫刻展 蓋を開ければ大絶賛のバーンズ財団美術館 エルズワース・ケリーの代表作を堂々展示
『クレールの日記』の周辺(その3〜6)			8〜11						藤森 愛実 芸術新潮 764
特集 《植物を描く/植物で描く》—ドイツ語圏の美術でたどる植物表現の可能性— パウル・クレールの作品における植物・文字	野田由美意	言語文化	30						コンテンポラリー・ファインアート 第10、11回 マイク・ケリー：学校とサイエンス・フィクション(前、後編)
パウル・クレール作 《中国風の絵》と《中国風の絵II》の制作背景について	"	美術史	174						大森 俊克 美術手帖 987,993
平成二十四年度東支部例会 パウル・クレール作《中国風の絵》(一九二三)と《中国風の絵II》(一九二三)の制作背景について	"	"	"						WORLD NEWS ニューヨーク クリス・バーデンとマイク・ケリー 2大カリスマの回顧展が同時開催!
海外通信 @スイス 「パウル・クレールと東アジア」展 書や仏教から得た精神	里信 邦子	朝日夕刊	1.30						藤森 愛実 " 997
海外通信 @ロンドン パウル・クレール展 様式の変転 尽きぬ疑問	菅 伸子	"	12.18						(コ)
WORLD NEWS ベルリン2 暴力と流血にも美と希望を。イムラン・クレシ個展	河合 純枝	美術手帖	989						近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新 呉昌碩が日本にもたらしたもの—河井荃蘆・長尾雨山を介しての伝播
蘇るコクトーの謎 没後50年、舞台や映画上演[ルシアン・クレルグ]	干場 達矢	日経夕刊	7.16						花卉画家の山水図—呉昌碩「雪山飛瀑図」(橋本コレクション)について—
									日本における呉昌碩の受容—大正・昭和編(五)
									近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新 呉友如と『点石齋画報』—ペン画と写真製版石印
									水墨画の風景7 色の融合・西洋画法の融合[黄君璧]
									松村 茂樹 アジア遊学 168
									呉 孟晋 大阪市立美術館紀要 13
									松村 茂樹 中国近現代文化研究 14
									三山 陵 アジア遊学 168
									島尾 新 水墨画* 288

日本統治期の台湾人彫刻家・黄土水における近代芸術と植民地台湾—台湾原住民彫像から日本人肖像彫刻まで—	鈴木 恵可	近代画説	22	眼と脳がアートを創造【つく】る第十五回 人間の見え方の科学的考察。ピカソ、セザンヌ、ブラック、スーラ、デュシャン、コールダーらの場合【アレクサンダー・コールダー】	深作 秀春	美術の窓	354
ガガです、ガガのロシア未来派の裔ゲオルギイ・コヴエUNCHYUK 片山ふえ著 天と通じた芸術家 宿命の試練	横尾 忠則	朝 日	12.15	特集 聖なる物語を求めて シャガールと巡る旅 織りだされた信頼関係 タビスリー【イヴェット・コキール=プランス】	編集部	芸術新潮	763
タヒチにおけるポール・ゴーギャンの関連資料3 ゴーギャンとタヒチの写真	田平 麻子	滋賀県立近代美術館研究紀要	9	美術評 「MU【無】ペドロ・コスタ&ルイ・シャフェス」展 観客の移動が生む映像との関連性	古谷 利裕	東京夕刊	1.25
平成二十四年度東支部例会 フランス近代美術とコレクション形成—ポール・ゴーガン作品の収蔵をめぐる歴史と交渉(一九一〇—一九二七)	小泉 順也	美術史	174	「ホンモノのゴッホ」は日本に何をもたらしたのか?—昭和三年の「フィンセント・ファン・ゴッホ展」をめぐる—(前、後編)	藤原 貞朗	茨城大人文学部紀要(コ)*	14,15
アントニー・ゴームリー 彫刻プロジェクト IN 葉山 TWO TIMES —ふたつの時間「アントニー・ゴームリー On Time」講演再録	アントニー・ゴームリー 水沢 勉 水沢 司会	たいせつな風景	18	花咲くアーモンドの枝【フィンセント・ファン・ゴッホ】	小池 寿子	国学院雑誌	1274
鎌倉とゴームリー	水沢 勉	〃	〃	アートマーケット情報21 新発見のゴッホ『夕映えのモンマジュール』	桂木 紫穂	新美術新聞	1324
主体的な人間を追う世界文化賞 アントニー・ゴームリー ミケランジェロ・ピストレット		朝日夕刊	11.20	ルノワールの新作映画とゴッホの晩年を描いた幻の映画、相次ぎ公開 『ヴァン・ゴッホ』	渡辺 正 美	美術*	457
高松宮殿下記念 第25回世界文化賞に5氏 芸術表現を追求文化発展に貢献 彫刻部門 アントニー・ゴームリー 「身体」に新たな解釈	産 経	9.18		古典探遊 嫉妬するほどの感受性 ゴッホ×詩人・吉増剛造	赤田 康和 関き手	朝日夕刊	5.14
世界文化賞 ローマ・ベルリンでも発表受賞者ら喜びと誓い【アントニー・ゴームリー】	内藤 泰朗 宮下日出男	〃	〃	色彩探訪 印象派を超えて【フィンセント・ファン・ゴッホ】		東京夕刊	
美の扉 身体は最高のスペースシップ 世界文化賞 彫刻部門 アントニー・ゴームリーさん	坂下 芳樹	〃	10.13	1 クレラー=ミユラー美術館 ゴッホの感情表現に魅せられ	石川 保典		10.8
美の履歴書 297 なぜ、のどかな風景を「キャッツキル山地を流れる川」トマス・コール	高橋 昌宏	朝日夕刊	3.27	3 バリ・モンマルトル ゴッホ「レストランの内部」アートの丘食欲に技術磨く	野村 悦芳		10.10
				5 南仏アルル ゴッホ「種まく人」死の予感ほらむ幸福の黄色	〃		10.12
				印象派を超えて 点描の画家たち			〃

1 フィンセント ・ファン・ゴッホ 麦束のある月の出 の風景 明るい光 に託した祈り	伊集院 静	10.29	第66回全国大会研究 発表要旨 バルマ、 サン・ジョヴァンニ ・エヴァンジェリス タ聖堂のコレッジ による天井画一図像 の生成と解釈に關 する一考察	百合草真理 子	美術史	175	
4 フィンセント ・ファン・ゴッホ 種まく人 ミレー 乗り越えた確信	高橋 克彦	11.1	World News London フロイドから愛をこ めて コロー最晩年 の肖像画を英国に[カ ミーユ・コロー]	内田 さり 取材	芸術新潮	760	
美の美 銀幕の画家 下 ゴッホ 生涯に 重なる色調の変化 己の炎が身を焼き 尽くす	田村 広濟 日 経	5.12	遺稿 丸谷オー「ク リムト論」(未完)[ジ ョン・コンスタブル]	丸谷 才一	〃	〃	
コラム ゴヤは本当 に恐ろしい―[ロマ ンの系譜 怪奇幻想 玉手箱]に寄せて[フ ランシスコ・デ・ゴ ヤ]	雪山 行二 ど お む	119	カジュアル美術館 デダムの谷 ジョン ・コンスタブル 栃 木県立美術館 伝統 とのせめぎ合い 現 実の中に理想の風景 構図	三沢 典丈	東京	8.18	
失われたパリの復元 番外編 モード革命 と伴走した元祖「萌 え」版画のパリ[ピエ ール・コラーール]	鹿島 茂	芸術新潮	764	ニコーディム・コン ダコフとチェコスロ ヴァキア	高 晟垓	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	12
研究ノート ロダン とコラン ロダン美 術館の文書が物語る 芸術家の交友[ラフ アエル・コラン]	三谷 理華	アマリリ ス	109	World New York 「ジ ョン・シンガー・サ ージェント：水彩画」 展 色彩にあふれ欲 びに満ちたサージェ ントの水彩画	前橋 重二	芸術新潮	764
ラファエル・コラン の極東美術コレクシ ョン―新出旧蔵品に ついて	〃	静岡県立 美術館紀 要	28	注目のアート、紹介 します 齊治家 IN THE NAME OF LOVE		瓜生通信	59
近代美術の眼 「死 と芸術家」 版画集 「死の舞踏」より 不 安しのぐ生命力[ロ ビス・コリント]	都築千重子	読 売	4.12	特別対談 蔡志松× 三宅一樹 「美の法 則」は、国境を越え て	藩 司会 廣 宣	美 術*	459
近代中国美術の胎動 2 新興芸術の動向 魯迅とドイツ版画― メッフェルト、コル ヴィッツの作品紹介 をめぐって[ケーテ ・コルヴィッツ]	東家 友子	アジア遊 学	168	水墨画の風景7 色 の融合・西洋画法の 融合[蔡友]	島尾 新	水墨画*	288
特集 表現する女性 たち PART 1 女 性画家の歴史 メア リ・カサット、フリ ーダ・カーロ、ケー テ・コルヴィッツ… 女性画家たちの生き 方	堀尾真紀子	美術の窓	361	美の履歴書 320 船に何を託したのか 「21. Sep. 50」 ザ オ・ウーキー	大西 若人	朝日夕刊	9.4
連載 フレスコ八景 第六景[コレッジ]	宮下 孝晴	フレスコ 壁画研究 センター ニュース*	6	イラン女性監督が個 展[マルジャン・サ トラビ]		日 経	2.14
				インスピレーション インテリア シヤル ル・ザナによる濃密 な空間装飾	土田 貴宏	A X I S	166
				ベネッセ賞にアンリ ・サラさん		読 売	12.26
				小倉正史の現代美術 講座 その9[サル キス]	小倉 正史	ギャラリー 一*	344

(サ)

教員随想 気になる素描—パルテノン調査余話[ジュリアーノ・ダ・サンガッロ]	篠塚千恵子	美史研ジャーナル	9	シンポジウム 日仏文化講座「ロマン派芸術最高！」報告 ジェリコーのふたつの旅—イタリアとイギリスのあいだで [テオドール・ジェリコー]	太田 泰人	日仏美術学会会報	32
特集 表現する女性たち PART1 女性画家の歴史—メアリー・カサット、フリーダ・カーロ、ケーテ・コルヴィツ…女性画家たちの生き方[ニキ・ド・サンファル]	堀尾真紀子	美術の窓	361	美の履歴書 295 どここの光景なのだろう 「蛇使い」 ジャンレオン・ジェローム [ジャン=レオン・ジェローム]	西岡 一正	朝日夕刊	3.6
(シ)				館藏品紹介 9 今来て見られる この逸品 Phenomena Cat Walk [ポール・ジェンキンス]		香川県立ミュージアムニュース	20
現代美術の歩き方 今月の一品 賈爾力「We come from the Century」	椿 玲子	〃	363	例会発表要旨 第126回例会：シスレー、カサット再考 アルフレッド・シスレーの農村風景	賀川 恭子	日仏美術学会会報	32
丁亥印社リレー投稿 13 巴林石事情昨今	希 夷斎	書道界	281	美の履歴書335 空を大きく描くのは「春の小さな草地」 アルフレッド・シスレー	増田 愛子	朝日夕刊	12.18
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第18回 向京	梶川 強	ギャラリー*	341	例会・研究発表会要旨 西部会 第二九四回研究発表会 黒人アフリカ「絵画」の誕生—一九二九年パリにおけるカリファラ・シディベの展覧会を中心に	柳沢 史明 美 学		243
根源力の園[エゴン・シーレ]	丹尾 安典	一寸	55	美の美 イスタンブール—東西の十字路口 4 幾多の文明が衝突、混交 細くも強靱な美の連続線 [コジャ・ミマール・シナン]	内田 洋一 日 経		1.27
カバーインタビュー ジョルジュ・ジュリアーロ	大矢アキオ	インタビュー・文	165	第66回全国大会研究発表要旨 アポロンとパン—シニョレッリ《牧神の国》についての一試論—[ルカ・シニョレッリ]	湊 明子	美術史	175
ARTIST INTERVIEW JR	グリル・ウイ	聞き手	982	World News New York 「ロイド・ジフ ロバート・メイブルソープとパティ・スミス 1968—1969」展 1968年、冬、ブルックリン伝説のカップルの無名時代 [ロイド・ジフ]	藤森 愛実	芸術新潮	762
世界のアート事情 パリ中心部モンパルナス “ハブのような場所” 小さなアトリエの繋がり [JR]	今津 京子	美連協ニュース	120	人形[ラブドール]に生命は宿るのか—ローリー・シモンズとの対話	伴田 良輔	〃	〃
視線 JR インサイドアウトジャパン	原田 マハ	朝 日	8.4				
ひ・と・も・よ・う インド人画家が描く日本画 [マドゥ・ジェイン]	杉尾 直哉	毎日夕刊	8.12				
PARIS 発 アール・ブリュットが残したもの [ガストン・シエサク]	安部 雅延	新美術新聞	1325				
美の美 オペラ作曲家と絵画—ワーグナーとヴェルディ—下 孤高と支配、親交と支援 2枚の肖像個性捉える [ヴィンチエンツォ・ジェミト]	小松 潔	日 経	3.10				

あいちトリエンナーレ2013 ARTIST INTERVIEW 3 青木淳×アルフレッド・ジャール その状況で、一番適切なことを試みる	Okazawa Kotaro 文 Araki Tomoko 翻訳・インタビュー	美術手帖	992	コラム ユダヤ人画家シャガール3 嗅覚でサヴァイヴァル	園府寺 司		
World News München 「退廃芸術」2010年にベルリンで発見された彫像展 地中に葬られた退廃芸術、ふたたび微笑をとりもどす[エドヴィン・シャーフ]	福田 直子 取材	芸術新潮	757	終焉の地・南仏に遺したメッセージ	編集部		
コンテンポラリー・ファインアート 第8回 シンディ・シャーマンの「リアル」	大森 俊克	美術手帖	977	オルジュヴァルの夜 [マルク・シャガール]	奥野 克仁	KENBI LETTER	82
特集 プロバガンダの届け先—ベン・シャーンの《リディツェ》再び—	(み。)	アートペーパー	93	PARIS 発 シャガール、戦争と平和の狭間で	安部 雅延	新美術新聞	1306
視線 東京散歩[フラン・シャヴエ]	森村 泰昌 朝 日		2.3	美術評 「MU[無] ベドロ・コスタ&ルイ・シャフェス」展 観客の移動が生む映像との関連性	古谷 利裕	東京夕刊	1.25
特集 聖なる物語を求めて シャガールと巡る旅[マルク・シャガール]		芸術新潮	763	World News New York 「未完成の彫刻 1955-1972」展 ポップでシュールな唇を召し上げ!? アリーナ・シャボツィニコフ再発見	由本みどり 取材	芸術新潮	757
プロローグ シャガールは「愛と夢と幻想」だけじゃない	編集部			世界の文学 ドイツ作品に図像取り込む [ユードイト・シャランスキ]	縄田 雄二	東京夕刊	2.21
グラフ シャガールのロシア望郷	〃			日仏シンポジウム 「シャルダンとその時代」報告[ジャン＝バティスト＝シメオン・シャルダン]	船岡美穂子	日仏美術学会会報	32
コラム ユダヤ人画家シャガール1 イディッシュとはなにか?	園府寺 司			古典探遊 人から物へ 視点の革命 シャルダン×写真家・作家藤原新也	吉村 千彰 聞き手	朝日夕刊	7.9
イディッシュの慣用句から読むシャガール	ズィーヴァ・アミシャイセルズ			美の美 「失われた時を求めて」の世界 4 日常に潜む感情のドラマ 世界鮮やかに塗り替える[ジャン＝バティスト＝シメオン・シャルダン]	干場 遼矢 日 経		4.7
聖堂に捧ぐ光の花束 ステンドグラス	編集部			作家通信 東京二月 断想	朱 海慶	水墨画*	289
土あそびの手跡 陶	〃			近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新 コラム 周湘—未解明の早期美術教育家	東家 友子	アジア遊学	168
織りだされた信頼関係 タピスリー	〃			あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第92回 「バッターモン」の再来, Battamon Returns —翻訳の政治学と全球化への抵抗(2)[シュー・ピン]	稲賀 繁美	あいだ	199
コラム ユダヤ人画家シャガール2 ユダヤ教とキリスト教	園府寺 司						
神話から悲劇まで オペラ座天井画	編集部						
メレット・メイヤー インタビュー 「祖父はパン職人のように描いた」	メレット・メイヤー						
新生ユダヤの国に捧ぐ	編集部						

美の美 オペラ作曲家と絵画—ワグナーとヴェルディ— 下 孤高と支配、親交と支援 2枚の肖像個性捉える[パウル・フォン・ジューコフスキー]	小松 潔 日 経	3.10	3 わが愛しの“おやじスヌーピー”	祖父江 慎		
世界の文学 ドイツ作品に画像取り込む [ヴェローニカ・シューパーズ]	縄田 雄二	東京夕刊	4 日常から生まれる物語	中原慎一郎		
「カザ・プファルイ」に見るジュジョールの制作態度 建築家ジュゼップ・マリア・ジュジョール研究(3)	池村 潤之 入江 正之	日本建築学会計画系論文集	特集 スヌーピーのひみつ チャールズ・M・シュルツの創作世界 Local guide スヌーピーが育った街、サンタローザへの旅	井出 幸亮	”	”
世界の文学 ドイツ作品に画像取り込む [トーマス・フォン・シュタインエッカー]	縄田 雄二	東京夕刊	スヌーピー、アート観共鳴 生みの親と交流、ショップや博物館の展示物制作 [チャールズ・モンロー・シュルツ]	大谷 芳照	日 経	4.17
アール・デコにおける「日本人」装飾家オキンの(O'Kin)の受容とその背景[ウジェニー・ジュバン]	味岡 京子	鹿島美術財団年報・別冊	近代中国美術の胎動 3 国際化と交流の流れ コラム 競い合う徐悲鴻と劉海粟 一共和国に並び立たぬ? 「両雄」	瀧本 弘之	アジア遊学	168
ARTIST INTERVIEW ミランダ・ジュライ	廣 李果 聞き手	美術手帖	現代中国巧藝事情83~90 二十世紀中国絵画の父・徐悲鴻1~8	仲 佑樹	書道界	282~289
「イカリオスの浮彫り」古代受容に関する一考察—ジュリオ・ロマーノによる応用—	藤沢 桜子	群馬県立女子大学紀要	外交官交友録としての中国近代絵画—京都国立博物館須磨コレクションにある徐悲鴻の三作品について—	呉 孟晋	年報非文字資料研究	9
特集 スヌーピーのひみつ チャールズ・M・シュルツの創作世界 [チャールズ・モンロー・シュルツ]		芸術新潮	研究報告 『ヨーロッパ近代生活絵引』編纂共同研究 ポーリュウのジョーリ [アントニオ・ジョーリ]	鳥越 輝昭	非文字資料研究	29
しあわせは、漫画を描くこと チャールズ・M・シュルツの人生	編集部		美の美 「失われた時を求めて」の世界 3 隠喩・幻視が織りなす神秘 絵を描くように言葉紡ぐ [ジョット・ディ・ボンドーネ]	干場 達矢	日 経	3.31
スパーキーの性格は、サリーの中にある。	ジーン・F・シュルツ 井出 幸亮 聞き手		わたしたちの教室へようこそ 沈強 墨趣会 水墨画教室			水墨画* 296
漫画史のなかのシュルツ 『ピーナッツ』の描線が持つ力	三浦 知志		作家自選作品集1 沈和年 《憶江南I》	沈 和年	”	289
特集 スヌーピーのひみつ チャールズ・M・シュルツの創作世界 I ♡ PEANUTS essay			水墨花ごよみ 第9回 シクラメンで画面のバランス感覚を養う	”	”	297
1 『ピーナッツ』とアメリカの良心	渡辺 靖		カール・フリードリヒ・シンケルの舞台背景画にみる建築的デザイン手法 オペラ『魔笛』の舞台背景画の三次元復元を通して	宮川 杉本 壮 大 多	日本建築学会計画系論文集	692
2 僕はチャーリー・ブラウンなのだから	片岡 義男					

論考の主題にみるルドルフ・シンドラの「空間建築」	末包 伸吾	〃	684	総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 ふたりの案内人	ユリイカ	624
(ス)						
完璧な家 ふわり探求 ス・ドホ個展 建築物を布で再現	大西 若人	朝日夕刊	2.20	闇のなかに光あり 一実在と不在の住人をめぐって	ブノワ・ペーターズ、フランソワ・スクイテン 正人 聞き手	
ブックマーク 分人の様々な家[ス・ドホ]	南後 由和	毎日夕刊	2.12			
World News New York 「印象派とファッション」展 最新流行は要チェック モネもドガもファッションイスタ! [ジョルジュ・スーラ]	前橋 重二	芸術新潮	761	描線・色彩・人間 一BDにおける身体	ブノワ・ペーターズ、フランソワ・スクイテン、大友 克洋 夏目房之介 司会	
眼と脳がアートを創造[つく]る 第十五回 人間の見え方の科学的考察。ピカソ、セザンヌ、ブラック、スーラ、デュシャン、コールダーらの場合	深作 秀春	美術の窓	354	紙の上の時間	ブノワ・ペーターズ、フランソワ・スクイテン、浦沢 直樹 原 正人 司会	
世界と日本 大図解シリーズ No.1116 色彩の探求者 点描の画家たち 色彩のドットが開く 新しいイメージ [ジョルジュ・スーラ]	前田富士男	東京	10.13			
色彩探訪 印象派を超えて 2 スーラ「ポール＝アン＝ベッサンの日曜日」内面を表現 求めた港の光	野村 悦芳	東京夕刊	10.9	都市とユートピア	ブノワ・ペーターズ、フランソワ・スクイテン、伊東 豊雄、仲原 正治 マニユエル・タルディッツ 司会	
印象派を超えて 点描の画家たち 2 ジョルジュ・スーラ ポール＝アン＝ベッサンの日曜日 筆触分割 自在に駆使	松浦 寿夫	〃	10.30	スタイケン 写真に「時代」を与えた男の15年 [エドワード・スタイケン]	平松 洋子	芸術新潮 758
ライトアップ [マークエステル・スキヤルシャフィキ]	〃	〃	11.5	SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ピエンナーレ PART II 周辺企画展示 街中でくり上げられる華やかな祭典 TOP-ICS 8 ルドルフ・スティンゲルの躍進	伊東 豊子	美術手帖 989
奉納画 フランス人が描く「野馬追」の相馬 太田神社に [マークエステル・スキヤルシャフィキ]	読 売	8.16				
努力と挫折見えるもの 伝えたい 映画「モンスターズ〜」 ダン・スキヤンロン 監督	東京夕刊	8.6		World News New York 「印象派とファッション」展 最新流行は要チェック モネもドガもファッションイスタ! [アルフレッド・ステヴァンス]	前橋 重二	芸術新潮 761
人気アニメの前日譚を描く [ダン・スキヤンロン]	日経夕刊	8.1				

第66回全国大会研究 発表要旨 パルトロ メウス・スプランゲ ル《知恵の勝利》に 関する一考察—ルド ルフ二世の宮廷にお ける武装した女性像 の図像的特徴を中心 に—	川上 恵理	美術史	175	World News New York 「印象派とフ ァッション」展 最 新流行は要チェック モネもドガもファッ ションニスタ! [ポー ル・セザンヌ]	前橋 重二	芸術新潮	761
World News New York 「ロイド・ジ ブ ロバート・メイ ブルゾープとパティ ・スミス 1968— 1969」展 1968年 、冬、ブルックリン伝 説のカップルの無名 時代	藤森 愛実 取材	芸術新潮	762	眼と脳がアートを創 造[つく]る 第十五、 十七、十八回[ポー ル・セザンヌ]	深作 秀春	美術の窓	354、356、 357
あとがきのあと「ユ ージン・スミス」山 口由美氏 水俣を撮 り続けた写真家		日 経	6.16	戊も歩けば beau[ポ ー]に当たる 第四 十六回 初訳と改訳 のはざま[ポール ・セザンヌ]	竹田 博志	〃	359
美の美 木村伊兵衛 スナップの粋 下 絵のような表現法を 否定 何げなさが現 実とらえる[ユー ジン・スミス]	干場 達矢	〃	12.29	フランチェスコ・セ ッチー—反映と肖像	瀬分 緑 甲斐 教行	五浦論叢	20
初期ロバート・スミ ツソン(2)	小西 信之	愛知県立 芸術大学 紀要	42	報告 2012年度収 蔵作品について[ポ ール・セリュジエ]	大屋 美那	ゼフェ ロス	55
視線 こびとの住む 町1・2 [スリンカ チュ]	大西 若人	朝 日	2.10	フィードラーの芸術 論成立におけるゼム パーの被覆論の影響 について[ゴットフ リート・ゼンパー]	河田 智成	日本建築 学会計画 系論文集	683
修士論文概要 スル バラン作、ラス・ク エバスのカルトウジ ア会三部作研究[フ ランシスコ・スルバ ラン]	坂本 龍太	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	58	(ソ)			
学問の図像とかたち 147 思考の模型 空間と物質[ピータ ー・ズントー]	松本 文夫	U P	485	戦中から戦後へ作家 をたどる 15 曹良 奎	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	137
コンテンポラリー・ ファインアート 第 9回 ティノ・セー ガルと1960年代回帰	大森 俊克	〃	982	World News New York 「シュル・ソ ラルとホルヘ・ルイ ス・ボルヘス：友情 の芸術」展 ボルヘ スとの友情に育まれ たソラルの無垢なる 絵画世界	前橋 重二	芸術新潮	763
ジョヴァンニ・セガ ンティーニの油彩画 における筆触の分析	鳥越 義弘	芸術学研 究(筑波)	18	現代中国書法事情 257 孫以増先生ご 逝去	種谷 萬城	書道界	283
キュビズムの時間と 空間—アレクサンダ ー・アーチペンコの 彫刻作品について— [ポール・セザンヌ]	福江 良純	鉤路論集	45	孫億とその花鳥画に ついて—東アジア絵 画史の観点から—	黄 立芸 植松 瑞希	大和文華	125
		(セ)		特集 ニッポンを語 る デザインと世界 との関係をもっと表 現すべき。 孫俊良 (アートディレクタ ー)	サウザー美 帆	A X I S	161
		(タ)		遺稿 丸谷オー「ク リムト論」(未完)[ウ ィリアム・ターナー]	丸谷 オー	芸術新潮	760
				ターナーの秘画 風 景画の巨匠をめぐる ミステリー	田中 雅志	〃	767



特集 スケッチに出 かけよう ④技法講 座 vol.29 巨匠のスケ ッチを見る1 タ ーナーの水彩スケッ チ	小林 明子	美術の窓	359	World News Paris 「ダリ」展 アート 界のエンターテイナ ー、ダリのトレンド いいとこ取り[サル バドール・ダリ]	羽生のり子 取材	芸術新潮	759
美の履歴書 331 人はどこにいるのか 「グリーン州の雪崩」 ジョゼフ・マロード ・ウィリアム・ター ナー	大西 若人	朝日夕刊	11.20	PARIS 発 ダリの大 回顧展	安部 雅延	新美術新 聞	1303
漱石と美術 2 『坊 っちゃん』でター ナーが登場 金枝 絵 の中に誘う引力	夏川 草介	東京夕刊	5.29	眼と脳がアートを創 造[つく]る 第二十 二回 第一次大戦の 虚無感とフロイトの 精神分析から理論化 し生まれたシュルレ アリズムを指導した ブルトン、絵画に取 り入れたキリコ、エ ルンスト、ダリ、そ してさらに深めたマ グリッド。	深作 秀春	美術の窓	361
美の美「失われた 時を求めて」の世界 3 隠喩・幻視が織 りなす神秘 絵を描 くように言葉紡ぐ[ウ ィリアム・ターナー]	干場 達矢	日 経	3.31	サルバドール・ダリ 《ヴィーナスの夢》に おける、塗り隠され た縄跳びについての 発見とその試論	山下 寿水	広島県立 美術館研 究紀要	16
ヴァン・ダイク作 《ペンブルック伯爵 の家族肖像》再考— ステュアート朝宮廷 仮面劇との関連を中 心に—[アンソニー ・ヴァン・ダイク]	二宮 洋輔	美 学	242	4「謔ん」で知るア ート 巨匠の素顔 ダ リに反論する材料	長谷川智恵 子	朝日夕刊	3.13
World Bruxelles ぼ くはモランディの生 徒! リュック・タ イマンズより愛をこ めて	かないみき	芸術新潮	766	総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフ イックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険 ふたりの案内人 都市とユートピア	ブノワ・ペ ーターズ、ワ フランソワ ・スクイテ ン、伊東 豊雄、 仲原 正治 マニユエル ・タルディ ッツ 司会	ユリイカ	624
ARTIST INTERVIEW リュック・タイマン ズ	中西 博之 聞き手 荒木 明子 翻訳	美術手帖	987	World New York 「ジ ェームズ・タレル」 展 ジェームズ・タ レル×ライト建築 カラフルな光の仮想 空間が出現	藤森 愛実 取材	芸術新潮	765
WORLD NEWS ブ リュッセル 歴史と 現代の競演に魅了さ れる展覧会[リュッ ク・タイマンズ]	かないみき	〃	995	現在通信 From NEW YORK 空間を 見るために[ジェー ムズ・タレル]	富井 玲子	新美術新 聞	1321
群馬県立歴史博物館 所蔵「ブルーノ・タ ウト《デッサン》66 枚」について	伊藤 香織	群馬県立 歴史博物 館紀要	34	WORLD NEWS ニ ューヨーク ライト & スペース運動の巨 匠2人と奇オリン ・ファウクスに湧く NYの7月[ジェーム ズ・タレル]	藤森 愛美	美術手帖	991
ブルーノ・タウト『画 帖桂』の美学—書画 同体論とドイツ・ロ マン主義の全体性の 美学	長谷川 章	東京造形 大学研究 報	14	WORLD NEWS ロ サンゼルス 3都 市で開催のジェーム ズ・タレル展 地元 美術館からのレポ ート	廣 李果	〃	993
天下逸品 ブルーノ ・タウトの世界 自然 が編み出す心洗う 形 群馬県高崎市	大西 元博	朝日夕刊	7.23				
第六十四回美学会全 国大会報告 発表要 旨 ドロテア・タニ ングの造形における マチエールの探求— 第二次世界大戦以降 のシュルレアリスム の一樣相—	長島 彩音	美 学	243				



REVIEWS 02 清水 護 月評56回 一区 切り ヴォルフガン グ・ティルマン展	清水 護	美術手帖	984	マルセル・デュシャ ンとチエスー 絵画か らチエスへの移行一	中尾 拓哉	多摩美術 研究	2
眼と脳がアートを創 造[つく]る 第二十 二回 第一次大戦の 虚無感とフロイトの 精神分析から理論化 し生まれたシュルレ アリズムを指導した ブルトン、絵画に取 り入れたキリコ、エ ルンスト、ダリ、そ してさらに深めたマ グリッド。[ジョル ジオ・デ・キリコ]	深作 秀春	美術の窓	361	第六十四回美学会全 国大会報告 発表要 旨 マルセル・デュ シャンにおける「レ ディ・メイド」の生 成	岩見 亮	美 学	243
カバーインタビュー ワルター・デ・シル ヴァ	有元 正存	A X I S	161	WORLD NEWS 北 京 中国の現代美術 からたどる、デュシ ヤンの圧倒的な存在 感	多田 麻美	美術手帖	989
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ビエ ンナーレ PART I 企画展「エンサイク ロペディック・パレ ス」芸術の起源に 迫る「百科事典」 ARTIST PICK UP No.3 サイモン・ デニー 高速で変化 するメディア社会へ の記念碑	深作 秀春	美術の窓	354	眼と脳がアートを創 造[つく]る 第十五 回 人間の見え方の 科学的考察。ピカソ、 セザンヌ、ブラック、 スーラ、デュシャン、 コールダーらの場合	深作 秀春	美術の窓	354
所蔵品余談 歴史ド ラマを追体験する[ヤ ン・ヤックス・デ・ ハート]	(N)	潮 流	114	4 [読ん]で知るア ート 現代アートの楽 しみ方 「何でもあり 」の表現[マルセル ・デュシャン]	藤田 令伊	朝日夕刊	7.10
総特集 世界マンガ 大系 BD、グラフィ ックノベル、Manga …時空を結ぶ線の冒 険 絵物語の舞台装 置 新しい物語メデ ィアの作り手、テブ フェール[ロドルフ ・テブフェール]				PARIS 発 アール・ ブリュットが残した もの[ジャン・デュ ビュッフエ]	安部 雅延	新美術新 聞	1325
文献記録におけるデ ューラー(3)[アル ブレヒト・デューラ ー]	下村 耕史	九州産業 大学芸術 学会研究 報告	44	「京成都市構想図」に 関する研究[ゲオル グ・デ・ラランデ]	徐 東帝 宮崎 涼子 川崎 陽 水野 直樹 西垣安比古	日本建築 学会計画 系論文集	687
デューラー作《メレ ンコリア》と《神殿 中の12歳のイエス》	石津 秀子	成城美学 美術史	19	「デ・ラランデ邸」復 元 小金井の江戸た てもの園	千葉 雄高	朝 日	4.21
デューラー『人体均 衡論四書』第二書に おける「ウィトルウ ィウスの人体図」の 問題	中村 朋子	美 学	242	ドイツ人建築家が手 掛けた100年前の洋 館復元[ゲオルグ・ デ・ラランデ]	梅村 武史	東 京	4.19
				「10歳でゲン読めて 良かった」「読まれ るべきだ」米の漫画 家訴え「自由に閲 覧を」被団協が要 請書[レイナ・テル ゲマイヤー]	古田 大輔	朝 日	8.24
				「はだしのゲン」の衝 撃 米少女を漫画家 に 9歳の体験 日 本人が和訳 「問題 意識持つきっかけ」 [レイナ・テルゲマ イヤー]	上野実輝彦	東京夕刊	8.23
				ダーク・レンズ セ ドリック・デルソー 著		日 経	9.15
				本よみうり堂 「ダ ーク・レンズ」セ ドリック・デルソー 写真集	星野 博美	読 売	10.6

		(ト)						
研究発表(要約) 朝鮮人画家都相鳳(ト・サンボン)の朝鮮磁器の絵をめぐる試論—東京美術学校への留学体験と柳宗悦による朝鮮民芸保護活動との関連性—	申 改正	近代画説	22	アルジェリア/フランス—『アルジェの女たち』をめぐる絵画と文学の対話(II) [ウジェーヌ・ドラクロワ]	石川 清子	静岡文化芸術大学研究紀要	13	
60年を経て世界初公開 ドアノーが撮った結婚式[ロベール・ドアノー]		芸術新潮	767	毀誉褒貶の画家ドラクロワとカリカチュア—リサーチ・プログラム「ドラクロワをめぐる」—	(T. S.)	ソカロ	67	
水墨画の風景7 色の融合・西洋画法の融合[陶冷月]	島尾 新	水墨画*	288	シンポジウム 日仏文化講座「ロマン派芸術最高!」報告 フランス・ロマン主義におけるドラクロワ	高橋 明也	日仏美術学会会報	32	
World News New York 「印象派とファッション」展 最新流行は要チェック モネもドガもファッションニスタ! [エドガー・ドガ]	前橋 重二	芸術新潮	761	平成25年度・東洋陶磁学会総会特別報告 イタリア・フアエンツァをめぐる近年の現代陶磁事情—グエッリノー・トラモンティ回顧展と国際陶芸展ほか—	唐澤 昌宏	東洋陶磁学会会報	79	
エドガー・ドガ《コンコルド広場》研究	豊田 麻子	哲学会誌	37	眼と脳がアートを創造[つくる] 第十八回 視覚科学でその本質を追求しようとした、セザンヌ、モネ、ドガ、さらにフォーヴィズムを切り開いたマチス、ドランの場合	深作 秀春	美術の窓	357	
モーリス・ドニの宗教画塾と20世紀フランスにおける宗教美術	和田佐知子	鹿島美術財団年報・別冊	30	ドレのロンドン巡礼 天才画家が描いた世紀末 谷口江里也(著)、ギユスターヴ・ドレ(絵) 近代資本主義社会へのいざない	田中 優子 朝 日		9.1	
樹木考—モーリス・ドニの象徴性の一側面	平石 昌子	新潟県立近代美術館研究紀要	12					
聚美夏題 ドメニキーノ事件	千足 伸行	聚 美	8					
ドラクロワにおける「仕上げ」の意味—同時時代の批評をめぐる[ウジェーヌ・ドラクロワ]	荻野 哉	大分県立芸術文化短期大学研究紀要	50					
エリザベス・A・フレイザー「《キオス島の虐殺》における国民としての家族」[ウジェーヌ・ドラクロワ]	鈴木杜幾子 訳	芸術学研究(明学)	23					
ウジェーヌ・ドラクロワ《聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち》(1860年/丸沼芸術の森蔵/寄託作品)について	渋谷 拓	埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要	7					
						(ナ)		
				World London 「ローラ・ナイト:肖像画」展 イギリス人女性画家のバイオニア、ローラ・ナイトの描いたもの	内田 取材 さり	芸術新潮	766	
						(ニ)		
				あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第92回 「バッターモン」の再来、Battamon Returns—翻訳の政治学と全球化への抵抗(2)[ニー・ハイブエン]	稲賀 繁美	あいだ	199	

<p>ISETAN FUTURE CURATION On Curating : 3 オープンマインド。アートフュージョンの時代へ</p>	カールステ ン・ニコラ イ	美術手帖	983	海外通信 @ニュー ヨーク 「クリス・ バーデン 極端な手 段」展	富井 玲子	朝日夕刊	11.27
<p>WORLD NEWS ミ ステルパッサヘル マン・ニッチュ、生 と死の狂想曲 目を 逸らさずに今、思考 すべきこと</p>	かないみき	"	985	岩田とバルトン 記 録された磐梯山噴火 [ウィリアム・キン ムンド・バートン]	佐藤 公	ザ・ルー フ	43
	(ヌ)			特集 ニッポンを語 る どんな状況でも 人は美しいものに反 応する。イワン・ バーン(フोटogra ファー)	中島 恭子	A X I S	161
<p>中に入ると…安心す る? 透明テープで 巨大アート[NUMEN/ FOR USE]</p>	黒沢 綾子	産 経	11.28	連載 3~10 James Lee Byars "Days in Kyoto" [ジェームス ・リー・バイヤー ス]	坂上しのぶ	あいだ	199~202、 204、207 ~209
	(ノ)			from the World ス イスの技術が日本の 住宅を変える?[レ ネ・パウル]	鴨澤 章子	A X I S	165
<p>イサム・ノグチによ る AP 通信のレリー フ《ニュース》にお けるジャーナリスト のイメージについて</p>	内山 尚子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	30	マンガ最前線 プロ グ『ベネローブ・バ ジューの、バリジェ ンヌな日々』 仏発 等身大ガールズトー ク	細萱 牧	東京夕刊	3.5
<p>イサム・ノグチの gardenにおける制作 意図の研究 ユネス コガーデンを事例と して</p>	今村友里子 熊澤 栄二	日本建築 学会計画 系論文集	694	視線 サイクリング ・ユートピア フラ ンク・バターソン画 集	北澤 憲昭	朝 日	5.12
<p>特集 風景画100選 富士山世界遺産登録 記念 PART 1 イサ ム・ノグチの見た風 景</p>		美術の窓	360	新国立競技場デザ インのハディド 作風 鋭角から流動的に[ザ ハ・ハディド]	大西 若人	"	1.3
<p>イサム・ノグチの《広 島死者祈念碑》案 —その制作期間と起 源について—</p>	越前 俊也	文化学年 報	62	ひと 新国立競技場 をデザインした建築 家 ザハ・ハディド さん	辻 健治	"	4.17
<p>モニュメントとは? 問う イサム・ノグ チの幻の慰霊碑に脚 光</p>	窪田 直子	日経夕刊	8.6	国立競技場「ザハ生 涯の傑作を」 審査 委員の内藤氏 見解 公表	大西 若人	朝日夕刊	12.13
<p>イサム・ノグチ 情 熱の生涯 演出・宮 本亜門、3つの物語 に</p>	山内 則史	読売夕刊	7.31	新国立競技場をデザ イン 建築家 ザハ ・ハディドさん 躍 動する東京 ふさわ しい造形 「五輪開 催なら素晴らしい大 会に」	渋谷 和彦	産 経	4.8
	(ハ)			World News New York 「ウーマ・バ バ アンナチュラル ・ヒストリーズ」展 エイリアンか、巨神 兵か!? ウーマ・バ バの不気味な彫刻	由本みどり 取材	芸術新潮	759
<p>毒と笑いが寄せては 返す マーティン・ バーの浜辺</p>		芸術新潮	764	小倉正史の現代美術 講座 その6 [デヴ イッド・ハモンズ]	小倉 正史	ギャラリー 一*	341
<p>写真集の歴史をたど る 英の写真家 戦 後日本の作品も収録 [マーティン・バー]</p>	西岡 一正	朝日夕刊	5.8				
<p>WORLD NEWS ニ ューヨーク クリス ・バーデンとマイク ・ケリー 2大カリ スマの回顧展が同時 開催!</p>	藤森 愛実	美術手帖	997				

学問の図像とかたち 151 思考の模型 対称性の外部[アン ドレア・パラディ オ]	松本 文夫	U P	489					(ヒ)
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ピエ ンナーレ PART II 国別展示 世界88か 国を代表する作家が 一同に! ARTIST PICK UP No.7 ペ トリット・ハリライ 紛争の悲劇を自伝的 に表現	伊東 豊子	美術手帖	989					ピエロ・デッラ・フ ランチェスカ作《モ ンテフェルトロの二 連画》再考—その凱 旋図の読解と制作動 機の推定—[ピエロ ・デラ・フランチェ スカ]
東京トリビア ドイ ツ人技師、バルツァ ー設計 赤レンガの 東京駅に… 幻の和 風建築案があった[フ ランツ・バルツァー]	石川 修巳	東京	10.23					パブロ・ピカソによ る1950年代の立体作 品について—Alfred Barr Papersに見る展 覧会“The Sculpture of Picasso”(1967) の実態とその意義—
特集 マチエールの 基本と応用 ④技法 講座 vol.30 巨匠に 見るマチエール2 バルテュス 儀式と してのマチエール		美術の窓	362					例会発表要旨 第123 回例会:近代美術の 空間と身体 キュビ スムの人体構造と美 術解剖学—パブロ・ ピカソの1907-1909 年の作品における身 体表現
失われたパリの復元 番外編 モード革命 と伴走した元祖「萌 え」版画のパリ[ジョ ルジュ・バルビエ]	鹿島 茂	芸術新潮	764					第66回全国大会研究 発表要旨 パブロ・ ピカソとモノクロー ム—《ゲルニカ》の色 彩表現をめぐって—
報告 2012年度収蔵 作品について[パル ミジャーニーノ]	大屋 美那	ゼフエロ ス	55					二十世紀美術断想10 ~21 ピカソIX~XX
巨匠 莞草のキャン パスに花を描く草薺 匠 韓順子	朴金 炫淑 明順 訳	コリアナ	20-2					眼と脳がアートを創 造(つく)る 第十五、 十六回[パブロ・ピ カソ]
World News London バンクシー事件が問 いかける グラフィ ティって誰のもの?	前橋 重二	芸術新潮	761					《ゲルニカ》とグリー ンバーグ批評 —ア メリカにおけるピカ ソ受容とその功罪—
バンクシーにNY熱 気 謎の英画家 先 月駆け回る 次の作 品どこ?市民追跡	長田 弘己	東京夕刊	11.11					4 [読ん]で知るア ート[パブロ・ピカソ]
世界の中の韓国人 ドミニク・パングボ ーン:偶然がもたら した幸せ	マヤ・ウエ スト 趙 祥恩 訳	コリアナ	20-1					巨匠の素顔 女性 で変わるピカソの 画風
ジャン・パオロ・パ ニーニの風景面に描 かれた古代彫刻の同 定[ジョヴァンニ・ パオロ・パンニーニ]	飯塚 隆	国立西洋 美術館研 究紀要	17					画家の視点 自由 自在な視点の獲得
								30年ぶりにピカソ展
								蘇るコクトーの謎 没後50年、舞台や映 画上演[パブロ・ピ カソ]
								カミーユ・ピサロ 《エラニーの牧場》
								上原近代 美術館だ より

美の履歴書 333 道は曲がっていないか「窓から見たエラニーの通り、ナナカマドの木」カミーユ・ピサロ	大西 若人	朝日夕刊	12.4						
主体的な人間を追求 世界文化賞 アントニー・ゴームリー ミケランジェロ・ピストレット			11.20						
高松宮殿下記念 第25回世界文化賞に5氏 芸術表現を追求文化発展に貢献 絵画部門 ミケランジェロ・ピストレット 固定されない空間描く		産 経	9.18						
世界文化賞 ローマ・ベルリンでも発表受賞者ら喜びと誓い [ミケランジェロ・ピストレット]	内藤 泰朗 宮下日出男								
美の扉 世界と交流「ミラーピクチャー」 世界文化賞 絵画部門 ミケランジェロ・ピストレットさん	坂下 芳樹		9.29						
第六十四回美学会全国大会報告 発表要旨 ビエール・ピュヴィ・ド・シャヴァンヌ作《眠れる街を見守る聖ジュズウィエーヴ》再考—バンテオン壁画の連関を通して—	江澤菜櫻子	美 学	243						
ビエール・ピュヴィ・ド・シャヴァンヌ作バンテオン壁画(一八七四～七八)—壁画の構想に関する一考察—		美術史研究	51						
World Paris バンド・デンネ界の雄、エンキ・ピラルの機械愛	永島 章雄	芸術新潮	766						
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ピエンナーレ PART II 国別展示 世界88か国を代表する作家が一同に！ ARTIST PICK UP No.5 アレクサンドラ・ピリチ 遊び心とユーモアから生まれる批判精神	かないみき	美術手帖	989						
日本における近代木彫表現へのヒルデブランドの影響関係について 橋本平八を中心として [アドルフ・フォン・ヒルデブランド]	酒井 恒太	芸術学研究(筑波)	18						
美の履歴書 325 ポスターらしくないのは「俺たちに明日はない」ヨゼフ・ビレチャル	増田 愛子	朝日夕刊	10.9						
		(フ)							
近代中国美術の胎動 3 国際化と交流の流れ 傅抱石と日本—国境を越える美術史への手がかりとして	前田 環	アジア遊学	168						
音と絵 VOL.2 [ストーム・ファーフソン]	高橋 周平 金船 卓志	美術屋・百兵衛	26						
WORLD NEWS ブリュッセル 歴史と現代の競演に魅了される展覧会 [ヤン・ファーフル]	かないみき	美術手帖	995						
WORLD NEWS ニューヨーク ライト&スペース運動の巨匠2人と奇才リン・ファウクスに湧く NYの7月	藤森 愛美		991						
特集 庭と庭園 特集5 ガーデンデザイナー、ファン・ジエーへ 最も美しい庭園は、原始的な感性が息づいているところ [黄知海]	徐 華淑 坂野 慎治	コリアナ	20-3						
視線 丘の上の修道院 ル・コルビュジエ 最後の風景 [范毅舜]	保坂健二郎	朝 日	7.14						
World News Rotterdam 「ファン・エイクへの道」展 猫の髭にも全力投球 油彩画の創始者ファン・エイクの奇跡のような細密描写 [ヤン・ファン・エイク]	前橋 重二	芸術新潮	757						
第66回全国大会研究発表要旨 ヤン・ファン・エイク作《ファン・デル・パーレの聖母子》—鸚鵡の象徴性と注文主の救済願望	杉山美耶子	美術史	175						
World News London フィッシュリ&ヴァイスの岩のアクロバット [ペーター・フィッシュリ]	内田 さり 取材	芸術新潮	762						
クリエイターズワーク&ソウル 胡佑宗		A X I S	163						

ゴブラン製作所におけるブーシェのタピスリー下絵制作活動に関する基礎研究 [フランソワ・ブーシェ]	小林亜起子	高梨学術 奨励基金 年報	H24年度	第66回全国大会研究 発表要旨 ニコラ・ ブッサン作《バッコ スの前のミダス》— 初期神話画における 場面選択の特異性—	福田 恭子	美術史	175
アントワーン・ブールデル「アナートル・フランス像」	谷 哲夫	Wave II	10	久保田米子氏旧蔵の ワルワール・ブプロ ワ作品について	町田つかさ	早大會津 八一記念 博紀要*	14
ロダンの彫刻など 上野で「手の痕跡」展 [アントワーン・ブールデル]	岸 桂子	毎日夕刊	1.16	思考の場としてのカ ード・コンテナース タンリー・ブラウン のインデックス・カ ード作品について	渡部 葉子	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	20
聚美冬題 フェルメ ール人気に思う[ヨ ハネス・フェルメ ール]	千足 伸行	聚 美	6	World Paris 「ジョ ルジュ・ブラック」 展 変遷を重ねた絵 画スタイルを網羅 ブラック、40年ぶり の回顧展	永島 取材 章雄	芸術新潮	767
展覧会評 「フェル メール オランダ絵 画の黄金時代」展— 十七世紀オランダ絵 画の系譜とイタリア	阿部 愛	美術史学	34	PARIS 発 ブラック 没後50年回顧展	安部 雅延	新美術新 聞	1328
課外授業 美術のお 時間 20時間目[ヨ ハネス・フェルメ ール]	安井 収蔵	美術屋・ 百兵衛	24	眼と脳がアートを創 造【つく】る 第十五 回 人間の見え方の 科学的考察。ピカソ、 セザンヌ、ブラック、 スーラ、デュシャン、 コルダールらの場合	深作 秀春	美術の窓	354
美の美 「失われた 時を求めて」の世界 3 隠喩・幻視が織 りなす神秘 絵を描 くように言葉紡ぐ[ヨ ハネス・フェルメ ール]	干場 達矢	日 経	3.31	特集 スヌーピーの ひみつ チャールズ ・M・シュルツの創 作世界 Local guide スヌーピーが育った 街、サンタローザへ の旅[ベイジ・ブラ ッドック]	井出 幸亮	芸術新潮	766
ART TOPICS NYに フェルメール		〃	11.14				
INFORMATION MOVIE 三鷹の森ジ ブリ美術館配給の長 編アニメーション 観客を撃ち抜く「ピ ストルの弾」—イグ ナシオ・フェレーラ ス監督に聞く	叶 精二	美術手帖	989	カイ・フランクのブ ロダクト・デザイン と民藝運動	長久 智子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	30
フェレーラス監督 スペインアニメ「し わ」ジブリ公開 「高 畑監督に喜んでいた だき光栄」	榎田 寿宏	産 経	6.21	こころの玉手箱 写 真家 石内都 5 ロバート・フランク さんにもらった写真 米国への視点 通じ 合う	石内 都	日経夕刊	8.30
館蔵品紹介 《人質 の頭部》一九四四 ジャン・フォートリ エ	山梨 俊夫	国立国際 美術館ニ ユース	196	フランク・シム彫刻に おけるプリミティヴ イスマ[コンスタン ティン・ブランクー シ]	土橋 浩之	芸術学研 究(京都 造形)	4
ルチオ・フォンタナ の「無」の考え方[ル ーチョ・フォンタナ]	谷藤 史彦	美術史	174	美の美 「失われた 時を求めて」の世界 1 現代に踏み出し た花の都 才気を競 う社交界の虚実[ジ ャック＝エミール・ ブランシュ]	干場 達矢	日 経	3.17
ブッサン作《アポロ とダフネ》(ミュンヘ ン、アルテ・ピナコ テーク蔵)について [ニコラ・ブッサン]	木村 三郎	日本大学 芸術学部 紀要	57	擬人化動物写真家ハ リー・ホイッティア ー・フリースについ て	林 司	川崎市市 民ミュー ジウム紀 要	25



館長の独り言 古美術と現代美術の合体 [フルター・ブリックス]	竹内 順一	永青文庫	82	平成24年度 研究発表会発表梗概 ウィリアム・ブレイク作《神曲挿絵》の作品形状に関する考察	一瀬 諒	学習院大学哲学学会報	26
大特集 森洋子のブリューゲル特別講義 [ピーテル・ブリューゲル]		芸術新潮	759	from the World 「リスボン建築トリエンナーレ2013」[フレーム・コレクティブ]	長谷川香苗	A X I S	166
はじめに	森 洋子			World News London フロイドから愛をこめて コロー最晩年の肖像画を英国に[ルシアン・フロイド]	内田 さり 取材	芸術新潮	760
1時限目 生涯篇 アントワープからブリュッセルへ ブリューゲル40数年の軌跡	〃						
2時限目 作品篇 1 広場の画家ブリューゲル 謎・祝祭と禁欲・子供	〃					(へ)	
3時限目 作品篇 2 聖書の世界 ヒエロニムス・ボス、先人画家たちへの挑戦	〃			現代美術の歩き方 異論反論・現代美術何翔宇[ヘシヤンユ]にインタビュー 作品で自身のスタンスを示す	何 翔宇 談	美術の窓	363
昼休み ブリューゲルの食卓へようこそ	林 綾野			特集 仏教寺院で修行生活 特集2 寺院が目覚める光と音	妻 炳雨 坂野 慎治 訳	コアアナ	20-2
4時限目 作品篇 3 農民の季節の仕事と楽しみ	森 洋子			視線 レンズが撮らえた F・ベアトの幕末[フェリーチェ・ベアト]	北澤 憲昭	朝 日	1.20
5時限目 作品篇 4 ブリューゲルは語る 寓意画の世界	〃			本よみうり堂「大久保家秘蔵写真」森重和雄ほか編[フェリーチェ・ベアト]	(辻)	読 売	11.10
講義のあとで 話題&問題となったブリューゲル作品	〃			滋賀文化考 MIHO MUSEUM 世界的な建築家ペイ氏が手がけた美しい美術館[イオ・ミン・ペイ]		美術屋・百兵衛	25
補講1 最新研究情報 注目されるふたりの息子	〃			特集 20世紀のカリスマ フランシス・ベーコンを解剖する	保坂健二郎	芸術新潮	760
補講2 旅 ブリューゲル発見	〃						
美の季想 雪景色を見る 生活と神秘の幻想世界[ピーテル・ブリューゲル]	高階 秀爾	朝日夕刊	2.20	プロローグ いま、なぜベーコンか?			
大特集 森洋子のブリューゲル特別講義 補講1 最新研究情報 注目されるふたりの息子[ピーテル・ブリューゲル(子)/ヤン・ブリューゲル]	森 洋子	芸術新潮	759	作品篇 ベーコンの絵はどこがどうすごいのか?			
				人生編 フランシスへの手紙			
				特集 20世紀のカリスマ フランシス・ベーコンを解剖する 対話編 ベーコン五面鏡		〃	〃
WORLD NEWS ニューヨーク BHOFの「回顧展」開催! 美術界のパロディーを美術館で展開[ブルース・ハイ・クオリティ・ファウンデーション]	藤森 愛実	美術手帖	993	脳 扁桃体を直撃する絵	茂木健一郎、保坂健二郎 対談		
				写真 うつされた距離	鈴木 理策、保坂健二郎 対談		

映画 イタリアの監督はペーコンが大好き	中原 昌也、保坂健二郎 対談			SPECIAL FEATURE フランス・ペーコン KEYWORDS & STUDIO 主要キーワード&アトリエ資料全解説 Looking into Bacon's Studio ペーコンの脳内へ	新藤 淳	〃	〃
ダイ そこを隠さずに話そう	都築 響一、保坂健二郎 対談			一アトリエという記憶装置の解剖			
宗教 キリスト教をめぐる静穏な倒錯	佐々木 中、保坂健二郎 対談			Studio I 画集—先駆者たちへの賞賛、または執着			
特集 20世紀のカリスマ フランス・ペーコンを解剖する座談会 ペーコン女子会へようこそ!	安藤モモ子、金沢 百枝、原田 マハ、松井 冬子、保坂健二郎	芸術新潮	760	Studio II 映画、医学書			
特集1 フランス・ペーコンについて マゾヒズムの逆説 フランス・ペーコン展によせて	平野 嘉彦	現代の眼	599	Studio III 写真—画像にとり憑いた、カメラの魔力			
Re view 絵画とダンス あるいは複製技術時代の芸術作品 [フランス・ペーコン]	木村 覚	〃	601	Studio IV 新聞、雑誌—戦争と政治のイメージに相對しながら			
フランス・ペーコンの絵画と離人症	大崎 晴地	東京芸術大学美術学部論叢	9	Studio V ドローイング—隠された真実			
SPECIAL FEATURE フランス・ペーコン「速い」絵	茂木健一郎	美術手帖	980	Studio VI キャンバス—破壊された幻の作品群			
SPECIAL FEATURE フランス・ペーコン KEYWORDS & STUDIO 主要キーワード&アトリエ資料全解説 Keyword		〃	〃	Studio VII 絶筆—アトリエに遺された創作の跡			
No.01 三幅対	保坂健二郎			SPECIAL FEATURE フランス・ペーコン		〃	〃
No.02 教皇像	梶田 倫広			Special Essay フランス・ペーコン—神妙なるブレ	杉本 博司		
No.03 叫び、口	〃			コラム01: イラストレーションならざる絵画とは?	梶田 倫広		
No.04 磔刑図	保坂健二郎			BIOGRAPHY ペーコンの壮絶で華麗なる人生	伊東 豊子		
No.05 人体、ヌード	〃			CHRONOGRAPHY フランス・ペーコン略年譜	中島 水緒		
No.06 ゴーン	梶田 倫広			コラム02: “戦略家”ペーコンという事実	保坂健二郎		
No.07 肖像画	鈴木 俊晴			TALK 鼎談: フランス・ペーコンとは何者だったのか?	保坂健二郎、梶田 倫広、藤原えりみ 鼎談 岡澤浩太郎 構成		
No.08 自画像	〃			コラム03: ドゥルーズ哲学はペーコンの絵画をどう読み解いたのか?	太田 純貴		
No.09 神話、文学	保坂健二郎						
No.10 影	鈴木 俊晴						
No.11 水しぶき	〃						
No.12 動物	梶田 倫広						
No.13 面中面	鈴木 俊晴						
No.14 鏡、窓	〃						

ESSAY 力[フォース]の結合としての絵画 フランシス・ペーコン論	エルンスト・ファン・アルプエン 太田 純貴 訳			柳宗理 さあ、良い仕事をしよう column シャルロット・ペリアンと柳宗理 一出会いと必然	森 仁史 太陽(別冊) 柳宗理
Loeil 美は語る16 フランス・ペーコン 肉体とその存在を描き続けて	マルガリータ・カボック 談	美術の窓	357	世界のアート事情 フランスのサン=テティエンヌ近代美術館で開催中の「シャルロット・ペリアンと日本」展	長門 佐季 美連協ニュース 118
眼と脳がアートを創造[つく]る 第十九、二十回[フランス・ペーコン]	深作 秀春	〃	358, 359	特集 仏教寺院で修行生活 特集5 大雄殿：象徴、仏像、仏画	ブライアン・ペリー 坂野 慎治 訳 コリアナ 20-2
美の美 フランシス・ペーコン 歪められた肖像 上、下	窪田 直子	日 経	2. 17, 24	特集 新興インテリアメーカーのデザイン マニフェスト ディシプリン、家具デザインに向かう新たなマニフェスト 鼎談：マリオ・ペリーニ×レナート・ブレティ×岩崎一郎	川上典李子 A X I S 164
ペーコン絵画 美術品最高値 141億円 で落札、ムンク上回る		日経夕刊	11. 13		
総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 本邦初訳 フレデリック・ペーターズ『青い薬』解題	原 正人	ユリイカ	624	パリで用いられた建築論とその文脈 「騎士ベルニーニのフランス旅行日記」に見られるベルニーニのルーヴル宮設計活動その3 [ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ]	遠藤 太郎 日本建築学会 系論文集 683
研究エッセイ コラージュを通して見えてくる現代美術の展望と野望[ハンナ・ヘーヒ]	小松原由理	非文字資料研究	30	美の美 「失われた時を求めて」の世界 1 現代に踏み出した花の都 才気を競う社交界の虚実[ジャン・ペロー]	干場 達矢 日 経 3. 17
美の美 オペラ作曲家と絵画—ワーグナーとヴェルディ— 上、下[アルノルト・ベックリン]	小松 潔	日 経	3. 3, 10	風景画と実景の比較における3 DCGの活用に関する研究[ベルナルド・ベロット]	小川 勇樹 趙 世晨 日本建築学会 系論文集 683
続・寝たまま書物探偵所[ヘルマン・ヘッセ]	山田 俊幸	一 寸	54		
特集 「デザインで進む医療」 「エモーショナルなレベルでのデザインが重要となる」 IDEO チーフクリエイティブオフィサー ポール・ベネット氏インタビュー	瀧口 範子 インタビュー—文	A X I S	166		
World Versailles 「ペノーネ ヴェルサイユ」展 宮殿に招かれたペノーネのアンチ・ヴェルサイユ彫刻[ジュゼッペ・ペノーネ]	羽生のり子 取材	芸術新潮	765	現代中国巧藝事情79~82 緑蔭堂主人・豊子愷4~7	仲 佑樹 書道界 278~281
現在通信 From NEW YORK 空間を見るために[ラファエル・ロザノ=ヘマー]	富井 玲子	新美術新聞	1321	美の履歴書 311 陶芸で試みたのは「坂く女」 ピーター・ポーコス	高橋 昌宏 朝日夕刊 7. 3
				注目のアート、紹介します 朴加喜 「熱の花」	瓜生通信 60

(ホ)

現在通信 From NEW YORK ビー ターラビットの裏の お話[ピアトリクス ・ポター]	富井 玲子	新美術新 聞	1302	ルネ・マグリットの 講演「生命線」と油彩 画《彼岸》—陰を経て 光の下に見出す(生) のイメージ	吹田 映子 美 学	242	
建築家ジュゼッペ・ ボッジによるコプリ 大通りの路程と機能 フィレンツェの近代 都市改造に関する研 究	會田 涼子	日本建築 学会計画 系論文集	688	第六十四回美学会全 国大会報告 発表要 旨 ヤン・フートの キュレーションにお ける「地域」と「芸術」 の関係—ルネ・マグリ ットを参照点とし て—	利根川由奈	”	243
海外通信 @ニュー ヨーク 「ホッパー のドローイング」展 アメリカ国民画家の 楽屋裏[エドワード ・ホッパー]	富井 玲子	朝日夕刊	7.31	眼と脳がアートを創 造[つく]る 第二十 一、二十二回[ルネ ・マグリット]	深作 秀春	美術の窓	360,361
表紙の作品 チェコ ・ボナノッテ《綱渡 り師たち—対照—》	(H)	潮 流	113	カジュアル美術館 大家族 ルネ・マグリ ット 宇都宮美術 館 なんてその題名 ? 絵との詩的なつ ながり感じて	三沢 典丈	東 京	1.20
ロジェ・ボナフェ 南仏のシエスタの心 地よさ—ロジェ・ボ ナフェをめぐって	中村 隆夫	美 術*	457	現代美術の歩き方 今月一品 タラ・ マダーニ「プロジェ クター」	大島 賛都	美術の窓	360
研究小話 布をめぐ る随想 2 身体 の一部としての衣服[ク リスチャン・ボルタ ンスキー]	定松 晶子	群馬の森 美術館ニ ュース	151	研究報告 原田直次 郎とガブリエル・フ ォン・マックス	黒田 和士	東京芸術 大学大学 美術館年 報	H23年度
特集 記憶と忘却 見えない/見せない 記憶の表現 クリス チャン・ボルタンス キーをめぐって	中村 史子	西洋美術 研究	17	ひと 日本文化を愛し 「西齋」を名乗る翻 訳・版画家 ビーター ・マックミランさん	大久保真紀	朝 日	2.9
朱漆「根来」とボル トローナ・フラウ 伝 統と革新のはざまに 脈打つセクシーな鼓 動	白洲 信哉	目の眼	446	世界遺産 Mt. Fuji 1 崇高な名峰 芸術の 源 時も海も越えて 魅了[ビーター・マ ックミラン]		読 売	6.25
第六十四回美学会全 国大会報告 発表要 旨 ジャクソン・ポ ロックにおける書道 芸術—ブラック・ペ インティング成立に 関する—考察—	笈 菜奈子	美 学	243	特集 新興インテリ アメーカーのデザイ ンマニユフェスト 正しいプロジェクト を届けるという使命 —マティアッツィ	田代かおる	A X I S	164
(マ)				第66回全国大会研究 発表要旨 アンリ・ マティス「交響乐的 室内画」再考	吉川 貴子	美 術 史	175
作家自選作品集4 馬艶 《一文字》	馬 艶	水墨画*	292	眼と脳がアートを創 造[つく]る 第十六、 十八回[アンリ・マ ティス]	深作 秀春	美術の窓	355,357
換骨奪胎 ホンマタ カシの映像リテラシ ー 3 マイブリッ ジとマレーと連続写 真[エドワード・マ イブリッジ]	ホンマタカ シ	芸術新潮	767	プーシキン 名画の 余韻 息詰まる色彩 の奔流[アンリ・マ ティス]	原田 マハ	朝 日	8.3
Art Report in Asia 中国・最新アーティ スト事情第15回 次 代のスターか 毛焰	梶川 強	ギャラリ ー*	338	マチスの盗難絵画 25年ぶり英で発見		日経夕刊	1.8

フィリピン近代美術におけるキュビズムと歴史画—マナンサラ作《最初の十字架がたてられる》をめぐって—[ヴィセンテ・マナンサラ]	古沢ゆりあ	デアアルテ	29	第六十四回美学会全国大会報告 発表要旨 マン・レイのレイヨグラフィ再考—20・30年代の同時代人による受容と比較を中心に	美 学	243
World News New York 「印象派とフアッション」展 最新流行は要チェック モネもドガもフアッショニスタ! [エドゥアール・マネ]	前橋 重二	芸術新潮	761	(ミ)		
World News Venezia 「マネ、ヴェネツィアへの帰還」展 オランピアかヴィーナスか? 誘惑するスードの頂上決戦	高橋 恵理	取材	763	学問の図像とかたち 146 思考の模範 雪中のユニバーサル [ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ]	松本 文夫	U P 484
エドゥアール・マネ《オランピア》を通じて考える近代絵画	岸本乃英子	bandaly	12	翻訳 《ロンダニーニのピエタ》の諸案について [ミケランジェロ・ブオナローティ]	カルロ・デ ル・プラー ヴォ 甲斐 教行 訳・註解	五浦論叢 20
海外通信@ロンドン 「マネ—生活を描く」展 情景に連なる肖像画	菅 伸子	朝日夕刊	2.27	特集 2013年 ルネサンス大解剖 三大巨匠を見る! 2 ミケランジェロの浮彫—「階段の聖母」と「ケンタウロスの戦い」—	上村 清雄	美術の窓 355
グロリア [ニコラ・デ・マリア]	奥野 克仁	KENBI LETTER	81	あいちトリエンナーレ2013 ARTIST INTERVIEW 2 アーノウト・ミック 「理解」のようなものに近づくため		美術手帖 992
エコロジーを哲学する (écosphie [エコゾフ]) としてのアーティスト [テレサ・マルゴレス]	バスカル・ボース 河本 真理 訳	芸術研究	26	WORLD NEWS ハノーファー ボリス・ミハイロフの回顧展開催 膨大な「生」の記録を一挙に展示	上田 洋子	987
失われたバリの復元 番外編 モード革命と伴走した元祖「萌え」版画のバリ [シャルル・マルタン]	鹿島 茂	芸術新潮	764	INFORMATION MEMORIAL 追悼 オットー・ミュール 芸術家か独裁者か—オットー・ミュール追悼	かないみき	991
KM×MK カレル・マルテンスとの対話	木戸 昌史 インタビュー 臼田 桃子 文	A X I S	165	作品紹介 サラ・ベルナル ビスケッ ト・ラベル: ルフェーヴル=ユティール 第8回ソコル祭 [アルフォンス・ミュシヤ]	(S. S.)	ミュシヤ・ミュー ジアム・ ニューズ* 2
換骨奪胎 ホンマタカシの映像リテラシー 3 マイブリッジとマレーと連続写真 [エティエンヌ=ジュール・マレー]	ホンマタカシ	芸術新潮	767	学芸員コラム vol.2 『装飾資料集』の構成と、植物デザインにおける影響関係 [アルフォンス・ミュシヤ]		
4 [読ん] で知るアート 巨匠の素顔 彫刻家マンズーのモデル経験 [ジャコモ・マンズー]	長谷川智恵子	朝日夕刊	4.3	美博なう 巨大な穴の中に富士山!! 国民文化祭・やまなし [エドガー・ミュラー]		朝日夕刊 9.18
WORLD NEWS ブリュッセル 歴史と現代の競演に魅了される展覧会 [ヴァレリー・マンナーツ]	かないみき	美術手帖	995			
戦後アメリカ芸術界におけるマン・レイ評価の傾向についての一考察	木水 千里	成城文芸	222			

追想録 ジミー・ミ リキタニさん(画家) 放浪の人、日系人の 悲劇表現	河内 真帆	日経夕刊	2.15		(メ)	
INFORMATION PEOPLE 見ること と聞くことを共感と して体験する ハル ーン・ミルザ イン タビュー	片岡 真美 聞き手・文	美術手帖	982		藤森 愛実 取材	芸術新潮 762
現代の眼[まなざし] VI 2 ジャン＝フ ランソワ・ミレー 《春(ダニフスとクロ エ)》	高階 秀爾	茶の湯	474			A X I S 166
新しいコレクション ジョアン・ミロ《絵 画詩(おお!あの人 やっちゃったのね)》	蔵屋 美香	現代の眼	600			アプロー チ* 202
ARTIST INTERVIEW ミン・ウォン	岡村 恵子 聞き手	美術手帖	991			
(ム)						
World New York 「ワ ンゲシ・ムトゥ：幻 想の旅」展 自らの ルーツを華やかに表 現 ワンゲシ・ムト ゥ、妖艶なるカラー ジュ	藤森 愛実 取材	芸術新潮	768		東家 友子	アジア遊 学 168
INFORMATION ご みとアート、その真 価を問うドキュメン タリー[ヴィック・ ムニーズ]	編 集 部	美術手帖	989		寺門臨太郎	筑波大学 芸術研究 報告 61
クリエイターズワー ク&ソウル ルヤン ダ・ムバルワ		A X I S	164			
ムリーリョ作《聖フ アン・デ・ディオス》 (一六七二年)の主題 選択について—フア ン・デ・ディオスと カリダード兄弟会の 「病人の搬送」—[パ ルトロメ・エステバ ン・ムリーリョ]	豊田 唯	美術史研 究	51			東大画像 史料解析 センター 通信*
作品ひとつ[エドワ ルド・ムンク]	佐藤 聖子	群馬の森 美術館ニ ユース	152			
手紙の影と、失われ た影—ムンクの《思 春期》第1バージョ ンと、それに関する 手紙—	川崎 辰洋	美学論究	28			
美の扉 フィヨルド を貫く「叫び」 ムン ク生誕150年 盛り 上がるオスロ	黒沢 綾子	産 経	6.9			
ムンク像の捉え直し 生誕150年 オスロ で回顧展 自画像や 公共装飾に着目	高野 清見	読 売	6.20			
World News New York 「ロイド・ジ フ ロバート・メイ ブルソープとパティ ・スミス 1968— 1969」展 1968年、 冬、ブルックリン伝 説のカップルの無名 時代						
クリエイターズワー ク&ソウル トーマ ス・メイヤーホッフ アー						A X I S 166
特集 子どもと建築 —子どもを豊かに育 てるための建築の役 割—子どものための 建築学校 インタビ ュー ビヒラ・メス カネン						
近代中国美術の胎動 2 新興芸術の動向 魯迅とドイツ版画— メッフエルト、コル ヴィッツの作品紹介 をめぐって[カール ・メッフエルト]						
キリスト受難図に仮 託された現世的望蜀 ハンス・メムリンク 《受難図》と注文主ト ンマーズ・ボルティ ナーリ						
(モ)						
史料紹介と研究[ミ ヒヤエル・モーザー]						東大画像 史料解析 センター 通信*
M・モーザー記録 写真検討報告書					鉄道友の会 M・モーザ ー記録写真 検討特定プ ロジェクト	60
明治初年の横浜居 留地写真を読む— オーストリア所在 古写真コレクショ ン調査報告					保谷 徹	62
モーザー(Moser) コレクション写真 について(一)一月 光写真と内田九一 写真ネガ					谷 昭佳	〃
明治初年の回向院 境内写真を読む— オーストリア所在 古写真コレクショ ン調査報告 2—					保谷 徹	63

開業直前の横浜駅かオーストリア写真家の原画「幻の車両」も確認[ミヒャエル・モーザー]	早川 保夫	読 売	4.3	モホイ=ナジ 一理想社会像としての映画『大都会のジブシー』	飯田 直人	東京都写真美術館 紀要	12
美の美 銀幕の画家上 モディリアーニ死の影が迫る日々の果て 筆致から漂う不安と悲哀[アメデオ・モディリアーニ]	田村 広済	日 経	4.28	World Bruxelles ぼくはモランディの生徒! リュック・タイマンズより愛をこめて[ジョルジョ・モランディ]	かないみき	芸術新潮	766
特集 ニッポンを語る 赤信号でじっと待つ。それはとても大切なことなのです。クレイグ・モド(ライター、デザイナー、出版人)	瀧口 範子	A X I S	161	WORLD NEWS ブリュッセル 歴史と現代の競演に魅了される展覧会[ジョルジョ・モランディ]	〃	美術手帖	995
特集 メキシコを愛した写真家—ティナ・モドッティ	(hina)	アートペーパー	94	第18回日経アジア賞 豊かな世界拓く 文化部門 ヴァン・モリヴァン氏 アンコールの美 現代に日本建築にも造詣	伊藤 学	日 経	5.4
ARTIST INTERVIEW マシュー・モナハン	ダリル・ウィー 聞き手 近藤 亮介	美術手帖	977	ウィリアム・モリス—芸術と政治(4)	勝俣 好充	純心人文研究	19
遺稿 丸谷オー「クリムト論」(未完)[クロード・モネ]	丸谷 オー	芸術新潮	760	入門講座 モダンデザインの系譜 1 「もの」から生活変革 芸術と使い勝手一体化[ウィリアム・モリス]	柏木 博	日経夕刊	5.2
World News New York 「印象派とファッション」展 最新流行は要チェック モネもドガもファッションニスタ!	前橋 重二	〃	761	World News New York 「印象派とファッション」展 最新流行は要チェック モネもドガもファッションニスタ! [ペルト・モリゾ]	前橋 重二	芸術新潮	761
モネの《サン=ラザール駅》作品群	六人部昭典	実践女子大学美術史学	27	美の美 オペラ作曲家と絵画—ワーグナーとヴェルディ 下 孤高と支配、親交と支援 2枚の肖像個性捉える[ドメニコ・モレッリ]	小松 潔	日 経	3.10
平松礼二 ジャポニスムの探求、巨匠モネへのオマージュ	小山ブリジット	美 術*	456	ギュスターヴ・モローにおける古典版画の受容について—未公開の版画コレクションおよび直筆ノートを中心に—	田中 麻野	鹿島美術財団年報・別冊	30
眼と脳がアートを創造[つく]る 第十七、十八回[クロード・モネ]	深作 秀春	美術の窓	356,357	ルオーの陰にモローあり 世紀末フランス、熱き師弟の物語		芸術新潮	765
美の美 「失われた時を求めて」の世界 4 日常に潜む感情のドラマ 世界鮮やかに塗り替える[クロード・モネ]	干場 達矢	日 経	4.7	Bonjour! Georges 第二十話 モローの想い出	(増子)	Shiodome Museum Revue	22
WORLD NEWS デリー 孤高のアーティスト、デリーにのみがえる ナスリーン・モハマディ回顧展	黒岩 朋子	美術手帖	991	特集 マチエールの基本と応用 ⑧技法講座 vol.30 巨匠に見るマチエール1 モローとルオーが求めた「神話的主题」	マリイ=セシル・フォレスト 談	美術の窓	362
研究ノート モホイ=ナジ、ラースローと戦前の日本[モホイ=ナジ、ラースロー]	森下 明彦	京都国立近代美術館研究論集	5				

美の履歴書 323 二人がいつしよの理由「バルクと死の天使」ギュスターヴ・モロー	大西 若人 朝日夕刊	9.25	ムーミン生んだ感受性 作者・ヤンソンと交流、大人向け著作を翻訳	富原 真弓 日 経	8.30
モローとルオー 聖なるものの継承と変容 上、下	堀江 敏幸 東京夕刊	9.25、27		(ユ)	
美の美 「失われた時を求めて」の世界 3 隠喩・幻視が織りなす神秘 絵を描くように言葉紡ぐ [ギュスターヴ・モロー]	干場 達矢 日 経	3.31	SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ピエンナーレ PART II 国別展示 世界88か国を代表する作家が一同に! ARTIST PICK UP No.4 イェスパー・ユスト 感情の機微や矛盾を視覚言語に翻訳	北澤ひろみ 美術手帖	989
コンテンポラリー・ファインアート 第9回 ティノ・セーガルと1960年代回帰 [ジョナサン・モンク]	大森 俊克 美術手帖	982	小倉正史の現代美術講座 その6 [ユック・クンピョン]	小倉 正史 ギャラリー	341
4 [読ん]で知るアート 画家の視点 記号化されたマンハッタン [ピート・モンドリアン]	原田 マハ 朝日夕刊	10.16		(ヨ)	
色彩探訪 印象派を超えて 4 モンドリアン「突堤の見えるドムブルフの浜辺」本質に迫る旅の始まり	石川 保典 東京夕刊	10.11	作家自選作品集4 姚小全 《団欒》	姚 小全 水墨画*	292
印象派を超えて 点描の画家たち			特集 演劇空間に見る発想の自由 「空間には明確なロジックがある」ヌーメン/フォーユース スヴェン・ヨンケ インタビュー	小町 英恵 インタビュー・文	A X I S 162
3 ピート・モンドリアン コンポジション No. II 身を潔められる美しさ	志村ふくみ	10.31		(ラ)	
5 ピート・モンドリアン 赤と黄と青のあるコンポジション 自分なりに観察して	日比野克彦	11.2	特集 演劇空間に見る発想の自由 ラウムラポーアベルリン 劇場から都市にはみ出し、実験を繰り返す	小町 英恵	" "
	(ヤ)		海外アート info-maniac 1 London, Salford 工業都市、労働階級、ミニスカ少女…英国民が大好きなラウリーを知っていますか? [ローレンス・スティーヴン・ラウリー]	前橋 重二 芸術新潮	765
20世紀後半の暁斎の出現一昇華するコピーとしてのホルスト・ヤンセンのジャポニスムー	小林 優 ジャポニスム研究	33	海外通信 @ロンドン 「ラウリーと現代生活画」展 工場描き20世紀英国を代表	菅 伸子 朝日夕刊	9.25
となりのアートさん vol.7 ムーミンとロールと仲間たち [トールヴェ・ヤンソン]	ヤマザキ ユツミ 美術屋・百兵衛	27	WORLD NEWS ハンブルグ 「私は、身体感覚を描く」マリア・ラスニック 展	河合 純枝 美術手帖	995
音楽写真の夢 13 トールヴェ・ヤンソンとの出会い ムーミンの家へ	木之下 晃 東京夕刊	4.24	インスピレーション アート ラッセンとは何だったのか? [クリスチャン・ラッセン]	暮沢 剛巳 A X I S	165



ジョルジュ・ド・ラ ・トゥール作《マ グダラのマリア》に おけるオイルラン プの象徴的意味	秋元 優季	美術史	175	PART 3 ラファ エロはどう受け継 がれてきたか？ 時代とともに生き るラファエロ 没 後500年の道のり	栗田 秀法		
連載 フレスコ八景 第七景[ラファエロ ・サンツィオ]	宮下 孝晴	フレスコ 壁画研究 センター ニュース*	7	特集 2013年 ルネ サンス大解剖 三大 巨匠を見る！ 3 ラファエロとルネサ ンスの人たち	池上 英洋	美術の窓	355
小特集 日本初のラ ファエロ展で見る 優美の画家の先取性	石鍋 真澄	芸術新潮	759	美の美 オペラ作曲 家と絵画—ワーグナ ーとヴェルディ—上 巨匠2人の想像力を 刺激 傲慢さ・謙虚 さ 対極の視線[ラ ファエロ・サンツィ オ]	小松 潔	日 経	3.3
修了生論文 聖家族 と子羊をめぐって— ブラド美術館蔵のラ ファエロ作品—	三浦 香里	美史研ジ ャーナル	9	欧人異聞 鷹揚なラ ファエロ、複製にも 寛容	榊山 紘一	〃	3.10
SPECIAL FEATURE ラファエロ		美術手帖	984	植田正治とジャック ・アンリ・ラルティ ーグ—写真であそぶ —	鈴木 佳子、 金子 隆一、 富田 秋子	E Y E S	79
PART 1 WORK 6つのキーワード から作品の見ど ころを徹底分析	越川 倫明 監修 深田麻里亜 文			World London 「マ イケル・ランディ ィ：動く聖人たち」展 “破壊”がテーマのマ イケル・ランディ ィ聖人を相手に大暴れ ！	内田 さり	芸術新潮	767
現代のアーティスト が迫る！本当の ラファエロ	諏訪 敦、 渡辺 晋輔 対談 藤原えりみ 構成			WORLD NEWS ロ ンドン YBA ランデ ィの聖人スカルプ チャーから巨匠ロー トの遺作ダイアリー まで[マイケル・ラン ディ]	伊東 豊子	美術手帖	989
ラファエロの人生 物語 対談 諏訪 敦×渡辺晋輔	中島 水緒 文・構成			(リ)			
「ラファエロの聖 母子」が生まれる まで キリスト教 美術における図像 形成	水野 千依			SPECIAL FEATURE 横尾忠則 INTER- VIEW 李禹煥	白坂 ゆり 聞き手	〃	995
PART 2 ラファ エロが生きた時代 ルネサンスを知る 活躍の舞台となっ た都市フィレンツ ェ、ローマ探訪	深田麻里亜			前号特集補遺 清国 人洋画に志す—李叔 同の日本留学とその 意義	李 超	美術フォー ラム21	27
修復により明かさ れた新たなラファ エロ像 ヴァチカ ン美術館修復プロ ジェクト責任者 アルノルト・ネッ セルト教授に聞 く	深田麻里亜 聞き手・文			お手本画&秀作集 其ノ二十一 李準美 《異色の間》	李 準美	水墨画*	288
ローマ芸術最大の パトロン 教皇と 芸術家 ヴァチカ ンに描かれた大作 を読み解く	越川 倫明 監修 深田麻里亜 文			現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 ジェーン・リーにイ ンタビュー 絵で遊 ぶ、シンガポール人 アーティスト	ジェーン・ リー 談	美術の窓	363
PART 3 ラファ エロはどう受け継 がれてきたか？ 墓所に込められた 古代への思い ラ ファエロの遺言	加藤磨珠枝			特集 表現する女性 たち PART 1 ル ーシー・リーとい う生き方		〃	361

入門講座 近代陶芸家くらべ 4 パーナード・リーチ×ルーシー・リー 東西の伝統から個性創造	金子 賢治	日経夕刊	9.26	近代中国美術の胎動 3 国際化と交流の流れ コラム 競い合う徐悲鴻と劉海粟 一共和国に並び立たぬ? 「両雄」	瀧本 弘之	アジア遊学	168
collection[パーナード・リーチ]		アサヒピールメセナ	35	近代中国美術の胎動 2 新興藝術の動向 前衛絵画の「代理戦争」一日中戦争におけるモダニズム絵画とプロパガンダ[梁錫鴻]	呉 孟晋	"	"
入門講座 近代陶芸家くらべ 4 パーナード・リーチ×ルーシー・リー 東西の伝統から個性創造	"	日経夕刊	9.26	近代中国美術の胎動 3 国際化と交流の流れ 斎藤佳三と林風眠一知られざる東美校教授と国際藝術院院長の交友	吉田千鶴子	"	"
キャロライン・リーフ×山村浩二 描くこと、動くこと		映像メディア学*	3				
十八世紀フランス宮廷とJ=E・リオターの肖像画のイメージ—身体的特徴の表現の特殊性と宮廷人の評価[ジャン=エティエンヌ・リオター]	宮崎 匠	美術史	174	(ル)			
PARIS 発 パリのリキテンシュタイン[ロイ・リキテンスタイン]	安部 雅延	新美術新聞	1322	INFORMATION PROJECT 空間の記憶を残すプロジェクト 宮城県松島を舞台にしたジョルジュ・ルースの新作	岡部あおみ	美術手帖	987
教員随想 エル・リツキー、抽象美術、展示空間—非ホワイト・キューブの展示デザインの試みをめぐって—	田中 正之	美史研ジャーナル	9	被災カフェ 仏美術家がアートにありのままの松島 楽しむ廃墟の記憶[ジョルジュ・ルース]	三沢 典丈	東京夕刊	4.18
海外通信@パリ 「建築家リチオッティ」展 地中海世界誇る卓越の技[ルディ・リチオッティ]	飯田 真実	朝日夕刊	8.28	仏芸術家、松島で滞在制作 被災建物から記憶を形に[ジョルジュ・ルース]	窪田 直子	日経夕刊	5.7
街角アート 百聞は一見に如かず[ジョージ・リッキー]	星野 清一	新美術新聞	1324	ルーベンスを語る[ピーテル・パウル・ルーベンス]		毎日夕刊	
クリエイターズワーク&ソウル トーマス・リッケ		A X I S	164	「過剰」が表す生命感 カリスマが生む奇跡	里中満智子		4.5
展覧会評 「15世紀フィレンツェにおけるフィリッピーノ・リッピとサンドロ・ボッティチェッリ」展	荒木 文果	西洋美術研究	17	作品ひとつ[ジョルジュ・ルオー]	熊谷ゆう子	群馬の森美術館ニュース	151
SPECIAL REVIEW ゲルハルト・リヒター Strip—アブストラクト・ペインティングの現在	清水 穰	美術手帖	980	ルオーの陰にモローあり 世紀末フランス、熱き師弟の物語		芸術新潮	765
ART+ 虚実の境界へ[ゲルハルト・リヒター]	(井)	読売夕刊	1.7	Bonjour! Georges 第十九、二十話[ジョルジュ・ルオー]	(増子)	Shiodome Museum Revue	21、22
学問の図像と私たち 152 思考の模型 空洞の記憶[ダニエル・リベスキンド]	松本 文夫	U P	490	論考 福島繁太郎一家とジョルジュ・ルオー	宮内真理子	パナソニック汐留ミュージアム年報	201-2012
				特集 マチエールの基本と応用 ⑩技法講座 vol.30 巨匠に見るマチエール1 モローとルオーが求めた「神話の主題」	マリー=セシル・フォレスト 談	美術の窓	362

モローとルオー 聖なるものの継承と変容 中 ジョルジュ・ルオー「聖顔」キリストに穏やかさ	鹿島田真希	東京夕刊	9.26	学問の図像とかたち 156 思考の模型 幻想の形象[クロード・ニコラ・ルドゥー]	松本 文夫	U P	494
平成二十四年度東支部例会 アルフォン・ス・ルグロとオーギュスト・ロダン—イギリスでのロダン作品のプロモーションとC. アイオニディ・コレクションの形成をめぐる	安藤 智子	美術史	174	ルドンのオフィーリア作品[オディロン・ルドン]	六人部昭典	実践女子大学文学部紀要	55
平成二十四年度東支部例会 ロダンがルグロに負うもの—一八八〇年代前半におけるロダンの評価状況をめぐって	島本 英明	"	"	オディロン・ルドン 作版画集《聖アントワヌの誘惑》—類似性と隣接性の一分析	中村 泰士	美 学	242
リウシアン・エルヴェの建築写真[ル・コルビュジエ]	土屋 直子	芸術学研究(京都造形)	4	世界の話題 フランス 庶民が楽しむ豪華な庭園[アンドレ・ル・ノートル]	浅野 素女	日経夕刊	7.9
ル・コルビュジエ全作品集における写真とキャプションの構成 情報化された建築空間の構成に関する研究	岡河 貢真 足立 一成 坂本 一成	日本建築学会 計画系論文	687	ルノワールの新作映画とゴッホの晩年を描いた幻の映画、相次ぎ公開『ルノワール〜陽だまりの裸婦』[ビエール=オーギュスト・ルノワール]	渡辺 正美	美術*	457
ル・コルビュジエの「屋上庭園」における野性性	千代章一郎	"	692	INFORMATION 美しい色彩で描かれる、ルノワールと最後のミュージズ	賀川 恭子	美術手帖	993
視線 丘の上の修道院 ル・コルビュジエ 最後の風景	保坂健二郎	朝 日	7.14	寄り道シネマ 父と子、二人のルノワールを魅了した一人の女性『ルノワール陽だまりの裸婦』		美術の窓	362
クリップボード 温かいブラックユーモアに包まれ ルコント監督、初アニメ「スーサイド・ショップ」[パトリス・ルコント]	市川 雄二	産 経	9.13	美の美 「失われた時を求めて」の世界 4 日常に潜む感情のドラマ 世界鮮やかに塗り替える[ビエール=オーギュスト・ルノワール]	干場 達矢	日 経	4.7
初のアニメ 前向きな作品に[パトリス・ルコント]		読売夕刊	"	シネマ望遠鏡 ルノワール/陽だまりの裸婦 画家の人生の影 丹念に	中条 省平	日経夕刊	10.4
その人の名は… アンリ・ルソー《女の肖像》について	遠藤 望	世田谷美術館紀要	14	総特集 世界マンガ大系 BD、グラフィックノベル、Manga…時空を結ぶ線の冒険 “Manga”を超えて フィクションとアクション—現実と日常を綴るために	エマニエル・ルバー ジュ、 バスティア ン・ヴィヴ ェス、 大友 克洋 原 正人 司会	ユリイカ	624
プーシキン 名画の余韻 友よ! やつと会えた[アンリ・ルソー]	原田 マハ	朝 日	8.2	失われたパリの復元 番外編 モード革命と伴走した元祖「萌え」版画のバリ[ジョルジュ・ルパップ]	鹿島 茂	芸術新潮	764
4 [読ん]で知るアート 画家の視点 モダニズムの予兆[アンリ・ルソー]	"	朝日夕刊	10.2				
カジュアル美術館 サン=ニコラ河岸から見たシテ島 アンリ・ルソー 世田谷美術館 意図せず先進表現 日曜画家が放つ強烈な個性	三沢 典丈	東 京	10.20				

特集《植物を描く／植物で描く》—ド イツ語圏の美術でた どる植物表現の可能 性— 観察・象徴・ 装飾—フィリップ・ オットー・ルンゲの 植物／風景	大原まゆみ	言語文化	30	塗料の下にダビンチ ミラノの古城 天井 画の部屋、壁にも	岸 桂子	毎日夕刊	5.27	日経夕刊	11.18
グリム兄弟とルンゲ —〈自然詩の風景〉の 視覚的イメージ—	村山 功光	人文論究	63-1	レオナルド・ダ・ヴ ィンチ 天才の肖像 唯一の男性肖像画				〃	11.18
(レ)				白壁の下にダビンチ イタリア・ミラノの 古城 天井から続く 絵 18世紀、塗り潰 す					
WORLD NEWS ロ ンドン 美術館、工 房からサナトリウム まで 館内に登場し た施設としてのアー ト[ペドロ・レイエ ス]	伊東 豊子	美術手帖	991	美の履歴書 312 どんな世界の生き物 か「メデタシ」レ オ・レオニ	大西 若人	朝日夕刊	7.10		
from the World ダ ン&レイビーによる 「デザインフィクシ ョン」[フィオナ・レ イビー]	中島 恭子	A X I S	164	「レジェとバレエ」再 考—「今日ほどス ベクトルに熱狂する 時代はない」フェ ルナン・レジェー	村田 宏	跡見学園 女子大学 文学部紀 要	48		
顔 京都の寺社など を舞台に国際写真フ ェスティバルを企画 した ルシール・レ イボーズさん	坂成 美保	読 売	3.25	原爆ドーム設計 チ ェコの建築家 母国 に鳥居型墓石 100 年前に製作 美術史 家が発見[ヤン・レ ツル]	富本 隆彦	東京夕刊	8.1		
1980年代複製技術の 進展と写真の差異— シェリー・レヴィー ンのシミュレーショ ン画像—	鉢呂 光恵	藤女子大 学人間生 活学部紀 要	50	ハンガリー工芸美術 館(レヒネル・エデ ン設計)の建築デザ イン研究—イギリス 芸術との関連を巡っ て—	足立 純子	鹿島美術 財団年報 ・別冊	30		
論文要旨《博士》 「ロザリオの聖母」研 究[グイド・レーニ]	宇埜 直子	美術史論 集	13	ハンガリー工芸博物 館のデザインとダニ エルの版画—十九世 紀末の建築における ハンガリー性の表現 について—[レヒネ ル・エデン]	〃	美術史研 究	51		
レオナルドの晩年の 宇宙論 アルベルト ウス・デ・サクソニ アの『天上界と地上 界について』との関 係[レオナルド・ダ ・ヴィンチ]	齋藤 泰弘	イタリア 学会誌	63	美の美 オペラ作曲 家と絵画—ワーグナ ーとヴェルディ 下 孤高と支配、親交と 支援 2枚の肖像個 性捉える[フランツ ・フォン・レンバッ ハ]	小松 潔	日 経	3.10		
眼と脳がアートを創 造[つく]る 第十四 回 人間は形態をい かに見るか。レオナ ルド・ダ・ヴィンチ の場合	深作 秀春	美術の窓	353	レンブラント作《パ テシバ》の画像源泉 とモデル[レンブラ ント・ハルメンス・ ファン・レイン]	国清 景子	美学論究	28		
特集 2013年 ルネ サンス大解剖 三大 巨匠を見る！ 1 レオナルド・ダ・ヴ ィンチの『アトラ ンティコ手稿』	越川 倫明	〃	355	レンブラントのメデ ィウム—模写による レンブラントの技法 研究	小尾 修	武蔵野美 術大学研 究紀要	43		
4 [読ん]で知るアー ト モナ・リザの正 体[レオナルド・ダ ・ヴィンチ]	西岡 文彦	朝日夕刊	5.15、22、 29、6.5						
ダビンチの音色 資 料基に製作 世田谷 で展示	小形 佳奈	東京夕刊	12.18					(ロ)	
				注目のアート、紹介 します 呂唯嘉 We Are Family		瓜生通信	59		

いまだ揚がらない星条旗—ジョー・ローゼンタール《硫黄島の星条旗》—	林田 新	文化学年報	62	ロックウェルが描いた非商業主義的な商業空間：『サタデー・イブニング・ポスト』誌表紙の検討[ノーマン・ロックウェル]	牧野 圭子	成城文芸	224
WORLD NEWS ニューヨーク 故ディーター・ロートの迫力の展示から次代を担う若手・中堅作家たちまで	藤森 愛実	美術手帖	982	ロックウェルの展覧会		日 経	8.8
主な新収蔵資料の紹介 ロートレック「手綱を持つ騎手」1点[アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック]		馬事文化財団年報	34	ロッセリア工房による施釉テラコッタ彫刻の制作技法研究—粘土の性質と焼成を中心に—[ルカ・デッラ・ロッセリア]	松本 隆子 松本 悠子	武蔵野美術大学研究紀要	43
特集 ポスターの視覚文化論 15 ロートレックとポスター	富田 章	美術フォーラム21	27	ユベール・ロベールとナポリ近郊ポッツオーリのセラールピス神殿	小針由紀隆	静岡県立美術館紀要	28
美の美 銀幕の画家中 ロートレック 女性への憧れと諦め 葛藤 複雑な内面鮮烈な色彩に	田村 広済	日 経	5.5	研究調査報告 『ヨーロッパ近代生活絵引』編纂共同研究 フランス都市風景の歴史の変遷を探る[ユベール・ロベール]	熊谷 謙介	非文字資料研究	30
PARIS 発 マリー・ローランサン生誕130周年	阿部 雅延	新美術新聞	1311	特別インタビュー 2 アントニオ・ロペス 「真実があるものは、すべてリアリズム」	諏訪 敦	芸術新潮	764
特集 表現する女性たち PART 1 マリー・ローランサン 夢見るような女性像		美術の窓	361	特集 時を描くリアリズム アントニオ・ロペスの世界		美術の窓	356
「いちばんの幸せは痛みがないこと」—アヘンと19世紀イギリスの詩人たち(ジョン・キーツ、ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ、フランシス・トムソン)—	富樫 剛	フェリス女学院大学文学部紀要	48	グラビアとキーワードで迎えるロペス			
研究ノート ロダンとコラン ロダン美術館の文書が物語る 芸術家の交友[オーギュスト・ロダン]	三谷 理華	アマリリス	109	画家が見たロペス 1 ロペスの講習を受けて リアリテイあふれる絵画	水野 暁 談		
平成二十四年度東支部例会		美術史	174	アントニオ・ロペスをもっとよく知る Q&A	森園 敦 解説		
アルフォンス・ルグロとオーギュスト・ロダン—イギリスでのロダン作品のプロモーションとC. アイオニディス・コレクションの形成をめぐる	安藤 智子			ロペスの本質とは何か 世界の成り立ちが静かに語られ、そこに別の現実が「在る」。	諏訪 敦 談		
ロダンがルグロに負うもの—一八八〇年代前半におけるロダンの評価状況をめぐって	島本 英明			画家が見たロペス 2 ロペスの講習を受けて 自分の道をゆく	原 崇浩 談		
ロダンの彫刻など上野で「手の痕跡」展	岸 桂子	毎日夕刊	1.16	ビクトル・エリセによるアントニオ・ロペス—『マルメロの陽光』(1992)での画家と映画作家の出逢い—	藤井 仁子		
				マドリードからの便り 刻の重なりが見える街	渡辺 香奈		

平成25年定期刊行物所載文献(近／外口)

- 遺稿 丸谷オー「ク  
リムト論」(未完)[ク  
ロード・ロラン] 丸谷 オー 芸術新潮 760
- 美の履歴書 313  
何が起きているの  
か「アポロとマル  
シユアスのいる風景」  
クロード・ロラン 西岡 一正 朝日夕刊 7.17
- カジュアル美術館  
踊るサテュロスとニク  
ソフのいる風景 国  
立西洋美術館 風景  
画が確立する礎 写  
実と理想が交錯する  
古代世界 森本 智之 東 京 11.17

その他							
美術関係者							
日本							
				青山二郎が最期まで手元に置いていたそば猪口 企画展&入札会決定!			
				essay 因縁の二人	白洲 信哉		
	(ア行)			遺愛の品をたずねて 青山二郎編 青山と、柳と猪口	尾久 彰三		
「藝に遊ぶ」 會津八一と宮城道雄の琴癖上、下	坂田 進一	書道界	286、287	京がたり日本再発見「よう帰ってきはった」と声かけられ 彬子さまの生活ほっとできる場所見つけた[彬子女王]	田村 彰子 聞き手	毎日夕刊	7.31
會津八一の書の意義	角田 勝久	奈良美術研究	14				
會津八一の初期の書と良寛	〃	早大會津八一記念博紀要*	14				
會津八一の石仏調査旅行一市島春城の書簡より一	大島 幸代	〃	〃	《採録》足利市立美術館「画廊の系譜—浅川コレクションと1960-80年代日本の美術」展 併催：浅川邦夫講演会(前、後篇) 画廊がらみでつきあっているうちに、こんなに集まった	篠原 誠司 聞き手	あいだ	208、209
読書人の部屋 国立新美術館長 青木保氏 書き手の体験や感覚を知る	中野 稔 聞き手	日 経	9.1	高麗美術館研究講座・抄録		高麗美術館館報	94
パラダイムシフト—2100年への思考実験 第2部 脱「成長」への道10 世界をタフに生き抜くために	青木 保	毎日夕刊	12.2	浅川巧と柳宗悦—その出会いと活動	杉山 享司		
新美術時評=美術と教育4=形を言葉に、言葉を形に	青柳 正規	新美術新聞	1311	浅川巧が愛した朝鮮の美—『朝鮮の膳』朝鮮陶磁名考』	李 須恵		
《文化庁の存在、果たす役割は大きい》 青柳正規第21代文化庁長官に聞く	〃	〃	1321	この人 日中韓に浅川巧の精神伝承 隣国と親善する大切さ知ってほしい	五味 洋治	東京	7.24
私の陶芸趣味	〃	陶 説	729	「浅川兄弟の生涯」補遺—芸術家・浅川伯教と教育・文学・キリスト教—	春原 史寛	山梨県立美術館研究紀要	26・27
ひと 文化庁長官に今月就任した古代ギリシャ・ローマの研究者 青柳正規さん	藤井 裕介	朝 日	7.30	この人 一乗谷朝倉氏遺跡を生かした地域振興探る 朝倉由希さん 国の三重指定受ける「戦国大名の夢の跡」	西尾 述志	東京	8.7
文化庁長官、役所に挑む 文化庁トップに外部起用の青柳氏	〃	〃	9.17				
フォーカス 組織・国を超えた発信めざし文化庁長官に 青柳正規氏 等身大の文化 見直す機会を		日経夕刊	8.12	MEMORIAL 追悼：東谷隆司	榎木 野衣 晶中 実誠 会田 美沙 幸川 冬樹 パク・マヌ 新川 貴詩	美術手帖	977
ひと 民間5人目の文化庁長官 青柳正規さん	岸 桂子	毎 日	8.8				
顔 国立西洋美術館から文化庁長官に就任した 青柳正規さん	辻本 芳孝	読 売	7.9	高麗美術館研究講座・抄録		高麗美術館館報	
特集 小林秀雄と青山二郎の眼		目 の 眼	444	有光教一先生と高麗美術館・鄭詔文氏、朝鮮への想い	上田 正昭		95
§ 前文 §				朝鮮古蹟研究会と有光教一先生	藤井 和夫		96

平成25年定期刊行物所載文献(他/美関ア行)

半歩遅れの読書術 記憶と音楽の力 人 々の思いを伝える遺 産	五十嵐太郎	日 経	3.17	高貴な「紫」再現に情 熱 古典文学に登場 する色の染方を研究 し30年	大河内 衍	日 経	8.16
「トリックス・アンド ド・ヴィジョン展」 研究追補および石子 順造関連文献目録補 遺	成相 肇	府中市美 術館研究 紀要	17	交遊抄 心身タフで あれ	逢坂恵理子	"	2.23
聞きたい。石鍋真 澄さん フィレンツ ェの世紀 パトロン 抜きに語れない傑作 誕生	渋谷 和彦	産 経	6.9	時に抗いし者たちー 私の小菩薩峠(12) [大杉栄]	大谷 芳久	一 寸	56
追悼 一志開平先生 礫山の根源にあるも のを求めた生涯	山田 芳弘	礫山美術 館報	33	きょうの人 太田佳 代子さん ベネチア 建築展 日本館コミ ッションナーに 戦争、 震災…「何度も立ち 上がった姿を発信す る」	渋谷 和彦	産 経	8.14
技法の現場から24 修復家から見た現代 作家への提言5 イン タビュー 絵のお 医者さん 岩井希久 子の提言	吉武 研司 聞き手	連盟ニュ ース	448	「現代建築の倉」の監 修者に太田さん ベ ネチア・ピエンナー レ	永田 晶子	毎日夕刊	6.27
書く人『モネ、ゴ ッホ、ピカソも治療 した絵のお医者さん』 絵画修復家 岩井希久子さん 絵 は生きている	森本 智之	東 京	7.14	きょうの人 太田菜 穂子さん パリで 「魯山人」展企画 「日本の食の背後に ある美意識伝えた い」	黒沢 綾子	産 経	8.18
上山春平先生を偲ぶ	赤尾 栄慶	学 叢	35	文化往来 大塚英志 氏、マンガの教科書 作りに意欲		日 経	11.2
古美術商の息子が 見たコレクター浦上敏 朗		芸術新潮	763	こころの玉手箱 法 隆寺管長 大野玄妙 1～5	大野 玄妙	日経夕刊	6.3～7
座談会・浦上コレク ションを語る	浦上 敏朗、 伊藤郁太郎、 浦上 満 森司会 孝一	陶 説	723	こころの玉手箱 ベ ネッセホールディン グス会長 福武總一 郎 2 倉敷出身の 実業家・大原孫三郎 人・地域 企業が育 てる	福武總一郎	"	4.23
特集 はなてば て にみり 人の儂さ を知っているからこ そ執着を生きる	浦上 敏朗、 白洲 信哉	目 の 眼	442	岡倉天心とイタリア 『東洋の理想』と1930 年ローマ日本美術展	石井 元章	イタリア 学会誌	63
特集 はなてば て にみり 寄稿 浦 上コレクションを語 る		" "	" "	『東洋の理想』におけ る岡倉覚三のアジア 論の構造	鈴村 裕輔	国際日本 学	10
01 浦上さんのこ と	伊藤郁太郎			ときの人47 復興支 援映画『天心』監督 松村克弥さん 岡倉 天心の歩み、震災か らの復興重ね		新美術新 聞	1306
02 コレクション と家族	小林 忠			岡倉天心 近代美術 の師 未来の美術を つくった男	古田 亮	太陽(別冊)	209
03 美を介したご 縁	蓑 豊			岡倉天心 近代美術 の師 世界の OKA- KURA Okakura in the global context	稲賀 繁美	" "	" "
古美術商の息子が 見たコレクター浦上敏 朗[浦上満]		芸術新潮	763	§ 前文 § 日本再発見 中国踏査旅行			
こころの玉手箱 評 論家 海野弘 1～5	海野 弘	日経夕刊	11.25～ 29				
門倉武夫、江本義理 と保存科学の歩み	権上かおる	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	5				



ベンガル知識人たちの交流			『国宝帖』を読む 国際人岡倉の視点 を反映	浅井 和春 土屋 貴裕			
ミッション・イン ・ボストン			漢詩人としての側 面	中村 愿			
岡倉天心 近代美術 の師 世界のOKA- KURA		〃	〃				
幻のオペラ『白狐』				清水恵美子			
日本に滞在したア メリカ人との交流	村井 則子		儒仏道と美	佐藤 道信			
早崎稔吉 中国古 美術の紹介者	大西 純子		天心のメディア戦 略	稲賀 繁美			
ボストン美術館の 中国美術—岡倉の 中国への眼差し	板倉 聖哲		第二次世界大戦下 の岡倉	〃			
岡倉を支援したボ ストンの人々	村井 則子		二人の女性、貞と 初子	中村 愿			
美術館経営とエキ スパートたち	清水恵美子		岡倉天心は、なぜ茶 の湯を道教にたとえ たのか	岩田 澄子	茶の湯文 化学	20	
岡倉の書と絵	古田 亮		特集 日本美術史は いかにしてつくられ たか 「日本美術史」 研究の源流—岡倉覚 三	清水恵美子	美術フォ ーラム21	28	
英文著作にみる OKAKURA	稲賀 繁美		岡倉覚三と本郷界限 —橋本雅邦邸を中心 に—	岡倉 登志	本 郷	106	
同時代の美術研究 者たち	村井 則子		文化の扉 はじめて の岡倉天心 近代日 本画のプロデューサー	高橋 昌宏	朝 日	10.21	
岡倉天心 近代美術 の師 美の理想を受 け継ぐ作家たち		〃	〃				
近代美術のプロデ ュース	古田 亮		国語逍遥 英語教育 国語力あってこそ 国際人[岡倉天心]	清湖口 敏	産 経	7.31	
日本画の誕生	〃		世界と日本 大図解 シリーズ No. 1121 日本近代美術のプロ デューサー 岡倉天 心 ハイブリッドな 近代美術の父	小泉 晋弥	東 京	11.17	
明治洋画界と岡倉	高階絵里加		大波小波 天心では なく、覚三	(哲)	東京夕刊	6.5	
工芸と彫刻の近代 化	古田 亮		岡倉天心の多面性 に光 没後100年、研 究活発に 東洋の文 化 世界へ発信	宮川 匡司	日 経	10.12	
理想の後継者たち	〃		顔 岡倉天心の生涯 を描いた映画監督 松村克弥さん	富田 智晃	読 売	2.5	
岡倉天心 近代美術 の師 覚三が天心に なるまで		〃	うらかた有情 絵 華やかに仕立てる [岡村秀雄]	三沢 典丈	東 京	2.11	
幼少期～青年期	吉田千鶴子		東洋陶磁学会第三十九 回大会基調講演 師奥田誠一先生を語 る	林屋 晴三	東洋陶磁	42	
官僚時代	〃						
東京美術学校時代	〃						
蒐集した古美術品	古田 亮						
作家たちの卒業制 作品	〃						
根岸党の仲間たち	出口 智之						
日本美術院の開設	小泉 晋弥						
五浦時代	〃						
海外勤務時代	〃						
晩年	〃						
死、その後……	〃						
岡倉天心 近代美術 の師		〃					

		(カ行)								
						新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第73回 栃木県立美 術館学芸課長 小勝 禮子	齊藤 博美	ギャラリー	335	
この人 国重要文化 財の小学校 建物保 存事業を支えた 梶 本教仁さん 子ども を一番大切に考えた 設計だと感じる	川嶋 大介	東 京	7.27			「小島水菟集泰西 創作版画展覧会」再 現	沼田 英子 片多 祐子 太田 雅子	横浜美術 館研究紀 要	14	
交遊抄 バカヤロー 事件	柏木 博	日 経	10.5			資料紹介 五島古経 楼の茶の湯[五島慶 太]	佐藤 留実	五島美術 館研究紀 要	1	
東京国立文化財研究 所の門倉さん[門倉 武夫]	三浦 定俊		5	屋外彫刻 調査保存 研究会 報		VIEW(茶道) 小林 逸翁と湯木貞一	谷端 昭夫	阪急文化	4	
門倉武夫、江本義理 と保存科学の歩み	権上かおる		"	"		VIEW(阪急電車)		"	"	
門倉武夫と屋外彫刻 調査保存研究会の保 存活動の歩み	黒川 弘毅		"	"		小林一三が開いた 阪急文化～小林一 三を「考えるヒン ト」～	塩田 昌弘			
兼田啓一先生のご逝 去を悼みて	滋賀 秀實	建築史学	61			小林一三翁と関西 学院	大橋 太朗			
新・旧判案内54 続 ・陸軍の図画教科書、 吟香の『呉湘日記』 [岸田吟香]	青木 茂	一寸	54			論文 小林一三「十 六歳の日記」一葦崎 から東京へ 新出資 料の意義一	井伊 春樹	阪急文化 研究年報	2	
フロントランナー 美術で里山や島々に 笑顔を アートディ レクター 北川フラ ムさん	大西 若人	朝 日	8.10			論文 小林一三の目 指した文化ネットワ ークとその意義(一)	宮井 尚佳	"	"	
ときの人49 平塚市 美術館館長 草薙奈 津子さん 美術家が “最高の姿”で輝くた めに				新美術新 聞		論文 『逸翁鶏鳴集』 成立の背景—小林一 三(逸翁)の俳句の世 界—	井伊 春樹	"	"	
交遊抄 慶応観世会	草薙奈津子	日 経	9.28			大阪特派員 小林一 三が描いた戦災復興	鹿間 孝一	産 経	6.25	
4 [読ん]で知るアート 戦時下の画学生 たち 出征は絵との 決別	窪島誠一郎	朝日夕刊	8.14			関西数寄者の眼 下 小林逸翁 己の感性 に確たる自信 新た な茶の湯 社会に問 う	中野 稔	日 経	6.2	
あとがきのあと 「父 水上勉」窪島誠一郎氏 閣の中をさまよう感 覚		日 経	1.27			ときの人54 岡田美 術館館長 小林忠 さん 極上の美術品、 至福の時を箱根から				新美術新 聞 1326
人間発見 画学生の 遺作求めて 「無言 館」館主 窪島誠一 郎さん 1～4	藤巻 秀樹 聞き手	日経夕刊	9.24～27			大特集 小林秀雄 美を見つめ続けた巨 人 第1章 美の原 点、骨董				芸術新潮 758
次世代 人 古写真 から読む歴史 倉持 基さん	早川 保夫	読売夕刊	3.2			「模倣」もしくは 「再発見」	青柳 恵介			
人・模・様 震災知 らない海外の人も共 感[蔵屋美香]	吉富 裕倫	毎日夕刊	6.24			受け継がれる古唐 津	神山 繁			
ひと プータンで文 化遺産の法整備に取 り組む九州大教授 河野俊行さん	中村 俊介	朝 日	7.6			大特集 小林秀雄 美を見つめ続けた巨 人 第2章 美を求 める心			"	"
						絵画を事件の方へ 取り戻すこと	茂木健一郎			
						ルオー、セザンヌ、 そして桜	吉井 長三 談			

初めに音楽ありき 小林さんと聴いた クラシック	坂本 忠雄	小特集 スペシャル 対談 こぼれ話補完 編	坂田 和實 尾久 彰三 光田 由里	" "	437
大特集 小林秀雄 美を見つめ続けた巨 人 第3章 巨人の 素顔	" "	米軍普天間飛行場の ある街 沖縄・宜野 湾市に住んでみる一 4 地上戦の記憶先 祖の地に 基地に食 い込む美術館[佐喜 真道夫]	藤巻 秀樹	日経夕刊	1.26
娘と編集者が語る 小林秀雄	白州 明子 池田 雅延	学会彙報 佐久間重 男先生を偲んで	金沢 陽	東洋陶磁	42
小林秀雄と志ん生 インタビュー 京 都・平野屋女将井 上典子さん「毎 年、鮎の季節にな ると、真っ先にお 越し下さいました」	京須 借充 井上 典子 インタビュ ー	追悼 佐々木高明元 館長を偲ぶ	須藤 健一	みんぱく	430
小林秀雄先生の「葱 坊主」	池田 雅延	偲ぶ「照葉樹林文 化論」を提唱した元 国立民族学博物館長 佐々木高明さん 日 本の源流を探索	多比良孝司	東京夕刊	5.28
特集 小林秀雄と青 山二郎の眼	" "	追想録 佐々木高明 さん 研究成果、社 会に還元		日経夕刊	6.14
§前文§ essay 因縁の二 人	白洲 信哉	書く人『現代美術 コレクションの楽し み』コレクター 笹沼俊樹さん お金 より眼力と戦略	加古 陽治	東京	8.11
遺愛の品をたずね て 小林秀雄編 三つの酒盃をめぐ る縁		佐藤慶太郎の功績た たえ 都美術館建設 に尽力 私財投じた 「炭鉦の神様」	丹治早智子	" "	8.8
だいあるーぐ 東京 彩人記 アートディ レクター 小林瑞恵 さん 障害者が描く 「可能性」	戸上 文恵	巻頭特集 和洋骨董 から現代アートまで ひびきあう古今美 のしつらえ しつら えI 現代美術と古 美術を、一緒に展示 するワケは?	佐藤 春喜	美術*	452
フォーカス 富士山 の世界遺産登録に尽 力した文化庁長官 三保松原の「逆転登 録」後押し[近藤誠 一]		史料紹介と研究 茂 野純一と第一次大谷 探検隊ビルマ・清国 南方地域調査	宮川 麻紀 稲田奈津子	東大画像 史料解析 センター 通信*	61
語る 日本発信 2 文化庁長官 近藤誠 一氏 海外からの取 材逃げない 対外PR 潔いとしめない文化 芸術家招き「日本好 き」に	隅谷 真 聞き手	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第78回 うらわ美術 館学芸員 島田有美 子	齊藤 博美	ギャラリー 一*	342
(サ行)		ときの人52 東京国 立博物館副館長 島 谷弘幸さん 書の魅 力、博物館の魅力を 伝えていきたい		新美術新 聞	1320
斎藤忠博士を悼む 視野は広く 詮索は 深く	坂詰 秀一	書は読めなくても楽 しめる 東京国立博 物館の名品でたどる 書之美 島谷弘幸さ ん	桐山 正寿	毎日	7.28
SPECIAL FEATURE アートの買い方おし えます! 古道具坂 田店主、坂田和實に 聞く 美を見分ける 方法はありますか?	光田 由里	気鋭新鋭 文化財 材料からみる歴史 国立歴史民俗博物館 助教 島津美子さん	清岡 央	読売夕刊	9.28
特集3 スペシャル 対談 古道具と民藝 の、これから	坂田 和實 尾久 彰三	交遊抄 アルザス魂	清水 敏男	日経	12.28

洋画修復業	杉浦 勉	同志社大 学博物館 学年報	44	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第72回 水戸芸術館 現代美術センター主 任学芸員 高橋瑞木	斉藤 博美	ギャラリー	334
この人 江戸城の石 垣を研究 成果をま とめて出版 鈴木啓 さん 五輪までに天 守閣再建し、世界の 人迎えて	井上 能行	東京	8.1	瀧口修造とデザインの 領域一戦前から戦 後の交流と活動につ いての紹介	稲塚 展子	富山県立 近代美術 館年報	H24年度
Interview 鈴木敏夫 今、有事を考える 宮崎アニメ「風立ち ぬ」仕掛け人	川崎 浩	毎日夕刊	7.23	きょうの人 竹内誠 さん「楽しく学ん でもらえたら最高だ ね」	戸谷 真美	産 経	4.21
紙つぶて	鈴木 博之	東京夕刊		田中淡博士追悼	百橋 明徳	仏教芸術	326
新歌舞伎座			4.11	古代ガラス 透ける ロマン 成分分析で 東西交易裏付け、 6000年の歴史たどる	谷一 尚	日 経	6.13
茶会の季節			4.18	連載 奇想の発見 ある美術史家の回想 第7～18回	辻 惟雄	芸術新潮	757～768
横たわる虎			5.16	辻惟雄集 第1巻 「かざり」の美術 著 者 辻惟雄さん 日 本美術新たな地平へ	岸 桂子	毎 日	8.25
読書人の部屋 国立 民族学博物館館長 須藤健一氏 進路を 決めた本との出会い	中野 稔	日 経	6.2	評伝 経営 信念と 自省と 堤清二さん 死去 剛腕とは一線	多賀谷克彦	朝 日	11.29
伊万里大皿コレクシ ョンの魅力を知る	瀬川 竹生 話し手 正明 荒川 聞き手	陶 説	720	経営に文化 人生が 作品 堤清二 辻井 喬さん「理想、市 民の確立」		" "	
巻頭特集 和洋骨董 から現代アートまで ひびきあう古今 美 のしつらえ しつら えII 桃山—近代の 茶道具×当代 樂茶 碗	善田 善征 インタビュー	美 術*	452	辻井喬(堤清二)さん を悼む		" "	12.3
(タ行)				経営に文化の花	上野千鶴子 織井 優佳 構成		
美術研究そして評論 —高階秀爾氏聞き書 き—	島尾 新 聞き手 尚之 天羽 構成	国華清話 会会報	21	まっとうな詩人の 声	藤井 禎和		
文化勲章受章 高階 秀爾先生	三浦 篤	日仏美術 学会会報	32	経営に文化事業融合 堤清二氏 セゾン・ パルコ文化		朝日夕刊	11.28
ことば 美術史家・ 美術評論家 高階秀 爾さん	大西 若人	朝 日	3.27	特集 希代の美術商 戸田鍾之助を偲ぶ	千 宗屋、 戸田 博 対談	目 の 眼	443
「高階秀爾先生の文 化勲章を祝う会」に 350人 「美術館は異 文化を相互理解する ための場」			2.21	特集 希代の美術商 戸田鍾之助を偲ぶ 戸田鍾之助さんの思 い出		" "	
富士山 世界遺産に 浮世絵の山 国境を 超え 美術評論家・ 大原美術館館長 高 階秀爾さん	岸 桂子 聞き手	毎 日	6.23	01 寄稿 秀でた 数奇者	林屋 晴三		
「国華」創刊期に悪戦 苦闘 高橋健三の資 料から判明 経営は 火の車 天心と絶交	小川 雪	朝日夕刊	5.27	02 寄稿 戸田鍾 之助さんに学ぶ	赤沼 多佳		
				03 対談 最高の 遊び友達	小曾根 有 博		
				04 寄稿 戸田さ んを偲んで	谷村 庄市		

05 インタビュー カッコイイ大人の 見本	瀬津 孝子				四 御手並拝見 先生の書画 趣味 の効用	夏目房之介		
06 談話 取材を 終えて	千 宗屋				美のことごと 5 漱石と絵と「自己表 現」(上)	中野 中	美術屋・ 百兵衛	27
ひと 美術の水先案 内人「アートテラー」 になった元俳優人 とに～さん	増田 愛子	朝 日	9.23		漱石と美術 3 一 人きりにと願い 漱 石自筆 山下隠栖図	森 まゆみ	東京夕刊	5.30
百橋明穂先生年譜		美術史論 集	13		ひと 「御堂関白記」 を所蔵する陽明文庫 の文庫長 名和修さん	五十嵐和大	毎 日	7.10
百橋明穂先生著作目 録(二〇一二年十二 月まで)		" "	" "		ラウンジ 機能美に 魅せられて 南條史 生さん	越村 格	読売夕刊	10.26
白隠 衆生本来仏なり 白隠に惹かれた人々 「山本発次郎」と 「富岡重憲」	浅井 京子	太陽朝冊	203		特集 名古屋の画廊 史 ギャラリーリスト西 岡務を追憶して	馬場 駿吉	R E A R	30
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第71回 東京ステー ションギャラリー館 長 富田章	斉藤 博美	ギャラリ ー*	333		移民が持ち帰ったカ ナダ 明治から洋風 文化、和歌山「アメ リカ村」で歴史研究	西浜 久計	日 経	6.12
(ナ行)					先人を訪ねて 社会 に尽くした「鉄道王」 根津嘉一郎	野村 順	読 売	3.13
人生は夕方から楽し くなる 五感で古美 術を鑑定 中島誠之 助さん 欲を乗り越 えて ニセモノ見抜 け	瀬尾 忠義	毎日夕刊	4.19		新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第77回 三菱一号館 美術館学芸グループ 長 野口玲一	斉藤 博美	ギャラリ ー*	340
特別連載 「中原佑 介を読む」を読む 第2回 「外部」と 「内部」の弁証法	島田浩太郎	美術手帖	989		(ハ行)			
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第79回 茨城県近代 美術館学芸員 永松 左知	斉藤 博美	ギャラリ ー*	344		講演 橋本末吉につ いて	橋本 太乙	大阪市立 美術館紀 要	13
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第76回 弥生美術館 学芸員 中村圭子	" "	" "	338		リレーおびにおん アート de チェンジ 6 東京都現代美術 館チーフキュレータ ー長谷川祐子さん 文化政策に世界戦略 を	吉田 貴文 聞き手	朝 日	9.18
巻頭特集 和洋骨董 から現代アートまで ひびきあう古今 美 のしつらえ しつら えII 油彩や中国骨 董を茶室に使うって、 アリですか?	中村 幸男	美 術*	452		内と外つなぐ「中庭」 理念に シャルジャ ・ピエンナーレ 初 の日本人責任者[長 谷川祐子]	井上 晋治	読 売	3.28
特集 夏目漱石の目 一 名作をいろど る絵画たち 絵で 読み解く漱石の理 想の女性像と芸術 観	古田 亮	芸術新潮	762		東京国立博物館が所 蔵する早崎稷吉の写 真資料について一茨 城県天心記念五浦美 術館が所蔵する早崎 稷吉日記との照合か ら一	関 紀子	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン研究	20
二 漱石とゆく、 ぶらり明治の東京 散歩 漱石の目に 映る、変りゆく都 市東京	黒川 創				岡倉天心 近代美術 の師 世界のOKA- KURA 早崎稷吉 中国古美術の紹介者	大西 純子	太陽朝冊	209
					原三溪とお茶	齋藤 清	陶 説	719

原三溪の美術家老・森川如春	齋藤 清 陶 説	725		先輩を訪ねて「本間紀男先生」		東京芸大保存修復彫刻年報*	2012年度
ときの人46 損保ジャパン東郷青児美術館館長原口秀夫さん新美術賞を発足、新進作家支援の新しいかたち			新美術新聞	1303		(マ行)	
本の小径 大画家のひとと芸術に迫る 原田マハの新作	宮川 匡司 日 経	5.26		特集 2013年 ルネサンス大解剖 Interview 壁画修復士 前川佳文さん『修復士って、どんなお仕事ですか?』		美術の窓	355
この人に会いたい キミコ・パワーズさん アメリカン・ポップ・アートの誕生に立ち会った世界的コレクター	キミコ・パワーズ 談	美術の窓		361	酒器を愛した偉人たち 1 鈍翁 益田孝[益田鈍翁]	白洲 信哉 目の眼	441
pop style vol. 361 キミコパワーズ art のある人生	市原 尚士	読売夕刊		8.7	ひと 近代建築の保存を訴える国際組織の日本支部代表 松隈洋さん	森本 俊司 朝 日	9.20
新・旧刊案内56 忘れぬうちに一土方定一年譜	青木 茂 一 寸	56			シリーズ歴博三〇周年 9 あわただしく駆け抜けた八年	松崎 憲三 歴 博	180
あとがきのあと 「彫刻と戦争の近代」平瀬礼太氏 美術を考える視点さぐる		日 経		7.28	酒器を愛した偉人たち 2 松永耳庵 松永安左エ門	白洲 信哉 目の眼	444
こころの玉手箱 ベネッセホールディングス会長 福武總一郎 1、2	福武總一郎	日経夕刊		4.22、23	おやじのせなか 鉛筆で未来に向き合った 真鍋真さん	大脇 和明 朝 日	10.24
藤澤南岳と篆刻芸術	吾妻 重二	東アジア文化交渉研究		6	巻頭特集 やっぱり猫デアル。古今猫図100選 招き猫亭流コレクション・猫まみれの40年 スラントンから新田猫まで	編 集 部 美 術*	458
明治前期の実業家藤島常興関係資料について	佐藤 嘉孝	山口県立山口博物館研究報告		39	美術専門畑から初の女性国立美術館長 馬淵明子 国立西洋美術館館長 独立行政法人国立美術館理事長に聞く	新美術新聞	1329
古文書の復元 職人芸半世紀 宮内庁職員 藤村さん退官へ国宝級の史料 色まで妥協なし 弟子2人が技受け継ぐ[藤村文男]		読 売		3.18	ひと 国立西洋美術館の館長になった 馬淵明子さん	大西 若人 朝 日	8.29
新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第75回 東京国立近代美術館主任研究員 保坂健二郎	齊藤 博美	ギャラリー*		337	この人 国立美術館理事長に就任 馬淵明子さん 国の理解 深め、アイデア活用したい	川瀬 真人 東 京	8.10
白隠 衆生本来仏なり 白隠に惹かれた人々 細川護立と永青文庫	三宅 秀和	太陽朝刊		203	顔 女性研究者として初めて国立西洋美術館館長に就任した 馬淵明子さん	井上 晋治 読 売	10.7
pop style vol. 340 堀川憲司 ぼんぼりの照らす先へ	小間井藍子	読売夕刊		3.6	ときの人53 東京美術倶楽部代表取締役社長 三谷忠彦さん 美術商の伝統を守り、つなぐ	新美術新聞	1323
200年企業一成長と持続の条件214「金」で支える京文化 堀金箔粉、新分野も開拓	水野 裕司	日 経		5.13	人生の贈りもの 兵庫県立美術館館長 豊 1~5	村瀬 信也 朝日夕刊	11.18~22

フェネオンにとっての新印象主義と象徴主義—美術史家・宮川淳のための「無駄」—	北村 陽子	早稲田大学院文学研究科紀要	58	脚光浴びる庭園史 植物の調査・遺跡の発掘進む 山縣有朋の様式に注目 戦国時代の造園 山並みも意識か	宮代 栄一	朝日夕刊	7.8
モチーフから探る美術作品の意味 本紙連載「神は細部に」文庫化 文学・音楽研究にも[宮下規久朗]	三沢 典丈	東京夕刊	8.19	追悼記事 山口昌男先生と大正イマジユリィ学会	島本 澁	大正イマジユリィ	8
あとかぎのあと 「美しい顔」とはどんな顔か 半田淳氏美と数学の関係をさぐる		日 経	11.3	《特別記事 短期連載I》 画家の妻 山下菊二夫人・昌子さんに聞く[山下昌子]	長門 佐季	あいだ	206
考古学者 森浩一先生を偲ぶ 「地域」への豊かなまなざし 壮大な「森古代学」築く	山田 邦和	東京夕刊	8.22	縄文の力 縄文の美の発見者たち003 山内清男	植田 真	太陽朝刊	212
「古代」と「地域」を見つめて 森浩一さんをしのぶ	上田 正昭	毎日夕刊	8.13	白隠 衆生本来仏なり 白隠に惹かれた人々 「山本発次郎」と「富岡重憲」	浅井 京子	〃	203
この人 古陶磁研究で記念賞受賞 森達也さん	黒谷 正人	東京	10.22	交遊抄 画商の眼力 [吉井長三]	進藤 中	日 経	6.11
ときの人50 森美術館理事長 森佳子さん アートの楽しさを人々の日常へ		新美術新聞	1314	シリーズ歴博三〇周年 10 陶磁社会史 探求の一五年—共同研究・陶磁器コレクション・企画展	吉岡 康暢	歴 博	181
原三溪の美術家老・森川如春[森川如春庵]	齋藤 清	陶 説	725	交遊抄[吉田秀和]		日 経	
甲乙閑話 元祖、文化で街おこし[守田兵蔵]	小川 雪 朝	日	3.12	心身タフであれ 逢坂恵理子			2.23
				清新の気 吉田 光男			12.25
				SPECIAL FEATURE アートの買い方おしえます! コレクターに学ぶアートのある空間 CASE 2 コレクションを見せる、開かれた場 吉野誠一	宮村 周子	美術手帖	982
		(ヤ行)		わたしの勝負所 絵画修復家[吉村絵美留]		東京夕刊	10.5
SPECIAL FEATURE アートの買い方おしえます! コレクターに学ぶアートのある空間 CASE 1 アートディレクターの仕事場 八木保	武藤 彩	美術手帖	982			(ワ行)	
板橋区立美術館 安村敏信館長退任へ 観客への気配り 欠かさず	高野 清見	読 売	3.21	新・学芸員の企画術 キュレーションの壺 第74回 ワタリウム美術館キュレーター 和多利浩一	斉藤 博美	ギャラリー	336
高麗美術館研究講座・抄録 浅川巧と柳宗悦—その出会いと活動	杉山 享司	高麗美術館報	94	INFORMATION MEMORIAL 追悼 和多利志津子 飽くことなき現代美術への愛—和多利志津子追悼	建島 哲	美術手帖	979
鑑賞録 「民藝と雪舟」	柳 宗悦	国華清話会会報	21	追悼抄 ワタリウム美術館長 和多利志津子さん 最先端追い展覧会 妥協せず	高野 清見	読売夕刊	4.6
ひと 三陸地方の津波の常設展を始める学芸係長 山内宏泰さん	増田 愛子	朝 日	4.3				

特集 日本美術史はいかにしてつくられたか 偶像再興の旅—和辻哲郎の「日本回帰」	魚住 洋一	美術フォーラム21	28	WORLD NEWS ロンドン 公私ともに話題のチャールズ・サーチの次なる一手とは?	伊東 豊子	美術手帖	993
海 外				CURATOR INTERVIEW エリザベス・サスマン			
World Norfolk 「ホートン再訪」展 18世紀英国の大政治家のコレクションが里帰り[サー・ロバート・ウォルポール]	前橋 重二	芸術新潮	764	小特集 原田マハ、ロシアの新旧“現代美術”コレクターに会う[セルゲイ・シチューキン]	原田 マハ	芸術新潮	762
リレーおびにおん 変われ商店街 9 東洋文化研究者 アレックス・カーさん 歴史や品ぞろえ 個性が宝に	高野 真吾 聞き手	朝 日	3.19	小特集 原田マハ、ロシアの新旧“現代美術”コレクターに会う[ステラ財団]	〃	〃	〃
人生の贈りもの 東洋文化研究者 アレックス・カー 1~5	青山 祥子 聞き手	朝日夕刊	10.28~11.1	縄文の力 縄文の美の発見者たち005 セインズベリー夫妻 [ロバート・セインズベリー/リサ・セインズベリー]	サイモン・ケイナー	太陽(別冊)	212
小特集 原田マハ、ロシアの新旧“現代美術”コレクターに会う[ガレージ]	原田 マハ	芸術新潮	762	例会発表要旨 第124回例会: 田中敦子とフランス 田中敦子、ミシェル・タビエはどう評価したのか?	岡部あおみ	日仏美術学会会報	32
ひと 東大で研究中のシリア・アレppo 国立博物館館長 ユーセフ・カンジョさん	高橋友佳里	朝 日	7.27	ミシェル・タビエと田中敦子—真の創造者を求めて—	〃	美術運動史研究会 ニュース	133
白隠 衆生本来伝なり 白隠に惹かれた人々 ギッター・コレクションの“ZEN-GA”[カート・ギッター]	山下 裕二	太陽(別冊)	203	SPECIAL REPORT シンガポール・アート・ウィーク2013 シンガポールはアジアの拠点になるか? ユージン・タン	ダリル・ウィー 聞き手・構成	美術手帖	982
ひと 大英博物館で世界最大規模の春画展を企画 ティム・クラークさん	小倉 孝保	毎 日	9.5	高麗美術館研究講座・抄録 有光教一先生と高麗美術館・鄭詔文氏、朝鮮への思い	上田 正昭	高麗美術館館報	95
交遊抄 アジアの森 踏破	ヨーゼフ・クライナー	日 経	5.25	World News Washington, D. C. 「ディアギレフとバレエ・リュス 1909—1929: アートと音楽と踊りあかした時」展 アートも音楽も美青年も…大プロデューサー、ディアギレフは美しいものが好き! [セルジュ・ディアギレフ]	前橋 重二	芸術新潮	763
20世紀初頭のフランスにおける日本美術受容—レイモン・ケクラン(Raymond Koechlin 1860—1931)を中心に—	林 久美子	鹿島美術財団年報・別冊	30	例会発表要旨 第125回例会: 近年におけるイメージ論の展開—ダミッシュからディディ=ユベルマンへ G・ディディ=ユベルマンのイメージ人類学—症候から弁証法的イメージへ [ジョルジュ・ディディ=ユベルマン]	橋本 一径	日仏美術学会会報	32
現在通信 From NEW YORK ゴードンさん賛歌[ベアテ・シロタ・ゴードン]	富井 玲子	新美術新聞	1313				
「現代美術の支援 日本への恩返し」新賞創設 日産・ゴーン社長[カルロス・ゴーン]	大西 若人	朝 日	7.9				



ニューヨーク近代美術館「日本家屋展」に見るキュレーターの役割アーサー・ドレクスラーの仕事を中心に	山崎松隈	泰寛洋	日本建築学会論文集	688	東京芸大の石碑に献花 フェノロサの功績たたえ日本美術界の恩人をもって	丹治早智子	東京	9.23
第六十四回美学会全国大会報告発表要旨バウムガルデンの美学におけるフィグーラ論	井奥	陽子	美学	243	東日本大震災・被災3県を巡るプライスコレクション展ジョー&悦子・プライス夫妻インタビュー		新美術新聞	1309
例会発表要旨 第122回例会：写真の時空イメージ経験と場所 ジョルジュ・パティユにおけるイメージ経験—ラスコー洞窟壁画解釈をめぐる	唄	邦弘	日仏美術学会会報	32	若冲が被災地を巡回「プライスコレクション 江戸絵画の美と生命」	竹見洋一郎	美術手帖	980
第六十四回美学会全国大会報告発表要旨『マネ』における「遊戯」と「沈黙」—ジョルジュ・パティユのインファンティアの芸術論—	井岡	詩子	美学	243	ひと 江戸絵画のコレクション展を被災地で開く ジョー・プライスさん	西岡 一正	朝日	1.5
渋谷・クローデル賞受賞者 下 クレパ・バタンさん 現代美術の市場を分析「日本美術市場の社会的アプローチ—美術品の販売、流通、普及、価値形成のための仲介業者ネットワーク」	井上	晋治	読売	8.8	3・11後を生きる 井上能行のふくしま便り「世界一の応援団です」美術の豊かさ 被災地の若者に「ジョー・プライス」	井上 能行	東京	8.6
小特集 原田マハ、ロシアの新旧“現代美術”コレクターに出会う[ビンザボード]	原田	マハ	芸術新潮	762	あすへの話題 プライスさん、ありがとう	藤崎 一郎	日経夕刊	8.1
特輯 ファインバーグ・コレクション「ファインバーグ・コレクション」特輯に当って[ロバート・ファインバーグ]	小林	忠	国華	1411	平成二十四年度第二回研究会 フランシス・プリנקリーによる日本陶磁研究	福永 愛	東洋陶磁	42
フェネオンにとっての新印象主義と象徴主義—美術史家・宮川淳のための「無駄」—[フェリックス・フェネオン]	北村	陽子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	58	フリードリヒ・ペルツィンスキーについて	福澤 啓臣	北斎研究	52
岡倉天心 近代美術の師 世界のOKAKURA 日本に滞在したアメリカ人との交流[アーネスト・フェノロサ]	村井	則子	太陽(別冊)	209	顔 ラファエロ研究の大家で、新説を掲げて来日した トム・ヘンリーさん	井上 晋治	読売	3.29
研究報告 フェノロサ研究—今後の問題点—	山口	静一	LOTUS	33	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術侯瀚如[ホウハンル]さんインタビュー	侯 瀚如	談 美術の窓	362
大学時代のフェノロサ—若き日の知的環境と思想形成をめぐる	伊藤	豊	”	”	ローマ、国立21世紀美術館の中国人館長			
					INFORMATION MOVIE ハーブとドロシーによる歴史的な寄贈プロジェクトコレクション寄贈を追ったドキュメンタリー『ハーブ&ドロシー ふたりからの贈りもの』[ハーバート・ボーゲル/ドロシー・ボーゲル]	熊倉 晴子	美術手帖	984
					第66回全国大会研究発表要旨 ジャンパッティスタ・マリノーの『ガレリア』と蒐集—理想と現実のギャラリー—	日塔理恵子	美術史	175

		書 評				
		和 書				
きょうの人 ジャン =リユック・マルテ イネズさん 仏ルー ブル美術館館長に就 任「文化や芸術は 他民族との交流から 生まれてきた」	黒沢 綾子 産 経	7.29		『アーツ・アンド・ クラフツ運動』ジリ アン・ネイラー著、 川端康雄・菅靖子訳	高島 直之 東 京	8.11
フェルディナンド・ デ・メディチ大公子 の蒐集活動に関する 史料から—ラファエ ッロ《天蓋の聖母》の 取得を中心に	浦 一章 美術史論 叢	29		『aóre アオーレで、 会おうれ。“会える ところ”を建築する。 シティホールプラザ アオーレ長岡』隈研 吾・森本千絵・藤井 保著	横 文彦 学 鏡	110-4
縄文の力 縄文の美 の発見者たち002 エドワード・S・モ ース[エドワード・ シルヴェスター・モ ース]	小林 達雄 太陽(別冊)	212		『〈悪女〉と〈良女〉の 身体表象』笠間千浪 編著	近江 美保 人文学研 究所報	49
江戸博蔵めぐり 東 京散策で見つけた魅 力 Catalogue of Morse Collection of Japanese Pottery (モ ース日本陶器コレク ション目録)	小山 周子 読 売	11.29		『シリーズ権力者と 仏教 足利義満と禪 宗』上田純一著	芳澤 元 仏教史学 研究	56-1
WORLD NEWS Players in Art Mar- ket アート版価格 指数のバイオニアに 聞く 美術作品への 投資の可能性[マイ ケル・モーゼス]	藤高 晃右 美術手帖	993		『〈遊ぶ〉シュルレア リスム』巖谷國士著	北澤 憲昭 朝 日	6.2
小特集 原田マハ、 ロシアの新旧“現代 美術”コレクターに 出会う[イワン・モ ロゾフ]	原田 マハ 芸術新潮	762		『アメリカはアート をどのように支援し てきたか 芸術文化 支援の創造的成功』 タイラー・コーエン 著、石垣尚志訳	渡辺 靖 “	10.13
矢代幸雄「ラスキン の叫び」(1913年6月) —明治・大正期にお けるジョン・ラスキ ンの受容史—	三木はるか 学習院大 学人文科 学論集	22		“	日 経	9.22
アルフレート・リヒ トヴァークの思想と 活動における「文化 政策」の次元	清永 修全 芸術研究	26		『荒凡夫一茶』金子兜 太著	中島誠之助 産 経	4.27
ルーモールのイタリ ア旅行(1805—06年) —食文化哲学と美術 史研究のあいだで— [カール・フリード リヒ・フォン・ルー モール]	加藤 哲弘 人文論究	63-1		『アンダルシアの都 市と田園』陣内秀信 ・法政大学陣内研究 室編	岡部 明子 日 経	4.21
INFORMATION PEOPLE ルディ・ ツェンにインタヴュ ー 堂島リバービエ ンナーレ2013のディ レクターに聞く	岩切 澤 美術手帖	989		『「いき」の構造』九鬼 周造著	桂木 紫穂 新美術新 聞	1312
近代中国美術の胎動 2 新興芸術の動向 コラム 魯迅と美術	奈良 和夫 アジア遊 学	168		『イタリア紀行』ゲー テ著、相良守峯訳	(井) 読売夕刊	4.1
				『伊万里 染付の美 「図変り」大皿の世界』 荒川正明監修	森 由美 陶 説	723
				『岩佐又兵衛風絵巻 群と古浄瑠璃』深谷 大著	黒石 陽子 国語と国 文学	1075
				『ウィンザーチェア 大全』島崎信・山永 耕平・西川榮明著	目 の 眼	446
				『浮世絵出版論 大 量生産・消費される (美術)』大久保純一 著	芸術新潮	762
				『浮世絵にみる江戸 美人のよそおい』村 田孝子著	読 売	8.28
				『浮世絵の見方 芸 術性・資料性を正し く理解する』松井英 男著	稲垣 進一 浮世絵芸 術	165

『兎とかたちの日本文化』今橋理子著	三浦しをん	朝 日	11.24	『海外で建築を仕事にする。世界はチャンスで満たされている』前田茂樹編著、吉田信夫・伊藤廉・松原弘典・田根剛・高濱史子・豊田啓介・小沢慎吾・エマニユエル・ムホー・後藤克史・柏木由人・小嶋芳秀・梅原悟・吉田智史・原田雄次・佐貫大輔・西澤俊理著	限 研吾	朝 日	10.6
『宇宙へ行きたくて液体燃料ロケットをDIYしてみた』実録なつのロケット団』あさりよしとお著	川端 裕人	〃	11.17	『絵画に魅せられて—上原昭二とコレクション—』上原昭二著	山田 俊幸	大正イマジユリイ	8
『美しすぎる少女の乳房はなぜ大理石でできていないのか』会田誠著		芸術新潮	758	『画家の食卓』林綾野著		産 経	5.12
『映像の歴史哲学』多木浩二著、今福龍太編	吉見 俊哉	日 経	8.4	『カコちゃんが語る植田正治の写真と生活』増谷和子著	鷺田 清一	朝 日	4.14
『絵金 極彩の闇』高知県立美術館監修	大西 若人	朝 日	1.6	〃		日 経	3.10
『鉞子〔えつこ〕 世界を魅了した「武士の娘」の生涯』内田義雄著	中島誠之助	産 経	6.22	『形之美とは何か』三井秀樹著	橋田 規子	A X I S	164
『日本文化 私の最新講義 江戸絵画の非常識 近世絵画の定説をくつがえす』安村敏信著		芸術新潮	761	『勝川春章と天明期の浮世絵美人画』内藤正人著	神谷 浩	浮世絵芸術	165
〃	横尾 忠則	朝 日	5.12	『狩野芳崖 受胎観音への軌跡』中村愿著	白田 捷治	書道界	285
〃	五味 文彦	毎 日	4.7	『神のごときミケランジェロ』池上英洋著	青木 淳	芸術新潮	766
『絵と言葉の一研究「わかりやすい」デザインを考える』寄藤文平著	酒井 順子	東 京	4.14	『カメラが撮らえた富士山の明治・大正・昭和』石津伸子著		東 京	9.1
『大原孫三郎—善意と戦略の経営者』兼田麗子著	寺西 重郎	日 経	3.3	『五柳叢書96 カラーヴァージオからの旅』千葉成夫著	横尾 忠則	朝 日	1.20
〃	尾崎真理子	読 売	1.27	『河鍋晩斎絵日記 江戸っ子絵師の活写生活』河鍋晩斎記念美術館編		芸術新潮	765
『岡倉天心の比較文化的研究 ポストンでの活動と芸術思想』清水恵美子著	岡本 佳子	日本歴史	779	『変り兜 戦国のCOOL DESIGN』橋本麻里著	田中 優子	朝 日	11.17
『おかしなジバング 図版帖—モンタヌスが描いた驚異の王国—』宮田珠己著	中島 京子	毎 日	8.18	『菊竹清訓巡礼』磯達雄著、日経アーキテクチュア編	(清)	読 売	2.3
『岡本太郎の仮面』具瀬千里著		日 経	3.17	『キャバの十字架』沢木耕太郎著	後藤 正治	朝 日	3.17
〃	岡田 温司	読 売	4.14	〃	黒井 克行	日 経	3.31
『小川晴鳴の肖像』小川光三著		芸術新潮	758	〃	板垣 博	毎日夕刊	7.5
『折口信夫歌舞伎絵葉書コレクション』国学院大学日本文化研究所共同プロジェクト編	山田 俊幸	大正イマジユリイ	8	『京狩野三代 生き残りの物語 山楽・山雪・永納と九条幸家』五十嵐公一著	奥平 俊六	紫 明	32
『カーボン・アスリート 美しい義足に描く夢』山中俊治著	丸山 公願	A X I S	163				

『清水六兵衛家所蔵資料集「清水六兵衛家一京の華やぎ」展事前調査関連資料2013』愛知県陶磁資料館著、清水六兵衛編	唐澤 昌宏 陶 説	724	『国宝油滴天目茶碗と国宝飛青磁花生一伝世の名品』大阪市立東洋陶磁美術館監修	編集部 陶 説	719
『金蔵論 本文と研究』宮井里佳・本井牧子編著	山口 周子 仏教史学 研究	56-1	『心を動かすデザインの秘密 認知心理学から見る新しいデザイン学』荷方邦夫著	新川 貴詩 産 経	5.19
『金属が語る日本史 銭貨・日本刀・鉄炮』齋藤努著	佐野 千絵 歴 博	178	『ゴシック様式成立史論』加藤耕一著	佐藤 達生 建築史学	61
『空海 塔のコスモロジー』武澤秀一著	酒井 順子 東 京	2.10	『古代ローマの肖像ルネサンスの古銭収集と芸術文化』ジョン・カナリー著、桑木野幸司訳	福山 佑子 日伊文化 研究	51
『空海と日本思想』篠原資明著	玉村 恭 美 学	243	『子どもの美術』(全6巻)佐藤忠良・安野光雅編・監修		芸術新潮 767
『熊井恭子の仕事 テキスタイルアートの世界』熊井恭子著	(井) 読 売	7.21	『コミュニティ・ミュージアムへ「江戸東京たてもの園」再生の現場から』佐々木秀彦著		日 経 4.21
『芸術実行犯』Chim↑Pom 著	森本 智之 東 京	5.5	『小屋から家へ』中村好文著	安積 朋子 A X I S	165
『芸術の中動態 受容／制作の基層』森田亜紀著	貫 成人 美 学	243	『今昔妖怪大鑑 湯本豪一コレクション』湯本豪一著	北澤 憲昭 朝 日	9.1
『遣隋使がみた風景—東アジアからの新視点—』氣賀澤保規編	荊木 美行 古文書 研究	75	『参詣曼荼羅の研究』大高康正著	岩鼻 通明 日本歴史	782
『建設ドキュメント 1988— イサム・ノグチとモエレ沼公園』川村純一・斎藤浩二著、戸矢晃一構成		芸術新潮 768	『視線とテキスト 多木浩二遺稿集』多木浩二著	高島 直之 東 京	3.3
''		日 経 10.6	『死の帝国 写真図説・奇想の納骨堂』ポール・クドゥナリス著、千葉喜久枝訳	北澤 憲昭 朝 日	10.6
『建築家なしの建築』バーナード・ルドフスキー著、渡辺武信訳	鈴野 浩一	165	''	岡田 温司 読 売	10.13
『建築21世紀はこれからだ 編集者・写真家 三〇〇年の視点』馬場璋造・寺松康裕・瀬川環・中谷正人・神子久忠・松岡満男・小林浩志著	(田) 毎 日	6.9	『シャガール 愛と追放』ジャッキー・ヴォルシュレガー著、安達まみ訳		芸術新潮 766
『建築はどうあるべきか デモクラシーのアポロン』ヴァルター・グロピウス著、桐敷真次郎訳		産 経 6.9	''	中野 京子 日 経	9.22
『建築武者修行 放課後のベルリン』光嶋裕介著		芸術新潮 768	『写真家 井上青龍の時代』太田順一著	後藤 正治 朝 日	2.17
『黄禍論と日本人 欧米は何を嘲笑し、恐れたのか』飯倉章著	成田 龍一 東 京	5.5	''	吉田 司 東 京	3.3
			『写真経験の社会史—写真史料研究の出版』緒川直人・後藤真編著	葦名 ふみ 日本歴史	782
			''	菊池 哲彦 歴史評論	764
			『写真のフクシユウ 荒木経惟の言葉』山内宏泰著		芸術新潮 766
			『写真のフクシユウ 森山大道の言葉』山内宏泰著		'' ''

- 『ジャスト・キッズ』  
パティ・スミス著、  
にむらじゅんこ・小  
林薫翻訳 生井 英考 日 経 2.24
- 『朱漆「根来」中世に  
咲いた華』MIHO  
MUSEUM 編、白洲  
信哉監修 目の眼 445
- 『首里城への坂道—  
鎌倉芳太郎と近代沖  
縄の群像』与那原恵  
著 鷺田 清一 朝 日 9.8
- 『汲古叢書96 春秋  
戦国時代青銅貨幣の  
生成と展開』江村治  
樹著 下田 誠 歴史評論 759
- 『正倉院文書入門』栄  
原永遠男著 服部 一隆 歴史学研  
究 903
- 『書聖 王羲之 その  
謎を解く』魚住和  
晃著 阿辻 哲次 東 京 3.10
- 『白洲正子 ひたす  
ら確かなものが見た  
い』挾本佳代著 水原 紫苑 日 経 12.22
- 『真宗本廟(東本願  
寺)造営史—本願を  
受け継ぐ人びと—』  
木場明志・平野寿則  
監修、大谷大学真宗  
総合研究所・真宗本  
廟(東本願寺)造営史  
資料室編 光井 渉 建築史学 61
- 『スーパーゴッズ  
アメリカン・コミッ  
クスの超神たち』グ  
ラント・モリソン著、  
中沢俊介訳 小野 耕世 産 経 6.2
- 『鈴木敏夫の ジブ  
リ汗まみれ 1』鈴木  
敏夫著 近藤 孝 読 売 4.7
- 『図説 フランス革  
命史』竹中幸史著 東 京 4.21
- 『スヌーピーの50年  
世界中が愛したコミ  
ック『ピーナッツ』』  
チャールズ・M・シ  
ュルツ著、三川基好  
訳 田仲 薫 A X I S 166
- 『常盤山文庫中国陶  
磁研究会会報5 青  
磁「東窯」』常盤山文  
庫中国陶磁研究会編 後藤 修 陶 説 727
- 『世界で一番美しい  
名面の解剖図鑑』カ  
レン・ホサック・ジ  
ャネス、イアン・シ  
ルヴァーズ、イアン  
・ザクチェフ著、菊  
田樹子・保田潤子訳 横尾 忠則 朝 日 4.21
- 『コマーシャル・フ  
ォトシリーズ 新版  
世界の公共広告』金  
子秀之著 (佑) 読 売 5.12
- 『世界の名作椅子40  
選 うしろ姿から探  
る機能と美』寺原芳  
彦著 長尾 重武 学 鏡 110-3
- 『世界のモザイク』 原田 マハ 朝 日 10.13
- 『世界歴史建築大図  
鑑』ドーリング・キ  
ンダースリー著、坂  
崎竜訳 東 京 7.7
- 『切断する美学 ア  
ヴァンギャルド芸術  
思想史』塚原史著 日 経 3.24
- 『戦国武将と茶の湯』  
桑田忠親著、小和田  
哲男監修 小野 公久 陶 説 727
- 『戦争という見世物  
日露戦争祝捷大会潜  
入記』木下直之著 佐藤 卓己 日 経 12.8
- 『千利休 無言の前  
衛』赤瀬川原平著 酒井 順子 東 京 4.14
- 『想起のかたち 記  
憶アートの歴史意  
識』香川檀著 岡田 温司 読 売 2.3
- 『相対性コムデギャ  
ルソン論—なぜ私た  
ちはコムデギャルソ  
ンを語るのか』西谷  
真理子編 平松 洋子 " "
- 『続・祈りの彫刻  
リーメンシュナイダ  
ーを歩く』福田緑著 北澤 憲昭 朝 日 3.3
- 『大震災と歴史資料  
保存 阪神・淡路大  
震災から東日本大震  
災へ』奥村弘著 川内 淳史 歴史学研  
究 903
- 『太陽と「仁丹」—  
一九二二年の自画像群  
・そしてアジアのな  
かの「仁丹」』田中淳  
著 足立 元 あいだ 202
- " 芸術新潮 759
- " 美術フォー  
ラム21 27
- " 古田 亮 日 経 2.10
- 『ダ・ヴィンチ封印  
《タヴォラ・ドーリ  
ア》の500年』秋山敏  
郎著 井上 章一 日経夕刊 10.23
- 『TADAO ANDO In-  
sight Guide 安藤忠  
雄とその記憶』安藤  
忠雄著 重里 徹也 毎 日 4.14
- 『漂うモダニズム』横  
文彦著 隈 研吾 朝 日 5.5
- " 岡田 温司 読 売 6.2
- 『ダニ・カラヴァン  
遠い時の声を聴く』  
酒井忠康著 矢崎 秀行 世田谷美  
術館だより 91





平成25年定期刊行物所載文献(他/書評)

『福島的美術館で何が起っていたのか—震災、原発事故、ベン・シャーンのこと』黒川創編		芸術新潮	757	『マリメッコのすべて』マリアンネ・アーヴ著、和田侑子訳	保坂健二郎	朝日	11.3
”	岡田 温司	読売	1.6	『三井寺に眠るフェノロサとビッグロウの物語』山口静一著	宗像 衣子	LOTUS	33
『富士山文化—その信仰遺跡を歩く』竹谷鞠負著		産経	7.7	『未完のフォークロー』木村龍生著	山田 俊幸	大正イマジユリイ	8
『仏教伝来の研究』吉田一彦著	細井 浩志	仏教史学研究	56-1	『ミケランジェロ』木下長宏著	樽沼 範久	東京	12.8
『BOOKS ON JAPAN 1931-1972 日本の対外宣伝グラフ誌』森岡督行著		芸術新潮	757	『水玉の履歴書』草間彌生著	伊東 順二	産経	7.14
『ブリツカー賞 受賞建築家は何を語ったか』ルース・ベルタソン、グレース・オン・ヤン著、小林克弘監修、杉山まどか訳	塚本 由晴	学鏡	110-2	『ミッキーの書式 戦後まんがの戦時下起源』大塚英志著	森 卓也	”	5.5
『文化的景観 生活となりわいの物語』金田章裕著	藤井 翔太	史林	498	”	阿部 嘉昭	東京	5.26
『文献と遺物の境界—中国出土簡牘史料の生態的研究—』初山明・佐藤信編	森谷 一樹	東洋史研究	71-4	『未盗掘古墳と天皇陵古墳』松木武彦著	海部 宣男	毎日	8.4
『平安京造営と古代律令国家』網伸也著	家原 圭太	歴史評論	755	『ミネルヴァのふくろうと明日の日本』近藤誠一著	森 英恵	産経	6.8
『偏愛ムラタ美術館』村田喜代子著		日経	2.24	『三宅一生 未来のデザインを語る』三宅一生著、重延浩編		日経	6.9
『ヘンな日本美術史』山口晃著		芸術新潮	757	『民俗と民藝』前田英樹著	鷲田 清一	朝日	5.26
『永青文庫叢書 細川家文書 絵図・地図・指図編II』熊本大学文学部附属永青文庫研究センター編	(蟹)	本郷	105	”	上野 誠	読売	7.28
『本の魔法』司修著	藤沢 周	東京	7.7	『名画に隠された「二重の謎」—印象派が「事件」だった時代』三浦篤著		芸術新潮	758
『マグナ・グラエキア ギリシア的南部イタリヤ遍歴』グスタフ・ルネ・ホッケ著、種村季弘訳	岡田 温司	読売	8.4	『明治初期日本政府蒐集舶載建築書の研究』池上重康著	清水 重敦	建築史学	61
『魔性の女挿絵集 大正～昭和初期の文学に登場した妖艶な悪女たち』中村圭子編著	辛酸なめ子	”	5.19	『明治神宮「伝統」を創った大プロジェクト』今泉宜子著	保阪 正康	朝日	4.14
『四月と十月文庫4 マダガスカルへ写真を撮りに行く』堀内孝著		産経	6.9	『冥府の建築家 ジルベール・クラヴェル伝』田中純著	谷川 渥	日経	2.10
”	菅 啓次郎	読売	5.5	『メディアとしての紙の文化史』ローター・ミュラー著、三谷武司訳	権山 紘一	”	6.23
『松林蘂之助 九州地方陶業見学記』前崎信也編	小野 公久	陶説	724	”	鹿島 茂	毎日	7.14
				『メモワール 写真家・古屋誠一との二〇年』小林紀晴著		芸術新潮	758
				”	いとうせいこう	朝日	2.3
				”	飯沢耕太郎	日経	1.27
				”	石田 千	読売	1.20
				『「朦朧」の時代 大観、春草らと近代日本画の成立』佐藤志乃著	横尾 忠則	朝日	6.23
				”	中島 岳志	毎日	7.14



- 『モチーフで読む美術史』宮下規久朗著 芸術新潮 765 日 経 3.3
- 『モネ、ゴッホ、ピカソも治療した絵のお医者さん 修復家・岩井希久子の仕事』岩井希久子著 出久根達郎 朝 日 7.28
- 〃 渋谷 和彦 産 経 9.26
- 『モバイルミュージアム 行動する博物館 21世紀の文化経済論』西野嘉章著 宮川まどか 東 京 2.3
- 〃 暮沢 剛巳 日 経 1.20
- 『野生の鼓動を聴く琉球の聖なる自然遺産』山城博明著・写真、花輪伸一監修 東 京 8.4
- 『柳宗悦 時代と思想』中見真理著 深澤 直人 A X I S 162
- 『柳宗悦—「複合の美」の思想』中見真理著 熊倉 功夫 日 経 8.25
- 〃 加藤 陽子 毎 日 9.8
- 〃 岡田 温司 読 売 10.6
- 『山靴の画文ヤ 辻まことのこと』駒村吉重著 出久根達郎 朝 日 3.10
- 〃 正津 勉 東 京 4.28
- 『山里に描き暮らす』渡辺隆次著 日 経 8.25
- 『大和古寺の研究』東野治之著 新川登亀男 日本歴史 786
- 『やわらかい建築の発想 未来の建築家になるための39の答え』フィルムアート社編集部編 淵上 正幸 産 経 6.30
- 『ユートピアの歴史』グレゴリー・クレイズ著、巽孝之・小畑拓也訳 宮田 珠己 日 経 8.25
- 『欲望の美術史』宮下規久朗著 横尾 忠則 朝 日 7.14
- 『よみがえる天平文様』藤野千代著 (早) 読 売 1.13
- 『夜ノ書 エットレ・ソットサス自伝』エットレ・ソットサス著、東晝子訳 佐藤 康三 日伊文化研究 51
- 『ラッセンとは何だったのか? 消費とアートを越えた「先」』原田裕規編著 黒沢 綾子 産 経 7.6
- 『ルーヴル美術館の闘い グラン・ルーヴル誕生をめぐる攻防』ジャック・ラング著、塩谷敬訳 福原 義春 〃 6.1
- 『ルネサンス 歴史と芸術の物語』池上英洋著 山川 志保 歴史と地理 661
- 『レオナルド・ダ・ヴィンチ 人体解剖図を読み解く』前橋重二著 諏訪 敦 芸術新潮 763
- 『ロゴ コンストラクション 世界のロゴデザインの発想から完成まで』パウラ・ジャコムツシ著、白倉三紀子訳 保坂健二郎 朝 日 3.24
- 『魯山人の世界』白崎秀雄著 (霧) 毎 日 8.25
- 『ロシアのマトリョーシカ』スヴェトラナ・ゴロジャーニナ著 有信 優子 東 京 7.28
- 海外刊行書
- Elizabeth Valdez del Alamo, Carol Stamatidis Pendergast, *Memory and the Medieval Tomb* (United Kingdom : Ashgate, 2000). 木俣 元一 西洋美術研究 17
- Navina Najat Haidar & Marika Sardar, eds. *Sultans of the South : Arts of India's Deccan Courts, 1323-1687* (New York : The Metropolitan Museum of Art, 2011). 石川 寛 東洋学報 95-2
- 『新出唐墓誌百種』趙文成・趙君平編選 江川 式部 東アジア石刻研究 5
- 時 評
- 前年度分
- 2012年の歴史学界—回顧と展望—日本 史学雑誌 122-5
- 古代 七 稲本 泰生
- 中世 七 美術 渡邊 雄二
- 近世 一八 美術 浅野 秀剛
- 近現代 七 美術 沓沢 耕介
- 2012年 展覧会入場者数ベスト20 「フェルメール」と「ツタンカーメン」が大盛況 国内ものでは優品揃いの「ボストン美術館 日本の至宝」 新美術新聞 1302

当年度分		受賞・美術賞					
名古屋覚の管見ギャラリー4「空気」と美術	名古屋 覚	ギャラリー一*	344	コクヨデザインアワード2012	今村 玲子	A X I S	161
通信 J to A アジアへ 5 アジアの状況を回顧する	南條 史生	新美術新聞	1331	日本の力を試す—PVC デザインアワード2013		"	163
2013 年末回顧特集		"	"	デザインを通じて社会貢献を目指す—D & AD 賞 2013	山中 彰子	"	165
美術品市場に好転の兆しも	三谷 忠彦			才能を発掘し、サポートするアワード Tokyo Midtown Award デザインコンペ		"	166
時代の趨勢は創造行為とアーカイビングの一体化	建畠 哲			from the World 捨てる代わりにデザインを「リサイクリング・デザイン賞」	小町 英恵	"	"
美術界の新たな上昇気流	山本 貞			特集 アニメーションの世界とアート 世界各国から応募が集まる 第12回東京アニメアワードコンペティション 蕪木登喜司審査委員長に聞く「作品の持つ厚みとエネルギー、それが他のものに勝っている」			
回顧2013 ワカラナイの可能性 混沌・過剰・分類不能…不明で済まぬ日展不正	大西 若人	朝日夕刊	12.18				
回顧—平成25年—		産 経	12.26			ギャラリー一*	337
建築・デザイン 7年後の「その先」見つめて	黒沢 綾子						
美術 創ることの意味を問う	洪沢 和彦						
回顧2013 美術 来場者増へ発信力磨く この1年	窪田 直子	日 経 毎日夕刊	12.5	特集 山本鼎「創作版画」の創始者 山本鼎版画大賞展		版画芸術	159
建築 問われた遺産の継承と創造	鈴木 博之		12.11	特集 川上澄生 版画の楽しみ 鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞		"	161
写真「撮り続ける意志」見せた力作	飯沢耕太郎		12.12				
文化財 話題集めた「世界遺産」土器など貴重な発見相次ぐ	栗原 俊雄		12.17	WORLD NEWS Tokyo Midtown Award 2012 明日の才能を発掘・応援するコンペティション	高橋 美礼	美術手帖	977
書 意欲的な企画展相次ぐ「SHO 2」世界にも発信	桐山 正寿		12.19	速報! 第2回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション審査結果発表!!		"	979
美術 社会を揺さぶる表現 震災後の日本 徹底的に暴く姿勢で	岸 桂子		12.26	第2回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション 審査員講評		"	980
回顧2013		読 売					
文化財 地域の歴史像描く大切さ 古墳に出土例ない遺構「いろは歌」最古の全文	清岡 央		12.11	愛知から発信する新たなアーティスト支援 堀科学芸術振興財団「Dアートビエンナーレ」「H/ASCA」	山内 宏泰	"	984
アート 日本現代美術のエネルギー 震災の受け止め深化	井上 晋治		12.12	第3回「Dアートビエンナーレ」受賞者発表!	"	"	997

INFORMATION NEWS	アートマーケット情報	桂木	紫穂	新美術新聞	
日産アートワード2013 創立80周年を迎えた日産。なぜアートワードを設立したのか?	14 バブル現象? ニューヨーク 11月 コンテンポラリー・アート市場				1302
第17回手塚治虫文化賞 これまでにない視点を評価	15 一活発な2月のロンドン市場—注目のピカソとモディリアニの恋人の肖像				1306
海外通信 @北京 マルチチュード芸術賞 アジアの多様性認め合う	16 史上最高売上で圧勝のクリスティーズ 減速のサザビーズ—12年劇的な大逆転—				1309
上質の作品選ぶ特等席 ベネチア映画祭開幕 70回記念の映画上映 「風立ちぬ」の評価注目	18 クリスティーズ 史上空前の大セール —コンテンポラリー・アート 記録続出—				1315
文化往来 若手の平面作品を表彰、VOCA賞20年	19 6月のロンドン市場—健闘するサザビーズ—				1318
<b>美術市場</b>	22 ゴッホの価格—売りに出ている『夕映えのモンマジュール』—				1327
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情	23 1点1億ドルの時代へ				1331
第10、11回 中国オークションに欠かせない現代油絵作家たち	ART FAIR TOKYO 2013 直前特集 3つの視点+出展ブースビックアップ				1305
第16回 ART Basel in Hong Kong	通信 J to A アジアへ 2 香港のアートシーンの興隆	南條	史生		1315
第17回 上海春季オークション事情	現在通信 From NEW YORK 本家 パーゼル	富井	玲子		1316
第21回 秋の上海・北京レポート	アートフェア東京 2013 現代の水墨画を国内外に発信 3月22日~24日			水墨画*	288
特集 アートフェア その未来予想図 アートフェア東京 vs G-tokyo	関東の陶芸展 アートフェア東京二〇一三	外館	和子	陶 説	722
わたし一人の美術時評	オークション情報			美術*	
第29回 美術商はすべて古物商なのだ	レビュー プレビュー 2月の落札結果から 4社軸に6件で5億5000万円 外国作家作品は海外からのビッド増加	清水	秀作		451
第33回 アベノミクスと美術市場の行方	レビュー&プレビュー				452
世界文化遺産登録記念 大特集 富士山 その絵画と信仰 美術市場レポート 富士を制する者が日本美術を制す	アートフェア レビュー・レビュー				
ART SPOT 2013 秋 中国嘉徳国際オークション 北京まで、この秋いちばんの中国美術オークションを見に行く!					

日中韓の現代アート展も盛況。いっそうアジアに特化したアート北京	江上 越	453	WORLD NEWS モスクワ ロシアの現代美術シーン最前線 一旦の落ち着きを経て、第2局へ	河村 彩	991
アート・バーゼル香港2013 西洋と東洋をつなぐ美術市場の模索	藤田 一人 レポート	454	WORLD NEWS Players in Art Market	藤高 晃右	997
どうする、どうなる? 2014年美術界	アライ=ヒロユキ、 編集部 構成	美術*	ハウザー&ワースの共同経営者に関する、マーケットを育てるギャラリー運営の根幹		995
WORLD NEWS 台北 初の秋開催を終えた、アート台北2012	宮津 大輔	美術手帖	フィリップスが仕掛けるデジタル・アートオークション		997
WORLD NEWS 上海 中国メインランドの核心にて 国際的なアート空間「SH Contemporary」	ロディオン・トロフィム ムチェンコ	” ”	視点 美術品を売るといふ事	中澤 一雄	美術の窓 356
SPECIAL FEATURE アートの買い方おしえます!	編集部	” ”	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 TODAY IS THE DAY 藤池百合子氏インタビュー 「アートで未来を描く」ビジョナリー財団、3月にベネフィットオークションを開催	藤池百合子 談	” ” 357
いま買いたい! アートカタログ	編集部		特集 香港へ アート発見にでかけよう アート・バーゼル香港2013で見つけました! 注目のアジアアート		” ” 358
初心者のためのコレクターズ・ガイド	宮村 周子		現代美術市場白書 II DATA. 01	桂木 紫穂	美術屋・百兵衛 24
WORLD NEWS ロンドン 東洋勢が席卷した新星フェア「アート13」とメディア・アートの祭典「キネティカ」	伊東 豊子	” ”	アートフェア東京 2013 美術品を買いだす場にしてほしいと目以外のもに興味をわく、それがアートフェアの魅力です	浦上 満 関 美香	目の眼 439
KISS THE HEART #2 チャリティオークションレポート アーティストとともにアートをつなぐ支援のかたち	友川 綾子	” ”	注目を浴びた東洋美術オークション アジアウィーク ニューヨーク	松田 卓治	” ” 441
INFORMATION FAIR アジア発のアートバーゼル香港で開催 アートバーゼル香港、アジアを代表するプラットフォームへ	近藤 亮介	” ”	Report 東京アンティークフェア2013		” ” 443
WORLD NEWS サンパウロ 大手ギャラリーが続々出展 注目都市サンパウロで「SP アルテ」開催	仁尾 帯刀	” ”	Report 03 新機軸のアート鑑定委員会が発足!		” ” 444
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ビエンナーレ PART II 周辺企画展示 街中できり広げられる華やかな祭典 世界最大のフェア・バーゼルでもの派が注目される理由とは?	藤高 晃右	” ”	連載 ニューヨークで出会うアジアの美 1 2013秋のアジアウィーク	朽木ゆり子	” ” 447
			Report 陶器美術館旧蔵品が出品 東京中央オークション		” ”
			特集 名古屋の画廊史		R E A R 30

インタビュー 小塚正和 名古屋コンテンポラリーアートフェア	小塚 正和			展示会における説明文の読解方略構造(I)	加藤 信男	岐阜県博物館調査研究報告	34
カタログから読むNCAFの16年	高橋 綾子			この時代、私が画廊を開く理由		ギャラリー	343
日本の現代アート、シンガポールに進出 政府が支援する振興地区に	増田 愛子	朝 日	7.24	東京駅周辺4 美術館結集! “美の交差点”で考える「都市」と「美術館」	大和 宏康 島田 紀夫 清水 眞澄 高橋 明也	芸術新潮	760
若手の絵画買ってみよう 「ワンダーシード2013」 将来は巨匠!? ユニーク公募展	渋沢 和彦	産 経	1.23	ルーヴル・ランス開館! 北フランスの個性派美術館を巡る冬の旅	編 集 部	”	”
アジアで初開催「アート・パーゼル香港」 「売れる中国市場」に熱視線	山田 泰弘	”	6.6	World New York 海外から実力派画廊が堂々参入 NYアートシーン秋の陣	藤森 愛実 取材	”	767
若手アーティスト 展示・販売で支援 ワンダーシード2013	森本 智之	東京夕刊	2.7	上野の杜の波瀾万丈 第十六回 作品展示施設の昔	吉田千鶴子	芸大通信	27
アート・パーゼル香港2013 世界最大アートフェア アジアに進出	藤田 一人	”	6.24	教育普及	一條 彰子	現代の眼	601
匂すぽっと 仏像、安らぐインテリア		日 経	12.18	ドイツの博物館教育レポート			602
<b>美術館・博物館・画廊</b>							
<b>一 般</b>							
特集 「郷土の美術」を発掘することの意味とは…。	(sy)	アートペーパー	92	神戸市立博物館開館30年記念シンポジウム § これからの博物館—果たすべき役割 §	梶本日出夫、 エミリー・ ゴーデンカ 一、 鄭 馨民、 山脇佐江子 岡 泰正 編集	神戸市立博物館研究紀要	29
開館5周年シンポジウム ミュージアム・エデュケーション21		R 金沢21世紀美術館研究紀要	5	美術館コレクションを豊かにする原動力とは	菅谷 富夫	国立国際美術館ニュース	196
ティーンエージャーをアートへ!	ラース・ニッティヴ			研究員レポート 現代美術の博物館とコレクション国際委員会(CIMAM)に参加して	米田 尚輝	国立新美術館ニュース	27
これからの美術館の使命	長田 謙一			タイのコミュニティ博物館についての考察 —博物館か、寺院か?—	平井京之介	国立民族学博物館研究報告	37-3
市場化時代の美術館と美術 公立美術館と指定管理者制度をめぐって	中塚 宏行	あいだ	205	シンポジウム報告 ヨーロッパの博物館・美術館保管の日本仏教美術コレクションと日本観の形成	神野 祐太	The Newsletter I. J. S.	18
契丹(遼)と10~12世紀の東部ユーラシア 四 その後の契丹(遼) コラム フランス・シノロジーと契丹	河内 春人	アジア遊学	160	小・中学校の美術鑑賞教育との連携について	大森 潤也	市民と博物館	106
Report (寄稿) 共同研究—日本の公立美術館の問題について	神田 直子 木村 一貫	Wave II	12	新美術時評=美術と教育=私が思う美術と教育	野呂 洋子	新美術新聞	1300
ワシントンの博物館展示とマイノリティ	光本 順	岡山大学文学部紀要	59	ブロック報告		ZENBI	

平成25年定期刊行物所載文献(他/美博)

北海道ブロック 北海道から一小規 模館から見た動静	菅 訓章	3	日本美術を海外に 紹介する一より良 い英訳を作成する ためのヒントー	白原由起子		
東北ブロック 被 災地の美術館と美 術家、その後	大野 正勝	〃	「博物館における 青少年教育」ド イツ派遣事業に参 加して	一條 彰子		
関東ブロック 美 術館の初心 関東 ブロックから	水沢 勉	3	6年間を振り返って	青柳 正規	〃	4
東京ブロック 再 生・ポータルレス・ 初	保坂健二郎	〃	博物館協議会につい て	菅野 和郎	玉川大学 教育博物 館紀要	10
東海ブロック 展 覧会(特別展)の傾 向から見えてくる もの	山田 論	〃	神奈川県地域史研究 会二〇一二年度総会 シンポジウム「地域 史と博物館」に参加 して	乾 賢太郎	地方史研 究	361
近畿ブロック 近 畿圏、近年の動向 から	奥村 泰彦	〃	第一〇回日本の地域 博物館シンポジウム 「学芸員の地域的活 動について」に参加 して	中岡 貴裕	〃	362
中国ブロック 地 域の文化資源と結 びつく美術館	前田 淳子	〃	全国歴史民俗系博物 館協議会第二回年次 集会参加報告	本間 与之	〃	366
四国ブロック 高 松、丸亀、久万、 そして徳島	吉川神津夫	〃	明治末期の北海道に おける博物館展示 (中)『札幌博物館 案内』をめぐる一試 論一	神野 慎二	東海大学 国際文化 学部紀要	5
九州ブロック 地 域の現代芸術祭と の連携による美術 館の活性化	菅 章	〃	「ミュージアム・ア クセシビリティ」へ のアプローチ	前田ちま子	名古屋芸 術大学研 究紀要	34
北海道ブロック 寒くても、遠くても	井内佳津恵	4	現場からの私的博物 館学断章	神谷 浩	名古屋市 博物館研 究紀要	36
東北ブロック 震 災を機に考える	岡部 信幸	〃	新しい建築類型とし てのポピュラーカル チャーミュージアム マンガの展示はいか に可能か	谷川 竜一	日本建築 学会計画 系論文集	684
関東ブロック 前 衛回顧展と資料展 示 地域性の視点 から	水沼 啓和	〃	平和博物館と歴史一 「戦後」日本という文 脈から考える	福島 在行	日本史研 究	607
東京ブロック 季 節の変わり目	橋本 善八	〃	近代美術館から現代 美術館へ	五十殿利治	美術運動 史研究会 ニュース	140
北信越ブロック 冬の美術館	藤田 裕彦	〃	WORLD NEWS ニ ューヨーク ハリケ ーンによる停滞ム ードから脱却! 窮地 にみせるNYアート シーンの底力	藤森 愛実	美術手帖	979
東海ブロック コ レクションによる 展覧会 30周年記 念展など	村田 眞宏	〃	WORLD NEWS ニ ューヨーク 地価高 騰に分かれる明暗 チュルシーの画廊街 に大変動	〃	〃	985
近畿ブロック 関 西の美術館の連携 について	出原 均	〃	特集 香港へ アー ト発見にでかけよう		美術の窓	358
中国ブロック 「ら しさ」の現在	椋木 賢治	〃				
四国ブロック ふ たつの祭りー地域 とアートー	神内 有理	〃				
九州ブロック ま ねのできない気合 いと気概	野中 明	〃				
全美フォーラム	ZENBI	3				

香港島南側リゾート地にあるアートの拠点 AISHO-NANZUKAの三浦愛正さんに、香港・南側のメリットを聞く	三浦 愛正 談			戦後の昭和 百貨店の美術部を思い出すまでに	石川 浩一		
シンガーポール美術館シニア・キュレーター カイルディン・ホリさんに聞きました	カイルディン・ホリ 談			制作と発表の実験 ギャラリーUとASGの時代	高橋 綾子		
ちょっとおこない、美し国のアートめぐり		美術屋・百兵衛	24	column 画廊と評論家の関わり	中村 英樹		
世界のアート事情 アジアの美術館ネットワークの可能性	古市 保子	美連協ニュース	118	誌上トーク 回廊の画廊 名古屋市内に於ける	福田久美子		
美術館における視覚障害者のためのアクセシビリティ向上について—イギリスの美術館の事例から—	米山 茉未	MUSEUM	645	column 学芸員にとって画廊巡りとは…?	原沢 暁子		
地域博物館と「公共」を担う人々について～市民・NPOとの関係を中心に～	中岡 貴裕	MUSEUM STUDY	24	画廊(文化)は社会保障である 「撤退」「切り捨て」から「包摂」へ	井上 晃治		
博物館の学習支援キット—「貸出キット」に注目して—	安田 幸世	〃	〃	資料から見た名古屋の画廊史	石崎 尚		
《特集・日本の地域博物館シンポジウム10》		MUSEOLOGIST	28	なぜ博物館に民俗展示があるのか、民俗文化財とは何か	榎 美香	歴史地理教育	799
第10回日本の地域博物館シンポジウムについて	吉田 優			特集 子供と博物館—「たいけんれきはく」開室		歴 博	179
人口7万人規模の自治体における地域博物館での仕事を振り返って—歴史?民俗?美術?自然?—	柳澤 剛			博物館は子どもが行きたい場所か?	澤田 和人		
利用者ニーズと地域博物館～春日部市郷土資料館の事例から～	實松 幸男			博物館が子どもたちにプレゼントできるもの	大月ヒロ子		
特集 はじめに光ありき 資料保存と展示と光	園田 直子	みんぱく	425	日本における子ども博物館のはじまり	佐藤 優香		
ナチュラルヒストリーの時間 5 博物館の仕事	青木 淳一	U P	484	不動の真実を創る：インドシナにおける遺跡化、博物館化とフランス近代	小田島理絵	早稲田大学大学院文学研究科紀要	58
美術館の展示と意図 III—「レンバツハハウス美術館所蔵カンディンスキーと青騎士」展から	山田 磯夫	横浜美術大学 教育・研究紀要	3	記者有論 博物館 アニメとコラボもいければ	宮代 栄一	朝 日	8.9
特集 名古屋の画廊史		R E A R	30	日曜に想う 美術館 まず見てほしい「作品」は	大野 博人	〃	11.3
画廊史研究事始め	野田 吉郎			民俗展示 現代映す 試み 豪華おせち売り場→商品経済を象徴 映像を多用→民具の使い方伝える	小川 雪	朝日夕刊	3.25
画廊史が必要な理由	坂上しのぶ			始めま専科 美術館巡り まず好みの作家探そう	(仁)	東 京	5.9
				「秘宝館」消滅の危機 魅惑のオトナ遊園地 昭和の文化遺産保存を 日本独自の芸術 海外で絶賛	出田 阿生	〃	10.6

開かれた美術館へ 横浜や国立新 障害 者向け鑑賞や託児サ ービス	東 京	10.13	美術評 アーツ前橋 開館記念展「カゼイ ロノハナ」市民と の対話通じ文化共有	岡部あおみ	東京夕刊	11.22
コンパス	東京夕刊					
学芸員が作る離乳 食	宮川まどか	3.16	美術館紹介 9 相生 森林美術館	平木 東浦 対談	美鶴、 博史、 連盟ニ ュース	448
信頼	谷村 卓哉	4.20	特集 愛知芸術文化 センターの20年とこ れから	馬場 駿吉	A A C	75
楽しい博物館 利用 者 学芸員 双方向 で探る 国立科学博 物館モニター募集へ パスポート発行し意 見収集	仁賀奈雅行	" 6.20	特集2 資料館から 美術館へ 愛知県陶 磁資料館35年のあゆ み[愛知県陶磁美術 館]	仲野 泰裕	目の眼	442
美術館ガイドでシニ アいきいき アート ボランティア人気	"	9.26				
美術・博物館、お得 な年間パス 常設展 無料や飲食割引も	土井 誠司	日 経 7.13	「出前美術館」での児 童の活躍の場につい て「出前授業」と 「子ども学芸員」の取 り組みから「秋田 県立近代美術館」	田村 稔	秋田美術	49
漫画ミュージアム新 章 全国に続々、60 館突破 学会や保存 役割多様に	瀬崎久見子	" "	AXIS×IDEO×tak- ram 対話を通じ、 アイデアを共有する 場を目指す「Col- lective Dialogue」 [AXIS GALLERY]	廣川 淳哉	A X I S	163
文化往来	"					
博物館、60年代以 前開館のベテラン 勢健闘		9.13				
美術館と博物館、 独法統合論に揺れ る		11.18	2時間でゴミへの 「問い」から「カタチ」 を生む体験—Collective Dialogue[AXIS GALLERY]	"	"	164
被災地の美術館、役 割模索 企画展への 遠い道のり	富田 律之	日経夕刊 3.12	谷中「朝倉彫塑館」秋 に新装再開 60年代 の私邸を再現	後藤 隆之 朝 日		2.20
銀座の夜画廊を「は しご」「入りづらそ う」印象変えたい		読 売 5.10	朝倉文夫 美の空間 復元 アトリエ兼旧 宅 彫塑館に自然の 光 代表作、昔のま まに鑑賞	古城 博隆	"	11.10
独法改革 博物館・ 美術館運営統合 展 示・研究の先細り懸 念	辻本 芳孝	" 12.3				
美術館連絡協議会 設立30周年 記念特 集 良質の企画展全 国に 座談会 原田 マハさんを迎えて	酒井 忠康、 豊、 原田 マハ 談 原田真由美 司会	読売夕刊 5.10	台東区立朝倉彫塑館 昭和30年代の姿戻す 「朝倉文夫のこだわり 感じて」	丹治早智子	東 京	10.25
日 本			あす「朝倉彫塑館」が リニューアルオープン	岸 桂子	毎日夕刊	10.28
(ア行)			朝倉文夫 光のアト リエ再現 改修し4 年半ぶり公開[朝倉 彫塑館]		読 売	10.30
視点 アーツ前橋オ ープンによせて	住友 文彦	美術の窓 363	島根文化考 四季を 愛でる 足立美術館		美術屋・ 百兵衛	26
対話が生み出す表現 求め「アーツ前橋」 が開館 最後発の公 立館、従来にない試 み	大西 若人	朝日夕刊 11.20	探訪ミュージアム 50 杉村楚人冠記念 館(千葉県我孫子市) [我孫子市杉村楚人 冠記念館]	白鳥 晃司	歴史地理 教育	809



アマゾン専門博物館閉館へ「命がけで集めた、散逸させないで」国内唯一民族資料2万点[アマゾン自然館/アマゾン民俗館]		読売夕刊	9.2	巻頭言 インターメディアテク待望の開館を迎える	西野 嘉章	Ouroboros	46
企画展 Topics 石川県立美術館名作の森	石川県立美術館だより		362	デザイン インターメディア・デザイン[インターメディアテク]	関岡 裕之	"	"
小林一三と二代久保惣太郎—逸翁美術館と和泉市久保惣記念美術館との接点—	河田 昌之	阪急文化	5	建築 歴史的空間のミュージアムへの転生[インターメディアテク]	松本 文夫	"	"
板橋区立美術館安村敏信館長、引退興行で口上つかまつります～	安村 敏信	芸術新潮	757	プレイベント 多様性が開く新たなミュージアムの可能性[インターメディアテク]	寺田 鮎美	"	"
にぎわう美術館を演出 分かりやすい作品名・展示室にマスコット・「不便でゴメン」ののぼり…江戸を柱に固定ファンも 安村敏信・板橋区立美術館長	大西 若人	朝日夕刊	3.6	準備プロセス インターメディアテク開館準備活動の最中—記号世界の集結	大澤 啓	"	"
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る! 8 一元堂(東京) いつかは粉引	茂木健一郎	目の眼	446	保存 標本と保存と再生[インターメディアテク]	菊池 敏正	"	"
首都圏のオアシスアビール 市原湖畔美術館にリニューアル		産 経	8.15	教育 IMT カレッジの複合教育プログラム[インターメディアテク]	松本 文夫	"	"
逸翁美術館についての一考察	塩田 昌弘	大手前大学論集	13	学問の図像とかたち 148 思考の模型 建築の転生[インターメディアテク]	"	U	P 486
小林一三と二代久保惣太郎—逸翁美術館と和泉市久保惣記念美術館との接点—	河田 昌之	阪急文化	5	美術館案内 海の見える杜美術館 名品と絶景を併せて鑑賞	編集部	聚 美	7
出光美術館における教育普及活動—芸術科(書道)における鑑賞の授業	笠嶋 忠幸	出光美術館館報	162	日本史のひろば 海の道むなな館	西谷 正	歴史と地理	670
名品と地域文化—愛媛県美術館の「出光美術館所蔵文人画名品展」報告	梶岡 秀一	"	"	浦添市美術館における教育普及活動—教育普及活動と地域ネットワーク—	又吉さやか	よのつち*	9
レポート墨 シンポジウム「二年後。今、私たちはどこにいるのか」を開催[茨城県近代美術館]		水墨画*	291	平成24年度新収蔵品の紹介[江戸東京博物館]		江戸東京博物館 NEWS	81
全美フォーラム 4 二年後。自然と芸術。そしてレクイエム [茨城県近代美術館]	市川 政憲	ZENBI	3	ミュージアムへ行こう 都の歴史遺産リアルに再現 江戸東京博物館(東京都墨田区)	鶴 結城	読売夕刊	12.17
リレーエッセイ46 被災者とうきょう向きあうか復興へ何をなすべきか 非日常の中で続く模索[いわき市立美術館]	佐々木吉晴	美連協ニュース	117	名品と地域文化—愛媛県美術館の「出光美術館所蔵文人画名品展」報告	梶岡 秀一	出光美術館館報	162
				キャンパス新発見 地域の総合博物館に愛媛大 お遍路紹介や絶滅種展示[愛媛大学ミュージアム]		日 経	6.17
				教育普及活動を考える—教職員研修から博・学連携を考える—[大阪府立近つ飛鳥博物館]	加藤 三郎	大阪府立近つ飛鳥博物館報	17

徳川園に大須文庫？ 一幻の大須文庫移転 案をめぐって	木村 慎平 蓬 左	87	卒業生による活動報 告 展覧会の仕事に たずさわって[霞会 館]	金原さやこ MUSE- OLOGY	32	
滋賀文化考 大津絵 美術館		美術屋・ 百兵衛	25			
らいふプラス 渦潮 橋の上と下から 徳 島・鳴門市「名画」 の奔流にも巻かれ [大塚国際美術館]	土井 誠司	日経夕刊	5.22	探訪ミュージアム 45 風と砂の館(石 川県内灘町)	西田 弘 歴史地理 教育	803
日本画壇の「巨星」5 氏の作品一堂に[大 山忠作美術館]	村串 栄一	東 京	6.1	全美フォーラム 空 間芸術と時間芸術の 横断 プロジェクト 「アート・コンプレ ックス」[神奈川県民 ホールギャラリー]	中野 仁詞 ZENBI	3
箱根に誕生！「岡 田美術館」探検隊		芸術新潮	768	明治に復興された金 沢文庫について[神 奈川県立金沢文庫]	飯塚 玲子 金沢文庫 研究	331
今秋オープン 箱根 に岡田美術館—岡田 美術館館長 小林忠 氏聞き書き	山口万里子 聞き手	国華清話 会報	21	日本史のひろば「金 沢文庫」	永村 眞 歴史と地 理	667
美術館案内 岡田美 術館 箱根小涌谷に 誕生する本格的な美 術館	小林 忠	聚 美	9	美博なう カードで 楽しむ「美術館」 神 奈川県立近代美術館		朝日夕刊 9.25
Special preview 近 年稀有な個人コレク ション、ついに公開！ 10月4日開館 箱根 小涌谷・岡田美術館	小林 忠 白洲 信哉 聞き手	目 の 眼	446	近代美術館鎌倉館 財政難でピンチ 「日 本の近代建築20選」 地元からは存続望む 声[神奈川県立近代 美術館(鎌倉)]		読売夕刊 11.19
箱根小涌谷「岡田美 術館」開館へ		産 経	9.26	評論の眼 銀座金澤 翔子美術館 すべての の画家への啓発	名古屋 覚 ギャラリ ー*	336
箱根に岡田美術館オ ープン 10月 日本 ・東洋の名品所蔵		東京夕刊	8.28	特集 川上澄生 版 画の楽しみ 鹿沼市 立川上澄生美術館		版画芸術 161
箱根に「岡田美術館」 開館 記念の「美の 遺産展」開催	岸 桂子	毎日夕刊	10.31	日本史のひろば 上 淀白鳳の丘展示館	長谷川明洋 歴史と地 理	670
美の仕事を追う～脳 科学者、骨董街を奔 る！ 7 オリエン ト考古美術 太陽(東 京) 好奇心の迷宮	茂木健一郎	目 の 眼	445	TOPICS 軽井沢千 住博美術館、新展示 室完成	編 集 部 美術の窓	358
				ザ・フォール際立つ 常設展示場が完成 軽井沢千住博美術館	東 京	6.8
		(力行)		アートのスポット、開 幕宣言！ 軽井沢日 動画廊 初夏の軽井 沢で寛ぎながら、名 画との出会いを楽し む		芸術新潮 761
探訪ミュージアム 47 開明学校(愛媛 県西予市)	大森 哲也	歴史地理 教育	805	関西ギャラリー再発 見 VOL.19 画廊 大千		美術屋・ 百兵衛 26
来館者アンケートか ら読み解く展示の成 果と課題 —「大正 の記憶」展と「近代日 本の学びの風景」展 より—[学習院大学 史料館]	富井 優 長谷川 怜	学習院大 学史料館 紀要	19	博物館における高齢 者対象プログラムに ついての考察[川崎 市市民ミュージアム]	内海 美佳 川崎市市 民ミュー ジウム紀 要	25
ART SPOT 2013 秋 笠間日動美術館 紅 葉の笠間で、竹久夢 二美術館の肉筆画など、 「夢二式美人画」に 思いを馳せる		芸術新潮	767	美博なう 子連れで も気兼ねなく、川崎 市市民ミュージアム		朝日夕刊 6.12

ミュージアムへ行こう 大人も子供も夢見る世界 川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム	諏訪 智史	読売夕刊	8.27	展示物の魅力を伝えるものづくり体験プログラム[九州国立博物館]	村田真知子	"	"
神田孝平から本山彦一へのパトロンリニューアル 本山コレクションの来歴―[関西大学博物館]	徳田 誠志	阡 陵	66	研究ノート 博物館における教育普及の新たな取り組みについて―九州歴史資料館の移転開館を機に―	柳 正彦 朝山陽一郎	九州歴史資料館研究論集	38
本山コレクションの青森県出土資料―佐藤藩・蓑虫山人・神田孝平と久原房之介―[関西大学博物館]	山口 卓也	"	"	文化施設で〈マンガワークショップ〉をすること―京都国際マンガミュージアムにおける実践報告から―	伊藤 遊剛 小川 直子 久保 直子	京都精華大学紀要	42
学芸員談話室9 博物館「観峰館」の挑戦	寺島 公基	同志社大学博物館 学年報	44	京都国立近代美術館五〇周年に寄せて―新館以降の企画展をふりかえって思うこと	太田垣 實	視 る	465
画廊探訪 ギャラリー 一枝香庵		美術屋・百兵衛	26	美の扉 「白樺」が息づく友情の地 清春芸術村	黒沢 綾子	産 経	8.25
関西ギャラリー再発見 VOL.18 ギャラリー39		"	24	美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る！ 3 銀座長州屋 動物が人間に到る道しるべ	茂木健一郎	目 の 眼	441
画廊の本音 ギャラリーいサムホール 本音も建前もなし、ただ、最良の空間を作り続ける。	和田 圭介	新美術新聞	1310	古ビルの美 銀座に残す 大分の若手実業家 解体、一転保存へ[銀座レトロギャラリー MUSEE]	小林 由比	東 京	6.7
画廊の本音 ギャラリーせいほう 魅せられた造形世界 彫刻と歩んで40年	"	"	1304	画廊の本音 孔雀画廊 トップアスリートから美術商へ 京橋から次代の発掘を	袴田 智彦	新美術新聞	1315
ART SPOT 2013 秋 ギャラリー竹柳堂 東京・銀座に店を構えて30年 優品ばかりが並ぶ漆工芸の雄		芸術新潮	767	危機管理マニュアルの策定と運用への取り組みについて―本館の管理・運用システムの見直し対策―[群馬県立歴史博物館]	小池 浩平	群馬県立歴史博物館紀要	34
もう一つの視線ということ―触覚と視覚と―[ギャラリーTOM]	岩崎 清	ART LIBRARY	14	博物館実習の振り返りと今後の在り方について―博物館を取り巻く情勢の変化から―[群馬県立歴史博物館]	中山 剛志	"	"
アート・ギャラリー探訪 人のふれあいを演出する、小さなギャラリー Gallery 子の星	竹見洋一郎	美術手帖	985	博物館における体験学習の成果と可能性―「わくわく体験」17年の歩みとこれから―[群馬県立歴史博物館]	小林 徹	"	"
画廊の本音 ギャラリームサシ 画廊は、作家、来廊者、画商が出会う場	能美 栄子	新美術新聞	1312	アート・センター開設20周年―[慶應義塾大学アート・センター]		ARTLET	40
契丹(遼)と10～12世紀の東部ユーラシア 三 契丹研究の新展開―近年の新出資料から 展覧会記録 契丹の遺宝は何を伝えるか―草原の王朝 契丹展の現場から [九州国立博物館]	市元 壘	アジア遊学	160				
「あじっば」を楽しむお客さま[九州国立博物館]	土屋 和美 村田真知子 池内 一誠	東風西声*	8				

平成25年定期刊行物所載文献(他/美博カ行)

芸術の未来にむけて かけがえのないアート・センター時代	鷺見 洋一			特別インタビュー「国立デザイン美術館を作る会」を立ち上げた青柳正規さんに聞く	青柳 正規	美連協ニュース	117
結節点と起動装置：アート・センターの開設をめぐる	美山 良夫			デザインで日本に希望を 国立の美術館「つくる会」立ち上げ [国立デザイン美術館]	青柳 正規 三宅 若人、 西岡 一正 編集委員	朝日夕刊	1.9
アート・センター 未来への歩み	内藤 正人			ルポ 国立デザイン美術館 日本らしさを保存を 三宅さんら「つくる会」アイデア発表 若者が学ぶ場を	永田 晶子	毎日夕刊	6.20
画廊探訪 K's Gallery		美術屋・百兵衛	27				
関西ギャラリー再発見 VOL. 20 賢祥堂美術店			〃				
建築年報2013 第1部 建築会館手冊 建築博物館—建築の知的commonsを築く	藤岡 洋保 話し手 編 A 文	建築雑誌	1649	特集 渋沢敬三と屋根裏部屋の仲間たち まなざしの広がり 北海道・樺太、台湾、朝鮮半島の収集資料 [国立民族学博物館]	齋藤 玲子	みんぱく	434
埼玉文化考 原爆の図丸木美術館		美術屋・百兵衛	27				
墨田の資料館 古伊万里 絵手紙 アンティーク家具と並ぶ [古伊万里資料館]	奥野 斐	東京	11.2	博物館に「私たちの文化」 現代日本の生活 相次ぎ展示—新 子供部屋、東北のこけし… [国立民族学博物館]	中野 稔	日 経	4.20
「びいどろ史料庫コレクション」展示室開設 [神戸市立博物館]	岡 泰正	神戸市立博物館だより	103	特集 住まいの歴史を学ぶ 実践/中学校 中学生と学ぶ室町時代の京都の町—『洛中洛外図屏風』を読み解く [国立歴史民俗博物館]	平野 昇	歴史地理教育	806
シリーズ3. 11からの歴史学 史料と展示記憶をつなぐ—津波災害と文化遺産— [国文学研究資料館]	小田 真裕	歴史学研究	909	シリーズ歴博三〇周年		歴 博	
海外流出の懸念 貴重な資料類を収集・保存・展示 国立近代建築資料館が5月上旬開館 名誉館長に安藤忠雄氏が就任		新美術新聞	1309	5 国立歴史民俗博物館での新しい経験	福田アジオ		176
from the World 国立デザインミュージアム設立に向けた新たな一歩 [国立デザイン美術館]	上條 昌宏	A X I S	161	6 企画展示、資料収集 そして研究 [国立歴史民俗博物館]	濱島 正士		177
オビニオン 青柳正規 国立西洋美術館館長、国立デザイン美術館をつくる会発起人	石橋 勝利 インタビュー・文		164	7 歴博雑感	高橋 敏		178
できるか? 国立デザイン美術館		芸術新潮	757	歴史の証人 写真による収蔵作品紹介 現代のアイヌアートの収集と展示 [国立歴史民俗博物館]	内田 順子		177
INFORMATION NEWS 日本初となる国立デザイン美術館を「国立デザイン美術館」誕生への第一歩	高橋 美礼	美術手帖	979	特集 子供と博物館—「たいけんれきはく」開室			179
				国立歴史民俗博物館における子どもと子どもを取り巻く大人への取り組み	澤田 和人 太田 歩		
				コラム1 歴博における「子どもの博物館体験」のデザイン	佐藤 優香		

歴博 民俗学の「今」を示す 展示室30年ぶりリニューアル	鷹井 慎吾 産 経	5.1	探訪ミュージアム 44 佐賀県立名護屋城博物館(佐賀県唐津市)	田中 龍彦	歴史地理教育	801
博物館に「私たちの文化」現代日本の生活 相次ぎ展示一新 子供部屋、東北のこけし…[国立歴史民俗博物館]	中野 稔 日 経	4.20	滋賀文化考 佐川美術館		美術屋・百兵衛	25
首都圏まるかじり まちを楽しむ 民俗の息吹 歴博で学ぶ 見る 歩く 「おせち」「河童」佐倉に展示[国立歴史民俗博物館]		6.8	生の時代相を照射した作品群 「佐久市立近代美術館開館30周年記念 所蔵名品選(時代)展」が開幕 開催中の(時代)展から秋季「平山郁夫展」まで一並木功館長に聞く	並木 功 油井 一人 聞き手	新美術新聞	1314
歴博の民俗展示が新装再開 同時代性と国際性 最新の研究成果が凝縮	伊藤 和史 毎日夕刊	4.2	美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る！ 4 提物屋(SAGEMONOYA) 生きる中で、私たちはチャンピオンを探している。	茂木健一郎	目の眼	442
多様な「民俗」興味深い展示 国立歴史民俗博物館		5.1	美術館紹介6 札幌芸術の森美術館	佐藤 友哉	連盟ニュース	445
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る！ 1 壺中居 ティヨウから、ウミガメに辿りついたこと。	茂木健一郎 目の眼	439	レポート墨 「二十四名の作家による—今日の墨表現展」でアーティストトーク 開催[佐藤美術館]		水墨画*	292
【連載コラム】展示室の憂鬱—意匠編[五島美術館]	渡川 直樹 五島美術館研究紀要	1	埼玉文化考 サトエ 記念21世紀美術館		美術屋・百兵衛	27
この人 「参加できる展示」人気の歴史館館長 笠松雅弘さん 素晴らしい内容でも見学者いないと意味ない[こども歴史文化館]	林 朋美 東京	10.31	ビル・マンションの中の露地 サントリー美術館「玄鳥庵」		淡 交	834
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る！ 5 古美術佃(京都) くつろぎのこだま	茂木健一郎 目の眼	443	十一年目の「たいけんびじゅつかん」—滋賀県立近代美術館の親子のためのワークショップをふりかえって—	横山 道代	滋賀県立近代美術館研究紀要	9
美の仕事を追う～脳科学者、骨董街を奔る！ 6 古美術柳孝(京都) 骨董の神さまの着物の裾	” ”	444	滋賀文化考 滋賀県立近代美術館		美術屋・百兵衛	25
(サ行)			TOPICS 「見る」と「語る」～美術館と大学との連携を通して [静岡県立美術館]	平野 雅彦	アマリス	111
戦乱・天災 強く生きる民衆[埼玉県立嵐山史跡の博物館]	小川 雪 朝日夕刊	1.21	全美フォーラム 静岡県立美術館の評価 10年を振り返って	泰井 良	ZENBI	4
建築物として見る歴史と民俗の博物館 [埼玉県立歴史と民俗の博物館]	増茂 直人 埼玉県立歴史と民俗の博物館だより	22	リレーエッセイ47 駿府に暮らして 歴史好きにはたまらない東海道往還の地 [静岡市美術館]	田中 豊稲	美連協ニュース	118
科学運動通信 原始・古代の職人集団展/職人の「わざ」と「カタ」展[埼玉県立歴史と民俗の博物館]	亀谷 弘明 歴史評論	759	報告 企画展「mite! ね。しまね 島根県立美術館のコレクションを中心に」について[島根県立石見美術館]	廣田 理沙	島根県立石見美術館研究紀要	7

コラム 「平成24年度島根県造形研究大会の受け入れ」報告 益田市立東中学校との授業連携[島根県立石見美術館]	廣田 理沙	島根県立石見美術館ニューズレター	17	研究ノート 手づくり甲冑を通じた文化財の普及啓発[高槻市立しろあと歴史館]	千田 康治	高槻市文化財年報	H23年度
島根文化考 島根県立石見美術館		美術屋・百兵衛	26	出張授業プログラム「千年の釘にいどむ」一小学校向けプログラム開発と実践に関する報告―[竹中大工道具館]	大村 都	竹中大工道具館研究紀要	24
博物館展示のいま 31 島根県立石見美術館 話芸と音楽で誘う、新感覚の美術鑑賞	川西 由里	歴 博	179	たばこと塩の博物館 移転 2015年春、墨田区へ		読 売	8.15
島根文化考 宍戸湖の景色に溶け込んだアンビエント・ミュージアム 島根県立美術館		美術屋・百兵衛	26	遺跡博物館における「語り」の役割―地底の森ミュージアム来館者アンケートの考察から―	中谷 可奈	地底の森ミュージアム研究報告*	2012
ART ESSAY 美術館開館前史 河村幸次郎名誉館長と美術館建設[下関市立美術館]	木本 信昭	潮 流	116	アートでつなぐ町民の絆 人口5000人の熊本・津奈木町で、創造する楽しさ共有[つなぎ美術館]	楠本 智郎	日 経	12.10
画廊の本音 新生堂南青山/ベルリン―原点からの挑戦	袴田 智彦	新美術新聞	1301	ART SPOT 2013 秋 DIC 川村記念美術館 レンブラントからロスコまで ここでしか出会えない作品と豊かな自然をめあてに		芸術新潮	767
戦争の記憶 もっと伝えたい 大空襲体験画 全国貸し出し来春、すみだ郷土資料館[すみだ郷土文化資料館]		東 京	3.10	デジタルアーカイブサロン番外編・第36回 通信総合博物館見学会	小林 美喜	アート・ドキュメンテーション通信	98
北斎の作品と見比べ すみだ水族館 13日からイベント[すみだ北斎美術館]	奥野 斐	〃	7.10	さよなら通信博物館 通信・郵便の歴史伝え49年、31日に幕名前変え、スカイツリーに移転	吉本美奈子	朝 日	8.29
タイムトラベル 静嘉堂文庫 東洋の粹 伝える古典20万冊	(祐)	読売夕刊	9.12	探訪ミュージアム 52 天理市立黒塚古墳展示館(奈良県天理市)	西浦 弘望	歴史地理教育	811
世田谷美術館アートライブラリーリオープンに向けての取り組み	西野友季子	世田谷美術館紀要	14	レポート墨 「夏目漱石の美術世界」展で「虞美人草図屏風」を逆さまに展示[東京藝術大学大学美術館]		水墨画*	292
日本史のひろば 仙台市博物館と国宝「慶長遣欧使節関係資料」	佐々木 徹	歴史と地理	665	創刊600号記念 じわっとしぶとい「MOMATコレクション」のこれから[東京国立近代美術館]	蔵屋 美香	現代の眼	600
平成四半世紀 バブルのあとで4 ゴッホの「ヒマワリ」 58億円 文化の花咲く[損保ジャパン東郷青児美術館]	村松権主麿	東 京	1.10	六〇〇号を迎えた東京国立近代美術館ニュース 『現代の眼』のこれまでとこれから デザイン一新、PDF版をHPで公開	大谷 省吾	新美術新聞	1319
アート・ギャラリー 探訪 若手アーティストを応援!ここから世界へ ターナーギャラリー	竹見洋一郎	美術手帖	995	1月2日!東京国立博物館 東洋館リニューアルオープン		〃	1300

東京帝室博物館学芸課日誌(昭和十三～二十年)[東京国立博物館]	田良島 哲	東京国立博物館紀要	48						「東大古生物学—130年の歴史」展のデザイン[東京大学総合研究博物館]	洪 恒夫	〃	47
トピックス 東京国立博物館東洋館リニューアルオープン「東洋美術をめぐる旅」	東京国立博物館広報室	文化財*	593						建築ミュージアム/小石川分館常設展示建築博物誌/アーキテクトニカ[東京大学総合研究博物館]	西野松本 鶴見 嘉章 文夫 英成	〃	50
資料紹介 森嶋外自筆手稿「上野公園ノ法律上ノ性質」[東京国立博物館]	田良島 哲	MUSEUM	645						文化往来 東大の歴史的建造物、建築ミュージアムに[東京大学総合研究博物館小石川分館 建築ミュージアム]		日 経	12.25
館史研究 グラスゴー博物館との物品交換事業について—資料と寄贈品にみる博物館草創期の国際交流の諸相—[東京国立博物館]	遠藤 楽子	〃	647						美術 クールな中の人のつながり「MOTアニュアル」展[東京都現代美術館]	高野 清見 読 売		1.24
特集2 トーハク(東京国立博物館)東洋館リニューアル!	白井 克也 談 集 部	目 の 眼	437						美博なう 明治へタイムスリップ 東京都写真美術館		朝日夕刊	3.13
史料紹介 世界に一つだけの東洋館 東京国立博物館東洋館リニューアルをめぐる	松本 伸之	歴史と地理	666						自分の答えをつくる—メトロポリタン美術館展鑑賞を通して [東京都美術館]	鈴木 秀樹	慶応義塾大学アート・センター年報	20
美の扉 東洋館リニューアル 時空を超えた旅 疑似体験 東京国立博物館		産 経	1.13						都美術館・蔦職・町火消—地域からたどる美術館の歴史 ミュージアム・アーカイヴズの一環として—[東京都美術館]	佐々木秀彦	東京都美術館紀要	19
熟練の職人技披露 17日まで国立博物館で企画展「伝統工芸品身近に感じられた」御徒町台東中の生徒が取材体験	臼杵 秀之	東 京	11.14						「Arts & Life:生きるための家」展覧書[東京都美術館]	河野 祐美	〃	〃
東京国立博物館 東洋館が新装再開 空間一新 じっくり鑑賞	岸 桂子	毎日夕刊	1.21						東大寺ミュージアム	梶谷 亮治	東大寺総合文化センター年報	2
王羲之の書 複製に挑戦 特別展でワークショップ[東京国立博物館]	桐山 正寿	〃	2.20						評論の眼 民度いろいろ[トーキョーワンダーサイト]	名古屋 覚	ギャラリー一*	337
ART SPOT 2013 秋 東京ステーションギャラリー 再始動から1年、東京駅の歴史も体感できる美術館		芸術新潮	767						契丹(遼)と10～12世紀の東部ユーラシア 四 その後の契丹(遼) 博物館紹介 徳島県立鳥居龍藏記念博物館	石尾 和仁	アジア遊学	160
特別寄稿 大学博物館における国際協働展示会の実践—IMTプレイベント2011—2012「台湾大学+東京大学モバイルミュージアム」の展覧会シリーズを例として [東京大学総合研究博物館]	林 怡君	Ouroboros	46						泉 富岡美術館と実篤作品	浅井 京子	美 愛 眞	25
									詩と絵「あの日」訴え 宮城被災男性 公募展で大賞 富弘美術館企画「心の内吐き出した」	美細津仁志	東京夕刊	11.30
									インスピレーション 建築 アール・ブリュットの美術館による、地方発アートの発信[輛の津ミュージアム]	ぼむ企画	A X I S	164

コンパス 振り返るべき過去[富山県立近代美術館]	黒谷 正人	東京夕刊	10.19	本よみうり堂 コミック館 新潟市に「マンガ・アニメ情報館」体験装置で表現学ぶ[新潟市マンガ・アニメ情報館]	小間井 藍子	読売夕刊	5.27
豊田市美術館と学校との連携事業―「美術館学習」(1996―2008年度)について	都筑 正敏	豊田市美術館紀要	6	特集 表現する女性たち PART 1 大村智と女流作家たち[菫崎大村美術館]	大村 智 談	美術の窓	361
Stardust review of exhibitions 巨大アートスペース 「TOLOT」、東雲に誕生[TOLOT/heuristic SHINONOME]		芸術新潮	761				
INFORMATION 東雲に巨大ギャラリー コンプレックスが誕生！[TOLOT/heuristic SHINONOME]	見島やよい	美術手帖	985	卒業生による活動報告 博物館明治村	中井 彩子	MUSE- OLOGY	32
アート町に咲く 中十和田市現代美術館「まちなか会場」 美術家が隠れた魅力発見		日経夕刊	5.1	浮世絵商今昔 羽黒洞で修業した人々	浅野 秀剛	浮世絵芸術	165
				学芸ノート「現代郷土作家展」のこれまで、これから[姫路市立美術館]	本丸 生野	姫路市立美術館だより	117
				岐路にたつ姫路市立美術館	山脇佐江子	〃	118
				いま美術館に思うこと(就任のご挨拶にかえて)[姫路市立美術館]	岸野 裕人	〃	119
				はくぶつかん こぼればなし22 学芸員の仕事紹介(1) 展示編1 資料輸送[広島県立歴史博物館]	西村 直城	広島県立歴史博物館ニュース	96
				「アジア美術」コレクションの形成―福岡アジア美術館の東南アジア・中国現代美術作品を手がかりに―	岸 清香	デアルテ	29
企業のアーカイブズ 時代経た資料 新たな価値 広告・商品、文化共有の原点[長野県信濃美術館]	松岡 資明	日 経	2.23	秀吉、官兵衛たたえる 朱印状を初公開 福岡市博物館		読売夕刊	11.25
業務報告 新聞記事でみる春季企画展「長野県の満州移民」[長野県立歴史館]	塚田 博之	長野県立歴史館研究紀要	19	福岡市美術館「夏休み子ども美術館」の歴史的変遷とその効果について	鬼本佳代子	福岡市美術館研究紀要	1
特集 名古屋の画廊史 インタビュー 中山真一 創業70年画廊業の喜び[名古屋画廊]	中山 真一	R E A R	30	文化 福島美術館で尋ねた事[福島県立美術館]	黒川 創	日 経	1.27
博物館におけるコミュニケーションツールとしての屏風絵の可能性[奈良大学博物館]	栗田美由紀	文化財学報	31	シリーズ3.11からの歴史学 史料と展示地域崩壊の危機と地域資料展―福島県飯館村の事例―[福島県歴史資料館]	本間 宏	歴史学研究	909
対話型鑑賞―所蔵作品から[新潟県立近代美術館]	宮下 東子	新潟県立近代美術館研究紀要	12	美博なう 不要な傘でテント作り[府中市美術館]		朝日夕刊	5.1
Report		Wave II		窓 関東大震災の記憶の継承と歴史教育―復興記念館の現状から考える	高野 宏康	歴史地理教育	805
2009年以降の新潟市美術館はどう変わった？	編 集 部		8				
新潟市の美術館を巡る文化の認識 [新潟市美術館]	〃		9				
新潟市美術館ができるまで―I. 建築編(上、下)	峰村 一彦		10,11				
出前美術館―学校・地域との連携事業の可能性―[新潟市美術館]	杉本 藍	新潟市美術館・新潟市新津美研究紀要	1				



新美術時評 白隠の 書画について[Bun- kamura ザ・ミュー ジウム]	島尾 新	新美術新 聞	1303	インスピレーション 建築 アール・プリ ュットの美術館によ る、地方発アートの 発信[みずのき美術 館]	ぼむ企画	A X I S	164
白隠禅画 自在かつ 複雑「メディア」使い 分け伝教 東京・渋 谷で初の大規模展 [Bunkamura ザ・ミ ュージウム]	高野 清見	読 売	1.24	ミュージアムへ行こ う 迷子になろう 宮崎ワールド 三鷹 の森ジブリ美術館(東 京都三鷹市)	佐藤 竜一	読売夕刊	10.1
細見家三代のことー 細見美術館館長・細 見良行氏聞き書きー	小林 忠 聞き手 山口万里子 構成	国華清話 会会報	22	美術館案内 三井記 念美術館 豪商三井 家歴代のコレクション	樋口 一貴	聚 美	8
museum 北から南 87 気象と芸術 空 もよう・色もよう・ 心もよう 北海道立 釧路芸術館	光岡 幸治	新美術新 聞	1302	滋賀文化考 MIHO MUSEUM キーパー ソンが語る MIHO MUSEUM 館長 辻惟雄		美術屋・ 百兵衛	25
巻頭特集 世界市場 で高騰中! 「具体」 ってなに? 画廊で マスターピースに出 会う「具体」&戦後 の前衛 ホワイトス トーンギャラリー	編集 部	美 術*	455	美の仕事を追う一脳 科学者、骨董街を奔 る! 9 ミホ・ミ ュージウム(滋賀) 根来は、人の心の温 もりそのもの	茂木健一郎	目の眼	447
美術館案内 本間美 術館 地域とともに 歩む	〃	聚 美	6	リレーエッセイ48 美術館の庭の木[宮 城県美術館]	有川 幾夫	美連協ニ ュース	119
				「無言館」の可能性	窪島誠一郎	紫 明	32
				村内美術館が模様替 え「家具と絵画の コラボレーション」		読 売	8.29
島根文化考 雪舟と 石州瓦の町、益田 益田市立雪舟の郷記 念館		美術屋・ 百兵衛	26	「冒険家・植村直己 の足跡」展 展示作 業の顛末[明治大学 博物館]	内藤 智子	MUSE- OLOGIST	28
博物館の沿革および 現状[町田市立博物 館]	田邊三郎助	町田市立 博物館年 報/紀要	2011年度	キャンパス新発見 漫画・アニメ雑誌の 宝庫 明治大 7万 冊、研究資料にも [明治大学米沢嘉博 記念図書館]		日 経	10.21
美術館紹介7 松本 市美術館	細萱 禮子	連盟ニユ ース	446	美博なう 作品が買 える直売所 目黒区 美術館		朝日夕刊	8.21
文化 招き猫にゃに ゃひやく匹「庶民 の芸術」2代にわた り収集、美術館は千 客万来[招き猫美術 館]	虫明 修	日 経	1.4	資料保存利用施設の 紹介ー茂原市立美術 館・郷土資料館ー	舛田 隆満 津田 芳男	千葉県 の文書館	18
真室川町歴史民俗資 料館主催企画展「行 屋の伸仏展」に関 する仏像の調査・撮 影・梱包・運搬・展 示補助	長坂 一郎 岡田 靖	東北芸工 大保存修 復センタ ー年報*	4	通信J to A アジア へ 4 森美術館10 周年を迎えて	南條 史生	新美術新 聞	1326
美の仕事を追う一脳 科学者、骨董街を奔 る! 2 瀨山龍泉 堂 狐とは、生命の 矛盾のことか。	茂木健一郎	目の眼	440	アート経済活動に組 み込む 六本木 森 美術館10年 アカデ ミックな判断重視 社会にもの言う存在 に	大西 若人	朝日夕刊	10.2
三重文化考 三重の アートシーンを牽引 する 三重県立美術 館		美術屋・ 百兵衛	24	開館10年…今こそ問 いかけたい愛 森美 術館 南條史生館長	宮田奈津子	産 経	4.21

森美術館10周年 佳子理事長に聞く 文化がつくる街 行中	森 進	渋沢 和彦	産 経	11.14				(ラ行)	
アート町に咲く 「文化都心」の象徴、 森美術館が10周年 生活と経済つないだ 発信地	下	干場 達矢 富田 律之 郷原 信之	日経夕刊	5.2	美術館紹介8 蘭島 閣美術館	吉川 昌宏	連盟ニユ ース	447	
					「ひとが犯した過ち」 その歴史をこそ残し たい 東日本大震災 から2年一被災地の 美術館、ここまでと これから[リアス・ アーク美術館]	山内 宏泰	あいだ	201	
(ヤ行)									
展示批評 八代市立 博物館未来の森ミ ュージアム特別展 入城400年記念「八 代城主・加藤正方の 遺産」を観て		鍋本 由徳	地方史研 究	361	震災の記憶、伝える 挑戦 リアス・ア ーク美術館常設展 宮城・気仙沼 「物」 の向こう側に導く「 言葉」	増田 愛子	朝日夕刊	7.10	
特集2 山口情報芸 術センターの10年と これから		平塚 桂	A X I S	162	津波被害忘れない 気仙沼の美術館 記 録し続ける学芸員[リ アス・アーク美術館]	森本 智之	東京夕刊	4.22	
YCAM 発の創造を 拡張する集団、 YCAM InterLab					被災者が見た被災地 気仙沼の美術館、職 員が撮った写真を展 示[リアス・アーク 美術館]	山内 宏泰	日 経	"	
原っぱで遊ぶより も意味のある時間 をいかにデザイン できるか。					時代を駆ける 2 熊谷賢 東日本大震 災 2年 市民が育 てた博物館[陸前高 田市立博物館]	永山 悦子 聞き手	毎 日	3.16	
from the World 山 口情報芸術センター 10周年記念祭、第2 期がスタート		上條 昌宏 編 集 部	"	166	視点 ルーヴル-D NPミュージアムラボ プロジェクト第二期 を終えて	久永 一郎	美術の窓	362	
INFORMATION EVENT YCAM10周年 YCAM 開館10周年、 記念祭の詳細発表！ [山口情報芸術セン ター]		岡澤浩太郎	美術手帖	979	ルーヴル+DNP「美 術鑑賞システム」IT 活用で深まる審美眼 [ルーヴルDNP ミュ ージアムラボ]	黒沢 綾子	産 経	7.11	
メディアアートの拠 点「YCAM」開館10年 未来の人材育成 感 性を自然へと開かせ る窓[山口情報芸術 センター]		黒沢 綾子	産 経	8.1					
画廊探訪 山下画廊			美術屋・ 百兵衛	25				(ワ行)	
手で触る「富嶽三十 六景」常磐大生ら 全46図作製 4段階 の凹凸で全体表現 [山梨県立博物館]		屋代 尚則	毎 日	11.21	シリーズ3.11からの 歴史学 史料と展示 特別展「災害と文化 財―歴史を語る文化 財の保全―」の開催 とその後取り組み [和歌山県立博物館]	前田 正明	歴史学研 究	903	
参加型教育美術展 「とびだせ美術館！ ―アートの種まきワ ークショップ―」[山 梨県立美術館]		市川知都理	山梨県立 美術館研 究紀要	26・27					
江戸時代・甲府の豪 商 「十一屋」コレク ション展 山梨県立 美術館			読 売	2.7					
探訪ミュージアム 48 横浜市歴史博物 館(神奈川県横浜市)		伊東 富昭	歴史地理 教育	806	WORLD NEWS オ ックスフォード+ロ ンドン 戦後の2大 巨匠からポストパン ク以降のサブカルシ ーンまで[アシュモ リアン美術・考古学 博物館]	伊東 豊子	美術手帖	995	

こころの玉手箱 能楽・金剛流宗家 金剛永謹 4 アルペール・カーン博物館 曾祖父の舞台 映像で記録	金剛 永謹	日経夕刊	6.27	World Paris 「男性／男性 1800年から現代までのアートにおける男性ヌード」展 いまなおスキャンダラス!? オルセー、真向勝負の男性ヌード展[オルセー美術館]	羽生のり子 取材	芸術新潮	768
WORLD NEWS ベロオリゾンテ ブラジルの注目アートの宝! 熱帯雨林の中にある巨大アートセンター[イニョチン現代アートセンター]	仁尾 帯刀	美術手帖	979	地球ミュージアム紀行 大草原の小さな博物館—カザフスタンにおける博物館活動と教育活動をつなぐ試み[カヌシ・サトバエフ学校]	藤本 透子	みんなく	426
地球ミュージアム紀行 歴史織りなすキルト[インターナショナル・キルトスタディーセンター・アンド・ミュージアム]	鈴木 七美	みんなく	432	世界のアート事情 韓国国立現代美術館 分館 徳壽宮美術館	金 恵信	美連協 ニュース	117
各室に目玉 作品理解手助け ウィーン美術史美術館 スタカンマー再開	井上 晋治	読 売	7.4	地球ミュージアム紀行 北アリゾナ博物館	伊藤 敦規	みんなく	435
World London 「戦争ゲーム」展 絶対タブーのゲームに大人は仰天 戦争ゲームは子供を洗脳するのか!? [ヴィクトリア&アルバート子供博物館]	内田 取り	芸術新潮	767	キムラン—陶磁発見から博物館建設まで [キムラン陶磁器歴史博物館]	西村 昌也 西野 範子	陶 説	726
海外通信 @ロンドン 「デビット・ボウイ・イズ」展 多彩なアーティスト彩る300点[ヴィクトリア&アルバートミュージアム]	菅 伸子	朝日夕刊	6.12	World London 「ヴィクトリアーナ: リヴァイヴアルのアート」展 現代アーティストを刺激するヴィクトリアン精神、再び[ギルドホール・アート・ギャラリー]	内田 取り	芸術新潮	768
英国王立植物園に所蔵された日本漆器コレクションの概要—津軽・会津・若狭・輪島・金沢の作例紹介をかねて—	木曾久美子	石川県輪島漆芸美術館紀要	8	小特集 目指すはアジアの発信地、シンガポールの現代アート熱情[ギルマン・バラックス]		”	762
地球ミュージアム紀行 エルデニ・ゾー博物館—モンゴル最古のチベット仏教寺院	小林 繁樹	みんなく	424	館史研究 グラスゴー博物館との物品交換事業について—資料と寄贈品にみる博物館草創期の国際交流の諸相—	遠藤 楽子	MUSEUM	647
ブーシキン美術館展 コラム フランス名画の二都往来[エルミターージュ美術館]	塚原 晃	神戸市立博物館だより	104	WORLD NEWS ボン 「我が家」は本当に癒しの場、幸せの場か? 「HEIM-suchung」展[クンストゼウム・ボン]	河合 純枝	美術手帖	991
民衆のための美術館—オークランド美術館訪問記	後藤 宣代	美術運動史研究会 ニュース	135	World News Paris 「愛しき髪 軽薄さと戦利品」展 戦利品、呪術道具、誘惑の手段…古今東西オール・アバウト・ヘアー[ケ・ブランリー美術館]	羽生のり子 取材	芸術新潮	758
地球ミュージアム紀行 南半球で創られる中国イメージ—オーストラリア華人歴史博物館	河合 洋尚	みんなく	429	両大戦間期のジュ・ド・ボーム—「現代外国美術館」として活動の総合的研究—	磯谷 有亮	鹿島美術財団年報・別冊	30

WORLD NEWS オックスフォード+ロンドン 戦後の2大巨匠からポストバンク以降のサブカルシーンまで[現代美術館]	伊東 豊子 美術手帖	995	第20回 時代肖像一当代芸術30年展 part 2 [上海当代芸術博物館]		343
視点 晩秋なお暖かい台南、故宮博物院の旅先チェック[故宮博物院(台北)]	竹澤 雄三 美術の窓	353	シリア国立アレppo博物館ユーセフ・カンジョウ館長 文化遺産復興への支援を	読売夕刊	6.8
北京故宮に分院計画 35キロ北 収蔵・修復手狭で[故宮博物院(北京)]	竹内誠一郎 読 売	12.31	韓国、シンガポール現代アートの新国立美術館 教育と調査研究を重視 価格よりも価値に目を[シンガポール国立美術館]	井上 晋治 読 売	11.14
World News Paris 「遊びの芸術、芸術の中の遊び」パピロンから西欧中世展 古代から中世まで遊びと芸術の二人三脚[国立クリュニー中世美術館]	永島 章雄 取材 芸術新潮	759	小特集 目指すはアジアの発信地、シンガポールの現代アート熱情[シンガポール美術館]		芸術新潮 762
特集 フランスの至宝、まさかの来日!《貴婦人と一角獣》に秘められた恋 コラム1 バリに息づく中世の館 クリュニー美術館	編集部 //	761	地球ミュージアム紀行 狩猟採集文化のデパートーインド、アンダマン島の人類学博物館	池谷 和信 みんなく	434
韓国、シンガポール現代アートの新国立美術館 教育と調査研究を重視 価格よりも価値に目を[国立現代美術館(韓国)]	井上 晋治 読 売	11.14	地球ミュージアム紀行 スクマ族の小さな世界ータンザニアのスクマ博物館	近藤 雅樹 //	428
近代中国美術の胎動1 伝統絵画の革新 コラム 中国初の国家博物館ー古物陳列所	戦 暁梅 アジア遊学	168	海外アート info-maniac 2 Edinburgh 醜い老婆から美魔女まで 画家を魅了した魔女の肉体とは[スコットランド国立近代美術館]	前橋 重二 芸術新潮	766
評論の眼 民度いろいろ[サンパウロ美術館]	名古屋 覚 ギャラリー*	337	World News New York 巨大化&スター作家引き抜きでNYアートを脅かす チェルシーの大手画廊 [ズワーナー画廊]	藤森 愛実 取材 //	761
地球ミュージアム紀行 エチオピア初の私立博物館ーシェリフ・ハラール博物館	川瀬 慈 みんなく	427	World News Madrid 「アルバ家の遺産 芸術の庇護」展 ゴヤとも縁が深かったアルバ家コレクションを大公開[セントロセントロ]	福田 直子 取材 //	759
「食」テーマに展覧会 [シカゴ美術館]		日 経 12.12	World News London 「アイス・エイジ・アート モダン・マインドの出現」展 開催までに要した年月4万年! 世界初、氷河期アートの傑作選[大英博物館]	前橋 重二 //	
現在通信 From NEW YORK ジャパンソサエティの現在 [ジャパンソサエティ・ギャラリー]	富井 玲子 新美術新聞	1330	「ポンペイとヘルクラネウムの生と死」展 古代ローマ時代の「秘密の部屋」からお出ましのエロチカ[大英博物館]		760
Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情	梶川 強 ギャラリー*				762
第14回 上海当代芸術博物館		337			
第19回 時代肖像一当代芸術30年展 [上海当代芸術博物館]		342			

大規模春画展 遠い「故郷」あからさまな表現に賛否[大英博物館]	増田 愛子 朝 日	12.11	WORLD NEWS 北京 古くて新しい“民国期”今、その回顧が持つ意味とは？[798芸術区]	多田 麻美 美術手帖	979
大英博物館で画期的な春画展 人間考える手がかかり	木下 直之 東京夕刊	11.5	現在通信 From NEW YORK サウンドのアート[ニューヨーク近代美術館]	富井 玲子 新美術新聞	1324
地球ミュージアム紀行 大韓民国歴史博物館	朝倉 敏夫 みんなく	433	INFORMATION NEWS MoMAの新ジャンルにビデオゲームコレクション ゲームはアートか？ MoMAが収集をスタート[ニューヨーク近代美術館]	藤高 晃右 美術手帖	980
WORLD NEWS 台北 ヴェネツィア・ビエンナーレ参加作家発表で議論が熱を帯びる、台北市立美術館	岩切 みお 美術手帖	984	文化往来 和紙1000点集めた展覧会 英国で開催[ノリッチ美術大学ギャラリー]	日 経	3.19
特別寄稿 大学博物館における国際協働展示会の実践—IMTプレイベント2011—2012「台湾大学+東京大学モバイルミュージアム」の展覧会シリーズを例として[台湾大学博物館群]	林 怡君 Ouroboros	46	作品を制作したときと同じ光のもとでの鑑賞体験を ヘルツォーク&ド・ムーロン設計のバリッシュ美術館	吉田 実香 A X I S	161
世界のガイド便り 中国北京市 中央美術学院美術館 中国アートの発信地	原口 純子 産 経	8.30	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第13回 上海の画家たちのアトリエ事情[半島1919]	梶川 強 ギャラリー	336
北京で時間の美術展 [中央美術学院美術館]	日 経	3.14	from the World 伝説的な2つの空間 ハンブルク美術工芸博物館リニューアル	小町 英恵 A X I S	164
現代中国書法事情 254 中国印学博物館	種谷 萬城 書道界	280	World News Málaga 「グロテスク・ファクター」展 芸術におけるグロテスクの「効用」500年史[ピカソ美術館]	前橋 重二 芸術新潮	758
WORLD NEWS ロンドン 新ギャラリー「デイリー」オープン！ 助成金水河期を救うコレクターの慈善活動[デイリー・アート・センター]	伊東 豊子 美術手帖	987	「ジャポニスム マッキアイオーリから1930年代に至る(トスカーナ美術に対する)極東の影響」に関して[ピッティ宮殿近代美術館]	石井 元章 ジャポニスム研究	33
WORLD NEWS テグ(大邱) 韓国南部に誕生した新たなアートハブとアジアのメディア表現の今[大邱アートファクトリー]	島貫 泰介 " "	" "	PARIS 発 アール・ヌーヴオー、アール・デコ再考[ピナコテック美術館]	安部 雅延 新美術新聞	1317
近代中国美術の胎動 1 伝統絵画の革新コラム 土山湾画館一洋画の揺籃としての評価高まる[土山湾孤児工藝院絵画部]	東家 友子 アジア遊学	168	プーシキン美術館展コラム フランス名画の二都往来	塚原 晃 神戸市立博物館だより	104
海外アート info-maniac 4 London 似てない肖像画とエリザベス朝のアイデンティティ[ナショナル・ポートレート・ギャラリー]	前橋 重二 芸術新潮	768	プーシキン 名画の余韻 来る?!なら行っちゃえ[プーシキン美術館]	原田 マハ 朝 日	8.1

平成25年定期刊行物所載文献(他/外、海外展ア行)

ロシアNOW 文化施設 トップ交代相次ぐ プーシキン美術館も「魂は残し現代化」 ロシヤク新館長	ヤン・シェンクマン	毎日	8.8	ルーヴル+DNP「美術鑑賞システム」IT活用で深まる審美眼 [ルーヴル美術館]	黒沢 綾子 産 経	7.11
folkヴァング美術館展示史研究—非西欧美術へのまなざしと「心理的親縁性」の概念をめぐる—	安永麻里絵	鹿島美術財団年報・別冊	30	ルーヴル 拡大と改革 元炭鉱の町に分館 イスラム展示重視 美の蓄積、世界へ	富田 律之 日 経	6.15
フリーア美術館 ゲルハルト・ブルヴェラー日本絵本コレクション目録稿	浅野 秀剛 ロバート・キャンベル テイモシーク・クラウ 佐藤 悟 鈴木 惇	国文学研究資料館調査研究報告	33	ルーヴル美術館に日本の最新技術 モナリザ照らすLED 東芝製採用 景観損ねず建物も美しく	宮川 裕章 毎日	7.27
ホイットニー美術館デザインとブランディング	村山 にな	文環研レポート	32	from the World 名作を柔らかに包むモダンな空間「ルーヴル・ランス」	編集部 上條 昌宏 A X I S	162
特別展インタビュー 探求人に聞く ポストン美術館日本美術の至宝	河野 元昭 森實久美子 聞き手	Asiage	27	世界のアート事情 12月4日、ランス市に「ルーヴル・ランス」が開館	今津 京子 美連協ニュース	117
「耳飾りの少女」、来場者世界一「精巧さ、日本人好み」 マウリッツハイム美術館 ゴーデンカー館長に聞く	野島 淳 朝 日		6.12	美の扉 交差する文化 時空超えて実感 ルーヴル・ランス	黒沢 綾子 産 経	7.21
地球ミュージアム紀行 マケドニア博物館のお宝	ゴルダン・ニコロフ 山中由里子 訳	みんぱく	425	チベット仏教間近に [ルービン美術館]		日 経 8.8
ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン1956-2008 一工芸/CRAFTの行方	木田 拓也	東京国立近代美術館研究紀要	17	WORLD NEWS ウィーン 自然と人の営み 雲と漂う社会の明日はどこへ [レオポルト美術館]	かないみき 美術手帖	987
特集 香港へ アート発見にでかけよう 文化地区として再生が進む九龍 M+オープンに向けて [M [ミュージアム]+美術館]		美術の窓	358	World News London 「医師、解剖、死体盗掘者」展 これぞ解剖学的に正しい磔刑像 ある死刑囚の偉大なる貢献に、合掌 [ロンドン博物館]	前橋 重二 芸術新潮	757
from the World ミラノ・トリエンナーレ美術館 開館80周年	仙田 周平	A X I S	165	Art Report in Asia 中国・最新アーティスト事情第12回 龍美術館	梶川 強 ギャラリー	335
現在通信 From NEW YORK メトロポリタンいろいろ [メトロポリタン美術館]	富井 玲子	新美術新聞	1319	海外展		
公共スペースを大改装 [メトロポリタン美術館]		日 経	2.14	(ア行)		
「生きたユダヤ人」展示 盛況 ベルリン「相互理解のため」に賛否 [ユダヤ博物館]	篠田 航一	毎日夕刊	5.20	書2013 「漢韻和風」 杉雨の営み [青山杉雨のコレクションと書、上海博物館、4/20—7/2]	菅原 教夫 読 売	5.9

WORLD NEWS ク イーンズランド ア ジア、パシフィック の現代アートに流れ る歴史文化を表出さ せた、APT 7 [アジ ア・パシフィック・ トリエンナーレ・オ ブ・コンテンポラリ ー・アート 7回、ク イーンズランド州立 クイーンズランド美 術館、クイーンズラ ンド州立近代美術館、 2012/12/ 8—2013/ 4/14]	飯田志保子	美術手帖	980	TOPICS 2 国際 展が外交の舞台に なる？	伊東 豊子		
WORLD NEWS ダ ッカ 変化の真っ只 中、次のステージを 模索するバングラデ イッシュのアートシー ン [アジア・ア ート・ビエンナーレ・ バングラデシュ2012 15回、バングラデシ ュ・シルパカラ・ア カデミー、2012/12/ 1—12/31]	五十嵐理奈	"	"	TOPICS 3 小国 受賞の鍵は「協働 性」	"		
World special Venez ia 今年のヴェネツ ィアはアル・ブリ ュットが台風の目 [ヴェネツィア・ビ エンナーレ55回、ジ ャルディーニ、アル セナーレ他、6/1 —11/24]	保坂健二郎	芸術新潮	765	TOPICS 4 トラ ンスナショナル・ キュレーションの 波がきた!?	"		
特別寄稿 今年もヴ ェネツィア・ビエン ナーレで考えたーヴ ェネツィア・ビエン ナーレ2013レポート	南  宏	美術*	455	TOPICS 6 参加 価値が問われるピ エンナーレ	"		
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ビ エンナーレ PART I 企画展「エンサイク ロペディック・パレ ス」芸術の起源に 迫る「百科事典」		美術手帖	989	国別展示セレクシ ョン	"		
TOPICS 1 史上 最年少ディレクタ ーの挑戦とは？ マシミア・ノ ・ジョーニ イン タビュー	北澤ひろみ 聞き手・構 成			日本館特別レポー ト 田中功起イン タビュー	木村絵里子 聞き手・構 成		
アウトサイダー・ アートが美術界の メイン・ストリー ムへ!	藤森 愛実			日本館特別レポー ト 集合意識—ア ートと災害	リリー・ワ イ 評 奥村 雄樹 翻訳		
制度批判が導く視 覚旅行	かないみき			日本館特別レポー ト 経験の共有— 分かち合うこと	ドミニカス ・ミユラー 評 河合 純枝 翻訳		
SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ビ エンナーレ PART II 国別展示 世界88か 国を代表する作家が 一同に!	"	"	"	日本館特別レポー ト レビュー 「ジャルディーニ を越えて」	伊東 豊子		
				SPECIAL FEATURE ヴェネツィア・ビ エンナーレ PART III 周辺企画展示 街中 でくり広げられる華 やかな祭典	"	"	"
				TOPICS 7 もの 派が美術史の序列 を変える？	"		
				TOPICS 9 キュ レーションもリメ イクの時代へ	"		
				TOPICS 10 オブ リストと探るパフ ォーマンスの未来 形	中原紗代子		
				周辺企画展示セレ クション	かないみき 編 集 部		
				年報と百科事典 [ヴ ェネツィア・ビエン ナーレ55回、ジャ ルディーニ、アルセ ナーレ他、6/1—11/ 24]	藤川 哲	REAR	30
				遠回りの先 理解と 共振 日本館が特別 表彰 ベネチア・ビ エンナーレ 震災じ っくり表現/展示手 法問い直す	大西 若人 朝 日		6.4

混沌からアート再定義 ベネチア・ビエンナーレ「百科事典的な宮殿」祝祭性や刺激、影薄く	大西 若人	朝日夕刊	6.12	WORLD NEWS ニューヨーク アメリカ初の「具体」回顧展が開催 欧米中心のモダニズム通史を見直す試み	藤森 愛実	美術手帖	984
ベネチア・ビエンナーレ関連企画展 ニューモアの中 社会性メッセージ	"	"	7.17	展覧会の無意識[具体:素晴らしい遊び場所、グッゲンハイム美術館、2/15—5/8]	尾崎信一郎	REAR	30
ベネチア・ビエンナーレを見て 啓蒙でなく未知を实践 日常と芸術のあり方 ひっくり返した日本館	岡部あおみ	東京夕刊	9.4	「真剣に遊ぶ」精神訴える 関西の前衛集団「具体」ニューヨークで回顧展	富井 玲子	朝日夕刊	3.13
現代美術の祭典 ベネチア・ビエンナーレ 混沌の中に「人類の叡智」	小川 敦生	日経夕刊	7.1	盛況だったNYでの具体展 生き生きと自由を遊ぶ	岡部あおみ	東京夕刊	3.25
第55回ベネチアビエンナーレ報告 上、下	岸 桂子	毎日夕刊	7.10,11	現代日本の書代表作家パリ展 精髓世界が体感[現代日本の書 代表作家パリ展 SHO2、フランス国立ギメ東洋美術館、10/23—2014/1/13]	桐山 正寿	毎日夕刊	9.26
ベネチア・ビエンナーレ報告 上、下	井上 晋治	読 売	6.12,13	書の世界 現代日本の書代表作家パリ展 SHO2 街に溶け込む文字の魅力	"	"	10.24
オリンピックファイナーアーツ2012(ロンドン)を終えて [Creative Cities Collection—Fine Arts Exhibition 2012 (London)、パーピカンセンター、2012/8/1—8/10]	水上 泰財	連盟ニュース	445	パリで「SHO2」 今年も書の魅力発信	"	"	10.31
(力行)				「書の日仏交流」今後も 第2回現代日本の書代表作家パリ展	島谷 弘幸	"	12.9
WORLD NEWS ロサンジェルス 日本、アメリカ、ヨーロッパの絵画から考察。絵画の虚空と終焉、新たな始まり[絵画の破壊:虚空/終焉を描く1949—1962、ロサンジェルス現代美術館、グランドアベニュー館、2012/10/6—2013/1/14]	廣 李果	美術手帖	977	国際現代美術展「SO MANY MINDS 2」[チェンマイ大学付属アートセンター、1/4—1/18]	永曾 郁夫	ギャラリー一*	336
World News New York 「具体、素晴らしい遊び場」展 具体旋風 グッゲンハイムで巻き起こる [具体:素晴らしい遊び場所、グッゲンハイム美術館、2/15—5/8]	由本みどり 取材	芸術新潮	760	WORLD NEWS コチナムジリス インド待望のビエンナーレが南インドの港町コチで開催! [コチナムジリス・ビエンナーレ2012、フォート・コーチン地区他、2012/12/12—2013/3/13]	黒岩 朋子	美術手帖	982
現在通信 From NEW YORK NYの具体回顧展・第一報、承前	富井 玲子	新美術新聞	1305、1308	(サ行)			
ニューヨークの「東京」展と「具体」展を通して考える—欧米での日本前衛美術ブーム	由本みどり	美術運動史研究会 ニュース	134	韓国・釜山ビエンナーレ姉妹展 シーアートフェスティバル 2013[ソンドビーチ、9/14—10/13]	美 術*		458
				パウハウスの軌跡 [シカゴのパウハウスの遺産、ウクライナ現代美術研究所、8/9—9/29]	日 経		9.12



SPECIAL ISSUE シャルジャ・ビエンナーレ11 キュレーター・長谷川祐子インタビュー[「アート・アンド・ヘリテージ・エリア」、3/13—5/13]	ダリル・ウィー、編集部 聞き手	美術手帖	985	World News New York 「TOKYO 1955—1970 新しい前衛」展、いまこそ“新しい”日本の前衛、再発見[東京1955—1970：新しい前衛、ニューヨーク近代美術館、2012/11/18—2013/2/25]	由本みどり 取材	芸術新潮	758
Exhibition Review 文化地図を求めあてのない旅[シャルジャ・ビエンナーレ11、アート・アンド・ヘリテージ・エリア 3/13—5/13]	ダリル・ウィー	”	”	現在通信 From NEW YORK めでたさも中くらいなり東京展	富井 玲子	新美術新聞	1300
中庭が映す中東文化 シャルジャ・ビエンナーレ 現代性を重ねて再定義	大西 若人	朝日夕刊	5.8	全美フォーラム 戦後美術のダイアグラム A New Avant-Garde Tokyo 1955—1970展によせて	光田 由里	ZENBI	4
TOPICS 第45回 欧米国際公募スペイン美術賞展 入賞作品発表[ラ・パシオン美術館、フランセサス教会、カサ・レビージャ、5/10—6/16]		美術の窓	362	ニューヨークの「東京」展と「具体」展を通して考える—欧米での日本前衛美術ブーム	由本みどり	美術運動史研究会 ニュース	134
WORLD NEWS ロンドン 日本のアウトサイダー・アート「Souzou」を主題にロンドン初上陸 [Souzou：日本からのアウトサイダー・アート展、ウエルカム・コレクション、3/28—6/30]	伊東 豊子	美術手帖	985	「東京」展レポート 戦後日本の美術が米国に上陸 MoMAで「東京」展開催	藤森 愛実	美術手帖	982
				MoMAで「TOKYO 1955—1970」展 東京の膨張 豊穡な混沌 戦後日本美術の研究 うねり再び	林 道郎	読売	2.7
				(十行)			
		(夕行)		ようやく日中漫画展 南京 尖閣問題で半年遅れ[日中漫画展、日中友好会館、3/24—3/28]	今村 太郎	東京	3.25
寄贈の日本美術公開 [大胆な目、ミネアポリス美術館、10/6—2014/1/12]		日経	7.11	エルメス工房で創作 [ヌーヴェル・ヴァーグ、パレ・ド・トーキョー、6/21—9/9]		日経	7.11
海外通信 @パリ 「DYNAMO 光と動きの世紀1913—2013」展 知覚追究 美のダイナミズム[ダイナモ 光とムーブメントの世紀1913—2013、国立グランパレ美術館、4/10—7/22]	飯田 真美	朝日夕刊	4.24	(八行)			
視覚アートの展覧会 [ダイナモ 光とムーブメントの世紀1913—2013、国立グランパレ美術館、4/10—7/22]		日経	5.9	書の世界 第5回 益山書芸ビエンナーレ 文化交流への強い意欲[益山広域市文化会館、11/11—11/15]	桐山 正寿	毎日夕刊	11.14
藍染の古布に光[簡描 日本の藍の布、ギメ東洋美術館、7/10—10/7]		”	9.12	(マ行)			
				文化往来 ミラノで 日本漫画の特別展、600作品一堂に[ミラノマンガフェスティバル2013、ロトンダ・ディ・ヴィア・ベザーナ他、5/3—7/21]		日経	5.3

平成25年定期刊行物所載文献(他/海外展マ、ラ行)

- 北斎から現代まで  
日本の漫画を紹介  
ミラノで大規模展覧  
会[ミラノマンガフ  
ェスティバル2013、  
ロンドン・ディ・ピ  
ア・ベザーナ他、5  
/3—7/21]
- 手塚さや香 毎日夕刊 5.1
- 北斎から現代まで  
200年 ミラノで日  
本マンガの回顧展
- 竹内オサム // 6.6
- from the World イン  
テリア空間を喚起  
する光とエネルギー  
メゾン・エ・オブジ  
エ9月展[メゾン・  
エ・オブジエ2013  
9月展、パリ・ノー  
ル・ヴィルバント見  
本市会場、9/6—  
9/10]
- 上條 昌宏  
編集部 A X I S 166
- 通信 J to A アジア  
へ 3 台湾の都市、  
建築[メタボリズム  
の未来都市展、中山  
創意基地URS21、7/  
14—11/3]
- 南條 史生 新美術新  
聞 1320
- 書の世界 文字文明  
展 内向きの日本に  
危機感[文字文明展  
2013、昌原城山ア  
ートホール、9/24—  
9/30]
- 桐山 正寿 毎日夕刊 10.17

(ラ行)

- インスピレーション  
アート「Re: Quest  
—1970年以降の日本  
現代美術」展[ソウル  
大学校美術館、3/  
5—4/14]
- 暮沢 剛巳 A X I S 164
- 視点 ソウルで開か  
れた日本現代美術展
- マツモトト  
オル 美術の窓 356

## 美術展覧会図録所載文献

### 企画展

(ア行)

アーティスト・ファイル2013—現代の作家たち 国立新美術館

ダレン・アーモンド—時間をめぐって	西野 華子
東亭順	宮島 綾子
ジョン・ヨンドゥ	西野 華子
利部志穂の作品について	南 雄介
《返本還元》から《竜神》へ—國安孝昌の仕事	福永 治
ナリニ・マラニ	本橋 弥生
中澤英明の絵画	福永 治
志賀理江子：写真における身体とイメージ	長屋 光枝

アートアイランズ TOKYO 国際現代美術展2013 3回 大島／新島

§ 作家の言葉 §	岩崎幸之助
〃	植松 美早
〃	エサントモコ
〃	大谷 早苗
〃	貴俵 秀行
〃	小林 美穂
〃	佐々木愛美
〃	佐藤 淳
〃	武田カズノリ
〃	高田 芳樹
〃	ヒグマ春夫
〃	本田真理子
〃	南 優
〃	オックーナム・リー
〃	カウエイ・ティ・リー
〃	シルパ・ジョグレカア

〃	シャルロット・バラレル
〃	ティ・コバヤシ
〃	ヨンミン・キム
〃	李 容旭

アートがあればII 9人のコレクターによる個人コレクションの場合  
東京オペラシティアートギャラリー  
アートがあればII 堀 元彰  
アートが絵本と出会うとき —美術のパイオニアたちの試み— うらわ美術館他

絵本の影—ラディカルな表現のために	水沢 勉
日本の絵本をめぐる20世紀	中村 美幸
ちいさいひととさきっぽと—絵本と前衛・いくつかの接点	山田志麻子

アートといっしょ こども+おとな+夏の美術館 群馬県立近代美術館

アートを身近に感じるために—「アートといっしょ」の場合	熊谷ゆう子
アーティストからのメッセージ	さとうりさ
〃	祐成 征徳
〃	遠藤 夏香
〃	タムラサトル
〃	志村 信裕

Urban Narratives—ある都市の物語 — エスパス ルイ・ヴィトン東京

キュレーターのデスクより—ある都市の物語	ナナク・ガングリー
無題	アディプ・ダッタ
アンナー—無言の声	スネハシシュ・マイテイ
マスク—媒介	〃
マスク	〃

スカイライン(インスタレーション)	セカール・ロイ
乱れたデザイン	ビヤリ・サドゥカーン
カモフラージュド(アイデアスケッチ)	〃
むしろ夢を保護している	〃
無題	〃

あいちトリエンナーレ2013 Awakening 揺れる大地—われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活 愛知芸術文化センター／名古屋市美術館／長者町会場／納屋橋会場ほか

大地が揺れるとき	五十嵐太郎
夢遊	ルイス・ビッグス 鈴木 俊晴 翻訳
アーティストによるレッスン—芸術はどのように共同体と関わるのか	住友 文彦
他者への苦痛への関与	飯田志保子
遅れる美術	押戸 雅彦
3.11以降の映像表現についての一考察	越後谷卓司
「揺れる大地」とサミュエル・ベケット	小崎 哲哉

アクアライン Art along the shore 札幌美術展 札幌芸術の森美術館

Art along the shore —水と美術の諸相—	今村 信隆
飛鳥寺2013 奈良文化財研究所飛鳥資料館	本文[解説文] 加藤 真二
飛鳥・藤原京を考古科学する 奈良文化財研究所飛鳥資料館	奈良
コラム 高松塚古墳壁画の考古科学	高妻 洋成
遊び 京都国立博物館	

遊びの領分	永島 明子	生かされた女性美 —素顔それとも虚 構	星野万美子	コラム9 出雲大 社と『出雲国風土 記』・御師の神徳 弘布	”
熱々! 東南アジアの現代美術		後記	星野 桂三	コラム11 神々へ の捧げものとして の古神宝	的野 克之
Welcome to the Jungle	横浜美術 館他	いきものと生きる—“いのち”の物語 — 大分県立歴史博物館		出雲阿国展 “天下一”のアイドルの 系譜 初期歌舞伎図から寛文美人図 まで 島根県立美術館	
ジャングルへよう こそ	カイルディ ン・ホリ 山川 純子 翻訳	コラム2 涅槃図 のなかの動物たち	高宮なつ美	カブキモノと阿国 歌舞伎の図像	奥平 俊六
1998→2013/イン ドネシア、日本、 そして東南アジア	木村絵理子	コラム4 絵馬の 中のいきもの	菅野 剛宏	イタリア・ボローニャ国際絵本原画 展2013(Illustrators annual 2013)	
重なり合う東南ア ジアと日本 水を 介するアイデンテ ィティー	天野 太郎	池部政次コレクションの中国明清の 書画 早稲田大学会津八一記念博物 館		板橋区立美術館他	
プラナカンの島へ /から	管 啓次郎	池部政次コレクシ ョンについて	金 志虎		エティエン ヌ・ドゥル セル タシエス マリア・グ ラツィア・ マツズィテ ッリ ジュンコ・ ヨコタ ギータ・ウ オルフ
渥美窯 あつみよう 国宝を生んだ その美と技 田原市制施行10周年 記念特別展 田原市博物館		異国と出会った江戸絵画—神戸市立 博物館名品展— 視覚×革命 九州 国立博物館		2013年ボローニャ 国際絵本原画展国 際審査団	
特論編 渥美窯 秋草文壺の表象世 界—「宝瓶」信仰の 視点から再考する —	荒川 正明	神戸市立博物館と 兵庫の大コレクタ ー池長孟	勝盛 典子 塚原 晃		
特論編 中世の先 駆け・渥美焼	八重樫忠郎	海をこえる、海が つなぐ、一八世紀 日本と異国の絵画	鷺頭 桂	審査報告	
特論編 渥美窯製 品の流通	安井 俊則	コラム 江戸文化 の新しい風—黄檗 の美術	畑 靖紀	特別展示 ボロー ニャ発世界へ—絵 本作家たちの挑戦 イラストレーター のコメント	三浦 太郎
特論編 渥美窯の 発見 黒い壺と秋 草文壺	増山 禎之	コラム ブランド としての「長崎」	石沢 俊	”	いたやさ とし
アメリカン・ポップ・アート展 From the John and Kimiko Powers Collection 国立新美術館		コラム 流布する 「阿蘭陀」のイメ ージ	岡 泰正	”	たしろち さと
パワーズ・コレク ションと作家たち キミコ・パワーズ へのインタビュー	南 雄介 聞き手	コラム ファン・ ダイクを名乗った 画家—北山寒巖	勝盛 典子	”	山本久美 子
ポップ・アート: 60年代アメリカン ・アートの光芒	小西 信之	出雲大社展 平成の大遷宮 島根県 立古代出雲歴史博物館		”	志村 圭介
複製(複数化)技術 とポップ・アート	平芳 幸浩	コラム1 青木繁 と岡本太郎	岡 宏三	特別展示 ボロー ニャ発世界へ—絵 本作家たちの挑戦 作家のコメント	たなかしん
芸術と日常をつな ぐ—「ニュー・リ アリスツ」展にお ける「アメリカン ・ポップ・アート」 の形成	瀧上 華	コラム4 祭祀の 源流—出雲大社の 創建前史—	松尾 充晶	特別展示 ボロー ニャ発世界へ—絵 本作家たちの挑戦 イラストレーター のコメント	いまいあ やの
筆触と色彩—ポッ プ・アートと絵画	南 雄介	コラム5 杵築大 社の創始	平石 充	”	のだよし こ
生かされた女性美 —素顔それとも 虚構— 個性派画廊による異色の美 人画コレクション 星野画廊(京都)		コラム6 発掘さ れた出雲大社の本 殿遺構	松尾 充晶	”	柄澤 容輔
		コラム7 中世出 雲国一宮 杵築大 社	佐伯 徳哉	”	むらかみ ひとみ
		コラム8 復古造 営の苦悩	岡 宏三	”	坂田季代 子
				”	よねづゆ うすけ
				”	丸岡 慎一
				”	岡村志満 子

” 谷口 智則  
 ” ダヴィデ・ロンガレッティ 田隅真由子  
 ” 鷹野 百  
 ” 久保 貴之  
 特別展示 ボローニャ発世界へー絵本作家たちの挑戦作家のコメント むらきやすし  
 特別展示 ボローニャ発世界へー絵本作家たちの挑戦イラストレーターのコメント 刀根 里衣  
 ” さとうまさのぶ  
 市原土人形の系譜—後藤家三代の仕事— 瑞浪市陶磁資料館  
 市原土人形の系譜 砂田 晋司  
 一木一草に神をみる 自然と美術 島根県立石見美術館  
 一木一草に神をみる 自然と美術 廣田 理紗  
 神と人、自然と美術 椋木 賢治  
 写される自然、見いだされる「神」—明治大正期の自然と「神」をめぐる表現の系譜 南目 美輝  
 いとうるわし。日本の美 京都国立博物館名品展 香川県立ミュージアム  
 京都国立博物館—温故知新— 赤尾 栄慶  
 憧憬の美 三好 賢子  
 瑜伽師地論 讃岐国最古の写経が物語るもの 渋谷 啓一  
 弘法大師空海の書 赤尾 栄慶  
 蕪村、讃岐にあそぶ 窪美西嘉子  
 共同のとりくみ1 初期仁清の基準作「三島写水指」 尾野 善裕  
 共同のとりくみ2 興国寺不動明王立像 三次元計測 三好 賢子  
 井戸茶碗—戦国武将が憧れたうつわ— 根津美術館

戦国武将と井戸茶碗 西田 宏子  
 井戸茶碗 その研究の未来に向けて 谷 晃  
 井戸茶碗へのまなざし、その変遷—利休 秀吉 不味 宗悦 千 宗屋  
 伊那谷の日本画—春草没後の求道者たち— 飯田市美術館  
 近代伊那谷の日本画家たち 小島 淳  
 癒しの仏 薬師如来～伊豆の薬師如来像～ 上原仏教美術館開館30周年記念企画展 上原仏教美術館  
 薬師如来というほとけ～「薬師瑠璃光如来本願功德経に説かれたその功德～ 田島 整  
 色について 寺田コレクションより 收藏品展 NO. 045 東京オペラシティアートギャラリー  
 色について | 流動する世界 佐山 由紀  
 印象派を超えて—一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に 国立新美術館他  
 分割主義—その理念と実践から 長屋 光枝  
 ヘレーネ・クレラー＝ミュラーとその分割主義コレクションの形成 リースベス・ヘーнк 米田 尚輝 訳  
 印象派の筆触 長屋 光枝  
 ジョルジュ・スーラと分割主義の起源 リースベス・ヘーнк 中西 園子 訳  
 分割主義の発展におけるポール・シニャックの役割 ”  
 ファン・ゴッホと分割主義 リースベス・ヘーнк 横山由季子 訳  
 ベルギーとオランダの分割主義 リースベス・ヘーнк 長屋 光枝 訳  
 究極の到達点：ピート・モンドリアン リースベス・ヘーнк 越智裕二郎 訳

ジョルジュ・スーラと色彩の科学 米田 尚輝  
 ヴェネチア展 日本人が見た水の迷宮 一宮市三岸節子記念美術館  
 世界で唯一の都—その魅力の源泉 陣内 秀信  
 水辺の情景—ヴェネツィアとパリ、そして三岸節子 林 洋子  
 上野の森美術館大賞展31回(第31回明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展) 上野の森美術館他  
 入賞作品 山口由佳子  
 ” 胡 日晝  
 ” 清水 航  
 ” むらこしなおこ  
 ” 池内 悦子  
 遠藤 彰子 岡田 修二 小嶋 悠司 土屋 禮一 日野耕之祐 福王寺一彦  
 審査所感  
 第30回上野の森美術館大賞展・入賞者展 佐藤 英行  
 ” 社家間美知子  
 ” 山崎 光雄  
 ” 荒木みどりこ  
 ” 吉田 幸紘  
 ” 桃田有加里  
 上野の森美術館大賞展入賞者展30回(第31回明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展) 上野の森美術館  
 VOCA2013 現代美術の展望 新しい平面の作家たち 上野の森美術館  
 選考所感 高階 秀爾  
 ” 酒井 忠康  
 ポエジーと多義性 建畠 哲  
 内部について 本江 邦夫  
 断片化する風景を捉える、平面の果敢な試み 神谷 幸江  
 絵画のはかなさ／平面という最終形体 光田 由里  
 浮世絵にみる北区の江戸時代 名所物語 北区飛鳥山博物館

浮世絵に描かれた北区	伊藤 紀之	内と外—スペイン・アンフォルメル 絵画の二つの『顔』	ソフィア王妃芸術センター所蔵 国立西洋美術館他	無メディウム—映像アート	リピット水田堯門林 岳史 訳
浮世絵 Floating World 珠玉の斎藤コレクション	三菱一号館美術館	展覧会に寄せて アンフォルメルと20世紀スペインの諸相	マヌエル・ボルハ=ピリエル 豊田 唯 訳	マルセル・プロータース：シネマ・モデル	エリック・デ・プロイエン
「浮世絵 Floating World 珠玉の斎藤コレクション」展示 館長対談	斎藤 文夫 高橋 明也	内と外—ソフィア王妃芸術センター所蔵品に見るスペイン・アンフォルメル絵画の二つの『顔』	ベレン・ガラン 川瀬 佑介、坂本 龍太 訳	江戸時代かながわの旅—「道中記」の世界—	神奈川県立歴史博物館
浮世絵の歴史	市川 信也	戦後のスペインと日本をつないだアンフォルメル芸術	松田 健児	道中記について	古宮 雅明
北斎と広重の遠近法—偶然ではない構図—	新藤 茂	国宝「卯花塙」と桃山の名陶—志野・黄瀬戸・瀬戸黒・織部—	三井記念美術館	江戸の狩野派—優美への革新	出光美術館
浮世絵の表現手法「やつし」とは何か?	小池満紀子	黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部 茶陶の様相	赤沼 多佳	探幽の革新—絵画表現における余白の変容	宗像 晋作
現代美術にみる浮世絵	野口 玲一	織部焼はいつ流行したのか	尾野 善裕 平尾 政幸	コラム 竹林七賢図の新様	〃
受け継がれた住まい 今に生きる文京の近代建築	文京ふるさと歴史館	UBE ビエンナーレ25回 現代日本彫刻展2013	宇部市ときわミュージアム	コラム 賞賛された尚信	〃
論考 文京区の近代住宅	内田 青蔵	第25回 UBE ビエンナーレ(現代日本彫刻展)に寄せて	酒井 忠康	コラム 探幽のやまと絵学習	〃
コラム 歴史的建造物の調査について	川口 明代	新たな歩みを始め UBE ビエンナーレ	岸 桂子	コラム 探幽の写生について	〃
コラム 川瀬邸・旧古市公威邸	瀬川 昌輝	漆の技—TSUIKIN— 切った貼ったで盛り上がり! 浦添市美術館	琉球・沖縄の堆錦 岡本 亜紀	江戸の美男子 若衆・二枚目・伊達男 太田記念美術館	江戸の「美男子」—江戸文化の中の男たち—
コラム 弓町というまち	加藤 芳典	うるわしき都の玉手箱 ~京にきらめく、珠玉の日本美術~	細見美術館	藤澤 紫	赤木 美智
コラム 文化財建造物を使いこなす	多見 貞子	館名品展 秋田市立千秋美術館	対談 細見美術館館長 細見良行×秋田市立千秋美術館館長 小松大秀	コラム2 若衆の髪型	〃
コラム 旧安田楠雄邸にみる職人技術の全盛時代	伊郷 吉信	細見コレクションとは	細見コレクションとは	コラム3 若衆と女形の表現	〃
コラム 雑司ヶ谷の村川堅固邸について	浅野 伸子	映画をめぐる美術	マルセル・プロータースから始める	コラム4 美少年となった義経	〃
コラム 村川家住宅に生まれて	村川 夏子	映画を読む、言葉を探す—マルセル・プロータースから始めてみる	牧口 千夏	コラム5 通と男性ファッション	日野原健司
うさぎスマッシュ 世界に触れる方法[デザイン] 東京アートミーティング4回 東京都現代美術館				コラム7 三人の美男役者	渡邊 晃
クリティカル・デザイン FAQ	アンソニー・ダン&フィオナ・レイビー			コラム8 幕末の人気役者八代目団十郎	〃
関係の中で体感するデザイン	佐藤 卓			コラム9 『修紫田舎源氏』と源氏絵	日野原健司
うさぎスマッシュ—世界に触れる方法[デザイン]	長谷川祐子			コラム13 幕末の役者絵と彫物	渡邊 晃
《触れる地球》—世界の境界で	リピット水田堯			コラム14 彫物	日野原健司
微細な微候から世界に触れるということについて	柏木 博			役者絵に描かれた男性美	渡邊 晃
				N+N展2013 アートいないいないばあ—アートの思考法—	練馬区立美術館

考えるアートの自 明性について—N +N展2013「ア ートいいないば あ—アートの思考 法—」に寄せて	高橋 幸次	《水際で》	ドー・ヴァ ン・ホアン	老いるほど若くなる 70歳以上の 公募による美術展5回—入賞・入 選作品109点を展示— 松本市美術 館	
§ 作家の言葉 §	海老沢一仁	《トレイン・ジャ ーナル》	チャン・タ イン・ヒエ ン	グランプリ 天衣 賞(松本市長賞) 大橋祐一《地獄極 楽図》	佐々木 豊 中島 千波 竹内 順一
”	大槻 孝之	《重ね録りテーブ の記憶》	グエン・チ ン・ティ	準グランプリ 無 縫賞 真岡純子 《微かな希望》	”
”	大橋 朋美	《Jo Ha Kyu》	”	準グランプリ 無 縫賞 山口美智子 《それぞれの時》	”
”	川上 央	絵本原画の世界2013 はじめての 美術 宮城県美術館他	宮坂 敦子	審査員賞 佐々木 豊賞 合田芳弘 《希望》	佐々木 豊
”	鞍掛 純一	見るよるこび 「は じめての美術 絵本 原画の世界2013」 の開催にあたって	”	審査員賞 中島千 波賞 石川宣春 《一網千金の夢》	中島 千波
”	田中 里実	もうひとつのおは なし—絵が伝える こと—	”	全体講評	佐々木 豊 中島 千波 竹内 順一
稗史(はいし)拾遺	北澤 一伯	ベビーブームと絵 本の受容	小池 光理	近江巡礼 祈りの至宝展 滋賀県立 琵琶湖文化館が守り伝える美 静岡 市美術館他	
§ 作家の言葉 §	笹井 祐子	印刷を技法に	安岡 真理	滋賀県立琵琶湖文 化館の五十年—活 動のきざし	井上ひろ美
”	設楽 俊	絵本を聴く	”	琵琶湖文化館收藏 品にみる近江の仏 教美術・神道美術	”
「見えない物、見 えてくる物」	瀬島 匠	絵本の手ざわり	”	琵琶湖文化館の近 世絵画	上野 良信
私が考える「ア ートの思考法」	富井 大裕	林明子—転機とし ての『はじめての おつかい』	菅野 仁美	近江と能—霊場・名所・物語— 彦 根城博物館	彦 根城博物館
§ 作家の言葉 §	Nerhol	「こどものとも」草 創期の作家たち	小池 光理	近江と能—霊場・ 名所・物語—	茨木 恵美
”	タムラサト ル	横判絵本の登場	角田美奈子	大川美術館の軌跡 開館25年記念 大川美術館	
”	東川 哲也	絵本の構成—動き の表現—	”	展覧会の構成をめ ぐって	小此木美代 子
ワークショップ	海老沢一仁	林明子さん お絵 描き少女そのまま に	菅野 仁美、 宮坂 敦子、 角田美奈子 聞き手 菅野 仁美 まとめ	オールド大倉の世界展 岐阜県現代 陶芸美術館	
恵比寿映像祭5回 パブリックメ ディアリー 東京都写真美術館		堀文子さん 戦後 の日本で考えたこ と	小池 光理 聞き手・ま とめ	オールド大倉の軌 跡—戦前の大倉陶 園と初代支配人日 野厚	山口 敦子
第5回 総合テー マ パブリックメ ディアリー	岡村 恵子	矢吹申彦さん 絵 本作家になりたか った	土方 明司、 宮坂 敦子、 安岡 真理 聞き手 安岡 真理 まとめ	日本の近代陶磁器 を生み出した親子 —大倉孫兵衛から 和親に継承された 美意識について	井谷 善恵
日記、 ブライヴ エート/パブリッ クの境界にある 「ゆらぎ」へ	坪井 秀人、 博沼 範久、 岡村 恵子 鼎談	緑起もの一版画と絵画で楽しむ吉祥 図像— 町田市立国際版画美術館	松岡まり江	創業の地「蒲田」と 大倉陶園	立花 昭
語り、語られる映 像たち—心身問題 の小さな注釈	西垣 通	「緑起もの」の由来 と意味—中国から 日本へ—	佐々木守俊		
「時を記す」という 衝動	北澤ひろみ	月儼『列山図贊』を めぐって—窪俊満 「列山」摺物を中心 に—	”		
《a perfect life vol.6 —沖繩から東京へ—	川口 隆夫				
§ 作家の言葉 §	”				
《記憶をめくる人》 制作メモ	鈴木 康広 山峰 潤也 構成				
《ストーリーズ・ オブ・ワンズ》	ファミ・ゴ ック・ラン				
《パブリック・リ ヴィング》	ダン・ドゥ ック・ロッ ク				
《ビデオ・レタ ー》	ゴ・ティ・ ティン				

岡倉天心と文化財 まもり、つたえる、日本の美術 岡倉天心生誕一五〇年・没後一〇〇年記念 茨城県天心記念五浦美術館	鏡と石製品 年代の探究と副葬品の比較研究	忽那 敬三	尾張徳川家と徳川美術館	原 史彦
岡倉天心と文化財 保護—美術院に受け継がれる伝統—	猿猴庵の本 江戸時代の名古屋庶民の楽しみの世界をルポ	山本 祐子	おん祭と春日信仰の美術	奈良国立博物館
茨城の仏像とわたくしの天心観	名古屋のやきもの	五味 良子	おん祭と春日信仰の美術	清水 健
資料解説：茨城県内仏像の美術院による修理について	松坂屋コレクション デザインソースとして収集された染織参考館コレクション	〃	大和土の歴史とつとめ	幡鎌 一弘
沖縄が愛した青と白 Okinawa Blue & White 那覇市立壺屋焼物博物館	時田昌瑞ことわざコレクション	外山 徹	(カ行)	
沖縄の青と白について	音をつくる 川口の匠 vol.3 川口市立アートギャラリー・アトリア	川口 信郎	画家とパレット 近代の巨匠たち 天童市美術館	
お宝拝見—わが社の逸品 富山県水墨美術館	音楽を支える楽器職人の技	守重 信郎	パレットコレクションの思い出	長谷川徳七
コレクターに聞いてみました「私にとっての美術」美術館をつくる	鬼・オニ・ONI展 豊橋市美術館	豊橋市美術館	歌仙—王朝歌人への憧れ—	徳川美術館
コレクターに聞いてみました「私にとっての美術」夢を見続けている	鬼の誕生と地方への展開—中央の鬼から三河の鬼へ—	山崎 一司	絵画化された歌人たち	四辻 秀紀
コレクターからひとこと わが社の逸品	再評価されるデーモニック「力」の思想	佐々木重洋	十七世紀 歌仙絵の諸相	加藤 祥平
コレクターに聞いてみました「私にとっての美術」流転のロマン	オバケとパンツとお星さま 東京都現代美術館	郷 泰典	十七世紀官画派の歌仙絵と歌意図	薄田 大輔
驚きの博物館コレクション展 時を超え・世界を駆ける好奇心 明治大学博物館・南山大学人類学博物館・名古屋市博物館合同企画 名古屋市博物館	オバケとパンツとお星さま—こどもが、こどもで、いられる場所	郷 泰典	東照宮歌仙額製作経緯	原 史彦
博物館と博物館コレクション	オランダ・ハーグ派展 近代自然主義絵画の成立 山梨県立美術館他	山梨県立美術館他	方形の小宇宙—色紙形—に描かれた歌仙	吉川 美穂
旧明治大学商品陳列館初期収集コレクション	リフレクション：オランダへの影響、オランダからの影響—ハーグ派の新たな自然主義絵画について—	アン・デューマ 富岡 進一 翻訳	形物香合番付の世界 茶人のあそび心 野村美術館開館30周年記念 野村美術館他	
学術と芸術の境界 南山大学人類学博物館今泉コレクション	ハーグ派	ベンノ・テンペル、ハンス・ヤンセン 小林 晶子 翻訳	香合という茶道具	谷 晃
上智大学西北タイ歴史・文化調査団越境する人々(タイ北部山地民) 60年代に収集されたタイ山地民を主とした民族誌資料群	オランダとフィンセント・ファン・ゴッホ	古谷 可由	コラム 茶の湯における香合とは	桐山 秀徳
	オリエントの美術 Art of the Orient 出光美術館他	岡野 智彦	見立番付研究の現段階と「形物香合相撲」	青木美智男
	出光美術館のオリエントコレクションと中近東の歴史	尾張徳川家の至宝 江戸東京博物館他	伊勢商人の蔵書とサロン文化—『形物の香合記』と『本形香合圖』—	龍泉寺由佳
			形物香合番付成立の背景	神崎かず子
			十七世紀前半における香合の使われ方	桐山 秀徳
			中国の合子と「形物香合」	森 達也
			狩野栄川院と徳島藩の画人たち 徳島市立徳島城博物館	
			狩野栄川院典信雑考	小川 裕久



コラム 「鐘馗騎虎図」の系譜—狩野栄川院典信と室町水墨画	観客たちの芝居小屋	池田 美美	開かれた世界：カリフォルニアの建築家たちとモダン住宅	ニコラス・オルスバーク
コラム 狩野典信《春秋景物図屏風》と観山宗恭尼	鎌倉時代の馬と道—畠山重忠と三浦一族— 馬の博物館		カリフォルニア・モダンのある家で、1945-65年	バット・カーカム
コラム 狩野典信とやまと絵	神さま仏さまの復興 被災文化財の修復と継承 東日本大震災復興祈念特別展 東北歴史博物館	長塚 孝	戦争と平和：思いがけない恩恵	ビル・スターン
コラム 狩野典信の真贋			本格的なビジネスへ：戦後カリフォルニアにおける「デザイナーニクラフツマン」	グレン・アダムソン
コラム 蜂須賀家肖像画と徳島藩絵師	コラム1 新宮寺騎師文殊菩薩坐像及び四眷属立像の保存修理について	明珍 素也	際立ってカリフォルニア的：テキスタイルとファッションにおけるモダニズム	メリッサ・レヴェントン
コラム 河野典雄筆《群鶴図屏風》とその粉本	コラム2 はじかみの寺 地福禅寺(気仙沼市波路上)の仏像再修理	牧野 隆夫	視覚言語の開発：カリフォルニアにおけるグラフィック・デザイン	ジェレミー・エインズレー
コラム 蜂須賀重喜・載・寿代の画業について	コラム3 野蒜海津見神社毘沙門天立像のレスキューと応急処置について	政次 浩	「それは売り込まなければならぬ」：カリフォルニア・デザインの普及、1945-65年	ウエンディ・カブランステイシー・スタインパーガー
狩野栄川と飯塚桃葉	高尾 曜		「パシフィカ」と「ジャパニーズ・モダン」—1950年代カリフォルニアと日本における日本調のモダン・デザイン	本橋 弥生
狩野一信 幕末の鬼才 大本山増上寺秘蔵五百羅漢	山口県立美術館		変わり兜×刀装具 戦国アバンギャルドとその昇華 大阪歴史博物館他	
その後の狩野一信と五百羅漢図—江戸東京博物館から山口県立美術館へ	山下 裕二	佐藤 憲幸	変わり兜と戦国武将—その歴史と魅力	須藤 茂樹
幕末生まれの「五百羅漢図」	岡本 麻美	政次 浩	変わり兜×刀装具—魅力としての造形力とその背景	内藤 直子
日本における五百羅漢図の展開—大徳寺本系五百羅漢図から一信の増上寺本へ	井手誠之輔	大久保春野	刀装具としての鉄地透かし鐔	渡邊 妙子
狩野山楽・山雪 京都国立博物館	カミとホトケの交渉史—廃仏毀釈の爪跡— 飯田市美術博物館		観光地鎌倉と鎌倉彫—近代鎌倉のガイドブック— 神奈川県立歴史博物館	
厳選の山楽から、山雪の全貌へ—京都の狩野派は濃い。	山下 善也	織田 顕行	鎌倉彫雑考	薄井 和男
山雪の受難、そして「雪汀水禽図」の画想	奥平 俊六		近代鎌倉のあゆみ	寺崎 弘康
歌舞伎 江戸の芝居小屋 一美術館	蒲生郡の風土と遺宝 滋賀県立安土城考古博物館		紀伊国梓田荘と文覚井—水とともに生き、水を求めて闘う— 和歌山県立博物館	
江戸の芝居小屋	本展の視点と展示構成		概説 紀伊国梓田荘と文覚井	前田 正明
江戸の演劇空間—堺町と葺屋町—	カリフォルニア・デザイン1930-1965 —モダン・リビングの起源— 国立新美術館		コラム2 神護寺領梓田荘の成立	坂本 亮太
もう一つの「歌舞伎の草子」—徳川美術館所蔵「歌舞伎図巻」をめぐる—	イントロダクション：「モダン・リビングの起源」	ウエンディ・カブラン		
初代歌川豊国と劇場図—西村屋と八版の三枚続を中心に—	カリフォルニア・モダン・デザインの台頭、1930-41年	クリストファー・ロング		
市川團十郎と江戸歌舞伎	新旧の融合：カリフォルニアにおける移民デザイナーたち	ボビー・タイガーマン		

コラム4 榊田荘 絵図研究の軌跡	前田 正明	コラム『動物寓 話集』に描かれた サル	〃	昭和モダンの美人 画とファッション —婦人雑誌の画家 ときものの関係	川西 由里
コラム5 穴伏川 右岸の灌漑用水に ついて	額田 雅裕	コラム 恋人に贈 る服飾品と装身具	鈴木 伸子	救出された絵画たち	陸前高田市立 博物館コレクションから 岩手県立 美術館
コラム8 宝来山 神社と神願寺の建 造物	山本 新平	コラム タピスリ ーの制作方法	石井 美恵	抄録「対談・大震 災と美術作品の保 護」	原田 光 伊藤 由美 根本 亮子 編集
コラム9 榊田荘 と周辺地域の仏像	大河内智之	コラム 中世にお いてタピスリーは どのように使われ ていたか?	鈴木 伸子	陸前高田市の「カ ルチャー・ビレッジ 構想」について	本多 文人
コラム11 志富田 荘の景観復原	前田 正明	フランス史の一樣 相としての《貴婦 人と一角獣》のタ ピスリー	エリザベッ ト・タピユ レ=ドゥラ エ 小林久見子 訳	京都 洛中洛外園と障壁画の美	東京 国立博物館
コラム12 榊田荘 と周辺地域の石造 物	北野 隆亮	《貴婦人と一角獣》 のタピスリーにお ける恋愛のテーマ を読む—《視覚》と 《触覚》を中心に	木俣 元一	総論 日本の絵は、 時空を超える	松嶋 雅人
菊池ピエンナーレ展5回 現代陶 芸の〈今〉 菊池寛実記念智美術館		Kimono Beauty—シックでモダンな 装いの美 江戸から昭和—	千葉市 美術館他	特論 舟木本に秘 められたドラマと 時の流れ	〃
第5回菊池ピエン ナーレ 審査総評	乾 由明	ビッグローコレクシ ョンのきもの	長崎 巖	巨大城郭 名古屋城	名古屋城天守 閣
奇跡のクラーク・コレクション ル ノワールとフランス絵画の傑作	三 菱一館美術館他	ポストン美術館の 小袖雛形本 寛文 六年版『御ひいな かた』	〃	巨大城郭 名古屋 城—幸福にして不 幸なる城	朝日美砂子
収集家としてのス ターリング・クラ ーク	ジェームズ ・A. ガン ツ	きもの力—西洋 の出会いと影響	深井 晃子	金閣・銀閣の寺宝 雪舟、等伯、宗 達、そして若冲	石橋美術館別館/ 有馬記念館
吉備と邪馬台国—靈威の継承—	大 阪府立弥生文化博物館	江戸の小袖から昭 和のきもの	長崎 巖	イマジネーション で楽しむ日本美術	福田 善子
論考 畿内と吉備 の龍	黒崎 直	武家女性の小袖— 支配階級の洗練の 極致	杉山未菜子	若冲断章	狩野 博幸
特別論考 前方後 円墳成立期の吉備 と畿内—銅鐸と銅 鏡にみる地域関係 —	福永 伸哉	浮世絵に見る装 いの美—闊達な町人 のモード	田辺 昌子	伝来から見えるこ と	平間 理香
貴婦人と一角獣展	フランス国立ク リュニー中世美術館所蔵	江戸・明治時代の 粋な彩り—きもの の地色について	飯島 礼子	近世教育者の肖像	玉川大学教育博 物館
「貴婦人と一角獣 展」について	南 雄介	日本画における明 治・大正時代の Kimono Beauty た ち	菊屋 吉生	肖像をめぐるあれ これ	菅野 和郎
《貴婦人と一角獣》、 中世とルネサンス の狭間の傑作	エリザベッ ト・タピユ レ=ドゥラ エ 泉 訳 美知子	女性雑誌にきもの を描いた挿絵画家 —竹久夢二・露谷 虹児・加藤まさを ・高島華宵	中村 圭子	近代洋画にみる夢	河野保雄コレク ションの全貌 府中市美術館他
コラム 「アンヌ ・ド・ブルターニ ユのいと小さき 時禱書の画家」と 中世末期のバリ絵 画芸術	駒田亜紀子	銘仙のきもの—時 代の流れとともに	麻沼 育美	展覧会に寄せて	河野 保雄
コラム 《一角獣 狩り》のタピスリ ー(ニューオーク、 メトロポリタン美 術館)	木俣 元一	洋花模様の登場— 大正・昭和時代の きものにおける表 現	松下 由里	河野保雄とそのコ レクション	増渕 鏡子
				心の調べを詩[う た]う—河野保雄 近代洋画コレクシ ョン	志賀 秀孝
				百点美術館のふつ うの「風景」	堀 宜雄
				河野保雄コレクシ ョンにみるガラス 絵の近代	小林 真結

きんぴアート発見学 つくる&みる  
ことの交流展 徳島県立近代美術館

ELJI OKUBO 吉野川一場の刻 6 / 30・9 / 29・12 / 1 つれづれ想うこと。  
冗舌と寡黙と一大久保英治 友井 伸一

「暮らしと美術と高島屋」展 世田谷美術館他

「暮らしと美術と高島屋」展 世田谷美術館他  
「暮らしと美術と高島屋」展 世田谷美術館他  
「暮らしと美術と高島屋」展 世田谷美術館他  
「暮らしと美術と高島屋」展 世田谷美術館他  
「暮らしと美術と高島屋」展 世田谷美術館他

民藝運動と高島屋一展覧会との関わりを中心に一 杉山 享司

第1章一5. 高島屋美術部のあゆみ 高島屋美術部「美術部展覧会百選」、「催事三十選」 橋本 善八

わが国のデパートメント・ストアー誕生の一断面 内田 青蔵

百貨店とインテリアデザイナー一高島屋のインテリアが目指した日本的表象一 神野 由紀

百貨店のウィンドー・ディスプレイと催事一その社会性と美意識について 田島奈都子

百貨店による広告と宣伝 土屋 礼子

ファッションリーダーとしての高島屋一百選会を中心として一 青木美保子

堀口大學と百選会 長谷川郁夫

対談「百貨店、明日との出会い 辻井喬さんを迎えて」 辻井 喬 鈴木 弘治

クローズアップエ芸 東京国立近代美術館工芸館

鷹の挙動、精神まで捉えようとした鈴木長吉作《十二の鷹》 横溝 廣子

富本憲吉の羊歯模様について一クローズアップ《色絵金銀彩羊歯文八角飾箱》 木田 拓也

松田権六《蒔絵竹林文箱》に見る蒔絵表現 北村 仁美

森口華弘と染めの美 今井 陽子

小名木陽一が極めた織の造形 唐澤 昌宏

溪山清遠 Pure Views 中国現代アート・伝統からの再出発 福岡アジア美術館

曲水の宴の物語：溪山から蘭亭まで一中国新絵画の変遷 呂 澎 向 以鮮

作家の眼のなかの「溪山清遠」 曹 敬平

〃 何 森

〃 蔣 国蓉

〃 李 青

〃 李 瑞

〃 李 胤

〃 羅 荃木

〃 沈 娜

〃 他 們

〃 謝 帆

〃 楊 冕

〃 楊 勳

〃 岳 敏君

〃 張 垂

〃 章 劍

溪山清遠一中国現代アートの新潮流 呂 澎

源氏絵と伊勢絵 描かれた恋物語 出光美術館

物語絵の往還一近世初期の源氏絵と伊勢絵を中心に一 廣海 伸彦

土佐光吉再評価一もう一つの桃山絵画一 相澤 正彦

検証・二枚の西周像 美は甦る一高橋由一から松本竣介まで 神奈川県立近代美術館(葉山)

西周伝の周辺 青木 茂

二枚の西周像の修復調査一そこから見えるもの 伊藤 由美

書簡に見る三者の関係一亀井茲明、高橋由一、柳源吉 角田 拓朗

二枚の西周像一研究の経緯と概要について 長門 佐季

関根正二と河野通勢、伊東深水との関係 橋 秀文

岸田劉生の肖像画一古屋君像から麗子像まで 長門 佐季

三科会員展の時代の玉村方久斗 橋 秀文

藤田嗣治の輝かしき「乳白色の肌」 〃

松本竣介の制作のプロセス一断章 長門 佐季

光悦 桃山の古典〔クラシック〕 五島美術館

光悦の芸術性のルーツ 中村 修也

光悦と書籍一書状の書風を中心に一 名児耶 明

光悦と陶芸一江戸時代の評価と箱書付について一 砂澤 祐子

光悦と漆芸一言葉とモノと史実のあいだ一 福島 修

光悦と出版一嵯峨本雑感一 村木 敬子

近代以降の「光悦」像一研究と評価の流れ一 福島 修

黄河と泰山展一中華文明の源と世界遺産一 山口県立萩美術館・浦上記念館他

古い生命の河、新しい文明の宝庫一黄河下流山東地区の近年の考古学新発見一 高竹中 震彦 康彦 訳

泰山岩岩たり、万邦の瞻るところ一泰山の歴史と文化的価値に関する試論一 李 棟 德留 大輔 訳

酒文化と山東と中国古代文明 德留 大輔

飛鳥仏への道一山東省の仏像と日本一 大河内智之

泰山の石刻書道芸術	竹中 康彦	コラム5 御慶事と美術品制作	五味 聖	「子育て」とは“時間をかけて、継続的に、接し、見守り、対応し、責任を持つ”ことだと思うから……	Akiko Yasuda
工芸からKŌGEIへ 日本伝統工芸展60回記念 東京国立近代美術館工芸館		コラム6 キョッソーネによる明治天皇御肖像制作	斉藤 全人	わたしとあなたは違うということを知る場所で	八巻 香澄
「工芸」から「KŌ-GEI」へ	唐澤 昌宏	近代皇室の肖像画	古田 亮		
考古学からみた推古朝—推古二十一年 難波～飛鳥間大道設置—四〇〇年にちなんで— 大阪府立近つ飛鳥博物館		皇室と近代日本工芸	松原 龍一		
もっとくわしく 裝飾付大刀	飯田 浩光	国宝 興福寺仏頭展 興福寺創建1300年記念 東京芸術大学大学美術館		古染付と祥瑞 日本人の愛した〈青〉の茶陶 出光美術館	
もっとくわしく 馬具と仏教美術	関本優美子	仏頭—その宗教性 吟味のための覚書	多川 俊映	古染付と祥瑞—日本人の愛した〈青〉の茶陶	金沢 陽
もっとくわしく 初期寺院の瓦の見方	鈴 千夏	銅造仏頭(興福寺東金堂旧本尊)と東金堂十二神将像	金子 啓明	古代ガラス 色彩の饗宴 MIHO MUSEUM 他	
もっとくわしく 金属器を目指した須恵器	飯田 浩光	銅造仏頭 頭部デジタル復元の試み	凸版印刷	ガラス史研究の最新の成果	谷一 尚
論考 東アジアからみた推古朝の寺院—出土瓦の分析を通じて—	清水 昭博	興福寺の絵画—法相曼荼羅・祖師高僧像を中心に—	有賀 祥隆	大英博物館「スパイラルレースガラス碗」の復元研究 松島巖氏へのインタビュー	東 容子 聞き手
交差する表現 工芸/デザイン/総合芸術 開館50周年記念特別展 京都国立近代美術館		東金堂衆と山田寺薬師三尊	安田 次郎	復元制作を終えて	松島 巖
回想—創設当時の京都国立近代美術館 乾由明氏に聞く	中尾 優衣、 牧口 千夏 聞き手・構成	法相宗の教え—興福寺における法相教学の展開を中心として—	ザイレ眺映	大英博物館「ゴールドアカンサス文碗」の截金技法の再現	並木 秀俊
「交差する表現 工芸/デザイン/総合芸術」(工芸)表現の一断面から見たその諸相	山野 英嗣	十二神将—表情豊かな名脇役—	薩摩 雅登	大英博物館「ゴールドアカンサス文碗」再現制作	迫田 岳臣
皇室の名品 近代日本美術の粋 京都国立近代美術館		極楽へのいざない—練り供養をめぐる美術— 龍谷大学 アム他	龍谷ミュージアム	ガラスの魅力科学する	中井 泉
「皇室の名品—近代日本美術の粋」展について	尾崎 正明	コラム01 恵心僧都源信と来迎図・迎講	石川 知彦	MIHO MUSEUM 所蔵ガラス製マスクの人物推定と復元試案	山花 京子
近代皇室と京都の文化力—明治を導いた伝統と底力	太田 彩	コラム02 浄土の流れ	入澤 崇	ササン朝ガラスとシルクロード交易	四角 隆二
コラム1 明治宮殿の室内装飾	五味 聖	コラム03 山陽地方の浄土信仰—岡山県南地方を例に—	中田利枝子	ガラス職人の技—ヘレニズム〜ローマ時代初期の出品作品より	東 容子
コラム2 帝室技芸員が活躍した時代	岡本 隆志	迎講・来迎会・ねり供養—主役の迎講阿弥陀像を中心に—	關 信子	古代ガラスの組成分析から起源を読み解く	阿部 善也
コラム3 博覧会を通じた美術の振興	〃	『往生要集』における「臨終来迎」	浅田 正博	古武雄 江戸のモダニズム まぼろしの九州のやきもの 九州国立博物館他	
コラム4 「御買上」にみる皇室の美術保護	斉藤 全人	子育てと美術 藍画廊		総論 肥前陶器における古武雄の位置づけ	鈴田由紀夫
		いつか見た記憶	青木 聖吾	総論 古武雄 日々の暮らしの焼き物の魅力と楽しさ	西田 宏子
		美術と子育て	稲垣 立男	各論 古武雄を生産した窯跡について	東中川忠美
		ぼくのじじょう 僕の事情 ジョン・レノン	河田 政樹		
		作家の言葉 §	早川 陽子		
		中継していく	mhR		

各論 古武雄に施される多彩な文様技術について	遠藤 啓介	論考三 『日本書紀』の成立と「斎王」という言葉	榎村 寛之	コラム 四天王寺の職人	大澤 研一
個の原点 4回 高島屋(日本橋)他		コラム1 穂宮神戸神社	角正 芳浩	コラム 技術の伝播と融合における職人の移動	金沢 陽
〈個の原点〉に期待する	島田 章三	コラム2 神島	〃	コラム 六張一版の説一渡来刻工の刻んだ版木のかたち	住吉 朋彦
「画家の目、絵描きの目」	伊東 浩一	コラム3 泊瀬斎宮跡	〃	コラム 薩摩塔	佐伯 弘次
「青・光・大気一幻とならぬように」	岩岡 航路	コラム4 式年遷宮	〃	漆芸の未来を拓く 生新の時2013	
画家の眼・絵描きの眼	大内田 敬	サイト一場所の記憶、場所のカー		アート・アーチ・ひろしま2013	
「画家の目 絵描きの目」	大森 啓	アート・アーチ・ひろしま2013		広島市現代美術館	
§ 作家の言葉 §	掛川 孝夫	場(=サイト)とむきあう、アンモニユメンタルな試み	神谷 幸江	「木菟尽乾漆蒔絵合子」	池田 将光
「画家の眼、絵描きの眼」	貴堂 静栄	「サイト=ヒロシマ」を駆動させるもの	松岡 剛	「乾漆合子「秋紅」	田村重佑美
画家の眼・絵描きの眼	久保田 裕	齋藤滄洲と文人の交遊		「柑橘類乾漆香合」	小孫ゆかり
画家の眼、絵描きの眼…マンガとマグリットのこと。	肥沼 守	九十九里浜の網主文化		「降り積もり、在る」	畦地 拓海
§ 作家の言葉 §	塩川 高敏	城西国際大学水田美術館		「face」	北川 知里
〃	寺田 和幸	含海堂の歴史	齋藤 四朗	「裏[かさね]」	渡邊 進
“絵描きの眼”	東方 達志	齋藤滄洲と明治前期の書画コレクション	堀内 瑞子	「漆のティーカップ&ソーサー」	田島 香菜
§ 作家の言葉 §	西川ひろみ	シェル美術賞展2013	国立新美術館	「螺鈿蒔絵人花鏡と鏡箱」	呉 帝彦
〃	半田 強	正体不明の現実	本江 邦夫	「炯炯」	館野龍三郎
「画家の目、絵描きの目」	前田 昌彦	絵画に取り憑かれた雄姿を讃えて	木ノ下智恵子	「六角の乾漆螺鈿蒔絵箱」	木下 幸
小林一三と松永安左エ門 茶の湯交遊録 逸翁と耳庵の名品コレクション 逸翁美術館他		雑感以上批評未満	保坂健二郎	「ともにいる一飾られて持ち上げるビルケースー」	服部 珠美
総論 小林一三と松永安左エ門～二人の交遊録～	逸翁美術館学芸部	しかけ絵本I 技法の歴史 開く、覗く、聞く、動く絵本	武蔵野美術大学美術館・図書館(図書館)	「胡蝶蘭螺鈿飾箱」	竹内 耕祐
一杓の水 松永安左エ門の電気事業再編成と茶道	岩永 悦子	日本におけるしかけ絵本	佐久間保明	「乾漆螺鈿花化粧箱」	國元麻里奈
雅俗と侘び一逸翁と耳庵、二人の交友一	竹田 梨紗	しかけ絵本の歴史・構造・技法：貴重書コレクション[しかけ絵本]を中心に	本庄三千代	「漆の絵皿」	荒瀬 春佳
逸翁・耳庵 年表	宮井 肖佳	時代を作った技—中世の生産革命—		「巢の記憶」	森田 志宝
(サ行)		国立歴史民俗博物館		「漆の PARURE」	森長 柚香
齋宮誕生 齋宮歴史博物館		コラム 古代の技術者編成	仁藤 敦史	「風の花」	太平 侑花
論考一 大来以前の斎王を支えた体制	榎村 寛之	コラム 花形をした化粧道具	井上美奈子	「間[あいだ]」	城間 美里
論考二 「伝承時代の斎宮」と「歴史時代の斎宮」	角正 芳浩	コラム 漆器の製作工程と漆塗膜分析	四柳 嘉章	「蒔絵螺鈿平皿一花一 蒔絵螺鈿高台盆一風一」	田中衣都美
		コラム 博多の職人	大庭 康時	「curiuser and curiuser」	木本美由貴
				「ことまゆ」	加藤 彰訓
				「そろもよう」	田中 若葉
				「めぐる」	長岡 薫
				「またいつかつかうだろう」	原田 藍
				「Euphoria」	岸田菜津希
				「ほんとうのこと」	伊原 夕貴
				「星の降る街」	小林 真緒





平成25年美術展覧会図録所載文献(企サ行)

エッセイ 蘭亭序 現代語訳	鍋島 稲子	永井 夏夕	墨色の輝き—富山 県水墨美術館の名 品と藤井達吉の水 墨画—	土生 和彦
エッセイ 游丞相 の蘭亭百種	富田 淳	中沢しのぶ	聖地四王寺山 九州歴史資料館	
エッセイ 智永と 賺蘭亭	鍋島 稲子	布山 恵子	聖地四王寺山 井形 進	
エッセイ 唐—太 宗皇帝の王羲之崇 拝—	富田 淳	三島 祥	コラム2 四王寺 の四天王像	〃
エッセイ 宋—米 芾—	〃	山田 有美	コラム3 経塚の 造営と経筒	松川 博一
エッセイ 元—趙 孟頫—	〃	横尾 奈美	聖なるものへ ひそやかな祝祭 茨 城県近代美術館	
エッセイ 明—文 徵明と董其昌—	〃	水彩画みづゑの魅力 明治から現代 まで 平塚市美術館	触れえないイメー ジとしての聖なる ものへ	永松 左知
エッセイ 清—帖 学派と碑学派—	〃	ぼくにとつての水 彩画	雷月花 美人画の四季 培広庵コレ クション(美人画の四季—松園、恒 富、清方から麦僊まで 培広庵コレ クション) 豊橋市美術博物館	
エッセイ ちょう ど百年、大正蘭亭。	鍋島 稲子	和解	近代日本画に見る 女性表現—美人画 の流れと近代—	加藤 頼子
王羲之以前の書の 変遷	横田 恭三	§ 作家の言葉 §	「培広庵コレクシ ョン」について	〃
魏晉小楷の名品 『黄庭経心太平本』 考	伊藤 滋	〃	日本の美・発見 VIII 仙厓と禪の世 界 出光美術館	
ShinPA!!!!!! 7回 2013 おぶせミ ュージアム・中島千波館他		明治期の水彩画— 風景の発見—	仙厓と禪の世界— 禪画を通してみた 一禅の思想	八波 浩一
ご挨拶	中島 千波	すくいとられたカタチ FORMS IN FLUX ボストン美術館芸術大学× 愛知県立芸術大学 名古屋ボスト ン美術館	戦国のまなびや 朝倉文化 文武を 極める 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡 資料館	
§ 作家の言葉 §	阿部 穰	多様な「すくいと られたカタチ」— 6作家の作品をめ ぐって	展示概説	宮永 一美
〃	泉 東臣	救いへの祈り 神奈川県立金沢文庫	戦国武将の誇りと祈り 九州の覇権 のゆくえ 九州歴史資料館開館40 周年 移転開館3周年記念特別展 九州歴史資料館	
〃	宇野さえり	総説	総論 戦国武将の 誇りと祈り—九州 の覇権のゆくえ—	松川 博一
〃	押元 一敏	洲之内徹と現代画廊 昭和を生きた 目と精神 宮城県美術館他	コラム 毛利元就 の「三矢の教え」— 三子訓状から生ま れた逸話—	〃
〃	梶野 沙羅	洲之内徹と昭和	コラム 江戸時代 の古城調査—国立 公文書館所蔵『古 戦古城之図』—	岡寺 良
〃	加藤 ゆわ	作家としての洲之 内徹—「藁の木の 下の」を中心に	戦争／美術1940—1950 モダニ ズムの連鎖と変容 葉山館開館10周 年 神奈川県立近代美術館(葉山)	
〃	金丸 悠児	現代画廊の変容		
〃	金木 正子	時代の中の洲之内 徹 気まぐれと狷 介		
〃	川本 淑子	「横雲橋の上の雲」 と「坂の上の雲」と のあいだ		
〃	小林 英且	無言の一年—洲之 内徹の松山		
〃	小宮 絵莉	洲之内徹の松山時 代(1946—52)— 『愛媛新聞』を手が かりに		
〃	小柳 景義	墨色の輝き 富山県水墨美術館名品 碧南市藤井達吉現代美術館		
〃	今 美礼	富山県水墨美術館 のコレクション		
〃	三枝 淳			
〃	酒井 一			
〃	佐竹 佳奈			
〃	高橋 浩規			
〃	田崎 冬樹			
〃	玉井 祥子			
〃	田宮 話子			
〃	堤 岳彦			



空虚と充満—1940  
年代美術への一視  
座として 水沢 勉

作戦記録画をめぐる  
疑惑のあれこれ 河田 明久

ふたつの芳名録と  
「原爆の図」 岡村 幸宣

(タ行)

たいけん、ぼうけん、びじゅつかん！  
親子でたのしむ現代アート 横須賀  
美術館

日比野克彦の作品  
について—三軒家  
突堤を中心に— 工藤 香澄

KOSUGE 1—16—  
ローカルのなかの  
グローバル 古屋 梨奈

松井紫朗のタイム  
マシン 〃

演劇的空間における  
物語—plapla  
xの場合 工藤 香澄

日比野克彦／作家  
のことば 日比野克彦

KOSUGE 1—16／  
作家のことば KOSUGE 1  
—16

松井紫朗／作家の  
ことば 松井 紫朗

plapla  
x／作家の  
ことば plapla  
x

大神社展 東京国立博物館他

神社の宝物と神道  
の美術 池田 宏

古神宝と有職  
猪熊 兼樹

祀りのはじまり 井上 洋一

神話と『古事記』  
『日本書紀』 酒井 芳司

神像の表現 丸山 士郎

大ベトナム展 九州国立博物館

ベトナムの歴史と  
文化 桜井由躬雄

17世紀のホイアン  
日本町跡を探る 菊池 誠一

外交文書にみる16  
～17世紀の日越交  
流 藤田 励夫

column 1 ベト  
ナム国立歴史博物  
館について ベトナム国  
立歴史博物  
館

column 2 ドン  
ソン文化とサーフ  
イン文化 山形眞理子

column 3 ハノ  
イ—タンロン皇城  
中心区域 ハノイ市タ  
ンロン遺跡  
保存センタ  
ー  
阿部百里子  
翻訳

column 4 チャ  
ンパー 原田あゆみ

column 5 ベト  
ナムの仏教 大西 和彦

column 6 白藤  
江の調査から ランドール  
・ササキ

column 7 阮朝 嶋尾 稔

column 8 ベト  
ナム陶磁の生産地  
と輸出境 阿部百里子

column 9 イン  
ドネシア国立博物  
館の陶磁器コレク  
ション エコワティ  
・スングリ

column 10 近現  
代の日本とベトナ  
ムの関係 古田 元夫

當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—  
當麻曼荼羅完成1250年記念 奈良  
国立博物館

総論 當麻寺と當  
麻曼荼羅の信仰史 北澤 菜月

當麻曼荼羅の図解  
—貞草本をもとに  
—

組織當麻曼荼羅図  
の織り組織につい  
て 尾形 充彦

當麻寺の工芸 内藤 栄

『称讃浄土経』書写  
と「中将姫願経」の  
展開 斎木 涼子

當麻寺金堂の弥勒  
仏像と四天王像に  
ついて 岩田 茂樹

當麻寺の建築 山岸 常人

當麻曼荼羅縁起の  
展開と中将姫物語  
の生成 阿部 泰郎

コラム 當麻寺中  
之坊の茶 重富 滋子

大妖怪展 鬼と妖怪そしてゲゲゲ  
三井記念美術館

概論「大妖怪展—  
鬼と妖怪そしてゲ  
ゲゲ—」を見渡し  
て 清水 実

妖怪画の系譜 安村 敏信

コラム 近世・近  
代の妖怪研究—平  
田篤胤・井上円了  
・柳田国男・江馬  
務— 清水 実

台湾・日本漆芸交流展—過去、現在  
そして未来— 台湾・日本芸術文化  
交流事業 東京芸術大学大学美術館  
陳列館

日本と台湾の漆芸、  
百年の結び付き 頼 作明

台湾の漆芸術と東  
京美術学校の5人 三田村有純  
の卒業生

託された思い—調布市武者小路実篤  
記念館所蔵 コレクションの歩み—  
調布市武者小路実篤記念館

春の特別展「託さ  
れた思い—調布  
市武者小路実篤記  
念館所蔵 コレク  
ションの歩み—  
石井めぐみ

谷文晁 生誕250周年 サントリー  
美術館

谷文晁—この絵師、  
何者!?人気者— 河野 元昭

谷文晁筆「石山寺  
縁起絵巻」の修理  
によって見えてき  
たもの 半田 昌規

谷文晁、古画への  
眼差し—東アジア  
絵画を中心に 板倉 聖哲

谷文晁をめぐるネ  
ットワーク—芸術  
家一家(谷家)とい  
うブランド 池田 英美

大統寺蔵 仏涅槃  
図 上野 友愛

たのしむ日本美術 サントリー美術  
館コレクション 瀬戸内国際芸術祭  
2013連携事業 香川県立ミュージ  
アム

日本美術をたのし  
む サントリー美  
術館コレクション  
をめぐる 石田 佳也

二〇一三年版名品  
展「たのしむ日  
本美術」 松岡 明子

COLUMN 鍋島  
徳川將軍家へ献上  
された高級食器 安河内幸絵

COLUMN 風俗画  
と俳諧 狩野 博幸

COLUMN 漆器の意匠について	佐々木康之		小川 智紀 藤林 文夫 戸村 孝子 黒田 景子 青木 陽佳 松本 光世 今井 紀彰 金井 聡和	証言2 東京オリンピック・デザイン部・シンボル部会のこと	原田 維夫
COLUMN 和ガラス—ヨーロッパに憧れて誕生した器たち	土田ルリ子	座談会：都筑アートプロジェクトのこころみ		証言3 オリピックとデザインの出版	勝井 三雄
COLUMN 「もの」としての絵画	松岡 明子	椿会展2013—初心—ラリー	資生堂ギャラリー	証言4 デザイン室の活動から	道吉 剛
COLUMN 小袖形衣服について	丹羽理恵子	初心の「初」について。	畠山 直哉	証言5 熱気にあふれた日々	永井 一正
COLUMN 女性たちの装いと飾り—江戸時代のモードのひろがり	稲葉麻里子	ガラス絵・ハグ	赤瀬川原平	騰写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート	和歌山県立近代美術館
単彩画—ひとつの色の多彩な世界—和泉市久保惣記念美術館		作家の言葉	青木 陵子	はじめに一記憶と「歴史」に映る騰写版の面影	熊田 司
特別展「単彩画—ひとつの色の多彩な世界—」—日本絵画における単色表現について—	後藤健一郎	水の記憶 三つの初心から	内藤 礼 伊藤 存	騰写版の歴史	志村 章子
チェコの映画ポスター—テリー・ポスター・コレクションより—東京国立近代美術館フィルムセンター他		初めての始まり	水沢 勉	清水武次郎と騰写版	植野比佐見
「言葉」についての「言葉」—社会主義期の文化を語るために	阿部 賢一	輝元の分岐点—信長・秀吉との戦いから中国国分へ—	広島城	道東アートファイル2013 in the LIGHT in the SHADOW 北海道立帯広美術館	
『鬼婆』との古き良き時代—国家独占の時代におけるチェコの映画製作と配給	ヤロミール・ブラジエヨフスキー ペトル・ホリー 翻訳	論考4 戦国大名から豊臣大名へ	本多 博之	「ひかりのなか」と「かげのもと」	鎌田 亨
チェコ・映画ポスターの表象	今井 良朗	天上の舞 飛天の美	平等院鳳凰堂	作家の言葉	山本 雄基
テリー・ポスターの映画ポスターコレクション	パウエル・ライチャン	平等院鳳凰堂旧用の飾金具と平成の修理について	サントリー美術館	細木るみ子	
地球のかたちと万国の大地—横浜市立大学コレクション—古地図の世界—横浜市歴史博物館	横濱市立大学コレクション 古地図の世界 横浜市歴史博物館	天のシルクロード	林 温	松本 早苗	
総論 地球のかたちと万国の大地—横浜市立大学所蔵鮎澤信太郎文庫の古地図について—	松本 郁代	鳳凰堂と金色堂—雲中供養菩薩の有無をめぐる—	内藤 栄	浅川 茂	
都筑アートプロジェクト2013—ニュータウン幻想動物園—横浜市営地下鉄センター北駅	ニュータウン幻想動物園に寄せて	平等院平成修理の焦点	神居 文彰	藤原 千也	
ニュータウン幻想動物園に寄せて	岡 典明	平等院の瑞璃—その特徴と意義について	井上 暁子	小笹 純也	
		平等院鳳凰堂旧用の飾金具と平成の修理について	末兼 俊彦	戸張 良彦	
		平等院鳳凰堂の雲中供養菩薩像と後光飛天—浄土と飛天の表現について—	佐々木康之		
		東京オリンピック1964—デザインプロジェクト—東京国立近代美術館		動乱！播磨の中世—赤松円心から黒田官兵衛まで—兵庫県立考古博物館	
		東京オリンピック1964—そのデザインワークにおける「日本的なもの」	木田 拓也	コラム1 龍泉窯青磁	岡田 章一
		証言1 ヒヨッコの東京オリンピック	小西 啓介	コラム4 志方城と官兵衛とその妻「光[てる]」	松井 良祐
				コラム5 感状山城と浦上氏	岡田 章一
				都美セレクション 新鋭美術家2013 東京都美術館	
				「都美セレクション 新鋭美術家2013」展に寄せて	真室 佳武
				美術公募団体の新鋭たち	武内 厚子
				都美セレクショングループ展2回 東京都美術館	

グループによる展覧会紹介	渡辺 愛 大塚 泰生 佐藤 大地	神彌 佐 國司 華 新恵 美 藤井 美 松谷 千 室井 佳	子子子 加子子 夏子世	作家インタビュー	榊原 澄人 徳丸 鏡子 川上 直子 吉本 恵 大栗 由美 小笠原 美環 土橋 素子 真住 貴子 聞き手
"	土方 朋子 義村 京子 高野 浩子	益田 芳樹 菊池 敏正 須藤 博和 瀬田 愛之 武田 史子 土屋 仁克 中村 恒律 永宮 真理 富文 眞成 安原 美快 吉水 快	樹正雄 之子史 子史克 子史眞 子史眞 子史眞 子史眞 子史眞 子史眞 子史眞 子史眞 子史眞	"	榊原 澄人 徳丸 鏡子 川上 りえ 吉本 直子 大栗 恵 大野由美子 小笠原美環 土橋 素子 真住 貴子 聞き手
"	古屋 貴広 岡崎 咲彦 井上 恵介 齋藤 彰英	"	"	作家の言葉 §	"
"	小島 秀子 泉 さやか 桂川 美帆 加藤 富進 北原 典克 佐藤 祥太 木部 秀徳 蘭部 薫 島屋 直 森田 麻里	「第2回都美セレ クション グルー プ展」覚え書きー 新たな表現の可能 性を見るー	下倉 久美	建築家 栗生明イ ンタビュー	栗生 明
"	BARBARA DARLING 天野 彦 林 潤 響野 秀 笹川 久 笹川 治子 DEAD KE- BAB 暢平 鳴海 真 村田 wah docu- ment	DOMANI・明日展15回 未来を担 う美術家たち 〈文化庁芸術家在外 研修の成果〉 国立新美術館	曾根 裕 米正 万也 塩田 千春 神 彌佐子 橋爪 彩 行武 治美 澤田 知子 糸井 潤 平野 薫 青野 千穂 池田 学 小尾 修	作家インタビュー	"
"	宮村 弦 川尾 朋子 菊山 武士 中澤 希水 八戸 香太郎 平 蔵	作家の言葉 §	曾根 裕 米正 万也 塩田 千春 神 彌佐子 橋爪 彩 行武 治美 澤田 知子 糸井 潤 平野 薫 青野 千穂 池田 学 小尾 修	"	"
"	澤田 泰彦 羽仁 進 たかしたか こ 也毅 神田 和 稲継 豊 藤田 和人 竹谷 嘉和 越前 和代 松岩 邦男 津のぼる 有賀 和郎 勝間 弘幸 鷹嘴 直子 菅野 純 柳原 幹 芽 生 夢	"	"	"	"
"	山根 一晃 木下 直耶 佐藤 修康 中村 太 松本 菜々	DOMANI・明日展16回 未来を担 う美術家たち 建築×アート 〈文 化庁芸術家在外研修の成果〉 国立 新美術館	"	"	山口 尚之 山添 奈織 大津 若果 霜田 亮祐

§ 作家の言葉 §	山田 良	審査講評 「ドローイングとは何か」展	名古屋 覚	日本画家が描いた西洋風景展—滞欧作を中心として— 市制55周年開館30周年記念特別展	稲沢市荻須記念美術館
”	郡 裕美				
”	迫 慶一郎				
”	田中 宏明				
”	伊藤 廉				
”	瀬下 淳子				
”	田辺 雄之				
”	平瀬 有人				
”	小堀 芳秀				
”	鈴木葉菜子				
”	大野 暁彦				
”	松川 昌平				
”	石井 大五				
”	細海 拓也				
ドラマチック大陸 風景画でたどるアメリカ ナイアガラから、グランド・キャニオン、ヨセミテへ。名古屋ポストン美術館					
序	カレン・E・クイン				
1. New England	ジャネット・コーミー				
2. The Mid-Atlantic	カレン・E・クイン				
3. The South	ジャネット・コーミー				
4. The West	”				
Drinking Glass 酒器のある情景					
サントリー美術館					
ここに、そこに、ガラスの酒器—情景に見るドリンクング・グラス10選	土田ルリ子				
ガラスの角杯について	東 容子				
白瑠璃碗をめぐつて	内藤 栄				
レーマ杯：森から生まれたガラス	井上 暁子				
藍色ちろりと吹きガラス	土屋 良雄				
「ドローイングとは何か」3回 公募入賞・入選作品展	ギャラリー志門				
審査講評 選考を終えて	金澤 毅				
審査講評 『ドローイングとは何か』展	中林 忠良				
		内臓感覚 遠くて近い生ノ声 21世紀美術館	金沢		
		内臓というこだまに呼ばれて	今福 龍太		
		響け、内なる声よ聴け、「遠くて近い声」を	吉岡恵美子		
		夏目漱石の美術世界 館他	広島県立美術館		
		漱石のなかの絵—王若水の「懸物」をめぐつて	芳賀 徹		
		夏目漱石の美術世界	古田 亮		
		夏目漱石『文展と芸術』—漱石の「自己の表現」と黒田清輝、高村光太郎	泰井 良		
		20年後の横の会 日本画の現在 新潟市新津美術館他			
		「横の会」—あくなき日本画への挑戦	柳原 正樹		
		日本画の現在 20年後の「横の会」展	横山 秀樹		
		二年後。自然と芸術、そしてレクイエム 茨城県近代美術館			
		「ひとつのメッセージ あるいは、震災後の「近さ」と隔たりについて」	市川 政憲		
		「二年後」をめぐつて・試論	河口 龍夫		
		ひかり	エミコ・サワラギ・ギルバート		
		私たちが遭遇したもの	井上 直		
		§ 作家の言葉 §	野沢 二郎		
		近づいては遠ざかる/珍島の場合	植橋 朝子		
		水と身体の方	間島 秀徳		
		§ 作家の言葉 §	米田 知子		
		海を噴[ミツ]めて 茶の湯を噴[ミツ]めて	中西 夏之		
		《着陸と着水 XIV 五浦海岸》について	市川 政憲		
				日本画家の西洋憧憬と滞欧の成果—国展の画家たちを中心として—	上園 四郎
				国展の画家たちの西洋風景	徳山亜希子
				堂本印象《窓》にみる西洋の受容	山田美佐子
				風景をみつめて—東山魁夷と荻須高德—	河合 志穂
				日本画 美の競演—百花繚乱— 蘭島閣美術館所蔵 新見美術館	
				蘭島閣美術館とその所蔵品について	金田 晋
				日本写真の1968 東京都写真美術館	
				クロニクル—九六八—「写真」の近代を革新するために	金子 隆一
				見出された「記録」の在処—「写真—〇〇年」再考	土屋 誠一
				挑発の回路—『プロヴォーク』の道程	小原 真史
				曖昧さの射程—コンボラ写真と『カメラ毎日』の時代	富山由紀子
				行為としての写真—全日本学生写真連盟の成立と最初の変革	金子 隆一
				日本の木のイス展 くつろぎのデザイン・かぞくの空間	横須賀美術館
				理想の椅子	神永 匡崇
				§ 作家の言葉 §	白倉 祥充
				”	藤澤耕一郎
				日本の水彩画—記録・記憶/構想・夢想— 下関市立美術館	
				水彩画における二つの「表現」	佐藤 一郎
				水彩画手引書に見る日本洋画の思考と方法—三宅克己、丸山晚霞、石井柏亭らの著作から	岡本 正康
				日本の「妖怪」を追い！ 北斎、国芳、芋銭、水木しげるから現代アートまで	横須賀美術館

原始の声—妖怪の起源— 谷川 健一  
江戸の「妖怪」を追う—浮世絵版画に描かれた妖怪たち— 日野原健司  
「妖怪」を追いながら—日本の「妖怪」を追え！展をめぐる— 日野原清水

能を彩る文化財—名品能面能装束展 国立能楽堂開場三十周年記念特別展示 国立能楽堂

能面の重要文化財指定について 田邊三郎助  
重要文化財指定されている能装束 長崎 巖  
染織文化財を伝える—能装束— 小林 彩子  
能装束をめぐる技術の伝承 菊池 理予

野田の絵馬—ならわし、なりわい、わざわい、たすけあい— 野田市郷土博物館

論考 絵馬以前—人・馬・船・絵馬— 下津谷達男  
論考 野田市の絵馬と奉納額 石田 年子

(ハ行)

ハイレッド・センター：直接行動の軌跡 名古屋美術館他

時代の変遷動物か！ 和泉 達  
直接行動とは何であったか。 刀根 康尚  
反芸術の時代 小杉 武久  
ハイレッド・センターと私の映画作り 飯村 隆彦  
Hi-Red Center の思い出 久保田成子  
ハイレッド・センターの正体 山田 論  
ハイレッド・センターと オブジェ／場所／手続／写真 光田 由里

破壊された都市の肖像—ゲルニカ、ロッテルダム、東京— 群馬県立近代美術館

『破壊された都市の肖像』—本展の構成について 松下 由里

蜂須賀家売立目録の世界 徳島市立徳島城博物館

論考 『蜂須賀家売立目録』を読む 小川 裕久

発信／／板橋／／2013 ギャップ・ダイナミクス 板橋区立美術館

新たな始まりのために studio mar (丸山 芳子・丸山 常生)

§ 作家の言葉 § 大矢 りか  
" 金沢 寿美  
" 任田 進一  
" 中津川浩章  
" 丸山 常生  
" 丸山 芳子

花開く江戸の園芸 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 東京都江戸東京博物館

本草から見た園芸文化のひろがり—奇品の意義を探る— 平野 恵

隠居大名・柳澤信鴻の楽しい園芸生活 小澤 弘

Paris、パリ、バリー 日本人が描く1900—1945 ブリヂストン美術館

パリと日本の洋画家たち1900—1945 貝塚 健

反重力 浮遊 | 時空旅行 | パラレル・ワールド 豊田市美術館

飛行、浮遊、そして反重力へ 吉岡 洋

反重力—重さからの離陸のゆくえ 能勢 陽子

ピース・ミーツ・アート！ アート・アーチ・ひろしま2013 広島県立美術館

「平和」を軸に、美術の未来を探る 永井 明生

広島に架かるアート・アーチ 山下 寿水

いま、深い亀裂の向こう側に、思いをめぐらせる 岡村 幸宣

東日本大震災と気仙沼の生活文化—人間文化研究機構連携展示— 国立歴史民俗博物館

解説 東日本大震災を経験した気仙沼の生活文化—国立歴史民俗博物館の資料レスキュー活動から— 小池 淳一

解説 モノの救出から物語の救出への展開—気仙沼市小々汐・尾形家住宅における活動を事例に— 葉山 茂

解説 警鐘と鎮魂—「記念碑」に定められた「知恵」の所在 川村 清志

解説 三浦家のモノにみる本吉地域の生活文化—津波のあとに興された家— 加藤 秀雄

光の賛歌 印象派展 バリ、セーヌ、ノルマンディの水辺をたどる旅 東京富士美術館他

印象派と水辺の風景—マネの《アルジャントウイユ》を中心に 三浦 篤

反映に焼かれた眼 シルヴァン・アミック 斎藤 達也 訳

「無造作だが、無遠慮ではない」—ルノワールの《ブルジョワルのダンス》 エミリー・ビーニー 松井 裕美 訳

引込線2013 美術作家と批評家による第4回自主企画展 旧所沢市立第2学校給食センター

§ 作家の言葉 § 伊藤 誠  
" 遠藤 利克  
" 荻野 僚介  
" 利部 志穂  
" 倉重 光則  
" 鷹野 隆大  
" 富井 大裕  
" 登山 博文  
" 豊嶋 康子  
" 中山 正樹  
" 前野 智彦  
" 眞島 竜男  
" 益永 梢子  
" 水谷 一  
" 箕輪重希子

平成25年美術展覧会図録所載文献(企へ行)

近代の跡地(1)	阿部 真弓	祈念[いのり]—木 っ端に込めた鎮魂 と救済—	大下 大圓	材料と技法の解明、 名品の謎に迫る	〃
ミニマリズムと非 芸術	荒川 徹	飛驒の円空—その 活動の一端に關す る試論	浅見 龍介	装飾料紙の修理	〃
ゾエ・レオナード における生存のレ オロジー	石川 卓磨	ひだびとと円空— 飛驒に伝わる円空 伝説・逸話から—	大石 崇史	名筆の修理	〃
北村西望と平和祈 念像	石崎 尚	秀吉に備えよ!! —羽柴秀吉の中国 攻め— 羽柴秀吉天下統一への足跡		作品の“格”と表装 裂の取り合わせ	〃
写真[クリシェ]から 力を解放する— フランシス・ペー コンの写真使用に ついて	井上 康彦	日本を变革した湖北・長浜 長浜城 歴史博物館		古[いにしえ]の制 作技法を探る	五味 聖
「意識的構成主義」 という名のオート マトン—村山知義 と身体の衝撃	沢山 遼	秀吉の本拠地・長 浜城と家臣たち	森岡 榮一	3件の同意匠作品 —制作技法の違い を解明	〃
底なしからの身振 り、あるいは手だ し不可能な局面に おける手段性につ いて	高嶋 晋一	美の響演 関西コレクション 国 立国際美術館		繊細な修理	岡本 隆志
アクセス装置—エ レン・C・コヴィ ットの音楽を位置づ ける	中井 悠	生きているコレク ション	山梨 俊夫	新出!—裏面から の発見	斉藤 全人
吉原治良の擬態に ついて	野田 吉郎	「関西コレクショ ンズ」の開催にあ たって	島 敦彦	〈修理作品の紙〉 〈平成7~24年度 の修理作品〉	
フランシス・ペー コン作《三人の人物の肖像》に關する一考察	榊田 倫広	百人一首かるたの世界	大津市歴史 博物館	ファインバーグ・コレクション 江 戸絵画の奇跡 江戸東京博物館他	
君の名前を書く、 ただそれだけでさ えも	松浦 寿夫	「百人一首かるた の世界」展に寄せ て	吉海 直人	私たちが江戸絵画 を蒐集した理由	ロバート・ ファインバ ーク
三木富雄論 第三 章[連載第4回] 耳以前期の二相— 物質的混沌から肉 体的形象へ	峯村 敏明	百花繚乱—花言葉・花図鑑—	山種 美術館	江戸時代絵画の奇 跡	小林 忠
切断される再演— 「以後」としての 1978年の彫刻	森 啓輔	§作家の言葉§	牧 進	フィロソフィカル・ファッション2 : ANREALAGE A “COLOR UN COLOR” 金沢21世紀美術館	
モンドリアンとフ ァン・ドゥースブル フのグラフィック ・イメージ	米田 尚樹	美を伝えゆく— 公開と保存、三の 丸尚蔵館20年の歩 みとこれから—	太田 彩	寡黙で饒舌な衣服 —アンリアレイジ のクリエイション	平林めぐみ
彦根城 天下普請の城—世界遺産登 録へ向けて— 彦根城博物館		美を伝えゆく— 公開と保存、三の 丸尚蔵館20年の歩 みとこれから—		プーシキン美術館展 フランス絵画 300年 愛知県美術館他	
論考 彦根城天守 の魅力—正統にし て華麗で粋な天守 —	三浦 正幸	修理の様子を紹介 !! (伊藤若冲「動植 綵絵」の場合)	〃	プーシキン美術館 のフランス絵画— コレクションとコ レクター	アンナ・ス ディモワ、 アレクセイ ・ペトゥホ フ 福岡 加容 訳
論考 到達点とし ての彦根城	中井 均	修理事業と日本伝 統文化の継承	〃	聖と俗の図像 西 洋絵画にみる肖像 —「プーシキン美 術館展」出品作を 中心に	松永真太郎
飛驒の円空 千光寺とその周辺の足 跡 東京国立博物館		八条富家(旧桂宮 家)伝来の屏風が 語ること	〃	野生と文明の間で —ゴージャスをめ ぐる物語	岡 泰正
		海北友松の二つの 屏風—「浜松図」と 「網干図」—	〃	アンリ・マティス 静物画・室内画に 描かれた布の模様 について	森 美樹
		「万国絵図屏風」の 修理がもたらした もの	〃	FENDI UN ART AUTRE~フェン ディ もうひとつのアート、ク リエイションとイノベーションの軌跡~ 東京芸術大学大学美術館	
		宗達と宮中の関わ りを深めた屏風	〃		
		「動植綵絵」—色彩 と表現の解明	〃		

フェンディのクラ フツマンシップと アート	エマニュエ ラ・ノビー レ・ミーノ	《ルソー》シリーズ に写された日本版 画	石崎 泰之	対談：エンターテ インメント部門 「作品未満」の可能 性に賭ける	伊藤ガビン 中村 勇吾
福岡現代美術クロニクル 1970- 2000 福岡県立美術館/福岡市美 術館		文化庁メディア芸術祭受賞作品展 16回 国立新美術館/シネマート 六本木/東京ミッドタウン/スーパ ーデラックス		審査講評：アニメ ーション部門 「日 常」という主題の 台頭	押井 守
状況のための交流、 交流のための状況 ：「九州派以後」の 福岡現代美術	山口 洋三	総評	建島 哲 浜野 保樹	審査講評：アニメ ーション部門 映 像表現のさらなる 進化と発展を求め て	氷川 竜介
§ 高向一成経営の ジャズ喫茶『イヴ の林檎』での会合 配布資料より(1981 年6月28日) §		審査講評：アート 部門 未来の共有 へ向けた、いま・ この時空間とメ ディアの可能性	岡部あおみ	審査講評：アニメ ーション部門 日 本の短編アニメー ションの多様性	古川 タク
福岡市美術展47回 福岡市美術館		審査講評：アート 部門 今日芸術 としてのメディア 芸術	神谷 幸江	審査講評：アニメ ーション部門 「完 成度」と「オリジ ナリティ」の力	和田 敏克
選評	深野 治 酒井 忠臣 安部 順是 梶原 順正 北島 石聊 小河 修次 かねこ しん ぞう	審査講評：アート 部門 時代と不可 分のメディアア ート	高谷 史郎	対談：アニメーシ ョン部門 円熟期 の広がり体験せ よ	氷川 竜介 和田 敏克
武家の調度 北九州市立小倉城庭園 蒔絵婚礼調度	立島 敦子	審査講評：アート 部門 プロセスの 精度と表現時間 へのデリカシー	原 研哉	審査講評：マンガ 部門 マンガのゼ ロ年代、10年代に 応える賞として	伊藤 剛
二つのユニークな版画集展 Fuji Xerox Art Space		審査講評：アート 部門 「切実さ」へ の共感	三輪 眞弘	審査講評：マンガ 部門 マンガが生 みだす時空間の魅 惑	斎藤 宣彦
「二つのユニーク な版画集」に寄せる 試論	滝口 明子	鼎談：アート部門 加速するテクノロ ジー/自省するア ート	神谷 幸江 高谷 史郎 三輪 眞弘	審査講評：マンガ 部門 やや残念な 日本作品の参加	竹宮 恵子
仏像半島一房総の美しき仏たち一 千葉市美術館		審査講評：エンタ ーテインメント部 門 今日もどこか で情熱が燃えてい る	伊藤ガビン	審査講評：マンガ 部門 国際化、媒 体の多様化が推す マンガのパワー	みなもと太 郎
房総の仏像一鎌倉 ・南北朝期の造像 を中心に	武笠 朗	審査講評：エンタ ーテインメント部 門 「今」をどのよ うに見つめ、どの ような態度で芸術 に向かうのか	岩谷 徹	審査講評：マンガ 部門 世界中の素 晴らしいマンガに エールを	ヤマダトモ コ
房総の薬師如来像 とその信仰	濱名 徳順	審査講評：エンタ ーテインメント部 門 エンターテイ ンメント=未来の 予感	久保田晃弘	対談：マンガ部門 拡張するマンガを いかにして掬いき るか	みなもと太 郎 斎藤 宣彦
フランス印象派の陶磁器1866- 1886 ジャポニスムの成熟 滋賀 県立陶芸の森陶芸館他		審査講評：エンタ ーテインメント部 門 誰もが夢見る 根源的・本能的想 像に応える作品た ち	寺井 弘典	ベストセクション 美術2013 東京都美術館	
序論 フランス印 象派の陶磁器 1866-1886	フィリップ ・デニス・ ケイト	審査講評：エンタ ーテインメント部 門 誰かが夢見る 根源的・本能的想 像に応える作品た ち	中村 勇吾	「ベストセレクシ ョン 美術2013」 展-公募団体の作 家たちは今-	真室 佳武
ジャポニスム、印 象派、革命	ロラン・ダ ルピス	審査講評：エンタ ーテインメント部 門 誰かが夢見る 根源的・本能的想 像に応える作品た ち		ベストセレクシ ョン展に寄せて	建島 哲
ジュール・ヴィエ イヤール工房とジ ャポニスム	マリー・ク ララク 今井 祐子 訳	審査講評：エンタ ーテインメント部 門 観客の設定		北条時頼とその時代 没後七五〇年 記念特別展 鎌倉国宝館	
フランス19世紀後 半の《ルソー》シリ ーズからアピラン ド社のジャポニス ムへのアプローチ	三浦 弘子			総論 北条時頼の 虚像と実像	高橋慎一朗

平成25年美術展覧会図録所載文献(企ハ、マ行)

北条時頼の肖像彫刻	塩澤 寛樹	「ma ta - no zo ki」(股視き)	〃	崇仁親王殿下、ご幼少時のお召し物一大正の思い出	五味 聖
蘭溪道隆像について	高橋 真作	拡大し、積み重なる街—横須賀の記憶	沓沢 耕介	伝統をつなぐ品々	太田 彩
北魏 石造仏教彫刻の展開	大阪市立美術館	ただよう横須賀—鈴木昭男の場合—	新井 陽子	三島弥生文化の黎明	安満遺跡の探求
北魏石造仏教彫刻概論	齋藤 龍一	すける横須賀—秋山さやかの場合—	〃	東奈良銅鐸の文様をめぐって	設楽 博己
北斎と暁斎 奇想の漫画	太田記念美術館	生活とアートⅤ 窓花 中国の切り紙	黄土高原・暮らしの造形	ミニマル/ポストミニマル 1970年代以降の絵画と彫刻	宇都宮美術館
北斎と暁斎—受け継がれる漫画	日野原健司	はじめに	下中 菜穂	1970年代と(その後)…ふつうにしてラディカル	地に足をつけた作家たちの「本質」への下降
河鍋暁斎の挿絵本とその魅力	河鍋 楠美	ヤオトンに暮らす	〃	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
ほっかいどう大マンガ展	札幌芸術の森美術館	窓に咲く花	下中 丹羽 朋子	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
北海道とマンガ〜「語ることの不在」という豊穣	伊藤 隆介	窓花図絵Ⅰ	〃	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
ボンジュール、ジャポン ゆかしくカワイイ、和のかたちと風景	開館15周年記念	窓花こぼればなし1	〃	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
北区飛鳥山博物館		人と会う/人物記1 馬瑞蘭[マアルイラン]	丹羽 朋子	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
展示へのいざない	石倉 孝祐	ヤオトンの年越し	〃	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
(マ行)		あの世とこの世	〃	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
マダガスカル 霧の森の暮らし(霧の森の叡智 マダガスカル、無形文化遺産のものづくり)	国立民族学博物館	女の手仕事	下中 菜穂	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
文化の象徴としての家	飯田 卓	人と会う/人物記2 高鳳蓮[ガオフォンリエン]	丹羽 朋子	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
焼畑から受け継いだ粗さと細やかさ	〃	窓花図絵Ⅱ	下中 菜穂	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
暮らしに生きる造形と装飾	上羽 陽子	窓花こぼればなし2	下中 丹羽 朋子	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
消滅の危機に瀕した遺産	吉本 忍	人と会う/人物記3 馮山雲[フォンシャンユン]	丹羽 朋子	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
文化行政と農村の暮らし	シャンタル・ラディミラヒ 関 健次郎 翻訳	「窓花」の歴史	〃	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
人類の「無形の営み」を保護する挑戦	大貫美佐子	暮らしのフィールドワーク	下中 菜穂	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
街の記憶 写真と現代美術でたどるヨコスカ	横須賀美術館	円山応挙 江戸時代絵画 真の実力者	愛知県美術館	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
展覧会ノート—街の記憶	工藤 香澄	真の実力者・円山応挙—日本絵画史上、最大の結節点としての	山下 裕二	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
タマゴ・ピンホール	鈴木 昭男	応挙画を考える—その日本絵画史における“新しさ”とは?	馬淵 美帆	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
		応挙プロデューサー、大乗寺客殿について	平井 哲修	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
		三笠宮家ゆかりの染織美	貞明皇后、	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
		いつくしみの御心	宮内庁三の丸尚蔵館	作家・作品解説	作家別出品作品リスト
				みほとけのかたち—仏像に会う—	奈良国立博物館
				巻頭言 仏像に会う	西山 厚
				総論 聖なるもののかたちとしての仏像	岩井 共二



みる、ふれる、きく、アート—感覚  
で楽しむ美術 とちぎアート・ドク  
ュメント 栃木県立美術館

手で見ること、目  
で感じること、ひ  
ととひと・ひとと  
ものをつなぐこと

島 一嘉  
§作家の言葉§ 吉本 義人  
" 手塚登久夫  
" 古郷 秀一  
" 栃木 美保  
" 松島さくら  
子  
" 丸山 浩司  
" 糸井 潤  
" 田中 康子  
" 丑久保健一  
" 武藤 玲子  
" 日原 公大  
" 岩本 拓郎  
" 藤原 彩人  
" 妻木 律子  
" ひびのこづ  
え  
" ライブ・ボ  
ーン

魅惑の清朝陶磁 京都国立博物館他  
清朝陶磁と日本 尾野 善裕

明清の絵画 山岡コレクション 笠  
岡市立竹喬美術館  
中国絵画史の構造 山岡 泰造  
山岡コレクション  
の魅力 上藪 四郎

ムサビのデザインIII デザインが  
語る企業理念：オリベッティとブラ  
ウン 武蔵野美術大学美術館・図書  
館(美術館)

企業文化とデザイ  
ン 柏木 博

聳え立ち、消失す  
る企業理念—建築  
とデザイン志向産  
業の蜜月の終焉 松葉 一清

明治十二年明治天皇御下命「人物写  
真帖」—四五〇〇余名の肖像 宮内  
庁三の丸尚蔵館

明治十二年明治天  
皇御下命「人物写  
真帖」—その内容  
構成と制作事業 太田 彩  
松谷 芙美

明治初中期にみる 中村 一紀  
写真事情

明治・大正・昭和戦前期の宮廷服—  
洋装と装束— 文化学園創立90周  
年記念 文化学園服飾博物館

「明治・大正・昭  
和戦前期の宮廷服  
—洋装と装束—」  
展覧会にあたって 植木 淑子

明治の傑人 岸田吟香〜日本で初め  
てがいっぱい！目録・新聞・和英辞  
書〜 豊田市郷土資料館

研究ノート1 拳 森 泰通  
母藩の吟香を追う

研究ノート2 江 〃  
戸の町の吟香を探  
して

column 1 《吟香 不破 恵里  
と由一》

column 2 《吟香 森 泰通  
が綴った日記》

column 3 《K. S.  
ASOMの謎》—桜  
を愛した吟香— 〃

column 4 《高橋 〃  
是清が読んだもし  
ほぐさ》

column 5 《拳母 〃  
藩二人目の新聞記  
者か？斎木環》

column 6 《吟香 不破 恵里  
の卵かけご飯》

明治のころ モースが見た庶民の  
くらし 東京都江戸東京博物館

モース・コレクシ  
ョンの形成とその  
背景 小山 周子

モースと生き人形 小林 淳一

日本陶器の収集に  
かけた情熱 三木 美裕

MEDIA PRACTICE 2012-13 東  
京藝術大学大学院映像研究科メデ  
ィア映像専攻年次成果発表会—修士課  
程修了制作展—(東京藝術大学大学  
院映像研究科メディア映像専攻  
2012年度修士課程修了制作展) 東  
京芸術大学横浜キャンパス

§作家の言葉§ 貝和由佳子

" 佐藤志都穂

" 大門 光

" 中村 将志

" 仲本 拓史

" 中山 多恵

" 人見 麻紀

" 細川比呂志

" 堀田 一馬

" 宮原 万智

" 村上 雄大

" 横井 優樹

藤幡研座談会 貝和由佳子  
中村 将志  
仲本 拓史  
藤幡 正樹  
宮原 万智

佐藤志都穂  
佐藤 雅彦  
中山 多恵  
堀田 一馬  
村上 雄大  
横井 優樹

桂 英史、  
細川比呂志、  
光

Katsura. Lab.  
座談

桐山 孝司、  
人見 麻紀  
宮原 万智  
聞き手

貝和由佳子  
佐藤志都穂  
大門 光  
中村 将志  
仲本 拓史  
中山 多恵  
人見 麻紀  
細川比呂志

§Q & A§

堀田 一馬  
宮原 万智  
村上 雄大  
横井 優樹

最上川流域の文化と景観 山形県立  
博物館

コラム7 国際都  
市「堺」の茶道具

文字の力・書のチカラII—書と絵画  
の対話 出光美術館

書の中の絵画性—  
1950年代の鏡を通  
してみた書の特質 笠嶋 忠幸

数の理—偶数の聖  
・奇数の粹 菊山 武士

青の名前 樋口 一貴

色紙・短冊が屏風  
の景色となる 中村 玲

百舌鳥・古市古墳群出現前夜 大阪  
府立近つ飛鳥博物館

もっと知りたい  
古墳時代前期後半  
の鏡について 鈴 千夏

平成25年美術展覧会図録所載文献(企マ、ヤ行)

コラム 明治時代の松岳古墳群 市村慎太郎

モダン・パリの装い 19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート 鹿島茂コレクション3 練馬区立美術館

ファッション・プレートの誕生 鹿島 茂

ファッション・プレートと絵画—19世紀における風俗版画と絵画との関係 小野 寛子

もののあはれと日本の美—美術館

あはれの一言に帰す「もののあはれ」と本居宣長 吉田 悦之

「もののあはれ」と日本の美について—一月と秋草を中心に 石田 佳也

工芸意匠にみる「もののあはれ」 日高 薫

清芳芸術にみるもののあはれ 宮崎 徹

森秀貴・京子コレクションによる現代版画 三鷹市美術ギャラリー

コレクション事始め 森 秀貴

(ヤ行)

八重の桜 2013年NHK大河ドラマ特別展 江戸東京博物館他

博覧会の時代へ—八重の生きた近代の京都— 畑 智子

昭和三年と会津—松平恒雄とその邸宅から— 齋藤 慎一

やきものが好き、浮世絵も好き 山口県立萩美術館・浦上記念館名品展 根津美術館

浦上コレクションについて 浦上 敏朗

中国・朝鮮のやきものへの眼差し 西田 宏子

当館所蔵の浮世絵版画コレクションについて 鈴木 浩平

屋根裏部屋の博物館 洪沢敬三記念事業 国立民族学博物館

洪沢敬三とアチックミュージアム 近藤 雅樹

Column 1 随想・駅弁の包み紙 木村 裕樹

Column 2 旅譜に探る洪沢敬三と埼玉—父祖の地・血洗島への思いの芽生え— 大明 敦

Column 3 沢敬三と柳田國男 佐野 賢治

Column 4 保谷時代—アチックミュージアムのその後— 宮本 瑞夫

Column 5 柏窓社 井上 潤

Column 6 商品としての玩具—「鴻巣の赤物」に見るアチックミュージアムの玩具時代— 内田 幸彦

Column 7 民具収集体制の確立を目指して—旧八基村収集資料と「民具蒐集調査要目」—

Column 8 祖先の顕彰—洪沢家と敬三— 佐藤 美弥

Column 10 アイヌ家屋の野外展示 斎藤 玲子

「津軽の旅」の教訓—アチック旅行と敬三の思い— 齊藤 純

谷保の歌が聞こえる～歌と共にみる村の暮らし～ くにたち郷土文化館

特別寄稿文「人々のくらしと歌の役割—アジア地域と日本の様子を中心に—」 小野寺節子

山岡+石橋コレクションでみる洋画家たちの明治 石橋美術館

はじめに—ふたつのコレクション— 森山 秀子

明治洋画のここがおもしろい ”

山寺 後藤美術館コレクション展 Bunkamura ザ・ミュージアム他

山寺 後藤美術館 阿部 信雄

山梨の名宝 山梨県立博物館

第一章 文化の黎明 時空を超えた造形 中山 誠二

第二章 敬虔なる祈り 近藤 暁子

第三章 戦国の雄、威風堂々 海老沼真治

山に魅せられた画家たち Mountain Landscape 北海道立帯広美術館

山一人を惹きつけるその魅力 佐藤由美加

坂本直行—一日高山脈と十勝の原野を愛した山岳画家—

—原有徳—版画家、登山家、俳人

山の神々—九州の霊峰と神祇信仰— 九洲国立博物館

龍門神社肇祀1350年記念 九洲国立博物館

総論 山の神々—九州の霊峰と神祇信仰— 森 弘子

コラム 九州の霊峰の古神像 井形 進

コラム 宝満山の歴史 酒井 芳司

コラム 英彦山の歴史 松川 博一

コラム 宝満山伏の衣体 森 弘子

コラム 霊山への信仰がもたらしたもう一つの実り—古典文学の世界から— 望月 規史

コラム 彦山小形の世界 岡寺 良

結の華—佐賀鍋島家と宇和島伊達家の幕末・明治— 宇和島市立伊達博物館

特筆 「結の華—嵯峨鍋島家と宇和島伊達家の幕末・明治—」展出品 鍋島家伝来史料 富田 紘次

特筆 佐賀鍋島家と宇和島伊達家の縁 上田 理沙

ユートピアを求めて ポスターにみるロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム 松本環樹コレクション 神奈川県立近代美術館(葉山)他

ポスターがもっとも輝いたとき—松本瑠樹コレクションをめぐって	水沢 勉	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 北海道・東北編 東京都写真美術館他	白牙会展の記録 (全23回) 1924—1954	〃
グラヴリートの検閲番号等から特定されるポスター発行時期とその考察—旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化的研究の一端緒—	初山 昌夫	明治期天災記録写真の写真技術	高橋 則英	(ラ行)
ユーモアと飛躍—そこにふれる—あいちトリエンナーレ2013並行企画事業(HUMOR and LEAP of THOUGHT Far beyond our recognizable world) 岡崎市美術博物館		北海道における写真術のひろがり—明治20~30年代にかけて	大下 智一	LOVE展 アートにみる愛のかたち シャガールから草間彌生・初音ミクまで 六本木ヒルズ・森美術館10周年記念展 森美術館
Essay 1 ユーモアと飛躍	三脇 康生	山形における写真の「ひろがり」—初期写真師と庄内大地震震災写真	平井 鉄寛	愛と革命：共生の美学 南條 史生
Essay 2 ユーモア—知りえぬ世界についての気づき	千葉真智子	イメージとピースの間で—いま初期写真を観つづけることについて	三井 圭司	愛という言葉の向こうにあるもの 角田 光代
About Work of Kohei Kobayashi 消去 リメイク 再生 うずしお タイムトラベル	伊藤 亜沙	「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 北海道・東北編」における資料所蔵調査アンケート報告	若杉 紗愛	江戸時代における愛と恋 田中 優子
Voice 01 「ソ・ン・ビ・タ・ウ・ン/レシビ」	小林 耕平	資料編 北海紀行	天野 圭悟 現代語訳	愛のチューニング 岡田 温司
About Work of D. D. 48時間滞在マニュアル	D. D.	資料編 北海道立志編	〃	Love & Reality 藤井 直敬
About Work of D. D. Experiences 01 D. D. —3部作の体験—蟲・ナマモノ・社会的動物の力を引き出す可変的構造について—	秋庭 史典	資料編 北海道立志編	〃	琳派から日本画へ—和歌のころ・絵のころ— 山種美術館
About Work of D. D. Experiences 02 アートの迷路を抜けた先—D. D. を体験することについて	道家 洋	資料編 明治二十年函館市況一斑	〃	琳派に見る和歌のころと絵のころ 三戸 信恵
Voice 02	D. D.	資料編 逝ける田本研造翁(上)	〃	ルーヴル美術館展—地中海 四千年のものごと— 東京都美術館
Voice 03 「ユーモアのある生活」	池田 晶紀	資料編 逝ける田本研造翁(下)	〃	古代地中海—歴史的現実と創世神話のはざままで ジャン＝リュック・マルティネズ 奈良澤由美 訳
Voice 04	泉 太郎	資料編 北海道写真文化史 箱館戦争の写真	〃	中世の地中海 十字軍からレコンキスタまで ジャニック・デュラン 瀧本 みわ 訳
Voice 05	長谷川 繁	ようこそ頼へ！遊ぼうよパラダイス 頼の津ミュージアム		イスラームと地中海—矛盾した出会い？ ソフィー・マカリウ 阿部 克彦 訳
Voice 06	花岡 伸宏	山名勝己 都築 響一		「イタリア旅行は人生に喩えることができる」 18、19世紀におけるイタリア旅行をめぐる考察 ヴァンサン・ボマレド 大橋菜都子 訳
Voice 07	八木 良太	柴川敏之 柴川 敏之		緑青の美 東南アジアの青銅美術 福岡市美術館
夢か、現か、幻か What We See 国立国際美術館		根本敬 根本 敬		アンコール王朝時代の青銅彫刻遺例の紹介 後藤 恒
夢か、現か、幻か—What We See	植松 由佳	ガタロ 都築 響一		ロシアが見たアイヌ文化 ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館のコレクションより 小樽市総合博物館他
		ようこそ、白牙会展へ—茨城洋画界の幕開け 再考—茨城の近現代美術 II 茨城県つくば美術館		
		近代日本の中等学校図画教育と白牙会会員	金子 一夫	
		地域に芽吹く美術—白牙会と初期の日立美術協会	大森 潤也	
		茨木洋画界の幕開け—白牙会の誕生から解散まで	吉田 衣里	

ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館(クンストカメラ)アイヌコレクション	A. M. ソコロフ N. V. マイコヴァ	「ロマンの系譜 怪奇幻想玉手箱」 ゴヤからシュルレアリスムへ 富山県立近代美術館	渡辺華山・椿椿山が描く花・鳥・動物の美 田原市制施行10周年・渡辺華山生誕220年・田原市博物館開館20年記念企画展 田原市博物館
海外のアイヌ資料と「クンストカメラ」アイヌ資料の特質	荻原 眞子	理性的眠りは怪物を生む、だが… 雪山 行二 ダーク・ロマンの果てに 八木 宏昌	華山・椿山の写実表現 鈴木 利昌
ロシアに渡った屏山のアイヌ絵	五十嵐聡美	(ワ行)	和様の書 東京国立博物館
アイヌ文様と九州の壁画古墳文様	赤司 善彦	若梅に撫子 旧高松宮家と伝来の品々 宮内庁三の丸尚蔵館	和様の書 島谷 弘幸
路上から世界を変えていく 日本の新進作家 vol. 12 東京都写真美術館		旧高松宮家における美術の継承 岡本 隆志	コラム 四大手鑑 恵美千鶴子
再び路上で	石田 哲朗	わが心の山河 あなたに見せたい風景 寺田コレクション 茨城県天心記念五浦美術館	コラム 最古級の仮名 田良島 哲
§ 作家の言葉 §	大森 克己	コレクション展に寄せて 寺田小太郎	コラム 平家納経 恵美千鶴子
〃	林 ナツミ	あなたに見せたい風景 中田 智則	コラム 装飾料紙 高橋 裕次
〃	糸崎 公朗	若狭・多田寺の名宝 龍谷大学 龍谷ミュージアム	コラム 世尊寺家 恵美千鶴子
〃	鍛冶谷直記	多田寺を取り巻く歴史と文化 杉本 泰俊	和様の書の料紙について 高橋 裕次
〃	津田 隆志	若狭多田寺一地域から見た諸尊造立の背景一 芝田 寿朗	王朝貴族の書と信仰一藤原行成を中心に 田良島 哲
路上と観察をめぐる表現史 広島市現代美術館		多田寺の歴史と宝物一本尊造立以後一 石川 知彦	絵と書の関係をめぐる雑考 沖松健次郎
観察者たちがもたらすもの	松岡 剛	和歌と美術一歌のたのしみ、絵のよろこび一 神々の国しまね 古事記 1300年 島根県立石見美術館	「和様の書」鑑賞の歴史 恵美千鶴子
コラム1 考現学の条件	中谷 礼仁	詠まれた「もの」・描かれた「もの」 並木 誠士	笑う浮世絵一戯画と国芳一門 太田記念美術館
コラム2 知覚の輪郭	内海 慶一	歌仙絵がうまれたとき 土屋 貴裕	私の「笑う浮世絵」発見への道 稲垣 進一
路上と観察をめぐる論考1 路上の系譜一バラックあるいは都市の忘我状態	田中 純	歌絵のゆくえ一近代における「和歌と美術」一 川西 由里	国芳一門の愉快的な連中前 恵 俊彦
コラム3 地形図としての考現学、測量としての路上の記録	石川 初	私たちは越えていく 女性アーティスト展 高岡市美術館	江戸戯画は現代漫画とどうつながるのか 清水 勲
地上と観察をめぐる論考2 笑う路上観察学会のまなざし一都市のリズム分析へ向けて	南後 由和	日本の美術館における女性アーティスト展開催の経緯と未来への可能性 小勝 禮子	幕末に描かれた戯曲関連の戯画 渡邊 晃
コラム4 依頼なく再構成する人たち	みうらじゅん	私たちが越えていく 7人のアーティストたち 宝田 陽子	作家展 (ア行)
路上と観察をめぐる論考3 「日本」を宙づりにする「日本景」	中川 理		ダレン・アーモンド 追考 水戸芸術館現代美術ギャラリー
観察者の歴史と戦後美術の歴史一現代美術の民俗学的転回へむけて	福住 廉		うたかたと永遠 高橋 瑞木

楽園からの飛翔— 秋山幸の新作につ いて	堀 元彰	布から発想する— 新井淳一の仕事に ついて	佐山 由紀	<b>マンガのちから</b> 手塚治虫×石ノ森 章太郎 東京都現代美術館他	
<b>安次嶺金正展 緑の抒情</b> 沖縄県立 博物館・美術館		魂の文章法	江尻 潔	マンガのちから 手塚治虫と石ノ森 章太郎	宮武 弘
安次嶺金正とその 周辺	稲嶺 成祐	<b>新世代への視点2013 画廊からの 発言</b> [飯嶋桃代/一色映理子/遠藤 美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊 輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町 田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平]		藤子不二雄 <sup>Ⓐ</sup> 氏イ ンタビュー	NHKプロモ ーション 聞き手・構 成
安次嶺金正 写真 からローカルへ	翁長 直樹	ギャラリー東京ユマニテ		手塚の育った大阪 の戦後—紙芝居・ 貸本・赤本—	澤井 浩一
安次嶺金正の軌跡 と美術論	仲里 安広	§ 作家の言葉 §	遠藤 美香	萬画家石ノ森章太 郎を育んだもの	三上 満良
インタビュー 「緑」と「段落」—純 粋な緑を求めて—	安次嶺金正 談 浦崎 彦志 聞き手	〃	庄子 和宏	昭和の高度経済成 長とマンガ メデ ィアと若者の成長	西村 直城
沖縄戦後美術の牽 引車—安次嶺金正 展に寄せて—	安次富長昭	〃	本間 洋	マンガと美術	加藤 弘子
追想 金正[カネ マサ]先生と NEO [ネオ]の会	宮城 篤正	〃	谷口 嘉	僕は愚かな人類の 子供だった— Dedicated to the Astroboy	佐野 元春
安次嶺金正先生に 学ぶ	神山 泰治	〃	飯嶋 桃代	§ 作家の言葉 §	高橋 智隆
恩師、きんせい先 生	川平 恵造	〃	高橋 美羽	<b>板谷波山展 没後50年</b> 茨城県陶 芸美術館他	
「ダンラク」を求め て	仲井間憲児	〃	鈴木 俊輔	板谷波山の陶芸— すべては美しく、 やきものを生むた めに—	荒川 正明
緑の抒情に寄せて —安次嶺金正先生 の思い出—	久場 とよ	〃	一色映理子	座談会 祖父・板 谷波山の思い出	村田あき子、 板谷 駿一 荒川 正明 司会
金正兄さんの思い 出	屋部 高志	〃	山下 耕平	コラム 敦井榮吉 と板谷波山	渡辺 新太
エピソード・三作 の童女図	宮里 正子	〃	上根 拓馬	コラム 皇室と板 谷波山	岡本 隆志
<b>山の版画家 畦地梅太郎と木版画の 詩人 川上澄生</b> 川上澄生美術館		〃	町田沙弥香	コラム 住友春翠 と板谷波山—波山 芸術を愛した関西 の数寄者	森下 愛子
畦地梅太郎 山そ して山男	和南城愛理	<b>池田カオル乾漆展—つづく道—</b> 日 動画廊他	村上佳奈子	コラム 長谷川家 と板谷波山	長谷川吉茂
畦地梅太郎と川上 澄生 ふたりの軌 跡が交差するとき	白井佐知子	じっくり安らげる 藝術	澄川 喜一	コラム 出光佐三 と板谷波山—「命」 を包み、運ぶ力	柏木 麻里
<b>阿部未奈子 Project N 51</b> 東京オ ペラシティアートギャラリー		<b>池田満寿夫 配色の美学</b> 池田満寿 夫美術館		コラム 故郷・下 館と板谷波山—ふ るさとへの贈り物	一木 努
記憶のリアリズム —阿部未奈子の 風景	野村しのぶ	池田満寿夫 色彩 の魅力	中尾 美穂	コラム 疎開中の 波山—古宇田正雄 と洞下の窯	花井 久穂
<b>新井淳一の布 伝統と創生</b> 東京オ ペラシティアートギャラリー他		<b>池平徹兵 project N 53</b> 東京オベ ラシティアートギャラリー		コラム 波山とま るの刺繍教室	〃
展覧会にあたって —伝統と創生	新井 淳一	信頼は自信から生 まれ、奇跡をつく る—池平徹兵の制 作について	野村しのぶ	資料 波山の制作 現場—田端陶房か らの発見 田端窯 と出土遺物	荒川 正明
手仕事とハイテク の共存	ロアン・オ エイ	<b>石垣栄太郎展 生誕120年記念</b> 和 歌山県立近代美術館			
新井淳一を解きほ ぐす	清水 忠	石垣栄太郎旧蔵資 料からみえるもの —「生誕120年記念 石垣栄太郎展」に 寄せて	奥村 一郎		
		<b>石黒鏘二展 記憶のモニュメント その軌跡の展開</b> 碧南市藤井達吉現 代美術館			
		石黒鏘二の彫刻世 界を読み解く	三頭谷鷹史		
		彫刻家・石黒鏘二 の歩み	木本 文平		

平成25年美術展覧会図録所載文献(作ア行)

資料 波山をめぐる人々—友人・家族 1 彫刻家吉田三郎と波山	荒川 正明	伊藤慶二 出会うかたち—ペインティング・クラフト・フォルム	佐野 素子	井上有一の小品(井上有一 2013) KAMIYA ART
資料 波山をめぐる人々—友人・家族 2 美術史家吉澤忠と波山—波山さんのおくりもの	田辺 千代	「今回の個展に思う」	伊藤 慶二	井上有一作品帰国 海上 雅臣 展に思う
資料 波山をめぐる人々—友人・家族 3 波山と妻・まる	荒川 正明	父と愛車「ビートル」を語る	家族一同	井上有一展 2013シャルジャビエンナーレ11出品作品10点(井上有一 2013) 小山登美夫ギャラリー
資料 波山をめぐる人々—友人・家族 4 波山と子どもたち	〃	伊藤誠展 「知らない場所」 双ギャラリー	伊藤 誠	井上有一の「花」(井上有一 2013) 8/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery
波山は何を見てきたか—その受容と展開:アール・ヌーヴォー・マジョリカ・結晶軸—	花井 久穂	§ 作家の言葉 §	伊藤 誠	今井信吾展 游々・彩[いろ]と貌 [かたち] 高島屋(日本橋)他
金沢の工業学校と板谷波山	濱岸 勝義	身体を使い果たす—症候としてのフォルム	勝俣 涼	ごあいさつ 今井 信吾
板谷波山のパートナー—現田市松について	〃	西洋美術との出会い 徳島の4人		今村紫紅展—横浜のいろ 財団設立60周年記念特別展 三溪記念館
波山と栃木をめぐる二題—吉澤兵左の思い出、「かなめ焼」との関わり—	末武さとみ	原鵬雲   井上辨次郎   守住貫魚   守住勇魚 徳島県立近代美術館		今村紫紅の画業 松平 修文
板谷波山の軸葉について	横山 直範	原鵬雲 江川 佳秀		今村源 わた死としてのキノコ shizubi project 3 静岡市美術館
波山の彩磁技法	齊藤 勝美	原鵬雲《楠公桜井駅図》試料片調査結果	宮田 順一	今村源の笑いとエレガンス 建島 哲
波山作品の修復—茨城県陶芸美術館所蔵《海水着少女像》修復について	藤山 浩司	井上辨次郎 江川 佳秀		対談 小川眞×今村源 「キノコの教え」 伊藤 鮎 編
新世代への視点2013 画廊からの発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町田弥香/村上佳奈子/山下耕平] ギャラリーQ		守住貫魚 〃		今村源 軽やかな彫刻とは何か 以倉 新
一色ちか子展 双ギャラリー		守住勇魚 〃		入江波光展 笠岡市立竹喬美術館
花の美しさはどこからやってくるのか 一色ちか子展によせて—	中島 水緒	人間国宝四人展 日本の美 佐賀のDNA サガテレビ開局45周年事業 [井上萬二/酒井田柿右衛門(14代) / 鈴木滋人/中島宏] 佐賀県立美術館		波光展に際して 入江西一郎
花と陽の光 一色ちか子		§ 作家の言葉 §	井上 萬二	波光芸術の今日的な意義 上菡 四郎
伊藤慶二展 ペインティング・クラフト・フォルム 岐阜県現代陶芸美術館		「人間国宝四人展」に寄せて 萬二先生の人となりと陶芸への情熱	山口 芳水	上田宇三郎展 没後50年—もうひとつの時間— 福岡市美術館
画家・伊藤慶二序論 榎本 徹		§ 作家の言葉 §	酒井田柿右衛門(十四代)	三尺四角の実験室—上田宇三郎小論 吉田 暁子
		「人間国宝四人展」に寄せて 華やかな色絵と十四代柿右衛門氏	西田 宏子	植田正治のつくりかた 東京ステーションギャラリー—他
		§ 作家の言葉 §	中島 宏	植田正治の一〇一年目に向けて 金子 隆一
		「人間国宝四人展」に寄せて 中島青瓷の魅力 厳しさと温かさ、そして自然との共生	三輪 嘉六	植田正治にご用心—植田正治における「演出」とは何か 成相 肇
		§ 作家の言葉 §	鈴木 滋人	写真であそぶ 植田正治とジャック・アンリ・ラルティエグ 東京都写真美術館
		「人間国宝四人展」に寄せて 鈴木滋人さんの作品について	小川規三郎	壊れゆくものを留めようとした 写真家ジャック・アンリ・ラルティエグ マルティーヌ・ダステイェ 小川 隆久 訳
		歴史が生み出す人間国宝	鈴木由紀夫	

ジャック・アンリ・ラルティエグと植田正治—一つの比較の試み	ガブリエル・ポーレ 小川 隆久 訳	榮久庵憲司さんの「レジリエンス/創成力」魅せられて	合田 周平	Interview 05 村松正敏	〃
写真する人、植田正治	金子 隆一	都市の小道具から大道具まで—媒体のデザイン	南後 由和	Interview 06 高橋良輔	〃
植田正治とジャック・アンリ・ラルティエグ—ふたりの特異性	鈴木 佳子	創造集団 GK の足跡—そして今日を明日に向けて	山田 晃三	COLUMN 5 (機械)の種の多様性	小林 公
GUTAI Chiyu Uemae Special Exhibition[上前智祐] Whitestone Gallery		道具道を求めて—人と道具の共生と未来	藤本 清春	Interview 07 三井猛夫	五十嵐浩司 聞き手
§ 作家の言葉 § 上前 智祐		§ 作家の言葉 § 榮久庵憲司		COLUMN 6 華麗なる競演者たち	小林 公
上前智祐・最初の始まり・さとかえりてん 大宮ふれあい工房		運動としての榮久庵憲司—デザインの可能性に向かって	野田 尚稔	Interview 08 井上幸一	五十嵐浩司 聞き手
上前智祐の作品について	井須圭太郎	榮久庵憲司氏へのインタビュー	野田 尚稔 聞き手 高橋 賢 構成	Interview 09 吉井孝幸	〃
上村松園展 名古屋美術館開館25周年記念 名古屋美術館		日吉猫物語 来往舎現代藝術展10 [エサシトモコ] 慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎ギャラリー		Interview 10 大野光仁	〃
祖母松園について	上村 淳之	「カオデカクン」とわたし	エサシトモコ	Interview 11 福田己津央	〃
上村松園	吉田 俊英	新世代への視点2013 画廊からの発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平]		Interview 12 馬場俊明	〃
上村松園と着物—着物への思いと服飾表現—	長崎 巖	超・大河原邦男展 レジェンド・オブ・メカデザイン 兵庫県立美術館		大河原邦男の仕事	小林 公
ミン・ウォン展 私のなかの私 資生堂ギャラリー		Interview 01 大河原邦男	五十嵐浩司 聞き手	大久保一丘展 常葉美術館	
母語の外へ—ミン・ウォン、越境の方法論	井関 悠	COLUMN 1 設定資料とは	小林 公	江戸時代の洋風画—大久保一丘展の背景	金原 宏行
山河をめぐる—不二三十六景と富士三十六景(歌川広重 不二三十六景富士三十六景 富士見百図) 中山道広重美術館		COLUMN 2 テレビ・アニメ創成期のメカデザイン	岡本 弘毅	O JUN 描く児 1982—2013 府中市美術館	
庶民の目線、絵師の視線—広重が描いた富士山—	福田 訓子	Interview 02 村上克司	五十嵐浩司 聞き手	児の身と絵と字 O JUN	
梅佳代展 UMEKAYO 東京オペラシティアートギャラリー他		COLUMN 3 アニメロボットの内部図解	岡本 弘毅	川に、入るまで	〃
様相と距離 梅佳代の作品をめぐつて	福士 理	Interview 03 沼本清海	五十嵐浩司 聞き手	抽象的にして形象的	大澤 真幸
はじめてのおつかい	都築 馨一	COLUMN 4 戦争ドラマの中のリアリティ	岡本 弘毅	描く児—O JUN	神山 亮子
瑛九展23回 ときの忘れもの		Interview 04 泉博道	五十嵐浩司 聞き手	大塚恭古展—道— Galerie SOL	
瑛九のフォトセッションをめぐる3つのメモ	大谷 省吾			大塚恭古展展評 生の光に満たされた世界	三田 晴夫
榮久庵憲司とGKの世界 鳳が翔[ゆ]く 世田谷美術館				大野麥風展 『大日本魚類画集』と博物画にみる魚たち 東京ステーションギャラリー	
鳳が翔[ゆ]く	榮久庵憲司			大野麥風『大日本魚類画集』の特質	富田 章
鳳の志に寄せて	塩川正十郎			大野麥風について	平瀬 礼太

§ 作家の言葉 6 §	大平 實	Column 04 カイ ユボットと印象派 の画家たち—モネ とルノワールを中 心に	賀川 恭子	京都の美術と高島 屋	〃
§ 作家の言葉 7 §	〃			シドニーでの神坂 雪佳展	細見 良行
§ 作家の言葉 8 §	〃				
尾形周平 兵庫陶芸美術館					
尾形周平再考	梶山 博史	Column 05 カイ ユボットと写真的 視覚	倉石 信乃	新世代への視点2013 画廊からの 発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤 美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊 輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町 田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平]	
岡本太郎のシャーマニズム展	川崎	Column 06 カイ ユボットとジャポ ニスム	新畑 泰秀	Galerie SOL	
市岡本太郎美術館		Column 07 カイ ユボット・コレク ション	島田 紀夫	香山小島：ゆめの日のかけ 没後 100年 和歌山県立近代美術館	
岡本太郎のシャーマニズム—ミルチャ・エリアーデの影響	佐々木秀憲			香山小島：ゆめの日のかけ	井上 芳子
供犠・呪術・贈与—岡本太郎が宗教学から受け取ったもの—	江川 純一	ギュスターヴ・カイユボットの《ヨーロッパ橋》(1876年)を脱構築する	クロード・P. J. ゲーツ、ピエトロ・ガリフィ・デッラ・パリアヴァ 中山ゆかり 翻訳	ソフィ カル 最後のとき/最初のとき 原美術館	
岡本太郎とエリアーデ	奥山 倫明			1. 「盲目の人と医師」	
コンスタンティン・ブランクーシとミルチャ・エリアーデ	近藤 幸夫	笠井誠—「静物[もの]—との語り 泰明画廊		2. 「盲目の人とリボルバー」	
ディスカッション	江川 純一、 奥山 倫明、 佐々木秀憲 司会	§ 作家の言葉 §	笠井 誠一	3. 「盲目の人とスポーツカー」	
小川待子 水晶の時間	ぎやらりい	桂ゆき—ある寓話—	生誕100年	4. 「盲目の人とトラック」	
思文閣		東京都現代美術館他		5. 「盲目の人とマイクロバス」	
§ 寄稿 §	川瀬 敏郎	桂ゆき—ある寓話—	関 直子	6. 「盲目の人と日の出」	
(カ行)		桂ゆきの眼差し—その批評精神をめぐって—	濱本 聡	7. 「盲目の人と柱」	
カイユボット展 都市の印象派[ギュスターヴ・カイユボット]	ブリ	桂ゆきの油彩画—触覚的発想と重層性— 下関市立美術館が所蔵する1930年代と1940年代の作品の修復処置の記録から	岡本 正康	8. 「盲目の人とランプ」	
ヂストーン美術館		桂ゆきと下関—下関・山口とのゆかりをたどる—	関根 佳織	9. 「盲目の人と刺繍」	
印象派グループ展のなかのカイユボットの位置—ルノワールへの信頼、モネとの友情、そしてドガとの確執	島田 紀夫	加納光於 色身[ルウーバ] 未だ視ぬ波頭よ 2013 神奈川県立近代美術館(鎌倉)		10. 「盲目の人とソファ」	
ギュスターヴ・カイユボット作《ピアノを弾く若い男》再考	新畑 泰秀	小島[ウッチェルロ]、小島、小島	加納 光於	11. 「盲目の人と夫」	
Column 01 カイユボットと近代都市パリ—激動の時代のただ中で	〃	永遠のいま—加納光於の現在	水沢 勉	12. 「盲目の人とライフル銃」	
Column 02 カイユボットとイエール、ブルジョワのヴァカンス	〃	光の水場にて—加納光於展によせて	市川 政憲	13. 「盲目の人と時計」	
Column 03 カイユボットの終の棲家、プティ・ジュヌヴィリエ	〃	美の競演 京都画壇と神坂雪佳～100年の時を超えて～ 京都市美術館・細見美術館コレクションより		川合玉堂—日本のふるさと・日本のこころ— 生誕140年記念 山種美術館	
		高島屋(大阪)他		川合玉堂と三人の師	河野 元昭
		京の花さかり	尾崎 真人	素顔の玉堂 川合玉堂と彼を支えた人びと 岐阜県美術館	



河合勇作展 Migration2013 Galerie SOL	寄稿 関門民芸『ふく笛』を読む 佐藤 睦子	「銀嶺の女神(長野冬季五輪ポスター原画)」	〃
「Migration2013河合勇作展」に寄せて 布施 英利	寄稿 3つの古代ギリシア・キプロス彩色土器—コレクションからのピックアップ— 渡邊 浩明	「菩提心：白牛大威徳明王」	〃
川上澄生の平峯劉吉時代—岸田劉生に憧れた青春— 川上澄生美術館 川上澄生の平峯劉吉時代 岸田劉生 原田 敏行 に憧れた青春	寄稿 「河村幸次郎のこと」 石塚 六男	「発火激情(平和を祈る自画像)」	〃
山の版画家 畦地梅太郎と木版画の詩人 川上澄生 川上澄生美術館	高島北海回顧談(抄) 河村幸次郎・河村園・河村洋一郎 井土 誠 聞き手	shiseido art egg vol. 7[川村麻純/ジョミ・キム/久門剛史] 資生堂ギャラリー	木村荘八 生誕120年 東京ステーションギャラリー他
川瀬巴水展—郷愁の日本風景 生誕130年 千葉市美術館他	shiseido art egg vol. 7[川村麻純/ジョミ・キム/久門剛史] 資生堂ギャラリー	木村荘八とその「錦の御旗」	入江 観
インタビュー「父・巴水を語る」 川瀬 文子 鈴木 昇 聞き手	第7回 shiseido art egg 賞審査結果 総評 岡田 利規 鴻池 朋子 袴田京太郎	木村荘八一わたしは東京を呼吸して生きてゐる	田中 淳
川瀬巴水のこと 西山 純子	第7回 shiseido art egg 賞審査結果 各展覧会評	木村荘八と西洋近代美術	富田 章
東方の色—巴水版畫の表現 吉田 洋子	岸田良子展 Fuji Xerox Art Space	木村荘八 人と芸術—フェウザン会・草土社から春陽会まで—	金原 宏行
刀匠 河内國平作刀展 名刀にかける 関西大学博物館	アーカイビングの神話—岸田良子のコンセプトチュアリズム 建島 哲	《牛肉店帳場》(1932年、春陽会第10回展出品作)の前で考えた様々なこと	小林 裕児
名匠という生き方—学んできたこと、伝えること— 熊 博毅	かたちとシミュレーション 北代省三の写真と実験 川崎市岡本太郎美術館	木村荘八と銀座周辺について	田中 晴子
河鍋暁斎の能・狂言画 三井記念美術館他	かたちとシミュレーション 北代省三の冒険 大日方欣一	木村宗平展 BankART Under35/2012 BankART Studio NYK	
河鍋暁斎の能画・狂言画 西野 春男	北代省三 アーカイブと写真によせて 佐藤 玲子	『無何有(むかゆう)』—静寂の中の不気味さ 藤川 悠	
河鍋暁斎と能・狂言 河鍋 楠美	絹谷幸二 希望のイメージ 平塚市美術館	ロバート・キャパ/ゲルダ・タロー 二人の写真家 横浜美術館	
《紋画帖》に貼り込まれた暁斎お気に入りの繻箔裂 山内麻衣子	湘南の風—平塚市美術館個展に寄せて— 絹谷 幸二	連帯のまなざし—写真家ゲルダ・タローとスペイン内戦中の彼女の仕事	イルマ・シャーバー 山川 純子 翻訳
暁斎の能画・狂言画と肖像表現 樋口 一貴	対談 絹谷幸二×草薙奈津子 絹谷幸二の絵画世界 土方 明司	タローが撮影した写真の固定について—ある探偵の物語	リチャード・ウーラン 山川 純子 翻訳
河野扶 壁の意志を聴け 東御市梅野記念絵画館	「自画像」 絹谷 幸二	横浜美術館の「ロバート・キャパコレクション」	松永真太郎
壁の意志を聴け—哲人画家・河野扶 佐藤 修	「蒼の風跡」	ロバート・キャパの日本、そして最期の日。	横木安良夫
河野扶の随想メモ 河野 扶	「ジョット「降誕と牧人のお告げ」模写」	写真と美術館についての覚え書き—いわゆる報道写真を巡って	天野 太郎
河村幸次郎と美の世界 芸術は魂のたべもの 下関市立美術館開館30周年記念 下関市立美術館	「ジョット「キリスト復活」模写」		
河村幸次郎と美の世界展開催に寄せて 河村洋一郎	「りんご(草原にて)」		
河村幸次郎を思うこと 河村美代子			
開館30周年忘備録 河村幸次郎名誉館長のことども 木本 信昭			

ジョセフ・クーデルカ展 Retro-spective 東京国立近代美術館	工藤哲巳入門8 箱の中の「あなたの肖像」	エミール・クラウスとベルギーのルミニスム(1890—1914)	ヨハン・ド・スメット 三田 順 翻訳
最善を尽くすこと、それをいつも頭においている ジョセフ・クーデルカとの対話ノートより	ジョセフ・クーデルカ カレル・フイシーダ 聞き手 増田 玲 訳	ベルギーの印象派	富田 章
クーデルカの世界	増田 玲	日本におけるベルギーの印象派の受容についての一考察 一太田喜二郎、児島虎次郎を中心に	山田真規子
釘町彰展—snowscape— 三越(日本橋)	工藤哲巳入門11 「放射能による養殖」、そして8年ぶりの帰国	ベルギーとドイツ—フランス印象派からの距離	浅野 泰子
作家の言葉	釘町 彰	浮遊するデザイン—倉俣史朗とともに 埼玉県立近代美術館	
非情の絵画—釘町彰の近作について	本江 邦夫	倉俣史朗の時代とデザイン	内田 繁
浮遊感と抵抗	曾根美知江	倉俣史朗と美術	橋本 啓子
あとがき	釘町 彰	アンドレアス・グルスキー展 国立新美術館他	
わたし超スキッ!! 草間彌生 世界を感動させた自己愛 アートミュージアム	工藤哲巳入門12 《脱皮の記念碑》と最後のハプニング	アンドレアス・グルスキー：絵画的コンポジションとしての写真	長屋 光枝
私は私自身でしかない	村田慶之輔	アンドレアス・グルスキー、その革新の軌跡	山田由佳子
She Loves The Art Too Much But Beautifully—反抗の伝道師 草間彌生	伊東 順二	アンドレアス・グルスキー：大阪、東京、福山そしてカミオカンデ	植松 由佳
あなたの肖像—工藤哲巳回顧 国際美術館他	工藤哲巳入門13 デュッセルドルフで初の回顧展	黒田辰秋・田中中信行 漆という力 豊田市美術館	
はじめに 工藤哲巳入門	島 敦彦	柳宗悦と黒田辰秋—京都時代を中心に	杉山 享司
工藤哲巳入門1 「インボ哲学」とパリとの交差	工藤哲巳入門14 イヨネスコの肖像	黒田辰秋—最奥からの磁場	天野 一夫
工藤哲巳入門2 生い立ち、そして反教育へ	工藤哲巳入門15 環境汚染—養殖—新しいエコロジー	皮膜的造形の意味するもの	田中 信行
工藤哲巳入門3 木の根からの出発	工藤哲巳入門16 危機の中の芸術家の肖像	艶やかな無の気配—漆が育てる田中 信行	中村 英樹
工藤哲巳入門4 絵画に背を向けて—戦略的自覚の芽生え	工藤哲巳入門17 遺伝染色体の雨のなかで…	生物的未決定性—田中 信行	天野 一夫
工藤哲巳入門5 「インボ哲学」の誕生	工藤哲巳入門18 「最大級の脱皮」—鳥籠から解き放たれて	黒光茂明展 時を視る 高島屋(京都)他	
工藤哲巳入門6 「インボ哲学」を引っ提げ、いざパリへ	工藤哲巳入門19 「天皇制の構造」	黒光茂明の視覚—花と樹を見つめる時間と空間の広さについて	田中 修二
工藤哲巳入門7 勇名を轟かせた「ハプニング男」の60年代	工藤哲巳入門20 「殺せば生きる」から「前衛芸術家の魂」へ	郷倉和子 心の調べ 白寿記念 富山県立近代美術館 展覧会によせて	郷倉 和子
	おわりに なぜ今、工藤哲巳なのか?		
	工藤哲巳の宇宙論 [コスモロジー]		
	工藤哲巳に政治性		
	箱があなたに贈られるとき—工藤哲巳の展開を探る 1962年、パリ		
	工藤哲巳、芸術としての力への意志		
	工藤哲巳と津軽		
	エミール・クラウスとベルギーの印象派 姫路市立美術館他		

郷倉和子—その人と芸術— 真室 佳武

新しい花鳥画を求めて—当館収蔵品《真昼》と《静日》 丸山多美子

幸田千依展 BankART Under35/2012 BankART Studio NYK

2009 in KA-SHIWA 柏 幸田 千依

2011 in BEPPU 別府 ”

2011 in KOTO-BUKI 寿町 ”

2011 in TAIPEI 台北 ”

「見る」ことと「描く」こと 幸田 千依、芹沢 高志 対話

歩く絵のバレード 幸田 千依

前田寛治と小島善太郎 1930年協会の作家たち 八王子市夢美術館開館10周年 小島善太郎生誕120年 八王子市夢美術館

前田寛治の画業—「前寛様式」の形成過程をめぐって 林野 雅人

小島善太郎—涙にみがかれた魂 川俣 高人

木島櫻谷—京都日本画の俊英 泉屋 博古館他

画三昧への道—木島櫻谷の生涯 実方 葉子

山中の市居—旧木島櫻谷邸の建築 清水 重敏

漱石先生、そんなに櫻谷の絵はお嫌いですか?—明治後期の日本画における写実と色彩をめぐって 野地耕一郎

報じられなかった写真 昭和30年代—写真家・小林新一の820カット 新潟市歴史博物館

小林新一 略年譜 木村 一貫 編

再考・小林新一—フィルムの行間が語るもの 木村 一貫

小林孝亘 夢みる2秒前 西村画廊

夢みる2秒前 小林 孝亘

再発見! 小林徳三郎(小林徳三郎研究図録) ふくやま美術館

総論 小林徳三郎 平泉 千枝

小林猶治郎展 超然孤独の風流遊戯 練馬区立美術館

小林猶治郎の生涯 小林 敬

小林猶治郎 画道 踏路者のカタツムリのような人生 踏路について 上山 陽子

小堀進 水彩画展 佐倉市立美術館 現地での作画 木邨かおり

クローゼットとマットレス スミルハン・ラディック+マルセラ・コレア展 メゾンエルメス8階フォーラム

開かれた親密性 アルベルト・サトウ・コタニ

はかない建築 スミルハン・ラディック

サーカス小屋のテント ”

私たちが隔てる皮膚と壁 説田 礼子

近藤竜男ドローイング 1955—59 ギャラリー東京ユマニテ

宙に浮いた「現実」 野田 吉郎

近藤竜男ドローイング1955—59付属資料(1954—1959年展覧会を中心に) 辺見 海 編

(サ行)

彫刻のちから 佐伯留守夫・齋藤誠治・篠崎明雄 宇都宮が生んだ彫刻家三人展 宇都宮美術館

齋藤誠治、佐伯留守夫、篠崎明雄—西洋近代彫刻の先へ—西洋および日本の近代と宇都宮の彫刻家たち— 谷 新

佐伯留守夫—「立つ」ということ—

齋藤誠治—命のかたち—

篠崎明雄—結晶化した造形—

坂井真理子展 いのちの色・赤 池田20世紀美術館

生命観そして絵画 平井 亮一

I章 1954—1965 宇都宮から東京、ニューヨーク 坂井真理子

II章 1975—1999 いのちの焰・赤の軌跡 ”

III章 2000—2013 色に満つ ”

人間国宝四人展 日本の美 佐賀のDNA サガテレビ開局45周年事業 [井上萬二/酒井田祐右衛門(14代)/鈴木滋人/中島宏] 佐賀県立美術館

坂田栄一郎—江の島 原美術館 §作家の言葉§ 坂田栄一郎

坂田武嗣 「風景の記憶」 奈良文化財研究所飛鳥資料館

はじめに 坂田 武嗣 作品解説 ”

坂本一成 住宅めぐり 八王子市夢美術館

意味には後から気付く、それでいい。インタビュー 坂本一成 磯 達雄 聞き手

桜井寛 廃墟、室内、めだま焼き。高島屋(日本橋)他

§作家の言葉§ 桜井 寛

棚瀬茉莉子展 BankART Under35/2012 BankART Studio NYK

受け継がれるコト、モノ・見えない形 室井 絵里

佐藤泰生展 風と光と夢 高島屋(日本橋)他

絵描きと絵と 野見山曉治

塩田千春展—ありがとうの手紙 高知県立美術館

高知での展覧会について—ありがとうの手紙 塩田 千春

「塩田千春展—ありがとうの手紙」についての覚え書き 松本 教仁

ホセ・マリア・シシリア 福島 冬の花 福島県立美術館

はじめに ホセ・マリア・シシリア

歌と激しさの遊牧 安トニオ・ルカス 民的人類学

平成25年美術展覧会図録所載文献(作サ行)

魂の叫び	佐々木 孝	鉄をつくる	〃	天空の花束ーパリ・オペラ座の天井画	〃
彫刻のちから	佐伯留守夫・齋藤誠治・篠崎明雄	珠州の薮下さんがつくった藁	〃	イジスとシャガール	福地 大輔
家三人展	宇都宮美術館	音楽家の小杉武久さんと能登へ行く(桶滝と見附島)	〃	「ダフニスとクロエ」の舞台衣装ーオペラ座と芸術家たち	クリスティーン・ヴァーガス
篠田桃紅の墨象 百の記念展	菊池寛実記念智美術館	まぼろしの一升瓶タコ壺	〃	サーカスー祝祭空間としての夢	佐藤 幸宏
朱	篠田 桃紅	能登のタコ壺	〃	シャガールとステンドグラス	シルヴィ・フォレストイエ
篠田桃紅 我が最良の師	ノーマン・H・トルーマン	海で遊ぶ子供たち	〃	マルク・シャガール：下絵からモニユメンタルなスケールの作品へ	アンブル・ゴーチエ
展覧会について	NHT	海の中の街	〃	シャガールとアトリエ・シモン=マルク	ブノワ・マルク
謝辞	〃	海と花	〃	プラトー・ドゥ・アッシの慈悲聖母教会について	ジェローム・ブーシェ
反芻 篠原有司男	川口市立アートギャラリー・アトリア	能登でみつけたもの1	〃	シャガール、空と海との間で	シルヴィ・フォレストイエ
本展によせて	秋田 美緒	干物乾燥機	〃	シャガールと陶器、不服従の情熱	サンドリーヌ・コワニヤール
「行きっぱなし」のギューちゃん、その日本への視線	山下 裕二	能登のポートレイト	〃	タビスリー《平和》のモチーフと世界観	松田 弘
2000年後の小学校	柴川敏之×てんとうむしプロジェクト	壁の裏側、すいか、その他	〃	マルク・シャガールとタビスリーイヴェット・コキール=フランスとの対話	ユリス・エック=コキール
SCHOOL	京都芸術センター	ゾンペラ祭りを見に行く	〃	ニース大学法学部に寄贈されたマルク・シャガールによるモザイク壁画誕生についての回想	コレット・ボナヴィア=パリアンテ
§ 作家の言葉 §	柴川 敏之	志賀町の細川さんに枯露柿づくりを習う	〃	新世代への視点2013 画廊からの発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平]	コバヤシ画廊
「2000年後の小学校」の行方	〃	能登でみつけたもの2	〃	城田圭介 Tracing/Background ペイスギャラリー(日本橋)	
「2000年後の小学校」展となるまでに	森口まどか	§ 作家の言葉1 §	〃	Tracing Newspaper in Paint	城田 圭介
遷都3219年祭の京都	三井 知行	§ 作家の言葉2 §	〃	Background	〃
星の光、未来の星座	安河内宏法	つくることへの敬意	鷺田めるる		
「2000年後」につながる笑顔	藤田 瑞穂	旅は続き、旅は広がる	木村 健		
§ 作家の言葉 §	柴川 敏之	「みて、つくって、みてもらう」活動の軌跡	吉備久美子		
柴田雅章 クライヴ・ボウエン 二人展 第3回	ギャラリー・セントアイヴス	メンバーと共に	伊藤 幸久		
「暮しから暮らしへ」	土田 真紀	島袋さんと能登のこと	篠田有里亜		
島州一展「銀河鉄道77」	双ギャラリー	能登へ「島袋道浩：能登」メンバー通信	島袋 道浩		
真正なモダニスト	本江 邦夫	清水達三展 喜寿記念	高島屋(大阪)他		
アイコン、制作のモチーフ	島 州一	清水達三氏讃	松尾 敏男		
島袋道浩：能登	金沢21世紀美術館	ごあいさつ	清水 達三		
能登、滝港のイイダコ壺	島袋 道浩	シャガール展[マルク・シャガール]	北海道立近代美術館他		
能登、大沢の田中さんと作った間垣	〃	イメージの伽藍ーシャガールのモニユメント	佐藤 幸宏		
くちこ：地球との戦い	〃				

Tracing/Back-ground 一知覚の基部を遮るもの エレナ・ストイコヴィッチ

BLACKS ルイズ・ニューヴェルソン | アド・ラインハート | 杉本博司 川村記念美術館

BLACKS 前田希世子

杉本吉武のベスト100ポスター展 1963—2013・デザイン半世紀 萬鉄五郎記念美術館

「百変萬化」 中村 光紀

「杉本吉武がめざすデザイン」 平澤 広

デザイン半世紀—私的デザインクロニクルあるいは図案とデザインのあわいに 杉本 吉武

マスコミ生活とプライベート作家のはざまに ”

回想の中の巨匠デザイナー ”

杉山寧展 日本画を超えた日本画家—悠久なる刻[とき]を求めて— 高島屋(日本橋)他

杉山寧の人と芸術—ゆるぎない美を永遠に求めて— 金原 宏行

泥象 鈴木治の世界 「使う陶」から「観る陶」、そして「詠む陶」へ 京都国立近代美術館他

泥象 鈴木治の世界—「使う陶」から「観る陶」、そして「詠む陶」へ 松原 龍一

鈴木治の求めた「象[かたち]」—「詠む陶」の視点から 中尾 優衣

column 01 鈴木治とクラフト 大長 智広

column 02 鈴木治の「馬」 石崎 泰之

column 03 鈴木治の影青[いんちん] ”

column 04 「泥像」から「泥象」へ 中尾 優衣

戦後、陶芸に何が起きたか—鈴木治の前衛と、泥と、かたち 成相 肇

新世代への視点2013 画廊からの発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平] なびす画廊

人間国宝四人展 日本の美 佐賀のDNA サガテレビ開局45周年事業 [井上萬二/酒井田祐右衛門(14代)/鈴木滋人/中島宏] 佐賀県立美術館

須田一政 凧の片 東京都写真美術館

これはスナップではない—須田一政の時間 鈴木 一誌

凧の片—日常から異界へ 丹羽 晴美

エドワード・スタイクン写真展 モダン・エイジの光と影 1923—1937 世田谷美術館

選れた花—あいさつにかえて 酒井 忠康

エドワード・スタイクンと大戦間期のアメリカ 生井 英考

エドワード・スタイクンの生涯と写真—モダン・エイジのルーヴルを夢見た男 塚田 美紀

曾谷朝絵展「宙色[そらいろ]」 水戸芸術館現代美術ギャラリー

光の記憶 曾谷 朝絵

身体感覚・Bath-tub ”

視線が滑る・Slider ”

光の法則・Circles ”

宙ぶらりんな感覚・Airport ”

切り取られた光・The Light ”

画材と素材と ”

色と音 ”

水の心電図 ”

空間と ”

てんやわんや ”

§作家の言葉§ ”

創造の森・宙[そら] ”

色の音符 ”

光と遊ぶ ”

潜水レポート ”

ルシファーに魅入られて 浅井 俊裕

グレゴワール・ソロタレフの世界ものがたり 群馬県立近代美術館

描くこと、描きながら物語ること… グレゴワール・ソロタレフ

(タ行)

ターナー[ウィリアム・ターナー] 東京都美術館他

序文 テート美術館のターナー イアン・ウォレル 木下 哲夫 翻訳

ターナー 芸術をめぐる人生 アンソニー・ペイリー 木下 哲夫 翻訳

描く行為としての絵画—ターナーとモダニズム 水田 有子

ターナーと日本—竹内栖鳳《ベニスの子》をめぐる 岡 泰正

高谷史郎 明るい部屋 東京都写真美術館

高谷史郎と写真装置 柄谷 行人

高谷史郎の「明るい部屋」 田坂 博子

高橋匡太—ぼくとひかりと夏休み—夏休み子どものプログラム2013 豊田市美術館

Interview 高橋 匡太 都築 正敏 聞き手

新世代への視点2013 画廊からの発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平] 藍画廊

彫刻家 高村光太郎展 生誕130年 千葉県美術館他

伯父光太郎 思ひ出すことなど 高村 規

高村光太郎の造型 —立体感と詩精神—	北川 太一	黒田辰秋・田中信行 漆という力 豊田市美術館	静謐なる日常を描く 画家・寺井力三 江口 健郎
高村光太郎の彫刻 木彫家・高村光太郎	木本 文平 土生 和彦	新世代への視点2013 画廊からの 発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤 美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊 輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町 田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平] ギャラリー現	寺原芳彦 二軸の想(sou) 武蔵野 美術大学退任記念 武蔵野美術大学 美術館・図書館(美術館)
高山陽介展 BankART Under35/ 2012 BankART Studio NYK		ロバート・キャパ/ゲルダ・タロー 二人の写真家 横浜美術館	一途人のデザイン 清水 忠男 面影の表れるデザ イン 藤原 敬介
どうしてかれはレ リーフを彫るのか	成相 肇	フィオナ・タン   エリプシス 金沢 21世紀美術館	寺原先生、ご退任 に寄せて 丹呉由紀子 展覧会に際して 寺原 芳彦 恩師を語る //
瀧口修造のシュルレアリスム展 詩 人と美術 市立小樽美術館/市立小 樽文学館他		フィオナ・タン   黒澤 浩美 エリプシス	渡辺博之氏×寺原 芳彦教授 (AKA- FUSA)対談
瀧口修造の「小樽」 —イノセンス・貝 殻・シュルレアリス ム—	巖谷 國士	フィオナ・タンの 《A Lapse of Mem- ory》にみるアレゴ リー	徳川慶喜 没後100年 松戸市戸定 歴史館/静岡市美術館
瀧口修造、言語の 革命	吉増 剛造	土屋幸夫展—美術家、デザイナー、 教育者 目黒区美術館	没後100年 徳川 慶喜展開催にあた って 徳川 慶朝
瀧口修造における 現実と超現実	亀井 秀雄	象形と非象形のあ いだ—土屋幸夫 のメビウスの思考	徳川慶喜を巡る三 つの視点 齊藤 洋一
影像人間の理路— 初期詩篇から『余 白に書く』に至る、 瀧口修造の思想的 軌跡	土淵 信彦	分明なる非合理— 土屋幸夫のデザイ ン活動から	静岡市立清水中央 図書館「徳川文庫」 —その成立と蔵書 印に関する調査報 告 加藤 真保 吉田 恵理
浜田浜雄と瀧口修 造、綾子夫人 キ ーワードは米沢	池田 良平	展示について 山田 敦雄	徳川慶喜の書画に 関する覚書 吉田 恵理
瀧口修造自筆年譜		画道精進 椿貞雄と実篤—船橋市・ 清川コレクションを中心に—[武者 小路実篤] 調布市武者小路実篤記 念館	徳永仁臣—柳洲—展 知られざる震 災画家 関東大震災から90年[徳永 柳洲] 岡山県立美術館
竹内栖鳳展 近代日本画の巨人 東 京国立近代美術館他		「画道精進」~写実 の道~ 福島さとみ	柳洲 徳永仁臣小 鍵岡 正謹 伝
試みる人、栖鳳	中村 麗子	手島右卿の書芸術—その世界性 毎 日書道展65回東京展特別展示 国 立新美術館	柳洲展に寄せて 政田 孝 富永直樹展 生誕100年記念 長崎 県美術館他
竹内栖鳳展 京都 からの視点	吉中 充代	「意象」を描く—手 島右卿の「象書」と その背景 武田 厚	富永直樹の芸術 野中 明
田嶋悦子展 Flowers 兵庫陶芸美 術館	兵庫陶芸美 術館	手島右卿の書 田宮 文平	(ナ行)
「Flowers」が拓い た新境地	マルテル坂 本牧子	マンガのちから 手塚治虫×石ノ森 章太郎 東京都現代美術館他	十四代中里太郎右衛門展 作陶三十 周年記念 高島屋(日本橋)
多田正美展—光は音か— 双ギヤ ラリー	双ギヤラ リー	出店久夫 実景虚図—ダンス・ダン ス— 双ギヤラリー	ごあいさつ 中里太郎右 衛門(十四 代)
「総体としての光」	杉山 大輔	形態の永久機関— 出店久夫のフォト コラージュ 森 啓輔	人間国宝四人展 日本の美 佐賀の DNA サガテレビ開局45周年事業 [井上萬二/酒井田柿右衛門(14代) /鈴木滋人/中島宏] 佐賀県立美 術館
田中毅 自然のうた 彫刻ロングラ ンエキシビジョン田中毅×大平實 GALLERY エクリュの森		寺井力三郎展—静謐なる日常の彼方 に— サトエ記念21世紀美術館	
つよむしよわむし のつぶやき	田中 毅	僕の画のモチーフ 寺井力三郎	
§作家の言葉1 §	〃		
§作家の言葉2 §	〃		
§作家の言葉3 §	〃		
§作家の言葉4 §	〃		

中谷泰展 歿後20年 三重県立美術館

中谷泰さんの画業 毛利伊知郎  
画家・中谷泰の魅力 田中 善明

中原淳一展 生誕100周年記念 三越(日本橋)他

中原淳一の美学 今も続くブームとその実像に迫る 森谷 美保

中村彝展 下落合の画室[アトリエ] 新宿区立中村彝アトリエ記念館開館記念 新宿歴史博物館

中村彝の芸術 舟木 力英  
中村彝《洲崎義郎氏の肖像》の背景—洲崎義郎宛書簡に見る— 松矢 国憲  
下落合のアトリエ建築について 中川 武

成田禎介 風景の神秘を見つめて 池田20世紀美術館

成田禎介の風景画—大自然に交響する緑の階調— 林 紀一郎  
§ 作家の言葉 § 成田 禎介

鐸の美—鐸工・成木一成の挑戦— 岐阜県博物館

作品展示に当り 成木 一成  
解説 成木 一成 守屋 靖裕

BLACKS ルイズ・ニーヴェルスン | アド・ラインハート | 杉本博司 川村記念美術館

野中ユリ展 美しい本とともに 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)

幻視者野中ユリは われらの同時代人 橋 秀文

(ハ行)

Thomas Bayrle Monuments of Trafic[トーマス・バイルレ] エスパスレイ・ヴィトン東京

インタビュー トーマス・バイルレ & ニコラウス・ヒルシュ 2013年2月11日 ドイツ、フランクフルトのトーマス・バイルレのアトリエにて 橋 秀文

萩原英雄展 生誕100年 山梨県立美術館

生誕100年 萩原英雄の芸術とその評価 向山富士雄

萩原英雄 日本と西洋の間で 太田 智子

狩野派と橋本雅邦—そして、近代日本画へ— 埼玉県立歴史と民俗の博物館

コラム1 粉本主義とマイナーチェンジ

コラム3 海軍省と狩野派

コラム4 河瀬秀治〜雅邦の苦勞を知る人物

コラム5 木挽町 狩野家の教育〜橋本雅邦「木挽町画所[えどころ]」より

狩野派と橋本雅邦 浦木 賢治

橋本関雪展 生誕130年 豪腕画人関雪参上 兵庫県立美術館

橋本関雪について 橋本 眞次  
橋本関雪の世界 木村 重圭  
橋本関雪《木蘭》考 飯尾由貴子

畠中光享—願— 高島屋(京都)他

ごあいさつ 畠中 光享  
§ 作家の言葉 § //

林暁 漆藝展 ギャラリー田中

林暁の髹漆世界 寺尾 健一  
御挨拶 林 暁

「乾漆食籠「夏の花」」 //

「乾漆蓮花食籠」 //

「乾漆朱溜塗盤」 //

「乾漆真塗蓮花食籠」 //

「檜造朱塗綾華盤」 //

「檜造流線文四方皿」 //

「乾漆蓮花食籠」 //

「乾漆朱塗合子」 //

「乾漆真塗盤」 //

「檜造金彩白漆塗提盤」 //

「檜造輪花脚付盤」 //

「檜造真塗綾華盤」 //

「朱塗二十一綾茶器」 //

西洋美術との出会い 徳島の4人 原鶴雲 | 井上辨次郎 | 守住貫魚 | 守住勇魚 徳島県立近代美術館

バラの模型 / ぼくらの空中楼閣 : パラモデル展 メゾンエルメス8階フォーラム

やわらかい機械の 静かな爆発 宇野 邦一

空中楼閣Pに関する、雲を掴むような断章

書とデザイン 書家・アーティスト 潘微の作品と教育 武蔵野美術大学美術館・図書館(図書館)

「書とデザイン」 小井土 満

「書とデザイン」展 にあたり 潘 微

東島毅+本田健展 冬のみず、山あるき 岩手県立美術館

自己と他者のあいだ 大野 正勝

12年目のT's memo 東島 毅

祈りの旗—「山あるき—五月」に寄せて— 本田 健

印象派の巨匠たちとピカソ ひろしま美術館コレクション 八十二銀行創立82周年記念[バプロ・ピカソ] 長野県信濃美術館

ひろしま美術館の フランス近代絵画 コレクションについて 渡辺 純子

shiseido art egg vol. 7 [川村麻純 / ジョミ・キム / 久門剛史] 資生堂ギャラリー

日比野克彦展 Hibino on side off side 川崎市岡本太郎美術館

お邪魔します…。 日比野克彦

日比野克彦の LINE に縄文前期の土器の線刻を 観る 仲野 泰生

Paris 何故ひとは絵を描くのか 日比野克彦

§ 作家の言葉 § 関口光太郎

// オル 太

平原辰夫展 Galerie SOL

変幻多様な色彩宇宙～平原辰夫に寄せて～	三田 晴夫	I モンパルナスのフジター「素晴らしき乳白色」の誕生	藤松博油彩画作品の修復	土師 広
福田美蘭展 東京都美術館		II フジタの子どもたち—アトリエのなかの物語	絵画の馴染み	小川 稔
福田美蘭の作品世界	真室 佳武	III 小さな職人たち—フランスへの讃歌	藤原敏行 季の音	高島屋(大阪)他
第I章 日本への眼差し	福田 美蘭	「小さな職人たち」考	季の音	藤原 敏行
第II章 現実への眼差し	〃	フジタと二人の写真家—土門拳と阿部徹雄	アーウィン・ブルーメンフェルド	美の秘密 東京都写真美術館
第III章 西洋への眼差し	〃	フジタの「乳白色の下地」について	アーウィン・ブルーメンフェルド—現代的な美	ラファエル・ストパン
第IV章 今日を生きる眼差し	〃	壁画《秋田の行事》からのメッセージ	アーウィン・ブルーメンフェルド：隠されたものと明かされたもの	ナディア・ブルーメンフェルド=シャルビ
福田美蘭展ノート	河合 晴生	藤田嗣治の1930年代	美の秘密—アーウィン・ブルーメンフェルドの作品と人生	丹羽 晴美
藤井達吉の全貌 野に咲く工芸 宙〔そら〕を見る絵画 宇都宮美術館他		表象の変換—藤田嗣治1930年代の壁画	カール・ブロースフェルト展	Fuji Xerox Art Space
藤井達吉—その人と芸術—	木本 文平	《秋田の行事》の主題とモチーフ	発見され続ける植物写真群—カール・ブロースフェルトの写真について	増田 玲
藤井達吉の立つ場所—展覧会にあたって	瀬尾 典昭	《秋田の行事》に描かれた布、秋田の布	フランシス・ペーコン展	東京国立近代美術館他
レオナルド・フジタとパリ 1913—1931 藤田嗣治渡仏100周年記念 静岡市美術館他		藤田嗣治と平野政吉	フランシス・ペーコンについての断章、いくつか	保坂健二郎
藤田とパリ、夢を叶える都	シルヴィー・ビュイッソン 田中 佳 翻訳	藤田嗣治の日本表象—秋田の壁画と美術館—	chapter I 移りゆく身体1940s—1950s	〃
藤田とエコール・ド・パリ	ソフィー・クレップス 田中 麻野 翻訳	壁面制作の建築的背景に迫る：平野家の米蔵のコンピュータグラフィックス及び模型再現	chapter II 捧げられた身体1960s	〃
藤田、税関吏ルソーを発見し、重なり合う	ヤン・ル・ビション 田中 麻野 翻訳	幻の美術館の再現：残存図面断片から設計者と設計意図に迫る	chapter III 物語らない身体1970s—1992	〃
藤田嗣治の手紙—妻のとみに宛てた渡仏後(1913—1916年)の初期書簡類	村上 哲	藤田嗣治と万国博覧会	chapter IV エピローグ：ペーコンに基づく身体	〃
美の系譜を泳ぐ—藤田嗣治をめぐる造形の継承と変容	〃	藤田嗣治 1930年代の技法—平野政吉美術財団所蔵作品の調査から—	触覚と粒子でできている：ドガ、ペーコン、そして土方	鈴木 俊晴
レオナルド・フジタ ポーラ美術館コレクションを中心に〔藤田嗣治〕		藤松博展 光と影の旅人—戦後美術の一断面— 松本市美術館	うわさのペーコン—日本におけるフランシス・ペーコン受容の歴史のためのノート	梶田 倫広
金沢21世紀美術館他		藤松博／相反するものの合—戦後美術に遺した特異な足跡—	アンソロジー 「ペーコンの「黒い」三幅対」(抄録)	ヒュー・M. デイヴィス 保坂健二郎 訳・編
ヴェールにおちる陰翳〔アンニエ〕	木島 俊介	藤松博さんの思い出—ちょっと頑固そしてひそやかなユーモア		
レオナルド・フジタとポーラ美術館 他他のフジタ・コレクション	内呂 博之			



アンソロジー「技法についての覚書」	アンドリュ ー・ダラム 夏目 幸子 訳 保坂健二朗 編	(マ行)	松井康成造形論— 現代陶芸論・工芸 論を介して	金子 賢治
アンソロジー「序 章—自己の喪失と して読むこと」(抄 録)	エルンスト ・ファン・ アルフェン 保坂健二朗 訳・編	眞板雅文展 あめつちとの協奏 横 須賀美術館 眞板雅文の仕事— 記憶の庭 古屋 梨奈 眞板くんのこと 若江 漢字 [コラム]1960-70 年代のできごと	松井康成の技法 柳田 高志 人間国宝“わざの 美”の伝承—重要 無形文化財 陶芸 「練上手」伝承者養 成研修会について	〃
アンソロジー「フ ランシス・ペー コンとフリードヘル ム・メネケスの対 話」	金子 美環 訳 保坂健二朗 編	前田寛治と小島善太郎 1930年協会 の作家たち 八王子市夢美術館開館 10周年 小島善太郎生誕120年 八 王子市夢美術館	松田正平展 生誕100年 山口県立 美術館他	山口県立
アンソロジー「情 動的な空間」(抄録)	ファブリス ・エルゴ 鈴木 俊晴 訳 保坂健二朗 編	牧野邦夫—写実の精髓—展 練馬区 立美術館 § 会話メモより、 1978年頃 § 牧野 邦夫	§ 1980年のスケッ チブックより § 松田 正平 § 1980年5月3日 の手記より § 〃 § 1982年4月17日 の手記より § 〃 § 1980年のスケッ チブックより § 〃 § 1979年6月28日 の手記より § 〃 § 1952年5月12日 の手記より § 〃 § 1953年12月27日 の手記より § 〃	〃
アンソロジー「ダ ブリン市立ヒュー ・レーン美術館所 蔵のフランシス・ ペーコンによる紙 作品」(抄録)	マルガリー タ・カボック 保坂健二朗 訳・編	牧野邦夫の復権— 戦後美術史を書き 換えるために 絵画の死の淵から —牧野邦夫という 画家がいた	§ 1980年のスケッ チブックより § 〃 § 1979年6月28日 の手記より § 〃 § 1952年5月12日 の手記より § 〃 § 1953年12月27日 の手記より § 〃	〃
アンソロジー 「1993年の夏、サ ン・ジョヴァンニ ・イン・ラテラノ 大聖堂の爆発—フ ランシス・ペーコ ンの《肉とともに いる人物像》のた めの覚書」(抄録)	スーザン・ スチュアー ト 夏目 幸子 訳 保坂健二朗 編	牧野邦夫回顧展開 催にあたって § 日記より、1950 年代 § 牧野 邦夫 § 日記より、1954 年5月11日 § 〃 § 姉美江への手紙 より、1966年7月 12日 § 〃 § 姉美江への手紙 より、1966年6月 8日 § 〃 § 姉美江への手紙 より、1966年7月 25日 § 〃 § 日記より、1954 年1月1日 § 〃 § パレットの裏書 きより、1943年4 月 § 〃 § 会話メモより § 〃	§ 1980年のスケッ チブックより § 〃 § 1979年6月28日 の手記より § 〃 § 1952年5月12日 の手記より § 〃 § 1953年12月27日 の手記より § 〃 笑う自画像—作風 の変遷をたどって 松田正平の生み出 した日本独自の油 彩画 §NHK「本物の油 絵を描きたい」 (2000年)中の画家 のインタビューよ り § 〃	〃
柴田雅章 クライヴ・ボウエン 二 人展 第3回 ギャラリー・セン トアイヴス	メゾン・エルメス	新世代への視点2013 画廊からの 発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤 美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊 輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町 田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平] gallery 21yo-]	松林桂月 水墨を極め、画中に詠う 没後50年 山口県立美術館他	松田 正平
クリスチャン・ボヌフォワ展 メゾ ンエルメス8階フォーラム	私に遊びがある、 故に私は在る	東島毅+本田健展 冬のみず、山あ るき 岩手県立美術館	祖父桂月の思い出 松林 明 松林桂月先生を想 う—石井公男氏聞 き書き 村田 隆志 聞き手	〃
私に遊びがある、 故に私は在る	銀の糸を編む	新世代への視点2013 画廊からの 発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤 美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊 輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町 田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平] gallery 21yo-]	最後の南画家、松 林桂月の生涯と画 業 村田 隆志 松林桂月の師、野 口幽谷一和楽堂画 塾からの広がり 鈴木 利昌 春宵花影とその周 辺 荻開津通彦 桂月以後—「現代 の南画」の可能性 をめぐる断想 野地耕一郎	〃
銀の糸を編む	絵画の織りなす星 座	人間国宝 松井康成展 没後10年 茨城県陶芸美術館他	かわいい! 女子ワールド 松本かつ ちと少女文化の源流 開館30周年 記念特別展 兵庫県立歴史博物館	〃
絵画の織りなす星 座	メゾン・エルメス			
メゾン・エルメス				

松本かつちについて 丸山純子展 BankART Under35/ 2012 BankART Studio NYK	今野加奈子	吾れ、ミレーにならん。一明治期におけるミレー・イメージの一断面として	野地耕一郎	メッセージ ジョン・ミュシャ	
§本展プロデューサーの言葉§	大友 恵理	森鷗外の小説『天龍(てんちよう)』の画家	左近充直美	もうひとりのミュシャー思想家としての芸術家 佐藤 智子	
ユートピアについて話し合いました	小林 晴夫	宮芳平と柏崎 宮芳平が諏訪で育み、残したもの	松矢 国憲 前田 忠史	ミュシャとベル・エボック 千足 伸行	
ミケランジェロ展 天才の軌跡 システィーナ礼拝堂500年祭記念[ミケランジェロ・ブオナローティ]		聖地巡礼 宮川長春 大和文華館	松矢 国憲	三輪壽雪・休雪 破格の創造展 智美術館閉館10周年記念[三輪休雪] 菊池寛実記念智美術館	
福井県立美術館他		宮川長春の画業一付、その生涯	浅野 秀剛	破格の歴史一壽雪と休雪の創造力 石崎 泰之	
カーサ・ブオナローティ：美術館を超えて	ピーナ・ラジョニエーリ 伊藤 拓真 訳	宮下勇「ムサビキャンパスの建築」 武蔵野美術大学退任記念 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)		向井周太郎 世界プロセスとしての身振り 武蔵野美術大学美術館・図書館(美術館)	
ミケランジェロの想像と創造	ポール・パロルスキー 川瀬 佑介 訳	建築、人々、時々 ムサビキャンパスの建築	宮下 勇	多様なパースペクティブから見た向井周太郎 ミヒャエル・エーホフ	
フィレンツェとミケランジェロ「天才」を育んだ芸術都市	上村 清雄	ムサビキャンパスの教育	〃	きらめく星はやがて 金澤 一志	
システィーナ礼拝堂小史—シクストゥス4世、ミケランジェロ、コンクラーヴェ	川瀬 佑介	ムサビキャンパスの整備	〃	動きという自己表現 河本 英夫	
フィレンツェでの修業時代	伊藤 拓真	対談1 キャンパスの今、これからI	田中 洋二 宮下 勇	論理と想像力に横たわるダイアグラム思考：向井とパース 小林 昭世	
三岸好太郎展 生誕110年 北海道立三岸好太郎美術館他		対談2 ガラス工房	齋藤 昭嘉 宮下 勇	「耳振り」と「視振り」。二つの「身振り」が語るもの 杉浦 康平	
生誕110年をむかえて	三岸 太郎	対談3 11B号館	鈴木 久雄 宮下 勇	原像とメタモルフォーゼ 高橋 義人	
三岸好太郎と道産子スピリット	菅名 直子	対談4 13号館	神野 善治 宮下 勇	飛翔する読解 田中 正之	
三岸好太郎への影響—外山卯三郎とカンディンスキー—	柳沢 弥生	対談5 2号館	赤塚 祐二 黒川 弘毅 宮下 勇	宇宙と私の波打ち際 原 研哉	
三沢厚彦 ANIMALS 2013 in 三重 三重県立美術館		対談6 キャンパスの今、これからII	高橋 陽一 中原俊三郎 宮下 勇	かたちの原像へ、白の生成へ 板東 孝明	
§作家の言葉1§	三沢 厚彦	宮山香里 空へ降りる方法 ベイスギャラリー(茅場町)		「似ていること」と世界模型 松田 行正	
§作家の言葉2§	〃	空へ降りる方法 —il modo di scendere al cielo—	宮山 香里	世界身体が生み出すかたち 港 千尋	
§作家の言葉1§	豊嶋 秀樹	宮脇綾子展 アプリケにつづる愛 一宮市三岸節子記念美術館		あいだに—世界の生成/生成する世界 向井周太郎	
§作家の言葉3§	三沢 厚彦	宮脇綾子のアップリケ〜手芸の歴史から見る	山崎 明子	画道精進 椿貞雄と実篤—船橋市・清川コレクションを中心に—[武者小路実篤] 調布市武者小路実篤記念館	
§作家の言葉4§	〃	ミュシャ展 パリの夢 モラヴィアの祈り ミュシャ財団秘蔵[アルフォンス・ミュシャ] 森アーツセンターギャラリー他		ムットーニワールド からくりシアターIII[武藤政彦] 八王子市夢美術館	
§作家の言葉2§	豊嶋 秀樹			§作家の言葉1§ 武藤 政彦	
宮芳平 生誕120年 茅野市美術館他				§作家の言葉2§ 〃	
はじめに	澤田龍太郎			§作家の言葉3§ 〃	

§ 作家の言葉 4 §	〃	MARIKO MORI INFINITE RENEW	八島正明—その抑制された絵画の魅力	田中 善明
§ 作家の言葉 5 §	〃	[森万里子] エスパス ルイ・ヴィトン東京	やなせたかしと「詩とメルヘン」のなかまたち 北海道立旭川美術館他	
§ 作家の言葉 6 §	〃		『詩とメルヘン』と1970年代の抒情	井内佳津恵
§ 作家の言葉 7 §	〃	インタビュー 森 万里子 ブライアン・コックス 聞き手	柳瀬正夢1900—1945 北九州市立美術館他	
§ 作家の言葉 8 §	〃		開催にあたり	西村 勇晴
§ 作家の言葉 9 §	〃	ウィリアム・モリス 美しい暮らし	柳瀬正夢のこと	柳瀬 信明
§ 作家の言葉10 §	〃	ステンドグラス・壁紙・テキスタイル 府中市美術館	柳瀬正夢の桃多体験—1915年、大正期の特異な大作を背景にした愛	村松 和明
§ 作家の言葉11 §	〃		柳瀬正夢を伝える—まつやまふみおの視点から	武居 利史
§ 作家の言葉12 §	〃	ウィリアム・モリス 美しい暮らし 音 ゆみ子	柳瀬正夢と北九州	落合 朋子
§ 作家の言葉13 §	〃		柳瀬正夢と演劇	西澤 晴美
新世代への視点2013 画廊からの発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平] ギャラリー川船		西洋美術との出会い 徳島の4人 原鶴雲   井上辨次郎   守住貫魚   守住勇魚 徳島県立近代美術館	柳瀬正夢と俳句—画家として、俳人として	長井 健
山崎省三・村山槐多とその時代 『槐多の歌へる』その後 横須賀美術館他		一人芝居「侍女たちは夜に甦る」 森村 泰昌	1916年、伊予の旅—旅と「生命」、美術と文学の間の漂泊をめぐって	鳴原 悠
『槐多の歌へる』その後—山崎省三が歩んだ時代	香沢 耕介	対談：エリアセル・カンシーノ(作家)×森村泰昌	山崎省三・村山槐多とその時代 『槐多の歌へる』その後 横須賀美術館他	
コラム 暮らしのなかに美を	迫内 祐司	モローとルオー—聖なるものの継承と変容—[ギュスターヴ・モロー/ジョルジュ・ルオー] 汐留ミュージアム他	新世代への視点2013 画廊からの発言[飯嶋桃代/一色映理子/遠藤美香/上根拓馬/庄子和宏/鈴木俊輔/高橋美羽/谷口嘉/本間洋/町田沙弥香/村上佳奈子/山下耕平] ギャラリー58	
コラム 南へ	〃	ギュスターヴ・モローの名誉を保ち彼を擁護したジョルジュ・ルオー	大和保男の陶芸—魂[アニマ]の造形— 山口県立萩美術館・浦上記念館	
自由画教育、自由学園のなかの山崎省三	中村 貴絵	ギュスターヴ・モローとジョルジュ・ルオーの往復書簡	ピカソの女性跪座像から成熟の陶管へ—工芸的造形論とリンクして大和保男論	金子 賢治
小杉未醒周辺の青年画家たち—村山槐多と水木伸一	迫内 祐司	美術学校教授としてのギュスターヴ・モロー 芸術と詩情を追い求めて	大和保男の陶芸人生—その葛藤と変革の軌跡	斉藤 武男
山崎省三の手紙	香沢 耕介	ジョルジュ・ルオーの初期サロン出品	大和保男の陶芸的表現にみる作陶姿勢と思考	唐澤 昌宏
望月春江とその時代 なし国文祭記念事業館	富士の国やま 山梨県立美術館	夢見た共同体 ジョルジュ・ルオーと「アトリエ・モロー」という神話	大和保男の「陶壁」	石崎 泰之
望月春江の画業とその時代	平林 彰	(ヤ行)		
モネ 風景をみる眼 19世紀フランス風景画の革新[クロード・モネ] ポーラ美術館他		アンティーク 八木幾朗個展 百花図(板絵) 高島屋(日本橋)他		
現代風景のフレーミング	岩崎余帆子	§ 作家の言葉 § 八木 幾朗		
光のマティエール	〃	八島正明展 三重県立美術館		
反映と回復	陳岡めぐみ			
空間の深みへ	〃			
石と水の幻影	東海林 洋			

マンハッタンの太陽 光学芸術から  
熱学芸術への拡張：18世紀から21  
世紀の“太陽画”の系譜[山中信夫]  
栃木県立美術館

マンハッタンの太陽—光学的芸術から  
熱学的芸術への拡張の可能性につ  
いて 山本 和弘

山中信夫—プロジ  
ェクション装置と  
してのピンホール 梅津 元

山中信夫にとって  
の写真 鈴木 理策

山中信夫のピンホ  
ール写真—像と現  
実の接面 光田 由里

山中信夫—ある一  
つの点としての太  
陽 山本 和弘

山本二三展 日本のアニメーション  
美術の創造者 長崎県美術館他

描かれた心象が  
「背景」となる時 大森 正夫

師は自然—私が背  
景画を続けてこら  
れた理由 山本 二三  
談 金井 紀子  
構成・編集 井口 啓子  
文

山本二三美術監督  
「火垂るの墓」をめ  
ぐって 岡 泰正

横尾忠則 感応する風景 LAND-  
SCAPE PAINTINGS 兵庫県立美術  
館

変化する風景 出原 均

横手貞美 未完の青春 長崎の美術  
5 長崎県美術館

§「静物」カンヴァ  
ス裏書§ 横手 貞美

§「S1 スケッ  
チブック」裏表紙  
メモ§ ”

§「S1 スケッ  
チブック」短歌§ ”

§「S4 画帖」メ  
モ§ ”

§「S5 遊独之  
記」日記§ ”

§「S10 スケッ  
チブック」短歌§ ”

資料 1. 日記・  
書簡採録 ”

横手貞美研究のた  
めに—同時代の  
「評価」についての  
覚書 福満 葉子

年譜 福満 葉子  
編

横山大観展—良き師、良き友 岡倉  
天心生誕150年・没後100年記念/  
『國華』創刊125周年／朝日新聞創刊  
135周年 横浜美術館

祖父・大観の良き  
師・良き友 横山 隆

横山大観—天心の  
教え、盟友らとの  
交わりと共に 八柳 サエ

関連の作品と資料  
山口晃 大観と天  
心、そして仲間た  
ちを描く 山口 晃

横山大観の虎溪三  
笑図について 太田 雅子

吉岡徳仁 クリスタライズ 東京都  
現代美術館

自然から生み出さ  
れる 吉岡 徳仁

クリスタライズと  
いう創造的行為—  
「吉岡徳仁—クリ  
スタライズ」によ  
せて 森山 朋絵

切断面のアフォー  
ダンス 斎藤 環

米田知子 暗[やみ]なきところで逢  
えれば 東京都写真美術館他

見えるものと見え  
ないもののあいだ 福原 義春

暗[やみ]なきとこ  
ろで逢えれば 米田 知子

それでも、人生の  
船は行く 黒川 創

光の彼方 藤村 里美

萬鉄五郎 七変化 わが内なる自画  
像 萬鉄五郎記念美術館

序論：萬鉄五郎  
七変化—「口髭の  
ある自画像」を中  
心に 田中 淳

萬鉄五郎の自画像 伊藤真紀子

(ラ行)

Anselm Reyle INTO THE VOID[ア  
ンセルム・ライラ] Kaikai kiki gal-  
lery

§ 作家の言葉 § アンセルム  
・ライラ

SPECTRA VISION Curated by An-  
selm Reyle Hidari Zingaro/Oz Zin-  
garo/Kaikai Zingaro

アンセルム・ライ  
ラ×アレクサンダ  
ー・フォーベス §  
作家インタビュー  
§

BLACKS ルーズ・ニーヴェルス  
ン | アド・ラインハート | 杉本博司  
川村記念美術館

クローゼットとマットレス スミル  
ハン・ラディック+マルセラ・コレ  
ア展 メゾンエルメス8階フォーラ  
ム

ラファエロ[ラファエロ・サンツィ  
オ] 国立西洋美術館

ラファエロ 場所、  
人、業績 クリステ  
ーナ・アチ  
ディーニ  
伊藤 拓真  
訳

ラファエロと16世  
紀の装飾芸術の革  
新 マリア・ス  
フラメリ  
水野 千依  
訳

ラファエロと版画  
—古代、同時代そ  
して前衛のあいだ  
で ラウラ・ア  
ルドヴィー  
ニ  
金山 弘昌  
訳

ラファエロ像の変  
遷と偶像化への過  
程 渡辺 晋輔

大公の聖母、解決  
された謎 アレッサ  
ンドロ・チ  
ェッキ  
伊藤 拓真  
訳

写真であそぶ 植田正治とジャック  
・アンリ・ラルティエグ 東京都写  
真美術館

シガリット・ランダウ ウルの牡山  
羊 メゾンエルメス8階フォーラム

犠牲と贖罪の芸術 細田 和江

在りしものの不在  
と再生 説田 礼子

山羊の寓話 シュムエル  
・ヨセフ・  
アグノン

ルーベンス 栄光のアントワープ工房と原点のイタリア[ピーテル・パウル・ルーベンス] Bunkamura ザ・ミュージアム他

ルーベンスの絵画制作—専門画家たちとの共同制作、および工房の助手ヴァン・ダイクをめぐって

中村 俊春

ペーテル・パウル・ルーベンスとフランス・スネイデルス:共同制作事業

デニス・P・ウェラー 廣川 暁生 翻訳

フィレンツェの美術館コレクションにおけるルーベンスとフランドル絵画

アンナ・ピシエリア 江尻 育世、平川 佳世 翻訳

モローとルオー—聖なるものの継承と変容—[ギュスターヴ・モロー/ジョルジュ・ルオー] 汐留ミュージアム他

ジョルジュ・ルオー展 千葉市美術館

ジョルジュ・ルオーの〈風景〉、あるいは〈人物〉の周縁

後藤 新治

ルオーの伴奏者—画商アンブロワーズ・ヴォラールの夢

杉野 秀樹

ル・コルビュジエと20世紀美術 国立西洋美術館

芸術家としてのル・コルビュジエ

村上 博哉

ピュリスムの創始者:アメデ・オザンファンとシャルル=エドゥアール・ジャンヌレー新しい精神!—

ピエール・ゲネガン 村上 博哉 訳

壁は語る

林 美佐

ル・コルビュジエの探求した「総合芸術」

山名 善之

アンリ・ルソーから始まる 素朴派とアウトサイダーズの世界(世田谷美術館コレクション選集) 世田谷美術館

アンリ・ルソーから始まる 世田谷美術館の素朴派およびアウトサイダー・アートのコレクションについて

遠藤 望

オディロン・ルドン 夢の起源 損保ジャパン東郷青児美術館他

幻想の起源—ネチュラリスト・ルドン

山本 敦子

ルドン、あるいは中間色[ハーフトーン]ジャポニスム

マルク・フアヴロー 小林 晶子 訳

ルノワール礼讃 ルノワールと20世紀の画家たち[ピエール=オーギュスト・ルノワール] ポーラ美術館

ルノワール礼讃—世紀転換期におけるルノワール像の変容

島本 英明

レオナルド・ダ・ヴィンチ展 天才の肖像 東京都美術館

画家レオナルド・ダ・ヴィンチ—稀代の素描家にして思索家

小佐野重利

コレクターとしてのフェデリーコ・ボッロメオとアンブロジーナ絵画館の成立

マリア・テレザ・フイオーリオ 池上 英洋 訳

アンブロジーナ図書館の素描・版画コレクション

ジュリオ・ボーラ 伊藤 拓真 訳

『アトランティコ手稿』—レオナルドの思索を覗く

ピエトロ・マラーニ 池上 英洋 訳

レオナルド・ダ・ヴィンチの蔵書と空想

浦 一章

ロンバルディアにおけるレオナルデスキ

池上 英洋

ジゼル・ツェラン=レトランジュ 神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)

《息の結晶》—ジゼル・ツェラン=レトランジュの銅版画

関口 裕昭

アントニオ・ロベス展 現代スペイン・リアリズムの巨匠 Bunkamura ザ・ミュージアム他

§ 作家の言葉 §

アントニオ・ロベス

アントニオ・ロベスの絵画についての瞑想

木島 俊介

アントニオ・ロベスという画家

木下 亮

アントニオ・ロベスのマドリッド都市景観作品

〃

アントニオ・ロベスの終わりなき旅

ギリエルモ・ソラーナ 宮澤 政男 訳

アントニオ・ロベスの初期作品と古代美術との関わりについて—1960年代半ばにおけるリアリズム獲得までの軌跡

森園 敦

アントニオ・ロベスへのインタビュー

森園 敦、木下 亮 聞き手 吉本 由江 通訳

(ワ行)

若尾利貞作陶展 傘寿記念 高島屋(日本橋)他

ごあいさつ

若尾 利貞

若林奮 仕事場の人 DRAWING 1955—2003 多摩美術大学美術館

回想の若林奮、そして土方定一のこと

酒井 忠康

若林さんと車と僕

浜 素紀

空間・計測・重心

早矢仕素子

若林奮覚書

佐藤 亮司

御岳のスタジオで

河田 政樹

多摩美術大学 若林奮研究会の歩み

小泉 俊己

団体展

(カ行)

現代童画展39回 東京都美術館

現童通信50号に寄せて

安井 収蔵

行動展68回 国立新美術館他

いつかまた

斎藤 幸子

左海さんを偲んで

野畑 和昭

竹内さんを悼む

田中 茂生

新田先生を偲んで

猪爪 彦一

藤庭さんを悼む

村上 泰造

松本さんを悼む

内藤 友博

(サ行)

新制作展77回 国立新美術館他

追悼 故石田琴次  
親友との六十年の  
歩み 鶴見 雅夫

追悼 故丸山正三  
追悼 丸山正三先  
生 福島 修子

水彩人15回 東京都美術館

水彩史権威一水彩  
人15回展寄せて 瀧 悌三

雪舟国際美術協会展20回 国立新美術館

雪舟国際美術協会  
設立の由来 書画  
一如、東洋芸術を  
世界へ

雪舟国際美術協会  
展の歴史

雪舟国際美術協会  
特別展 2013年  
於：東京上野(東  
京都美術館)

全日本水墨画秀作展41回[全国水墨画美術協会] 国立新美術館

巻頭言 墨の五彩  
は臨画で身につけ  
る 豊島 宗天

職美展67回[全日本職場美術協議会] 東京都美術館

作者のことば チ  
ケットの絵につい  
て 山下 徹

作者のことば 目  
録表紙絵について 中橋 肇

作者のことば 招  
待状の絵について たかはしせい  
いち

作者のことば チ  
ラシの絵について 中村 守男

(タ行)

東京展39回 東京都美術館

顕彰故展 古田洋  
司 古田先生と運  
営委員会 そして 青柳 芳夫  
東京展

企画個展 杉田五  
郎“ごろうの”つ  
るの通るみち一 杉田千鶴子

特別企画 インタ  
ーネットと現代の  
絵師たち 田所 一紘

独立展81回 国立新美術館他

追悼 門脇正弘  
繊細で真直な画家  
旅立つ 伊藤 弘之

追悼 國清剋光  
好漢、國清剋光へ  
のレクイエム 世利 徹郎

追悼 古賀猛 古  
賀猛先輩を偲んで 白野 文敏

追悼 竹内晟 竹  
内晟兄を送る 寺島 穰

追悼 水野恭子  
追悼 水野恭子先  
生 福島 瑞穂

旅 旅の途中 相田 幸男

旅 旅 阿部 栄一

旅 地底旅行? 五十里雅子

旅 旅・一枝一葉 池末 満

旅 旅 石井 武夫

旅 海との再会 石川 和男

旅 旅だつて! 伊東 茂広

旅 旅 伊藤 弘之

旅 生涯現役の旅 入江 一子

旅 イスタンブールにて 梅野 顕司

旅 富士の湧水、  
柿田川讃歌 入添栄一郎

旅 迷える仔羊に  
は旅をさせよ 大久保宏美

旅 「芸術すること」への旅 大地 康雄

旅 しばし刻を止  
めて 大塚 恵美

旅 鷹野さんへの  
旅 大塚 利典

旅 はじめての旅 大場 再生

旅 片岡伸介先生  
との旅 岡田 忠明

旅 イーゼンハイ  
ム祭壇画 奥谷 太一

旅 トレド観光と  
エル・グレコ 奥谷 博

旅 バスク 乙丸 哲延

旅 黒歌鳥 金井 訓志

旅 旅の途中… 金森 良泰

旅 日頃の旅 貴志 紘美

旅 アトリエのド  
アから 喜多万紀子

旅 山里の色を求  
めて 北島 治樹

旅 旅の楽しさ 網谷 幸二

旅 旅 木村小百合

旅 サン・ガルガ  
ーノ 久我 修

旅 私のイタリア 日下部淑子

旅 スケッチの旅 久保田益央

旅 小さな旅、心  
の郷里“湯布院” 黒川 洋孝

旅 旅 久保田 裕

旅 出会い 権藤 信隆

旅 自分探しの旅 齋藤 吾朗

旅 旅 齋藤 将

旅 旅にまつわる  
雑記 佐々木里加

旅 旅先の怖い思  
い出 島崎 陽子

旅 アフガニスタ  
ンの旅 白鳥 三郎

旅 旅 白野 文敏

旅 初めてのスケ  
ッチ旅行は飛騨白  
川郷 須藤 美保

旅 エスパーニャ 瀬川富紀男

旅 ふたり旅 関口 聖子

旅 旅 瀬島 匠

旅 忘れられない  
マウントクッ  
ク 世利 徹郎

旅 ロスのアミー  
ゴ 高澤 哲明

旅 シベリアの風 高橋 伸

旅 パリの人 高橋 正敏

旅 ひとつの記憶 高橋 雅史

旅 楽園へ 田口 貴大

旅 事实は小説よ  
り奇なり 竹岡 羊子

旅 旅 田中 茂

旅 景 栈橋のある風 多伏 勉

旅 ドク女の旅 多見谷恭子

旅 モーツァルト  
没後200年の年末 塚本 聰

旅 古代遺跡にて 津川めぐ美

旅 私と絵の旅 鳥飼 壽徳

旅 旅と好奇心 中嶋 明

旅 旅の時間論 中村 光幸

旅 旅 額田 晃作

旅 旅 花澤 洋太

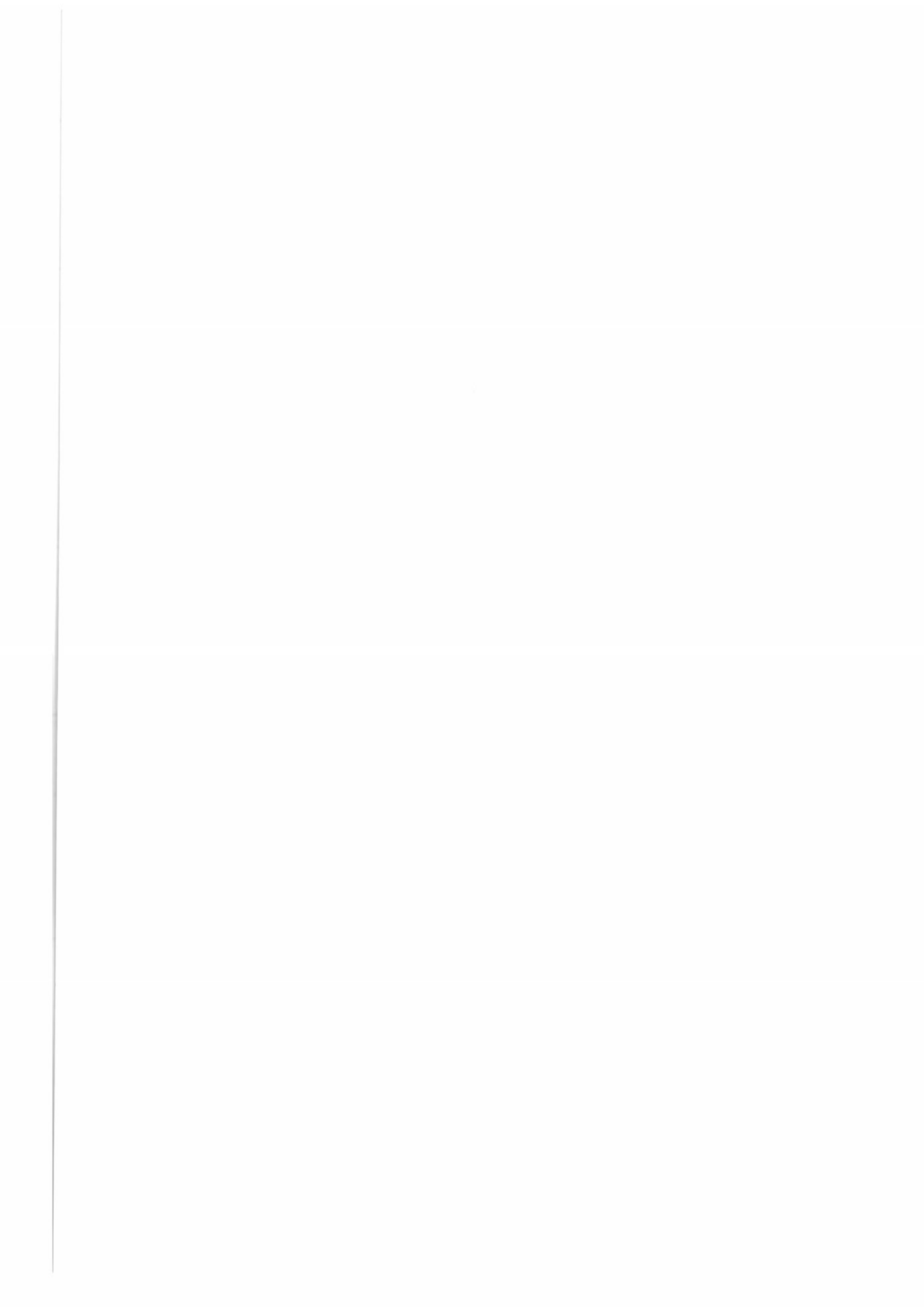
旅 旅 イタリアが好  
ま 浜松 繁雄

旅 三溪園のこと	林 敬二	特別陳列 久保俊 寛の世界 糸くず	
旅 雨・風・『沈黙』の地	早矢仕素子	とマッチの棒と一 ドキュメント風に	箇木 昌弥
旅 雑感	原田 丕	—	
旅 額の中の世界	半那 裕子	出会いの旅・俊寛 さん—注連寺天井 画と「二重像」—	小野悌次郎
旅 「何もない」が 「ある」という存在	廣田 政生	渦巻く多層のイメ ージを抱いていま だ疾走する画家 額額敏郎	前田 耕作
旅 小さい、小さい 旅	福岡 奉彦		
旅 旅の終わりに 近づいて	福島 瑞穂		
旅 旅=人生=絵	福満正志郎		
旅 日田	堀井 克代		
旅 旅	本田 希枝		
旅 イタリアスケ ッチ旅行	前田さなみ		
旅 病みつきとな ったパリへの旅	前畑 省三		
旅 私の「旅」と「人 間の大河」	馬場 陽子		
旅 旅	松永 久		
旅 ビバ・イタリ ア	松原 潤		
旅 旅	松村 浩之		
旅 非日常的な旅	松山 敏彦		
旅 展誌のテーマ で思い浮かん だ事	向井 隆豊		
旅 絵 いぬのゆかの	日黒 礼子		
旅 ぼーっとトリ ップ	森 京子		
旅 夢 DVDに見た	山内 和則		
旅 ころろ温まる 心からのおもてな し	山田 依子		
旅 Paris	山本 恵三		
旅 旅	山本 雄三		
旅 花びらは死ん でも、花は死すこ とはない。	湯澤 宏		
旅 神田日勝の元 へ走る	吉田宏太郎		
旅 旅	吉武 研司		
旅 脳宇宙の旅	輪島 進一		

(ハ行)

从展37回 東京都美術館

从展・从会に 中村 正義





「物故者」 ページ (443～474 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.443-474)

Cut for protection of the personal information

印刷 平成28年3月11日

発行 平成28年3月25日

---

日本美術年鑑 ©

平成26年版

---

編集者 東京文化財研究所企画情報部

発行者 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-43  
電話 (03) 3823-2241

製作 中央公論美術出版  
東京都千代田区神田神保町1-10-1 INYビル6F  
電話 (03) 5577-4797

---

出版助成 株式会社 東京美術倶楽部  
東京美術商協同組合

